

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第452集

わ の いち
和野 I 遺跡発掘調査報告書

公共下水道整備（代行）事業に伴う発掘調査

（第1分冊 本文・図版・表編）

岩手県宮古地方振興局岩泉土木事務所
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

わ の いち
和野 I 遺跡発掘調査報告書

公共下水道整備（代行）事業に伴う発掘調査

（第1分冊 本文・図版・表編）

序

広大な面積を有し、またその大部分が山地によって占められている岩手県においては、地域開発に伴う社会資本の充実は重要な施策であります。その一方で、旧石器時代以来の遺跡も多数確認されており、先人たちの文化遺産を保存し、後世に伝えていくことも私たち県民に課せられた責務であります。

財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡について、歴史資料・史料としての遺跡情報の記録保存を目的とした調査・研究を行ってまいりました。

本報告書は、公共下水道整備（代行）事業に伴って平成13年度に行われた和野Ⅰ遺跡の発掘調査の結果をまとめたものであります。調査によって、縄文時代前期から中期の集落や捨て場、古代の集落が検出され、本県沿岸北部においては貴重な資料を多数得ることができました。この報告書が広く活用されることにより、東北地方における地域史研究の発展や埋蔵文化財に対する県民の理解を深めるための一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査および報告書作成にご援助、ご協力を賜りました岩手県宮古地方振興局岩泉土木事務所、田野畑村教育委員会をはじめとする関係各位に衷心より感謝の意を表します。

平成16年 1 月

財団法人 岩手県文化振興事業団

理事長 合 田 武

例 言

1. 本書は、岩手県田野畑村和野104ほかに所在した和野 I 遺跡の発掘調査報告書である。
2. 本遺跡の岩手県遺跡登録台帳の遺跡番号と調査略号は、次のとおりである。
遺跡番号 K G 23-1047 調査略号 W N I -01
3. 本遺跡の発掘調査は、岩手県宮古地方振興局岩泉土木事務所による公共下水道整備（代行）事業に伴い、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行った。
4. 野外調査の期間、調査面積、調査・整理担当者は次のとおりである。
期 間 平成13年7月6日～11月1日
調査対象面積 2,635㎡
調査終了面積 2,479㎡
調査・整理担当者 赤石 登・高瀬克範
5. 本書の執筆は赤石登と高瀬克範が分担し、執筆者を各節の末尾に明記した。
6. 室内整理は、平成13年度は平成13年11月1日～平成14年3月31日まで、平成14年度は平成14年4月1日～平成14年9月30日まで財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターにおいて行った。
7. 基準点の測量および航空写真の撮影は次の機関に委託した。
基準点測量 (株)藤森設計事務所
航空写真の撮影 (株)東邦航空
8. 本遺跡出土の動物遺存体の同定については、熊谷 賢氏（陸前高田市立博物館）の御指導をいただき、高瀬と共著で報文を作成した（第3章第1節）。
9. 本遺跡出土の植物遺存体については、吉崎昌一氏・椿坂恭代氏（元・札幌国際大学）の御指導をいただき、高瀬が報文を作成した（第3章第2節）。
10. 剥片石器（ツール）の実測・トレースは(株)アルカに委託した。
11. 火山灰の同定を(株)古環境研究所に依頼し、同定結果とそれに対する調査者のコメントを付した（第3章3節）。
12. 炭化材の放射性炭素年代測定をパリノ・サーヴェイ(株)に依頼し、測定結果とそれに対する調査者のコメントを付した（第3章4節）。
13. 本遺跡の概要については、平成13年『和野 I 遺跡現地説明会資料』、平成14年『平成13年度遺跡調査略報』において公表してきたが、本書の内容がそれらに優先する。
14. 発掘調査および報告書の執筆にあたり、下記の方々と機関にお世話になった（五十音順、敬称略）。
秋元信夫、安達尊伸、小田野哲憲、日下和寿、高橋龍三郎、中村英俊、三上久元、田野畑村教育委員会。
15. 本発掘調査に伴う出土遺物および諸記録は、岩手県立埋蔵文化財センターが保管している。

凡 例

1. 層名の記載、土層注記の方法は第1章第5節のとおりである。各層の注記は本文中に記載してある。
 2. 竪穴住居跡の記載中にある「主軸」は、カマドが敷設する壁を天として、カマド中軸線を、北（N）から東方向（E）に回転した角度である。
 3. 住居推定床面積はプランメーターで3回計測した平均値である。
 4. 実測図のスケールは以下の通りである。
 - 遺構関係 基本（ロング）セクション・竪穴住居跡・土坑・土器埋設土坑・配石遺構実測図：1/50
 - 遺構配置図など：1/625
 - 遺物関係 土器実測図：1/5
 - 土器拓影図：1/3（一部1/6）
 - 剥片石器：2/3
 - 礫石器実測図・土製品・石製品実測図・鉄製品・古銭：1/2
 5. 遺構・自然遺物関係の写真図版縮尺は任意である。遺物の縮尺は以下の通りである。
 - 復元土器：1/4 破片土器：1/3
 - 石器・その他：2/3
 6. 本書で使用している地形図は、国土交通省国土地理院発行二万五千分の一地形図「田野畑」である。
 7. 航空写真は、(株)東邦航空が平成13年10月15日に撮影したものである。
 8. 遺構図面の北は平面直角国家座標第X系の座標北である。真北は、0° 41′ 52″ 西偏する。
なお、巻末抄録の北緯・東経の記載は世界測地系に則っている。
 9. 遺構実測図における高さは、標高を使用した。
 10. 本書の掲載遺物は、出土グリッド・層位がわかるものの中から次の基準によって選択している。
 - 捨て場・遺構外出土土器：
 - 1) 接合する状態で重量50g以上の口縁部を含むもの。
 - 2) 接合した状態で底面の1/2以上が残存しており、50g以上のもの。
 - 3) すべての擬口縁破片。
 - 遺構出土土器（第9号竪穴住居跡）：すべての口縁部・底部破片のうち重量30g以上のもの。
 - 遺構出土土器（第9号竪穴住居跡以外）：全破片のうち重量30g以上のもの。
 - 剥片石器（ツール・スクレイパー・異形石器）：全個体。
 - 剥片、微細剥離痕ある剥片、二次加工ある剥片、楔形石器：属性表（第15表）のみ掲載。
 - 石核：全個体。
 - 礫石器：全個体（軽石をのぞく）。
 - 土製品・石製品：全個体。
 - 鉄器：表土・攪乱出土以外で破片・鉄滓などをのぞく製品全個体。
 - 非図示資料：土器は、遺物取り上げ時の袋単位で出土位置・層位・重量のみ掲載（第14表）。その他の遺物は表（第16・21～31）を掲載。
- このほか重要と思われる表土出土遺物については図示している場合がある。

[本文目次]

第1章 調査の概要と方法	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 遺跡の位置と環境	1
第3節 周辺の遺跡	3
第4節 発掘調査と整理の方法	7
第5節 微地形と基本層序	9
第2章 検出された遺構と遺物	21
第1節 竪穴住居跡	21
第2節 掘立柱建物跡	49
第3節 土坑	52
第4節 焼土・炭化物集中区	84
第5節 埋設土器	86
第6節 集石遺構	86
第7節 捨て場	88
第8節 遺構外の出土遺物	94
第9節 表土出土の遺物	96
第3章 動植物遺体および自然科学的分析	459
第1節 和野 I 遺跡出土の動物遺体	459
第2節 和野 I 遺跡出土の植物遺体	465
第3節 和野 I 遺跡の火山灰分析	470
第4節 年代測定および樹種同定	473
第5節 和野 I 遺跡出土黒曜石製石鏃の石材原産地分析	476
第4章 総括	481
第1節 調査成果のまとめ	481
第2節 南部捨て場出土土器群の構成と特質	485
第3節 和野 I 遺跡における剥片石器の特徴と使用痕	491
第4節 和野 I 遺跡における石器の製作と利用	503
引用文献	507
報告書抄録	509

[図版目次]

第1図	岩手県内の主要河川と 田野畑村和野Ⅰ遺跡の位置…………… 2	第26図	第5・10・13・14・17・18・20・29・ 30・70・76号土坑の平面図・ 断面図…………… 99
第2図	和野Ⅰ遺跡の立地（国土交通省国土 地理院発行二万五千分の一地形図 「田野畑」を使用）…………… 3	第27図	第26・27・28・35・36・71号土坑の 平面図・断面図…………… 100
第3図	周辺の遺跡…………… 4	第28図	第32・33・34・43・54・55・56・57・ 58・59・60・61・62・63号土坑の 平面図・断面図…………… 101
第4図	和野Ⅰ遺跡遺構分布図と 発掘調査グリッド…………… 11	第29図	第1・2号焼土・炭化物集中区、第44 ・45・46・47・48・49・50・51・52 ・53・72・73・74・75・77・78・79 ・80・81・82・83号土坑 および第2号集石遺構の平面図・ 断面図…………… 102
第5図	発掘区周辺の地形と 発掘調査区内の標高…………… 12	第30図	第19・66・68・69・84・85・86・87・ 88・89号土坑の平面図・断面図… 103
第6図	ロングセクションのポイント位置図… 13	第31図	第4号焼土・炭化物集中区および 第1号埋設土器の平面図・ 断面図…………… 104
第7図	和野Ⅰ遺跡の基本層序…………… 14	第32図	北部・南部捨て場における各層準の 分布範囲…………… 105
第8図	ロングセクションa-a'、b-b'…………… 15	第33図	竪穴住居跡出土土器（1） （第1～4号竪穴住居跡）…………… 106
第9図	ロングセクションc-c'…………… 16	第34図	竪穴住居跡出土土器（2） （第6号竪穴住居跡）…………… 107
第10図	ロングセクションd-d'…………… 17	第35図	竪穴住居跡出土土器（3） （第7・8号竪穴住居跡）…………… 108
第11図	ロングセクションe-e'、f-f'…………… 18	第36図	竪穴住居跡出土土器（4） （第9号竪穴住居跡（1））…………… 109
第12図	ロングセクションg-g'、h-h'…………… 19	第37図	竪穴住居跡出土土器（5） （第9号竪穴住居跡（2））…………… 110
第13図	第1号住居跡および第6・8・21・ 22号土坑の平面図・断面図…………… 23	第38図	竪穴住居跡出土土器（6） （第9号竪穴住居跡（3））…………… 111
第14図	第2号住居跡の平面図・断面図…………… 25	第39図	竪穴住居跡出土土器（7） （第10～13号竪穴住居跡）…………… 112
第15図	第3号住居跡の平面図・断面図…………… 27	第40図	竪穴住居跡出土土器（8） （第13・14号竪穴住居跡）…………… 113
第16図	第4号住居跡の平面図・断面図…………… 29	第41図	土坑出土土器（1）…………… 114
第17図	第5号住居跡の平面図・断面図…………… 31	第42図	土坑出土土器（2）…………… 115
第18図	第6号住居跡の平面図・断面図…………… 35		
第19図	第7号住居跡の平面図・断面図…………… 37		
第20図	第8号住居跡の平面図・断面図…………… 39		
第21図	第9・13号竪穴住居跡および 第3・5号焼土・炭化物集中区の 平面図・断面図…………… 40		
第22図	第10号竪穴住居跡および第38・39号 土坑の平面図・断面図…………… 43		
第23図	第11・12・14号竪穴住居跡および第11号 土坑の平面図・断面図…………… 47		
第24図	第1号掘立柱建物跡および第7・9・ 15・16・23・24号土坑の平面図・ 断面図…………… 97		
第25図	第1・2・3・4・37・40・41・42・61・64・ 65号土坑の平面図・断面図（第37・ 40号土坑の断面図は第12図参照）… 98		

第43図	土坑出土土器 (3)……………	116	第66図	捨て場出土土器 (19) (南部捨て場 2 b層)……………	139
第44図	土坑出土土器 (4)……………	117	第67図	捨て場出土土器 (20) (南部捨て場 2 b層)……………	140
第45図	焼土・炭化物集中区出土土器 (1)…	118	第68図	捨て場出土土器 (21) (南部捨て場 2 b層)……………	141
第46図	焼土・炭化物集中区出土土器 (2)…	119	第69図	捨て場出土土器 (22) (南部捨て場 2 b層)……………	142
第47図	集石遺構・埋設土器出土土器 ……	120	第70図	捨て場出土土器 (23) (南部捨て場 2 b層)……………	143
第48図	捨て場出土土器 (1) (北部捨て場および南部捨て場 1層)……………	121	第71図	捨て場出土土器 (24) (南部捨て場 2 b層)……………	144
第49図	捨て場出土土器 (2) (南部捨て場 1層)……………	122	第72図	捨て場出土土器 (25) (南部捨て場 2 b層)……………	145
第50図	捨て場出土土器 (3) (南部捨て場 2 a層)……………	123	第73図	捨て場出土土器 (26) (南部捨て場 2 b層)……………	146
第51図	捨て場出土土器 (4) (南部捨て場 2 a層)……………	124	第74図	捨て場出土土器 (27) (南部捨て場 2 b層)……………	147
第52図	捨て場出土土器 (5) (南部捨て場 2 a層)……………	125	第75図	捨て場出土土器 (28) (南部捨て場 2 b層)……………	148
第53図	捨て場出土土器 (6) (南部捨て場 2 a層)……………	126	第76図	捨て場出土土器 (29) (南部捨て場 2 b層)……………	149
第54図	捨て場出土土器 (7) (南部捨て場 2 a層)……………	127	第77図	捨て場出土土器 (30) (南部捨て場 2 b層)……………	150
第55図	捨て場出土土器 (8) (南部捨て場 2 a層)……………	128	第78図	捨て場出土土器 (31) (南部捨て場 3 a層)……………	151
第56図	捨て場出土土器 (9) (南部捨て場 2 a層)……………	129	第79図	捨て場出土土器 (32) (南部捨て場 3 a層)……………	152
第57図	捨て場出土土器 (10) (南部捨て場 2 a層)……………	130	第80図	捨て場出土土器 (33) (南部捨て場 3 a層)……………	153
第58図	捨て場出土土器 (11) (南部捨て場 2 b層)……………	131	第81図	捨て場出土土器 (34) (南部捨て場 3 a層)……………	154
第59図	捨て場出土土器 (12) (南部捨て場 2 b層)……………	132	第82図	捨て場出土土器 (35) (南部捨て場 3 a層)……………	155
第60図	捨て場出土土器 (13) (南部捨て場 2 b層)……………	133	第83図	捨て場出土土器 (36) (南部捨て場 3 a層)……………	156
第61図	捨て場出土土器 (14) (南部捨て場 2 b層)……………	134	第84図	捨て場出土土器 (37) (南部捨て場 3 a層)……………	157
第62図	捨て場出土土器 (15) (南部捨て場 2 b層)……………	135	第85図	捨て場出土土器 (38) (南部捨て場 3 a層)……………	158
第63図	捨て場出土土器 (16) (南部捨て場 2 b層)……………	136	第86図	捨て場出土土器 (39) (南部捨て場 3 a層)……………	159
第64図	捨て場出土土器 (17) (南部捨て場 2 b層)……………	137			
第65図	捨て場出土土器 (18) (南部捨て場 2 b層)……………	138			

第129図	捨て場出土土器 (82) (南部捨て場 3 d 層)……………	202	第150図	捨て場出土土器 (103) (南部捨て場 3 e 層)……………	223
第130図	捨て場出土土器 (83) (南部捨て場 3 d 層)……………	203	第151図	捨て場出土土器 (104) (南部捨て場 3 e 層)……………	224
第131図	捨て場出土土器 (84) (南部捨て場 3 d 層)……………	204	第152図	捨て場出土土器 (105) (南部捨て場 3 e 層)……………	225
第132図	捨て場出土土器 (85) (南部捨て場 3 d 層)……………	205	第153図	捨て場出土土器 (106) (南部捨て場 3 e 層)……………	226
第133図	捨て場出土土器 (86) (南部捨て場 3 d 層)……………	206	第154図	捨て場出土土器 (107) (南部捨て場 3 e 層)……………	227
第134図	捨て場出土土器 (87) (南部捨て場 3 d 層)……………	207	第155図	捨て場出土土器 (108) (南部捨て場 3 e 層)……………	228
第135図	捨て場出土土器 (88) (南部捨て場 3 d 層)……………	208	第156図	捨て場出土土器 (109) (南部捨て場 3 e 層)……………	229
第136図	捨て場出土土器 (89) (南部捨て場 3 d 層)……………	209	第157図	捨て場出土土器 (110) (南部捨て場 3 e 層)……………	230
第137図	捨て場出土土器 (90) (南部捨て場 3 d 層)……………	210	第158図	捨て場出土土器 (111) (南部捨て場 3 e 層)……………	231
第138図	捨て場出土土器 (91) (南部捨て場 3 d 層)……………	211	第159図	捨て場出土土器 (112) (南部捨て場 3 e 層)……………	232
第139図	捨て場出土土器 (92) (南部捨て場 3 d 層)……………	212	第160図	捨て場出土土器 (113) (南部捨て場 3 e 層)……………	233
第140図	捨て場出土土器 (93) (南部捨て場 3 d 層)……………	213	第161図	捨て場出土土器 (114) (南部捨て場 3 e 層)……………	234
第141図	捨て場出土土器 (94) (南部捨て場 3 d 層)……………	214	第162図	捨て場出土土器 (115) (南部捨て場 3 e・4 層)……………	235
第142図	捨て場出土土器 (95) (南部捨て場 3 e 層)……………	215	第163図	遺構外出土土器 (1) (Ⅱ層)……………	236
第143図	捨て場出土土器 (96) (南部捨て場 3 e 層)……………	216	第164図	遺構外出土土器 (2) (Ⅱ・Ⅲ a 層)……………	237
第144図	捨て場出土土器 (97) (南部捨て場 3 e 層)……………	217	第165図	遺構外出土土器 (3) (Ⅲ a 層)……………	238
第145図	捨て場出土土器 (98) (南部捨て場 3 e 層)……………	218	第166図	遺構外出土土器 (4) (Ⅲ a 層)……………	239
第146図	捨て場出土土器 (99) (南部捨て場 3 e 層)……………	219	第167図	遺構外出土土器 (5) (Ⅲ a 層)……………	240
第147図	捨て場出土土器 (100) (南部捨て場 3 e 層)……………	220	第168図	遺構外出土土器 (6) (Ⅲ a・Ⅲ b 層)……………	241
第148図	捨て場出土土器 (101) (南部捨て場 3 e 層)……………	221	第169図	遺構外出土土器 (7) (Ⅲ b 層)……………	242
第149図	捨て場出土土器 (102) (南部捨て場 3 e 層)……………	222	第170図	遺構外出土土器 (8) (Ⅲ b・Ⅲ b 1・Ⅲ b 2 層)……………	243
			第171図	遺構外出土土器 (9) (Ⅲ b 2 層、擬口縁資料)……………	244
			第172図	遺構内・遺構外・表土 出土石器 (1)……………	245
			第173図	遺構内・遺構外・表土 出土石器 (2)……………	246

第174図	遺構内・遺構外出土石器 (3)……………	247	第214図	出土礫石器 (4)……………	287
第175図	南部捨て場出土石器 (1)……………	248	第215図	出土礫石器 (5)……………	288
第176図	南部捨て場出土石器 (2)……………	249	第216図	出土礫石器 (6)……………	289
第177図	南部捨て場出土石器 (3)……………	250	第217図	出土礫石器 (7)……………	290
第178図	南部捨て場出土石器 (4)……………	251	第218図	出土礫石器 (8)……………	291
第179図	南部捨て場出土石器 (5)……………	252	第219図	出土礫石器 (9)……………	292
第180図	南部捨て場出土石器 (6)……………	253	第220図	出土礫石器 (10)……………	293
第181図	南部捨て場出土石器 (7)……………	254	第221図	出土礫石器 (11)……………	294
第182図	南部捨て場出土石器 (8)……………	255	第222図	出土礫石器 (12)……………	295
第183図	南部捨て場出土石器 (9)……………	256	第223図	出土礫石器 (13)……………	296
第184図	南部捨て場出土石器 (10)……………	257	第224図	出土石製品……………	297
第185図	南部捨て場出土石器 (11)……………	258	第225図	出土土製品……………	298
第186図	南部捨て場出土石器 (12)……………	259	第226図	出土鉄製品・古銭……………	298
第187図	南部捨て場出土石器 (13) (6をのぞく)……………	260	第227図	和野 I 遺跡基本層序……………	471
第188図	南部捨て場出土石器 (14)……………	261	第228図	黒曜石原産地判別図 (1)・(2)……………	479・480
第189図	南部捨て場出土石器 (15)……………	262	第229図	土器の組列・口唇部形態・突起形態 (トーンは文様帯)……………	486
第190図	南部捨て場出土石器 (16)……………	263	第230図	石匙の使用痕 (1)……………	497
第191図	南部捨て場出土石器 (17)……………	264	第231図	石匙の使用痕 (2)……………	498
第192図	遺構外・南部捨て場出土 スクレイパー (1)……………	265	第232図	石匙の使用痕 (3)……………	499
第193図	南部捨て場出土スクレイパー (2)……………	266	第233図	石匙の使用痕 (4)……………	500
第194図	南部捨て場出土スクレイパー (3)……………	267	第234図	石匙の使用痕 (5)……………	501
第195図	南部捨て場出土スクレイパー (4)……………	268	第235図	石匙の使用痕 (6)……………	502
第196図	南部捨て場出土スクレイパー (5)……………	269	第236図	使用痕が認められた石斧 (図中番号は写真と対応する、 トーンは着柄痕の分布範囲)……………	504
第197図	南部捨て場出土スクレイパー (6)……………	270	第237図	石斧の顕微鏡写真 (1～4・6・7： 200×、5・7：500×)……………	505
第198図	南部捨て場出土スクレイパー (7)……………	271			
第199図	南部捨て場出土スクレイパー (8)……………	272			
第200図	南部捨て場出土スクレイパー (9)……………	273			
第201図	出土石核 (1)……………	274			
第202図	出土石核 (2)……………	275			
第203図	出土石核 (3)……………	276			
第204図	出土石核 (4)……………	277			
第205図	出土石核 (5)……………	278			
第206図	出土石核 (6)……………	279			
第207図	出土石核 (7)……………	280			
第208図	出土石斧 (1)……………	281			
第209図	出土石斧 (2)……………	282			
第210図	出土石斧 (3)……………	283			
第211図	出土礫石器 (1)……………	284			
第212図	出土礫石器 (2)……………	285			
第213図	出土礫石器 (3)……………	286			

[表目次]

第1表	周辺の遺跡(1)・(2)……………	5・6	第16表	出土コハク片一覧表……………	451
第2表	竪穴住居跡・掘立柱建物跡一覧表……………	51	第17表	石製品属性表……………	451
第3表	土坑一覧表(1)・(2)……………	82・83	第18表	土製品属性表……………	452
第4表	焼土・炭化物集中区一覧表……………	87	第19表	鉄製品属性表……………	452
第5表	捨て場分布範囲一覧表……………	94	第20表	古銭属性表……………	452
第6表	竪穴住居跡出土土器属性表 (1)～(12)……………	299～310	第21表	住居出土土器集計表……………	453
第7表	土坑出土土器属性表 (1)～(3)……………	311～313	第22表	土坑出土土器集計表……………	454
第8表	焼土・炭化物集中区出土土器 属性表(1)・(2)……………	314・315	第23表	焼土・炭化物集中区出土土器 集計表……………	455
第9表	集石遺構・埋設土器出土土器 属性表……………	316	第24表	集石遺構出土土器集計表……………	455
第10表	北部捨て場出土土器属性表……………	316	第25表	北部捨て場出土土器集計表……………	455
第11表	南部捨て場出土土器属性表 (1)～(65)……………	317～381	第26表	南部捨て場出土土器集計表……………	455
第12表	遺構外出土土器属性表 (1)～(7)……………	382～388	第27表	遺構外出土土器集計表……………	456
第13表	擬口縁破片属性表……………	389	第28表	出土石器総数集計表……………	456
第14表	土器収納袋一覧表 (1)～(24)……………	390～413	第29表	遺構出土石器集計表……………	457
第15表	石器属性表 (1)～(37)……………	414～450	第30表	北部・南部捨て場出土石器集計表……………	458
			第31表	遺構外出土石器集計表……………	458
			第32表	出土植物遺体一覧表……………	468
			第33表	和野I遺跡における 屈折率測定結果……………	472
			第34表	和野I遺跡における火山ガラスの 主成分科学組成分析結果……………	472
			第35表	和野I遺跡出土黒曜石産地組成……………	478

[写真目次]

写真1	出土動物遺体……………	464	写真2	出土植物遺体……………	469
-----	-------------	-----	-----	-------------	-----

第1章 調査の概要と方法

第1節 調査に至る経緯

和野 I 遺跡は、特定環境保全公共下水道（過疎代行）事業の実施に伴い、その事業区域内に存在することから発掘調査を実施することになったものである。

本事業は、生活水準の向上により、生活雑排水・産業排水の増加にともない、村内を流れる河川の水質悪化が認められ、ひいては河口付近一帯の陸中海岸国立公園および世界でも有数の三陸漁場の水環境悪化につながるおそれも十分考えられることから、安全で快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るため整備するもので、平成11年度より執行中である。

本地区は、岩手県教育委員会がすでに和野 I 遺跡として確認しているため、岩手県教育委員会は宮古地方振興局岩泉土木事務所と協議を行い、発掘調査を財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業とすることとした。

[岩手県宮古地方振興局岩泉土木事務所]

第2節 遺跡の位置と環境

1. 地形と気候

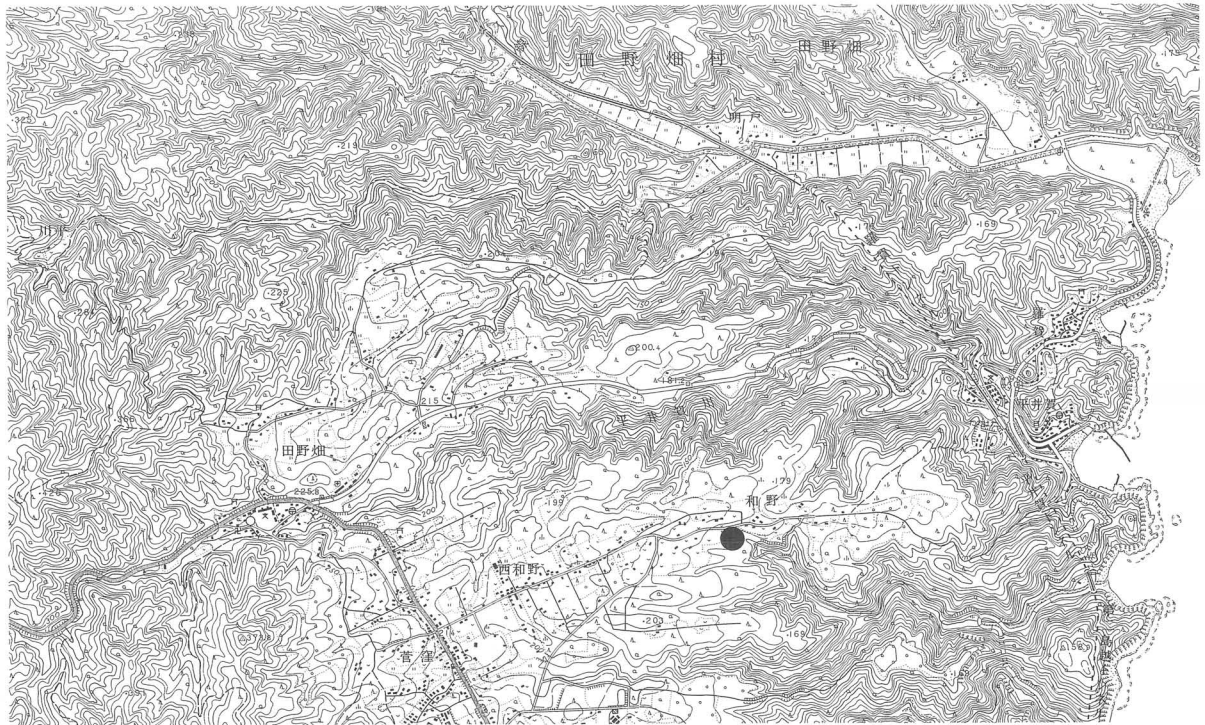
(1) 遺跡周辺の地形

リアス式海岸が発達する三陸海岸中・南部とは対照的に、宮古市よりも北の海岸線は比較的平滑で、固結した岩石からなる高い海食崖が連なっている。宮古以南のリアス式海岸が第三紀末～第四紀初頭ころの大沈降によって生じたのに対して、沿岸北部の段丘は第四紀における海食と隆起によって形成されたものである。この地域の河川は浸食力の弱いものばかりで、海岸崖に小規模な沢や滝を作って海に流入しているものが多い。標高100～300mには、最終間氷期よりも古い段階の海進によって形成された広い海成段丘面（高位段丘面）が分布している。最終間氷期に形成された中段段丘面は標高30～50mに分布しているものの幅がきわめて狭く、遺跡が多く分布する高位段丘面とくらべると完新世における人類生活の舞台となった痕跡は少ない。

和野 I 遺跡は、高位段丘面の縁辺部に位置している。海岸との直線距離は約2 km、標高は約180mである。遺跡の範囲は現在の村道の両脇にそって非常に長い範囲が括られているが、今回の調査範囲はその東端部にあたり、和野地区から平井賀と島越のあいだの海に流れ出ている竹平沢の頂部付近の平坦面に位置している。

(2) 気候

シベリア大陸は、春から夏にかけて急速に温度が上昇する。これに対して、オホーツク海では融氷に日射エネルギーが費やされるためあまり暖まらず、両者の気温差によってオホーツク海上にはオホーツク海高気圧が生じる。上暖下冷の安定した成層状態のなかで下層雲が発達し、日照が遮られることで放射冷却が効率的に行われオホーツク海に冷気がたまる。千島列島や北海道釧路・根室地方の夏期の天候が冷気と濃霧に特徴づけられるのと同様に、三陸沿岸北部にもオホーツク海高気圧によって寒気がヤマセとして時計回り方向で送り込まれてくる。岩手県沿岸北部では、このほかにも沿岸水温が低い夏季前半に日中の海風によって気温が急速に低下する「晴れヤマセ」もあり、発生のメカニズムは異なるものの、この地方をたびたび襲って



第2図 和野I遺跡の立地（国土交通省国土地理院発行二万五千分の一地形図「田野畑」を使用）

きた冷害をもたらす複数の要因が存在している。

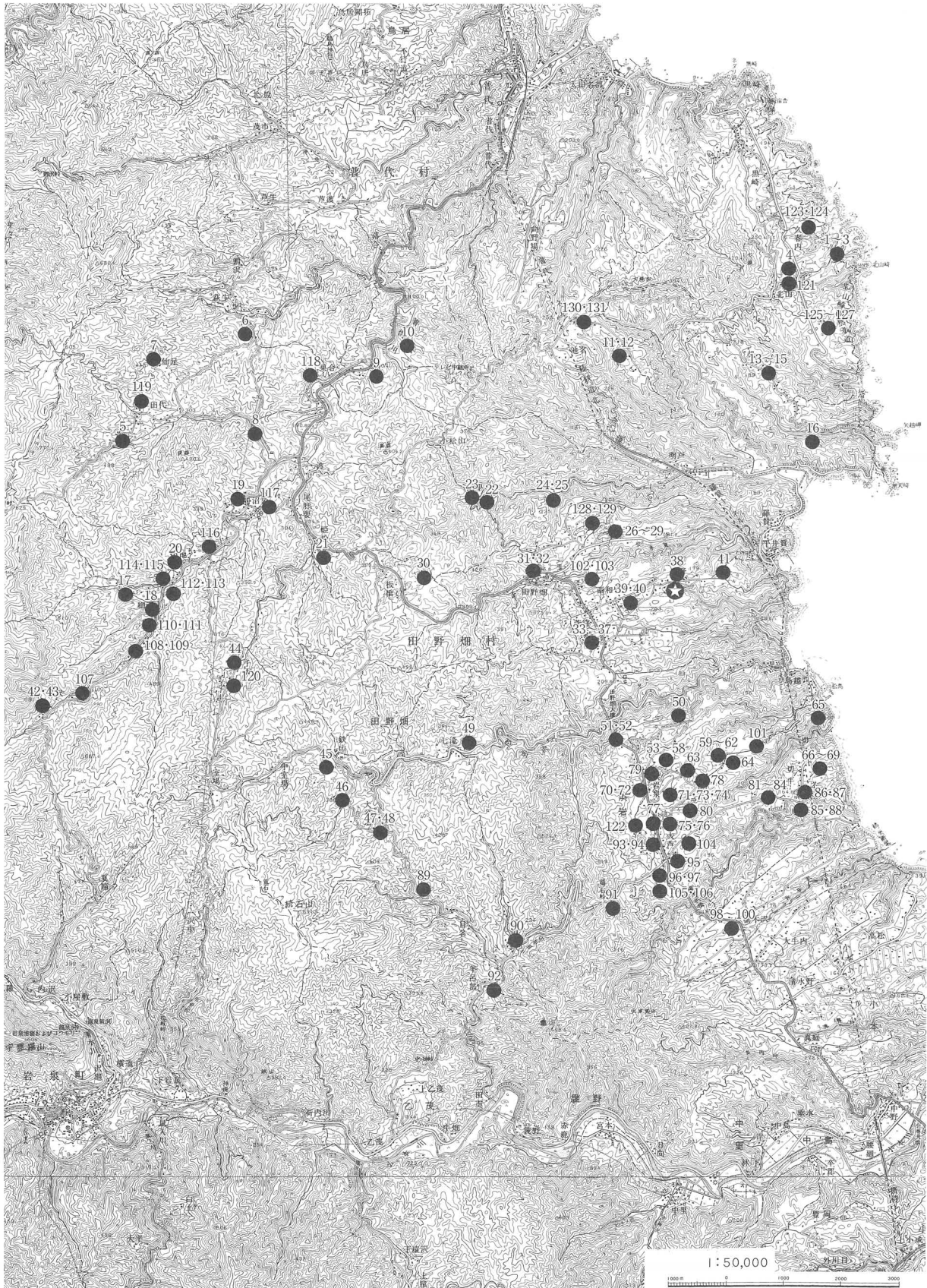
北緯40°にちかい田野畑・普代付近では、冬季は最深積雪深が100cmを越すところが多い。この地域の降雪は、冬季季節風ではなく、オホーツク海の高気圧が低気圧をブロックして湿潤な東風を送り込むことによって生じており、ヤマセの変種とも考えられる。『平成14年度版 岩手県統計年鑑』によれば、平成13年7～10月における小本（岩泉町）の月平均気温は17.7℃、月平均日照時間は119.8時間、月平均降水量は191mmであった。平成10～12年度の平均値はそれぞれ18.9℃、132.8時間、230mmである。調査を行った平成13年にとくに降水量が多かったというわけではないが、気温は低く日照時間は少なかったことが判る。年間を通して好天に恵まれることが少なく冷涼多雨の気候と特徴づけられる本地域での発掘調査においては、作業可能日数（72日）のうち半分以上で降雨にみまわれ、作業の進行は天候に大きな影響を受けた。

[高瀬克範]

第3節 周辺の遺跡

平成12年4月段階において、田野畑村内では約100カ所の遺跡が確認されていた。しかし、昭和38年の分布調査以来、本格的かつ総合的な調査はほとんど行われてこなかったことから、田野畑村教育委員会では平成12年度から4カ年計画で村内の埋蔵文化財一般調査をすすめることとなった。調査は現在も継続しているが、平成12年度終了時点で131カ所の遺跡が確認されている。村内全域でみると遺跡の多くは、南西部の高位段丘面上で確認されており、逆に西部および北部は希薄である。このような状況は本来的な遺構の分布というより、これまでの分布調査の有無や土地利用の結果による部分が大きいと考えられる。

遺跡のなかでは、縄文時代の遺跡が最も多く、時期が特定できるものでは早期9カ所、前期19カ所、中期



第3図 周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡(1)

地図番号	遺跡コード	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物
1	KG03-1346	久春内Ⅰ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(前・中・後・晩期)、弥生土器、石斧、石匙、石鏃
2	KG03-1346	久春内Ⅱ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(前期)、弥生土器、土師器
3	KG03-1346	久春内Ⅲ	集落跡	縄文・弥生	縄文土器(中期以降)、弥生土器
4	KG03-2217	山王沢	散布地	縄文	縄文土器
5	KG10-2322	田代タテ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(前・中・後・晩期)、縄文石器(早期)、三角型磨石
6	KG11-0125	萩牛Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)
7	KG11-1091	千足	散布地	縄文・近世	縄文土器(前・後期)、石斧、擦切磨製石斧
8	KG11-1089	田代大平	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)
9	KG11-1317	巢合	散布地	縄文・弥生	縄文土器(中・後・晩期)、弥生土器、石皿
10	KG12-0051	巢合エゾ館	城館跡	中世	主郭、三段腰部、二重空堀
11	KG13-0050	池名Ⅰ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(前・中・晩期)、弥生土器
12	KG13-0050	池名Ⅱ	散布地	弥生	弥生土器
13	KG13-1229	杵Ⅰ	集落跡	縄文	縄文土器(早・前・中・後・晩期)、石斧、石匙、人面付き石製品
14	KG13-1229	杵Ⅱ	散布地	弥生	縄文土器、弥生土器(中期以降)
15	KG13-1229	杵Ⅲ	散布地	縄文・古代	縄文土器(中～後期)、土師器
16	KG13-2313	明戸	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)
17	KG20-1389	子木地の台	集落跡	縄文・古代	縄文土器(後・晩期)、竪穴住居(古代)、金交具
18	KG20-2329	蝦夷森チャシ	散布地・城館跡	縄文・中世	堀切2条
19	KG21-0124	坂の下	集落跡	縄文・弥生	縄文土器(中・後・晩期)、弥生土器
20	KG21-1022	甲地大森	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)
21	KG31-1229	尾肝要	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)
22	KG21-0126	川平	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)
23	KG22-0238	田野畑チャシ	城館跡	中世	狐面石
24	KG22-0238	田野畑Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器(中・後・晩期)
25	KG22-0238	田野畑Ⅱ	散布地	弥生	
26	KG22-0349	羅賀Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器(早・前・中・後期)、後期耳飾
27	KG22-0349	羅賀Ⅱ	散布地	弥生	弥生土器
28	KG22-0349	羅賀Ⅲ	散布地	古代	土師器
29	KG22-0349	羅賀Ⅳ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(後期)、弥生土器、須恵器
30	KG22-1056	板橋	散布地	縄文	縄文土器(中・後・晩期)、弥生土器、石斧
31	KG22-1243	平波沢Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器(前・中・後・晩期)
32	KG22-1243	平波沢Ⅱ	散布地	弥生	弥生土器
33	KG22-1243	菅窪窯跡	窯跡	縄文	縄文土器(後期)、炭層、焼土
34	KG22-1243	菅窪Ⅰ	集落跡	縄文	縄文土器(晩期)、石匙、石斧、石鏃
35	KG22-1243	菅窪Ⅱ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(中期以降)
36	KG22-1243	菅窪Ⅲ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(後期)、弥生土器、土師器
37	KG22-1243	菅窪Ⅳ	散布地	縄文・古代	縄文土器(後・晩期)、須恵器
38	KG23-1047	和野Ⅰ	集落跡	縄文	縄文土器(早・前・中・後・晩期)
39	KG23-1092	西和野Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器(早・前・中・後・晩期)、石斧、石匙、石鏃
40	KG23-1092	西和野Ⅱ	散布地	縄文・弥生	縄文土器(中期以降)、弥生土器
41	KG23-1129	和野Ⅱ	集落跡	弥生・古代	弥生土器、土師器
42	KG30-0188	三沢蝦夷館	城館跡	中世	
43	KG30-0199	三沢	散布地	縄文・近世	縄文土器(中・後・晩期)、近世磁器、寛永通宝
44	KG31-0121	千丈熊平	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)、石斧
45	KG31-1391	鉄山	散布地	縄文	縄文土器(後・晩期)
46	KG31-2353	寺地	散布地	縄文	縄文土器(中・後・晩期)
47	KG31-2395	大谷地Ⅱ	散布地	縄文?	縄文土器
48	KG31-2399	大谷地	散布地	弥生	弥生土器
49	KG32-1144	七滝Ⅻ	散布地	縄文	縄文土器(中・後・晩期)、石棒
50	KG33-0099	島越Ⅻ	散布地	縄文	縄文土器
51	KG33-1021	浜岩泉Ⅶ	散布地	縄文	縄文土器
52	KG33-1030	浜岩泉Ⅵ	散布地	縄文	縄文土器
53	KG33-1033	島越Ⅺ	散布地	縄文	縄文土器
54	KG33-1038	島越Ⅹ	散布地	縄文	縄文土器
55	KG33-1055	島越Ⅸ	散布地	縄文	縄文土器
56	KG33-1077	島越Ⅷ	散布地	縄文	縄文土器
57	KG33-1089	島越Ⅶ	散布地	縄文	縄文土器
58	KG33-1095	島越Ⅵ	散布地	縄文	縄文土器
59	KG33-1139	館石野Ⅰ	集落跡	縄文	縄文土器(前・中・後・晩期)、列石遺構、竪穴住居、石斧、石匙
60	KG33-1157	館石野Ⅳ	散布地	縄文	縄文土器
61	KG33-1177	館石野Ⅴ	散布地	縄文	縄文土器
62	KG33-1187	館石野Ⅵ	散布地	縄文	縄文土器
63	KG33-1191	島越Ⅴ	集落跡	縄文	縄文土器
64	KG33-1260	館石野Ⅱ	散布地	縄文	石器
65	KG33-1263	クヅノ崎	散布地	縄文	縄文土器
66	KG33-1273	切牛Ⅵ	散布地		

第1表 周辺の遺跡(2)

地図番号	遺跡コード	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物
67	KG33-1376	切牛V	散布地		
68	KG33-1392	切牛IV	散布地		
69	KG33-1395	切牛III	散布地	縄文	
70	KG33-2003	浜岩泉V	散布地	縄文	縄文土器
71	KG33-2018	鳥越III	集落跡	縄文	縄文土器、石器
72	KG33-2044	浜岩泉IV	散布地	縄文	縄文土器
73	KG33-2047	鳥越II	散布地	縄文・弥生	縄文土器(中・後・晩)、弥生土器、石鏃
74	KG33-2049	鳥越I	散布地	縄文	縄文土器
75	KG33-2069	大芦I	集落跡	縄文	縄文土器(前・中期)、竪穴住居、竪穴状遺構、石鏃、石槍
76	KG33-2078	大芦II	散布地		
77	KG33-2096	浜岩泉III	集落跡	縄文	縄文土器
78	KG33-2102	鳥越VI	散布地	縄文	縄文土器
79	KG33-2110	鳥越IV	散布地	縄文	縄文土器
80	KG33-2141	大芦III	集落跡	縄文	縄文土器
81	KG33-2223	大芦V	散布地	縄文	縄文土器
82	KG33-2226	大芦VII	散布地	縄文	縄文土器
83	KG33-2225	大芦VI	散布地	縄文	縄文土器、石斧
84	KG33-2241	大芦IV	散布地	縄文	縄文土器
85	KG33-2248	真木沢II	散布地	縄文	縄文土器、石器
86	KG33-2303	切牛II	集落跡	縄文・古代	縄文土器(早・前・後・晩期)、住居跡(後期)、石斧、土師器
87	KG33-2320	切牛I	散布地		
88	KG33-2332	真木沢I	散布地	縄文・弥生・古代	縄文土器(早・前・中・後・晩期)、弥生土器(後期)、土師器
89	KG42-1006	目名館	城館跡	中世	平場、空堀
90	KG42-1291	猿山	散布地	古代	土師器
91	KG42-1319	大芦館	散布地・城館跡	縄文・弥生・中世	縄文土器(早・前・中期)、弥生土器、腰郭、帯郭
92	KG42-2179	年呂部	散布地		
93	KG43-0016	浜岩泉II	集落跡	縄文	縄文土器(後・晩期)、遮光器土偶
94	KG43-0036	浜岩泉I	散布地	縄文	縄文土器(中期)、竪穴住居、住居状遺構、土坑、アスファルト塊
95	KG43-0039	真木沢III	散布地	縄文	縄文土器
96	KG43-0057	南大芦I	散布地	縄文	縄文土器
97	KG43-0066	南大芦II	散布地		
98	KG43-1145	真木沢V	集落跡	縄文	縄文土器
99	KG43-1147	真木沢IV	散布地	縄文・弥生	縄文土器(早・前・後・晩期)、弥生土器、土師器、石斧、石匙
100	KG43-1270	真木沢VI	散布地	縄文	縄文土器(中期)、石籠
101	KG33-1233	大芦野場	散布地	縄文	縄文土器、ピエスエスキュ
102	KG22-1355	和野ソマナイ	散布地	縄文	縄文土器
103	KG22-1262	和野新築神社台	集落跡	縄文	縄文土器(中・後期)、石器
104	KG33-2191	大芦赤空洞	土坑群	縄文・弥生	縄文土器(晩期)、弥生土器、配石を伴う土坑群、竪穴状遺構
105	KG43-0085	南大芦III	集落跡	縄文	縄文土器(早期)、竪穴住居、土坑
106		南大芦IV	散布地	縄文	縄文土器(中～後期)
107	KG30-0257	下三沢	散布地	縄文	縄文土器
108	KG20-2394	細沢日向橋北	散布地	縄文	縄文土器(前・後～晩期)、石器
109	KG20-2387	細沢日向	散布地	縄文	縄文土器(前・後期)
110	KG21-2020	細沢向	散布地	縄文	縄文土器
111	KG202316	細沢	散布地	縄文	縄文土器
112	KG21-1081	子木屋敷南	散布地	縄文	縄文土器
113	KG21-1036	子木屋敷	散布地	近世	磁器、陶器、鉄滓
114	KG21-1033	蝦夷森	散布地・産業遺跡	縄文・近世	縄文土器、磁器、陶器、鉄滓
115	KG21-1042	蝦夷森甲地	散布地・集落跡	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器、陶器、
116	KG21-0099	子木地	散布地	縄文	縄文土器、磨石、剥片石器
117	KG21-0127	沼袋	散布地	縄文	縄文土器
118	KG11-0297	オヤッキ沢	散布地	縄文	打製石斧
119	KG10-1378	田沢イクアエ沢	散布地	縄文・近世	縄文土器、打製石斧、剥片石器、鉄滓
120	KG31-0161	千丈	散布地	縄文	縄文土器
121	KG03-2265	北山	散布地	縄文	縄文土器
122	KG03-2063	浜岩泉フケノ沢	散布地	縄文	縄文土器、石器
123	KG03-1321	北山オツケI	散布地	縄文・弥生	縄文土器(前期)、弥生土器?
124	KG03-1340	北山オツケII	散布地	縄文	縄文土器(前期)、剥片石器
125	KG03-2387	北山II	散布地	縄文	縄文土器(後～晩期)、石鏃、剥片石器
126	KG13-0316	北山III	散布地	縄文	縄文土器(中期以降)
127	KG13-0336	北山IV	散布地	縄文	縄文土器、剥片石器、磨石
128	KG22-0325	田野畑新田I	散布地	縄文	縄文土器(後期?)
129	KG22-0344	田野畑新田II	散布地	縄文	縄文土器
130	KG02-2392	池名III	集落跡	縄文	縄文土器
131	KG012-0315	池名IV	散布地	縄文	縄文土器、剥片石器

23カ所、後期38カ所、晩期33カ所と後・晩期に増加傾向を示し、地域も海岸段丘上からさまざまな地形へ分布が拡大する傾向がみられる。おもな遺跡を概観すると、村の南西部の浜岩泉地区に遮光器土偶のほぼ完形品が出土した浜岩泉Ⅱ遺跡（田野畑村1985、金子昭彦1991）、岩手県埋蔵文化財センターが1996年に調査し、縄文時代中期の大規模集落であったことが確認された浜岩泉Ⅰ遺跡などがある。またその隣接地の島越地区には館石野Ⅰ遺跡がある。早稲田大学文学部考古学研究室によって1987年から1993年にかけて8次にわたる調査が行われ、縄文時代中期～後期にかけての遺跡であり、列石を伴う大規模な遺構であることが判明した。なお館石野Ⅰ遺跡は岩手県指定史跡となっており、現在も田野畑村によって継続調査が行われている。

今回の和野Ⅰ遺跡発掘調査においても確認された古代の遺跡は、村内に12遺跡存在するとされている。しかし、子木地の台遺跡（大澤1994）以外は表採された資料によるものであり、本調査は行われておらず詳細は不明なものが多い。

[赤石 登]

第4節 発掘調査と整理の方法

1. グリッド設定

発掘区全体を4mグリッドによって区分した（第4図）。グリッドの区分および方位は、平面直角国家座標第X系による座標に則っている。和野Ⅰ遺跡測量基準点設置をおこなった結果は以下の通りである。

点名	設定グリッド位置	座標X	座標Y	標高
基1	E-20	-7620.000	92932.000	179.740m
基2	L-5	-7560.000	92960.000	180.560m
補1	E-26	-7644.000	92932.000	177.690m
補2	L-26	-7644.000	92960.000	178.550m
補3	L-20	-7620.000	92960.000	178.980m
補4	L-12	-7588.000	92960.000	179.700m

なお、今回の発掘区の形態は、北側の細い進入路部分と南側の広い処理場部分にわかれている。本書では前者を便宜的に「北側調査区」、後者を「南側調査区」とよびわけることとする。

2. 調査の経過

今回の調査区は、20年ほど前まで全面が畑地であった。発掘前の調査区にはマツやクルミが生育していたが、これらの伐採は調査開始までにほぼ終了しており、調査開始直後は下草の除去および切り株周辺の清掃をおこなった。7月6日に調査器材を搬入し、試掘によって調査区内の土層堆積状況を把握するまでに1週間を要した。

試掘坑は、1×2mのものをJ-3、J-7、J-13、J-16、J-18、L-3、L-10、B-25、D-25区の8カ所に、1×1mのものをB-20、F-20、N-28区の3カ所に設定した。J-6およびJ-7区の旧道（後述）およびB-23、C-23、D-23、E-23、F-23区の旧沢地形には、1m幅でそれぞれ5mと15mのトレンチを東西方向に設定した。調査面積（2,479㎡）に対する試掘坑（39㎡）の比率は、1.6%である。J-21、J-22、J-23、N-21、N-22区には平成12年度に岩手県教育委員会文化課（当時）が行った試掘跡とみられる四角い坑が3カ所検出されたため、これを南側調査区東部の土層観察にもちいた。

表土除去は、7月16日より24日まで重機をもちいて行った。7月中に表土直下段階の検出作業を終え、8月より遺構の精査に入った。これと並行して南北調査区におけるそれぞれの沢跡の掘り下げを進め、竪穴住居・土坑は9月中に精査をほぼ終えた。9月最終週からは捨て場の発掘を本格的に開始した。10月29日までには野外調査を終了し、10月31日に撤収した。重機による調査区内の埋め戻しは、10月30日～11月1日までおこなった。この間、10月13日に現地説明会を開催し約60名が参加した。

3. 遺構の精査と遺物の取り上げ

遺構を検出してプランを確定したのち、埋土を大別層位ごとに除去した。遺構は平面と断面を記録し、検出・断面・完掘状態で写真撮影をおこなった。写真撮影には35mmモノクロ・リバーサルフィルムおよびデジタルカメラをもちいた。

遺物は、出土位置（グリッド・遺構）と層位を記録してとりあげた。遺構内の層位は大別層位にしたがっている。遺構内の一部の遺物を除いて、遺物のX・Y・Z座標の記録はおこなっていない。図示した資料については遺物の属性とともに出土位置・層位・重量を第6～13、15～20表に掲載した。図示しなかった土器については、遺物取り上げ時のビニール袋単位で出土位置・層位・重量を第14表に掲載してある。

4. 遺構内土壌の採取とフローテーション

本遺跡では、住居跡・焼土遺構の焼土・床面土壌をサンプリングし、フローテーションによって微細自然遺物の回収を行った。また、保存状況が比較的良好であった第1・4・7・9号竪穴住居跡においては、微細自然遺物の出土状況を焼土・床面と比較するため、埋土・貼床内の土壌も層位ごとにサンプリングした。南部捨て場についても、各層の土壌を15リットル程度サンプリングし、フローテーションを行った。

サンプル土壌は遺構精査時に38×25cmのビニール袋にとり、1遺構につき15～100袋ほどを現場プレハブに持ち帰った。土壌は一度袋から出して屋外で乾燥させたのち、10リットルのバケツ中で水洗した。炭化浮遊物を0.5mmメッシュのフルイで回収する作業を数回繰り返したのち、沈殿物を1.0mmメッシュのフルイで回収した。浮遊物は45×45cmのブロード布内で保管・乾燥したのち、肉眼あるいは3～5倍程度のルーペ下で自然遺物の1次選別をおこなった。

5. 整理の経過と方法

平成13年11月1日より遺物洗浄を開始し、平成14年2月中旬に洗浄作業を終えた。この間、遺構関係の図面・記載、石器の登録などを並行してすすめた。2月中旬から3月までは、凡例に示した基準によって掲載遺物の選択、注記作業をおこなった。土器の選択基準は、口縁部文様帯に文様が集中する点に配慮したうえで、なおかつこの土器群の全体像を把握し、型式論的・技術論的に定量的な分析に耐えうるかたちでの資料提示を目的として設定したものである。石器群については、すべてのトウール・不定形スクレイパー・石核を図示し、それ以外の剥片等についても全資料について基本的な属性表を提示し、同様の分析が初期的な段階までは行えるよう努力した。平成14年4月からは土器復元作業と遺物の実測・トレースおよび写真撮影を開始し、9月までに作業をおえた。その後、図版の作成と原稿執筆をおこない、平成15年10月に入稿した。

土器のうち、非掲載遺物は取り上げ時の袋に番号を付けて保管してある。掲載遺物には、取り上げ時の袋とその枝番号をもちいて、「1234-5」のような個体番号を付した。文様・胎土・焼成土器からみて明らかに同一個体であるが接合しない土器の場合は、「1234-5A」と「1234-5B」のように個体番号に大文字のアル

ファベットを付して区別した。石器、石製品、土製品、鉄製品などはそれぞれの個体番号を付した。

[高瀬克範]

第5節 微地形と基本層序

1. 発掘区の微地形

東側と南側が沢によって区切られた調査区は、南側調査区・北側調査区ともに北西端部の標高がもっとも高い。南側調査区の西部は比較的平坦な面が広く分布しているが、この部分は耕作土を除去するとすぐに地山が露出し、耕作による遺構へのダメージがもっとも大きい箇所のひとつである。この平坦面から北側調査区と南側調査区にある2カ所の沢跡地形に向かっては、しだいに標高が低くなっている。北側調査区では、東側の沢にむかう傾斜を利用して捨て場が形成されている。現地表面からの深さは、北側調査区の沢跡が約1.90m、南側調査区の沢跡が1.60mである。これらの沢跡は、ローム層や礫層（後述する基本層序V・VI層）を切っており、なおかつ縄文時代前期後葉～中期初頭の捨て場よりも古い層（Ⅲc・Ⅲd層）が埋土となっているため、完新世以降に形成され縄文前期後葉以前には埋没しはじめていた沢跡と考えられる。

北側調査区K-6、L-6区付近には深さ1.0mほどの溝があり、調査前までは暗渠が埋設され西側の畑地からの排水に供されていた。地主の方によれば、数十年ほど前までは南側調査区の北東側の平坦面に建てた家に住んでおり（第5図A）、その際、この溝は道として利用されていたという（第5図トーン部分）。当時は、発掘区の北側を東西に通っている村道はまだなく、この溝が海岸部の平井賀につながる道の一部でもあったらしい。溝は村道と平行して走っており、北側調査区の20mほど西側ですぐに現地表面と同じ高さとなりとぎれている（第5図B）。段丘の縁を囲うような様相は全く見られず、断面を見ても表土直下が地山のロームとなり（第8図）、中・近世以前に位置づける積極的な根拠を欠くことから発掘調査対象からは除外した。本書では、この溝を「旧道」と呼称する。

2. 基本層序

(1)土層の注記方法

- a. 色：『新版標準土色帳』（小山・竹原1967）にしたがった。
- b. 土性：肉眼での観察および自らの接触・掘削にもとづき、粗砂（2.0～0.2mm）、細砂（0.2mm）、砂質シルト、シルト、粘土（0.002mm以下）を目安として区分した。
- c. 粘性：強、やや強、中、やや弱、弱の5段階に区分した。
- d. しまり：強、やや強、中、やや弱、弱の5段階に区分した。
- e. 混入物など：土性がことなるブロック、炭化物・焼土粒・動物骨・礫などの混入物を記載した。混入物の大きさは、最大粒径をしめす。混入量は、「ごく微量」が2%以下、「微量」が5%以下、「少量」が10%以下、「やや多量」が25%以下、「多量」が50%以下である。混入土の視覚的な目安は土色帳を参考にした。また、混入物の起源が明確な場合には、その層名も記載した。

(2)層名の記載

- a. 基本層序：自然堆積層および耕作土は、ローマ数字で新しい方からⅠ、Ⅱ、Ⅲ…と命名した。
- b. 遺構：遺物捨て場をふくむ遺構埋土は、アラビア数字で新しい方から1、2、3…と命名した。

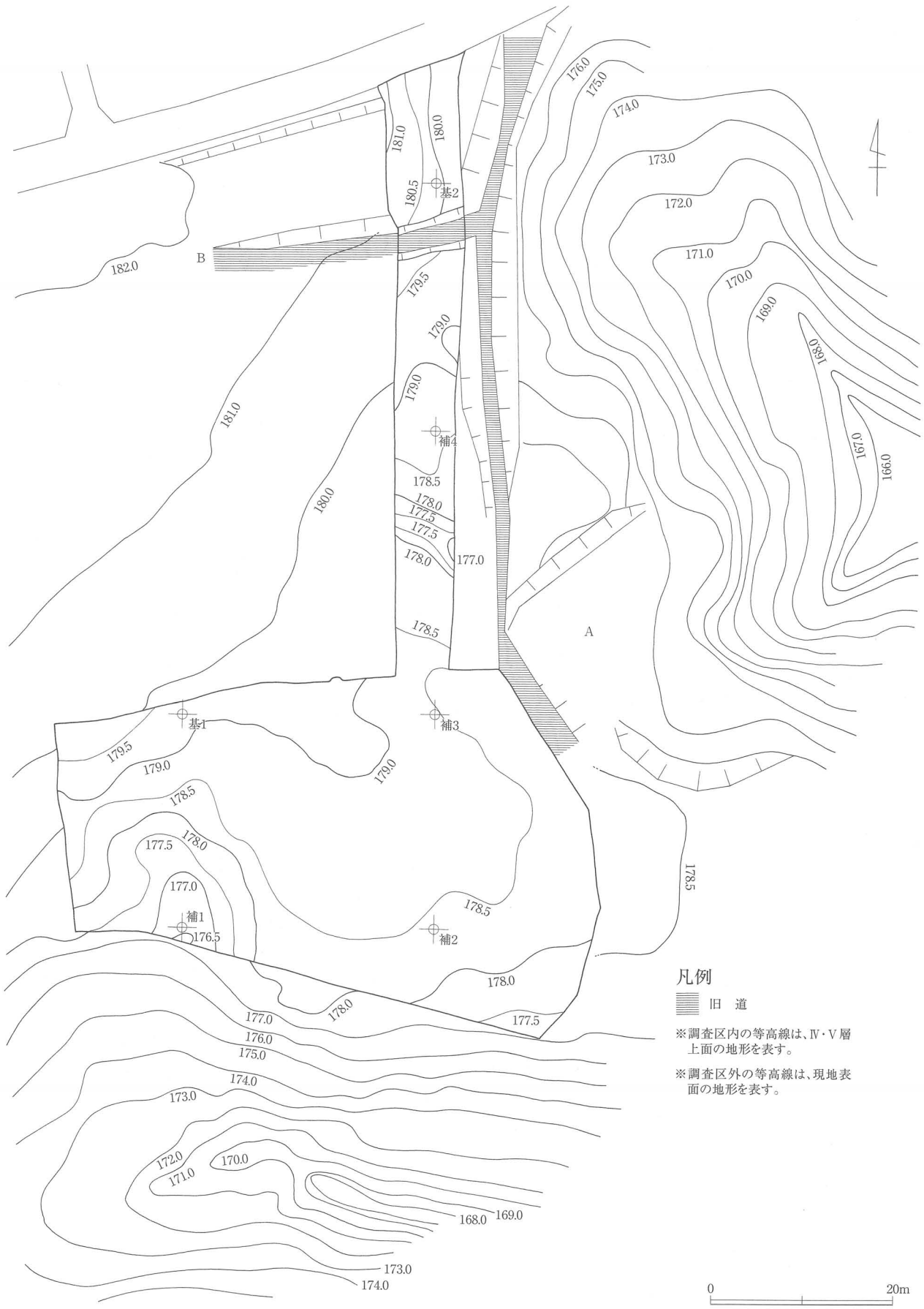
- c. 層位の細分の必要が生じた場合は、自然堆積・遺構埋土を問わず小文字のアルファベットを付記して I a・I b、3 a・3 b…のように記載した。さらに細分が可能な場合は、アラビア数字を用いて、III b 1、III b 2のように記載した。
- d. 竪穴住居跡のカマド・炉の堆積層は、大文字のアルファベットを用いて A、B…のように記載した。

(3)基本層序

本遺跡の基本層序は次のとおりである（第7図）。

- I層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 耕作土。北側調査区では、旧道構築時の堀上土（7.5YR5/4 にぶい褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径5cm程度のローム（基本層序V層起源）を多量に含む）や基本層序V層を削平して沢部を埋め立てた土もふくまれる。
- II a層：7.5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。I層による耕作以前の旧表土と考えられる。南側調査区の沢地形周辺に残存しており、その最深部では本層とより黒色がつよい層（7.5YR2/1 黒色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱）に細分できる（II b層）。出土遺物からII層は古代以降に堆積した層準と考えられる。
- III a層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。南側調査区西半部にみられる。縄文時代中期～古代にかけて堆積した層準と考えられる。
- III b層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。南側調査区西半部および北側調査区北半部でみられる。北側調査区北部および南側調査区北部においては火山灰をブロック状に含んでおり、屈折率測定および主成分化学組成分析（第3章第3節）の結果によれば、十和田中振火山灰（To-Cu）と考えられる。火山灰をある程度面的に把握することが可能な北側調査区北部の一部では、火山灰とその上位をIII b 1層、火山灰下位をIII b 2層として細分したうえで遺物の取り上げを行った。本層よりも上位の捨て場が縄文前期後葉～中期前葉であることから判断して、縄文時代前期後葉以前に堆積した層準と考えられる。
- III c層：5YR2/2 オリーブ黒色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。北側調査区の沢部最深部にのみみられ、流れこみの土器片が少数出土する。
- III d層：2.5YR3/3 暗オリーブ褐色 北側調査区の沢部最深部にのみみられ、流れこみの土器片が少数出土する。
- IV層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり強 V層上面がやや土壌化した漸移層。極めて少ないが遺物が出土する。
- V：7.5YR5/6 明褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまりやや強 ローム層。無遺物層。
- VI：7.5YR4/2 灰褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまり中 径5～10cm程度の粘板岩質の礫を多量に含む礫層。無遺物層。

[高瀬克範]



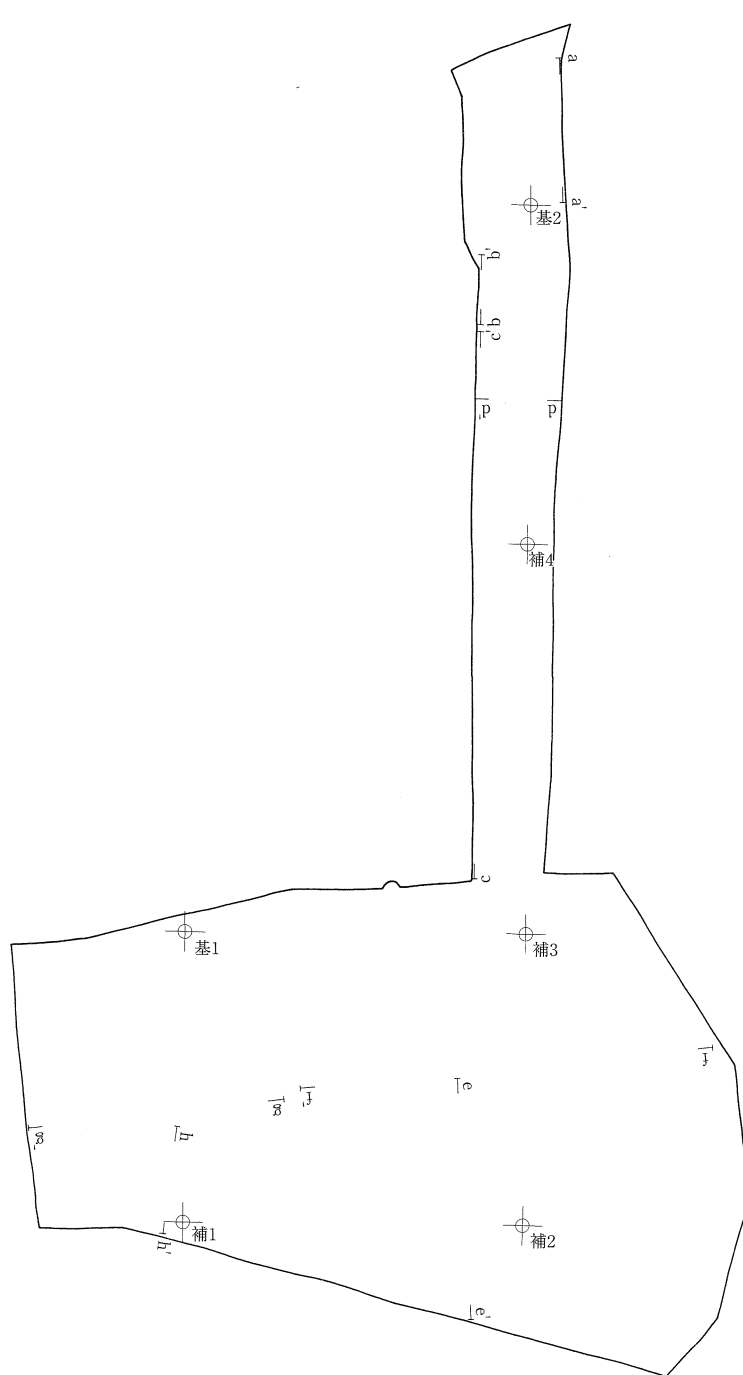
凡例

▨ 旧道

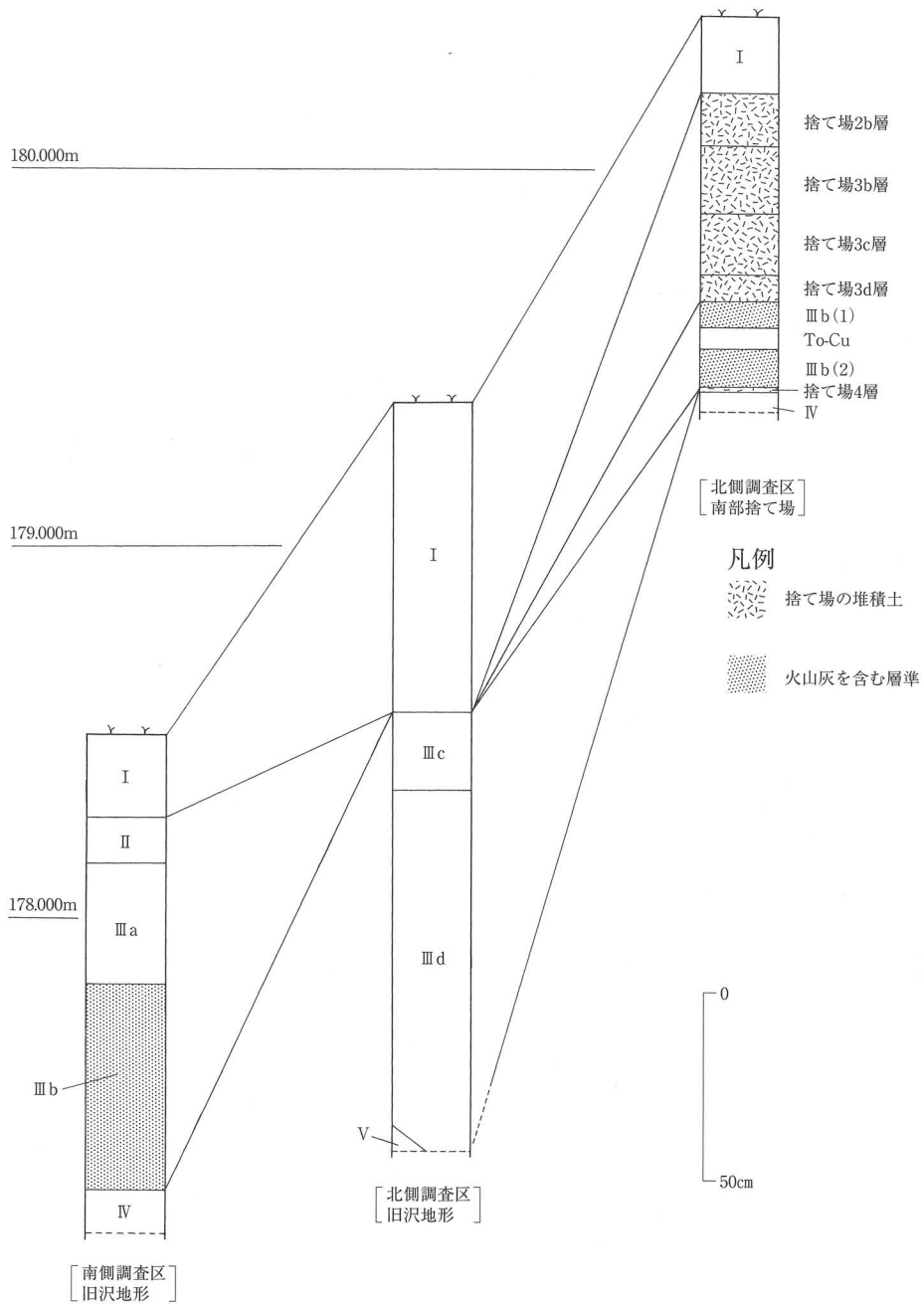
※調査区内の等高線は、IV・V層上面の地形を表す。

※調査区外の等高線は、現地表面の地形を表す。

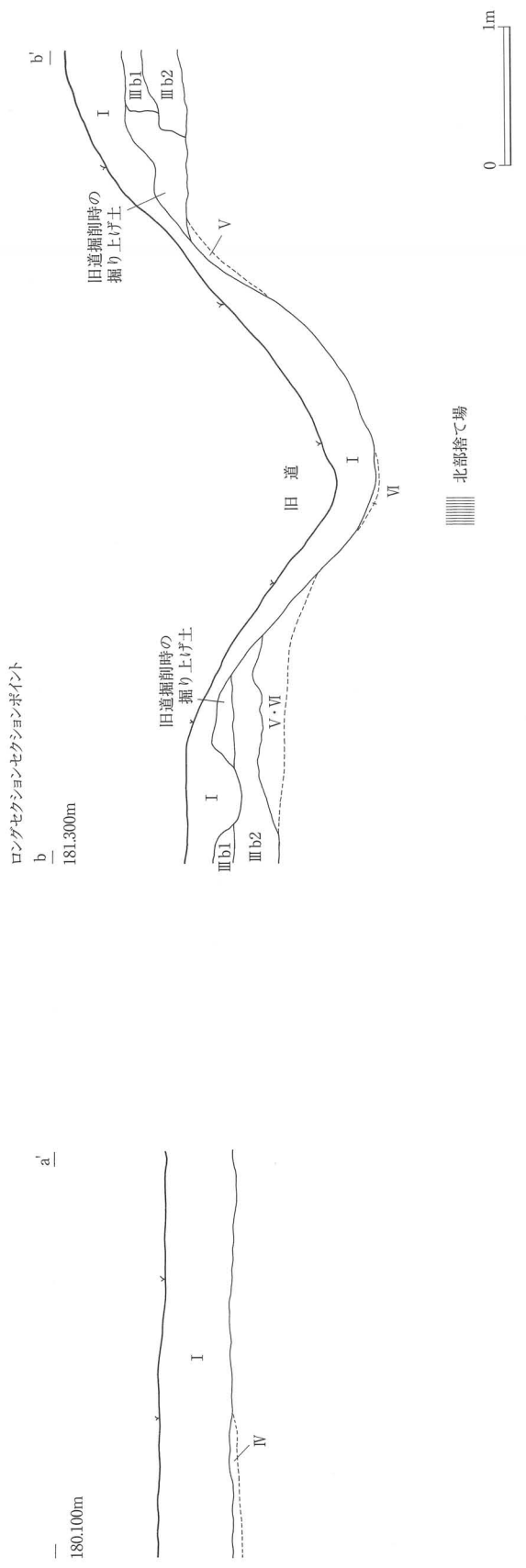
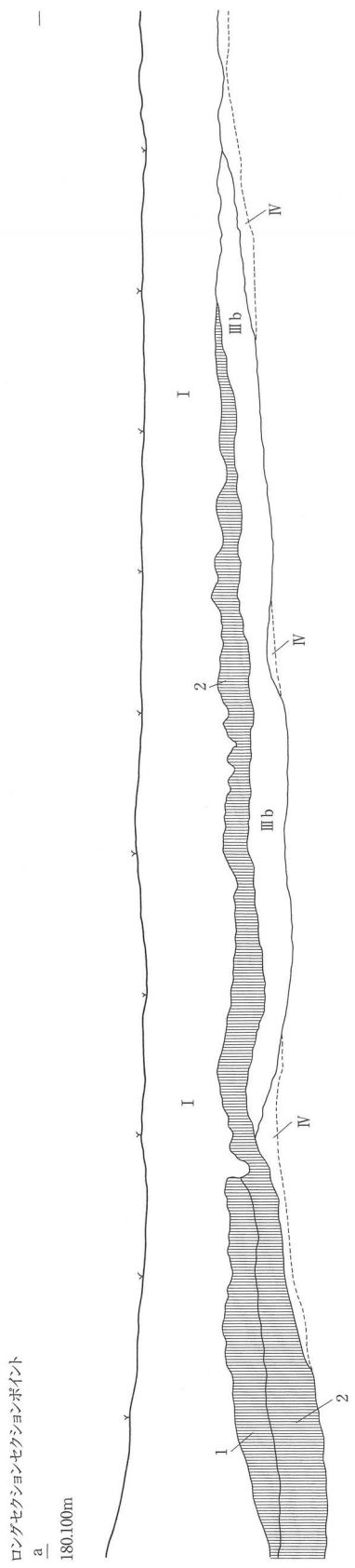
第5図 発掘区周辺の地形と発掘調査区内の標高



第6図 ロングセクションのポイント位置図



第7図 和野 I 遺跡の基本層序

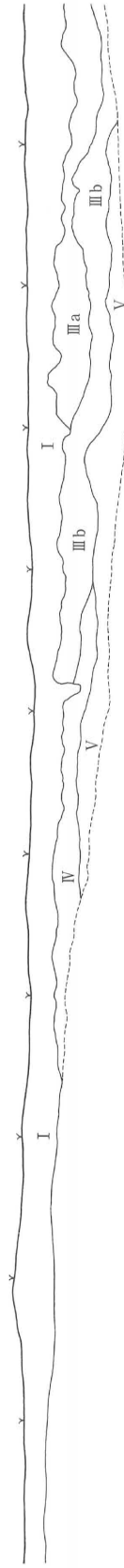


第8図 ロングセクションa-a'、b-b'

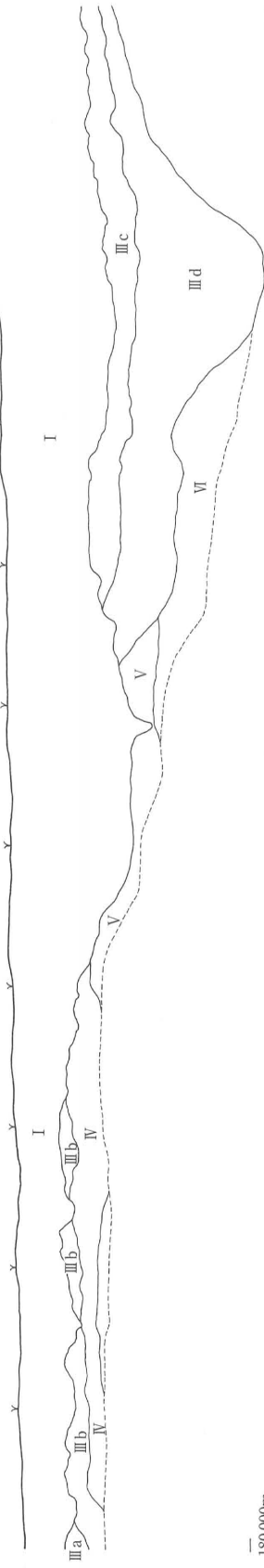
ロングセクションセクションポイント

C

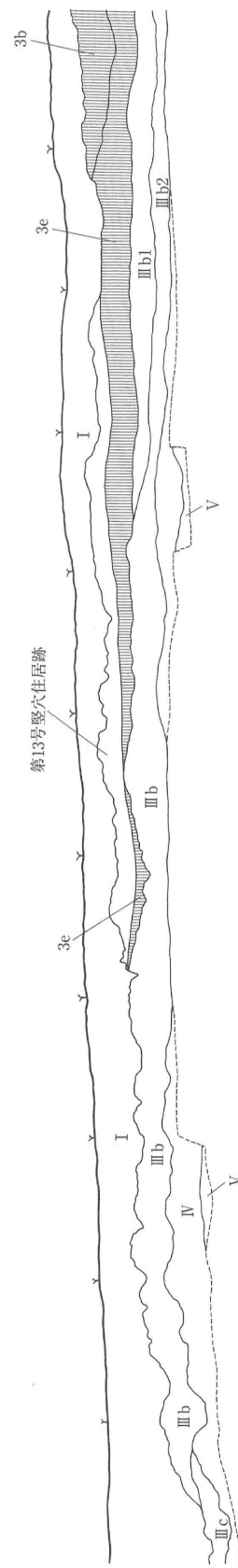
180,000m



180,000m

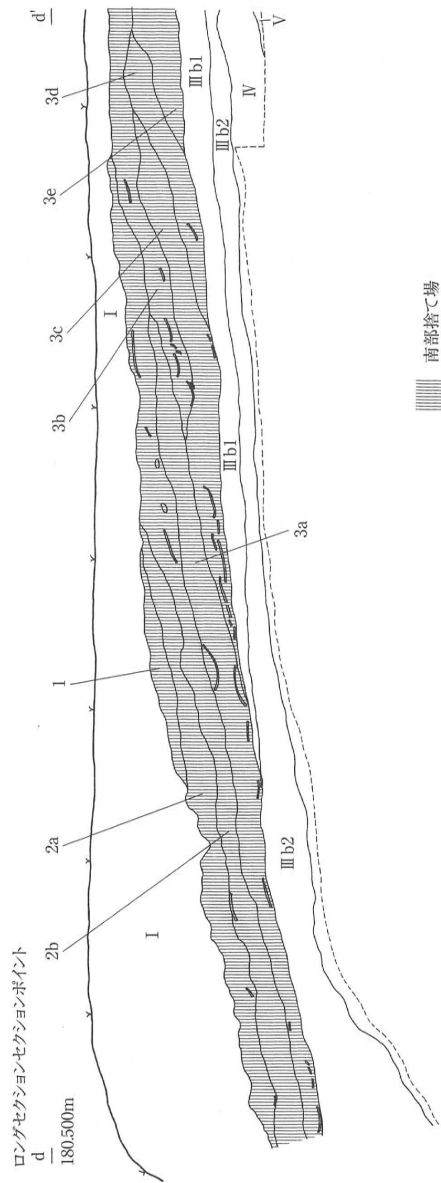
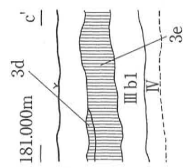
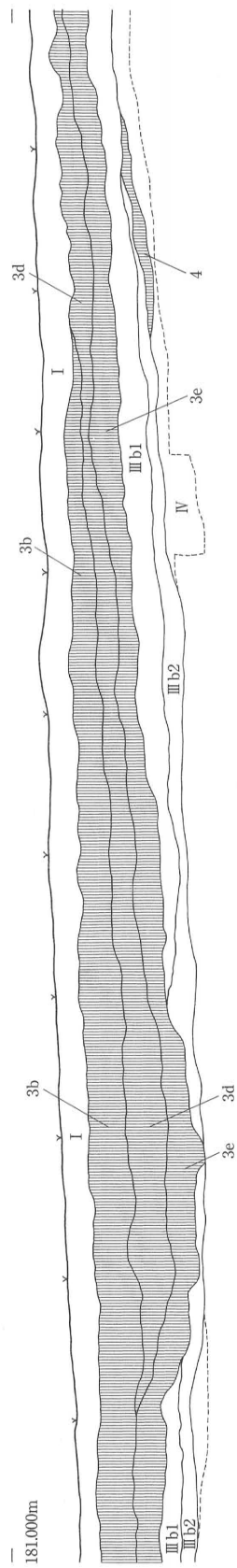


180,000m

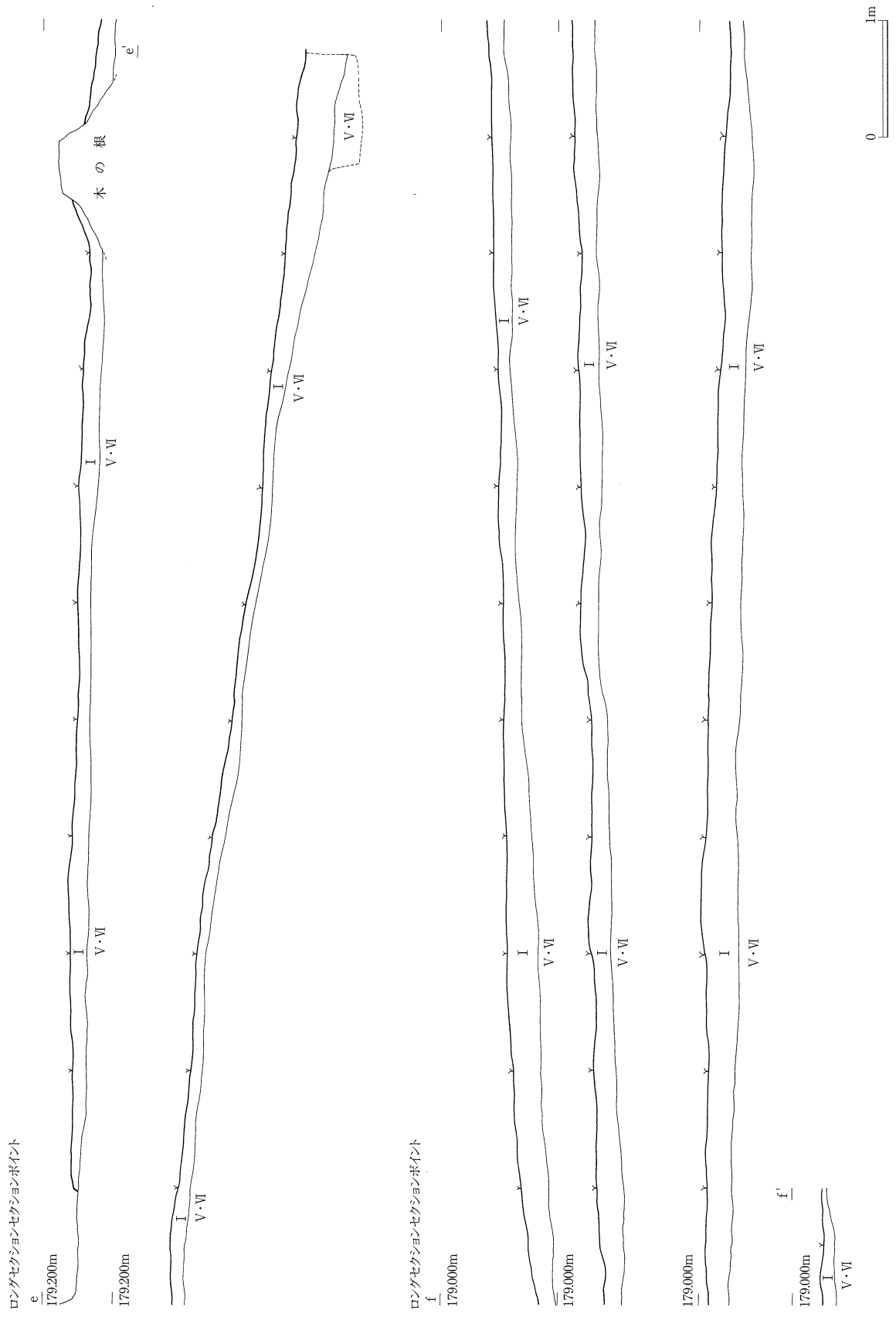


0 1m

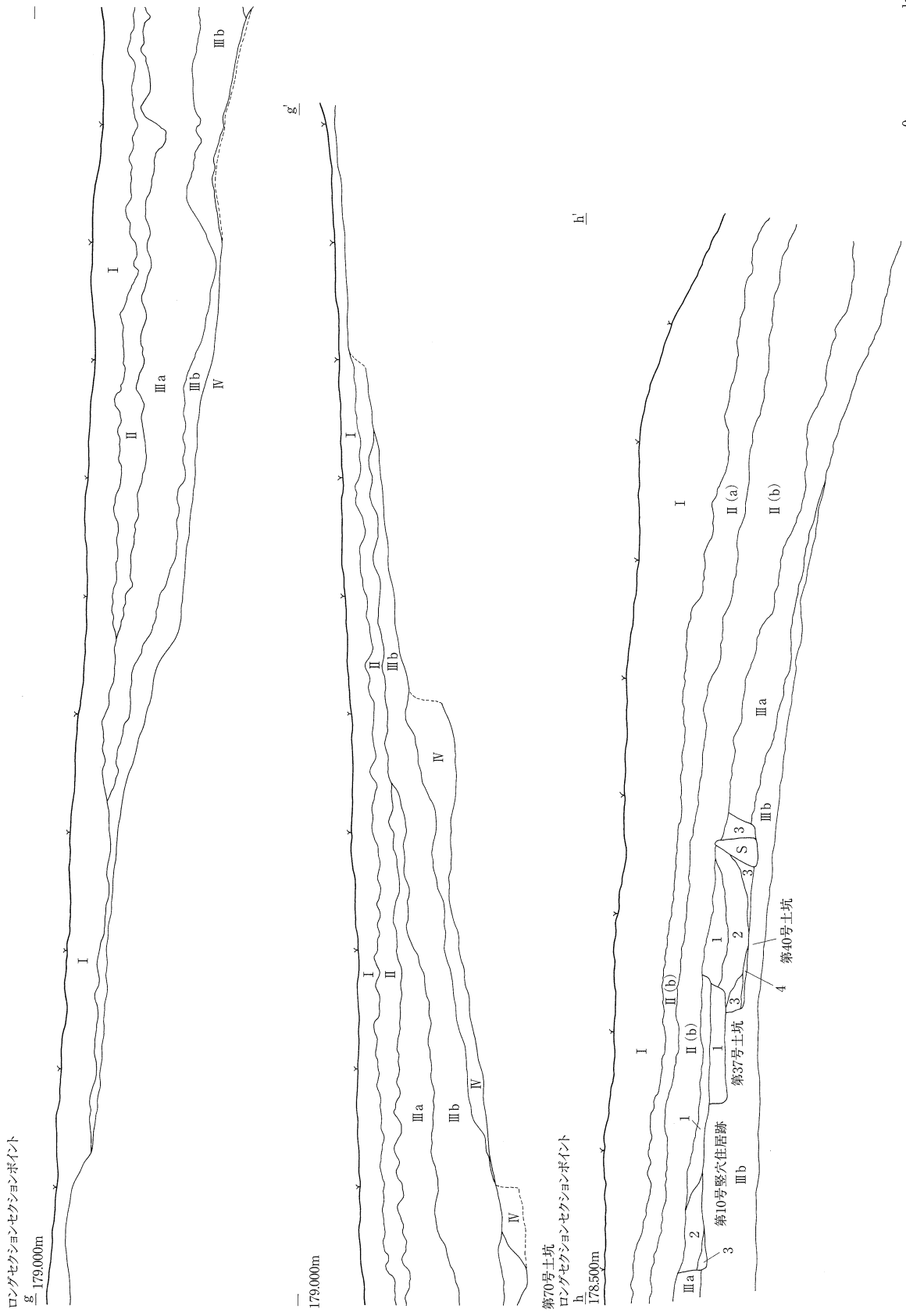
第9図 ロングセクションc-c'



第10図 ロングセクションd-d'



第11図 ロングセクションe-e'、f-f'



第12図 ロングセクションg-g'、h-h'

第2章 検出された遺構と遺物

第1節 竪穴住居跡

第1号竪穴住居跡（第13図）

<位置>南側調査区南東部に位置する。グリッドはN-22、N-23、O-22、O-23である。

<平面形>隅丸方形。

<主軸方向>N53° E。

<規模>煙道をのぞく平面形は3.5×3.2m、推定床面積は8.3㎡である。

<重複関係>第6号・第8号土坑に土坑に切られる。

<検出面>表土直下、V層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>すべて自然堆積層で1～3の2層に大別される。2層はa・b・c・dの4層に細分される。大別の根拠は、1層が赤みがかかった黒色である点、2層がやや明るい2b層を一部に含むものの全体として黒褐色である点、3層が2層よりも相対的に明るい暗褐色である点にある。

1層：2.5YR1.7/1 赤黒色 砂質シルト 粘性中 しまり中 下部に黄褐色のテフラをブロック状に少量含む。

2a層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。

2b層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

2c層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5cm程度のローム（V層起源）をブロック状に含む。

2d層：7.5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 径5mm程度の炭化物および細砂を少量含む。

3層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径5mm～1cm程度のローム（基本層序V層起源）をブロック状に含む。

<壁>検出面から床面までの深さは20～28cmで、基本層序V層が壁となっている。床面との境界はやや丸みを帯び、垂直に近い角度で立ち上がる。北東壁のカマド南東側はややオーバーハングする。

<床>基本層序VI層上面が床となっている。貼床はみとめられない。

<カマド・煙道>カマドは、北東壁のほぼ中央部に1基付帯する。煙道平面形は不整の溝状で、底面は燃焼底面より先端に向かって徐々に低くなる。規模は、北東から煙出口先端までの長さが0.85m、最大幅は0.45m、検出面から燃焼底面までの深さは34cmをはかる。壁際で一部V層を残して袖としており、中央部に近い部分は厚さ5～8cm程度の扁平な礫によって構築されている。袖石を設置するために床面が掘込まれているが、地業土は充填されず石を埋め込む部分のみを5cm程度掘込んで袖石が設置されている。焼土は袖に囲まれた部分に拡がっており、厚さは最大7cmをはかる。焼土上面には角礫ではあるが平坦な面を水平に設置された礫があり、支脚の可能性がある。焼土下には旧表土を用いたと思われる暗褐色土（J層）によって火床面から煙道基部にかけてがやや高く作られている。煙道上部は崩壊しており、煙出口の平面形は残存していない。

カマド・煙道部の埋土・燃焼部はA～Jの10層に区分される。

A層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

B層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径5mm～2cm程度のローム（V層起源）をブロック状に含む。

C層：7.5YR4.6 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径1～2cm程度のローム（V層起源）をブロック状に含む。

D層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。

E層：2.5Y3/3 暗オリーブ 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり強。

F層：5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性 しまり。

G層：7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径2～3mm程度の焼土粒をやや多量に含む。

H層：2.5YR3/6 暗赤褐色 粘土質シルト 粘性強 しまり中 焼土層 径5mm～5cm程度の炭化材および骨片を多量に含む。

I層：7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまり中 燃焼底面 径2～3mmの炭化物を少量含む。

J層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<柱穴・ピット>検出されなかった。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は、540gである。全体の46.9%にあたる253gを掲載した。第33図1・11・12は、体部に回転縄文を有する土器破片である。14は、木葉痕が確認できる底部破片である。

b. 石器 出土総数は剥片1点（2.0g）である。

c. 動・植物遺体 床面上の土壌約40リットル、カマド焼土約7.5リットルを水洗したが、植物遺体は得られなかった。動物骨は、カマド焼土から34個（1.42g）が出土した。部位・種を同定できるものは皆無であった。

<時期>住居の特徴から古代と考えられる。出土遺物は詳細な時期決定には用いることはできない。

第2号竪穴住居跡（第14図）

<位置>南側調査区南東部に位置する。グリッドはJ-22、J-23、K-22、K-23区である。

<平面形>南東部の壁は耕作による削平のため残存していないが、隅丸方形とおもわれる。

<主軸方向>N75° E。

<規模・床面積>煙道をのぞく平面形は3.9×3.9m、推定床面積は14.3㎡である。

<重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>自然堆積層で1～2の2層に大別される。大別の根拠は、1層が暗褐色、2層が黒褐色である点にある。

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径1cm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

起源) および黒色土(旧表土起源か)を多量に含む。

<カマド>北東壁やや北寄りに1基付帯する。焼土周辺の床面には数個の扁平な礫があるが、芯材として固定された礫および地山を残した袖の痕跡などは確認されない。煙道部は長さ1.5m、最大幅0.5mで、先端部にむかってわずかに幅広となる平面形を呈する。煙道底面は煙出しにむかってほぼ水平にのびており、煙出穴の底面がやや窪んでいる。煙出穴底面の東端に径10cm程度の垂角礫が2個設置されており、煙突の構築と関わりが有する可能性がある。カマド・煙道の埋土・燃焼部は、次のように分層される。

A層:5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱 径3cm程度のローム(基本層序V層起源)をやや多量に含む。

B層:10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

C層:10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

D層:10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり強。

E層:10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり強 径1cm程度のローム(基本層序V層起源)を少量含む。

F層:2.5YR4/5 赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 骨片を少量含む。

G層:7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 粘性強 しまりやや強 骨片を少量含む 灰層。

H層:5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 骨片を少量含む 焼土層。

I層:5YR4/6 赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 燃焼底面。

<柱穴・ピット>確認できなかった。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は167gである。全体の33.5%にあたる56gを掲載した。第33図7は、外面に縄文を有する体部破片である。

b. 石器

出土総数は4点であるが、剥片3点(34.4g)、使用痕ある剥片1点(7.7g)のため図示はしていない。

c. 動・植物遺体

床面上の土壌約40リットル、カマドの焼土約8リットルを水洗した。カマド焼土より不明(同定不能)種子が1点出土し、焼土層に極めて微細な骨片が少量認められたが、フローテーションでは動物遺体は回収できなかった。

<時期>住居の特徴および出土遺物から平安期と考えられる。

第3号竪穴住居跡(第15図)

<位置>南側調査区中央部南寄りに位置する。グリッドはG-23、G-24、H-23、H-24である。

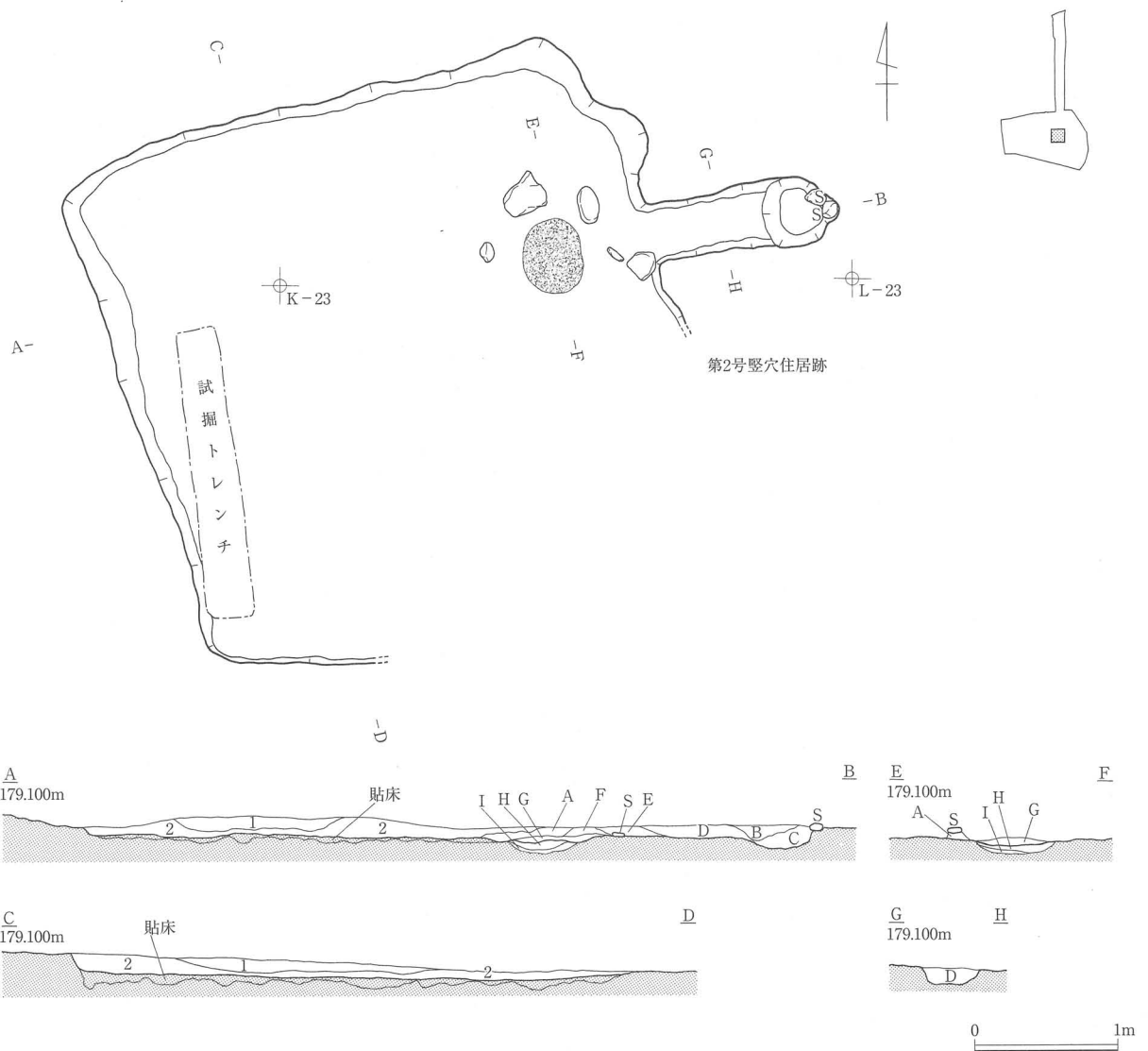
<平面形>隅丸方形と考えられるが、南側は削平のためプランが残存していない。

<主軸方向>N23°E。

<規模・床面積>煙道部をのぞく平面形の規模は2.9×2.8m、南半部が残存していないため、推定床面積は計測不能である。

<重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。



第14図 第2号住居跡の平面図・断面図

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>自然堆積層で大別層位1層のみである。1層はさらに1 a・1 bの2層に細分される。

1 a層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5 mm～1 cm程度の炭化物粒を多量に含む。

1 b層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径5 mm程度の炭化物粒を微量に含む。

<壁>検出面から床面までの深さは最大7 cmで、基本層序V層が壁となっている。

<床>基本層序V層もしくはVI層上面が床となる。貼床は認められない。

<カマド・煙道>東壁やや北寄りに1基付帯するが、残存状況は悪い。煙道部の長さは1.6m、最大幅は0.35 mである。煙道は、ほぼ同じ長さで先端までのびる平面形を呈し、底面は燃焼部から徐々に高くなる。袖の芯材には比較的扁平な礫が用いられているが、地山に埋め込んだ痕跡は認められない。煙道・煙道部の埋土・燃焼部は、次のように細分される。

A層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径3 cm程度の礫（基本層序VI層起源）を微量に含む。

B層：2.5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまり中 骨片を少量含む焼土層。

C層：2.5Y3/2 暗赤褐色 粘土質シルト 粘性強 しまり中 燃焼底面。

<柱穴・ピット>なし。

<出土遺物>

a. 土器

出土総重量は376 gである。全体の40.7%にあたる153 gを掲載した。第33図5は土師器の口縁部、9は底部である。10は床面出土の土師器体部破片であり、外面には器面調整時に移動した砂粒の痕跡が目立つ。

b. 石器

出土総数は1点（87.0 g）であるが、剥片のため図示していない。

c. コハク

2層より1.93 gコハク片が出土した。

d. 動・植物遺体

床面上の土壌約30リットル、カマドの焼土約7リットルを洗浄した。カマド焼土より不明（同定不能）種子が1点出土した。焼土層に極めて微細な骨片が確認できたが、フローテーションでは動物遺体の回収にはいたらなかった。

<時期>住居の諸特徴および出土遺物から平安期と考えられる。

第4号竪穴住居跡（第16図）

<位置>南側調査区中央部北寄りに位置する。グリッドはH-20、H-21、I-20、I-21である。

<平面形>ややゆがんだ隅丸方形。

<主軸方向>N34° E。

<規模>煙道部をのぞく平面形の規模は3.3×3.1m、推定床面積は9.7㎡である。

<重複関係>なし。南東端部が自然的要因による攪乱をうけている。

<検出面>表土直下、V層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>自然堆積層の埋土が1層のみである。1層はさらに1 a・1 bの2層に細分される。

1 a層：7.5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径5 mm程度の炭化物粒およびローム（基本層序V層起源）を少量含む。

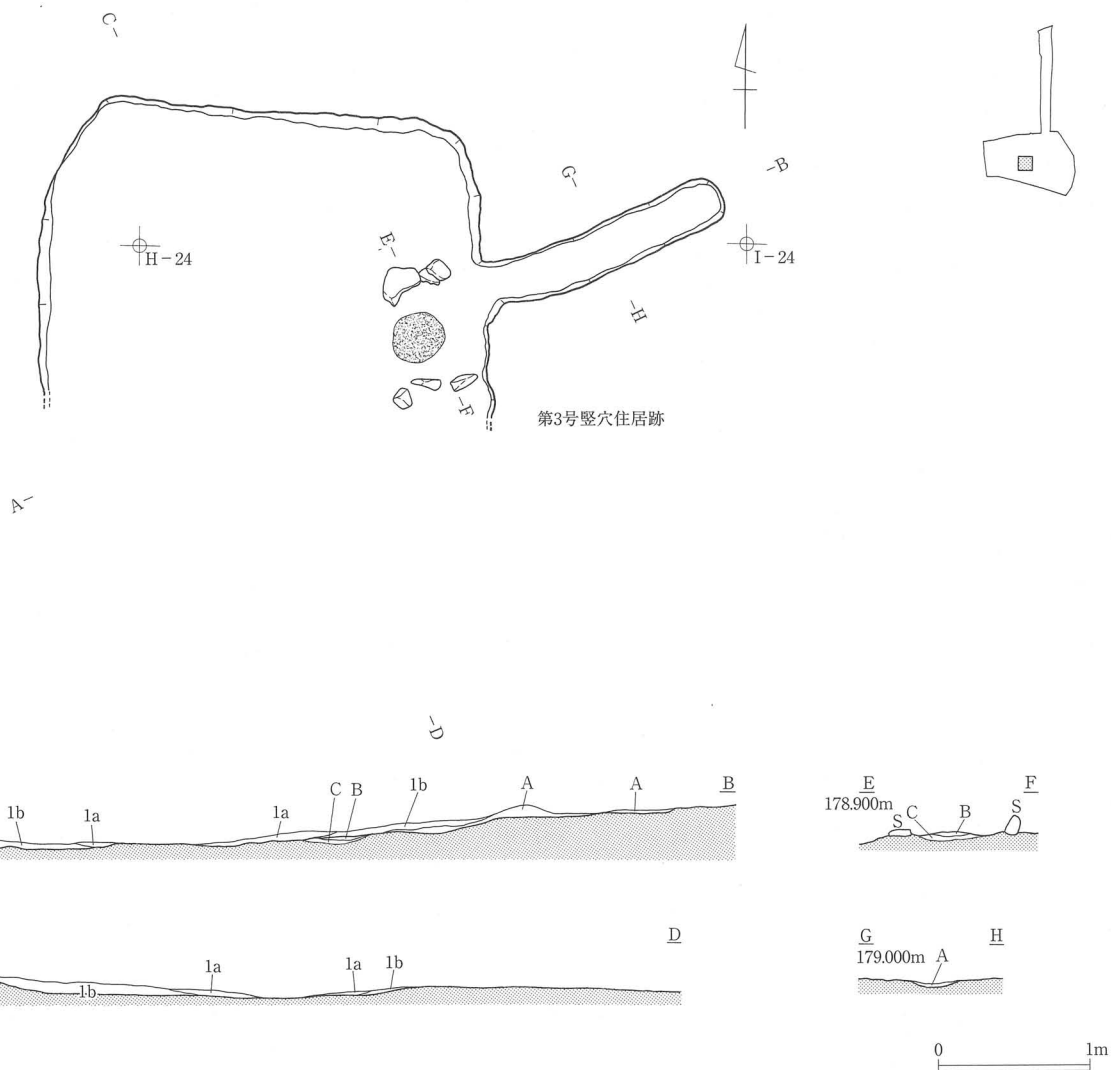
1 b層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>検出面から構築底面までの深さは最大25cmで、基本層序V層を壁とする。

<床>基本層序V層もしくはVI層上面が床となる。検出面から深さ13cm程度の貼床をしてほぼ水平に構築されている。

貼床：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり強 径3 cm程度のローム（V層起源）および黒土（旧表土起源か）を多量に含む。

<カマド>北東壁に2基が付帯し、北西側のカマドが古く（旧カマド）、南東側のカマドが新しい（新カマド）。旧カマドの崩壊土と焼土は意図的に除去されているものと思われ、焼土は確認できず3～5 cm程度が掘



第15図 第3号住居跡の平面図・断面図

り窪められている形跡がある（I-Jセクション）。旧燃焼部と煙道内は、基本層序V・VI層起源と考えられるロームや粘板岩質礫をふくむ暗褐色土（旧表土か）によって人為的に埋められている。煙道は底面のみがかるうじて残存しているにすぎないが、計測値は長さ1.4m、最大幅0.43m、検出面からの深さは最大0.08mとなる。煙道底面は先端に向かって徐々に低くなっており、煙出し口でさらにわずかに落ち込む。

新カマドは、V層起源のローム混じりの暗褐色砂質シルトで袖が構築されており、南側袖付近および住居南東部の攪乱層からは土器がまとまって出土した。煙道は長さ1.1m、最大幅0.46m、検出面からの深さ0.1mをはかる。燃焼部から外側にむけてやや凹凸がありながらもほぼ水平に延びており、煙出口の部分がわずかに窪む。旧カマドの埋土、および新カマド・煙道部の埋土・燃焼部の層位は次のとおりである。

[旧カマド]

A層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径2mm程度のローム（基本層序V層起源）および径3～5cm程度の礫（基本層序VI層起源）を多量に含む。

[新カマド]

A層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径1 cm程度の炭化物粒を微量に含む。

B層：5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性強 しまり中 径2 cm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

C層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径1 cm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

D層：2.5Y3/1 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 カマド崩壊土。

E層：5YR3/6 暗赤褐色 粘土質シルト 粘性強 しまりやや強 径1 mm程度の骨片および径3 ミリ程度の炭化物粒を多量に含む 焼土層。

F層：5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 燃焼底面。

<柱穴・ピット> 4個のピットを検出した。深さはいずれも10cm未満と浅く、明確に主柱穴といえるものはない。住居構築時に礫層であるVI層上面までを掘削したうえで床を貼っており、礫層までを掘り抜いて柱穴を設置しようとする意図は全く見られない。P1が主柱位置と関連している可能性が高いが、これはP1付近では礫層であるVI層がまだでておらずV層が床となっているためものと思われる。VI層上面はやや起伏があるため、床構築時に礫がなく容易にほり込めるV層が残っていた箇所についてはVI層上面まで掘込んで柱穴状土坑を設置しようとしていた可能性がある。

[P1]

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

2層：7.5YR2/3 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 ローム（V層起源）をブロック状に多量に含む。

[P2]

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

2層：7.5YR2/3 極暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

[P3]

1層：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中。

[P4]

1層：7.5YR4/2 灰褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径2 mm程度のローム（V層起源）を多量に含む。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は818 gである。全体の35.9%にあたる294 gを掲載した。第33図1・2は、土師器の口縁部破片である。6のような縄文土器も出土している。

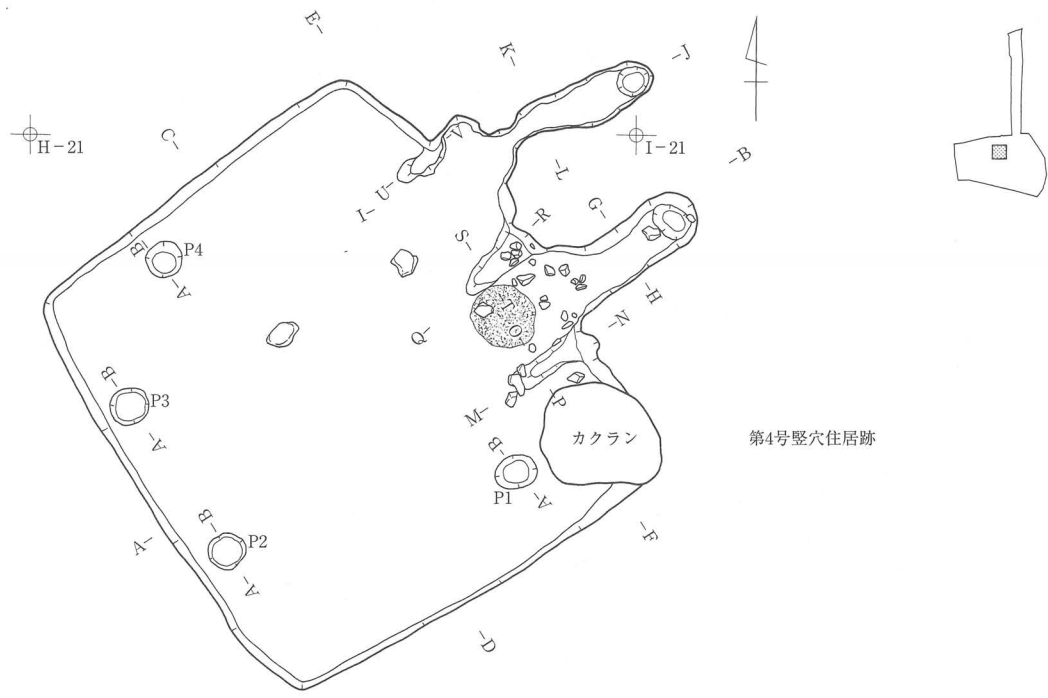
b. 石器

出土総数は剥片1点（256 g）である。掲載基準をみたさないため図示していない。

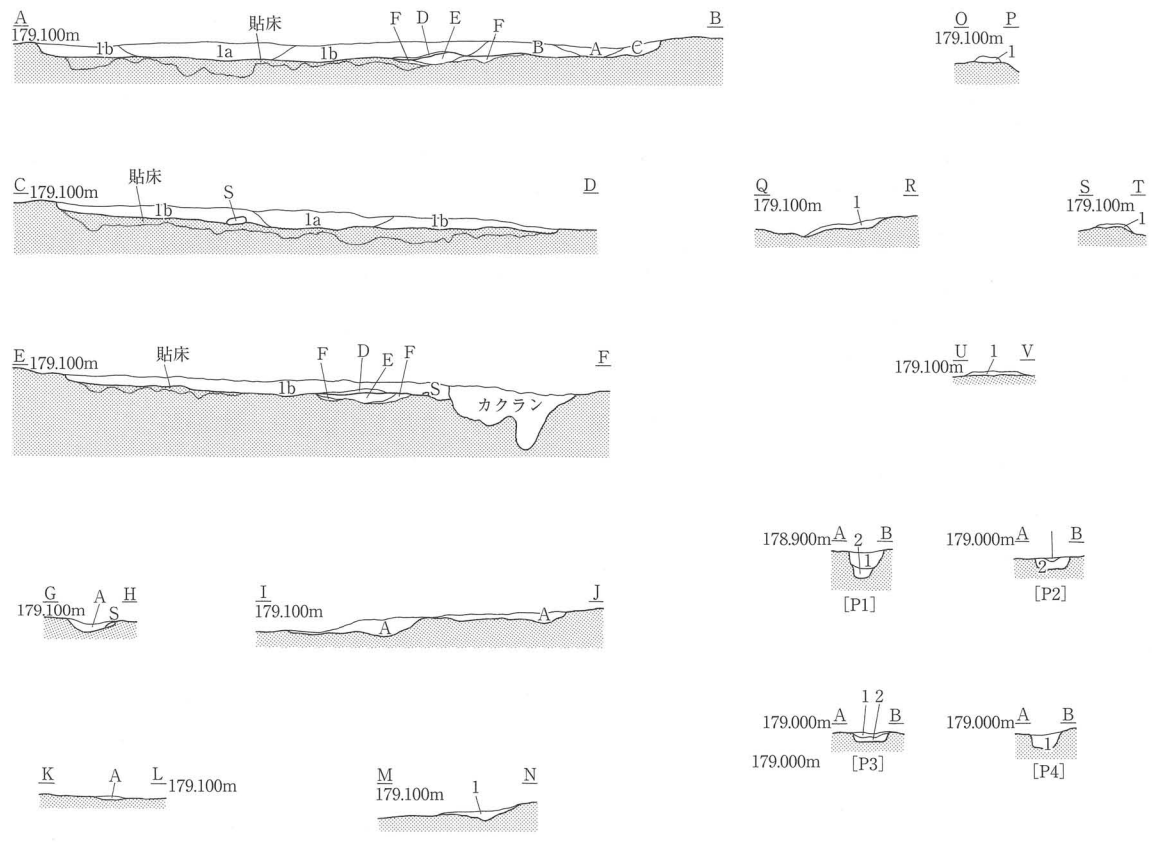
c. 動・植物遺体

床面上の土壌約80リットル、カマドの焼土約10リットル、煙道内の土壌約18リットルを水洗した。

床面より4個（0.12 g）の骨片、煙道内より9個（0.35 g）の骨片が出土した。いずれも部位・種の同定は



第4号竪穴住居跡



第16図 第4号住居跡の平面図・断面図

不可能であった。カマド焼土からは、陸獣骨片1個、マダラ腹椎骨のほか、部位・種不明の骨片（24個、0.81g）が出土した。

植物遺体は、カマド焼土より不明（同定不能）種子が2点出土した。

<時期>住居の諸特徴および出土遺物から平安期と考えられる。

第5号竪穴住居跡（第17図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはF-21、F-22、G-21、G-22区である。

<平面形>耕作による削平のため南側の壁・床面が確認できないが、ほぼ隅丸方形と思われる。

<主軸方向>N48°E。

<規模>残存状況が悪く、規模・床推定面積は不明である。

<重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>自然堆積層で1層に大別される。

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

<壁>壁の残りは悪く、北辺で確認できるにすぎないが基本層序V層が壁となっている。カマドの南東部では壁がやや外側に張り出す箇所がある。検出面からの深さは、煙道部で最大13cm、住居部で最大4cmである。

<床>基本層序VI層までを粗掘りしたのち、床を貼ってほぼ水平に構築されている。

貼床：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径3cm程度のローム（基本層序V層起源）および黒褐色土（旧表土起源か）を多量に含む。

<カマド>北東壁に1基が付帯する。カマド左袖においては、扁平な礫を芯材として立てて地業土で固定している。煙道部の長さは0.9m、最大幅は0.5mである。先端の煙出し部で膨らむ平面形を呈する。煙道底面は中程でやや低くなり先端に向かって徐々に高くなっている。カマド・煙道部の埋土・燃焼部は、A・Bの2層に細分される。

A層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 礫（基本層序VI層起源）をやや多量に含む。

B層：5YR3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 骨片を少量含む 焼土層。

<柱穴・ピット>P1～P3までのピット3基が確認された。いずれも浅く、位置を考慮しても、確実に柱穴と認定できるものはない。

[P1]

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

[P2]

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

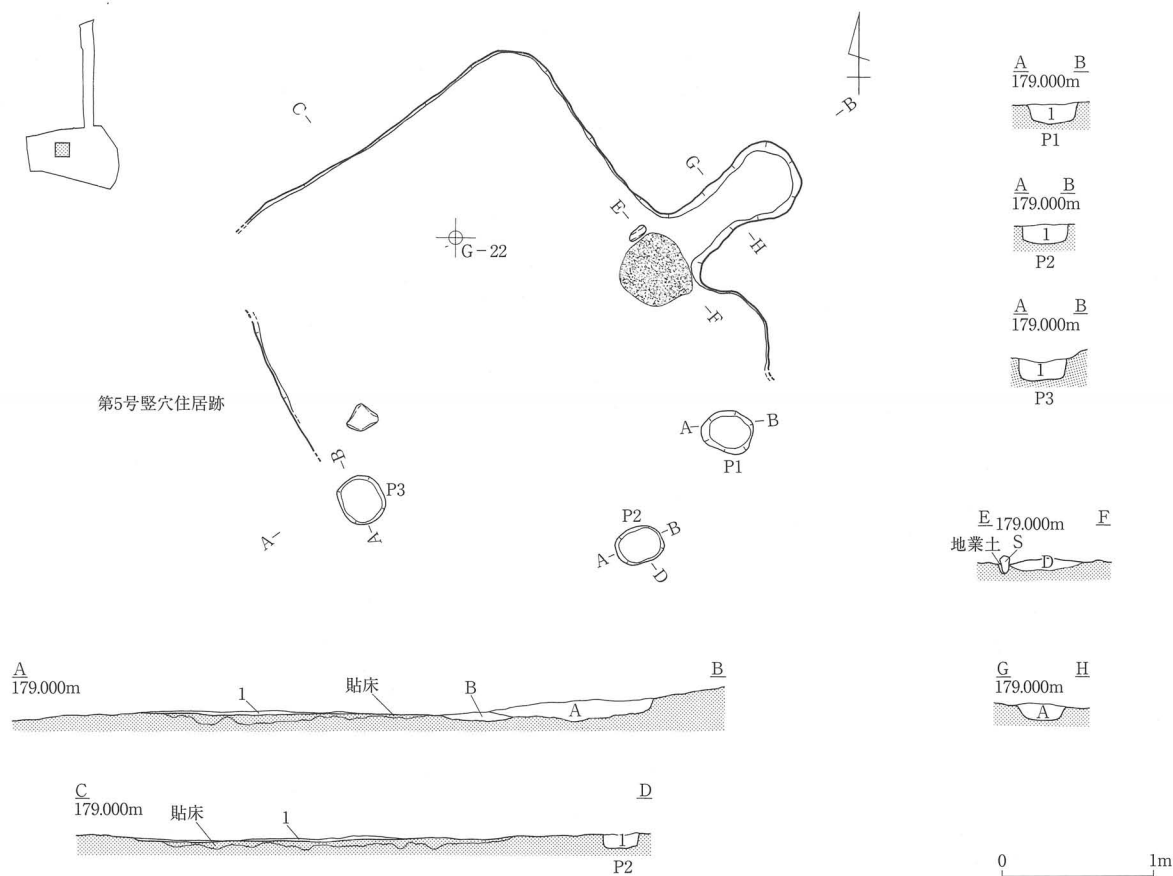
[P3]

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は154gである。全体の21.4%にあたる33gを掲載した。第33図4は縄文土器の口縁部である。波



第17図 第5号住居跡の平面図・断面図

状口縁で隆帯による文様の描出がみられる。

b. 石器

出土しなかった。

c. 動・植物遺体

床面上の土壌約20リットル、カマド焼土約5リットルを水洗した。動・植物遺存体は出土しなかった。

<時期>住居の諸特徴および出土遺物から平安期と考えられる。

第6号竪穴住居跡 (第18図)

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-20、C-21、D-20、D-21区である。

<平面形>隅丸方形。

<主軸方向>N85° E。

<規模>煙道部をのぞく平面形の規模は3.7×3.5m、推定床面積は12.1㎡である。

<重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>自然堆積層で1～3の3層に大別される。1層はやや明るめの砂質シルト層、2層は黒褐色の砂質シルト層、3層はやや明るい土色である。1は1 a・1 bの2層に細分される。

1 a層：5YR4/2 灰褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径1 cm程度のローム（基本層序V層起源）を微量に含む。

1 b層：5YR5/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径2 cm程度の炭化物粒を少量含む。

2層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5 mm程度のローム（基本層序V層起源）を微量に含む。

3層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序IV層が壁となる。北西隅では低い段が形成されている箇所がある。検出面からの深さは、煙道部最大32cm、住居部で最大26cmである。

<床>基本層序IV・V層までを粗掘りしたのち、床を貼ってほぼ平坦に構築されている。北側はやや高くなっている。住居中央部の床面の一部に炭化材がみられるが、この住居を焼失住居と判断するには根拠に乏しい。むしろ、カマドの燃焼や住居中央部に廃棄された非現地性の焼土に関連するものと考えておきたい。

貼床：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性中 しまり強 径2 cm程度のローム（基本層序V層起源）を多量に含む。

<カマド>北東壁に1基が付帯する。煙道は長さ1.03m、最大幅0.5m、深さは最大で0.35mをはかる。やや幅広の煙道で、底面は先端に向かって徐々に下がる。扁平な礫が袖の芯材として利用されており、地業土で固定されている。壁に近い部分にはローム（基本層序V層起源）と旧表土と考えられる黒色土が混在した砂質シルトによって芯材が囲まれている。焼土上面には、天井石と考えられる扁平な礫がカマド崩壊土とともに崩れ落ちている。カマド・煙道部の埋土・焼土は、A～Mの13層に細分される。

A層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。

B層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

C層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中 径5 mm程度のローム（基本層序V層起源）および焼土粒をやや多量に含む。

D層：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径1 cm程度の焼土粒を微量に含む。

E層：2.5YR3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径2 mm程度の炭化物粒、径3 cm程度のローム（基本層序V層起源）を多量に含む。カマド崩壊土。

F層：5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱 径1 cm程度の炭化物および径3 cm程度のローム（基本層序V層起源）を多量に含む。

G層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5 mm程度の焼土粒を微量に含む。

H層：5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5 mm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

I層：7.5YR3/2 黒褐色 粘性強 しまりやや強 径5 cm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

J層：2.5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり弱 径2 mm程度の焼土粒・骨片をやや多量に含む。

K層：5YR3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり弱 骨片をやや多量に含む。

L層：5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径3 mm程度の炭化物粒および骨片を多量に含む。焼土層。

M層：2.5YR4/8 赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 燃烧底面。

地業土：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性中 しまり強 径2mm程度のローム（V層起源）を多量に含む。

壁際に残存するカマド袖の断面は1～3層に分かれる。

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径1mm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径1mm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

3層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径1cm程度のローム（基本層序V層起源）および旧表土と思われる黒色土を多量に含む。

<柱穴・ピット>なし。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は5,807gである。全体の28.9%にあたる1,676gを掲載した。第34図1～9は口縁部破片で、隆線・沈線および刺突による文様の描出がみられる。2・7は、波状口縁で貼付、およびキザミの特徴から円筒上層c式に比定できる。5は、口縁部に幅の狭い無文帯を設け、その直下に横位に粘土紐を貼付し、刺突を加えている。口縁部に幅がせまい無文帯を設ける例は、1・3・4にもみられるが、これらには貼付は伴わない。10～25、27～31の体部破片の外面には、二段の縄、結節縄、丸組紐などがみられる。26、32～34は底部破片であり、すべて縄文土器の底部と考えられる。

b. 石器

出土総数は2点である。磨石1点（252.0g）を図示し、剥片1（4.0g）を非掲載としている。

c. 動・植物遺体

床面上の土壌約70リットル、カマド焼土約9.6リットル、煙道底面土壌10リットル、床面上焼土集中区土壌3.2リットルを水洗した。また、本遺跡内では残存状況が比較的良好な住居であったため、埋土も1a・1b・2・3層と層ごとに各15リットルに達するまでサンプリングし、水洗をおこなった。

カマド焼土からは、マダラ腹椎骨、アイナメ属の一種？の腹椎骨、サケ科の顎歯・椎骨片、イノシシ？の第3・第4中節骨近位端が出土したほか、陸獣破片の遊離歯や硬骨魚類の椎骨片および部位・種不明骨が334個（13.46g）出土した。このほか煙道内からソウダガツオ属の一種の尾椎骨も出土した。部位・種不明骨が、カマド焼土・床面・煙道・埋土1a層・貼床からそれぞれ出土している。

植物遺体は、カマド焼土からブドウ科種子が1個、オニグルミが2片、不明（同定不能）種子が1点出土した。

<焼土集中区>

床面に焼土集中区が1基検出された。明確な燃焼部と燃焼底面をもたずローム粒が混在するため現地性の焼土とは考えにくい。人工・自然遺物の出土はなかった。

1層：2.5YR4/8 赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強 径1cm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む 焼土層。

<時期>出土遺物は縄文土器であるが、住居の諸特徴から古代と考えられる。

第7号竪穴住居跡（第19図）

<位置>南側調査区北東部に位置する。グリッドはK-21、K-22、L-21、L-22区である。

<平面形>隅丸方形、煙道の南西部に半円状にやや張り出す箇所がある。

<主軸方向>N232° E。

<規模>煙道部をのぞく平面形の規模は3.4×3.2m、推定床面積は9.8㎡である。

<重複関係>北東辺の一部が自然的要因と思われる攪乱をうけている。

<検出面>表土直下、V層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>1～4の4層に大別され、すべて自然堆積層と思われる。ただし、2層は明確なレンズ状堆積を示さず、上面が住居跡中央付近で波打つため人為的な堆積要因が関与している可能性もある。すべて黒褐色～黒色を呈する砂質シルトであるが、1層は粘性が弱く焼土粒を含んでいる、2層は粘性・しまりがともに強く焼土粒・ローム粒を含んでいる、3層は粘性が強くローム粒を含んでいる、4層でふたたび粘性が弱くなる、といった点が大別の根拠である。1層は1 a・1 bの2層に、3層は3 a・3 bの2層に細分される。

1 a層：2.5Y2/1 黒色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径1 cm程度の焼土粒をやや多量に含む。

1 b層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径5 mm程度のローム（基本層序V層起源）および焼土粒をやや多量に含む。

3 a層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径1～2 cm程度のローム（基本層序V層起源）をやや多量に含む。

3 b層：5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径5 mm程度のローム（基本層序V層起源）・焼土粒をやや多量に含む。

4層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径2～3 mm程度の焼土粒および基本層序V・VI層起源のローム・細砂を少量含む。

<壁>基本層序V層まで粗掘りが行われ、床を貼ってほぼ水平に構築されている。検出面からの深さは最大で27cmである。

<床>基本層序V層およびVI層上面まで粗掘りを行い、貼床をして水平に構築されている。貼床は住居内のほぼ全体にほどこされているが、北東壁および南東壁にちかいL字状の箇所がもっとも厚い。床面上には炭化材が散在しており、焼失住居の可能性が高い。

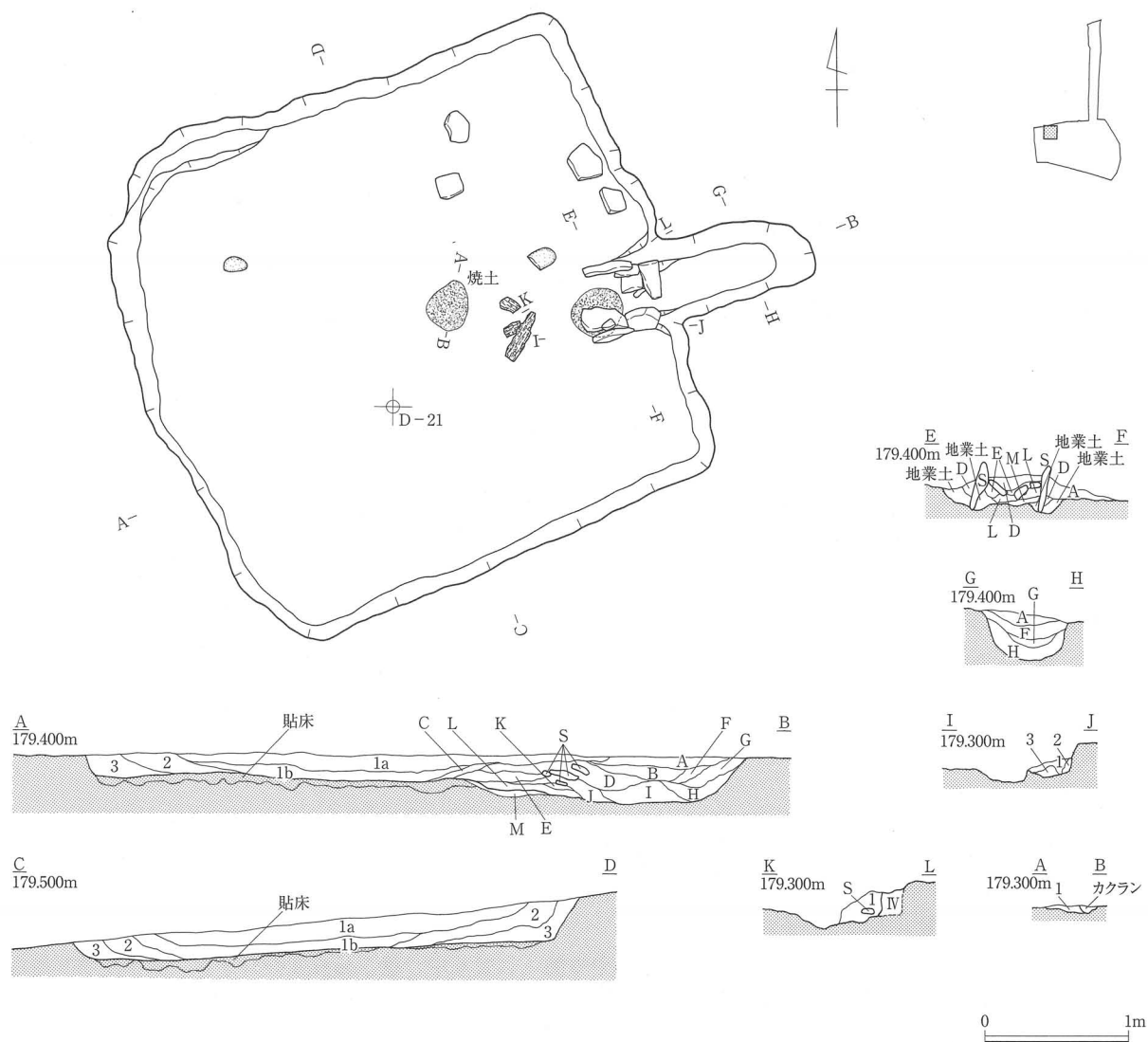
貼床：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径3～5 mm程度のローム（基本層序V層起源）および黒色土を多量に含む。

<カマド・煙道>

住居跡北西辺に1基が付帯する。左右の袖には芯材として扁平な礫が設置されており、焼土上面にカマド崩壊土および天井石に利用されていた可能性がある礫がのる（B層）。煙道は先端にむけて徐々に高さが下がり、煙出部は浅くくぼむ。煙道の長さは0.73m、最大幅は0.38m、深さは最大で20cmをはかる。

A層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 熱を比較的うけていない部分のカマド崩壊土と考えられる。

B層：2.5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 粘性弱 しまり強 熱をもっとも強くうけた部分のカマド崩壊土と考えられる。



第18図 第6号住居跡の平面図・断面図

C層：2.5Y3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

D層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

E層：5YR3/3 暗赤褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまりやや強 骨片を多量に含む 焼土層。

F層：5YR4/6 赤褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 燃烧底面。

<柱穴・ピット>プラン中央部付近にピットを1基検出した。

[P 1]

1層：7.5YR1/7 黒色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

<出土遺物>

a. 土器

出土総重量は1,456gである。総数の54.7%にあたる796gを掲載した。第35図1・10は土師器の口縁部・体部破片である。器面調整時に移動した砂粒の痕跡が目立つ。3は須恵器の口縁部片、2・4～7は縄文土器

の口縁部破片である。11・12の体部破片には縄文がみられる。13～16の底部破片はすべて縄文土器のものと考えられる。

b. 石器

出土総数は2点である。図示した敲石1点(710.0g)のほか、軽石1点(23.3g)がある。

c. 動・植物遺体

床面上の土壌約50リットル、カマドの焼土約9リットルをサンプリングし、水洗した。また、埋土も大別層位(1・2・3層)ごとに15リットルになるまでサンプリングし、水洗を行った。

野外では焼土中に極めて微細な骨片を確認できたが、フローテーションでは動物遺体の回収にはいたらなかった。植物遺体は、キビ3個、不明(同定不能)種子1個が出土した。

<時期>住居の諸特徴および出土遺物から平安期の焼失住居と考えられる。

第8号竪穴住居跡(第20図)

<位置>南側調査区北東部に位置する。グリッドはH-19、J-19である。

<平面形>隅丸方形と考えられるが、北半部は調査区外に位置している。

<主軸方向>不明。

<規模>住居の大部分は調査区外となっているが、南東辺は3.6m程度である。本遺跡で検出したカマドを伴う竪穴住居跡とほぼ同じサイズと推定される。推定床面積は不明。

<重複関係>なし。

<検出面>表土直下、IV層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>自然堆積層で1・2層の2層に大別される。1層は黒褐色で、2層は黄褐色である。1層はさらに1a・1bの2層に大別される。

1a層:10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5mm程度のローム(基本層序V層起源)を微量に含む。

1b層:10YR3/2黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径1～2mm程度のローム(基本層序V層起源)をやや多量に含む。

2層:10YR4/3 におい黄褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径1～2mm程度のローム(基本層序V層起源)を多量に含む。

<壁>基本層序IV層を壁とする。残存する壁は最大で16cmあまりである。南東壁ではほぼ垂直に立ち上がるが、北東・南西壁ではやや斜めに立ち上がる。

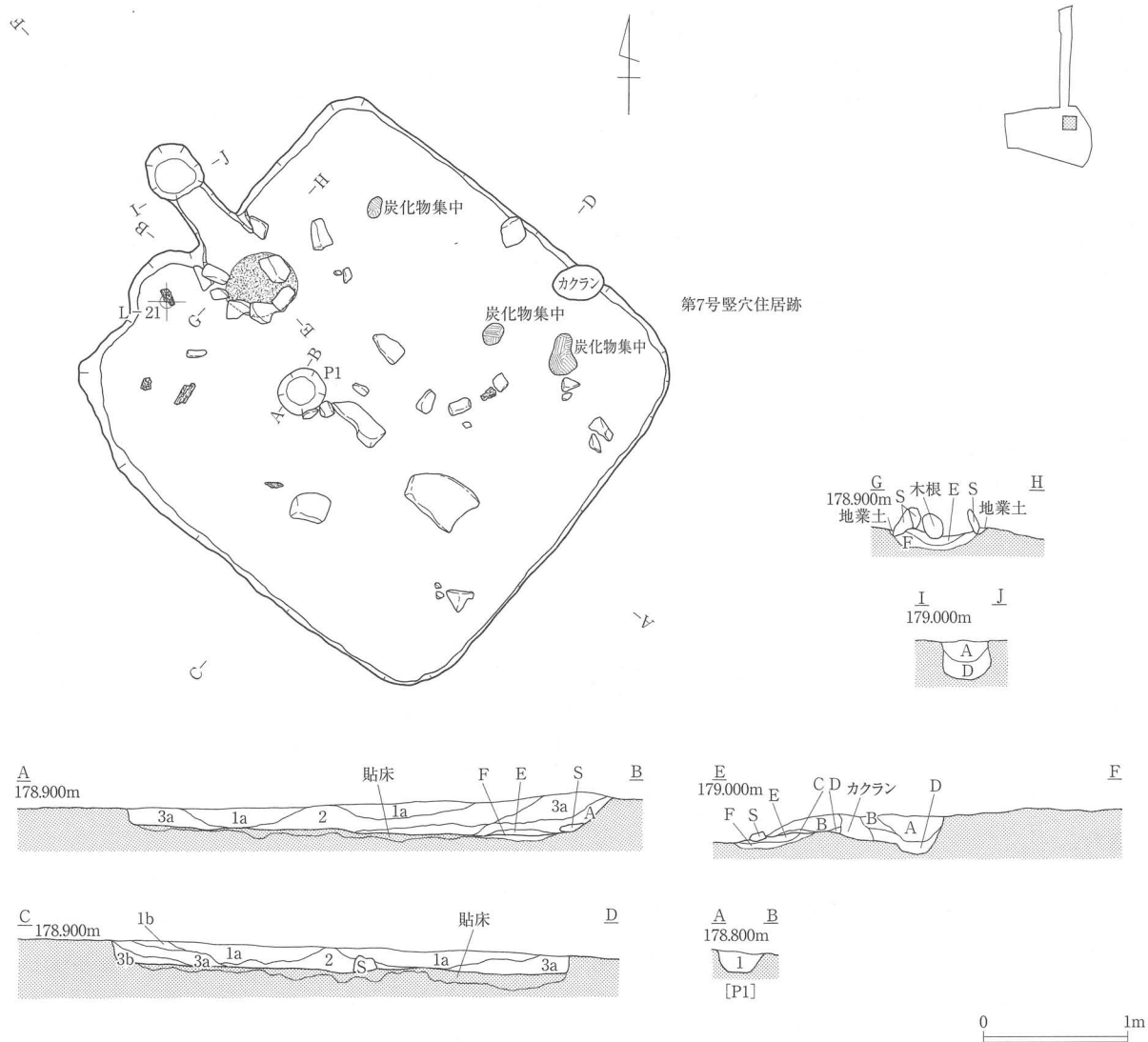
<床>基本層序IV層まで粗掘りが行われ、床を貼ってほぼ水平に構築されている。床面には炭化材や炭化物が集中する箇所があり、焼失住居と判断される。

貼床:2.5Y3/1 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径3～5cm程度のローム(基本層序V層起源)および旧表土起源とおもわれる黒褐色土を多量に含む。

<カマド>調査区外にあるものと考えられる。

<柱穴・ピット>南西部でピットを1つ確認した。位置からみて柱穴の可能性はあるが、他の住居と同様に深さは7センチ程度しかなく、断定はできない。

[P1]



第19図 第7号住居跡の平面図・断面図

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径2cm程度の炭化物粒をやや多量に含む。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり弱 径1cm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は665gである。全体の25.7%にあたる171gを掲載した。第35図17～21はすべて縄文土器の体部破片である。

b. 石器

出土総数は2点（98g）である。剥片のため非掲載とした。

c. 動・植物遺体

床面上の土壌約15リットル、貼床の土壌約10リットルをサンプリングし、水洗した。動・動物遺体は出土しなかった。

<時期>住居の諸特徴および出土遺物から平安期と考えられる。

第9号竪穴住居跡（第21図）

<位置>北側調査区中央部に位置する。グリッドはK-11、K-12、L-11区である。

<平面形>やや歪んだ隅丸方形。

<主軸方向>N114° E。

<規模>煙道部を除く平面形の規模は、3.6×3.6mであり、推定床面積は11.9㎡である。

<重複関係>南部捨て場1・3e層を切る。

<検出面>表土直下。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>1～5の5層に大別される。1層と4層がやや赤みがかった砂質シルトで、2層と5層が黒褐色砂質シルト、3層はやや明るい暗褐色の砂質シルトである点が大別の根拠である。混入物と土性によって、2層はさらに2a・2bの2層に、3層は3a・3bの2層に、4層は4a・4b・4c・4d・4eの5層に、5層は5a・5b・5cの3層に細分される。多くが自然堆積と考えられるが、4層（とくに4e層）は人為堆積であり、住居の南西側から投げ込まれた土壌と考えられる。

1層：2.5YR2/2 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり弱 径2mm程度の焼土粒を微量に含む。

2a層：2.5Y3/1 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径2～3mm程度の焼土粒・炭化物を少量含む。

2b層：10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中 径2～3mm程度の焼土粒・炭化物をやや多量に含む。

3a層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径2～3mm程度の焼土粒・炭化物・ローム（V層起源）を多量に含む。

3b層：2.5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強 径2mm～1cm程度の焼土粒・炭化物および骨片を多量に含む。

4a層：5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径1mm程度の焼土粒をやや多量に含む。

4b層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱 径1～2mm程度の焼土粒・炭化物を多量に含む。

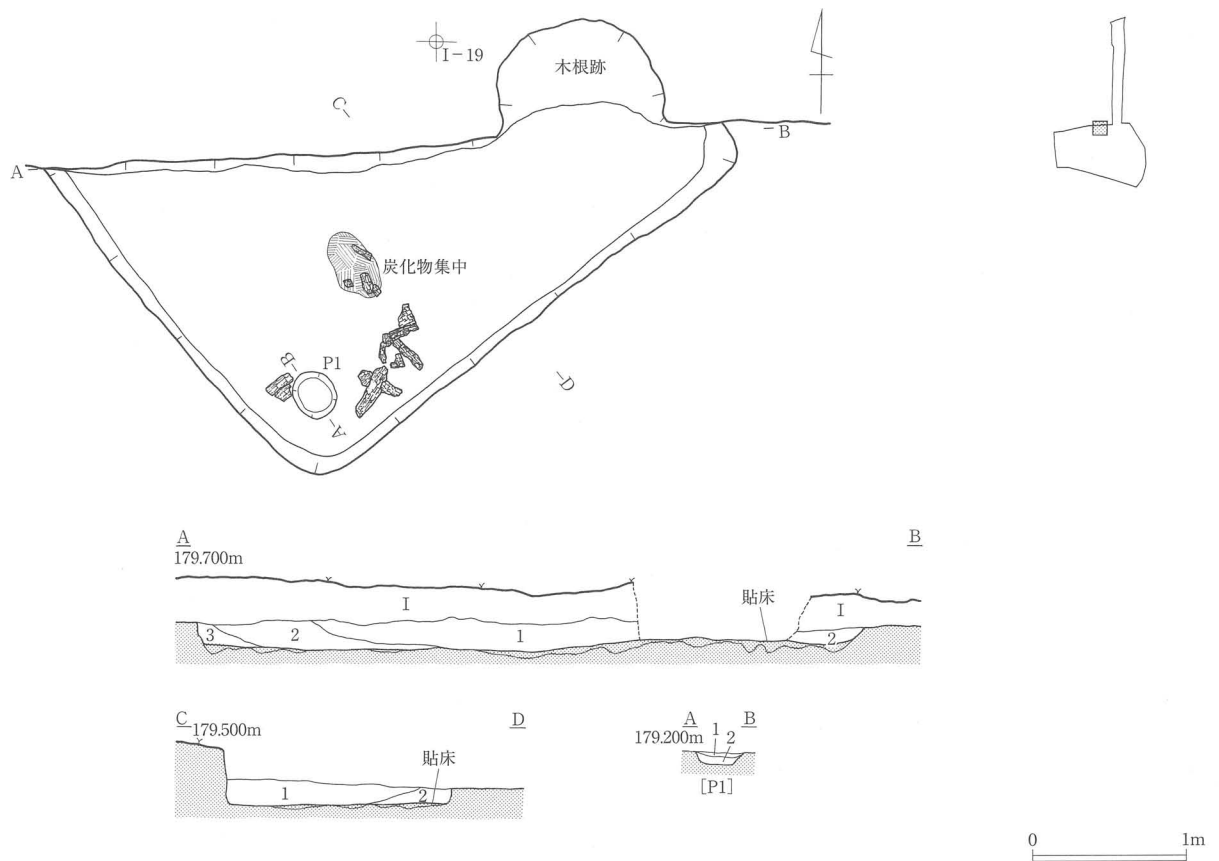
4c層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 径1～2mm程度の焼土粒・炭化物を多量に含む。

4d層：7.5YR2/3 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱 径1～2mm程度の焼土粒・炭化物を多量に含む。

4e層：2.5YR2/4 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径1～5cm程度の焼土粒、および径1cm程度の炭化物粒を多量に含む。

5a層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径2mm程度の焼土粒をやや多量に含む。

5b層：2.5Y3/1 オリーブ黒 砂質シルト 粘性やや強 しまり弱 径2mm程度の焼土粒・炭化物粒を少



第20図 第8号住居跡の平面図・断面図

量含む。

5 c層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径2mm程度の焼土粒を微量に含む。

<壁>南部捨て場2 b・3 a層および基本層序IV層が壁となる。検出面から床面までの深さは最大で58cmをはかる。比較的急角度で直線的に立ち上がる。

<床>基本層序V・VI層まで粗掘りを行い、そのうえに貼床をしてほぼ水平な床がつくられている。

貼床：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強 径2cm程度のローム（基本層序V層起源）および礫（基本層序VI層起源）を多量に含む。

<カマド>住居南東辺に1基が付帯する。カマド上部がトレンチ中にあり、トレンチ掘削時に焼土上面まで掘削を行ったためカマド崩壊土の状況は不明である。扁平な石を立て、地業土によって固定して袖の芯材としている。煙道は長さ0.9m、最大幅は0.55mと幅広で短く、底面は若干低くなりながら先端部に向かっている。

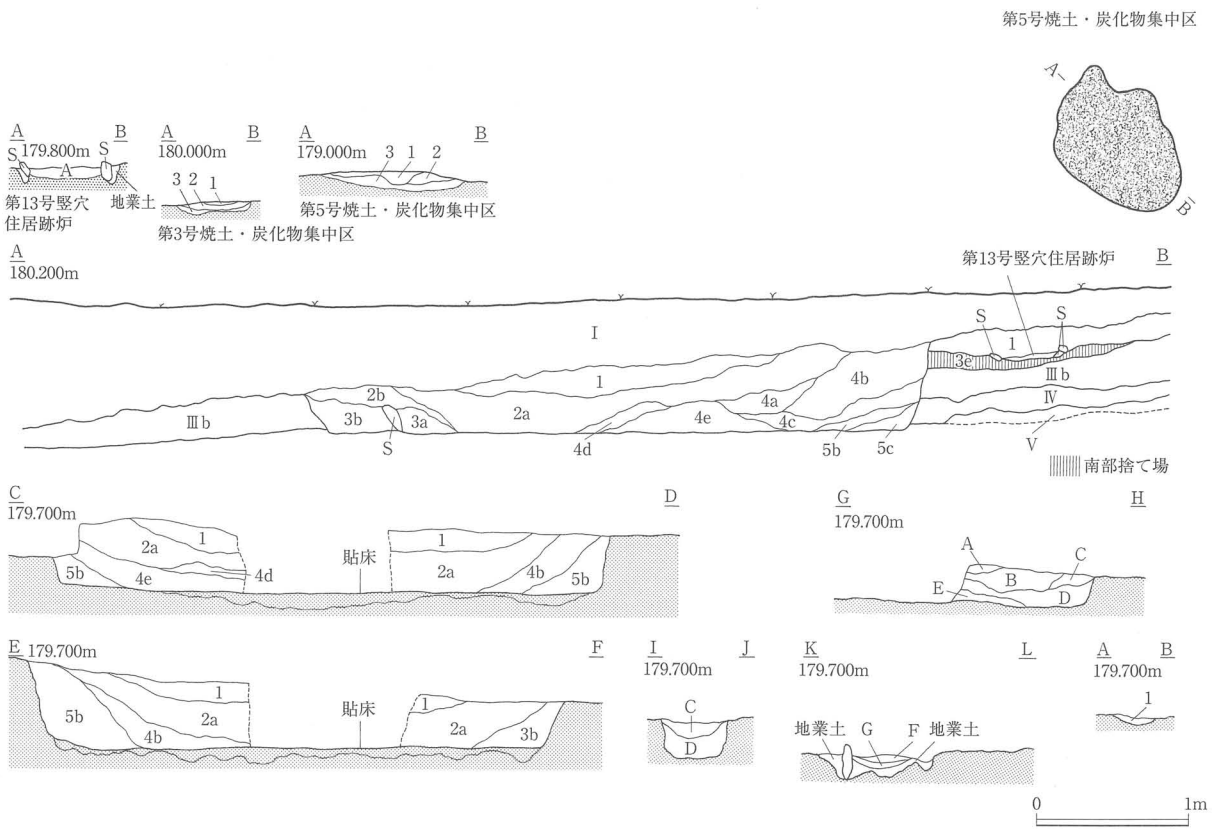
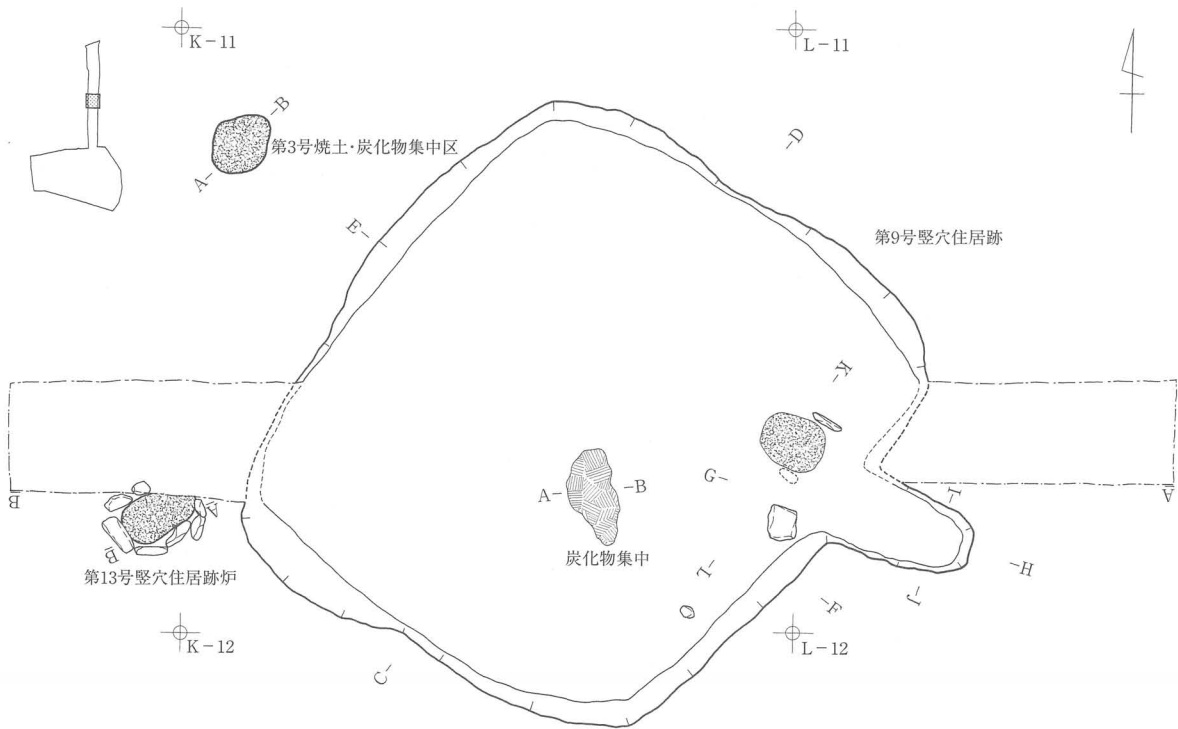
A層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱。

B層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。

C層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

D層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

E層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径5mm程度のローム（基本層序V層起源）



第21図 第9・13号竖穴住居跡および第3・5号焼土・炭化物集中区の平面図・断面図

を少量含む。

F層：2.5YR4/8 赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 焼土層。

G層：2.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 燃焼底面。

<炭化物集中区>床面中央部南東寄りに炭化物集中区が検出された。厚さは最大で5cm。焼土・大きな炭化材は交えずに径1cm以下の細かな炭化物のみで構成されている。

<柱穴・ピット>検出されなかった。

<出土遺物>

a. 土器

縄文時代の捨て場の中に作られている住居であり、遺物は大量に出土したが床面・埋土を問わず大半は縄文土器である。出土総量は52,108gである。全体の11.2%にあたる5,857gを掲載した。

第36図1は遠藤出土の土師器口縁部破片である。2・3は1層出土の土師器口縁部破片である・いずれも表面が粗く器面調整されており、調整時に移動した砂の痕跡も目立つ。2の口縁部は、1・3ほどは開かず、短い。4・5・7、10～12、18は外面に回転縄文（結節含む）を有する粗文の深鉢である。6・13・14・16・17は口縁部に幅の狭い文様帯を有する深鉢、8はキャリパー形を呈し口縁部文様帯に渦巻文を沈線で描出している。9・15は、幅の広い文様帯を設け、内部を貼付・縄側面圧痕・キザミなどによって充填している。

第37図1・3は埋土出土の土師器口縁部破片である。4～18の多くは粗文であるが、貼付や縄の側面圧痕を口縁部に廃しているものもある（6・16など）。19～21、23、26は主として貼付によって文様を表現したり、文様帯を区画したりしている口縁部破片である。31～33は底部破片である。31・32は縄文土器の底部であるが、33は古代に属する可能性がある。第38図はすべて底部破片であり、縄文土器の底部がほとんどと考えられる。

b. 石器

出土総数は35点である。図示資料は全体の31.4%にあたる11点である。内訳は、石鏃3点（4.6g、第172図1～3）、石匙1（22.3g、第174図2）、スクレイパー3点（32.8g、うち1点層位不明のため図示せず、第192図1・2）、ピエス・エスキエ1点（2.7g、第200図6）、凹石1点（62.5g、第222図5）、磨石1点（770.0g、第215図1）、石斧1点（54.0g）。非掲載資料は、剥片23点（273.4g）、二次加工ある剥片1点（9.9g）である。

c. 動・植物遺体

床面上の土壌約70リットル、カマドの焼土約8リットル、貼床の土壌約20リットル、および埋土を大別層位（1～5層）ごとに15リットルに達するまでサンプリングし、水洗した。

動物遺体は、種がある程度特定できるものとしては床面からアオザメ顎歯とタイ科の一種、埋土内からニホンジカ・イノシシ・マダラ・ソウダガツオ属の一種と思われる遺体が出土している。

植物遺体は、カマドから不明（形状残存）種子が2個検出された。

<時期>住居の諸特徴および煙道出土遺物から、平安期と考えられる。

第10号竪穴住居跡（第22図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-24、D-24、E-24区である。

<平面形>隅丸長方形。

<規模>長軸4.5m、短軸2.5m、推定床面積は10.5㎡である。

<重複関係>第25号土坑に切られる。第37号土坑を切る。

<検出面>基本層序Ⅱb層直下、Ⅲa上面。

<掘込面>基本層序Ⅲa層上面。

<埋土>自然堆積層で1～3の3層に大別される。大別の根拠は、1層が黄褐色、2層が黒褐色で焼土粒を含む点、3層が黒褐色で焼土粒を含まない点にある。

1層：2.5YR4/2 暗灰黄色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径5mm程度の炭化物を微量に含む。

2層：7.5YR1.7/1 黒色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径2mm程度の焼土粒を微量に含む。

3層：7.5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲa層およびⅢb層が壁となる。比較的急角度で立ち上がり、検出面からの深さは最大で22cmをはかる。

<床>基本層序Ⅲb層が床となる。東部が若干高いが、ほぼ平坦である。

<炉>住居東部に長軸70cm、短軸40cmあまりの地床炉がみとめられた。西側は第25号土坑に切られているため、実際の規模はより大きい。

A層：5YR5/8 明赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 焼土層。

B層：5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径2mm程度の焼土粒をやや多量に含む 燃焼底面。

<柱穴・ピット>P1～P3までの3基のピットが検出された。いずれも平面形はほぼ円形であるが、深さは浅く確実に柱穴と認定できるものはない。

[P1]

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

[P2]

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

[P3]

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は1,264gである。全体の36.5%にあたる461gを掲載した。第39図9は床面出土の体部破片であり土師器とかがえられる。埋土からは3・6・7・10・11のような縄文土器破片が出土している。

b. 石器

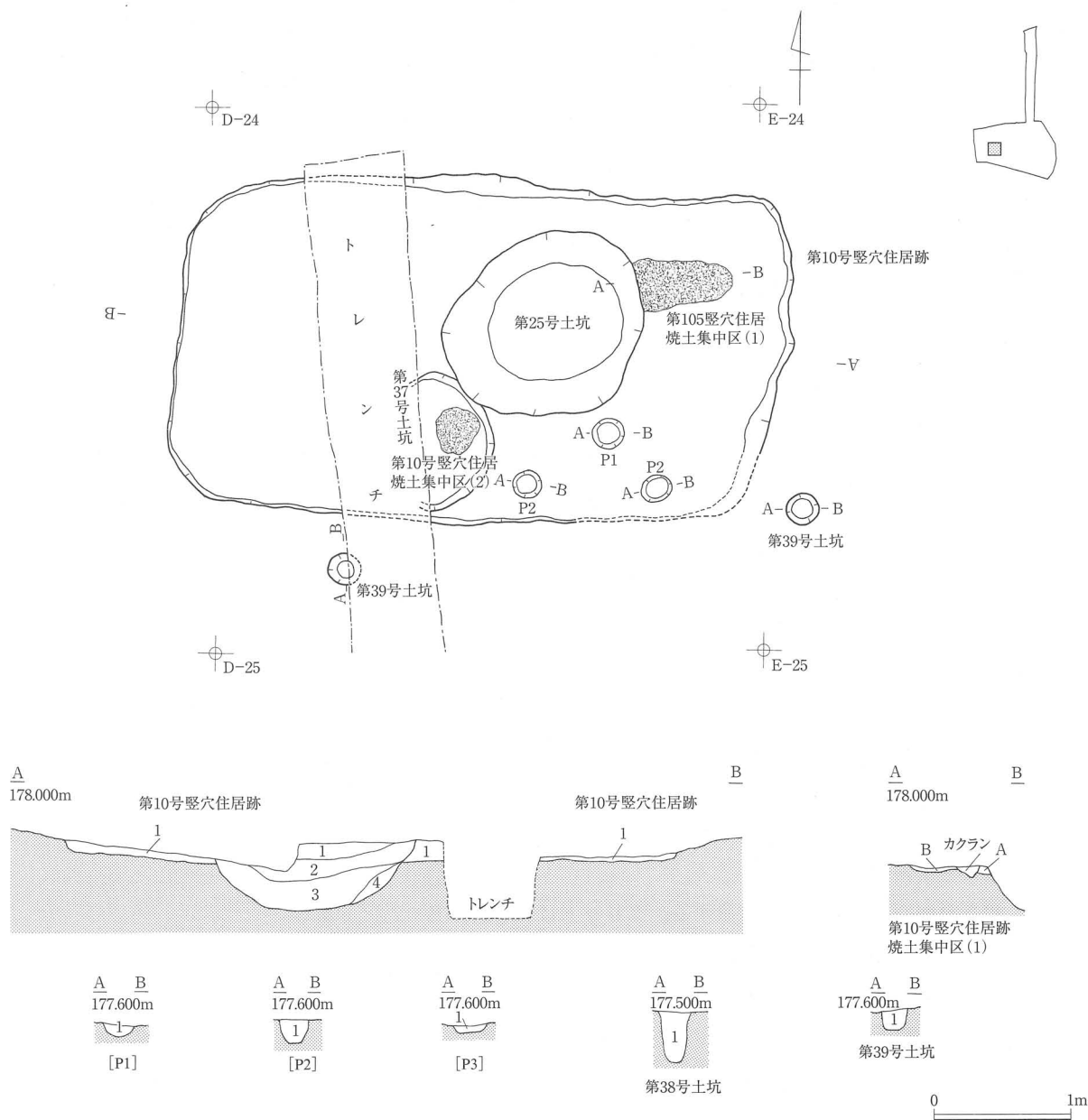
出土総数は敲石1点(190.1g)のみであり、図示した。第211図2は埋土1層出土である。扁平な礫を利用した敲石と考えられる。

c. 動・植物遺体

床面上の土壌約15リットル、炉および埋設土器内の土壌約6.5リットルをサンプリングし洗浄したが、動物遺体は出土しなかった。

植物遺体は、炉からタデ科種子1個、ウルシおよびアサダの可能性のある種子が各1個、不明(同定不能)が2個、不明(形状残存)種子が1個出土した。

<時期>住居の諸特徴および出土遺物から、縄文期と考えられる。



第22図 第10号竪穴住居跡および第38・39号土坑の平面図・断面図

第11号竪穴住居跡 (第23図)

<位置> 南側調査区北西部に位置する。グリッドはA-21、B-21区である。

<平面形> プランが調査区外に出ており、床面が残っていない部分があるため不明。

<規模> 不明。

<重複関係> 第12号住居跡に切られる。

<検出面> 表土直下、Ⅲ a 層中。

<掘込面> 耕作による削平をうけている。

<埋土> 自然堆積層で2層に大別される。大別の根拠は、1層が褐色、2層は黄褐色である点にある。2

層はさらに2 a・2 b層の2層に細分される。

1層：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり強 径5 mm程度の焼土粒・炭化物をやや多量に含む。

2 a層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。

2 b層：7.5YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a層が壁となる。検出面からの深さは最大で28cmをはかる。

<床>基本層序Ⅲ a層が床となる。

<炉>不明。

<柱穴・ピット>なし。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は690 gである。全体の46.5%にあたる321 gを掲載した。床面からは、第39図1・2・8・12のような縄文土器破片が出土している。埋土からも、縄文土器の出土は見られるが(4・18)、土師器の出土はない。

b. 石器

出土しなかった。

c. 動・植物遺体

フローテーションのための土壌のサンプリングはおこなわなかった。動・植物遺体の出土はなかった。

<時期>

手がかりがないが、縄文時代中期以降に位置づけられる第12号竪穴住居跡よりは古い。

第12号竪穴住居跡 (第23図)

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはA-21、B-21区である。

<平面形>プランが調査区外に出ており、床面が残っていない部分があるため不明。

<規模>不明。

<重複関係>第11号住居跡を切る。

<検出面>表土直下、基本層序Ⅲ a層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>自然堆積層で2層に大別される。大別の根拠は、1層が暗褐色、2層がやや明るい褐色を呈する点にある。

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径5 mm程度の炭化物・焼土粒をやや多量に含む。

2層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径5 mm程度の炭化物・焼土粒を少量含む。

<壁>基本層序Ⅲ a層が壁となる。検出面からの深さは最大で28cmをはかる。

<床>基本層序Ⅲ a層が床となる。

<炉>石囲炉が調査区界にみられる。

A層：2.5YR4/6 赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり弱 焼土層。

B層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 地業土および燃焼底面。

<柱穴・ピット>住居西端と東端に1基ずつのピットを検出した。P1は柱穴の可能性が高い。

[P1]

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 径5mm程度の炭化物粒を微量に含む。

[P2]

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は586gである。全体の84.6%にあたる496gを掲載した。炉には、第39図15が埋設されていた。P1からは大木3～4式に比定しうる可能性がたかい16が出土している。13もP1出土であり、J字状の貼付上に刺突を加えたものである。

b. 石器

出土しなかった。

c. 動・植物遺体

炉の焼土4リットルを水洗した。動物遺体は、イヌ科大腿骨遠位端?1個(0.78g)、陸獣破片1個(0.72g)、不明骨14個(1.02g)が出土した、植物遺体は、不明(同定不能)種子が1点出土した。

<時期>

住居床面および埋土から遺物の出土はなかった。P1の1層より土器が3片(122g)出土し、第39図13・16は大木3～4式の可能性が高い。しかし、住居には石囲炉が採用されているためこれらの土器と同時期の住居とは判断しがたく、中期以降の竪穴住居内に前期の土器が混入したものと考えられる。時期決定のもっとも重要な指標となる埋設土器は底部が意図的に除去された胴部のみが残存していたため明確な文様は観察できないが(第39図15)、平底で原体LRの斜行縄文がみられ、少なくとも中期以降に位置づけることに大きな問題はないであろう。

第13号竪穴住居跡(第21図)

<位置>北側調査区北西部に位置する。グリッドはJ-11、J-12、K-11、K-12区ほかである。

<平面形>プランが調査区外に出ており、壁・床面が残っていない部分があるため不明。

<規模>不明。

<重複関係>第9号住居跡に切られる。

<検出面>表土直下、南部捨て場3e層上面。削平のため壁は残存していない。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>自然堆積層で1層に大別される。

1層：7.5YR2/3 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径2mm程度の焼土粒を微量に含む。

<壁>不明。

<床>南部捨て場3e層および基本層序Ⅲb層が床となる。

<炉>石囲炉が1基付帯する。

A層：2.5Y3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 焼土層。

B層：2.5Y2/3 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 燃焼底面。

<柱穴・ピット>なし。

<出土遺物>

a. 土器

出土総量は13,642 gである。全体の19.6%にあたる2,679 gを掲載した。第39図17は炉から出土した土器体部片である。縄文が施されているが明確な時期の比定ができる資料ではない。埋土からは、口縁部文様帯が斜行沈線や貼付などで施文される口縁部が明確に開く土器群が検出されている（第40図1～3、5）。4、6～8、9～16は粗文の口縁部・底部破片である。

b. 石器

出土総数は5点である。石匙1点（12.0 g）、石核1点（166.5 g）を掲載、剥片3点（28.9 g）を非掲載とした。

c. 動・植物遺体

出土しなかった。

<時期>

炉の構造、出土遺物、層位、切り合い関係より、縄文時代中期前葉と考えられる。ただし立地からみて「住居」と断定するには疑問がもたれる遺構である。

第14号竪穴住居跡（第23図）

<位置>北側調査区北西部に位置する。グリッドはJ-5、J-6、K-5、K-6区ほかである。

<平面形>プランが調査区外に出ており、壁・床面が残っていないため不明。

<規模>不明。焼土の規模は0.84×0.58m。

<重複関係>不明。

<検出面>表土直下、Ⅲ b層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>削平のため残存していない不明。

<壁>不明。

<床>基本層序Ⅲ b層が床となる。

<炉>石囲炉が1基付帯する。

A層：7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまりやや強 灰層。

B層：2.5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまりやや弱 焼土層。

C層：5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 粘性やや強 しまりやや弱。

地業土：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径5 mm程度のローム（基本層序V層起源）を少量含む。

<柱穴・ピット>なし。

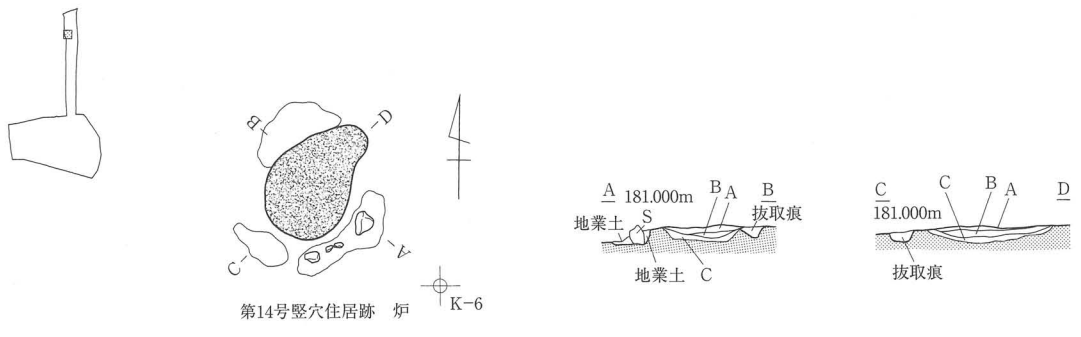
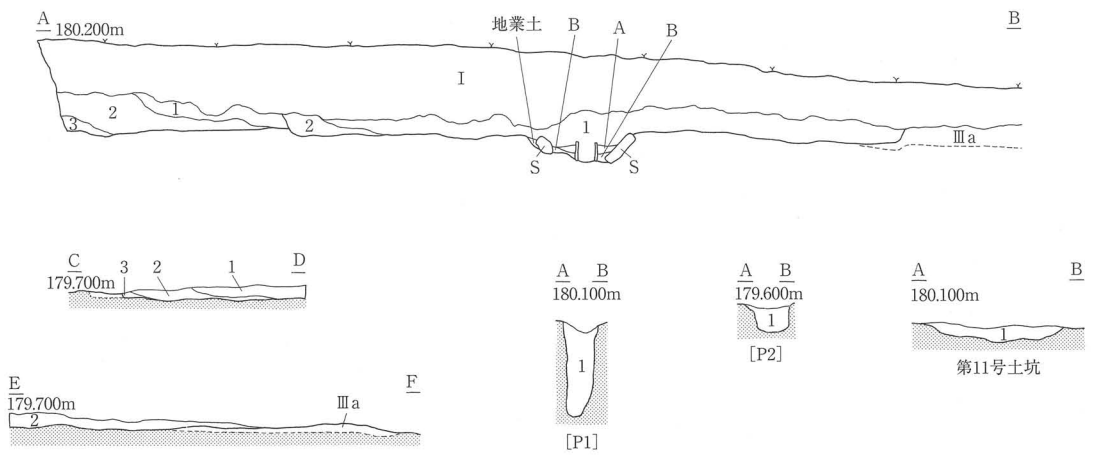
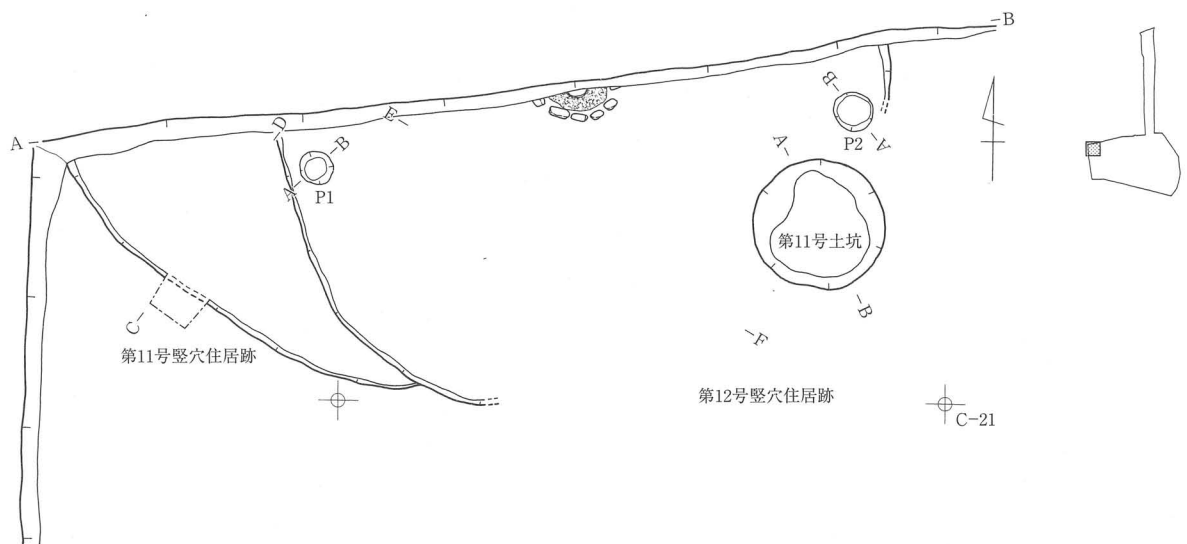
<出土遺物>

a. 土器

出土総量は128 gである。全体の43.0%にあたる55 gを掲載した。第40図9は炉出土の体部破片である。単軸絡条体による施紋がみられる。

b. 石器

出土しなかった。



第23図 第11・12・14号竪穴住居跡および第11号土坑の平面図・断面図

c. 動・植物遺体

すべての炉の焼土を水洗した結果（6.7リットル）、15個（1.22 g）の部位・種不明骨片が出土した。植物遺体は出土しなかった。

<時期>

出土遺物より縄文時代中期以降と考えられる。

[高瀬克範]

第2節 掘立柱建物跡

第1号掘立柱建物跡

<位置>南側調査区東部に位置する。グリッドはL-21、L-22、M-21、M-22区である。

<平面形・規模>2間×1間の建物跡である。柱間は、北側の側柱は西から2.3m、2.4m、南側の側柱は西から2.3m、2.4m、西側の側柱が2.2m、東側の側柱が2.3mである。

<重複関係>第7号土坑を切る。

<検出面>表土直下、V層中。

<掘込面>耕作による削平をうけている。

[P 1]

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径1～2cm程度のローム（V層起源）を少量含む。

2層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性強 しまり中。

<出土遺物>なし。

[P 2]

1層：10YR3/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径1cm程度の炭化物を微量に含む。

2層：5YR3/2 オリーブ黒 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。

<出土遺物>なし。

[P 3]

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強。

2層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱。

3層：7.5YR2/3 極暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

<出土遺物>なし。

[P 4]

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径3mm程度のローム（V層起源）をブロック状に含む。

<出土遺物>なし。

[P 5]

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中 径5mm程度の炭化物粒を微量に含む。

2層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5mm程度の焼土粒およびV層起源のロームをブロック状に含む。

<出土遺物>なし。

[P 6]

1層：10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径1cm程度のローム（V層起源）をブロック状に含む。

2層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径1cm程度の炭化物をやや多量に含む。

<出土遺物>なし。

<時期>出土遺物がなく、掘込面も削平されているため決定的な手がかりはない。遺跡内での分布や構造と柱穴規模からみると、古代に属する可能性が高い。

[高瀬克範]

第2表 竪穴住居跡・掘立柱建跡一覽表

遺構名	グリッド	平面形	カマド位置	主軸方向	規模	推定床面積	床面深さ	付帯ピット	堀込面	貼床	出土資料総量(g)	動物遺体	植物遺体
第1号竪穴住居跡	N-22, N-23, O-22, O-23	隅丸方形	北東壁	N53°E	3.5×3.2m	8.3㎡	28cm	なし	耕作による削平を 受けている	なし		床面：不明骨34個 (1.42g)	なし
第2号竪穴住居跡	J-22, J-23, K-22, K-23	隅丸方形	北東壁	N75°E	3.9×3.9m	14.3㎡	14cm	なし	耕作による削平を 受けている	あり			不明 (同定不能) 種子1個
第3号竪穴住居跡	G-23, G-24, H-23, H-24	隅丸方形	東壁	N23°E	2.9×2.8m	不明	7cm	なし	耕作による削平を 受けている	なし			不明 (同定不能) 種子1個
第4号竪穴住居跡	H-20, H-21, I-20, I-21	隅丸方形	北東壁	N94°E	3.3×3.1m	9.7㎡	25cm	4個	耕作による削平を 受けている	あり		床面：不明骨4個 (0.12g) 礎道：不明骨9個 (0.35g) カマド：陸 獣骨片1個 (0.22g)、マダラ股椎骨2個 (0.16g)、不明骨24個 (0.81g)	不明 (同定不能) 種子2個
第5号竪穴住居跡	F-21, F-22, G-21, G-22	隅丸方形	北東壁	N48°E	残存状況不 良のため不明	不明	4cm	3個	耕作による削平を 受けている	あり			なし
第6号竪穴住居跡	C-20, C-21, D-20, D-21	隅丸方形	北東壁	N85°E	3.7×3.5m	12.1㎡	26cm	なし	耕作による削平を 受けている	あり		カマド：マダラ股椎骨1個 (0.16g)、アイナメの一種？の股椎骨1個 (0.01g)、サケ科顎骨1個 (0.01g)、サケ科椎骨片1個 (0.01g)、イノシシ シ？第3・第4中肋骨近位端1個 (0.13g)、硬骨魚類椎骨片ほか16個 (0.69g)、陸獣趾端骨1個 (0.06g)、不明骨334個 (13.46g) 礎道：ソ ウダガツオ属尾椎骨1個 (0.15g)、不明骨5個 (1.29g)、埋土：不明骨5 個 (0.45g)、貼床：不明骨5個 (1.14g)	フトウ科1個、オニグルミ2片、不明 (同定不能) 種子1個
第7号竪穴住居跡	K-21, K-22, L-21, L-22	隅丸方形	北西壁	N52°E	3.4×3.2m	9.8㎡	27cm	1個	耕作による削平を 受けている	あり		なし	キヒ2個、不明 (同定不能) 種子1個
第8号竪穴住居跡	H-19, J-19	隅丸方形	調査区 外	?	プランが調査 区外に延びるため不明	不明	16cm	1個	耕作による削平を 受けている	あり		なし	なし
第9号竪穴住居跡	K-11, K-12, L-11	隅丸方形	南東壁	N14°E	3.6×3.6m	11.9㎡	58cm	なし	耕作による削平を 受けている	あり		床面：アオサメ顎蓋、タイ科の一種、埋土：ニホンジカ、イノシシ、 マダラ、ソウダガツオ属の一種、陸獣基部中肋骨近位端1個 (0.09g)、ニホ ンジカ下顎骨片1個 (1.18g)、ニホンジカ中肋骨近位端1個 (0.32g)、イ ノシシ第3・第4基節骨近位端2個 (1.31g)、イノシシ第4・第5基節骨面 位端1個 (0.07g)、マダラ骨片1個 (0.07g)、陸獣破片2個 (2.31g)、硬 骨魚類1個 (0.04g)、不明骨119個 (10.13g)、貼床：イノシシ種子骨1 個 (0.09g)、ソウダガツオ属椎骨1個 (0.02g)、ソウダガツオ属尾椎骨2個 (0.09g)、ソウダガツオ属椎骨1個 (0.07g)、硬骨魚類椎骨片2個 (0.09g)、不明骨37個 (3.25g) 床面：イノシシ第2・第5基節骨1個 (0.25g)、 小型哺乳類手根or足根1個 (0.25g)、アオサメ顎骨1個 (0.01g)、タイ科 骨1個 (0.01g)、不明骨76個 (3.29g)	カマド：不明 (形状残存) 種子2個
第10号竪穴住居跡	C-24, D-24, E-24	隅丸長方形	—	—	4.5×2.5m	10.5㎡	22cm	3個	IIIa層上面	なし		なし	炬：タテ科1個、ウルシ？・アサダ属 ？各1個、不明 (同定不能) 種子2個、 不明 (形状残存) 種子1個
第11号竪穴住居跡	A-21, B-21	円形または 楕円形	—	—	第12号竪穴 住居跡に切 られるため 不明	不明	28cm	なし	耕作による削平を 受けている	なし		なし	なし
第12号竪穴住居跡	A-21, B-21	円形または 楕円形	—	—	プランが調査 区外に延びるため不明	不明	28cm	2個	耕作による削平を 受けている	なし		床面：イヌ科大腿骨近位端1個 (0.78g)、陸獣破片1個 (0.72g)、不明 骨14個 (1.02g)	不明 (同定不能) 種子1個
第13号竪穴住居跡	J-12, K-11ほか	不明	—	—	不明	不明	20cm	なし	耕作による削平を 受けている	なし			
第14号竪穴住居跡	J-5, J-6, K-5, K-6ほか	不明	—	—	不明	不明	0cm	なし	耕作による削平を 受けている	なし		不明骨15個 (1.22g)	
第1号掘立柱建跡	L-21, L-22, M-22	2間×1間	—	—	北側 側柱 2.3、2.4m、 南側 側柱 2.3、2.4、西 側 側柱 2.2 m、東側側 柱 2.3m	不明	—	—	耕作による削平を 受けている	なし		なし	なし

第3節 土 坑

第1号土坑（第25図）

<位 置>南側調査区南東部に位置する。グリッドはM-23区である。 <平面形>楕円形。

<規 模>0.80×0.73m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径2～3mm程度のローム（V層起源）をブロック状に少量含む。

<壁>基本層序V層が壁となり、皿状にゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序VI層上面が底となる。検出面からの深さは18cmである。底面の凹凸はなく平滑であるが、明確な平坦面は作られていない。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第2号土坑（第25図）

<位 置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはM-23区。

<平面形>楕円形であるが、南西部がやや張り出す箇所がある。

<規 模>0.80×0.67m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径2～3mm程度のローム（V層起源）をブロック状に少量含む。

<壁>基本層序V層が壁となり、ゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序VI層上面が底となる。検出面からの深さは21cmである。底面の凹凸はなく平滑であるが、明確な平坦面は作られていない。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第3号土坑（第25図）

<位 置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはM-23区である。

<平面形>残存する部分は長楕円形である。

<規 模>(0.62)×0.78m。 <重複関係>第4号土坑に切られる。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径1～2mm程度のローム（V層起源）をブロック状に少量含む。

<壁>基本層序V層が壁となる。ゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅵ層上面が底となる。検出面からの深さは21cm。平坦であるが壁との境界は明瞭ではない。
<出土遺物>なし。
<時期>不明。

第4号土坑（第25図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはM-23区。 <平面形>不整楕円形。
<規模>1.35×1.15m。 <重複関係>第3号土坑を切る。
<検出面>表土直下、Ⅴ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。
<埋土>
1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。
2層：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。
<壁>基本層序Ⅴ層が壁となり、ゆるやかに立ち上がる。
<底>基本層序Ⅵ層上面が底となる。検出面からの深さは25cm。凹凸はなく平坦である。
<出土遺物>出土総量は7gであるが掲載基準をみたさなかった。
<時期>不明。

第5号土坑（第26図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはM-25区である。 <平面形>不整楕円形。
<規模>0.22×0.19m。 <重複関係>なし。
<検出面>表土直下、Ⅴ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。
<埋土>調査時のミスによりエレベーション図のみ作成した。
<壁>基本層序Ⅴ・Ⅵ層が壁となる。検出面から30cm程度のプラン西部に平坦面がみとめられる。
<底>基本層序Ⅵ層中が底となる。検出面からの深さは63cm。壁との境界が明確で、柱穴状を呈する。
<出土遺物>なし。
<時期>不明。

第6号土坑（第13図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはN-23区である。 <平面形>不整円形。
<規模>0.47×0.45m。 <重複関係>第1号住居跡、第8号土坑を切る。
<検出面>表土直下、Ⅴ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。
<埋土>
1層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径5mm程度のローム（Ⅴ層起源）をブロック状に含む。
<壁>基本層序Ⅴ層が壁となる。皿状にゆるやかに立ち上がる。
<底>基本層序Ⅴ層が底となる。検出面からの深さは5cm。微妙な凹凸があり南側がやや低くなっている。
<出土遺物>なし。
<時期>不明。

第7号土坑（第24図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはM-21区。 <平面形>不整形。

<規模>0.83×0.83cm。 <重複関係>第1号掘立柱建物跡に切られる。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

2層：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。

<壁>基本層序V層が壁となる。北側は第8号土坑に切られるが、南側は丸みを帯びつつ検出面付近ではほぼ垂直にたちがある。

<底>基本層序V層およびVI層が底となる。ほぼ水平である。検出面からの深さは7cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は、112gである。全体の73.2%にあたる82gを図示した。第41図14・16はいずれも外面に回転縄文が施された縄文土器の体部破片である。

<時期>不明。

第8号土坑（第13図）

<位置>南側調査区東部に位置する。グリッドはN-23である。 <平面形>楕円形。

<規模>1.75×1.30m。 <重複関係>第1号住居跡を切る。第6号住居跡に切られる。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：2.5YR1.7/1 赤黒色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

3層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径5mm～1cm程度のローム（V層起源）をブロック状に含む。

4層：7.5YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性強 しまり中。

<壁>基本層序V層および第1号住居跡埋土が壁となる。比較的急角度で立ち上がる。

<底>基本層序VI層が床となる。ほぼ水平な平坦面をもつ。検出面からの深さは23cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は59gであるが、すべて掲載基準に満たさない資料であった。

<時期>古代以降と考えられる。

第9号土坑（第24図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはM-21区である。 <平面形>楕円形。

<規模>1.05×0.93cm。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5mm程度の炭化物粒を多量に含む。

<壁>基本層序V層が壁となる。底面と壁との境界は比較的明瞭で、約45°でたちあがる。

<底>基本層序V層が底となる。検出面からの深さは21cm。若干の凹凸があるがほぼ平坦である。

<出土遺物>土器の出土総重量は208gである。総数の55.3%にあたる115gを掲載した。第41図3は底面出土で、やや張り出しが弱いがキャリパー形を呈する深鉢の口縁部破片である。第42図10は埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時期>不明。

第10号土坑（第26図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはN-21区である。 <平面形>不整円形。

<規模>0.77×0.75cm。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

3層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。

<壁>基本層序V層が壁となる。北側はほぼ垂直に掘込まれており、南側は丸みを帯びながらゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序V・VI層が底となる。検出面からの深さは31cm。やや凹凸があるがほぼ平坦である。

<出土遺物>土器の出土総量は38gである。すべて掲載基準をみたさない細片であった。

<時期>不明。

第11号土坑（第23図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはB-20である。 <平面形>円形。

<規模>0.88×0.86m。 <重複関係>第12号住居跡との重複関係が想定されるが、表土直下で第12号住居跡の床面が削平された状態で検出されたため、新旧関係を確定する根拠に欠ける。

<検出面>表土直下、IV層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲa層が壁となる。底との境界が明確ではなく、緩やかに立ち上がる壁を有する。

<底>基本層序Ⅲa層が底となる。やや波打ち、検出面からの深さは9cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第12号土坑（第30図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはE-20区である。 <平面形>不整楕円形。

<規模>0.39×0.33m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上面。

<埋土>

1層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。

<壁>基本層序IV・V層が壁となる。底との境界が明確で、ほぼ垂直に立ち上がる壁をもつ。

<底>基本層序V層が底となる。ほぼ水平な平坦面をもつ底である。検出面からの深さは32cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は52gである。すべて掲載基準を満たさない細片であった。

<時期>掘込面から縄文時代と判断される。

第13号土坑（第26図）

<位置>北側調査区中央部に位置する。グリッドはJ-9区である。 <平面形>円形。

<規模>0.24×0.23m。 <重複関係>なし。

<検出面>南部捨て場3e層直下、Ⅲb1層上面。 <掘込面>Ⅲb1層上面。

<埋土>

1層：5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径1cm程度の炭化物粒を多量に含む。

2層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強 径1mm程度の炭化物粒を微量に含む。

<壁>Ⅲb1層が壁となり、ほぼ垂直に立ち上がる。

<底>検出面からの深さは13cmをはかる。北側がやや高いが平坦な底をもつ。

<出土遺物>出土総重量は42gである。すべて掲載基準をみたさない細片であった。

<時期>掘込面から縄文時代前期後葉以前と判断される。

第14号土坑（第14図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-10・K-10である。 <平面形>円形。

<規模>0.26×0.24m。 <重複関係>南部捨て場3d層を切る。

<検出面>南部捨て場3d層上面。 <掘込面>南部捨て場3d層上面。

<埋土>

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>南部捨て場3d・3e層が壁となる。柱穴状に急角度で立ち上がる。

<底>南部捨て場3e層が底となり、検出面からの深さは21cmをはかる。比較的平坦でほぼ水平の底面を有する。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代前期後葉～中期前葉と考えられる。

第15号土坑（第24図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはL-22区である。 <平面形>円形。

<規模>0.53×0.50m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり強 径5mm程度の炭化物を微量に含む。

<壁>基本層序V層が壁となる。皿状に立ち上がる。

<底>基本層序V層が底となる。検出面からの深さは5cm。微妙な凹凸があり、壁との境界は明瞭ではない。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第16号土坑（第24図）

<位 置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはM-20区である。 <平面形>円形。

<規 模>0.32×0.30m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

<壁>基本層序V層が壁となり、急角度でちががある。

<底>基本層序VI層が底となりほぼ水平である。検出面からの深さは32cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は49gである。総数の100.0%にあたる49gを掲載した。第41図15は、外面に回転縄文を有する縄文土器体部破片である。

<時 期>不明。

第17号土坑（第26図）

<位 置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはN-21区である。 <平面形>不整形円形。

<規 模>0.29×0.28m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱。

2層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序V層が壁となる。南側はほぼ垂直に立ち上がるが、北側は丸みを帯びつつ比較的ゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序VI層が底となる。検出面からの深さは13cm。微妙な凹凸があり、壁との境界も明確ではない。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第18号土坑（第26図）

<位 置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはN-21区である。 <平面形>円形。

<規 模>0.33×0.32m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 ローム（V層起源）を多量に含む。

2層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり弱 径5mm程度のローム（V層起源）を少量含む。

3層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径5mm程度のローム（V層起源）を少量含む。

<壁>基本層序V層が壁となる。ほぼ垂直にちががあり、南側ではややオーバーハングする箇所もある。

<底>基本層序V・VI層が底となる。検出面からの深さは24cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第19号土坑（第30図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはE-20区である。 <平面形>不整形円形。

<規模>0.29×0.28m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲ a層直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>Ⅲ b層上面。

<埋土>

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が壁となる。柱穴状土坑であり、総じて急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が底となる。やや傾斜しているが明確な平坦面をもつ底である。検出面からの深さは32cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は47gである。すべて掲載基準を満たさない細片であった。

<時期>掘込面から縄文時代前～中期と判断される。

第20号土坑（第26図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはN-21区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.34×0.29m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅴ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 Ⅵ層起源の礫を少量含む。

<壁>基本層序Ⅴ層が壁となり、急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅴ層およびⅥ層が底となる。北側がやや低い傾斜のある底面であり、検出面からの深さは13cmである。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第21号土坑（第13図）

<位置>南側調査区東部に位置する。グリッドはN-23区である。 <平面形>円形。

<規模>0.63×0.44m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅴ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径3mm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を少量含む。

<壁>基本層序Ⅴ層が壁となる。南側ではゆるやかなカーブを描いて立ち上がるが、北側でやや凹凸がある。

<底>基本層序Ⅴ・Ⅵ層が底となる。検出面からの深さは21cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第22号土坑（第13図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはN-22区である。 <平面形>楕円形。

<規 模>0.50×0.46m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径3mm程度のローム(基本層序V層起源)を少量含む。

<壁>基本層序V層が壁となる。やや急角度で立ち上がる。

<底>基本層序V・VI層が底となり、ほぼ平坦である。検出面からの深さは14cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第23号土坑 (第24図)

<位 置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはM-22区である。 <平面形>円形。

<規 模>0.73×0.71m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序V層が壁となる。北側ではやや凹凸があるが、南側でなめらかなカーブを描きながら立ち上がる。

<底>基本層序V・VI層が底となり、ゆるやかな丸みを帯びた皿状の底面を呈する。検出面からの深さは16cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第24号土坑 (第24図)

<位 置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはL-22区である。 <平面形>不整楕円形。

<規 模>0.77×0.64m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、V層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。

<壁>基本層序V層が壁となる。南側ではやや凹凸を持ちながら、比較的急角度で立ち上がる。

<底>基本層序V・VI層が底となる。微妙な凹凸がありながらもほぼ平坦である。検出面からの深さは14cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第25号土坑

<位 置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはD-24区である。 <平面形>不整楕円形。

<規 模>1.50×1.30m。 <重複関係>第10号住居跡、第37号土坑を切る。

<検出面>Ⅱ層直下、Ⅲ a 層上面。 <掘込面>Ⅲ a 層上面。

<埋 土>

1層：10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径5mm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を微量に含む。

2層：10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 径5mm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を多量に含む。

3層：10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

4層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。ほぼ摺鉢状に緩やかなカーブを描いてたちがある。

<底>基本層序Ⅲ b層が底となる。皿状にくぼむ。検出面からの深さは50cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は、1,208gである。総数の48.8%にあたる590gを掲載した。第41図12は縄文土器口縁部破片、第41図17～21および第42図6・7・11は縄文土器体部破片、第4図2・4は縄文土器底部破片である。すべて埋土から出土している。

<時 期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第26号土坑（第27図）

<位 置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはE-22区である。 <平面形>楕円形。

<規 模>0.36×0.32m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a 層中。 <掘込面>Ⅲ a 層中。

<埋 土>

1層：7.5YR3/4 褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a層が壁となる。底面との境界が明確ではなく、緩やかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が底となる。微妙な凹凸があるがほぼ水平で、検出面からの深さは3cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第27号土坑（第27図）

<位 置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはD-21、D-22、E-21、E-22区である。

<平面形>楕円形。

<規 模>1.52×1.47m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a 層中。 <掘込面>Ⅲ a 層中。

<埋 土>

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。ほぼ垂直に立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が底となる。皿状に窪む底面をもつ。検出面からの深さは15cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は120gである。全体の100.0%にあたる120gを掲載した。第41図22および第42図7・11はいずれも埋土から出土した縄文土器体部破片である。

<時 期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第28号土坑（第27図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはE-22区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.42×0.30m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。比較的急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が底となる。東が低くやや傾斜しているが、ほぼ平坦な底をもつ。検出面からの深さは21cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は23gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時期>不明。

第29号土坑（第26図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはC-22区である。

<平面形>他遺構に切られているが、楕円形になるものと考えられる。

<規模>0.97×0.80m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 ローム（基本層序Ⅴ層起源）をやや多量に含む。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ層が壁となる。西部はややオーバーハングするが、それ以外はほぼ垂直に掘込まれている。

<底>基本層序Ⅵ層が底となる。西側にやや傾斜しており。礫層であるⅥ層を底としていることもあって、やや凹凸がある。検出面からの深さは62cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は462gである。総数の22.3%にあたる103gを掲載した。第41図23、第42図9・14はいずれも埋土出土の縄文土器体部破片である。また、寛永通宝も2層より出土した（第226図6）。このほか、ヒトの上顎・下顎および歯が計50gあまり出土している（第3表）。人骨はすべて発掘中に回収したものであり、フローテーションは実施しなかった。

<時期>出土遺物と人骨から、近世の墓坑と考えられる。

第30号土坑（第26図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはC-22、C-23区である。 <平面形>不整卵形。

<規模>0.90×0.72m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。やや凹凸をもちながら緩やかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が底となる。微妙な凹凸があり東側にやや傾斜しており、壁との境界は不明瞭である。やや検出面からの深さは14cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総重量は、255gである。全体の16.5%にあたる42gを図示した。第42図13は埋土出土縄文土器体部破片である。

<時期>不明。

第31号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。C-22、C-23区である。 <平面形>不整長楕円形。

<規模>0.55×0.32m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR2/3 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。北西側は角度がきつく、南東側はゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が底となる。明確な平坦面はなく、丸みをおびる。検出面からの深さは23cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は25gである。すべて掲載基準を満たさない細片である。

<時期>不明。

第32号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはC-23区である。 <平面形>円形。

<規模>0.32×0.31m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅱ層直下、Ⅲ a層中。 <掘込面>Ⅲ a層上面。

<埋土>

1層：7.5YR2/3 極暗赤褐色 粘性やや弱 しまり弱。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。柱穴状で、急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。やや不明瞭ではあるが平坦面をもつ。検出面からの深さは29cmをはかる。

<出土遺物>出土総量は54gである。すべて掲載基準を満たさない細片である。

<時期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第33号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはA-23区である。 <平面形>円形。

<規模>0.25×0.24m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ a層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径2cm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を多量に含む。

2層：7.5YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。ほぼ垂直に掘込まれた柱穴状土坑である。アタリと考えられる中

心部が深く、そこよる10cm程度あがったところから張り出しがある。

<底>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が底となる。明確な平坦面はみられず、やや不規則な凹凸と傾斜が見られる。検出面からの深さは42cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は34gである。すべて掲載基準を満たさない細片であった。

<時期>不明。

第34号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはA-22区である。

<平面形>西側が調査区外に入り、部分的に他遺構に切られているため不明。

<規模>不明。 <重複関係>第43号土坑に切られる。

<検出面>表土直下、Ⅲa層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 ローム（基本層序Ⅴ層起源）をやや多量に含む。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。約45°程度の傾斜で立ち上がり、北側ではやや凹凸がある。

<底>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が底となる。壁との境界は明確ではなく、明確な平坦面はない。検出面からの深さは34cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は52gであった。すべて掲載基準を満たさない細片である。

<時期>不明。

第35号土坑（第27図）

<位置>グリッドはE-20、E-21区である。 <平面形>不整楕円形。

<規模>2.55×1.92m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 中振火山灰と考えられるテフラをブロック状に微量に含む。

2層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。底との境界が明確ではなく、緩やかに立ち上がる壁をもつ。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。東側が低く皿状に窪む底をもつ。検出面からの深さは27cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は1,594gである。全体の55.8%にあたる889gを図示した。第42図13は埋土出土の縄文土器口縁部破片である。第42図15・16、18～20、24～27、第43図15・17は縄文土器体部破片で、すべて埋土からの出土である。第44図5も埋土から出土した縄文土器の体部・底部破片である。

<時期>不明。

第36号土坑（第27図）

<位置>グリッドはF-21区である。 <平面形>不整円形。

<規 模>0.28×0.23m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：7.5YR3/2 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ b層が壁となる。柱穴状を呈する。微かな凹凸を伴い、ほぼ垂直に掘込まれた壁である。

<底>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が底となり、微かな凹凸がある。検出面からの深さは20cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第37号土坑 (第25図)

<位 置>グリッドはD-24区である。

<平面形>西側はトレンチにより不明であるが、円形もしくは楕円形とおもわれる。

<規 模>0.98×? m。 <重複関係>第40号土坑を切る。

<検出面>表土直下、基本層序Ⅳ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径1 cm程度の炭化物および径2 mm程度の焼土粒をやや多量に含む。

<壁>基本層序Ⅳ層が壁となる。

<底>Ⅳ層が底となる。検出面からの深さは14cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は97 gである。全体の46.4%にあたる45 gを図示した。第42図21は、埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時 期>不明。

第38号土坑 (第22図)

<位 置>グリッドはD-24区である。

<平面形>西部はトレンチ掘削により消滅したが、円形もしくは楕円形と考えられる。

<規 模>0.21×? m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲ a層直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>Ⅲ b層上面。

<埋 土>

1層：10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が壁となる。柱穴状を呈し、垂直に近い角度で立ち上がる。

<底>Ⅳ層が底となる。検出面からの深さは38cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は46 gである。総数の100.0%にあたる46 gを掲載した。第42図17は、埋土出土縄文土器体部破片である。

<時 期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第39号土坑 (第22図)

<位 置>グリッドはE-24区である。 <平面形>円形。

<規 模>0.25×0.24m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、基本層序Ⅳ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅳ層が壁となる。ほぼ垂直に立ち上がる壁をもつ。

<底>基本層序Ⅳ層が底となり、比較的明確な平坦面をもつ。検出面からの深さは15cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第40号土坑（第25図）

<位 置>南側調査区南西部に位置する。D-24、D-25区である。

<平面形>西側はトレンチにより消滅しているが、ほぼ円形と思われる。

<規 模>1.90×(1.24) m。 <重複関係>第37号土坑に切られる。

<検出面>Ⅱb層直下、Ⅲa層上面。 <掘込面>Ⅲa層上面。

<埋 土>

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強。

2層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 径5mm程度の炭化物粒および焼土粒を微量に含む。

3層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強 径5mm程度の炭化物粒および焼土粒を少量含む。

4層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強 径5mm程度の炭化物粒および焼土粒を多量に含む。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。

<底>基本層序Ⅲb層が底となる。検出面からの深さは37cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は1,343gである。全体の28.2%にあたる379gを掲載した。第41図5・8・10・28は、埋土出土縄文土器口縁部破片である。第41図1・22・23・29～30も埋土出土の体部破片である。

<時 期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第41号土坑（第25図）

<位 置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはD-24区である。 <平面形>楕円形。

<規 模>0.70×0.60m。 <重複関係>第42号土坑を切る。

<検出面>第25号土坑直下。 <掘込面>第25号土坑に切られる。

<埋 土>

1層：7.5Y3/1 オリーブ 砂質シルト 粘性強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲb層および第42号土坑埋土が壁となる。やや凹凸をもちながらゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲb層となる。検出面からの深さは17cmをはかる。平坦な底部の範囲は狭く、すり鉢状を呈する。

<出土遺物>土器の出土総量は34gである。掲載基準を満たさない細片であった。

<時 期>不明。

第42号土坑（第42図）

<位 置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはD-24区である。

<平面形>南西部が切られているが、不整楕円形と考えられる。

<規 模> (0.39) × 0.60m。 <重複関係>第41号土坑に切られる。

<検出面>第25号土坑直下。 <掘込面>第25号土坑に切られる。

<埋 土>

1層：7.5Y2/2 オリーブ黒 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲ b層が壁となる。比較的急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲ b層が底となる。検出面からの深さは14cmをはかる。凹凸があり、北側がやや高くなる。

<出土遺物>土器の出土総重量は26 gである。掲載基準を満たさない細片であった。

<時 期>不明。

第43号土坑（第28図）

<位 置>南側調査区西部に位置する。グリッドはA-22区である。

<平面形>西側が調査区外にはいっており不明であるが、長楕円形になるものと考えられる。

<規 模>不明。 <重複関係>第34号土坑を切る。

<検出面>表土直下、基本層序Ⅳ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。やや急角度で立ち上がる壁をもつ。

<底>基本層序Ⅴ層が底となる。明確な平坦面がなく壁との境界は不明瞭で、やや尖り気味の底となる。検出面からの深さは31cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第44号土坑（第29図）

<位 置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-2区である。 <平面形>楕円形。

<規 模>0.57×0.46m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅳ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径5 mm程度の炭化物粒を少量含む。

<壁>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。微妙な凹凸をもちつつ、急角度で立ち上がる。

<底>Ⅴ層が底となる。丸みをおび、壁との境界は明確ではない。検出面からの深さは35cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総重量は、212 gである。全体の25.5%にあたる54 gを図示した。第42図24は、埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時 期>不明。

第45号土坑（第29図）

<位 置>北側調査区北部に位置する。グリッドは J - 3 区である。 <平面形>不整形。

<規 模>0.35×0.35m。 <重複関係>第48号土坑を切る。

<検出面>表土直下、IV層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強 径2mm程度の炭化物粒を少量含む。

<壁>基本層序IV層が壁となる。急角度で立ち上がる。

<底>IV・V層が底となる。水平な平坦面をもつ。検出面からの深さは27cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は32gである。掲載基準を満たさない細片であった。

<時 期>不明。

第46号土坑（第29図）

<位 置>北側調査区北部に位置する。グリッドは J - 2、J - 3 区である。 <平面形>楕円形。

<規 模>1.32×1.00m。 <重複関係>第48号土坑を切る。第53号土坑に切られる。

<検出面>表土直下、IV層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中。

<壁>基本層序IV・V・VI層が壁となる。北側は切られているが、全体的にオーバーハングする壁となる。

<底>基本層序VI層が底となる。微妙な凹凸があるが、ほぼ水平な平坦面をもつ。検出面からの深さは42cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は1,090gである。全体の68.5%にあたる747gを掲載した。第41図6・7・9はすべて埋土出土縄文土器口縁部破片、第42図2～5、25～27も埋土出土縄文土器体部破片である。第44図1・6は、埋土出土底部破片である。

<時 期>層位からは判断できず不明。断面形状からみて縄文時代のフラスコ状土坑と考えられる。

第47号土坑（第29図）

<位 置>北側調査区北部に位置する。グリッドは J - 2 区である。 <平面形>楕円形。

<規 模>0.37×0.15m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、IV層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：7.5YR5/6 明褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序IV・V層が壁となる。東側はほぼ垂直に立ち上がるが、西側はゆるやかに立ち上がる。

<底>V層が底となる。微妙な凹凸をもち、東側にやや傾斜する。検出面からの深さは15cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時 期>不明。

第48号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-2、J-3区である。 <平面形>円形。

<規模>1.32×?m。 <重複関係>第45・46号土坑に切られる。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となり、緩やかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となり、ほぼ水平な平坦面をもつ。検出面からの深さは3cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第49号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-5、K-5区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.73×0.63m。 <重複関係>第52号土坑に切られる。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径5mm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を少量含む。

2層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 径5mm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を少量含む。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。ほぼ垂直に掘り込まれている。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。凹凸をもちつつ南東側に傾斜している。検出面からの深さは23cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は652gである。全体の34.5%にあたる225gを掲載した。第42図28は埋土出土の土師器片、第42図29・30、第43図18は縄文土器体部片である。第44図3は埋土出土の縄文土器底部片である。

<時期>掘込面は削平を受けているが、出土遺物からみて古代以降と考えられる。

第50号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-5区である。 <平面形>円形。

<規模>0.47×0.42m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

<壁>Ⅲb・Ⅳ層が壁となり、緩やかに立ち上がる。

<底>Ⅳ層が底となる。凹凸が比較的はげしい。検出面からの深さは9cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は248gである。総数の71.8%にあたる178gを掲載した。第41図2は埋土出土の縄文土器口縁部破片である。

<時期>出土遺物から見て縄文中期以降と考えられる。

第51号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-3区である。

<平面形>西側は調査区外であるが、楕円形と思われる。

<規模>?×0.70m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、IV層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径3cm程度のローム（基本層序V層起源）を多量に含む。

<壁>IV層が壁となる。比較的急角度で立ちあがる。

<底>IV層が底となる。東側が深く丸みを帯びた底をもつ。西側は調査区外に出ているため不明。検出面からの深さは22cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は175gである。総数の20.0%にあたる35gを掲載した。第41図11は、埋土出土縄文土器口縁部破片である。

<時期>不明。

第52号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-5区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.45×0.32m。 <重複関係>第49号土坑を切る。

<検出面>表土直下、IV層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR2/3 極暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径2cm程度のローム（基本層序V層起源）および黒色土（旧表土起源か）を多量に含む。

<壁>基本層序IV層が壁となる。南東側は急角度の壁となっているが、それ以外はゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序IV層が底となる。壁との境界は不明瞭で、丸みをおびる。検出面からの深さは16cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は67gである。総数の46.3%にあたる31gを掲載した。第43図1は、埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時期>不明。

第53号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-2区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.60×0.43m。 <重複関係>第46号土坑を切る。

<検出面>表土直下、IV層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強。

<壁>基本層序IV・V層が壁となる。急角度で直線的に立ち上がる。

<底>基本層序V層が底となる。微妙な凹凸があるが、ほぼ水平な底である。検出面からの深さは60cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は11gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時期>不明。

第54号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはA-22、B-22区である。 <平面形>不整楕円形。

<規模>0.78×0.68m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅳ層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR5/6 明褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅳ層が壁となる。底との境界は比較的明瞭で、約45°で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。やや凹凸がありながらも、ほぼ水平な底をもつ。検出面からの深さは5cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第55号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはA-22、B-22区である。 <平面形>不整円形。

<規模>0.65×0.63m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲb層中。 <掘込面>Ⅲb層中。

<埋土>

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。

3層：10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。比較的急角度で直線的に立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。やや凹凸があるが、ほぼ水平な底をもつ。検出面からの深さは9cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代前期以前と考えられる。

第56号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-22区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.66×0.58m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲa層中。 <掘込面>Ⅲa層中。

<埋土>

1層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中。

2層：10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。比較的急角度で直線的に立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が底となる。若干丸みをおびるが、ほぼ水平な底となる。検出面からの深さは22cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から見て縄文時代と考えられる。

第57号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-23区である。 <平面形>不整卵形。

<規模>0.82×0.75m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅱ層直下、Ⅲa層上面。 <掘込面>Ⅲa層上面。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中 径1cm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を少量含む。

2層：10YR5/3 黄褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。比較的急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が底となる。ほぼ水平な平坦面となる。検出面からの深さは20cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第58号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-23区である。 <平面形>円形。

<規模>0.54×0.52m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅱ層直下、Ⅲa層上面。 <掘込面>Ⅲa層上面。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中。

2層：10YR5/3 黄褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。比較的急角度で立ち上がる。西側は直線的な壁であるが、東側は丸みをおびつつ立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が底となる。検出面からの深さは12cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第59号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-23区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.79×0.75m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅱ層直下、Ⅲa層上面。 <掘込面>Ⅲa層上面。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

2層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。やや丸みをおびつつ、比較的急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅲb層が底となり、ほぼ水平な平坦面がみられる。検出面からの深さは14cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は86gである。全体の50.0%にあたる43gを図示した。第43図10は、埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第60号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-22区である。 <平面形>円形。

<規模>0.60×0.60m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲa層上面。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 礫（基本層序Ⅵ層起源）を多量に含む。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。丸みをおび比較的急角度で立ち上がるが、底との境界は明確ではない。

<底>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が底となる。丸みをおび、西側が深くなっている。検出面からの深さは23cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第61号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-22区である。 <平面形>不整形円形。

<規模>0.60×0.55m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲa層上面。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

2層：10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲa・Ⅲb層が壁となる。西側が深く、急角度で立ち上がる。東側は底との境界が不明瞭である。

<底>基本層序Ⅲb層が底となり、やや傾斜した底面となる。検出面からの深さは15cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>不明。

第62号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-22区である。 <平面形>楕円形。

<規模>1.05×0.90m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲa層上面。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

2層：10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。やや丸みをおびながら比較的急角度で立ち上がる。
<底>基本層序Ⅳ層が底となる。若干丸みをおびた底となる。検出面からの深さは17cmをはかる。
<出土遺物>なし。
<時期>不明。

第63号土坑（第28図）

<位置>南側調査区西部に位置する。グリッドはB-23、C-23区である。 <平面形>楕円形。
<規模>0.87×0.78m。 <重複関係>なし。
<検出面>Ⅱ層直下、Ⅲ a層上面。 <掘込面>Ⅲ a層上面。
<埋土>
1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱。
2層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。
<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅲ b層が壁となる。比較的急角度で直線的に立ち上がる。
<底>Ⅲ b・Ⅳ層が壁となる。やや丸みをおび、南側にやや傾斜した底となる。検出面からの深さは27cmをはかる。
<出土遺物>土器の出土総量は74gであるが、掲載基準を満たさない細片である。
<時期>不明。

第64号土坑（第25図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-24、D-24である。 <平面形>不整卵形。
<規模> (1.55) ×0.90m。 <重複関係>第65号土坑に切られる。
<検出面>Ⅱ b層直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>Ⅲ b層上面。
<埋土>
1層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。
<壁>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が壁となる。比較的急角度で立ち上がる。
<底>基本層序Ⅳ層が底となる。東部でやや波打つがほぼ平坦な底である。検出面からの深さは16cmをはかる。
<出土遺物>土器の出土総量は281gである。全体の58.4%にあたる164gを図示した。第41図4は、第65号土坑の出土土器と接合する縄文土器体部破片である。第43図2・3・13は、埋土出土の体部破片である。
<時期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第65号土坑（第25図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドは、C-24、D-24である。 <平面形>楕円形。
<規模>0.77×0.67m。 <重複関係>第64号土坑を切る。
<検出面>Ⅱ a層直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>Ⅲ b層上面。
<埋土>
1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。
<壁>第64号土坑埋土が壁となる。やや凹凸があるが比較的ゆるやかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。検出面からの深さは18cmをはかる。やや凹凸があるがほぼ水平な底である。
<出土遺物>土器の出土総量は1,476gである。全体の54.6%にあたる806gを図示した。第41図1は、埋土出土の縄文土器口縁部破片、第41図4は第64号土坑出土の土器と接合した体部破片である。第43図4は埋土出土体部破片、22は埋土出土底部破片である。
<時期>掘込面から縄文時代～古代と考えられる。

第66号土坑（第30図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-22、D-22区である。 <平面形>不整形円形。
<規模>1.57×1.54m。 <重複関係>第29号土坑に切られる。
<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上。
<埋土>
1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱。
<壁>Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。沢部に落ち込む南側の壁はほとんどのこっていない。北側は急角度で立ち上がる。
<底>Ⅴ層が底となる。検出面からの深さは27cmをはかり、ほぼ水平な底面である。
<出土遺物>土器の出土総量は114gである。全体の36.0%にあたる41gを図示した。第43図5は、埋土出土縄文土器体部破片である。
<時期>不明。

第67号土坑（第30図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-22区である。 <平面形>楕円形。
<規模>0.35×0.29m。 <重複関係>第68号土坑を切る。
<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上面。
<埋土>
1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強。
<壁>Ⅲb層および第68号土坑埋土が壁となる。北側はやや急角度で立ち上がるが、南側のたちあがりゆるやかである。
<底>Ⅳ層が底となる。検出面からの深さは22cmをはかる。
<出土遺物>土器の出土総量は24gである。掲載基準を満たさない細片である。
<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第68号土坑（第30図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-22区である。 <平面形>不整形卵形。
<規模>1.02×0.86m。 <重複関係>第67・69号土坑に切られる。
<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上面。
<埋土>
1層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。
2層：5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。沢部に近い南側は壁はほとんど残存していないが、北側の壁はやや急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。検出面からの深さは29cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は10gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第69号土坑（第30図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-22区である。 <平面形>やや角張った不整形円形。

<規模>0.54×0.54m。 <重複関係>第68号土坑を切る。

<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上面。

<埋土>

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。

2層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 柱痕または杭痕と思われる。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。柱・杭痕はやや北側に傾きながらもほぼ垂直に深く認められる。上部の壁は浅くゆるやかにたちあがる。

<底>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が底となる。検出面からの深さは50cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第70号土坑（第26図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはD-23である。

<平面形>北側はトレンチ掘削のため確認できないが、楕円形もしくは円形と思われる。

<規模>0.67×?m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲb層下面、Ⅳ層上面。 <掘込面>Ⅳ層上面。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径5mm程度の炭化物粒を少量含む。

<壁>基本層序Ⅳ層が壁となる。全体が均一に緩やかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。壁との境界は明確ではない。検出面からの深さは20cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第71号土坑（第27図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはE-20区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.39×0.31m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径5mm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）を微量に含む。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。ほぼ垂直に立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。微妙な凹凸があるがほぼ水平な底をもつ。検出面からの深さは27cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は108gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時期>不明。

第72号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。 <平面形>不整楕円形。

<規模>0.54×0.43m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱。

2層：10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強 径1cm程度のローム（基本層序Ⅴ層起源）および炭化物を微量に含む。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。柱穴状を呈し、中心部が深くなる。上段と下段の壁は、いずれもほぼ垂直に近い角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅴ層が底となる。検出面からの深さは36cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は391gである。全体の51.2%にあたる200gを図示した。第43図6～8、14、19はすべて埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時期>不明

第73号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。 <平面形>不整楕円形。

<規模>0.33×0.29m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。東側にむかってやや斜めに掘込まれている。

<底>基本層序Ⅴ層が底となり、明確な平坦面をもつ。検出面からの深さは37cmをはかる。

<出土遺物>土器の出土総量は210gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時期>不明。

第74号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4、J-5区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.60×0.50m。 <重複関係>上部に第2号配石遺構がのる。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性強 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。土坑上面の壁の傾斜はわずかにゆるくなるものの、全体として急角度で立ち上がっている。

<底>基本層序Ⅴ層が底となり、明確な平坦面がある。検出面からの深さは69cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は379gである。総数の46.2%にあたる175gを掲載した。第43図9、12、16はすべて埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時期>第2号配石遺構との関係から縄文時代と考えられる。

第75号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-5区である。

<平面形>西部が調査区外に出ているが、円形もしくは楕円形と考えられる。

<規模>0.73×?m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径3mm程度の炭化物粒を微量に含む。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。垂直にちかい角度で掘込まれている。

<底>基本層序Ⅴ層が底となる。北側は一段低くなっている。検出面からの深さは90cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は290gである。総数の53.4%にあたる155gを掲載した。第43図21は埋土出土の縄文土器底部破片である。

<時期>不明。

第76号土坑（第76図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-7区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.73×0.71m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋土>

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径3mm程度の炭化物粒を微量に含む。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。ほぼ垂直に掘込まれている。

<底>基本層序Ⅴ層が底となる。西側にやや傾斜する。検出面からの深さは58cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は118gである。総数の41.5%にあたる49gを掲載した。第43図11は、埋土出土の縄文土器体部破片である。

<時期>不明。

第77号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。 <平面形>不整形円形。

<規模>0.22×0.20m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲ b層が壁となる。南側が比較的急角度で立ち上がるが、北側は緩やかに立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。丸みをおび、壁との境界は不明瞭である。検出面からの深さは9 cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は4 gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時 期>不明。

第78号土坑 (第29図)

<位 置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。 <平面形>長楕円形。

<規 模>0.27×0.20m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ b層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。

2層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲ b・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。柱穴状を呈しており、ほぼ垂直に掘込まれている。

<底>基本層序Ⅴ層が底となり、丸みをおび平坦面はない。検出面からの深さは40cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は17 gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時 期>不明。

第79号土坑 (第29図)

<位 置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。 <平面形>円形。

<規 模>0.54×0.53m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅲ b層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

2層：7.5YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲ b・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。上部が浅く、柱部と思われる中心が深く掘込まれている。

<底>基本層序Ⅴ層が底となる。若干丸みをおびた底となる。検出面からの深さは42cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は79 gである。掲載基準を満たさない細片である。

<時 期>不明。

第80号土坑 (第29図)

<位 置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。

<平面形>西部は調査区外にでており不明。

<規 模>不明。 <重複関係>上面に第4号焼土・炭化物集中区がのる。

<検出面>表土直下、Ⅲ b層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。

<埋 土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径3mm程度の炭化物粒を微量に含む。
<壁>基本層序Ⅲb層が壁となる。比較的急角度で掘込まれている。
<底>基本層序Ⅳ層が底となる。やや凹凸をともない、北側に傾斜する底となる。検出面からの深さは10cmをはかる。
<出土遺物>土器の出土総重量は17gである。細片であり、掲載基準を満たすものはない。
<時期>不明。

第81号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。 <平面形>円形。
<規模>0.28×0.27m。 <重複関係>なし。
<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。
<埋土>
1層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強。
<壁>基本層序Ⅲb、Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。柱穴状を呈し、比較的急角度でほりこまれている。
<底>基本層序Ⅴ層が底となる。非常に狭い底面で、丸みをおびる。検出面からの深さは51cmをはかる。
<出土遺物>出土総重量は67gである。全体の59.7%にあたる40gを図示した。第43図20は、埋土出土の縄文土器体部破片である。
<時期>不明。

第82号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-5、K-5区である。 <平面形>長楕円形。
<規模>0.40×0.27m。 <重複関係>なし。
<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。
<埋土>
1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱。
2層：10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱。
<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ層が壁となる。柱穴状を呈する。ほぼ垂直に掘込まれているが、西側の上部はゆるやかに立ち上がる張り出しがある。
<底>基本層序Ⅴ層が壁となる。北側に傾斜しているが、平坦な底が認められる。検出面からの深さは48cmをはかる。
<出土遺物>なし。
<時期>不明。

第83号土坑（第29図）

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-5区である。 <平面形>楕円形。
<規模>0.50×0.47m。 <重複関係>なし。
<検出面>表土直下、Ⅲb層中。 <掘込面>耕作による削平をうけている。
<埋土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中 径1cm程度の炭化物粒・ローム（基本層序Ⅴ層起源）をやや多量に含む。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。上部が浅く、中心部が深く掘込まれている。

<底>基本層序Ⅳ層が底となり、丸みをおびる。検出面からの深さは21cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は70gである。細片であり、掲載基準を満たすものはない。

<時期>不明。

第84号土坑（第30図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはF-21である。 <平面形>不整形円形。

<規模>0.22×0.21m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上面。

<埋土>

1層：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。底との境界は不明瞭ではあるが、急角度で立ち上がる壁を有する。

<底>基本層序Ⅳ層が底となる。検出面からの深さは15cmをはかる。

<出土遺物>出土土器総重量は22gである。すべて掲載基準をみたさない。

<時期>不明。

第85号土坑（第30図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはF-21である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.27×0.25m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上面。

<埋土>

1層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや強。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。ほぼ垂直に立ち上がる壁をもつ。

<底>基本層序Ⅳ層が底となり、明確な平坦面をもつ底が見られる。検出面からの深さは18cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第86号土坑（第30図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはF-21である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.30×0.26m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲa層直下、Ⅲb層上面。 <掘込面>Ⅲb層上面。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱。

<壁>基本層序Ⅲb・Ⅳ層が壁となる。ほぼ垂直に近い角度で立ち上がる。北西側には土坑上面に階段状の張り出しがある。

<底>基本層序Ⅴ層が底となる。明確な平坦面をもつ底である。検出面からの深さは22cmをはかる。

<出土遺物>出土総重量は26gである。細片であり掲載基準を満たすものはない。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第87号土坑（第30図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。F-20区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.50×0.37m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲ a層直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>Ⅲ b層上面。

<埋土>

1層：10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が壁となる。南東側には浅い張り出しが見られるが、そのほかの壁は急角度では立ち上がる。

<底>基本層序Ⅴ層が底となる。明確な平坦面をもつ底である。検出面からの深さは21cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第88号土坑（第30図）

<位置>南側調査区北西部に位置する。グリッドはF-20区である。 <平面形>円形。

<規模>0.32×0.31m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲ a層直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>Ⅲ b層上面。

<埋土>

1層：10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ b・Ⅳ層が壁となる。柱穴状を呈する。土坑上面ではやや緩やかにはなるものの、総じて急角度で立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が壁となり、底部断面はやや丸みを帯びている。検出面からの深さは34cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

第89号土坑（第30図）

<位置>北側調査区北西部に位置する。グリッドはF-20区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.28×0.22m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲ a層直下、Ⅲ b層上面。 <掘込面>Ⅲ b層上面。

<埋土>

1層：10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまり中。

<壁>基本層序Ⅲ a・Ⅳ層が壁となる。ゆるやかに丸みを帯びながら立ち上がる。

<底>基本層序Ⅳ・Ⅴ層が底となり、丸みを帯びている。検出面からの深さは8cmをはかる。

<出土遺物>なし。

<時期>掘込面から縄文時代と考えられる。

[高瀬克範]

第3表 土坑一覧表(1)

遺構名	グリッド	平面形	規模	深さ	堀込面	動物遺体	植物遺体
第1号土坑	M-23	楕円形	0.80×0.73m	18cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第2号土坑	M-23	楕円形	0.86×0.67m	21cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第3号土坑	M-23	長楕円形	(0.62)×0.78m	21cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第4号土坑	M-23	不整楕円形	1.35×1.15m	25cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第5号土坑	M-25	不整楕円形	0.22×0.19m	63cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第6号土坑	N-23	不整円形	0.47×0.45m	5cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第7号土坑	M-21	不整円形	0.83×0.83m	17cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第8号土坑	N-23	楕円形	1.75×1.30m	23cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第9号土坑	M-21	楕円形	1.05×0.93m	21cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第10号土坑	N-21	不整円形	0.77×0.75m	31cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第11号土坑	B-20	円形	0.88×0.86cm	9cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第12号土坑	E-20	不整楕円形	0.39×0.33m	32cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第13号土坑	J-9	円形	0.24×0.23m	13cm	Ⅲb1層上面	なし	なし
第14号土坑	J-10、K-10	円形	0.26×0.24m	21cm	南部捨て場3d層上面	なし	なし
第15号土坑	L-22	円形	0.53×0.50m	5cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第16号土坑	M-20	円形	0.32×0.30m	32cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第17号土坑	N-21	不整円形	0.29×0.28m	13cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第18号土坑	N-21	円形	0.33×0.32m	24cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第19号土坑	E-20	不整円形	0.29×0.28m	32cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第20号土坑	N-21	楕円形	0.34×0.29m	13cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第21号土坑	N-23	円形	0.63×0.44m	21cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第22号土坑	N-22	楕円形	0.50×0.46m	14cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第23号土坑	M-22	円形	0.73×0.71m	16cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第24号土坑	L-22	不整楕円形	0.77×0.64m	14cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第25号土坑	D-24	不整楕円形	1.50×1.30m	50cm	Ⅲa層上面	なし	なし
第26号土坑	E-22	楕円形	0.36×0.32m	3cm	Ⅲa層中	なし	なし
第27号土坑	D-21、D-22、 E-21、E-22	楕円形	1.52×1.47m	15cm	Ⅲa層中	なし	なし
第28号土坑	E-22	楕円形	0.42×0.30m	21cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第29号土坑	C-22	楕円形?	0.97×0.80m	62cm	耕作による削平を受けている	ヒト上顎・下顎245個 (41.07g)、ヒト上顎 ・歯16個(8.86g)、不 明1個(0.01g)	なし
第30号土坑	C-22、C-23	不整卵形	0.90×0.72m	14cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第31号土坑	C-22、C-23	不整長楕円形	0.55×0.32m	23cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第32号土坑	C-23	円形	0.32×0.31m	29cm	Ⅲa層上面	なし	なし
第33号土坑	A-23	円形	0.25×0.24m	42cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第34号土坑	A-22	プランが調査区外に 延びるため不明	不明	34cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第35号土坑	E-20、E-21	不整楕円形	2.55×1.92m	27cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第36号土坑	F-21	不整円形	0.28×0.23m	20cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第37号土坑	D-24	円形or楕円形	0.98×?m	14cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第38号土坑	D-24	円形or楕円形	0.21×?m	38cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第39号土坑	E-24	円形	0.25×0.24m	15cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第40号土坑	D-24、D-25	円形?	1.90×(1.24)m	37cm	Ⅲa層上面	なし	なし
第41号土坑	D-24	楕円形	0.70×0.60m	17cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第42号土坑	D-24	不整楕円形?	(0.39)×0.60m	14cm	第25号土坑に切られる	なし	なし
第43号土坑	A-22	長楕円形?	不明	31cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第44号土坑	J-2	楕円形	0.57×0.46m	35cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第45号土坑	J-3	不整円形	0.35×0.35m	27cm	耕作による削平を受けている	なし	なし

第3表 土坑一覧表(2)

遺構名	グリッド	平面形	規模	深さ	掘込面	動物遺体	植物遺体
第46号土坑	J-2、J-3	楕円形	1.32×1.00m	42cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第47号土坑	J-2	楕円形	0.37×0.15m	15cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第48号土坑	J-2、J-3	円形	1.32×?m	3cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第49号土坑	J-5、K-5	楕円形	0.73×0.63m	23cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第50号土坑	J-5	円形	0.47×0.42m	9cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第51号土坑	J-3	楕円形?	?×0.70m	22cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第52号土坑	J-5	楕円形	0.45×0.32m	16cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第53号土坑	J-2	楕円形	0.60×0.43m	60cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第54号土坑	A-22、B-22	不整楕円形	0.78×0.68m	5cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第55号土坑	A-22、B-22	不整円形	0.65×0.63m	9cm	Ⅲb層中	なし	なし
第56号土坑	B-22	楕円形	0.66×0.58m	22cm	Ⅲa層中	なし	なし
第57号土坑	B-23	不整卵形	0.82×0.75m	20cm	Ⅲa層中	なし	なし
第58号土坑	B-23	円形	0.54×0.52m	12cm	Ⅲa層上面	なし	なし
第59号土坑	B-23	楕円形	0.79×0.75m	14cm	Ⅲa層上面	なし	なし
第60号土坑	B-22	円形	0.60×0.60m	23cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第61号土坑	B-22	不整円形	0.60×0.55m	15cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第62号土坑	B-22	楕円形	1.05×0.90m	17cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第63号土坑	B-23、C-23	楕円形	0.87×0.78m	27cm	Ⅲa層上面	なし	なし
第64号土坑	C-24、D-24	不整卵形	(1.55)×0.90m	16cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第65号土坑	C-24、D-24	楕円形	0.77×0.67m	18cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第66号土坑	C-22、D-22	不整円形	1.57×1.54m	27cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第67号土坑	C-22	楕円形	0.35×0.29m	22cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第68号土坑	C-22	不整卵形	1.02×0.86m	29cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第69号土坑	C-22	不整円形	0.54×0.54m	50cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第70号土坑	D-23	楕円形or円形	0.67×?m	20cm	Ⅳ層上面	なし	なし
第71号土坑	E-20	楕円形	0.39×0.31m	27cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第72号土坑	J-4	不整楕円形	0.54×0.43m	36cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第73号土坑	J-4	不整楕円形	0.33×0.29m	37cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第74号土坑	J-4、J-5	楕円形	0.60×0.50m	69cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第75号土坑	J-5	円形or楕円形	0.73×?m	90cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第76号土坑	J-7	楕円形	0.73×0.71m	58cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第77号土坑	J-4	不整円形	0.22×0.20m	9cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第78号土坑	J-4	長楕円形	0.27×0.20m	40cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第79号土坑	J-4	円形	0.54×0.53m	42cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第80号土坑	J-4	プランが調査区外に延びるため不明	不明	10cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第81号土坑	J-4	円形	0.28×0.27cm	51cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第82号土坑	J-5、K-5	長楕円形	0.40×0.27m	48cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第83号土坑	J-5	楕円形	0.50×0.47m	21cm	耕作による削平を受けている	なし	なし
第84号土坑	F-21	不整円形	0.22×0.21m	15cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第85号土坑	F-21	楕円形	0.27×0.25m	18cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第86号土坑	F-21	楕円形	0.30×0.26m	22cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第87号土坑	F-20	楕円形	0.50×0.37m	21cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第88号土坑	F-20	円形	0.32×0.31m	34cm	Ⅲb層上面	なし	なし
第89号土坑	F-20	楕円形	0.28×0.22m	8cm	Ⅲb層上面	なし	なし

第4節 焼土・炭化物集中区 (HE)

第1号焼土・炭化物集中区 (第29図)

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-3区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.29×0.21m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下。Ⅲb層中。

<層位>

1層:5YR4/6 赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや弱 径3cm程度の黒色土を多量に含む。

<出土遺物>人工遺物はなし。すべての焼土をサンプリングし水洗したが(2.5リットル)、動物遺体は出土しなかった。植物遺体はアカザ属の種子が1個出土した。

<時期>検出面から縄文時代と考えられる。

第2号焼土・炭化物集中区 (第29図)

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-4区である。

<平面形>西側半分は調査区外であるが、ほぼ円形と思われる。

<規模>0.85×?m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、Ⅳ層上面。

<層位>

1層:5YR3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや強 径1cm程度の焼土粒・炭化物を多量に含む。

<出土遺物>出土土器総重量は7gであるが、すべて掲載基準を満たさない。石器は石鏃1点(1.4g)、剥片2点(41.0g)が出土し、石鏃を図示した。すべての焼土を水洗した結果(3.9リットル)、2個(0.10g)の部位・種不明骨片が出土した。植物遺体は、コナラ属1個が検出された。

<時期>検出面より縄文時代と考えられる。

第3号焼土・炭化物集中区 (第21図)

<位置>北側調査区中央部に位置する。グリッドはK-11区である。 <平面形>不整楕円形。

<規模>0.44×0.36m。 <重複関係>南部捨て場1層上面にのる。

<検出面>表土直下、南部捨て場1層上面。

<層位>

1層:5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 灰層。

2層:2.5YR3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性強 しまり中 骨片を微量に含む 焼土層。

3層:10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 上部に炭化物を多量に含む 燃焼底面。

<出土遺物>出土土器総重量は208gである。全体の35.1%にあたる73gを図示した。第45図9は、縄文土器口縁部破片である。

石器は、3点が出土した。石鏃1点(1.4g)、剥片2点(41.0g)のため石鏃のみを図示した(第172図4)。

すべての焼土を水洗した結果(4.2リットル)、3個(0.08g)の部位・種不明骨片が出土した。植物遺体は不明(同定不能)種子が1個出土している。

<時期>検出面から、縄文時代の捨て場が形成された後に位置づけられる。したがって、確実にいえるのは縄文中期以降ということだけである。しかし、おそらく第9号竪穴住居跡の近隣であり、同様の第7号焼土・炭化物集中区が確実に平安期であることから、平安期の可能性が高いと考えられる。

第4号焼土・炭化物集中区（第31図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはD-25、E-25区である。 <平面形>瓢箪形。

<規模>0.79×0.57m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲ a層中。

<層位>

1層：10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5mm程度の焼土粒および炭化物を多量に含む。

2層：2.5YR5/8 明赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強 焼土層。

3層：2.5YR2/2 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 焼土層 径1cm程度の焼土粒を多量に含む。

<出土遺物>出土土器総重量は64gであるが、掲載基準を満たすものはなかった。すべての焼土を洗浄した結果（8.8リットル）、1個（0.13g）の部位・種不明骨片が出土した。植物遺体はヒエ属が1個、コナラ属が50個出土した。

<時期>検出面から判断して縄文時代に属するものと思われる。

第5号焼土・炭化物集中区（第21図）

<位置>北側調査区中央部に位置する。グリッドはL-12区である。 <平面形>不整形。

<規模>1.04×0.68m。 <重複関係>なし。

<検出面>表土直下、南部捨て場3d層上面。

<層位>非現地性と考えられる焼土粒を含む焼土集中区である。焼土層は3層に大別される。

1層：5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径5mm程度の焼土粒を多量に含む。

2層：5YR3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径3cm程度の焼土粒を多量に含む。

3層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまりやや弱 径5mm程度の焼土粒を微量に含む。

<出土遺物>出土土器総重量は5,362gである。総数の43.3%にあたる2,326gを掲載した。第45図1～5は縄文土器口縁部破片、6～8、10～23、第46図1～6は縄文土器体部破片である。第46図7～9は、縄文土器底部破片である。

石器は2点（26.1g）出土したが、いずれも剥片のため非掲載である。

すべての焼土土壌を水洗した結果（9.1リットル）、イノシシ種子骨が1個（0.11g）が出土したほか、部位・種不明骨片が77個（7.69g）出土した。植物遺体は、イネ1個、アサ1個、コナラ属2個が出土した。

<時期>検出面は表土直下で、なおかつ捨て場の上面ということから、縄文中期以降と判断される。出土したイネの年代測定結果より平安期に位置づけるのが妥当であり、隣接する第9号竪穴住居跡に近い時期の所産と考えることができる。

第5節 埋設土器

第1号埋設土器（第31図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-25区である。 <平面形>楕円形。

<規模>0.40×0.33m。 <重複関係>なし。

<検出面>Ⅲ a層上面。 <掘込面>Ⅱ b層直下、Ⅲ a層上面。

<埋土>1～2の2層に大別される。

1層：調査時のミスにより記録を行わなかった。

2層：10YR3/3 黒褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中。

<壁>微妙な凹凸を呈しながら、ほぼ斜めに立ち上がる。

<底>土器の底部の部分のみ掘込まれ、底部の形態が断面に明確にあらわれている。

<出土遺物>出土総重量は土器1個体（700g）である。総数の100.0%にあたる700gを掲載した。第47図6は、縄文土器底部破片である。

<時期>検出面からは縄文時代～古代に位置づけられるが、埋設された土器と遺構の性格から縄文時代と判断される。

第6節 集石遺構

第1号集石遺構（第31図）

<位置>南側調査区南西部に位置する。グリッドはC-25区である。

<規模>0.90×0.70m。 <検出面>Ⅱ層中。

<出土遺物>出土土器総重量は1,815gである。全体の4.0%にあたる73gを掲載した。第47図1は土師器口縁部破片、5は体部破片である。

石器は4点出土した。磨石1点（545.0g）を図示し、剥片3点（21.0g）を非掲載とした。

このほか、鉄滓が2個（334.9g）出土した。

<時期>検出面から判断して縄文時代よりは新しい。本遺跡ではその時期の遺構は古代のものしかないことや鉄滓が出土していることを考えると、本遺構も古代に属する可能性が高い。

第2号集石遺構（第29図）

<位置>グリッドはJ-5区である。

<規模>1.50×1.20m。 <検出面>表土直下、Ⅲ b層中。

<焼土>配石の下部に焼土が検出された。

1層：7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 灰層。

2層：2.5Y4/8 赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 焼土層。

3層：5Y3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 燃焼底面。

<出土遺物>出土土器総重量は535gである。総数の32.0%にあたる171gを掲載した。第47図2は土師器体部破片、3・4は縄文土器体部破片である。

配石下に確認された焼土をすべてサンプリングし、水洗した（8リットル）。その結果、部位・種不明骨片

が7個(0.48g)出土した。植物遺体は不明(形状残存)種子が1個出土した。

<時期>検出面から縄文時代と考えられる。

[高瀬克範]

第4表 焼土・炭化物集中区一覧表

遺構名	グリッド	平面形	規模	検出面	動物遺体	植物遺体
第1号焼土・炭化物集中区	J-3	楕円形	0.29×0.21m	Ⅲ b 層中		アカザ属1個
第2号焼土・炭化物集中区	J-4	円形?	0.85×?m	Ⅳ層上面	不明骨2個(0.10g)	コナラ属1個
第3号焼土・炭化物集中区	K-11	不整楕円形	0.44×0.36m	南部捨て場1層上面	不明骨3個(0.08g)	不明種子1個
第4号焼土・炭化物集中区	D-25、E-25	瓢箪形	0.79×0.57m	Ⅲ a 層中	不明骨1個(0.13g)	ヒユ属1個、コナラ属50個
第5号焼土・炭化物集中区	L-12	不整形	1.04×0.68m	南部捨て場3 d 層上面	イノシシ種子骨1個(0.11g), 不明骨77個(7.69g)	イネ1個、アサ1個、コナラ属2個
第1号埋設土器	C-25	楕円形	0.40×0.33m	Ⅲ a 層上面		
第1号集石遺構	C-25	—	0.90×0.70	Ⅱ層中		
第2号集石遺構	J-5	—	1.50×1.20m	Ⅲ b 層中	不明骨7個(0.48g)	不明(形状残存)種子1個

第7節 捨て場

北部捨て場

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはK-1、K-2、L-1、L-2、L-3、L-4区である。

<規模>調査区内の面積は約20㎡、厚さは平均で20cm程度であるが、北側調査区の東および北側にさらに延びている。

<堆積状況>人為的な堆積で1・2層に大別される。大別の根拠は、2層が相対的に暗い土色を呈する点にある。

1層：10YR4/3 におい黄褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや強 径5mm程度の焼土粒・炭化物粒を少量含む。L-2区にのみ分布する。

2層：7.5YR4/3 褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中 径5mm程度の焼土粒・炭化物粒を少量含む。L-2、L-3、L-4区に分布する。

<出土遺物>

a. 土器 (第48図)

出土総重量は2,950gである。総量の18.3%にあたる541gを図示した。

第48図1は、口縁部に幅の広い文様帯をもつ、円筒形の土器である。体部には多軸絡条体の圧痕文が見られる。第48図2・3は、口縁部に縄の側面圧痕文を有する深鉢である。地紋には結節縄文と単軸絡条体が用いられている。

b. 石器 (第192図)

5点出土しており、1層ではスクレイパー1点、剥片4点が出土した。第192図3は1層より出土したスクレイパーである。2層からは剥片1点のみが出土した。

c. 動・植物遺体

土壌の水洗は行わなかった。動植物遺体の出土はなかった。

<時期>出土遺物から、縄文時代前～中期に位置づけられる。南部捨て場と近接した時期に形成されたと考えられるが、明確な時間的關係は定かではない。

南部捨て場

<位置>北側調査区北部に位置する。グリッドはJ-7、J-8、J-9、J-10、J-11、J-12、J-13、K-8、K-9、K-10、K-11、K-12、L-7、L-8、L-9、L-10、L-11区である。

<規模>調査区内の面積は約138㎡、厚さは平均で約35cmであるが、調査区外の東・西側に延びる(第5表)。

<堆積状況>

すべて人為的な堆積で、1～4層に大別される。大別の根拠は、もっとも土壌化がすすんだ1層、土色がやや暗く焼土粒と骨片を多量に含む2層、土色がやや明るく焼土粒と炭化物を多量に含む3層、中礫火山灰の下位で炭化物を多量に含む4層である。2層はさらにa～bの2層に、3層はa～eの5層に細分される。

1層：7.5YR2/3 極暗赤褐色 砂質シルト 粘性弱 しまりやや弱 径2mm程度の焼土流を微量に含む。K-8、K-9、L-8、L-9区に分布する。

2 a層：5YR3/2 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 径2mm～3cm程度の焼土粒および径1cm程度の炭化物、骨片を多量に含む。K-8、K-9、L-8、L-9区に分布する。

2 b層：7.5YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 径5mm程度の焼土粒・炭化物および骨片をやや多量に含む。J-8、J-9、K-8、K-9、K-10、L-8、L-9、L-10区に分布する。

3 a層：5YR3/6 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径1cm程度の焼土粒・炭化物、径5cm程度のローム（基本層序V層起源）を多量に含む。J-8、K-8、K-9、L-8、L-9区に分布する。

3 b層：7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり中 径1cm程度の炭化物、径5mm程度の焼土粒をやや多量に含む。J-8、J-9、J-10、J-11、K-8、K-9、K-10、K-11、L-9、L-10、L-11区に分布する。

3 c層：7.5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまり弱 径2cm程度の炭化物・焼土粒および骨片をきわめて多量に含む。J-8、J-9、K-8、K-9、L-9区に分布する。

3 d層：2.5YR3/3 暗赤褐色 砂質シルト 粘性中 しまり中 径2cm程度の炭化物・焼土粒をきわめて多量に含む。J-7、J-8、J-9、J-10、K-8、K-9、K-10、L-9、L-10区に分布する。

3 e層：5YR4/6 にぶい赤褐色 砂質シルト 粘性やや強 しまりやや強 径2cm程度の炭化物・焼土粒をきわめて多量に含む。J-7、J-8、J-9、J-10、J-11、J-12、J-13、K-7、K-8、K-9、K-10、K-11、K-12、L-7、L-8、L-10、L-11区に分布する。

4層：2.5YR3/4 暗赤褐色 砂質シルト 粘性やや弱 しまりやや弱 径2mm程度の炭化物・焼土粒をやや多量に含む。J-8、K-8区に分布する。

中振火山灰下位の4層および3 e、3 d層は、より新しい時期の層準と比べると東側へは分布しておらず、調査区外のより西部に分布の中心があるものと考えられる。また、4・3 e・3 d層はK-10区およびK-12区付近でもっとも東に達しており、その中間のK-11区付近では浅い窪み状となっている。3 c層以降の層準はこの窪みから集中的に形成されており、当時の捨て場にたいする社会的規制あるいは生活物資や土などの廃棄方向が時期によってまったく同じであったわけではないと考えられる。

<出土遺物>

a. 土器（第48～162図）

出土総重量は1,631,121 gである。総量の24.4%にあたる398,565 gを掲載した。

【1層】

第48図4～12は、口縁部に幅の狭い文様帯を持つバケツ形の土器である。4の貼付は剥落している。いずれも貼付上にキザミもしくは刺突文を有する。第48図13～15、第49図1～8は口唇部キザミ以外に文様要素を持たない土器群であり、口縁部がややくびれるものもあるが（第48図14、第49図1）、単純な器形を呈する。第49図9～18は底部破片である。

【2 a層】

第50図1・2・4・8～9、第51図2～5・7～10は、口縁部に幅のせまい無文帯もしくは文様帯を設け、その直下を1条または2条の粘土貼付帯によって区切る深鉢である。貼付帯状には指やヘラによる刺突・キザミを有するものも多い。文様帯には重連弧文（第50図1・4）が描かれている。第50図5・6・7、第51図16にはより発達した口縁部文様帯が見られ、キザミや貼付、縄側面圧痕などによる文様描出がみられる。第51図1には口縁端部に接する横位の貼付が見られる。第51図11～15・17、第52～56図1～8は口縁部に突起などがみられるものがあるものの、基本的に地紋のみを有しているものである。第56図9～21および第57

図は、すべて底部破片である。

【2 b層】

第58図1・5、第60図1・4・5はキャリパー形の祖型と思われる土器である。第58図2・6・7、第59図1・5・7のように金魚鉢型の組列も見られる。口縁部に幅狭の無文帯もしくは文様帯を設け、その直下を貼付によって区切りバケツ形の組列も、第58図4・9、第59図2、第61図13~22、第62図2~7、第63図1~5・8・9にみるように確実に存在している。このほか、第58図3・8、第60図2・11・12のように口縁部に開きがやや弱いものもあるがラップ型と判断されるもの、第61図1~6のようにバケツ形に属する可能性が高いが文様帯の幅がやや広いものなどがある。第59図6、第60図7・11など縄の側面圧痕を口縁に連続的に施したり、文様帯内に配するものは円筒上層式かそれにつよく影響を受けたものと考えられる。

第62図8~15、第64~74図1~7は口唇部にキザミや突起が見られるものがあるものの、外面には無文か地紋だけがみられる粗製の一群である。第74図8~30、第75~77図はすべて底部破片である。

【3 a層】

第78図5のようにキャリパー形の祖型と考えられるものも認められるが、多くはバケツ形の組列に属するものと考えられる。第78図1~4・6・7、第79図1~3・5・6、第80図2~4・6~9・12・15、第81図1・2にみるように、口縁部に幅の狭い文様帯もしくは無文帯を設け、その直下を太い貼付帯で区切るものが多い。第78図7にはきわめて精緻な細めの貼付と押型によって文様が描かれ、胴部の地紋も整然とした絡条体圧痕文が採用されており、焼成も良い。第80図1は他の資料に比して器壁が薄く成形されており、平坦で細い貼付文とその上面に細かなキザミが見られる点で特異である。それ以外は、波状・渦巻状の貼付が付される場合でも、非常に太い粘土紐が用いられているのが一般的といえる（第80図5・10・14）。

第81図4~13、第82~95図1~6は、口唇部に突起やキザミがみられる場合もあるが、器壁外面は基本的に地紋もしくは無文の粗製の一群である。第95図7~19、第96・97図はすべて底部破片である。

【3 b層】

第98図2・6・7・10には波状・渦巻状の貼付がみられる。6は3 a層出土の第80図5と同一個体であり、7もその可能性がある。このほか文様のあるものは、第98図1・3・4・8・9のようなバケツ形の組列のものであり、より上位の層準に比して文様を持つ資料自体が少ないといえる。第98図11~16、第99~108図1~8は、口唇部に突起やキザミがみられる場合もあるが、器壁外面は基本的に地紋もしくは無文の粗製の一群である。第108図9~29、第109図はすべて底部破片である。

【3 c層】

3 b層同様に文様をもつものが比較的少ない。第111図12のようなキャリパー形の祖型となるもののほかは、第110図1・2、4~6、第111図7・10・11のように口縁部に幅狭の無文帯を設けるバケツ形の組列大多数を占めている。第110図3のようなバケツ形の変種としての内傾型もみられる。

第111図1~5・8~9、第112~124図1~3は、口唇部に突起やキザミがみられる場合もあるが、器壁外面は基本的に地紋もしくは無文の粗製の一群である。第124図3~24、第125図はすべて底部破片である。

【3 d層】

3 b・3 c層同様に、文様を有するものの比率が比較的低い。幅狭の文様帯と太い貼付による文様帯区画によって特徴づけられる一群には、第126図1~4・8、第127図1、第130図5が該当する。このほか、同様の文様構成とするものの口縁部が内傾する内傾型（第126図2）、バケツ形の中でも口縁部にやや幅の広い文様帯を設ける円筒下層式もしくはその影響を受けたものと考えられるの（第126図6・9・10・13、第127図4）、

口縁部が大きく開くラッパ型（第127図9～11）、縦位の貼付もしくは縄側面圧痕のみを有するもの（第126図5、第129図1）がある。

第126図15・17、第127図2・3、5～8、第128図1・3～15、第129図2～9、第130図1～4、第131～140図1～4は、口唇部に突起やキザミがみられる場合もあるが、器壁外面は基本的に地紋もしくは無文の粗製の一群である。第140図5～29および141図はすべて底部破片である。

【3 e 層】

3 b～3 d 層とはことなり、文様を有する土器の比率が比較的高い。第142図1・3・4、第144図2・13・17のような幅狭の無文帯と太い貼付帯を有するものもみられるが、もっとも多いのはそれよりも幅の狭い文様帯を有し、縄の側面圧痕・沈線を中心とする文様要素で施紋をおこなう一群である（第142図2・5～9、第143図3～5・7、第144図1・4・5・9・10・15・16）。これらの胎土には多量に繊維が混入されているものが多い。

第145～160図1～4は、第146図18・19をのぞけば、口唇部に突起やキザミがみられる場合もあるが、器壁外面は基本的に地紋もしくは無文の粗製の一群である。第160図7～23、第161・162図1～20はすべて底部破片である。

【4 層】

外面に地紋を有するもののみが出土している（第162図21）。

【擬口縁資料】

擬口縁資料のすべてが南部捨て場から出土しているわけではないが、多くがここから出土しているため本節で触れておく。出土の内訳は、土坑1点、南部捨て場14点、遺構外2点である。接合部の内訳は、断面カムボコ状接合7点、外傾接合10点と外傾接合がやや多い。しかし、細片のため断定できないが、たとえば外傾接合を示す第171図20・21は同一個体の可能性があり、擬口縁として割れやすい特定の個体が集中している可能性もある。このため、出土資料総体から見るときわめて低い擬口縁発生率から成形技術の中で外傾接合が主であったと判断するわけにはゆかないだろう。

b. 石器

【1 層】

剥片石器には、石鏃2点（第175図2、第177図16）、ポイント1点（第179図3）、石匙8点（第182図8、第183図4・5、第185図4層、第186図5、第187図5、第189図1・2）、スクレイパー1点（第192図4）がある。このほか剥片が52点、二次加工ある剥片6点、使用痕ある剥片4点が出土している。

礫石器には、磨製石斧2点（第208図2・4）、磨石2点（第217図1・2）、カツオブシ形石器1点（第223図2）がある。

【2 a 層】

剥片石器には、石鏃10点（第175図6、第176図1・7・9・20・22・24、第178図9・19・20）、ポイント2点（第179図12、第180図1）、石匙14点（第181図10、第182図10、第183図6・9、第184図6・7、第185図1・3・8、第187図4、第188図1・5、第190図1、第191図4）、石錐2点（第180図5・6）、スクレイパー11点（第192図5～7、第193図1～6、第194図3、第195図5）、石核6点（第201図2、第202図1～4、第203図1）がある。このほか剥片が195点、二次加工ある剥片が15点、使用痕ある剥片13点が出土している。

礫石器には、磨製石斧3点（第208図3・5・6）、敲石3点（第212図1～3）、磨石1点（第217図3）、軽石1点がある。

【2 b層】

剥片石器には、石鏃29点（第175図3・5・7・8・10・11・13・14・16・17・19、第176図3・4・6・10・13・21・23、第177図3・6・11・13・15・17、第178図5・15・22、第179図4・7・8）、ポイント1点（第179図14）、石匙14点（第181図1・3・6、第182図1・4・7、第185図5、第187図1・3・7・8、第189図4、第191図6・9）、スクレイパー12点（第193図7・8、第194図1・2・4～7、第195図1～4）、石核が2点（第203図3、第204図1）ある。このほか剥片が169点、二次加工ある剥片29点、使用痕ある剥片5点が出土している。

礫石器には、磨製石斧3点（第208図7・8・9）、敲石1点（第212図4）、磨石2点（第218図1・2）、不明礫石器1点（第224図17）がある。

【3 a層】

剥片石器には、石鏃8点（第175図9、第176図12、第177図2・7・14、第178図2・4・6、第179図1）、ポイント1点（第180図2）、石匙7点（第180図8、第182図3、第183図7、第185図7、第188図2、第190図4、第191図5）、スクレイパー8点（第195図6、第196図1～3・5～8）、石核1点（第204図2）がある。

このほか剥片が142点、二次加工ある剥片14点、使用痕ある剥片11点が出土している。

礫石器には、磨製石斧2点（第209図1・2）、凹石2点（第222図2・4）、軽石3点がある。

【3 b層】

剥片石器には、石鏃8点（第175図15、第177図2・8・18、第178図16、第179図6・10・13）、ポイント1点（第179図9）、石匙2点（第185図6、186図6）、スクレイパー2点（第197図1・2）、石核2点（第204図4・5）がある。

このほか剥片が39点、二次加工ある剥片7点、使用痕ある剥片1点が出土している。

礫石器には、磨製石斧2点（第209図3・4）、軽石2点がある。

【3 c層】

剥片石器には、石鏃12点（第176図2・5・16、第177図10・12、第178図1・7・11・12・13・17、第179図5）、石匙8点（第181図4、第183図2、第184図2、第186図1・4、第188図6、第189図3、第190図2）、スクレイパー6点（第197図3～5、第198図1～3）、石核3点（第205図1～3）がある。

このほか剥片が54点、二次加工ある剥片4点、使用痕ある剥片2点が出土している。

礫石器には、磨製石斧1点（第209図5）、敲石2点（第213図1、第214図5）、磨石3点（第219図1～3）、軽石3点がある。

【3 d層】

剥片石器には、石鏃11点（第175図4、第176図15・18、第177図4・9・19、第178図8・14・18・24、第179図2）、石匙10点（第181図2・11、第182図2・9、第184図10、第188図3・4、第191図3・7・8）、スクレイパー8点（第196図4、第198図4～7、第199図1～3）がある。

このほか剥片が46点、二次加工ある剥片5点、使用痕ある剥片8点が出土している。

礫石器には、磨製石斧1点（第209図6）、敲石2点（第213図2・3）、磨石3点（第220図1～3）がある。

【3 e 層】

剥片石器には、石鏃18点（第175図1・12・18、第176図8・11・17・19、第177図1・5・20～23、第178図3・10・21・23、第179図11）、石匙24点（第180図9、第181図5・7・8・9・12・13、第182図5・6、第183図1・3・8、第184図1・3・4・5・8、第185図2、第186図2・3、第187図2、第190図3、第191図1・2）、石錐1点（第180図4）、スクレイパー5点（第199図4～7、第200図1）、異形石器（もしくは打製釣針）1点（第180図7）、石核4点（第205図4、第206図1～3）がある。

このほか剥片が115点、二次加工ある剥片16点、使用痕ある剥片10点が出土している。

礫石器には、磨製石斧3点（第209図7、第210図1・2）、敲石4点（第213図4、第214図1・3・4）、磨石3点（第220図4、第221図1・2）、凹石2点（第222図1・3）、カツオブシ形石器2点（第223図3・4）、軽石6点がある。

【4層】

剥片石器には、石鏃1点（第176図14）、石匙1点（第184図9）、石錐1点（第180図3）があるほか、剥片が3点出土している。

礫石器は出土していない。

c. 石製品

球状耳飾が8点出土しているほか（第224図2～9）、環状の石製品も1点出土している（第224図11）。このほか有孔石製品・棒状石製品・不明石製品が6点ある（第224図13～18）。

d. 土製品

円形板状の粘土板の中心からやや偏った部分に焼成前穿孔している土製品（第225図5）、粘土板（第225図4）が出土した。

e. コハク

1層で2.82g、2 b層で3.51g、3 d層で0.31g、3 e層で0.10gのコハク片が出土している（第16表）。

f. 動・植物遺体

1・2 a・2 b・3 a・3 b・3 c・3 d・3 eの各層の土壌を15.0リットル採取し、水洗した。大別層位の3層からホホジロザメ・ネズミザメの一種の顎歯が出土した。これらには被熱や加工の痕跡はみられない。そのほか、1層からニホンジカ、2 a層からソウダガツオ属の1種の骨も出土している。植物遺体は検出されなかった。

<時期>出土遺物から縄文時代前期後葉～中期前葉に位置づけられる。基本層序Ⅲ b層上位に形成されているが、基本層序Ⅲ a層との層位的関係がとらえられる箇所はなかった。Ⅲ a層からは縄文時代前期後葉～晩期までの幅広い時期の遺物が出土しており、南部捨て場の形成時期はⅢ a層の堆積時間内におさまるものと考えられる。

[高瀬克範]

第5表 捨て場分布範囲一覧表

	層位	グ リ ッ ド																				
		J-7	J-8	J-9	J-10	J-11	J-12	J-13	K-7	K-8	K-9	K-10	K-11	K-12	L-2	L-3	L-4	L-7	L-8	L-9	L-10	L-11
捨て場 北 部	1層																					
	2層														●							
捨て場 南 部	1層								●	●									●	●		
	2a層								●	●									●	●		
	2b層		●	●					●	●	●								●	●	●	
	3a層		●						●	●									●	●		
	3b層		●	●	●	●			●	●	●	●								●	●	●
	3c層		●	●					●	●	●									●		
	3d層	●	●	●	●				●	●	●	●								●	●	
	3e層	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●		●	●
4層		●							●													

第8節 遺構外の出土遺物

1. 土器

出土土器総重量は、243,861 gである（表土をのぞく）。このうち、8.7%にあたる17,358 gを図示した。

【Ⅱ層】

第163図1はキャリパー形の器形を呈し、口縁部文様帯を貼付帯によって施文している。第163図2・4・7・8・10・11には縦位の貼付も見られ、9にはキザミも多用されている。第163図21は口縁部に幅狭の無文帯を設け、貼付で区切った後、貼付上に刺突を施している。第163図15・16には縄の側面圧痕がみられるが、その他の資料は地紋のみがみられる。第164図4～8は底部破片である。

【Ⅲ a層】

第164図10・12・13・14・16・17、第165図2・3・4・9・10・15・16のように貼付文が多用される土器が多い。それ以外には、口縁部文様帯に沈線文・縄側面圧痕やキザミなどを有するものもある（第164図9・10・13・18、第165図1・5・6・7）。第165図13・14、17～19、第166～167図1～21は素文の一群、また第167図22～26、第168図1～3は底部破片である。

【Ⅲ b層】

第168図4は頸部に無文帯を設け、胴部上端に逆U字状の貼付を付したものである。貼付文を有するものとしてはこのほかに第168図5～9があるが、それ以外は素文の一群である（第168図10～17、第169・1701～8）。第170図9～11は底部破片である。

【Ⅲ b 1層】

第170図12・13は口唇部にキザミを持つものもあるが、外面には地紋のみが施される素文の一群である。第170図14は波状口縁の頂部と考えられる口縁部破片であり、両側縁をなでつけたなめらかな隆線による文様の描出が見られる。

【Ⅲ b 2 層】

第170図15～17、第171図1～3にみるように、素文の一群のみがみとめられる。

2. 石器

【Ⅱ層】

石鏃は7点で、第172図10・11・14・15のように茎のない石鏃と、第172図21・22、第173図3のような茎のあるものがある。スクレイパーは2点で（第200図2・3）、このほか剥片18点、二次加工ある剥片2点、使用痕ある剥片が1点出土している。

【Ⅲ a 層】

石鏃は3点で、第172図5・18・19のように無茎である。石核は1点出土した（第207図1）。このほか、剥片18点、二次加工ある剥片7点、石炭1点がある。

【Ⅲ b 層】

石鏃は8点出土し、形態にはかなりのヴァリエーションがある（第172図6・7・9・12・13・16・17・20）。石匙は6点出土しており、第173図6・8・10、第174図1のような縦型と、第174図4・6のような横型がある。スクレイパーは2点出土した（第200図4・5）。このほか剥片35点、二次加工ある剥片4点、使用痕ある剥片1点がある。

【Ⅲ b 1 層】

剥片のみ3点が出土した。

【Ⅲ b 2 層】

石鏃2点（第172図8・20）、ポイント1点（第173図1）、石匙7点（第173図5・7・9・11・12、第174図3・5）が出土した。礫石器には磨石1点（第221図3）、敲石1点（第214図2）このほか、剥片4点、使用痕ある剥片1点がある。

3. 石製品

Ⅲ b 層より珧状耳飾が1点出土している（第224図1）。

4. 土製品

Ⅱ層より不明土製品が2点出土している（第224図1・3）。

5. その他の遺物

a. 鉄器

鉄製品はⅡ層より角釘1本、不明鉄製品1個が出土している（第226図1）。

b. 鉄滓

Ⅱ層より9個の鉄滓（計403.2g）が出土している。

第9節 表土出土の遺物

1. 土器

ここでは、耕作土出土・表採・試掘坑出土遺物をすべて表土出土としてあつまっている。掲載基準の関係から表土出土の土器については図示していないが、総重量は619,523 gである。

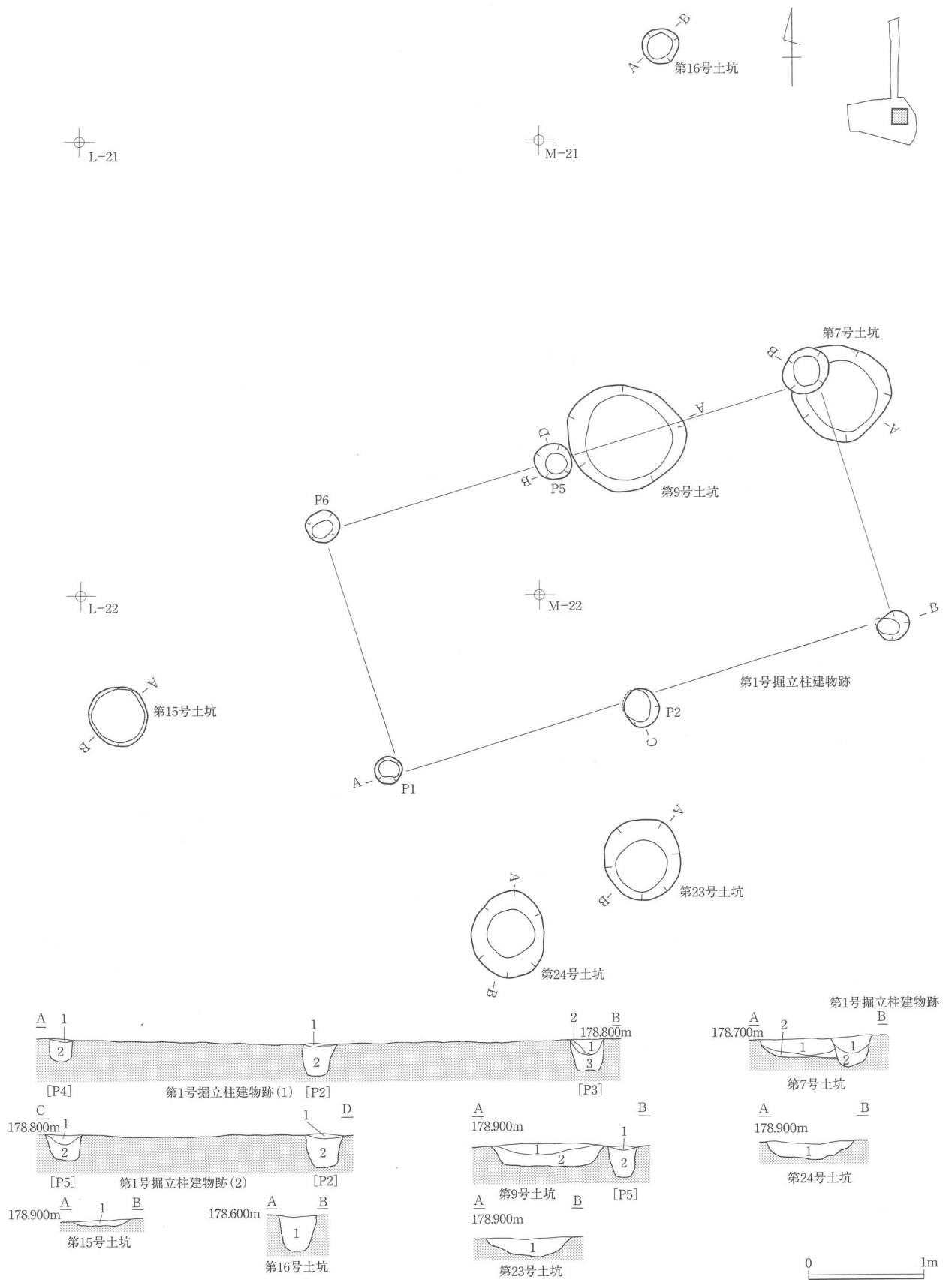
2. 石器

ここでは、耕作土出土・表採・試掘坑出土遺物をすべて表土出土としてあつまっている。掲載基準の関係から表土出土の石器については図示していないが、総点数は613点である。内訳は、石鏃49点、ポイント10点、石匙41点、石錐1点、石筥1点、スクレイパー36点、剥片308点、二次加工ある剥片39点、使用痕ある剥片25点、ピエス・エスキュ1点、石核16点、磨製石斧26点、敲石19点、凹石1点、石皿1点、磨石1点、砥石1点、石錘1点、軽石4点、不明礫石器1点である。

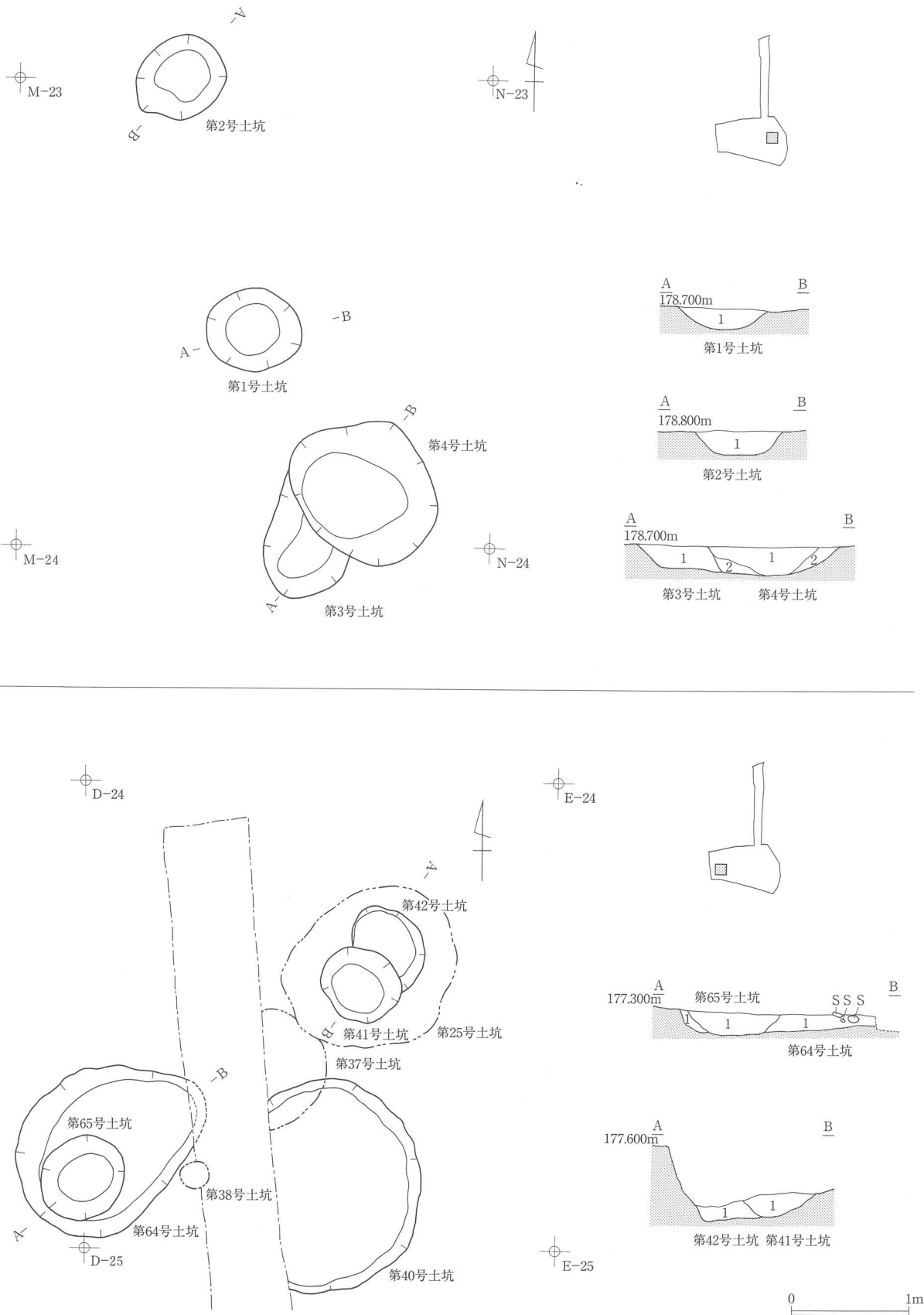
3. その他の遺物

塊状耳飾1点（第224図1）、有孔石製品1点（第224図12）、土製品1点（第225図2）鉄製品5点、鉄滓2点、古寛永1点（第226図5）がある。

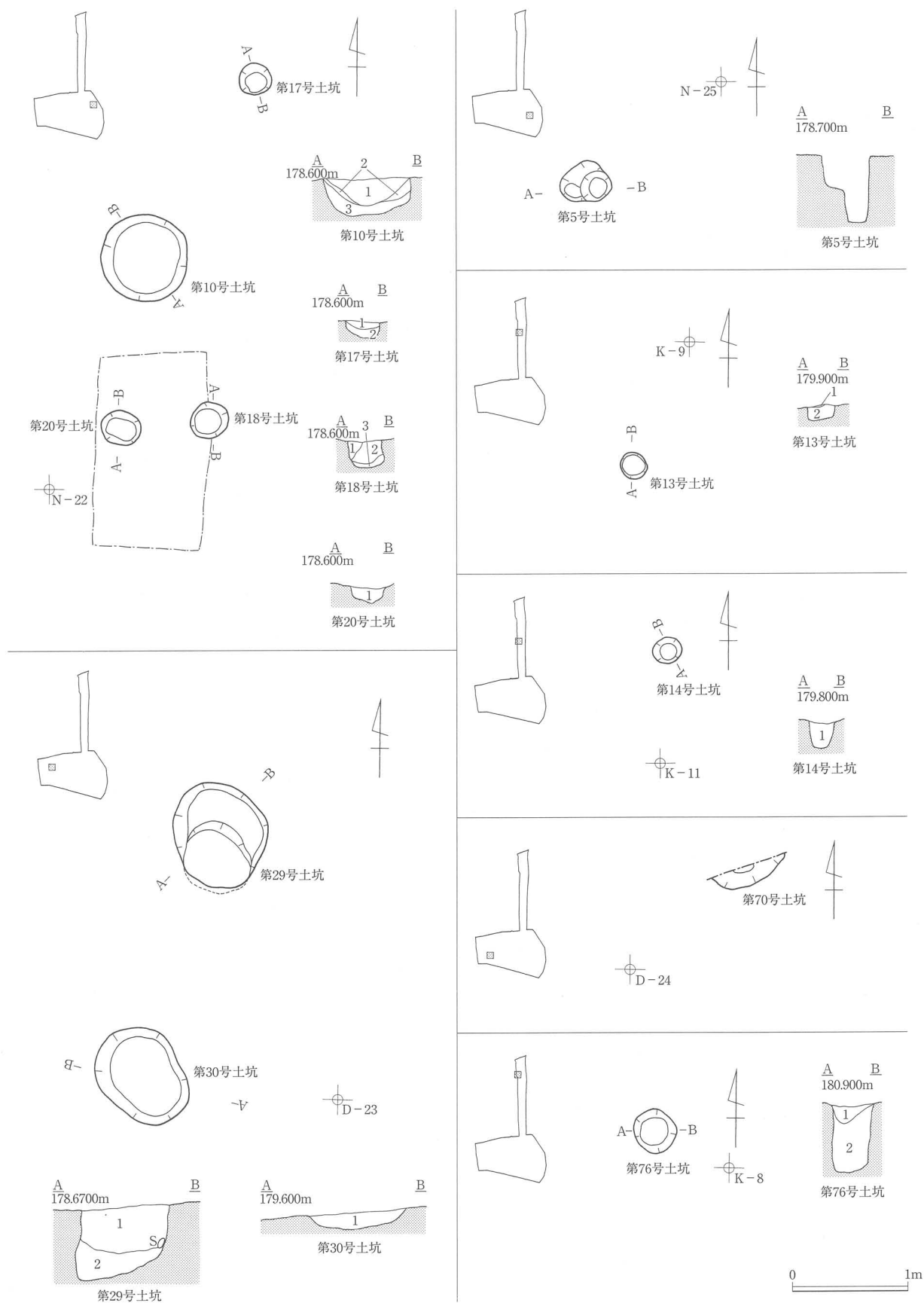
[高瀬克範]



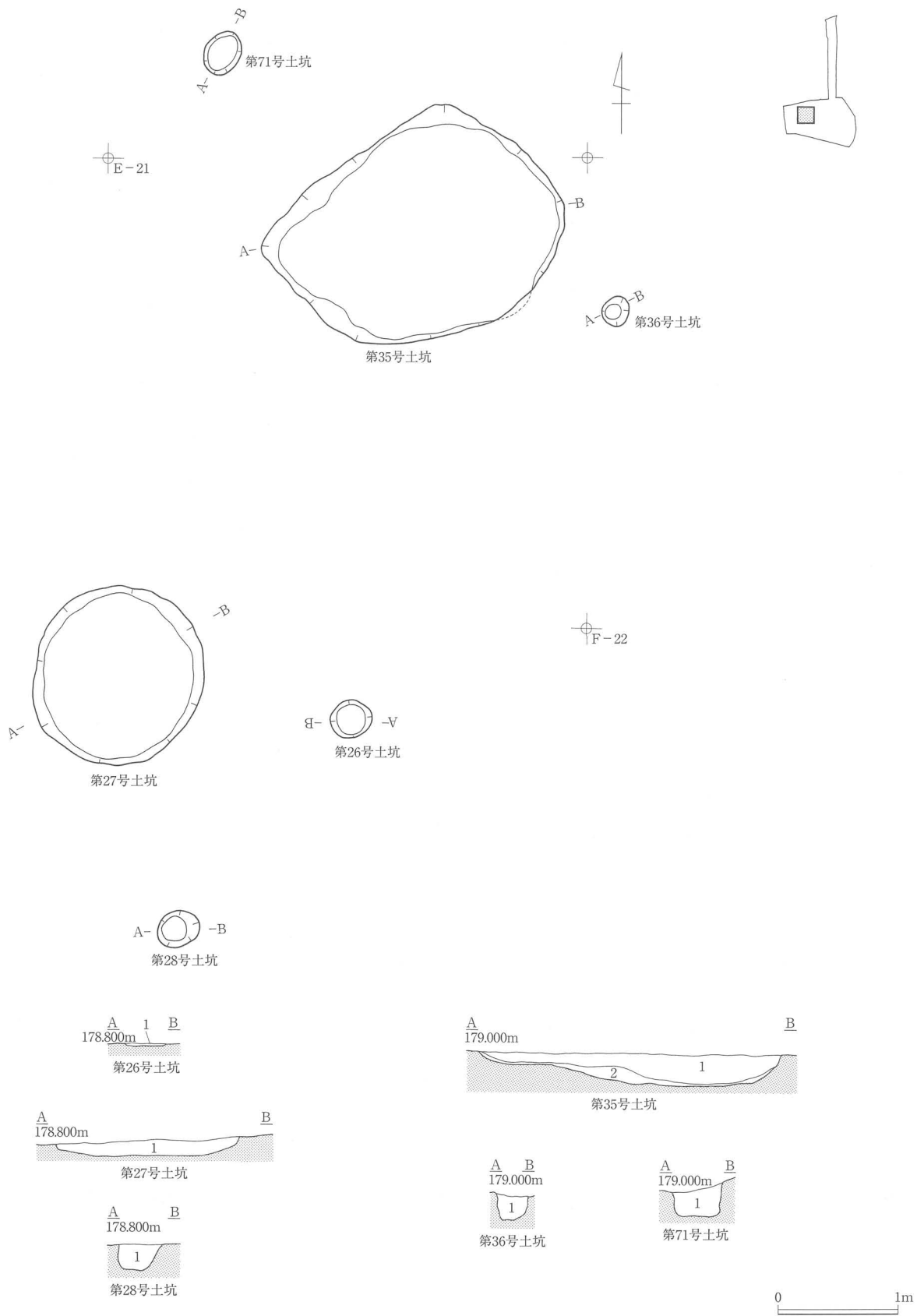
第24図 第1号掘立柱建物跡および第7・9・15・16・23・24号土坑の平面図・断面図



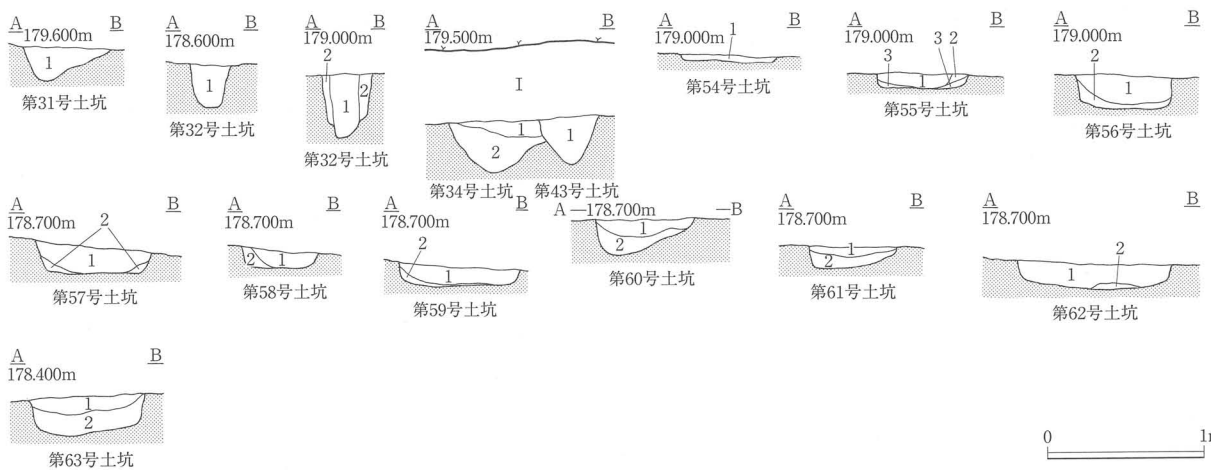
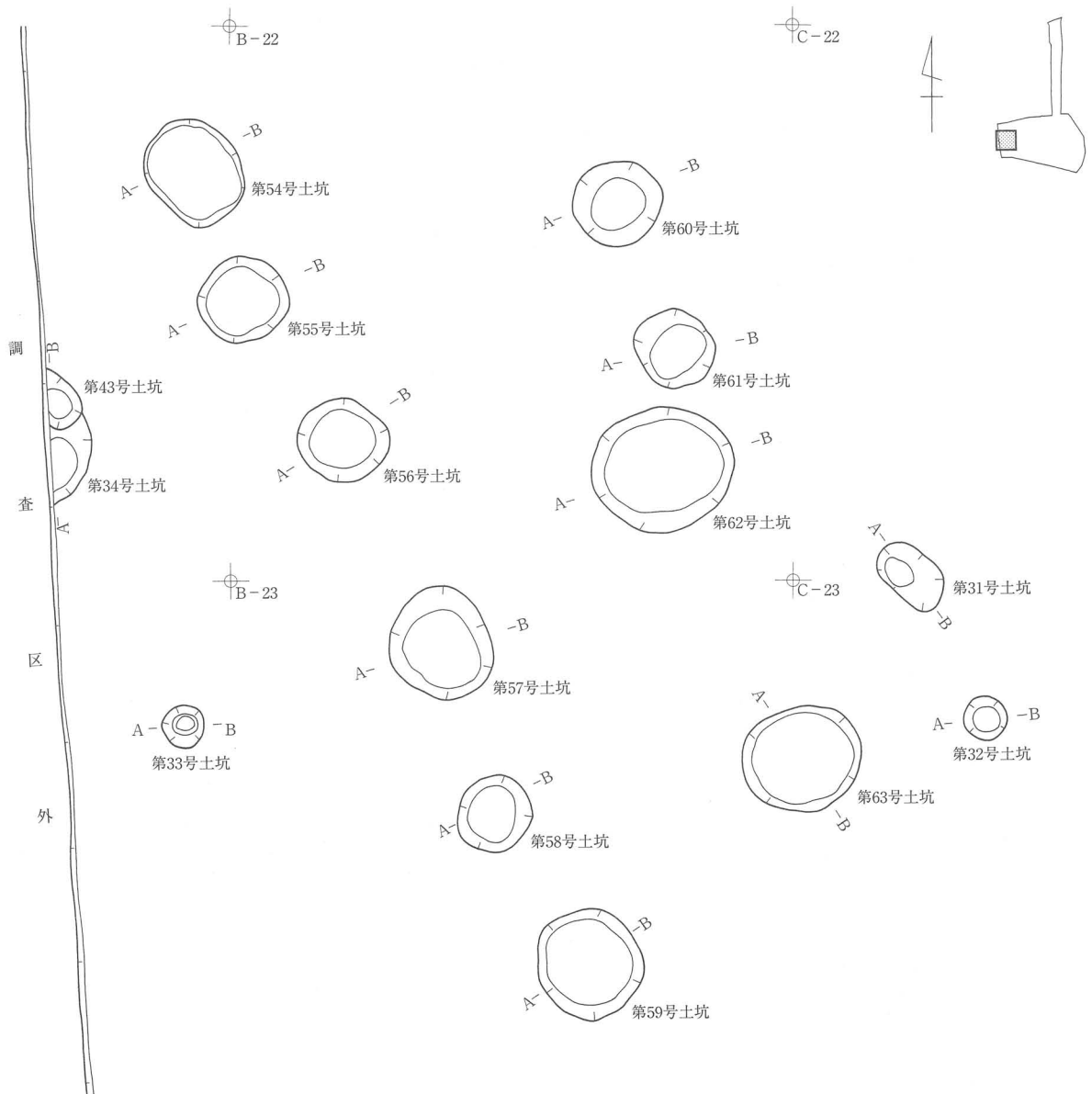
第25図 第1・2・3・4・37・40・41・42・61・64・65号土坑の平面図・断面図（第37・40号土坑の断面図は第12図参照）



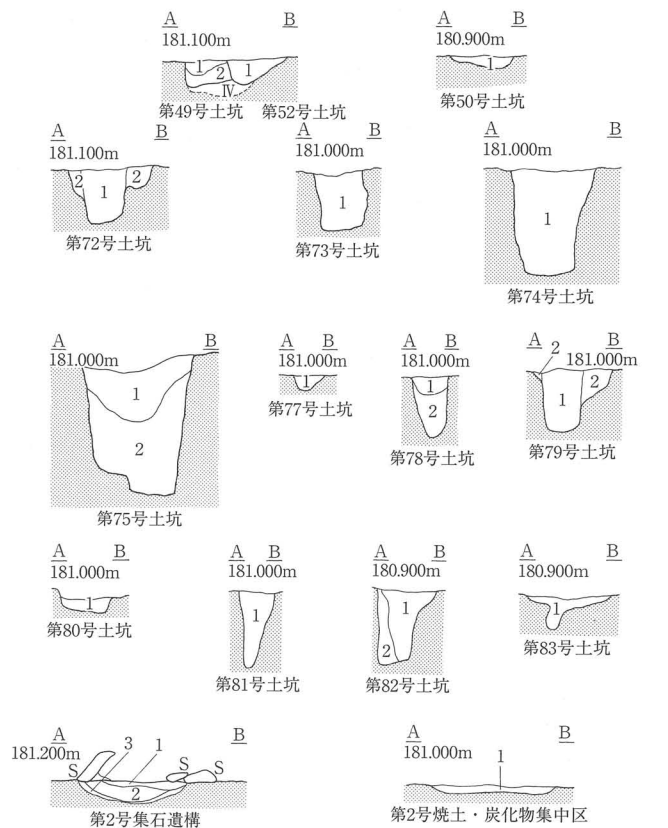
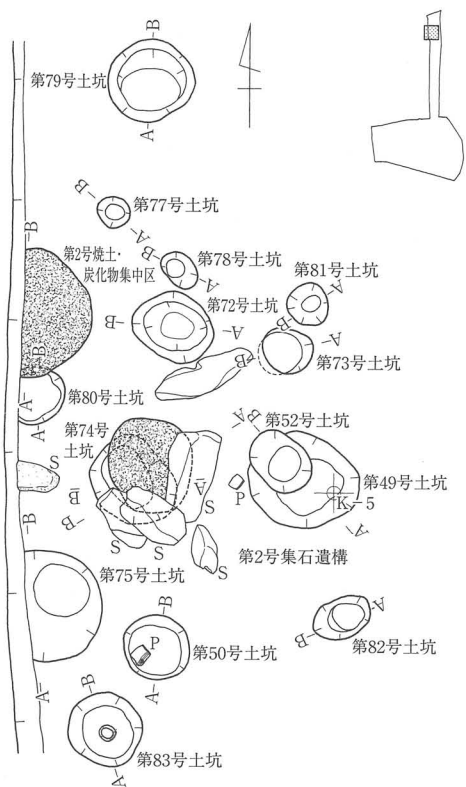
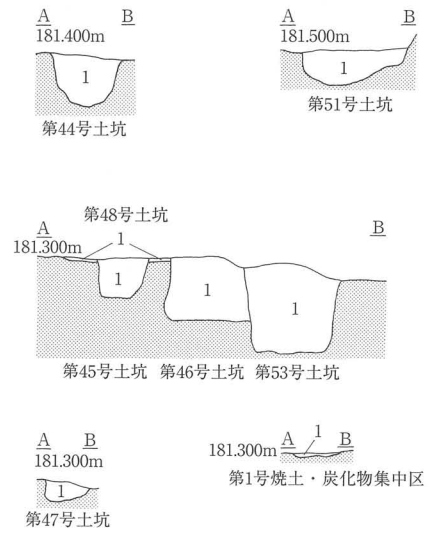
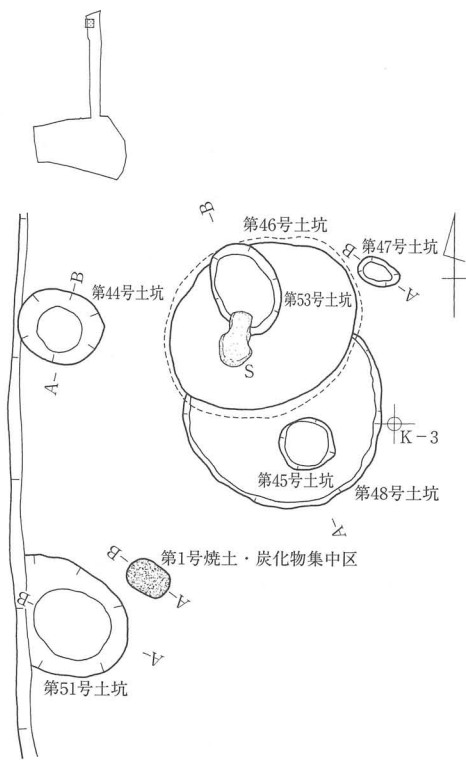
第26图 第5・10・13・14・17・18・20・29・30・70・76号土坑の平面図・断面図



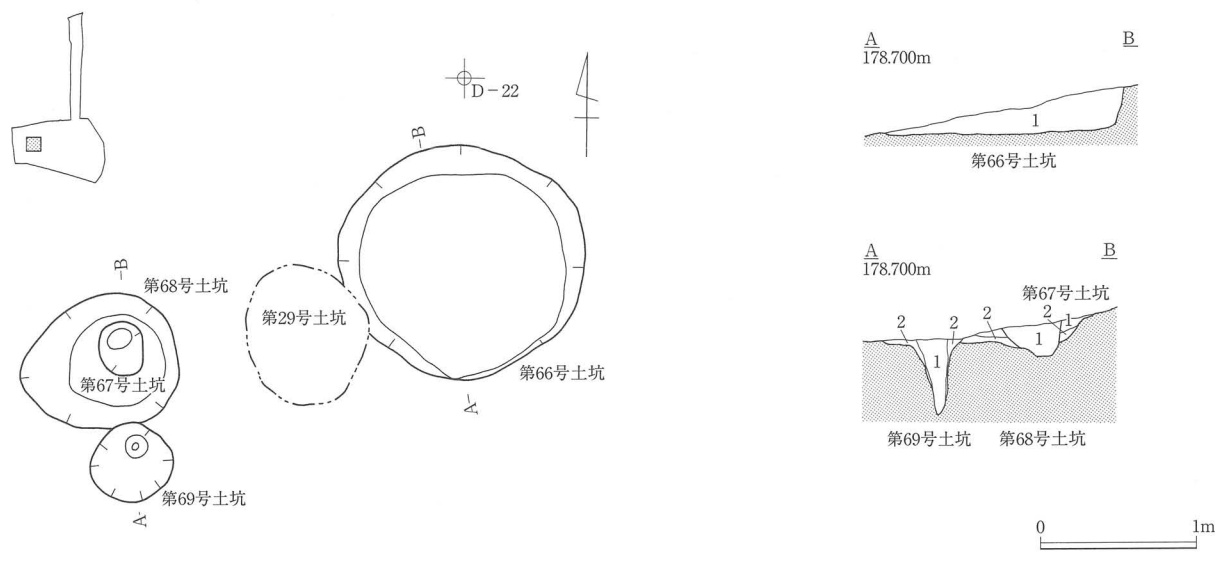
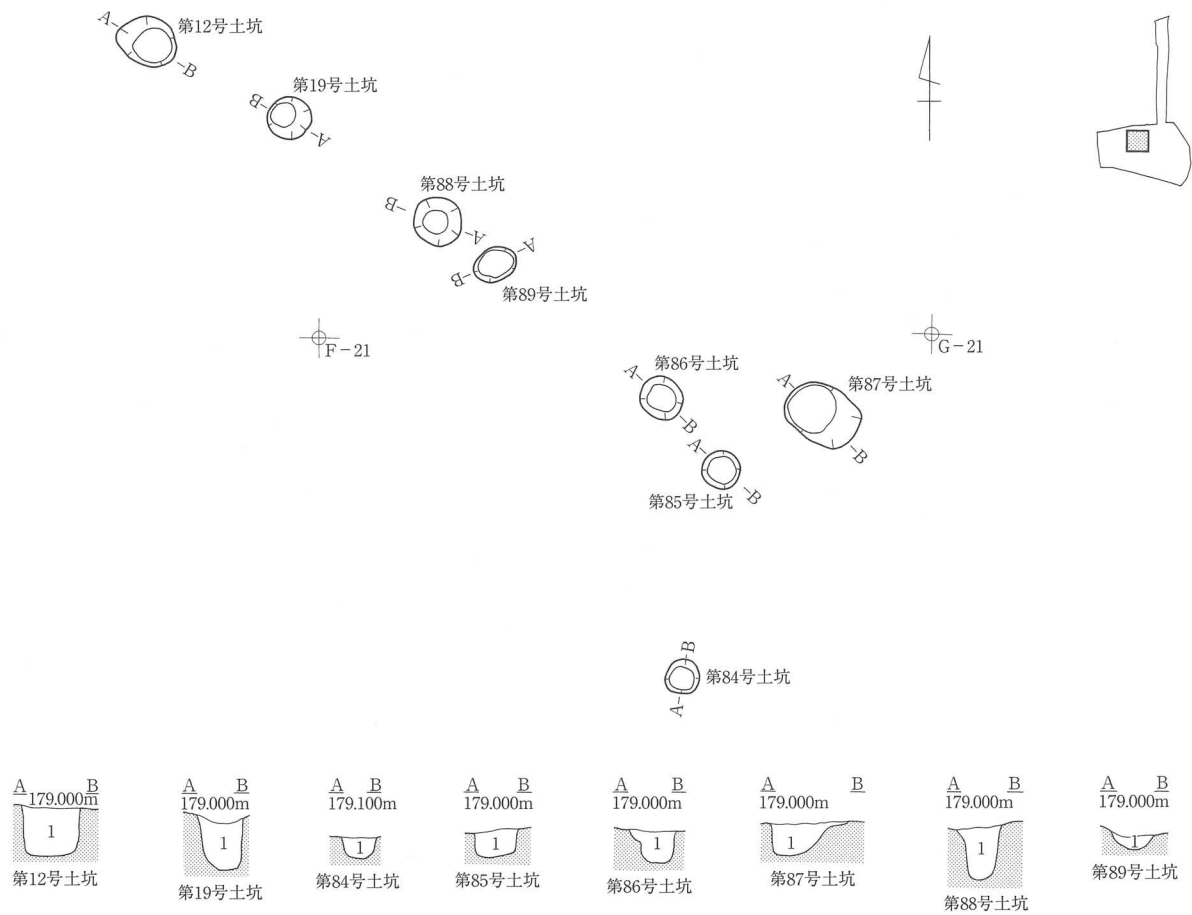
第27図 第26・27・28・35・36・71号土坑の平面図・断面図



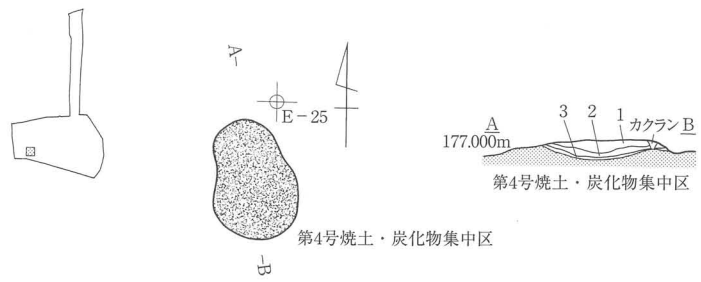
第28図 第32・33・34・43・54・55・56・57・58・59・60・61・62・63号土坑の平面図・断面図



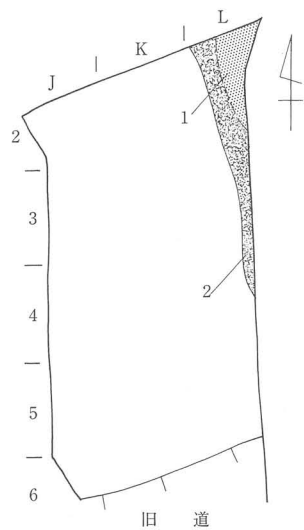
第29図 第1・2号焼土・炭化物集中区、第44・45・46・47・48・49・50・51・52・53・72・73・74・75・77・78・79・80・81・82・83号土坑 および第2号集石遺構の平面図・断面図



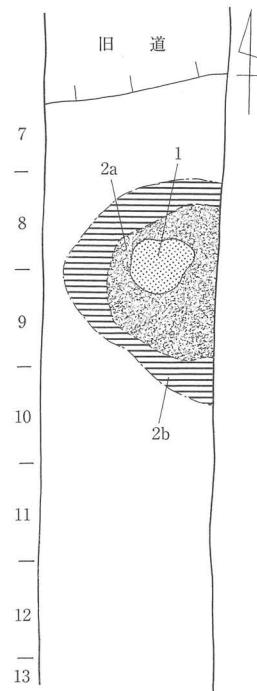
第30図 第19・66・68・69・84・85・86・87・88・89号土坑の平面図・断面図



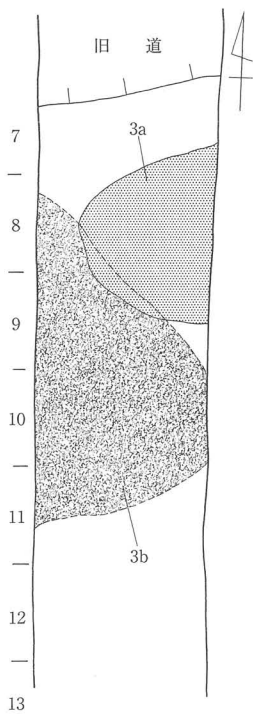
第31図 第4号焼土・炭化物集中区および第1号埋設土器の平面図・断面図



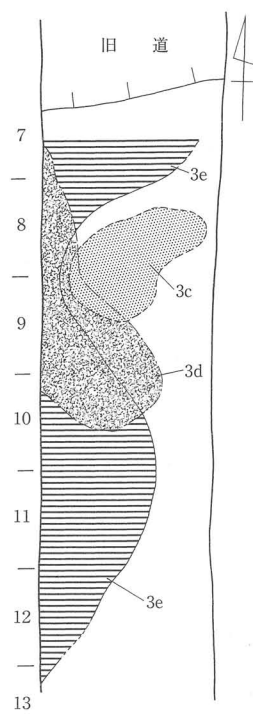
北部捨て場1・2層分布範囲



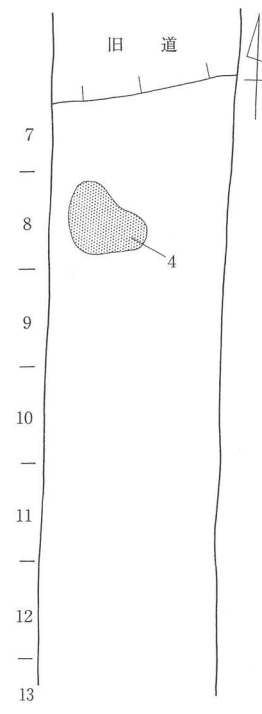
南部捨て場1・2a・2b層分布範囲



南部捨て場3a・3b層分布範囲



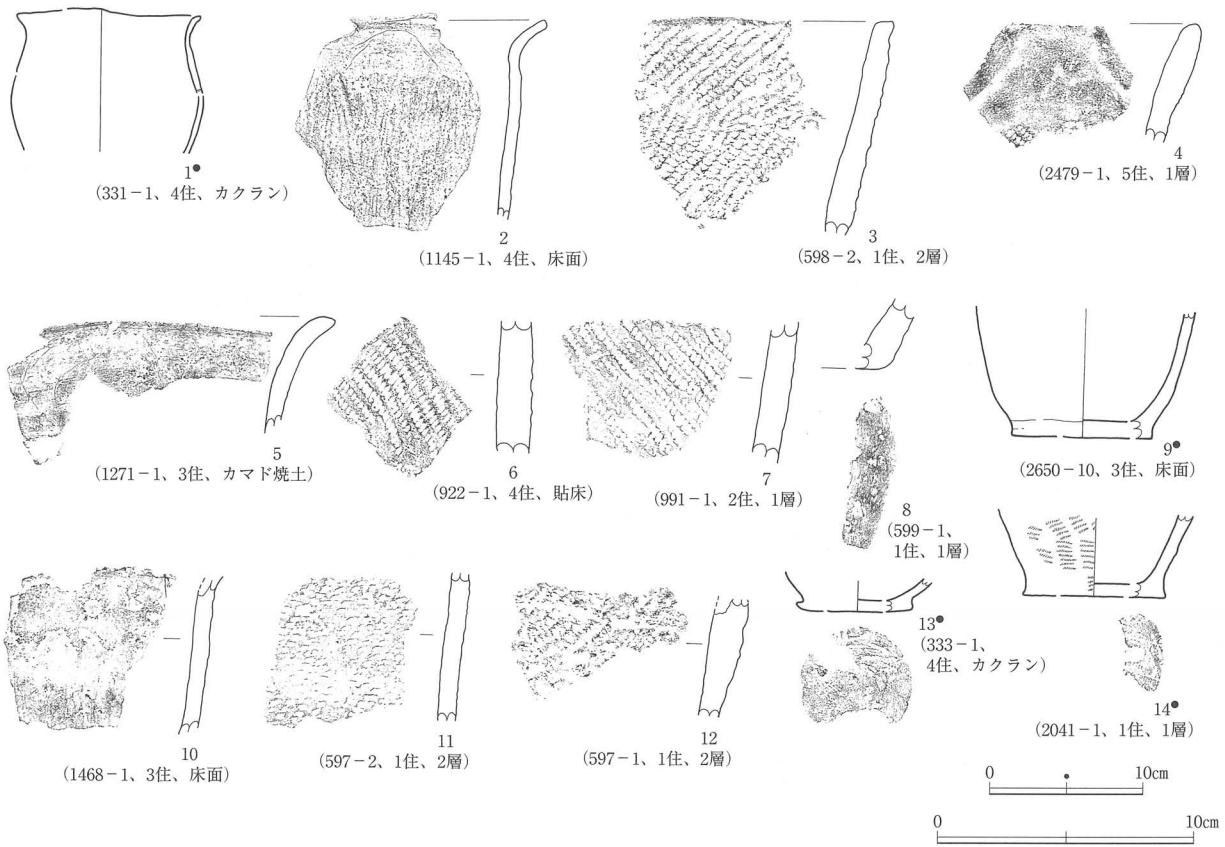
南部捨て場3c・3d・3e層分布範囲



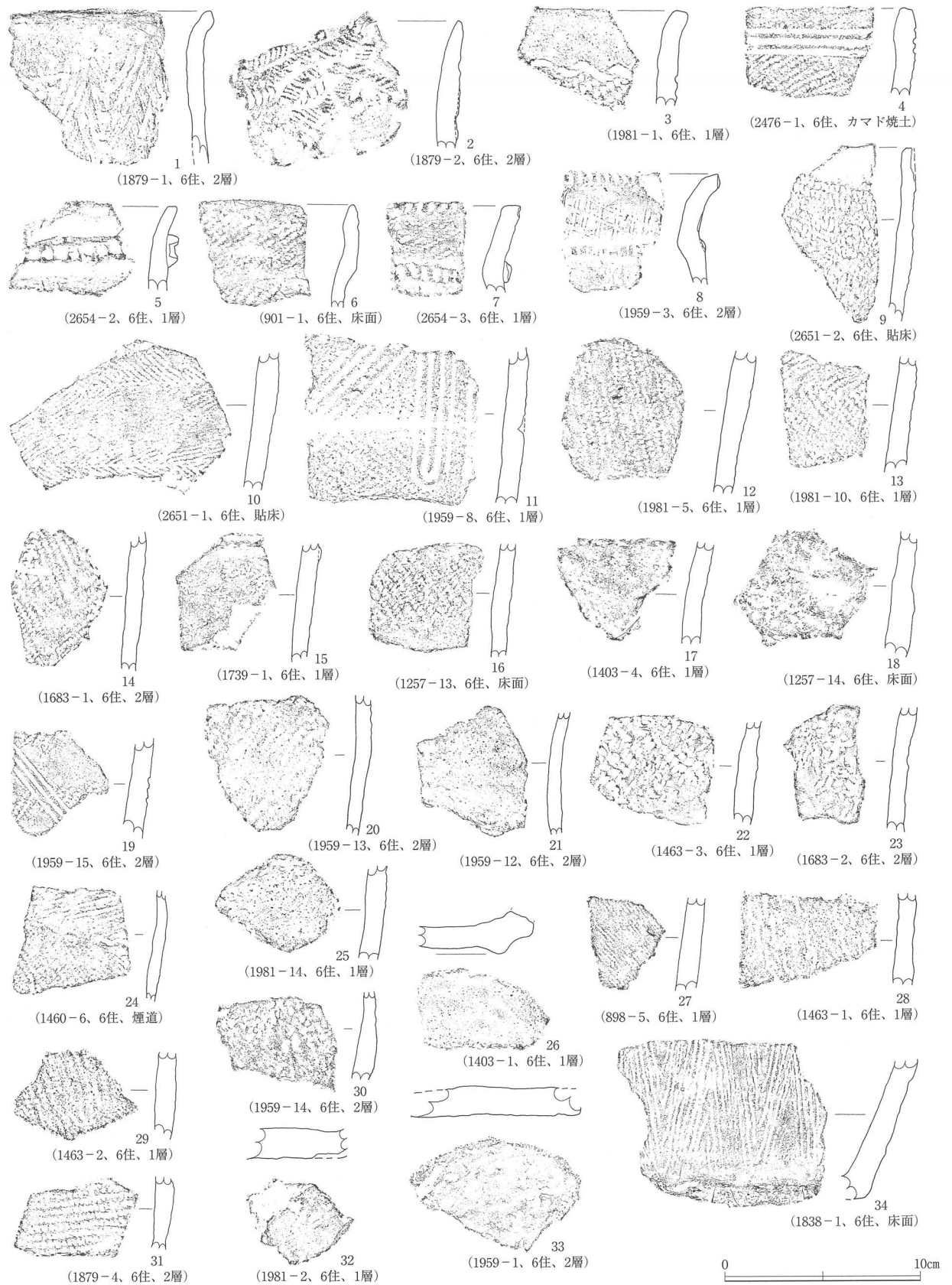
南部捨て場4層分布範囲



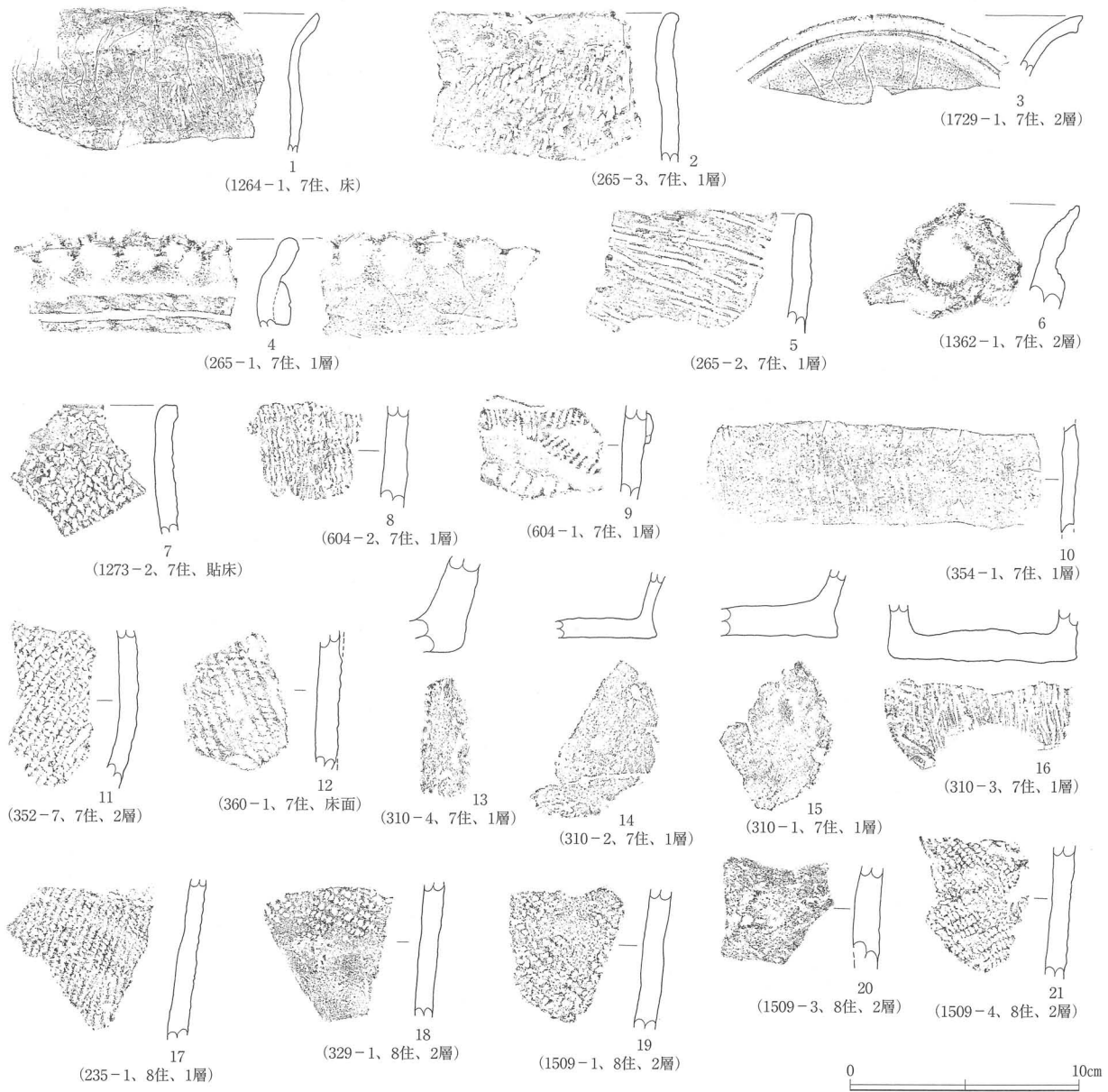
第32図 北部・南部捨て場における各層準の分布範囲



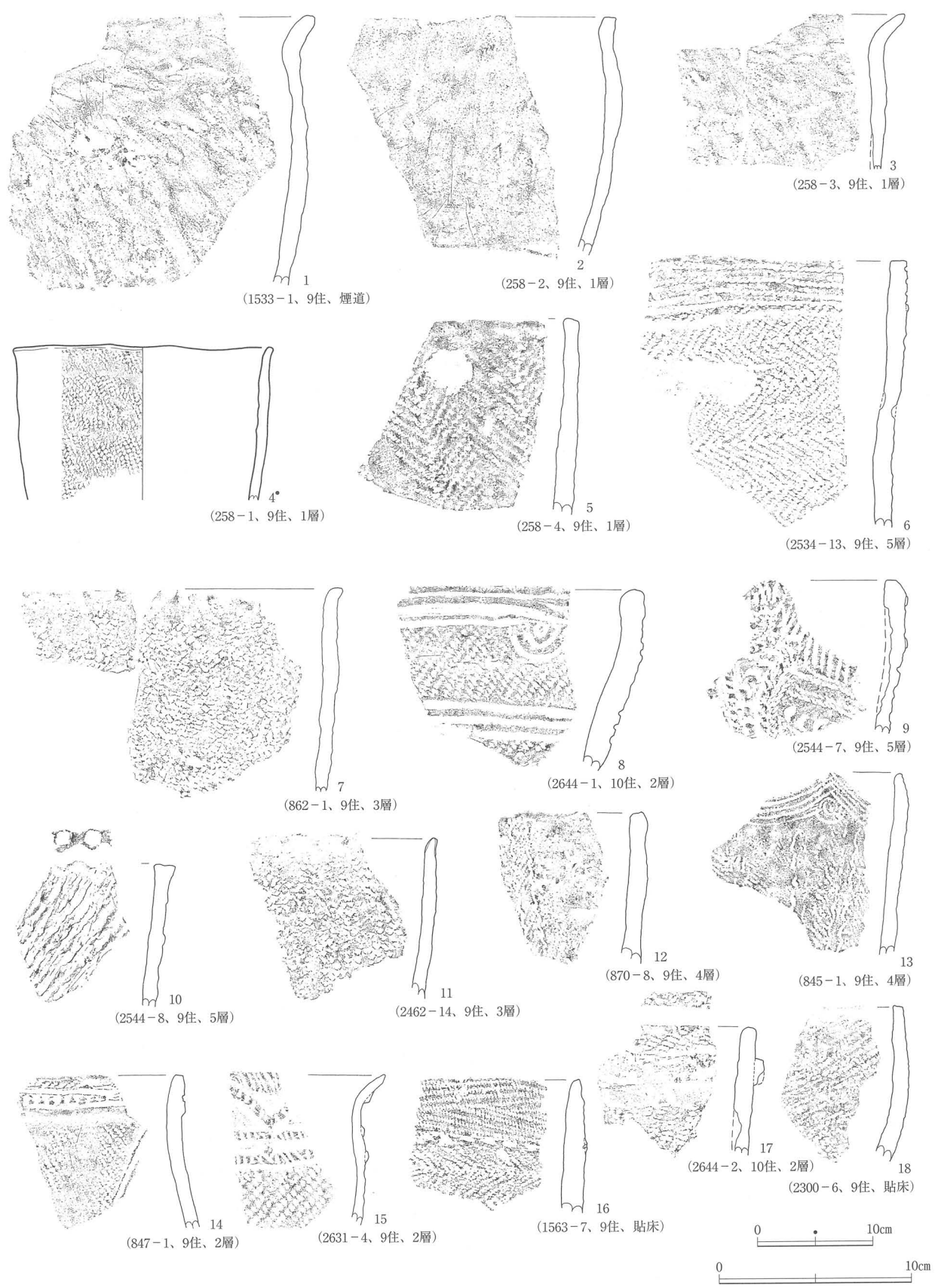
第33図 竪穴住居跡出土土器(1) (第1～4号竪穴住居跡)



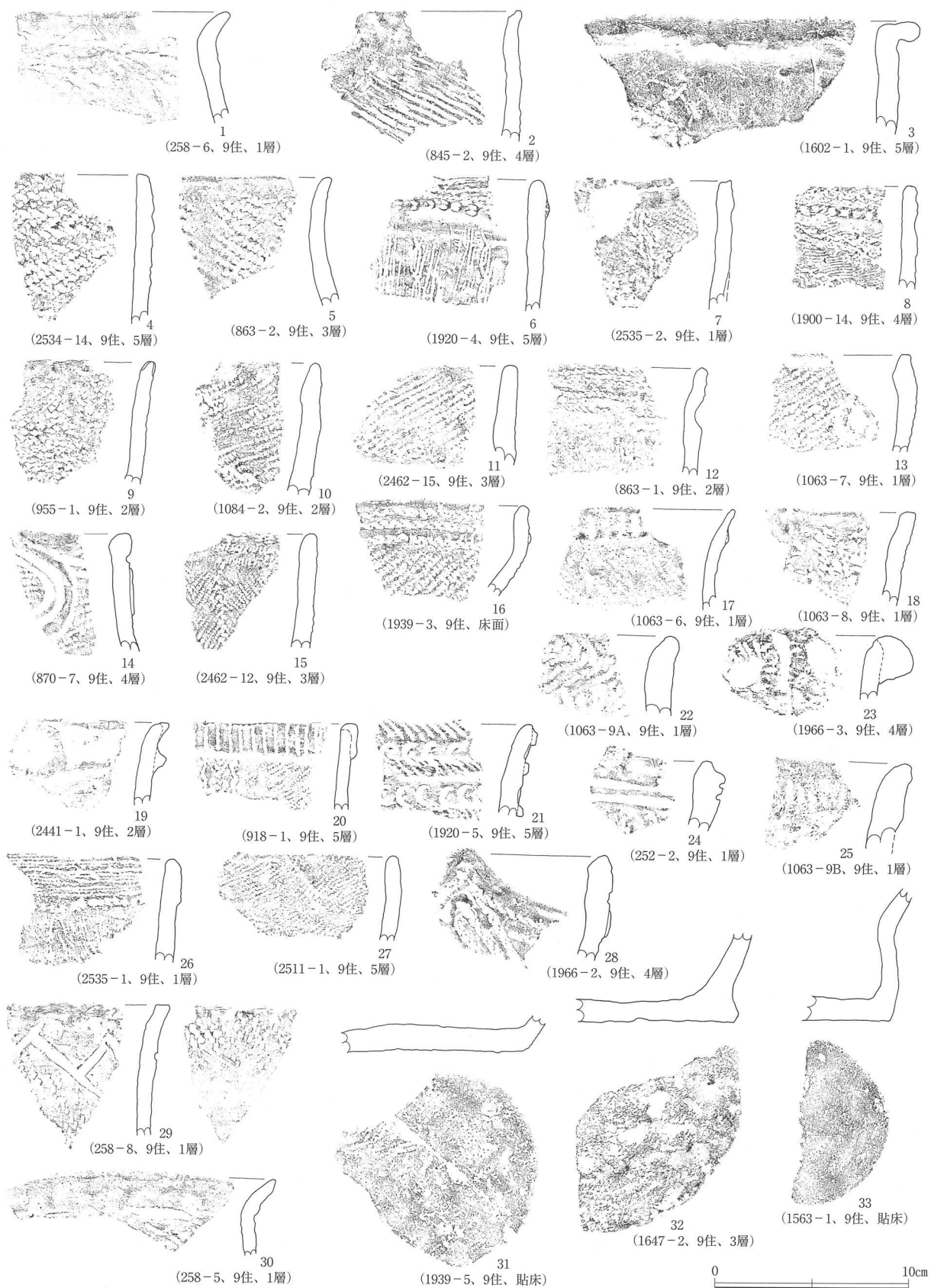
第34図 竪穴住居跡出土土器(2) (第6号竪穴住居跡)



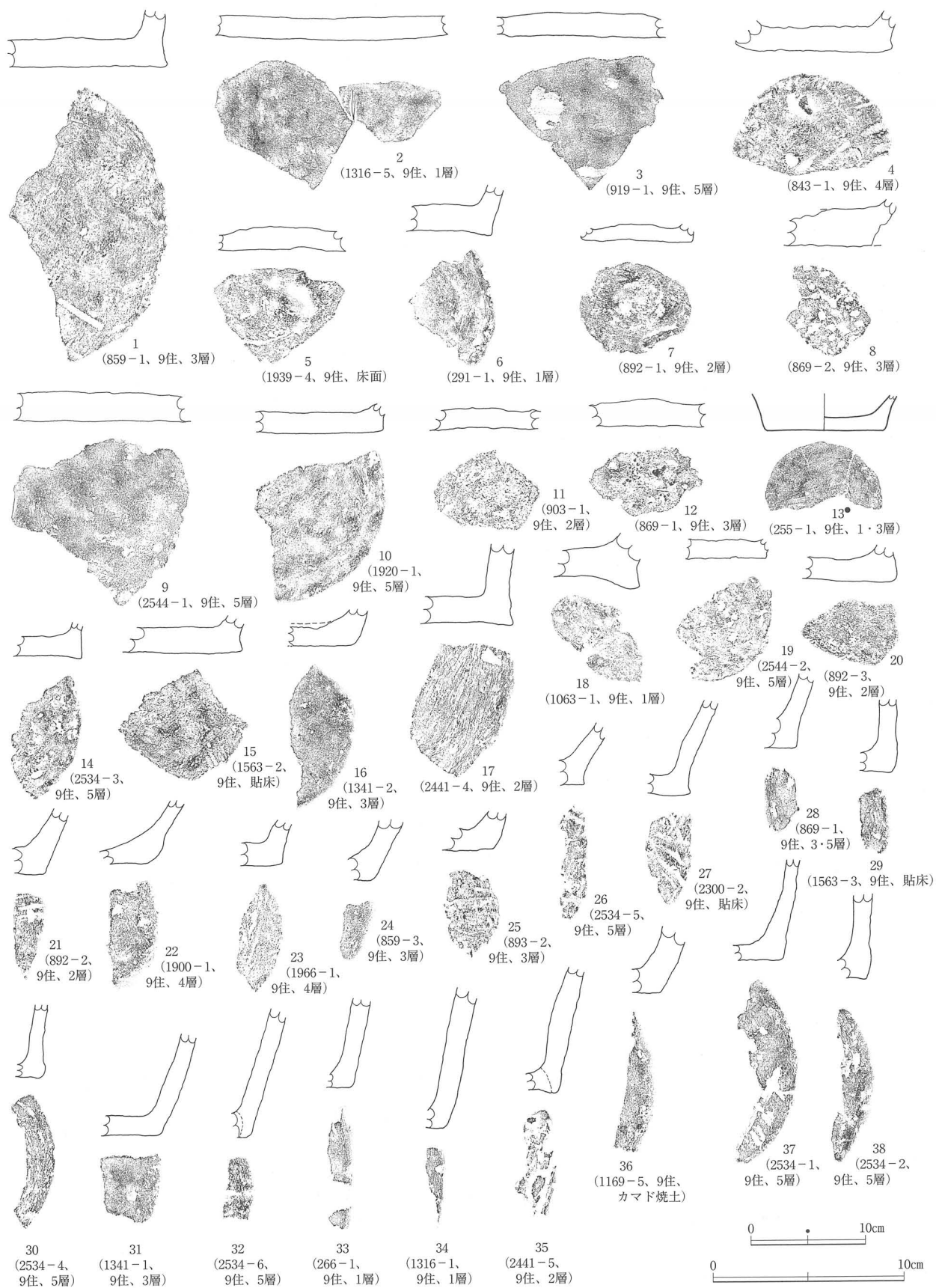
第35图 竖穴住居跡出土土器(3) (第7・8号竖穴住居跡)



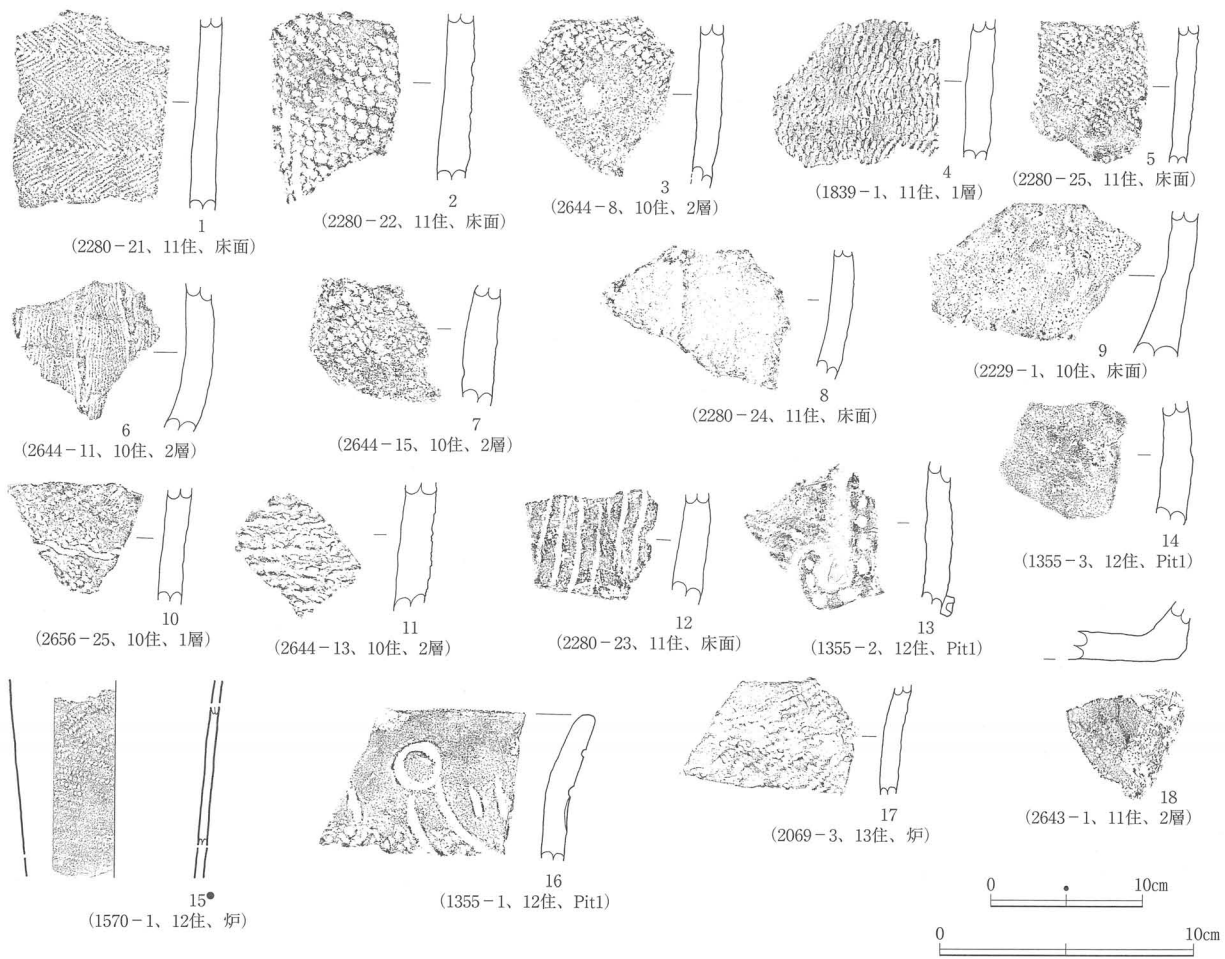
第36図 豎穴住居跡出土土器(4) (第9号豎穴住居跡(1))



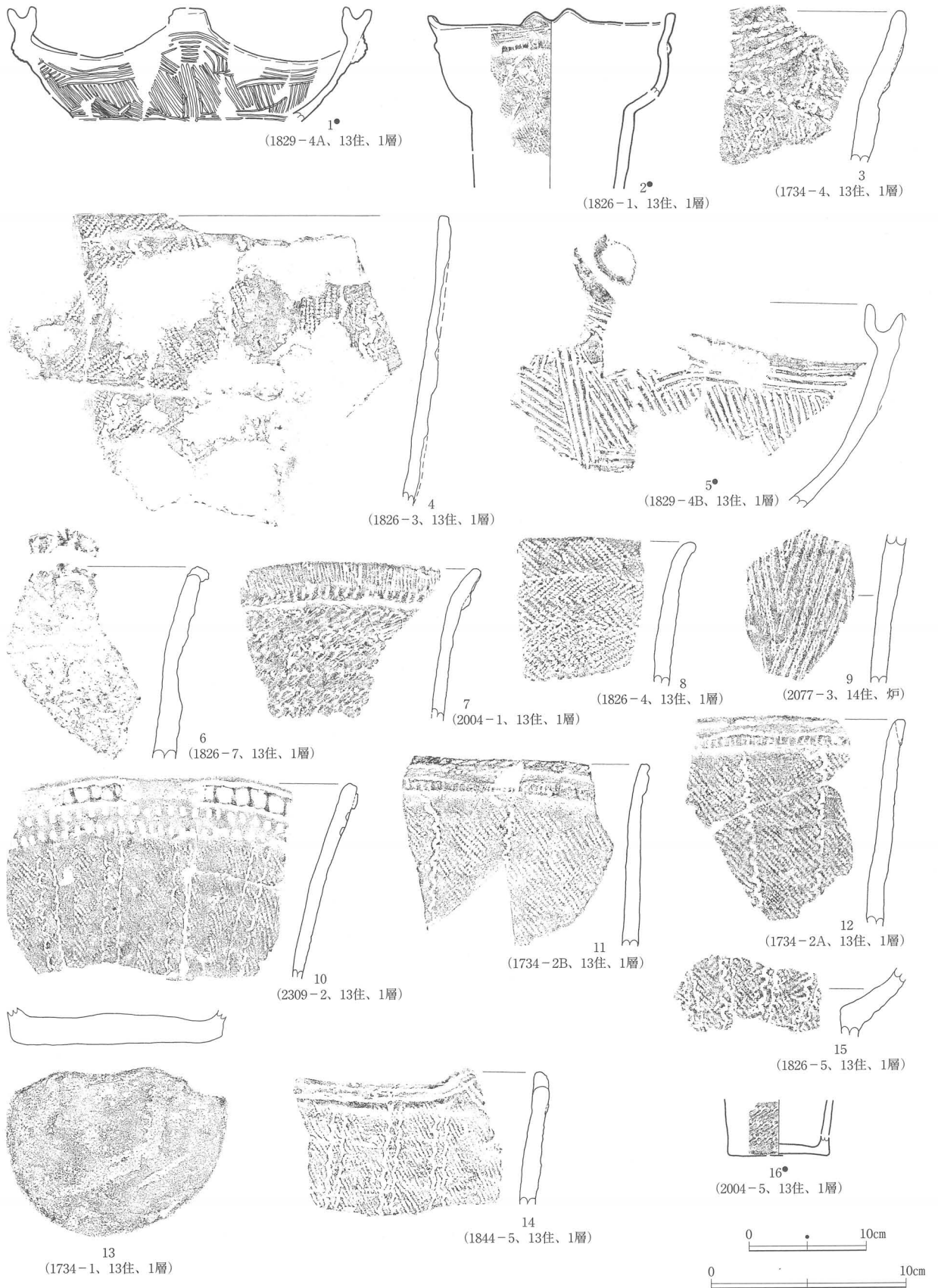
第37図 竪穴住居跡出土土器(5) (第9号竪穴住居跡(2))



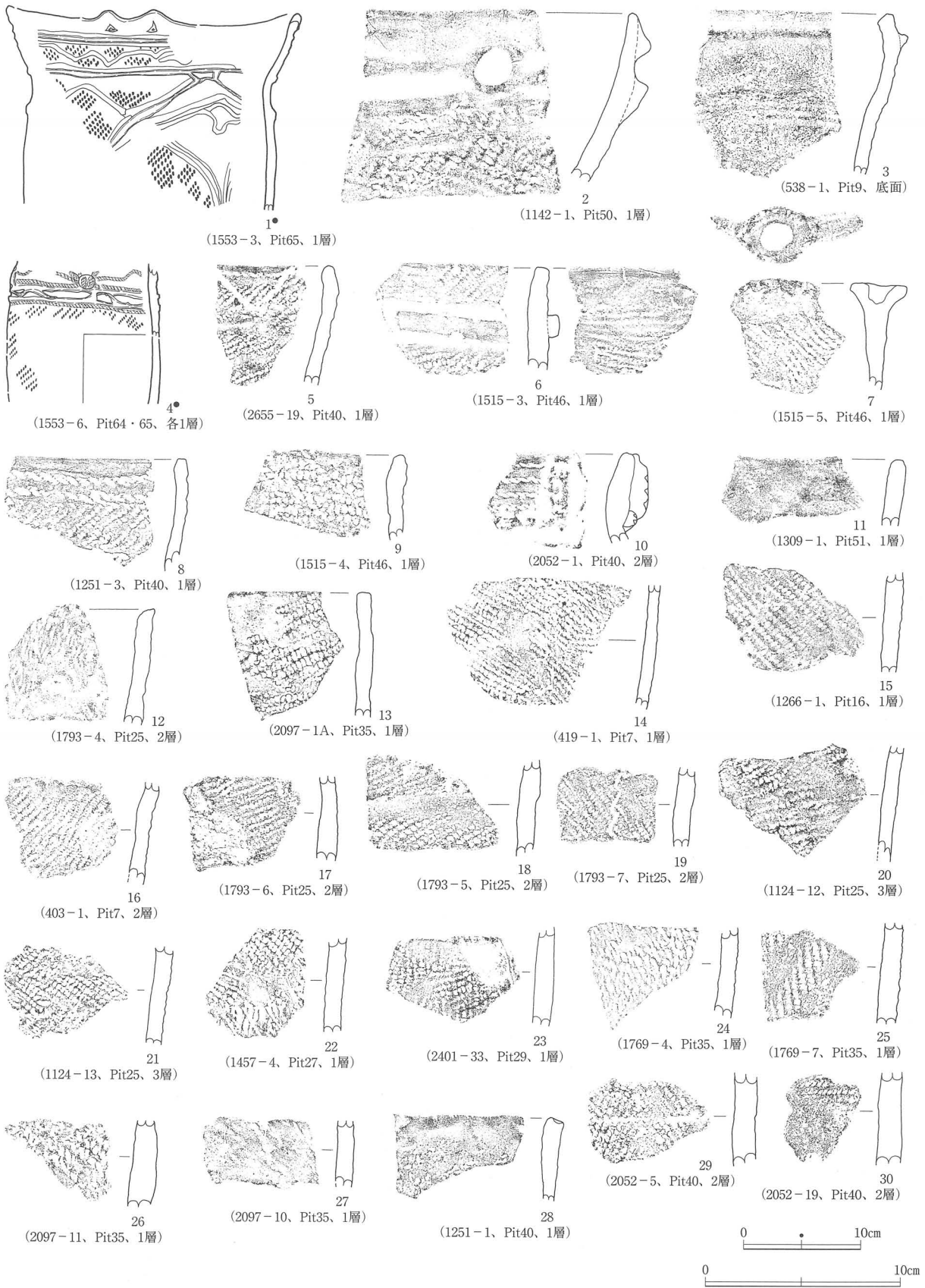
第38図 竪穴住居跡出土土器(6) (第9号竪穴住居跡(3))



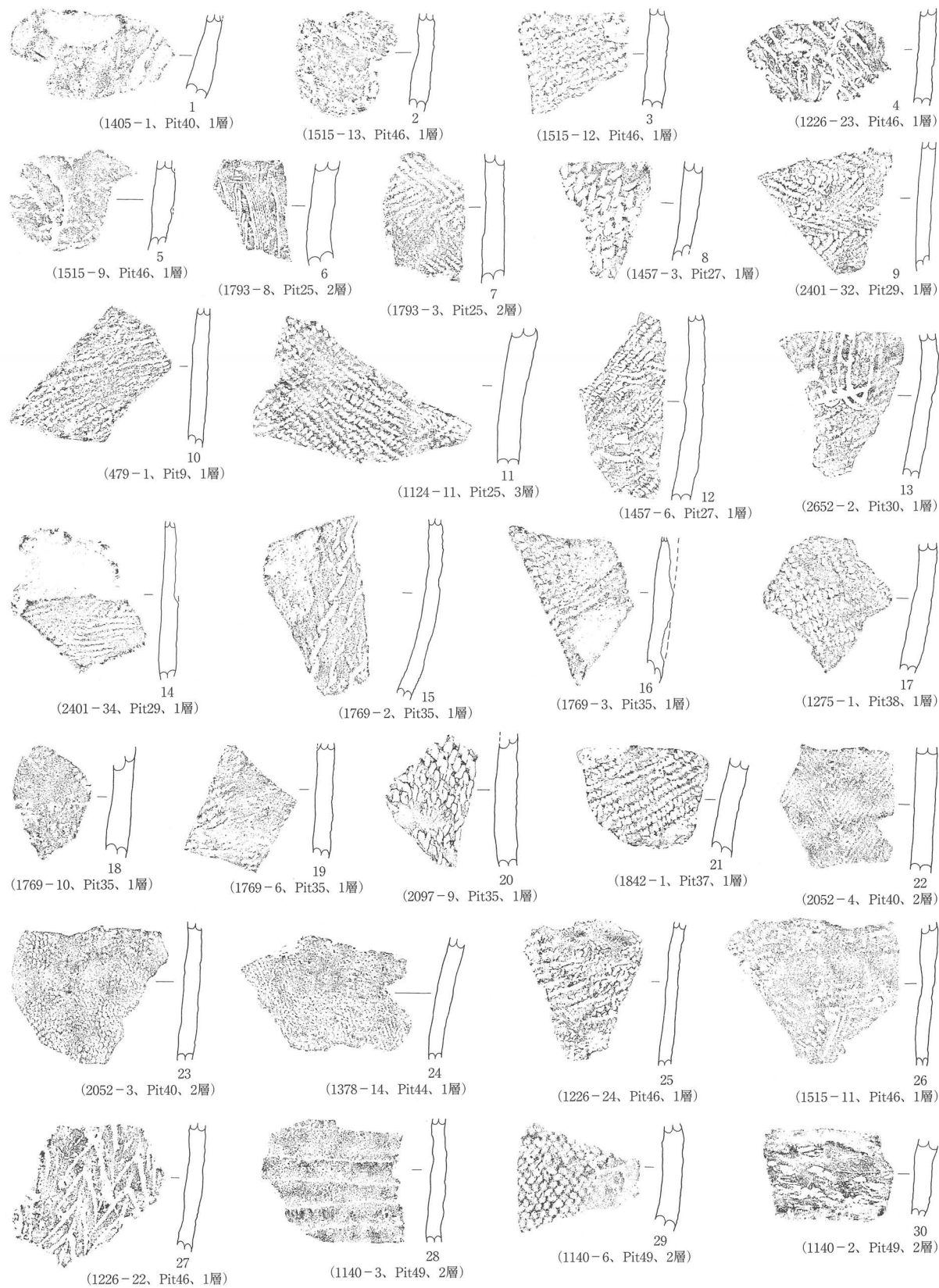
第39图 竖穴住居跡出土土器(7) (第10~13号竖穴住居跡)



第40图 豎穴住居跡出土土器(8) (第13・14号豎穴住居跡)

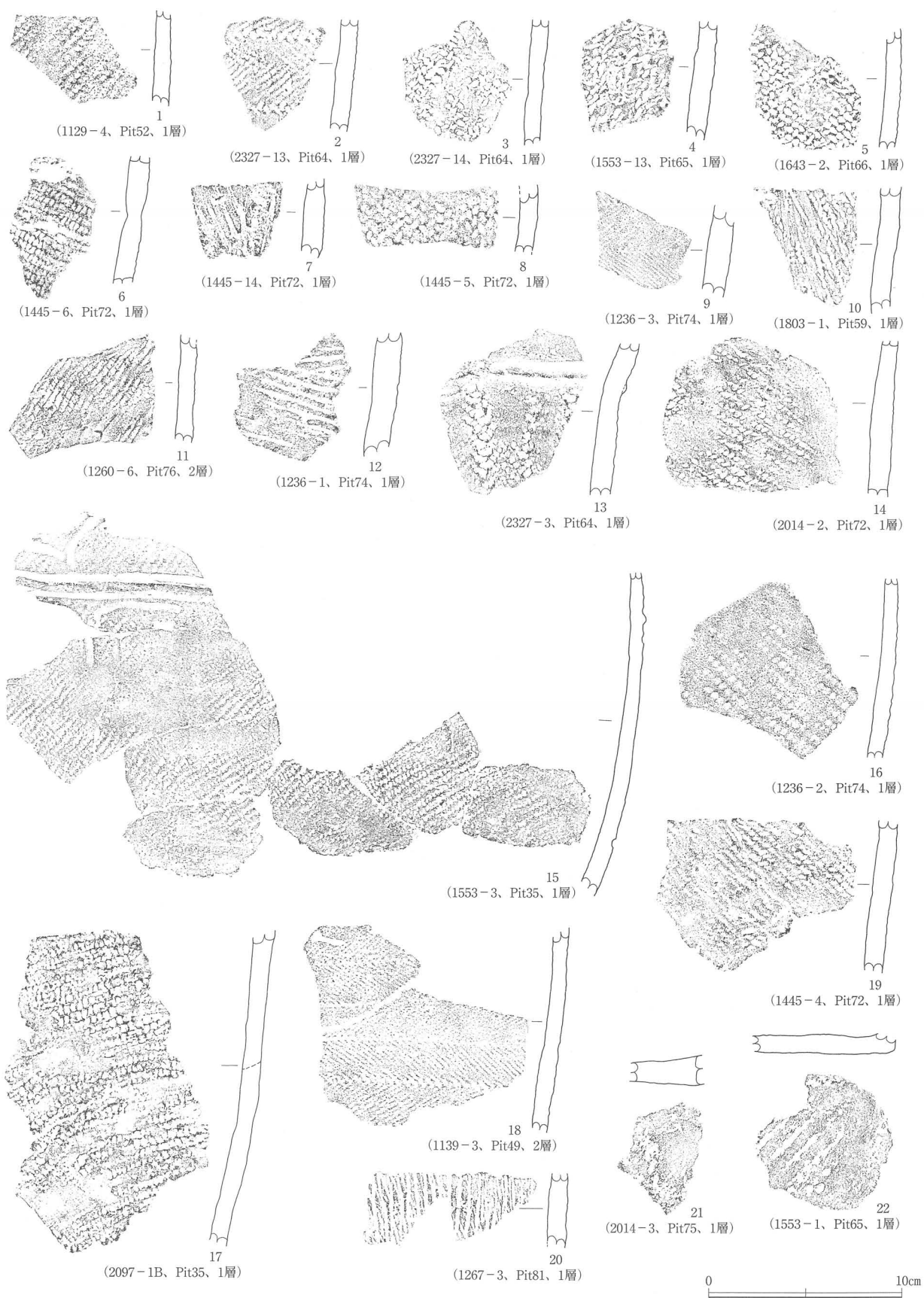


第41图 土坑出土土器(1)

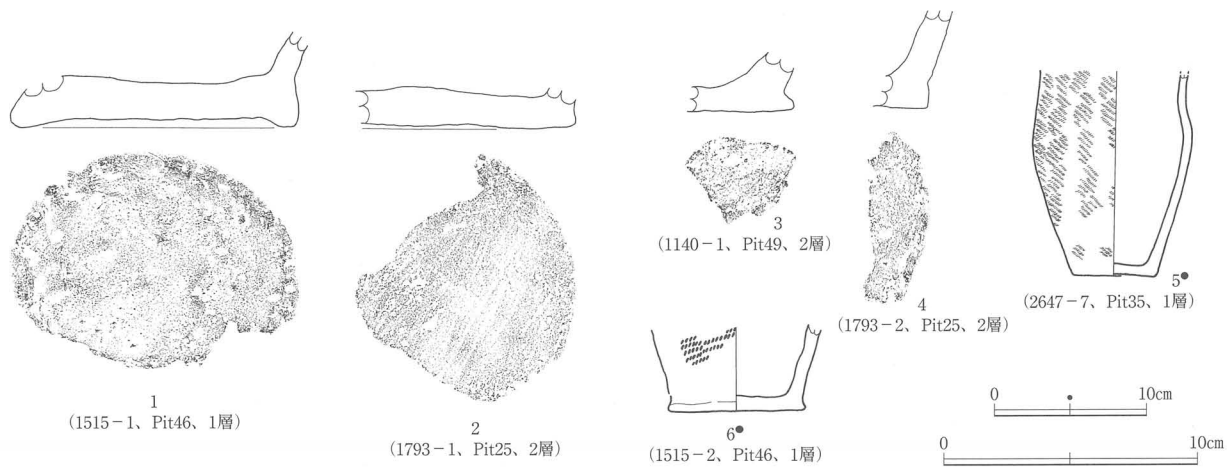


0 10cm

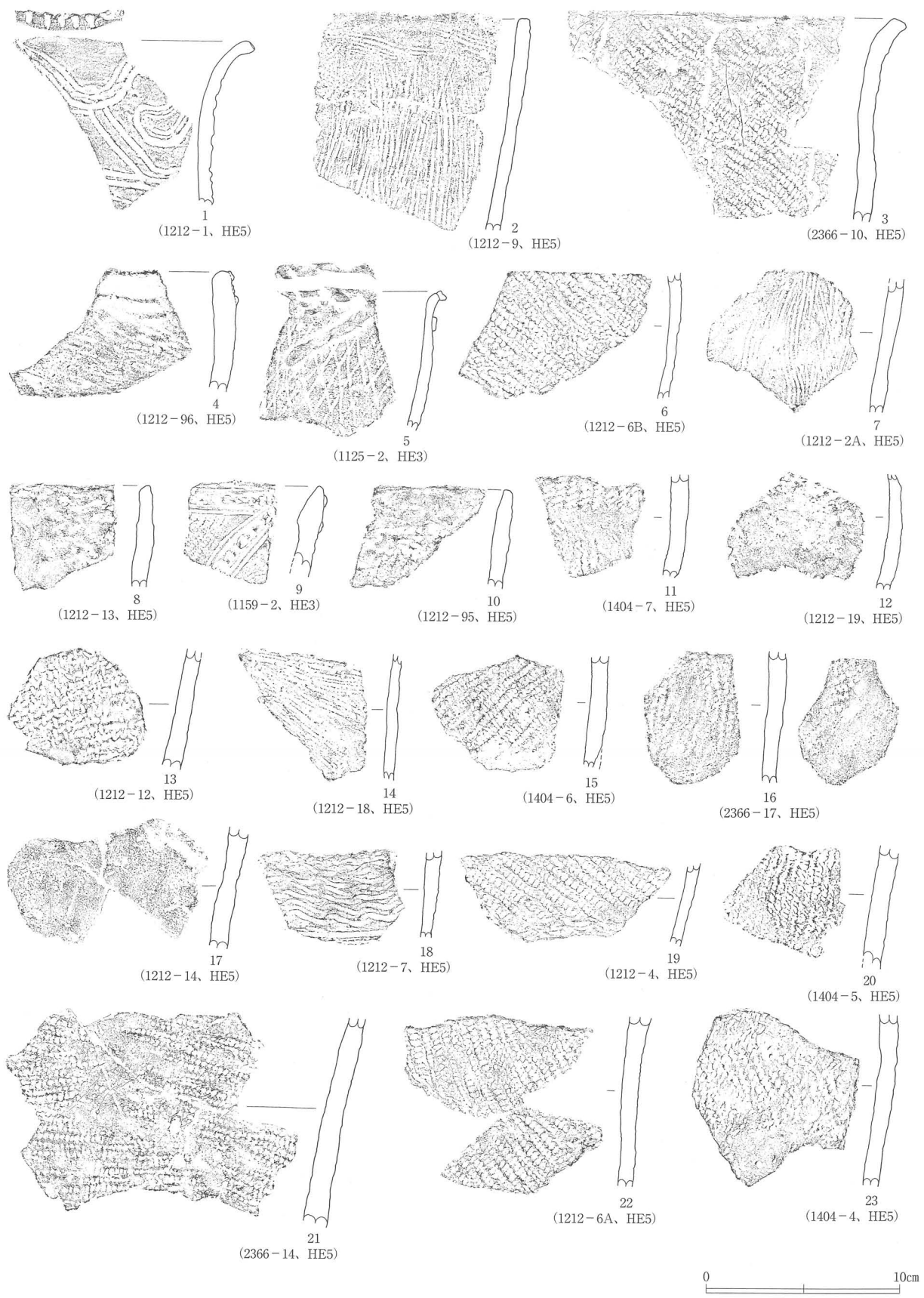
第42図 土坑出土土器(2)



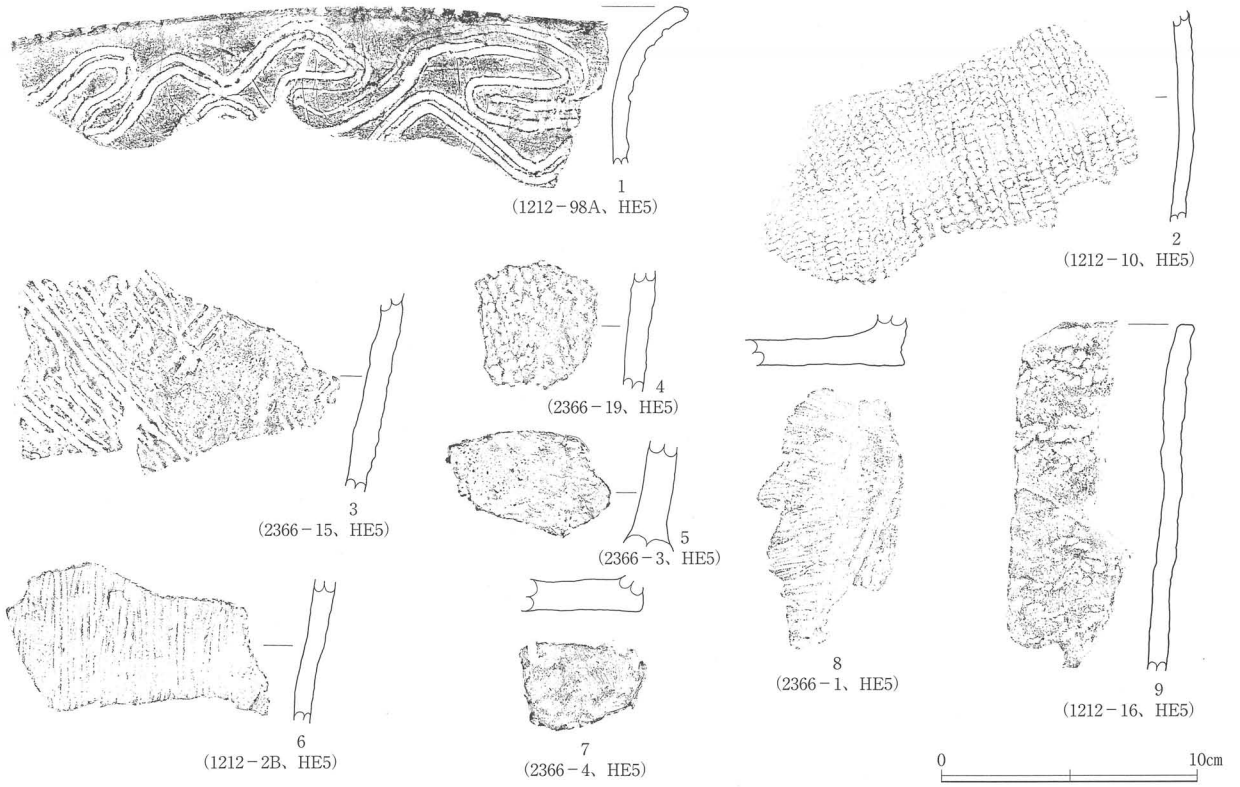
第43図 土坑出土土器(3)



第44圖 土坑出土土器(4)



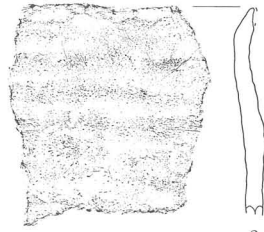
第45图 烧土·炭化物集中区出土土器(1)



第46图 烧土・炭化物集中区出土土器(2)



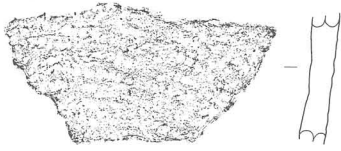
1
(519-1、1号集石)



2
(1674-1、2号集石)



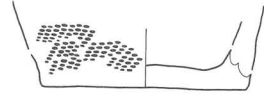
3
(757-1、1号集石)



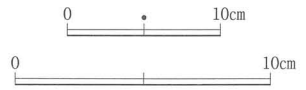
4
(1235-1、2号集石)



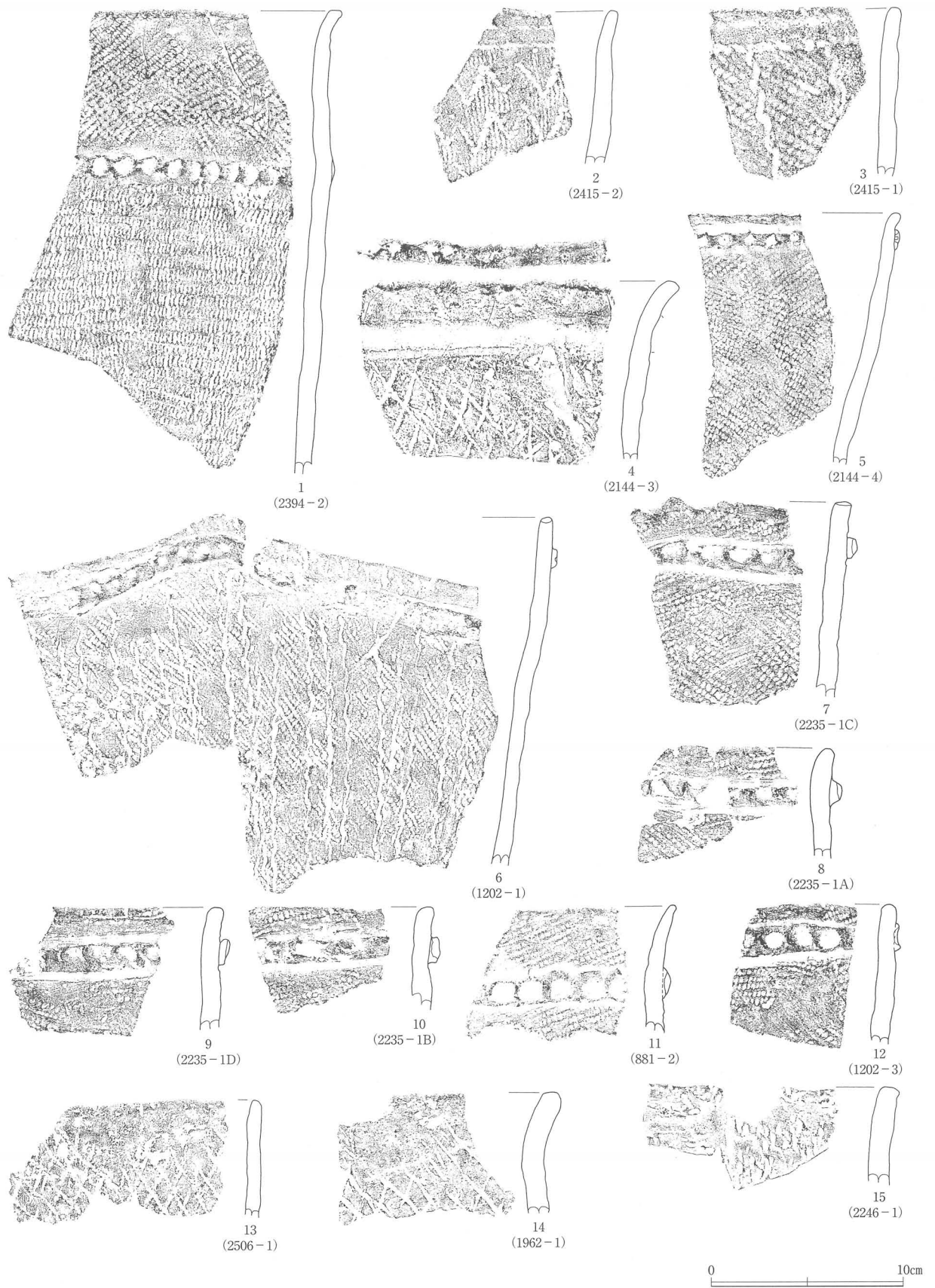
5
(1235-2、2号集石)



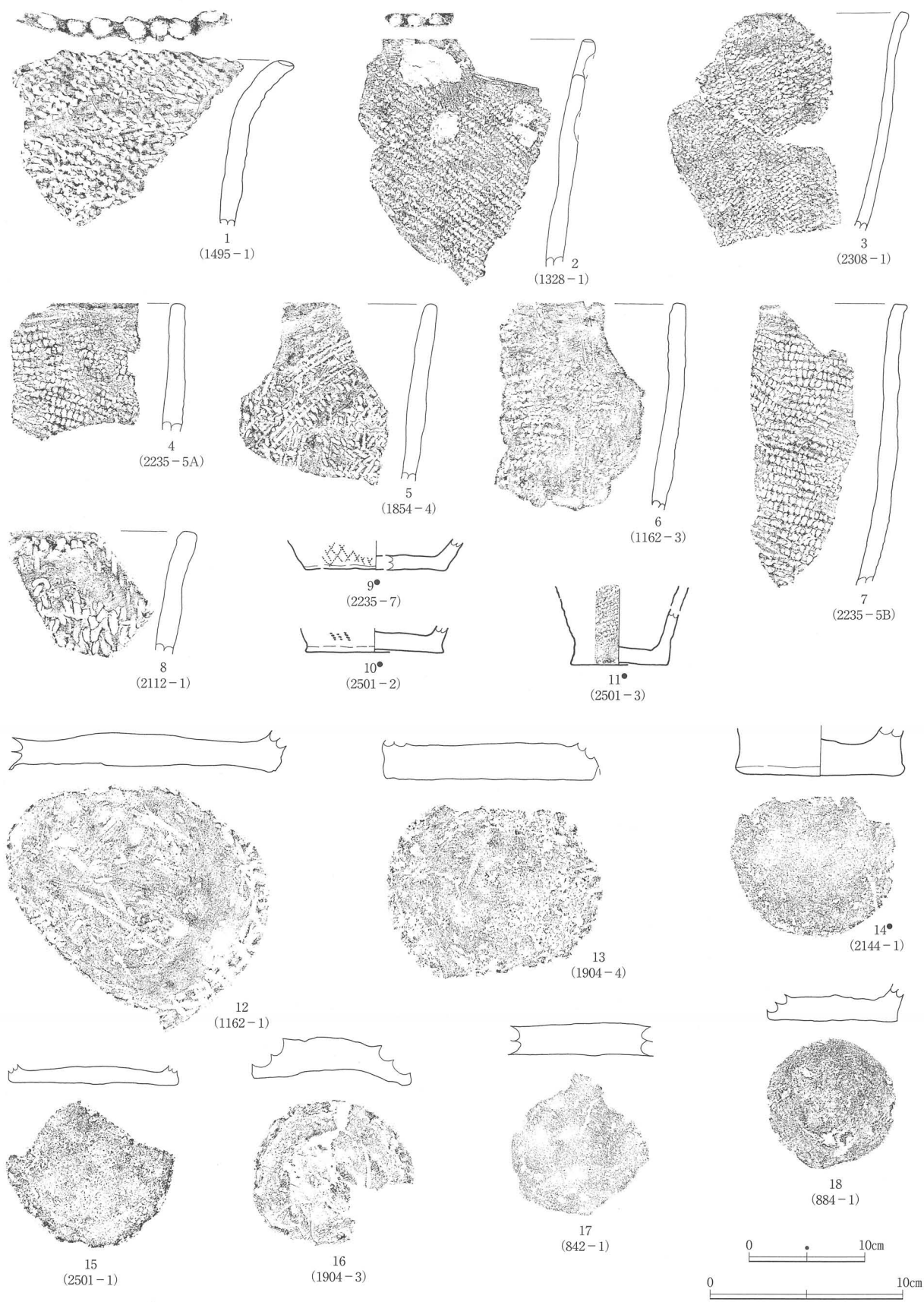
6
(521-1、1号埋設土器)



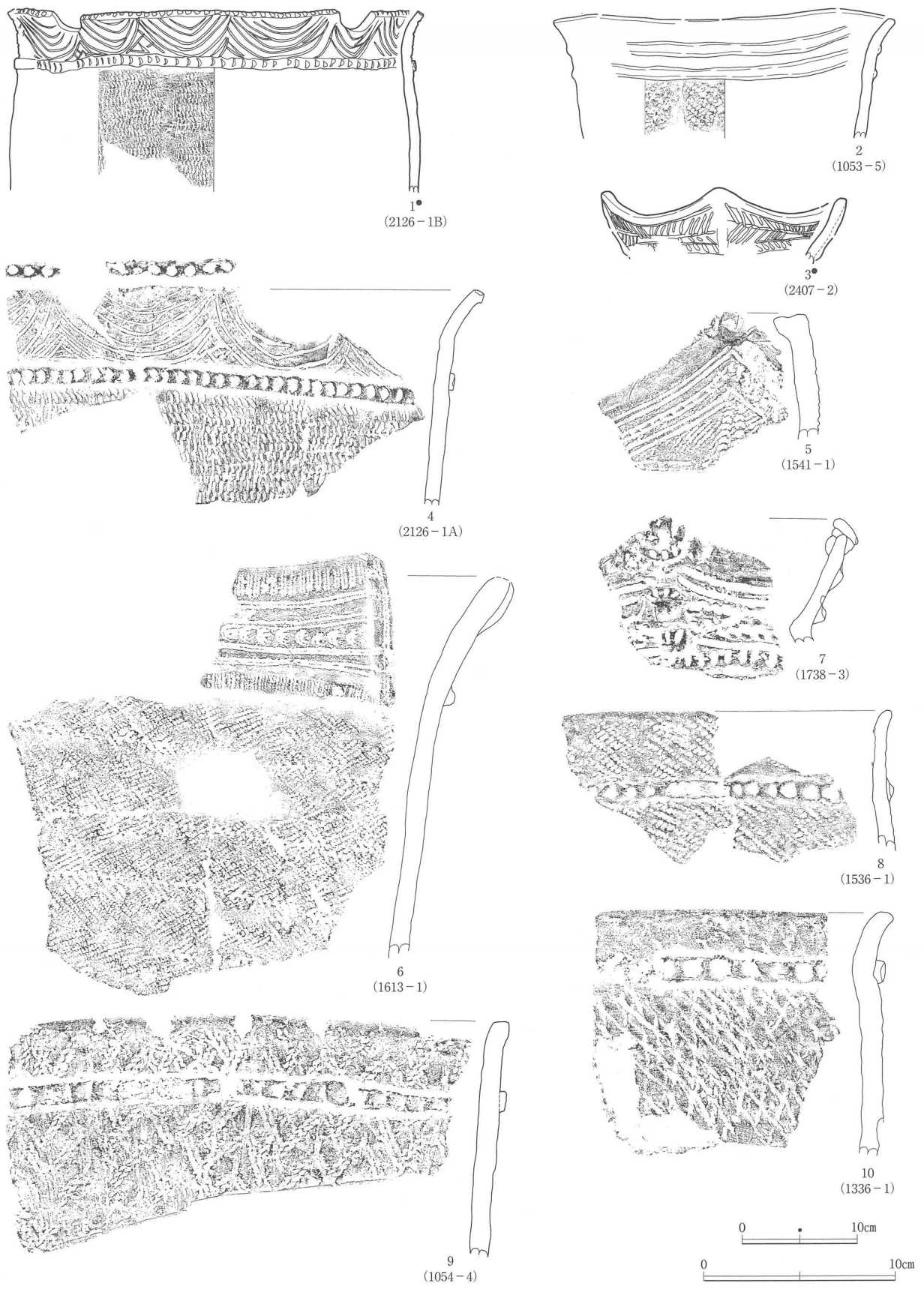
第47図 集石遺構・埋設土器出土土器



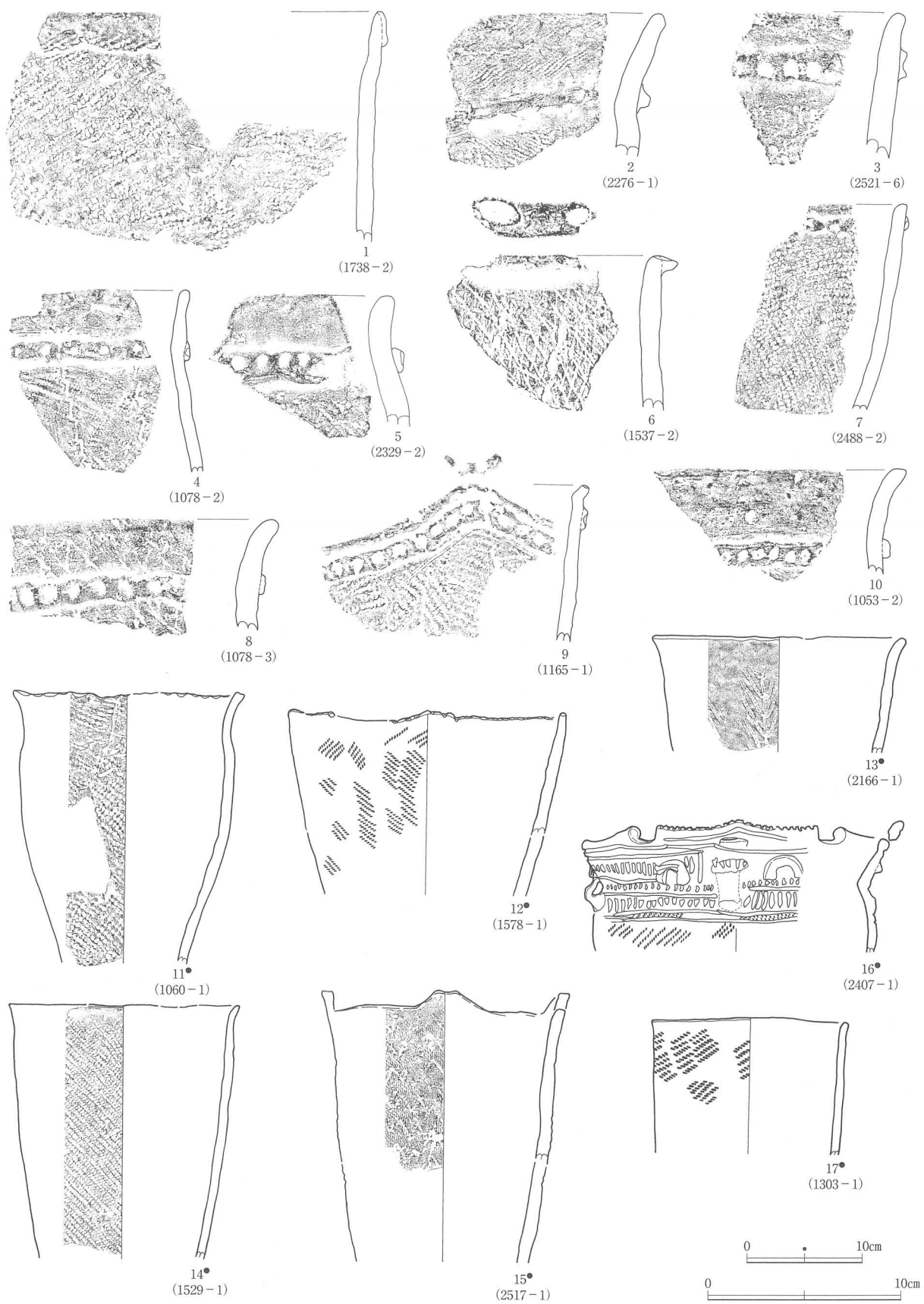
第48図 捨て場出土土器(1) (北部捨て場および南部捨て場1層)



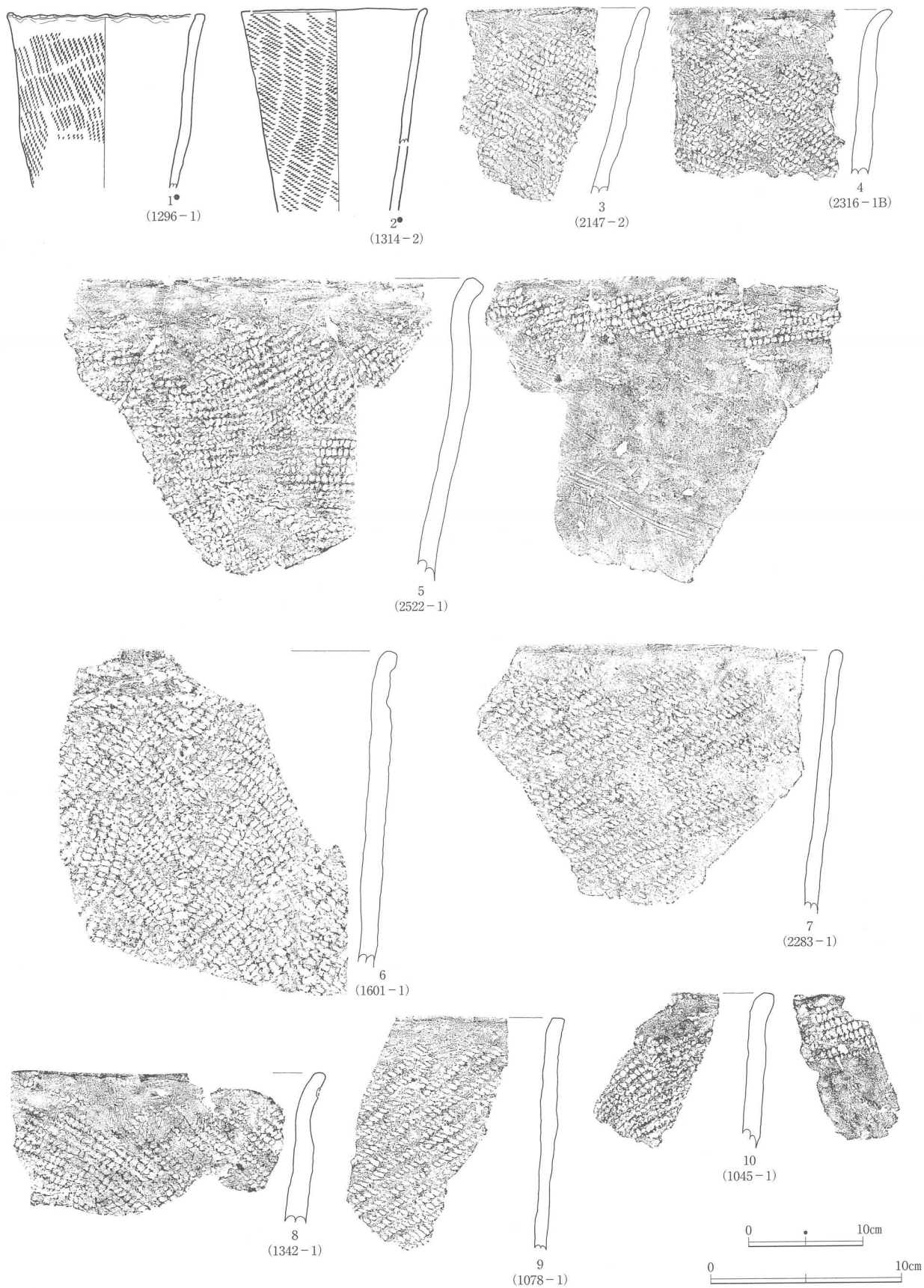
第49図 捨て場出土土器(2) (南部捨て場1層)



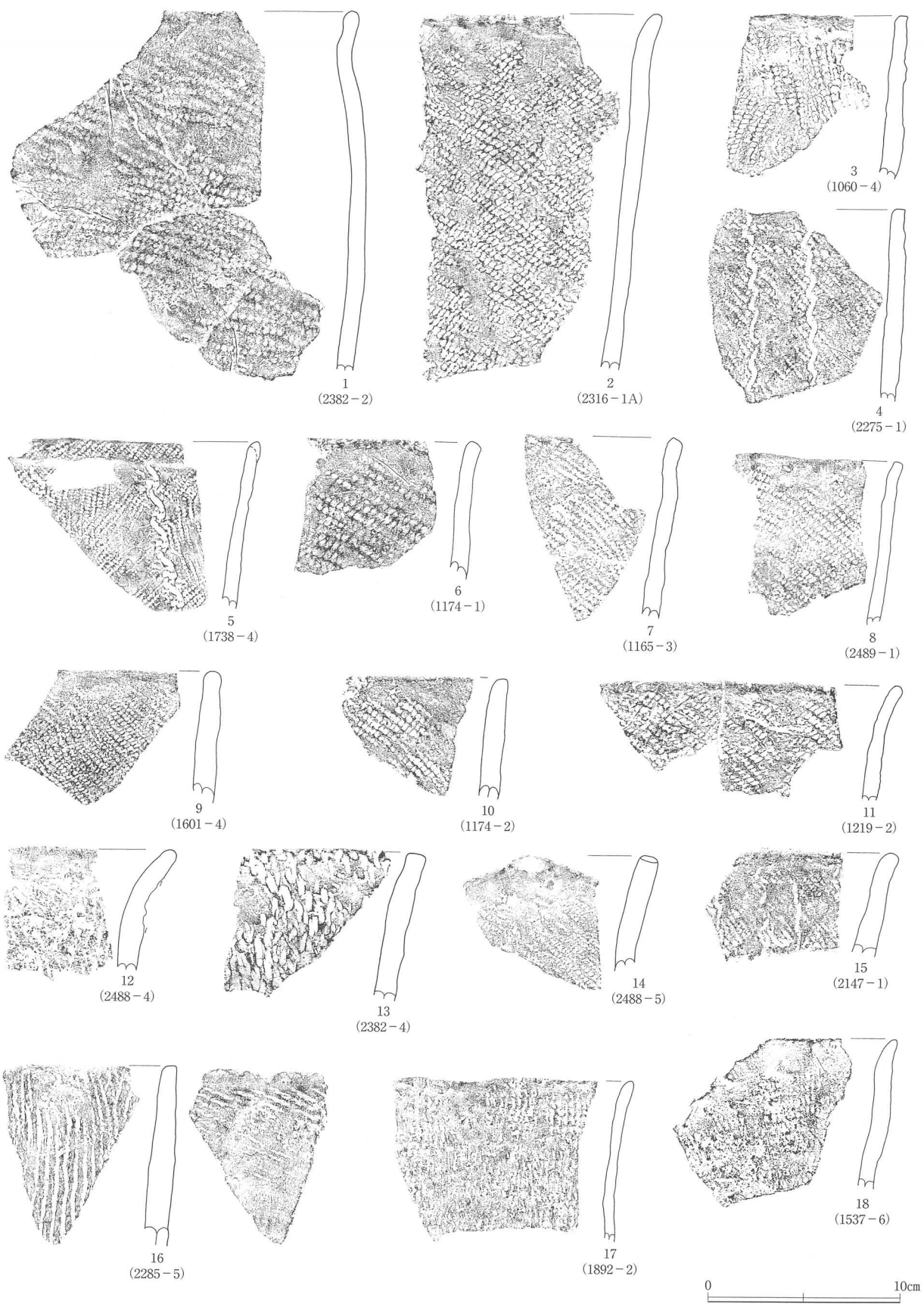
第50図 捨て場出土土器(3) (南部捨て場 2 a 層)



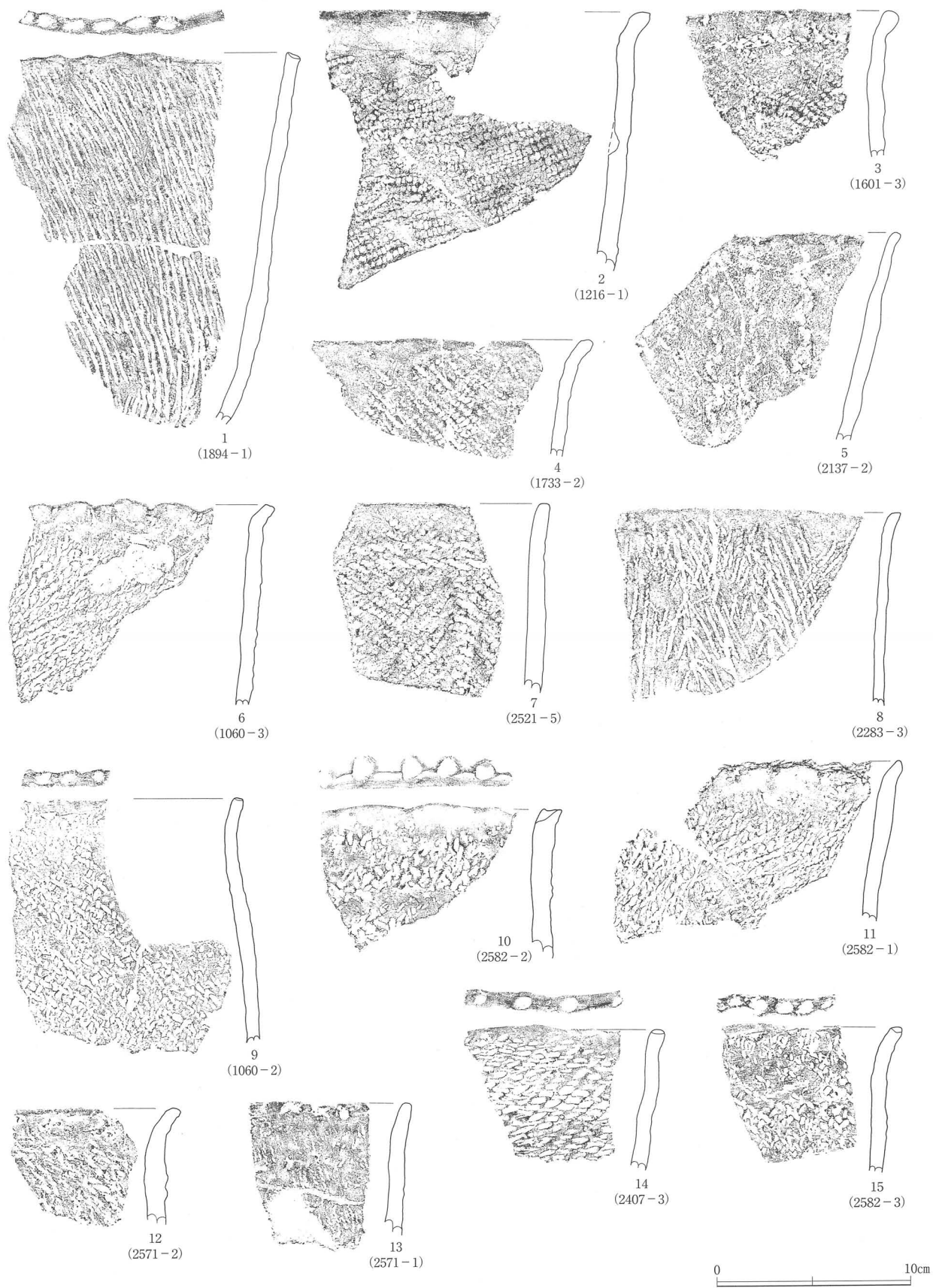
第51図 捨て場出土土器(4) (南部捨て場 2 a 層)



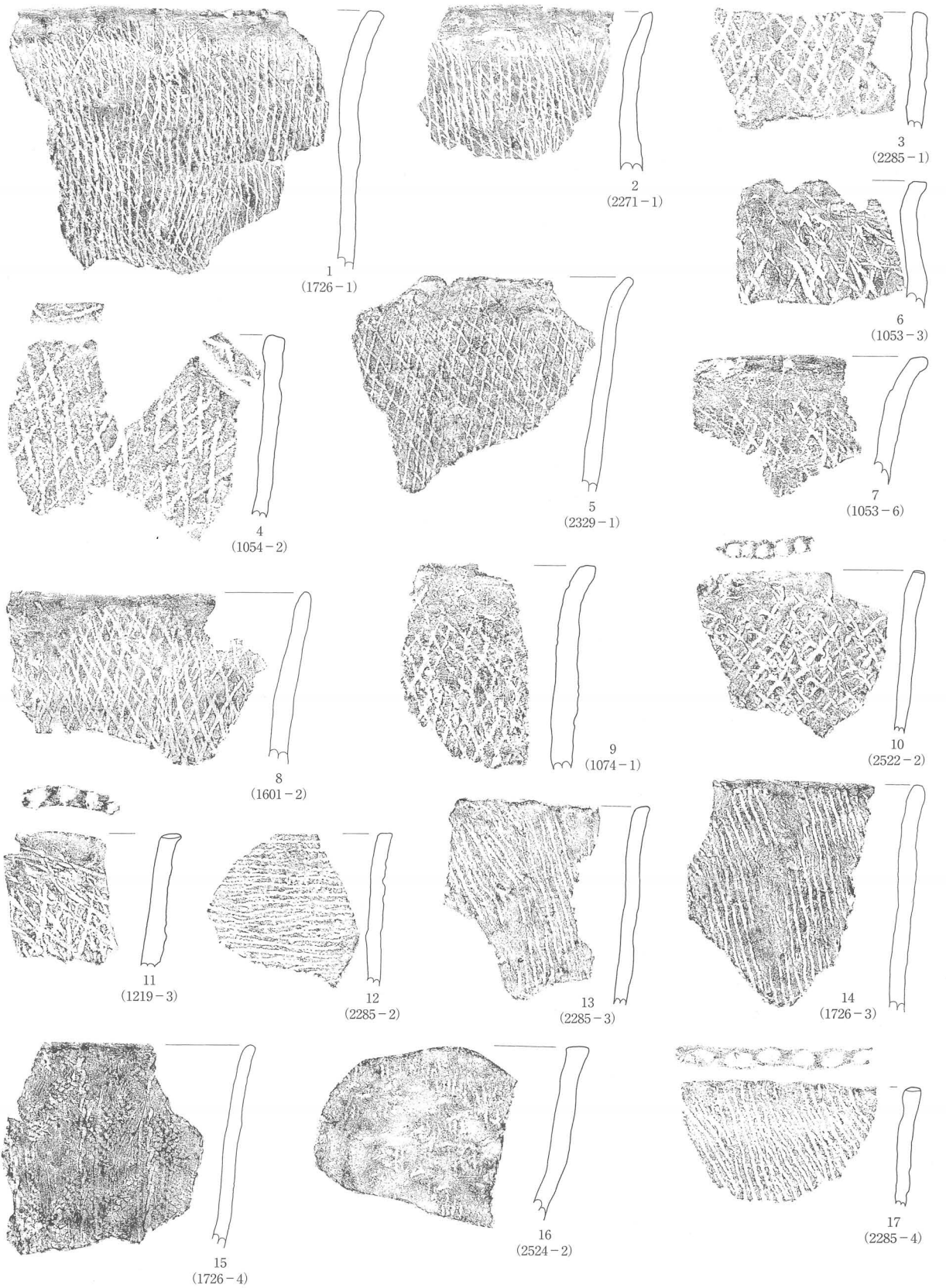
第52図 捨て場出土土器(5) (南部捨て場 2 a 層)



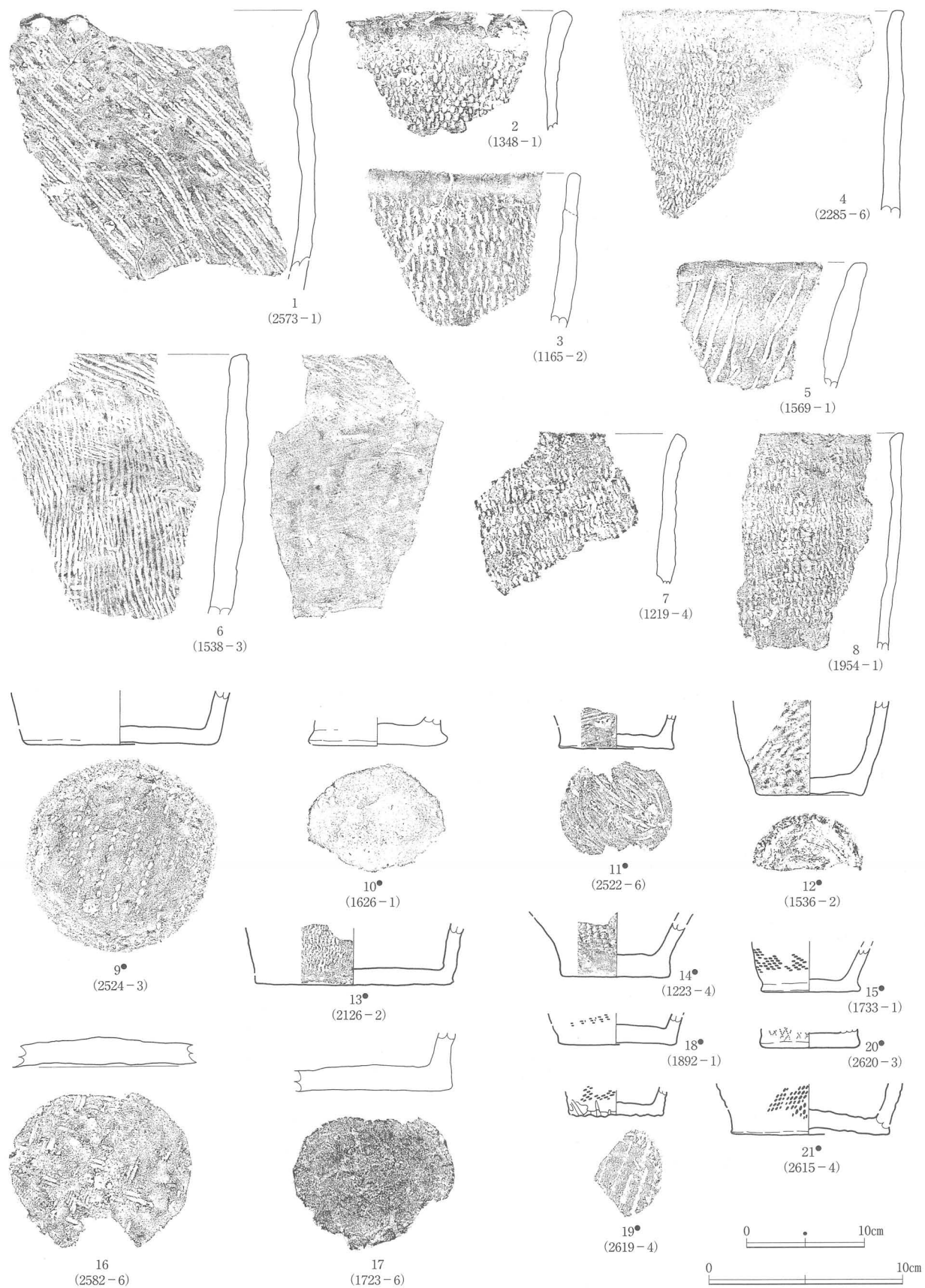
第53図 捨て場出土土器(6) (南部捨て場 2 a 層)



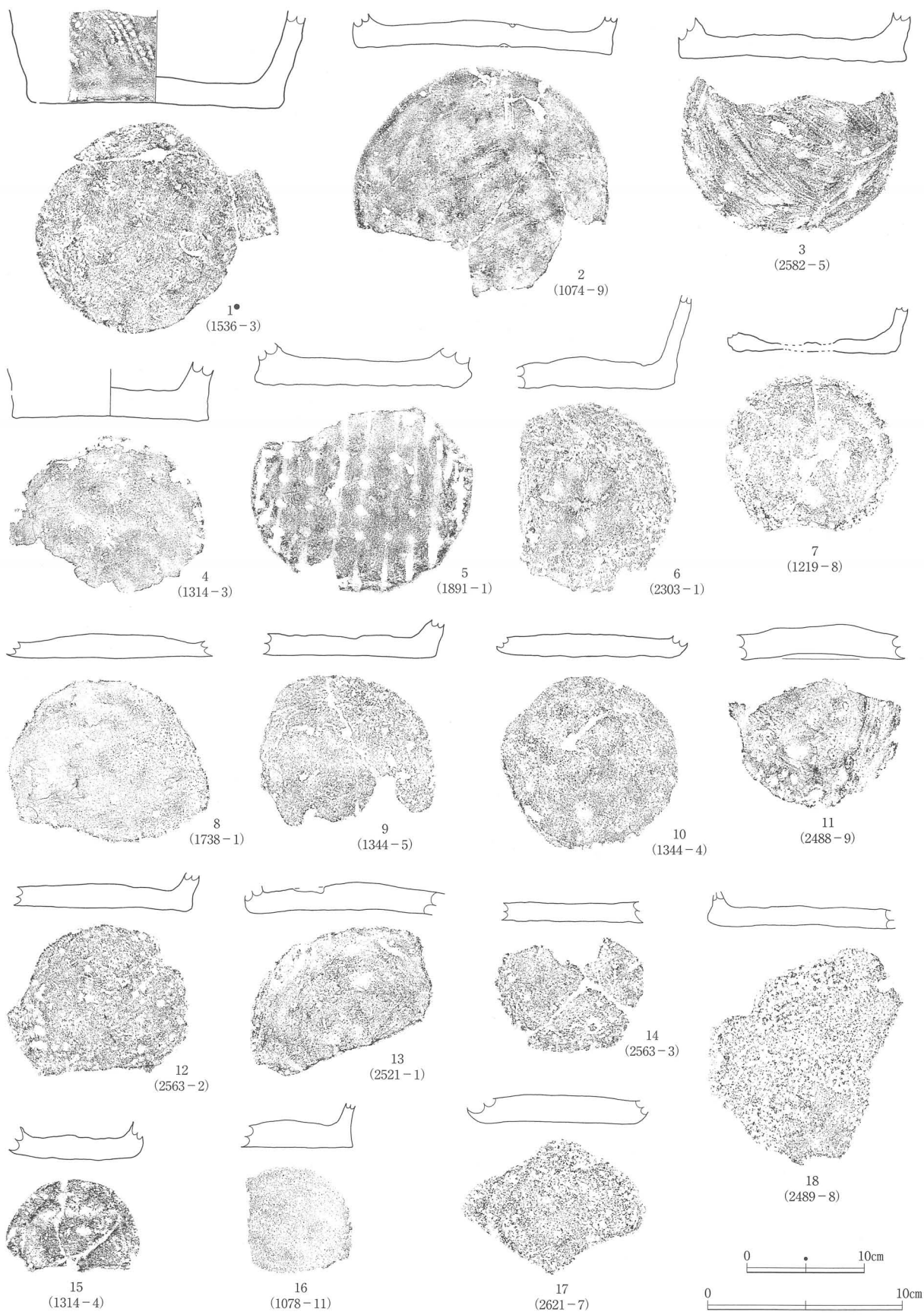
第54図 捨て場出土土器(7) (南部捨て場2 a層)



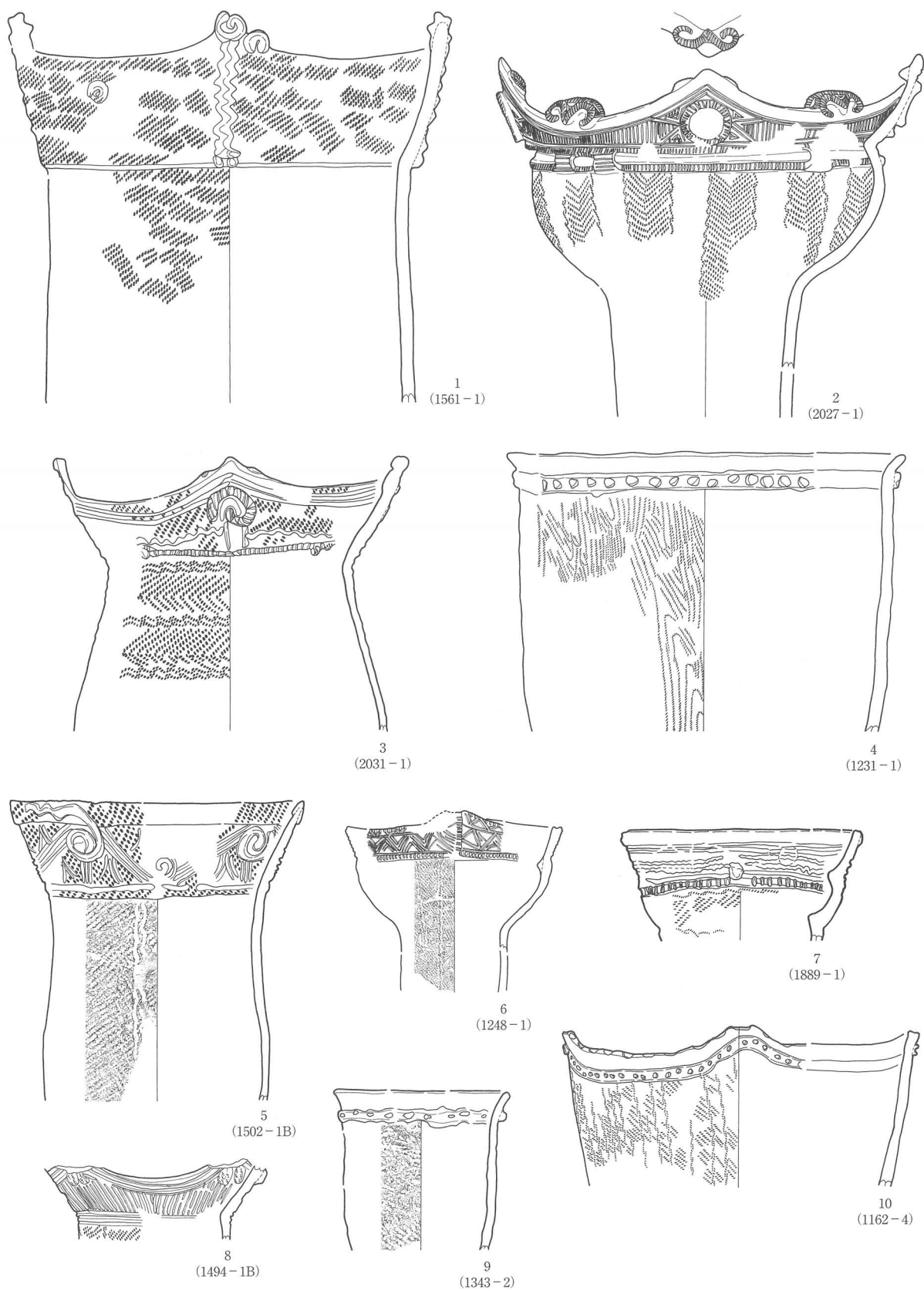
第55図 捨て場出土土器(8) (南部捨て場2 a層)



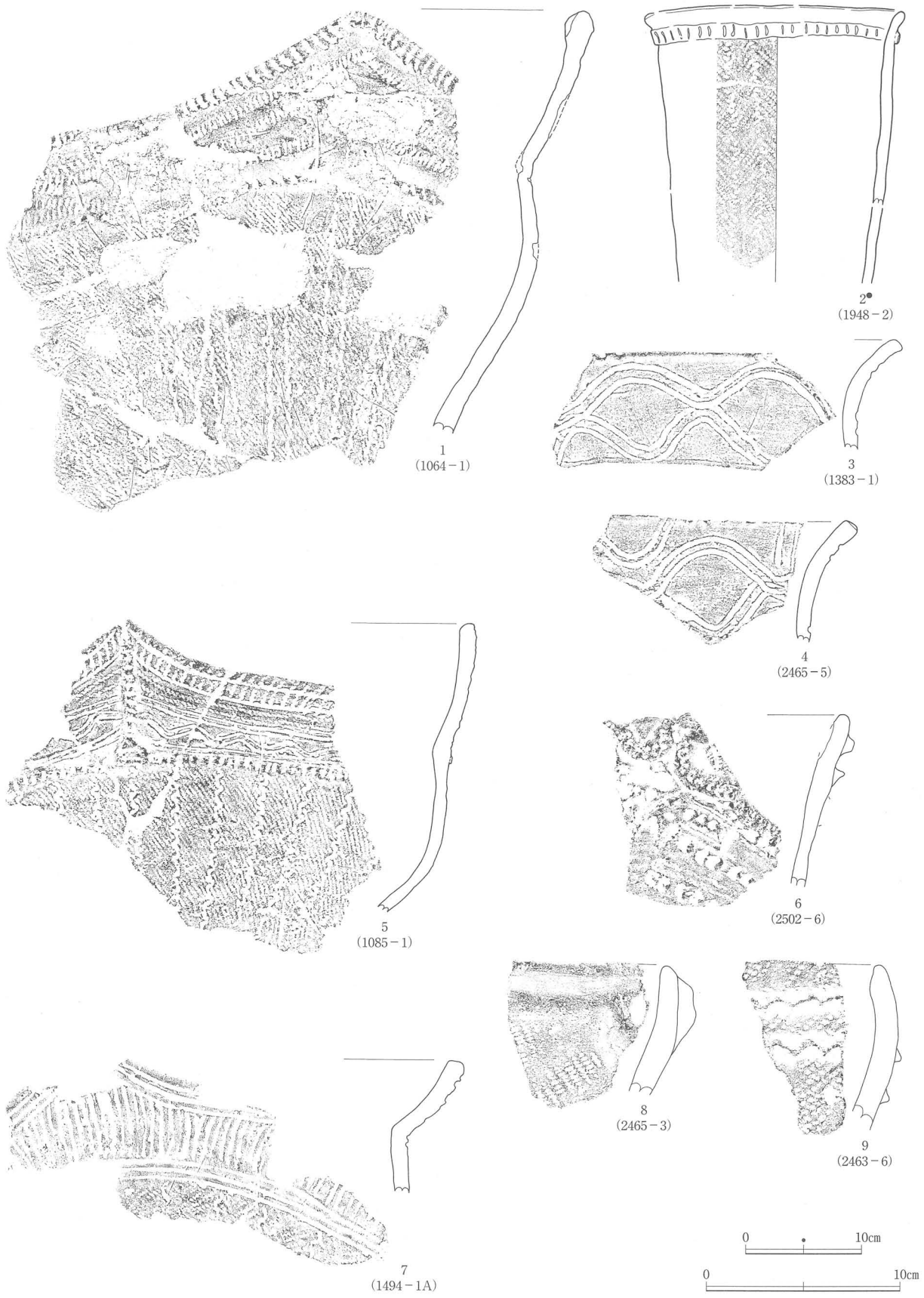
第56図 捨て場出土土器(9) (南部捨て場 2 a 層)



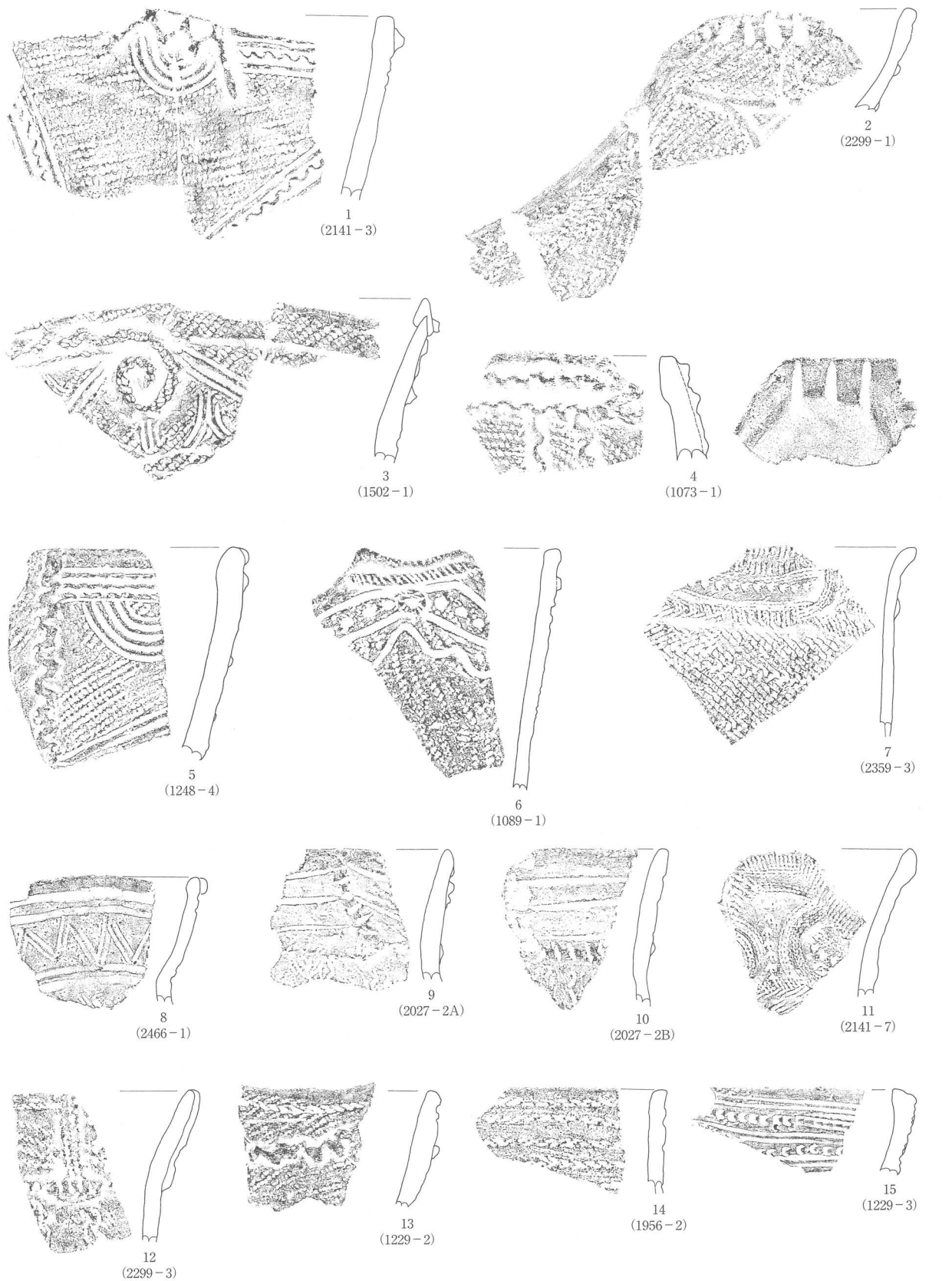
第57図 捨て場出土土器(10) (南部捨て場 2 a 層)



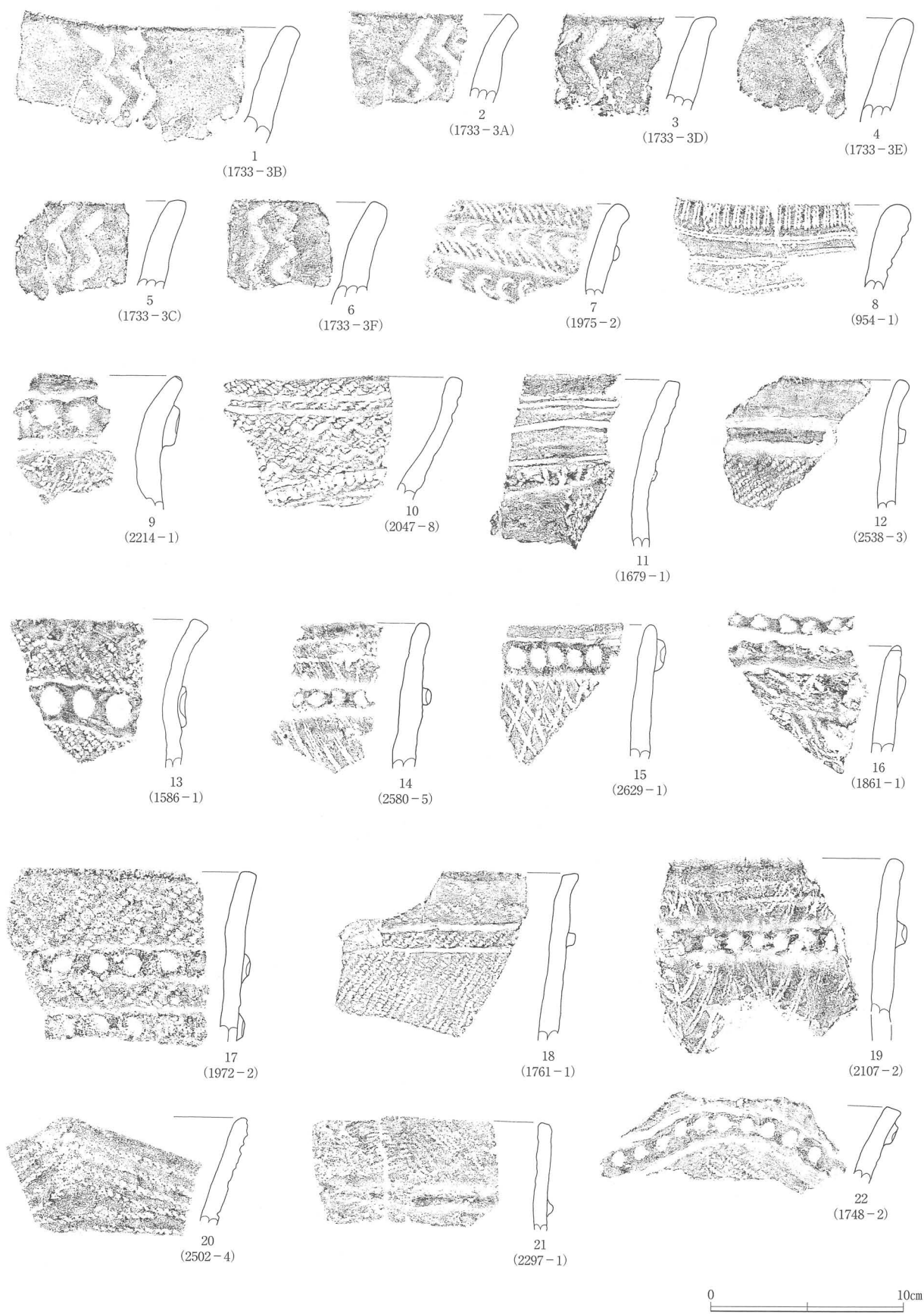
第58図 捨て場出土土器(11) (南部捨て場 2 b 層)



第59図 捨て場出土土器(12) (南部捨て場2 b層)



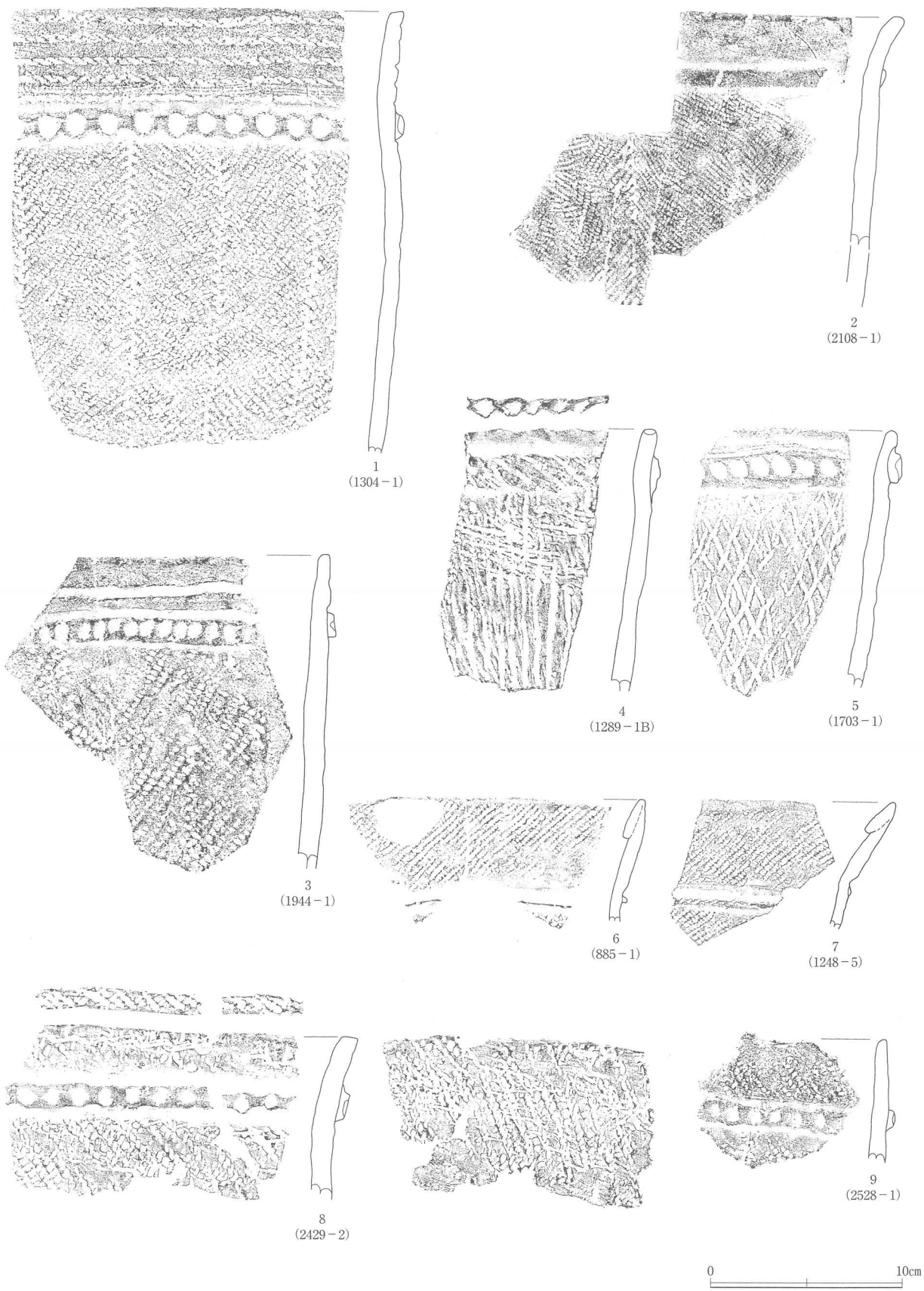
第60図 捨て場出土土器(13) (南部捨て場 2 b 層)



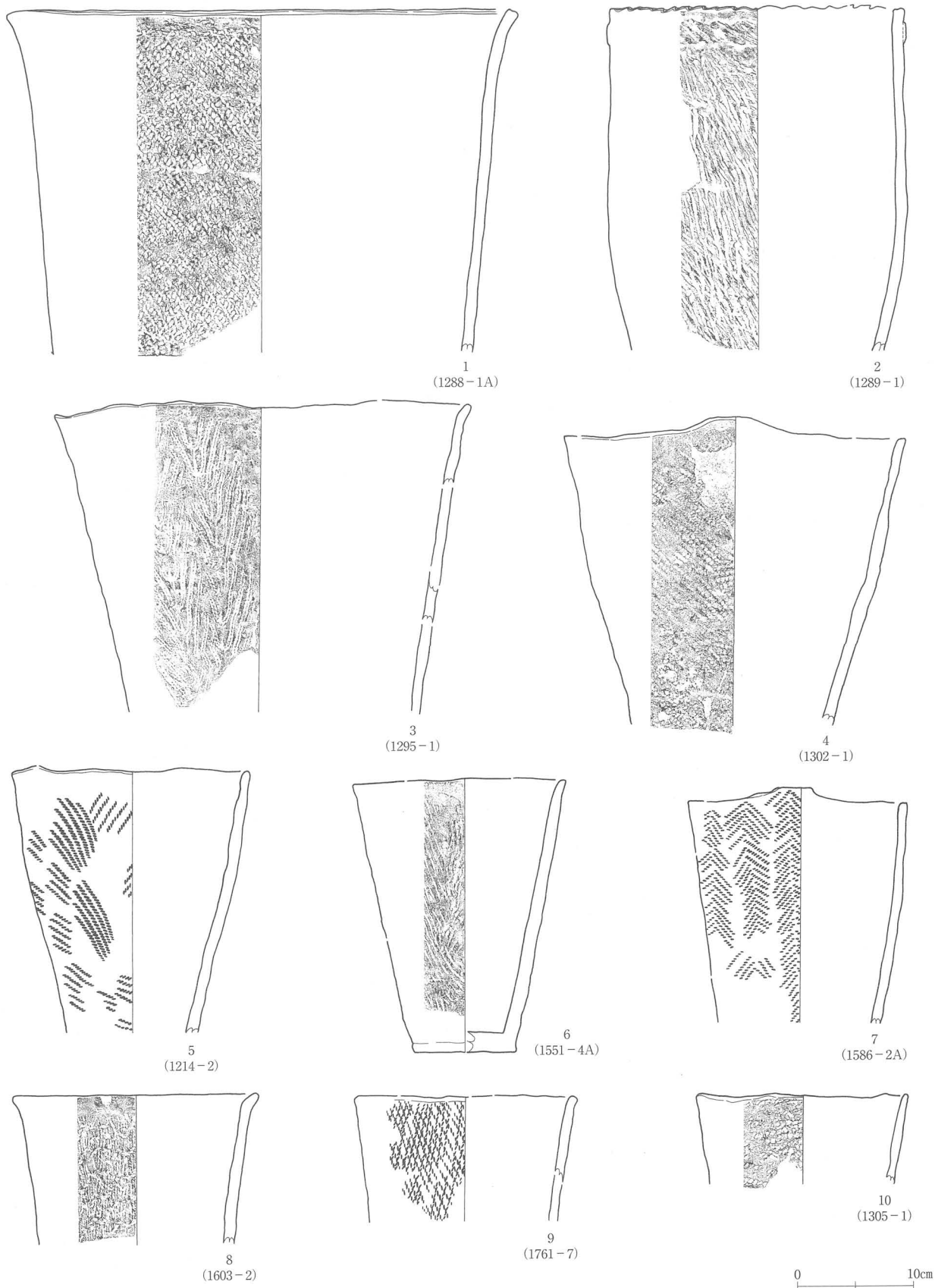
第61図 捨て場出土土器(14) (南部捨て場 2 b 層)



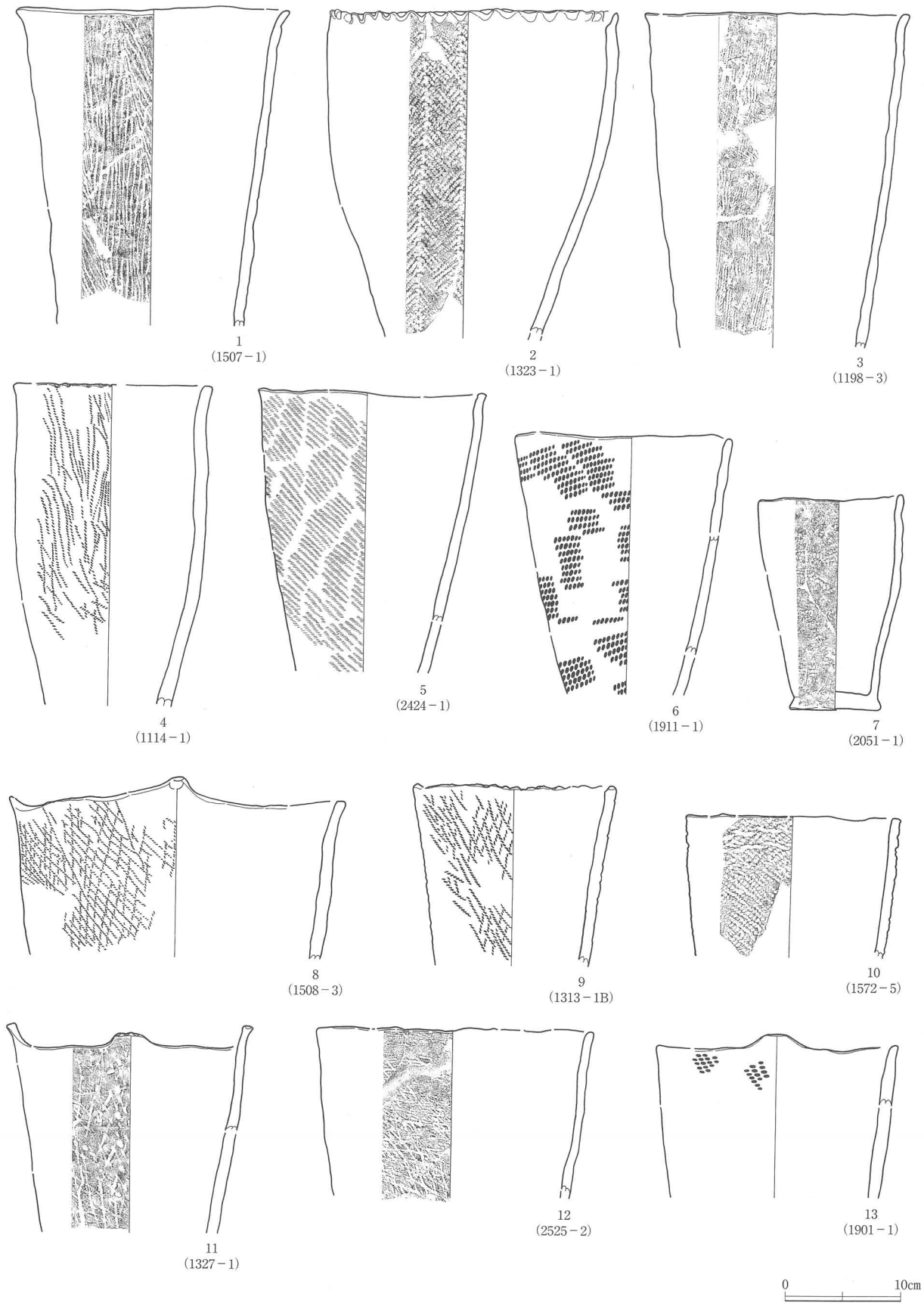
第62図 捨て場出土土器(15) (南部捨て場 2 b 層)



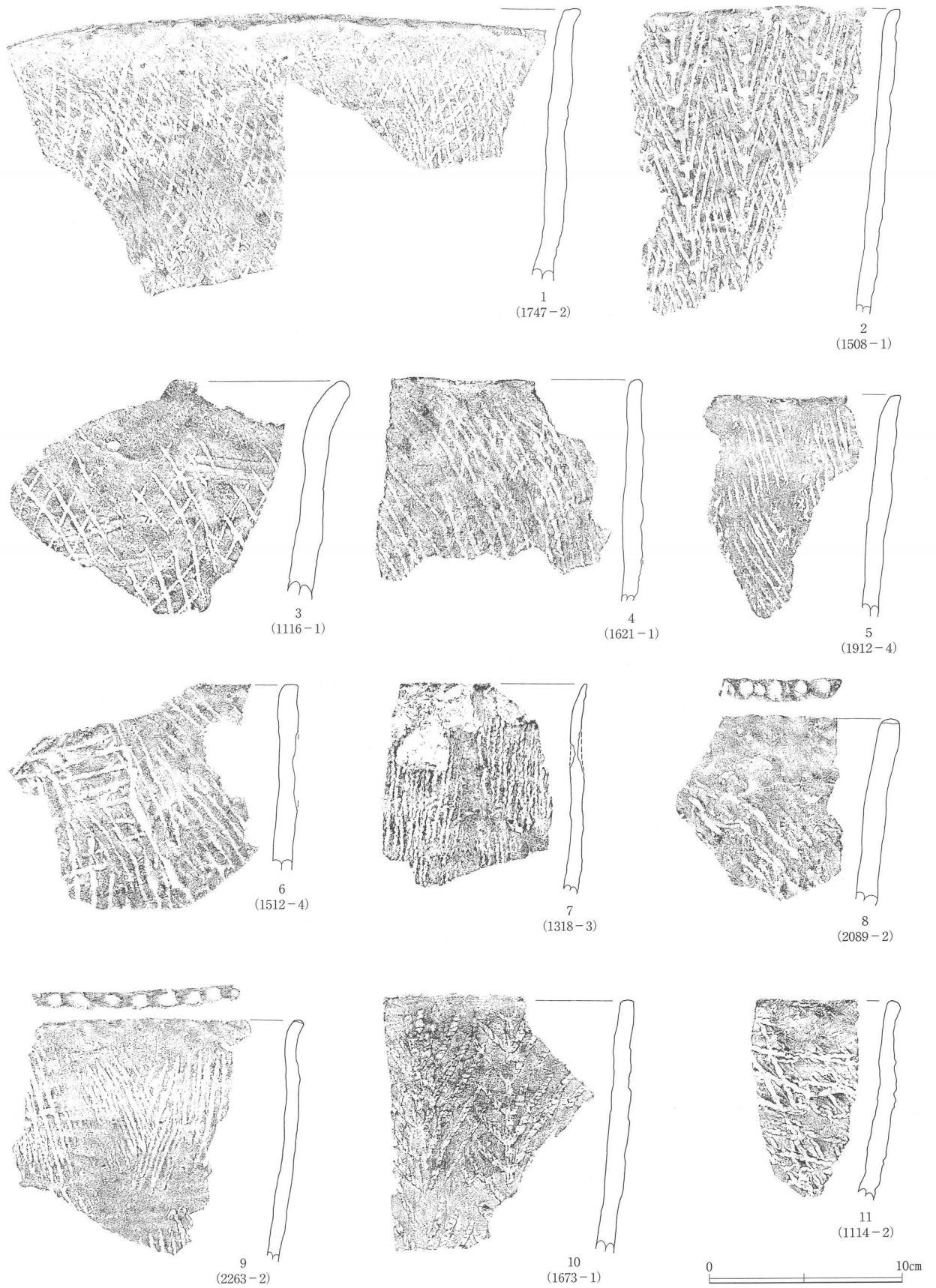
第63図 捨て場出土土器(16) (南部捨て場 2 b 層)



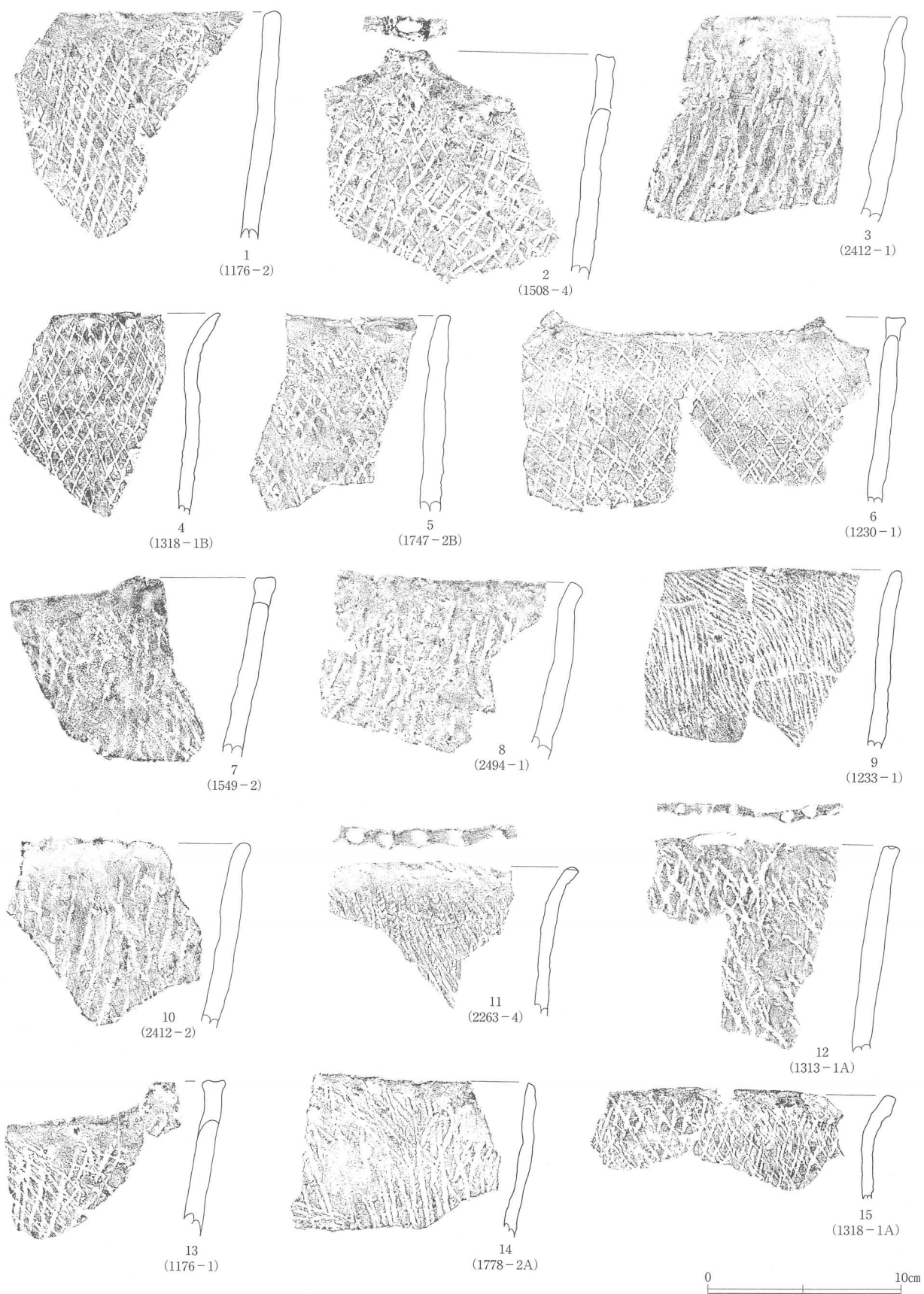
第64図 捨て場出土土器(17) (南部捨て場 2 b 層)



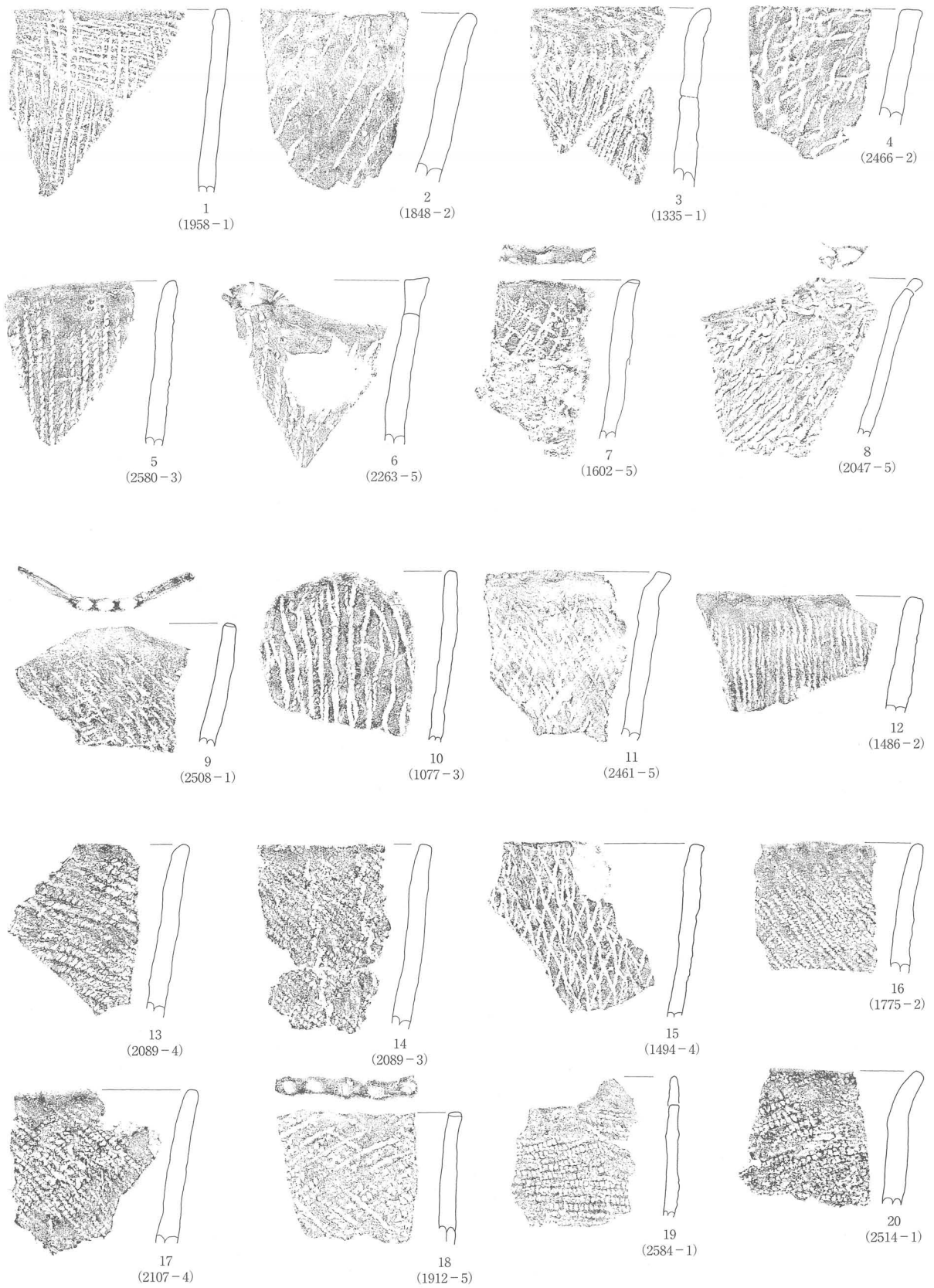
第65図 捨て場出土土器(18) (南部捨て場 2 b 層)



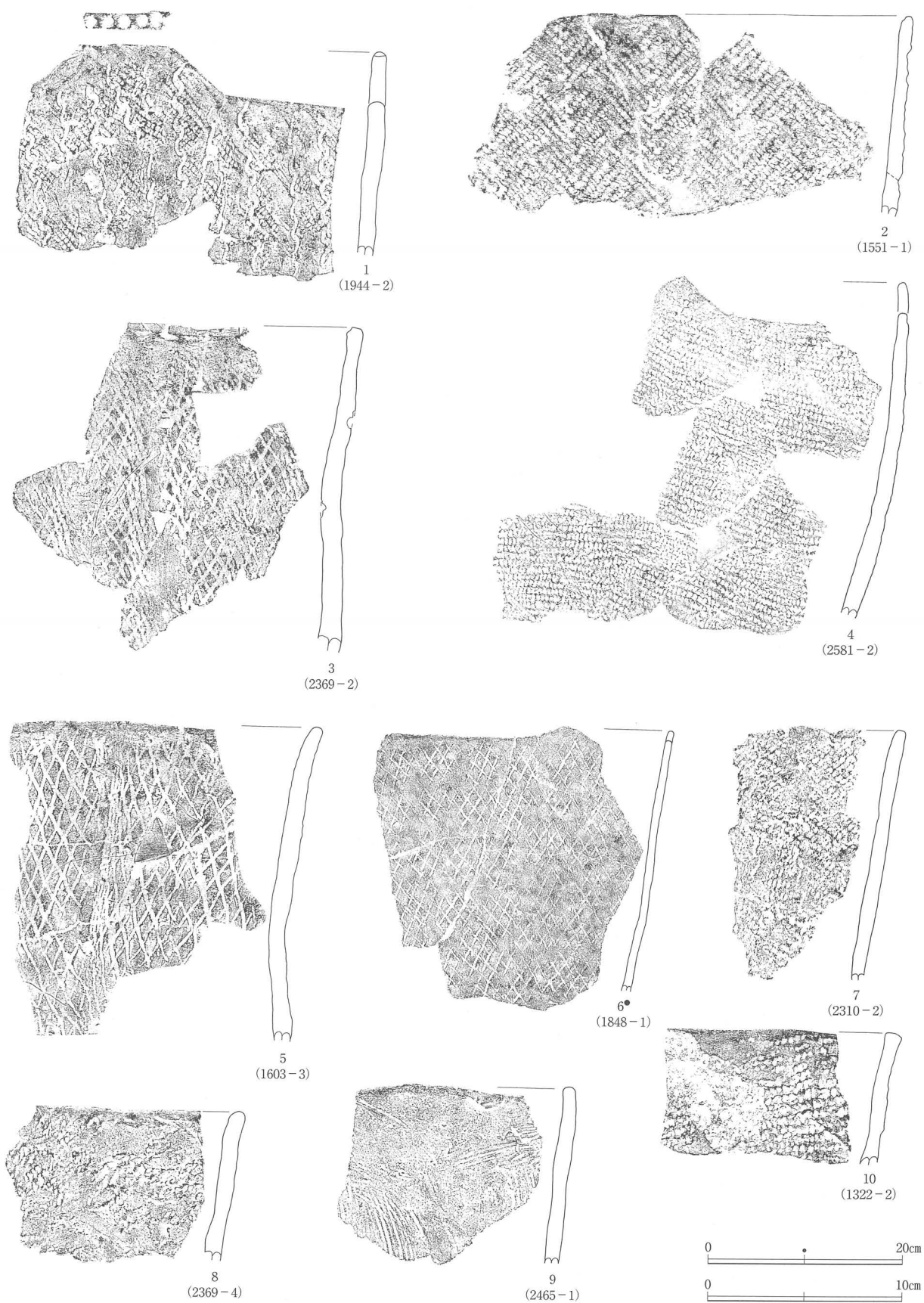
第66図 捨て場出土土器(19) (南部捨て場 2 b 層)



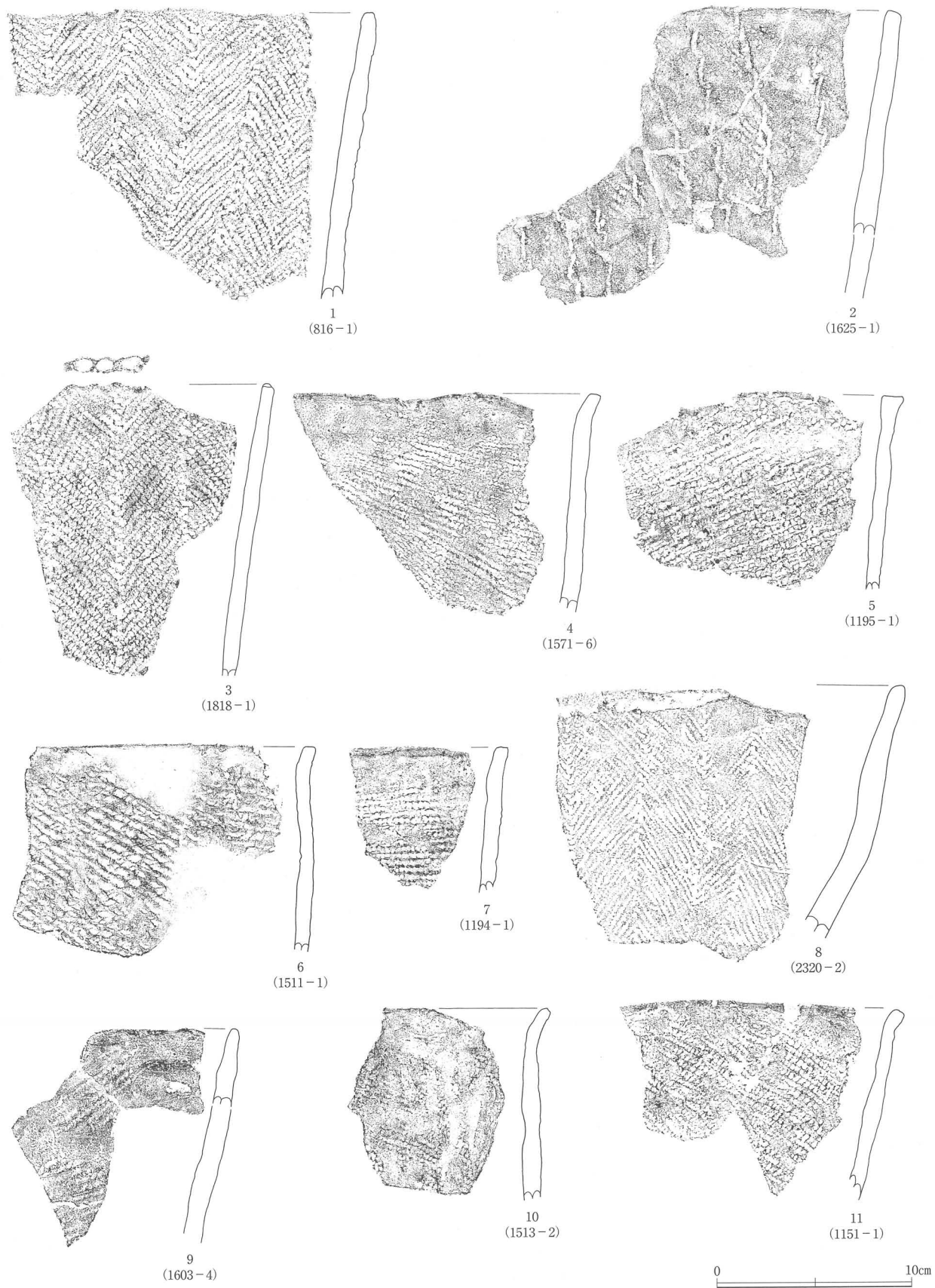
第67図 捨て場出土土器(20) (南部捨て場 2 b 層)



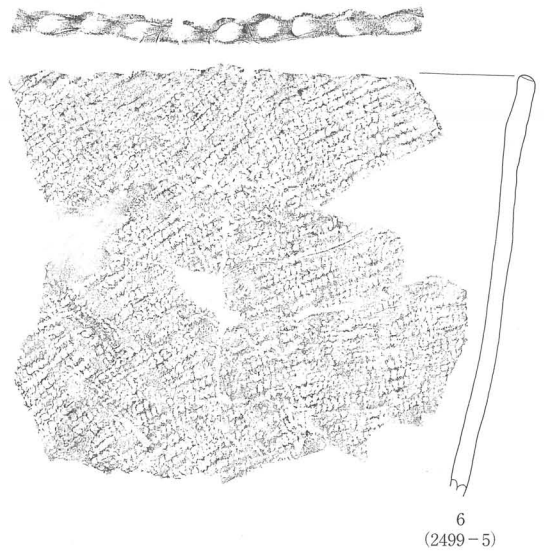
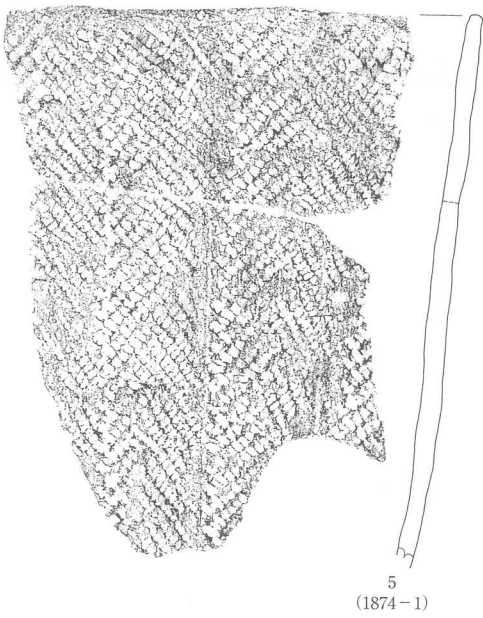
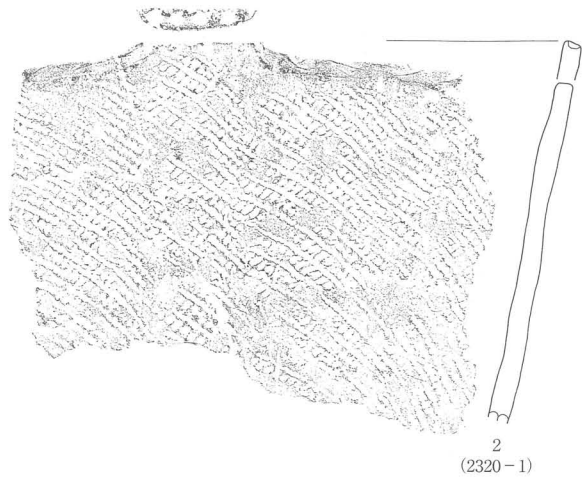
第68図 捨て場出土土器(2) (南部捨て場 2 b 層)



第69図 捨て場出土土器(22) (南部捨て場 2 b 層)

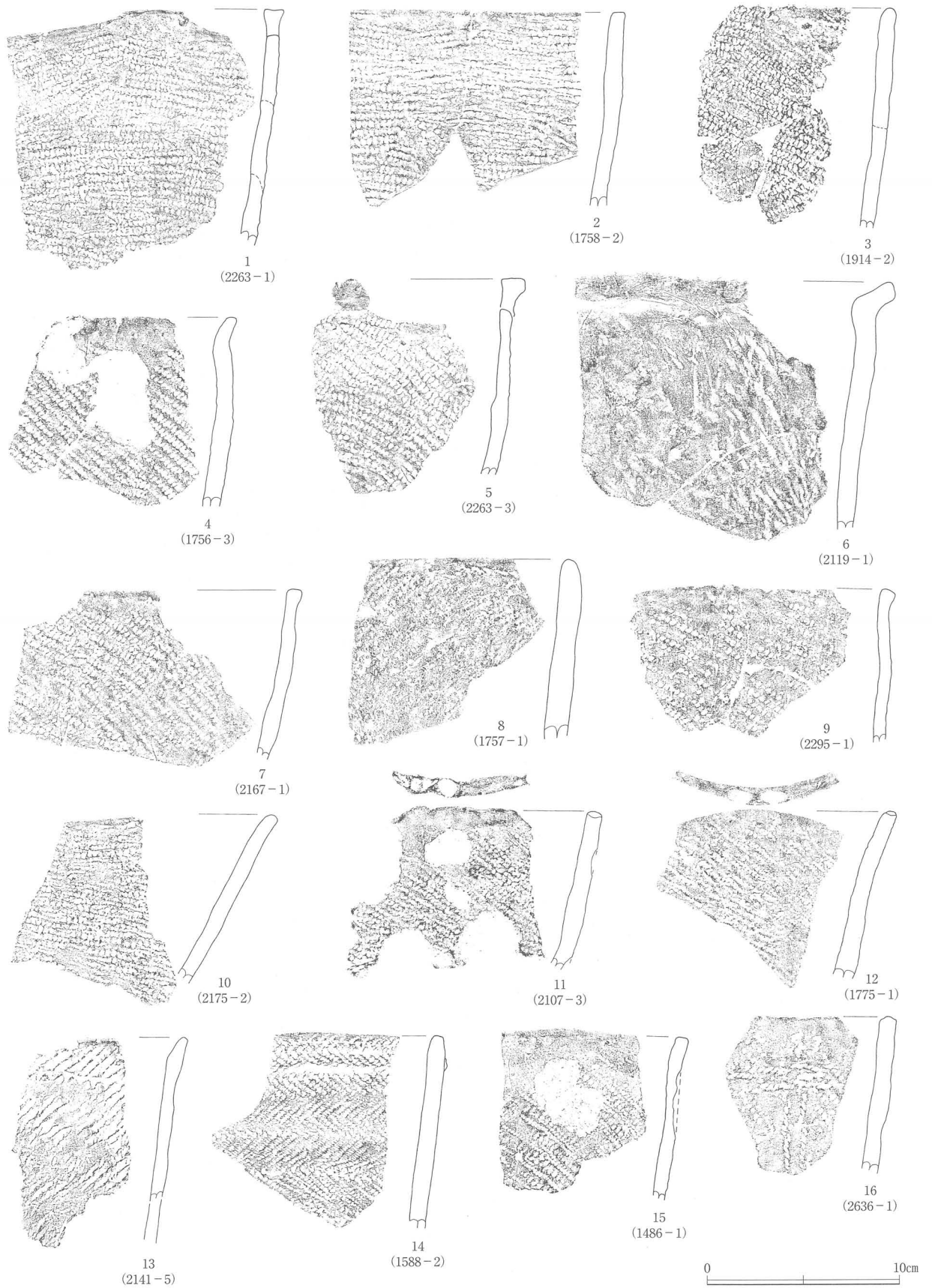


第70図 捨て場出土土器⁽²³⁾ (南部捨て場2 b層)

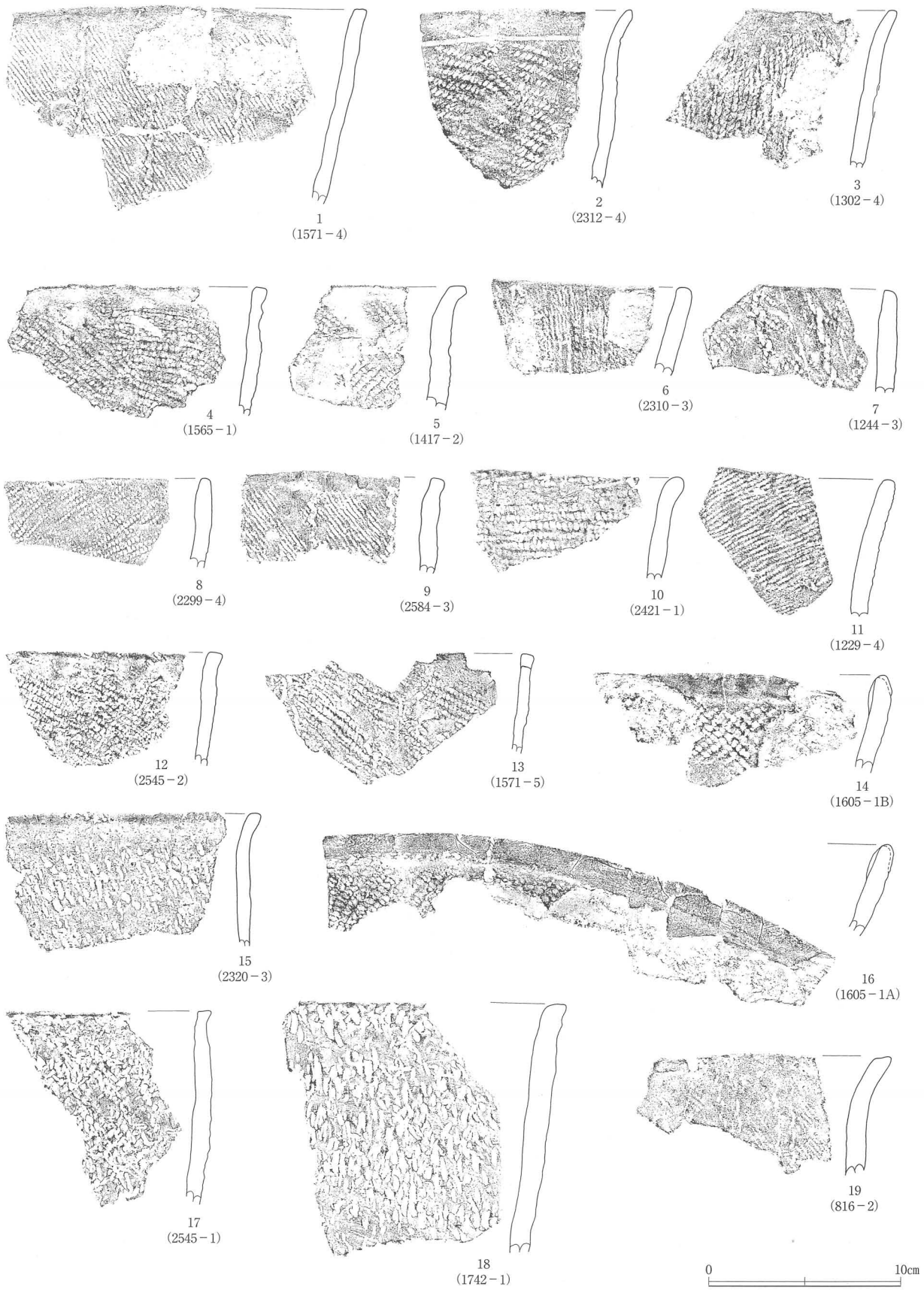


0 10cm

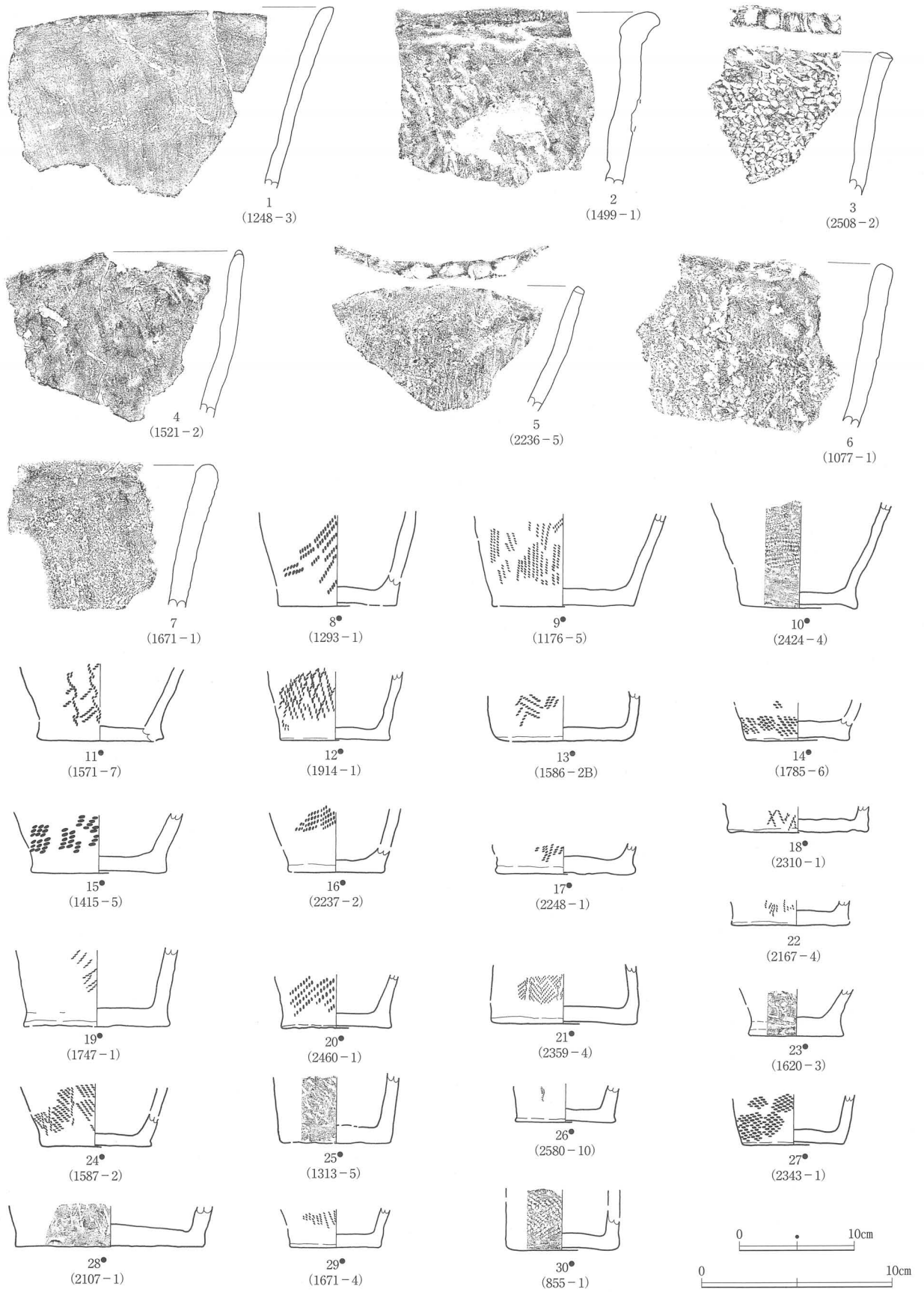
第71図 捨て場出土土器(24) (南部捨て場 2 b 層)



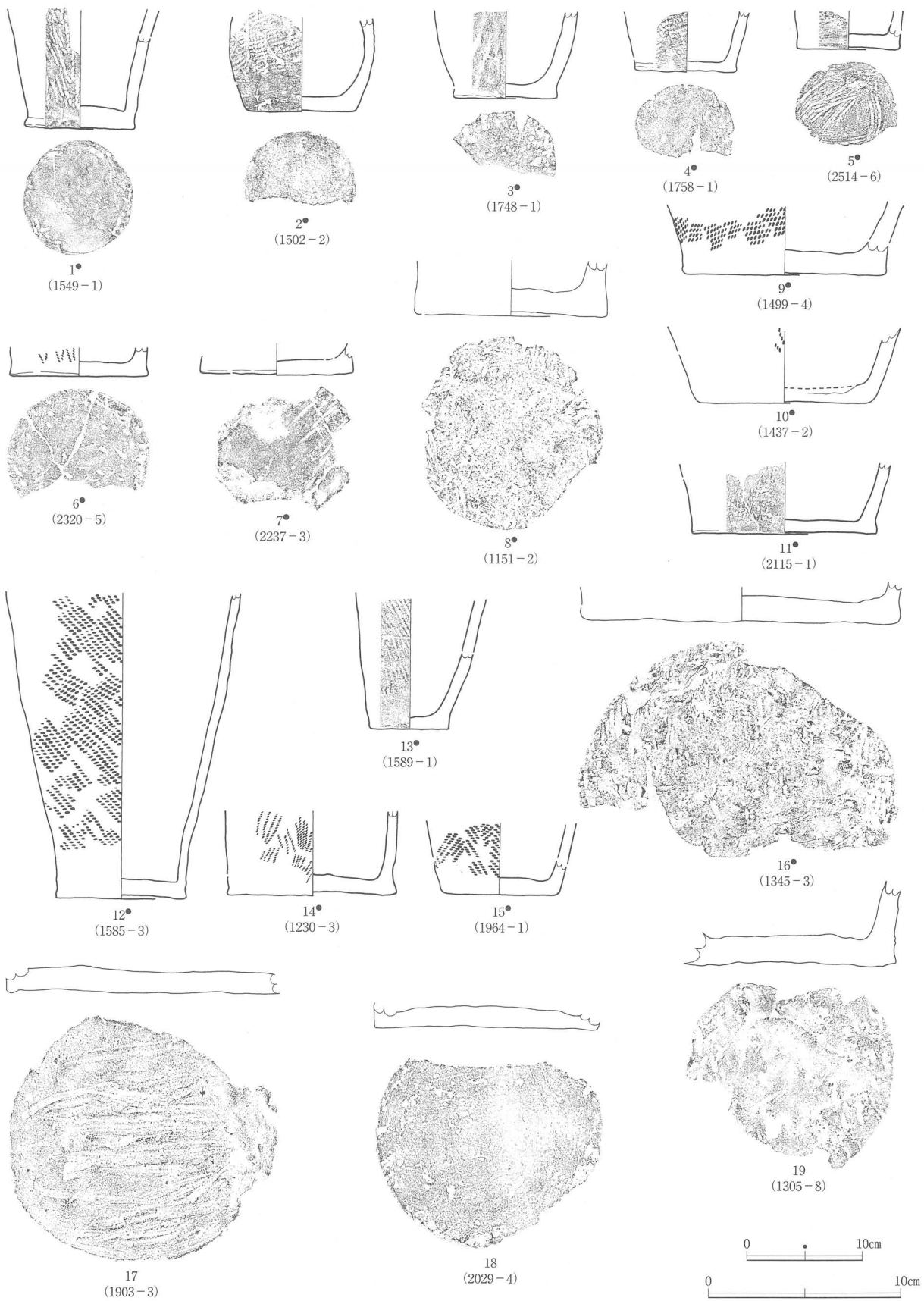
第72図 捨て場出土土器(25) (南部捨て場 2 b 層)



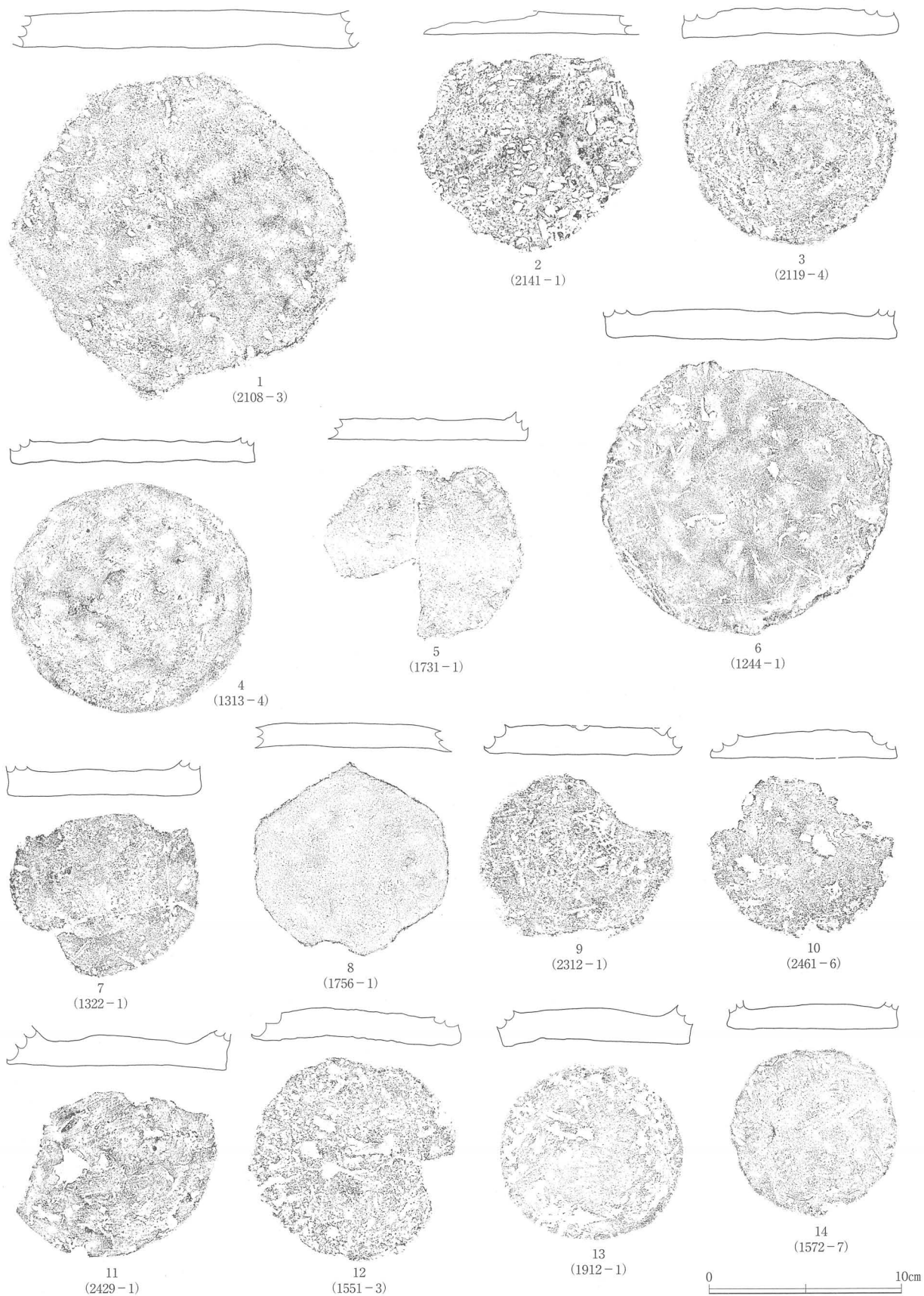
第73図 捨て場出土土器(26) (南部捨て場 2 b 層)



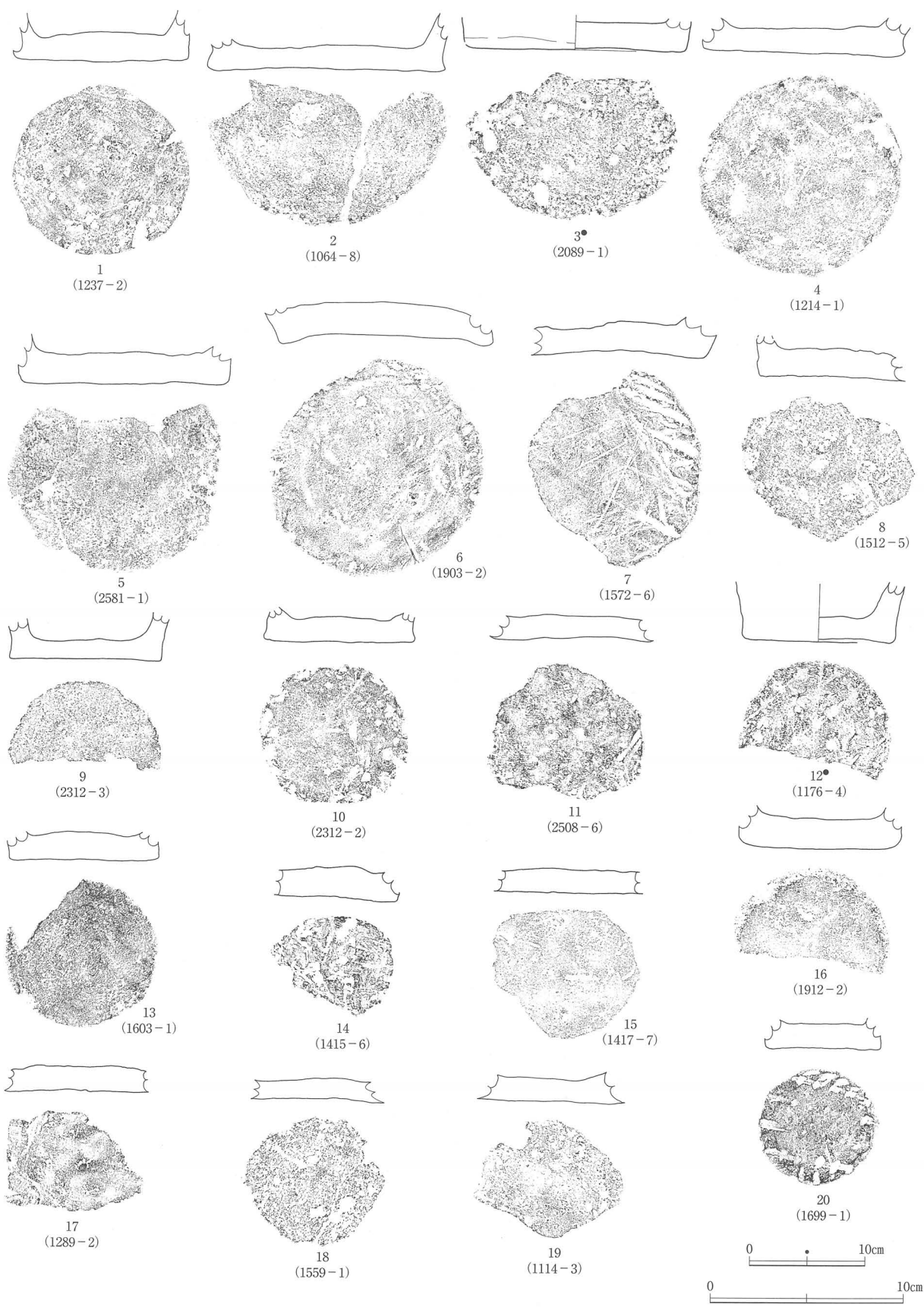
第74図 捨て場出土土器(27) (南部捨て場 2 b 層)



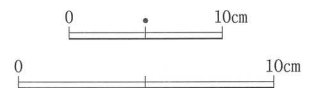
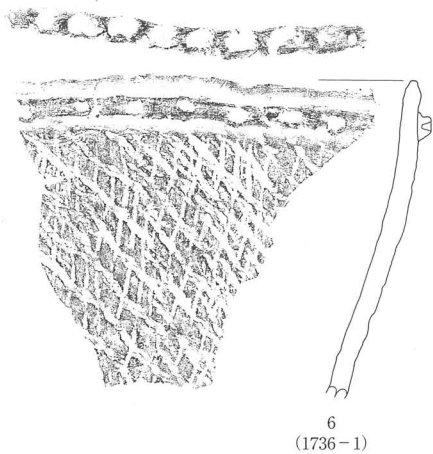
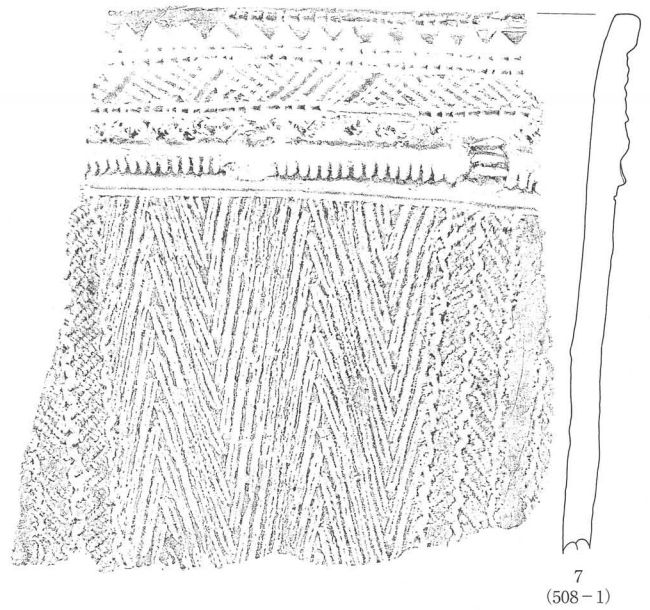
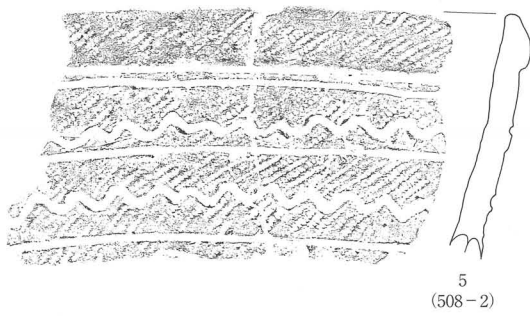
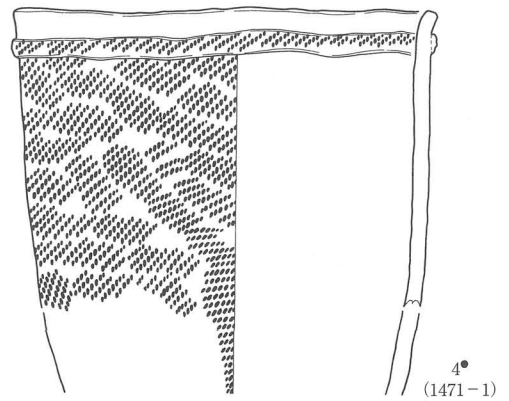
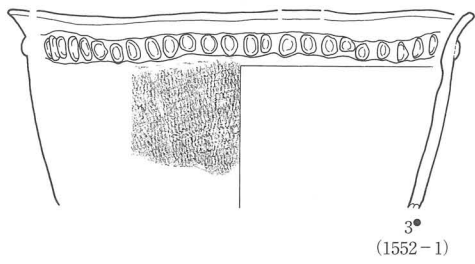
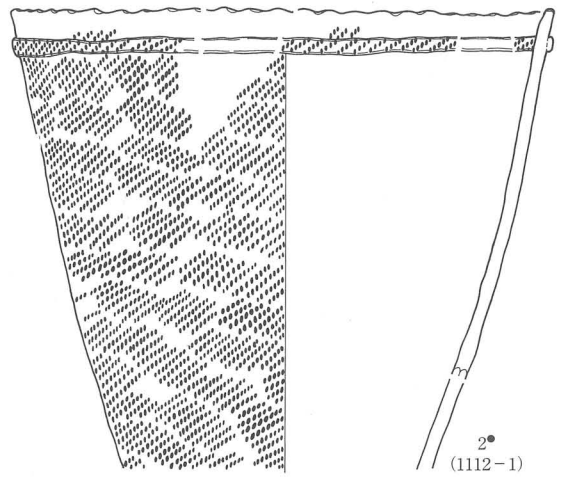
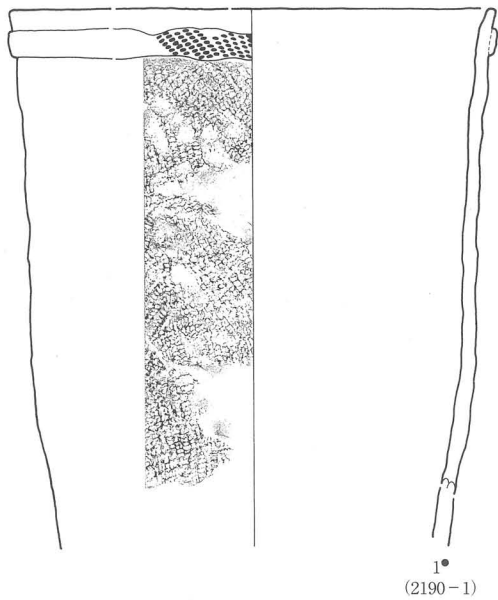
第75図 捨て場出土土器(28) (南部捨て場 2 b 層)



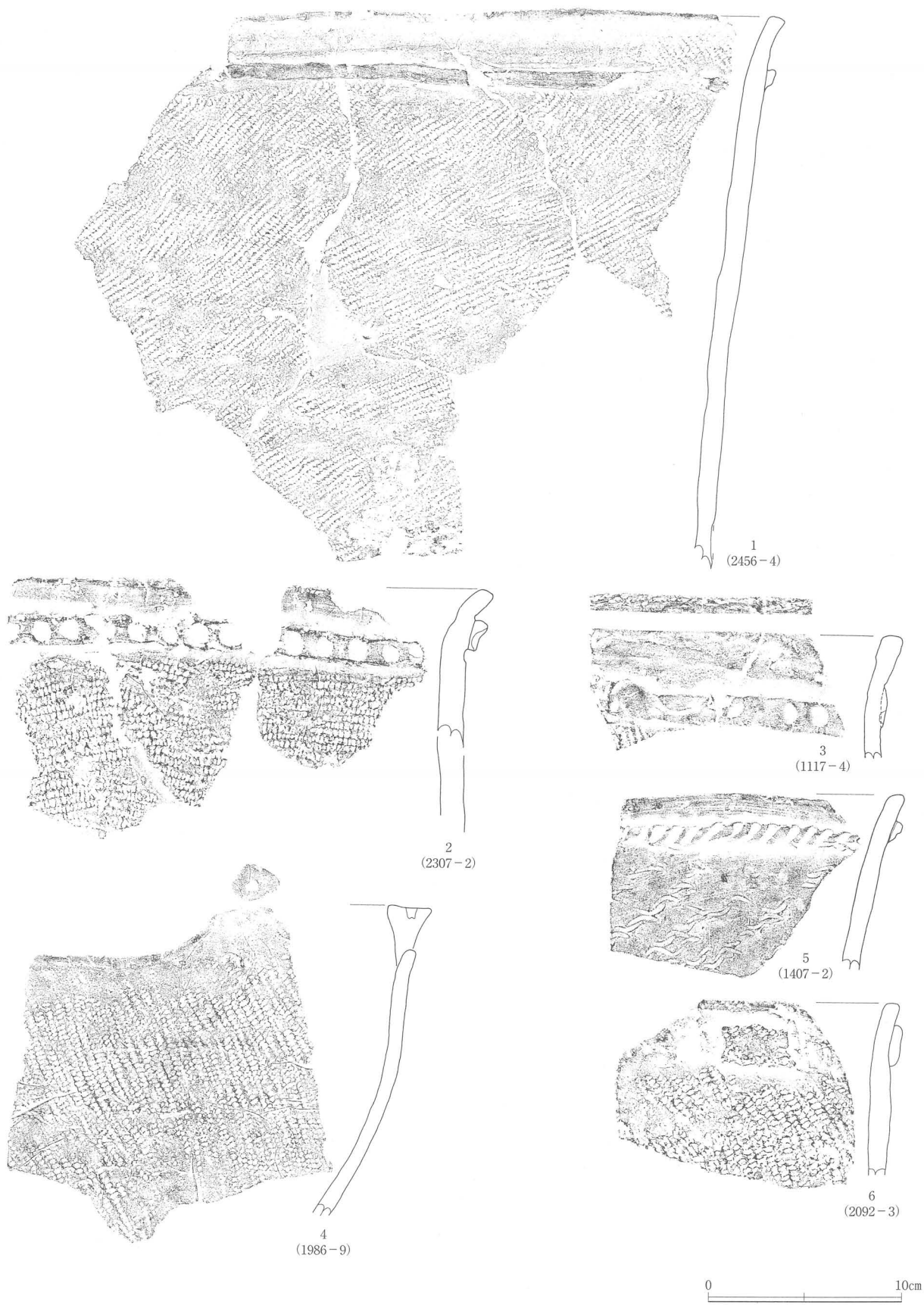
第76図 捨て場出土土器(29) (南部捨て場 2 b 層)



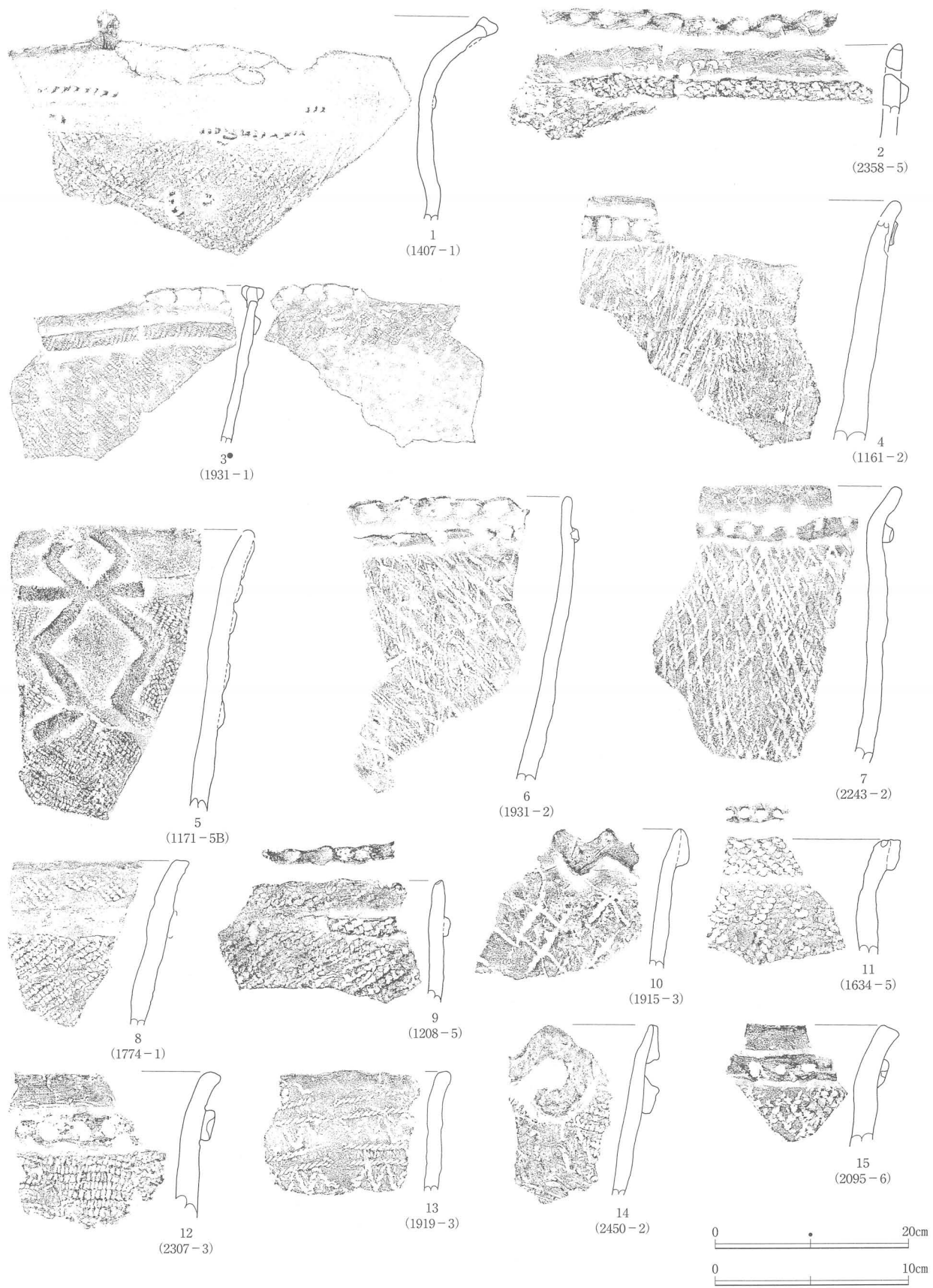
第77図 捨て場出土土器³⁰ (南部捨て場 2 b 層)



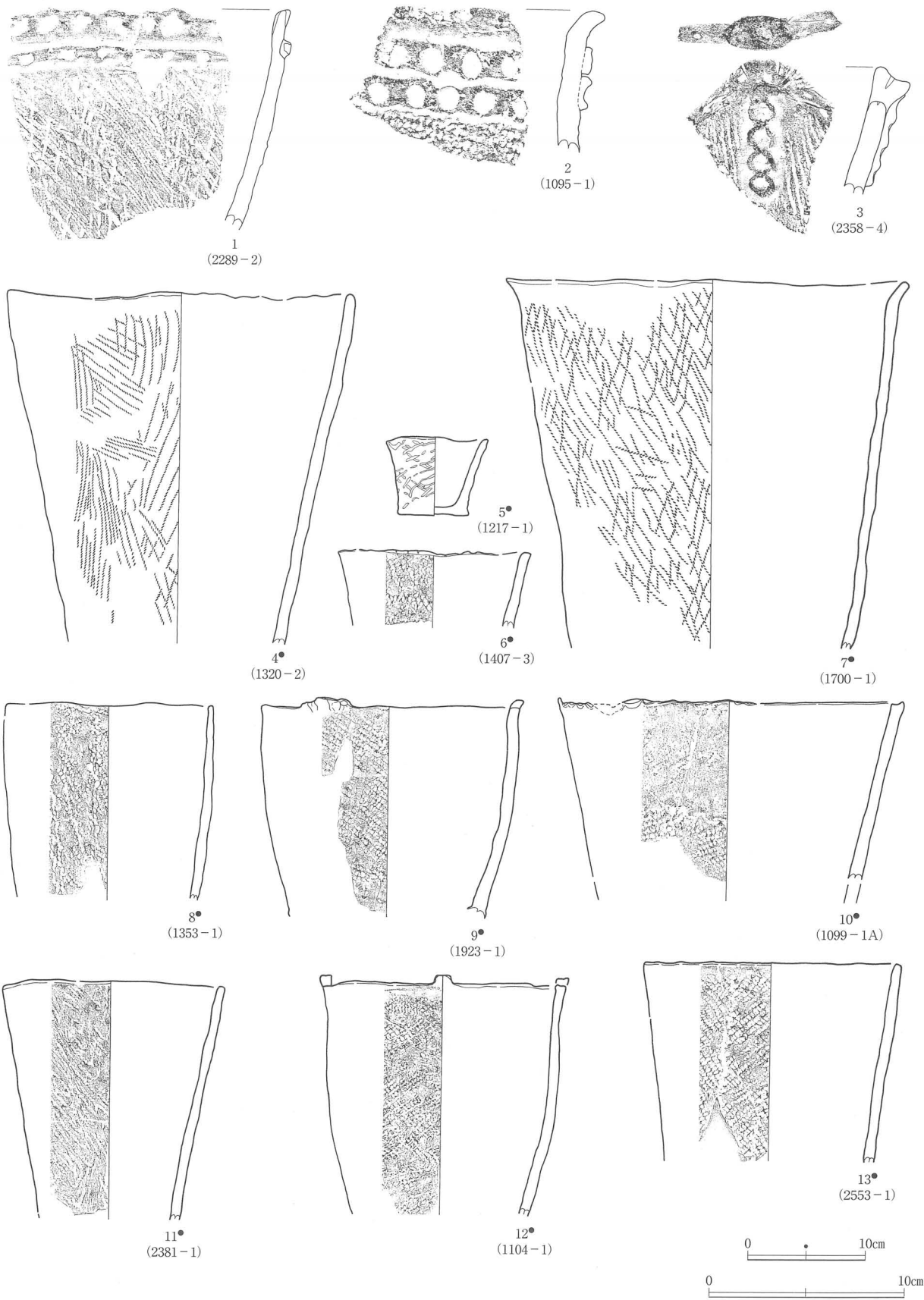
第78図 捨て場出土土器(31) (南部捨て場 3 a 層)



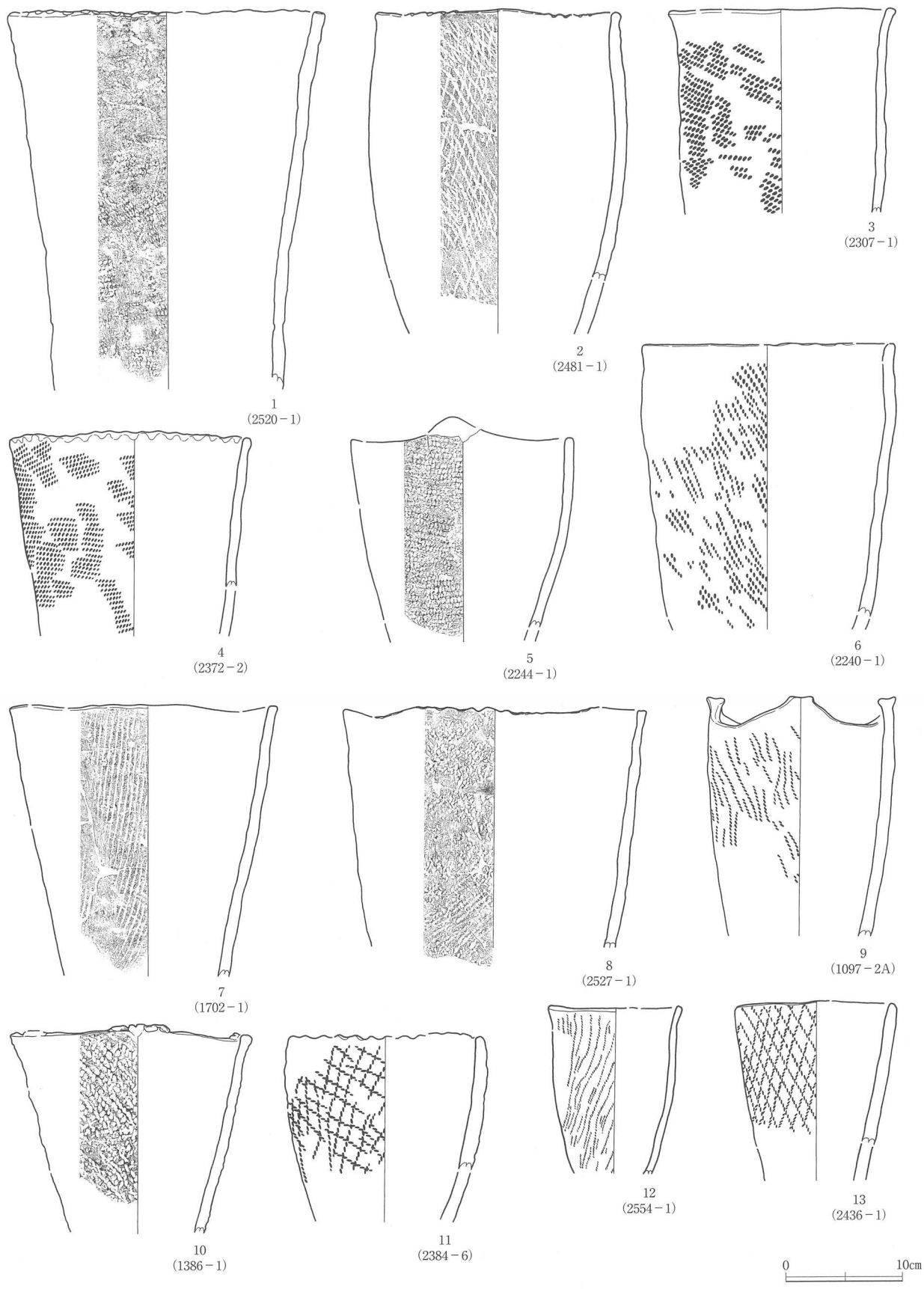
第79図 捨て場出土土器(32) (南部捨て場3 a層)



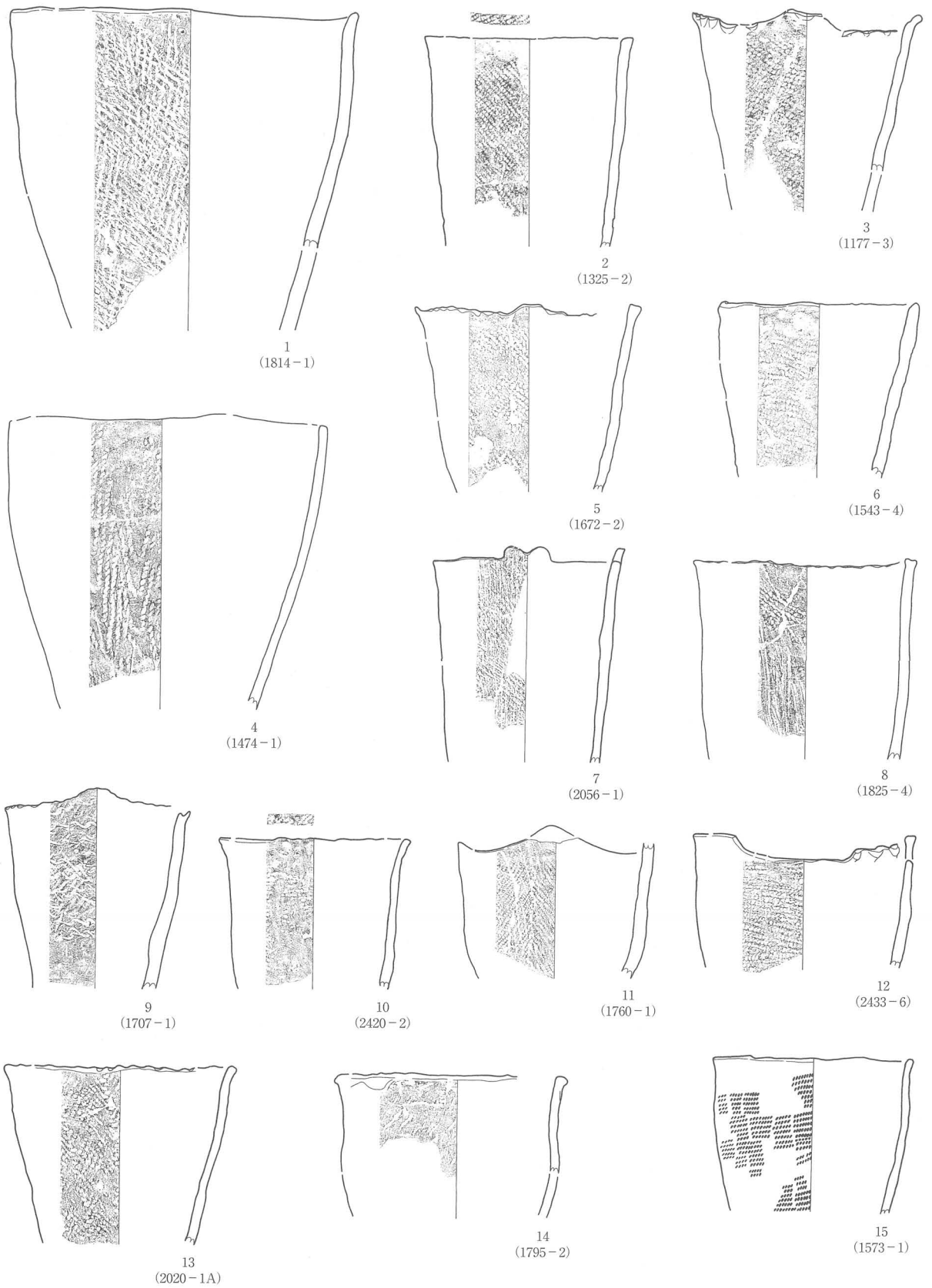
第80図 捨て場出土土器(33) (南部捨て場 3 a 層)



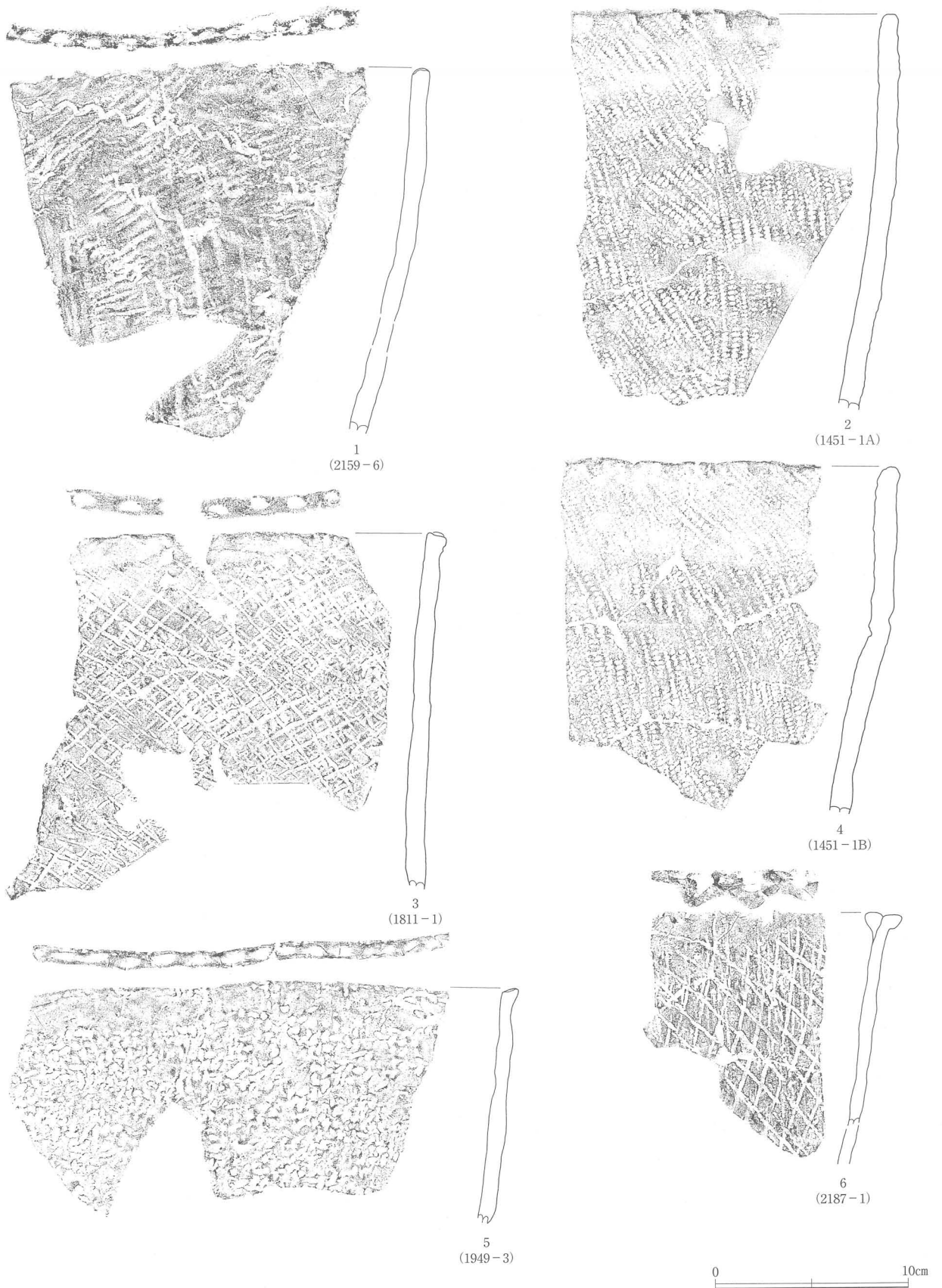
第81図 捨て場出土土器(34) (南部捨て場 3 a 層)



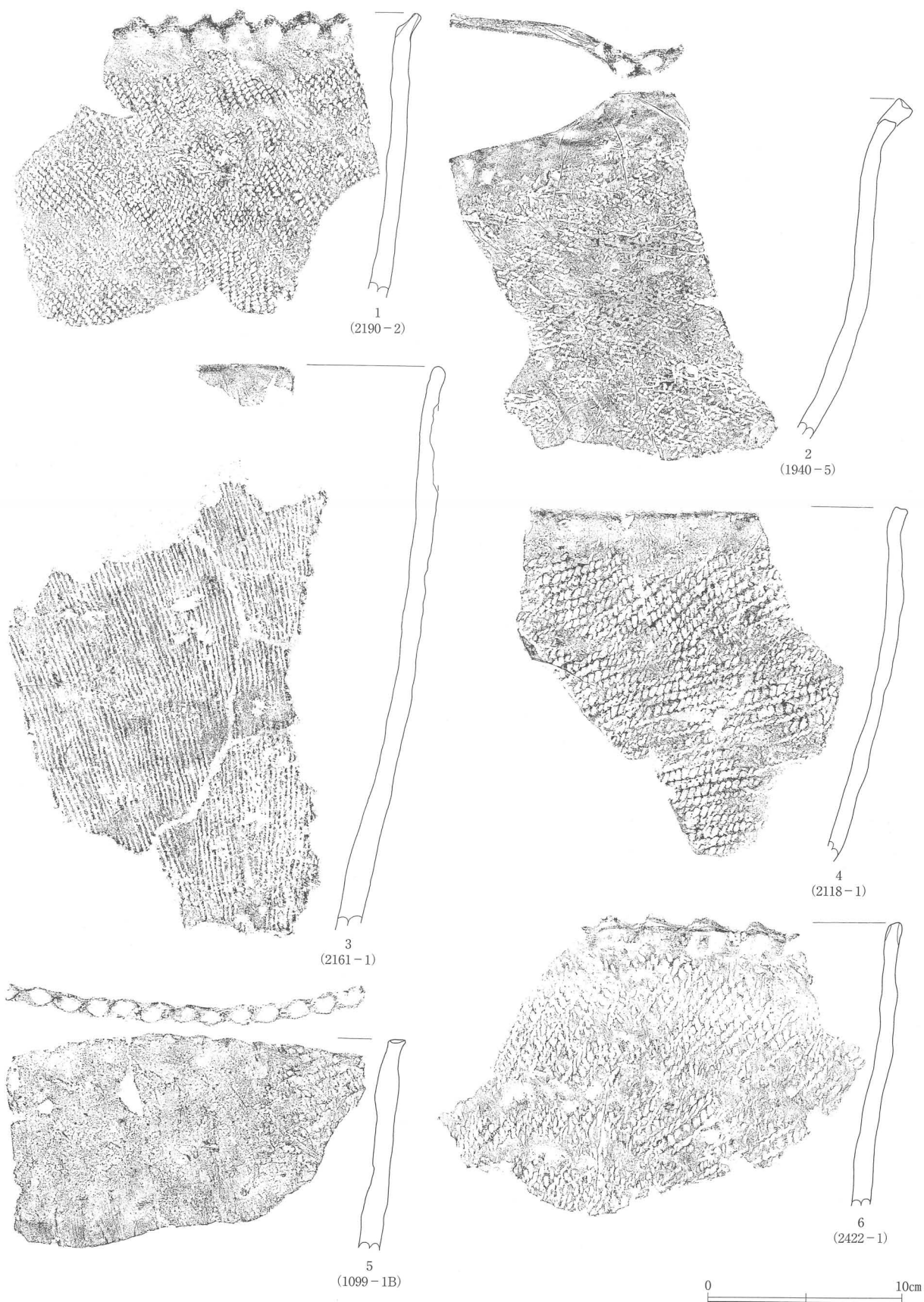
第82図捨て場出土土器⁽³⁵⁾ (南部捨て場 3 a 層)



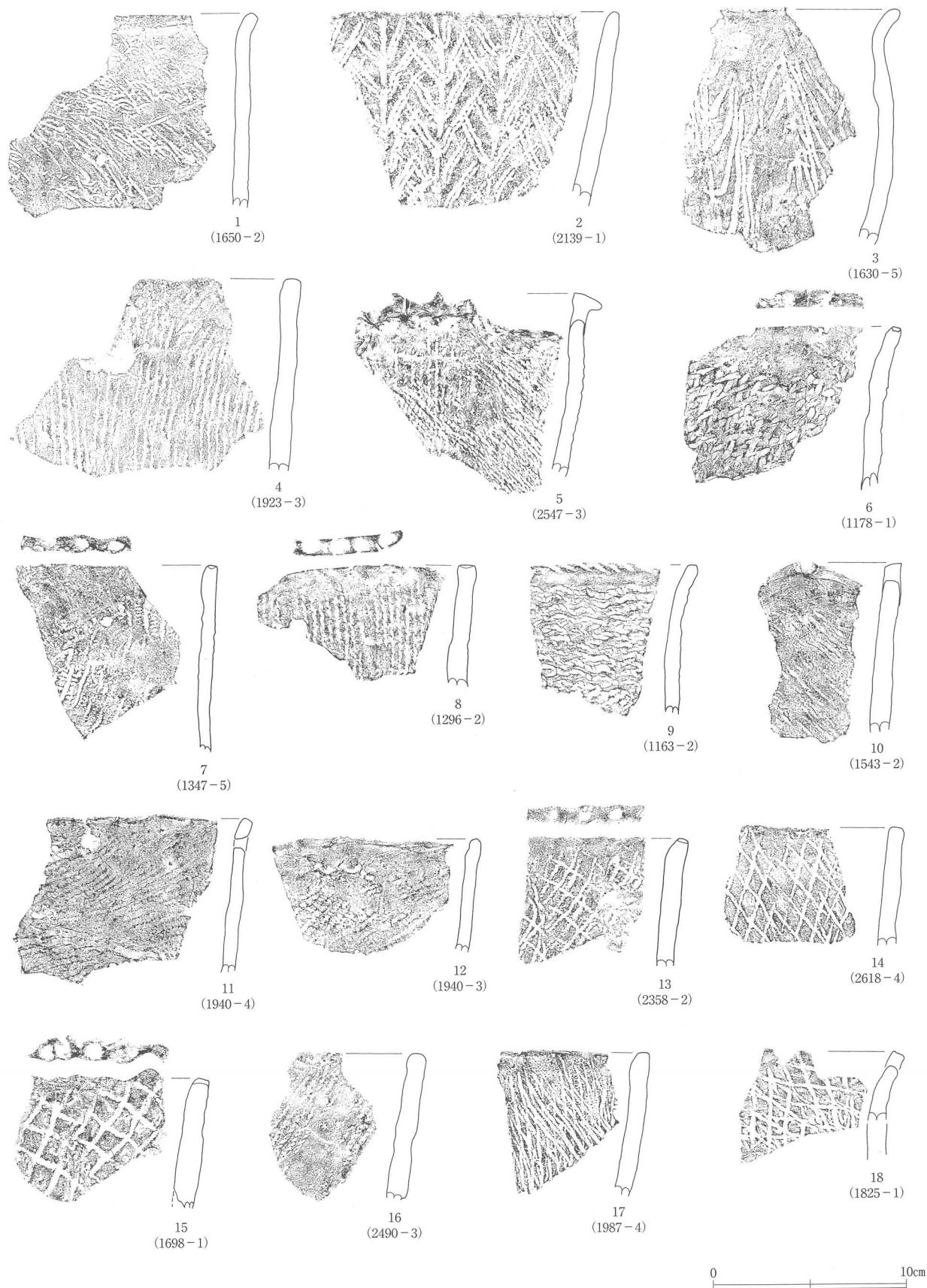
第83図 捨て場出土土器⁽³⁶⁾ (南部捨て場3 a層)



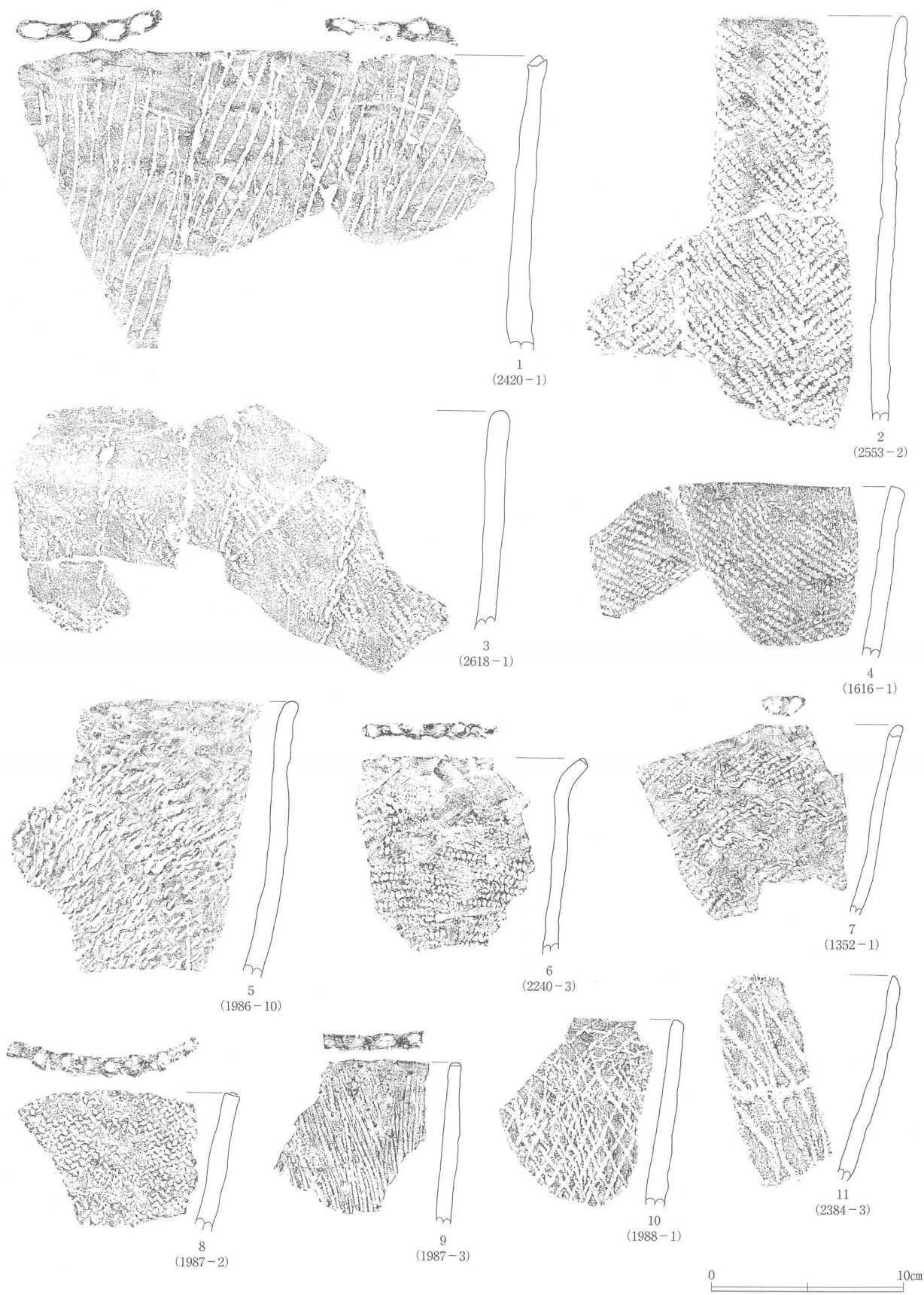
第84図 捨て場出土土器(37) (南部捨て場 3 a 層)



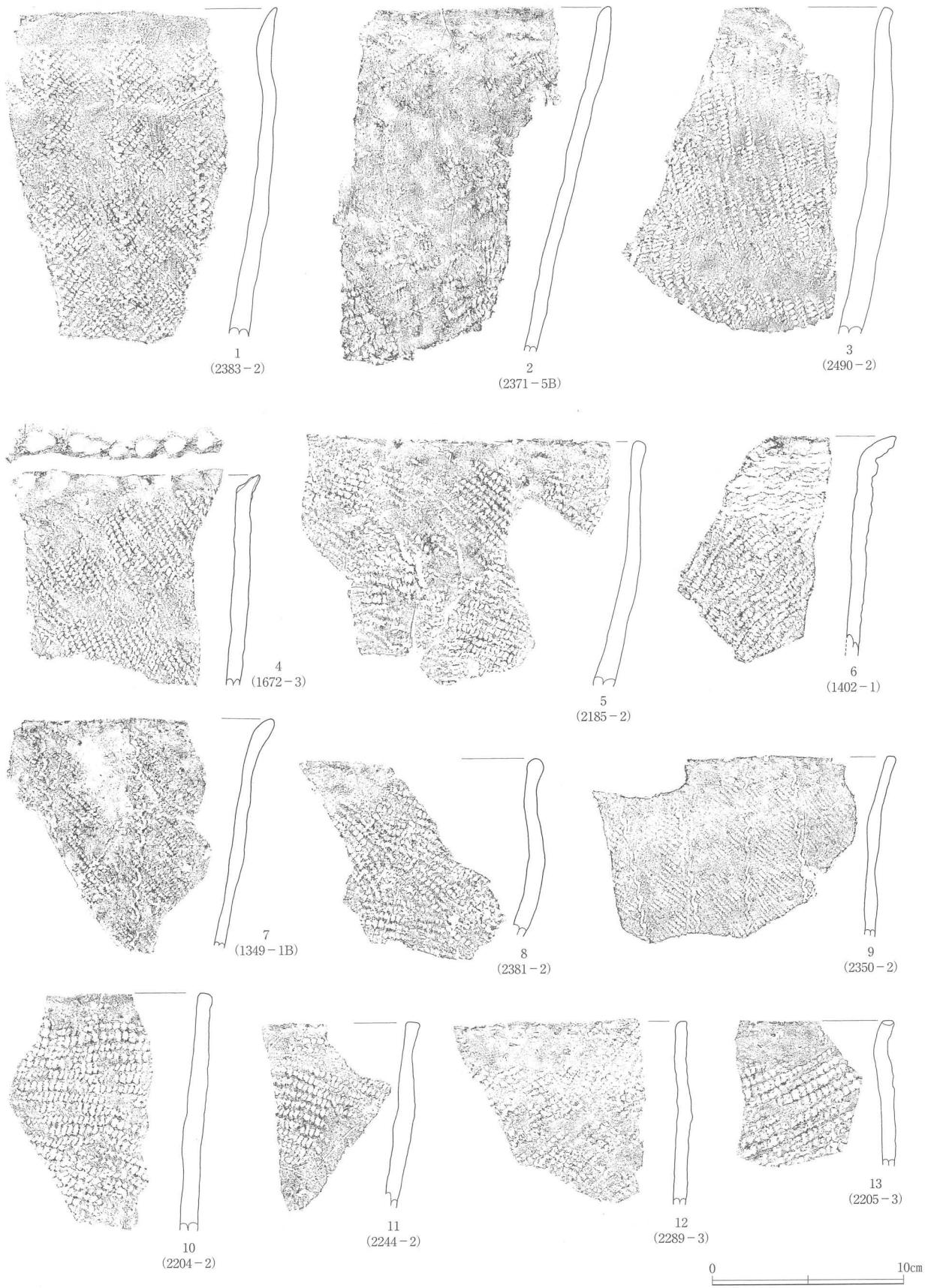
第85図 捨て場出土土器(38) (南部捨て場3 a層)



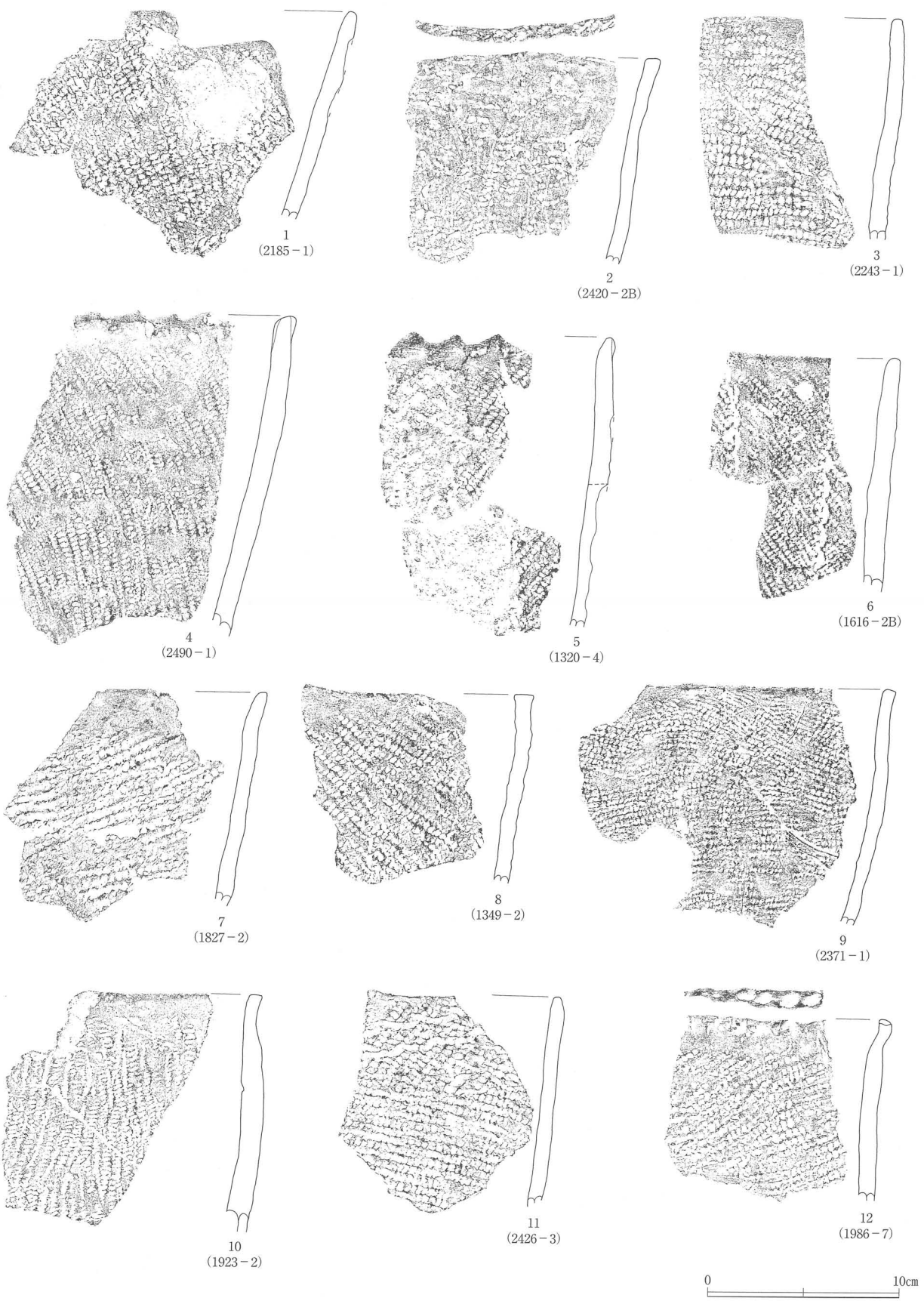
第86図 捨て場出土土器(39) (南部捨て場3 a層)



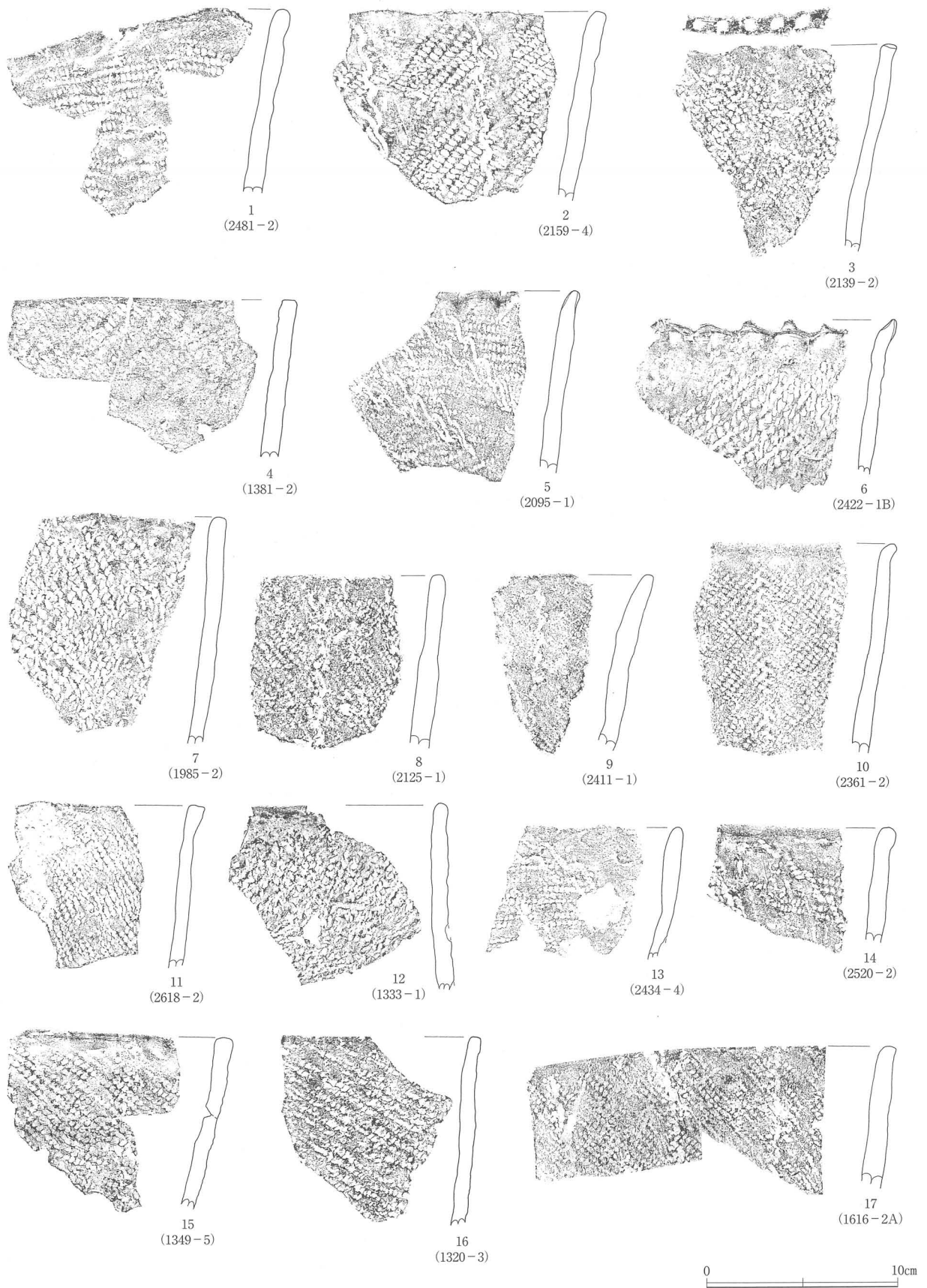
第87図 捨て場出土土器(40) (南部捨て場 3 a 層)



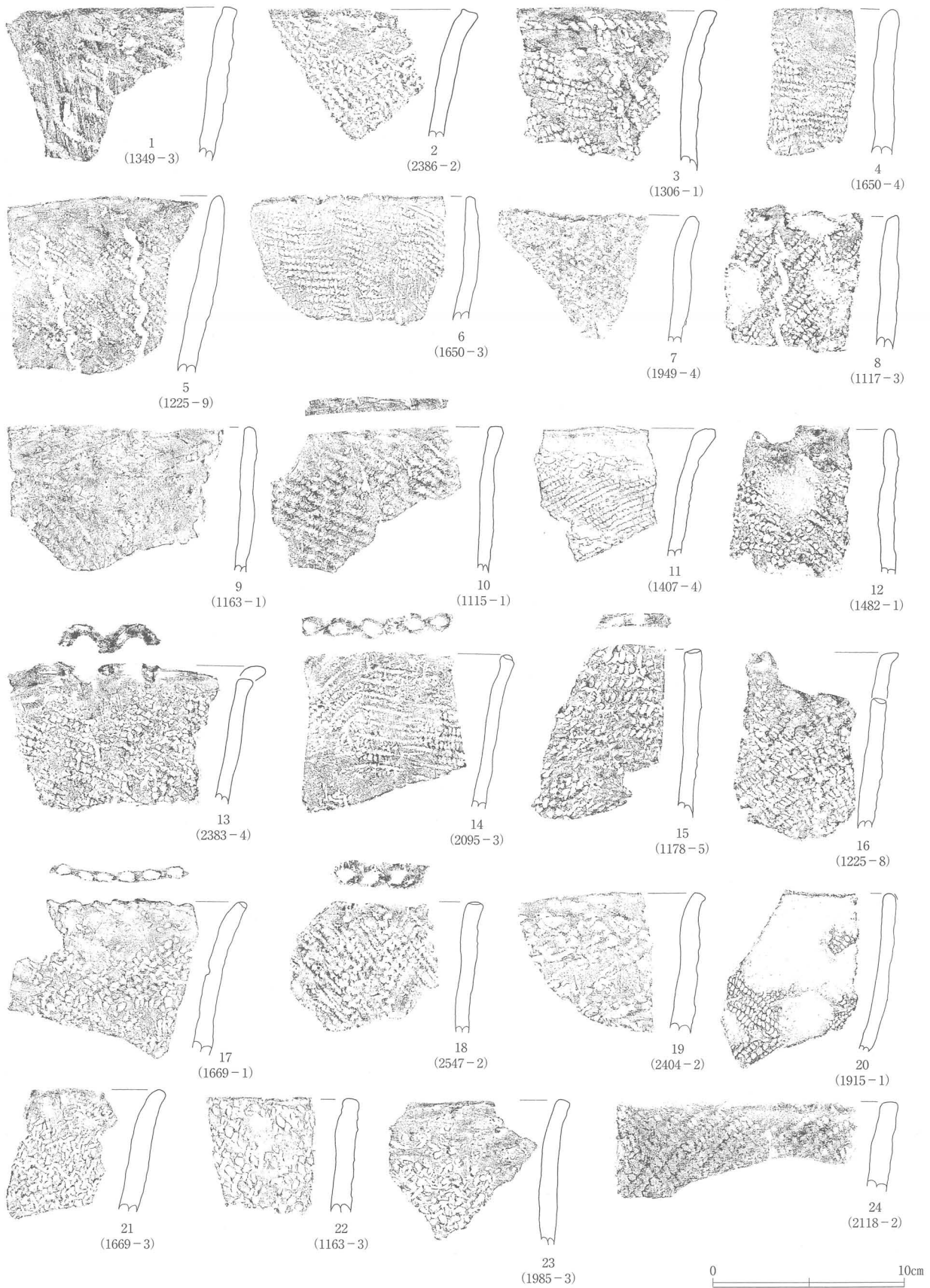
第88図 捨て場出土土器(41) (南部捨て場 3 a 層)



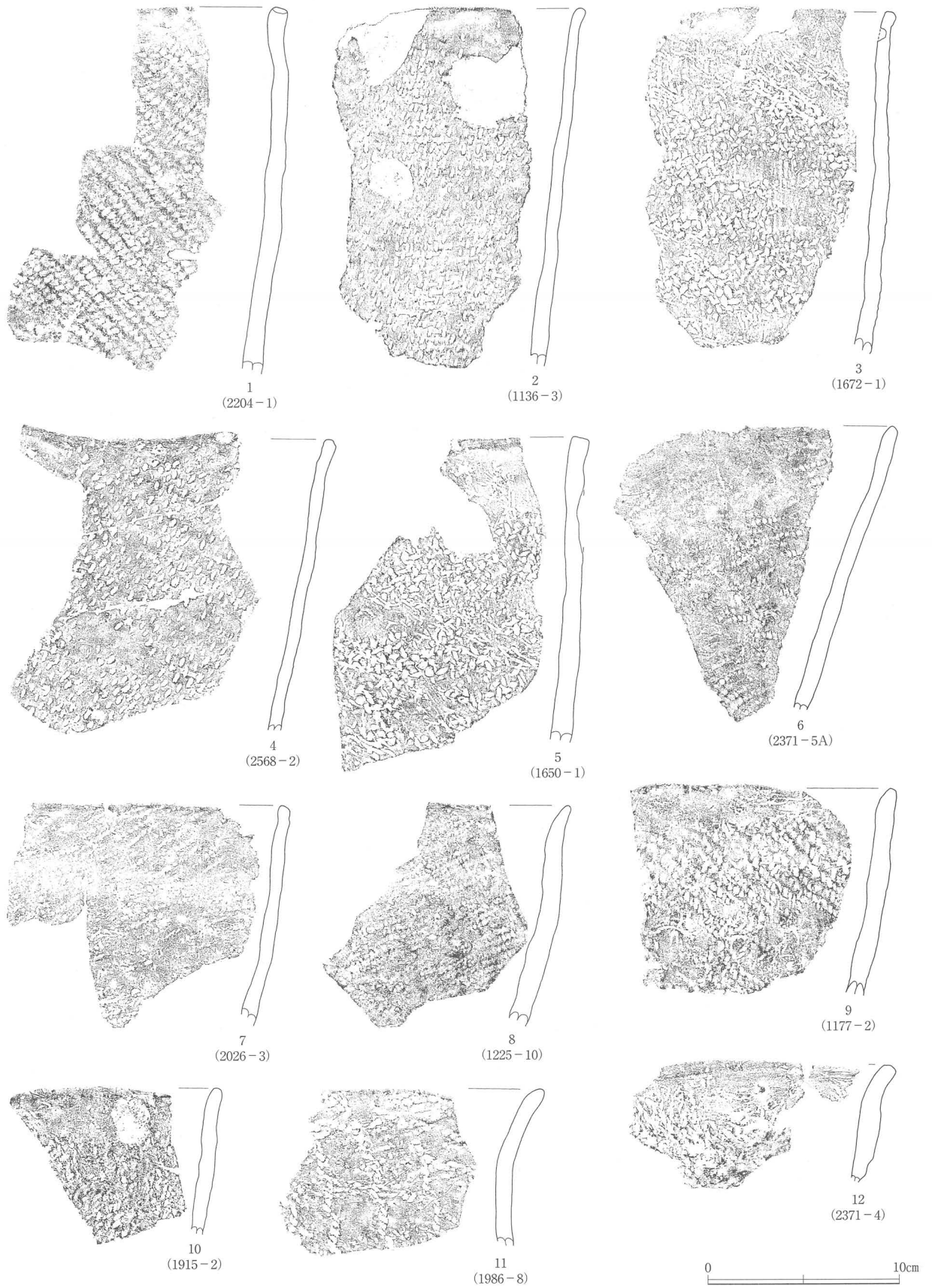
第89図 捨て場出土土器(42) (南部捨て場 3 a 層)



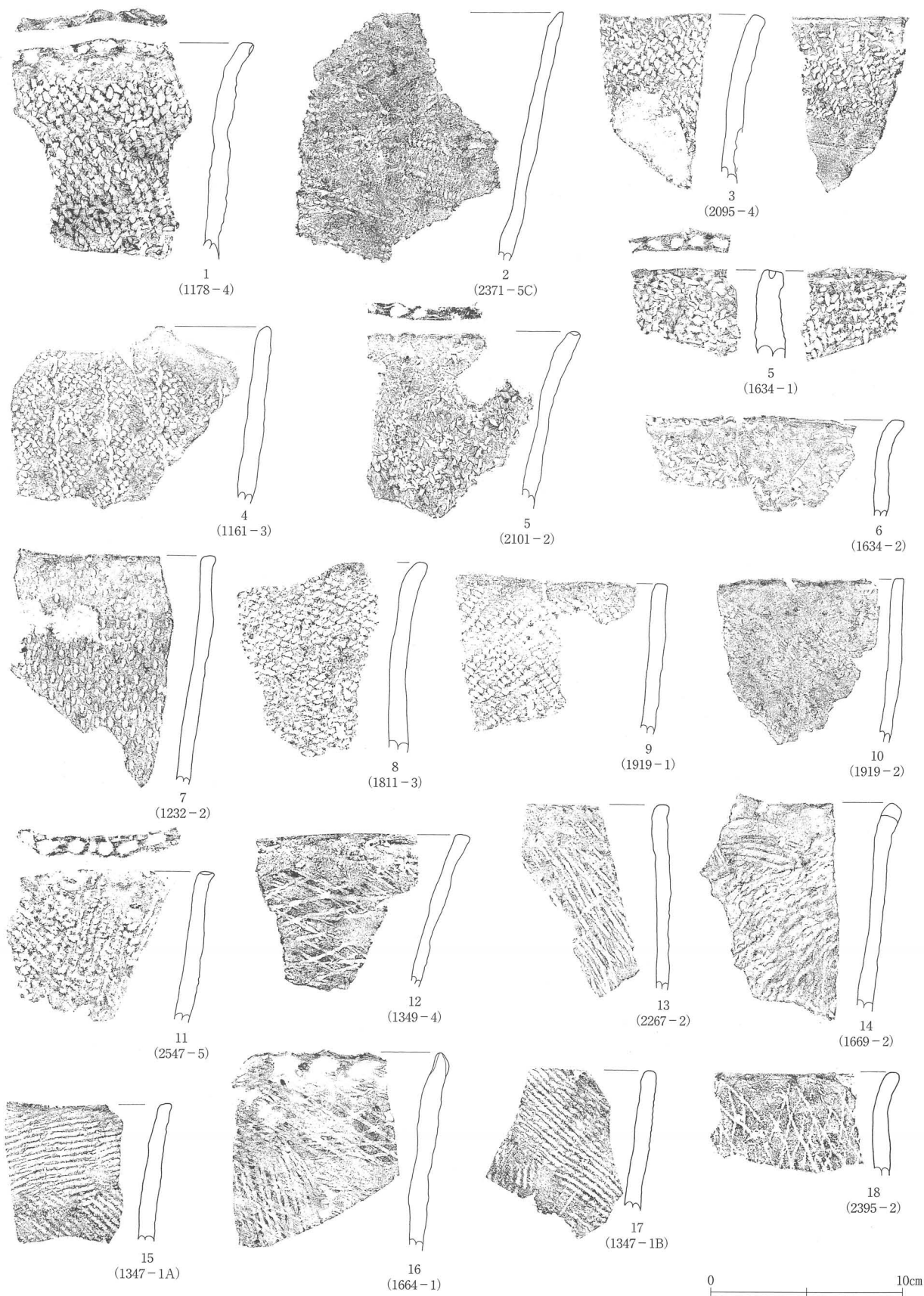
第90図 捨て場出土土器(43) (南部捨て場 3 a 層)



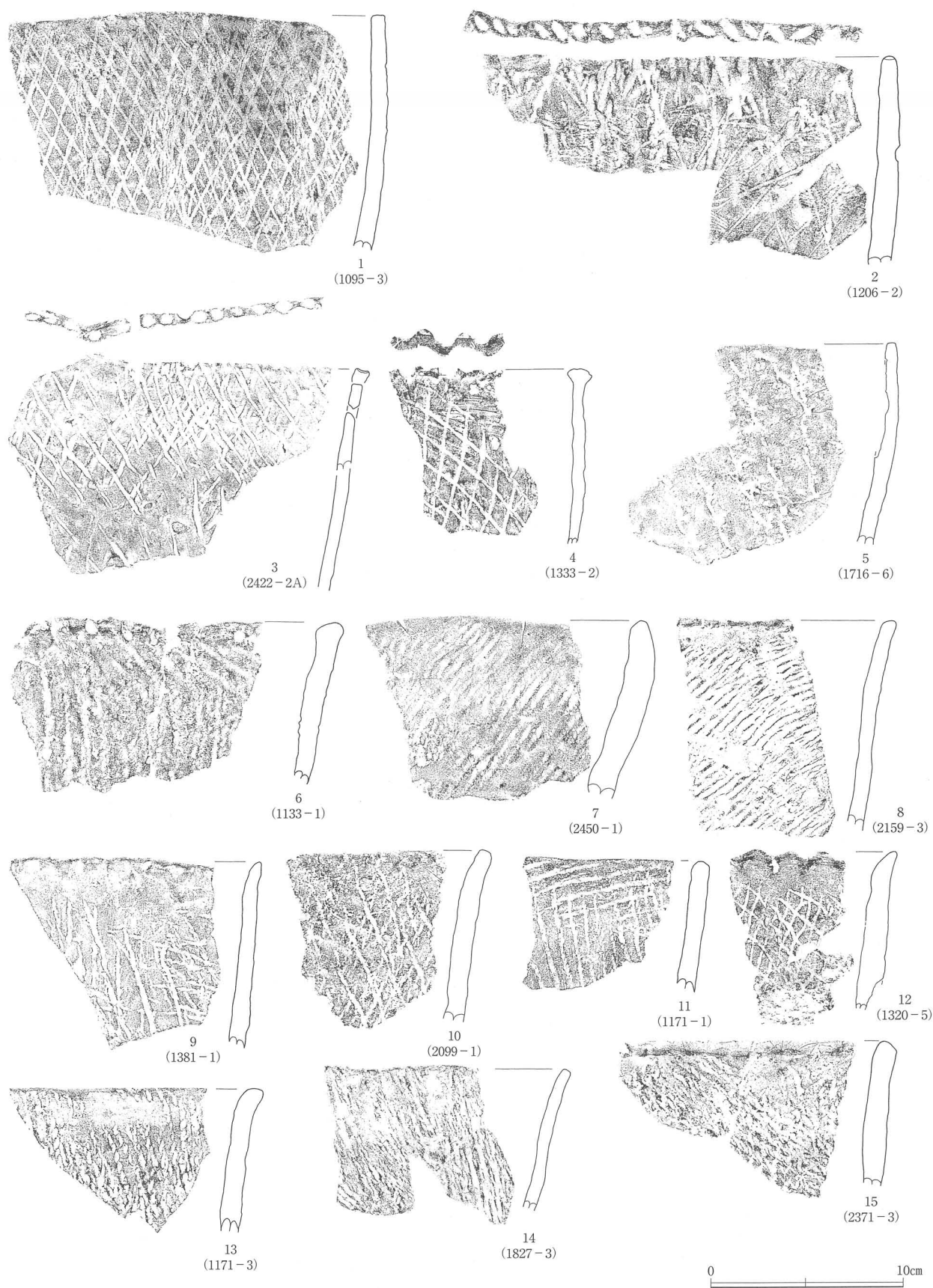
第91図 捨て場出土土器(44) (南部捨て場3 a層)



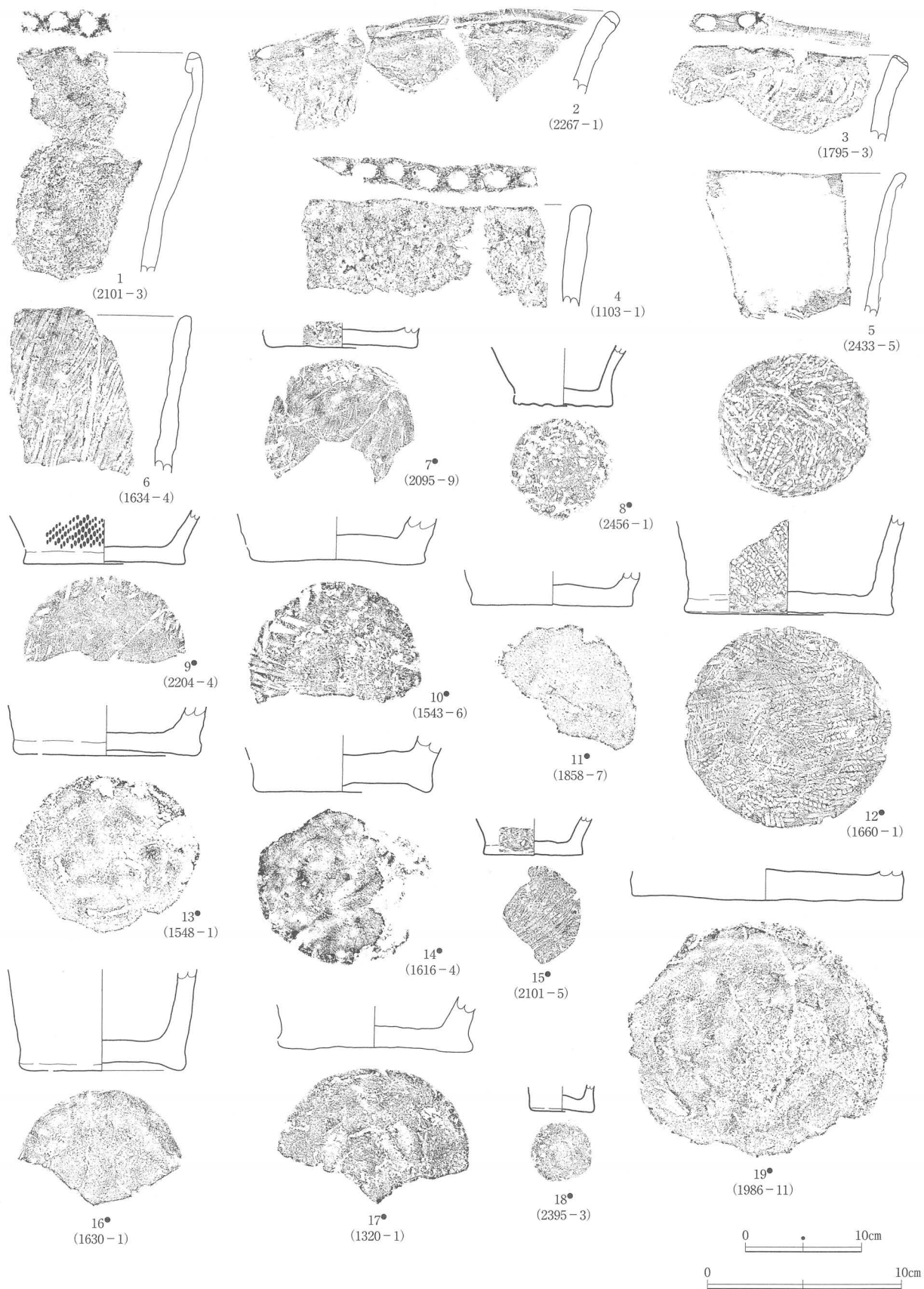
第92図 捨て場出土土器(45) (南部捨て場 3 a 層)



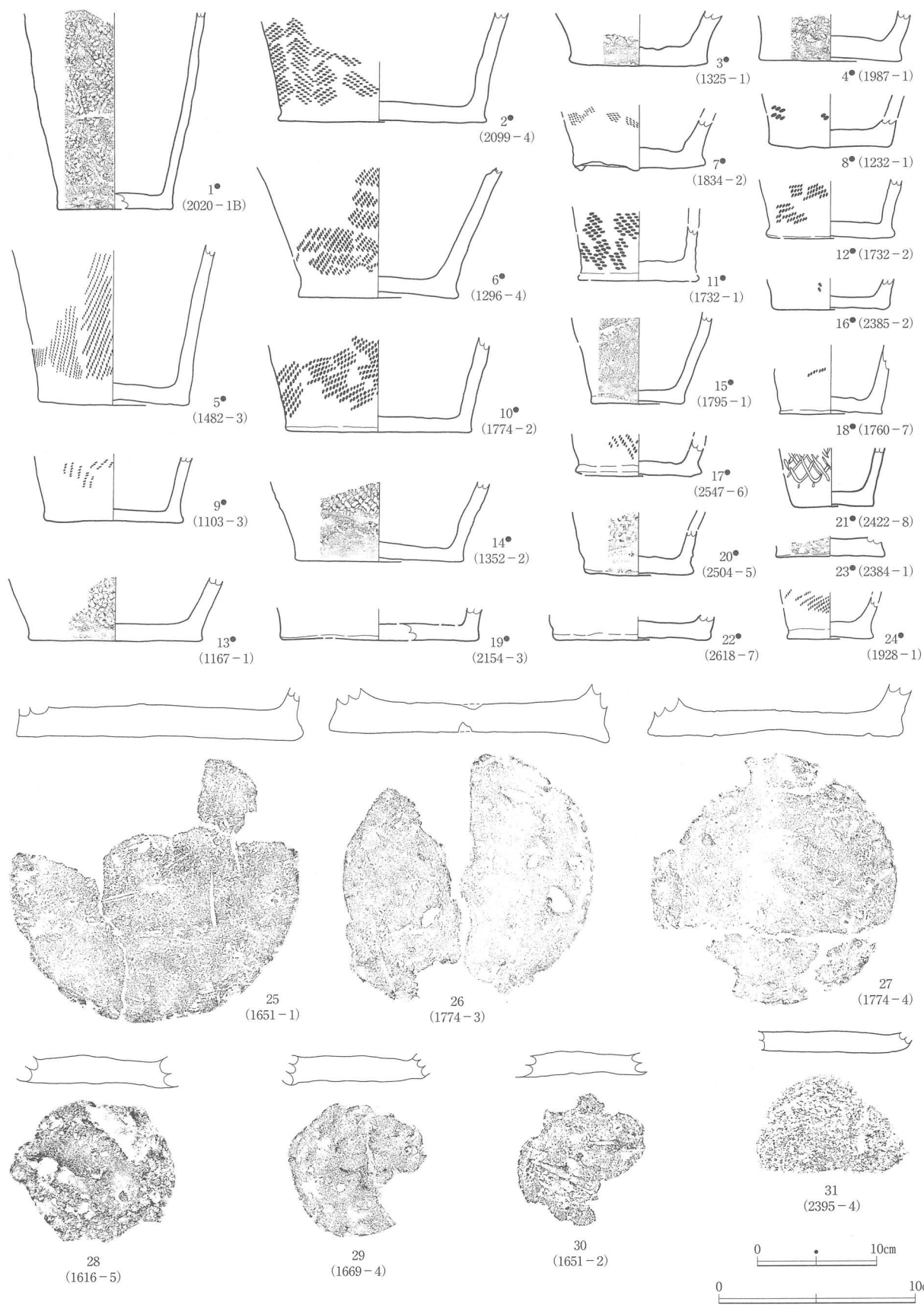
第93図 捨て場出土土器(46) (南部捨て場 3 a 層)



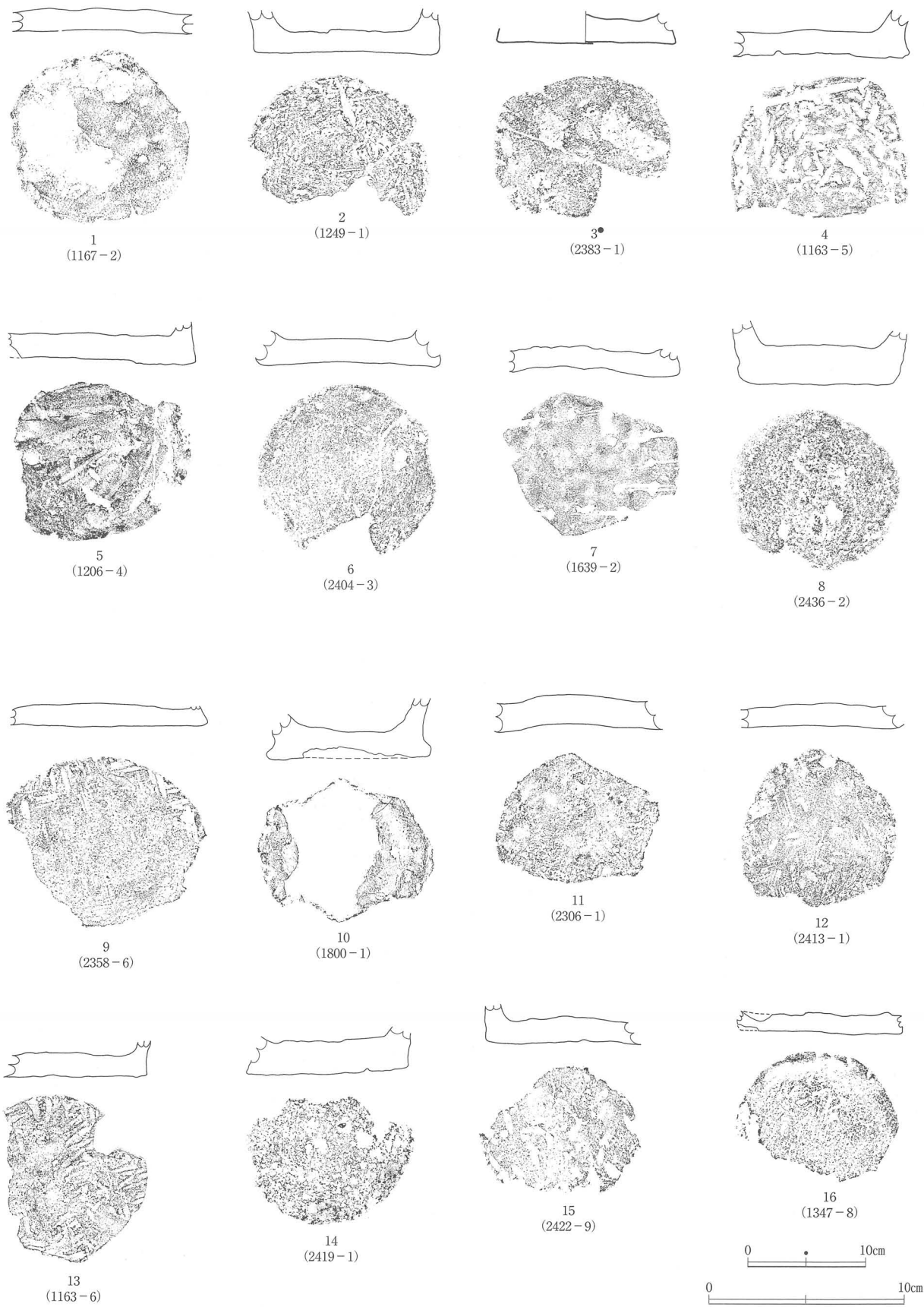
第94図 捨て場出土土器(47) (南部捨て場 3 a 層)



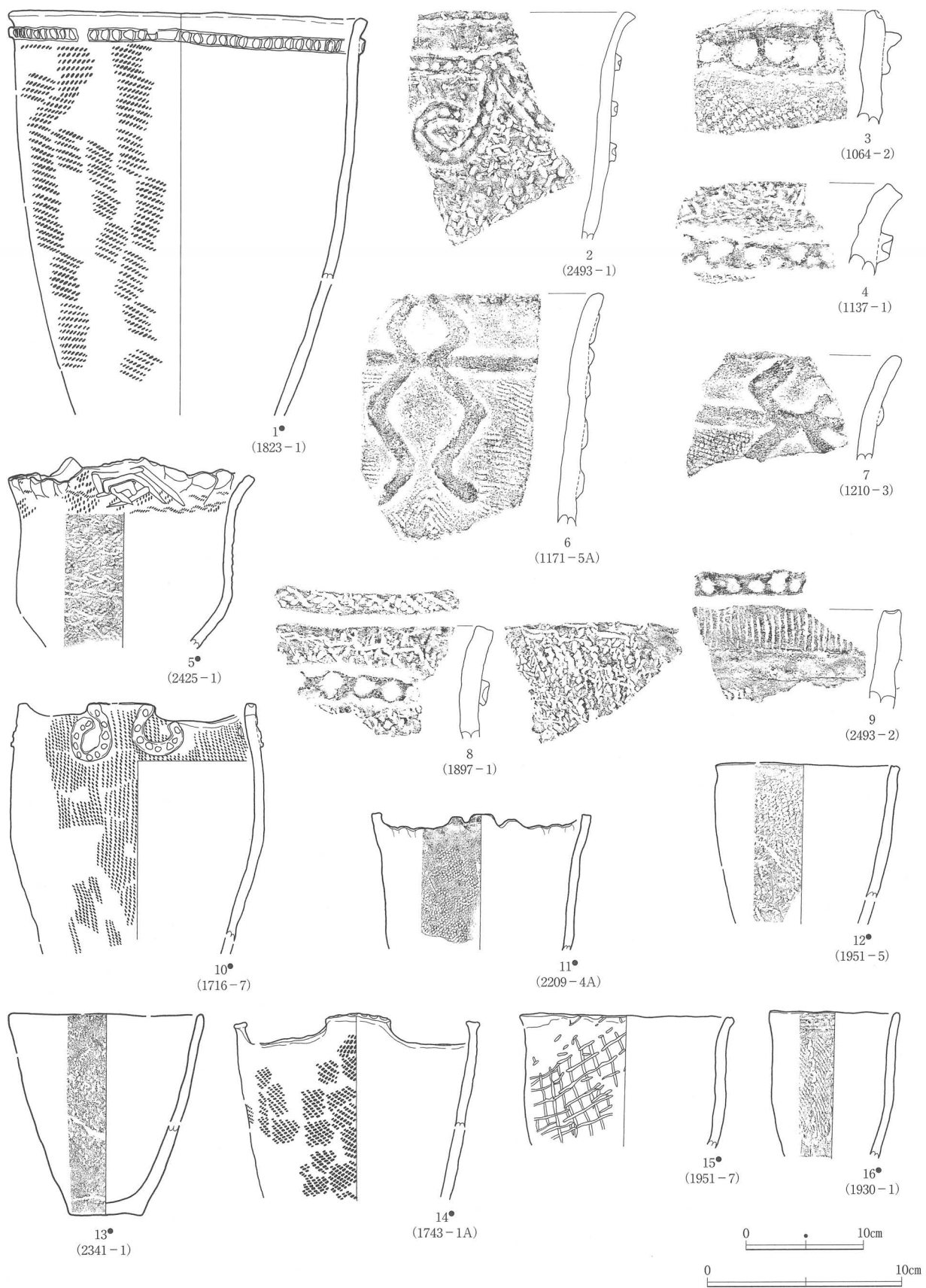
第95図 捨て場出土土器(48) (南部捨て場3 a層)



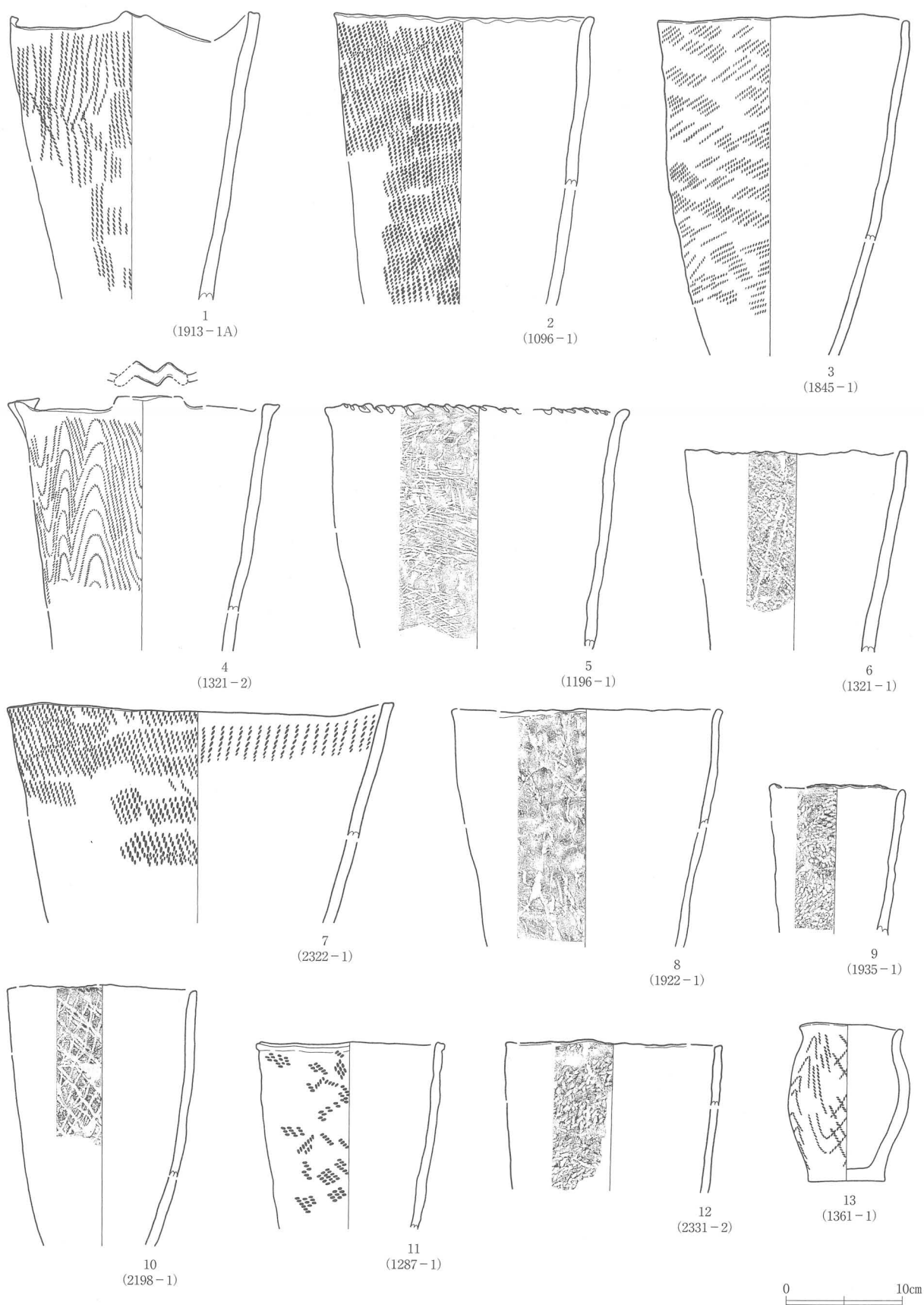
第96図 捨て場出土土器(49) (南部捨て場 3 a 層)



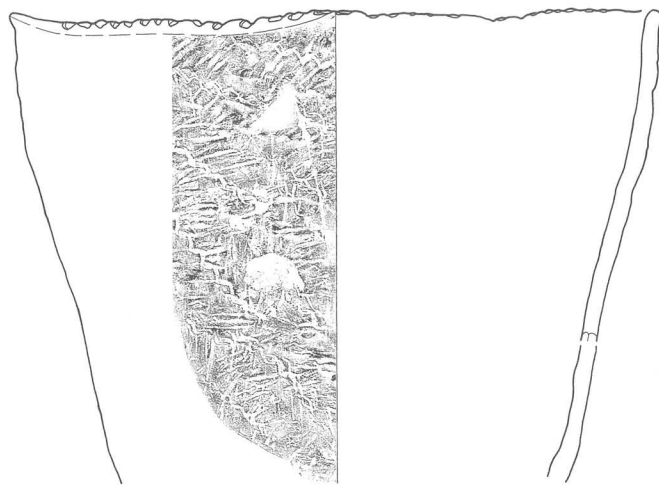
第97図 捨て場出土土器(50) (南部捨て場 3 a層)



第98図 捨て場出土土器(51) (南部捨て場 3 b 層)



第99図 捨て場出土土器(52) (南部捨て場3b層)



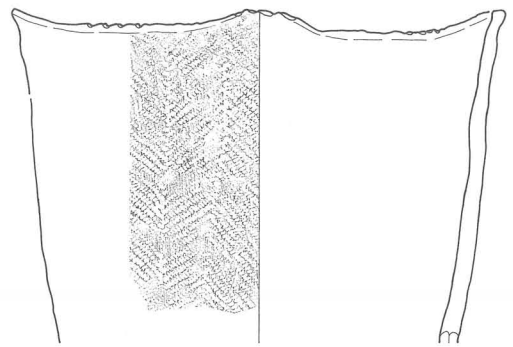
1[•]
(1152-1)



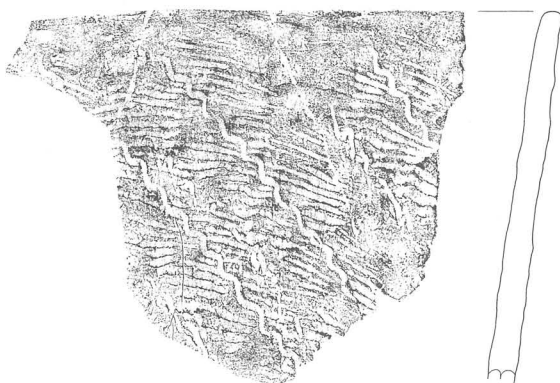
2
(1781-1)



3
(1177-1B)



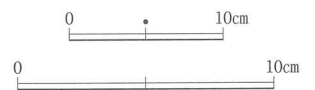
4[•]
(1136-1)



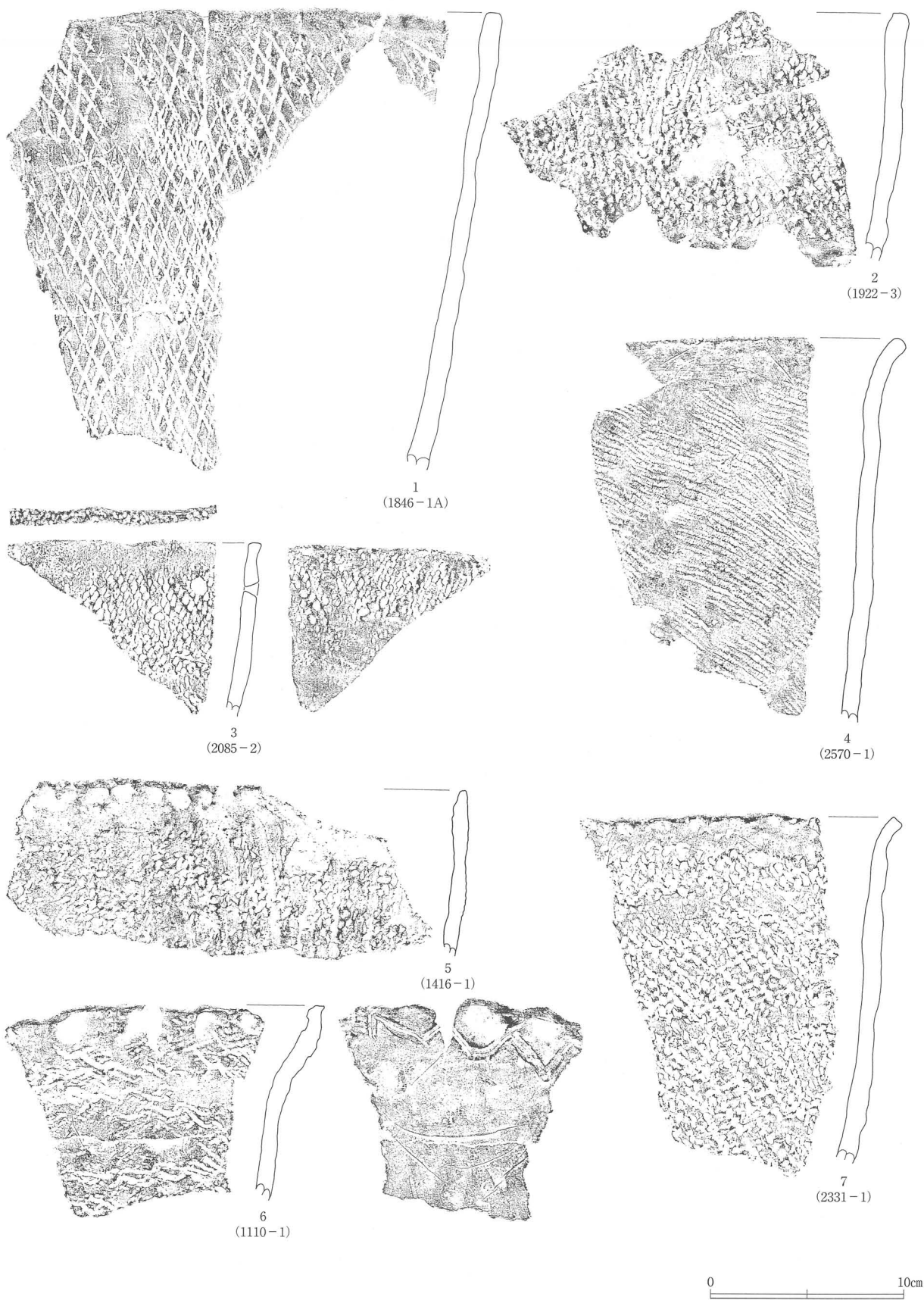
5
(1326-1)



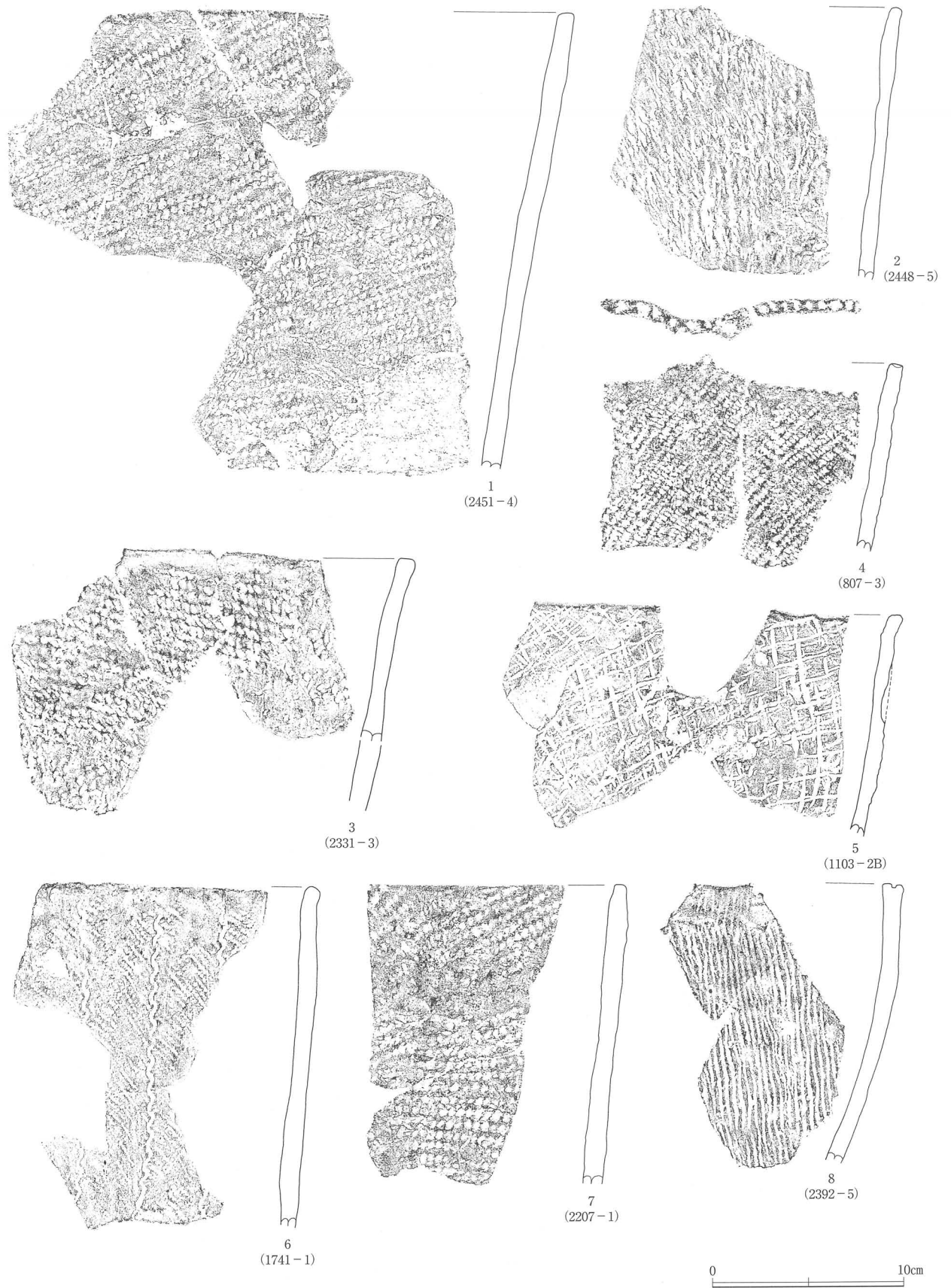
6
(1177-1A)



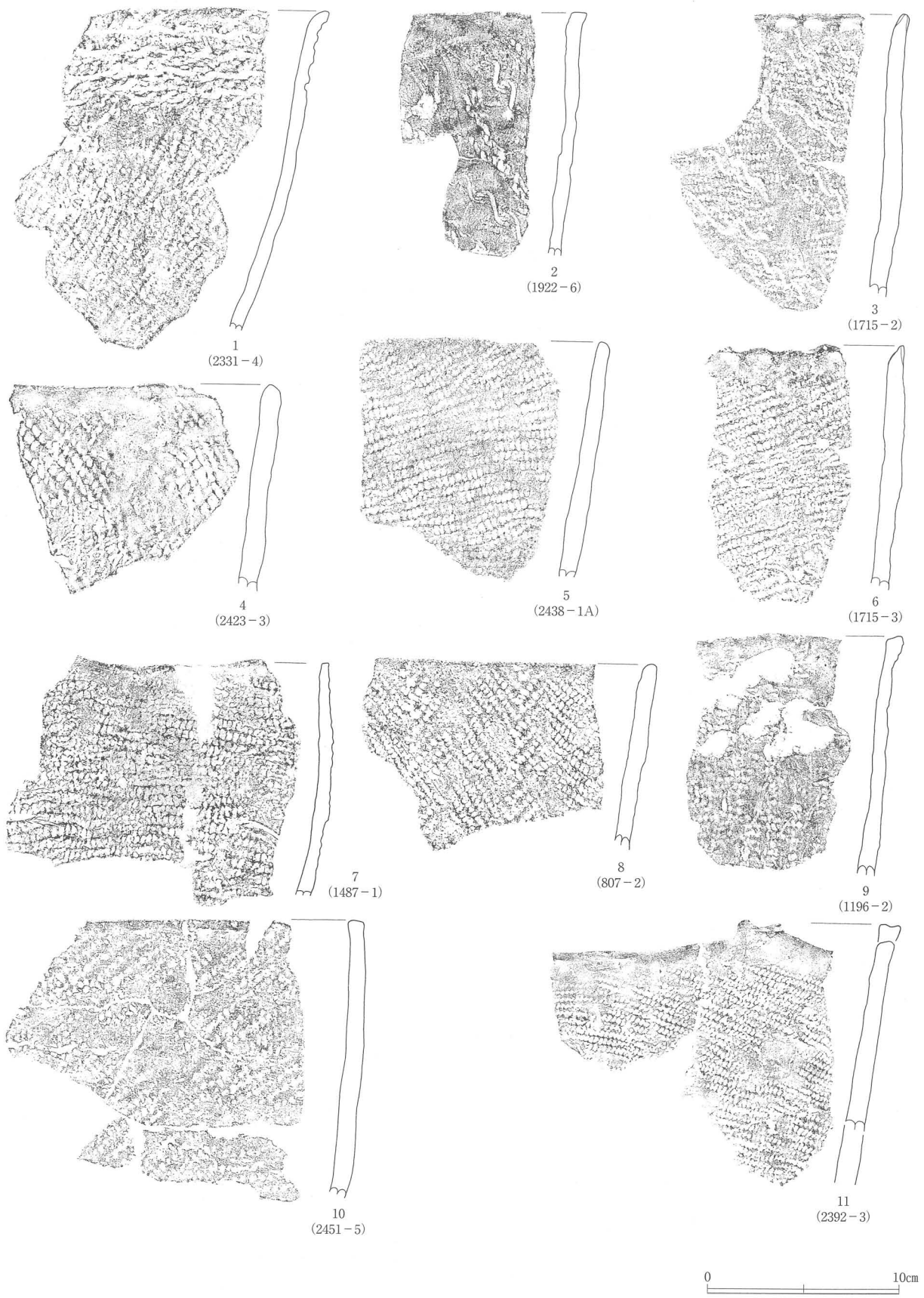
第100図 捨て場出土土器⁽⁵³⁾ (南部捨て場 3 b 層)



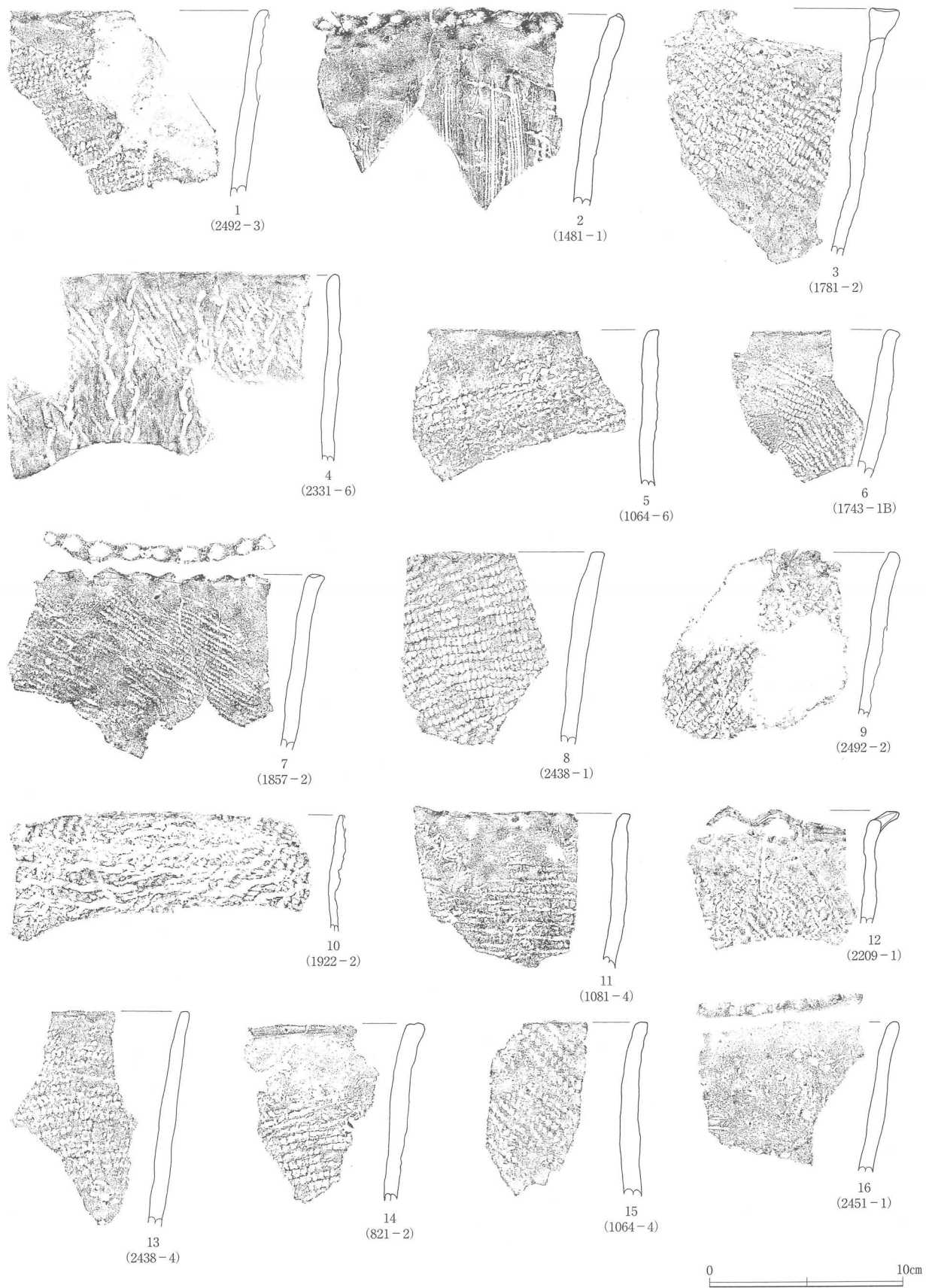
第101図 捨て場出土土器(54) (南部捨て場3 b層)



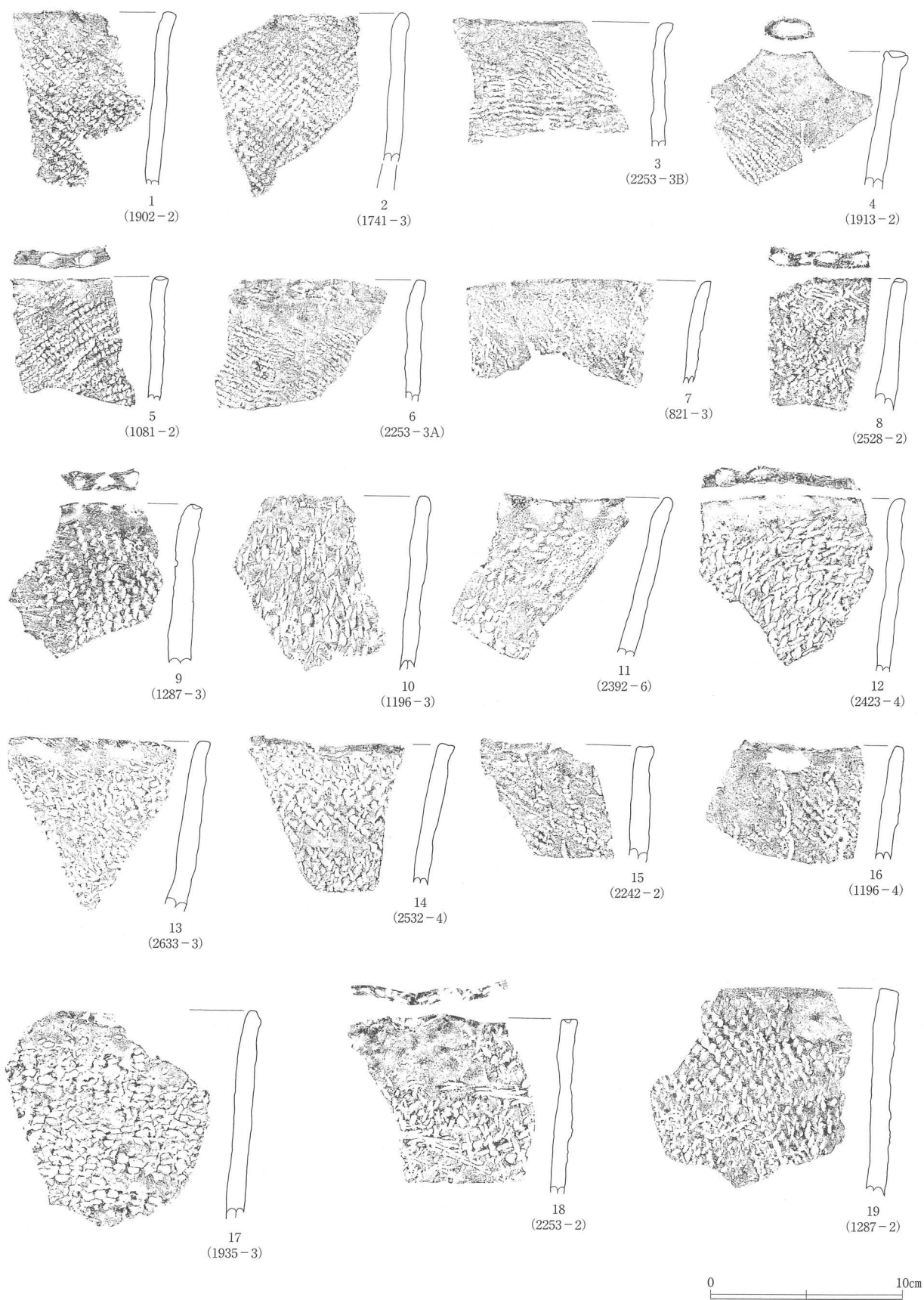
第102図 捨て場出土土器(55) (南部捨て場3b層)



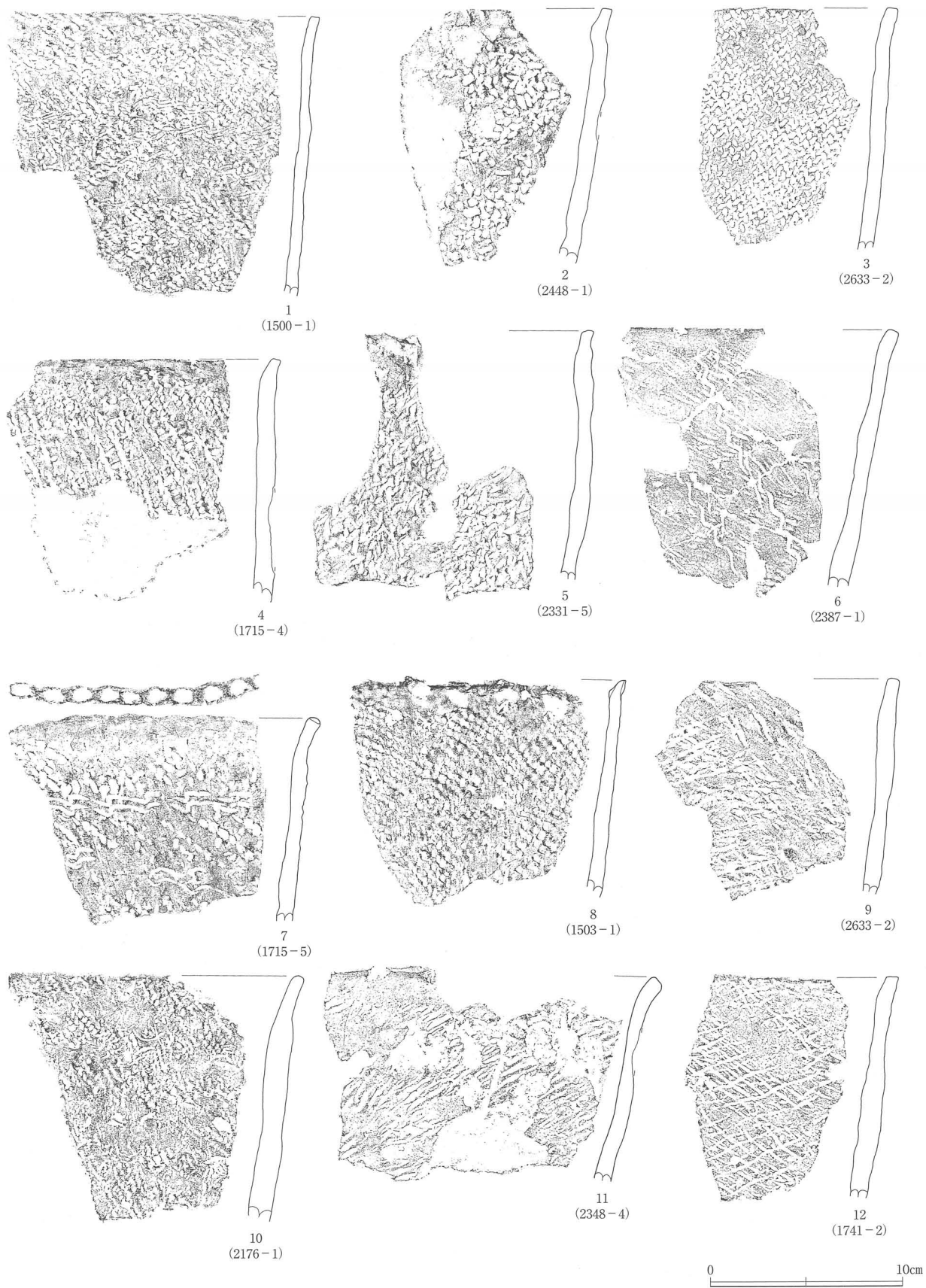
第103図 捨て場出土土器(56) (南部捨て場 3 b 層)



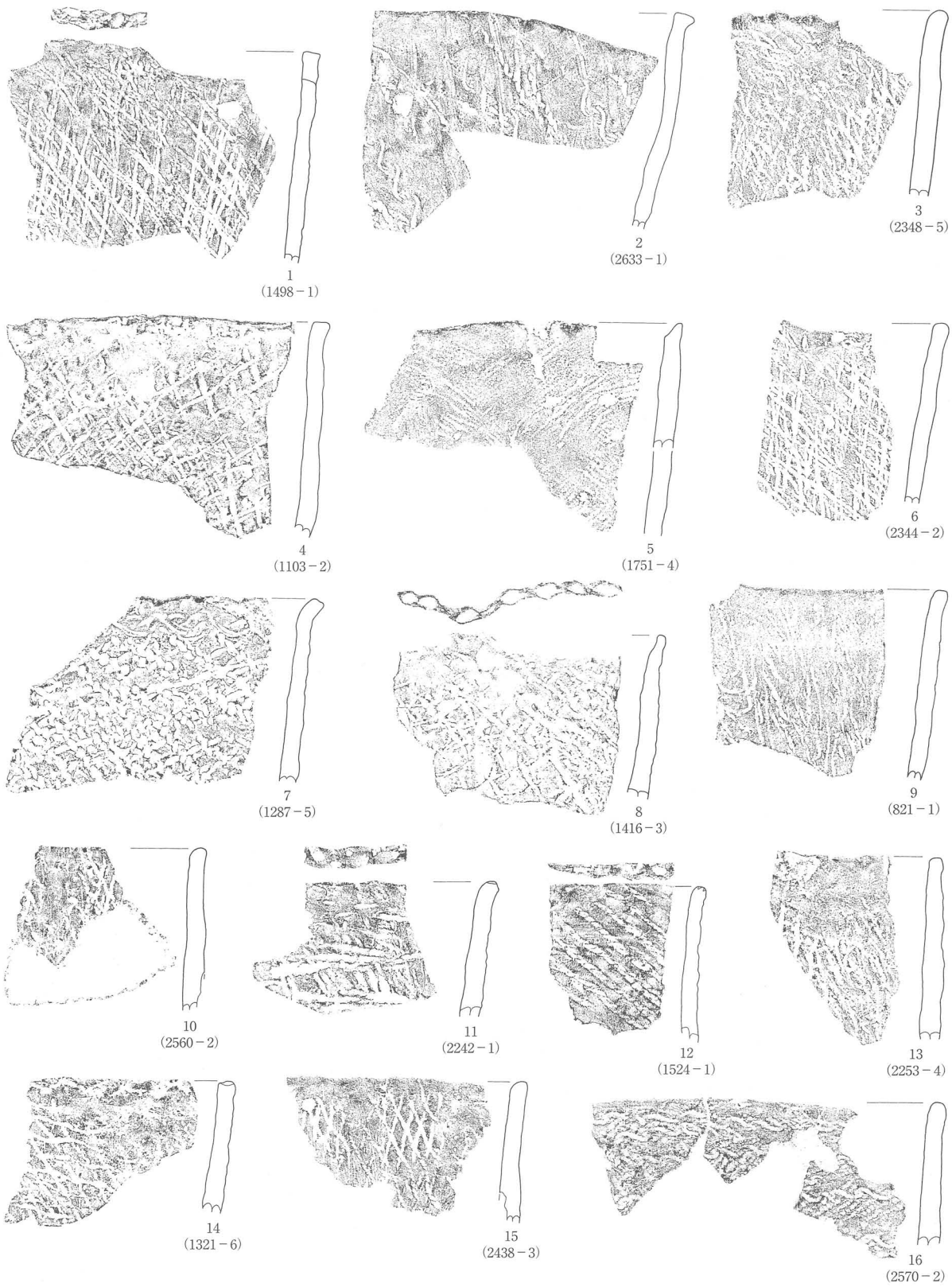
第104図 捨て場出土土器(57) (南部捨て場3b層)



第105図 捨て場出土土器(58) (南部捨て場 3 b 層)

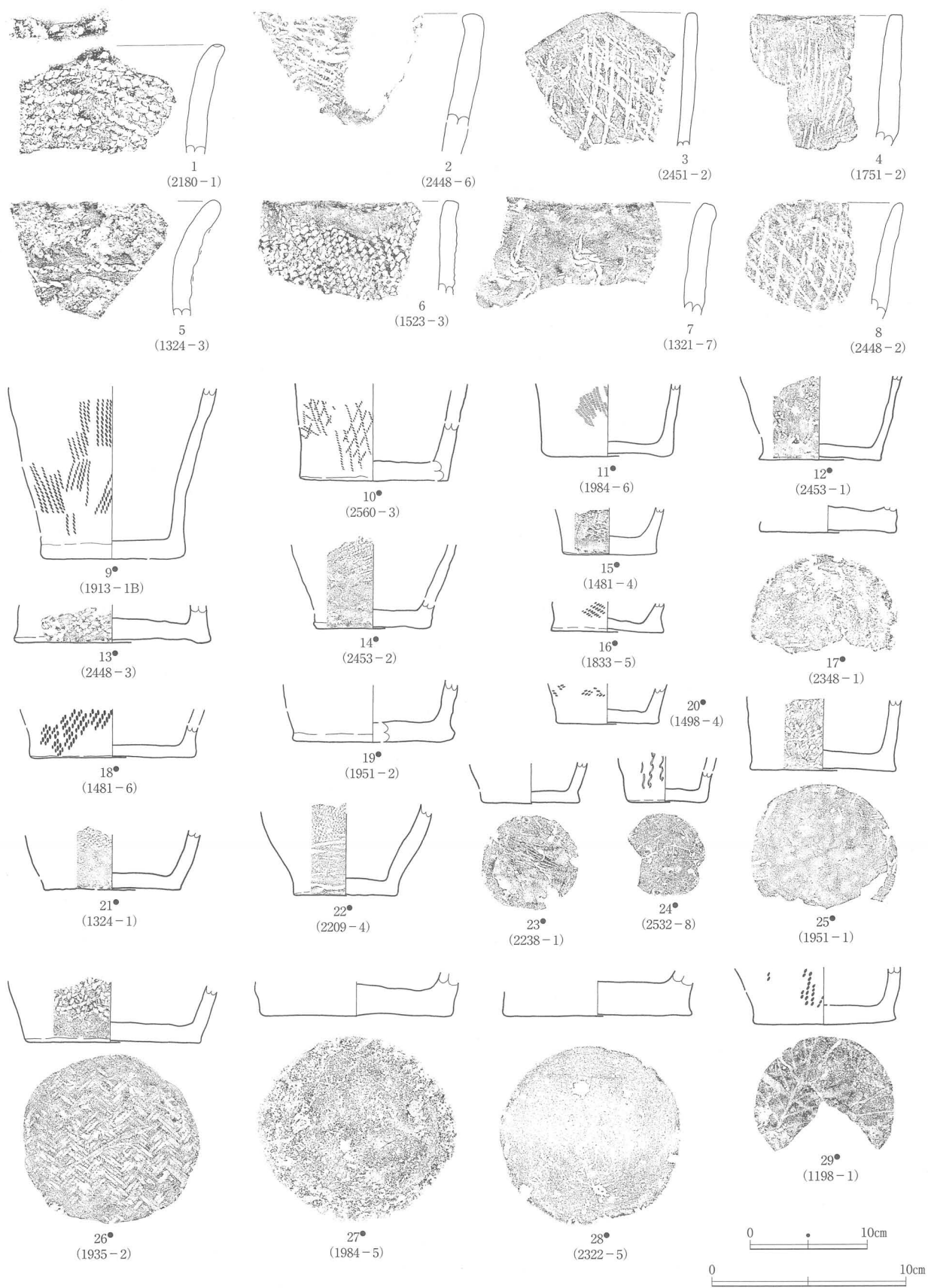


第106図 捨て場出土土器⁽⁵⁹⁾ (南部捨て場 3 b 層)

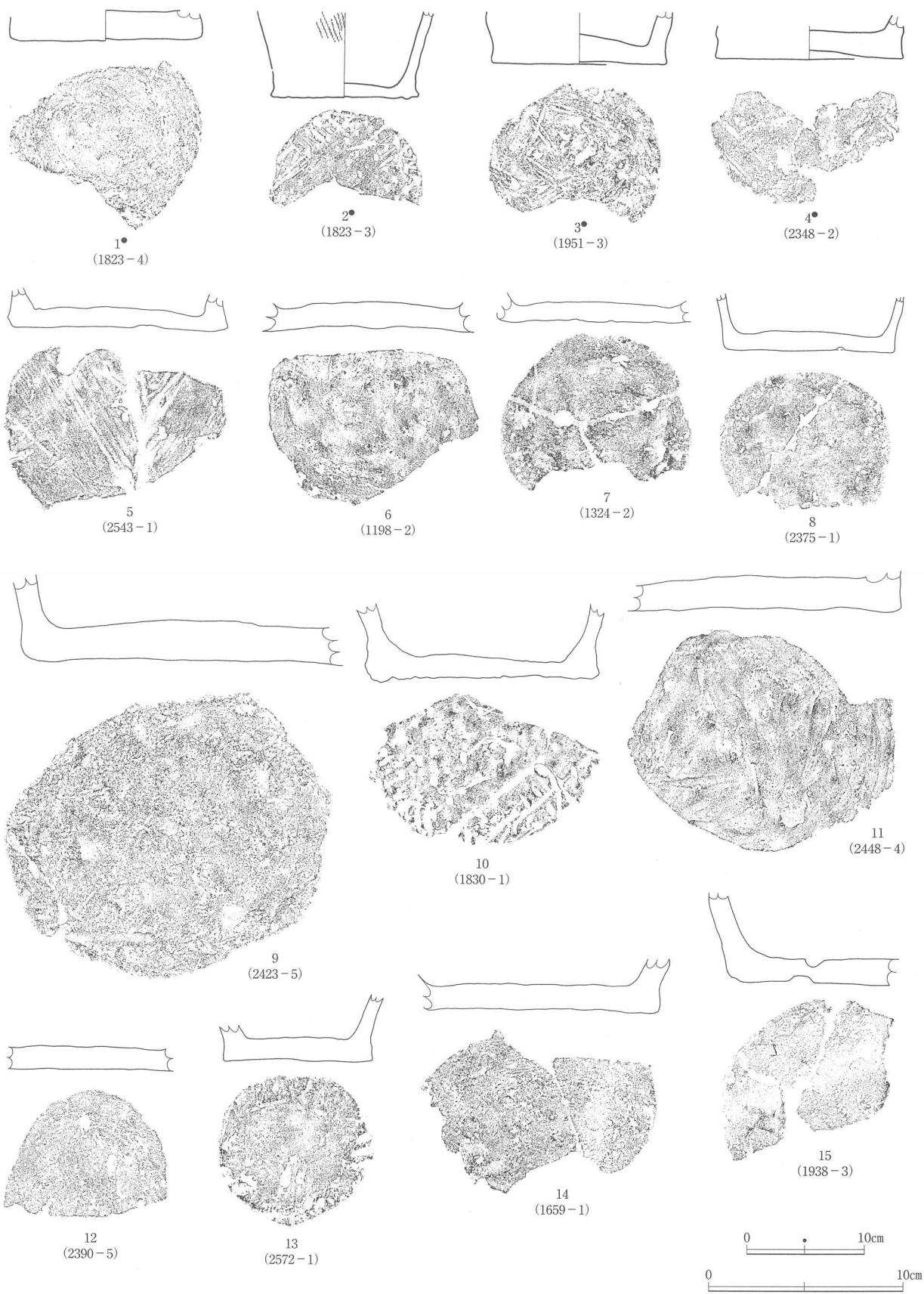


0 10cm

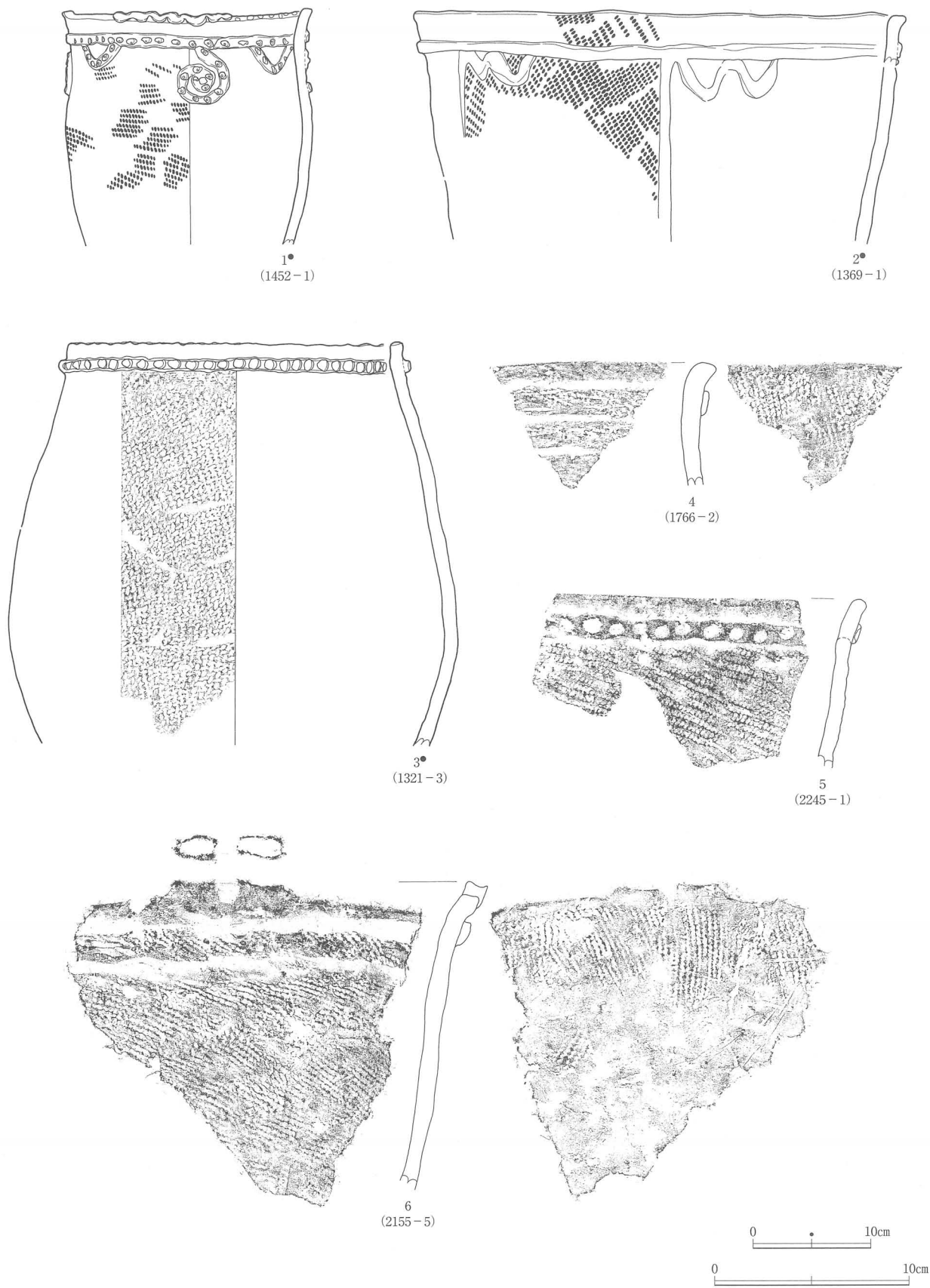
第107図 捨て場出土土器(60) (南部捨て場3b層)



第108図 捨て場出土土器(61) (南部捨て場3b層)



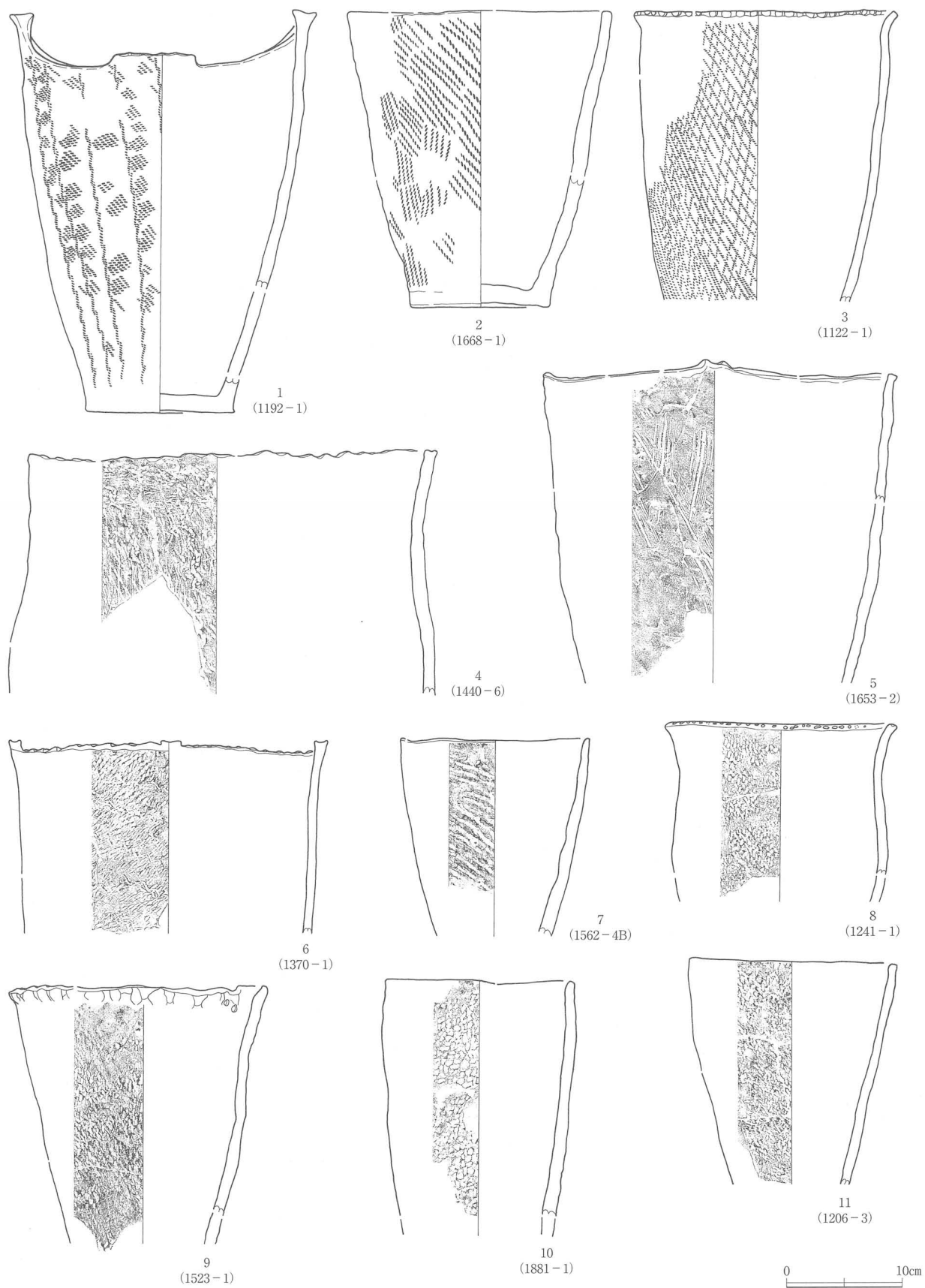
第109図 捨て場出土土器(62) (南部捨て場3 b層)



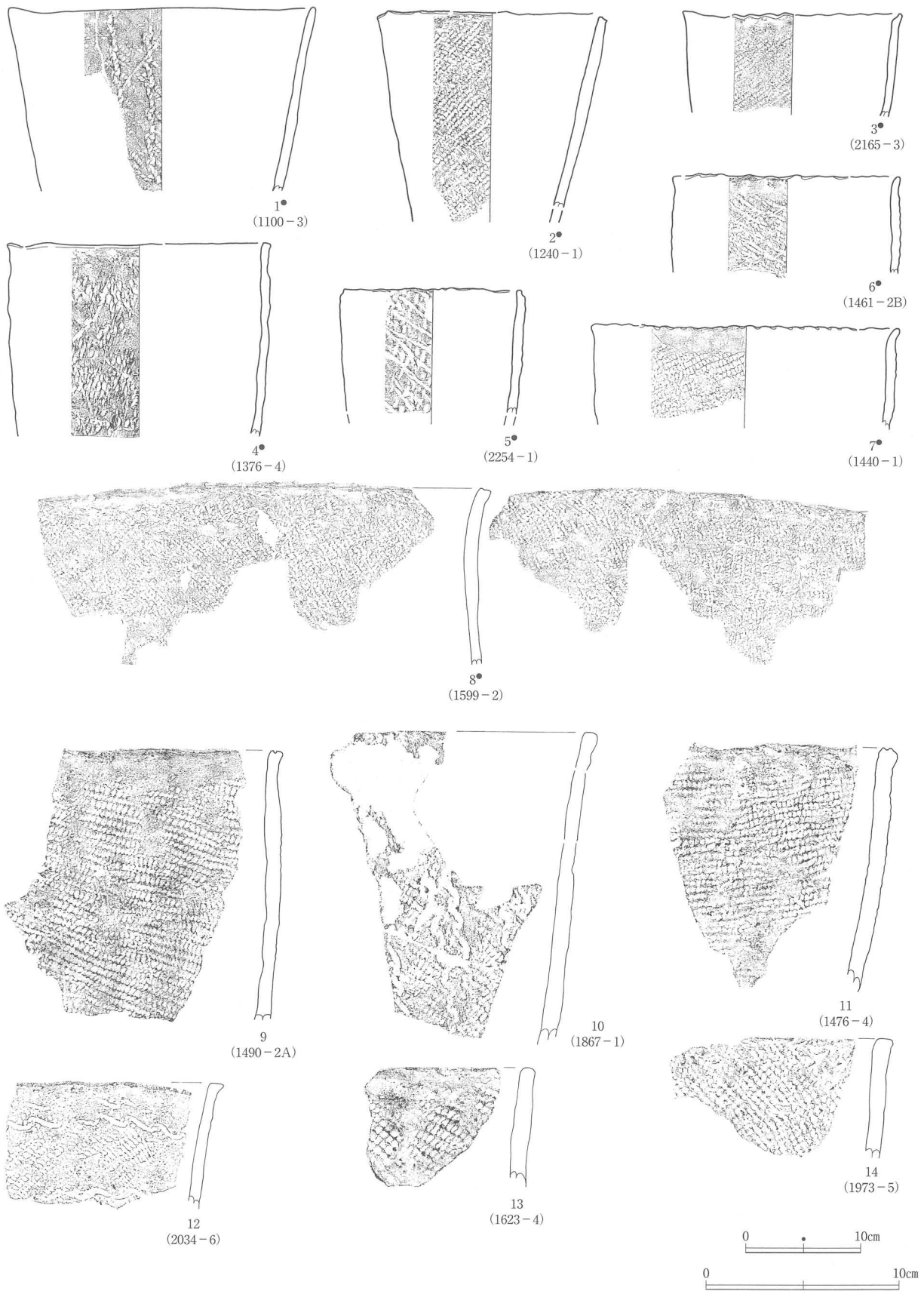
第110図 捨て場出土土器(63) (南部捨て場3c層)



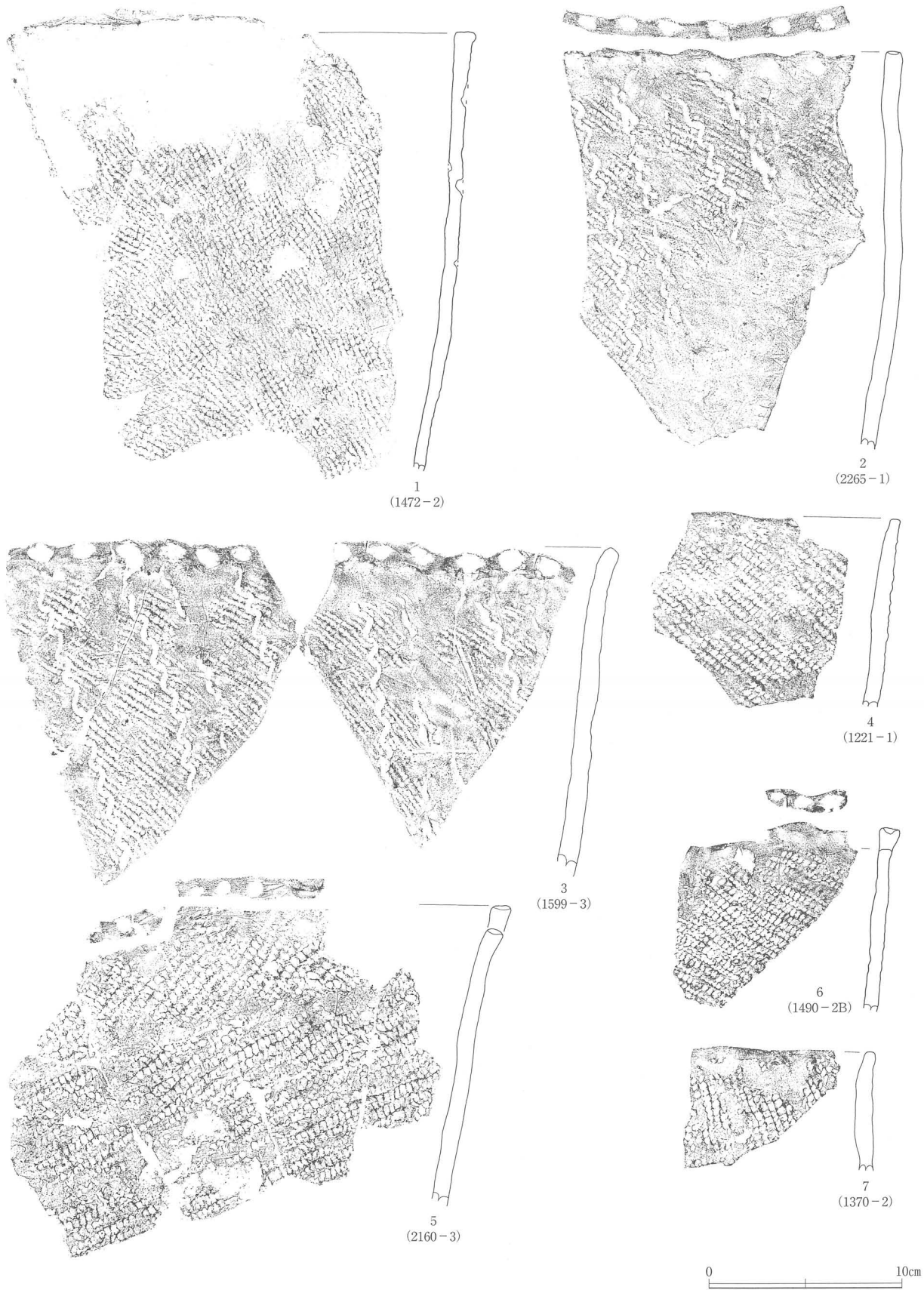
第111図 捨て場出土土器(64) (南部捨て場3c層)



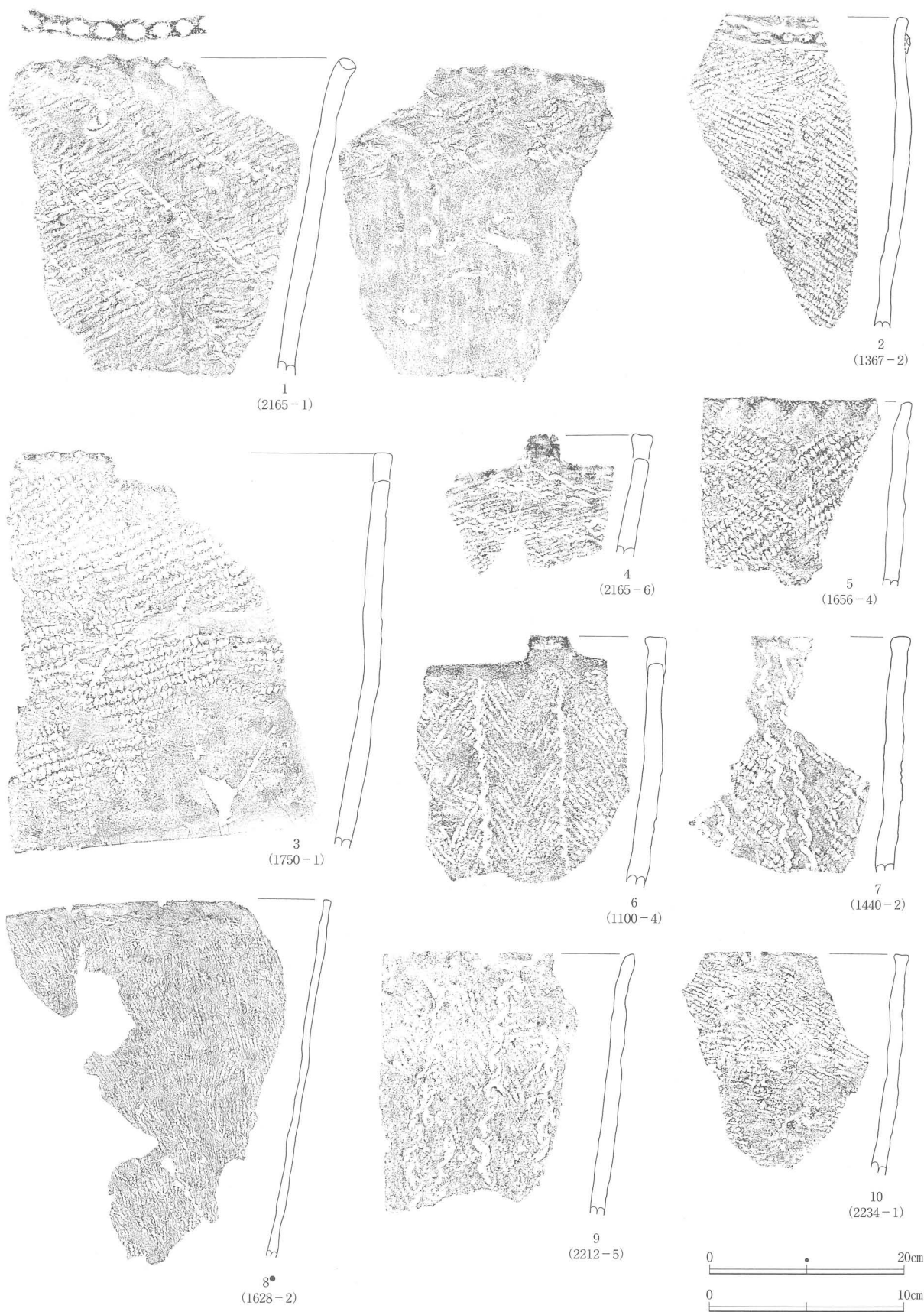
第112図 捨て場出土土器⁽⁶⁵⁾ (南部捨て場 3 c 層)



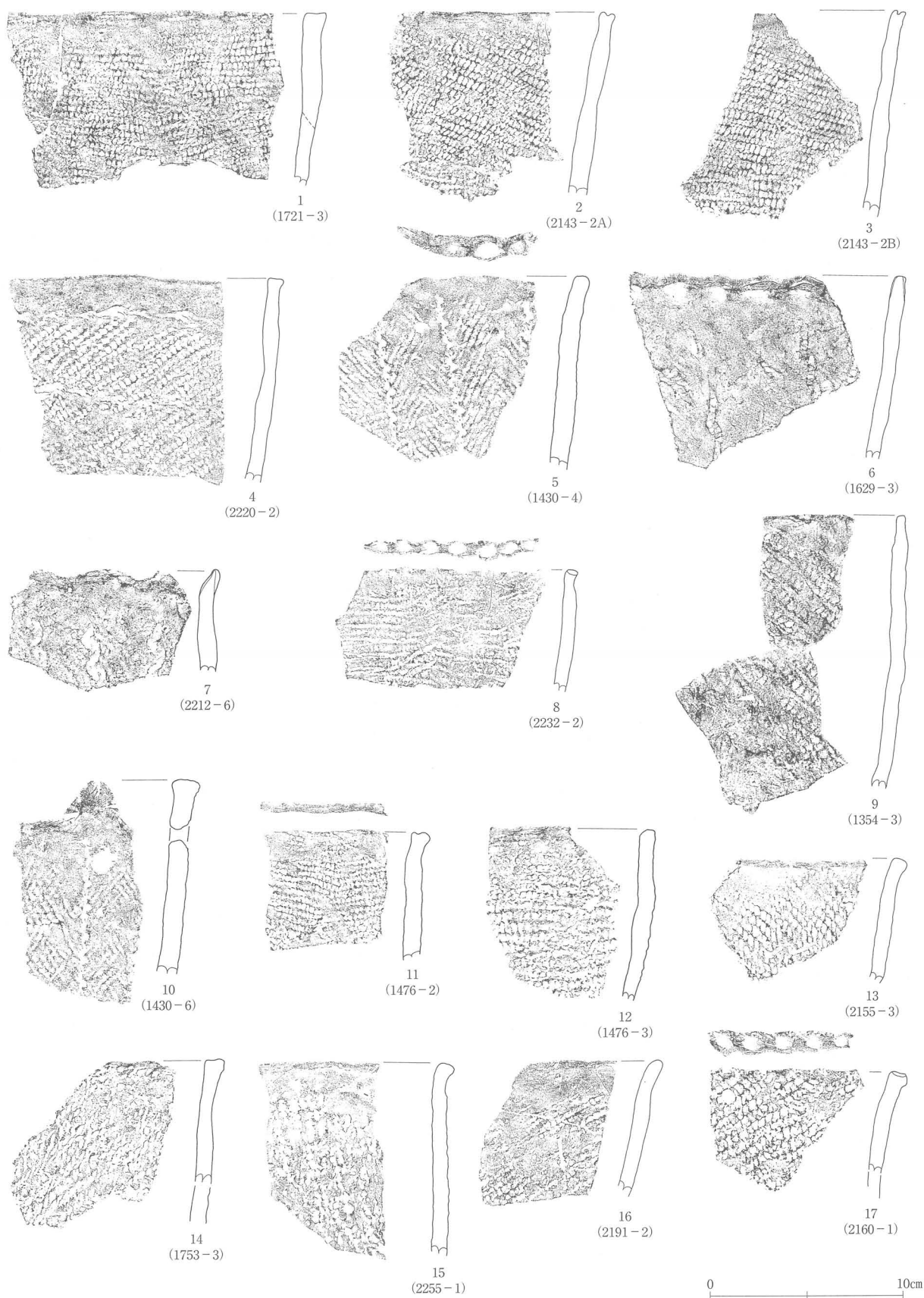
第113図 捨て場出土土器(66) (南部捨て場 3 c 層)



第114図 捨て場出土土器(67) (南部捨て場3c層)



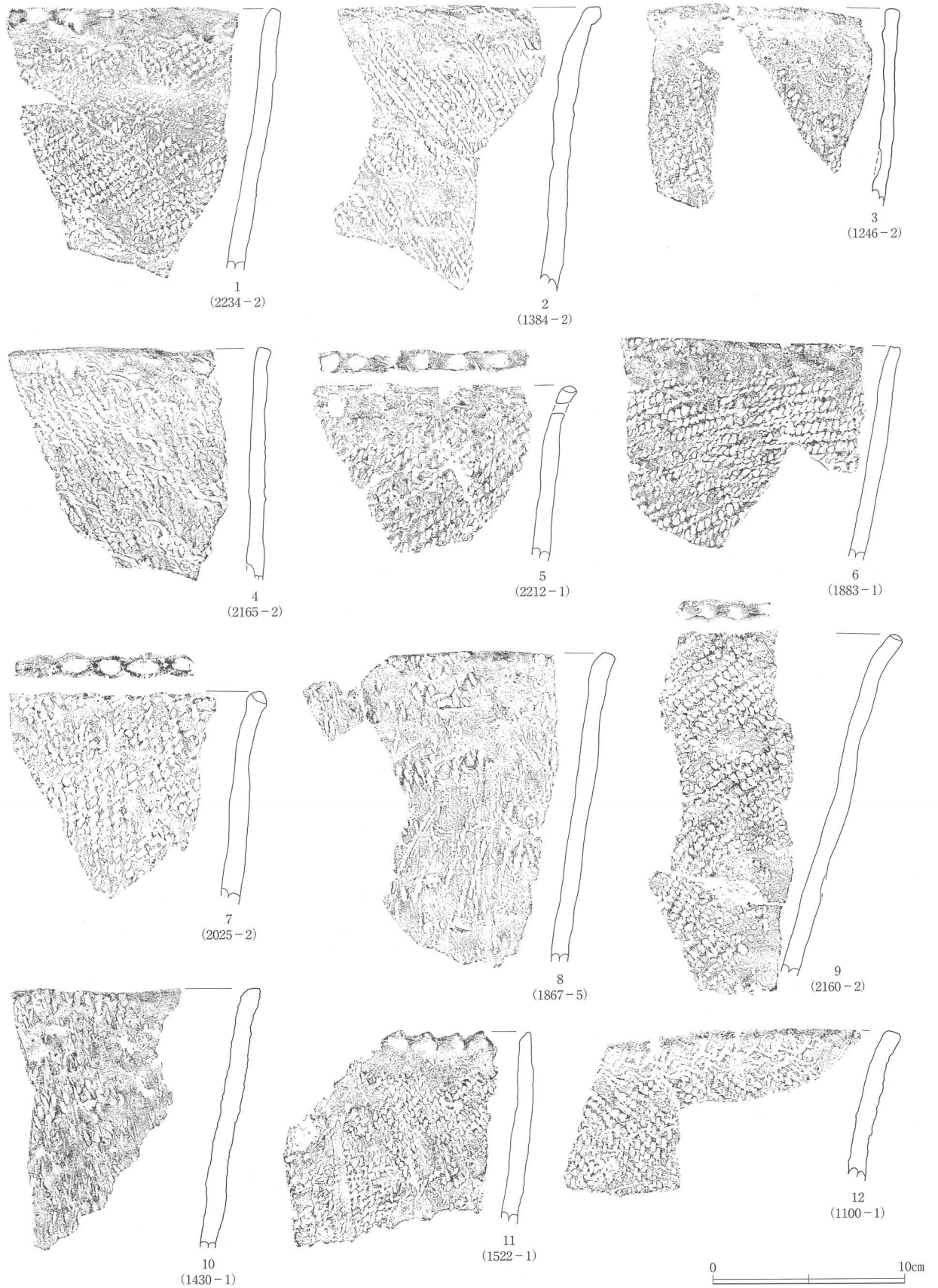
第115図 捨て場出土土器(68) (南部捨て場 3 c 層)



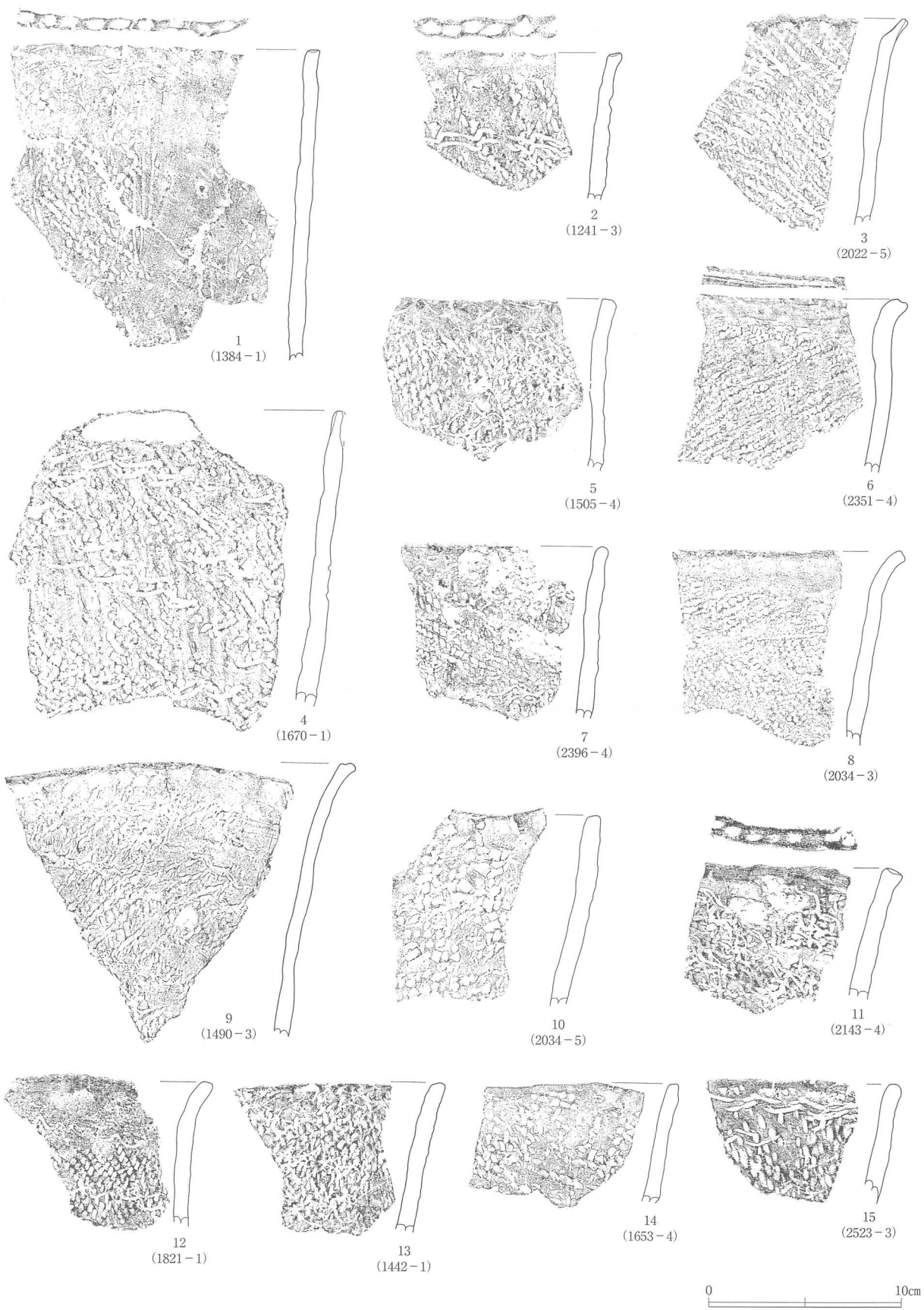
第116図 捨て場出土土器(69) (南部捨て場3c層)



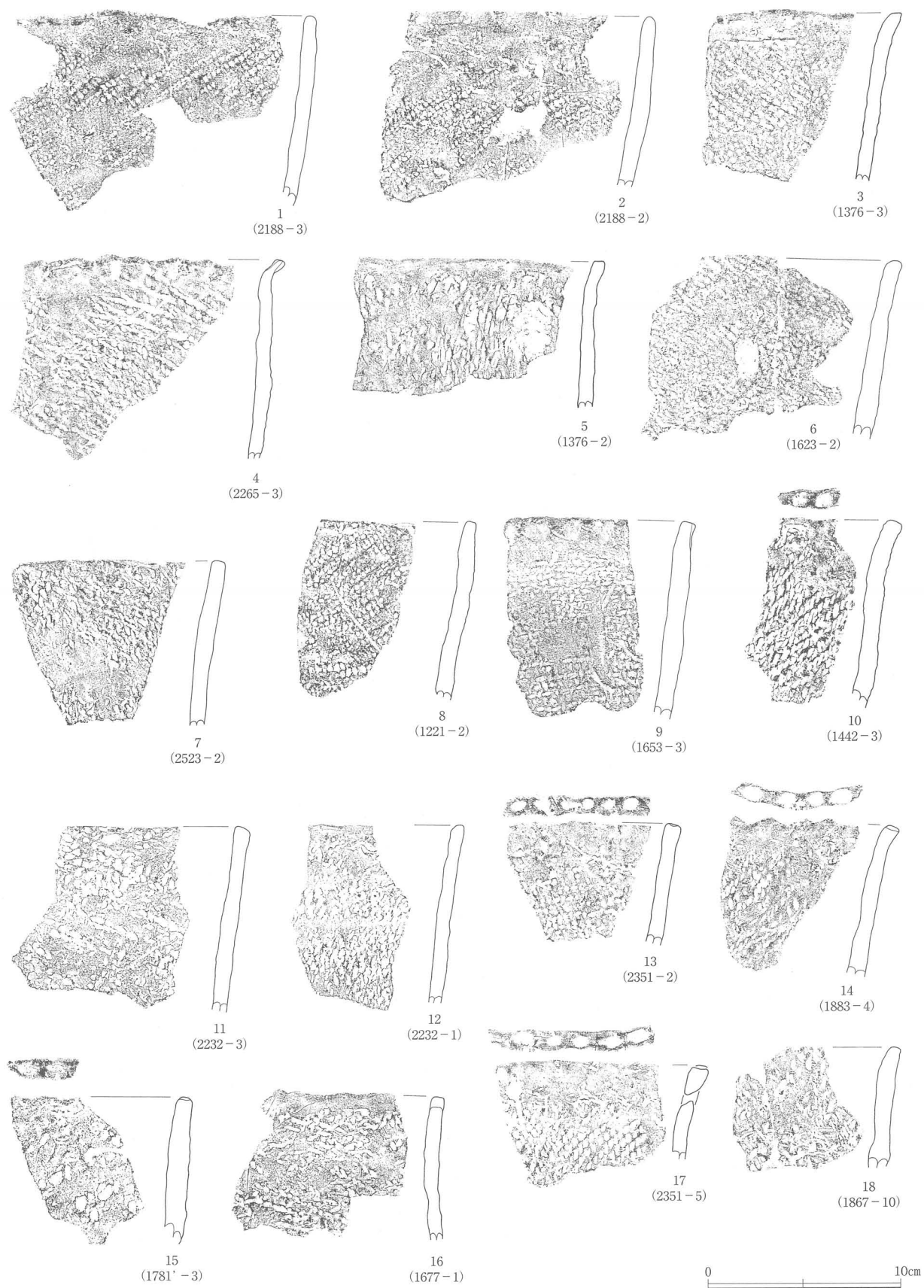
第117図 捨て場出土土器(70) (南部捨て場 3 c 層)



第118図 捨て場出土土器(71) (南部捨て場3c層)



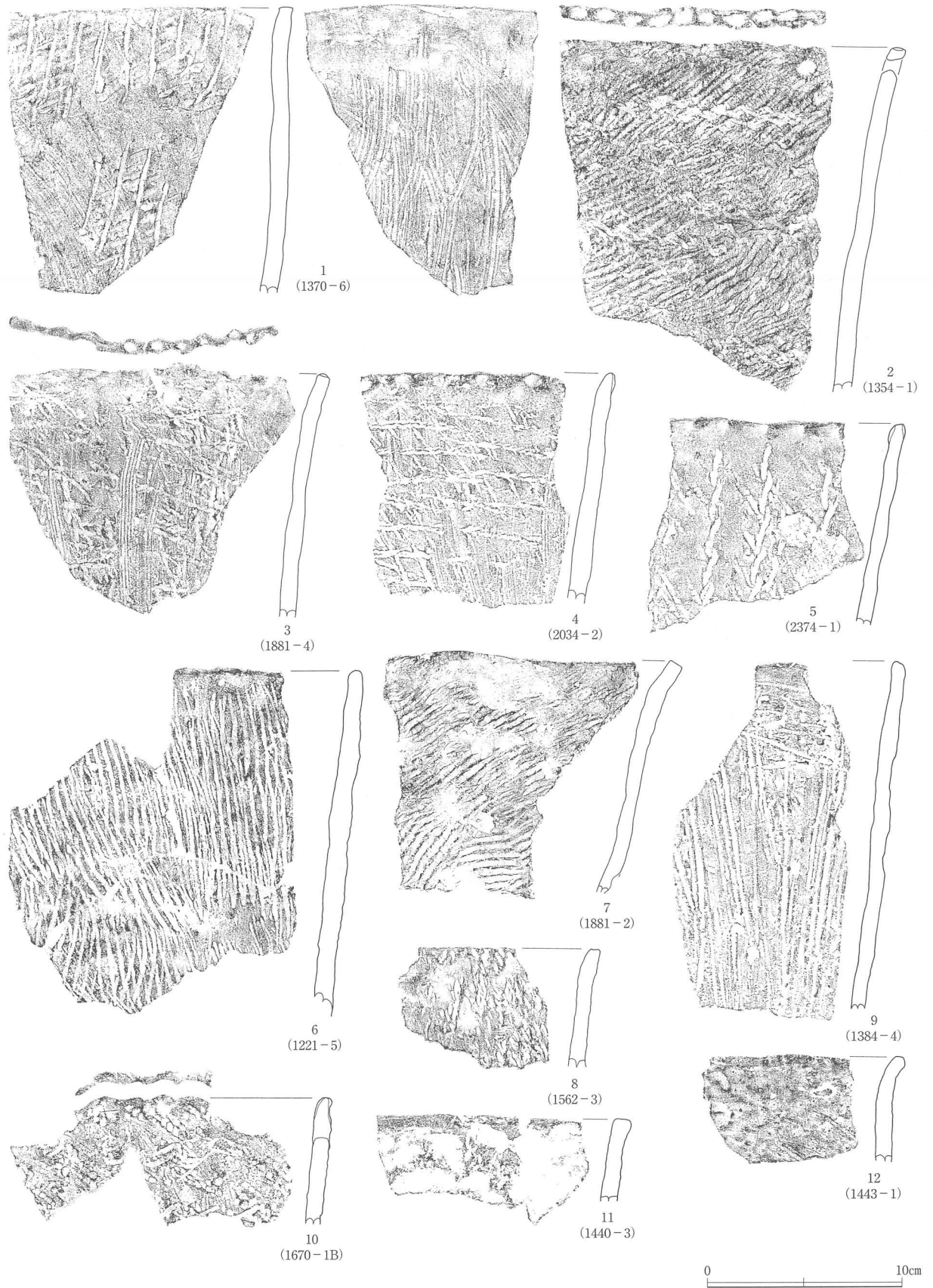
第119図 捨て場出土土器(72) (南部捨て場 3 c 層)



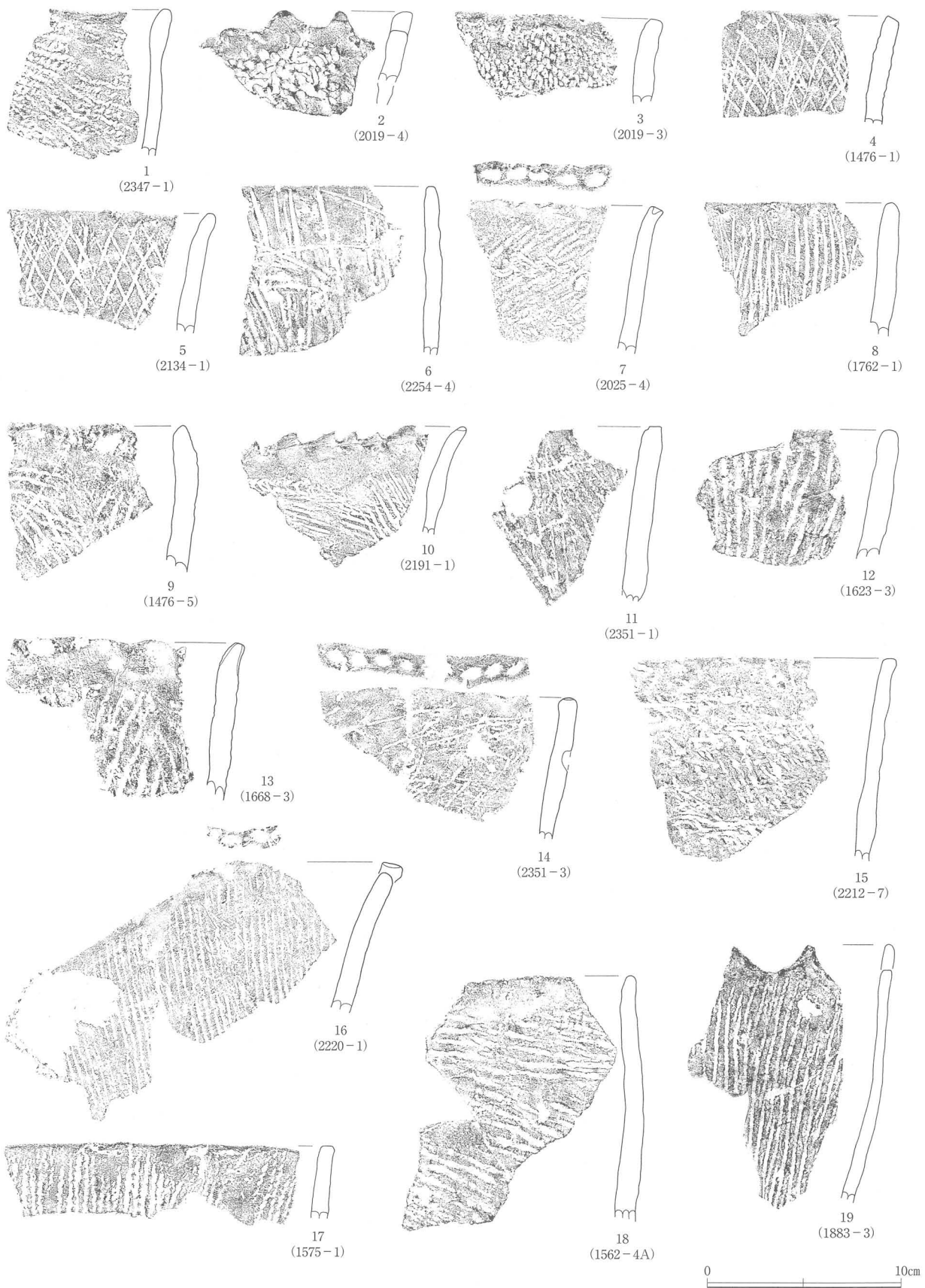
第120図 捨て場出土土器(73) (南部捨て場3c層)



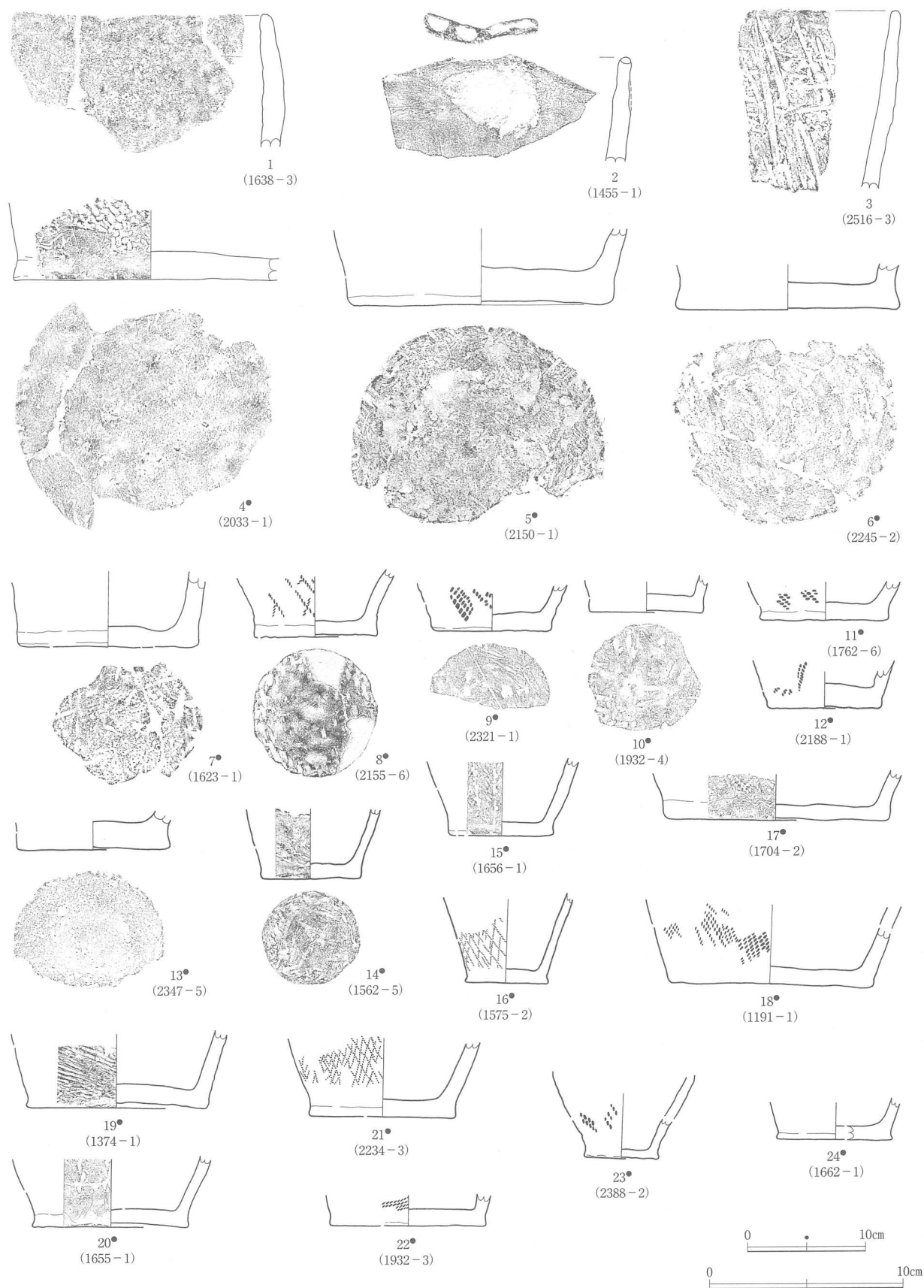
第121図 捨て場出土土器(74) (南部捨て場3c層)



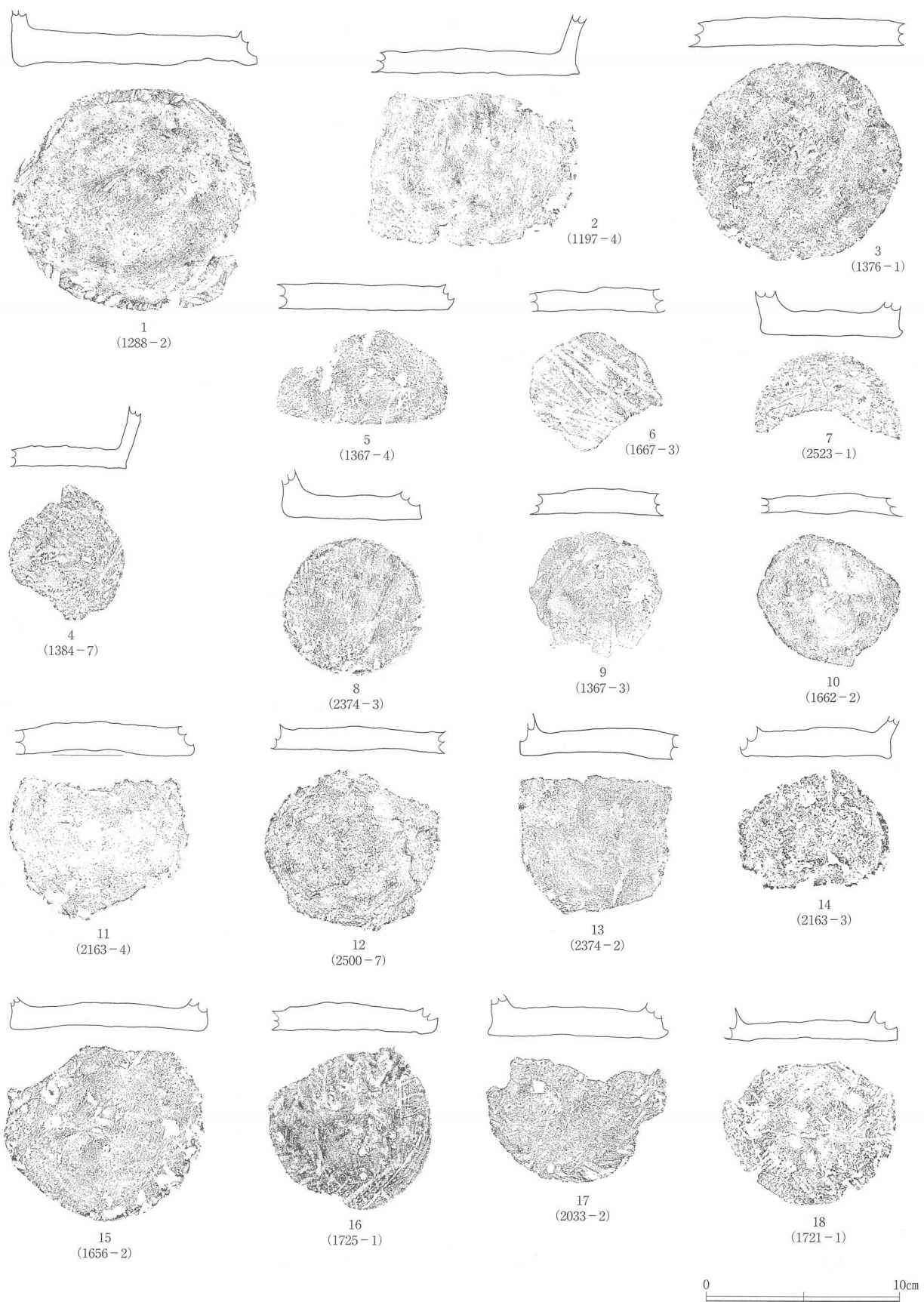
第122図 捨て場出土土器(75) (南部捨て場 3 c 層)



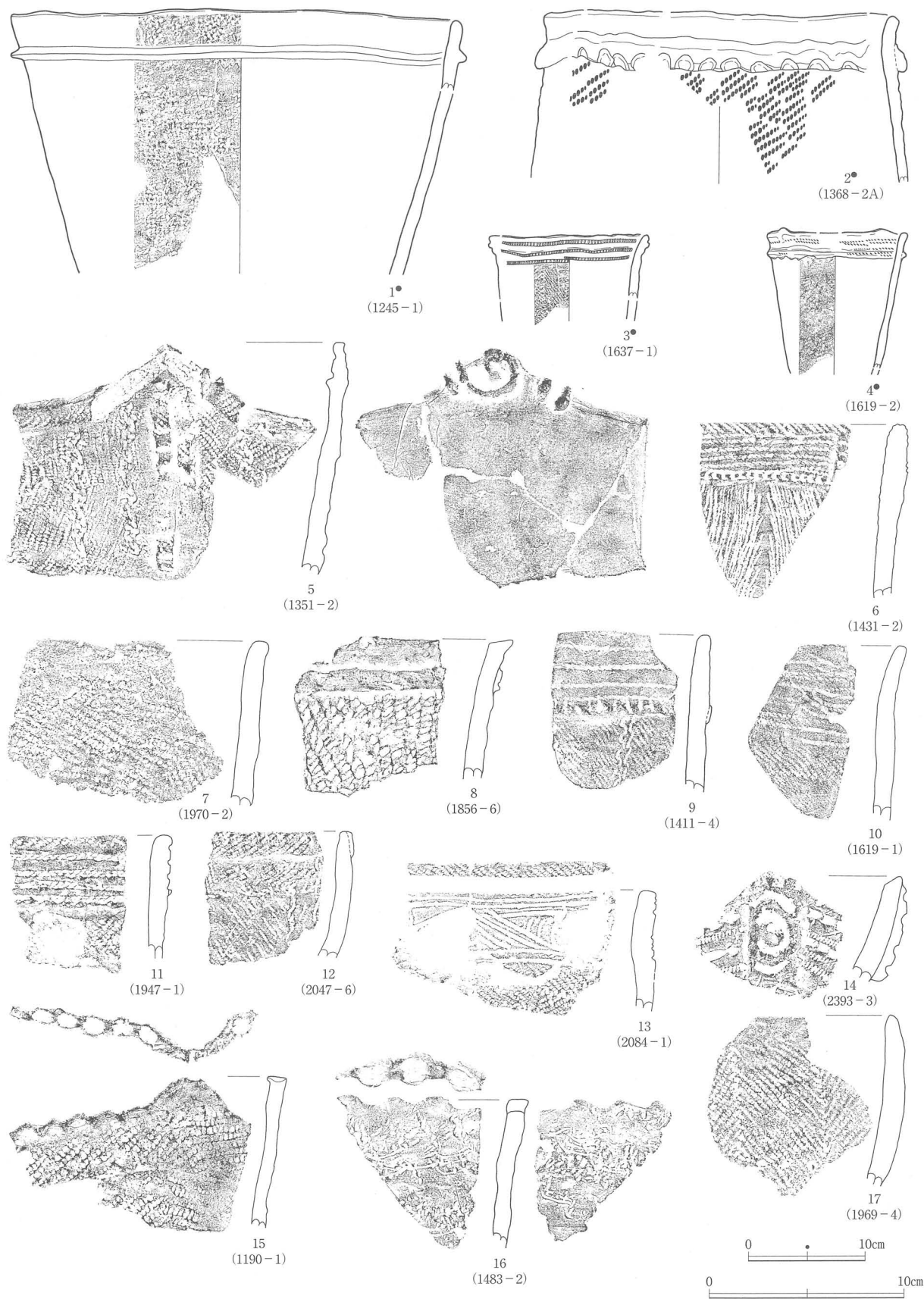
第123図 捨て場出土土器(76) (南部捨て場 3 c層)



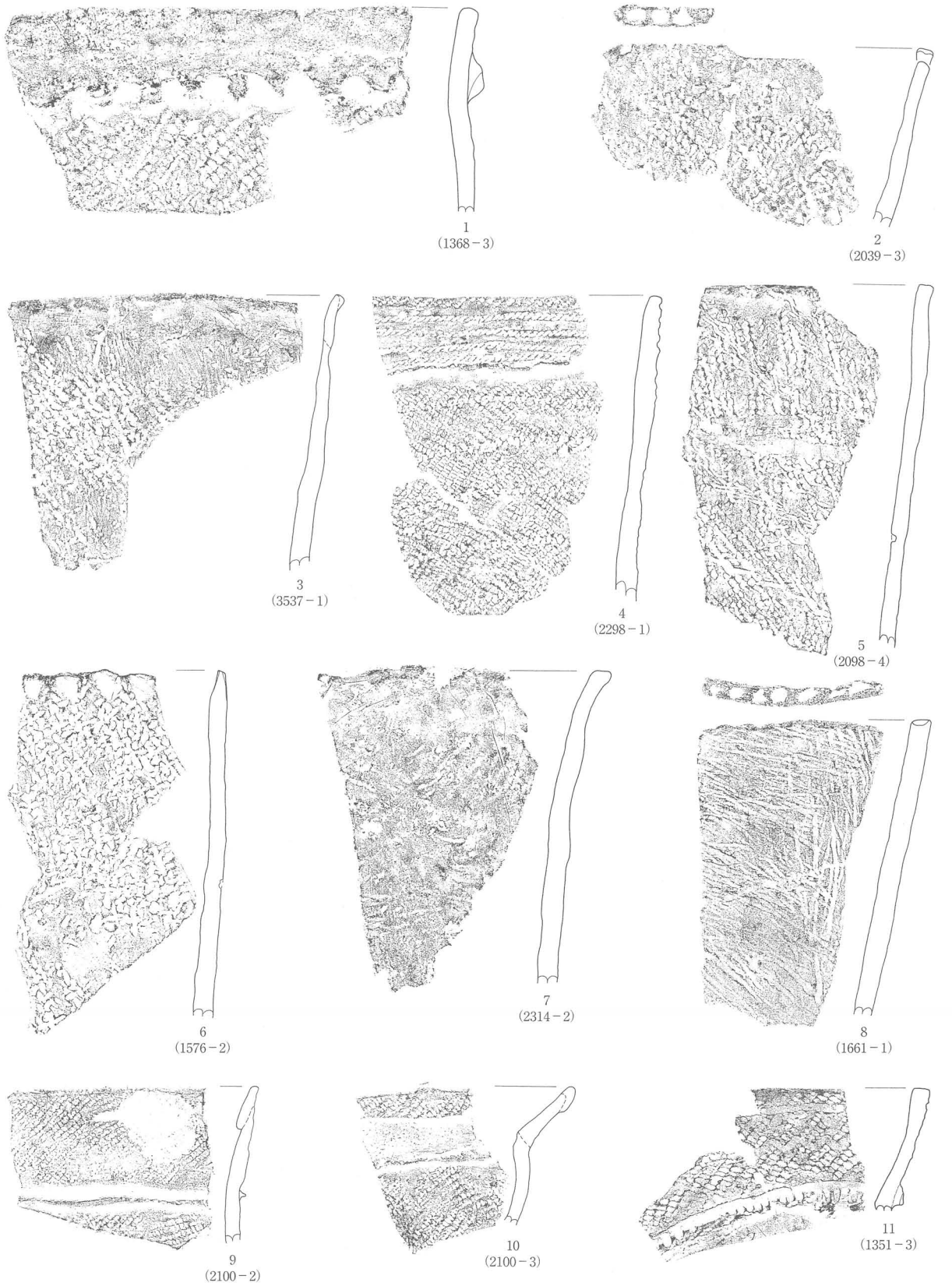
第124図 捨て場出土土器(77) (南部捨て場 3 c 層)



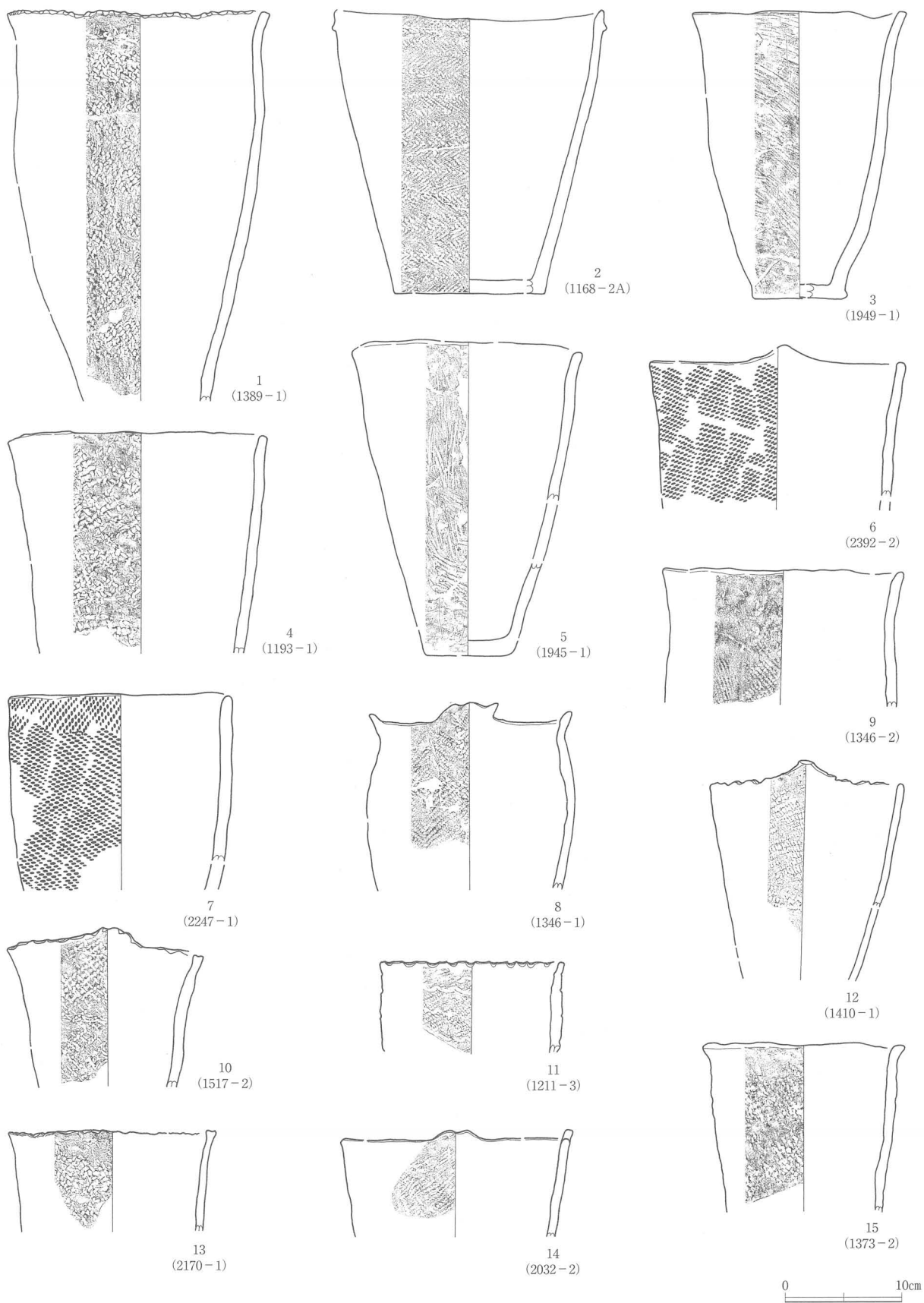
第125図 捨て場出土土器(78) (南部捨て場3c層)



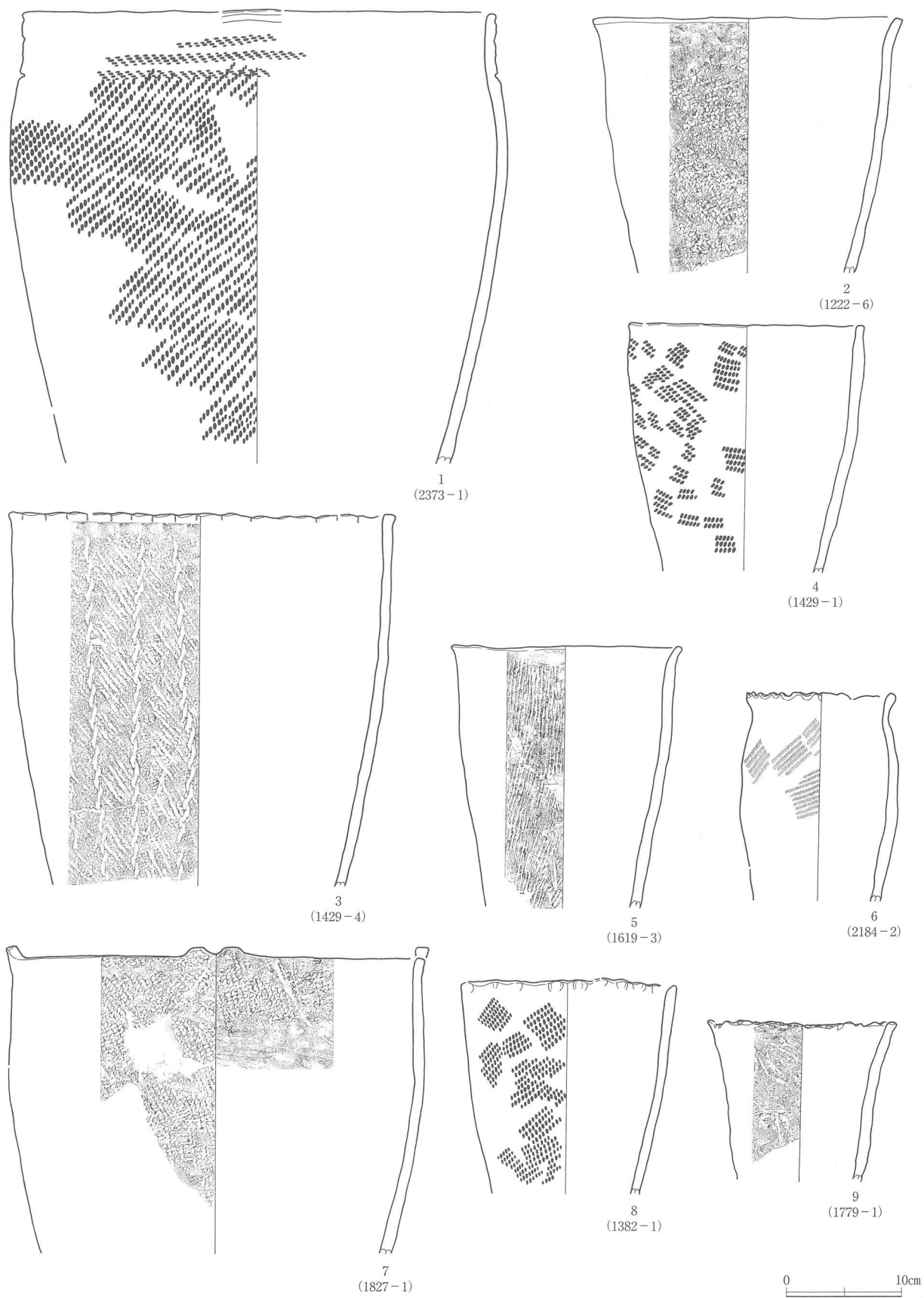
第126図 捨て場出土土器(79) (南部捨て場 3 d 層)



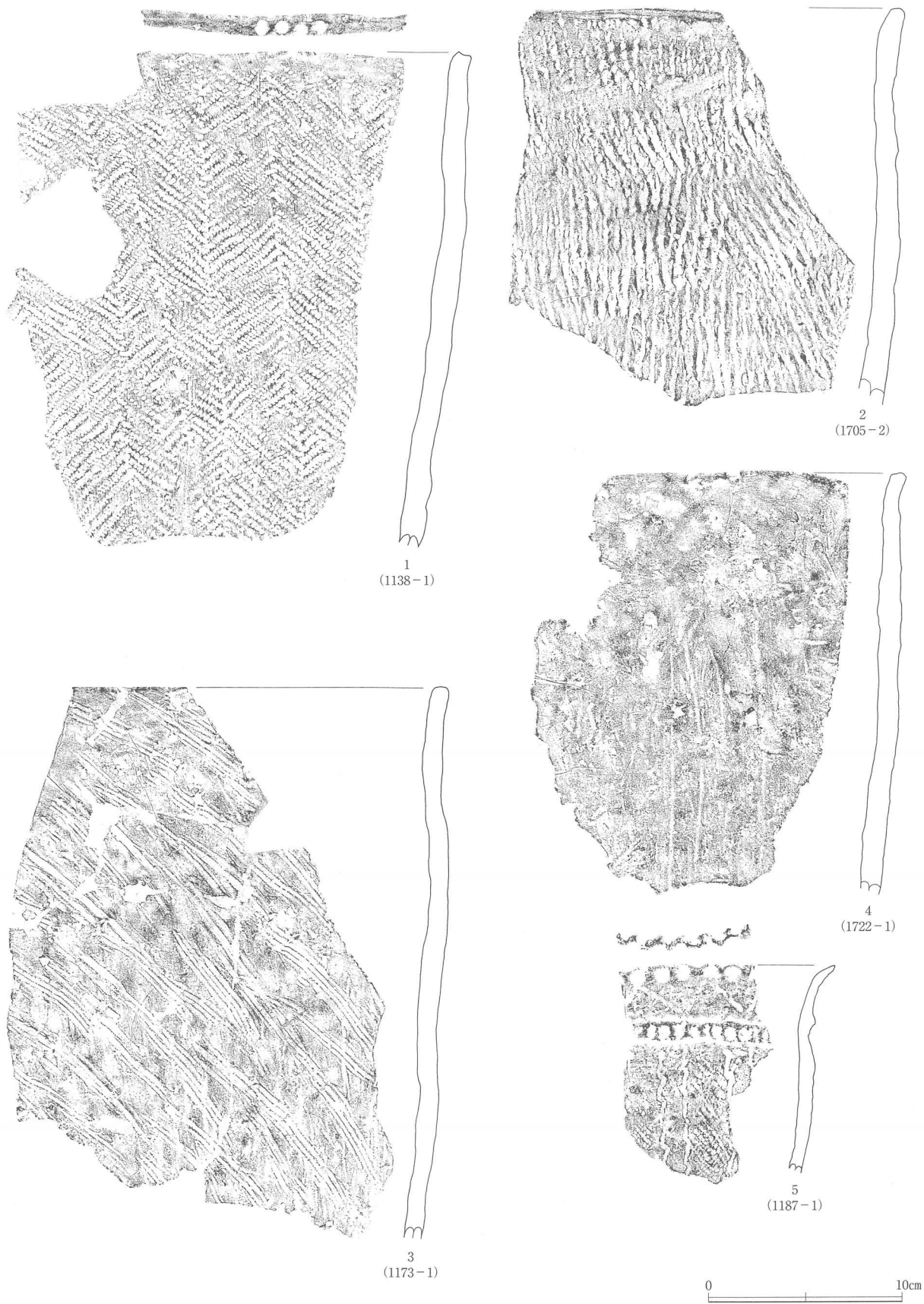
第127図 捨て場出土土器(80) (南部捨て場 3 d 層)



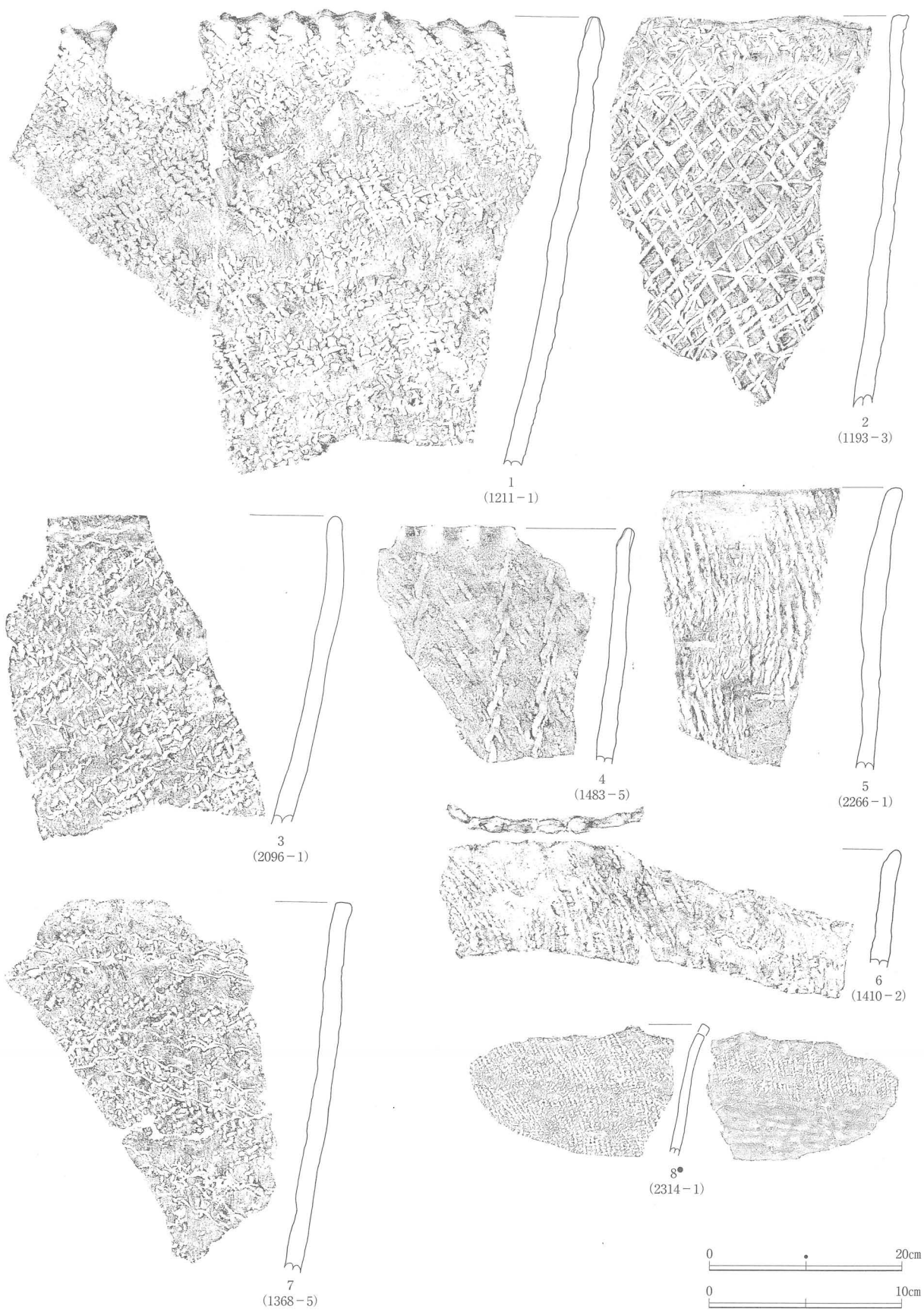
第128図 捨て場出土土器(8) (南部捨て場 3 d層)



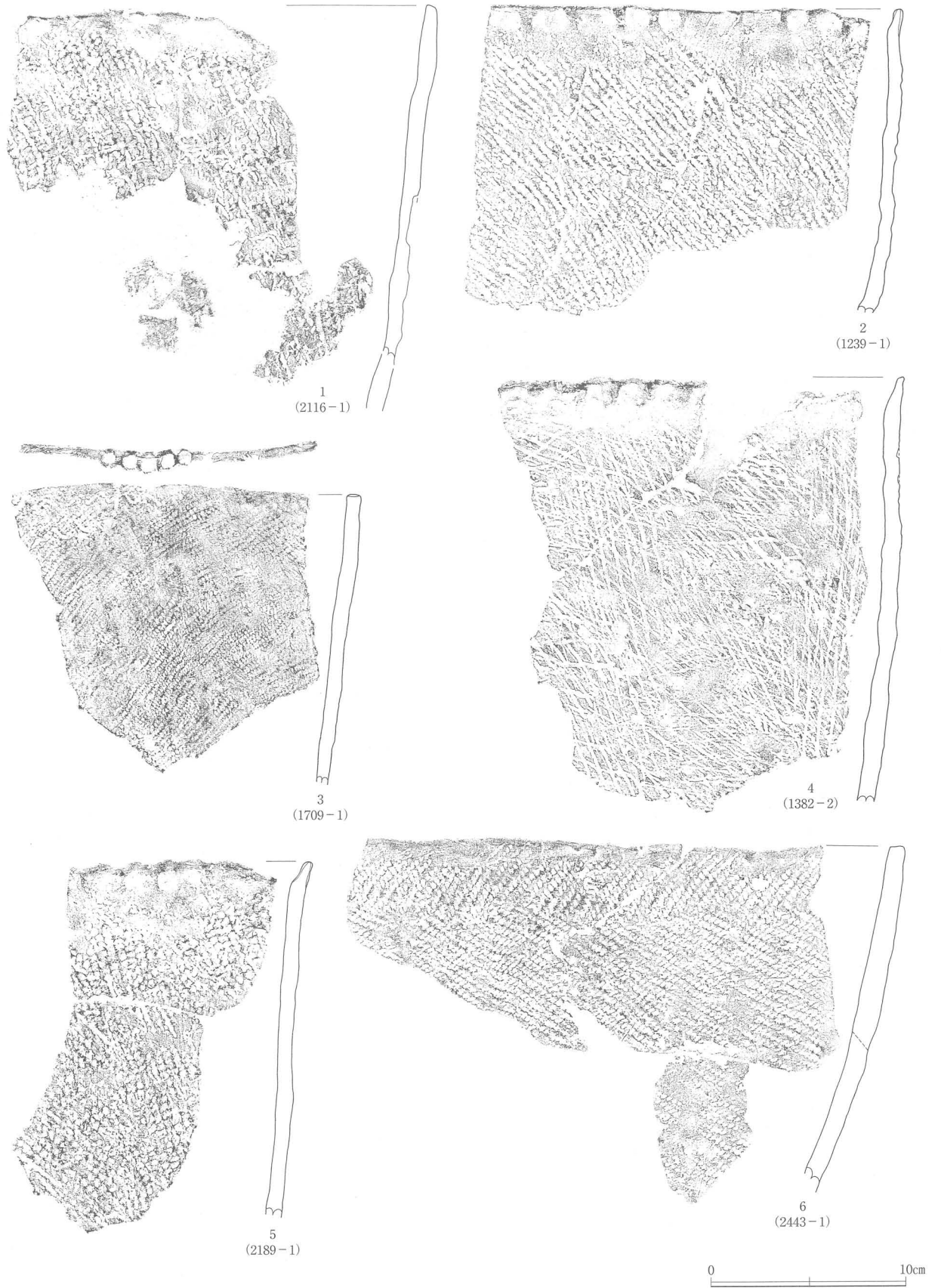
第129図 捨て場出土土器(82) (南部捨て場 3 d 層)



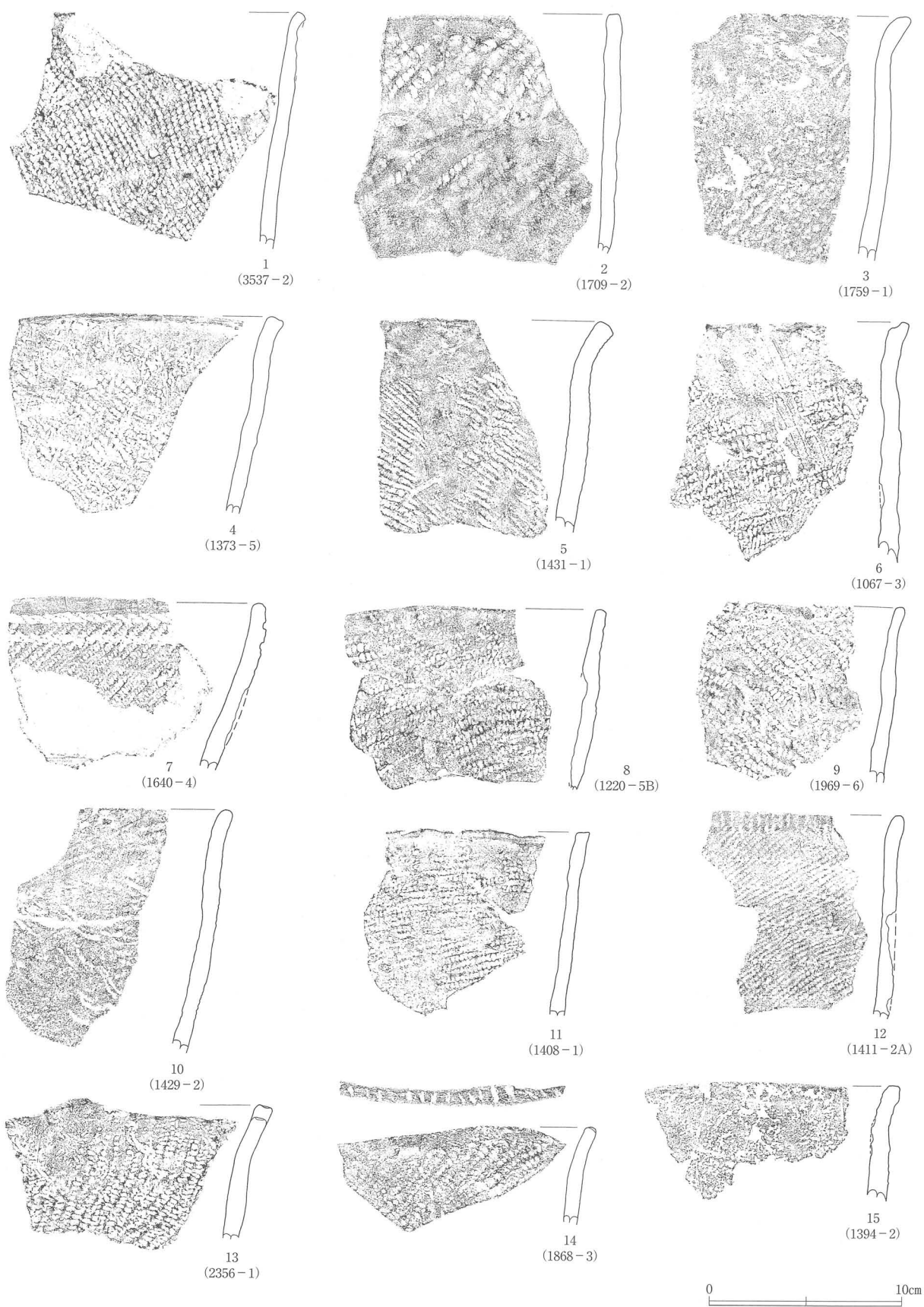
第130図 捨て場出土土器(83) (南部捨て場3 d層)



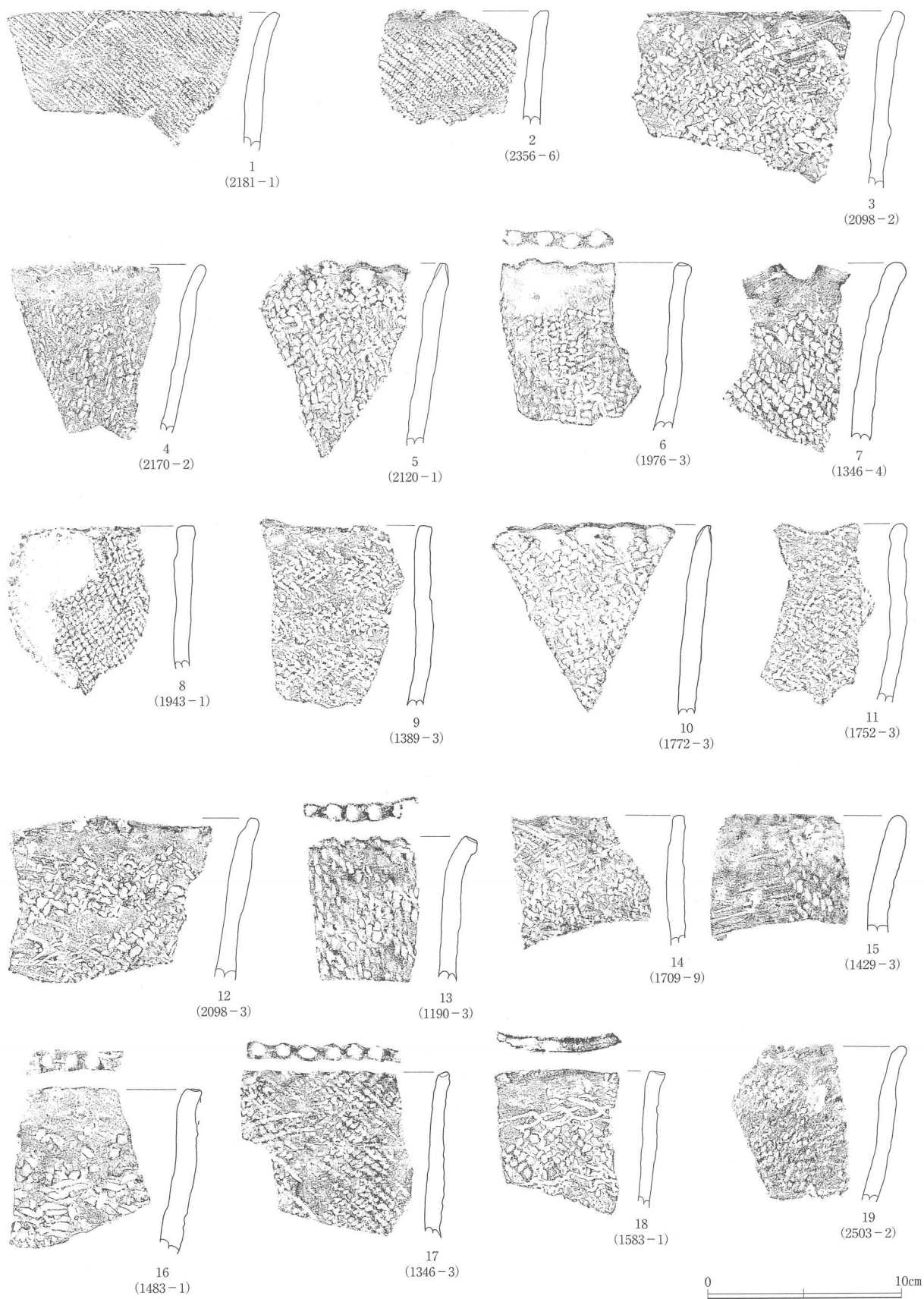
第131図 捨て場出土土器(84) (南部捨て場3 d層)



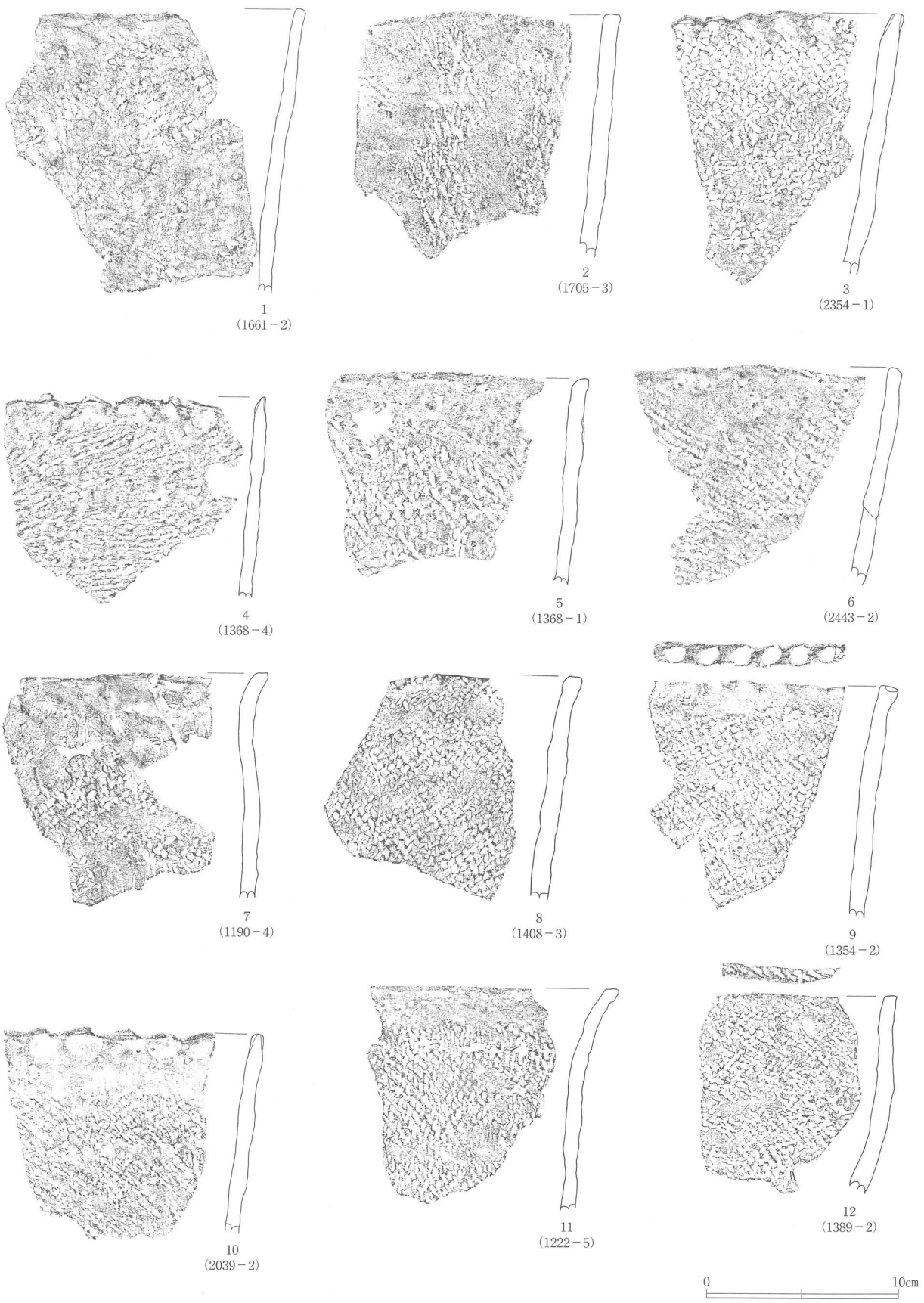
第132図 捨て場出土土器(85) (南部捨て場 3 d 層)



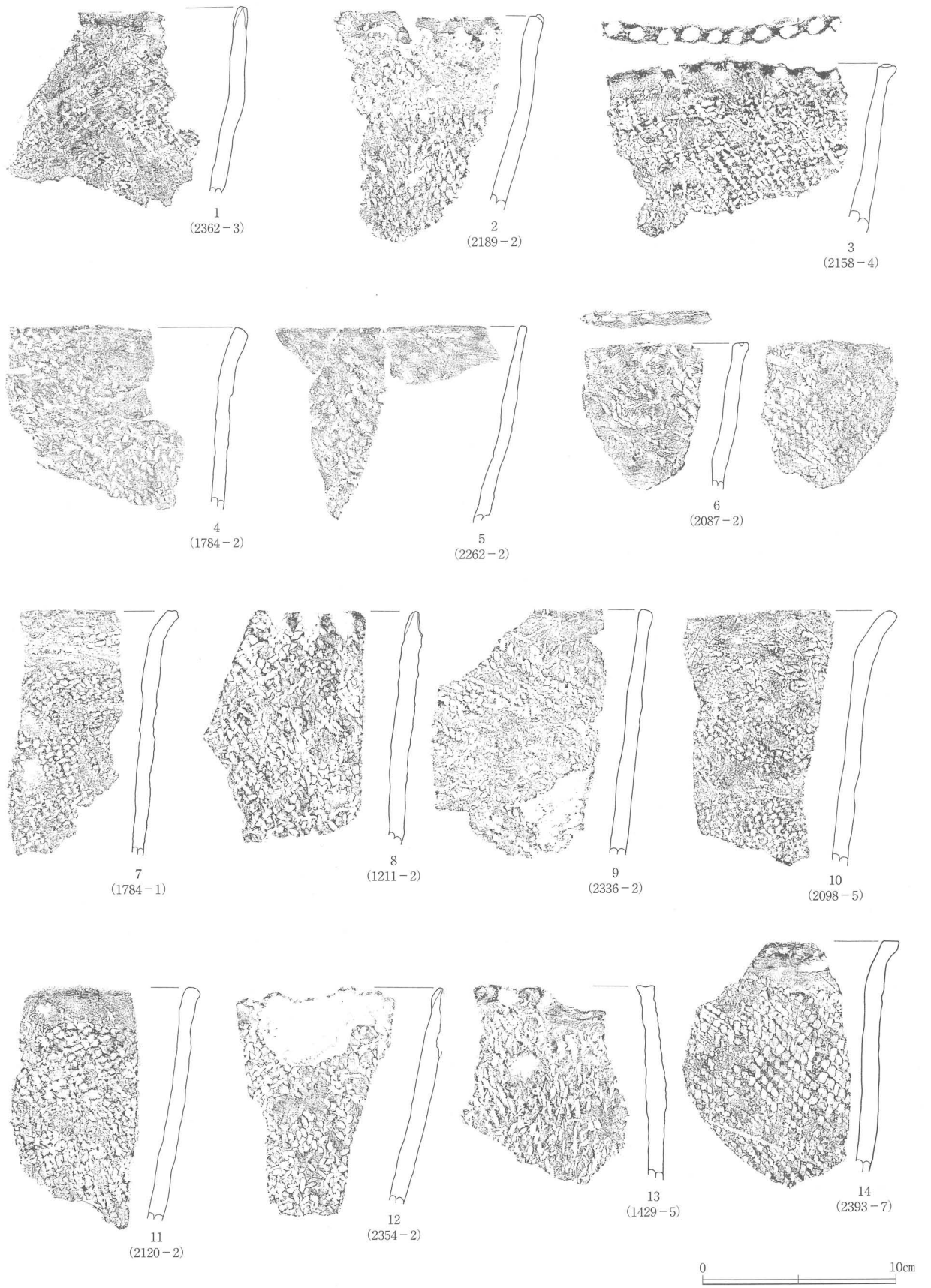
第133図 捨て場出土土器(86) (南部捨て場 3 d層)



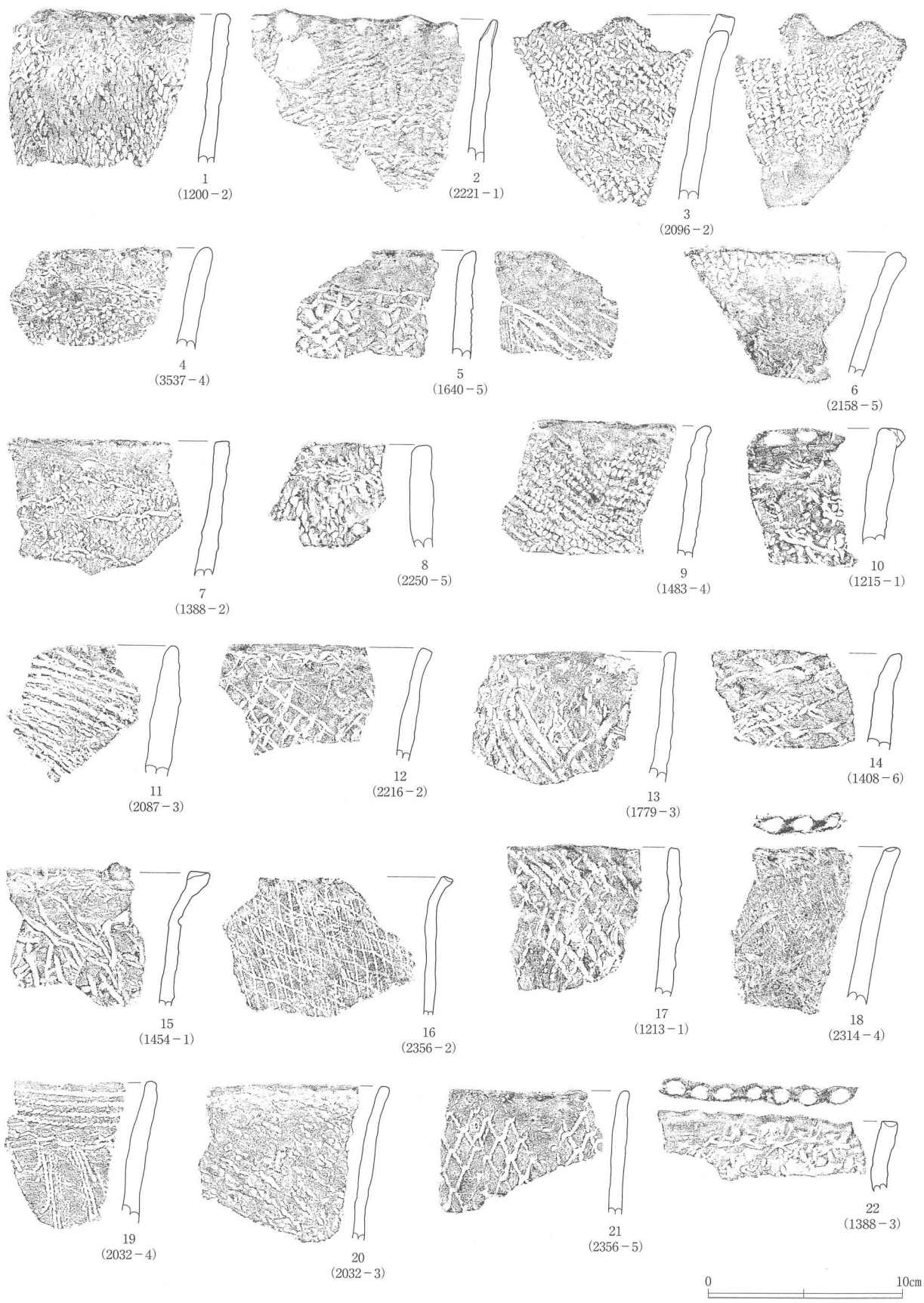
第134図 捨て場出土土器(87) (南部捨て場3d層)



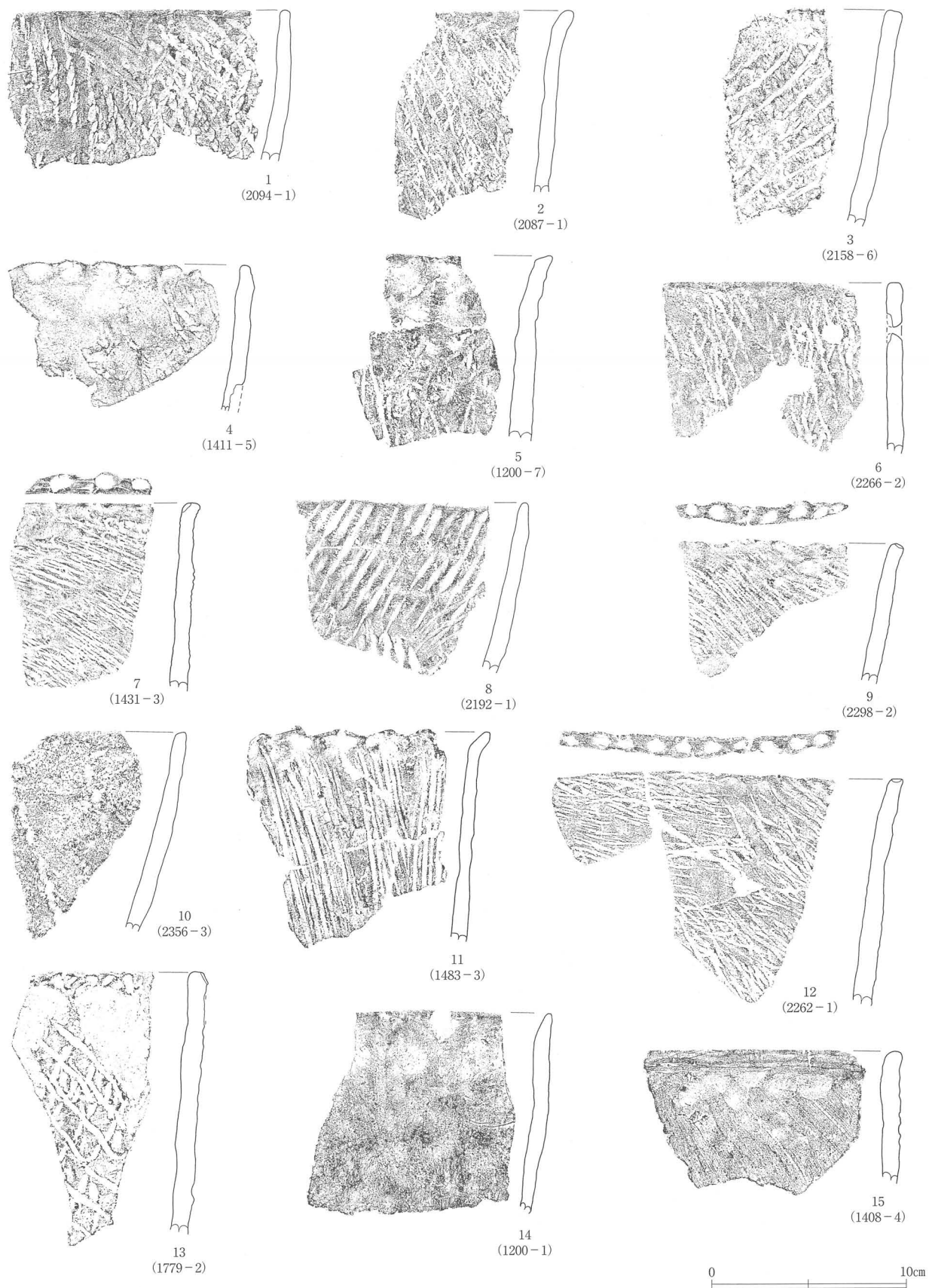
第135図 捨て場出土土器⁽⁸⁸⁾ (南部捨て場 3 d層)



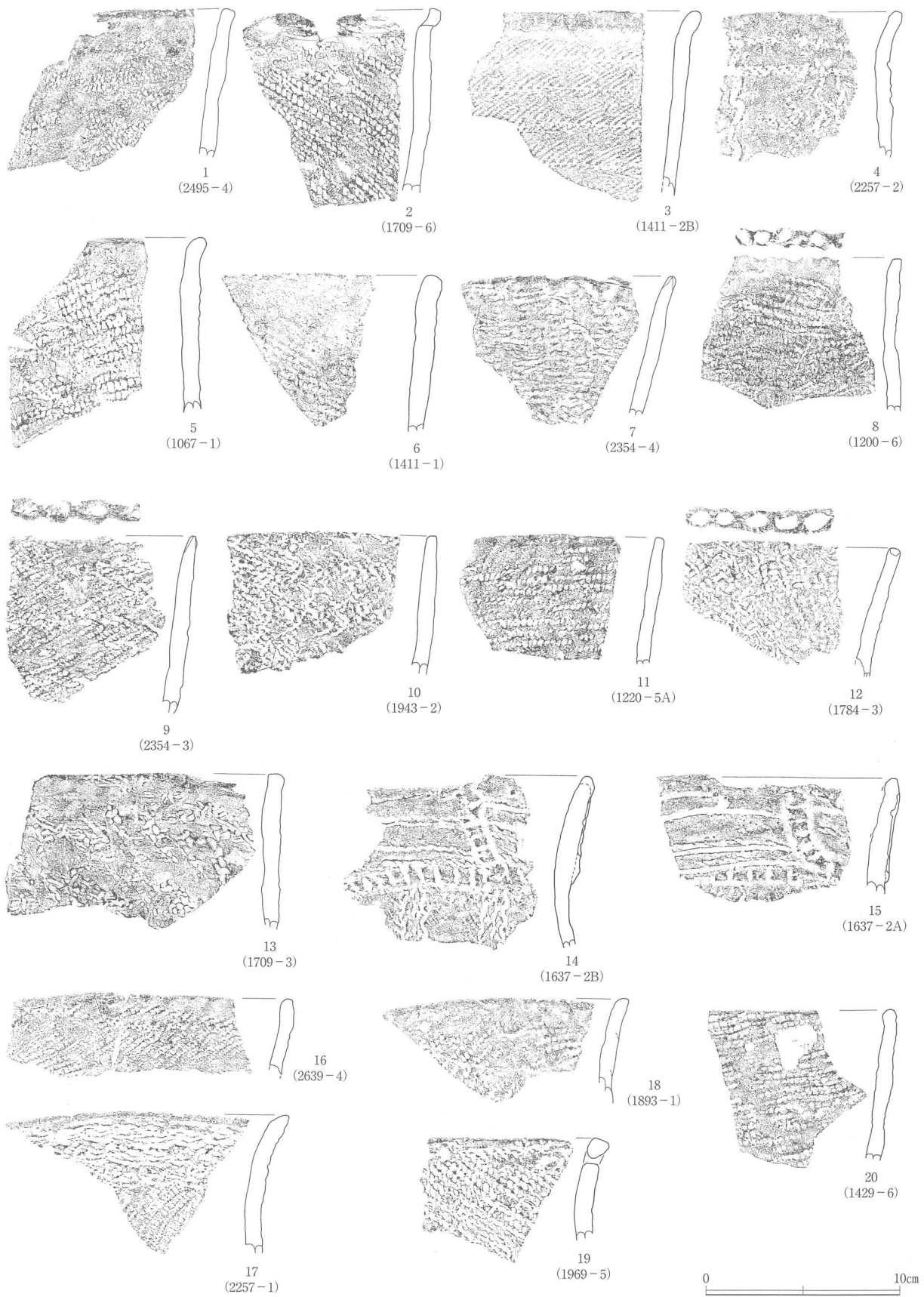
第136図 捨て場出土土器(89) (南部捨て場 3 d 層)



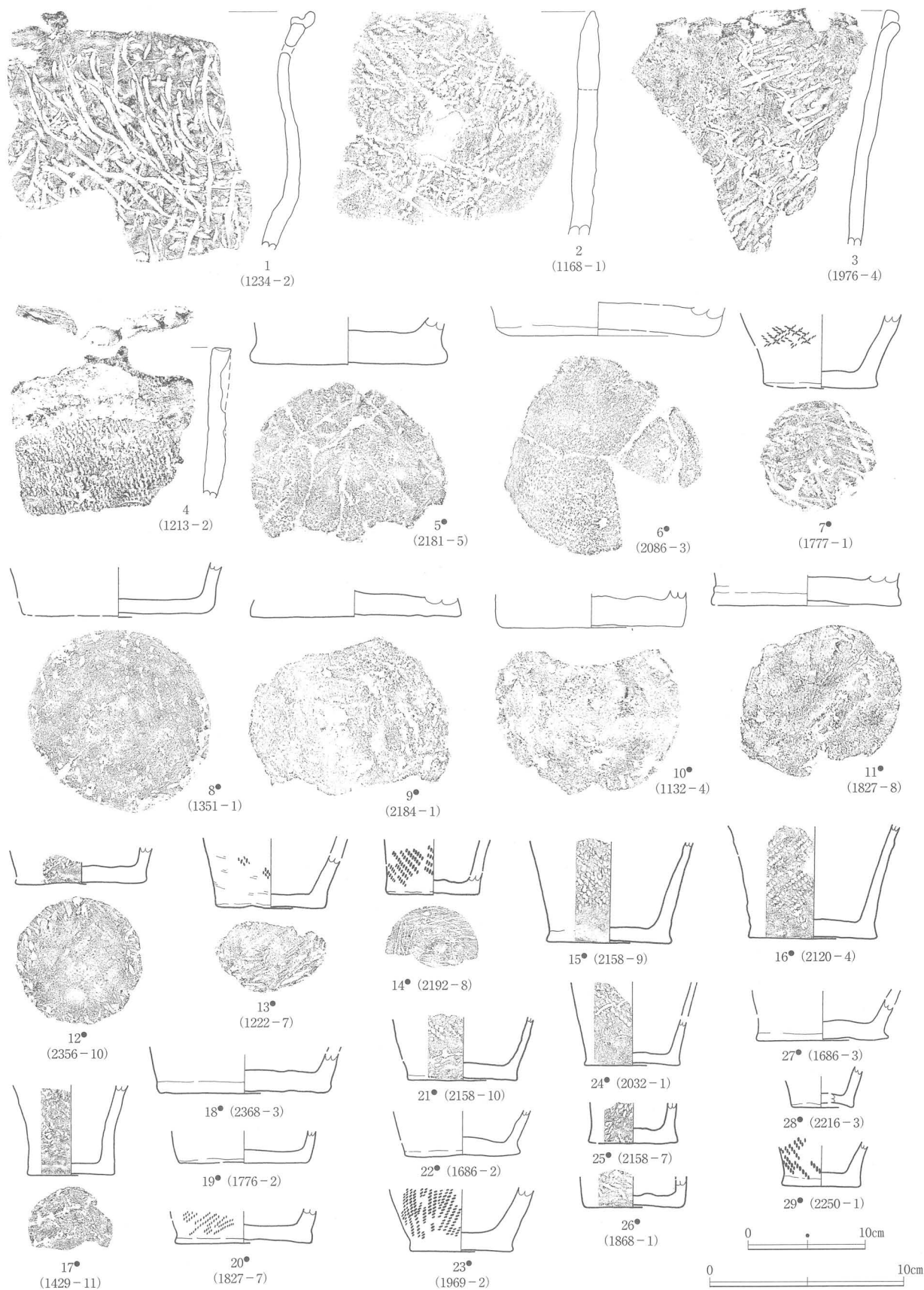
第137図 捨て場出土土器(90) (南部捨て場3d層)



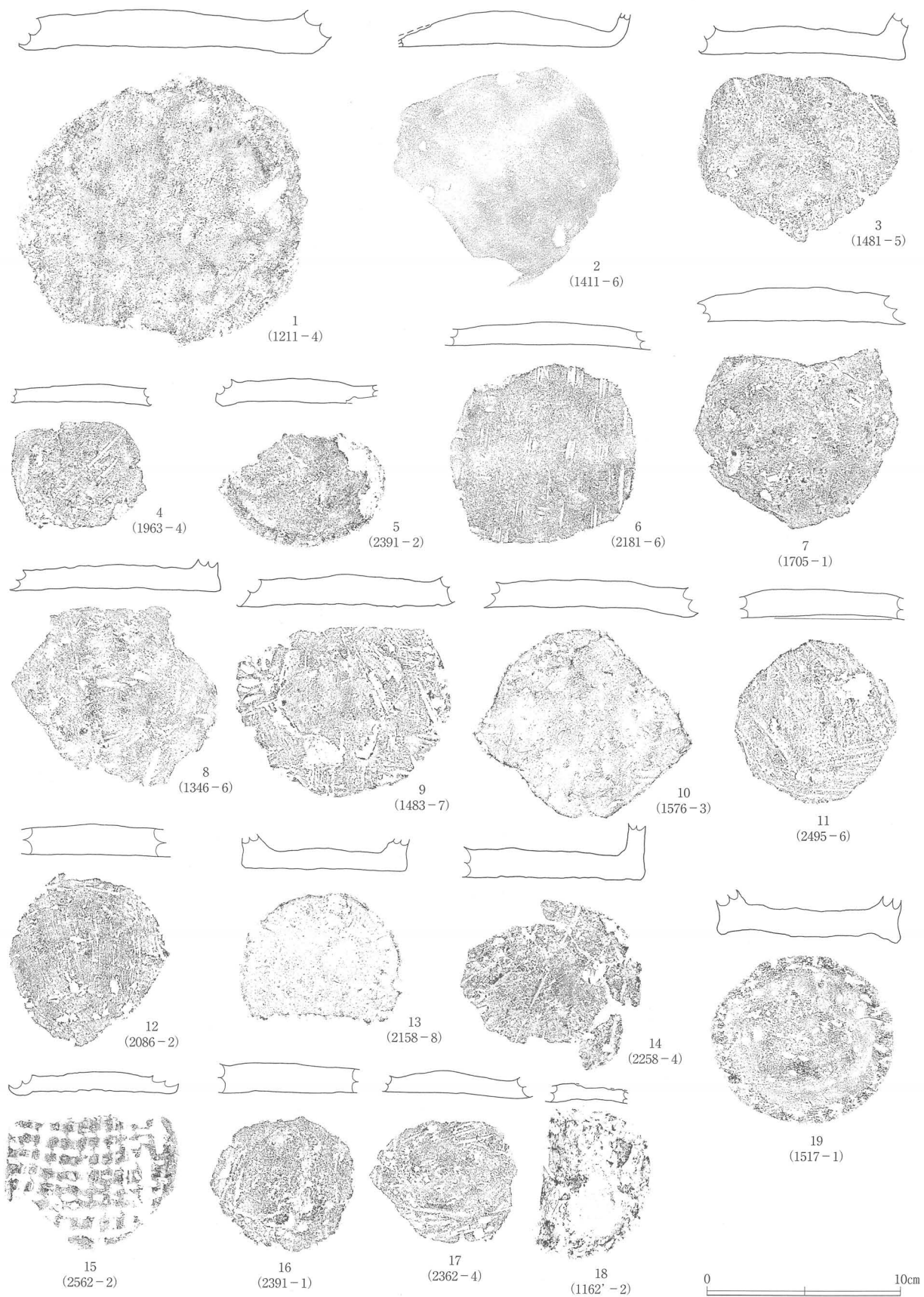
第138図 捨て場出土土器(9) (南部捨て場 3 d層)



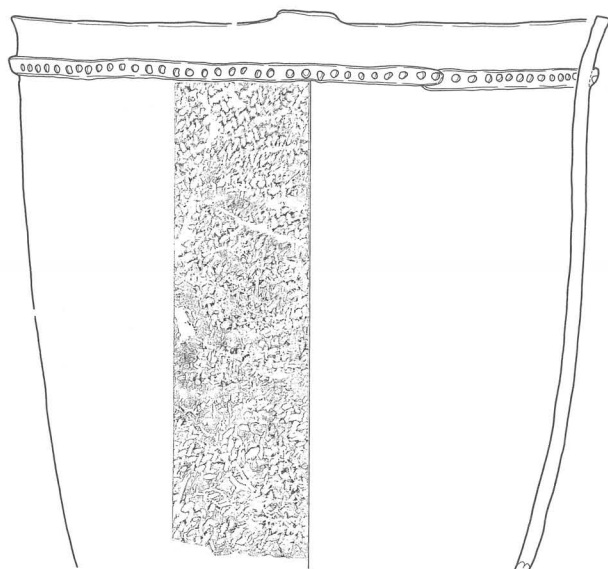
第139図 捨て場出土土器(92) (南部捨て場3d層)



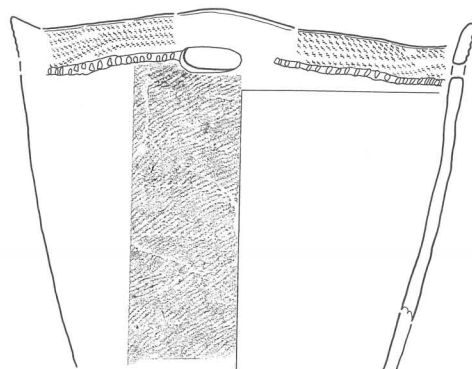
第140図 捨て場出土土器(93) (南部捨て場 3 d 層)



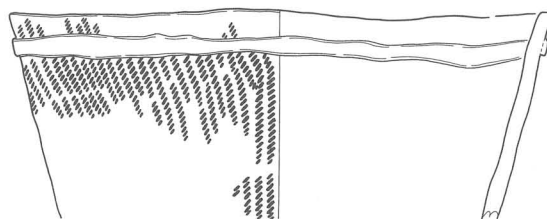
第141図 捨て場出土土器(94) (南部捨て場 3 d 層)



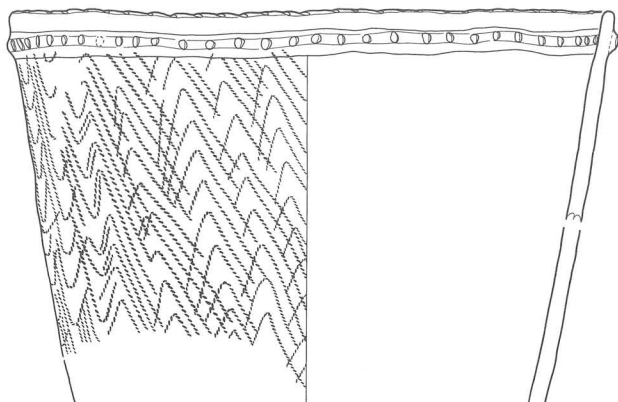
1
(2093-1)



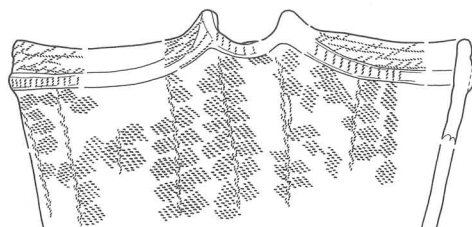
2
(1557-1)



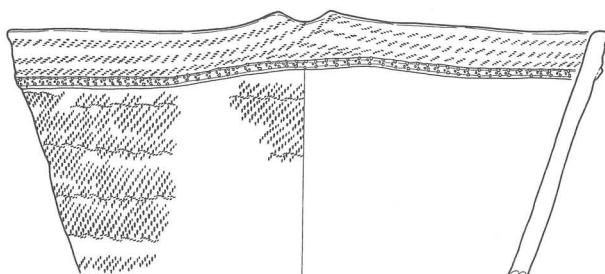
4
(1752-1A)



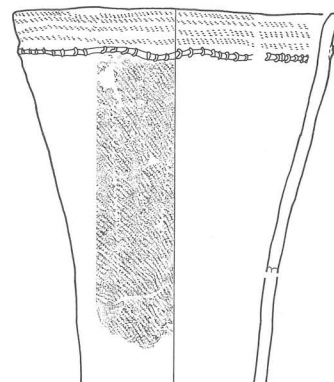
3
(811-1)



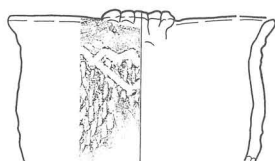
5
(871-1)



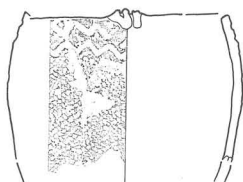
6
(839-1)



9
(1816-3)



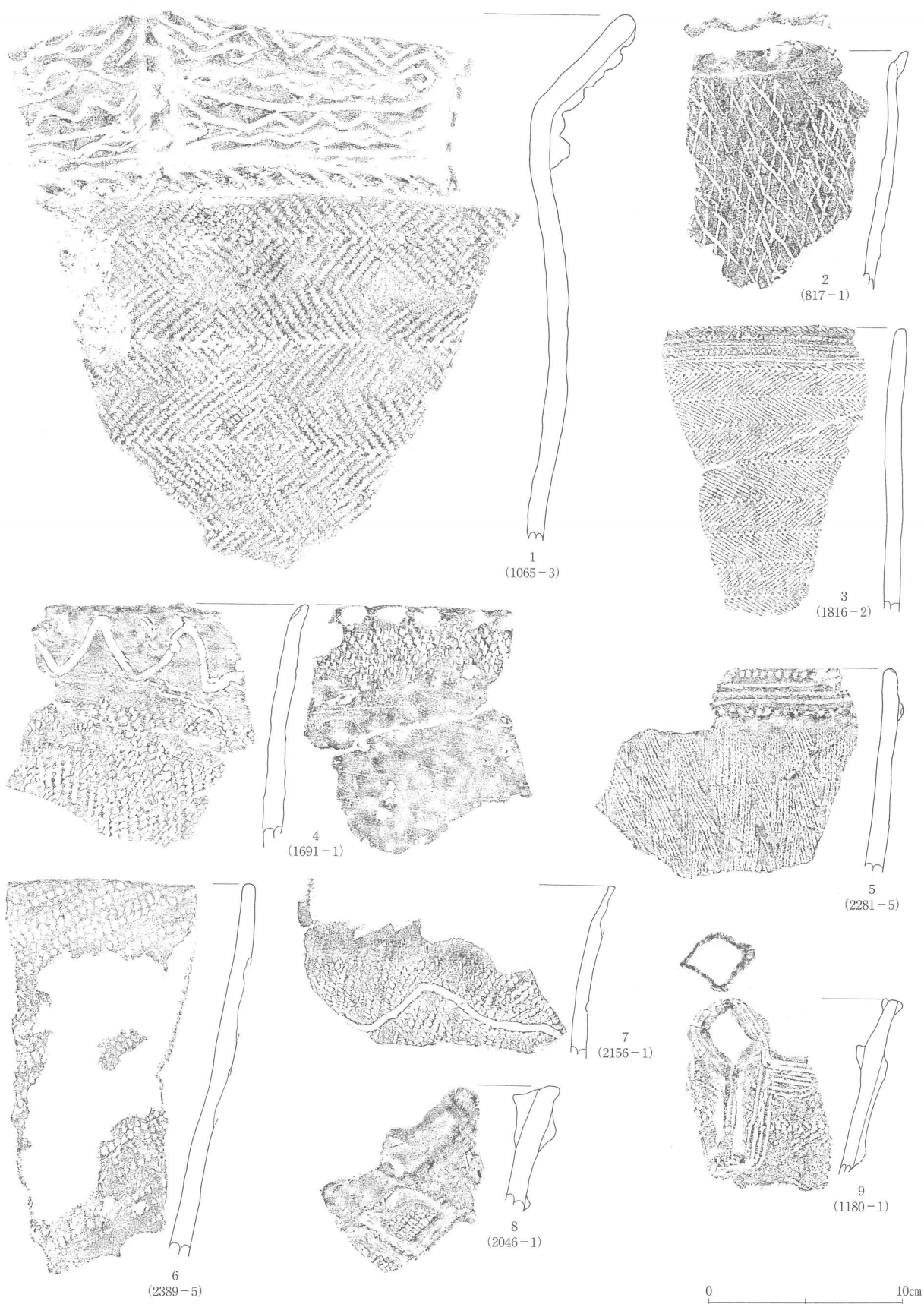
7
(2414-1)



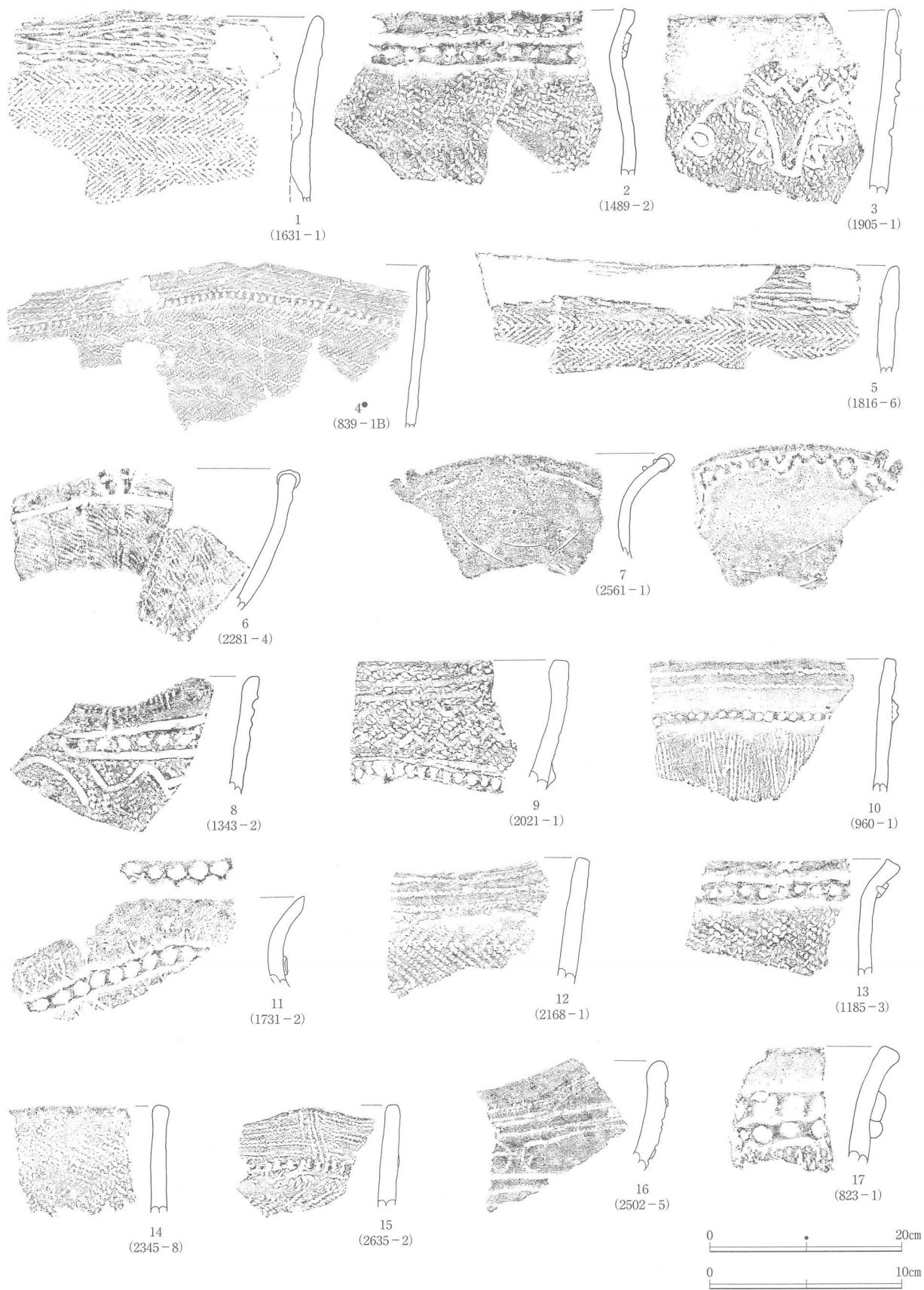
8
(1518-1)



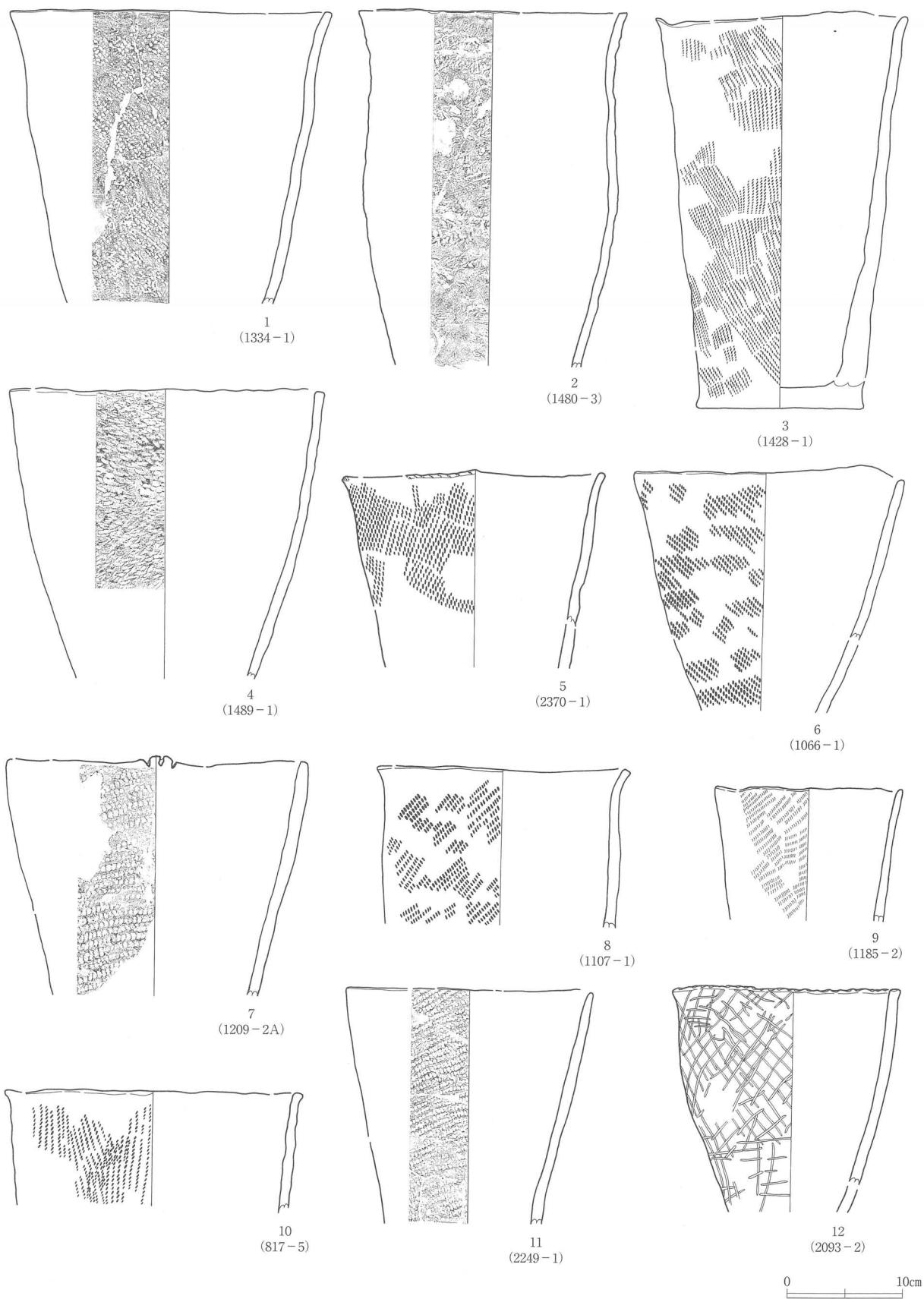
第142図 捨て場出土土器(95) (南部捨て場3e層)



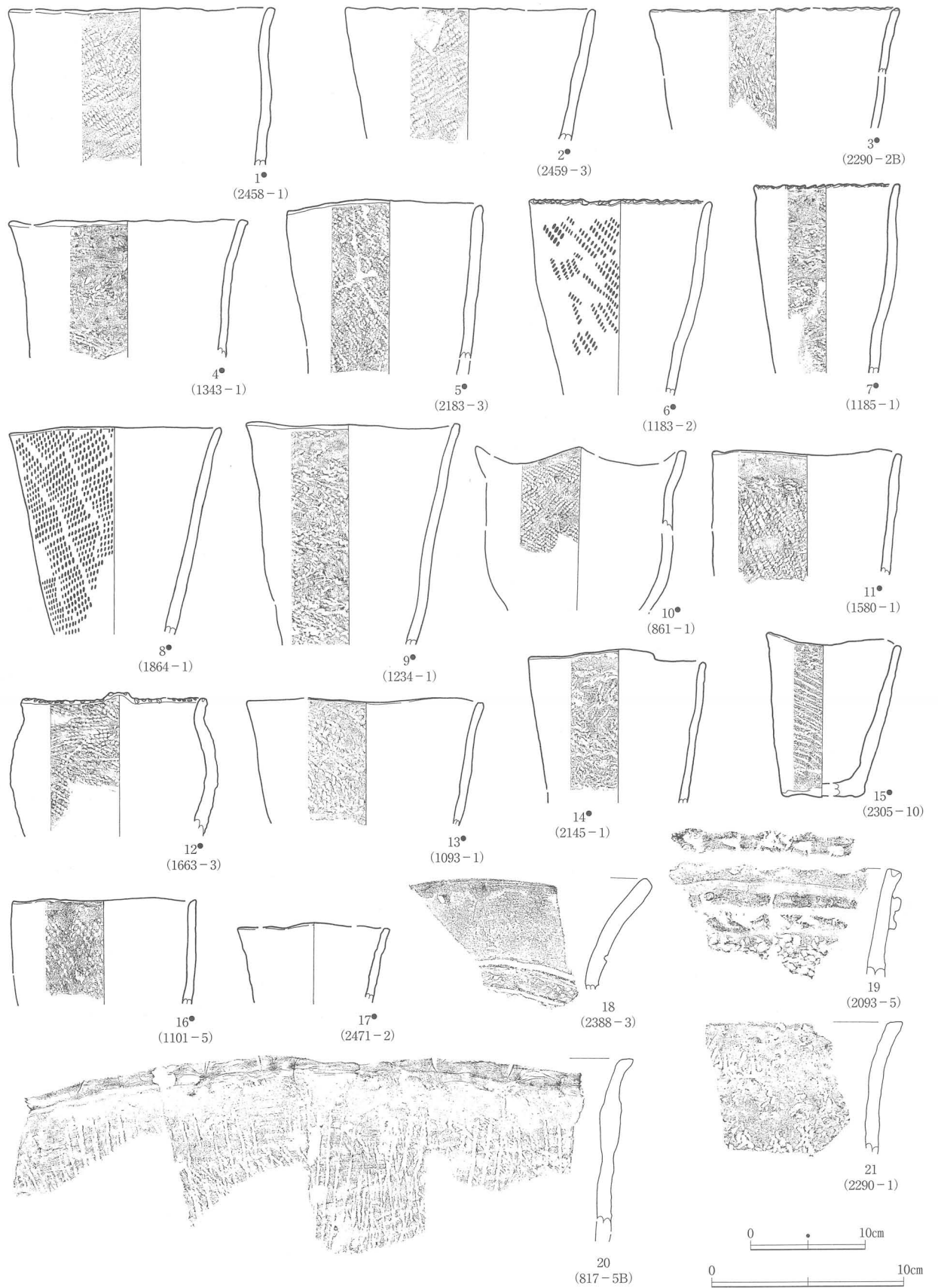
第143図 捨て場出土土器(96) (南部捨て場 3 e 層)



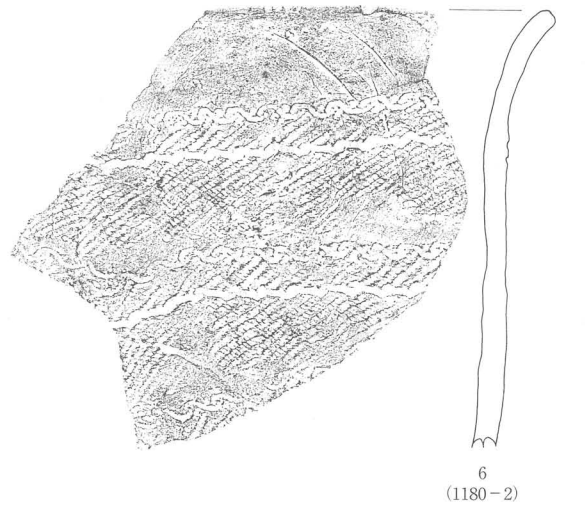
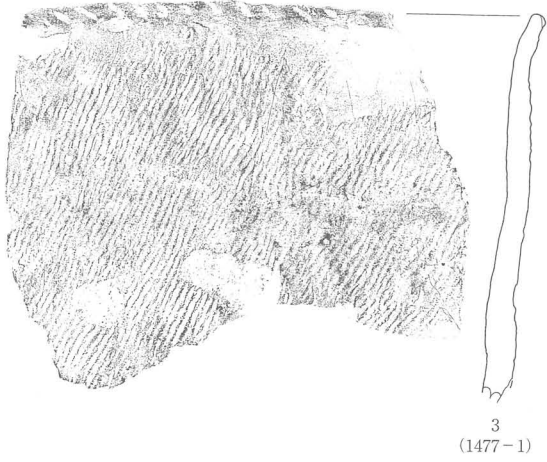
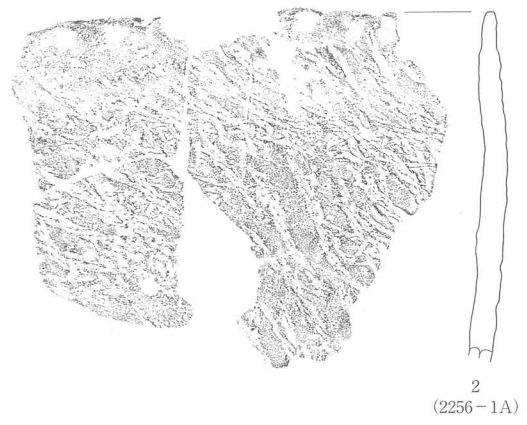
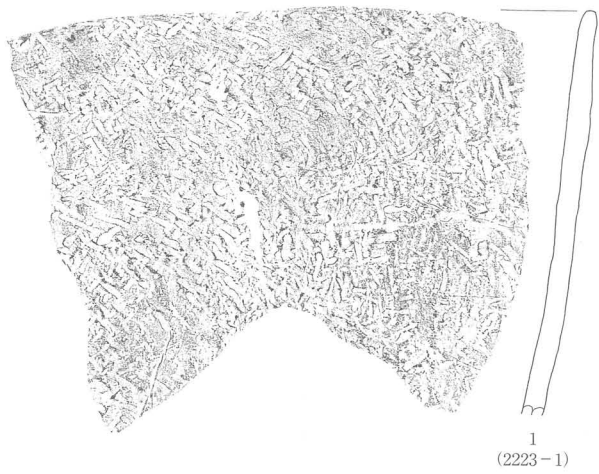
第144図 捨て場出土土器(97) (南部捨て場3 e層)



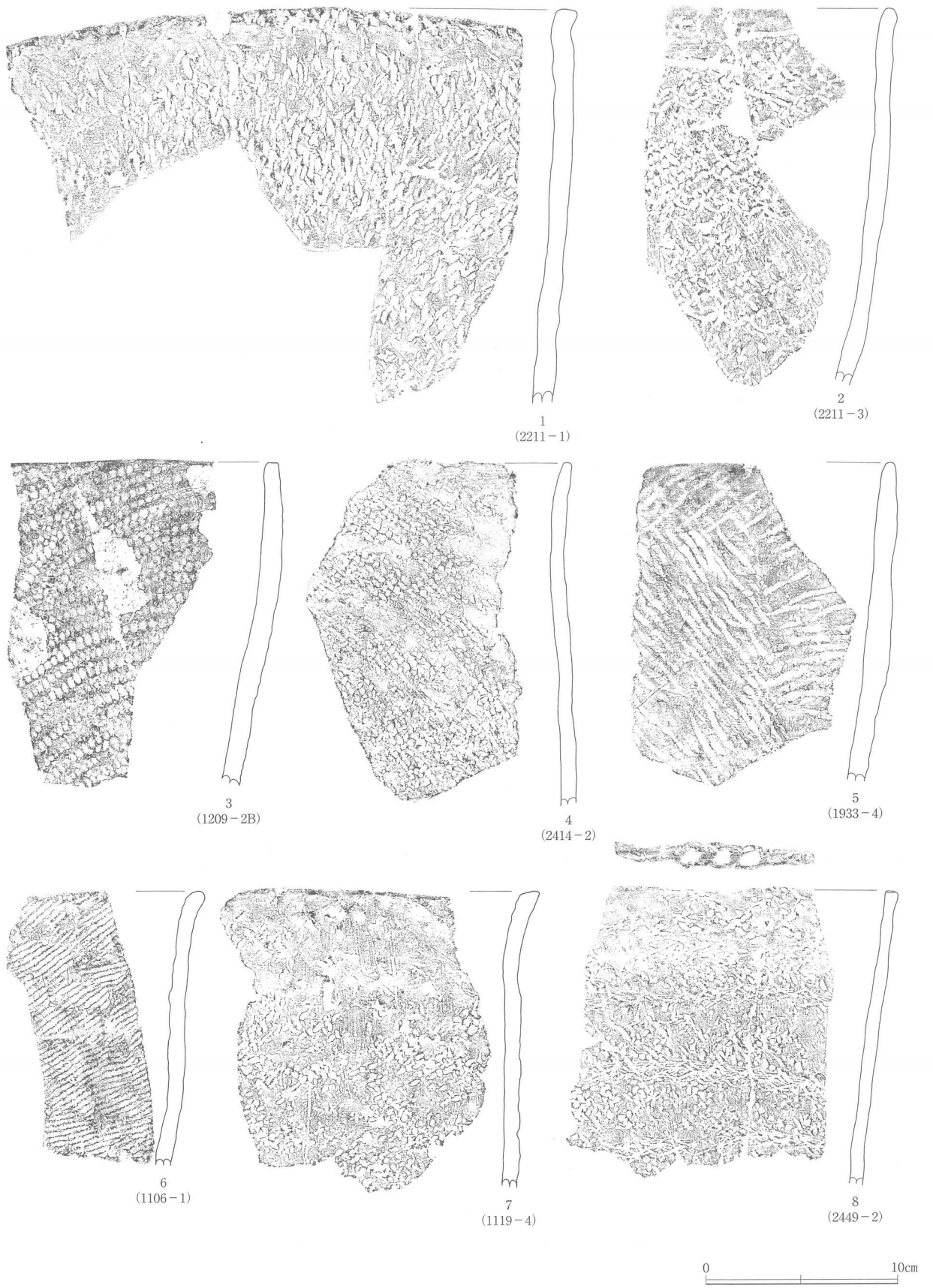
第145図 捨て場出土土器⁽⁹⁸⁾ (南部捨て場3e層)



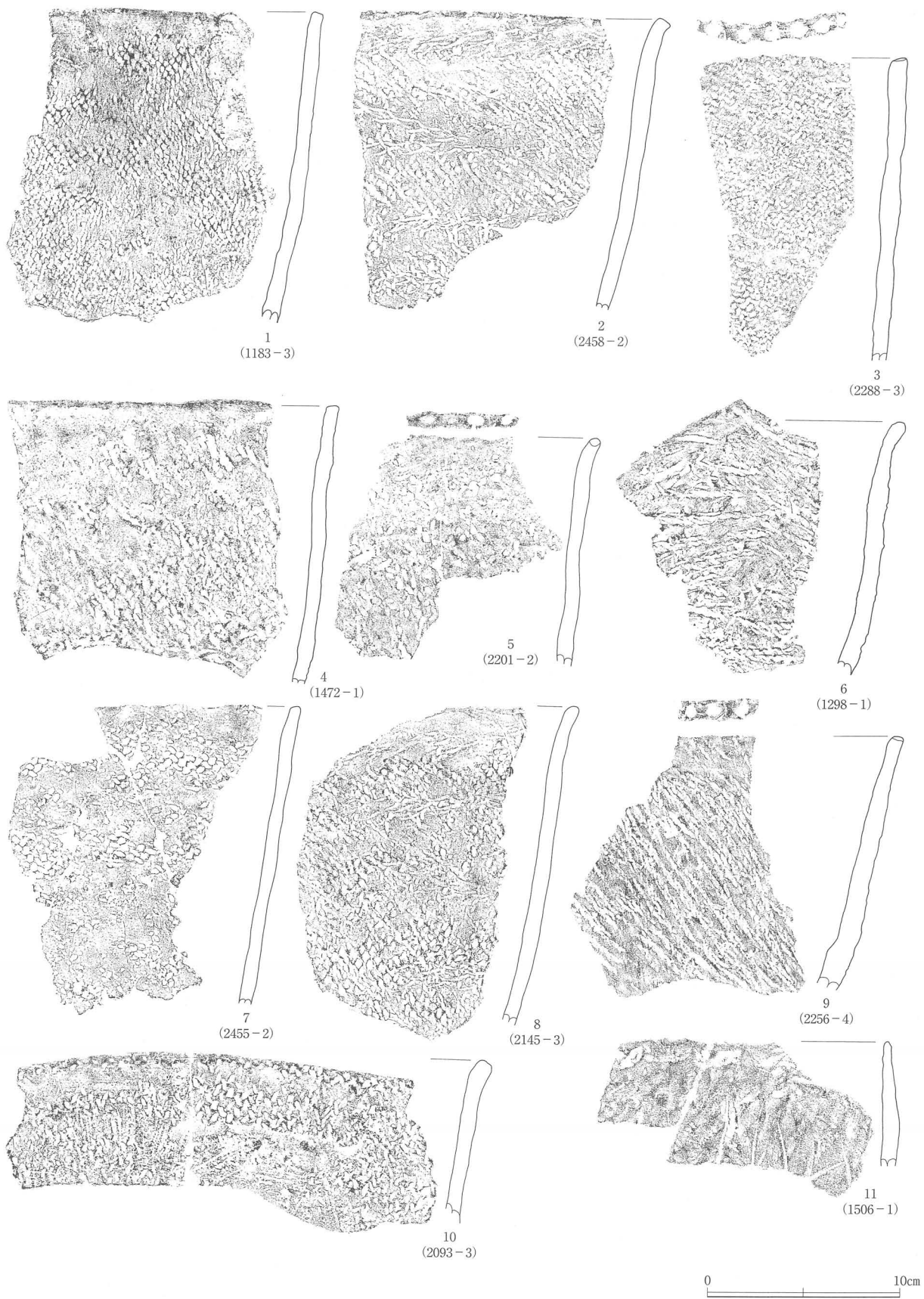
第146図 捨て場出土土器(99) (南部捨て場3e層)



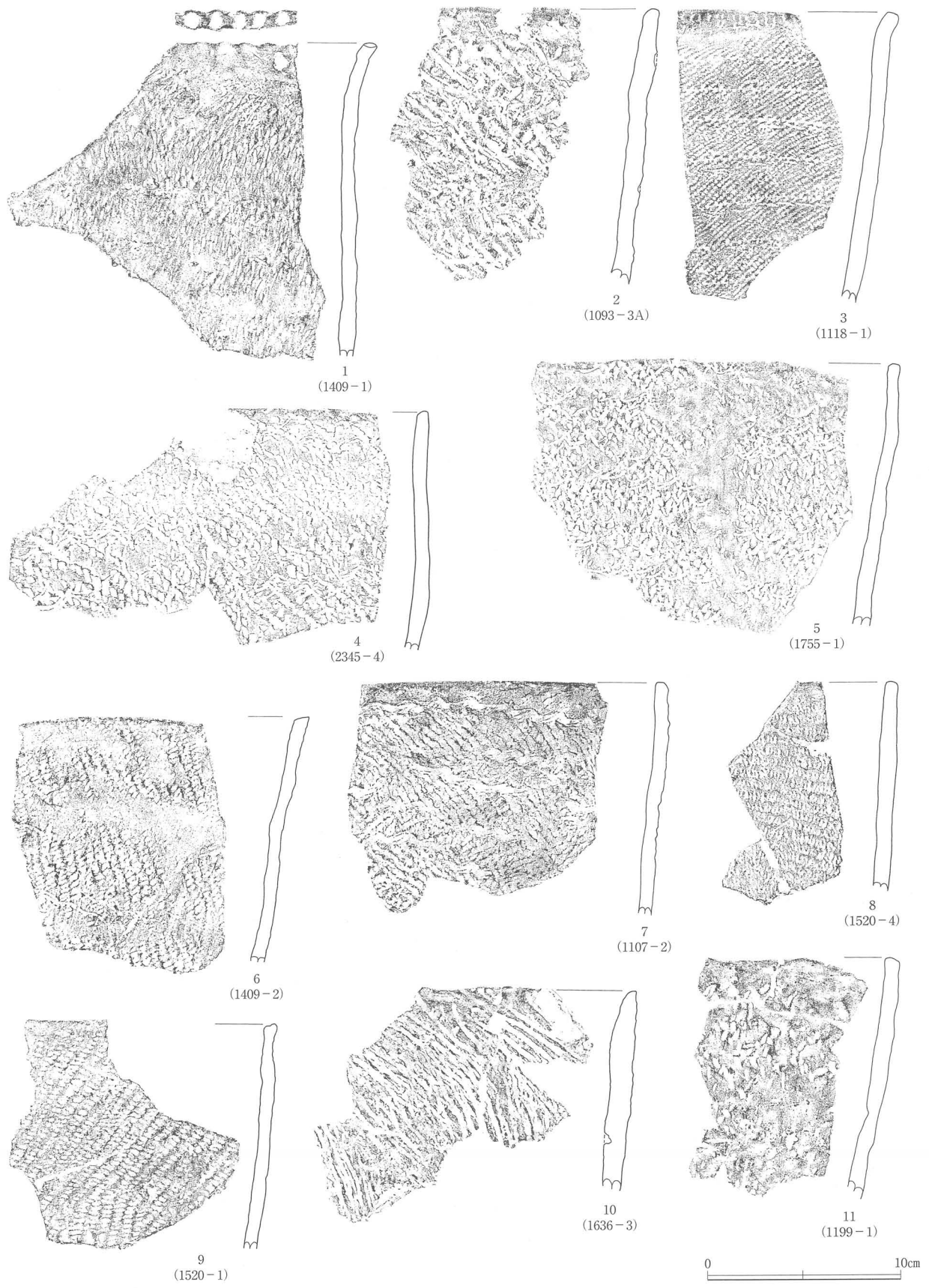
第147図 捨て場出土土器⁽¹⁰⁰⁾ (南部捨て場3 e層)



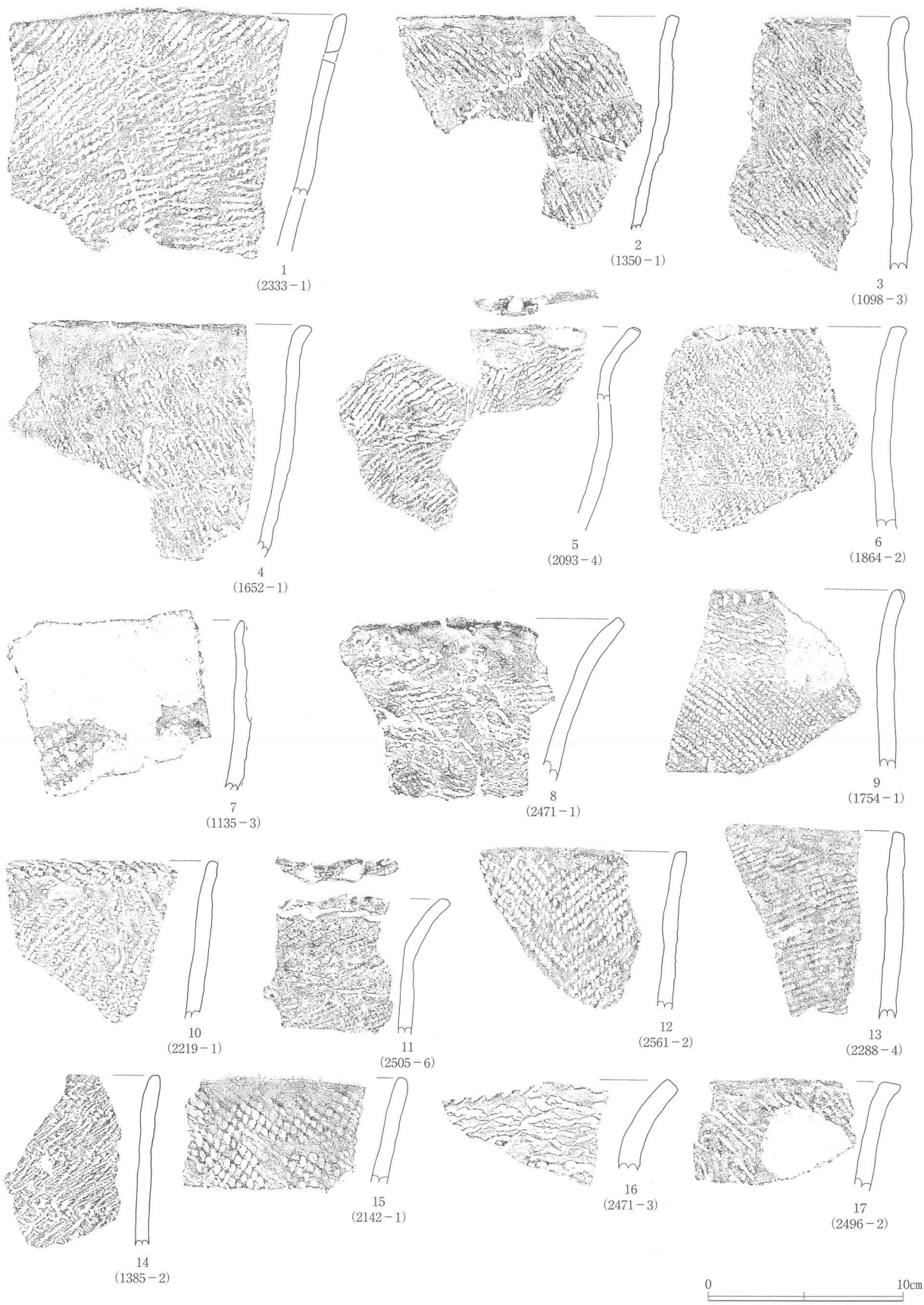
第148図 捨て場出土土器⁽¹⁰⁾ (南部捨て場3 e層)



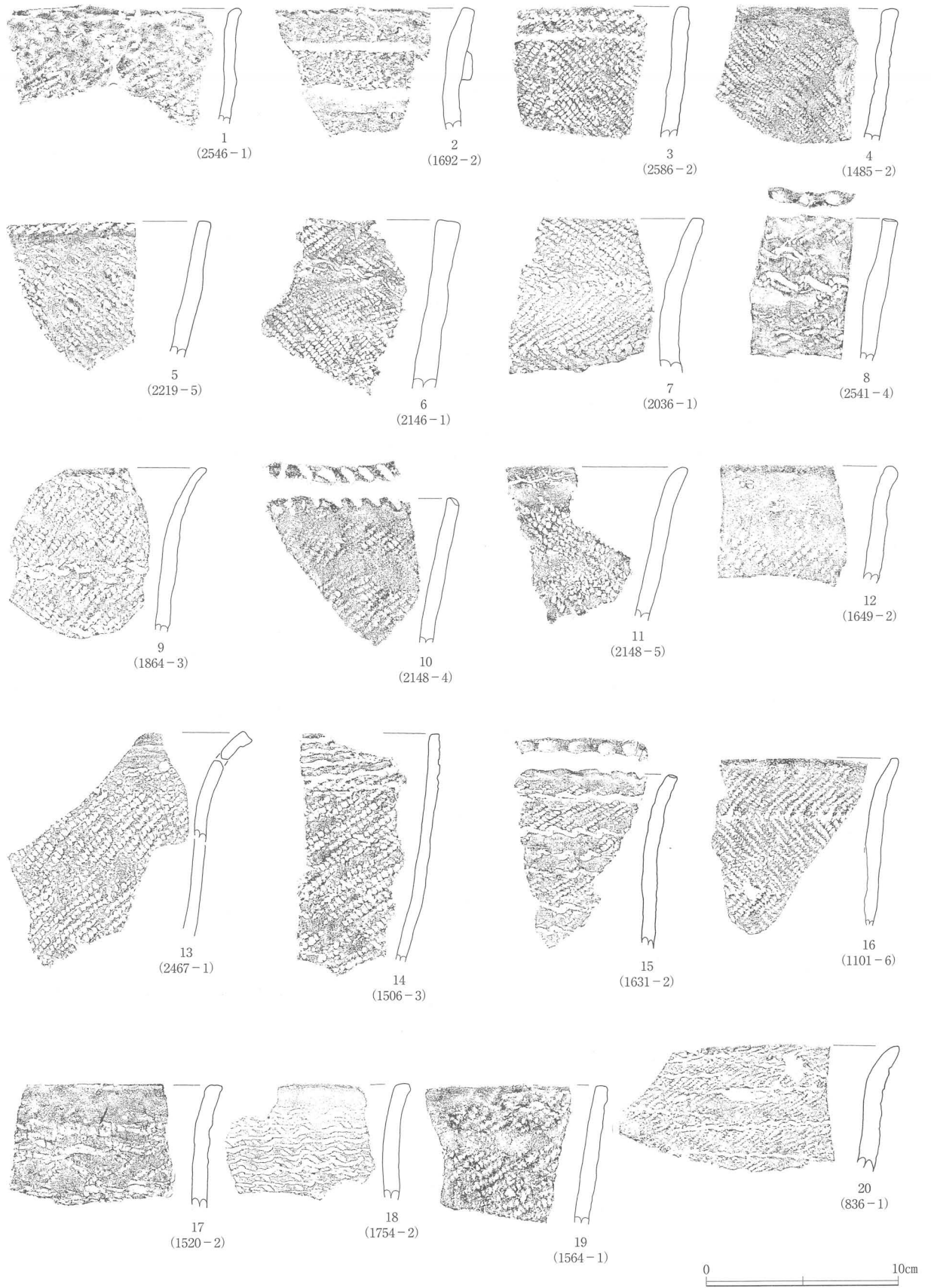
第149図 捨て場出土土器⁽¹⁰²⁾ (南部捨て場3 e層)



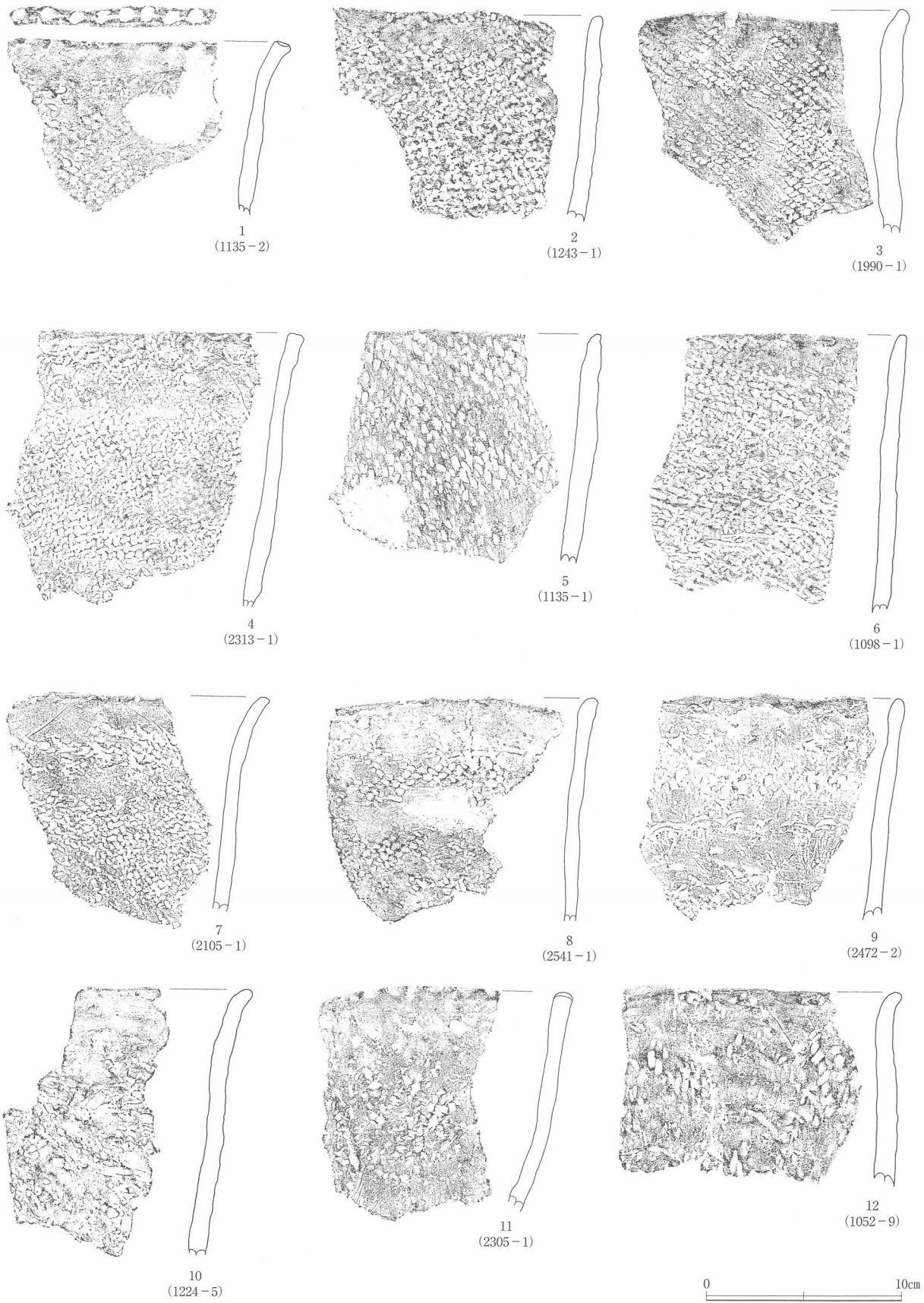
第150図 捨て場出土土器⁽¹⁰³⁾ (南部捨て場 3 e 層)



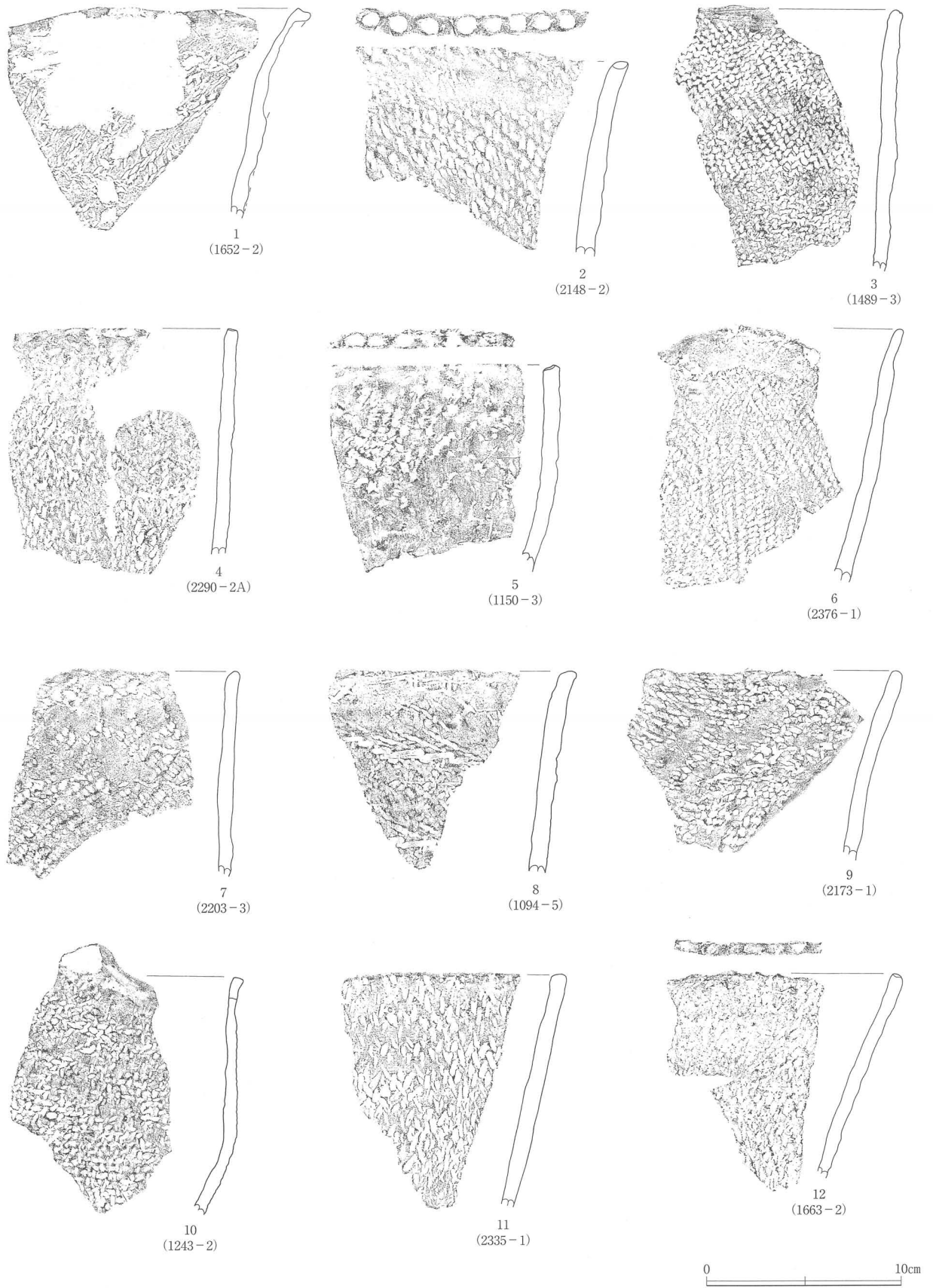
第151図 捨て場出土土器⁽¹⁰⁴⁾ (南部捨て場3e層)



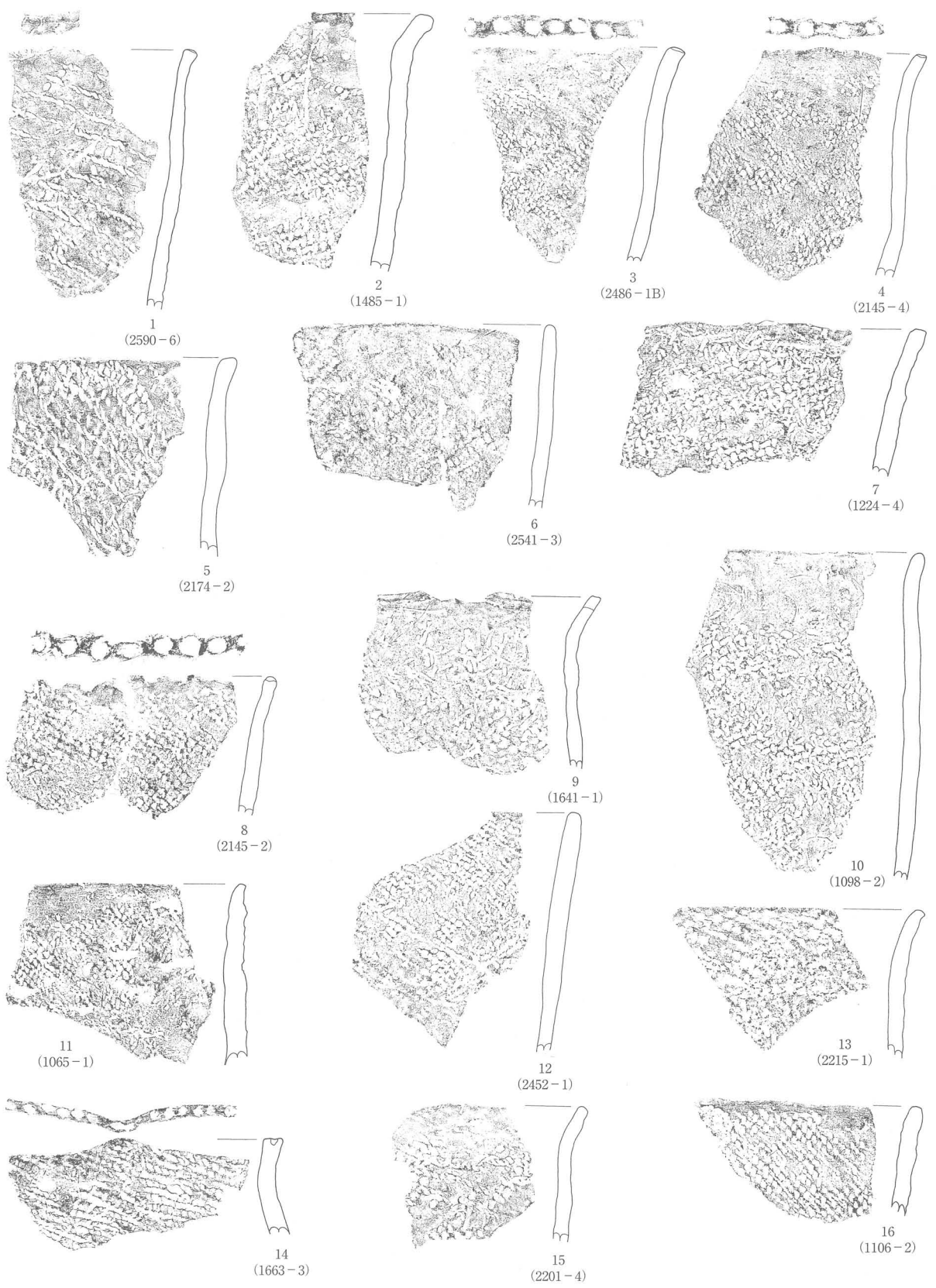
第152図 捨て場出土土器⁽¹⁰⁾ (南部捨て場3e層)



第153図 捨て場出土土器⁽¹⁰⁾ (南部捨て場3e層)

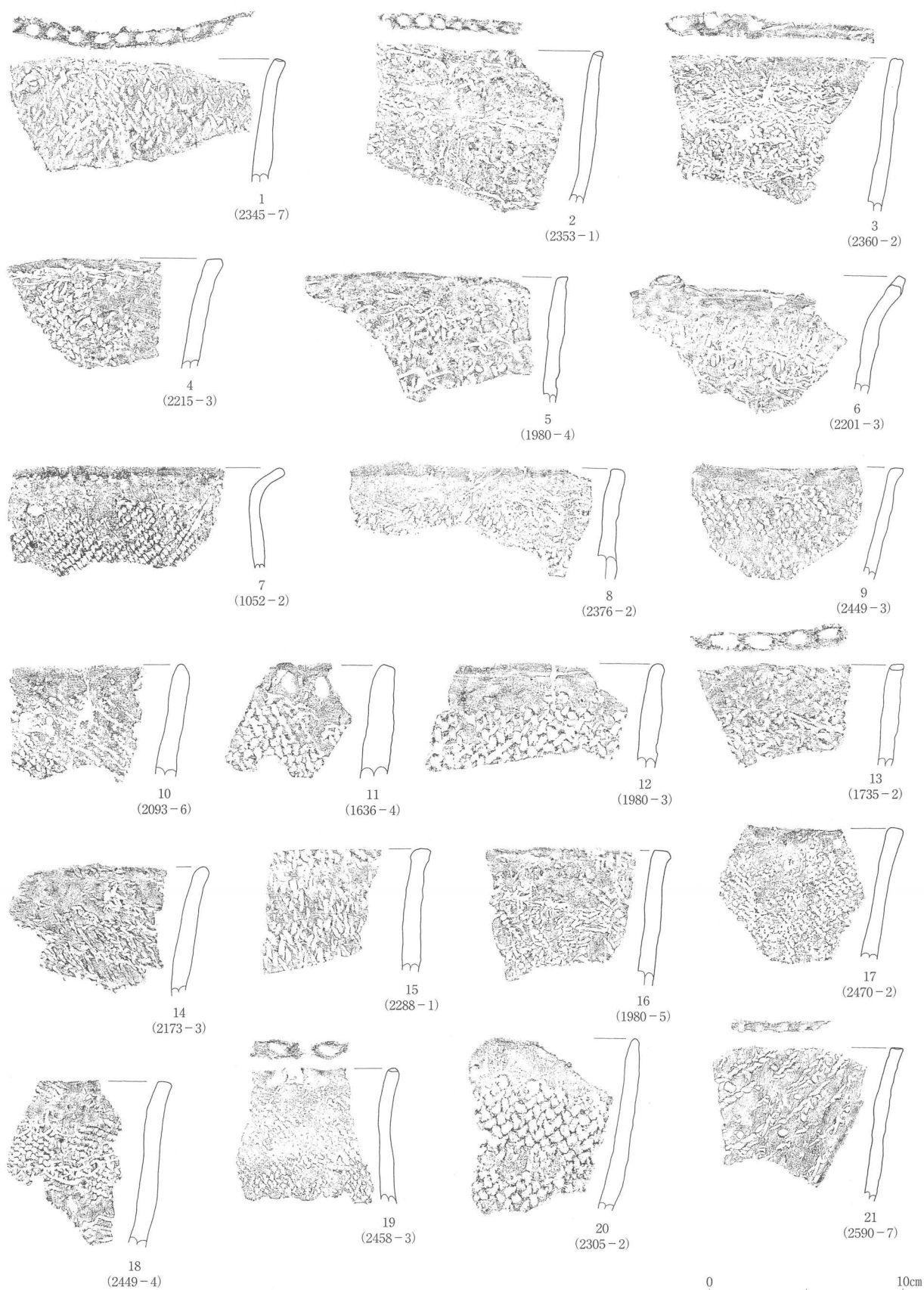


第154図 捨て場出土土器(07) (南部捨て場 3 e 層)

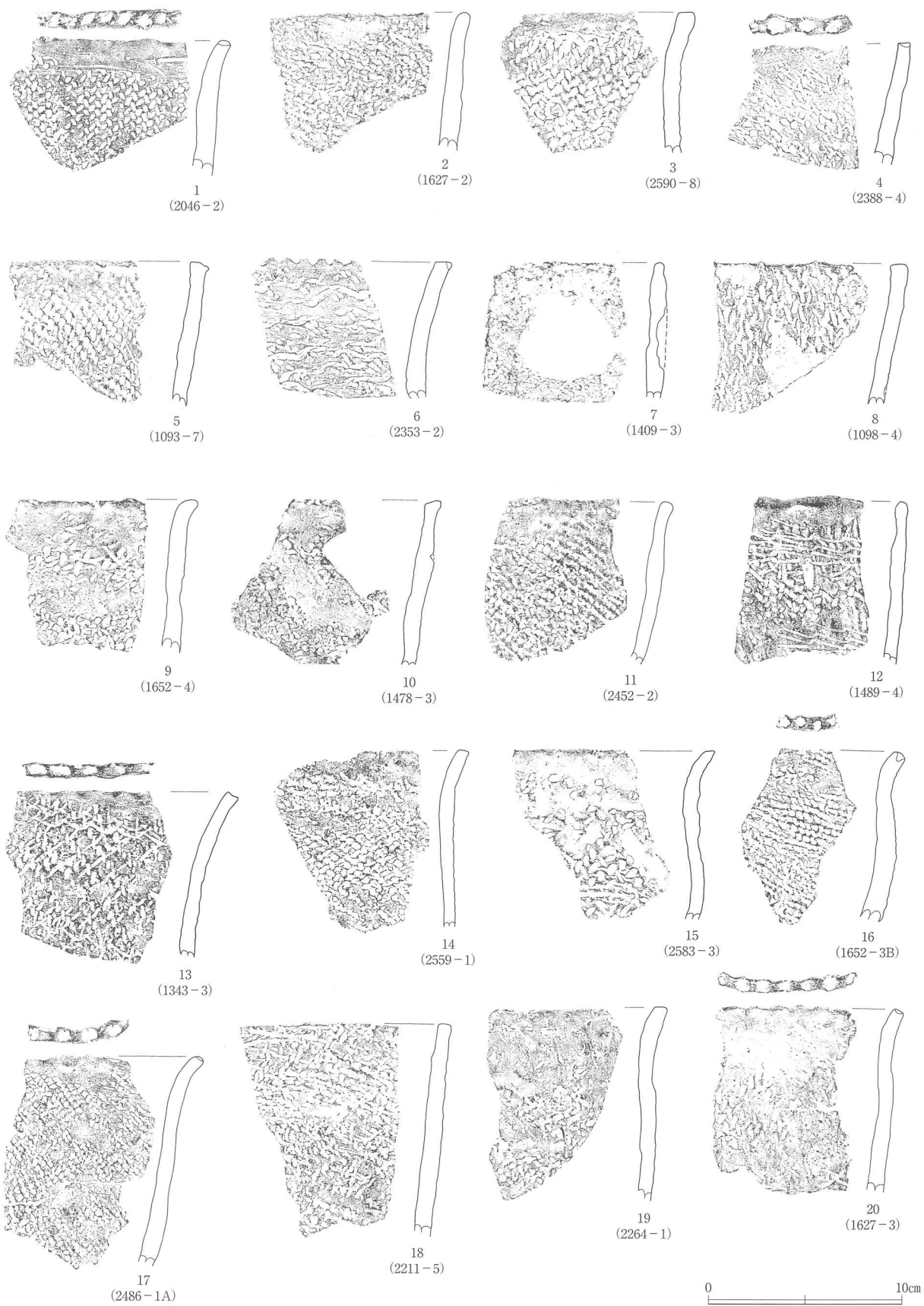


0 10cm

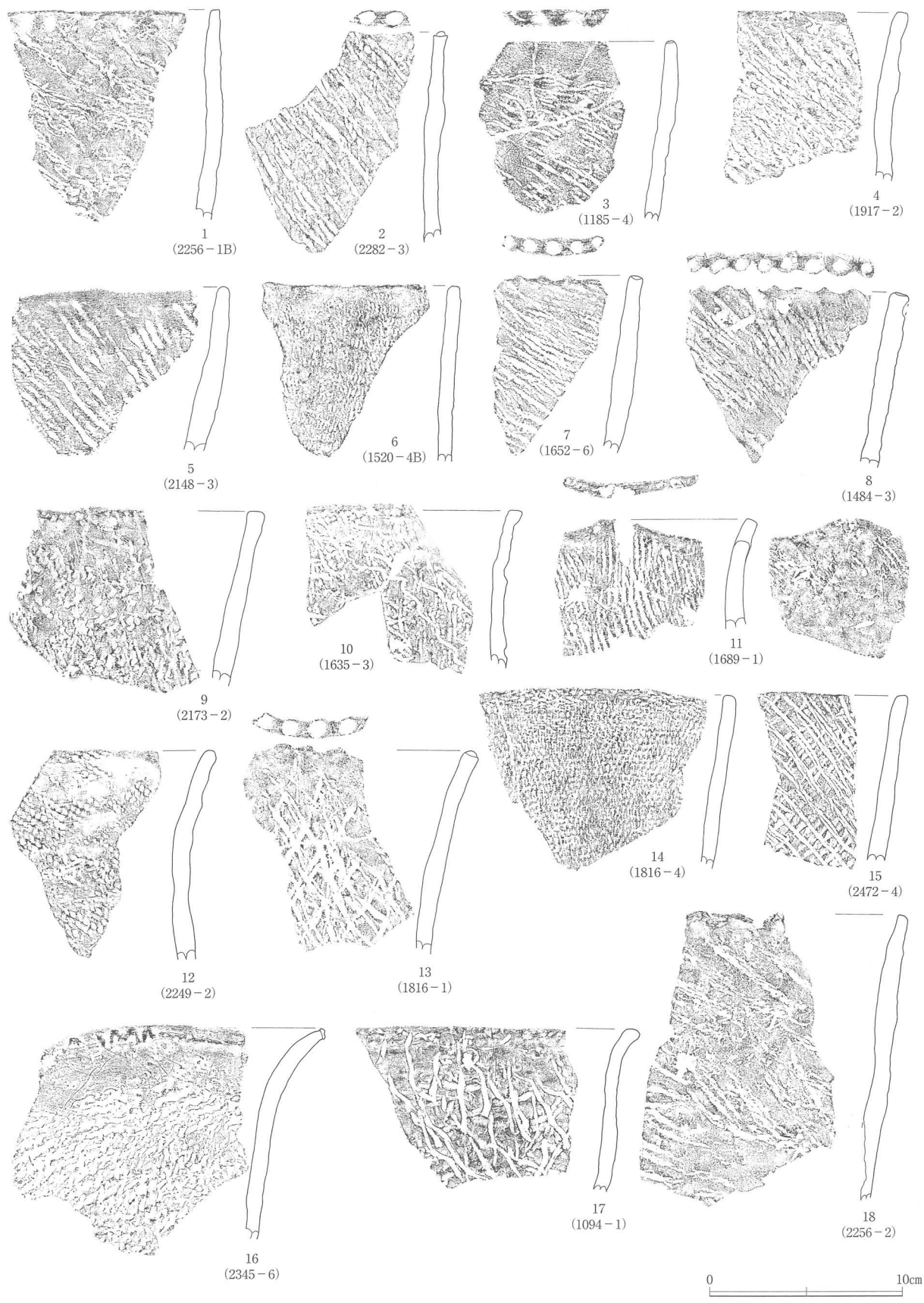
第155図 捨て場出土土器⁽¹⁰⁸⁾ (南部捨て場 3 e 層)



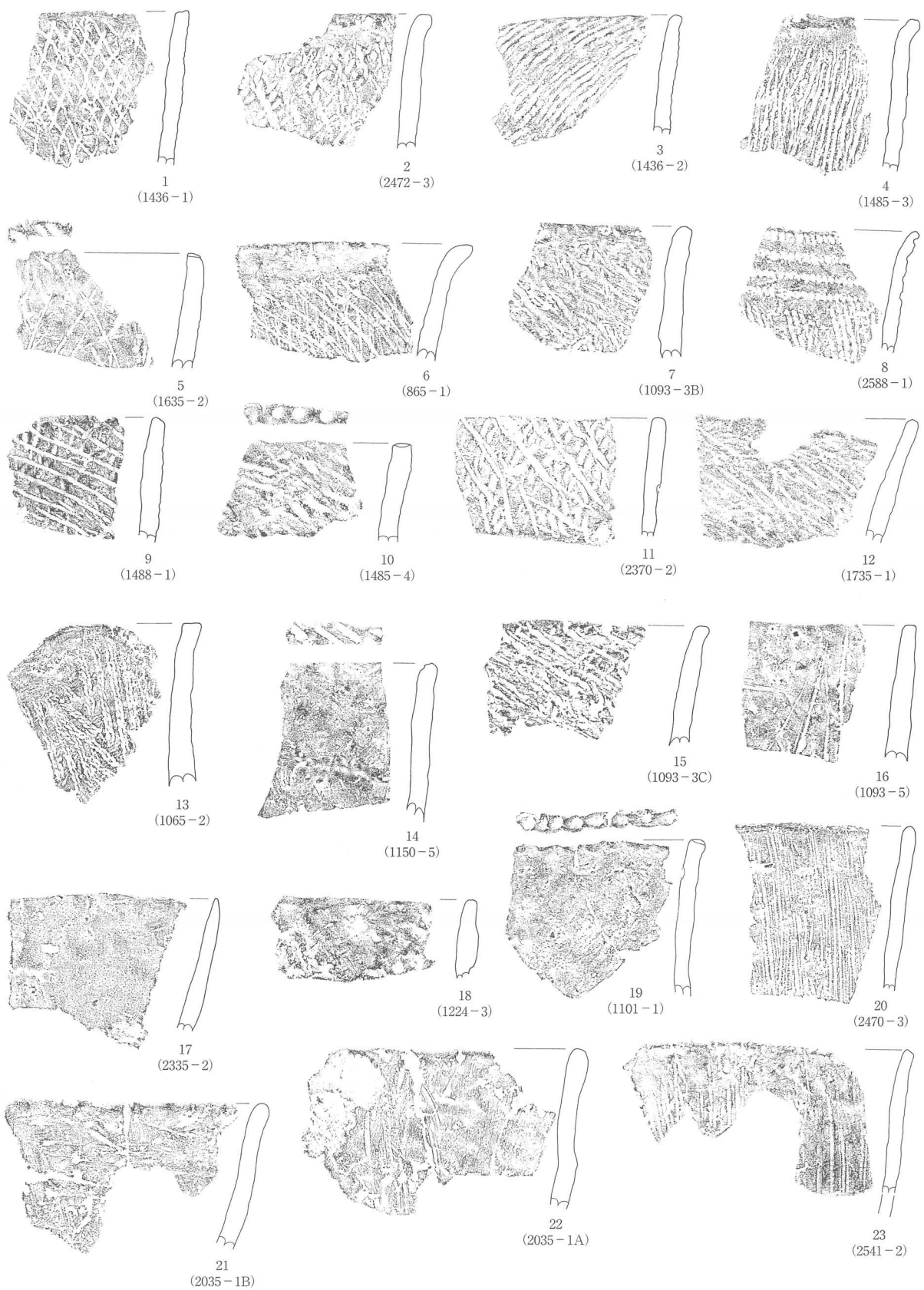
第156図 捨て場出土土器(109) (南部捨て場 3 e 層)



第157図 捨て場出土土器(10) (南部捨て場 3 e 層)

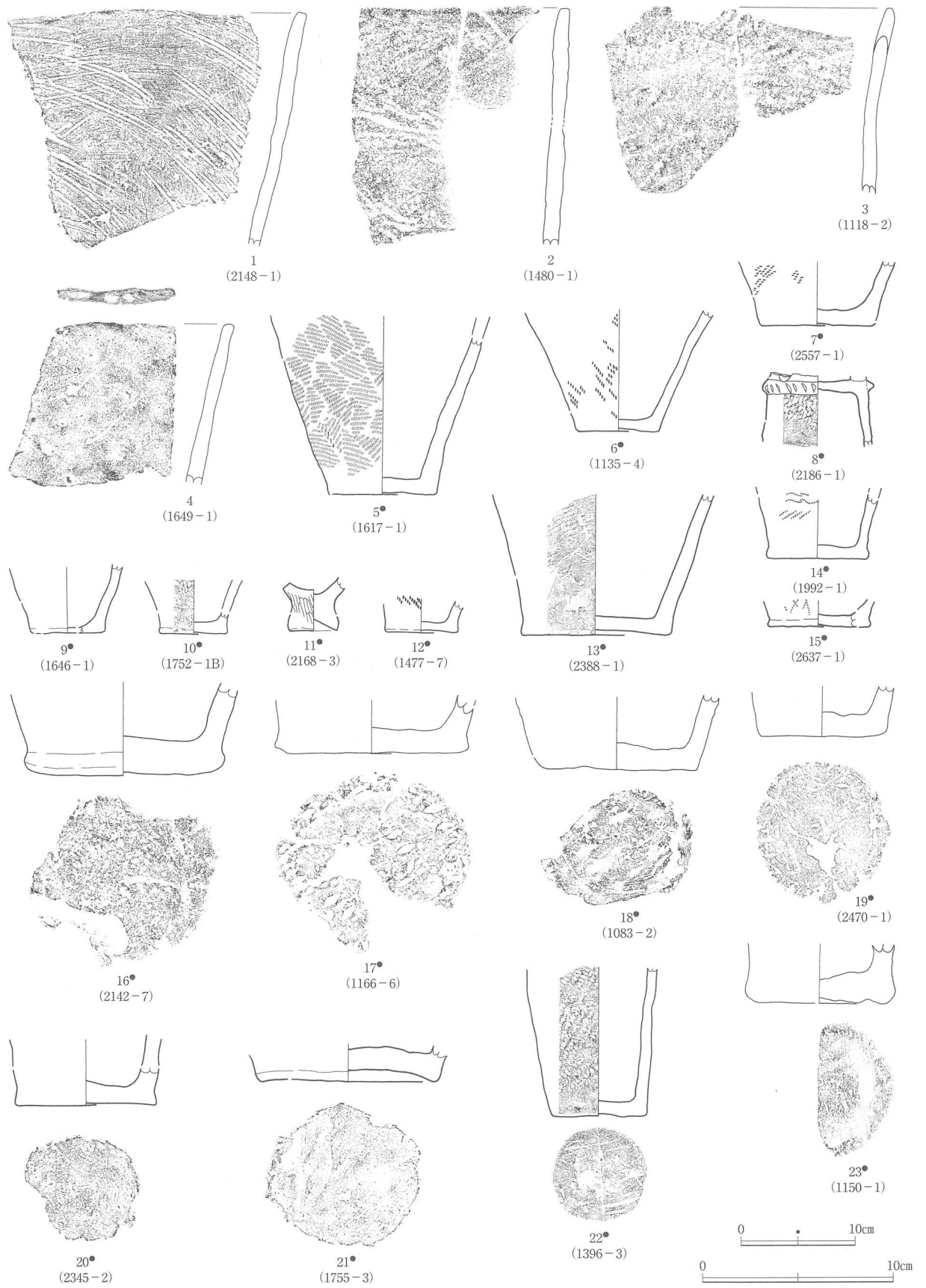


第158図 捨て場出土土器(11) (南部捨て場 3 e 層)

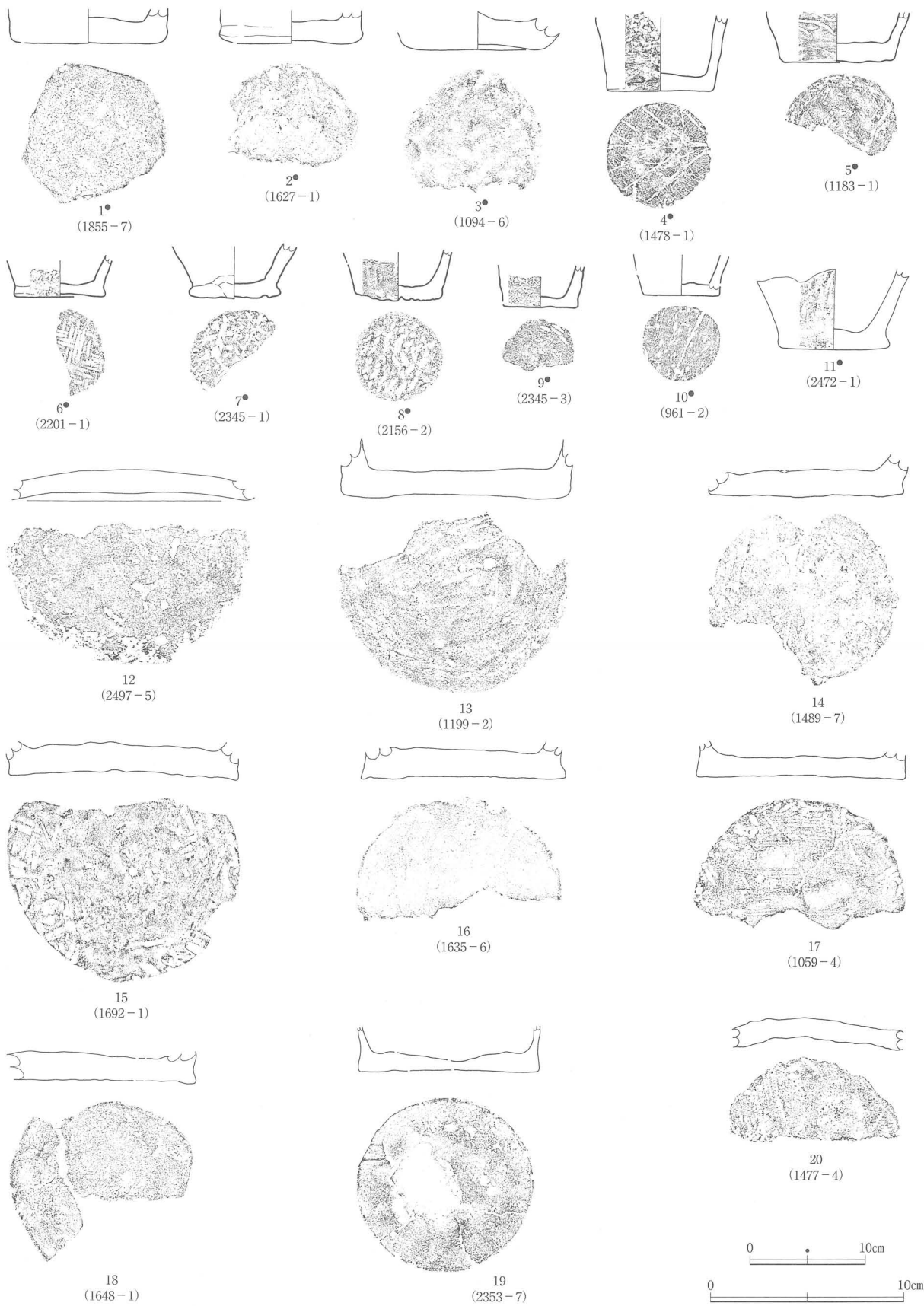


0 10cm

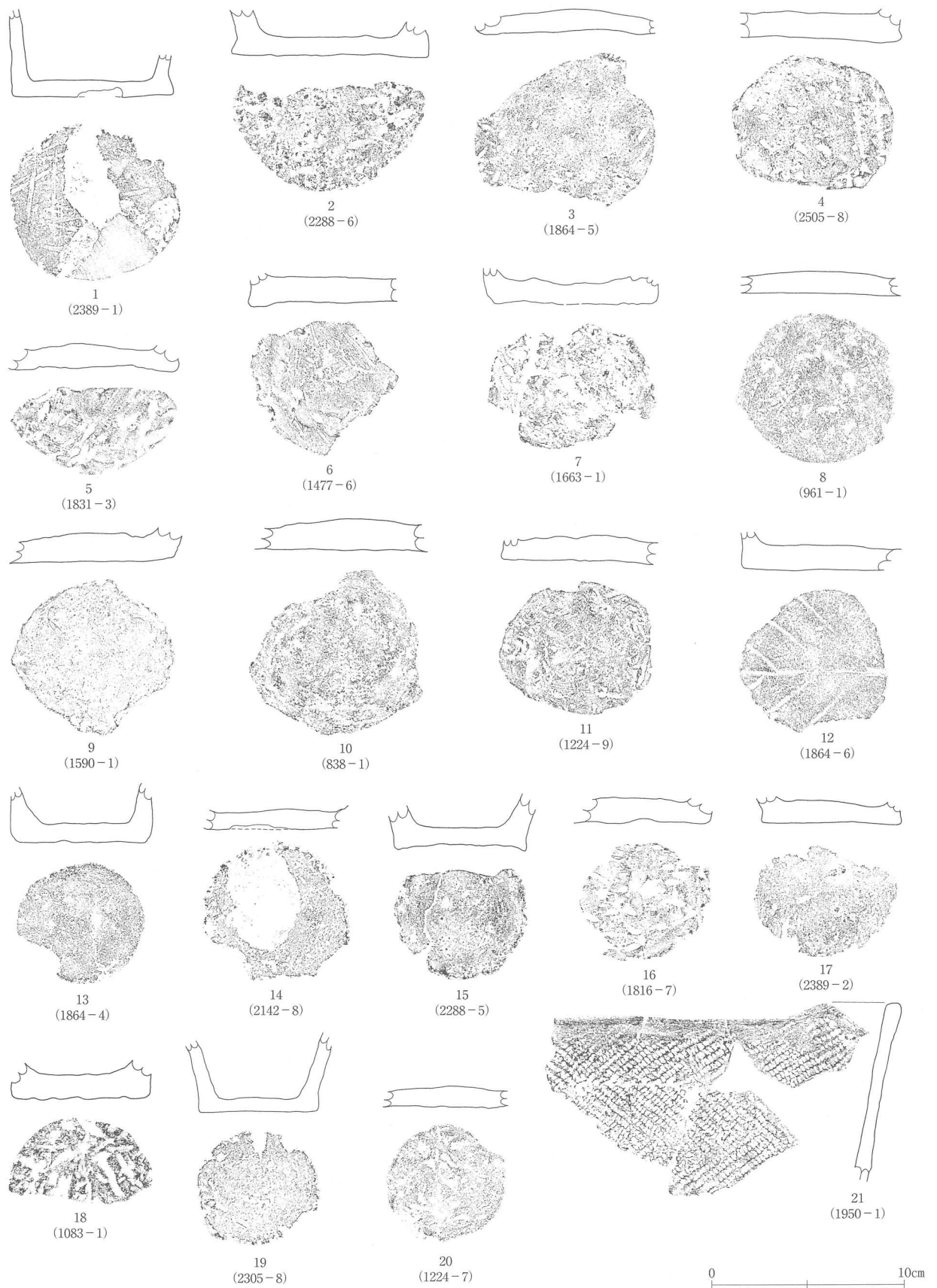
第159図 捨て場出土土器⁽¹¹²⁾ (南部捨て場3e層)



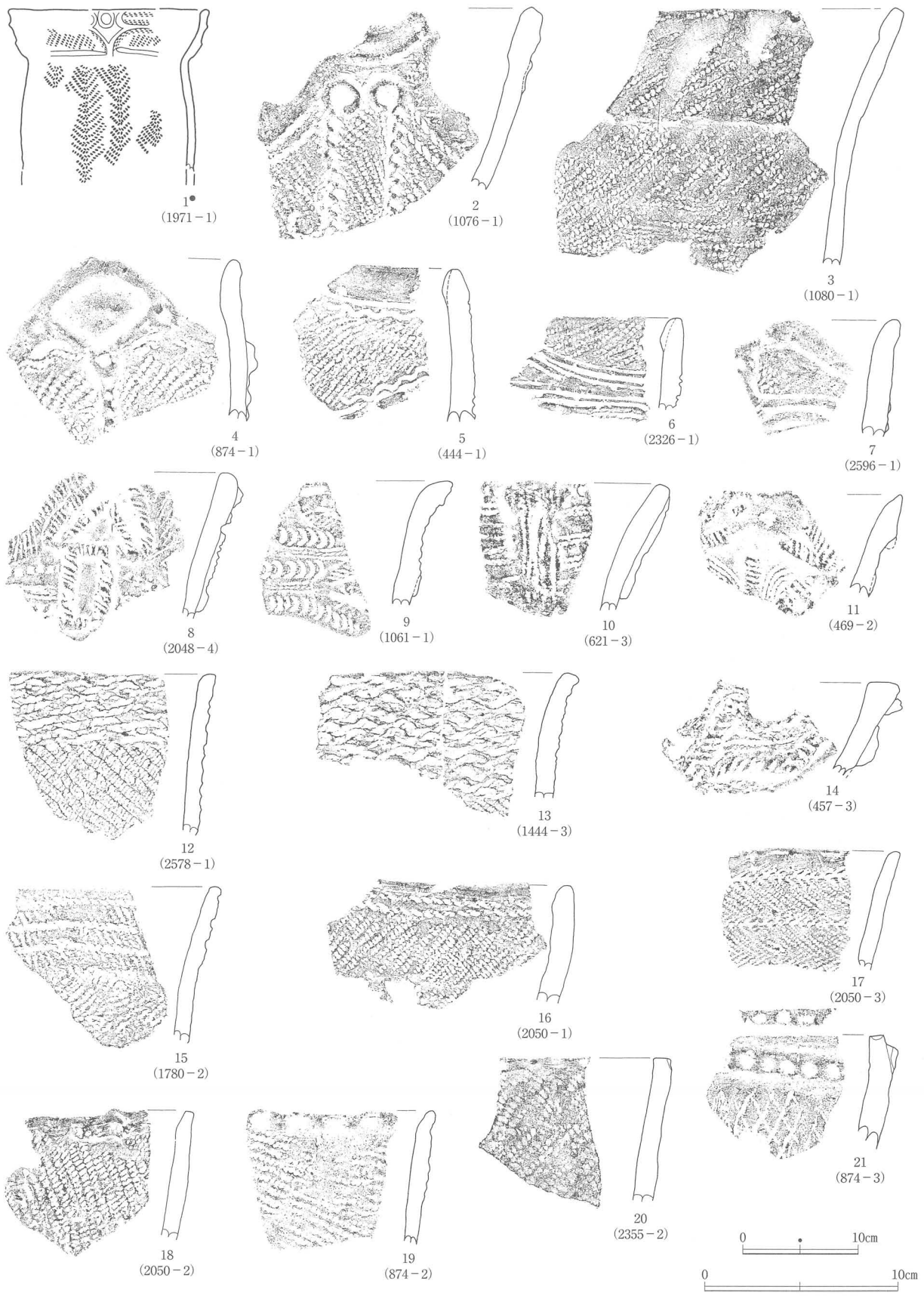
第160図 捨て場出土土器⁽¹¹⁾ (南部捨て場3e層)



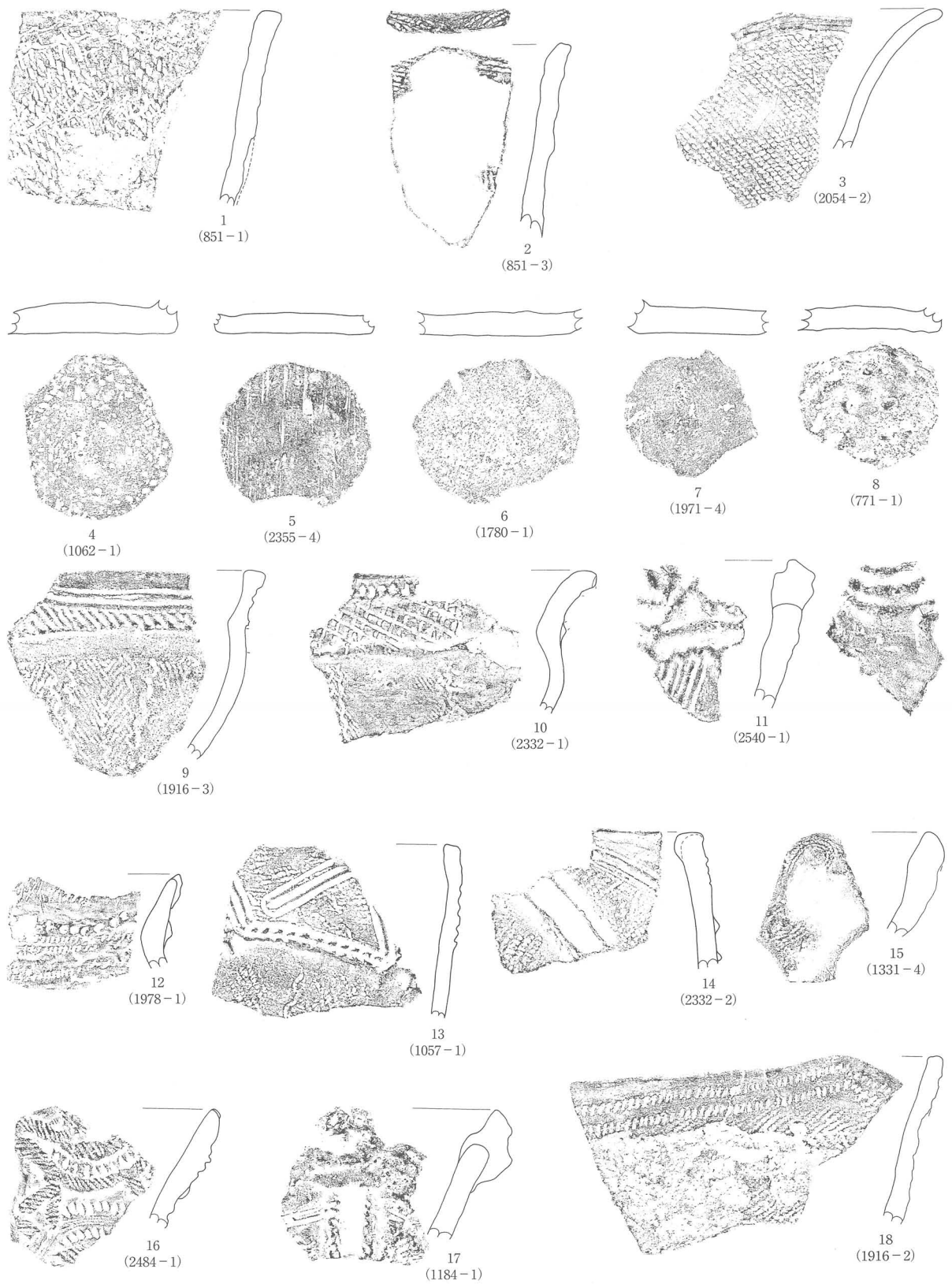
第161図 捨て場出土土器(14) (南部捨て場 3 e 層)



第162図 捨て場出土土器(11) (南部捨て場3e・4層)

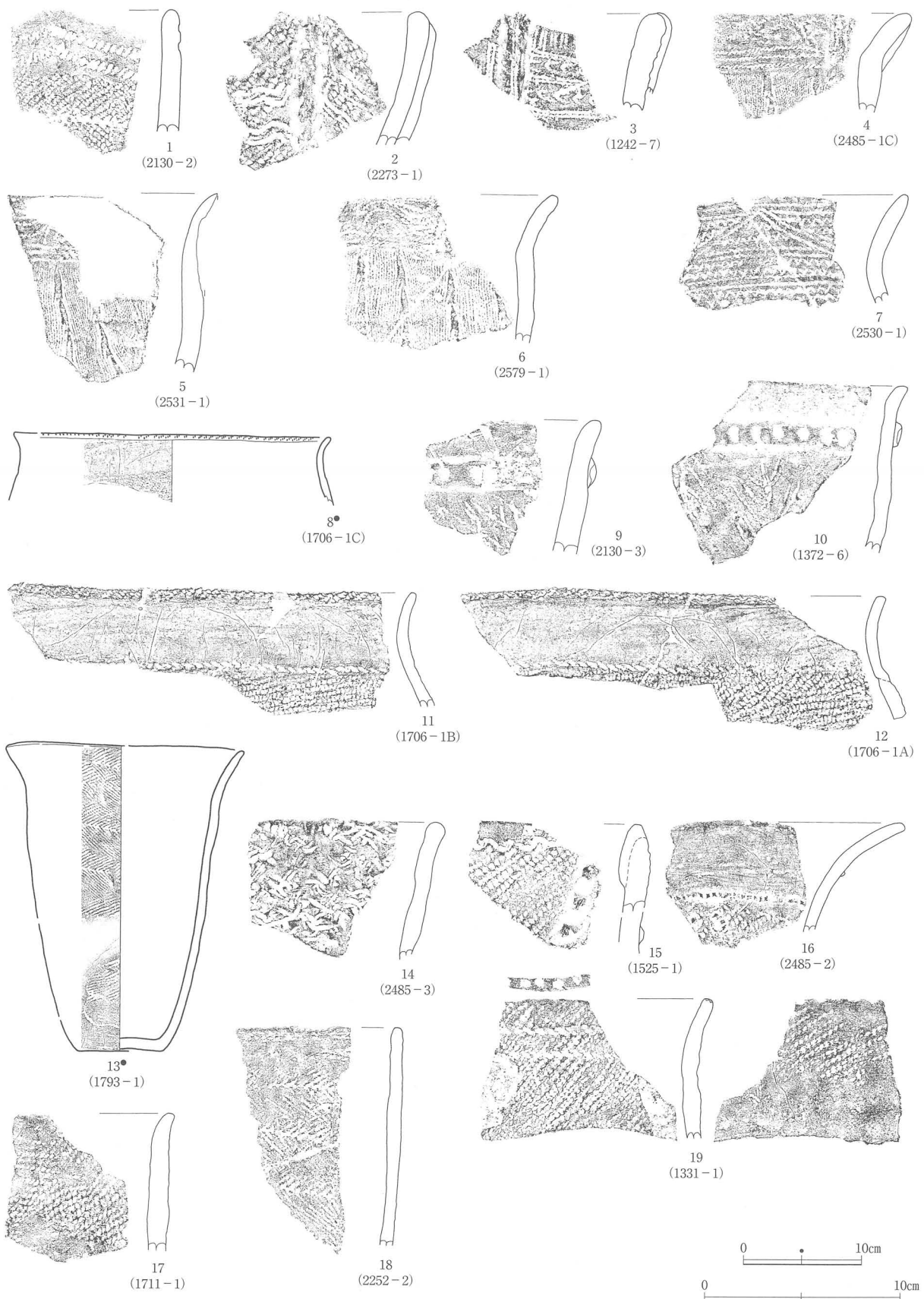


第163圖 遺構外出土土器(1) (Ⅱ層)

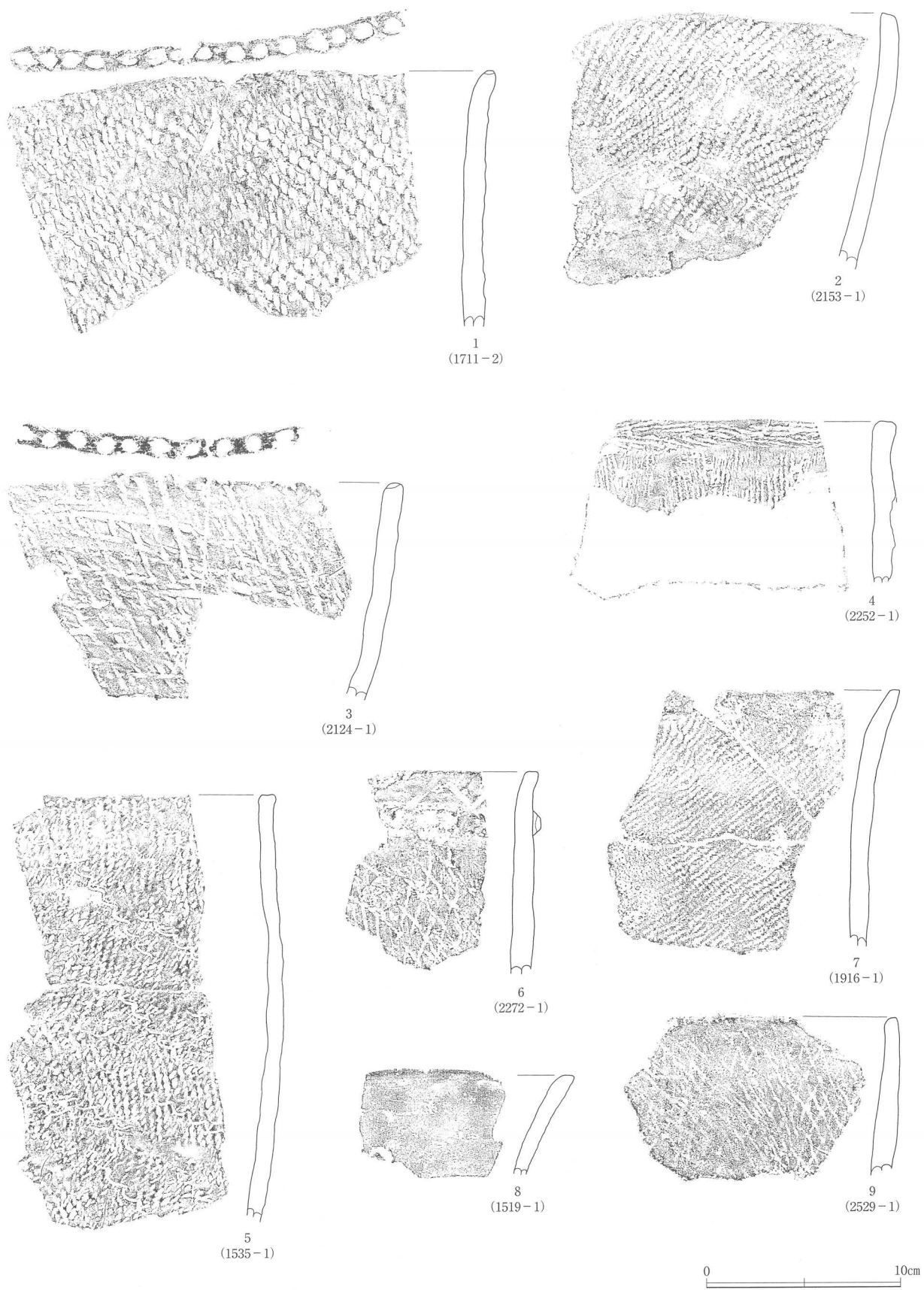


0 10cm

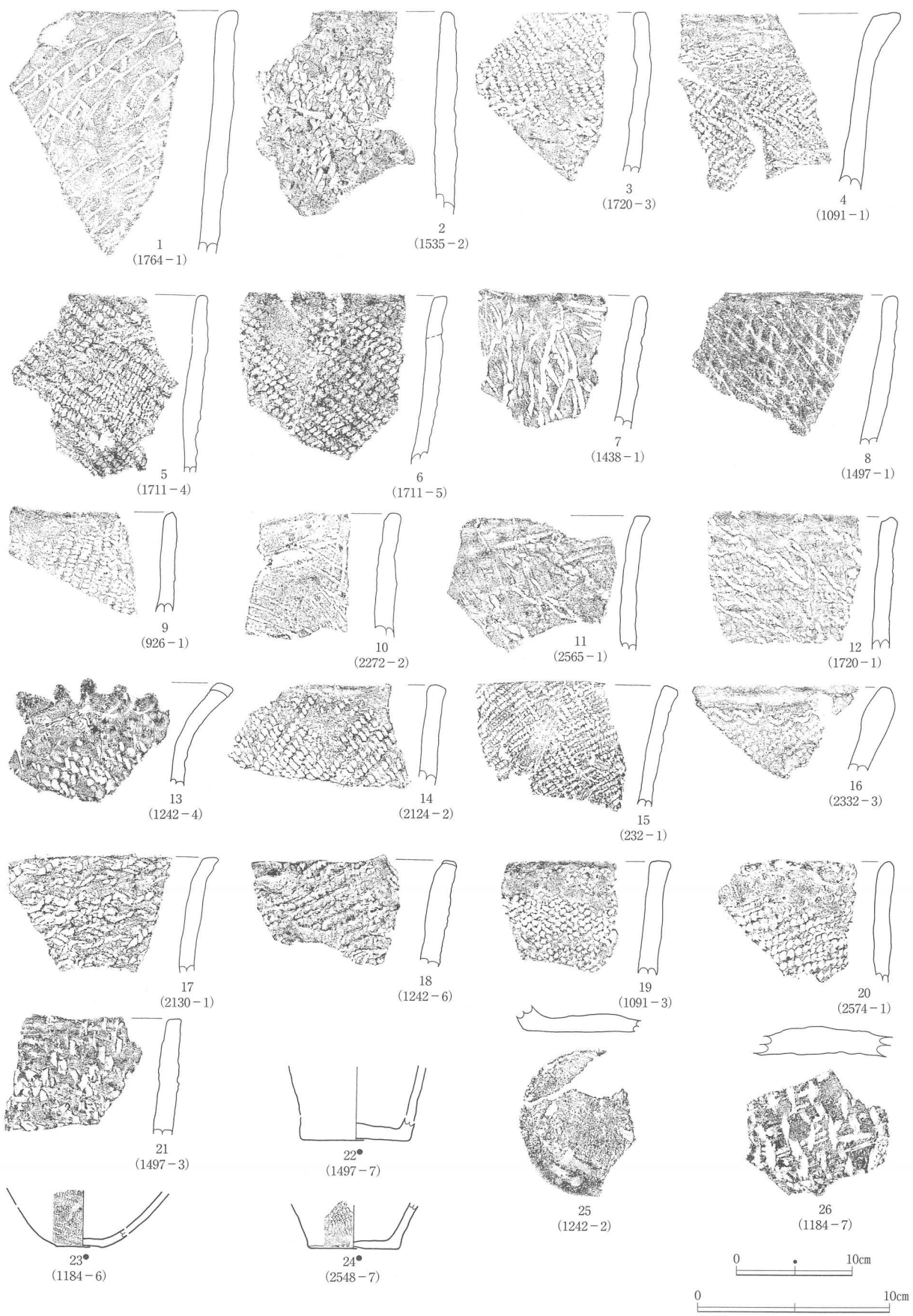
第164図 遺構外出土土器(2) (Ⅱ・Ⅲ a層)



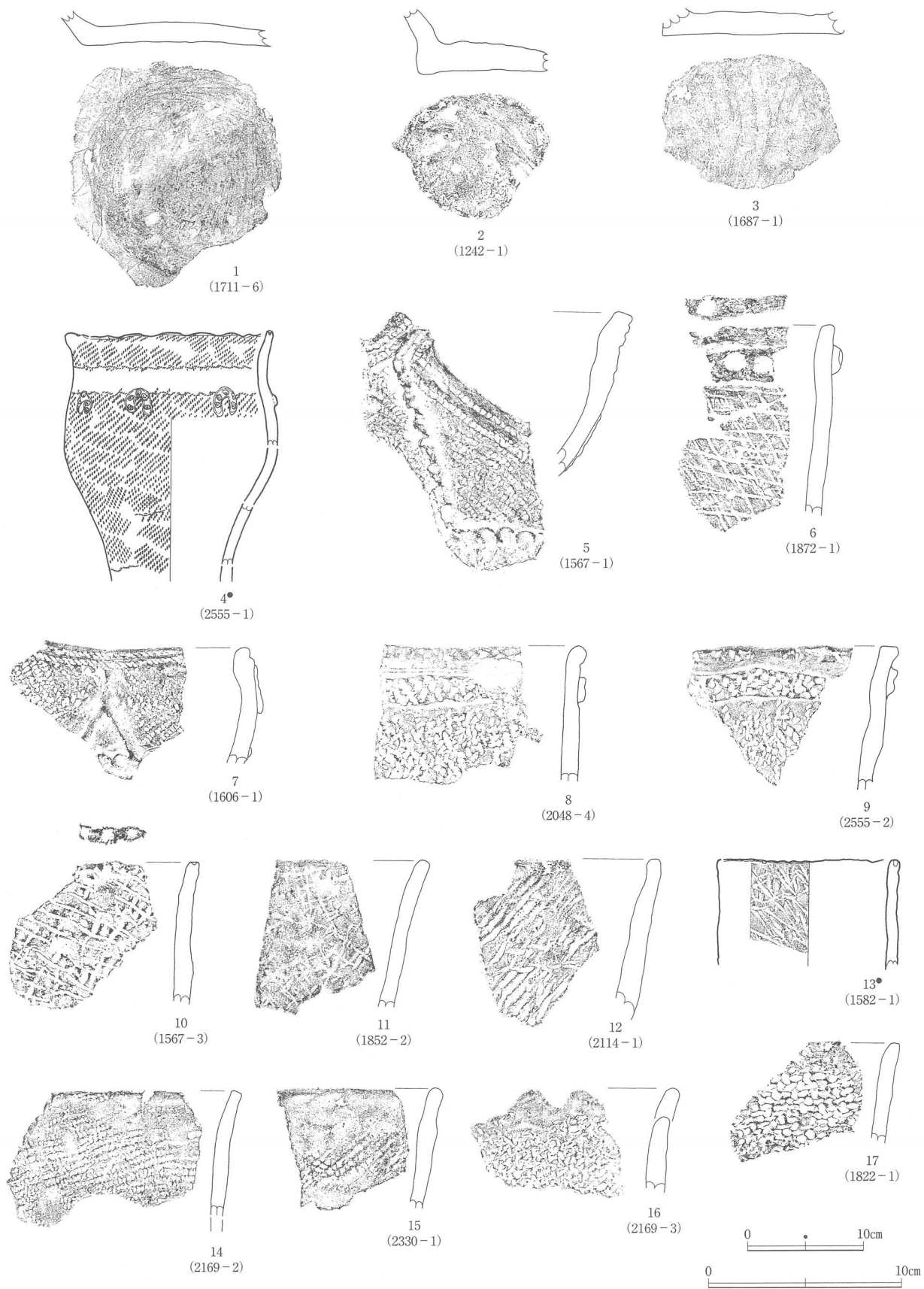
第165図 遺構外出土土器(3) (Ⅲ a層)



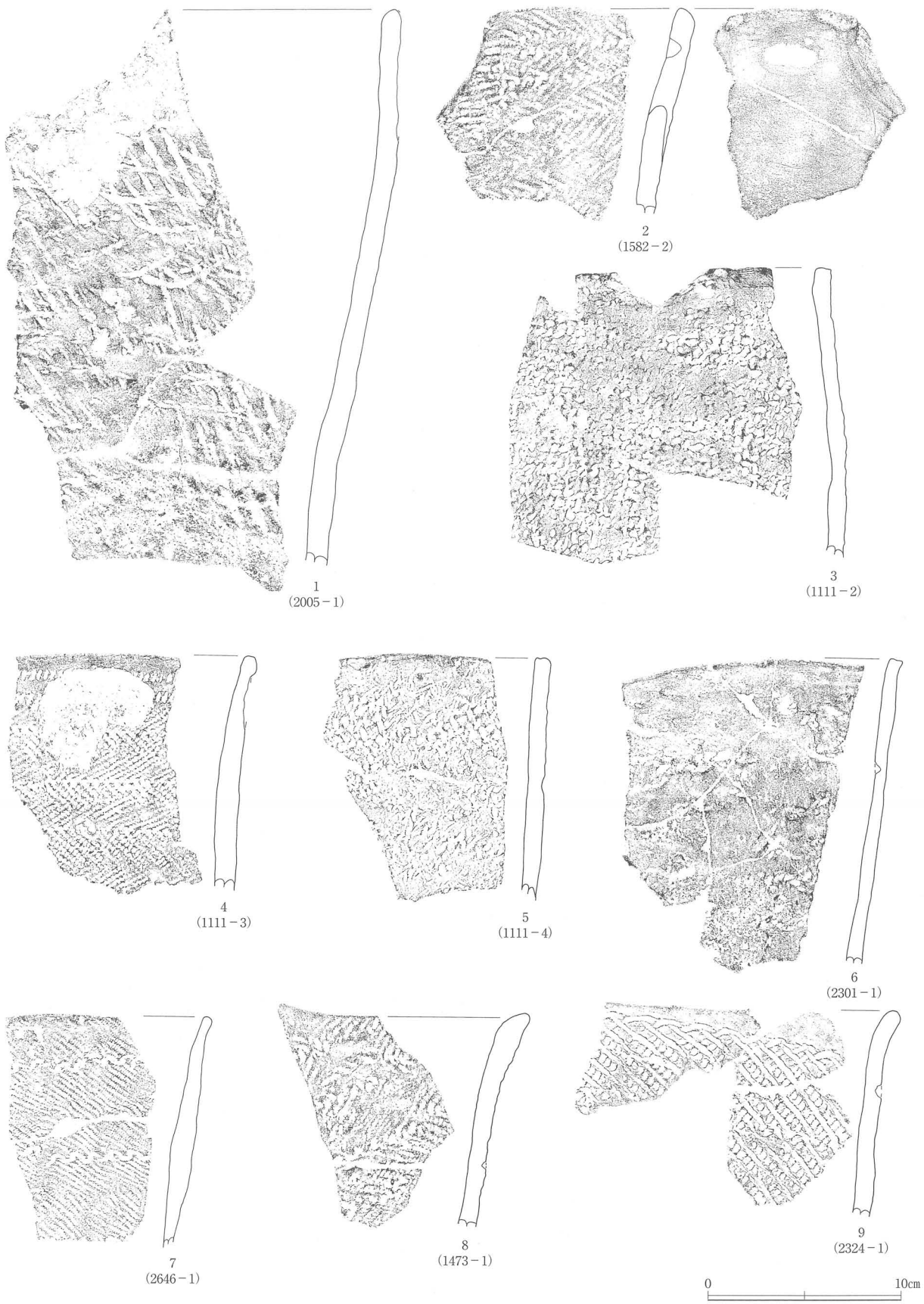
第166図 遺構外出土器(4) (Ⅲ a 層)



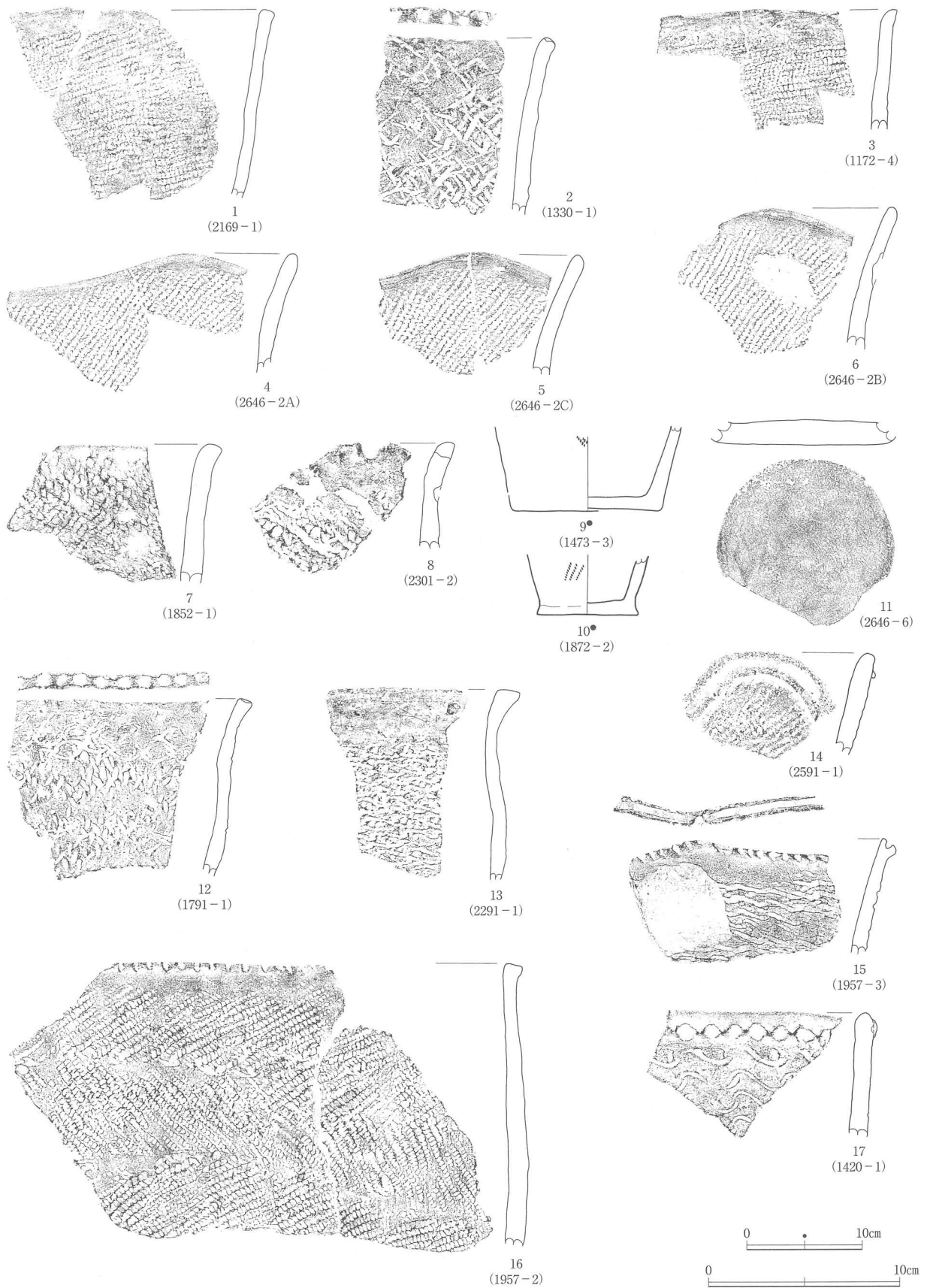
第167図 遺構外出土土器(5) (Ⅲ a層)



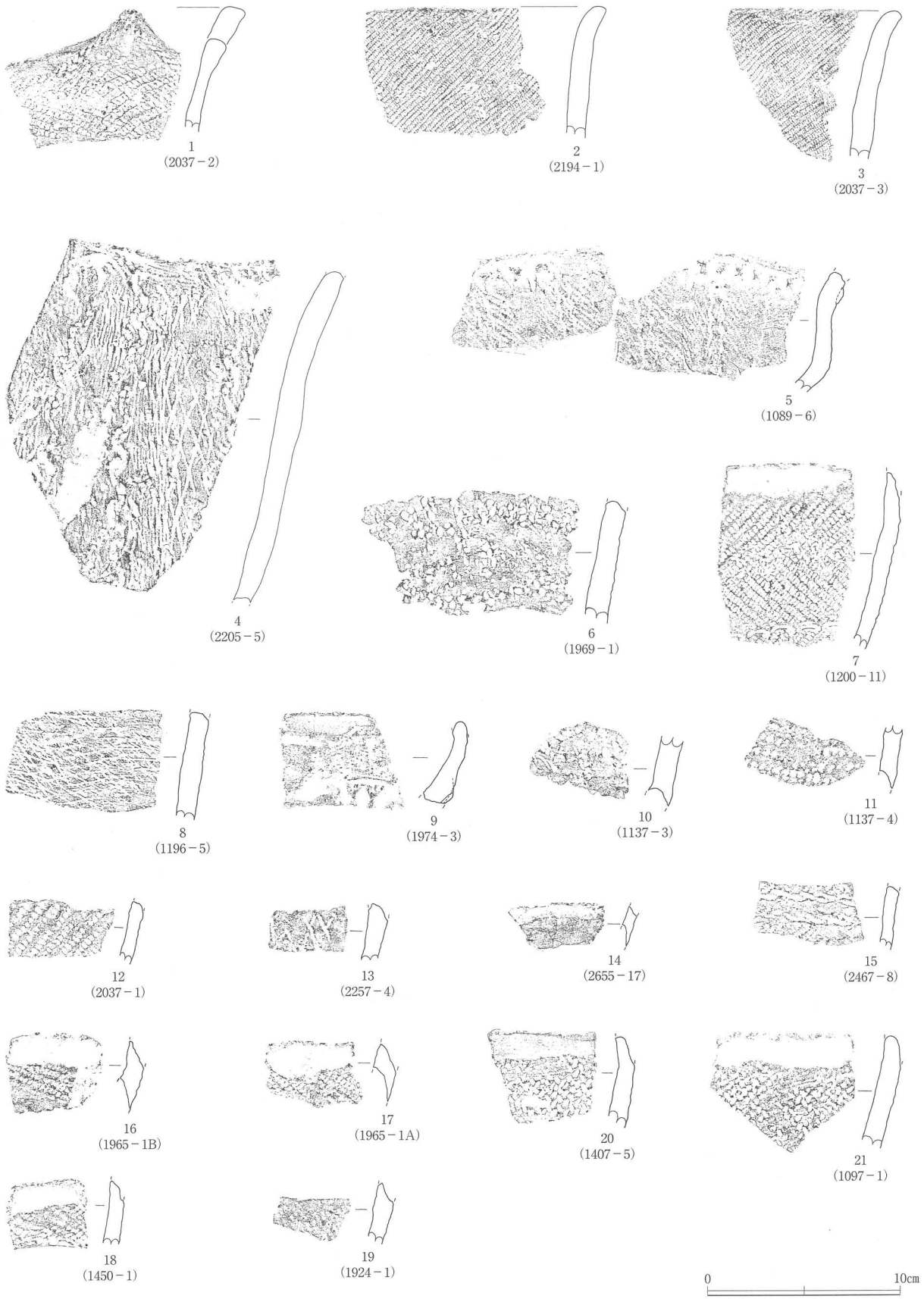
第168図 遺構外出土土器(6) (Ⅲ a・Ⅲ b層)



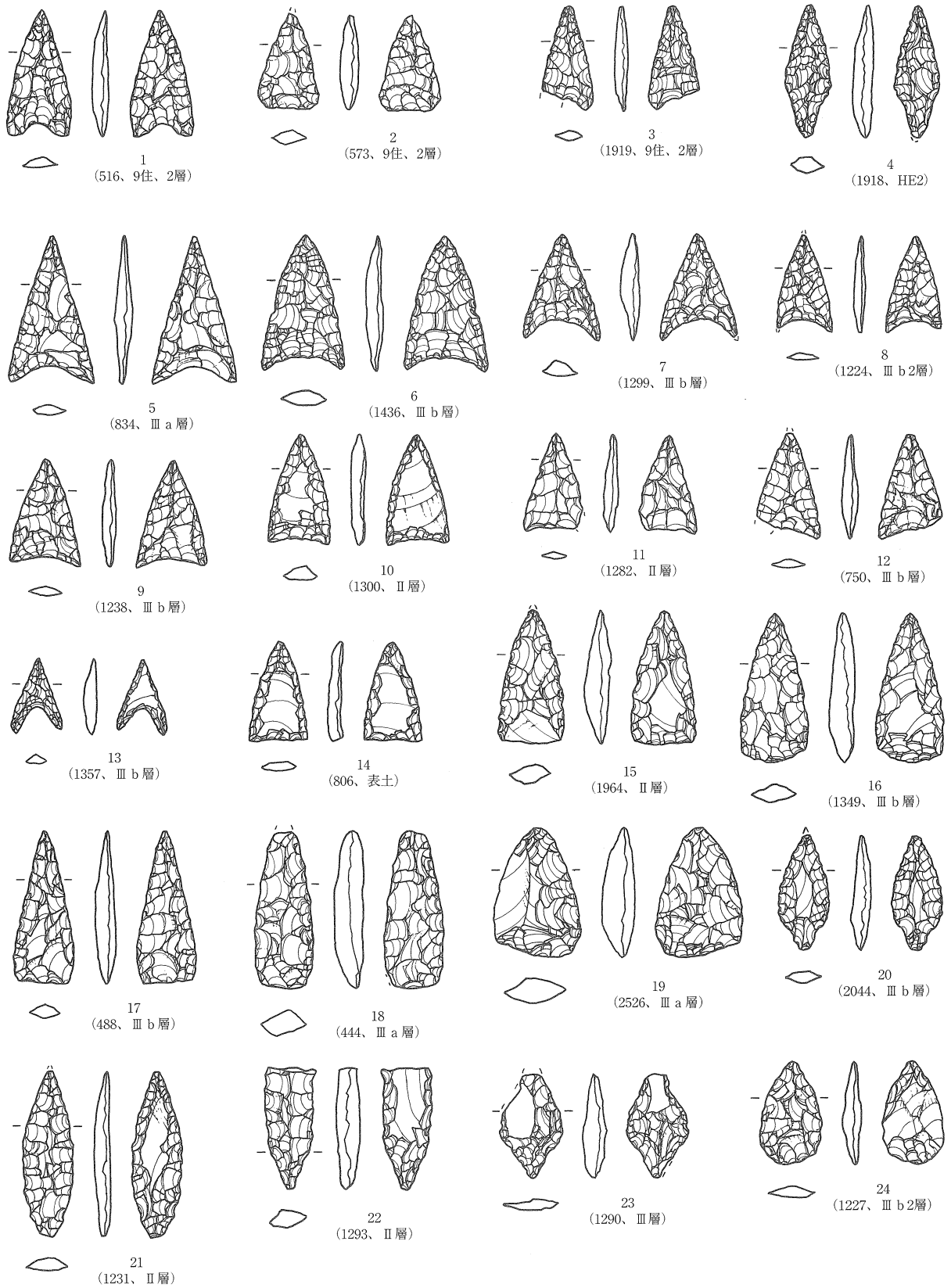
第169図 遺構外出土土器(7) (Ⅲ b層)



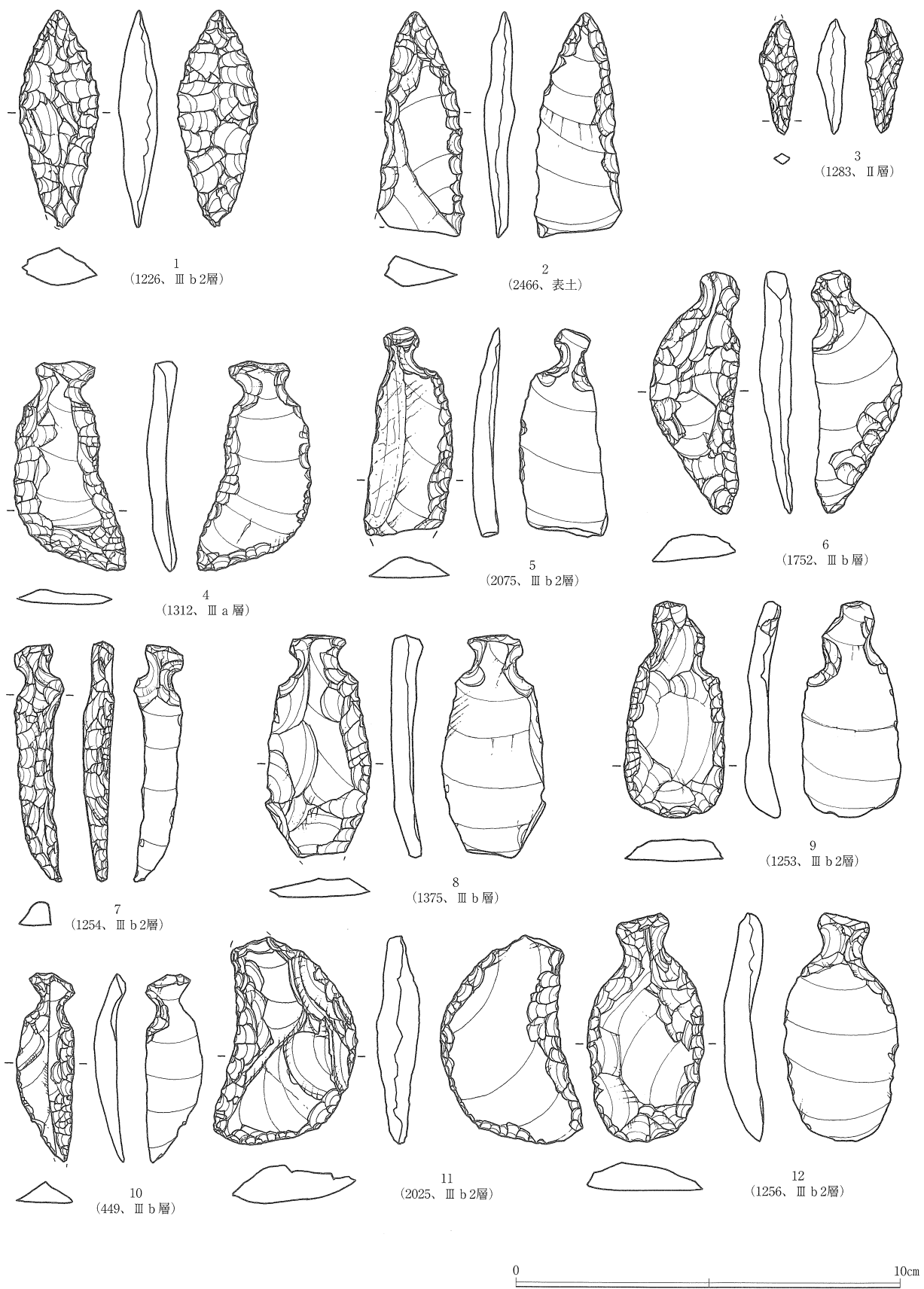
第170図 遺構外出土土器(8) (Ⅲb・Ⅲb1・Ⅲb2層)



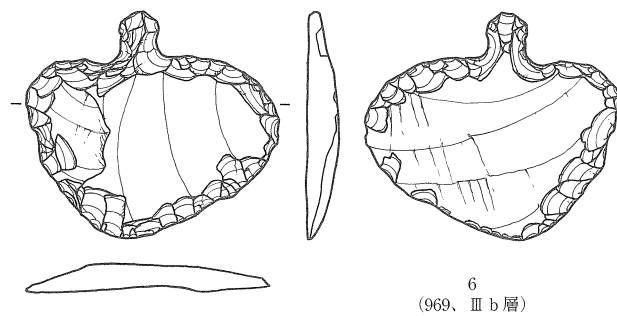
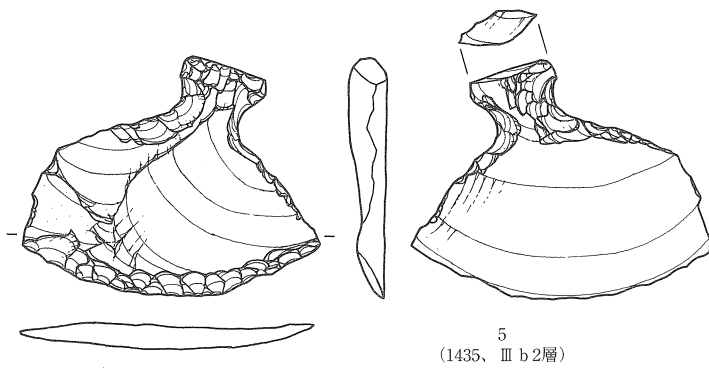
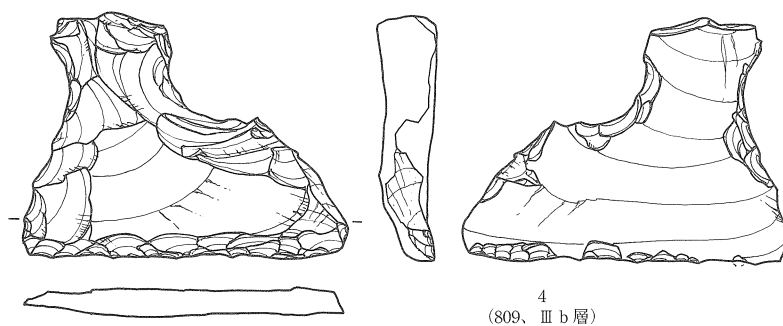
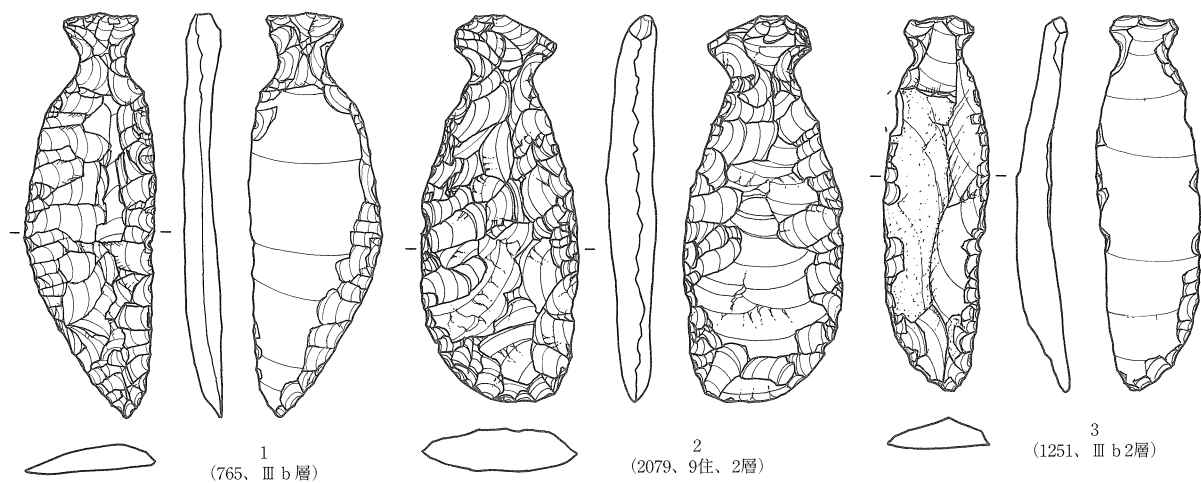
第171図 遺構外出土土器(9) (Ⅲ b 2層、擬口縁資料)



第172図 遺構内・遺構外・表土出土石器(1)

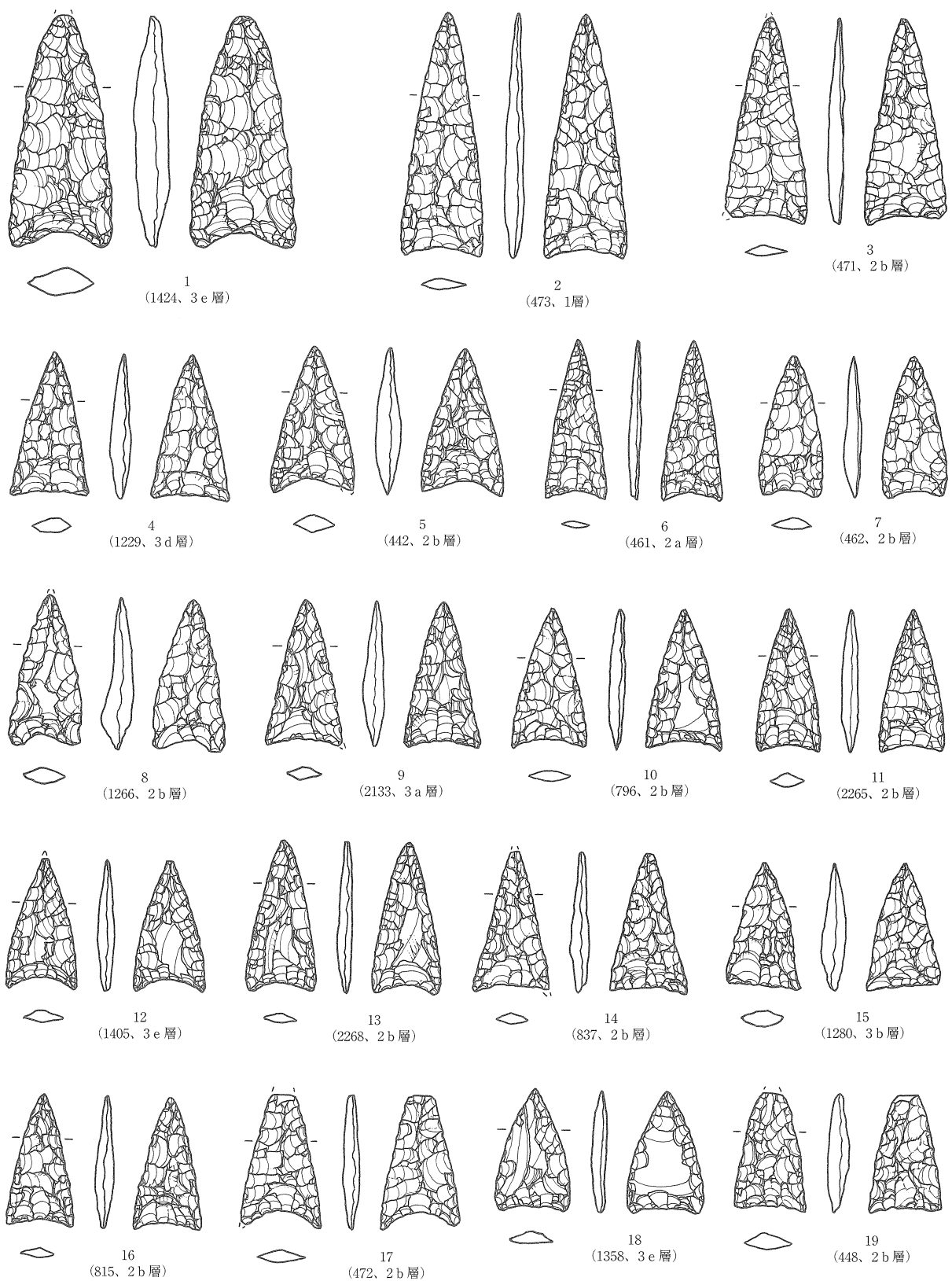


第173図 遺構内・遺構外・表土出土石器(2)



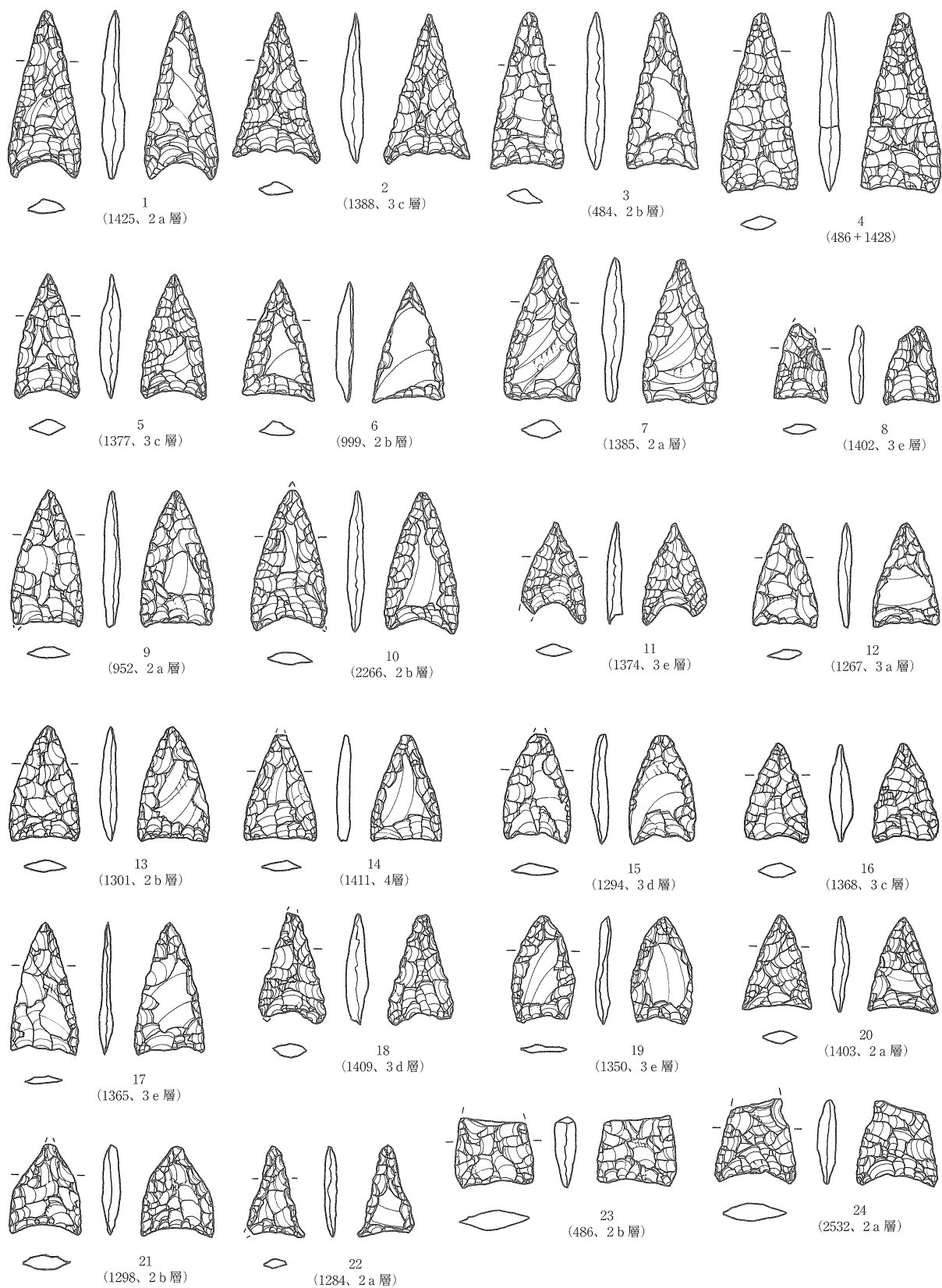
0 10cm

第174図 遺構内・遺構外出土石器(3)



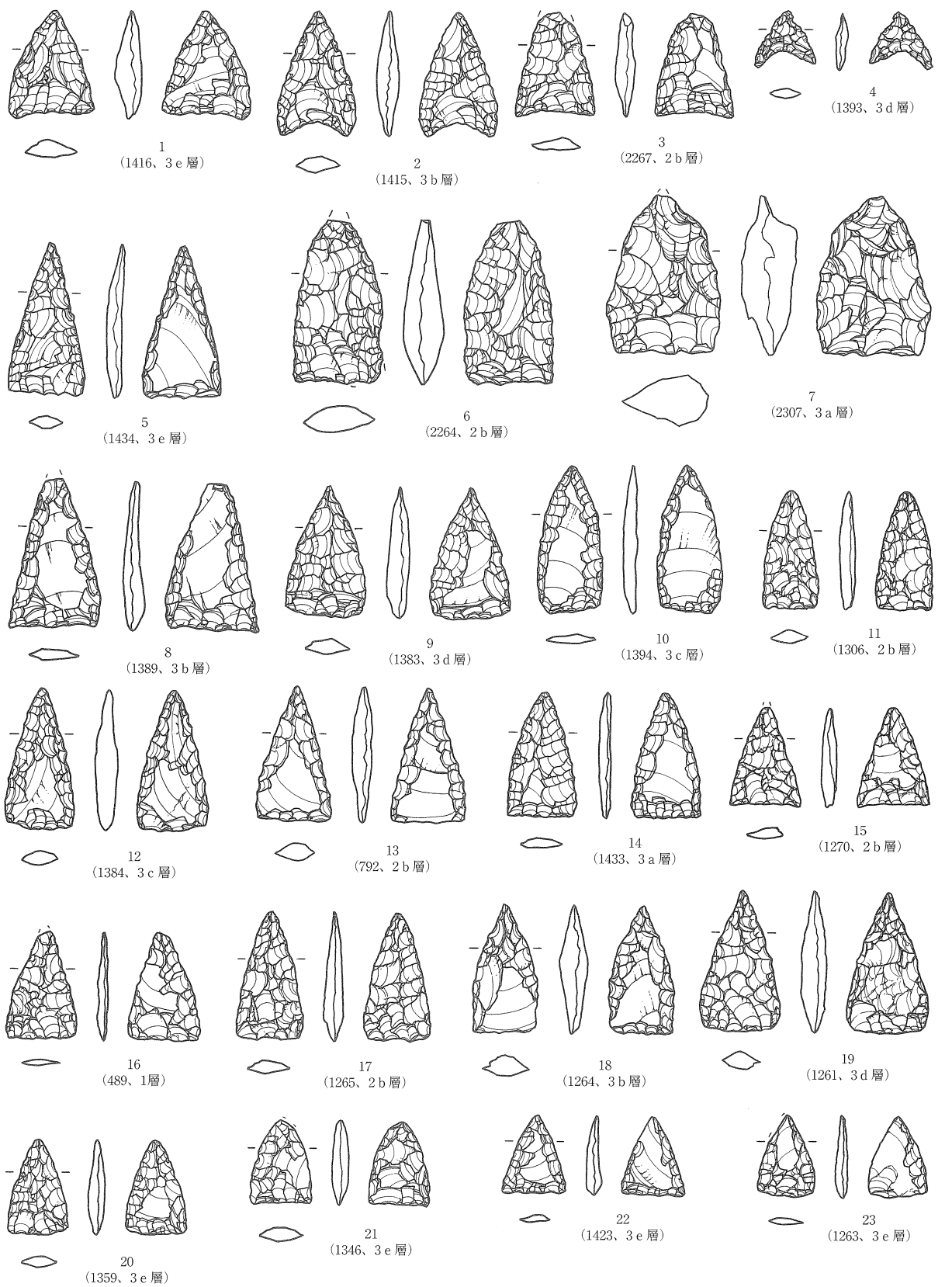
0 10cm

第175図 南部捨て場出土石器(1)

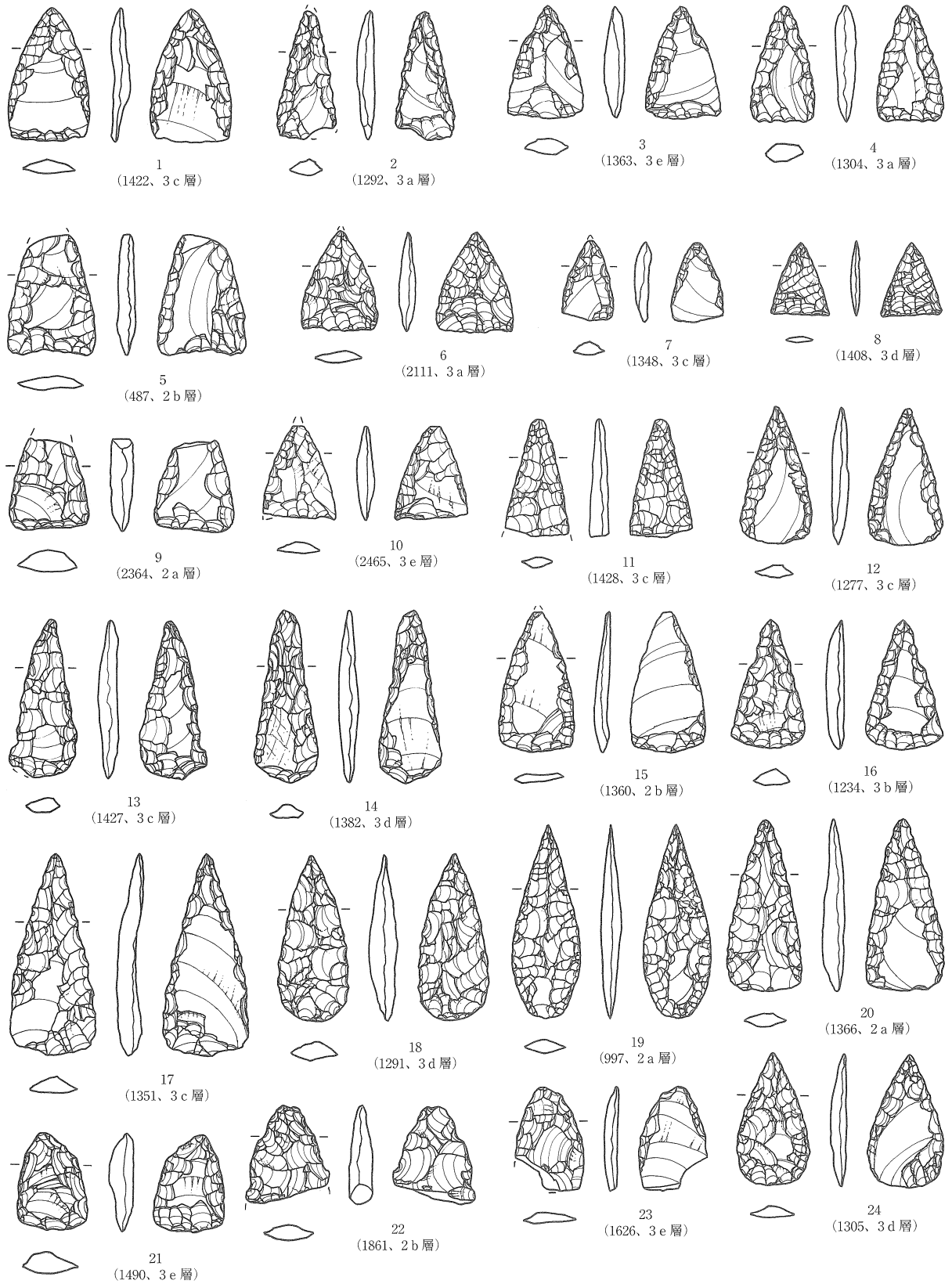


0 10cm

第176図 南部捨て場出土石器(2)

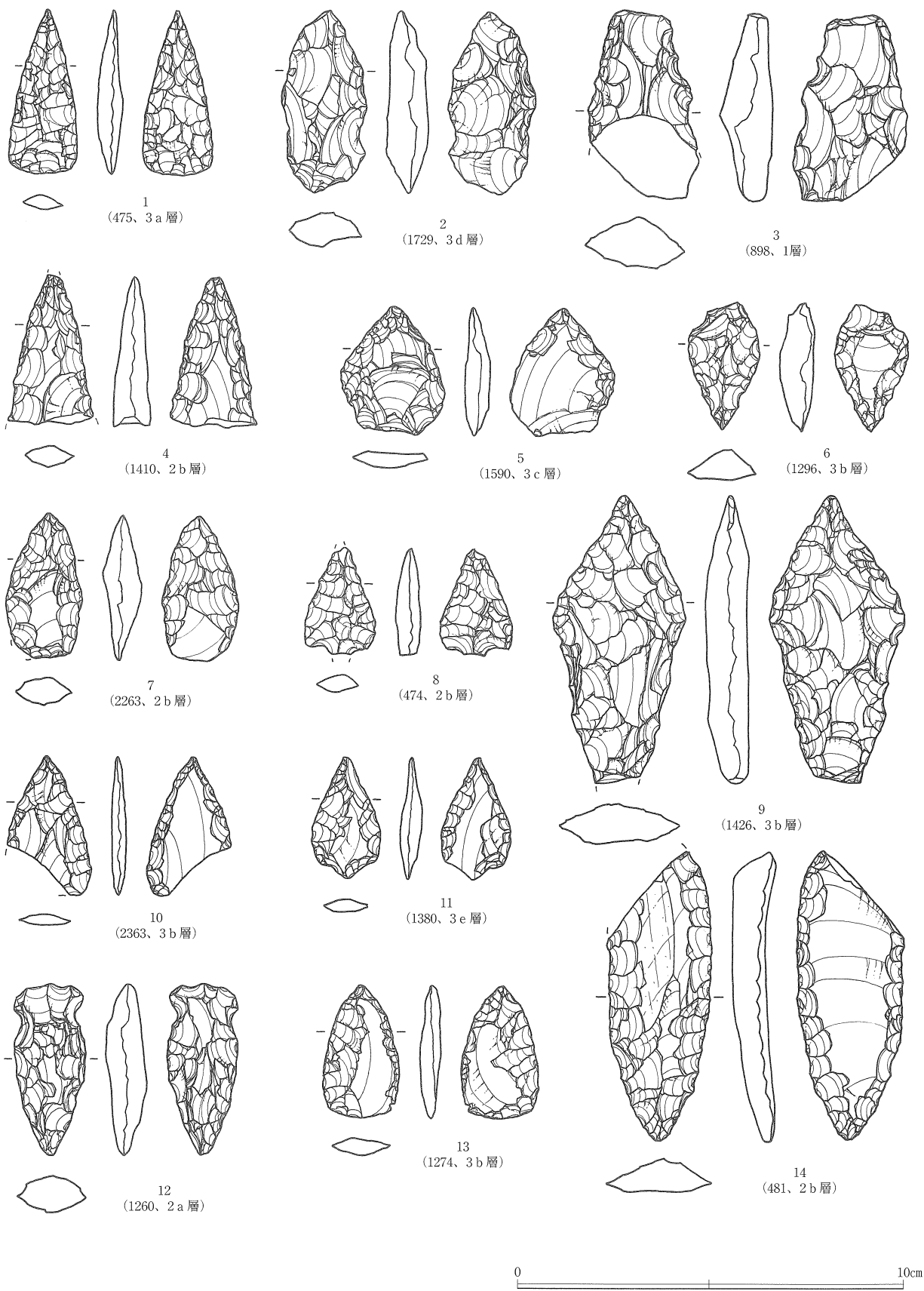


第177図 南部捨て場出土石器(3)

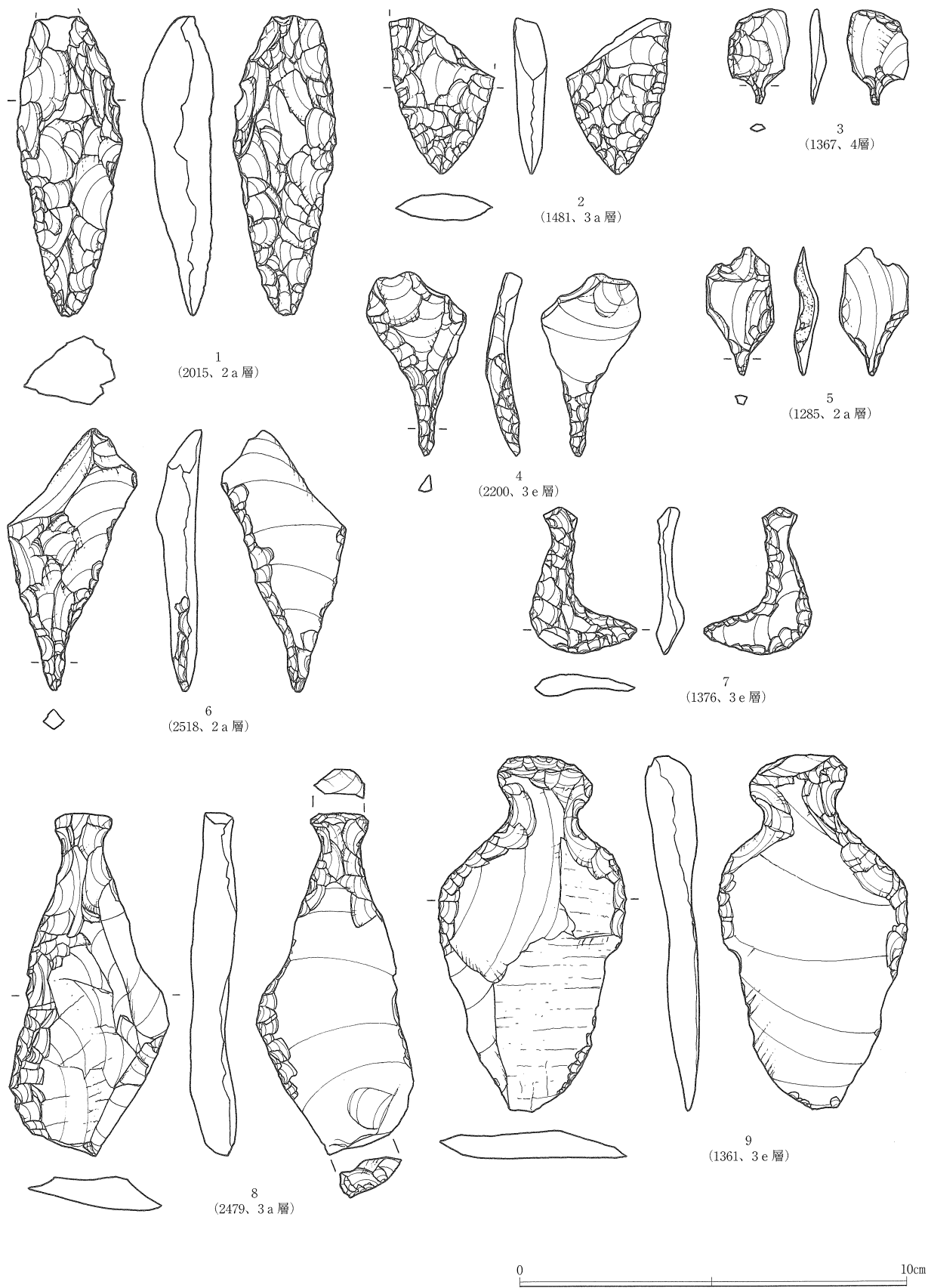


0 10cm

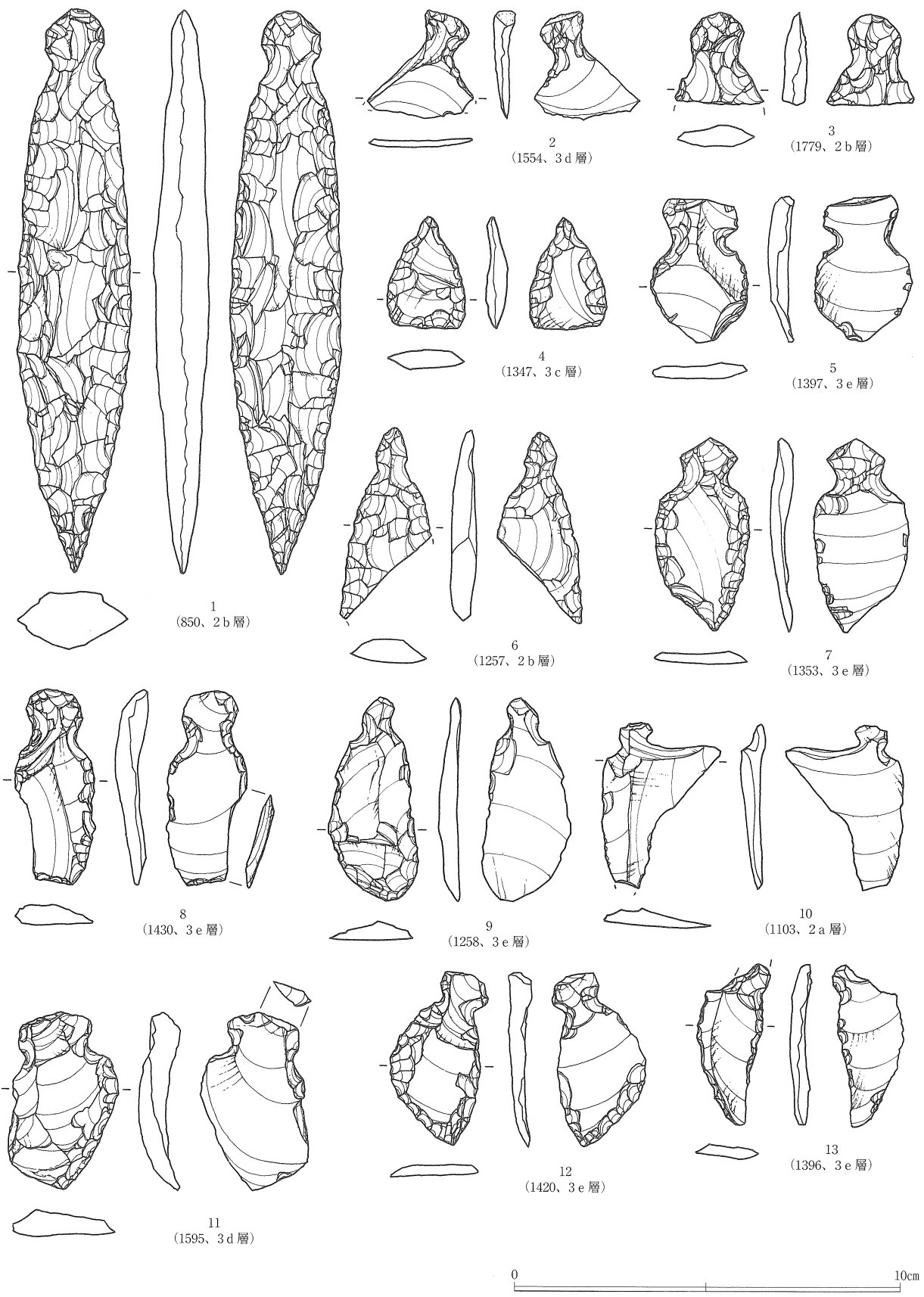
第178図 南部捨て場出土石器(4)



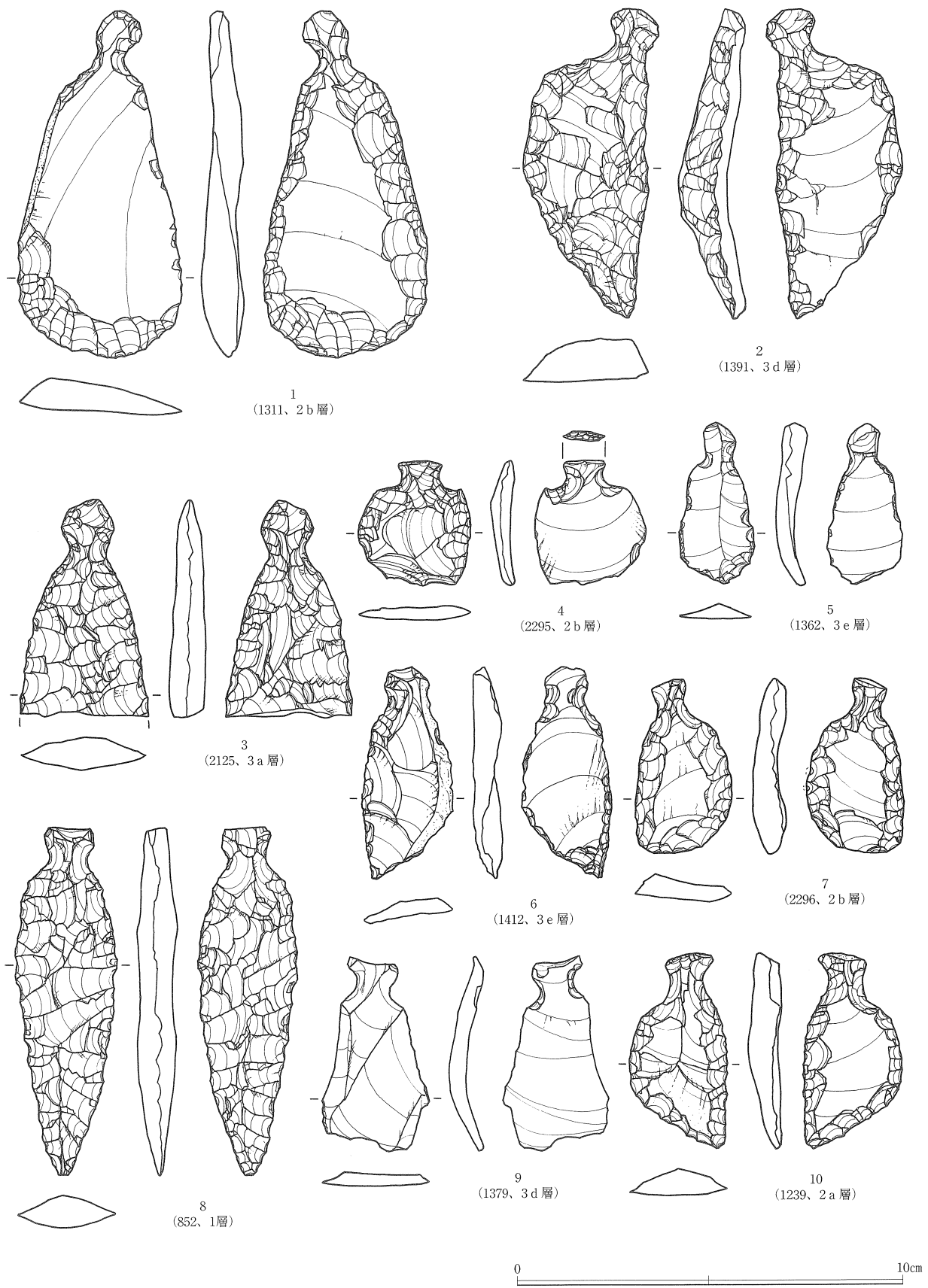
第179図 南部捨て場出土石器(5)



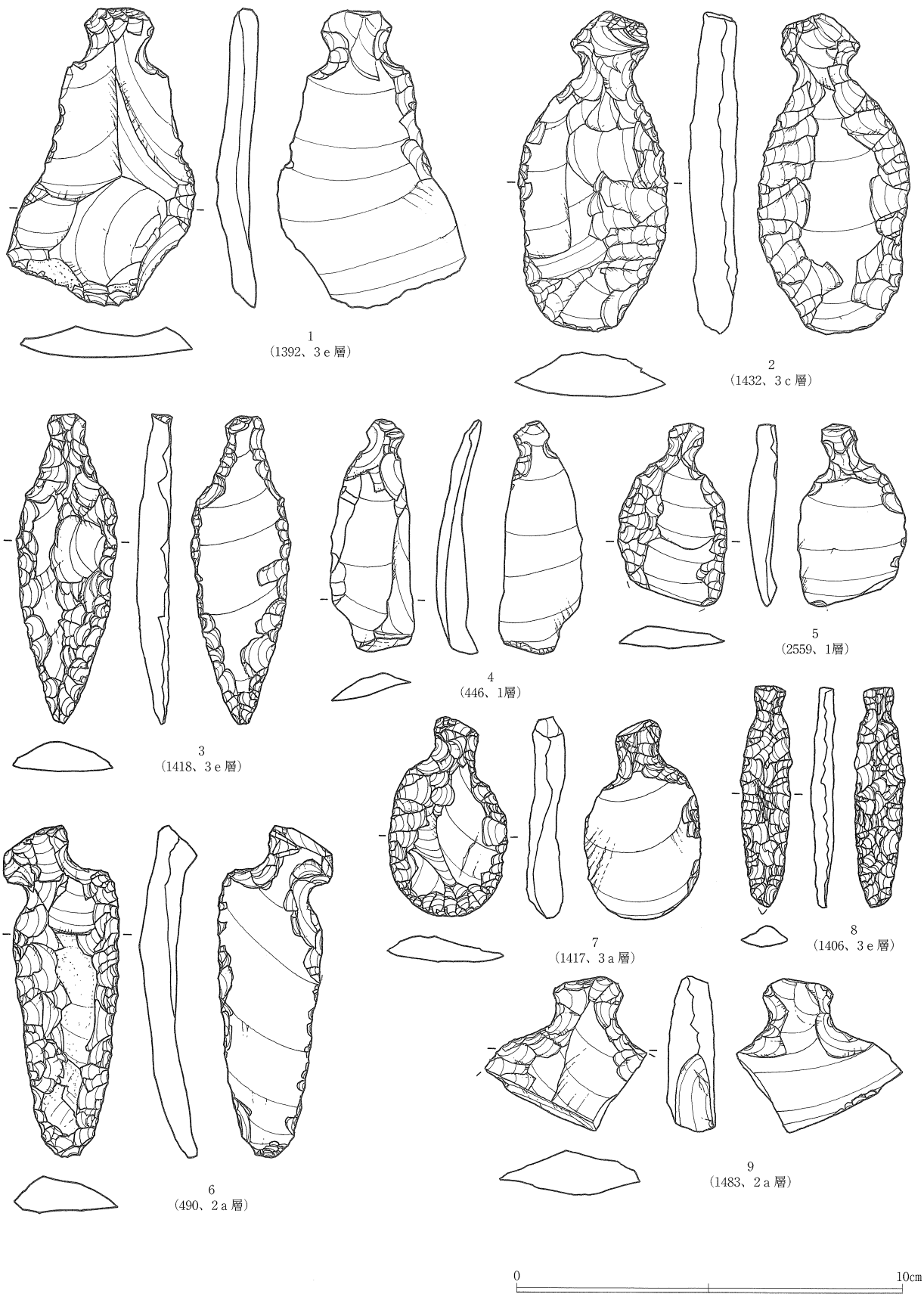
第180図 南部捨て場出土石器(6)



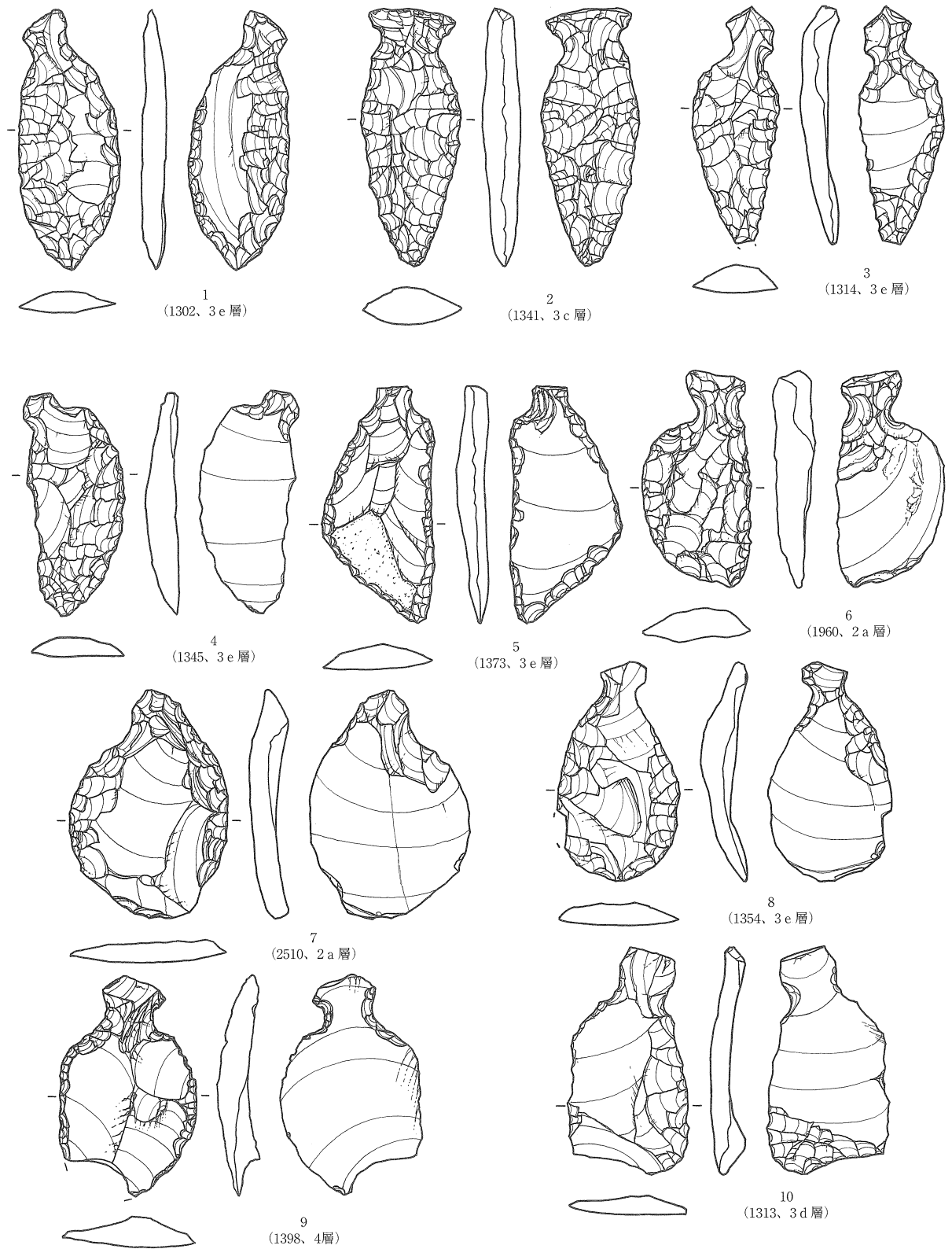
第181図 南部捨て場出土石器(7)



第182図 南部捨て場出土石器(8)

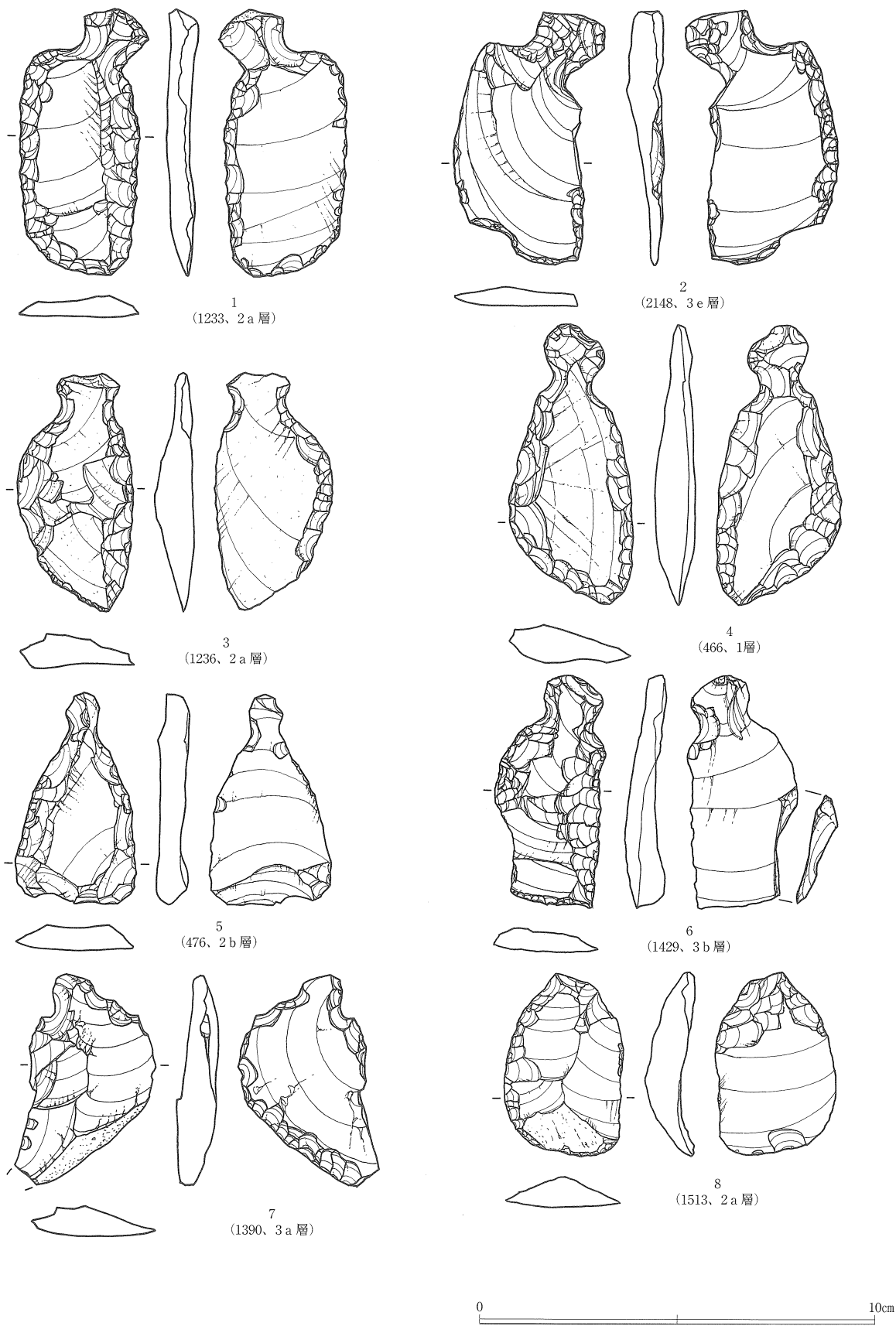


第183図 南部捨て場出土石器(9)

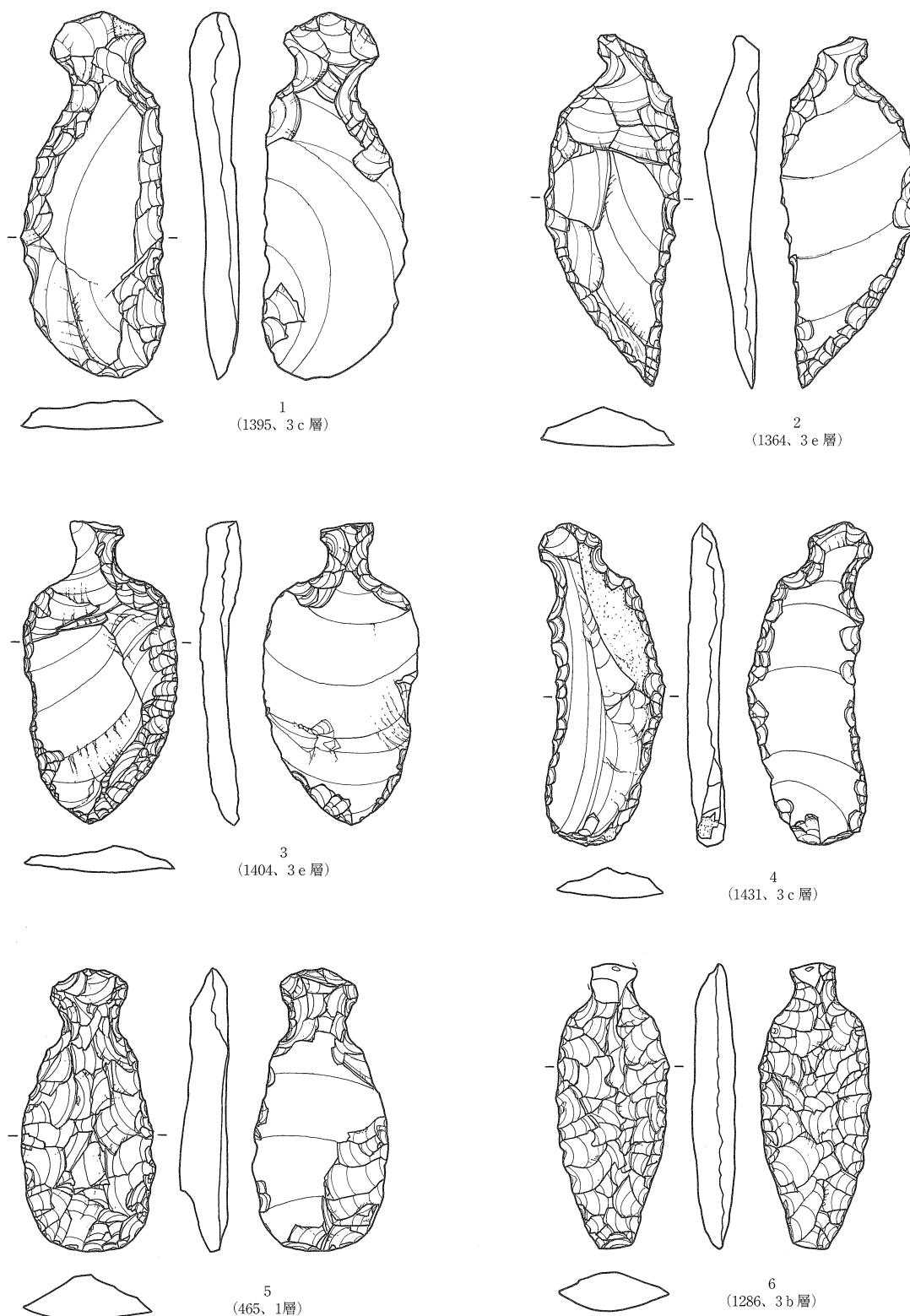


0 10cm

第184図 南部捨て場出土石器(10)

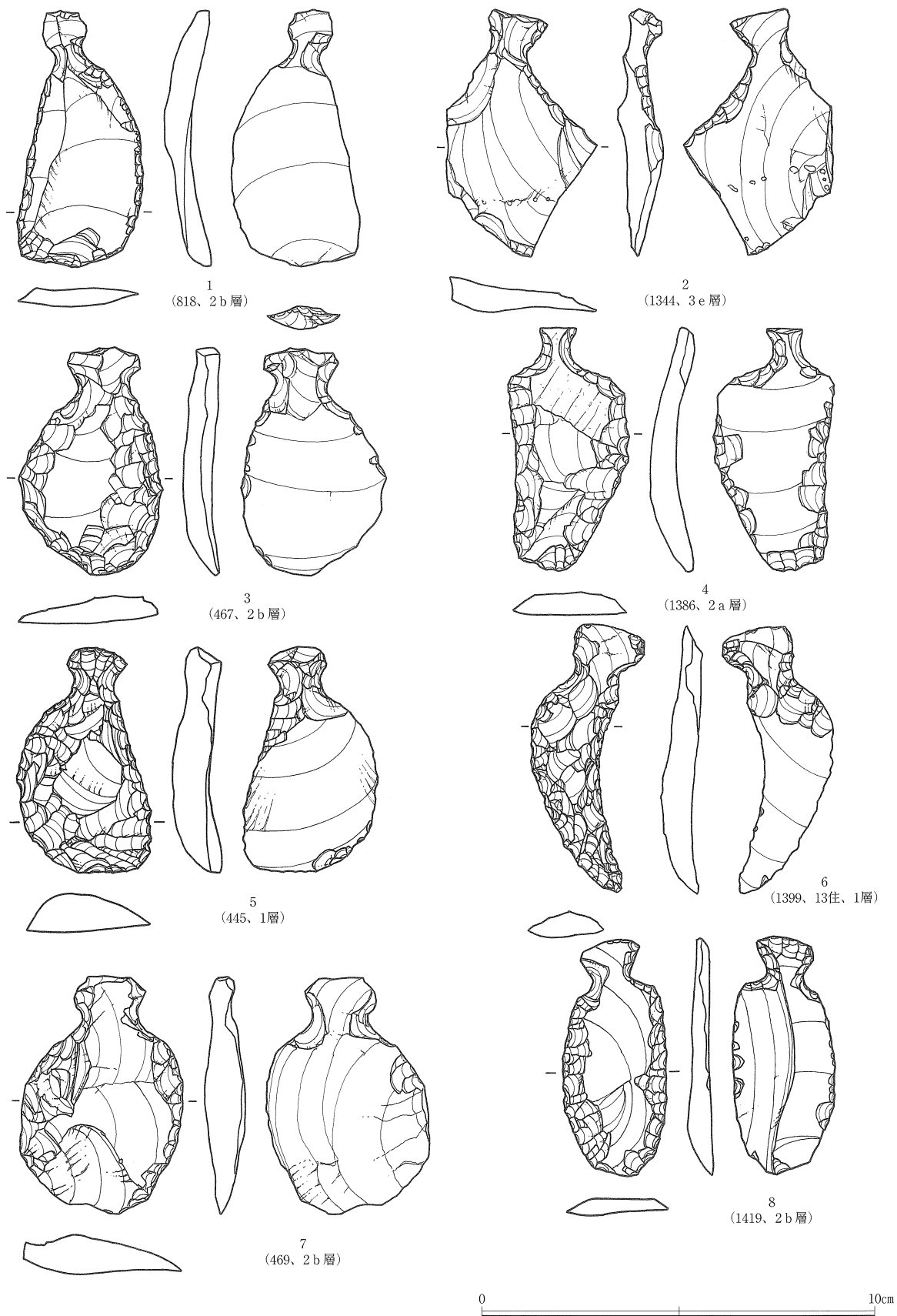


第185図 南部捨て場出土石器(11)

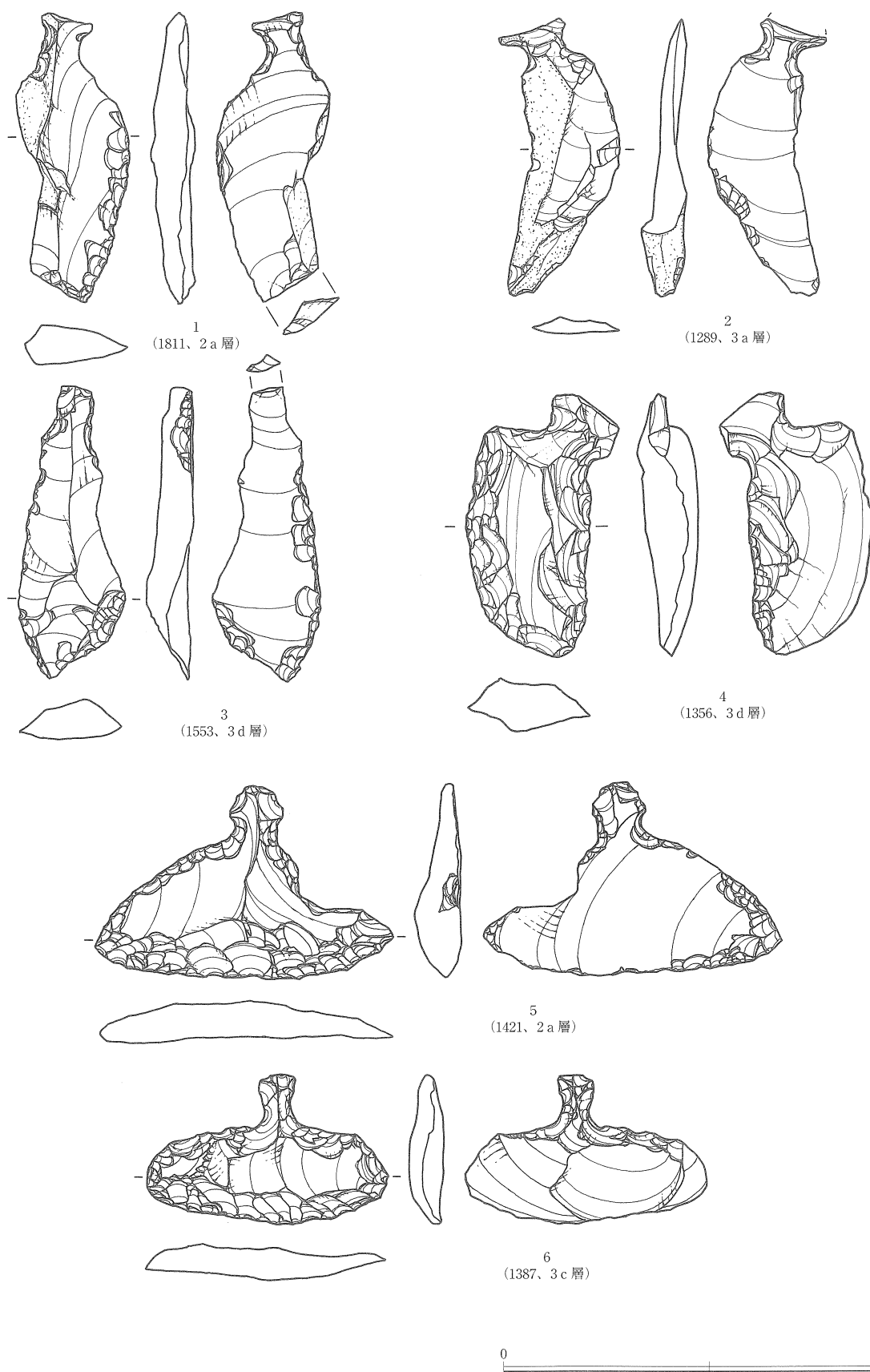


0 10cm

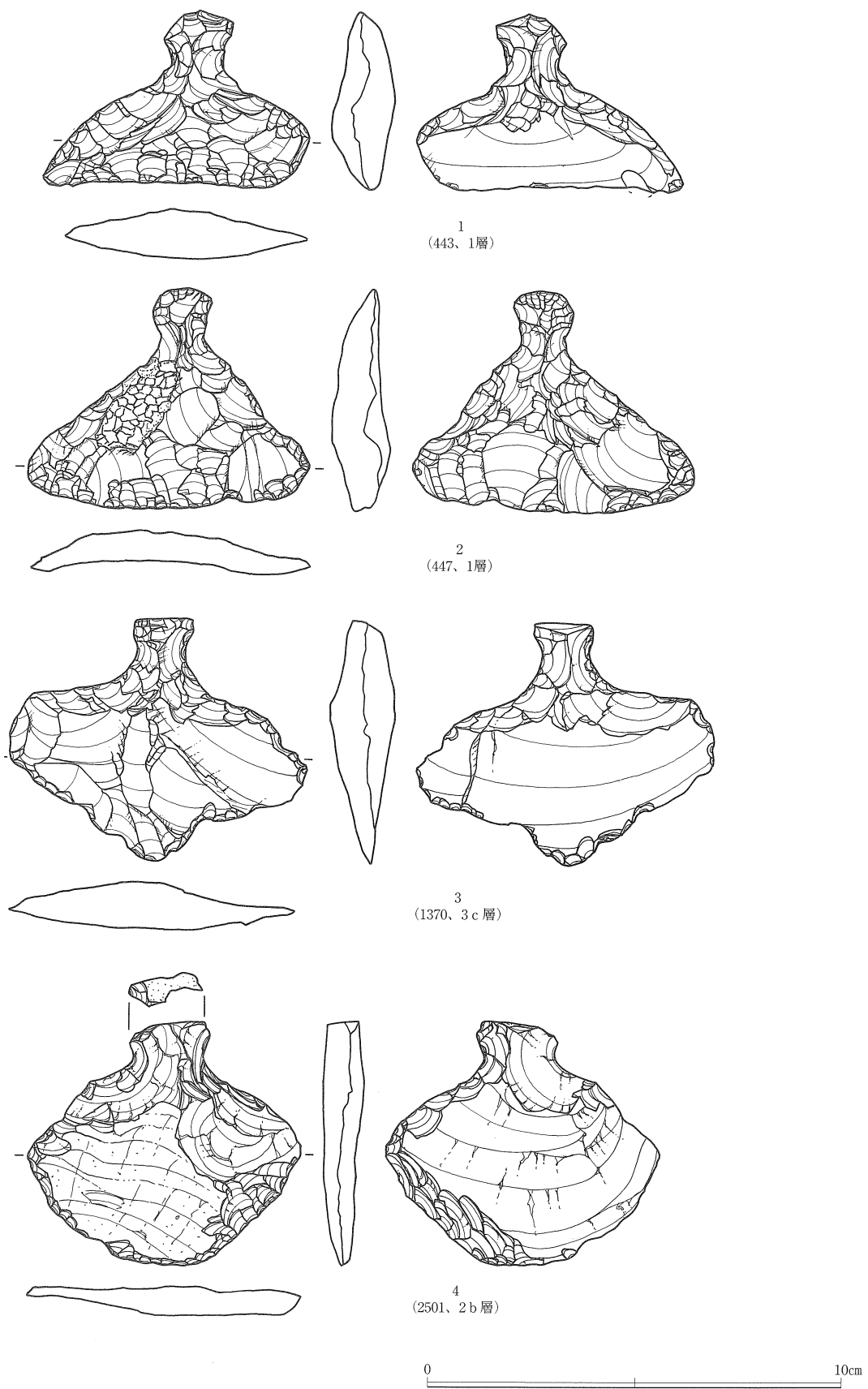
第186図 南部捨て場出土石器(12)



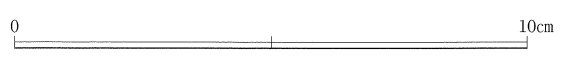
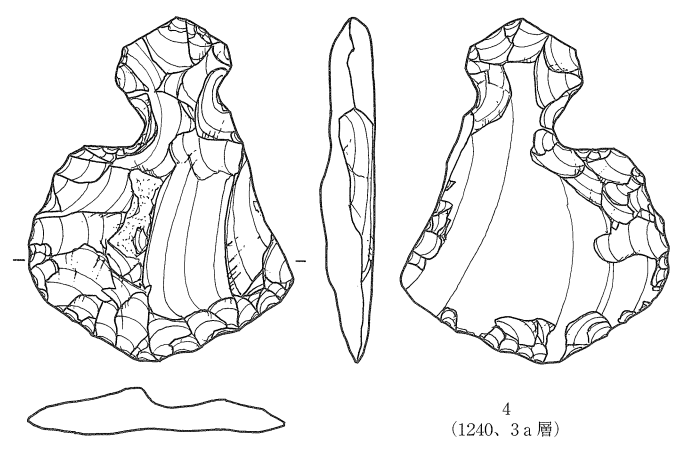
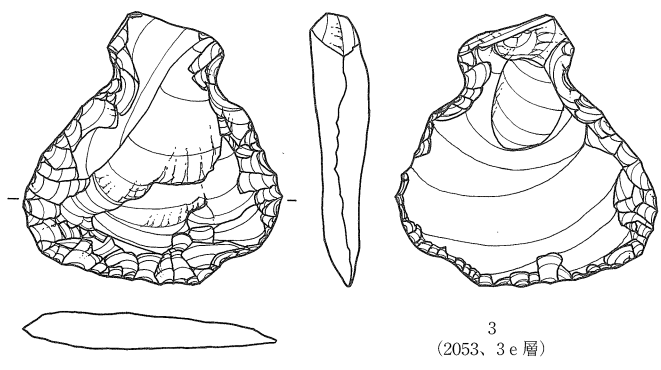
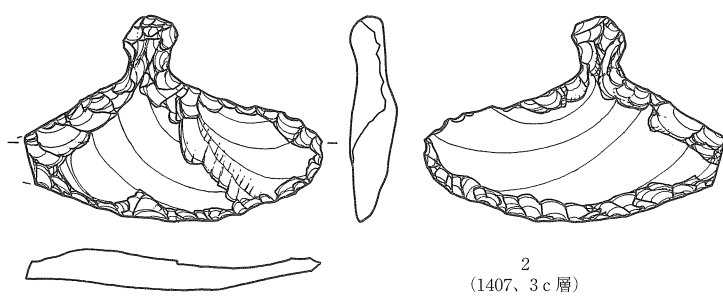
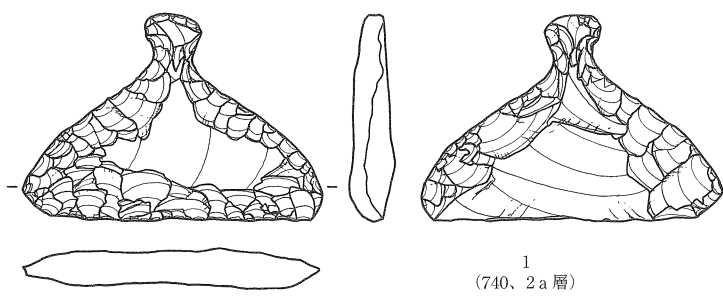
第187図 南部捨て場出土石器(13) (6をのぞく)



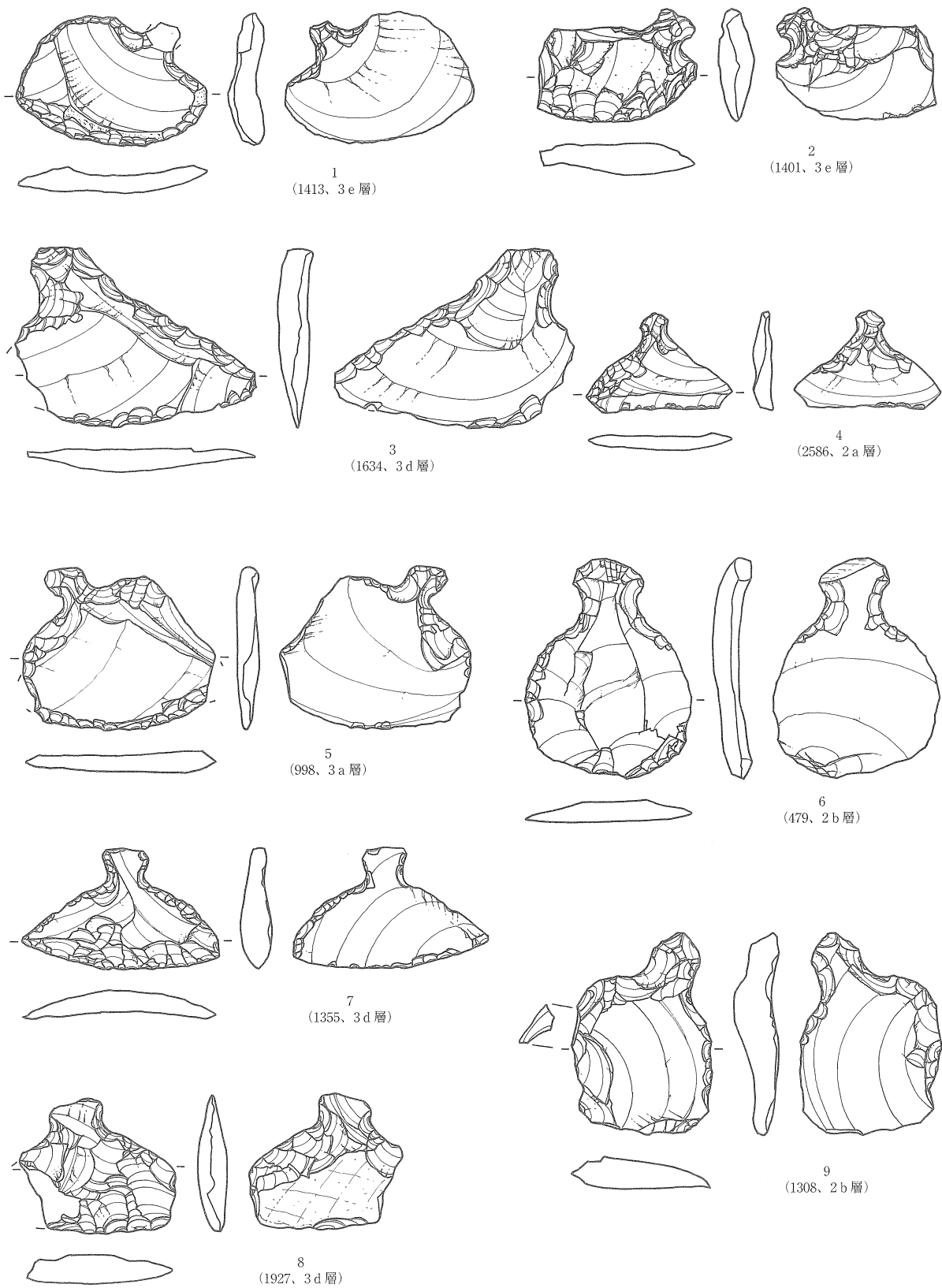
第188図 南部捨て場出土石器(14)



第189図 南部捨て場出土石器(15)

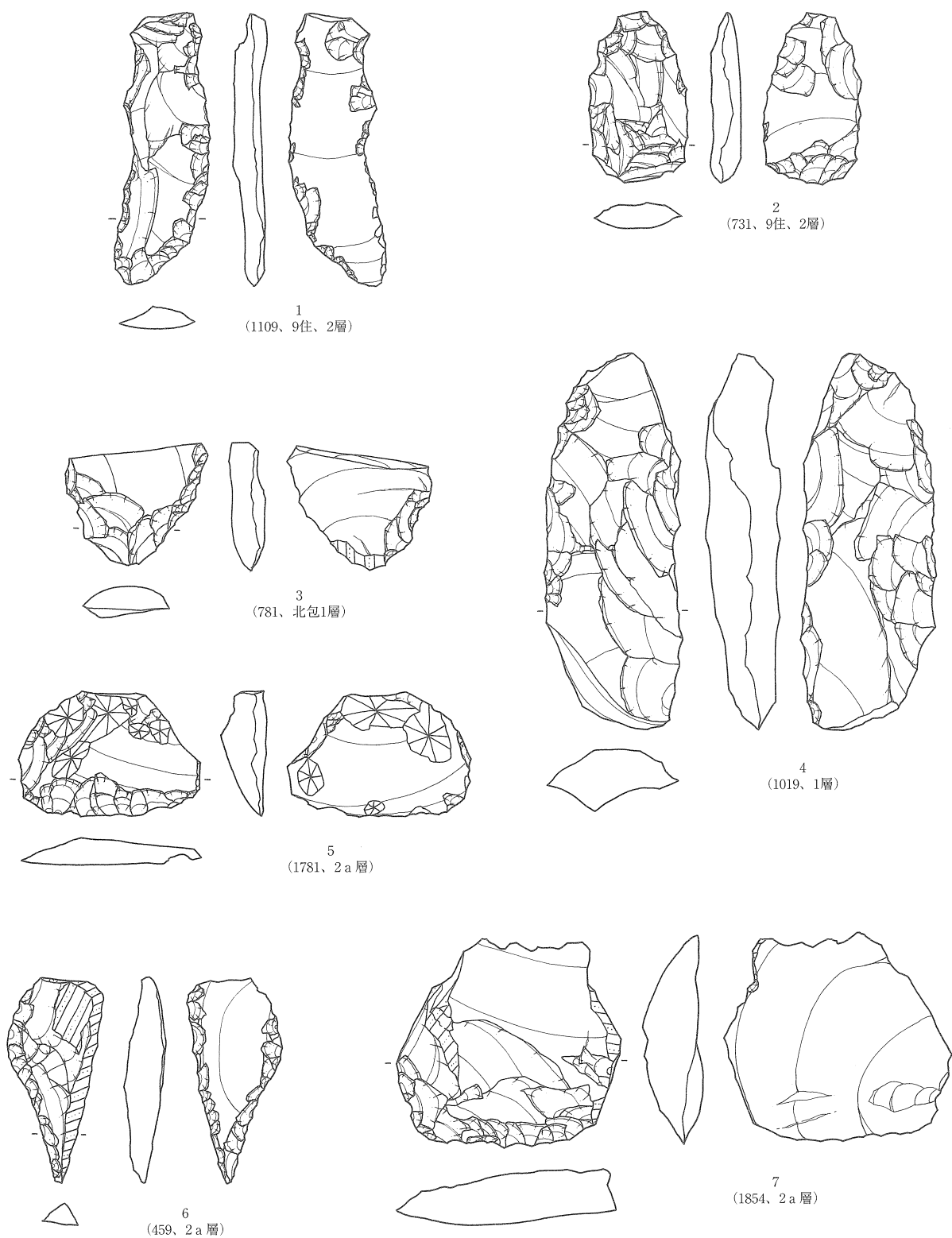


第190図 南部捨て場出土石器(16)



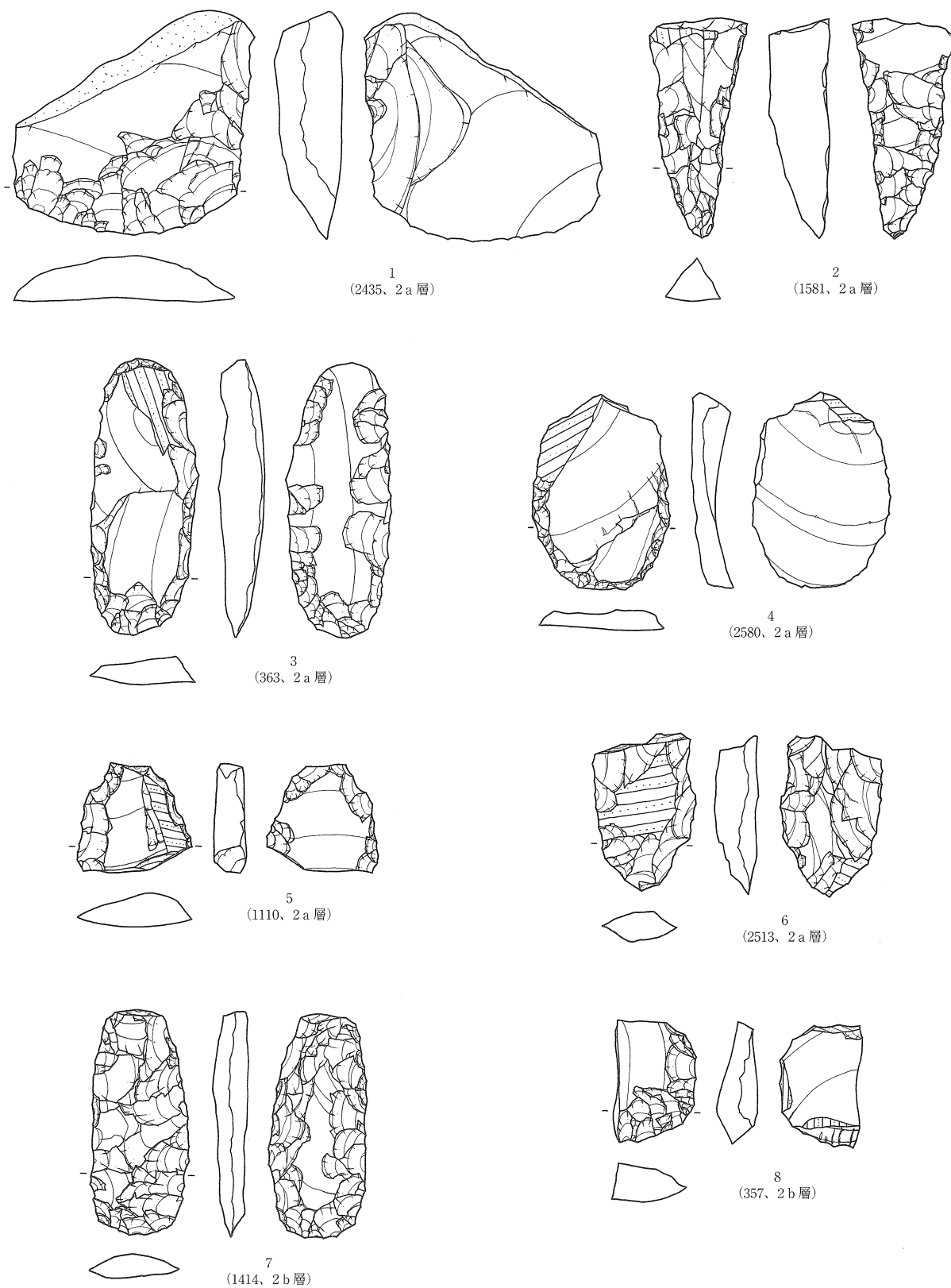
0 10cm

第191図 南部捨て場出土石器(17)



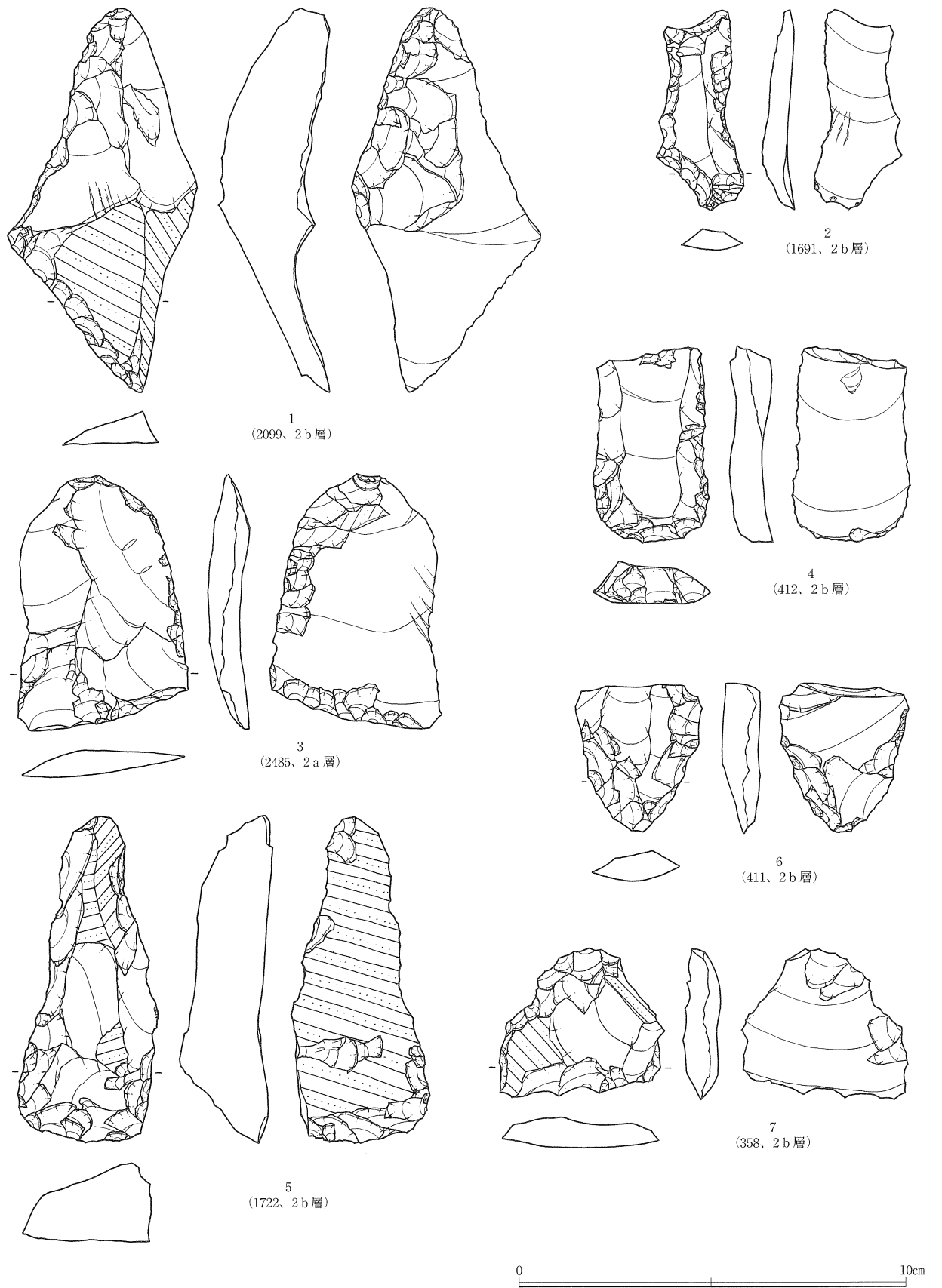
0 10cm

第192図 遺構外・南部捨て場出土スクレイパー(1)

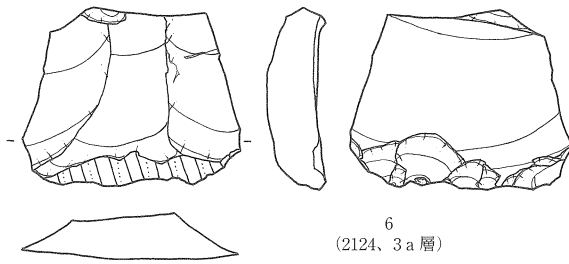
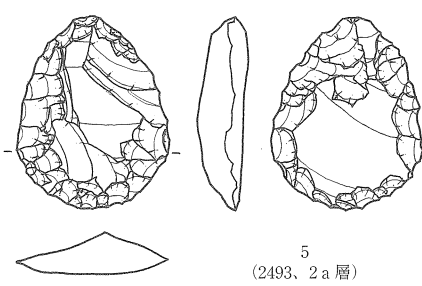
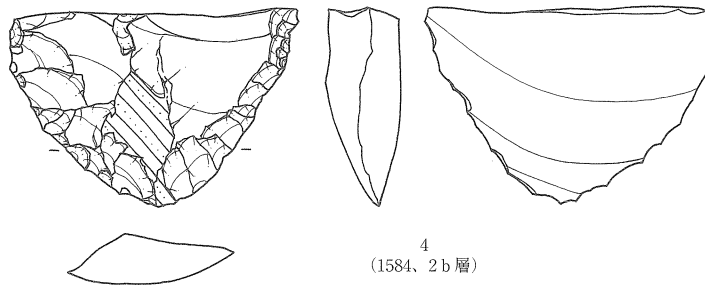
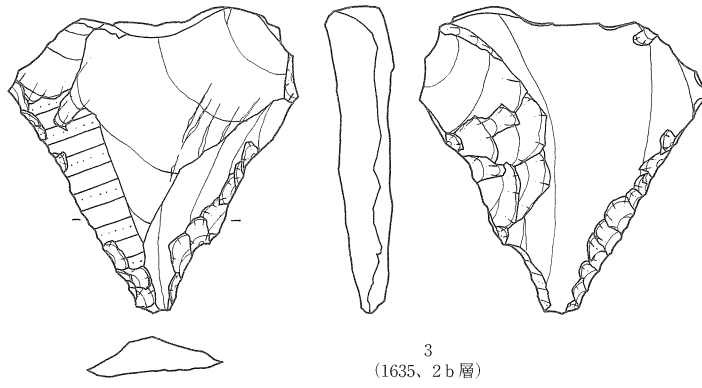
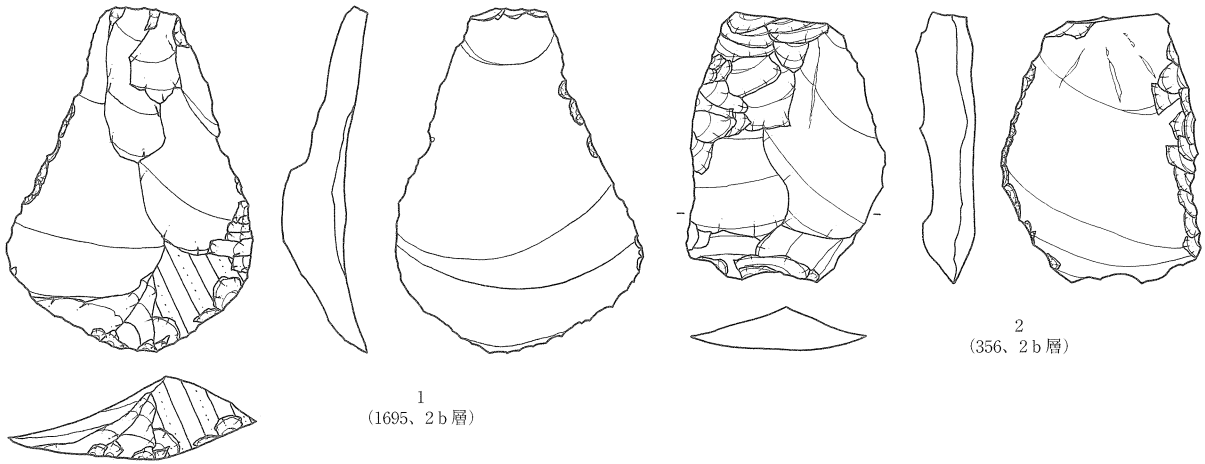


0 10cm

第193図 南部捨て場出土スクレイパー(2)

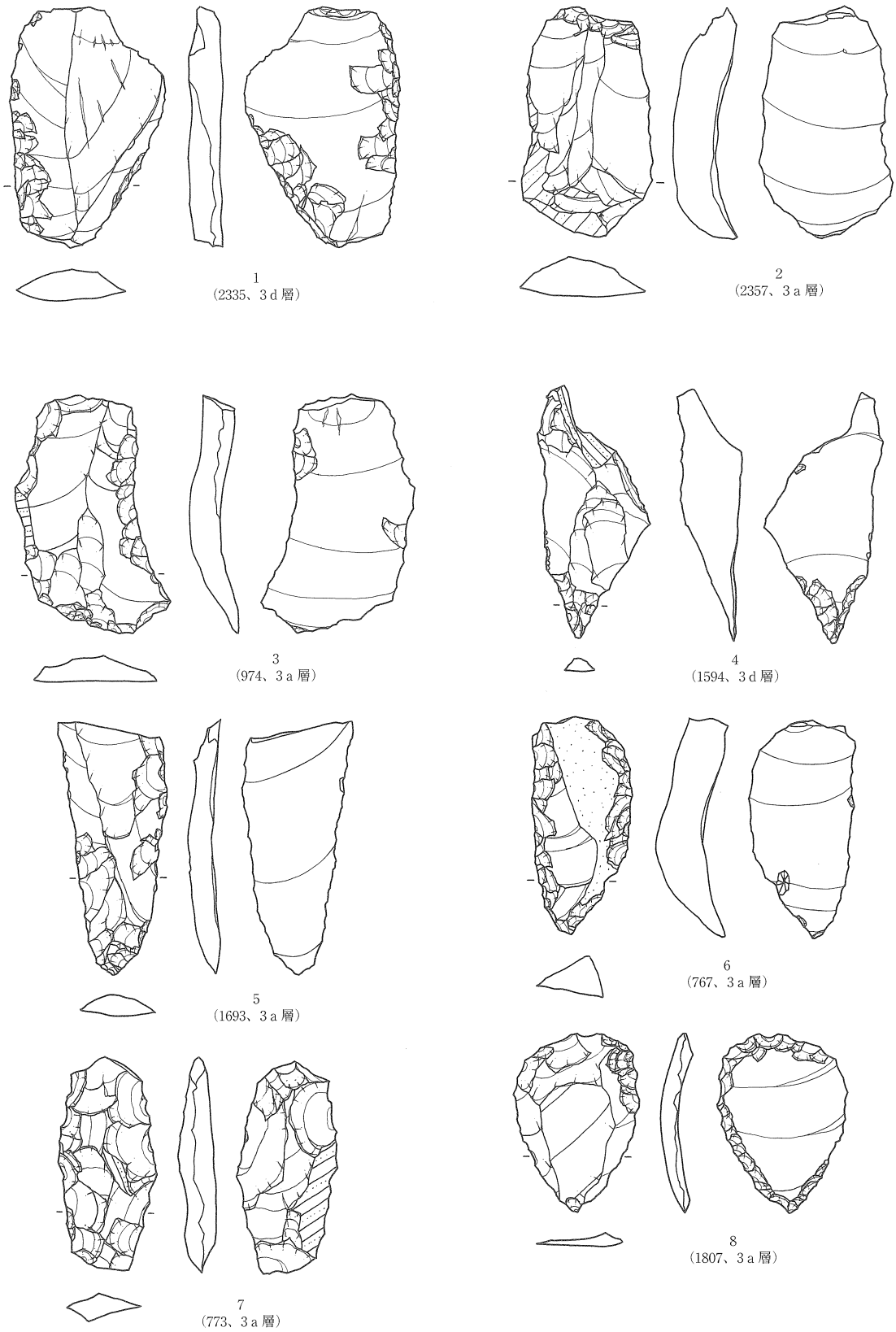


第194図 南部捨て場出土スクレイパー(3)



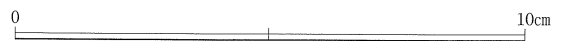
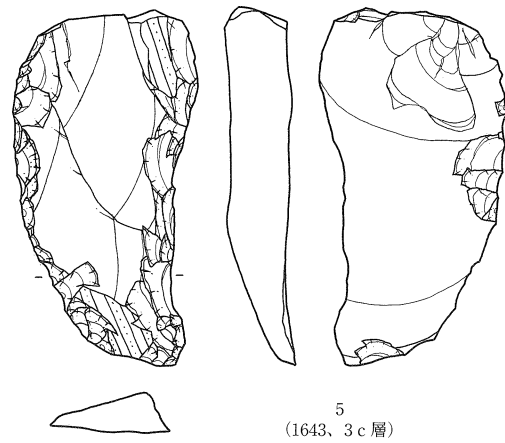
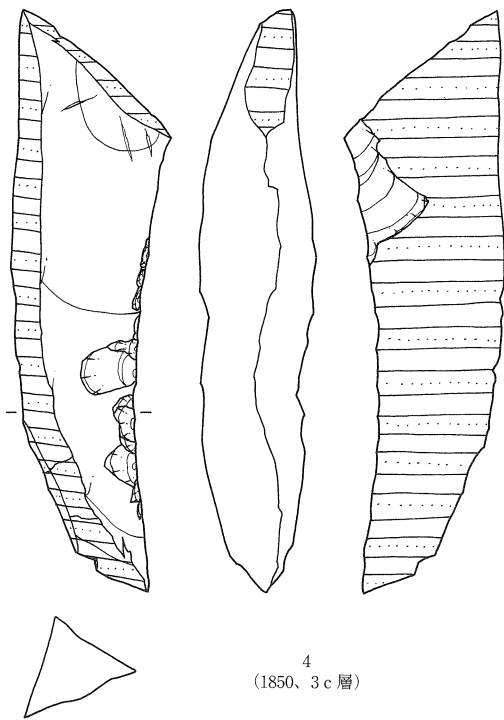
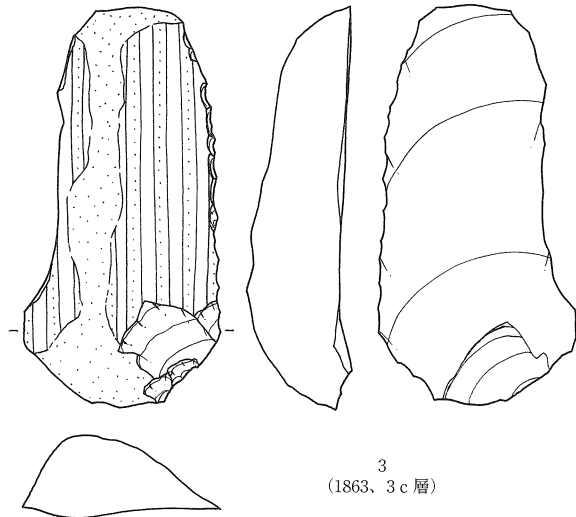
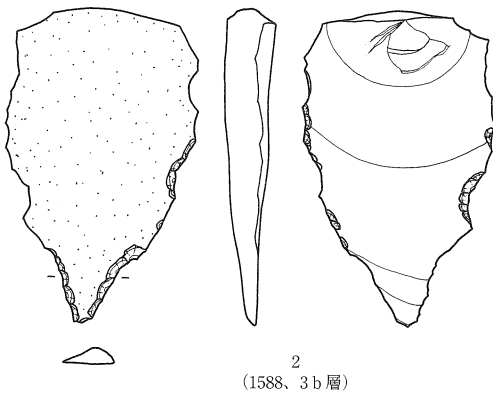
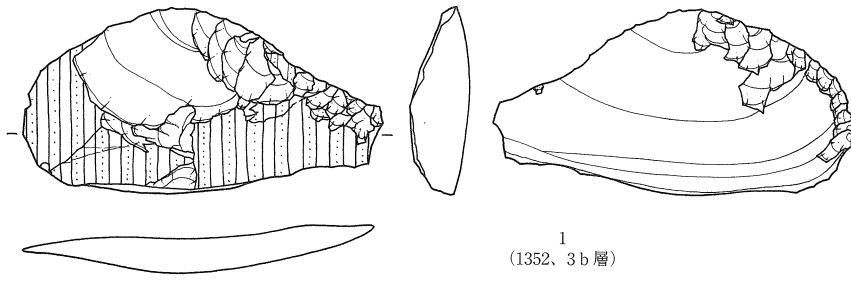
0 10cm

第195図 南部捨て場出土スクレイパー(4)

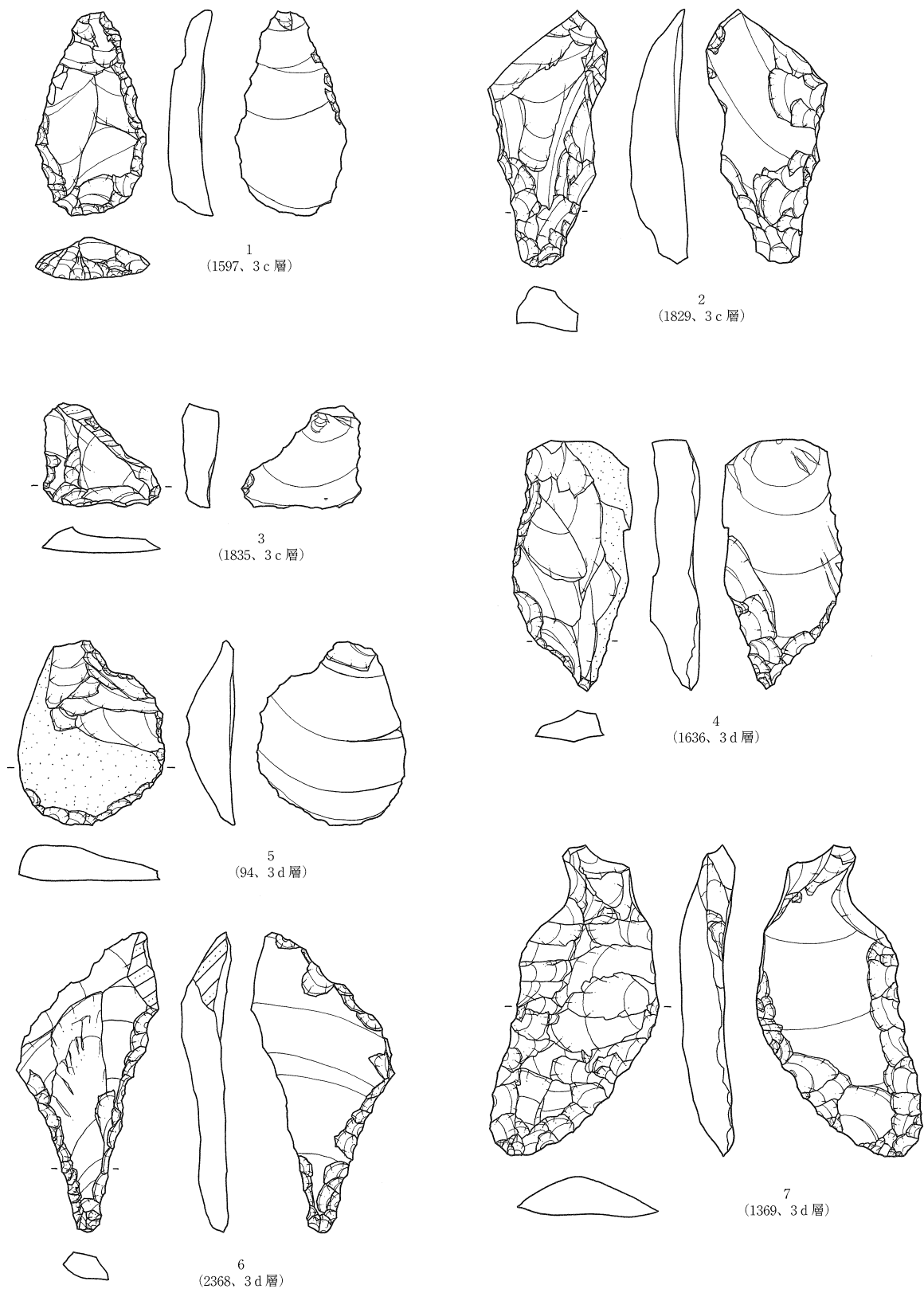


0 10cm

第196図 南部捨て場出土スクレイパー(5)

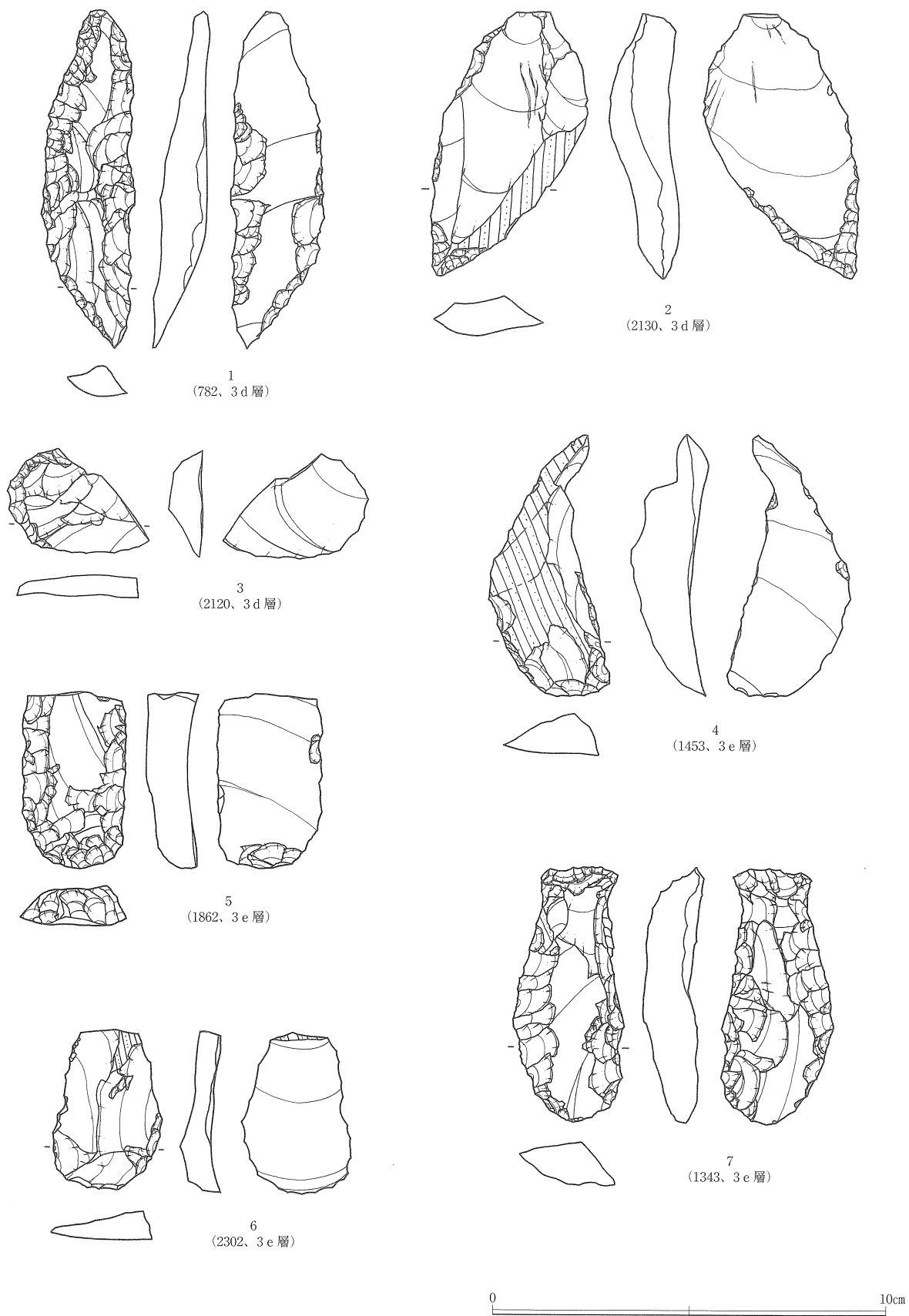


第197図 南部捨て場出土スクレイパー(6)

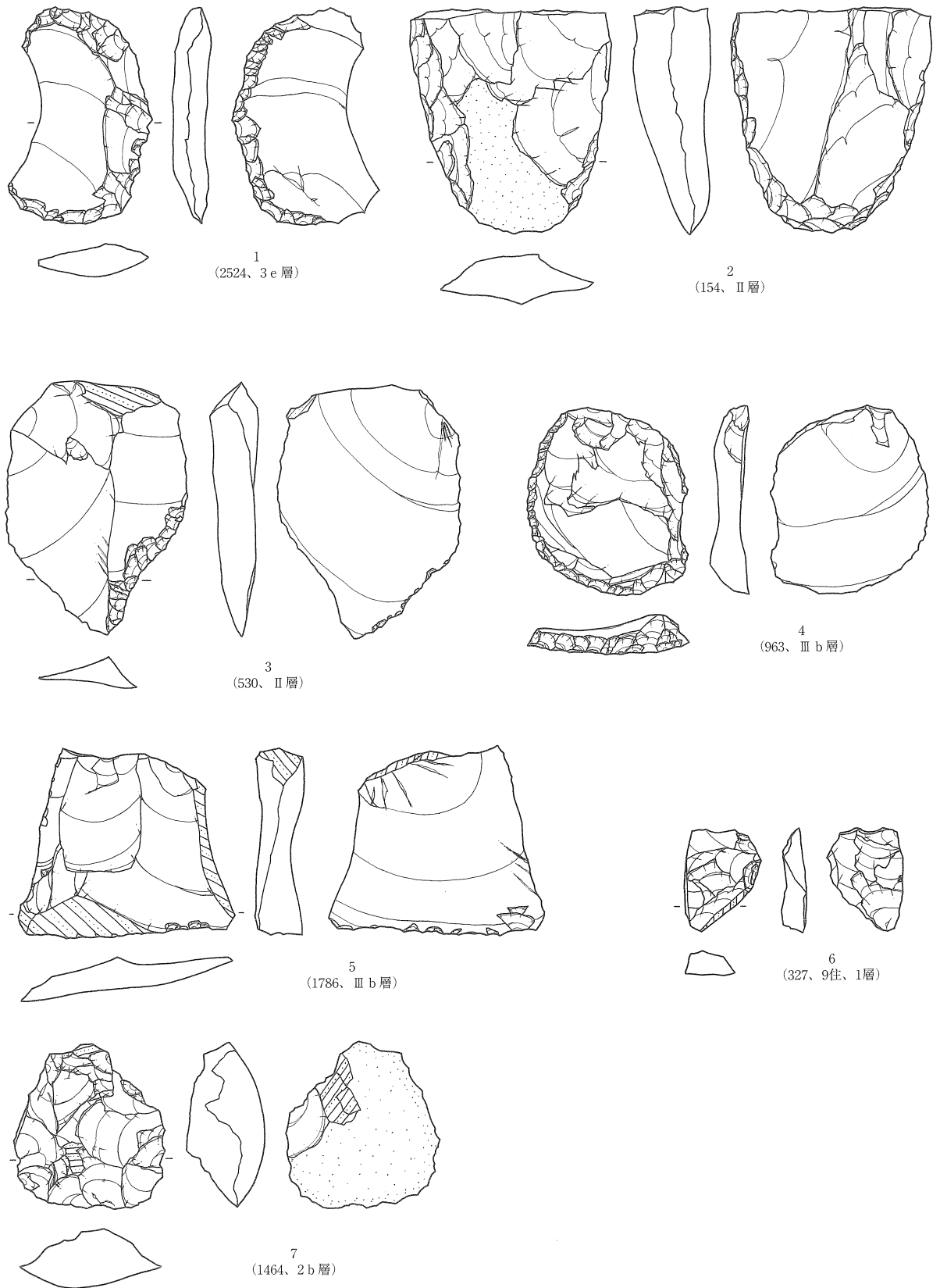


0 10cm

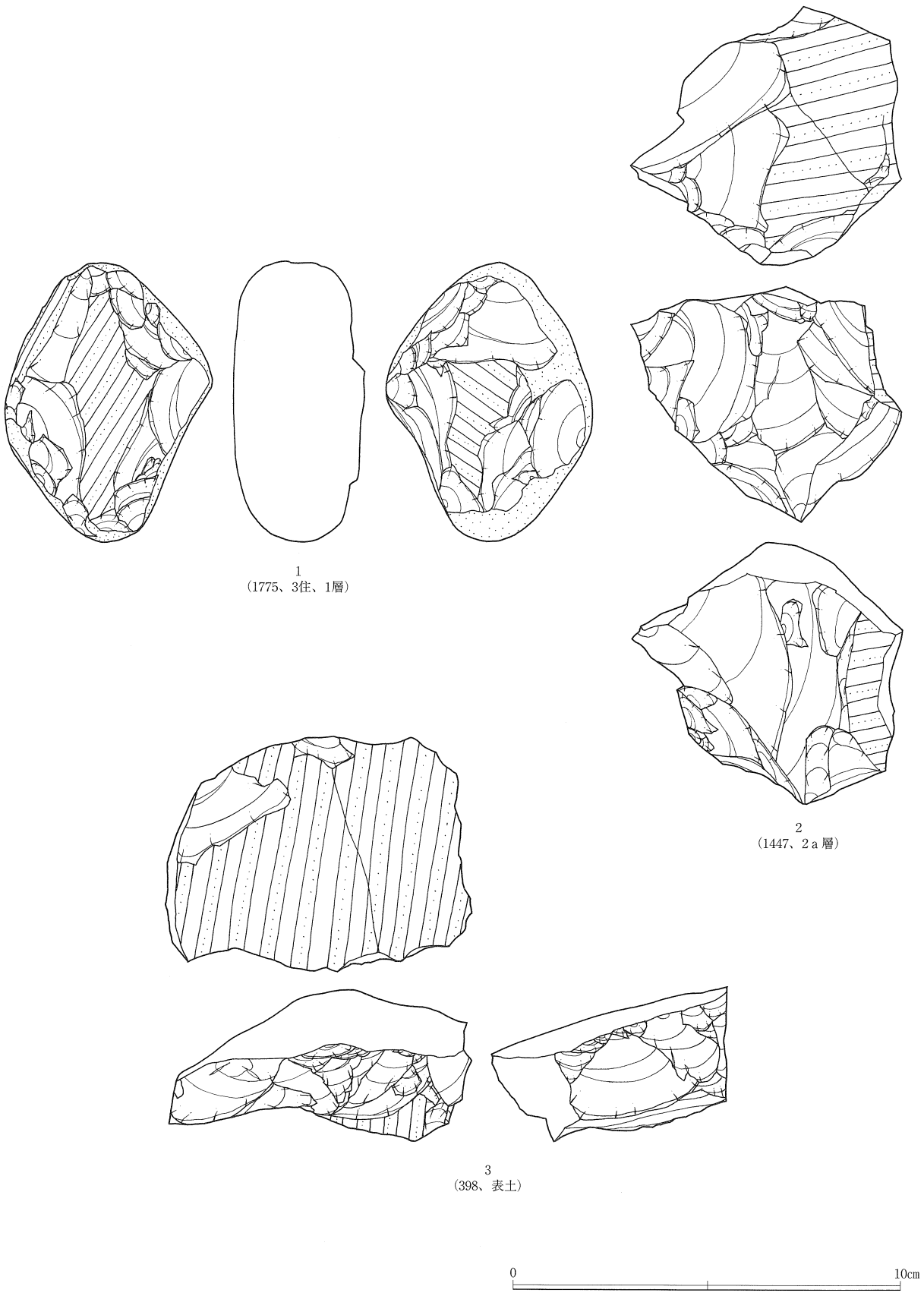
第198図 南部捨て場出土スクレイパー(7)



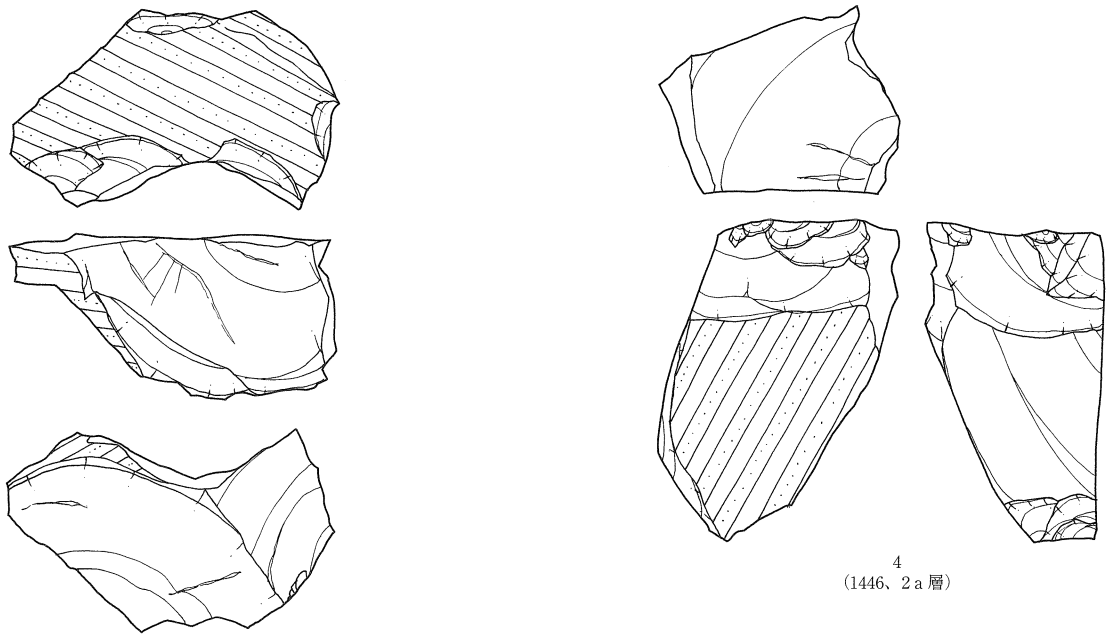
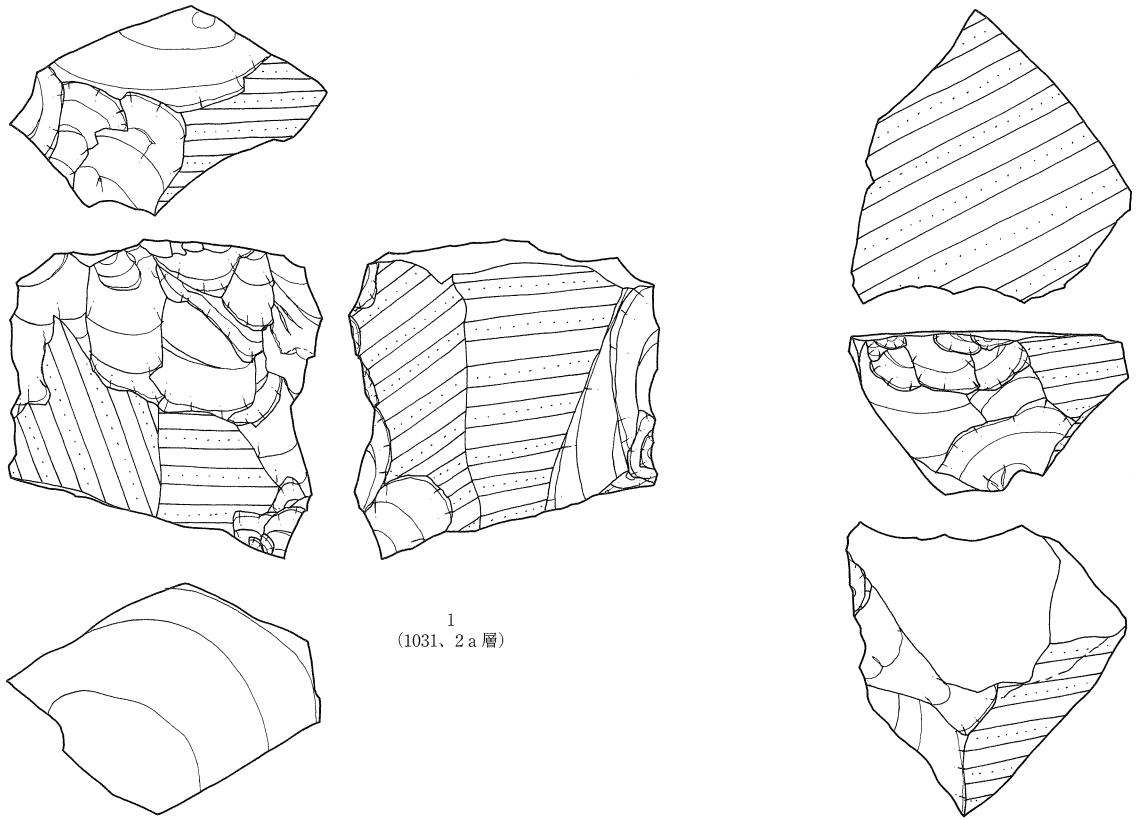
第199図 南部捨て場出土スクレイパー(8)



第200図 南部捨て場出土スクレイパー(9)

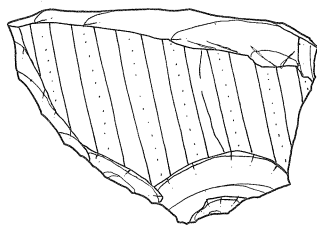
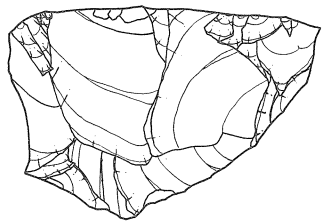


第201図 出土石核(1)

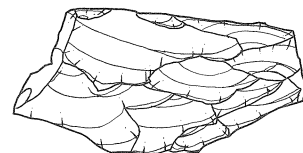
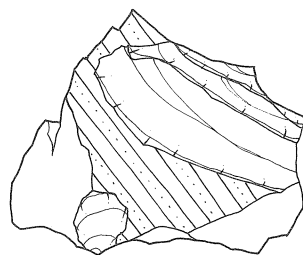


0 10cm

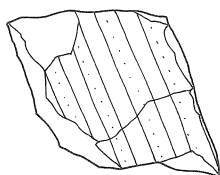
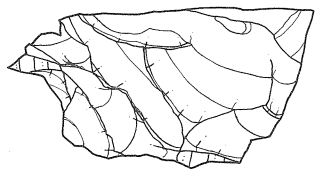
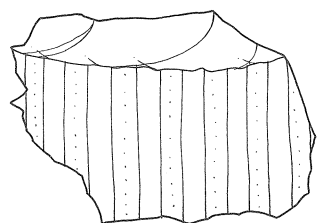
第202図 出土石核(2)



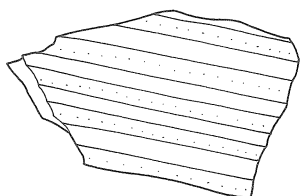
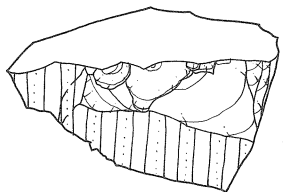
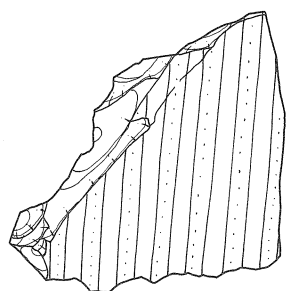
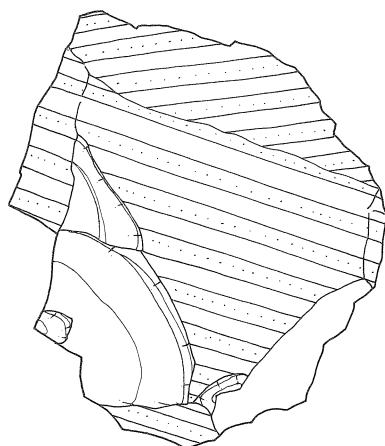
1
(1449、2a層)



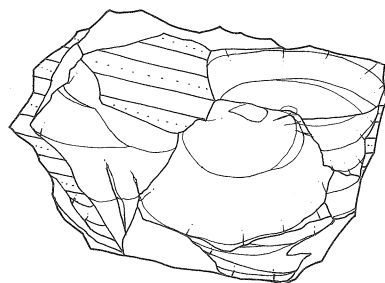
2
(377、表土)



3
(928、2b層)



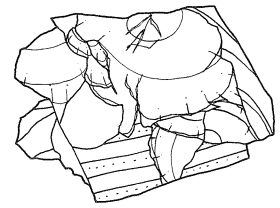
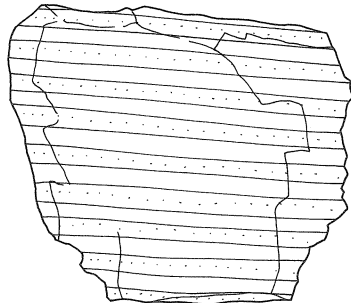
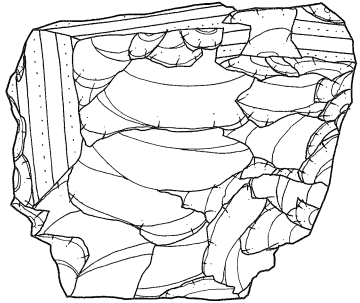
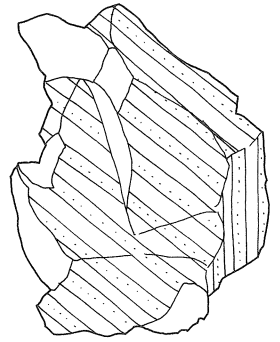
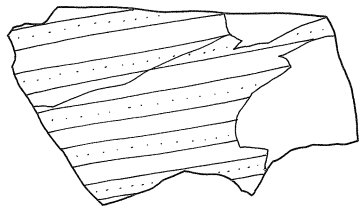
4
(359、表土)



5
(418、表土)

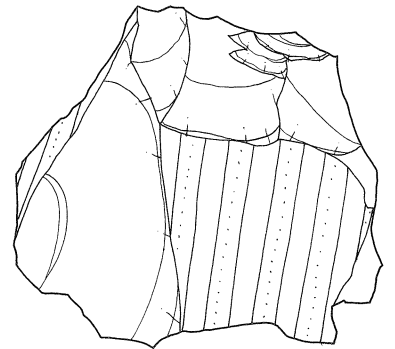
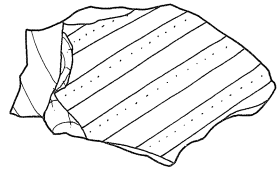


第203図 出土石核(3)

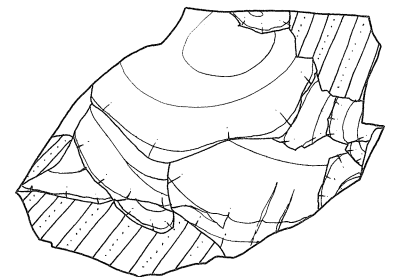
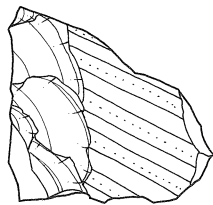


1
(526、2b層)

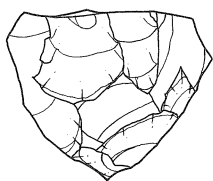
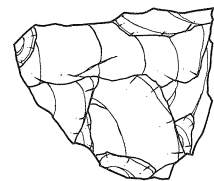
2
(2359、3a層)



3
(416、表土)



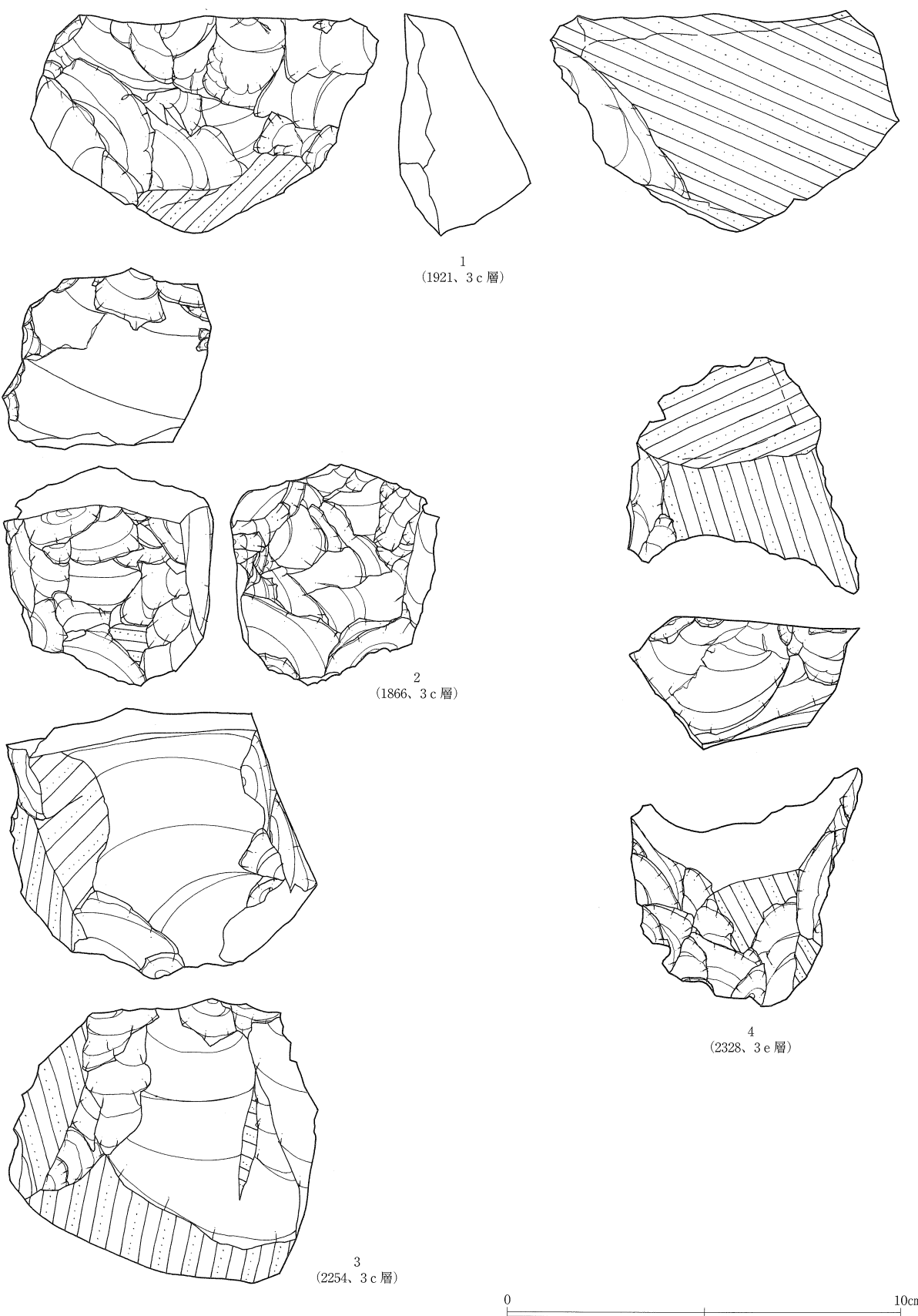
5
(2318、3b層)



4
(1814、3b層)



第204図 出土石核(4)



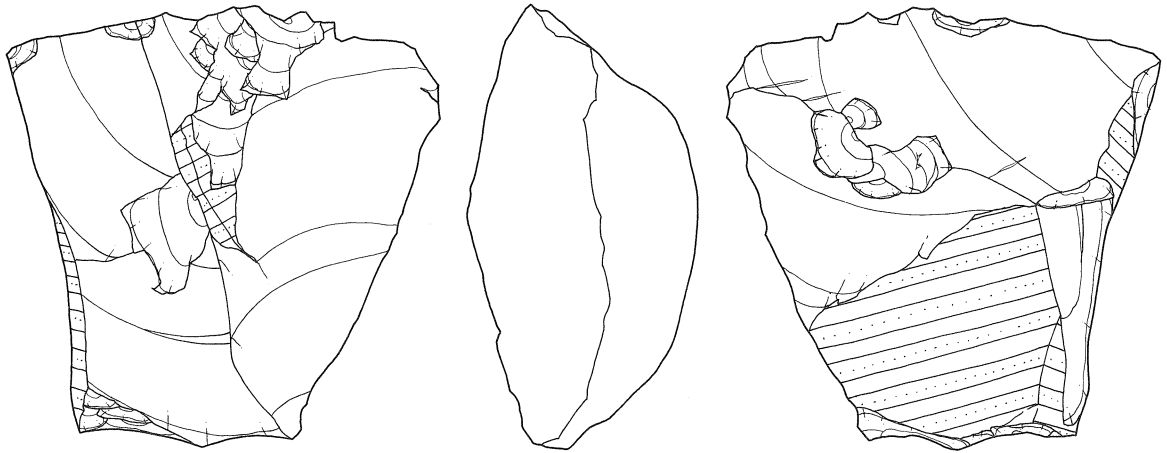
1
(1921、3c層)

2
(1866、3c層)

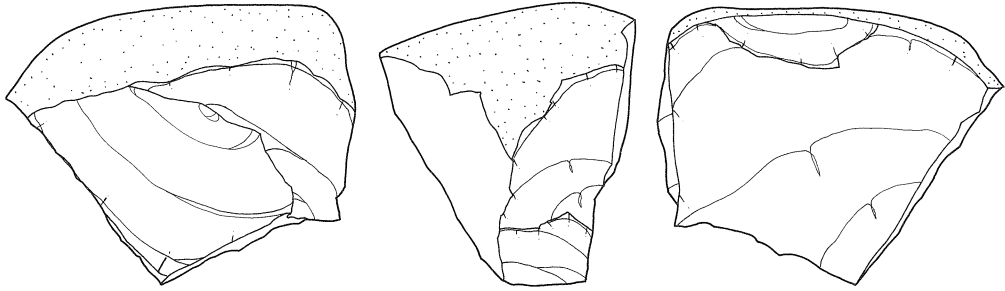
4
(2328、3e層)

3
(2254、3c層)

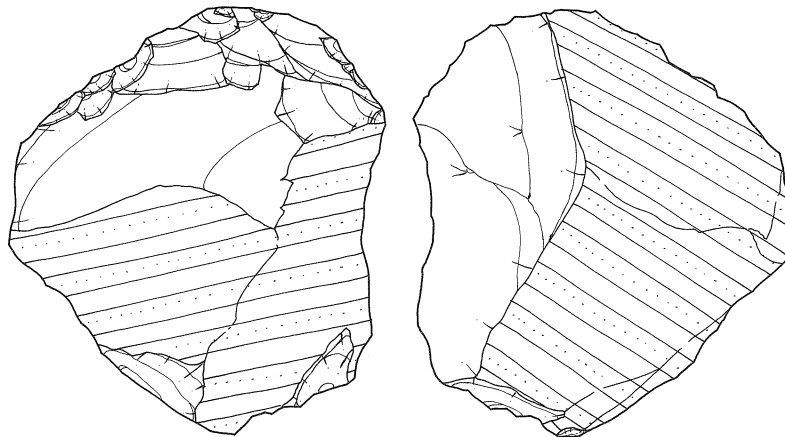
第205図 出土石核(5)



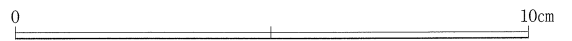
1
(2329、3e層)



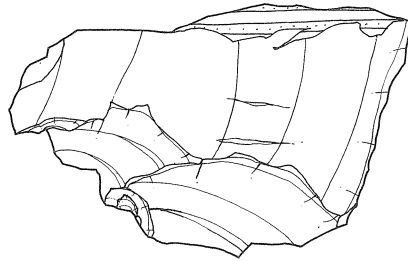
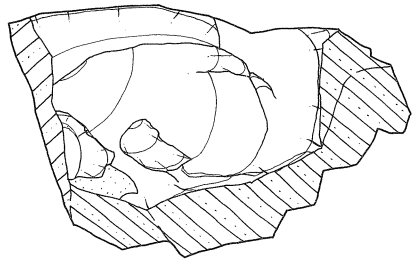
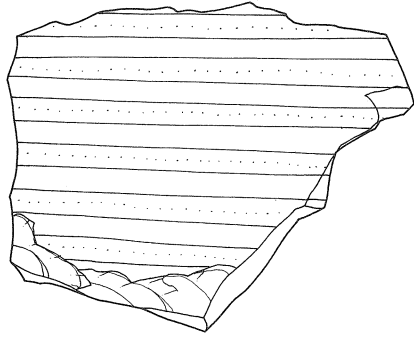
2
(1939、3e層)



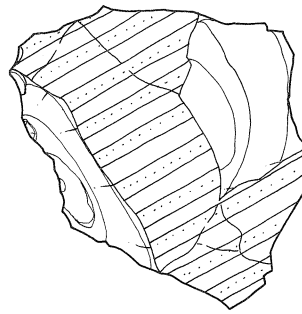
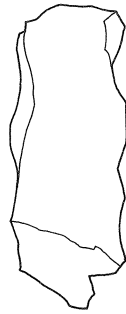
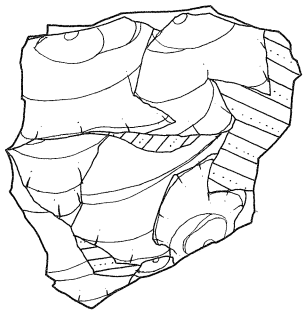
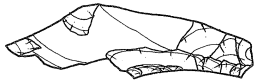
3
(1924、3e層)



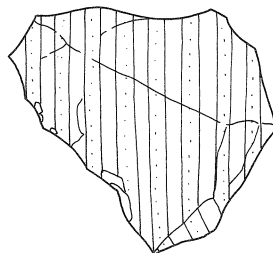
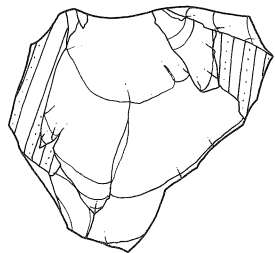
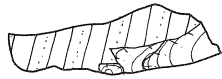
第206图 出土石核(6)



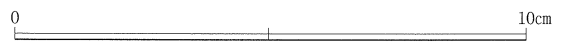
1
(1033、Ⅲ a 層)



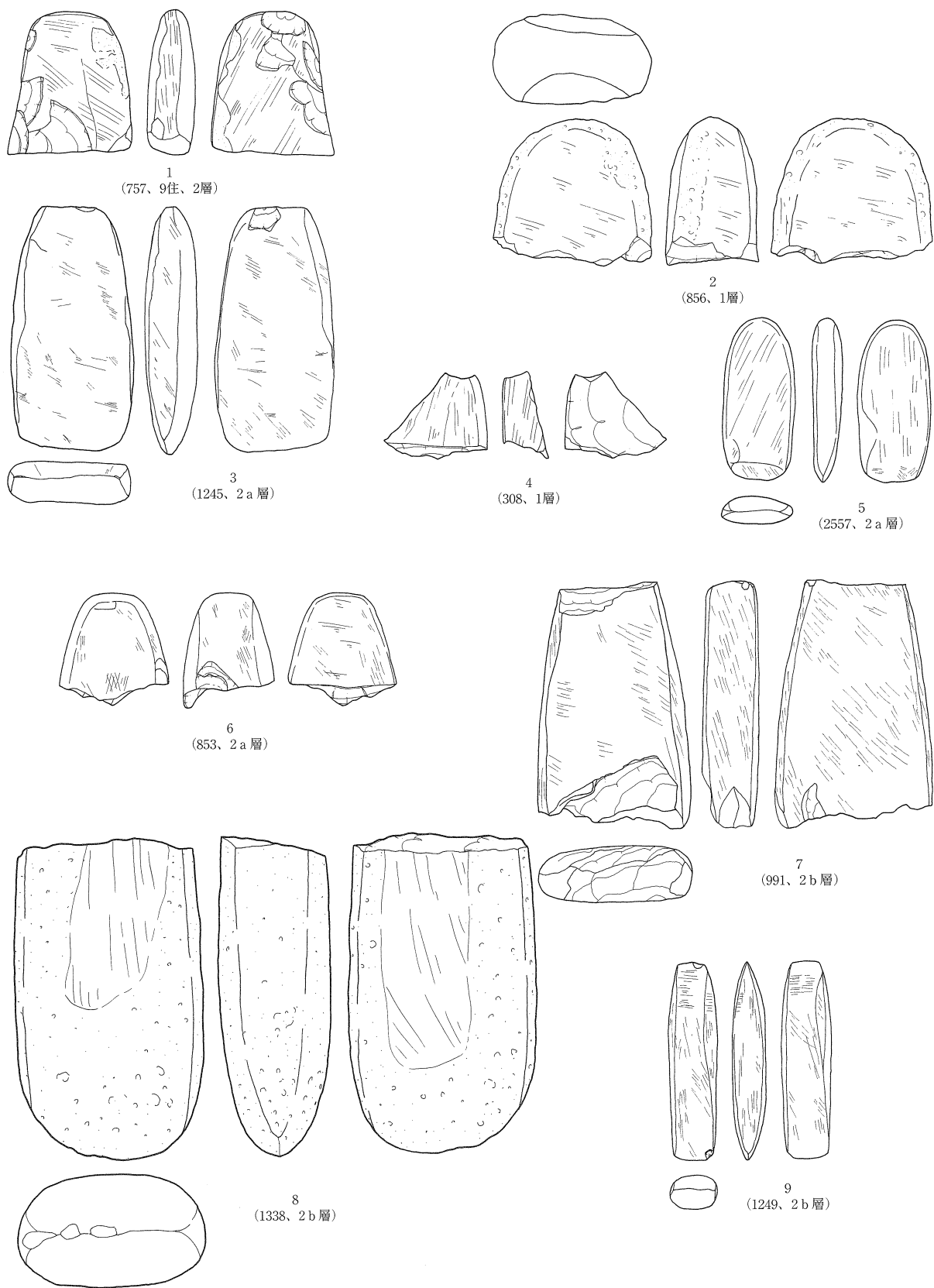
2
(1029、Ⅲ b 層)



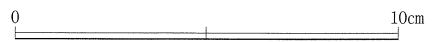
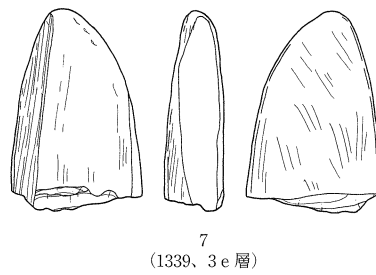
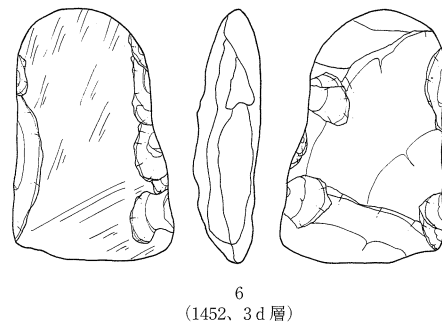
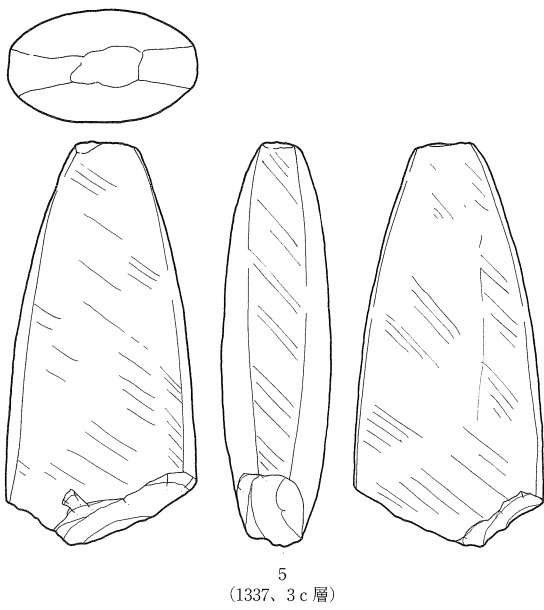
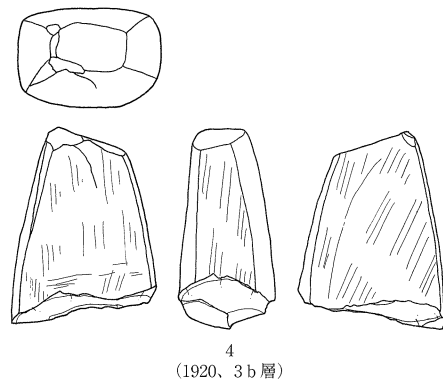
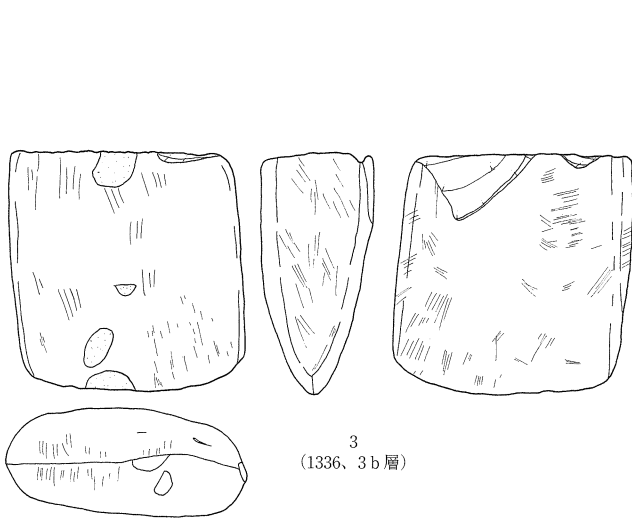
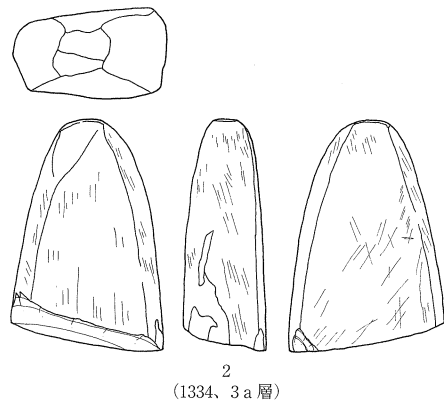
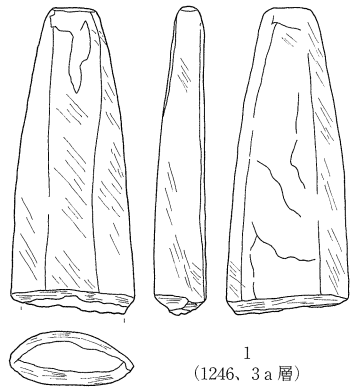
3
(979、Ⅲ b 層)



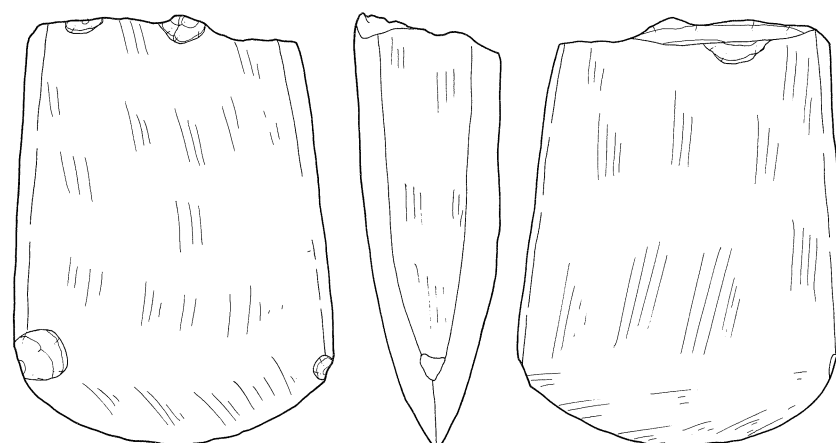
第207図 出土石核(7)



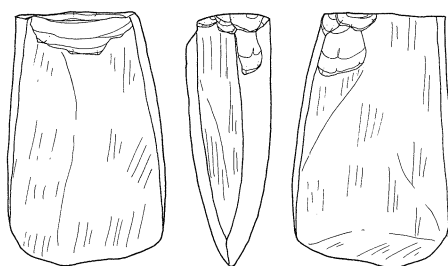
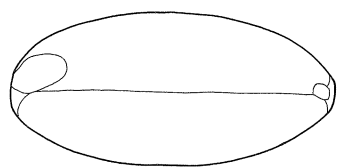
第208図 出土石斧(1)



第209図 出土石斧(2)



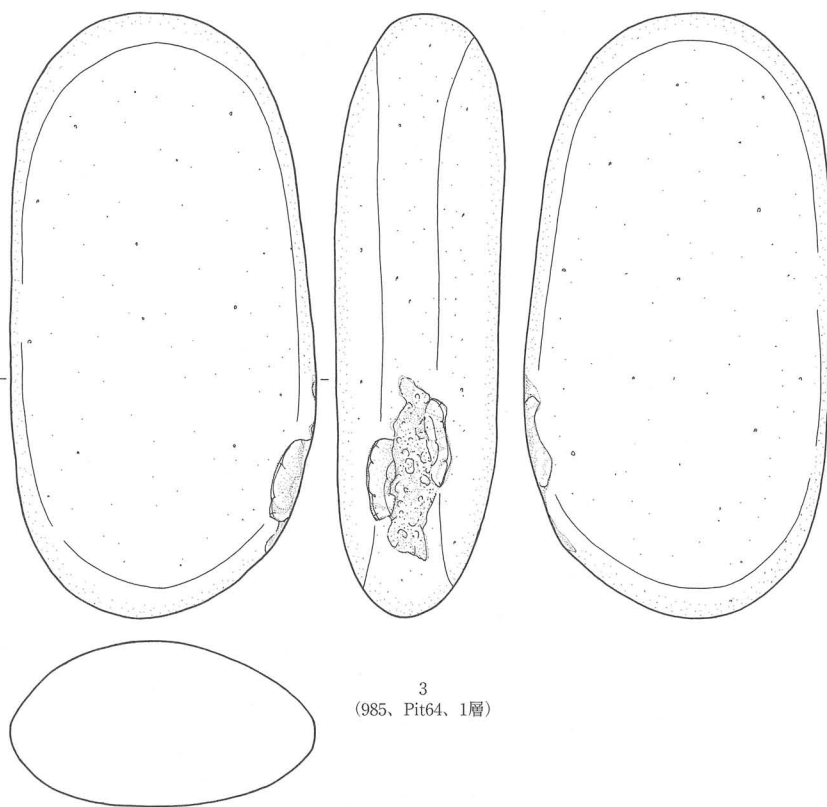
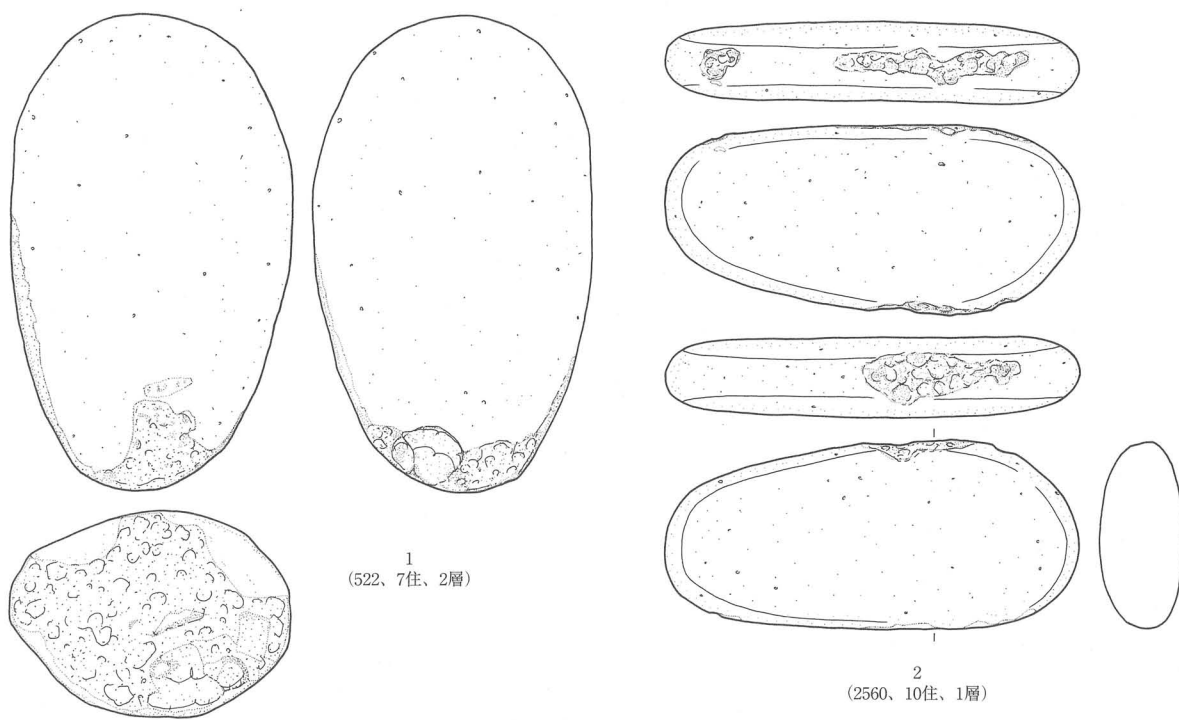
1
(1335、3e層)



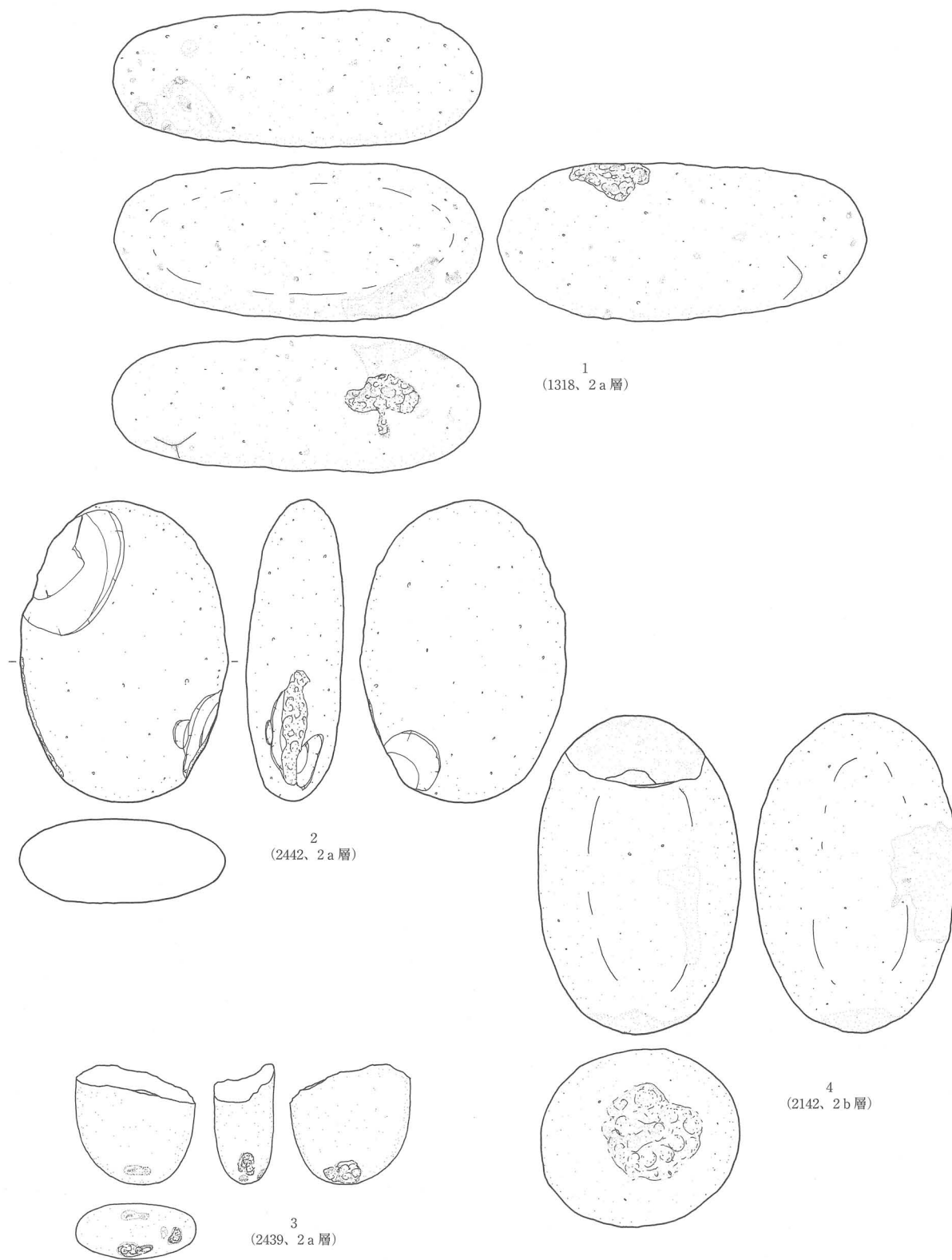
2
(990、3e層)



第210図 出土石斧(3)

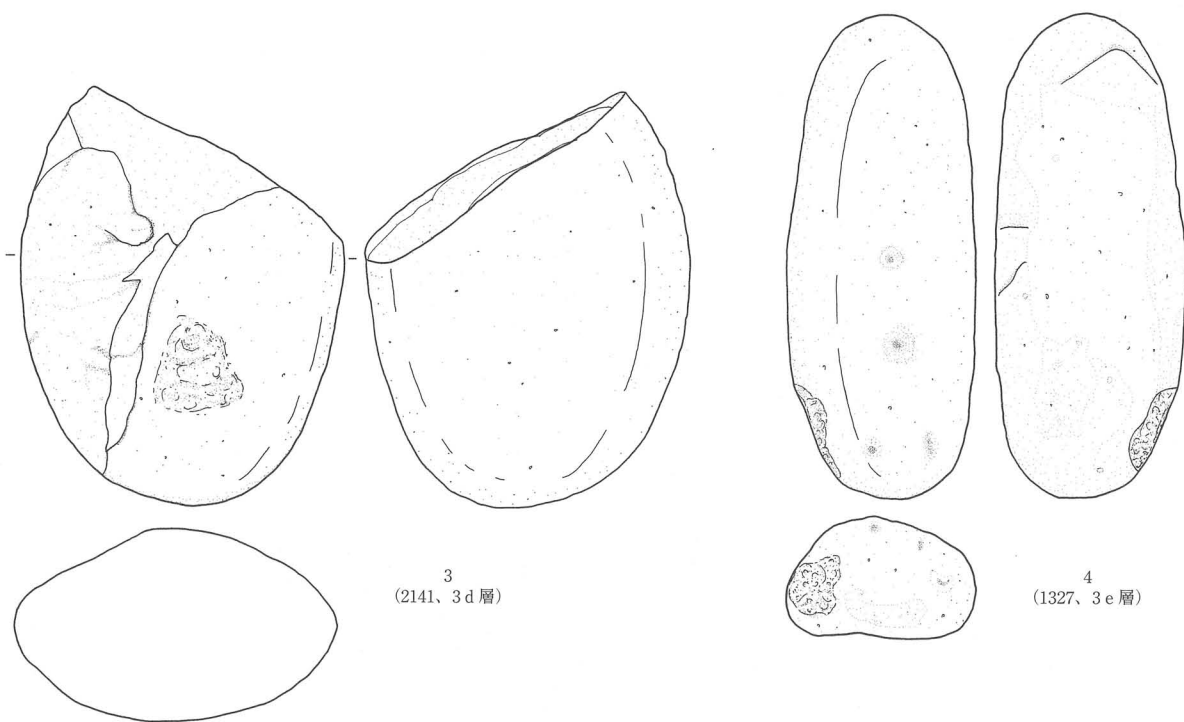
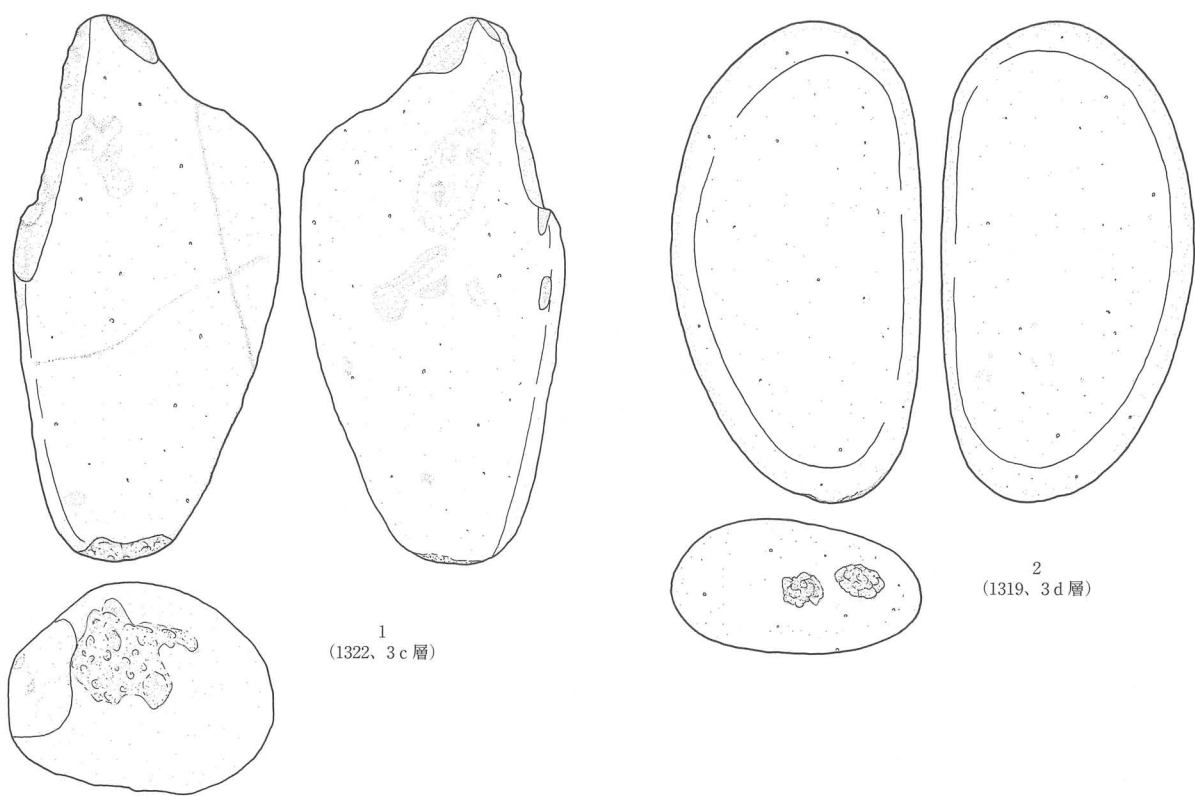


第211図 出土礫石器(1)



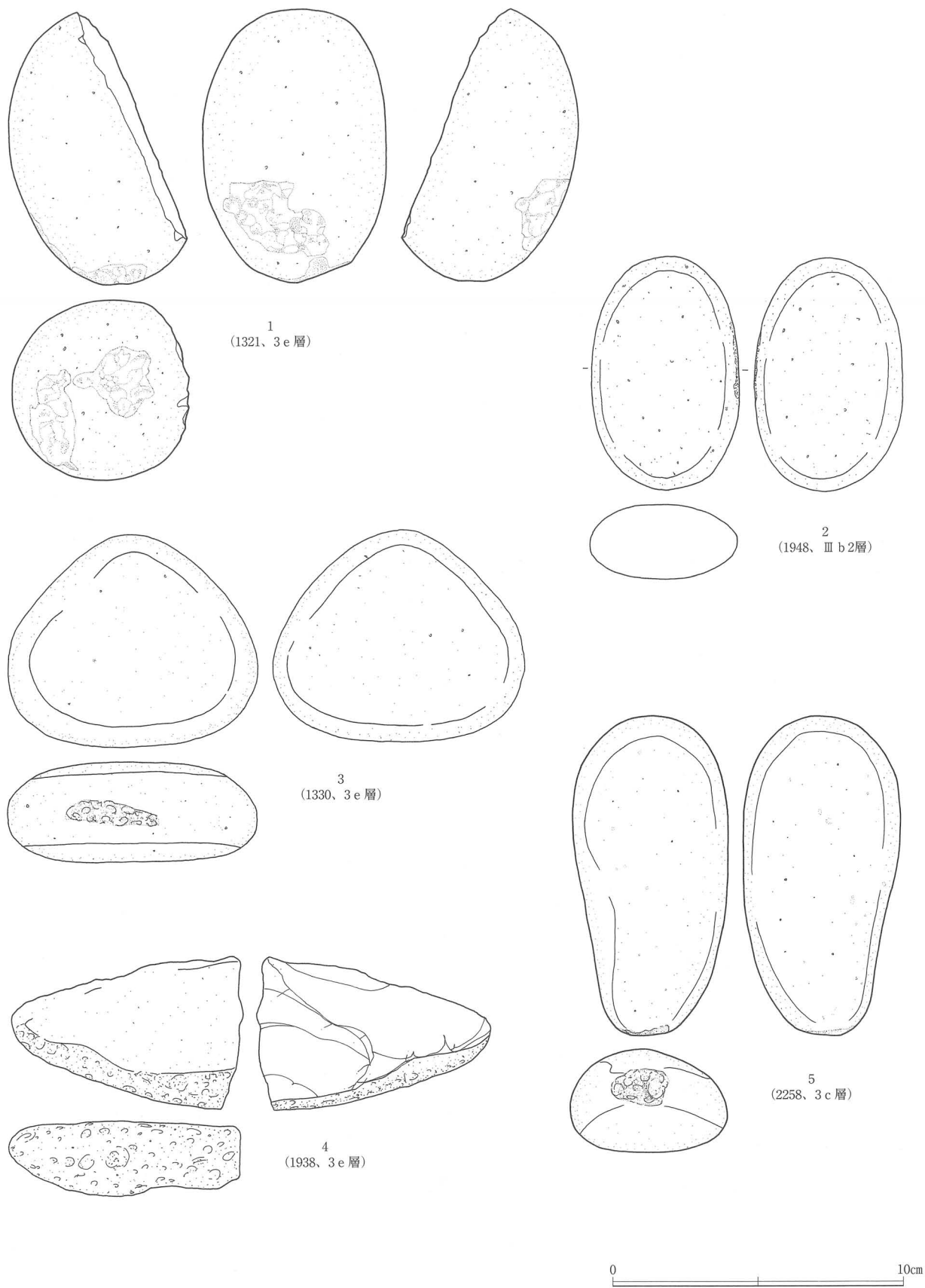
0 10cm

第212図 出土礫石器(2)

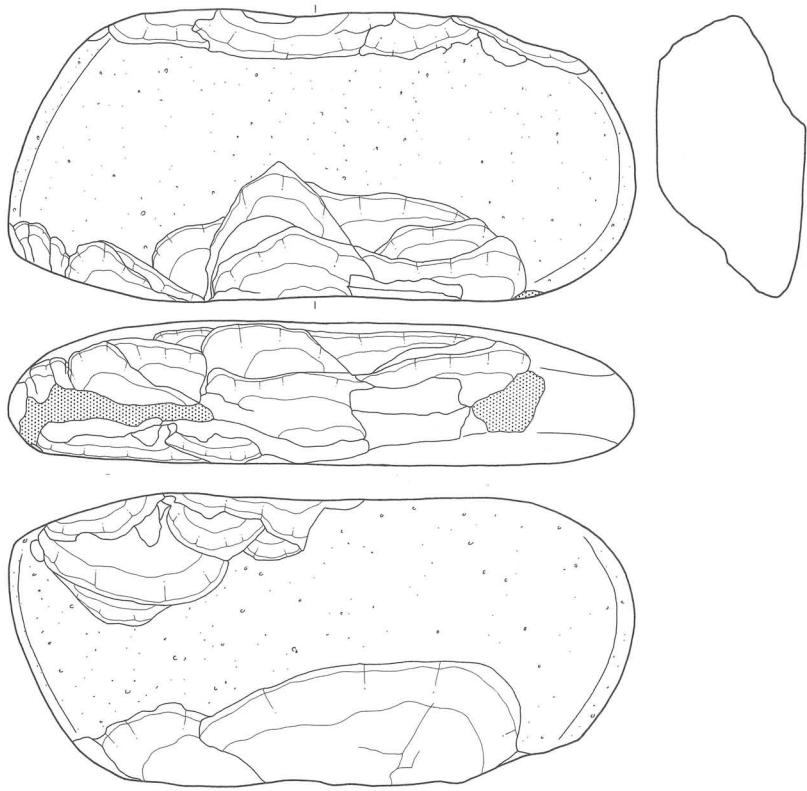


0 10cm

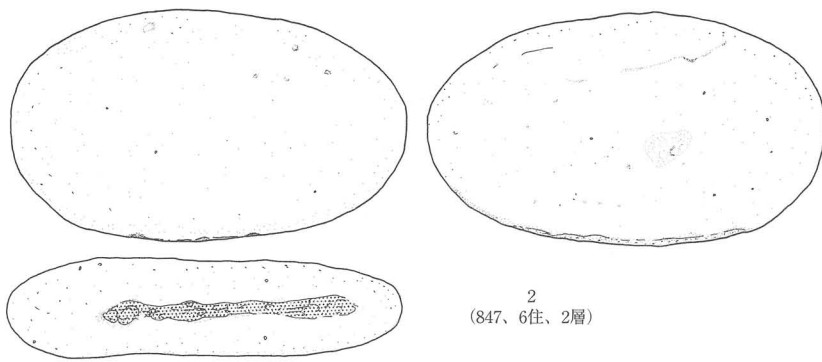
第213図 出土礫石器(3)



第214図 出土礫石器(4)



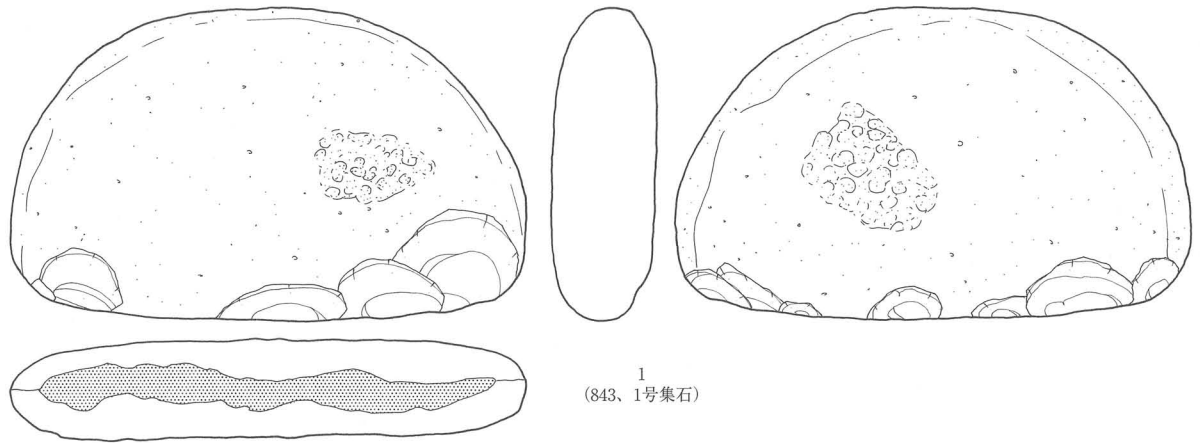
1
(984、9住、5層)



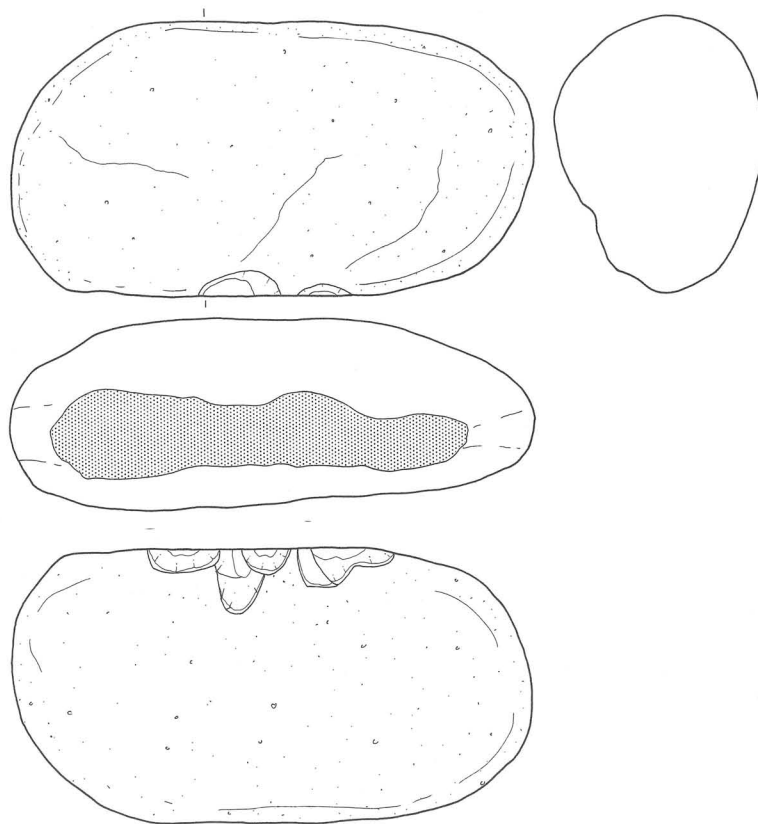
2
(847、6住、2層)



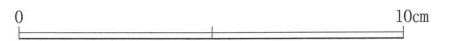
第215図 出土礫石器(5)



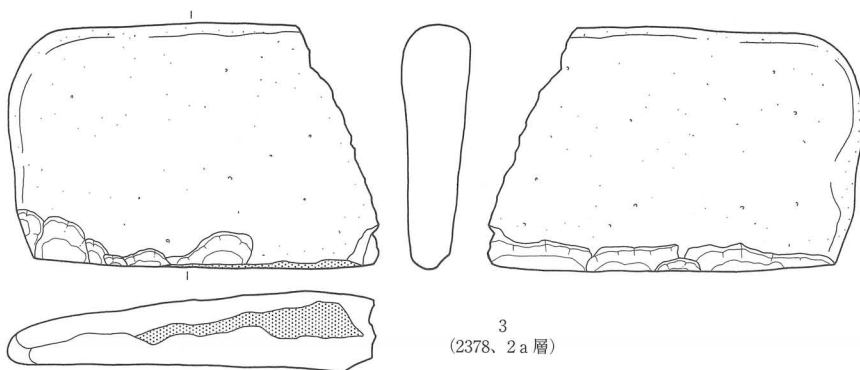
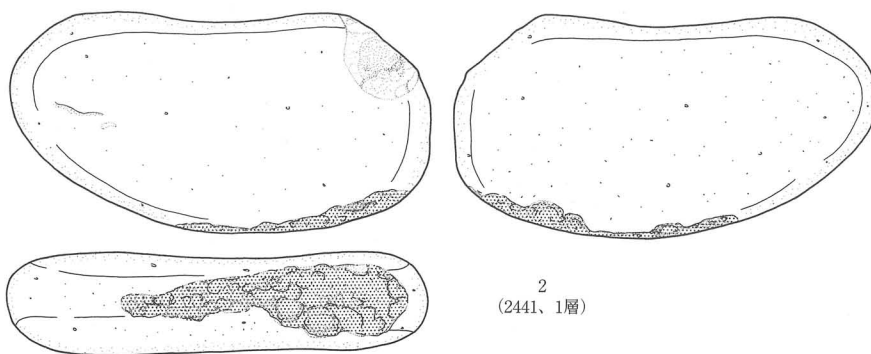
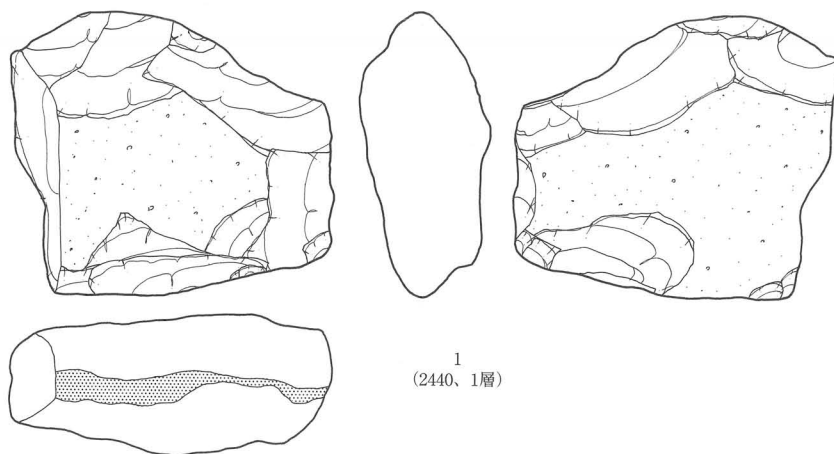
1
(843、1号集石)



2
(987、Pit25、1層)

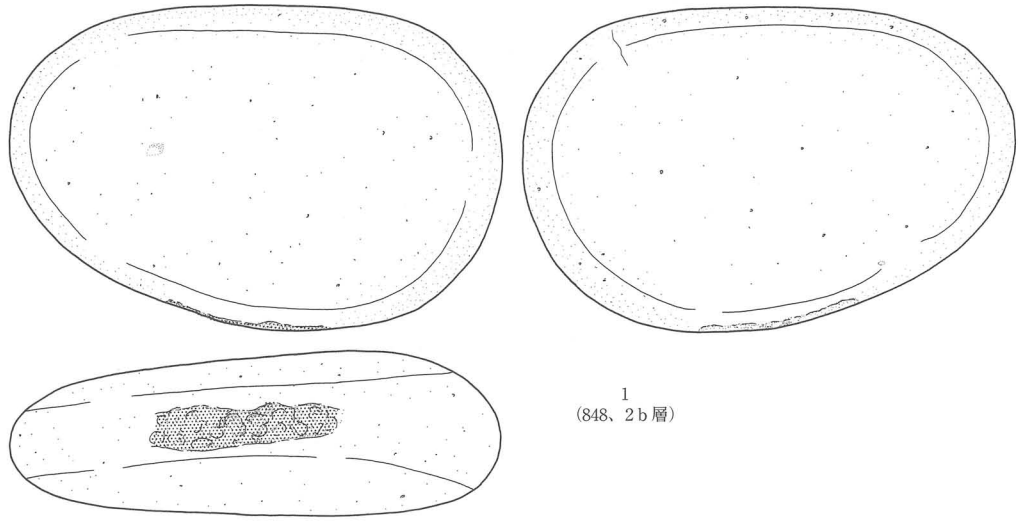


第216図 出土礫石器(6)

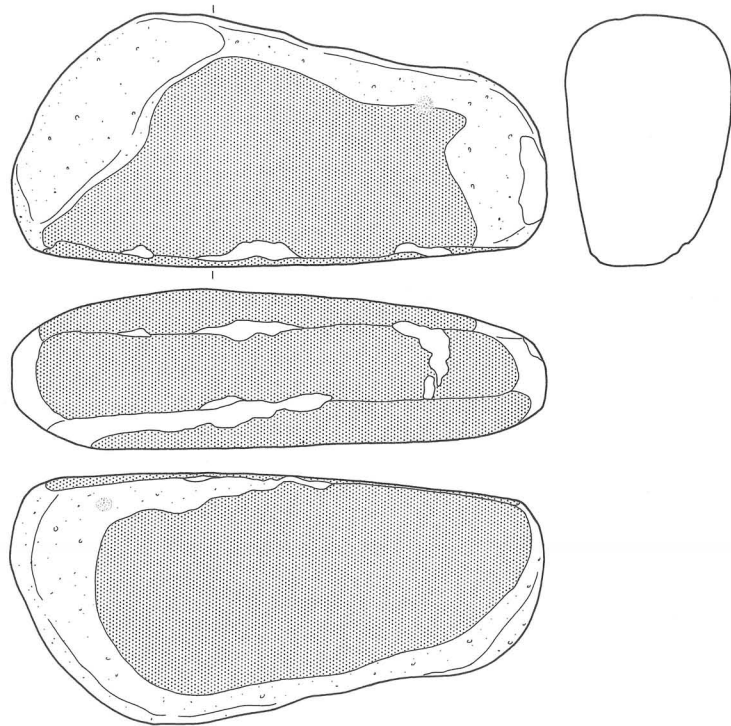


0 10cm

第217図 出土礫石器(7)



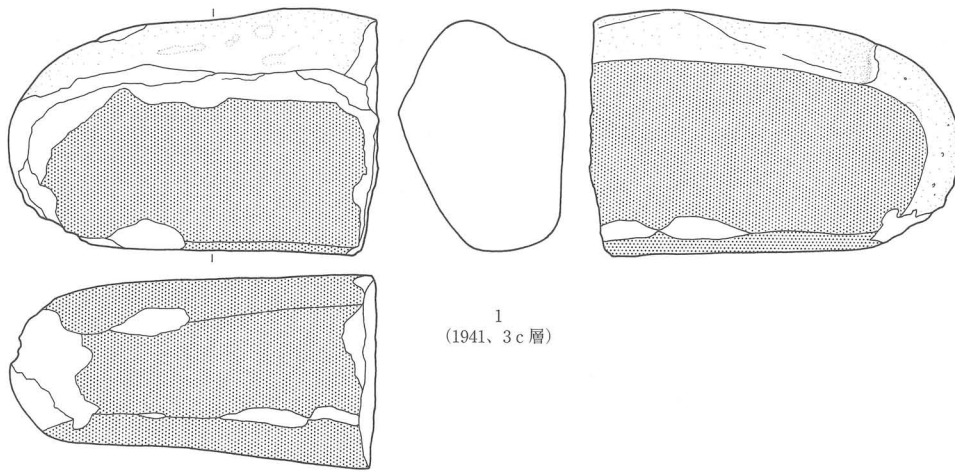
1
(848、2b層)



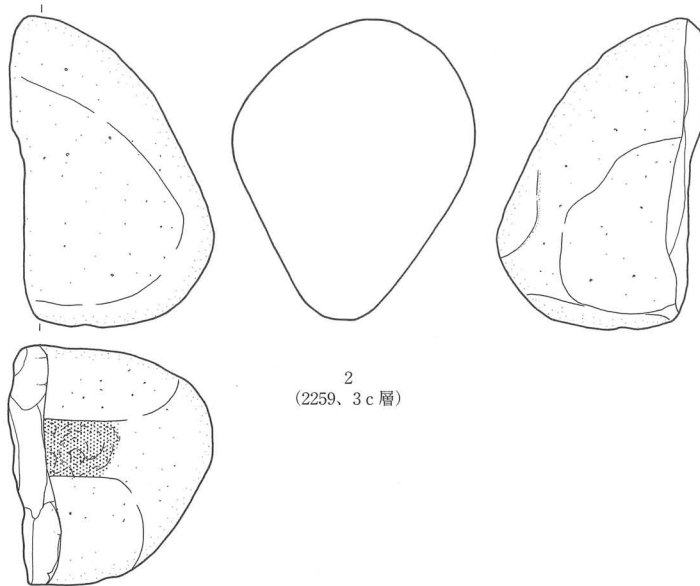
2
(2298、2b層)



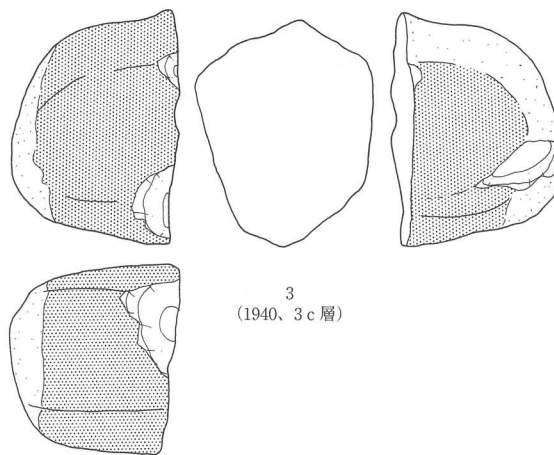
第218図 出土礫石器(8)



1
(1941、3c層)



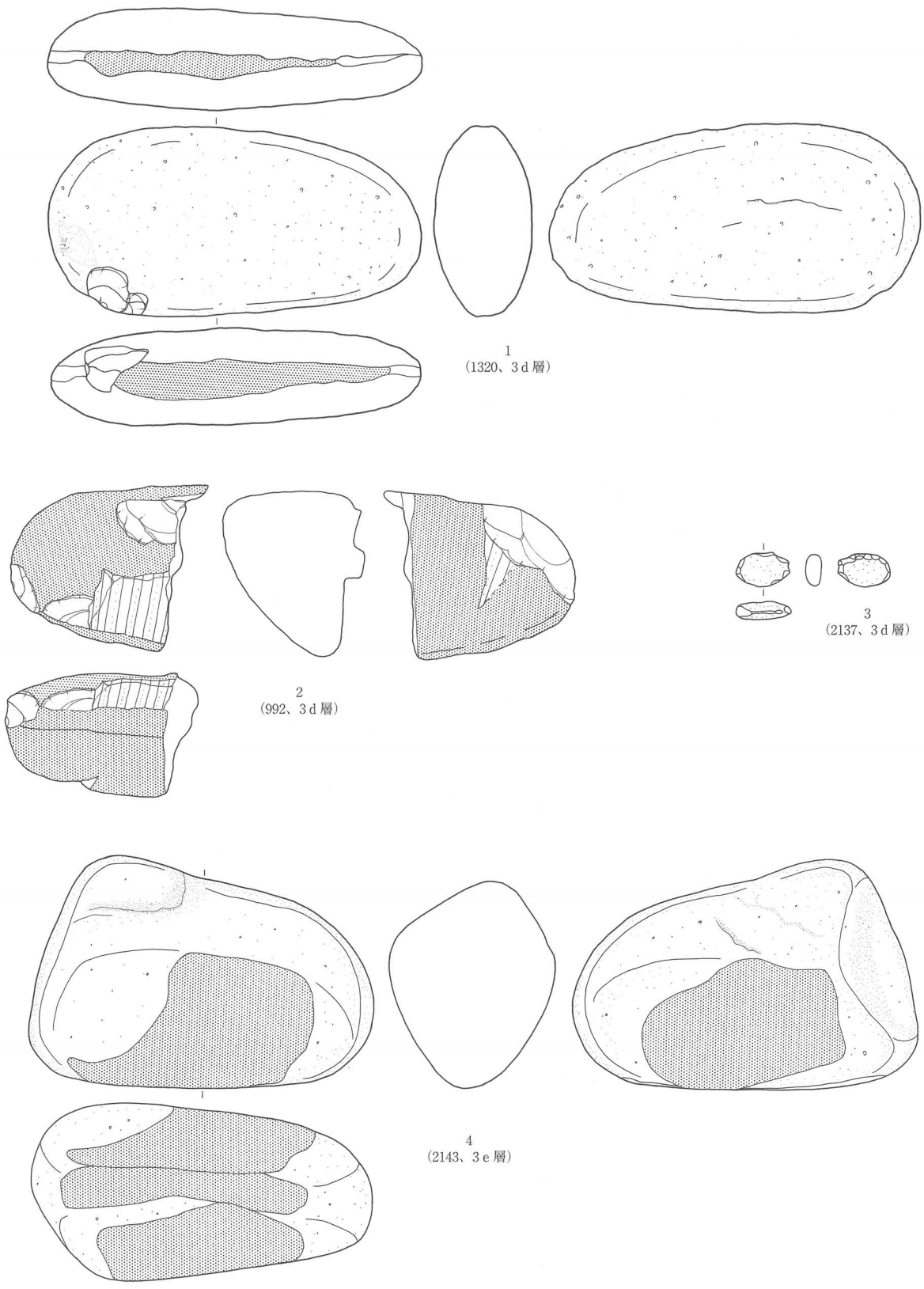
2
(2259、3c層)



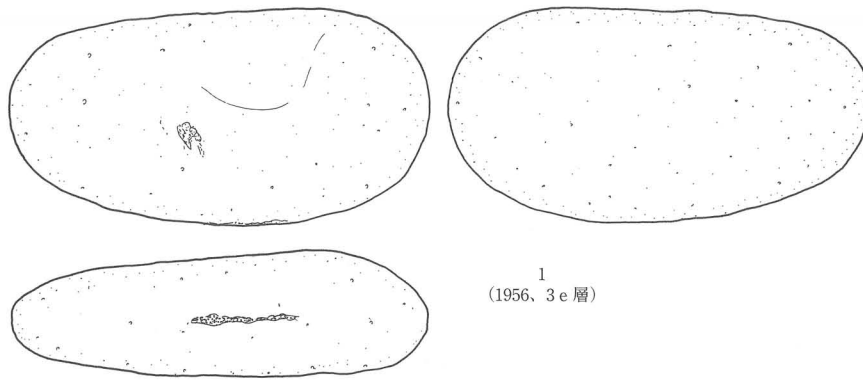
3
(1940、3c層)

0 10cm

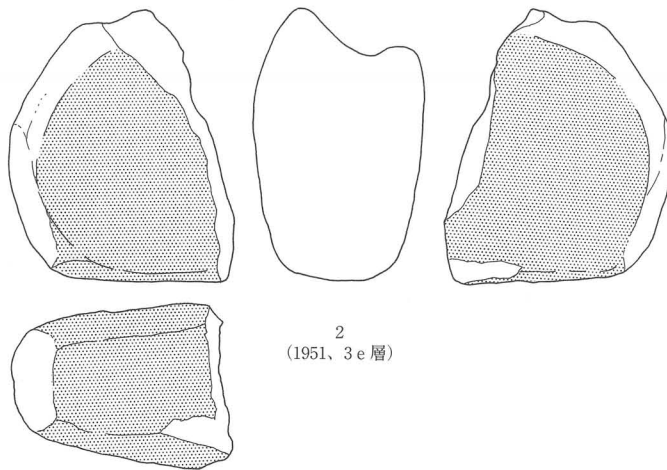
第219図 出土礫石器(9)



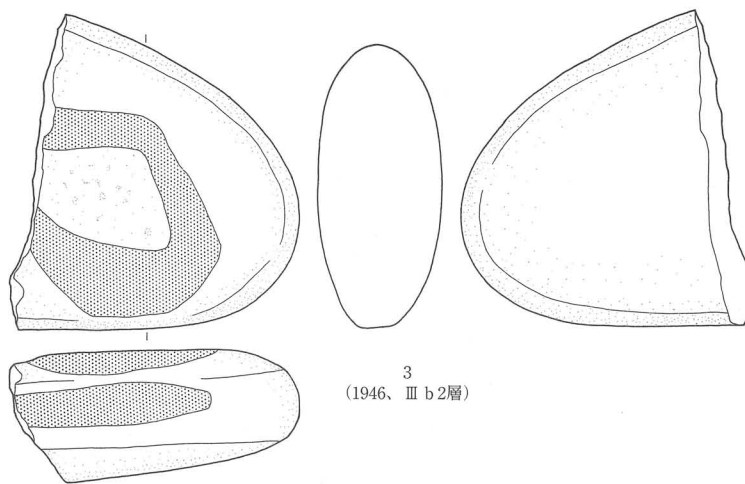
第220図 出土礫石器(10)



1
(1956、3e層)



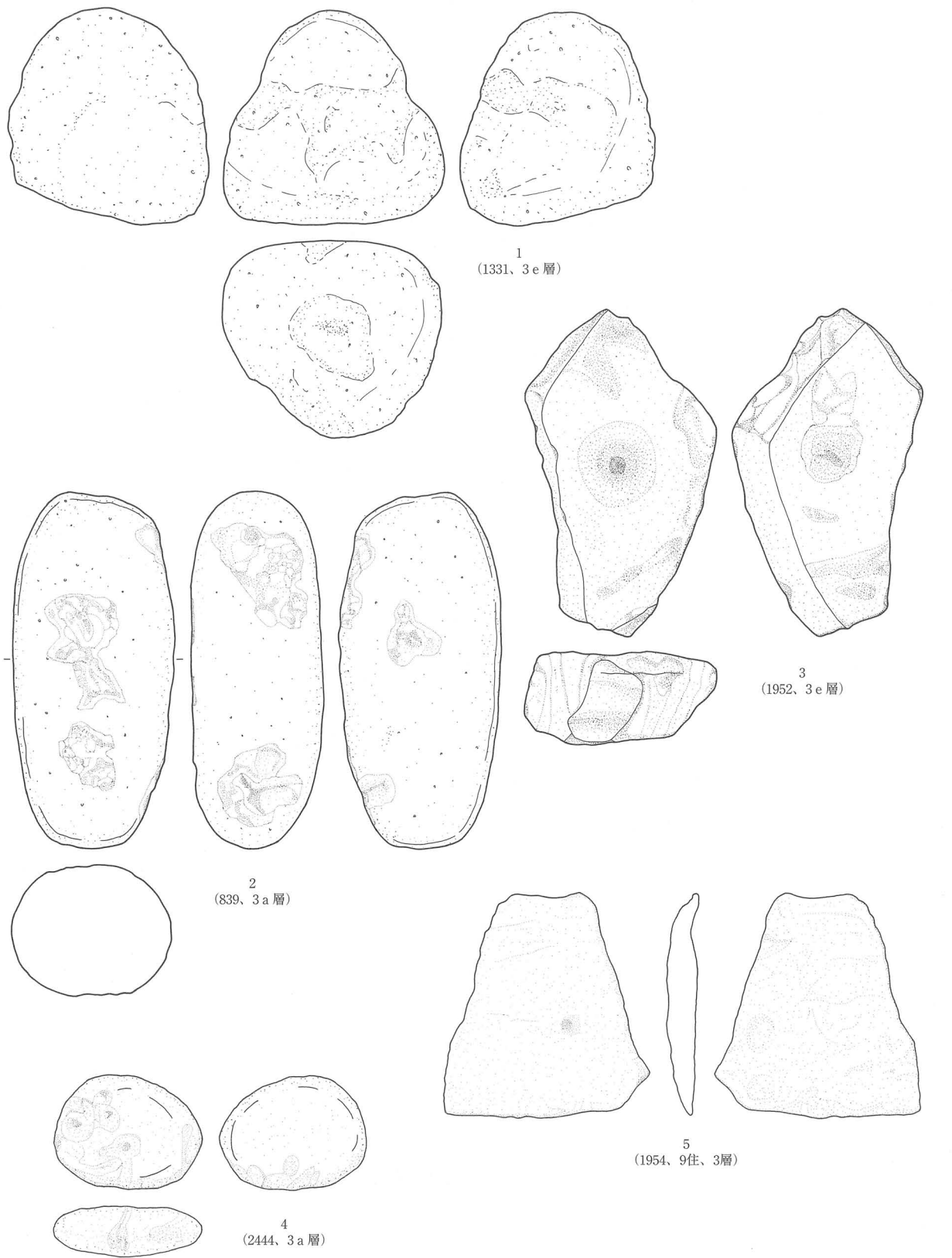
2
(1951、3e層)



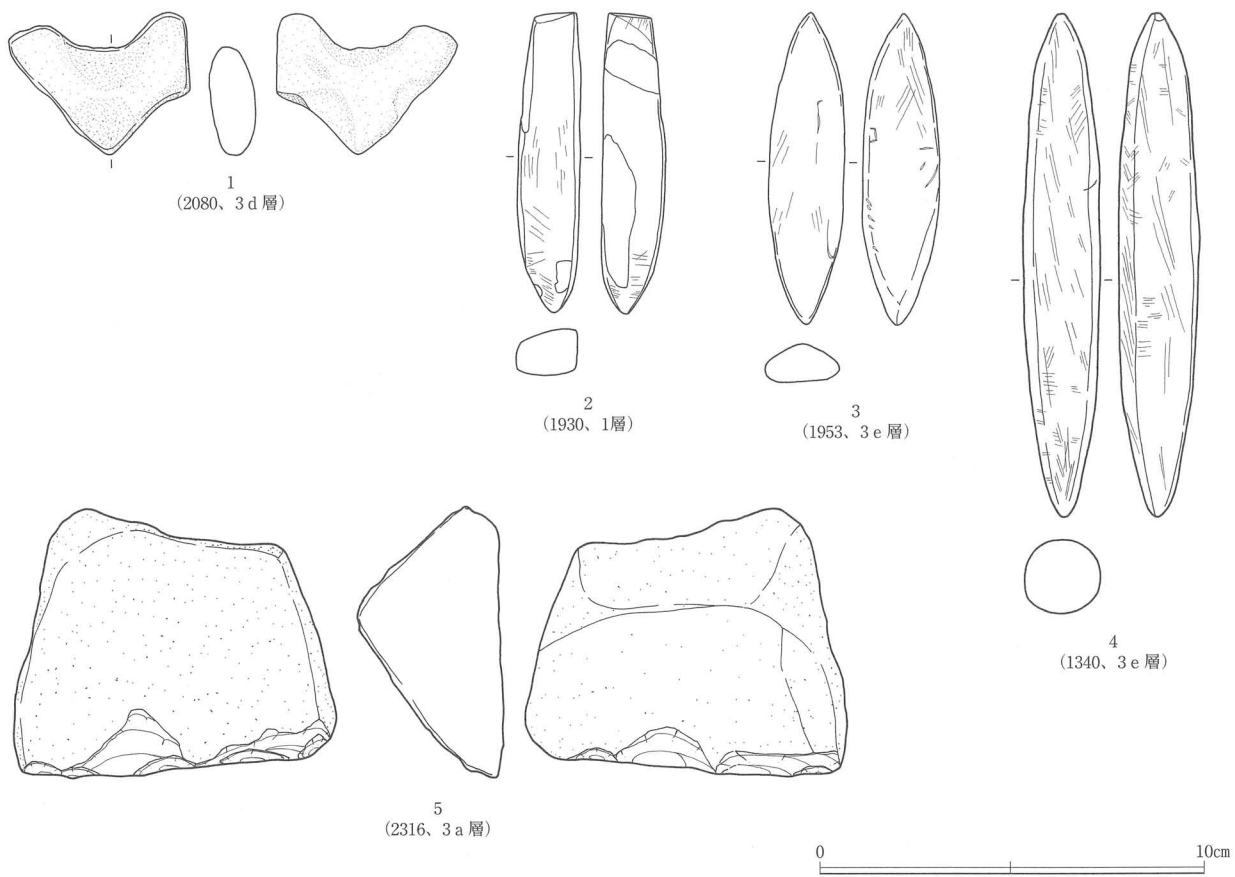
3
(1946、Ⅲ b 2層)

0 | 10cm

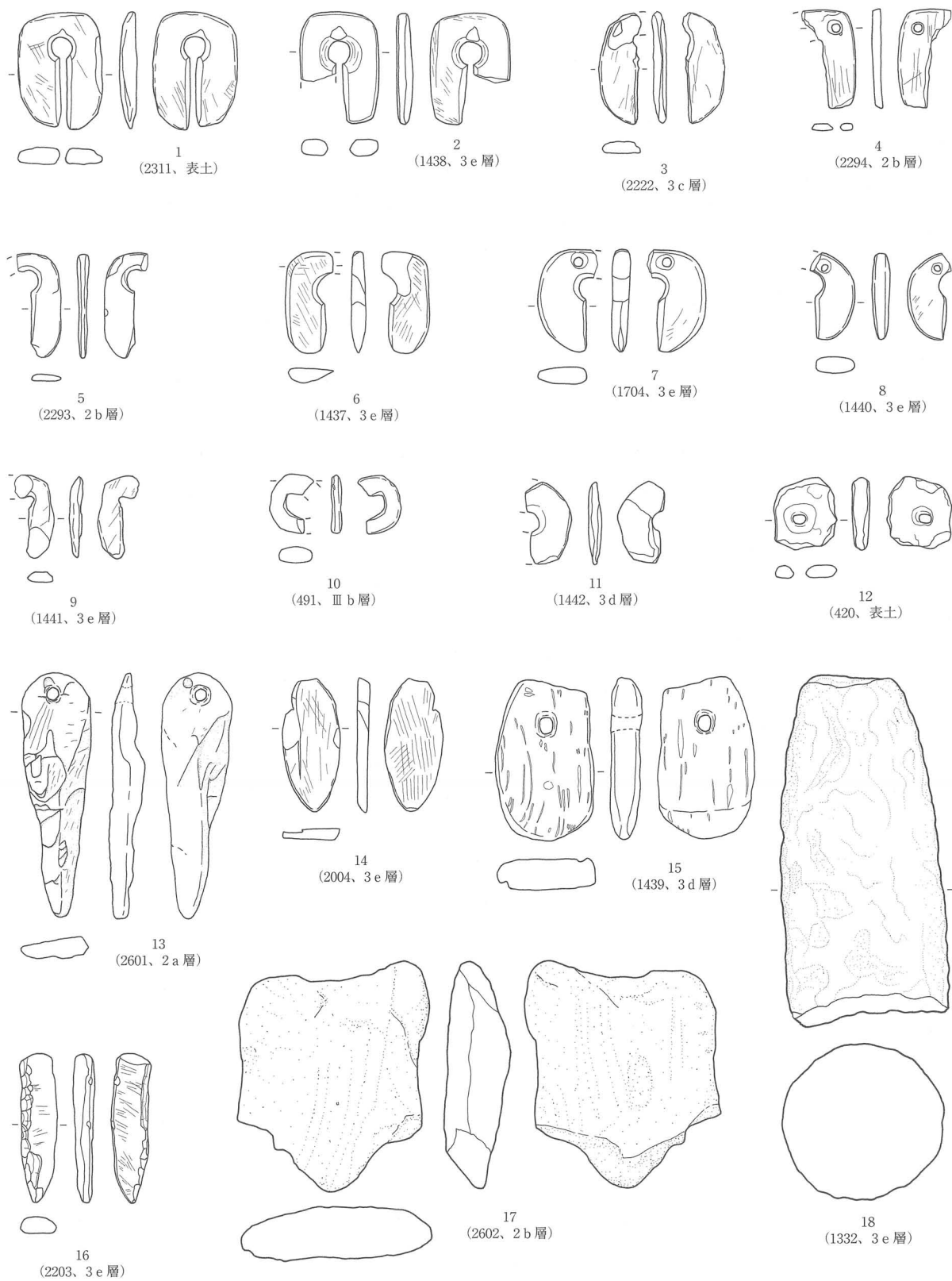
第221図 出土礫石器(11)



第222図 出土礫石器(12)

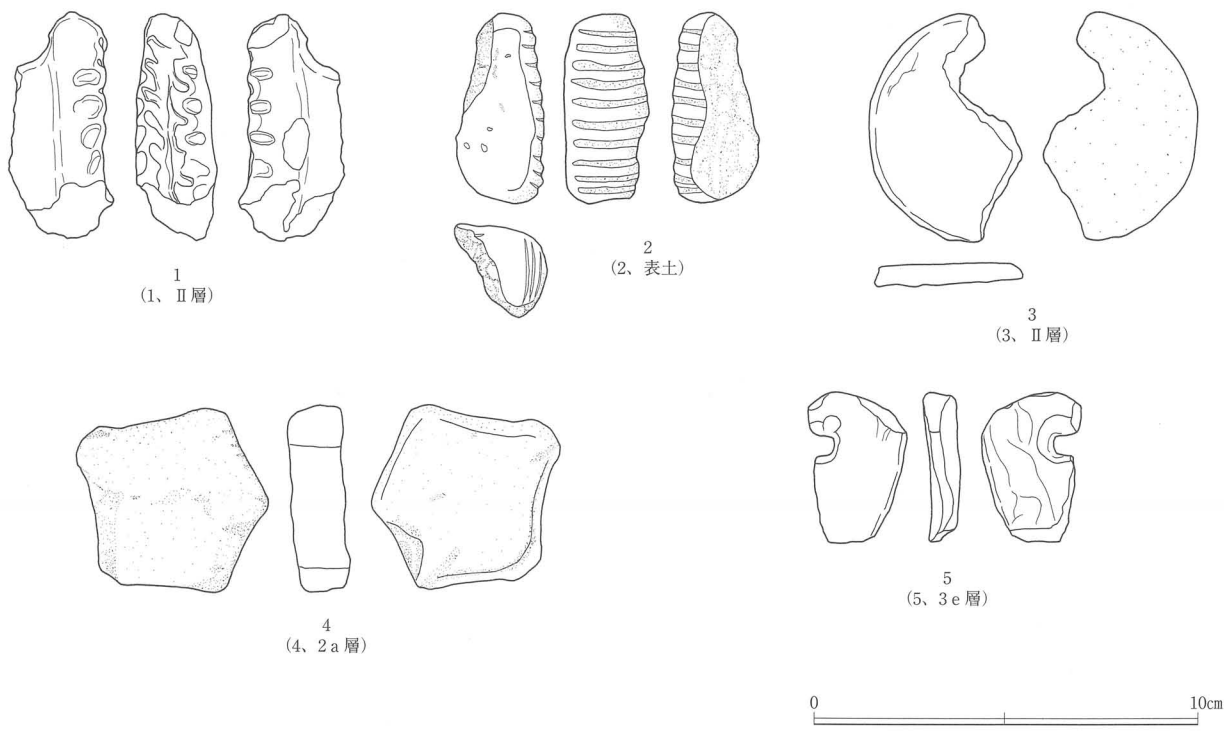


第223図 出土礫石器(13)

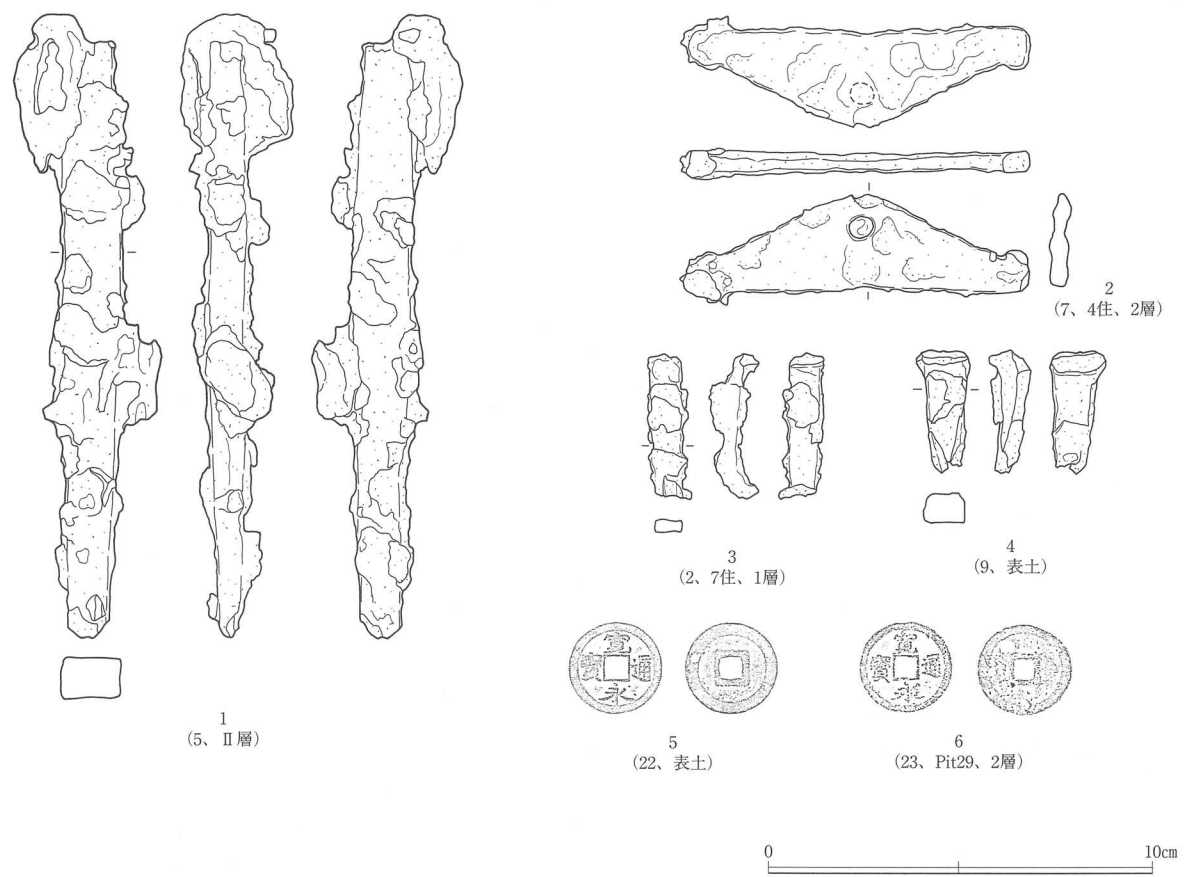


0 10cm

第224図 出土石製品



第225図 出土土製品



第226図 出土鉄製品・古銭

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(1)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土 泥利剤・ 混入物	口唇 形状	粘土 帯積上	内面	底面	口唇部文様 (原形、施文方法)		口縁部文様 (原形、施文方法)	胴部文様 (原形、施文方法)	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
												口唇部文様 (原形、施文方法)	口縁部文様 (原形、施文方法)							
第35図-17	235-1	235-1	第8号竪穴住居跡	1層	34	胴部	礫やや多量、纖維やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第37図-24	252-2	252-2	第9号竪穴住居跡	1層	34	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナデ	—	突起?	沈線(ヘラ、一)	—	—	RL	斜位回転	地紋→沈線	良好	
第38図-13	255-1、 859-2	255-1、 859-2	第9号竪穴住居跡	1層、 3層	182	底部	礫多量	—	?	ヨコナデ	木葉痕	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	外面の摩滅著しい
第36図-4	258-1	258-1	第9号竪穴住居跡	1層	310	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭 圧痕	—	—	—	—	—	丸組紐(1右 巻、1右巻)	横位回転	—	良好	
第36図-2	258-2	258-2	第9号竪穴住居跡	1層	125	口縁部	礫多量	B	内傾	?	—	—	—	—	—	ナデ	口縁部は 横位、胴 部は縦位	—	不良	内面の摩滅著しい
第36図-3	258-3	258-3	第9号竪穴住居跡	1層	70	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナ デ、斜位 ナデ	—	—	—	—	—	ナデ	口縁部は 横位、胴 部は斜位	—	不良	表面の摩滅著しい
第36図-5	258-4	258-4	第9号竪穴住居跡	1層	130	口縁部	細砂・礫 やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	結束第1種LR ・RL	縦位回転	—	不良	外面一部剥 落、外面炭 化物付着
第37図-30	258-5	258-5	第9号竪穴住居跡	1層	35	口縁部	細砂多量	B	?	ヨコミガ キ	—	—	—	—	—	ナデ	横位	—	良好	
第37図-1	258-6	258-6	第9号竪穴住居跡	1層	60	口縁部	礫多量	B	?	口縁部は ヨコナ デ、胴部 は斜位ナ デ	—	—	—	—	—	ナデ	口縁部は 横位、胴 部は斜位	—	不良	
第37図-29	258-8	258-8	第9号竪穴住居跡	1層	40	口縁部	礫やや多 量	A	?	ヨコナ デ、斜位 ナデ	—	—	キザミ(ヘラ、 左→右)、鋸齒 文(ヘラ、一)	—	—	RL	横位、斜 位回転	—	良好	内面地紋
第35図-4	265-1	265-1	第7号竪穴住居跡	1層	70	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	キザミ(ヘラ、 右→左)	—	—	—	—	キザミ・ 横位貼付 →沈線	良好	
第35図-5	265-2	265-2	第7号竪穴住居跡	1層	50	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナ デ、斜位 ナデ	—	—	—	—	—	条痕	斜位	—	良好	
第35図-2	265-3	265-3	第7号竪穴住居跡	1層	80	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(R左 巻、R左巻)	横位回転	—	良好	
第38図-33	266-1	266-1	第9号竪穴住居跡	1層	68	底部	細砂多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	ミガキ	縦位	—	良好	内面炭化物 付着
第38図-6	291-1	291-1	第9号竪穴住居跡	1層	56	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第35図-15	310-1	310-1	第7号竪穴住居跡	1層	86	底部	細砂・礫 多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	
第35図-14	310-2	310-2	第7号竪穴住居跡	1層	52	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	丸組紐?	?	—	不良	

第6表 竪穴住居跡出土土器属性表(2)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土・混和剤・混入物	口唇形状	粘帯	土積上	内面	底面	口唇部文様(原体、施文方法)	口縁部文様(原体、施文方法)	胴部文様(原体、施文方法)	胴部文様帯(原体、施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第35図-16	310-3	310-3	第7号竪穴住居跡	1層	62	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ミガキ	—	—	—	—	—	ミガキ	横位	—	良好	
第35図-13	310-4	310-4	第7号竪穴住居跡	1層	65	底部	細砂・礫多量	—	?	ナデ	?	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅著しい
第35図-18	329-1	329-1	第8号竪穴住居跡	2層	35	胴部	礫少量	—	?	斜位回転	—	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第33図-1	331-1 332-1	331-1 332-1	第4号竪穴住居跡	攪乱	140	口縁部	礫少量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	内外面炭化物付着、補修孔
第33図-13	333-1 427-1	333-1 427-1	第4号竪穴住居跡	攪乱	68	底部	礫やや多量	—	—	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	ナデ	横位	—	良好	
第35図-11	352-7	352-7	第7号竪穴住居跡	2層	37	胴部	細砂やや多量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第35図-10	354-1	354-1	第7号竪穴住居跡	1層	57	胴部	礫少量	—	内傾	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	内面炭化物付着、上下端縁口縁状
第35図-12	360-1	360-1	第7号竪穴住居跡	床面	38	胴部	礫少量	—	—	斜位回転	—	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	
第33図-12	597-1	597-1	第1号竪穴住居跡	2層	37	胴部	細砂・礫多量、繊維やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	RL	横位回転	—	不良	
第33図-11	597-2	597-2	第1号竪穴住居跡	2層	41	胴部	礫少量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	単軸絡条体第1類RL	斜位回転	—	良好	
第33図-3	598-2	598-2	第1号竪穴住居跡	2層	64	口縁部	礫やや多量、繊維少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	不良	
第33図-8	599-1	599-1	第1号竪穴住居跡	1層	38	底部	礫少量	—	—	ヨコナデ	ミガキ	—	—	—	—	—	?	?	—	良好	
第35図-9	604-1	604-1	第7号竪穴住居跡	1層	33	胴部	細砂・礫少量	—	?	ヨコナデ	—	—	貼付(-、押圧貼付)、キザミ(ヘラ、右→左)、縄側面圧痕(R、-)	—	—	—	—	—	貼付→キザミ・細側面圧痕	良好	
第35図-8	604-2	604-2	第7号竪穴住居跡	1層	30	胴部	礫少量、繊維少量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	多軸絡条体R(軸?本)	縦位回転	—	良好	
第38図-4	843-1	843-1	第9号竪穴住居跡	4層	93	底部	礫多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	ナデ	—	—	良好	
第36図-13	845-1	845-1	第9号竪穴住居跡	4層	60	口縁部	礫やや多量	B	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	縄側面圧痕(L、-)	—	—	LR(2結節)	縦位回転	?	良好	
第37図-2	845-2	845-2	第9号竪穴住居跡	4層	45	口縁部	細砂やや多量	B	?	指頭圧痕	—	—	キザミ(ヘラ、左→右)	—	—	—	単軸絡条体?第1類R	斜位回転?	?	不良	

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(3)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリップド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・ 混入物	口唇 形状	粘 帯	土 質	内面	底面	口唇部文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 (原体、施文方法)	胴部文様 (原体、施文方法)	地紋 地紋原体・ 外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第36図-14	847-1	847-1	第9号竪穴住居跡	2層	48	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコミガキ	ナデ	ナデ	—	沈線(ヘラ、キザミ) (半莖竹管状工具、右→左)	—	LR	縦位回転	地紋→キザミ→沈線	不良	
第38図-1	859-1	859-1	第9号竪穴住居跡	3層	228	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	
第38図-24	859-3	859-3	第9号竪穴住居跡	3層	30	底部	細砂・礫やや多量	—	—	ナデ	ナデ	?	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅著しい
第36図-7	862-1	862-1、 862-3	第9号竪穴住居跡	3層	142	口縁部	礫やや多量	A	?	指頭圧痕	—	—	キザミ(ヘラ、左→右)	—	—	—	?	?	不良	
第37図-12	863-1	863-1	第9号竪穴住居跡	3層	38	口縁部	細砂・礫多量	B	?	ヨコミガキ	—	—	—	縦側面圧痕(LR、—)	—	?	?	不良		
第37図-5	863-2	863-2	第9号竪穴住居跡	3層	39	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	表面の摩滅著しい
第38図-8	869-1	869-1A (869-1)、 869-1B (2534-1)	第9号竪穴住居跡	3層、 5層	145	底部	細砂・礫やや多量、繊維多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第38図-8	869-2	869-2	第9号竪穴住居跡	3層	38	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第37図-14	870-7	870-7	第9号竪穴住居跡	4層	31	口縁部	礫少量	B	?	ヨコナデ、斜位ナデ	ナデ	ナデ	—	隆沈線(—、—)	—	LR	横位、斜位回転	地紋→隆沈線	良好	
第36図-12	870-8	870-8	第9号竪穴住居跡	4層	59	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	RL(2結節)	縦位回転	—	良好	
第38図-7	892-1	892-1	第9号竪穴住居跡	2層	30	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	
第38図-21	892-2	892-2	第9号竪穴住居跡	2層	31	底部	礫多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第38図-20	892-3	892-3	第9号竪穴住居跡	2層	35	底部	細砂・礫多量	—	?	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅著しい
第38図-25	893-2	893-2	第9号竪穴住居跡	3層	43	底部	礫多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第34図-27	898-5	898-5	第6号竪穴住居跡	1層	30	胴部	細砂多量、繊維微量	—	?	ヨコナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	R	横位回転	—	良好	
第34図-6	901-1	901-1	第6号竪穴住居跡	床面	30	口縁部	細砂やや多量	B	?	ヨコナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第38図-11	903-1	903-1	第9号竪穴住居跡	2層	38	底部	礫多量	—	?	ナデ	無調整	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第37図-20	918-1	918-1	第9号竪穴住居跡	5層	36	口縁部	細砂少量、繊維微量	A	?	ヨコナデ	ナデ	ナデ	—	縦位貼付(—、繩上下ナデ)、繩側面圧痕(LR、—)	—	RL(1結節)	縦位回転	縦位貼付→繩側面圧痕	良好	
第38図-3	919-1	919-1	第9号竪穴住居跡	5層	81	底部	細砂やや多量	—	?	ミガキ	ミガキ	ミガキ	—	—	—	—	—	—	良好	

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(4)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・グリップド	層位	重量(g)	部位	胎土・混和剤・混入物	口唇形状	粘帯・積上	内面	底面	口唇部文様(原体、施文方法)	口縁部文様(原体、施文方法)	胴部文様(原体、施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第38図-12	919-2	919-2	第9号竪穴住居跡	5層	46	底部	礫少量	—	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	良好	
第33図-6	922-1	922-1	第4号竪穴住居跡	貼床	47	胴部	礫多量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	RL	横位回転	—	不良	
第37図-9	955-1	955-1	第9号竪穴住居跡	2層	37	口縁部	礫多量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第33図-7	991-1	999-1	第2号竪穴住居跡	1層	56	胴部	細砂やや多量、礫少量	—	?	タテナデ	—	RLまたは直前段多条R(L・I・D)にRLを附加した附加条	横位回転	—	RL	横位回転	—	良好	
第38図-18	1063-1	1063-1	第9号竪穴住居跡	1層	52	底部	礫多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第37図-17	1063-6	1063-6	第9号竪穴住居跡	1層	30	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナデ	—	横位貼付(一、上下ナデ)、縄脚面圧痕(L、一)	—	—	LR	縦位回転	?	不良	表面の摩滅著しい
第37図-13	1063-7	1063-7	第9号竪穴住居跡	1層	33	口縁部	礫多量	C	?	ヨコナデ	—	—	貼付(一、押圧貼付)	—	LR	横位回転	地紋→貼付	不良	
第37図-18	1063-8	1063-8	第9号竪穴住居跡	1層	33	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?右巻、?左巻)	斜位回転	—	良好	
第37図-22、第37図-25	1063-9、1063-9B、(2535-3)	1063-9	第9号竪穴住居跡	1層	67	口縁部	細砂・礫多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	R	縦位回転	—	不良	
第33図-10	1084-2	1084-2	第9号竪穴住居跡	2層	44	口縁部	礫多量、雲母微量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	
第34図-2	1145-1	1145-1	第4号竪穴住居跡	床面	39	口縁部	礫少量	B	内傾	ヨコナデ	—	—	—	ナデ	ナデ	口縁部は横位、胴部は縦位	—	良好	内外面炭化物付着
第38図-36	1169-5	1169-5	第9号竪穴住居跡	カマド	56	底部	細砂・礫やや多量、繊維少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅著しい
第34図-16	1257-13	1257-13	第6号竪穴住居跡	床面	38	胴部	礫やや多量	—	?	?	—	—	—	—	RL	横位回転	—	不良	内面炭化物付着
第34図-18	1257-14	1257-14	第6号竪穴住居跡	床面	53	胴部	礫やや多量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第35図-1	1264-1	1264-1	第7号竪穴住居跡	床面	38	口縁部	礫少量	B	内傾	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	良好	
第33図-5	1271-1	1271-1	第3号竪穴住居跡	カマド	38	口縁部	礫少量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	外面炭化物付着

第6表 堅穴住居跡出土器属性表(5)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・ 混入物	口唇・粘 土帯積上 形状	内面	底面	口唇部文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 (原体、施文方法)	胴部文様 (原体、施文方法)	地紋 地紋原体・ 外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第35図-7	1273-2	1273-2	第7号堅穴住居跡	貼床	31	口縁部	礫少量	A	斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	良好	
第38図-34	1316-1	1316-1	第9号堅穴住居跡	1層	53	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	胴部は縦 位、底部 付近は横 位	—	良好	
第38図-2	1316-5	1316-5、 1316-8	第9号堅穴住居跡	1層	99	底部	細砂少量	—	ミガキ	ミガキ	—	—	—	—	—	—	良好	
第38図-31	1341-1	1341-1	第9号堅穴住居跡	3層	54	底部	細砂多 量、礫少 量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅 著しい
第38図-16	1341-2	1341-2	第9号堅穴住居跡	3層	54	底部	細砂少量	—	ミガキ	ミガキ	—	—	—	—	横位	—	良好	
第39図-16	1355-1	1355-1	第12号堅穴住居跡	PI、 1層	57	口縁部	礫やや量	A	ヨコミガ キ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第39図-13	1355-2	1355-2	第12号堅穴住居跡	PI、 1層	32	胴部	礫やや多 量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	横位回転	地紋→J 字状貼付 →刺突文	不良	表面の摩滅 著しい
第39図-14	1355-3	1355-3	第12号堅穴住居跡	PI、 1層	33	胴部	細砂多 量	—	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅 著しい
第35図-6	1362-1	1362-1	第7号堅穴住居跡	2層	37	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	突起(形態?)	沈線(へラ、 —)	—	—	—	—	不良	表面の摩滅 著しい
第34図-26	1403-1	1403-1	第6号堅穴住居跡	1層	71	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第34図-17	1403-4	1403-4	第6号堅穴住居跡	1層	34	胴部	礫多量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第34図-24	1460-6	1460-6	第6号堅穴住居跡	煙道	30	胴部	礫多量	—	ヨコナ デ、斜位 ナデ	—	—	—	—	RL、R(1結節) を附加した附 加条(軸不明)	横位回 転、斜位 回転	—	良好	
第34図-28	1463-1	1463-1	第6号堅穴住居跡	1層	42	胴部	細砂多 量、繊維 少量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	?	?	—	不良	外面摩耗著 しい
第34図-29	1463-2	1463-2	第6号堅穴住居跡	1層	31	胴部	細砂多量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	表面の摩滅 著しい
第34図-22	1463-3	1463-3	第6号堅穴住居跡	1層	44	胴部	細砂やや 多量、礫 少量	—	?	—	—	—	—	丸組紐(?右 巻き、?右巻 き?)	?	—	良好	内面炭化物 付着
第33図-10	1468-1	1468-1	第3号堅穴住居跡	床面	38	胴部	礫やや多 量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	外面炭化物 付着
第35図-19	1509-1	1509-1	第5号堅穴住居跡	2層	39	胴部	細砂、礫 多量	—	?	タテナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第35図-20	1509-3	1509-3	第5号堅穴住居跡	2層	33	胴部	細砂多量	—	ヨコミガ キ	—	—	—	—	?	?	—	不良	表面の摩滅 著しい

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(6)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリップド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・ 混入物	粘 土 帯 積 上	内面	底面	口唇部文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 (原体、施文方法)	胴部文様 (原体、施文方法)	脚部文様 (原体、施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第35図-21	1509-4	1509-4	第8号竪穴住居跡	2層	30	胴部	礫少量	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	LR、RL	横位回転	—	不良	
第36図-1	1533-1	1533-1	第9号竪穴住居跡	煙道	166	口縁部	礫多量	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	ナデ	口縁部は 横位、胴 部は斜位	—	不良	外面の剥落 著しい
第37図-33	1563-1	1563-1	第9号竪穴住居跡	貼床	148	底部	礫やや多 量	?	ヨコナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第38図-15	1563-2	1563-2	第9号竪穴住居跡	貼床	60	底部	礫多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第38図-29	1563-3	1563-3	第9号竪穴住居跡	貼床	30	底部	礫やや多 量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	単軸絞糸体第 1類?	縦位回転	—	不良	
第36図-16	1563-7	1563-7	第9号竪穴住居跡	貼床	60	口縁部	礫やや多 量、繊維 多量	?	ヨコミガ キ、斜位 ミガキ	—	—	絞糸体圧痕文 (単軸絞糸体 1類Ⅰ、Ⅱ)、 キザミ(棒状 工具、右→ 左)、横位貼付 (-、上下ナ デ)	—	—	結束第1種LR 、RL	横位回転	横位貼付 →キザミ ・絞糸体 圧痕文・ 地紋	不良	
第38図-15	1570-1	1570-1	第12号竪穴住居跡	炉 埋設 土器	374	胴部	細砂・礫 多量、織 維やや多 量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回 転、斜位 回転	—	不良	表面の摩滅 著しい
第37図-3	1602-1	1602-1	第9号竪穴住居跡	5層	106	口縁部	細砂やや 多量、礫 少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第37図-32	1647-2	1647-2	第9号竪穴住居跡	3層	170	底部	礫多量	?	ナデ	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	底面の剥落 著しい
第34図-14	1683-1	1683-1	第6号竪穴住居跡	2層	38	胴部	細砂多 量、礫少 量	カマ ボコ 状	斜位ナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回 転、横位 回転、	—	不良	
第34図-23	1683-2	1683-2	第6号竪穴住居跡	2層	30	胴部	礫少量	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(?右 巻き、?右巻 きまたは左巻 き)	?	—	良好	
第35図-3	1729-1	1729-1	第7号竪穴住居跡	2層	30	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	内面自然釉
第40図-13	1734-1	1734-1	第13号竪穴住居跡	1層	206	底部	細砂多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅 著しい
第40図-11、 第40図-12	1734-2	1734-2A (1734-2)、 1734-2B (1734-3)	第13号竪穴住居跡	1層	203	口縁部	細砂多量	?	口縁部は ヨコナ デ、胴部 はタテナ デ	—	LR(-、回転)	横位貼付(-、 上下ナデ)、キ ザミ(ヘラ、 右→左)、縄側 面圧痕(R、 -)	—	—	LR(1結節)	縦位回転	横位貼付 →縄側面 圧痕→キ ザミ	良好	

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(7)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和物・ 混入物	口唇 形状	粘土 帯積上	内面	底面	口唇部文様 (原形、施文方法)	口縁部文様 (原形、施文方法)	胴部文様 (原形、施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考	
																				口唇部文様 (原形、施文方法)
第40図-3	1734-4	1734-4	第13号竪穴住居跡	1層	73	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナデ	—	絡糸体圧痕文 (単軸絡糸体 1類R、—)	縦位・横位貼 付(—、両側 縁ナデ)縄側 面圧痕(R、 —)、縄端圧痕 (R?、—)	—	LR (2結節)	縦位回転	縦位・横 位貼付→ 縄側面圧 痕→絡糸 体圧痕文 ・縄端圧 痕	不良	表面の摩滅 著しい、外 面文様内に 炭化物付着	
第34図-15	1739-1	1739-1	第6号竪穴住居跡	1層	35	胴部	細砂多 量、礫少 量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	横位貼付(—、 上下ナデ)	RL	縦位回転	?	不良	外面摩滅著 しい	
第40図-2	1826-1 1826-2	1826-1 1826-2	第13号竪穴住居跡	1層	745	口縁部	礫少量	B	カマコ ボコ 状	ヨコミガ キ	—	突起E(—、 —)	横位貼付(—、 上下端ナデ)、 縄側面圧痕 (L、—)	—	LR (2結節)	縦位回転	突起E→ 横位貼付 →縄側面 圧痕	良好	外面一部剥 落	
第40図-4	1826-3	1826-3	第13号竪穴住居跡	1層	250	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	複合口縁(—、 —)	—	結束第1種LR ・RL	縦位回転	複合口縁 →地紋	不良	外面剥落	
第40図-8	1826-4	1826-4	第13号竪穴住居跡	1層	80	口縁部	細砂多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	結束第1種LR ・RL	横位回転	—	良好		
第40図-15	1826-5	1826-5	第13号竪穴住居跡	1層	60	胴部	礫少量	—	?	ヨコミガ キ	—	—	—	—	LR (2結節)	縦位回転	—	良好		
第40図-6	1826-7	1826-7	第13号竪穴住居跡	1層	74	口縁部	礫多量、 繊維少量	A	?	ヨコミガ キ	—	突起?(—、 —)、縄側面 圧痕(LR、—)	?	?	?	?	?	突起?→ 縄側面圧 痕	不良	外面剥落
第40図-1、 第40図-5	1829-4 1829-5、 1844-1、 1844-4)、 1829-4B (1844-2、 1844-3)	1829-4 (1829-4、 1829-5、 1844-1、 1844-4)、 1829-4B (1844-2、 1844-3)	第13号竪穴住居跡	1層	517	口縁部	礫少量	B	?	ヨコミガ キ	—	橋状把手(—、 —)、複合沈線 (竹管状工具、 —)	—	—	—	—	—	突起D→ 橋状把手 →沈線	良好	
第34図-34	1838-1	1838-1	第6号竪穴住居跡	床面	140	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	単軸絡糸体第 1A類L	縦位回転	—	良好		
第39図-4	1839-1	1839-1	第11号竪穴住居跡	1層	59	胴部	礫少量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	多軸絡糸体R (軸?本)	縦位回転	—	良好		
第40図-14	1844-5	1844-5	第13号竪穴住居跡	1層	104	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナ デ、斜位 ナデ	—	突起B(—、 —)	横位貼付(—、 上下端ナデ)、 縄側面圧痕 (L、—)	—	L (2結節)	縦位回転	—	良好		
第34図-1	1879-1	1879-1	第6号竪穴住居跡	2層	65	口縁部	礫やや多 量	B	?	ヨコナデ	—	刺突文(棒状 工具、右下→ 左上)	—	—	単軸絡糸体第 1類R (2本1 組)	斜位回転 (右上→ 左下、左 上→右下 を組み合わせ て羽 状とする)	地紋→刺 突文	良好	刺突文は文 様ではない 可能性があ る	

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(8)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土・混和物・混入物	口唇形状	粘土・常積土	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様	脚部文様	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
												口唇部文様(原体、施文方法)	口唇部文様(原体、施文方法)	口縁部文様(原体、施文方法)	口縁部文様(原体、施文方法)							
第34図-2	1879-2	1879-2、1879-3	第6号竪穴住居跡	2層	68	胴部	細砂少量	—	?	ヨコミガキ	—	—	—	貼付(-、押圧貼付)、キサミ(ヘラ、右→左)、縄側面圧痕(L、-)	—	—	—	—	貼付→キサミ→縄側面圧痕	良好		
第34図-31	1879-4	1879-4	第6号竪穴住居跡	2層	31	胴部	細砂・礫やや多量	—	?	ヨコナナテ、斜位ナテ	—	—	—	—	—	LR	—	斜位回転	—	良好		
第38図-22	1900-1	1900-1	第9号竪穴住居跡	4層	57	底部	礫多量	—	?	ヨコナナテ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅著しい	
第37図-8	1900-14	1900-14	第9号竪穴住居跡	4層	35	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナナテ	—	—	—	横位貼付(-、刺上下ナテ)、刺芥文(竹管状工具)、地紋(LR(2結節)、横位回転)	—	—	LR(2結節)	横位回転	横位貼付→地紋→刺芥文	不良		
第38図-10	1920-1	1920-1	第9号竪穴住居跡	5層	88	底部	礫少量	—	?	ナテ	ナテ	ナテ	—	—	—	ナテ	—	横位	—	良好		
第37図-6	1920-4	1920-4	第9号竪穴住居跡	5層	54	口縁部	礫少量、繊維微量	A	?	ヨコナナテ	—	—	—	横位貼付(-、上下ナテ)、キサミ(半裁竹環状工具、-)、縄側面圧痕(R、-)	—	—	単軸絡糸体第1類L	縦位回転	—	良好		
第37図-20	1920-5	1920-5	第9号竪穴住居跡	5層	35	口縁部	細砂多量	B	?	ヨコミガキ	—	—	縄側面圧痕(L、-)	横位貼付(-、押圧貼付)、キサミ(半裁竹環状工具、右→左)、縄側面圧痕(L、-)	—	—	—	—	横位貼付・キサミ→縄側面圧痕	不良		
第37図-16	1939-3	1939-3	第9号竪穴住居跡	床面	33	口縁部	細砂やや多量、礫少量	B	?	ヨコナナテ	—	—	—	縄側面圧痕(LR、-)、横位貼付(-、-)	—	—	LR	横位回転	横位貼付→地紋→縄側面圧痕	不良		
第38図-5	1939-4	1934-4	第9号竪穴住居跡	床面	60	底部	礫多量	—	?	?	ナテ	ナテ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅著しい	
第37図-31	1939-5	1939-5、2300-1	第9号竪穴住居跡	床面貼床	170	底部	礫やや多量	—	?	ナテ	ナテ	ナテ	—	—	—	—	—	—	—	良好		
第34図-33	1959-1	1959-1	第6号竪穴住居跡	2層	78	底部	細砂やや多量	—	?	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	不良	
第34図-8	1959-3	1959-3	第6号竪穴住居跡	2層	49	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナナテ	—	—	—	横位貼付(-、上下ナテ)、キサミ(ヘラ、右→左)	—	—	?	縦位回転?	横位貼付→キサミ・沈線	良好		

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(9)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土・澀混入物	口唇形状	粘土帯積上	内面	底面	口唇部文様 口唇部文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 口縁部文様 (原体、施文方法)	胴部文様帯 胴部文様 (原体、施文方法)	地紋 地紋原体・ 外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第34図-11	1959-8 1981-8	1959-8、 1981-8	第6号竪穴住居跡	1層	117	胴部	細砂・澀 多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	沈線(半裁竹 管状工具、—)	LR	縦位回転	地紋→沈 線	不良	
第34図-21	1959-12	1959-12	第6号竪穴住居跡	2層	36	胴部	澀少量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第34図-20	1959-13	1959-13	第6号竪穴住居跡	2層	42	胴部	澀少量	—	?	ヨコナ デ、斜位 ナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	
第34図-30	1959-14	1959-14	第6号竪穴住居跡	2層	32	胴部	澀やや多 量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?右 巻き、?右巻 き?)	?	—	不良	
第34図-19	1959-15	1959-15	第6号竪穴住居跡	2層	34	胴部	細砂やや 多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	沈線(半裁竹 管状工具、—)	LR	横位回転	地紋→沈 線	不良	
第38図-23	1966-1	1966-1	第9号竪穴住居跡	4層	37	底部	細砂やや 多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	単軸絡糸体第 5類R	縦位回転	—	良好	
第37図-28	1966-2	1966-2	第9号竪穴住居跡	4層	37	口縁部	細砂やや 多量	B	?	ヨコナデ	—	—	貼付(—、面 御縁ナデ)、繩 側面圧痕 (LR、—)	—	—	—	貼付→繩 側面圧痕	良好	
第37図-23	1966-3	1966-3	第9号竪穴住居跡	4層	33	口縁部	澀やや多 量	B	?	ヨコナデ	—	—	貼付(—、側 縁ナデ)、繩側 面圧痕(LR、 —)	—	—	—	貼付→繩 側面圧痕	不良	
第34図-3	1981-1	1981-1	第6号竪穴住居跡	1層	40	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR(1結節)	横位回転	—	不良	
第34図-32	1981-2	1981-2	第6号竪穴住居跡	1層	36	底部	澀多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第34図-12	1981-5	1981-5	第6号竪穴住居跡	1層	73	胴部	細砂多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第34図-13	1981-10	1981-10	第6号竪穴住居跡	1層	45	胴部	澀少量、 纖維少量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	結束第1種 LR、RLR	横位回転	—	良好	
第34図-25	1981-14	1981-14	第6号竪穴住居跡	1層	36	胴部	澀多量、 纖維少量	—	?	ヨコミガ キ	—	—	—	—	?	?	—	不良	表面摩滅著 しい
第40図-7	2004-1	2004-1	第13号竪穴住居跡	1層	66	口縁部	細砂やや 多量	B	?	斜位ナデ	—	—	横位貼付(—、 上端ナデ)、キ ザミ(ヘラ、 左→右)集合 沈線(ヘラ、 —)	—	?	横位回転	地紋→横 位貼付→ 集合沈線 →キザミ	不良	2004-5と 同一個体の 可能性あり
第40図-16	2004-5	2004-5	第13号竪穴住居跡	1層	86	底部	細砂少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	?	?	—	不良	2004-1と 同一個体の 可能性あり
第33図-14	2041-1	2041-1、 2041-3	第1号竪穴住居跡	1層	73	底部	澀少量	—	外傾	ヨコナデ	木葉真	—	—	—	L	斜位回転	—	良好	
第39図-17	2069-3	2069-3	第13号竪穴住居跡	炉	31	胴部	細砂やや 多量、澀 少量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(10)

図版No.	壺体No.	破片No.	遺構・グリップ	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・ 混入物	口唇 形状	粘土 帯積上	内面	底面	口唇部文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 (原体、施文方法)	胴部文様 (原体、施文方法)	胴部文様帯 (原体、施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第40図-9	2077-3	2077-3	第14号竪穴住居跡	炉	55	胴部	礫多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	単軸絡糸体第1A類R(2本1組)	縦位回転	—	不良	外面の摩滅著しい
第39図-9	2229-1	2229-1	第10号竪穴住居跡	床面	68	胴部	礫多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第39図-1	2280-21	2280-21	第11号竪穴住居跡	床面	63	胴部	細砂やや多量	—	?	斜位回転	—	—	—	—	—	結束第1種LR・RL	横位回転	—	良好	
第39図-2	2280-22	2280-22	第11号竪穴住居跡	床面	55	胴部	細砂・礫少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	RLR	横位回転	—	良好	
第39図-12	2280-23	2280-23	第11号竪穴住居跡	床面	37	胴部	細砂・礫少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類R?	縦位回転	—	良好	
第39図-8	2280-24	2280-24	第11号竪穴住居跡	床面	37	胴部	細砂多量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	外面剥落
第39図-5	2280-25	2280-25	第11号竪穴住居跡	床面	33	胴部	細砂・礫やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL	横位回転	—	良好	
第38図-27	2300-2	2300-2	第9号竪穴住居跡	貼床	39	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	木葉痕?	—	—	—	—	RL	横位回転	—	良好	
第36図-18	2300-6	2300-6	第9号竪穴住居跡	貼床	43	口縁部	細砂少量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	内面炭化物付着
第40図-10	2309-2	2309-2	第13号竪穴住居跡	1層	184	口縁部	細砂やや多量、礫少量、雲母微量	A	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第37図-19	2441-1	2441-1	第9号竪穴住居跡	2層	33	口縁部	礫やや多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第38図-17	2441-4	2441-4	第9号竪穴住居跡	2層	91	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第38図-35	2441-5	2441-5	第9号竪穴住居跡	2層	66	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	結束第1種LR・RL	横位回転	—	不良	
第37図-15	2462-12	2462-12	第9号竪穴住居跡	3層	30	口縁部	細砂・礫少量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第36図-11	2462-14	2462-14	第9号竪穴住居跡	3層	59	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第37図-11	2462-15	2462-15	第9号竪穴住居跡	3層	53	口縁部	礫多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	表面の摩滅著しい
第34図-4	2476-1	2476-1	第6号竪穴住居跡	カマド 焼土	43	口縁部	礫やや多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第33図-4	2479-1	2479-1	第5号竪穴住居跡	1層	33	口縁部	細砂多量	E	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL	横位回転	突起C→貼付→地紋	不良	

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(11)

図版No	個体No	破片No	遺構・グリップド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・ 混入物	口唇 形状	粘土 帯積上	土 内面	底面	口唇部文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 (原体、施文方法)	胴部文様帯 (胴部文様 (原体、施文方法))	地紋 地紋原体・ 外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第37図-27	2511-1	2511-1	第9号竪穴住居跡	5層	36	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	
第38図-37	2534-1	2534-1	第9号竪穴住居跡	5層	110	底部	礫少量	—	?	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	良好	
第38図-38	2534-2	2534-2	第9号竪穴住居跡	5層	68	底部	細砂・礫 やや多 量、繊維 少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第38図-14	2534-3	2534-3	第9号竪穴住居跡	5層	40	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ?	—	—	—	—	—	—	不良	
第38図-30	2534-4	2534-4	第9号竪穴住居跡	5層	39	底部	細砂・礫 少量	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	内面炭化物 付着
第38図-26	2534-5	2534-5	第9号竪穴住居跡	5層	45	底部	礫やや多 量	—	?	ヨコナデ	ナデ?	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第38図-32	2534-6	2534-6	第9号竪穴住居跡	5層	53	底部	細砂多量	—	?	ヨコナデ	?	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅 著しい
第38図-6	2534-13	2534-13	第9号竪穴住居跡	5層	186	口縁部	細砂・礫 やや多 量、繊維 多量	C	?	ヨコナデ	—	—	貼付(—、上 下ナデ)、繩側 面圧痕(R、 —)	—	結束第1種LR ・RL	横位回転	貼付→地 紋→繩側 面圧痕	不良	内外面一部 剥落
第37図-4	2534-14	2534-14	第9号竪穴住居跡	5層	43	口縁部	細砂・礫 少量、雲 母微量	C	—	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転	地紋→繩 側面圧痕	不良	
第37図-26	2535-1	2535-1	第9号竪穴住居跡	1層	40	口縁部	細砂やや 多量、織 維多量	B	?	ヨコナデ	—	—	繩側面圧痕 (L、—)、キ ザミ(半裁竹 管状工具、右 →左)	—	単軸絡糸体第 1類R?	縦位回転	地紋→繩 側面圧痕 ・キザミ	不良	
第37図-7	2535-2	2535-2	第9号竪穴住居跡	1層	40	口縁部	細砂やや 多量、礫 少量	A	?	ヨコナ デ、斜位 ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	横位貼付 →地紋・ 繩側面圧 痕	不良	外面一部剥 落
第38図-9	2544-1	2544-1	第9号竪穴住居跡	5層	146	底部	細砂・礫 やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	
第38図-19	2544-2	2544-2	第9号竪穴住居跡	5層	34	底部	細砂やや 多量、礫 少量	—	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第38図-9	2544-7	2544-7	第9号竪穴住居跡	5層	51	口縁部	礫やや多 量	B	?	ヨコナデ	—	—	貼付(—、面 御縁ナデ)、繩 側面圧痕(L、 —)	—	—	—	?	良好	
第38図-10	2544-8	2544-8	第9号竪穴住居跡	5層	45	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	R	縦位回転	—	良好	
第38図-15	2631-4	2631-4	第9号竪穴住居跡	2層	30	口縁部	細砂多量	B	?	ヨコナデ	—	—	貼付(—、押 圧貼付)、繩側 面圧痕(L、 —)	LR	横位回転	地紋→貼 付→繩側 面圧痕	不良	口縁部内面 にも地紋 (RL、横位 回転)	

第6表 竪穴住居跡出土器属性表(12)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・グリップド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・ 混入物	口唇 形状	粘 土 帯 上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様 (原体・施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
												口唇部文様 (原体・施文方法)	口唇部文様 (原体・施文方法)	口縁部文様 (原体・施文方法)	口縁部文様 (原体・施文方法)						
第39図-18	2643-1	2643-1	第11号竪穴住居跡	2層	37	底部	礫やや多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第36図-8	2644-1	2644-1	第10号竪穴住居跡	2層	162	口縁部	礫少量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR	—	?	良好	口縁部と胴部の地紋原体回転方向が同一
第36図-17	2644-2	2644-2	第10号竪穴住居跡	2層	47	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR、RL	—	?	良好	
第39図-3	2644-8	2644-8	第10号竪穴住居跡	2層	44	胴部	細砂少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	結束第1種LR・RL	—	—	不良	表面の摩滅著しい
第39図-6	2644-11	2644-11	第10号竪穴住居跡	2層	41	胴部	細砂・礫やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類	—	—	良好	
第39図-11	2644-13	2644-13	第10号竪穴住居跡	2層	34	胴部	礫少量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR?	—	—	良好	
第39図-7	2644-15	2644-15	第10号竪穴住居跡	2層	35	胴部	細砂・礫少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	LR	—	—	不良	
第39図-9	2650-10	2650-10、2650-11	第3号竪穴住居跡	床面	77	底部	礫やや多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	ナデ	—	—	不良	
第34図-10	2651-1	2651-1	第6号竪穴住居跡	貼床	104	胴部	礫やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	結束第1種LR、RL	—	—	良好	外面炭化物付着
第34図-9	2651-2	2651-2	第6号竪穴住居跡	貼床	39	口縁部	細砂やや多量	A	?	斜位ケズリ	—	—	—	—	—	—	RL?	—	—	良好	
第34図-5	2654-2	2654-2	第6号竪穴住居跡	1層	32	口縁部	細砂少量	B	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第34図-7	2654-3	2654-3	第6号竪穴住居跡	1層	30	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第39図-10	2656-25	2656-25	第10号竪穴住居跡	1層	30	胴部	細砂・礫やや多量	—	?	?	—	—	—	—	—	—	LR (1結節)	—	—	不良	

第7表 土坑出土土器属性表(1)

図版No	個体No	破片No	遺構・フット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇縁	柱土器上	内面	底面	口唇部文様 文様 (原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様 (原形・施文方法)	胴部文様帯 文様 (原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第41図-16	403-1	403-1	第7号土坑 2層	34 胴部	34	胴部	礫多量	—	?	ヨコナガキ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	外面炭化物付着
第41図-14	419-1	419-1	第7号土坑 1層	48 胴部	48	胴部	礫やや多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	
第42図-10	479-1	479-1	第9号土坑 1層	45 胴部	45	胴部	礫やや多量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	横位・斜位 回転	—	—	不良	
第41図-3	538-1	538-1	第9号土坑	70 口縁部	70	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナガ	—	—	—	—	—	?	—	不良	表面の磨滅著しい
第42図-11	1124-11	1124-11	第25号土坑 3層	108 胴部	108	胴部	礫やや多量	—	?	斜位ミガキ	—	—	—	—	斜位回転・ 横位回転	—	—	良好	
第41図-20	1124-12	1124-12	第25号土坑 3層	36 胴部	36	胴部	礫やや多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	横位・斜位 回転	—	—	不良	
第41図-21	1124-13	1124-13	第25号土坑 3層	33 胴部	33	胴部	礫少量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	横位回転	—	—	良好	
第43図-1	1129-4	1129-4	第52号土坑 1層	31 胴部	31	胴部	礫多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	表面磨滅著しい
第43図-18	1139-3	1139-3、1139-4	第49号土坑 2層	77 胴部	77	胴部	細砂多量、礫 多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	横位回転	—	—	不良	表面磨滅著しい
第44図-3	1140-1	1140-1	第49号土坑 2層	32 底部	32	底部	礫やや多量	—	?	ヨコナガ	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	
第42図-30	1140-2	1140-2	第49号土坑 2層	32 口縁部	32	口縁部	細砂多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	斜位回転?	—	—	不良	
第42図-28	1140-3	1140-3	第49号土坑 2層	45 胴部	45	胴部	細砂・礫多量	—	?	ヨコナガ、 斜位ケズリ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第42図-29	1140-6	1140-6	第49号土坑 2層	39 胴部	39	胴部	細砂多量、礫 少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	?	—	—	不良	表面の磨滅著しい
第41図-2	1142-1	1142-1	第50号土坑 1層	178 口縁部	178	口縁部	細砂多量	B	?	ヨコナガ	—	—	—	—	横位・環状隆 線ナデ	横位・環状隆 線→地紋	良好	表面の磨滅著しい	
第42図27	1226-22	1226-22	第46号土坑 1層	47 胴部	47	胴部	礫多量、繊維 少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	
第42図-4	1226-23	1226-23	第46号土坑 1層	32 胴部	32	胴部	礫多量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	
第42図-25	1226-24	1226-24	第46号土坑 1層	36 胴部	36	胴部	礫やや多量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	斜位回転	—	—	不良	
第43図-12	1236-1	1236-1	第74号土坑 1層	61 胴部	61	胴部	細砂・礫多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	斜位回転	—	—	不良	
第43図-16	1236-2	1236-2	第74号土坑 1層	78 胴部	78	胴部	礫多量	—	?	?	—	—	—	—	斜位回転	—	—	不良	
第43図-9	1236-3	1236-3	第74号土坑 1層	36 胴部	36	胴部	細砂多量、礫 やや多量、繊維 少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	内面磨滅が著しい
第41図-28	1251-1	1251-1	第40号土坑 1層	30 口縁部	30	口縁部	細砂やや多量	C	?	ヨコナガ、 指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第41図-8	1251-3	1251-3	第40号土坑 1層	44 口縁部	44	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナガ	—	—	—	—	横位回転	地紋→縄面 圧痕	良好		
第43図-11	1260-6	1260-6	第76号土坑 2層	49 胴部	49	胴部	細砂・礫少量、 繊維微量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	横位回転	—	—	良好	
第41図-15	1266-1	1266-1	第16号土坑 1層	49 胴部	49	胴部	礫やや多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	
第43図-20	1267-3	1267-3	第81号土坑 1層	40 胴部	40	胴部	礫少量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	
第42図-17	1275-1	1275-1	第38号土坑 1層	46 胴部	46	胴部	細砂・礫多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	縦位回転・ 横位回転	—	—	不良	
第41図-11	1309-1	1309-1	第51号土坑 1層	35 口縁部	35	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナガ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第42図-24	1378-14	1378-14	第44号土坑 1層	54 胴部	54	胴部	礫多量	—	?	ヨコナガ、 タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第42図-1	1405-1	1405-1	第40号土坑 1層	40 胴部	40	胴部	細砂多量、礫 微量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	表面の磨滅著しい
第43図-19	1445-4	1445-4	第72号土坑 1層	95 胴部	95	胴部	礫多量、繊維 多量	—	?	?	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	表面の磨滅著しい
第43図-8	1445-5	1445-5	第72号土坑 1層	35 胴部	35	胴部	細砂多量、礫 少量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	?	—	—	不良	表面の磨滅著しい、 上下端開口縁状
第43図-6	1445-6	1445-6	第72号土坑 1層	37 胴部	37	胴部	細砂・礫多量	—	?	ヨコナガ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	表面の磨滅著しい
第43図-7	1445-14	1445-14	第72号土坑 1層	33 胴部	33	胴部	礫多量	—	?	タテナデ、 斜位ナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	—	不良	

第7表 土坑出土土器属性表(2)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口縁状	粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様 (原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様 (原形、施文方法)	脚部文様帯 文様 (原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第42図-8	1457-3	1457-3	第27号土坑 1層	35	胴部	細砂やや多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	斜位回転	—	—	良好	
第41図-22	1457-4	1457-4	第27号土坑 1層	36	胴部	礫少量	—	—	?	タテナデ	—	—	—	—	縦位回転、 斜位回転	—	—	良好	
第42図-12	1457-6	1457-6	第27号土坑 1層	49	胴部	細砂やや多量、礫少量	—	—	?	ヨコナデ、 指頭庄痕	—	—	—	—	横位回転	—	—	良好	
第44図-1	1515-1	1515-1	第46号土坑 1層	210	底部	細砂・礫やや多量、織維織	—	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	
第44図-6	1515-2	1512-2	第46号土坑 1層	120	底部	礫多量	—	—	?	ナデ	凹凸、 不明庄痕?	—	—	—	斜位回転	—	—	不良	
第41図-6	1515-3	1515-3	第46号土坑 1層	60	口縁部	礫多量	A	—	?	ヨコナデ	—	横位貼付(-、上下ナデ)	—	—	横位回転、 斜位回転	地紋→横位貼付	—	不良	内面にも地紋(LR、斜位回転)
第41図-9	1515-4	1515-4	第46号土坑 1層	40	口縁部	礫多量	A	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	斜位回転	—	—	不良	
第41図-7	1515-5	1515-5	第46号土坑 1層	50	口縁部	礫多量、雲母少量	A	—	?	ヨコナデ、 斜位ナデ	—	—	—	—	横位回転	突起D→突起上孔	—	良好	
第42図-5	1515-9	1515-9	第46号土坑 1層	32	胴部	細砂多量、織維少量	—	—	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第42図-26	1515-11	1515-11	第46号土坑 1層	50	胴部	細砂少量	—	—	?	ヨコナデ、 斜位ナデ	—	—	—	—	横位回転、 斜位回転	—	—	不良	
第42図-3	1515-12	1515-12	第46号土坑 1層	40	胴部	礫やや多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	斜位回転?	—	—	不良	
第42図-2	1515-13	1515-13	第46号土坑 1層	30	胴部	礫多量	—	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第43図-22	1553-1	1553-1	第65号土坑 1層	62	底部	礫やや多量	—	—	?	指頭庄痕	細庄痕、 ?	—	—	—	—	—	—	不良	
第41図-1	1553-3	1553-3A (1553-3、 1553-5、1553-8、 1553-9)、1553-3B (1553-4、1553-7、 1994-1)、1553-3C (1553-10、1553- 11、1553-12)	第65号土坑 1層	443	口縁部	細砂・礫少量	A	—	?	ヨコミガキ、 斜位ミガキ	—	突起E	横位貼付(-、上下ナデ)、 縦位・波状沈線(ヘラ、一)	貼付(-、 ナデ)、 沈線(ヘラ、一)	LR	横位回転	突起E→地紋貼付→沈線	不良	地紋原体の回転方向は口縁部と胴部で同じ
第41図-4	1553-6	1553-6、2327-1、 2327-2、2327-6	第65号土坑 1層、 第64号土坑	各1層	171	胴部	細砂・礫少量	—	外傾	ヨコナデ、 タテナデ	—	—	ボタン状貼付(-、 周辺ナデ)、 縦位・波状貼付(-、 胴庄貼付、 縄側面庄痕(L、一)	—	LR	横位回転	地紋・ボタン状貼付→ 縦位貼付→ 縄側面庄痕	不良	
第43図-4	1553-13	1553-13	第65号土坑 1層	47	胴部	礫多量	—	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	縦位回転?	—	—	不良	
第43図-15	1553-15	1553-15	第65号土坑 1層	40	胴部	礫少量	—	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第43図-5	1643-2	1643-2	第66号土坑 1層	41	胴部	礫少量	—	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(右巻き、L右巻き)	?	—	良好	
第42図-15	1769-2	1769-2	第35号土坑 1層	44	胴部	礫多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR(2結節)	縦位回転	—	不良	
第42図-16	1769-3	1769-3	第35号土坑 1層	36	胴部	礫多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第41図-24	1769-4	1769-4	第35号土坑 1層	34	胴部	礫少量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?左巻き、 ?右巻き)	?	—	良好	
第42図-19	1769-6	1769-6	第35号土坑 1層	33	胴部	礫多量	—	—	?	タテナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第41図-25	1769-7	1769-7	第35号土坑 1層	36	胴部	礫多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	
第42図-18	1769-10	1769-10	第35号土坑 1層	30	胴部	細砂多量	—	—	?	タテナデ	条状庄痕	—	—	—	—	—	—	不良	表面陸滅著しい
第44図-2	1793-1	1793-1	第25号土坑 2層	132	底部	礫多量	—	—	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第44図-4	1793-2	1793-2	第25号土坑 2層	59	底部	礫やや多量	—	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	外面は底部付近が ヨコナデ、胴部が タテナデ

第7表 土坑出土土器属性表(3)

図版No	個体No	破片No	遺構・フット	層位	部位	胎土・泥和劑・泥入物	口径	口径線	粘土線	内面	底面	口唇部文様 文様 (原形、施文方法)	口縁部文様 文様 (原形、施文方法)	胴部文様 文様 (原形、施文方法)	脚部文様 文様 (原形、施文方法)	修整 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考	
第42図-7	1793-3	1793-3	第25号土坑 2層	胴部	細砂多量、礫少量	—	—	—	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	縦位回転、横位回転	—	—	不良		
第41図-12	1793-4	1793-4	第25号土坑 2層	口縁部	細砂・礫少量	A	?	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	丸細紐(?)右巻き、?右巻き)	縦位回転?	—	—	良好	
第41図-18	1793-5	1793-5	第25号土坑 2層	胴部	細砂・礫多量	—	—	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	不良	
第41図-17	1793-6	1793-6	第25号土坑 2層	胴部	細砂・礫やや多量	—	—	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	不良	
第41図-19	1793-7	1793-7	第25号土坑 2層	胴部	礫多量、繊維微量	—	—	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	不良	
第42図-6	1793-8	1793-8	第25号土坑 2層	胴部	細砂・礫やや多量、繊維少量	—	—	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	単軸絡糸体第1種L	縦位回転	—	—	良好	
第43図-10	1803-1	1803-1	第59号土坑 1層	胴部	礫少量	—	—	—	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	単軸絡糸体第1種L?	縦位回転?	—	—	良好	
第42図-21	1842-1	1842-1	第37号土坑 1層	胴部	細砂・礫やや多量	—	—	?	タテナデ、ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	良好	
第43図-14	2014-2	2014-2	第75号土坑 1層	胴部	礫やや多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	不良	
第43図-21	2014-3	2014-3	第75号土坑 1層	底部	細砂多量、繊維微量	—	—	?	—	無調整	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第41図-10	2052-1	2052-1	第40号土坑 2層	口縁部	細砂やや多量	A	?	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	貼付(-、押圧貼付)、縄面圧痕(L、-)、刺突文(竹管状工具、右→左、下→上)	—	貼付・縄面圧痕→刺突文	良好	
第42図-23	2052-3	2052-3	第40号土坑 2層	胴部	礫少量	—	—	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	?	—	—	良好	
第42図-22	2052-4	2052-4	第40号土坑 2層	胴部	細砂・礫やや多量	—	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	結束第1種LR・RL	縦位回転	—	—	良好	
第41図-29	2052-5	2052-5	第40号土坑 2層	胴部	細砂・礫多量	—	—	?	?	—	—	—	—	—	—	結束第1種LR・LR	横位回転	—	—	不良	表面の磨滅著しい
第41図-30	2052-19	2052-19	第40号土坑 2層	胴部	礫やや多量	—	—	?	?	—	—	—	—	—	—	結束第1種LR・LR	斜位回転	—	—	不良	外面の磨滅著しい
第41図-13、第43図-17	2097-1A (2097-1)、2097-1B (2097-7、2097-8)	2097-1A (2097-1)、2097-1B (2097-7、2097-8)	第35号土坑 1層	口縁部、胴部	礫やや多量	C	?	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	—	不良	
第42図-20	2097-9	2097-9	第35号土坑 1層	胴部	礫やや多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	丸細紐(?)右巻き、?右巻き?)	縦位回転?	—	—	良好	
第41図-27	2097-10	2097-10	第35号土坑 1層	胴部	礫やや多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR?	横位回転?	—	—	不良	表面の磨滅著しい
第41図-26	2097-11	2097-11	第35号土坑 1層	胴部	礫やや多量	—	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	丸細紐(?)右巻き、?右巻き?)	斜位回転?	—	—	不良	
第43図-13	2327-3	2327-3	第64号土坑 1層	胴部	細砂多量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	結束第1種(RL・RL)	縦位回転	?	—	良好	
第43図-2	2327-13	2327-13	第64号土坑 1層	胴部	礫少量	—	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	結束第1種LR、RL	横位回転	—	—	不良	表面の磨滅著しい
第43図-3	2327-14	2327-14	第64号土坑 1層	胴部	礫少量	—	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	丸細紐(右巻き、r左巻き)	?	—	—	良好	
第42図-9	2401-32	2401-32	第29号土坑 1層	胴部	礫少量	—	—	?	タテミガキ	—	—	—	—	—	—	結束第1種LR・RL	横位回転	—	—	良好	
第41図-23	2401-33	2401-33	第29号土坑 1層	胴部	細砂・礫やや多量	—	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	—	良好	
第42図-14	2401-34	2401-34	第29号土坑 1層	胴部	細砂少量、繊維多量	—	—	?	斜位ミガキ	—	—	—	—	—	—	LR	縦位回転、斜位回転	—	—	良好	
第44図-5	2647-7	2647-7	第35号土坑 1層	底部	礫やや多量	—	—	?	斜位ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	L	縦位回転	—	—	不良	
第42図-13	2652-2	2652-2	第30号土坑 1層	胴部	礫やや多量	—	—	?	ヨコミガキ	—	—	—	—	—	—	LR	横位回転	?	—	不良	外面炭化物付着
第41図-5	2655-19	2655-19	第40号土坑 1層	口縁部	細砂やや多量	—	—	—	カムボコヨコナデ	—	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	地紋→縄面圧痕	良好	

第8表 焼土・炭化物集中区出土土器属性表(1)

図版No	個体No	破片No	遺構・グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土	口唇縁・粘土層上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様		地紋		施文順序	焼成	備考
											文様 (形状・量・方法)	貼付 (-、押し)	文様 (形状・量・方法)	貼付 (-、押し)	文様 (形状・量・方法)	貼付 (-、押し)	原形・外面調整	施文方法			
第45図-5	1125-2	1125-2	第3号焼土・炭化物集中区	焼土	40	口縁部	細砂やや多量	A	斜位ナデ	—	貼付 (-、押し)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-9	1159-2	1159-2	第3号焼土・炭化物集中区	焼土	33	口縁部	礫やや多量	B	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-1	1212-1	1212-1、1212-91	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	92	口縁部	細砂少量	—	ヨコナデ	—	キザミB(條状工具、器状工具、-)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-7、第46図-6	1212-2	1212-2A (1212-2)、1212-2B (1212-5)	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	96	胴部	礫やや多量、繊維微量	—	タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-19	1212-4	1212-4	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	36	胴部	細砂少量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-6、第45図-22	1212-6	1212-6A (1212-1)、1212-6B (1212-8)	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	82	胴部	細砂やや多量	—	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-18	1212-7	1212-7	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	31	胴部	細砂少量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-2	1212-9	1212-9、1212-97	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	103	口縁部	細砂・礫多量、繊維少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良
第46図-2	1212-10	1212-10	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	68	胴部	細砂やや多量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良
第45図-13	1212-12	1212-12	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	53	胴部	礫少量	—	タテナデ、斜位ナデ、ガキ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-8	1212-13	1212-13	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	37	胴部	礫やや多量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-17	1212-14	1212-14、1212-30	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	72	胴部	細砂多量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良
第46図-9	1212-16	1212-16、1212-38	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	69	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良
第45図-14	1212-18	1212-18	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	31	胴部	礫やや多量	—	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-12	1212-19	1212-19	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	37	胴部	礫多量	—	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良
第45図-10	1212-95	1212-95	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	31	口縁部	礫やや多量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良
第45図-4	1212-96	1212-96	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	66	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良
第46図-1	1212-98	1212-98A (1212-98、1567-2)、1212-98B (1383-1)、1212-98C (2465-5)、1212-98D (1566-1)	第5号焼土・炭化物集中区、南部塔区、K-10、2b層、3c層、3b層	焼土	339	口縁部	細砂・礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-23	1404-4	1404-4	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	86	胴部	細砂・礫少量	—	ヨコナデ、タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好
第45図-20	1404-5	1404-5	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	57	胴部	細砂多量	—	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好

第8表 焼土・炭化物集中区出土土器属性表(2)

図版No	細体No	破片No	遺構・グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土	口唇縁・口縁部	口唇縁・口縁部	口唇縁・口縁部	胎土		内面	底面	口唇部文様		口唇部文様	口唇部文様	胴部文様	地敷		施文順序	焼成	備考	
											胎土	胎土			口唇部文様	口唇部文様				胴部文様	胴部文様				原形・外面調整
第45図-15	1404-6	1404-6	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	43	胴部	細砂少量、織	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第45図-11	1404-7	1404-7	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	35	胴部	織微量	—	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第46図-8	2366-1	2366-1	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	112	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第46図-5	2366-3	2366-3	炭化物集中区	焼土	43	胴部	礫やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	底面に近い部位
第46図-7	2366-4	2366-4	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	32	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第45図-23	2366-6	2366-6	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	160	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第45図-21	2366-14	2366-14	炭化物集中区	焼土	223	胴部	礫やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第46図-3	2366-15	2366-15	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	130	胴部	礫多量	—	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第45図-16	2366-17	2366-17	炭化物集中区	焼土	39	胴部	礫多量	—	?	タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面にも一部地敷 (RL、縦位回転)
第46図-4	2366-19	2366-19	炭化物集中区	焼土	31	胴部	礫少量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第45図-3	2366-10	2366-10	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	92	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	

第9表 集石遺構・埋設土器出土土器属性表

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土		口唇形状	粘土帯積上	内面	底面	口唇部文様 文様(原体、 施文方法)	胴部文様帯 文様(原体、 施文方法)	地紋 原・ 外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
							混和剤・ 混入物	量											
第47図-1	519-1	519-1	第1号集石遺構	底面	40	口縁部	細砂・礫少 量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第47図-6	521-1	521-1	第1号埋設土器遺構	底面	700	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	繩物圧痕 ?、ナデ	—	—	R L	縦位回転	—	—	不良	
第47図-3	757-1	757-1	第1号集石遺構	底面	33		細砂多量、 繊維微量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	L R	縦位回転	—	—	不良	表面摩滅著 しい
第47図-4	1235-1	1235-1	第2号集石遺構	底面	67	胴部	礫やや多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	L ?	斜位回転	—	—	不良	擬口縁、表 面の摩滅著 しい
第47図-5	1235-2	1235-2	第2号集石遺構	底面	31	胴部	礫多量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	?	?	—	—	不良	表面の剥落 著しい
第47図-2	1674-1	1674-1	第2号集石遺構	底面	73	口縁部	細砂やや多 量、礫少量	—	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面輪積み 葉のこる、 内面炭化物 付着

第10表 北部捨て場出土土器属性表

図版No	個体No	破片No	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土		口唇形状	粘土帯積上	内面	底面	口唇部文様 文様(原体、 施文方法)	胴部文様帯 文様(原体、 施文方法)	地紋 原・ 外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
							混和剤・ 混入物	量											
第48図-1	2394-2	2394-2	L-2	北包2層	388	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面の一部 に輪積痕の こる
第48図-3	2415-1	2415-1	L-2	北包2層	91	口縁部	礫多量、細 砂多量	A	?	?	—	—	—	L R (1結節)	縦位回転	地紋→繩側 面圧痕	不良	表面の摩滅 が著しい	
第48図-2	2415-2	2415-2	L-2	北包2層	62	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	単軸絡条体 第1類R	縦位回転	地紋→繩側 面圧痕	不良	ひょうm	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(1)

図版No	図体No	破片No	遺構・グロブ	層位	重量(g)	部位	胎土・混和物	口縁線	胎土部線土	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	脚部文様帯 文様(原形、施文方法)	脚部文様帯 脚部文様	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第78図-7	508-1	508-1	K-9	包3a層	900	口縁部	礫やや多量	C	?	口縁部はヨコナデ、 キ、脚部はタテミミガキ	—	—	三角彫形凸、横位貼付(上下端ナデ)、右→左、捺状把手、横位沈線	—	—	縦位回転	三角彫形凸・捺状把手→横位・斜位貼付→キザミ	良好	きわめて精巧なつくり	
第78図-5	508-2	508-2	K-9	包3a層	276	口縁部	細砂・礫やや多量	B	?	ヨコナデ	—	—	横位貼付(ハ、上端のみナデ)、横位・波状沈線(ハ、ハ、ハ)	—	—	縦位回転	横位貼付→地紋→横位・波状沈線	良好		
第103図-8	807-2	807-2	K-10	包3b層	132	口縁部	細砂多量、雲母少量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良		
第102図-4	807-3	807-3	K-10	包3b層	152	口縁部	細砂多量、雲母少量	A	?	口縁部はヨコナデ、 脚部はタテナデ	—	キザミA(ハ、右→左)	無文帯、横位貼付(ハ、上下端ナデ)、刺突文(竹筥状工具、器面に対して垂直)	—	—	縦位回転	横位貼付→キザミA→横位貼付→地紋・刺突文	良好		
第145図-3	811-1	811-1、811-2、871-3、1544-1、1604-1、1877-1	K-10	包2b層、包3e層	4,413	口縁部	細砂やや多量、礫少量	A	?	口縁部はヨコナデ、 脚部は斜位ナデ	—	キザミ(ハ、右→左)	横位貼付(ハ、ハ、ハ)	—	—	縦位回転	横位貼付→キザミA・地紋	不良		
第70図-1	816-1	816-1	L-10	包2b層	254	口縁部	細砂多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 脚部はタテナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい		
第73図-19	816-2	816-2	L-10	包2b層	81	口縁部	細砂・礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	良好			
第143図-2	817-1	817-1	K-11	包3e層	104	口縁部	細砂・礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA(ハ、右→左)	—	—	縦位回転	?	不良			
第145図-10、 第146図-20	817-5	817-5A(817-5、817-5B(817-6、817-7)	K-11	包3e層	538	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	不良			
第107図-9	821-1	821-1	K-10	包3b層	100	口縁部	細砂やや多量、 礫少量	A	?	口縁部はヨコナデ、 脚部は斜位ナデ	—	—	—	—	縦位回転	?	不良			
第104図-14	821-2	821-2	K-10	包3b層	80	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	沈線(ハ、ハ、ハ)	—	—	縦位回転	横位貼付→キザミ・地紋	良好			
第105図-7	821-3	821-3	K-10	包3b層	54	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	不良			
第144図-17	823-1	823-1	K-10	包3e層	51	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	横位貼付(ハ、上下端ナデ)、 キザミA(ハ、右→左)	—	?	?	地紋→横位貼付→キザミA	良好		
第152図-20	836-1	836-1	K-10	包3e層	96	口縁部	細砂・礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	不良			
第162図-10	838-1	838-1	K-10	包3e層	137	底部	細砂・礫多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	—	
第142図-6、 第144図-4	839-1	839-1A(839-1、839-2、1556-1、1556-2、1556-3)、839-1B(853-1、839-3、1337-1)	K-10	包2b層、包3e層	2,531	口縁部	細砂・礫少量	A	?	口縁部はヨコミミガキ、 脚部はタテミミガキ	—	突起B単位数不明	LR脚面圧痕、横位貼付(ハ、上下端ナデ)、 捺状把手	—	—	縦位回転	横位貼付→側面圧痕・捺状把手	良好		
第49図-17	842-1	842-1	L-10	包2b層	104	底部	細砂多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	—	
第74図-30	855-1	855-1	K-10	包2b層	300	底部	細砂多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	—	
第146図-10	861-1	861-1、861-2、880-2	K-10	包3b層、包3e層	577	口縁部	細砂やや多量、 雲母微量	A	?	ヨコミミガキ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第152図-6	865-1	865-1	K-10	包3e層	70	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第142図-5	871-1	871-1、871-2、871-4、880-4、880-5、880-6	K-10	包3e層	707	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	突起B単位数不明	LR附加の捺状体もしくは脚加条、横位貼付(ハ、上下端ナデ)、 捺状把手	—	—	—	—	—	—
第48図-11	881-2	881-2	L-10	包2b層	71	口縁部	細砂・礫やや多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第48図-11	882-1	882-1	K-9	包1層	52	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第49図-18	884-1	884-1	L-10	包2b層	79	底部	礫少量	—	?	無調整	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第11表 南部捨て場出土土器属性表(3)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土	口縁線	蓋土器露上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 種類・記号	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第143図-1	1065-3	1065-3	K-12	包3e層	720	口縁部	混和剤・混入物 細砂・礫やや多量	B	カマボコ 状	ヨコナデ	—	突起E	縦位・横位貼付(—、左 右ナデ)、沈線(へら、—)、 キザミ(へら、下→上ある いは器面に対して垂直)	—	—	結果第1種LR・RL羽 状	縦位回転 横位貼付→ 沈線→キザミ →地紋	突起E→縦位 ・横位貼付→ 沈線→キザミ →地紋	不良	
第143図-6	1066-1	1066-1	K-10	包3c層	1,060	口縁部	細砂多量	A	カマボコ 状	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	RL	横位回転	—	良好		
第138図-5	1067-1	1067-1	L-10	包3d層	79	口縁部	細砂・礫やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ	—	キザミ(へら、左 →右)	—	—	LR	横位回転	?	不良		
第133図-6	1067-3	1067-3	L-10	包3d層	128	口縁部	礫やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ	—	キザミ(へら、左 →右)	—	—	LR	横位回転	?	不良		
第60図-4	1073-1	1073-1	K-10	包2b層	84	口縁部	細砂・礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミ(へら、器 面に対して垂直)	縦位・横位貼付(—、押 圧貼付)、キザミ(へら、右 →左)	—	R/LR	縦位回転、 斜位回転	地紋→縦位・ 横位貼付→キ ザミ	不良		
第55図-9	1074-1	1074-1	K-9	包2a層	100	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類L	縦位回転	—	不良	
第57図-2	1074-9	1074-9	K-9	包2a層	250	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	
第74図-6	1077-1	1077-1	L-10	包2b層	120	口縁部	細砂・礫やや多量、 草、繊維少量	B	?	指頭旺盛	—	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第68図-10	1077-3	1077-3	L-10	包2b層	60	口縁部	細砂やや多量	B	カマボコ 状	指頭旺盛	—	—	—	—	—	純側面圧痕L	押圧	—	不良	
第52図-9	1078-1	1078-1	K-9	包2a層	88	口縁部	礫少量	B	—	斜位ナデ	—	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	良好	
第51図-4	1078-2	1078-2	K-9	包2a層	75	口縁部	礫やや多量	A	—	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	無立管・横位貼付(—、左 右ナデ)、押突文(竹管 状工具、器面に対して垂 直)	—	—	LR (1結節)	縦位回転	横位貼付→押 突文・地紋	不良	
第51図-8	1078-3	1078-3	K-9	包2a層	83	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	無立管・横位貼付(—、 押圧貼付)、キザミ(へら、 左→右)	—	—	—	縦位回転	地紋→横位貼 付→キザミ	良好	
第57図-16	1078-11	1078-11	K-9	包2a層	72	底部	細砂・礫少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	?	?	—	不良	
第105図-5	1081-2	1081-2	K-9	包3b層	54	口縁部	細砂・礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第104図-11	1081-4	1081-4	K-9	包3b層	78	口縁部	礫少量	A	?	指頭旺盛	—	キザミ(へら、左 →右)	—	—	—	—	斜位回転	?	良好	
第162図-18	1083-1	1083-1	K-9	包3c層	67	底部	細砂多量	—	—	?	凹凸(彫 成要因不 明)	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第160図-18	1083-2	1083-2	K-9	包3e層	99	底部	細砂・礫やや多量	—	—	?	ナデ	—	—	—	—	—	横位回転	—	良好	
第59図-5	1085-1	1085-1	J-9	包2b層	162	口縁部	礫やや多量	A	内傾	ヨコミガキ	—	—	縦位・横位貼付(—、左 右ナデ)、沈線(半取竹管 状工具、—)、純側面圧痕 (LR、—)	—	—	LR (1結節)	縦位回転	縦位・横位貼 付→沈線→純 側面圧痕	不良	
第60図-6	1089-1	1089-1	J-9	包2b層	97	口縁部	細砂やや多量	B	?	ヨコナデ	—	—	縦位・横位貼付(—、押 圧貼付)、沈線(へら、淺 い)、押突文(竹管状工具、 —)、純側面圧痕(L、 —)	—	—	R/LR	斜位回転	地紋→横位・ 環状貼付→沈 線・押突文	良好	
第146図-13	1093-1	1093-1	K-8	包3e層	270	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	?	?	不良	
第150図-2、 第159図-7、 第159図-15	1093-3A (1093-3)、 1993-3B (1093-4)、 1093-3C (1093-6)	1093-3A (1093-3)、 1993-3B (1093-4)、 1093-3C (1093-6)	K-8	包3e層	304	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	?	?	不良	
第159図-16	1093-5	1093-5	K-8	包3e層	67	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第157図-5	1093-7	1093-7	K-8	包3e層	60	口縁部	礫多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	横位回転	—	良好	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(5)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・グランド	層位	重量(g)	部位	胎土	口唇縁	粘土器種上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様 文様(原形、施文方法)	胴部文様 文様(原形、施文方法)	胴部文様 種類・意味	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第145図-8	1107-1	1107-1	J-10	包3e層	466	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	—	横位回転	—	不良	外面に接合痕残るが断面では確認不能	
第150図-7	1107-2	1107-2	J-10	包3e層	158	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	R(4結節)	—	横位回転	—	不良		
第140図-6	1110-1	1110-1	K-10	包3b層	144	口縁部	礫やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	—	—	LR(結節部回転)	—	横位回転	キサミア→地紋	不良	口縁部内面に齧歯状の沈線(先端がぼろぼろの様状工具、一)	
第78図-2	1112-1	1112-1, 1330-3	L-9, L-10	包3a層、包3b層	2,164	口縁部	細砂少量、礫少量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	無文帯、横位貼付(一、押圧貼付)	—	LR	—	横位回転	キサミア・横位貼付→地紋	良好		
第65図-4	1114-1	1114-1	K-9	包2b層	680	口縁部	細砂多量	A	?	タテナデ	—	—	—	附加糸R(軸不明)	—	斜位回転	?	不良		
第66図-11	1114-2	1114-2	K-9	包2b層	69	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	単軸糸条体第5類R	—	横位回転	—	不良		
第77図-19	1114-3	1114-3	K-9	包2b層	81	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	ナデ	—	横位	—	不良		
第91図-10	1115-1	1115-1	K-9	包3a層	56	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	R	—	横位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第66図-3	1116-1	1116-1	K-10	包2b層	242	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	単軸糸条体第5類L	—	縦位回転	—	不良		
第91図-8	1117-3	1117-3	K-9	包3a層	63	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	RL(1結節)	—	縦位回転	キサミア→地紋	不良	外面一部剥落	
第79図-3	1117-4	1117-4	K-9	包3a層	104	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	横位貼付(一、押圧貼付)、キサミア(左→右)	—	単軸糸条体第1類R	—	斜位回転	?	良好	口唇部にも地紋	
第150図-3	1118-1	1118-1	J-11	包3e層	156	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	結束第1種LR・LR	—	横位回転	?	不良		
第160図-3	1118-2	1118-2	J-11	包3e層	73	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	RL?	—	縦位回転	突起B?→地紋	不良	表面の摩滅が著しい	
第148図-7	1119-4	1119-4	K-9	包3e層	248	口縁部	礫多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	?	—	不良		
第112図-3	1122-1	1122-1, 1867-4, 2028-3, 2572-2	K-9	包3a層、包3b層、包3c層	1,259	口縁部	細砂・礫やや多量	A	内傾	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	—	—	単軸糸条体第5類R	—	縦位回転	?	良好	表面剥落	
第140図-10	1132-4	1132-4	K-10	包3d層	170	底部	礫多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	不良		
第94図-6	1133-1	1133-1	K-9	包3a層	142	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	L?	—	縦位回転、斜位回転	—	不良		
第153図-5	1135-1	1135-1	J-9	包3e層	160	口縁部	礫多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	単軸糸条体第1類?丸組紐(?,?)	—	?	—	不良		
第153図-1	1135-2	1135-2	J-9	包3e層	93	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	?	?	不良		
第151図-7	1135-3	1135-3	J-9	包3e層	90	口縁部	礫多量	?	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	—	横位回転	—	不良	外面の大半が剥落	
第160図-6	1135-4	1135-4	J-9	包3e層	146	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ、指頭圧痕継代痕?	—	—	RL	—	横位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第100図-4	1136-1	1136-1A(1136-1), 1136-2, 1136-1B(1138-1)	K-8	包3a層、包3b層	1,739	口縁部	礫少量	A	?	ナデ	—	—	—	結束第1種RL・LR	—	縦位回転	?	良好	波状口縁	
第92図-2	1136-3	1136-3, 1232-1, 2568-2	K-8	包3a層	432	口縁部	礫少量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部は斜位ナデ	—	—	—	多軸糸条体R(軸不明)	—	縦位回転	—	不良	外面一部剥落	
第98図-4	1137-1	1137-1	K-10	包3b層	73	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、丸組紐?	—	無文帯、横位貼付(一、押圧貼付)、刺突文(棒状工具、器面に対して垂直)	—	?	?	?	?	不良	横位貼付→刺突文	

第11表 南部捨て場出土器属性表(7)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土	口縁線	蓋土部上	内面	底面	口唇部文様 文様(原体, 施文方法)	口縁部文様 文様(原体, 施文方法)	胴部文様 施文(胴部)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第160図-17	1166-6	1166-6	K-12	包3e層	202	底部	泥和剤・混入物 礫多量	—	?	ナデ	細代痕 ?	—	—	—	?	?	—	不良	
第96図-13	1167-1	1167-1	L-9	包3a層	210	底部	細砂多量	—	?	ナデ	細代痕 ?	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	
第97図-1	1167-2	1167-2, 1167-3	L-9	包3a層	120	底部	細砂・礫多量	—	?	指頭正痕	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	底面一部剥落
第140図-2	1168-1	1168-1	K-10	包3d層	160	口縁部	細砂多量	A	—	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面摩滅
第128図-2	1168-2	1168-2A (1168-2, 1588-1), 1168-2B (1589-2)	K-9, K-10	包2b層, 包3d層	715	口縁部	礫多量	B	?	口縁部はヨコナデ、胴部・はタテナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第94図-11	1171-1	1171-1	K-9	包3a層	68	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第94図-13	1171-3	1171-3	K-9	包3a層	104	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭正痕	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第80図-5, 第98図-6	1171-5	1171-5A (1171-5), 1171-5B (2108-1, 2108-2)	K-9, K-10	包2b層, 包3a層	584	口縁部	細砂やや多量、礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭正痕 ヨコナデ、指頭正痕	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第130図-3	1173-1	1173-1	K-9	包3d層	660	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第53図-6	1174-1	1174-1	L-9	包2a層	61	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第53図-10	1174-2	1174-2	L-9	包2a層	52	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第67図-13	1176-1	1176-1	L-10	包2b層	63	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第67図-1	1176-2	1176-2	L-10	包2b層	142	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第77図-12	1176-4	1176-4	L-10	包2b層	97	底部	細砂やや多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	
第74図-9	1176-5	1176-5	L-10	包2b層	390	底部	細砂・礫やや多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	
第100図-6, 第100図-3	1177-1	1177-1A (1177-1, 1811-2), 1177-1B (1681-2), 1177-1C (1811-1, 2085-1)	K-9	包3a層, 包3b層	382	口縁部	礫やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部は斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	内外面一部剥落
第82図-9	1177-2	1177-2	K-9	包3a層	174	口縁部	礫少量、細砂多量	A	?	指頭正痕	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第83図-3	1177-3	1177-3	K-9	包3a層	420	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第86図-6	1178-1	1178-1	K-9	包3a層	89	口縁部	礫やや多量	A	?	斜位ナデ、指頭正痕	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第83図-1	1178-4	1178-4	K-9	包3a層	128	口縁部	礫少量	A	?	指頭正痕	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第91図-15	1178-5	1178-5	K-9	包3a層	57	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第143図-9	1180-1	1180-1	J-12	包3c層	81	口縁部	礫やや多量、蓋母やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第147図-6	1180-2	1180-2	J-12	包3e層	342	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第161図-5	1183-1	1183-1	K-9	包3e層	182	底部	礫多量	A	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第146図-6	1183-2	1183-2	K-9	包3e層	260	口縁部	細砂・礫多量	A	?	指頭正痕	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第149図-1	1183-3	1183-3	K-9	包3e層	272	口縁部	礫少量	A	?	カマコ タテナデ、斜位ナ デ、指頭正痕	—	—	—	—	—	—	—	良好	

第11表 南部捨て場出土器属性表(8)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土	口形	胎土器種	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様	地紋		施文方法	施文順序	焼成	備考
												文様(原形・施文方法)	文様(原形・施文方法)	原形	原形・外面調整							
第146図-7	1185-1	1185-1	K-9	包3e層	456	口縁部	多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(未燃原体、右巻、左巻)	?	?	?	不良	内面の磨減が著しい	
第145図-9	1185-2	1185-2	K-9	包3e層	178	口縁部	細砂やや多量、 少量	B	?	?	—	—	—	—	—	L	縦位回転	—	—	良好		
第144図-13	1185-3	1185-3	K-9	包3e層	60	口縁部	礫やや多量	C	?	ヨコナデ	—	—	無文帯、縦位貼付(—、 押圧貼付)、刺突文(棒状 工具、器面に対して垂直)	—	—	丸組紐(未燃原体、 左巻、左巻)	?	?	突起→縦位貼 付・地紋→刺 突文	—	—	
第158図-3	1185-4	1185-4	K-9	包3e層	76	口縁部	細砂多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	附加条(未燃原体、 軸不明)	縦位回転	?	?	不良		
第130図-5	1187-1	1187-1	L-10	包3d層	83	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナデ	—	—	細側面圧痕(LR、鋸齒 状)、縦位貼付(—、 押圧)、キザミ(ヘラ、右 →左)	—	—	LR(2結節)	縦位回転	—	縦位貼付→キ ザミ(貼付 上)、それ以外 の要素の新旧 関係は不明	—	不良	
第126図-15	1190-1	1190-1	J-8	包3d層	72	口縁部	細砂・礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回転、 斜位回転	—	突起B→キザ ミ・地紋	—	不良	
第134図-13	1190-3	1190-3	J-8	包3d層	74	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	丸組紐?(未燃原体、 右巻、右巻?)あ るいは多軸条体	?	?	?	良好		
第135図-7	1190-4	1190-4	J-8	包3d層	136	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(未燃原体、 左巻、左巻)	?	?	—	不良		
第124図-18	1191-1	1191-1	K-9	包3c層	1,026	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整 細代裏 ?	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	—	良好		
第112図-1	1192-1	1192-1, 1658-1, 1658-2	K-9	包3c層	2,717	口縁部	礫・細砂少量	C	?	ヨコナデ、斜位ナデ	ナデ	—	—	—	—	結束第2種LR	縦位回転	—	突起A→キザ ミ・地紋	—	良好	突起Bの頂点 は平坦となる
第128図-4	1193-1	1193-1, 1193-4	K-9	包3d層	761	口縁部	礫やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ、指 頭圧痕	—	—	—	—	—	丸組紐(未燃原体、 左巻、左巻)	?	?	—	良好		
第131図-2	1193-3	1193-3	K-9	包3d層	296	口縁部	礫少量	A	?	カマボコ ヨコナデ 状	—	—	—	—	—	単軸条体第5類未 燃原体	縦位回転	—	—	良好		
第70図-7	1194-1	1194-1	K-9	包2b層	50	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	—	良好		
第70図-5	1195-1	1195-1	L-10	包2b層	153	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	突起C→地紋	—	良好	
第99図-5	1196-1	1196-1, 1302-1, 1321-5, 2024-1, 1324-2, 2137-1, 2248-3, 2386-1	K-9, K-10	包2a層、 包3b層	2,453	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	単軸条体第5類R	縦位回転	?	?	不良	
第103図-9	1196-2	1196-2	K-10	包3b層	110	口縁部	細砂やや多量、 礫少量	A	?	?	—	—	—	—	—	RLR	斜位回転?	—	—	—	不良	外面剥落
第105図-10	1196-3	1196-3	K-10	包3b層	75	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐?(未燃原体、 左巻、左巻)	?	?	—	—	良好	
第105図-16	1196-4	1196-4	K-10	包3b層	67	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	LR(1結節)	縦位回転	—	—	—	不良	
第111図-5	1197-1	1197-1, 1197-2, 1197-3	K-9	包3c層	330	口縁部	礫多量、雲母少 量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	キザミ→地紋	—	不良	
第125図-2	1197-4	1197-4	K-9	包3c層	186	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面やや磨減
第108図-2a	1198-1	1198-1	L-10	包3b層	330	底部	細砂多量	—	?	ナデ	木葉痕	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面やや磨減
第109図-6	1198-2	1198-2	L-10	包3b層	172	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第65図-3	1198-3	1198-3	L-10	包3b層	930	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	?	不良	
第150図-11	1199-1	1199-1	K-11	包3e層	146	口縁部	礫やや多量	A	?	カマボコ ヨコナデ 状	—	—	—	—	—	—	—	—	?	?	不良	
第161図-13	1199-2	1199-2	K-11	包3e層	240	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面一部剥落
第138図-14	1200-1	1200-1	K-9	包3d層	144	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	—	—	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(9)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 泥和屑・混入物	口縁状	粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様部 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第137図-1	1200-2	1200-2	K-9	包3d層	95	口縁部 礫多量		A	?	ヨコナデ	?	—	—	丸組紐(??右巻、 ?右巻?)	横位回転?	—	不良		
第139図-8	1200-6	1200-6	K-9	包3d層	73	口縁部 礫多量		A	?	ヨコナデ	—	キザミA(ヘラ、 左から右)	—	RL	斜位回転	?	不良		
第138図-5	1200-7	1200-7	K-9	包3d層	120	口縁部 細砂多量		A	?	指頭庄痕	?	—	—	単輪絡糸体第1類	斜位回転	?	不良		
第48図-6	1202-1	1202-1、1202-3	L-9	包1層	75	口縁部 礫多量		A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR(2結節)	縦位回転	横位貼付→刺 突文・地紋	不良	外面一部剥落	
第48図-12	1202-3	1202-3	L-9	包1層	75	口縁部 礫やや多量		A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	斜位回転、 縦位回転	地紋→横位貼 付→キザミA	不良		
第94図-2	1206-2	1206-2、1635-1	J-8、 J-9	包3a層、 包3c層	282	口縁部 細砂多量		A	?	ヨコナデ	—	キザミB(棒状工 具、器面に対して 垂直)	—	丸組紐(??、?)	?	キザミB→沈 線	不良		
第112図-11	1206-3	1206-3、1676-3	J-8、 J-9	包3a層、 包3c層	632	口縁部 礫多量		A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(??、?)	?	?	良好		
第97図-5	1206-4	1206-4	J-8	包3c層	156	底部 礫多量		A	?	ナデ	ナデ	—	—	LR	横位回転	キザミ・横位 貼付→地紋	不良		
第80図-9	1208-5	1208-5	K-9	包3a層	88	口縁部 細砂多量		A	?	ヨコナデ	—	キザミA(ヘラ、 右→左)	—	LR	横位回転	キザミA→地 紋	不良		
第145図-7、 第148図-3	1209-2	1209-2A(1209- 2)、1209-2B (1209-3)	J-9	包3c層	968	口縁部 礫多量		A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタチナデ	—	—	—	LR	横位回転、 斜位回転	突起B→キザ ミ・地紋	不良	外面一部剥落	
第98図-7	1210-3	1210-3	K-10	包3層	60	口縁部 礫やや多量、細 砂やや多量		A	?	ヨコナデ	—	—	—	RL	斜位回転	貼付→地紋	良好		
第131図-1	1211-1	1211-1A(1211- 1)、2083-1)、1211 -B(1576-2)、 1211-1C(1772- 3)	K-10	包3d層	965	口縁部 細砂・礫やや多 量		B	?	ヨコナデ	—	キザミA(ヘラ、 左→右)	—	丸組紐(??、?)	?	キザミA→地 紋	良好		
第136図-8	1211-2	1211-2	K-10	包3d層	128	口縁部 礫少量、細砂や や多量		A	?	ヨコナデ	—	キザミA(ヘラ、 右→左)	—	丸組紐(??、?)	?	キザミA→地 紋	良好		
第128図-11	1211-3	1211-3	K-10	包3d層	81	口縁部 細砂多量		A	?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	LR(一端結節)	横位回転	キザミA→地 紋	不良		
第141図-1	1211-4	1211-4	K-10	包3d層	480	底部 礫多量		—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第137図-17	1213-1	1213-1	K-10	包3d層	70	口縁部 礫やや多量		A	?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	単輪絡糸体I?	縦位回転?	縦一	良好		
第140図-4	1213-2	1213-2	K-10	包3d層	64	口縁部 礫多量		A	?	ヨコナデ	—	突起A(ヘラ、キ ザミA(ヘラ、左 →右)	—	単輪絡糸体第1類L	斜位回転	突起A→地紋	不良	外面一部剥 落 横位貼付 が付されていない 可能性が高い	
第77図-4	1214-1	1214-1	K-10	包2層	236	底部 礫多量、繊維微 量		—	?	ナデ	無調整	—	—	ナデ	横位	—	不良		
第64図-5	1214-2	1214-2	K-10	包2層	680	口縁部 礫やや多量		A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	縦位回転、 横位回転、 斜位回転	—	不良	外面一部剥落	
第137図-10	1215-1	1215-1	L-10	包3d層	64	口縁部 礫やや多量		A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(??、?)	?	?	不良		
第54図-2	1216-1	1216-1	L-9	包2a層	194	口縁部 礫やや多量		A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	横位回転、 斜位回転	—	不良	内面のごく一 部にLR細文 がみられる	

第11表 南部捨て場出土器属性质表(10)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混入物	口縁部 粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口唇部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋	施文順序	焼成	備考	
第81図-5	1217-1	1217-1	K-9	包3a層	180	完形	細砂やや多量、 礫少量、纖維微 量	A	ヨコナデ	無調整	—	—	—	単軸綫条体第5類R	縦位回転	—	良好	
第53図-11	1219-2	1219-2	K-9	包2a層	54	口縁部	細砂少量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	補修孔あり	
第55図-11	1219-3	1219-3	K-9	包2a層	50	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	クナナデ	—	—	—	—	単軸綫条体第5類？ 丸組紐？(未燃原体 左巻、未燃原体左巻 ？)	斜位回転？	？	不良	
第56図-7	1219-4	1219-4	K-9	包2a層	55	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	多軸綫条体LR(軸本 数不明)	縦位回転、 斜位回転	—	不良	外面の摩滅が 著しい
第57図-7	1219-8	1219-8	K-9	包2a層	84	底部	細砂多量	—	？	ナデ	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第138図-11、 第133図-8	1220-5	1220-5A (1220- 5)、1220-5B (1220-6)	K-10	包3d層	150	口縁部	細砂多量	A	？	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	—
第114図-4	1221-1	1222-1	K-9	包3c層	122	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	—
第120図-8	1221-2	1221-2	K-9	包3c層	53	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第122図-6	1221-5	1221-5	K-9	包3c層	346	口縁部	礫少量、細砂少 量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	単軸綫条体第1類r	縦位回転、 斜位回転	—	不良	—
第135図-11	1222-5	1222-5	K-9	包3d層	136	口縁部	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	丸組紐(？、？)	？	？	不良	—
第120図-2	1222-6	1222-6	K-9	包3d層	388	口縁部	礫多量	C	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(凡右巻、R右 巻)	縦位回転？	—	不良	—
第140図-13	1222-7	1222-7	K-9	包3d層	284	底部	礫やや多量	—	ナデ	無調整、 網代痕 ？	—	—	—	丸組紐(？、？)	？	—	良好	—
第56図-14	1223-4	1223-4	L-9	包2a層	446	底部	礫少量	—	ナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	良好	—
第150図-18	1224-3	1224-3	K-9	包3c層	52	口縁部	細砂多量、纖維 多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	—
第155図-7	1224-4	1224-4	K-9	包3c層	114	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐(凡右巻、R右 巻)	横位回転	—	不良	—
第153図-10	1224-5	1224-5	K-9	包3c層	120	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐？(未燃原体 左巻、未燃原体左巻 ？)	？	—	不良	—
第162図-20	1224-7	1224-7	K-9	包3c層	51	底部	細砂多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第162図-11	1224-9	1224-9	K-9	包3c層	102	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第91図-16	1225-8	1225-8	L-9	包3a層	66	口縁部	細砂多量	A	？	—	—	—	—	結束第1種RL・RL	縦位回転	？	不良	—
第91図-5	1225-9	1225-9	L-9	包3a層	110	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR(1結節)	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第92図-8	1225-10	1225-10	L-9	包3a層	102	口縁部	細砂多量	—	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第60図-13	1229-2	1229-2	J-9	包2b層	64	口縁部	礫多量、細砂や や多量、雲母少 量	A	ヨコミガキ	—	—	—	—	RL	縦位回転	？	不良	口縁部内面角 に粘土を貼り つけることで は横位ではな い
第60図-15	1229-3	1229-3	J-9	包2b層	52	口縁部	礫少量	A	ヨコミガキ	—	—	—	—	—	—	—	良好	口縁部内面角 に粘土を貼り つけることで は横位ではな い
第73図-11	1229-4	1229-4	J-9	包2b層	52	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	R	縦位回転	—	不良	口唇部を成形

第11表 南部捨て場出土器属性表(11)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇状 粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様部 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第67図-6	1230-1	1230-1A (1551-2)、1230-1B (1230-1、1847-3)	L-10、K-9、K-10	包2b層	461	口縁部 少量	和利・混入物	A ?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	突起C (—、—)	—	—	単軸絡糸体第5類L	縦位回転	突起C→地紋	不良	
第75図-14	1230-3	1230-3	L-10	包2b層	446	底部 少量	—	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	単軸絡糸体第1類L	縦位回転	—	良好	内面口縁部に刺突文(線状工具?、上→下)
第58図-4	1231-1	1231-1	K-10	包2b層	820	口縁部 細砂多量	—	B ?	ヨコナデ	—	無文帯、縦位貼付(—、押圧貼付)刺突文(へら、左→右および右→左)	—	—	単軸絡糸体第1A類L	縦位回転	縦位貼付→刺突文・地紋	良好	
第96図-8	1232-1	1232-1	K-8	包3a層	304	底部 細砂やや多量、繊維多量	—	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第93図-7	1232-2	1232-2	K-8	包3a層	82	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	多軸絡糸体R (軸本紋不明)	縦位回転	—	良好	
第67図-9	1233-1	1233-1	K-10	包2b層	108	口縁部 細砂多量	—	B ?	?	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	縦位回転、斜位回転	—	不良	
第146図-9	1234-1	1234-1、2495-1、2585-1	J-10、K-10	包3d層、包3c層	1,170	口縁部 少量	—	A ?	タテナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	良好	
第140図-1	1234-2	1234-2	J-10	包3d層	154	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	突起? (—、—)	—	—	単軸絡糸体第5類(?)	縦位回転?	突起→地紋	良好	
第77図-1	1237-2	1237-2	L-10	包2b層	198	底部 細砂やや多量、少量	—	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	良好	
第132図-2	1239-1	1239-1	K-10	包3a層	380	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	キザミア(へら、左→右)	—	—	RL?	横位回転	キザミア→地紋	良好	
第113図-2	1240-1	1240-1	L-9	包3c層	1,380	口縁部 細砂やや多量、少量	—	A ?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(R右巻、R左巻)	横位回転	—	良好	
第112図-8	1241-1	1241-1	K-9	包3c層	520	口縁部 少量	—	A ?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ、指頭旺盛	—	刺突文(棒状工具、器面に大して垂直)	—	—	丸組紐(L右巻、R右巻)	横位回転	?	不良	
第117図-5	1241-2	1241-2	K-9	包3c層	125	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第119図-2	1241-3	1241-3	K-9	包3c層	60	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	キザミア(へら、右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	
第121図-12	1241-4	1241-4	K-9	包3c層	60	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	突起B(—、—)、キザミア(指頭、右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	
第153図-2	1243-1	1243-1	K-10	包3a層	133	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第154図-10	1243-2	1243-2	K-10	包3c層	94	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	突起C?(—、—)	—	—	丸組紐(L右巻、R右巻)	?	?	不良	
第76図-6	1244-1	1244-1	K-10	包2b層	394	底部 細砂やや多量	—	ナデ	ナデ	無調整	—	—	—	ナデ	横位	—	良好	
第73図-7	1244-3	1244-3	K-10	包2b層	52	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR(②結節)	縦位回転	—	不良	
第126図-1	1245-1	1245-1、1245-2、1245-3、1245-3、1628-1、1629-1、1976-1、2022-2、2022-3	K-9、L-10	包3c層、包3d層	2,531	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	地紋→横位貼付	良好	
第118図-3	1246-2	1246-2	K-9	包3c層	88	口縁部 少量	—	A ?	指頭旺盛	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第58図-6	1248-1	1248-1、1248-2	K-10	包2b層	258	口縁部 少量、細砂やや多量	—	A ?	ヨコミガキ、台部はタテミガキ	—	沈瀬(へら、—)突起B(—、—)	—	—	LR(②結節)	縦位回転	突起B→縦位貼付→沈瀬→キザミア	不良	
第74図-1	1248-3	1248-3	K-10	包2b層	176	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	良好	
第60図-5	1248-4	1248-4	K-10	包2b層	172	口縁部 少量	—	A ?	ヨコナデ	—	縦位貼付(—、押圧貼付)、キザミア(へら、右→左)、沈瀬(半裁竹管状工具、左)	—	—	LR	横位回転	縦位貼付→沈瀬→キザミア	不良	キヤリバー形、口縁部内面に粘土貼付で成形

第11表 南部捨て場出土器属性表(12)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇状粘土帯露土	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 種類・数量	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考	
第63図-7	1248-5	1248-5	K-10	包2b層	58	口縁部	礫やや多量	D	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転	縦位貼付→地紋	良好		
第97図-2	1249-1	1249-1	K-9	包3a層	150	底部	礫多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	?	?	不良		
第99図-11	1287-1	1287-1	K-10	包3b層	268	口縁部	礫少量	C	?	?	?	?	—	—	?	?	不良		
第105図-19	1287-2	1287-2	K-10	包3b層	148	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	?	?	不良		
第105図-9	1287-3	1287-3	K-10	包3b層	79	口縁部	礫やや多量	C	ヨコナデ	—	—	—	—	—	?	?	不良		
第107図-7	1287-5	1287-5A (1287-5A), 1287-5B (1287-5B), 1287-5C (1287-5C), 1287-5D (1287-5D), 1287-5E (1287-5E), 1287-5F (1287-5F), 1287-5G (1287-5G), 1287-5H (1287-5H), 1287-5I (1287-5I), 1287-5J (1287-5J), 1287-5K (1287-5K), 1287-5L (1287-5L), 1287-5M (1287-5M), 1287-5N (1287-5N), 1287-5O (1287-5O), 1287-5P (1287-5P), 1287-5Q (1287-5Q), 1287-5R (1287-5R), 1287-5S (1287-5S), 1287-5T (1287-5T), 1287-5U (1287-5U), 1287-5V (1287-5V), 1287-5W (1287-5W), 1287-5X (1287-5X), 1287-5Y (1287-5Y), 1287-5Z (1287-5Z)	K-9, K-10	包3a層, 包3b層	1,188	口縁部	礫少量	C	?	指頭圧痕	—	—	—	—	?	?	良好		
第64図-1	1288-1	1288-1A (1288-1A), 1288-1B (1288-1B), 1288-1C (1288-1C), 1288-1D (1288-1D), 1288-1E (1288-1E), 1288-1F (1288-1F), 1288-1G (1288-1G), 1288-1H (1288-1H), 1288-1I (1288-1I), 1288-1J (1288-1J), 1288-1K (1288-1K), 1288-1L (1288-1L), 1288-1M (1288-1M), 1288-1N (1288-1N), 1288-1O (1288-1O), 1288-1P (1288-1P), 1288-1Q (1288-1Q), 1288-1R (1288-1R), 1288-1S (1288-1S), 1288-1T (1288-1T), 1288-1U (1288-1U), 1288-1V (1288-1V), 1288-1W (1288-1W), 1288-1X (1288-1X), 1288-1Y (1288-1Y), 1288-1Z (1288-1Z)	K-9, J-13	包3a層, 包3b層, 包3c層	4,986	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、口縁部に外面と同様の丸組紐	—	沈線 (棒状工具、口唇部に沿って浅く施文)	—	—	丸組紐 (?、?)	縦位回転	?	不良	
第125図-1	1288-2	1288-2	K-9	包3c層	322	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	縦位、縦位	縦位貼付→地紋	不良		
第63図-4、第64図-2	1289-1	1289-1A (1289-1A), 1289-1B (1289-1B), 1289-1C (1289-1C), 1289-1D (1289-1D), 1289-1E (1289-1E), 1289-1F (1289-1F), 1289-1G (1289-1G), 1289-1H (1289-1H), 1289-1I (1289-1I), 1289-1J (1289-1J), 1289-1K (1289-1K), 1289-1L (1289-1L), 1289-1M (1289-1M), 1289-1N (1289-1N), 1289-1O (1289-1O), 1289-1P (1289-1P), 1289-1Q (1289-1Q), 1289-1R (1289-1R), 1289-1S (1289-1S), 1289-1T (1289-1T), 1289-1U (1289-1U), 1289-1V (1289-1V), 1289-1W (1289-1W), 1289-1X (1289-1X), 1289-1Y (1289-1Y), 1289-1Z (1289-1Z)	K-9, K-10	包2a層, 包2b層	1,230	口縁部	細砂・礫少量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	無文帯、縦位貼付 (-、押圧貼付)	—	—	直前段反燃 (LR)	縦位回転	縦位貼付→地紋	不良	
第77図-17	1289-2	1289-2	K-10	包2b層	65	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第74図-8	1293-1	1293-1	K-10	包2b層	306	底部	細砂少量、繊維少量	—	ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第64図-3	1295-1	1295-1, 1295-2, 1295-3, 1295-4, 1295-5, 1295-6, 1295-7, 1295-8, 1295-9, 1295-10, 1295-11, 1295-12, 1295-13, 1295-14, 1295-15, 1295-16, 1295-17, 1295-18, 1295-19, 1295-20, 1295-21, 1295-22, 1295-23, 1295-24, 1295-25, 1295-26, 1295-27, 1295-28, 1295-29, 1295-30, 1295-31, 1295-32, 1295-33, 1295-34, 1295-35, 1295-36, 1295-37, 1295-38, 1295-39, 1295-40, 1295-41, 1295-42, 1295-43, 1295-44, 1295-45, 1295-46, 1295-47, 1295-48, 1295-49, 1295-50, 1295-51, 1295-52, 1295-53, 1295-54, 1295-55, 1295-56, 1295-57, 1295-58, 1295-59, 1295-60, 1295-61, 1295-62, 1295-63, 1295-64, 1295-65, 1295-66, 1295-67, 1295-68, 1295-69, 1295-70, 1295-71, 1295-72, 1295-73, 1295-74, 1295-75, 1295-76, 1295-77, 1295-78, 1295-79, 1295-80, 1295-81, 1295-82, 1295-83, 1295-84, 1295-85, 1295-86, 1295-87, 1295-88, 1295-89, 1295-90, 1295-91, 1295-92, 1295-93, 1295-94, 1295-95, 1295-96, 1295-97, 1295-98, 1295-99, 1295-100	K-10	包2b層	2,345	口縁部	礫多量	A	?	タテナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	単軸絡糸体第1A類R	縦位回転	—	不良	
第52図-1	1296-1	1296-1	K-8	包3a層	350	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	キザミA (へら、右→左)	—	—	—	縦位回転	?	不良		
第86図-8	1296-2	1296-2	K-8	包3a層	61	口縁部	細砂やや多量、礫少量	C	タテナデ	—	—	—	—	—	縦位回転	?	良好		
第96図-6	1296-4	1296-4	K-8	包3a層	482	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ、指頭圧痕	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好		
第149図-6	1298-1	1298-1	K-8	包3e層	160	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	—	斜位回転?	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第64図-4	1302-1	1302-1	L-10	包2b層	705	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	突起C (-、-)	—	—	LR	縦位回転	—	不良	外面一部剥落	
第73図-3	1302-4	1302-4	L-10	包2b層	56	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	外面一部剥落	
第51図-17	1303-1	1303-1	K-9	包2a層	144	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良		
第63図-1	1304-1	1304-1A (1304-1A), 1304-1B (1304-1B), 1304-1C (1304-1C), 1304-1D (1304-1D), 1304-1E (1304-1E), 1304-1F (1304-1F), 1304-1G (1304-1G), 1304-1H (1304-1H), 1304-1I (1304-1I), 1304-1J (1304-1J), 1304-1K (1304-1K), 1304-1L (1304-1L), 1304-1M (1304-1M), 1304-1N (1304-1N), 1304-1O (1304-1O), 1304-1P (1304-1P), 1304-1Q (1304-1Q), 1304-1R (1304-1R), 1304-1S (1304-1S), 1304-1T (1304-1T), 1304-1U (1304-1U), 1304-1V (1304-1V), 1304-1W (1304-1W), 1304-1X (1304-1X), 1304-1Y (1304-1Y), 1304-1Z (1304-1Z)	K-8, K-10	包2b層	1,903	口縁部	細砂多量、礫やや多量	A	?	タテナデ	—	縦位貼付 (-、押圧貼付)、キザミA (へら、左→右)、細面圧痕 (LR、-)	—	—	—	縦位回転	縦位貼付→キザミA・細面圧痕	良好	縦位貼付一部剥落
第64図-10	1305-1	1305-1	K-10	包2b層	190	口縁部	礫多量	A	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第75図-19	1305-8	1305-8	K-10	包2b層	228	底部	細砂多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良		

第11表 南部捨て場出土器属性表(13)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混入物	口形状	口部形状	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考	
第91図-3	1306-1	1306-1	J-8	包3a層	85	口縁部	細砂やや多量、 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転、 斜位回転	地紋→縦位面 庄痕→縦筋筋 部回転庄痕	不良	外面一部剥落	
第65図-9、 第67図-12	1313-1	1313-1A (1313-1D)、1313-1B (1313-3)	K-10	包2b層	424	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	?	不良		
第73図-2	1313-2	1313-2	K-10	包2b層	71	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	沈線 (ハラ、一)	—	—	LR	縦位回転	地紋→沈線	良好		
第76図-4	1313-4	1313-4	K-10	包2b層	258	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好		
第74図-25	1313-5	1313-5	K-10	包2b層	200	底部	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好		
第52図-2	1314-2	1314-2	L-9	包2a層	390	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	不良		
第57図-4	1314-3	1314-3	L-9	包2a層	180	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良		
第57図-15	1314-4	1314-4	L-9	包2a層	67	底部	礫多量	—	?	ナデ	?	—	—	—	?	?	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第67図-15、 第67図-4	1318-1	1318-1A (1318-1D)、1318-1B (1318-4)	K-10	包2b層	140	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面の摩滅が 著しい	
第62図-2	1318-2	1318-2	K-10	包2b層	81	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	横位貼付(一、押圧貼付)、 沈線 (ハラ、一)	—	L	縦位回転	地紋→横位貼 付→沈線	不良		
第66図-7	1318-3	1318-3	K-10	包2b層	87	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	内外面一部剥 落	
第95図-17	1320-1	1320-1	K-9	包3a層	130	底部	—	—	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
第81図-4	1320-2	1320-2A (1320-2B)、1760-2、2383-3、1320-2B (2420-1)	K-9	包3a層	1,225	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	—	—	—	?	良好	
第90図-16	1320-3	1320-3	K-9	包3a層	70	口縁部	細砂やや多量、 礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第89図-5	1320-4	1320-4	K-9	包3a層	125	口縁部	細砂やや多量、 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転	キザミA→地 紋	不良	外面一部剥 落、波状口縁	
第94図-12	1320-5	1320-5	K-9	包3a層	60	口縁部	細砂やや多量、 礫少量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第99図-6	1321-1	1321-1、1984-3、1984-4、2240-2	K-10、 L-9	包3a層、 包3b層	557	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第99図-4	1321-2	1321-2、1321-4、2509-1	K-10	包3b層	1,545	口縁部	礫多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第110図-3	1321-3	1321-3、1370-4、1481-2、1562-1、1867-2、1867-3、1867-8、1984-4、2240-2、2349-1、2385-1	K-9、 K-10	包3a層、 包3b層、 包3c層	2,817	口縁部	細砂多量、雲母 少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第107図-14	1321-6	1321-6	K-10	包3b層	60	口縁部	細砂多量、礫多 量	A	?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第108図-7	1321-7	1321-7	K-10	包3b層	65	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	内面の摩滅が 著しい	
第76図-7	1322-1	1322-1	K-10	包2b層	140	底部	礫多量、繊維 微量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	良好		
第69図-10	1322-2	1322-2	K-10	包2b層	83	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	良好		
第65図-2	1323-1	1323-1、2460-2、2460-3	L-10	包2b層	2,597	口縁部	礫・細砂多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	内外面からの 押し→地紋	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(14)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土		口部形状	粘土部編上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様帯	胴部文様帯	地紋		施文順序	焼成	備考		
							混和剤・混入物	胎土					文様(原形、施文方法)	文様(原形、施文方法)			原形・外面調整	地紋					
第108図-21	1324-1	1324-1	K-10	包3b層	248	底部	少量	?	ナデ	ナデ、網代痕?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好		
第109図-7	1324-2	1324-2	K-10	包3b層	90	底部	少量	?	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい	
第108図-5	1324-3	1324-3	K-10	包3b層	56	口縁部	少量	A	ヨコナデ	ヨコナデ、斜位ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落	
第96図-3	1325-1	1325-1	K-9	包3a層	350	底部	細砂やや多量、少量	?	ナデ	ナデ、指頭圧痕	ナデ、網代痕?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第83図-2	1325-2	1325-2	K-9	包3a層	380	口縁部	細砂やや多量、少量	C	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面の剥落が著しい
第100図-5	1326-1	1326-1	K-10	包3b層	316	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第65図-11	1327-1	1327-1, 1785-1, 1785-2, 1785-3	L-10	包2b層	752	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第46図-2	1328-1	1328-1	L-9	包1層	124	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落
第90図-12	1333-1	1331-1	K-9	包3a層	112	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第94図-4	1333-2	1333-2	K-9	包3a層	58	口縁部	少量	A	?	指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落
第145図-1	1334-1	1334-1	K-8	包3e層	605	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	一部にRの回転圧痕あり(丸組紐以前の施文)
第68図-3	1335-1	1335-1	K-10	包2b層	78	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい
第50図-10	1336-1	1336-1	K-9	包2a層	250	口縁部	少量	B	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落
第52図-8	1342-1	1342-1	K-9	包2a層	160	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第146図-4	1343-1	1343-1, 1350-2	J-13	包3e層	218	口縁部	少量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第144図-8	1343-2	1343-2	J-13	包3e層	61	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	波状口縁
第157図-13	1343-3	1343-3	J-13	包3e層	95	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第57図-10	1344-4	1344-4	L-9	包2a層	126	底部	少量	—	?	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい
第57図-9	1344-5	1344-5	L-9	包2a層	110	底部	少量	—	?	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面の剥落が著しい
第75図-16	1345-3	1345-3	K-10	包2b層	316	底部	少量	—	?	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第128図-8	1346-1	1346-1, 1630-3, 1630-6, 1630-7, 1630-8	K-10	包3a層、包3d層	872	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第128図-9	1346-2	1346-2	K-10	包3d層	272	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第134図-17	1346-3	1346-3	K-10	包3d層	90	口縁部	少量	A	?	タテナデ、指頭圧痕	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第134図-7	1346-4	1346-4	K-10	包3d層	76	口縁部	少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(15)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口喙状 粘土顆粒	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第141図-8	1346-6	1346-6	K-10	包3d層	178	底部	礫多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	横位	—	—	不良	
第93図-15、 第93図-17	1347-1	1347-1A (1347-1D)、1347-1B (1347-7)	K-9	包3a層	116	口縁部	細砂やや多量、 礫やや多量	?	ヨコナデ	—	—	—	L	口縁部は斜位回転、胴部は縦位回転	—	—	不良	
第86図-7	1347-5	1347-5	K-9	包3a層	65	口縁部	礫多量	?	タテナデ、指頭旺盛	—	—	—	附加条(軸RL+R) ? 又は蒸り戻し ?	横位回転 ?	?	不良	内面の剥落が著しい	
第97図-16	1347-8	1347-8	K-9	包3a層	71	底部	細砂多量、 微量	?	?	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	
第56図-2	1348-1	1348-1	L-9	包2a層	53	口縁部	礫やや多量	?	タテナデ	—	—	—	多軸線条体 ?	縦位回転	—	良好		
第88図-7	1349-1	1349-1A (1723-1)、1723-6、1349-1B (1349-1)	L-9	包2a層、 包3a層	247	口縁部	礫多量	?	ヨコナデ	—	—	—	LR (1結節)	縦位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第89図-8	1349-2	1349-2	L-9	包3a層	98	口縁部	礫やや多量	?	指頭旺盛	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第91図-1	1349-3	1349-3	L-9	包3a層	68	口縁部	礫やや多量	?	ヨコナデ	—	?	?	単軸線条体第5類 ?	縦位、斜位 ?	—	不良		
第93図-12	1349-4	1349-4	L-9	包3a層	55	口縁部	礫やや多量	?	指頭旺盛	—	—	—	単軸線条体第5類R	横位回転	—	不良		
第90図-15	1349-5	1349-5	L-9	包3a層	58	口縁部	礫やや多量	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第151図-2	1350-1	1350-1	J-13	包3e層	80	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ	—	—	—	R	横位回転	—	不良	外面の一部に 接合痕のこる	
第140図-8	1351-1	1351-1	J-10	包3d層	690	底部	礫少量	?	ナデ	ナデ 近代産	—	—	ミガキ	横位	—	良好		
第126図-5	1351-2	1351-2	J-10	包3d層	150	口縁部	礫少量	?	ヨコミガキ	—	貼付 (-、渦巻状)	貼付 (-、縦位)、キザミ (へラ、下→上)	LR (1結節)	口縁部は横位回転、胴部は縦位回転	貼付→キザミ →地紋	良好		
第127図-11	1351-3	1351-3	J-10	包3d層	80	口縁部	礫やや多量	?	ヨコミガキ	—	横位貼付 (-、上下ナデ)、 沈線 (へラ、横位)、キザミ AB (へラ、右→左)	—	RL	縦位回転	地紋、貼付→ 沈線→キザミ B	良好		
第87図-7	1352-1	1352-1	K-9	包3a層	98	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ	—	—	—	LR (1結節)	横位回転	—	不良		
第96図-14	1352-2	1352-2	K-9	包3a層	450	底部	細砂少量、 礫やや多量	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	丸組紐 (R右巻、L右巻)	縦位回転	—	良好		
第81図-8	1353-1	1353-1、1963-1、 2092-1	L-9	包3a層	772	口縁部	細砂多量	B	ヨコナデ	—	—	—	結東第2種LR・RL	縦位回転	—	不良		
第122図-2	1354-1	1354-1	K-9	包3c層	300	口縁部	細砂多量	A	タテナデ	—	—	—	結東第2種L・L	横位回転	?	不良	表面の摩滅が著しい、 補修孔	
第135図-9	1354-2	1354-2A (1766-1)、1976-5、2098-1、2336-1)、 1354-2B (?)、 1354-2C (1354-2)、1354-2D (1976-3)	K-9、 K-10、 L-9、 L-10	包3a層、 包3c層、 包3d層	982	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	?	不良		
第116図-9	1354-3	1354-3	K-9	包3c層	100	口縁部	礫少量	A	斜位ナデ、指頭旺盛	—	—	—	LR	縦位回転	?	良好		
第121図-13	1354-4	1354-4	K-9	包3c層	50	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	キザミA→地紋	不良		
第99図-13	1361-1	1361-1、1482-2	K-9、 K-10	包3a層、 包3b層	422	底部	礫少量	A	タテナデ	圧痕なし	—	—	単軸線条体第1A類R	縦位回転	—	不良		

第11表 南部捨て場出土土器属性表(16)

図版No	個体No	破片No	遺構・グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口縁部 社器種上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文順序	焼成	備考	
第115図-2	1367-2	1367-2	K-8	包3c層	132	口縁部	礫多量	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ、指 頭圧痕	—	横位貼付(-、押圧貼付)、 脚突文(竹管状工具、器 面に対して垂直)	—	LR	—	横位貼付→脚 突文→地紋	不良		
第125図-9	1367-3	1367-3	K-8	包3c層	75	底部	礫やや多量	?	ナデ	無調整 ナデ	—	—	—	—	—	不良		
第125図-5	1367-4	1367-4	K-8	包3c層	86	底部	礫多量	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良		
第135図-5	1368-1	1368-1	K-10	包3d層	132	口縁部	礫やや多量	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	表面の磨減が 著しい	
第126図-2	1368-2	1368-2A (1368- 2、1368-1、2537 -2)、1368-2B (1368-3、2088- 3)、1368-2C (1394-1)	K-10	包3d層	754	口縁部	礫多量	?	ヨコナデ	—	無文帯、横位貼付(-、 押圧貼付)、キザミA(ハ ラ、左→右)	—	LR	—	横位貼付→キ ザミA	不良		
第127図-1	1368-3	1368-3	K-10	包3d層	248	口縁部	礫多量	?	ヨコナデ	—	横位貼付(-、上 下ナデ)、キザミA (ハラ、左→右)	—	LR	—	横位貼付→キ ザミA→地紋	不良	表面の磨減が 著しい	
第135図-4	1368-4	1368-4	K-10	包3d層	116	口縁部	礫少量、細砂や 多量	?	指頭圧痕	—	—	—	r	—	斜位貼付	不良	外面一部剥落	
第131図-7	1368-5	1368-5	K-10	包3d層	256	口縁部	礫多量	?	?	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	横位貼付?	不良	内面の磨減が 著しい	
第110図-2	1369-1	1369-1、1369-2、 1369-3、1369-4、 1375-1、2231-1、 2231-2、2318-1、 2519-1	K-9	包3c層	3,137	口縁部	礫少量	?	口縁部にRL縄文 (斜位貼付)、ヨコ ナデ	—	無文帯	無文帯、横位貼付(-、 押圧貼付)	RL	RL	地紋→横位貼 付→底行貼付	良好		
第112図-6	1370-1	1370-1、1430-3、 1430-5、1430-7、 1638-1、1656-3、 1704-1、1721-1、 2317-1	K-9	包3c層	1,631	口縁部	礫やや多量	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ	—	突起AA単位、キザ ミA(ハラ、右→ 左)	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	
第114図-7	1370-2	1370-2	K-9	包3c層	58	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	RL	斜位貼付	—	不良		
第122図-1	1370-6	1370-6	K-9	包3c層	210	口縁部	礫少量	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ	—	—	—	附加条?	斜位貼付?	—	不良		
第128図-15	1373-2	1373-2、1373-6、 1373-7	K-10	包3d層	355	口縁部	礫やや多量	?	?	—	—	—	丸組紐(L左巻、L右 巻)	?	—	不良	内面の磨減が 著しい	
第133図-4	1373-5	1373-5	K-10	包3d層	112	口縁部	礫多量	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	口縁部内面に も外面とおな じ地紋	
第124図-19	1374-1	1374-1	K-8	包3c層	960	底部	礫やや多量	?	ミガキ	ナデ	—	—	単軸糸体第1類r	斜位貼付	—	良好		
第125図-3	1376-1	1376-1	K-9	包3c層	226	底部	礫やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	良好		
第120図-5	1376-2	1376-2	K-9	包3c層	93	口縁部	礫やや多量	?	斜位ナデ、指頭圧痕	—	—	—	丸組紐(左巻?)	?	—	不良	外面一部剥落	
第120図-3	1376-3	1376-3	K-9	包3c層	87	口縁部	礫やや多量	?	?	—	—	—	RL	横位貼付	—	不良		
第113図-4	1376-4	1376-4	K-9	包3c層	364	口縁部	礫少量	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ	—	—	—	丸組紐(未燃炭体右 巻、未燃炭体右巻)	斜位貼付	—	不良		
第1111図-1	1376-5	1376-5	K-9	包3c層	1,141	口縁部	礫やや多量	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	横位貼付(-、押圧貼付)	—	RL	横位貼付→地 紋	—	不良	口縁部内面に も地紋(RL、 斜位貼付)	
第94図-9	1381-1	1381-1	K-9	包3a層	105	口縁部	細砂やや多量	?	斜位ナデ	—	—	—	単軸糸体第5類R	?	?	不良		
第90図-4	1381-2	1381-2	K-9	包3a層	130	口縁部	礫やや多量	?	ヨコナデ	—	キザミA(ハラ、 左→右)	—	L(RRR)?	横位貼付?	—	不良		
第125図-8	1382-1	1382-1	K-10	包3d層	440	口縁部	礫多量	?	?	—	キザミB(ハラ、 左→右)	—	LR	横位貼付	—	不良	表面の磨減が 著しい	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(17)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土	口縁部・粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原体, 施文方法)	口縁部文様帯 文様(原体, 施文方法)	胴部文様帯 文様(原体, 施文方法)	胴部文様帯 文様(原体, 施文方法)	地紋 原体・外面調整	施紋方法	施文順序	疵	備考
第132図-4	1382-2	1382-2	K-10	包3d層	540	口縁部	混和剤・泥入物	A	ヨコナデ	無調整	キザミA(指頭, 右→左)	—	—	—	単輪条体5類R	縦位回転, 斜位回転	キザミA→地紋	不良	
第59図-3	1383-1	1383-1	L-10	包2b層	90	口縁部	—	A	ヨコナデ	—	沈線(2本)組, 横位・波状	—	—	—	—	—	—	良好	
第119図-1	1384-1	1384-1	K-9	包3c層	220	口縁部	—	A	口縁部はヨコナデ, 胴部は斜位ナデ	—	キザミA(へラ, 右→左)	—	—	—	丸組紐(L右巻, R右巻)	横位回転?	?	不良	
第118図-2	1384-2	1384-2	K-9	包3c層	176	口縁部	—	A	ヨコナデ?	—	—	—	—	—	丸組紐(L右巻, R右巻)	縦位回転?	—	表面の摩滅が著しい	
第117図-8	1384-3	1384-3	K-9	包3c層	132	口縁部	—	A	?	—	—	—	—	—	丸組紐(?, ?)	?	—	不良	
第122図-9	1384-4	1384-4	K-9	包3c層	170	口縁部	—	A	口縁部はヨコナデ, 胴部はタチナデ	—	—	—	—	—	条痕	口縁部は横位, 胴部は縦位	—	不良	表面の摩滅が著しい
第125図-4	1384-7	1384-7	K-9	包3c層	79	底部	—	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	?	?	—	不良	
第151図-14	1385-2	1385-2	K-12	包3c層	50	口縁部	—	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	?	?	—	不良	
第82図-10	1386-1	1386-1	L-9	包3a層	1060	口縁部	—	A	ヨコナデ	—	貼付(一、蛇行)	—	—	—	RL	横位回転	?	不良	
第137図-7	1388-2	1388-2	K-10	包3d層	80	口縁部	—	A	?	—	—	—	—	—	丸組紐(L右巻, R右巻)	横位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい
第137図-22	1388-3	1388-3	K-10	包3d層	50	口縁部	—	A	ヨコナデ	—	キザミA(へラ, 右→左)	—	—	—	丸組紐(?, ?)	横位回転?	?	不良	
第128図-1	1389-1	1389-1, 1752-6	K-10	包3d層	680	口縁部	—	A	口縁部・胴部上半はヨコナデ, 胴部下半はタチナデ	—	キザミA(へラ, 右→左)	—	—	—	丸組紐(L右巻, R右巻)	横位回転	—	不良	
第135図-12	1389-2	1389-2	K-10	包3d層	106	口縁部	—	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(L右巻, R右巻)	横位回転	—	不良	
第134図-9	1389-3	1389-3	K-10	包3d層	1,510	口縁部	—	A	ヨコナデ	—	突起B(一、一)	—	—	—	丸組紐(?, ?)	?	?	不良	表面の摩滅が著しい
第133図-15	1394-2	1394-2	K-10	包3d層	63	口縁部	—	A	?	—	—	—	—	—	丸組紐	?	—	不良	表面の摩滅が著しい
第160図-22	1396-3	1396-3	K-11	包3e層	615	底部	—	—	ナデ	木葉痕	—	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	内外面の摩滅が著しい
第88図-6	1402-1	1402-1	L-9	包3a層	92	口縁部	—	B	?	—	R(結節部回転)	—	—	—	RL	縦位回転, 結節部縦位回転	結節部回転→地紋	不良	
第80図-1	1407-1	1407-1	L-9	包3a層	244	口縁部	—	A	ヨコミガキ	—	突起C(一、一)	—	—	—	LR	横位回転	地紋→横位・斜位・凹形貼付→キザミ	良好	貼付の一部が剥落、内面に鋭孔海中の補修孔が1個あり
第79図-5	1407-2	1407-2A(1407-1, 2), 1407-2B(2003-2)	L-9, K-10	包3a層, IIIb層	462	口縁部	—	A	ヨコミガキ	—	横位貼付(一、一)・キザミ(棒状工具、器面に対して並直)	—	—	—	?	横位回転	横位貼付→キザミ	良好	
第81図-6	1407-3	1407-3	L-9	包3a層	104	口縁部	—	A	?	—	キザミA(へラ, 右→左)	—	—	—	丸組紐(L左巻?, L右巻?)	?	?	不良	内面の摩滅が著しい
第91図-11	1407-4	1407-4	L-9	包3a層	52	口縁部	—	B	ヨコナデ	—	R(1結節)	—	—	—	LR	横位回転	?	良好	
第133図-11	1408-1	1408-1	L-10	包3d層	83	口縁部	—	C	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	良好	地紋施後後に表面が軽く研磨されている
第168図-8	1408-2	1408-2A(1408-2), 1408-2B(1415-1), 1408-2C(2555-2)	K-9, K-10, L-10	包2b層, 包3d層, IIIb層	1,020	口縁部	—	C	ヨコナデ	—	無文様	横位貼付(一、一)・キザミ	—	—	丸組紐(L左巻, L右巻)	斜位回転	地紋→横位貼付→地紋	良好	
第135図-8	1408-3	1408-3	L-10	包3d層	150	口縁部	—	C	口縁部はヨコナデ, 胴部はタチナデ, 指頭庄痕	—	—	—	—	—	丸組紐(L左巻, L右巻)	横位回転	—	良好	

第11表 南部捨て場出土器属性表(18)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・泥入物	口縁状	粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様部 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第136図-15	1408-4	1408-4	L-10	包3d層	124	口縁部	礫やや多量	A	?	斜位ナデ、指頭圧痕 ヨコナデ	—	—	—	ナデ	斜位 ?	—	良好	内面にRの圧痕あり	
第137図-14	1408-6	1408-6	L-10	包3d層	57	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	ナデ	?	—	不良	内面にRの圧痕あり	
第150図-1	1409-1	1409-1	K-10	包3e層	224	口縁部	礫多量	C	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好		
第150図-6	1409-2	1409-2	K-10	包3e層	178	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	外面の一部が剥落	
第157図-7	1409-3	1409-3	K-10	包3e層	63	口縁部	細砂やや多量、 繊維微量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好	外面の一部が剥落	
第128図-12	1410-1	1410-1	K-9	包3d層	640	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好		
第131図-6	1410-2	1410-2	K-9	包3d層	160	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第139図-6	1411-1	1411-1	K-10	包3d層	69	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第133図-12、 第139図-3	1411-2	1411-2A (1411-2)、 1411-2B (1411-2)	K-10	包3d層	200	口縁部	細砂やや多量、 礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好		
第126図-9	1411-4	1411-4	K-10	包3d層	74	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第138図-4	1411-5	1411-5	K-10	包3d層	91	口縁部	礫少量	A	?	指頭圧痕	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第141図-2	1411-6	1411-6	K-10	包3d層	214	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	ナデ	横位 ?	—	良好		
第74図-15	1415-5	1415-5	K-10	包2b層	488	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	丸組紐(未燃原体 左右巻)	?	—	良好		
第77図-14	1415-6	1415-6	K-10	包2b層	63	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	丸組紐(?,?)	—	—	不良		
第101図-5	1416-1	1416-1、1418-1	K-10	包3b層	472	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第107図-8	1416-3	1416-3、1416-4	K-10	包3b層	124	口縁部	礫やや多量	A	?	指頭圧痕	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第73図-5	1417-2	1417-2	L-10	包2b層	57	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第77図-15	1417-7	1417-7	L-10	包2b層	51	底部	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第145図-3	1428-1	1428-1、1428-2	K-8	包3e層	1482	完形	礫少量、繊維少量	A	?	ヨコナデ	無調整、 細代痕 ?	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好	内面の剥落が著しい	
第128図-4	1429-1	1429-1、1494-6	J-9、 K-9	包3d層	580	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第133図-10	1429-2	1429-2	J-9	包3d層	82	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	表面の磨減が著しい	
第134図-15	1429-3	1429-3	J-9	包3d層	62	口縁部	礫やや多量	B	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好	外面の一部に地紋らしき痕跡(RL?)が認められる	
第126図-3	1429-4	1429-4、2377-1	J-9、 K-9	包3c層、 包3d層	1,198	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好		
第136図-13	1429-5	1429-5	J-9	包3d層	82	口縁部	礫多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第139図-20	1429-6	1429-6	J-9	包3d層	52	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第140図-17	1429-11	1429-11	J-9	包3d層	170	口縁部	細砂多量	—	?	ヨコナデ	ナデ、 細代痕 ?	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好		

第11表 南部捨て場出土土器属性表(20)

図版No	個体No	破片No	遺構・グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土・混入物	口部形状	粘土部状況	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様部 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第113図-6、 第121図-4	1461-2 1461-3	1461-2A (1461-2)、 1461-2B (1461-3)	K-9	包3c層	300	口縁部 礫多量	B	?	ヨコナデ	—	内外面にキザミA (へら、左→右)	—	—	—	附加条? RL?	横位回転?	キザミA→地紋	不良	
第78図-4	1471-1	1471-1、1824-1、 1824-1	L-9	包3a層	2,156	口縁部 細砂・礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	横位貼付(-押圧貼付)、 LR横位回転	—	—	LR	横位回転	地紋→横位貼付→LR横位回転	良好	
第149図-4	1472-1	1472-1	K-9	包3c層	225	口縁部 礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL	横位回転	—	不良	
第114図-1	1472-2	1472-2	K-9	包3c層	440	口縁部 礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL	横位回転	—	良好	
第83図-4	1474-1	1474-1、2133-1、 2384-4、 2384-5	K-8	包3a層	2,009	口縁部 細砂やや多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL	横位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい
第125図-4	1476-1	1476-1	K-9	包3c層	50	口縁部 細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL	横位回転	—	良好	
第116図-11	1476-2	1476-2	K-9	包3c層	60	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	沈線 (へら、-)	—	—	—	LR	斜位回転	?	不良	
第110図-12	1476-3	1476-3	K-9	包3c層	60	口縁部 礫多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	斜位回転	?	良好	口唇部の沈線は一部のみ
第113図-11	1476-4	1476-4	K-9	包3c層	135	口縁部 礫少量	A	?	ヨコナデ	—	沈線 (へら、-)	—	—	—	LR	斜位回転	キザミA→地紋	不良	表面の摩滅が著しい
第123図-9	1476-5	1476-5	K-9	包3c層	70	口縁部 礫多量	B	?	斜位ナデ	—	キザミA (へら、 右→左)	—	—	—	R	縦位回転	?	良好	外面一部剥落
第147図-3	1477-1	1477-1	K-8	包3e層	305	口縁部 礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	R	縦位回転	—	良好	
第161図-20	1477-4	1477-4	K-8	包3e層	50	底部 礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	R	—	—	不良	
第162図-6	1477-6	1477-6	K-8	包3e層	83	底部 礫少量、織維微量	—	?	ナデ	ナデ 揚底	—	—	—	—	RL	横位回転	—	不良	
第160図-12	1477-7	1477-7	K-8	包3c層	100	完形 礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	?	—	不良	
第164図-4	1478-1	1478-1	K-8	包3c層	337	底部 礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	?	—	不良	表面の摩滅が著しい
第157図-10	1478-3	1478-3	K-8	包3c層	65	口縁部 礫やや多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	?	?	不良	
第160図-2	1480-1	1480-1	J-10	包3c層	92	口縁部 細砂多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	?	?	良好	
第145図-2	1480-3	1480-3A (2174-1)、 1480-3B (1480-3、 2174-3)	J-10	包3e層	873	口縁部 礫やや多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	?	?	不良	外面一部剥落
第104図-2	1481-1	1481-1	K-10	包3b層	124	口縁部 細砂多量	A	?	タチナデ	—	キザミA (へら、 右→左)	—	—	—	—	?	?	不良	
第108図-15	1481-4	1481-4	K-10	包3b層	144	底部 礫多量	—	?	ヨコナデ	無調整 ナデ	—	—	—	—	—	?	?	不良	
第141図-3	1481-5	1481-5	K-10	包3b層	186	底部 礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第108図-18	1481-6	1481-6	K-10	包3b層	170	底部 礫少量	—	?	ナデ	ナデ	無調整	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第91図-12	1482-1	1482-1	K-9	包3a層	52	口縁部 細砂やや多量	A	?	指頭庄痕	—	—	—	—	—	—	?	?	良好	
第96図-5	1482-3	1482-3	K-9	包3a層	450	底部 礫やや多量	—	?	ヨコナデ	無調整	—	—	—	—	—	?	?	不良	剥落痕から口縁部に横位の貼付があった可能性あり
第134図-16	1483-1	1483-1	K-9	包3d層	79	口縁部 礫少量	C	?	ヨコナデ	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	—	?	?	良好	
第120図-16	1483-2	1483-2	K-9	包3d層	60	口縁部 礫少量	C	?	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	—	—	?	?	不良	内面にも地紋
第138図-11	1483-3	1483-3	K-9	包3d層	102	口縁部 細砂やや多量	A	?	タチナデ	—	—	—	—	—	—	?	?	不良	
第137図-9	1483-4	1483-4	K-9	包3d層	74	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	—	?	?	不良	
第131図-4	1483-5	1483-5	K-9	包3d層	142	口縁部 礫少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	?	?	良好	

第11表 南部捨て場出土器属性表(21)

図版No.	器体No.	破片No.	建構・クワッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和物・混入物	陶質	粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	脚部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋	施文順序	焼成	備考
第141図-9	1483-7	1483-7	K-9	包3d層	182	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	?	不良	
第158図-8	1484-3	1484-3	K-11	包3e層	79	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA (へラ、右→左)	—	—	—	—	?	不良	
第155図-2	1485-1	1485-1	J-11	包3e層	118	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい。
第152図-4	1485-2	1485-2	J-11	包3e層	62	口縁部	細砂・礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第159図-4	1485-3	1485-3A (1485-3), 1485-3B (1619-4)	J-10, J-11	包3d層, 包3e層	711	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ, 指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第159図-10	1485-4	1485-4	J-11	包3e層	54	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ, 指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	良好	外面一部剥落
第72図-15	1486-1	1486-1	K-10	包2b層	65	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第68図-12	1486-2	1486-2	K-10	包2b層	69	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	突起?	—	—	—	突起?→地紋	不良	
第103図-7	1487-1	1487-1, 1487-2	K-10	包3b層	184	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ, 指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第159図-9	1488-1	1488-1	J-11	包3e層	54	口縁部	細砂・礫多量, 繊維微量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第145図-4	1489-1	1489-1A (1489-1), 1831-1, 1489-1B (2211-1), 2211-2, 1489-1C (1627-4)	K-8, K-9	包3e層	580	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	無文帯, 横位貼付 (→ 押し貼付), 刺突文(竹管状工具, 器面に対して垂直)	—	—	—	—	良好	
第144図-2	1489-2	1489-2	K-9	包3e層	124	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第150図-3	1489-3	1489-3	K-9	包3e層	140	口縁部	礫やや多量, 雲母微量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第157図-12	1489-4	1489-4	K-9	包3e層	67	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第161図-14	1489-7	1489-7	K-9	包3e層	168	口縁部	礫多量	—	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	外面一部剥落
第111図-4	1490-1	1490-1	K-9	包3c層	218	口縁部	礫多量	C	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	外面一部剥落
第114図-6, 第113図-9	1490-2	1490-2A (1490-4), 1490-2B (1490-2)	K-9	包3c層	275	口縁部	細砂やや多量, 礫少量	A	?	ヨコナデ, 指頭圧痕	—	—	突起?	—	—	—	—	良好	突起B→ボタン状貼付→縦位貼付→縦位貼付
第119図-9	1490-3	1490-3	K-9	包3c層	63	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第59図-7, 第58図-8	1494-1	1494-1A (1494-1), 1494-1B (1494-2)	K-9	包2b層	338	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第62図-14	1494-3	1494-3	K-9	包2b層	296	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第68図-15	1494-4	1494-4	K-9	包3d層	63	口縁部	礫やや多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第49図-1	1495-1	1495-1	L-9	包1層	108	口縁部	礫少量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第111図-2	1496-1	1496-1	K-9	包3c層	930	口縁部	礫少量	A	?	タテナデ, 斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	内面炭化物付着
第107図-1	1498-1	1498-1	K-10	包3b層	140	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第108図-20	1498-4	1498-4	K-10	包3b層	152	底部	礫少量	—	?	ヨコナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落
第74図-2	1499-1	1499-1	L-10	包2b層	142	口縁部	細砂多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第75図-9	1499-4	1499-4	L-10	包2b層	1,130	底部	礫多量	—	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	
第106図-1	1500-1	1500-1	K-10	包3b層	198	口縁部	礫やや多量	C	?	ヨコナデ, 斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	

第11表 南部捨て場出土器属性表(2)

図版No	個体No	破片No	選糖・グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混入物	口縁線 貼付部	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 選糖量(%)	地紋		施紋方法	施文順序	焼成	備考	
											文様(原形、施文方法)	文様(原形、施文方法)	原形	調整										
第60図-3、 第58図-5	1502-1	1502-1A (1502-1) 1502-2-1B (1887-1、1888-1)	K-10	包2b層	828	口縁部	礫多量	D	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	RL (2結節)	縦位回転	各種貼付→地紋→沈線	—	不良		
第75図-2	1502-2	1502-2	K-10	包2b層	70	底部	礫・細砂やや多量	—	ヨコミガキ	ミガキ	—	—	—	—	—	—	—	RL	縦位回転	キザミ→地紋	—	良好		
第106図-8	1503-1	1503-1	K-10	包3b層	146	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	キザミA (ハラ、左→右)	—	—	—	—	—	—	丸組紐 (R左巻、?)	?	キザミ→地紋	—	良好		
第12図-2	1505-2	1505-2	K-9	包3c層	852	口縁部	細砂・礫少量	A	?	?	キザミA (ハラ、右→左)	—	—	—	—	—	—	丸組紐 (?右巻、?)	?	?	?	良好		
第119図-5	1505-4	1505-4	K-9	包3c層	97	口縁部	細砂・礫多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	キザミA→地紋	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第149図-11	1506-1	1506-1	K-8	包3c層	91	口縁部	細砂多量	B	?	?	—	—	—	—	—	—	—	LR?	縦位回転?	地紋→結節部の回転圧痕	—	不良		
第152図-14	1506-3	1506-3	K-8	包3c層	58	口縁部	細砂やや多量、海綿骨針やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	地紋→結節部の回転圧痕	—	不良		
第65図-1	1507-1	1507-1、1847-1、1847-2	K-10	包2b層	1,902	口縁部	礫少量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	単軸結条体第1A類	縦位回転、2-3列ごとに上下方向をかえる	—	—	良好		
第66図-2	1508-1	1508-1	L-10	包2b層	232	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	単軸結条体第5類R	縦位回転	—	—	良好		
第65図-8	1508-3	1508-3、1508-5	L-10	包2b層	556	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	単軸結条体第5類R	斜位回転	突起C→地紋	—	良好		
第97図-2	1508-4	1508-4	L-10	包2b層	192	口縁部	礫多量	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	単軸結条体第5類R	縦位回転	突起C→地紋	—	良好		
第70図-6	1511-1	1511-1	K-10	包2b層	130	口縁部	礫やや多量	B	?	?	—	—	—	—	—	—	—	L	縦位回転	—	—	良好		
第66図-6	1512-4	1512-4	K-10	包2b層	195	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	単軸結条体第1類R	縦位回転、斜位回転	—	—	不良	外面一部剥落	
第77図-8	1512-5	1512-5	K-10	包2b層	110	底部	礫やや多量、織	—	?	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第70図-10	1513-2	1513-2	K-9	包2b層	94	口縁部	礫やや多量、織	B	?	?	—	—	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	—	不良	
第141図-19	1517-1	1517-1	K-10	包3d層	170	底部	細砂多量	—	?	?	ナデ	ナデ、揚底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第128図-10	1517-2	1517-2、1820-1、2039-1	K-10	包3b層、包3d層	716	口縁部	細砂少量	B	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	—	—	良好	
第142図-8	1518-1	1518-1	K-8	包3e層	280	口縁部	礫少量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	貼付・地紋→沈線	—	良好	一部脛口縁
第150図-9	1520-1	1520-1	L-11	包3e層	108	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	—	良好	内面の摩滅が著しい	
第152図-17	1520-2	1520-2	L-11	包3e層	65	口縁部	細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	R (2結節)	結節部を縦位回転	—	—	不良		
第150図-8、 第158図-6	1520-4	1520-4A (1520-4)、1520-4B (1520-5)	L-11	包3e層	130	口縁部	細砂少量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転?	—	—	良好	
第74図-4	1521-2	1521-2	K-10	包2b層	80	口縁部	細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位	—	—	良好	
第118図-11	1522-1	1522-1	K-9	包3c層	140	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転?	?	—	不良	
第112図-9	1523-1	1523-1、1523-2、2028-2	K-9、 K-10	包3b層、 包3c層	750	口縁部	礫少量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	?	キザミA→地紋	—	不良	

第11表 南部捨て場出土器属性表(23)

図版No	器体No	破片No	遺構・グランド	層位	重量(g)	部位	胎土	口縁形状	粘土管口上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 種類・施文方法	地紋		施文方法	施文順序	焼成	備考
															原形	外面調整				
第108図-6	1523-3	1523-3	K-10	包3b層	50	口縁部	混相形・混入物 細砂少量	A	?	ヨコナデ	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	—	—	良好	外面灰化物付 着	
第107図-12	1524-1	1524-1	K-10	包3b層	51	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	刺突文(竹管状工 具、器面に対して 垂直)	—	—	—	—	?	不良	—	
第51図-14	1529-1	1529-1	L-9	包2a層	535	口縁部	礫多量	B	?	ヨコナデ	—	—	L(RRR)	縦位回転	—	—	—	不良	—	
第50図-8	1536-1	1536-1	L-9	包2a層	89	口縁部	礫少量、繊維や や多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第56図-12	1536-2	1536-2	L-9	包2a層	50	底部	礫少量	—	?	指頭旺盛	無調整	—	—	R	縦位回転	—	—	良好	—	
第57図-1	1536-3	1536-3	L-9	包2a層	250	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	—	
第51図-6	1537-2	1537-2	L-9	包2a層	94	口縁部	礫やや多量	—	?	斜位ナデ	—	指頭旺盛(指、左 →右)	—	—	—	—	—	良好	—	
第53図-18	1537-6	1537-6	L-9	包2a層	82	口縁部	細砂多量、礫少 量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第56図-6	1538-3	1538-3	K-9	包2a層	224	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第50図-5	1541-1	1541-1	K-9	包2a層	79	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	波状口縁(-,-,-) 沈線(半裁竹管状工 具、器面に対して 垂直)	—	—	—	—	—	良好	—	
第84図-10	1543-2	1543-2	K-9	包3a層	59	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第83図-6	1543-4	1543-4、1543-5	K-9	包3a層	618	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第95図-10	1543-6	1543-6	K-9	包3a層	112	底部	礫少量	—	?	ナデ	網代痕 ?	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第95図-13	1548-1	1548-1	L-9	包3a層	142	底部	礫多量、繊維微 量	—	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第75図-1	1549-1	1549-1	K-10	包2b層	304	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第67図-7	1549-2	1549-2	K-10	包2b層	95	口縁部	細砂多量	B	?	?	—	—	—	—	—	—	—	良好	—	
第69図-2	1551-1	1551-4A(1551- 4、1551-2、1912 K-10 -3)、1551-4B (1912-4)	K-9、 K-10	包2b層	1,468	口縁部	細砂少量、繊維 少量	A	?	指頭旺盛	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	—
第76図-12	1551-3	1551-3	K-9	包2b層	198	底部	礫多量、繊維微 量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第64図-6	1551-4	1551-4	K-9	包2b層	174	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ	木葉痕	—	—	—	—	—	—	良好	—	
第78図-3	1552-1	1552-1、2426-1、 2426-2	L-9	包3a層	360	口縁部	礫多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ、指 頭旺盛	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第142図-2	1557-1	1557-1、1622-1	K-10	包3a層	1,025	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコミガキ	—	—	—	—	—	—	—	良好	—	
第77図-18	1559-1	1559-1	K-10	包2b層	55	底部	細砂・礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第58図-1	1561-1	1561-1、1561-2、 1895-1、2463-8、 2463-9	K-10、 K-11	包2b層	2,189	口縁部	礫少量	A	?	ヨコミガキ	—	突起B(-,-)	—	—	—	—	—	—	良好	—

第11表 南部捨て場出土器属性表(24)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土・泥入り物	口唇状・粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第122図-8	1562-3	1562-3	K-9	包3c層	56	口縁部	少量	A	指頭圧痕	ナデ	—	—	—	丸組紐 (?左巻、? 左巻)	縦位回転	—	不良	内面の摩滅が 著しい。
第112図-7、 第123図-18	1562-4	1562-4A (1562-4) 、1562-4B (1867-6、1881- 3、2028-1)	K-9	包3c層	578	口縁部	少量、繊維微 量	B	粗いヨコナデ	ナデ	—	—	—	L	縦位回転	—	不良	
第124図-14	1562-5	1562-5	K-9	包3c層	256	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	斜位、横位 縦位回転	—	不良	
第152図-19	1564-1	1564-1	J-11	包3c層	55	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第73図-4	1565-1	1565-1	K-9	包2b層	75	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第56図-5	1569-1	1569-1	K-9	包2a層	65	口縁部	細砂少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	斜位回転	—	良好	
第73図-1	1571-4	1571-4	L-10	包2b層	154	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	L	縦位回転	—	不良	
第73図-13	1571-5	1571-5	L-10	包2b層	59	口縁部	礫少量	A	斜位ナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	RL	縦位回転	?	良好	
第70図-4	1571-6	1571-6	L-10	包2b層	158	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第74図-11	1571-7	1571-7	L-10	包2b層	256	底部	礫少量	—	ナデ	細代取、 ナデ	—	—	—	RL (1結節)	縦位回転	—	良好	
第65図-10	1572-5	1572-5	L-10	包2b層	154	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR	縦位回転	地紋→縦結節 部回転圧痕	良好	
第77図-7	1572-6	1572-6	L-10	包2b層	162	底部	礫やや多量	—	ナデ	木葉状、 ヘア状?	—	—	—	—	—	—	不良	
第76図-14	1572-7	1572-7	L-10	包2b層	128	底部	細砂多量	—	ナデ	細代取、 ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい。
第83図-15	1573-1	1573-1、1573-2	K-9	包3a層	239	口縁部	細砂・礫やや多 量	B	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	
第123図-17	1575-1	1575-1	K-9	包3c層	72	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第127図-6	1576-2	1576-2	K-10	包3d層	192	口縁部	礫少量、細砂や やや多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	?	不良	
第141図-10	1576-3	1576-3	K-10	包3d層	186	底部	礫やや多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	良好	
第51図-12	1578-1	1578-1	L-9	包2a層	670	口縁部	礫少量、繊維微 量	A	タナナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR	横位回転、 縦位回転	突起B→相突 文・地紋	不良	
第146図-11	1580-1	1580-1	K-9	包3c層	186	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	RL (1結節)	横位回転	—	良好	
第134図-18	1583-1	1583-1	K-10	包3d層	53	口縁部	細砂少量	C	指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	—	良好	
第75図-12	1585-3	1585-3	K-10	包2b層	875	底部	細砂やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第61図-13	1586-1	1586-1	K-10	包2b層	66	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	RL	横位回転	地紋→横位貼 付→キザミA	良好	
第64図-7、 第74図-13	1586-2	1586-2	K-10	包2b層	1,110	完形	細砂多量	A	タナナデ	ナデ	—	—	—	—	縦位回転	突起C? →地 紋	不良	
第74図-24	1587-2	1587-2	K-10	包2b層	258	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	
第72図-14	1588-2	1588-2	K-9	包2b層	112	口縁部	礫少量、細砂や やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	横位回転	横位貼付→地 紋	不良	
第75図-13	1589-1	1589-1	K-10	包2b層	294	底部	細砂多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第162図-9	1590-1	1590-1	J-11	包3c層	112	底部	礫多量	—	?	ナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい。
第113図-8	1599-2	1599-2 (1599-2、 2232-4、1883-2、 1653-1)	K-9	包3c層	1,096	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	?	—	不良	内面にも外面 と同様の地紋
第114図-3	1599-3	1599-3A (1599- 3、2034-1、2212- 4)、1599-3B (2265-1)	K-9、 L-9	包2b層、 包3c層	869	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR (1結節)	縦位回転	?	良好	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(26)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土	口唇縁	粘土加工	底面	口唇部文様	口縁部文様	明部文様	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第56図-10	1626-1	1626-1	K-9	包2a層	59	底部	礫やや多量	—	無調整	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第161図-2	1627-1	1627-1	K-8	包3e層	54	底部	礫やや多量	—	無調整	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第157図-2	1627-2	1627-2	K-8	包3c層	61	口縁部	礫少量	A	—	ナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第157図-20	1627-3	1627-3	K-8	包3c層	75	口縁部	礫少量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(右巻、右巻)	?	縦位回転	不良	
第115図-8	1628-2	1628-2A (1628-2, 2025-1), 1628-2B (2098-4), 1628-2C (2165-2)	K-9	包3c層	1249	口縁部	礫多量	A	—	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	RL(-端結節、結節部0段)	斜位回転	—	不良	
第116図-6	1629-3	1629-3	K-9	包3c層	106	口縁部	細砂やや多量	A	—	ヨコナデ、指頭旺盛	キザミA(左→右)	—	—	L(口結節)	縦位回転	?	良好	
第95図-16	1630-1	1630-1	K-9	包3a層	132	底部	細砂やや多量	—	ナデ、湯底	ナデ	—	—	—	ナデ	縦位	—	良好	
第86図-3	1630-5	1630-5	K-9	包3a層	120	口縁部	礫少量	A	—	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	車輪結条体第1A類R	縦位	—	良好	
第144図-1	1631-1A (1631-1), 1631-1B (1816-1)	1631-1A (1631-1), 1631-1B (1816-1)	J-10	包3e層	304	口縁部	細砂・礫少量、繊維多量	B	—	ヨコミガキ	—	—	—	結条第1種LR・RL	横位回転	キザミ→地紋	良好	
第152図-15	1631-2	1631-2	J-10	包3c層	57	口縁部	細砂やや多量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	LR(2結節)	横位回転	?	良好	内面にも地紋
第93図-5	1634-1	1634-1	J-8	包3a層	52	口縁部	礫多量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	内面にも地紋
第93図-6	1634-2	1634-2	J-8	包3a層	53	口縁部	礫やや多量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	外面には斜位ナデによる条紋が残る
第95図-6	1634-4	1634-4	J-8	包3a層	64	口縁部	礫やや多量	B	—	口縁部はヨコナデ、胴部は斜位ナデ	—	—	—	条痕	斜位	—	良好	
第80図-11	1634-5	1634-5	J-8	包3a層	55	口縁部	礫少量	B	—	ヨコナデ	—	—	—	LR	口縁部は縦位、胴部は縦位	横位貼付→地紋	不良	
第158図-5	1635-2	1635-2	J-9	包3c層	51	口縁部	細砂多量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	RL(1結節)	斜位回転	?	不良	
第158図-10	1635-3	1635-3	J-9	包3c層	60	口縁部	礫多量	C	—	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第161図-16	1635-6	1635-6	J-9	包3c層	124	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第150図-10	1636-3	1636-3	L-11	包3c層	208	口縁部	礫多量	A	—	口縁部はヨコナデ、胴部はタナナデ	—	—	—	キザミ(-、左→右)	?	?	不良	
第156図-11	1636-4	1636-4	L-11	包3c層	68	口縁部	礫少量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第126図-3	1637-1	1637-1	K-10	包3d層	57	口縁部	礫多量	A	—	ヨコナデ	—	—	—	結条第1種LR・RL	縦位回転	—	不良	内面の磨減が著しい
第138図-15	1637-2	1637-2A (1637-2), 1637-2B (1637-3)	K-10	包3d層	174	口縁部	礫やや多量	B	—	ヨコナデ	—	—	—	LR(2結節)	縦位回転	—	不良	表面の磨減が著しい
第124図-1	1638-3	1638-3	K-9	包3c層	108	口縁部	細砂多量	B	—	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(未燃原体、右巻・左巻)	?	—	良好	
第97図-7	1639-2	1639-2	L-9	包3a層	96	底部	細砂少量	—	—	指頭旺盛、椎目、椎目木取と思われ成る成形台痕	—	—	—	丸組紐(未燃原体、右巻・左巻)	?	—	不良	
第133図-7	1640-4	1640-4	J-10	包3d層	53	口縁部	礫・細砂やや多量	B	—	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	車輪結条体第1類(直前段多系R?)	斜位回転	—	良好	
第137図-5	1640-5	1640-5	J-10	包3d層	110	口縁部	礫・細砂多量	B	—	ヨコミガキ	—	—	—	丸組紐(未燃原体、左巻・右巻)	?	—	不良	内面炭化物部付着
第155図-9	1641-1	1641-1	K-9	包3c層	81	口縁部	礫多量	B	—	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(27)

図版No.	胴体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土	口唇縁 粘土部粗上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	脚部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋	施文順序	施文方法	地紋	完成	備考
第160図-9	1646-1	1646-1	K-11	包3e層	158	底部	混和粗・混人物	?	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第161図-18	1648-1	1648-1	K-12	包3e層	118	底部	礫少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第160図-4	1649-1	1649-1	K-11	包3e層	70	口縁部	細砂少量	A	?	ナデ	—	—	—	—	?	?	?	?	不良	口唇部にキザミらしき文様があるが明確ではない
第152図-12	1649-2	1649-2	K-11	包3e層	52	口縁部	礫少量	A	?	ナデ	—	—	—	—	LR	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第22図-5	1650-1	1650-1	L-9	包3a層	196	口縁部	礫少量、織少量	A	?	ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	?	不良	外面一部剥落、内面の摩滅が著しい
第86図-1	1650-2	1650-2	L-9	包3a層	102	口縁部	細砂やや多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	?	?	?	?	良好	
第91図-6	1650-3	1650-3	L-9	包3a層	82	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	LR	—	—	—	不良	
第91図-4	1650-4	1650-4	L-9	包3a層	57	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	RL	—	—	—	—	不良	
第96図-25	1651-1	1651-1	K-9	包3a層	386	底部	礫少量	—	カマボコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	一部縦口縁
第96図-30	1651-2	1651-2	K-9	包3a層	57	底部	礫少量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第151図-4	1652-1	1652-1	J-10	包3e層	140	口縁部	礫少量	A	?	ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	?	不良	内面の摩滅が著しい
第154図-1	1652-2	1652-2	J-10	包3e層	122	口縁部	礫やや多量、織少量	C	カマボコナデ	ナデ	—	—	—	—	丸組紐(L左巻、L左巻?)	—	—	—	良好	外面一部剥落
第157図-16	1652-3	1652-3A(1652-3)、1652-3B(1652-5)	J-10	包3e層	109	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(L左巻、L左巻?)	—	—	—	不良	内外面一部剥落
第157図-9	1652-4	1652-4	J-10	包3e層	69	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	?	良好	
第158図-7	1652-6	1652-6	J-10	包3e層	59	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	?	不良	
第112図-5	1653-2	1653-2, 1951-8, 2232-5, 2232-6, 2423-1, 2423-2, 2500-6	K-9, K-10	包3b層、包3c層	2,005	口縁部	礫少量	C	?	口縁部はヨコナデ、胴部はクマナナデ・斜位ナデ、一部に外面と同じ条痕が見られる	ナデ	—	—	—	条痕(原形不明)	—	—	—	不良	突起C→キザミA
第120図-9	1653-3	1653-3	K-9	包3c層	98	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(L左巻、L右巻?)	—	—	—	不良	
第119図-14	1653-4	1653-4	K-9	包3c層	66	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	?	不良	内面の摩滅が著しい
第121図-10	1653-5	1653-5	K-9	包3c層	56	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	?	良好	
第124図-20	1655-1	1655-1	K-9	包3c層	605	底部	礫少量	—	?	ナデ、細代痕?	—	—	—	—	LR(1経節)	—	—	—	良好	
第124図-15	1656-1	1656-1	K-9	包3c層	600	底部	細砂多量	—	?	ナデ	—	—	—	—	結束第2種LR・RL	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第125図-15	1656-2	1656-2	K-9	包3c層	160	底部	礫少量	—	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第118図-5	1656-4	1656-4	K-9	包3c層	93	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	LR	—	—	—	不良	キザミA→地紋
第108図-14	1659-1	1659-1	K-10	包3b層	180	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面底部にも外面と同様の地紋
第95図-12	1660-1	1660-1	K-9	包3a層	1,308	底部	礫少量	—	?	ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	?	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(28)

図版No	側体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	器位	胎土	口部形状	底面	口唇部文様	口縁部文様	胴部文様	脚部文様	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第127図-8	1661-1	1661-1	K-10	包3d層	185	口縁部	混和剤・混入物 礫多量、雲母微量	A	?	?	—	—	—	斜位回転 Rを附加した附加糸 (軸不明)	—	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第135図-1	1661-2	1661-2	K-10	包3d層	180	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	丸組紐?	—	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第124図-24	1662-1	1662-1	K-9	包3c層	115	底部	細砂多量	—	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	横位	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第125図-10	1662-2	1662-2	K-9	包3c層	110	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第162図-7	1663-1	1663-1	J-10	包3c層	95	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第154図-12	1663-2	1663-2	J-10	包3e層	80	口縁部	礫やや多量	A	?	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	丸組紐(未燃原体右 巻、未燃原体右巻?)	?	?	不良	
第146図-12、 第155図-14	1663-3	1663-3	J-10	包3e層	465	口縁部	細砂・礫多量	A	内傾	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	RL?	横位回転?	突起B→地紋	不良	
第93図-16	1664-1	1664-1	L-9	包3a層	115	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	単軸糸体第5類r、 単軸糸体第1A類r	?	?	良好	内面の摩滅が 著しい
第125図-6	1667-3	1667-3	J-9	包3c層	58	底部	礫多量、繊維微量	—	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	不良	
第112図-2	1668-1	1668-1	K-9	包3c層	1,165	完形	礫多量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	単軸糸体第1類L	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第123図-13	1668-3	1668-3	K-9	包3c層	85	口縁部	礫多量	A	?	?	?	?	?	単軸糸体第1A類 LR	?	?	不良	表面の摩滅が 著しい
第91図-17	1669-1	1669-1	L-8	包3a層	70	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	丸組紐(?,?)	?	キザミア→地 紋	不良	内面の摩滅が 著しい
第93図-14	1669-2	1669-2	L-8	包3a層	95	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	丸組紐(未燃原体左 巻、未燃原体左巻)	—	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第91図-21	1669-3	1669-3	L-8	包3a層	50	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭丘痕	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	丸組紐(L右巻、R右 巻?)、細結節部回転 丘痕	—	—	良好	
第96図-29	1669-4	1669-4	L-8	包3a層	70	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	不良	
第119図-4、 第122図-10	1670-1	1670-1A(1670- 1)、1670-1B (1670-2)	J-9	包3c層	410	口縁部	細砂多量、礫少 量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	丸組紐(?,?)	?	?	不良	外面一部剥落
第74図-7	1671-1	1670-1	L-10	包2b層	98	口縁部	細砂多量、礫少 量	B	?	?	?	?	?	ナデ	縦位	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第74図-29	1671-4	1671-4	L-10	包2b層	102	底部	礫やや多量	—	ナデ、 細代痕 ?	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	単軸糸体第1類L	—	—	良好	
第92図-3	1672-1	1672-1	L-9	包3a層	248	口縁部	礫やや多量	A	?	?	?	?	?	丸組紐(L右巻、R右 巻?)	?	?	不良	内面の摩滅が 著しい
第83図-5	1672-2	1672-2、1825-3、 2101-1	K-9、 L-9	包3a層	565	口縁部	礫やや多量	A	?	カヤボコ 状	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	RL	横位回転	?	不良	
第88図-4	1672-3	1672-3	L-9	包3a層	148	口縁部	細砂やや多量、 礫少量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	丸組紐	横位回転	?	不良	
第66図-10	1673-1	1673-1	K-10	包2b層	164	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	RL	横位回転	キザミア→地 紋	良好	
第111図-8	1676-1	1676-1	K-9	包3c層	464	完形	礫やや多量	A	?	指頭丘痕	指頭丘痕	指頭丘痕	指頭丘痕	単軸糸体第1A類L LR	縦位回転	—	良好	口縁・胴部 は縦位回 転、底部は 横位回転

第11表 南部捨て場出土土器属性表(29)

図版No	胴体No	破片No	遺構・グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混入物	口唇状	口唇状 粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口唇部文様帯 文様(原形、施文方法)	彫部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第121図-5	1676-2	1676-2	K-9	包3c層	324	口縁部	礫やや多量	A	?	指頭正裏	—	—	—	丸組紐(?)	?	—	良好	外面一部剥落	
第120図-16	1677-1	1677-1	K-9	包3c層	71	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐?	?	?	良好		
第61図-11	1679-1	1679-1	K-10	包2b層	66	口縁部	礫やや多量	B	?	ヨコナデ	—	沈線(へら、-)、糊位貼付(-、押圧貼付)、糊位正裏(LR、-)	—	糊位貼付→沈線・糊位正裏・地紋	縦位回転	—	良好		
第140図-22	1686-2	1686-2	K-10	包3d層	240	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	ナデ	横位、縦位	—	良好		
第140図-27	1686-3	1686-3	K-10	包3d層	216	底部	細砂やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	ナデ	横位、斜位	—	不良		
第158図-11	1689-1	1689-1	K-12	包3e層	56	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	突起B?(-、-)、刺突文(半裁竹管状工具、器面に対して垂直)	—	縦位回転	突起B?→地紋	不良	口縁部内面に地紋(単軸絡糸体第1類)、縦位回転	
第143図-4	1691-1	1691-1	K-12	包3e層	162	口縁部	細砂やや多量、礫少量	A	?	ヨコナデ	—	沈線(へら、) 鋸歯状	—	RL(1結束)	斜位回転	?	良好		
第161図-15	1692-1	1692-1	L-11	包3e層	232	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ、網代痕?	—	—	ナデ	横位	—	良好		
第152図-2	1692-2	1692-2	L-11	包3e層	82	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	RL?	縦位回転?	押圧貼付→地紋	不良		
第86図-15	1698-1	1698-1	K-8	包3a層	74	口縁部	細砂多量、礫少量	A	?	?	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	縦位回転	?	不良	内面の磨減が著しい	
第77図-20	1699-1	1699-1	K-9	包2b層	62	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ、網代痕?	—	—	ナデ	縦位	—	良好		
第81図-7	1700-1	1700-1, 2202-1, 2568-1, 2617-1	K-8	包3a層	2,499	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	単軸絡糸体第5類(R)	縦位回転	—	良好		
第82図-7	1702-1	1702-1, 1761-6, 1903-1	K-8, L-9, L-10	包2b層、包3a層	1,165	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	単軸絡糸体第1類	縦位回転	—	不良		
第63図-5	1703-1	1703-1	K-10	包2b層	146	口縁部	礫多量、細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	単軸絡糸体第5類L	縦位回転?	?	不良		
第124図-17	1704-2	1704-2	K-9	包3c層	402	底部	礫多量	—	?	ナデ	?	—	—	RL(1結束)	縦位回転、横位回転	—	不良	表面の磨減が著しい	
第141図-7	1705-1	1705-1	K-10	包3d層	202	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	良好		
第130図-2	1705-2	1705-2, 2266-1	K-10	包3d層	718	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	?	—	—	単軸絡糸体第1類	斜位回転、縦位回転	—	不良		
第135図-2	1705-3	1705-3	K-10	包3d層	180	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	附加条?丸組紐(?、?)	?	—	不良	内面の磨減が著しい	
第83図-9	1707-1	1707-1	K-9	包3a層	520	口縁部	細砂やや多量、礫少量、繊維微量	A	?	ヨコナデ、指頭正裏	—	—	—	r(2結束)	横位回転	突起C?→地紋	良好		
第132図-3	1709-1	1709-1	K-8	包3d層	258	口縁部	礫多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	L(RRR)	横位回転	—	不良		
第133図-2	1709-2	1709-2	K-8	包3d層	158	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	斜位回転	—	不良	表面の磨減が著しい	
第139図-13	1709-3	1709-3, 1709-8	K-8	包3d層	136	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?、?)	?	—	不良		
第139図-2	1709-6	1709-6	K-8	包3d層	93	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、胸部はクナナデ	—	—	—	附加条L?	横位回転?	?	不良		
第134図-14	1709-9	1709-9	K-8	包3d層	54	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?、?)	?	—	不良		

第11表 南部捨て場出土器属性表(30)

図版No	個体No	破片No	選梅・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土	口縁線 胎土部以上	内面		底面	口唇部文様	口縁部文様帯	胴部文様帯	地紋		施文順序	焼成	備考
									混和剤、混入物	胎土部					文様(原形、施文方法)	文様(原形、施文方法)			
第103図-3	1715-2	1715-2	K-9	包3b層	152	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	—	LR (2結節)	?	不良		
第103図-6	1715-3	1715-3	K-9	包3b層	136	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭正痕	—	—	—	—	LR	?	不良		
第106図-4	1715-4	1715-4	K-9	包3b層	186	口縁部	礫多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	附加糸L (軸L)?	—	不良	外面一部剥落	
第106図-7	1715-5	1715-5	K-9	包3b層	154	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭正痕	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良	内面一部剥落	
第94図-5	1716-6	1716-6	K-9	包3a層	91	口縁部	礫少量、細砂多量	A	?	?	—	—	—	—	LR結節部回転	—	不良	内面一部剥落、内面の摩滅が著しい	
第98図-10	1716-7	1716-7A (1716-7、1857-3)、1716-7B (2392-5)	K-9、K-10	包3a層、包3b層	717	口縁部	礫やや多量	C	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	突起A単位紋不規則、軸突文(竹筴状工具、状工具、器面に対して垂直)	突起A単位紋不規則、軸突文(竹筴状工具、状工具、器面に対して垂直)	不良		
第166図-1	1717-2	1717-2A (1717-2、1720-6)、1717-2B (2148-2)	K-9	包3d層、包3c層、包3a層	601	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭正痕	—	—	—	—	RL	?	不良		
第125図-18	1721-1	1721-1	K-9	包3c層	92	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	良好		
第116図-1	1721-3	1721-3	K-9	包3c層	162	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	?	不良		
第111図-7	1721-4	1721-4	K-9	包3c層	57	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭正痕	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	—	不良		
第130図-4	1722-1	1722-1	K-9	包3d層	488	口縁部	礫やや多量、細砂多量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部ナデ	—	—	—	—	ナデ	—	不良		
第56図-17	1723-6	1723-6	L-9	包2a層	104	底部	細砂多量	A	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	—	不良		
第125図-16	1725-1	1725-1	K-9	包3c層	114	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	不良		
第55図-1	1726-1	1726-1A (1726-1、1726-1B)	K-9、L-9	包2a層	354	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸糸体第5類R	—	不良		
第55図-14	1726-3	1726-3	L-9	包2a層	102	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	—	単軸糸体第1類R	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第55図-15	1726-4	1726-4	L-9	包2a層	104	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR (1結節)	—	不良		
第76図-5	1731-1	1731-1	L-9	包2b層	124	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	—	不良		
第144図-11	1731-2	1731-2	L-9	包2b層	81	口縁部	礫やや多量、雲母微量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸糸体第5類R	—	不良		
第62図-4	1731-4	1731-4	L-9	包2b層	58	口縁部	礫やや多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	ナデ	—	良好		
第96図-11	1732-1	1732-1	K-9	包3a層	336	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	直前段糸L (RRR R)	—	不良		
第96図-12	1732-2	1732-2	K-9	包3a層	180	底部	細砂やや多量	—	?	ナデ	ナデ、細代痕?	—	—	—	LR	—	良好		
第56図-15	1733-1	1733-1	K-9	包2a層	164	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ、細代痕?	—	—	—	LR	—	不良		
第54図-4	1733-2	1733-2	K-9	包2a層	63	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	—	良好		

第11表 南部捨て場出土器属性表(31)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口径狭	胎土強土	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口唇部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文順序	焼成	備考
第61図-1、 第61図-2、 第61図-3、 第61図-4、 第61図-5、 第61図-6	1733-3	1733-3A (1733-3) 1733-3B (2461-2)、1733-3C (2421-3)、 1733-3D (2421-4)、1733-3E (2461-3)、1733-3F (2461-4)	K-9	包2a層 包2b層	344	口縁部 縁少量	?	A	ヨコナデ	—	—	沈線(へら、鋸歯状・浅い)	沈線(へら、鋸歯状・浅い)	—	—	—	—	不良	
第159図-12	1735-1	1735-1	K-8	包3c層	60	口縁部 細砂多量	?	A	ヨコナデ	—	—	—	—	Rを附加した附加糸? (軸不明)	?	?	不良	表面の摩滅が著しい	
第156図-13	1735-2	1735-2	K-8	包3c層	53	口縁部 細砂多量	?	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好		
第78図-6	1736-1	1736-1	L-9	包3a層	160	口縁部 細砂少量	?	A	ヨコナデ、斜位ナデ、指頭庄痕	—	—	キザミA(へら、左→右)	キザミA(へら、左→右)	車輪絡糸体第5類R	縦位回転	キザミA・縦位貼付・地紋 →刺突文	良好		
第57図-8	1738-1	1738-1	K-9	包2a層	106	底部 縁少量	?	A	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第51図-1	1738-2	1738-2	K-9	包2a層	192	口縁部 縁少量	?	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	縦位貼付→地紋	良好		
第50図-7	1738-3	1738-3	K-9	包2a層	68	口縁部 縁少量	?	B	ヨコミガキ	—	—	突起R(へら、右→左) 渦巻貼付(へら、右→左) 押庄貼付	突起R(へら、右→左) 渦巻貼付(へら、右→左) 押庄貼付	—	—	—	良好		
第53図-5	1738-4	1738-4	K-9	包2a層	74	口縁部 細砂少量	?	B	ヨコミガキ	—	—	—	—	LR(1結節)	縦位回転、斜位回転、口縁部は縦位回転、結節部は縦位回転	縦位貼付→地紋	良好	外面一部剥落	
第38図-14、 第102図-6	1741-1	1741-1A (1741-1)、1741-1B (2350-1、2361-1)	K-8、 L-9、 L-10	包3a層、 包3b層	716	口縁部 縁やや多量	?	A	?	?	—	—	—	LR(1結節)	縦位回転	—	良好	内面の摩滅が著しい	
第106図-12	1741-2	1741-2	L-10	包3b層	112	口縁部 縁少量	?	A	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	車輪絡糸体第5類R	縦位回転	—	不良		
第105図-2	1741-3	1741-3	L-10	包3b層	59	口縁部 細砂多量、雲母多量	?	A	?	?	—	—	—	結束第1種LR・RL	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第73図-18	1742-1	1742-1	L-9	包2b層	246	口縁部 縁少量	?	A	斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	良好		
第104図-6	1743-1	1743-1A (1743-1)、1743-1B (1743-2)	L-10	包3b層	561	口縁部 縁少量	?	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	突起C(へら、左→右) キザミA(へら、左→右)	突起C(へら、左→右) キザミA(へら、左→右)	LR	縦位回転	突起C→キザミA・地紋	不良		
第74図-19	1747-1	1747-1	K-9	包2b層	330	底部 縁やや多量	?	—	ナデ	無調整	無調整	—	—	車輪絡糸体第1類L	斜位回転	—	良好		
第66図-1、 第67図-5	1747-2	1747-2A (1747-2)、1747-2B (1747-3)	K-9	包2b層	514	口縁部 縁多量	?	B	ヨコナデ	ヨコナデ	—	—	—	車輪絡糸体第5類R	縦位回転	—	不良		
第75図-3	1748-1	1748-1	L-9	包2b層	182	底部 細砂やや多量	?	A	縄代痕?	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類R	縦位回転	—	不良		
第61図-22	1748-2	1748-2	L-9	包2b層	67	口縁部 縁少量	?	A	ヨコナデ	—	—	突起C(へら、左→右) キザミA(へら、左→右)	突起C(へら、左→右) キザミA(へら、左→右)	LR	縦位回転	口唇部キザミA・貼付→貼付上キザミA →地紋	良好	突起部	
第115図-3	1750-1	1750-1	K-9	包3c層	300	口縁部 縁多量	?	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良		
第108図-4	1751-2	1751-2	K-10	包3b層	50	口縁部 縁少量	?	A	ヨコナデ	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類R	縦位回転	—	不良		
第107図-5	1751-4	1751-4	K-10	包3b層	120	口縁部 縁多量	?	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR?	縦位回転、斜位回転	キザミA(へら、左→右)	不良		

第11表 南部捨て場出土土器属性表(32)

図版No	個体No	破片No	選擇・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土	口縁状 胎土器類上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第160図-10、 第142図-4	1752-1 1752-2 1752-3 1752-4	1752-1A (1752-1) 1752-1B (1752-2) 1752-1C (1752-3) 1752-1D (1752-4)	K-10、 K-11	包3d層、 包3e層	482	完形	多量	B	口縁部はヨコナデ、 胴部はタナナデ	ナデ	無文帯、横位貼付(一、 一帯で上下端ナデのはか は押し貼付)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	斜位回転? 付	地紋→横位貼 付	不良	
第134図-11	1752-3	1752-3	K-10	包3d層	50	口縁部	多量、細砂少 量	A	ヨコナデ	—	突起E? (一、一)	—	—	丸組紐 (?、?)	?	?	不良	
第117図-2	1753-1	1753-1	K-9	包3C層	222	口縁部	多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	附加糸 (丸組紐)	横位回転、 縦位回転	—	不良	
第117図-7	1753-2	1753-2	K-9	包3C層	182	口縁部	多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	?	不良	外面一部剥落
第116図-14	1753-3	1753-3	K-9	包3C層	70	口縁部	多量	A	ヨコナデ	—	キザミア (ハラ、 左→右)	—	—	丸組紐 (L左巻、R左 巻)	縦位回転	?	不良	内面の摩滅が 著しい
第151図-9	1754-1	1754-1	K-10	包3e層	93	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	RL結節部回転(横位回 転)	RL結節部回転(横位回 転)	—	LR	縦位回転	?	不良	内面の摩滅が 著しい
第152図-18	1754-2	1754-2	K-10	包3e層	55	口縁部	少量、細砂少 量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第150図-5	1755-1	1755-1	J-9	包3c層	256	口縁部	多量	A	?	—	—	—	—	丸組紐 (?右巻、? 右巻)	横位回転?	—	不良	
第160図-21	1755-3	1755-3	J-9	包3e層	105	底部	多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第176図-8	1756-1	1756-1	K-9	包2b層	95	底部	多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第172図-4	1756-3	1756-3	K-9	包2b層	100	口縁部	多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	外面一部剥落
第172図-8	1757-1	1757-1	K-9	包2b層	92	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	?	不良	表面の摩滅が 著しい
第175図-4	1758-1	1758-1	L-10	包2b層	115	底部	少量、細砂少 量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	
第172図-2	1758-2	1758-2	L-10	包2b層	120	口縁部	多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第133図-3	1759-1	1759-1	L-10	包3d層	142	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類丸 組紐 (?、?)	斜位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第183図-11	1760-1	1760-1	L-9	包3a層	346	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	結果第1類LR・RL	縦位回転	?	不良	
第186図-18	1760-7	1760-7	L-9	包3a層	164	底部	多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	
第161図-18	1761-1	1761-1	L-10	包2b層	93	口縁部	多量	A	ヨコナデ	—	横位貼付(一、上下端ナ デ)	—	—	LR	横位回転 口縁部は縦 位回転	横位貼付→地 紋	不良	
第164図-9	1761-7	1761-7A (1761-7) 1761-7B (1761-8)	L-10	包2b層	264	口縁部	細砂・礫やや多 量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第123図-8	1762-1	1762-1	K-8	包3c層	65	口縁部	多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第111図-10	1762-4	1762-4	K-8	包3c層	52	口縁部	少量、細砂や 多量	A	ヨコナデ	—	貼付(一、押し貼付)、刺 突文(線状工具、左→右 または上→下)、キザミア (左、左→右)	—	—	—	—	—	不良	
第124図-11	1762-6	1762-6	K-8	包3c層	268	底部	多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第110図-4	1766-2	1766-2	K-9	包3c層	65	口縁部	少量	A	斜位ナデ	—	横位貼付(一、押し貼付)	—	—	LR	縦位回転	横位貼付→地 紋	不良	
第134図-10	1772-3	1772-3	K-10	包3d層	73	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐 (L左巻、L左 巻)	横位回転	キザミア→地 紋	不良	
第180図-8	1774-1	1774-1	K-9	包3a層	90	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	横位貼付(一、押し貼付)	—	—	LR	縦位貼付→地 紋	良好	横位貼付剥落	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(33)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土・泥人物	口唇状	粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原体・施文方法)	口唇部文様帯 文様(原体・施文方法)	彫部文様帯 種類・記号	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第96図-10	1774-2	1774-2	K-9	包3a層	418	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第96図-26	1774-3	1774-3	K-9	包3a層	398	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第96図-27	1774-4	1774-4	K-9	包3a層	274	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第72図-12	1775-1	1775-1	L-10	包2b層	87	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	?	良好	
第68図-16	1775-2	1775-2	L-10	包2b層	58	口縁部	細砂やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ	?	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	
第140図-19	1776-2	1776-2	K-10	包3d層	212	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第140図-7	1777-1	1777-1	K-10	包3d層	396	底部	細砂多量、礫多量	—	?	ナデ	兼代真?	—	—	—	単輪絡糸体第5類R	?	—	不良	
第67図-14、 第71図-1	1778-2A (1778-2)、 1778-2B (1778-4)	1778-2A (1778-2)、 1778-2B (1778-4)	L-10	包2b層	372	口縁部	礫少量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	単輪絡糸体第1類R	斜位回転	?	不良	
第62図-9	1778-3	1778-3	L-10	包2b層	71	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	3本1組歯状工具	横位・斜位 方向に波打 つように施 紋	キザミA→地 紋	良好	
第128図-9	1779-1	1779-1	K-9	包3d層	242	口縁部	礫少量	C	?	斜位ナデ	—	—	—	—	?	?	—	良好	
第138図-13	1779-2	1779-2	K-9	包3d層	93	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単輪絡糸体第5類L	縦位回転?	—	不良	外面一部剥落
第137図-13	1779-3	1779-3	K-9	包3d層	57	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単輪絡糸体第5類?	縦位回転?	—	不良	
第100図-2	1781-1	1781-1	L-10	包3b層	212	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単輪絡糸体第1類R	縦位回転、 斜位回転	?	不良	
第104図-3	1781-2	1781-2	L-10	包3b層	124	口縁部	礫少量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ、指 頭旺盛	—	—	—	—	LR	縦位回転	突起D→地紋	不良	
第120図-3	1781-3	1779-3	L-10	包3b層	54	口縁部	礫やや多量、細砂少量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	丸紐紐 (?、?)	?	—	不良	
第136図-7	1784-1	1784-1	K-10	包3d層	93	口縁部	細砂多量、礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸紐紐 (?、?)	?	—	不良	内面の磨減が著しい
第136図-4	1784-2	1784-2	K-10	包3d層	94	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸紐紐 (L左巻、L右巻?)	縦位回転?	—	良好	内面の磨減が著しい
第139図-12	1784-3	1784-3	K-10	包3d層	61	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸紐紐 (?、?)	?	?	不良	
第74図-14	1785-6	1785-6	L-10	包2b層	222	底部	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第96図-15	1795-1	1795-1	L-8	包3a層	412	底部	細砂多量、礫少量、織維やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	
第83図-14	1795-2	1795-2	L-8	包3a層	208	口縁部	細砂やや多量、礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	単輪絡糸体第1類R?	斜位回転	—	不良	内外面の一部に接合帯の残るが断面では判別不能
第95図-3	1795-3	1795-3	L-8	包3a層	53	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	?	?	突起A→キザミA・地紋	不良	
第97図-10	1800-1	1800-1	L-9	包3a層	124	底部	細砂少量	—	?	ナデ	ナデ、兼代真?	—	—	—	LR	斜位回転	—	良好	
第84図-3	1811-1	1811-1、2085-1	K-9	包3a層	418	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	単輪絡糸体第5類?	縦位回転	?	良好	外面一部剥落

第11表 南部捨て場出土器属性表(34)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	粘土 混和物、混入物	口縁結 柱上露出	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 連続紋様	地紋		施文方法	施文順序	焼成	備考
														原形・外面調整	原形・外面調整				
第93図-8	1811-3	1811-3	K-9	包3a層	89	口縁部	礫やや多量	A	斜位ナデ	?	丸組紐(?)	丸組紐(?)	?	?	?	?	?	不良	
第83図-1	1814-1	1814-1, 2026-1, 2026-2, 2371-2	K-9	包3a層	1,428	口縁部	礫多量	A	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第158図-13	1816-1	1816-1	J-10	包3e層	172	口縁部	細砂少量、繊維多量	A	ヨコミガキ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	外面一部剥落
第143図-3	1816-2	1816-2	J-10	包3e層	108	口縁部	細砂多量	B	ヨコナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第142図-9	1816-3	1816-3, 1832-1, 2309-1, 2562-1	J-9, J-10, J-11	包3d層、包3e層	934	口縁部	礫多量	B	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第158図-14	1816-4	1816-4	J-10	包3e層	95	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	良好	
第144図-5	1816-6	1816-6	J-10	包3c層	134	口縁部	礫少量、細砂やや多量、繊維多量	A	ヨコナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第162図-16	1816-7	1816-7	J-10	包3c層	75	底部	礫やや多量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第70図-3	1818-1	1818-1	L-10	包2b層	190	口縁部	細砂多量	A	タテナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第119図-12	1821-1	1821-1	K-9	包3c層	200	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	良好	
第98図-1	1823-1	1823-1, 1823-2, 1830-3, 2392-1, 2392-2, 2392-4, 2392-3	K-10	包3b層	3,734	口縁部	細砂・礫やや多量	B	口縁部はヨコナデ、胴部は斜位ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	良好	
第109図-2	1823-3	1823-3	K-10	包3b層	250	底部	礫多量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第109図-1	1823-4	1823-4	K-10	包3b層	140	底部	礫多量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	表面の磨滅が著しい
第86図-18	1825-1	1825-1	L-9	包3a層	50	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第83図-8	1825-4	1825-4	L-9	包3a層	600	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第129図-7	1827-1	1827-1A (1827-1, 1991-1, 1991-1, 1991-2, 1998-1, 2550-3), 1827-1B (2092-2), 1827-1C (2314-1, 2314-3)	K-9	包3a層、包3d層	2,285	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第89図-7	1827-2	1827-2	K-9	包3a層	158	口縁部	礫やや多量	A	指頭庄痕	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第94図-14	1827-3	1827-3	K-9	包3a層	80	口縁部	細砂やや多量	A	指頭庄痕	?	?	?	?	?	?	?	?	良好	
第140図-20	1827-7	1827-7	K-9	包3a層	340	底部	細砂少量、礫やや多量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	良好	
第140図-11	1827-8	1827-8	K-9	包3a層	108	底部	礫少量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第109図-10	1830-1	1830-1	K-10	包3b層	192	底部	礫多量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第162図-5	1831-3	1831-3	K-8	包3c層	70	底部	礫多量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	
第108図-16	1833-5	1833-5	K-10	包3b層	176	底部	礫少量	?	ナデ	?	?	?	?	?	?	?	?	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(35)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	部位 重量(g)	胎土 混和物・混入物	口縁状	器上器土	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様	胴部文様	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
											文様(原形、施文方法)	文様(原形、施文方法)	原形・外面調整	原形・外面調整							
第96図-7	1834-2	1834-2	K-9	包3a層	口縁部 166	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	L	—	—	縦位回転	—	—	良好	
第99図-3	1845-1	1845-1	K-10	包3b層	口縁部 1,068	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄真	—	—	—	—	LR	—	—	横位回転	—	—	良好	
第101図-1	1846-1	1846-1A(1846-1), 2560-1D, 1846-1B(2438-3, 2560-2)	K-10	包3b層	口縁部 557	細砂・礫やや多量	B	?	胴部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	—	—	—	車輪絡糸体第5類R	—	—	縦位回転	—	—	良好	
第69図-6	1848-1	1848-1	K-10	包2b層	口縁部 945	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄真	—	—	—	—	車輪絡糸体第5類R	—	—	斜位回転	突起C→地紋	—	良好	
第68図-2	1848-2	1848-2	K-10	包2b層	口縁部 100	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄真	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類R	—	—	斜位回転	—	—	不良	
第49図-5	1854-4	1854-4	J-12	包1層	口縁部 76	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭庄真	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	—	?	—	—	不良	
第161図-1	1855-7	1855-7	K-9	包3c層	底部 77	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第126図-8	1856-6	1856-6	K-10	包3d層	口縁部 85	礫やや多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	—	?	地紋→横位貼付	—	不良	
第104図-7	1857-2	1857-2	K-10	包3b層	口縁部 124	礫やや多量	A	?	指頭庄真	—	—	—	—	LR	—	—	縦位回転	?	—	不良	
第95図-11	1858-7	1858-7	K-9	包3a層	底部 65	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第61図-16	1861-1	1861-1	K-10	包2b層	口縁部 52	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	L?	—	—	縦位回転?	キザミ・横位貼付→地紋	—	不良	
第146図-8	1864-1	1864-1	L-7	包3e層	口縁部 434	礫多量、繊維少量	A	?	?	—	—	—	—	LR	—	—	横位回転	—	—	良好	内面の摩滅が著しい
第151図-6	1864-2	1864-2	L-7	包3e層	口縁部 120	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	—	—	横位回転	?	—	不良	
第152図-9	1864-3	1864-3	L-7	包3e層	口縁部 67	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR(L結束)	—	—	横位回転	—	—	不良	外面の摩滅が著しい
第162図-13	1864-4	1864-4	L-7	包3e層	底部 114	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	RL	—	—	横位回転	—	—	不良	外面の摩滅が著しい
第162図-3	1864-5	1864-5	L-7	包3e層	底部 84	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	—	—	—	—	—	良好	
第162図-12	1864-6	1864-6	L-7	包3e層	底部 106	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	—	—	横位	—	—	良好	
第113図-10	1867-1	1867-1	K-9	包3c層	口縁部 130	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ、指頭庄真	—	—	—	—	LR(2結節)	—	—	縦位回転	—	—	不良	外面一部剥落
第118図-8	1867-5	1867-5	K-9	包3c層	口縁部 206	礫少量	A	?	タテナデ	—	—	—	—	丸組紐(左巻、?左巻、?左巻?)	—	—	?	?	—	不良	内面の摩滅が著しい
第120図-18	1867-10	1867-10	K-9	包3c層	口縁部 53	細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	—	丸組紐(左巻、?左巻?)	—	—	?	—	—	不良	内面の摩滅が著しい
第140図-26	1868-1	1868-1	J-8	包3d層	底部 96	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	丸組紐?	—	—	縦位回転	—	—	良好	
第133図-14	1868-3	1868-3	J-8	包3d層	口縁部 55	細砂やや多量	A	?	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	—	—	縦位回転	?	—	不良	内面および口唇部に炭化物付着
第71図-5	1874-1	1874-1	K-10	包2b層	口縁部 386	細砂多量、変母礫量	A	?	ヨコナデ、指頭庄真、胴部は斜位ナデ	—	—	—	—	結束第2種LR・LR	—	—	縦位回転	—	—	不良	
第112図-10	1881-1	1881-1	K-9	包3c層	口縁部 535	細砂多量	C	?	ヨコナデ、指頭庄真、胴部はタテナデ	—	—	—	—	丸組紐(L左巻?, L右巻?)	—	—	?	—	—	良好	
第122図-7	1881-2	1881-2	K-9	包3c層	口縁部 170	礫やや多量	C	?	指頭庄真	—	—	—	—	L	—	—	横位回転、斜位回転	突起B→地紋	—	不良	
第122図-3	1881-4	1881-4	K-9	包3c層	口縁部 192	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄真	—	—	—	—	車輪絡糸体第5類R	—	—	?	?	—	不良	
第121図-11	1881-5	1881-5	K-9	包3c層	口縁部 112	礫多量、繊維少量、変母少量	A	?	?	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	—	?	—	—	不良	内面の摩滅が著しい
第118図-6	1883-1	1883-1	K-9	包3c層	口縁部 148	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭庄真	—	—	—	—	LR	—	—	斜位回転	?	—	良好	
第123図-19	1883-3	1883-3	K-9	包3c層	口縁部 80	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類L	—	—	縦位回転	突起B→地紋	—	良好	
第120図-14	1883-4	1883-4	K-9	包3c層	口縁部 55	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(左巻、?左巻?)	—	—	?	?	—	不良	

第11表 南部捨て場出土器属性表(36)

図版No	個体No	破片No	選擇・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土	口唇部 粘土部 土	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋		施文順序	焼成	備考
														原形	外面調整			
第58図-7	1889-1	1889-1	K-10	包2b層	184	口縁部	細砂やや多量、 礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR (1結節)	—	横位貼付→貼付・キザミ→沈線	—	良好
第57図-5	1891-1	1891-1	K-9	包2a層	218	底部	細砂多量	—	ナデ	細代底	—	—	—	LR	—	横位回転	—	良好
第56図-18	1892-1	1892-1	K-9	包2a層	284	底部	細砂やや多量、 礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	単軸絡糸体第1類または1A類R	—	縦位回転	—	良好
第53図-17	1892-2	1892-2	K-9	包2a層	82	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、指頭正直	—	—	—	—	多軸絡糸体R (軸本数不明)	—	縦位回転	—	良好
第139図-18	1893-1	1893-1	K-10	包3d層	54	口縁部	細砂やや多量、 礫少量	B	斜位ナデ	—	—	—	—	LR	—	縦位回転、 斜位回転	—	不良
第54図-1	1894-1	1894-1	L-9	包2a層	238	口縁部	細砂少量、礫少量	A	ヨコナデ、指頭正直	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	—	斜位回転	—	良好
第98図-8	1897-1	1897-1	K-10	包3b層	95	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	軸紋→横位貼付→刺突文	—	不良
第65図-13	1901-1	1901-1	K-10	包2b層	330	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭正直	—	—	—	—	LR	—	縦位回転	—	不良
第105図-1	1902-2	1902-2	K-10	包3b層	51	口縁部	礫やや多量、 砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	—	縦位回転	—	不良
第77図-6	1903-2	1903-2	L-10	包2b層	270	底部	礫やや多量	A	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良
第75図-17	1903-3	1903-3	L-10	包2b層	254	底部	礫少量、細砂やや多量	A	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良
第49図-16	1904-3	1904-3	K-9	包1層	128	底部	礫やや多量	—	ナデ	—	—	—	—	ナデ	—	横位	—	不良
第49図-13	1904-4	1904-4	K-9	包1層	244	底部	礫多量	—	ナデ	—	—	—	—	ナデ	—	—	—	不良
第144図-3	1905-1	1905-1	K-9	包3c層	114	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	—	横位回転	—	不良
第65図-6	1911-1	1911-1	L-10	包2b層	824	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	—	斜位回転	—	不良
第76図-13	1912-1	1912-1	K-10	包2b層	198	底部	礫少量	A	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	—	横位	—	良好
第77図-16	1912-2	1912-2	K-10	包2b層	106	底部	細砂多量	A	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良
第66図-5	1912-4	1912-4	K-10	包2b層	91	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	単軸絡糸体第1類L	—	斜位回転	—	不良
第68図-18	1912-5	1912-5	K-10	包2b層	60	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類R?	?	?	—	不良
第99図-1、 第108図-9	1913-1	1913-1	L-10	包3b層	515	底部	細砂多量	—	ヨコナデ	旺盛なし	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	—	縦位回転	—	不良
第105図-4	1913-2	1913-2	L-10	包3b層	62	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	—	縦位回転	—	不良
第74図-12	1914-1	1914-1	L-10	包2b層	288	底部	細砂やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	単軸絡糸体第1類	—	縦位回転	—	不良
第72図-3	1914-2	1914-2	L-10	包2b層	90	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	LR	—	縦位回転	—	不良
第91図-20	1915-1	1915-1	L-9	包3a層	61	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	—	縦位回転	—	不良
第92図-10	1915-2	1915-2	L-9	包3a層	57	口縁部	礫やや多量、 細砂やや多量	A	ヨコナデ、指頭正直	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	—	不良
第80図-10	1915-3	1915-3	L-9	包3a層	68	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	斜位ナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	—	横位回転?	—	不良
第158図-4	1917-2	1917-2	K-8	包3e層	85	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	単軸絡糸体第1類?	—	斜位回転	—	不良
第93図-9	1919-1	1919-1	L-9	包3a層	67	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	結束第1種RL・LR	—	縦位回転	—	不良

第11表 南部捨て場出土土器属性表(37)

図版No	個体No	破片No	建構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土	口唇状土器	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	脚部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第93図-10	1919-2	1919-2	L-9	包3a層	67	口縁部	泥和稍・混人物	A	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	地紋は軸の頭部に直線的に、中央部に波状に巻き付けたもので、山内分類のない類型
第80図-13	1919-3	1919-3	L-9	包3a層	57	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第99図-8	1922-1	1922-1	K-10	包3b層	628	口縁部	礫少量	A	タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第104図-10	1922-2	1922-2	K-10	包3b層	628	口縁部	礫多量、細砂多量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第101図-2	1922-3	1922-3、1922-4	K-10	包3b層	258	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落
第103図-2	1922-6	1922-6	K-10	包3b層	91	口縁部	細砂やや少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落
第81図-9	1923-1	1923-1、1923-4	L-9	包3a層	346	口縁部	礫少量	C	粗いヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	[3]字形突起ナデ
第89図-10	1923-2	1923-2	L-9	包3a層	148	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第86図-4	1923-3	1923-3	L-9	包3a層	150	口縁部	細砂多量	A	指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第96図-24	1928-1	1928-1	J-8	包3a層	184	底部	細砂多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第98図-16	1930-1	1930-1	J-9	包3b層	142	口縁部	礫少量	A	ヨコミガキ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第80図-3	1931-1	1931-1、1931-3	L-9	包3a層	530	口縁部	礫少量、細砂少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	貼付上の地紋はL(RRR)?、縦位回転
第80図-6	1931-2	1931-2	L-9	包3a層	136	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	貼付上の地紋はL(RRR)?、縦位回転
第117図-4	1932-1	1932-1	K-9	包3c層	260	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	地紋→縦位貼付→刺突文
第117図-3	1932-2	1932-2	K-9	包3c層	138	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	?
第124図-22	1932-3	1932-3	K-9	包3c層	190	底部	細砂多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	不良	底面の摩滅が著しい
第124図-10	1932-4	1932-4	K-9	包3c層	212	底部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第148図-5	1933-4	1933-4	K-9	包3c層	264	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面の摩滅が著しい
第99図-9	1935-1	1935-1	K-10	包3b層	236	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第108図-26	1935-2	1935-2	K-10	包3b層	800	底部	礫やや多量	—	ナデ	網代痕	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第105図-17	1935-3	1935-3	K-10	包3b層	150	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第109図-15	1938-3	1938-3	K-10	包3b層	176	底部	礫少量、細砂やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第86図-12	1940-3	1940-3A (1940-3)、1940-3B (1940-4)	L-9	包3a層	139	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第86図-11	1940-4	1940-4	L-9	包3a層	84	口縁部	礫少量、細砂多量	A	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい、補修
第85図-2	1940-5	1940-5	L-9	包3a層	338	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	突起C→キザミA・地紋
第134図-8	1943-1	1943-1	K-10	包3d層	60	口縁部	礫やや多量	C	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落

第11表 南部捨て場出土土器属性表(38)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇縁 土器口上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	關部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第139図-10	1943-2	1943-2	K-10	包3d層	65	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	丸組紐 (L右巻、R右巻)	斜位回転	—	不良		
第63図-3	1944-1	1944-1	K-10	包2b層	280	口縁部	細砂多量、雲母少量	A ?	口縁部はヨコナテ、脚部はタテナテ	—	横位貼付 (-、上下端ナテ)、沈線 (ハテ、-)、キザミA (ハラ、左→右)	—	結束第1種RL・RL	縦位回転	地紋→横位貼付→刻み・沈線	不良	表面の磨滅が著しい	
第69図-1	1944-2	1944-2、2580-1	K-9、K-10	包2b層	221	口縁部	礫少量	A ?	ヨコナテ、斜位ナテ	—	—	—	LR (1結節)	縦位回転	?	不良		
第128図-5	1945-1	1945-1	K-9	包3d層	1,890	底面	礫多量	A	ヨコナテ、タテナテ	無調整	—	—	条痕	縦位、斜位	—	不良	外面一部剥落	
第126図-11	1947-1	1947-1	K-10	包3d層	50	口縁部	礫やや多量、織維多量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	RL	縦位回転	?	不良	外面一部剥落	
第59図-2	1948-2	1948-2	K-10	包2b層	115	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	結束第1種RL、RL	縦位回転	地紋→横位貼付→キザミA	不良	表面の磨滅が著しい	
第128図-3	1949-1	1949-1A (1949-1)、1949-1B (1949-2)、1949-1 (2503-3)	L-9	包3a層、包3d層	1,310	口縁部	細砂・礫多量	A ?	ヨコナテ	歪直なし	—	—	条痕 (原形不明)	横位・斜位	—	不良		
第84図-5	1949-3	1949-3、2154-2	L-9	包3a層	284	口縁部	礫多量	B ?	ヨコナテ、指頭直痕	—	—	—	—	?	?	不良		
第91図-7	1949-4	1949-4	L-9	包3a層	50	口縁部	礫多量	A ?	?	—	—	—	丸組紐? (L右巻、R右巻?)	?	—	不良	表面の磨滅が著しい	
第162図-21	1950-1	1950-1	J-8	包4層	125	口縁部	細砂やや多量、礫やや多量、織維微量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	RL、LR	横位回転	突起B→地紋	不良	内面の磨滅が著しい	
第108図-25	1951-1	1951-1	K-10	包3b層	440	底部	礫やや多量	?	ナテ	ナテ、細代痕?	—	—	RL	横位回転、斜位回転	—	良好		
第108図-19	1951-2	1951-2	K-10	包3b層	300	底部	細砂やや多量、礫やや多量	?	ナテ	無調整	—	—	ナテ	横位	—	不良	底面の磨滅が著しい	
第109図-3	1951-3	1951-3	K-10	包3b層	130	底部	礫やや多量	?	ナテ	無調整	—	—	—	—	—	不良		
第98図-12	1951-5	1951-5、1951-6	K-10	包3b層	380	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	丸組紐?	?	—	良好		
第98図-15	1951-7	1951-7	K-10	包3b層	295	口縁部	礫少量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	単軸絡糸体第5類r	斜位回転	—	良好		
第56図-8	1954-1	1954-1	L-9	包2a層	70	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナテ、指頭直痕	—	—	—	多軸絡糸体?	縦位回転	—	不良	内面の磨滅が著しい	
第62図-8	1956-1	1956-1	K-10	包2b層	55	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	縦位回転?	—	不良		
第60図-14	1956-2	1956-2	K-10	包2b層	50	口縁部	細砂多量、雲母微量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨滅が著しい	
第68図-1	1958-1	1958-1	K-10	包2b層	65	口縁部	細砂多量	B カヤボコ状	?	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨滅が著しい	
第48図-14	1962-1	1962-1	K-9	包1層	94	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	—	?	—	不良		
第141図-4	1963-4	1963-4	L-9	包3d層	52	底部	礫少量	?	ナテ	—	—	—	—	—	—	良好		
第75図-15	1964-1	1964-1	L-10	包2b層	404	底部	礫やや多量	?	ナテ	無調整	—	—	—	—	—	不良		
第140図-23	1969-2	1969-2	L-10	包3d層	230	底部	細砂多量	?	ヨコナテ	?	—	—	—	—	—	不良	表面の磨滅が著しい	
第126図-17	1969-4	1969-4	L-10	包3d層	92	口縁部	礫少量、細砂やや多量	B ?	ヨコナテ	—	—	—	—	—	—	不良		
第139図-19	1969-5	1969-5	L-10	包3d層	66	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナテ、斜位ナテ	—	—	—	—	?	—	良好	補修孔	
第133図-9	1969-6	1969-6	L-10	包3d層	87	口縁部	礫少量	A ?	ヨコナテ、指頭直痕	—	—	—	—	—	—	不良		
第126図-7	1970-2	1970-2	K-10	包3d層	114	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナテ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨滅が著しい	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(39)

図版No	胴体No	破片No	選替・ グレット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和用・混人物	口縁線 基土帯直上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口唇部文様帯 文様(原形・施文方法)	聯部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考	
																			文様(原形・施文方法)
第61図-17	1972-2	1972-2	L-10	包2b層	142	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位貼付→キ 横位貼付	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第113図-14	1973-5	1973-5	K-9	包3c層	61	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位貼付	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第62図-11	1975-1	1975-1	J-10	包2b層	75	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位貼付	—	不良	表面の摩滅が 著しい、補修 孔	
第61図-7	1975-2	1975-2	J-10	包2b層	55	口縁部	細砂多量	B	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	横位貼付→キ キザミA・縄側 面圧痕	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第134図-6	1976-3	1976-3	L-10	包3d層	64	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸縄紐 (R左巻、L左 巻)	?	?	不良		
第140図-3	1976-4	1976-4	L-10	包3d層	112	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	?	—	—	—	—	丸縄紐 (R左巻、L右 巻)	斜位貼付	突起C→地紋	不良	内面の摩滅が 著しい	
第156図-12	1980-3	1980-3	K-9	包3c層	56	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸縄紐 (L右巻、R右 巻)	縦位貼付?	—	不良	内面の摩滅が 著しい	
第156図-5	1980-4	1980-4	K-9	包3c層	60	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	0段?結節部貼付	横位貼付	—	不良		
第156図-16	1980-5	1980-5	K-9	包3c層	69	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	丸縄紐 (?、?)	?	—	良好	内面の摩滅が 著しい	
第108図-27	1984-5	1984-5	K-10	包3b層	230	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第108図-11	1984-6	1984-6	K-10	包3a層	162	底部	礫やや多量	—	ナデ	木葉痕	—	—	—	R	横位貼付	—	不良	内面の摩滅が 著しい	
第90図-7	1985-2	1985-2	K-9	包3a層	112	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	—	丸縄紐 (?、?)	?	?	不良	表面の摩滅が 著しい	
第91図-23	1985-3	1985-3	K-9	包3a層	58	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸縄紐 (?、?)	?	—	良好		
第89図-12	1986-7	1986-7	L-9	包3a層	134	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位貼付	?	不良		
第92図-11	1986-8	1986-8	L-9	包3a層	102	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR (1結節部貼付)	縦位貼付、 横位貼付	—	不良		
第79図-4	1986-9	1986-9	L-9	包3a層	252	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	横位貼付、 斜位貼付	突起D→刺突 文	良好		
第87図-5	1986-10	1986-10	L-9	包3a層	220	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸縄紐 (未燃原体右 巻、未燃原体右巻?)	縦位貼付?	—	不良	内面の摩滅が 著しい	
第85図-19	1986-11	1986-11	L-9	包3a層	314	底部	細砂多量	—	ナデ	無調整 ?	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい	
第96図-4	1987-1	1987-1	K-9	包3a層	535	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR (1結節)	縦位貼付	—	不良		
第87図-8	1987-2	1987-2	K-9	包3a層	79	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸縄紐 (?、?)	?	?	不良		
第87図-9	1987-3	1987-3	K-9	包3a層	59	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	条痕	縦位、斜位	キザミA→条 痕	良好		
第86図-17	1987-4	1987-4	K-9	包3a層	59	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	車輪跡条体第1類? ?	縦位貼付、 斜位貼付?	—	不良		
第87図-10	1988-1	1988-1	K-9	包3a層	83	口縁部	細砂やや多量	B	ヨコナデ	—	—	—	—	車輪跡条体第5類R	?	?	不良		
第153図-3	1990-1	1990-1	K-11	包3c層	174	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位貼付	—	不良		
第160図-14	1992-1	1992-1	L-8	包3c層	104	底部	礫やや多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	R (1結節)?	縦位貼付	—	不良		
第123図-3	2019-3	2019-3	K-9	包3c層	50	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	横位貼付	—	不良		
第123図-2	2019-4	2019-4	K-9	包3c層	50	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸縄紐 (?、?)	?	突起E→地紋	不良		
第121図-1	2019-5	2019-5	K-9	包3c層	160	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位貼付、 斜位貼付	?	良好		

第11表 南部捨て場出土土器属性表(40)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	土器状 粘土種類	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様 文様(原形・施文方法)	胴部文様 文様(原形・施文方法)	地紋		施文順序	焼成	備考
														底面・外面調整	地紋			
第83図-13、 第96図-1	2020-1 2020-1	2020-1A (2020-1) 2020-1B (2020-3)	K-9	包3a層	750	完形	礫やや多量	A	ナデ	無調整	キザミA (へラ、右→左)	—	—	結束第1種LR・RL	縦位回転	?	良好	
第144図-9	2021-1	2021-1	J-11	包3e層	86	口縁部	礫少量	A	ヨコミガキ	—	沈線(へら、浅い)、 列点(棒状工具、上→下)	—	—	RL?	縦位回転?	良好		
第111図-3	2022-4	2022-4、2104-1、 2265-2	K-9	包3c層	564	口縁部	細砂・礫やや多量	A	ヨコナデ I (結節、 結節部縦位・横位回転)	—	突起D2単位、 貼付2単位	—	—	L (1結節)	縦位回転	良好		
第119図-3	2022-5	2022-5	K-9	包3c層	80	口縁部	礫多量	A	斜位ナデ	—	キザミA (へラ、 左→右)	—	—	RL	縦位回転	不良		
第118図-7	2025-2	2025-2	K-9	包3c層	144	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、指頭正直	—	キザミA (へラ、 器面に対して垂直)	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良		
第123図-7	2025-4	2025-4	K-9	包3c層	60	口縁部	細砂多量	C	タナナデ	—	キザミA (へラ、 右→左)	—	—	L (1結節)	縦位回転	不良		
第92図-7	2026-3	2026-3	K-9	包3a層	130	口縁部	礫少量、細砂少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	附加糸?R?	斜位回転?	不良		
第58図-2	2027-1	2027-1	K-10	包2b層	3,290	口縁部	礫多量	D	ヨコナデ	—	[3]字形貼付4単位、 橋状貼付(へら、 器面に対して垂直)	無文帯、 横位貼付 (へら、細く深い)、 凹形貼付(へら、 器面に対して垂直)、 キザミC (へら、 器面に対して垂直)、 キザミC (へら、 器面に対して垂直)、 上下端ナデ)、 (へら、器面に対して垂直)	—	結束第1種LR・RL (両端結節)	縦位回転	良好		
第60図-9、 第60図-10	2027-2	2027-2A (2027-2) 2027-2B (2029-2)	K-10	包2b層	112	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	横位貼付(へら、 器面に対して垂直)、 キザミ(へら、 器面に対して垂直)	—	—	?	?	良好		
第62図-6	2029-1	2029-1	K-10	包2b層	60	口縁部	礫やや多量	D	ヨコナデ	—	横位貼付(へら、 器面に対して垂直)	—	—	RL	縦位回転	良好		
第75図-18	2029-4	2029-4	K-10	包2b層	148	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	良好		
第58図-3	2031-1	2031-1A (2031-1) 2100-1)、2031-1B (2031-2)	J-10	包2b層	1,030	口縁部	礫少量	A	口縁部はヨコナデ、 胴部はタナナデ	—	突起B (-、-)、 沈線(へら、浅い)、 渦巻状貼付(-、周囲ナデ)、 横位貼付(-、上下端ナデ)、 キザミB (棒状工具、 器面に対して垂直)	—	—	結束第1種LR・RL (3折状)、LR、R結束	縦位回転	不良		
第140図-24	2032-1	2032-1	K-8	包3d層	146	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	RL (1結節)	縦位回転	不良		
第128図-14	2032-2	2032-2	K-8	包3d層	170	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	突起E (-、-)、 沈線(へら、浅い)、 渦巻状貼付(-、周囲ナデ)、 横位貼付(-、上下端ナデ)、 キザミB (棒状工具、 器面に対して垂直)	—	—	LR	縦位回転	良好		
第124図-20	2032-3	2032-3	K-8	包3d層	60	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良		
第137図-19	2032-4	2032-4	K-8	包3d層	52	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	横位貼付(へら、 器面に対して垂直)	—	—	RL (1結節)	縦位回転	不良		
第124図-4	2033-1	2033-1	K-9	包3c層	348	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	丸組紐 (?、?)、 1部段結節部回転	縦位回転	不良		
第125図-17	2033-2	2033-2	K-9	包3c層	126	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	不良		
第122図-4	2034-2	2034-2	K-9	包3c層	168	口縁部	礫少量	A	斜位ナデ、指頭正直	—	キザミA (へら、 右→左)	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良		
第119図-8	2034-3	2034-3	K-9	包3c層	108	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良		
第121図-9	2034-4	2034-4	K-9	包3c層	91	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、 指頭正直	—	キザミA (へら、 左→右)	—	—	LR? (1結節)	縦位回転	不良		

第11表 南部捨て場出土器属性表(4)

図版No	胴体No.	破片No.	選構・クワッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口隆形状	胎土羅土	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胎部文様群 種類数	地紋		施紋方法	施文順序	焼成	備考
												文様(原形・施文方法)	文様(原形・施文方法)	原形	外周調整							
第119図-10	2034-5	2034-5	K-9	包3c層	94	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	斜位ナナ、指頭庄裏	—	—	キザミA(へラ、左→右)	丸組紐(？、？)	—	?	?	?	?	不良		
第113図-12	2034-6	2034-6	K-9	包3c層	61	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナナ	—	—	—	LR(1結節)	—	?	?	?	—	良好	口縁部内面にも外周と同様の地紋	
第121図-6	2034-7	2034-7	K-9	包3c層	136	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	丸組紐(？、？)	—	?	?	?	—	不良		
第159図-21、第159図-22	2035-1A	2035-1A(2035-1A)、2035-1B(2035-2)	J-11	包3c層	175	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	指頭庄裏	—	—	—	ナナ	—	?	?	?	?	—	不良	
第152図-7	2036-1	2036-1	K-11	包3c層	81	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナナ	—	—	—	結束第1種(LR、RL)	—	?	?	?	—	不良		
第135図-10	2039-2	2039-2	K-10	包3d層	122	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナナ、指頭庄裏	—	—	キザミA(へラ、左→右)	丸組紐(？、？)	—	?	?	?	キザミA→地紋	—	不良	
第127図-2	2039-3	2039-3、2039-4	K-10	包3d層	114	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナナ	—	—	突起A(へ、-)、キザミA(へラ、内面側→外面側)	丸組紐(？、？)	—	?	?	?	突起A→地紋	—	不良	
第143図-8	2046-1	2046-1	J-11	包3c層	100	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナナ	—	—	貼付(へ、)細砂ナナ	LR	—	?	?	?	突起A→地紋	—	良好	
第157図-1	2046-2	2046-2	J-11	包3c層	83	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナナ	—	—	キザミ(へラ、右→左)	丸組紐(L左巻？、R左巻？)	—	?	?	?	突起G→貼付→地紋	—	良好	
第68図-8	2047-5	2047-5	K-10	包2b層	62	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナナ	—	—	突起C(へ、-)	L？(1結節？)	—	?	?	?	突起C→地紋	—	不良	
第126図-12	2047-6	2047-6	K-10	包2b層	56	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナナ	—	—	—	RL(1結節)	—	?	?	?	突起C→地紋	—	不良	
第61図-10	2047-8	2047-8	K-10	包2b層	70	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナナ	—	—	—	—	—	?	?	?	突起C→地紋	—	不良	
第65図-7	2051-1	2051-1、2051-2	K-9	包2b層	576	完形	礫やや多量	A	?	ヨコナナ、斜位ナナ、指頭庄裏	無調整	—	—	丸組紐？	—	?	?	?	—	—	良好	外面一部剥落
第83図-7	2056-1	2056-1	K-9	包3a層	312	口縁部	礫やや多量	A	?	斜位ナナ、指頭庄裏	—	—	突起E(へ、-)	単軸絡糸体第1類L	—	?	?	?	突起B→地紋	—	不良	
第126図-13	2084-1	2084-1	J-9	包3d層	69	口縁部	礫少量、繊維少	A	?	ヨコナナ	—	—	—	結束第1種LR、RL	—	?	?	?	地紋→沈線	—	不良	外面一部剥落
第101図-3	2085-2	2085-2	K-9	包3b層	69	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナナ	—	—	—	丸組紐(？)	—	?	?	?	—	?	不良	補修孔、口縁部内面にも外面と同様の地紋
第141図-12	2086-2	2086-2	K-10	包3d層	132	底部	礫多量	A	?	ナナ	ナナ	—	—	—	—	?	?	?	—	—	不良	
第140図-6	2086-3	2086-3	K-10	包3d層	134	底部	細砂多量	—	?	ナナ	ナナ	—	—	—	—	?	?	?	—	—	不良	
第138図-2	2087-1	2087-1	L-10	包3d層	72	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	—	?	?	?	—	—	不良	内面の摩滅が著しい
第136図-6	2087-2	2087-2	L-10	包3d層	56	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナナ	—	—	キザミA(棒状工具、右→左)	丸組紐(？、？)	—	?	?	?	—	?	不良	口縁部内面にも外周と同様の地紋
第137図-11	2087-3	2087-3	L-10	包3d層	63	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナナ	—	—	—	単軸絡糸体第1類L	—	?	?	?	—	—	不良	
第77図-3	2089-1	2089-1	K-10	包2b層	144	底部	礫やや多量	—	?	ナナ	無調整	—	—	—	—	?	?	?	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第66図-8	2089-2	2089-2	K-10	包2b層	124	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナナ	—	—	キザミA(指頭、右→左)	LR結節部回転	—	?	?	?	—	?	不良	表面の摩滅が著しい
第68図-14	2089-3	2089-3	K-10	包2b層	72	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	LR(1結節)	—	?	?	?	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第68図-13	2089-4	2089-4	K-10	包2b層	58	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナナ	—	—	—	LR	—	?	?	?	—	—	不良	表面の摩滅が著しい

第11表 南部捨て場出土土器属性表(42)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・グリップ	層位	重量(g)	部位	胎土 混和物・混入物	口形 胎土部以上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 意匠意図	地紋		施文順序	焼成	備考
														原形	外面調整			
第79図-6	2092-3	2092-3	L-9	包3a層	174	口縁部	泥和相・混入物	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	縦位貼付(-、押し貼付)	—	—	RL	縦位貼付→地紋	不良	外面一部剥落	
第142図-1	2093-1	2093-1, 2296-1, 2590-2, 2590-3, 2590-4	K-10	包3e層	2,433	口縁部	礫多量	C	ヨコナデ	—	突起A3単位、無文帯、縦位貼付(-、押し貼付)、刺突文(棒状工具、器面に對して垂直)	—	—	丸組紐(?,?)	地紋→縦位貼付→刺突文	不良		
第145図-12	2093-2	2093-2, 2183-1, 2183-2, 2590-1	K-10	包3e層	1,337	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	キザミア(ハラ、右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	キザミア→地紋	良好		
第149図-10	2093-3	2093-3, 2616-1	K-10	包3e層	227	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第151図-5	2093-4	2093-4	K-10	包3e層	87	口縁部	細砂少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	突起E(-、-)	—	—	L(1組紐?)	突起E→地紋	不良		
第146図-19	2093-5	2093-5	K-10	包3e層	62	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	キザミア(半截竹管状工具、右→左)、キザミア(ハラ、右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	縦位貼付・口唇部キザミア→比線・キザミア・地紋	不良		
第156図-10	2093-6	2093-6	K-10	包3e層	63	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第138図-1	2094-1	2094-1	K-10	包3d層	138	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良		
第90図-5	2095-1	2095-1	K-9	包3a層	98	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	キザミア(ハラ、右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	キザミア→地紋	不良		
第91図-14	2095-3	2095-3	K-9	包3a層	79	口縁部	礫少量、細砂多量	A	斜位ナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良		
第93図-3	2095-4	2095-4	K-9	包3a層	60	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良	外面一部剥落、口縁部内面にも外面と同様の地紋	
第80図-15	2095-6	2095-6	K-9	包3a層	51	口縁部	細砂少量	A	ヨコナデ	—	突起C(-、-)	—	—	丸組紐(?,?)	地紋→縦位貼付→刺突文	不良		
第95図-7	2095-9	2095-9	K-9	包3a層	292	底部	細砂多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良		
第131図-3	2096-1	2096-1	K-9	包3d層	256	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良	外面一部剥落	
第137図-3	2096-2	2096-2	K-9	包3d層	97	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	突起C(-、-)	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良	口縁部内面にも外面と同様の地紋	
第134図-3	2098-2	2098-2	K-10	包3d層	118	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良		
第134図-12	2098-3	2098-3	K-10	包3d層	112	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良		
第127図-5	2098-4	2098-4	K-10	包3d層	198	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良		
第136図-10	2098-5	2098-5	K-10	包3d層	122	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第94図-10	2099-1	2099-1	K-8	包3a層	91	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第96図-2	2099-4	2099-4	K-8	包3a層	650	底部	細砂少量、礫少量	—	ナデ	無調整	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	良好		
第127図-9	2100-2	2100-2	J-10	包3d層	88	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量、雲母少量	D	ヨコナデ	—	突起B(-、-)	—	—	丸組紐(?,?)	縦位貼付→地紋	不良	外面一部剥落	
第127図-10	2100-3	2100-3	J-10	包3d層	67	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	突起B(-、-)	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良		
第93図-5	2101-2	2101-2	K-9	包3a層	76	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	キザミア(指頭、右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良	外面一部剥落	
第95図-1	2101-3	2101-3	K-9	包3a層	81	口縁部	細砂多量	A	?	—	キザミア(ハラ、右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良	表面の摩滅が著しい	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(43)

図版No	個体No	破片No	遺構・ グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇状 粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第95図-15	2101-5	2101-5	K-9	包3a層	116	底部	細砂多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第153図-7	2105-1	2105-1	K-8	包3c層	124	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	縦位回転	—	良好	
第74図-28	2107-1	2107-1	L-10	包2b層	665	底部	礫やや多量	?	ナデ	無調整	—	—	—	単軸絡糸体第1類L	縦位回転	—	良好	
第61図-19	2107-2	2107-2	L-10	包2b層	164	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第1A類 L、R	縦位回転	—	不良	地紋→横位貼付 →キザミA
第72図-11	2107-3	2107-3	L-10	包2b層	106	口縁部	細砂多量	C	ヨコナデ、斜位ナ デ、指頭正痕	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい、外面 一部剥落
第68図-17	2107-4	2107-4	L-10	包2b層	68	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	外面の摩滅が 著しい
第63図-2	2108-1	2108-1	K-10	包2b層	218	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	結束第1種LR、RL	縦位回転	—	不良	
第76図-1	2108-3	2108-3	K-10	包2b層	745	底部	礫多量	A	ナデ	ナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	—	不良	
第49図-8	2112-1	2112-1	L-9	包1層	65	口縁部	胎土少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	良好	
第75図-11	2115-1	2115-1	K-10	包2b層	625	底部	細砂やや多量	?	ナデ	無調整	—	—	—	多軸絡糸体LR(軸本 数不明)	縦位回転	—	良好	
第132図-1	2116-1	2116-1	K-10	包3d層	436	口縁部	礫多量	C	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	外面の一部剥 落
第85図-4	2118-1	2118-1	K-9	包3a層	284	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第91図-24	2118-2	2118-2	K-9	包3a層	82	口縁部	礫少量、細砂少 量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	外面の摩滅が 著しい
第72図-6	2119-1	2119-1	K-9	包2b層	232	口縁部	細砂多量	B	指頭正痕	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第76図-3	2119-4	2119-4	K-9	包2b層	204	底部	礫少量、細砂少 量	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	
第134図-5	2120-1	2120-1	K-10	包3d層	71	口縁部	礫少量、細砂多 量	A	ヨコナデ、斜位ナ デ、指頭正痕	—	—	—	—	丸組紐(右巻、? 左巻)	?	—	不良	
第136図-11	2120-2	2120-2	K-10	包3d層	92	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第140図-16	2120-4	2120-4	K-10	包3d層	493	底部	礫多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	RL	縦位回転	—	良好	
第90図-8	2125-1	2125-1	L-9	包3a層	94	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	ヨコナデ、指頭正痕	—	—	—	—	結束第2種LR・LR	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第50図-4、 第50図-1	2126-1A、2521- 2、2521-3、2126 -1B(2126-1、 2521-4、2524-1)	2126-1A、2521- 2、2521-3、2126 -1B(2126-1、 2521-4、2524-1)	L-9	包2a層	1,277	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	多軸絡糸体L(軸本 数不明)	縦位回転	—	良好	
第56図-13	2126-2	2126-2	L-9	包2a層	440	底部	礫やや多量	?	ナデ	無調整	—	—	—	多軸絡糸体L(軸本 数不明)	縦位回転	—	良好	
第123図-5	2134-1	2134-1	K-9	包3c層	63	口縁部	礫やや多量、雲 母微量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類L	縦位回転	—	良好	
第54図-5	2137-2	2137-2	K-9	包2a層	98	口縁部	細砂多量、雲母 微量	A	?	—	—	—	—	RL(1結節)	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第86図-2	2139-1	2139-1	K-9	包3a層	180	口縁部	細砂多量、礫少 量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第1A類R (2本1組)	縦位回転	—	不良	
第90図-3	2139-2	2139-2	K-9	包3a層	90	口縁部	礫やや多量	A	指頭正痕	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第76図-2	2141-1	2141-1	K-10	包2b層	90	底部	礫多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	内面一部剥落
第60図-1	2141-3	2141-3	K-10	包2b層	155	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	貼付→光線・刺 地紋
第62図-5	2141-4	2141-4	K-10	包2b層	85	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	R?	縦位回転?	—	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(44)

図版No	個体No	破片No	遺物・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇形 結土帯幅上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文順序	焼成	備考
第72図-13	2141-5	2141-5	K-10	包2b層	60	口縁部	少量	A	ヨコナテ	—	—	—	L	—	不良		
第60図-11	2141-7	2141-7	K-10	包2b層	50	口縁部	少量	A	ヨコミガキ	—	突起C(→)・ 縦側面圧痕R	突起C(→)・ 縦側面圧痕 →突起C(→)・ 縦側面圧痕 →突起C(→)・ 縦側面圧痕	—	突起C→貼付 →突起C(→)・ 縦側面圧痕 →突起C(→)・ 縦側面圧痕	不良		
第151図-15	2142-1	2142-1	K-9	包3e層	60	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	—	—	不良	内面の摩滅が 著しい。	
第160図-16	2142-7	2142-7	K-9	包3e層	220	底部	細砂多量	A	ナテ	?	—	—	ナテ	—	不良	底面一部剥落	
第162図-14	2142-8	2142-8	K-9	包3e層	66	底部	少量	A	ナテ	ナテ	—	—	—	—	不良	底面一部剥落	
第117図-1	2143-1	2143-1	K-9	包3c層	418	口縁部	礫や多量	A	ヨコナテ、斜位ナテ	—	キザミA(ハラ、 左→右)	—	LR	?	不良		
第116図-2、 第116図-3	2143-2	2143-2A (2143- 2)、2143-2B (2143-3)	K-9	包3c層	178	口縁部	礫や多量	A	ヨコナテ、指頭圧痕	—	—	—	LR	—	不良		
第119図-11	2143-4	2143-4	K-9	包3c層	82	口縁部	少量	A	ヨコナテ、指頭圧痕	—	キザミA(ハラ、 →)	—	—	?	良好		
第18図-4	2144-3	2144-3	K-9	包1層	190	口縁部	礫多量	A	口縁部はヨコナテ、 胴部はタテナテ	—	—	—	—	横位貼付→地 紋	不良	外面一部剥落	
第148図-5	2144-4	2144-4	K-9	包1層	105	口縁部	礫や多量	A	斜位ナテ、指頭圧痕	—	—	—	LR	?	不良		
第146図-14	2145-1	2145-1	J-10	包3e層	395	口縁部	細砂や多量、 礫や多量	A	ヨコナテ	—	—	—	—	?	不良	口縁部に段差 あり	
第155図-8	2145-2	2145-2	J-10	包3e層	80	口縁部	礫や多量	A	ヨコナテ	—	キザミA(指頭、 左→右)	—	—	?	不良		
第149図-8	2145-3	2145-3	J-10	包3e層	115	口縁部	礫や多量	A	口縁部はヨコナテ、 胴部はタテナテ	—	—	—	—	?	不良		
第155図-4	2145-4	2145-4	J-10	包3e層	100	口縁部	礫多量	A	ヨコナテ、指頭圧痕	—	キザミA(指頭、 右→左)	—	—	?	不良		
第152図-6	2146-1	2146-1	L-11	包3c層	86	口縁部	礫や多量	C	ヨコナテ	—	—	—	—	—	不良		
第53図-15	2147-1	2147-1	L-9	包2a層	50	口縁部	礫多量、細砂多 量	A	?	—	—	—	—	—	不良	内面の摩滅が 著しい。	
第52図-3	2147-2	2147-2	L-9	包2a層	80	口縁部	礫や多量	A	—	—	—	—	—	—	不良		
第160図-1	2148-1	2148-1	K-8	包3c層	165	口縁部	礫や多量	A	ヨコナテ	—	—	—	—	—	不良		
第154図-2	2148-2	2148-2	K-8	包3e層	153	口縁部	細砂多量	A	ヨコナテ	—	キザミA(指頭?、 右→左)	—	—	?	不良		
第158図-5	2148-3	2148-3	K-8	包3e層	98	口縁部	細砂多量	A	ヨコナテ	—	—	—	—	—	不良		
第152図-10	2148-4	2148-4	K-8	包3e層	57	口縁部	細砂多量	A	ヨコナテ	—	キザミB(棒状工 具、器面に対して 垂直)	—	—	?	不良	表面の摩滅が 著しい。	
第152図-11	2148-5	2148-5	K-8	包3e層	52	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコナテ	—	—	—	—	?	不良	表面の摩滅が 著しい。	
第124図-5	2150-1	2150-1	K-9	包3c層	400	底部	少量	—	ナテ	無調整	—	—	—	—	不良		
第96図-19	2154-3	2154-3	L-9	包3a層	314	底部	少量	—	ナテ	ナテ	—	—	—	?	不良	表面の摩滅が 著しい。	
第116図-13	2155-3	2155-3	K-9	包3c層	56	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	ヨコナテ	—	—	—	—	—	不良		
第117図-9	2155-4	2155-4	K-9	包3c層	120	口縁部	少量、細砂多 量	A	指頭圧痕	—	—	—	—	—	不良		
第110図-6	2155-5	2155-5	K-9	包3c層	344	口縁部	少量	A	ヨコナテ	—	突起C(→、→)	突起C(→、→)・ 縦側面貼付	—	突起C→横位 貼付→地紋	不良	口縁部内面に も地紋(RL、 斜位回転)	

第11表 南部捨て場出土器属性表(45)

図版No	器体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土 混和相・混入物	口隆形状	粘土層上	内面		底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文順序	焼成	備考
										内面	底面								
第124図-8	2155-6	2155-6	K-9	包3c層	258	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ、 縹代裏	—	—	—	—	縦位回転	—	良好	
第143図-7	2156-1	2156-1	K-8	包3e層	130	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	C	?	ヨコミガキ	—	—	—	—	LR	横位回転	地紋→洗線	不良	外面一部剥落
第161図-8	2156-2	2156-2	K-8	包3c層	162	底部	細砂多量	—	?	?	縹代裏	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	表面の摩滅が著しい
第136図-3	2158-4	2158-4	K-10	包3d層	120	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	斜位回転	?	不良	
第137図-6	2158-5	2158-5	K-10	包3d層	56	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭ナデ	—	—	—	—	丸組紐(R右巻、L右巻)	横位回転	—	不良	
第138図-3	2158-6	2158-6	K-10	包3d層	88	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	無調整	—	—	—	附加条?	?	—	不良	
第140図-25	2158-7	2158-7	K-10	包3d層	74	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	丸組紐(R右巻、R左巻)	?	—	良好	
第141図-13	2158-8	2158-8	K-10	包3d層	116	底部	礫多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第140図-15	2158-9	2158-9	K-10	包3d層	292	底部	細砂やや多量、礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	丸組紐(L左巻、L右巻?)	?	—	不良	
第140図-21	2158-10	2158-10	K-10	包3d層	220	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	RL	横位回転	—	良好	
第94図-8	2159-3	2159-3	K-9	包3a層	110	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭ナデ	—	—	—	—	L	横位回転	—	不良	
第90図-2	2159-4	2159-4	K-9	包3a層	144	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭ナデ	—	—	—	—	RL(L結節)	縦位回転	—	不良	
第84図-1	2159-6	2159-6	K-9	包3a層	384	口縁部	礫やや多量	A	?	指頭ナデ	—	—	—	—	?	斜位回転	?	不良	表面の摩滅が著しい
第116図-17	2160-1	2160-1	K-9	包3c層	53	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	?	良好	補修孔
第118図-9	2160-2	2160-2	K-9	包3c層	168	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	?	不良	
第114図-5	2160-3	2160-3	K-9	包3c層	424	口縁部	礫やや多量、指頭ナデ	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	突起C→キザミA・地紋	良好	外面一部剥落
第85図-3	2161-1	2161-1	K-9	包3a層	525	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単輪絡糸体第1類R	縦位回転	—	不良	外面一部剥落
第125図-14	2163-3	2163-3	K-9	包3c層	95	底部	細砂多量	—	?	ナデ	?	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	底面の摩滅が著しい
第125図-11	2163-4	2163-4	K-9	包3c層	134	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第115図-1	2165-1	2165-1	K-9	包3c層	288	口縁部	細砂多量	A	?	タテナデ	—	—	—	—	L	横位回転	?	不良	口縁部内面にも外面と同様の地紋
第118図-4	2165-2	2165-2	K-9	包3c層	156	口縁部	胎土少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	斜位回転	不良	
第113図-3	2165-3	2165-3、2165-4	K-9	包3c層	83	口縁部	礫多量	A	?	タテナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	キザミA→地紋	不良	
第118図-4	2165-6	2165-6	K-9	包3c層	55	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	L(L結節)	斜位回転	突起A→地紋	不良	
第151図-13	2166-1	2166-1	K-9	包2a層	190	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単輪絡糸体第4類2本1組LR	縦位回転	—	良好	
第72図-7	2167-1	2167-1	L-10	包2b層	100	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい
第74図-22	2167-4	2167-4	L-10	包2b層	152	底部	細砂多量	—	?	ナデ	?	—	—	—	?	?	?	不良	表面の摩滅が著しい
第144図-12	2168-1	2168-1	K-11	包3c層	63	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	結束第1種LR、RL	横位回転	横位貼付→縄側面正裏→地紋	不良	
第160図-11	2168-3	2168-3	K-11	包3c層	59	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	良好	台部

第11表 南部捨て場出土器属性表(46)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 泥和割合・混入物	口縁積 粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第128図-13	2170-1	2170-1	K-10	包3d層	130	口縁部 細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミア (へら、左→右)	—	—	丸組紐 (? , ?)	?	キザミア→地紋	不良	内面の摩滅が著しい
第134図-4	2170-2	2170-2	K-10	包3d層	57	口縁部 細砂やや多量、 礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体丸組紐 (? , ?)	縦位回転	—	不良	
第154図-9	2173-1	2173-1	K-11	包3c層	102	口縁部 礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐 (L右巻、R右巻)	?	—	不良	
第158図-9	2173-2	2173-2	K-11	包3c層	104	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐 (? , ?)	?	—	不良	
第156図-14	2173-3	2173-3	K-11	包3c層	57	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類丸組紐 (? , ?)	斜位回転?	—	不良	
第155図-5	2174-2	2174-2	J-10	包3c層	104	口縁部 礫少量、細砂やや多量	A	?	斜位ナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐 (未燃原体右巻、未燃原体右巻?)	斜位回転?	—	不良	
第71図-3	2175-1	2175-1	K-10	包2b層	202	口縁部 礫多量	A	?	?	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類r	縦位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい
第72図-10	2175-2	2175-2	K-10	包2b層	76	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	
第106図-10	2176-1	2176-1	K-10	包3b層	188	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	不良	
第108図-1	2180-1	2180-1	K-10	包3b層	56	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミア (へら、右→左)	—	—	単軸絡糸体第1類R ?	斜位回転?	?	不良	
第134図-1	2181-1	2181-1	L-9	包3d層	75	口縁部 細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	R (LLL+RRR) 直 前段半巻	縦位回転	—	良好	
第140図-5	2181-5	2181-5	L-9	包3d層	198	底部 細砂多量、礫少量	—	?	ナデ	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	
第141図-6	2181-6	2181-6	L-9	包3d層	134	底部 礫やや多量	—	?	ナデ	—	—	—	—	網代裏	—	—	良好	
第146図-5	2183-3	2183-3、2183-4、 2590-5	K-10	包3c層	318	口縁部 礫少量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ・斜位ナデ	—	キザミア (へら、右→左)	—	—	RL?	縦位回転	?	不良	
第140図-9	2184-1	2184-1	K-9	包3d層	128	底部 礫少量	—	?	ナデ	—	—	—	—	無調整	—	—	不良	
第129図-6	2184-2	2184-2	K-9	包3d層	492	口縁部 細砂多量	A	?	縦位ナデ、斜位ナデ、 指頭圧痕	—	キザミア (へら、 器面に対して垂直)	—	—	L	縦位回転	?	不良	表面の摩滅が著しい
第89図-1	2185-1	2185-1	L-9	包3a層	168	口縁部 礫少量、雲母少量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	突起A→地紋	良好	外面一部剥落
第88図-5	2185-2	2185-2	L-9	包3a層	188	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	
第160図-8	2186-1	2186-1	K-10	包3c層	208	底部 細砂やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	縦位貼付 (へら、上下巻、未燃原体左巻、未燃原体左巻)	縦位回転	—	良好	縦位貼付上面に固閉からへら差し込んだ痕跡が6カ所ある
第84図-6	2187-1	2187-1	K-9	包3a層	95	口縁部 礫少量	A	?	指頭圧痕	—	貼付 (へら、押圧貼付)	—	—	単軸絡糸体第5類R	斜位回転	?	不良	内面の摩滅が著しい
第124図-12	2188-1	2188-1	K-9	包3c層	252	底部 礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	外面一部剥落
第120図-2	2188-2	2188-2	K-9	包3c層	236	口縁部 礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第120図-1	2188-3	2188-3	K-9	包3c層	138	口縁部 礫やや多量	A	?	タテナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第132図-5	2189-1	2189-1	K-10	包3d層	208	口縁部 礫やや多量	B	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ、指頭圧痕	—	キザミア (指、左→右)	—	—	丸組紐 (? , ?)	?	?	不良	
第136図-2	2189-2	2189-2	K-10	包3d層	85	口縁部 礫多量	C	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	貼付 (へら、押圧貼付)	—	—	丸組紐 (R右巻、R右巻)	縦位回転	?	不良	胎土の含まれる有機物が完全燃焼した痕跡多数あり
第78図-1	2190-1	2190-1	L-9	包3a層	1,110	口縁部 礫多量	A	?	ヨコナデ	—	無文帯、縦位貼付 (へら、 押圧貼付)	—	—	LR	縦位・斜位 回転	縦位貼付→地紋	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(47)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混入物	口縁状	粘土管羅士	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 種類(記号)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第85図-1	2190-2	2190-2	L-9	包3a層	344	口縁部	礫やや多量	A	?	タテナデ	—	キザミA (左→右)	—	—	RL	横位回転	キザミA→地紋	不良	
第123図-10	2191-1	2191-1	K-9	包3c層	53	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA (へラ、左→右)	—	—	単軸糸体第1類R	斜位回転	?	不良	
第116図-16	2191-2	2191-2	K-9	包3c層	56	口縁部	礫少量	B	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第138図-8	2192-1	2192-1	J-8	包3d層	102	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	—	単軸糸体第4類R	斜位回転	—	不良	内面の磨減が著しい
第140図-14	2192-8	2192-8	J-8	包3d層	130	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	RL?	横位回転	?	不良	
第99図-10	2198-1	2198-1	K-10	包3b層	790	口縁部	礫多量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	キザミA (へラ、右→左)	—	—	単軸糸体第5類R	縦位回転	?	良好	外面一部剥落
第161図-6	2201-1	2201-1	K-9	包3e層	70	底部	礫・細砂多量	—	?	ナデ	細代真	—	—	—	丸組紐(?)	?	—	不良	
第148図-5	2201-2	2201-2	K-9	包3e層	115	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA (へラ、?)	—	—	丸組紐(?)	?	—	不良	
第156図-6	2201-3	2201-3	K-9	包3e層	50	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ	—	突起E	沈線(へラ、鉛筆状)	—	丸組紐?	?	突起E・地紋→沈線	良好	
第158図-15	2201-4	2201-4	K-9	包3e層	55	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭正真	—	キザミA (へラ、?)	—	—	丸組紐(?)	?	?	良好	
第154図-7	2203-3	2203-3	K-11	包3e層	95	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	—	R(LL)	縦位回転	—	不良	表面の磨減が著しい
第92図-1	2204-1	2204-1	L-9	包3a層	170	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭正真	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第88図-10	2204-2	2204-2	L-9	包3a層	117	口縁部	細砂多量	A	—	ヨコナデ、指頭正真	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	良好	
第95図-9	2204-4	2204-4	L-9	包3a層	258	底部	細砂やや多量	—	?	ナデ	周縁部に網代に網代に乗、中央部ナデ	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	
第88図-13	2205-3	2205-3	K-9	包3c層	55	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA (へラ、左→右)	—	—	LR	横位回転	?	良好	
第102図-7	2207-1	2207-1	K-10	包3b層	237	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転、斜位回転	—	良好	
第104図-12	2209-1	2209-1	K-10	包3b層	60	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	突起A(へラ、器ザミA(へラ、器面に対して垂直)	—	—	丸組紐(?)	?	突起A→キザミA→地紋	不良	
第98図-11、第108図-22	2209-4	2209-4A(2253-1、2390-1)、2209-4B(2427-1、2572-3)、2209-4C(2209-4)	K-10	包3b層	330	底部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭正真	—	突起C(へラ、3個組、キザミA(へラ、左→右)	—	—	丸組紐(?)	?	?	良好	
第148図-1	2211-1	2211-1、2211-2	K-8	包3e層	562	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?)	?	—	不良	
第148図-2	2211-3	2211-3	K-8	包3e層	238	口縁部	礫多量	A	?	口縁部はヨコナデ、胴部は斜位ナデ	—	沈線(へラ、へラ)	—	—	丸組紐?、木炭灰体(2結節) 結節部回転	横位回転?	丸組紐→結節部回転→沈線	不良	
第157図-18	2211-5	2211-5	K-8	包3e層	104	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?)	?	—	良好	
第118図-5	2212-1	2212-1	K-9	包3c層	106	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭正真	—	キザミA (へラ、右→左)	—	—	単軸糸体第1類R	斜位回転	?	良好	内面の磨減が著しい
第115図-9	2212-5	2212-5、2212-6	K-9	包3c層	225	口縁部	礫多量	A	?	指頭正真	—	キザミB (へラ、右→左)	—	—	LR(1結節)	縦位回転	キザミ→地紋	不良	
第116図-7	2212-6	2212-6	K-9	包3c層	61	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭正真	—	キザミA (左→右)	—	—	L(1結節)	縦位回転	キザミA→地紋	不良	表面の磨減が著しい
第123図-15	2212-7	2212-7	K-9	包3c層	126	口縁部	礫やや多量	A	?	斜位ナデ、指頭正真	—	—	—	—	丸組紐?	—	—	不良	
第61図-9	2214-1	2214-1	L-9	包2b層	71	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	無文帯、種位貼付(押圧貼付)、キザミA(へラ、右→左)	—	—	LR	縦位回転	種位貼付→地紋	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(48)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・グリップ	層位	重量(g)	部位	胎土	中形球	胎土着上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様 文様(原形、施文方法)	胴部文様 文様(原形、施文方法)	脚部文様 文様(原形、施文方法)	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第155図-13	2215-1	2215-1	K-8	包3e層	52	口縁部	礫やや多量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL?	縦位回転?	—	不良	表面の磨減が著しい
第156図-4	2215-3	2215-3	K-8	包3e層	52	口縁部	礫多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(左巻、L左巻)	?	—	不良	内面の磨減が著しい
第137図-12	2216-2	2216-2	K-10	包3d層	51	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	単軸綵条体第5類(未捺原形)	縦位回転	—	良好	
第140図-28	2216-3	2216-3	K-10	包3d層	73	底部	礫少量	—	?	ヨコナデ	ナデ、 揚底	—	—	—	—	ヨコナデ	—	—	良好	
第151図-10	2219-1	2219-1	L-11	包3e層	79	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	RL	口縁・口唇部は縦位回転、胴部は縦位回転	—	不良	
第152図-5	2219-5	2219-5	L-11	包3e層	50	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第123図-16	2220-1	2220-1	K-9	包3c層	182	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	単軸綵条体第1類R	斜位回転	突起C→地紋・キザミ	不良	
第116図-4	2220-2	2220-2	K-9	包3c層	122	口縁部	礫少量	A	?	指頭圧痕	—	—	—	—	—	RL	縦位回転	—	良好	
第137図-2	2221-1	2221-1	K-10	包3d層	84	口縁部	礫やや多量	A	?	指頭圧痕	—	—	—	—	—	1段縄(1結節?)	縦位回転?	キザミ→地紋	不良	地紋施紋後に器表面を磨く
第147図-1	2223-1	2223-1	K-10	包3e層	394	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第120図-12	2232-1	2232-1	K-9	包3c層	60	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	斜位回転	—	不良	
第116図-8	2232-2	2232-2	K-9	包3c層	71	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	単軸綵条体第1類R	縦位回転?	?	不良	
第120図-11	2232-3	2232-3	K-9	包3c層	93	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第115図-10	2234-1	2234-1	K-9	包3c層	90	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	LR	縦位回転、斜位回転	—	不良	
第118図-1	2234-2	2234-2	K-9	包3c層	178	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第124図-21	2234-3	2234-3	K-9	包3c層	398	底部	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	単軸綵条体第5類R	縦位回転	—	良好	一部に縦口縁が確認できる
第48図-7、 第48図-8、 第48図-9、 第48図-10	2235-1	2235-1A (2235-1)、 2235-1B (2235-2)、 2235-1C (2235-3)、 2235-1D (2235-4)	L-9	包1層	325	口縁部	礫やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ	—	—	—	—	—	LR	斜位回転、 縦位回転	地紋→押圧貼付→キザミ	不良	
第49図-4、 第49図-7	2235-5	2235-5A (2235-5)、 2235-5B (2235-6)	L-9	包1層	164	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	LR	斜位回転、 縦位回転	—	不良	
第49図-9	2235-7	2235-7	L-9	包1層	100	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	単軸綵条体第5類R	縦位回転	—	良好	
第74図-5	2236-5	2236-5	K-10	包2b層	61	口縁部	細砂やや多量	A	?	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ	—	—	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	
第74図-16	2237-2	2237-2	K-10	包2b層	180	底部	細砂多量、礫やや多量、雲母少量	—	?	ナデ	?	—	—	—	—	LR?	斜位回転?	—	不良	表面の磨減が著しい
第75図-7	2237-3	2237-3	K-10	包2b層	230	底部	細砂多量、礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部割落
第108図-23	2238-1	2238-1	L-9	包3b層	144	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	
第82図-6	2240-1	2240-1	L-9	包3a層	660	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	RL	縦位回転	キザミ→地紋	良好	
第87図-6	2240-3	2240-3	L-9	包3a層	60	口縁部	礫やや多量	A	?	タテナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	LR	斜位回転	?	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(49)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口縁状 粘土層上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様	脚部文様	地紋		施文順序	焼成	備考
											文様(原形、施文方法)	文様(原形、施文方法)	原形	外面調整							
第107図-11	2242-1	2242-1	L-10	包3b層	62	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	ヨコナデ、指頭庄東	—	キサミ(指頭、右 →左)	—	—	—	—	—	—	斜位回転?	?	不良	
第105図-15	2242-2	2242-2	L-10	包3b層	59	口縁部	礫や多量、細 砂や多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第89図-3	2243-1	2243-1	L-9	包3a層	110	口縁部	礫や多量、細 砂や多量	A	ヨコナデ、指頭庄東	—	—	—	—	—	—	—	—	斜位回転	—	不良	
第80図-7	2243-2	2243-2	L-9	包3a層	120	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	?	不良	表面の摩滅が 著しい
第82図-5	2244-1	2244-1、2433-7	L-9	包3a層	572	口縁部	細砂や多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	突起B?(-、-)	—	—	—	—	—	—	斜位回転	突起B?→地 紋	不良	
第88図-11	2244-2	2244-2	L-9	包3a層	55	口縁部	礫少量	A	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ、指 頭庄東	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第110図-5	2245-1	2245-1	K-8	包3c層	130	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、指頭庄東	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	地紋→横位貼 付→刺突文	不良	
第124図-6	2245-2	2245-2	K-8	包3c層	230	底部	礫や多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	横位	—	不良	
第48図-15	2246-1	2246-1	L-9	包1層	70	口縁部	礫少量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	—	?	—	不良	
第128図-7	2247-1	2247-1A(2247- 1)、2247-1B (2443-1)	K-9	包3c、3d 層	1,152	口縁部	礫や多量	B	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転、 横位回転	—	良好	
第74図-17	2248-1	2248-1A(2248- 1)、2248-1B (2248-2)	K-10	包2b層	1,335	底部	礫多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	?	—	不良	内面に炭化物 付着
第145図-11	2249-1	2249-1	J-9	包3e層	1,170	口縁部	礫多量	A	?	—	?	—	—	—	—	—	—	横位回転	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第158図-12	2249-2	2249-2	J-9	包3e層	75	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	—	不良	
第140図-29	2250-1	2250-1	K-9	包3a層	145	底部	礫多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	?	—	不良	
第137図-8	2250-5	2250-5	K-9	包3d層	50	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	—	良好	
第105図-18	2253-2	2253-2	K-10	包3b層	95	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	突起C (-、-)	—	—	—	—	—	—	—	—	突起C→地 紋	—	不良	
第147図-6、 第105図-3	2253-3	2253-3A(2253- 3)、2253-3B (2253-5)	K-10	包3b層	109	口縁部	礫や多量	A	ヨコナデ、指頭庄東	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第107図-13	2253-4	2253-4	K-10	包3b層	66	口縁部	細砂多量	A	タテナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	?	—	不良	外面一部剥落
第113図-5	2254-1	2254-1	K-9	包3c層	294	口縁部	細砂や多量、 礫や多量	A	ヨコナデ、斜位ナ デ、指頭庄東	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転?	—	不良	外面一部剥落
第123図-6	2254-4	2254-4	K-9	包3e層	75	口縁部	礫多量、雲母や や多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位、横位	—	不良	
第116図-15	2255-1	2255-1	K-9	包3c層	77	口縁部	礫や多量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	—	?	—	不良	内面の摩滅が 著しい
第147図-2、 第158図-1	2256-1	2256-1、2256-3	K-11	包3e層	335	口縁部	礫多量	B	?	—	キサミA(へラ、 左→右)	—	—	—	—	—	—	斜位回転	キサミA→地 紋	不良	外面一部剥落
第158図-18	2256-2	2256-2	K-11	包3e層	154	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	—	斜位回転?	—	不良	内面一部剥落
第149図-9	2256-4	2256-4	K-11	包3e層	186	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	ヨコナデ、指頭庄東	—	—	—	—	—	—	—	—	斜位回転	?	不良	
第139図-17	2257-1	2257-1	L-10	包3d層	71	口縁部	礫や多量	A	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	地紋→縄側面 圧痕	不良	
第139図-4	2257-2	2257-2	L-10	包3d層	69	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、指頭庄東	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	縄側面圧痕→ 地紋	不良	

第11表 南部捨て場出土器属性表(50)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土	口縁味	粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様部 及細線部	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第141図-14	2258-4	2258-4	L-10	包3d層	206	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ、木葉裏	—	—	—	ナデ	縦位	—	不良	
第138図-12	2262-1	2262-1	K-10	包3d層	162	口縁部	細砂少量、雲母 微量	A	?	タテナデ	—	キザミA (へら、 右→左)	—	—	車輪絡糸体第1類? R?	斜位回転?	?	不良	表面の摩滅が 著しい
第136図-5	2262-2	2262-2	K-10	包3d層	64	口縁部	礫少量	A	?	?	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良	内面の摩滅が 著しい	
第72図-1	2263-1	2262-1	L-10	包2b層	172	口縁部	礫少量、細砂少 量	A	?	ヨコナデ	—	突起A (へら、 右→左)	—	—	LR	斜位回転	突起A→地紋	不良	
第66図-9	2263-2	2263-2	L-10	包2b層	160	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	?	—	キザミA (指頭、 右→左)	—	—	車輪絡糸体第1A類 L、R	縦位回転	?	不良	内面の摩滅が 著しい
第72図-5	2263-3	2263-3	L-10	包2b層	85	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	?	—	突起D (へら、 右→左)	—	—	LR	縦位回転	突起D→地紋	不良	内面の摩滅が 著しい
第67図-11	2263-4	2263-4	L-10	包2b層	63	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA (指頭、 右→左)	—	—	車輪絡糸体第1類L、 R	斜位回転	キザミA→地 紋	不良	内面一部剥落
第68図-6	2263-5	2263-5	L-10	包2b層	54	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	突起C? (へら、 右→左)	—	—	車輪絡糸体第1類R	縦位回転	突起C→地紋	不良	外面一部剥落
第62図-10	2263-6	2263-6	L-10	包2b層	55	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	縦位回転	—	不良	内面に炭化物 付着
第157図-19	2264-1	2264-1	K-9	包3c層	76	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良		
第114図-2	2265-1	2265-1	K-9	包3c層	392	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	キザミA (指頭、 右→左)	—	—	LR(2結節)	縦位回転	キザミA→地 紋	不良	
第120図-4	2265-2	2265-3	K-9	包3c層	104	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA (へら、 左→右)	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良		
第131図-5	2266-1	2266-1	K-10	包3d層	212	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類L	縦位回転、 斜位回転	—	良好	
第138図-6	2266-2	2266-2	K-10	包3d層	116	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類R	斜位回転	—	不良	補修孔、内面 の摩滅が著し い
第95図-2	2267-1	2267-1	L-8	包3a層	74	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	突起E (へら、 右→左)	—	—	丸組紐 (?、?)	—	不良		
第93図-13	2267-2	2267-2	L-8	包3a層	55	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	—	不良		
第55図-2	2271-1	2271-1	K-9	包2a層	106	口縁部	礫少量	A	外傾	上縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類	斜位回転	—	不良	
第53図-4	2275-1	2275-1	L-9	包2a層	83	口縁部	礫少量、細砂多 量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	車輪絡糸体第5類R	縦位回転	?	不良	
第51図-2	2276-1	2276-1	L-9	包2a層	88	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR(4結節)	縦位回転	?	不良	
第144図-6	2281-4	2281-4	J-11	包3c層	70	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	貼付 (へら、押し貼 付)	—	—	結束第2種LR、LR	縦位回転	貼付・地紋→ 沈線	不良	
第143図-5	2281-5	2281-5	J-11	包3c層	166	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	車輪絡糸体第1A類 L、R	縦位回転	—	不良	
第158図-2	2282-3	2282-3	L-11	包3c層	90	口縁部	礫少量	A	?	斜位ナデ	—	キザミA (へら、 左→右)	—	—	車輪絡糸体第1類L	斜位回転	キザミA→斜 位回転	不良	
第52図-7	2283-1	2283-1	L-9	包2a層	220	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	RL	縦位回転	—	不良	外面に炭化物 付着	
第54図-8	2283-3	2283-3	L-9	包2a層	100	口縁部	礫やや多量、細 砂多量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	車輪絡糸体第1A類 L、R	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第55図-3	2285-1	2285-1	L-9	包2a層	58	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	?	?	—	—	—	—	車輪絡糸体第5類R	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第55図-12	2285-2	2285-2	L-9	包2a層	56	口縁部	礫少量	A	?	?	—	—	—	—	車輪絡糸体第1類R	縦位回転	—	不良	内面の摩滅が 著しい

第11表 南部捨て場出土土器属性表(51)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口縁 裾上端	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	脚部文様帯 種類・形状	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第55図-13	2285-3	2285-3	L-9	包2a層	72	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	—	斜位回転	—	不良	内面の磨減が著しい	
第55図-17	2285-4	2285-4	L-9	包2a層	65	口縁部	礫多量	A	?	—	キザミA(指頭、?)	—	—	斜位回転	?	不良	内面の磨減が著しい	
第53図-16	2285-5	2285-5	L-9	包2a層	84	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	口縁部内面に外周と同様の地紋	
第56図-4	2285-6	2285-6	L-9	包2a層	128	口縁部	礫や多量	A	?	—	—	—	—	縦位回転	—	良好	—	
第156図-15	2288-1	2288-1	K-8	包3c層	53	口縁部	礫少量、細砂や多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	?	—	不良	—	
第148図-3	2288-3	2288-3	K-8	包3e層	156	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	キザミA(指頭、右→左)	—	—	?	キザミA→地紋	不良	—	
第146図-13	2288-4	2288-4	K-8	包3e層	52	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	?	—	不良	—	
第162図-15	2288-5	2288-5	K-8	包3e層	106	底部	細砂多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	?	—	不良	表面の磨減が著しい	
第162図-2	2288-6	2288-6	K-8	包3e層	162	底部	礫多量	—	ナデ	細代裏?	—	—	—	縦位回転	—	不良	底面の磨減が著しい	
第81図-1	2289-2	2289-2	K-9	包3a層	142	口縁部	礫や多量、細砂多量	A	?	ヨコナデ	キザミA(指頭、左→右)	—	—	縦位回転	?	不良	—	
第88図-12	2289-3	2289-3	K-9	包3a層	91	口縁部	礫や多量、細砂多量	A	?	?	—	—	—	LR	—	不良	内面の磨減が著しい	
第146図-21	2290-1	2290-1	J-10	包3e層	61	口縁部	礫や多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良	—	
第146図-3、 第154図-4	2290-2	2290-2A(2290-2)、 2290-3、2290-4	J-10	包3e層	352	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	交互C3個1組単位、 キザミA(へら、右→左) 数不明	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良	—	
第72図-9	2295-1	2295-1	L-10	包2b層	73	口縁部	細砂多量	A	?	タテナデ、指頭圧痕	—	—	—	LR	—	不良	—	
第62図-12	2295-2	2295-2	L-10	包2b層	52	口縁部	細砂や多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	LR?	—	不良	—	
第61図-21	2297-1	2297-1	K-10	包2b層	59	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	貼付(一、両端押圧)	—	—	?	?	不良	—	
第127図-4	2298-1	2298-1	K-10	包3d層	234	口縁部	細砂や多量	A	?	ヨコミガキ	貼付(一、両端押圧)、 側面圧痕(R、一)	—	—	縦位回転	貼付→側面 圧痕、地紋	不良	表面の磨減が著しい	
第138図-9	2298-2	2298-2	K-10	包3d層	56	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ	キザミA(指頭、 L→R)	—	—	斜位回転	?	不良	—	
第60図-2	2299-1	2299-1、 2292-2	K-10	包2b層	156	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	隆線(一、押圧貼付) ?)、隆帯(一、一)、 側面圧痕(LR、 一)	—	—	LR	—	不良	—	
第60図-12	2299-3	2299-3	K-10	包2b層	60	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	貼付(一、両端押圧)、 側面圧痕(LR、一)、 キザミ(へら、右→左)	—	—	LR(2結節)	貼付→側面 圧痕→キザミ	不良	表面の磨減が著しい	
第73図-8	2299-4	2299-4	K-10	包2b層	54	口縁部	礫や多量	A	?	タテナデ	—	—	—	LR	—	良好	—	
第57図-6	2303-1	2303-1	L-9	包2a層	180	底部	礫や多量	—	?	ナデ、 指頭圧痕	—	—	—	?	?	不良	内面の磨減が著しい	
第153図-11	2305-1	2305-1	K-9	包3e層	116	口縁部	細砂や多量	A	?	?	キザミA(指頭、 右→左)	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良	内面の磨減が著しい	
第156図-20	2305-2	2305-2	K-9	包3e層	65	口縁部	細砂や多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	不良	内面の磨減が著しい	
第162図-19	2305-8	2305-8	K-9	包3e層	88	底部	細砂や多量	—	?	ナデ	—	—	—	ナデ	—	不良	内面の磨減が著しい	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(52)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 産利・混入物	口縁状 粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第146図-15	2305-10	2305-10	K-9	包3c層	314	完形	細砂多量	A	ヨコナデ	ナデ、 揚底	—	—	—	単軸糸体第1類R	斜位回転	—	不良	
第97図-11	2306-1	2306-1	K-9	包3a層	108	底部	塵多量	?	ナデ	ナデ、 指頭瓦 裏	—	—	—	—	—	—	不良	
第82図-3	2307-1	2307-1	K-9	包3a層	454	口縁部	礫やや多量	C	タテナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第79図-2	2307-2	2307-2	K-9	包3a層	352	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭瓦裏	—	横位貼付(-、押圧貼付)、 キザミA(へラ、左→右)	—	—	LR	斜位回転	横位貼付→キ ザミ・地紋	不良	
第80図-12	2307-3	2307-3	K-9	包3a層	90	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	横位貼付(-、押圧貼付)、 キザミA(指頭、器面に 対して垂直)	—	—	LR	斜位回転	横位貼付→キ ザミ・地紋	不良	外面一部剥落
第49図-3	2308-1	2308-1	L-9	包1層	76	口縁部	礫やや多量	A	タテナデ	—	—	—	—	丸組紐(？、?)	縦位回転?	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第74図-18	2310-1	2310-1	L-10	包2b層	264	底部	礫やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第69図-7	2310-2	2310-2	L-10	包2b層	74	口縁部	礫多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	LR?	縦位回転?	—	不良	
第73図-6	2310-3	2310-3	L-10	包2b層	51	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸糸体第1類R	縦位回転	—	不良	外面一部剥落
第76図-9	2312-1	2312-1	K-10	包2b層	152	底部	細砂多量	?	ナデ	ナデ、 網代裏 ?	—	—	—	ナデ	—	—	不良	
第77図-10	2312-2	2312-2	K-10	包2b層	104	底部	細砂多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	—	—	不良	
第77図-9	2312-3	2312-3	K-10	包2b層	75	底部	礫やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	丸組紐(？、?)	?	—	良好	
第73図-2	2312-4	2312-4	K-10	包2b層	55	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	沈線(へラ、-)	—	—	LR	縦位回転	?	良好	外面一部剥落
第153図-4	2313-1	2313-1	K-9	包3c層	234	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(？、?)	?	—	良好	
第131図-8	2314-1	2314-1	K-9	包3d層	282	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	突起C(-、-)	—	—	丸組紐(？、?)	?	?	不良	口縁部内面に も外面と同様 の地紋
第127図-7	2314-2	2314-2	K-9	包3d層	200	口縁部	礫やや多量	A	指頭瓦裏	—	—	—	—	?	?	—	不良	
第137図-18	2314-4	2314-4	K-9	包3d層	61	口縁部	礫少量	A	斜位ナデ	—	キザミA(へラ、 左→右)	—	—	—	—	?	不良	
第53図-2、 第52図-4	2316-1A(2316-1)、 2316-1B(2316-2)	2316-1A(2316-1)、 2316-1B(2316-2)	K-9	包2a層	404	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	
第71図-2	2320-1	2320-1	K-10	包2b層	306	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ、指頭瓦裏	—	突起A(-、-)、刺 突文(竹管状工具、 器面に対して垂 直)	—	—	L(R、L)	縦位回転	?	不良	
第70図-8	2320-2	2320-2	K-10	包2b層	288	口縁部	細砂やや多量	A	カマボコ 状	ヨコナデ	突起?	—	—	結束第1類LR・RL	縦位回転	—	不良	突起下に一部 縦口縁が確認 可能
第73図-15	2320-3	2320-3	K-10	包2b層	72	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、指頭瓦裏	—	—	—	—	多軸糸体L(軸本 数不明)	斜位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第75図-6	2320-5	2320-5	K-10	包2b層	238	底部	細砂多量	?	ナデ	ナデ、 網代裏 ?	—	—	—	丸組紐?	?	—	不良	
第124図-9	2321-1	2321-2	K-9	包3c層	192	底部	細砂多量	?	ナデ	ナデ、 木葉裏	—	—	—	RL	横位回転	—	良好	内面に炭化物 付着
第99図-7	2322-1	2322-1、2322-2、 2322-3、2322-4、 2425-2、2492-1、 2522-1、2522-1	L-9、 L-10	包2a層、 包3b層	1,780	口縁部	礫やや多量	C	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(左巻、右 巻)	横位回転	—	良好	内面口縁部に も外面と同様 の地紋が施文 される
第108図-28	2322-5	2322-5	L-10	包3b層	232	底部	礫少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(53)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土	口縁殊	粘土器種上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口唇部文様帯 文様(原形、施文方法)	胎部文様帯 文様(原形、施文方法)	胎部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第55図-5	2329-1	2329-1	L-9	包2a層	90	口縁部	混和剤・混入物 礫やや多量、細砂やや多量、雲母少量	A	?	ヨコナデ、指頭庄裏	—	—	—	—	—	車輪筋条体第5類L	縦位回転	—	不良	内面一部剥落
第51図-5	2329-2	2329-2	L-9	包2a層	78	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	横位貼付→キザミ・地紋	不良	外面一部剥落
第101図-7	2331-1	2331-1	K-10	包3b層	294	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	—
第99図-12	2331-2	2331-2	K-10	包3b層	284	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(左巻、?左巻?)	?	—	不良	—
第102図-3	2331-3	2331-3	K-10	包3b層	254	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	RL	斜位ナデ	—	不良	—
第103図-1	2331-4	2331-4	K-10	包3b層	166	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	?	—	—	—	—	—	LR(1結節)	横位回転	?	不良	表面の摩滅が著しい
第106図-5	2331-5	2331-5	K-10	包3b層	108	口縁部	礫やや多量	A	?	タテナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	—
第104図-4	2331-6	2331-6	K-10	包3b層	140	口縁部	礫やや多量	A	?	指頭庄裏	—	—	—	—	—	LR(2結節)	縦位回転	—	不良	—
第151図-1	2333-1	2333-1	K-9	包3e層	206	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	—	—	LR?	横位回転、斜位回転?	—	不良	内面の摩滅が著しい
第154図-11	2335-1	2335-1	K-8	包3e層	118	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	—
第159図-17	2335-2	2335-2	K-8	包3e層	66	口縁部	礫多量、細砂多量	A	?	指頭庄裏	—	—	—	—	—	ナデ	横位、斜位	—	不良	表面の摩滅が著しい
第136図-9	2336-2	2336-2	K-10	包3d層	128	口縁部	礫やや多量	A	?	指頭庄裏	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	外面一部剥落
第98図-13	2341-1	2341-1	K-10	包3b層	594	完形	細砂多量	B	?	?	?	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	表面の摩滅が著しい
第74図-27	2343-1	2343-1	L-10	包2b層	130	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好	—
第58図-9	2343-2	2343-2	L-10	包2b層	280	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	RL?	横位回転? 地紋→横位貼付→刺突文	—	不良	外面の摩滅が著しい
第107図-6	2344-2	2344-2	K-10	包3b層	70	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄裏	—	—	—	—	—	車輪筋条体第5類L本組R	縦位回転	—	不良	—
第161図-7	2345-1	2345-1	K-9	包3e層	140	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	網代裏	—	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	外面に嵌合痕のこる
第160図-20	2345-2	2345-2	K-9	包3e層	95	底部	礫少量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	—
第161図-9	2345-3	2345-3	K-9	包3e層	65	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	L(1結節?)	横位回転	—	不良	—
第150図-4	2345-4	2345-4	K-9	包3e層	270	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄裏	—	—	—	—	—	丸組紐	?	—	不良	外面一部剥落
第121図-8	2345-5	2345-5	K-9	包3e層	125	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭庄裏	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	—
第158図-16	2345-6	2345-6	K-9	包3e層	145	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(未熟原体右巻、未熟原体右巻)	縦位回転?	?	不良	—
第156図-1	2345-7	2345-7	K-9	包3e層	90	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	—
第144図-14	2345-8	2345-8	K-9	包3e層	50	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	?	不良	表面の摩滅が著しい
第123図-1	2347-1	2347-1	K-9	包3c層	54	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR?	斜位回転?	—	不良	—
第124図-13	2347-5	2347-5	K-9	包3c層	100	底部	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—
第108図-17	2348-1	2348-1	K-10	包3b層	70	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—
第109図-4	2348-2	2348-2	K-10	包3b層	80	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—
第106図-11	2348-4	2348-4	K-10	包3b層	120	口縁部	礫多量、繊維少量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	L	横位回転	—	不良	外面一部剥落
第107図-3	2348-5	2348-5	K-10	包3b層	105	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	車輪筋条体第5類L?	?	?	不良	表面の摩滅が著しい

第11表 南部捨て場出土土器属性表(54)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土	口形・胎土・器口	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口唇部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 文様(原形・施文方法)	地紋	施文順序	焼成	備考	
第88図-9	2350-2	2350-2A (2350-2), 2350-2B (2353-3, 2553-4)	K-8	包3a層	324	口縁部 礫多量	胎土 混和・混入物	A カマボコ状	ヨコナデ	—	突起D (-, -)	—	—	LR (1結節)	突起D→地紋	不良		
第123図-11	2351-1	2351-1	L-9	包3c層	58	口縁部 細砂やや多量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい、補修孔穿孔途中	
第120図-13	2351-2	2351-2	L-9	包3c層	50	口縁部 礫多量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	?	?	不良		
第123図-14	2351-3	2351-3	L-9	包3c層	79	口縁部 礫少量、細砂やや多量	—	A ?	?	—	—	—	—	?	?	不良	表面の摩滅が著しい	
第119図-6	2351-4	2351-4	L-9	包3c層	114	口縁部 礫少量	—	A ?	指頭正痕	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好		
第120図-17	2351-5	2351-5	L-9	包3c層	63	口縁部 礫多量	—	A ?	?	—	—	—	LR	縦位回転	?	不良		
第1111図-11	2351-6	2351-6	L-9	包3c層	66	口縁部 礫多量	—	A ?	ヨコナデ	—	柳突文(竹管状工、柳突文(棒状工具、右下→左))	柳突文(竹管状工、柳突文(棒状工具、右下→左))	—	縦位回転	柳位貼付→沈線→柳突文・地紋	不良	内面の摩滅が著しい	
第156図-2	2353-1	2353-1	K-9	包3c層	86	口縁部 礫多量	—	A ?	ヨコナデ	—	キザミA (へら、器面に対して垂直)	—	—	?	キザミA→地紋	不良		
第157図-6	2353-2	2353-2	K-9	包3c層	61	口縁部 礫少量	—	C ?	ヨコナデ	—	キザミA (へら、器面に対して垂直)	—	—	LR結節部	縦位回転	?	良好	
第161図-19	2353-7	2353-7	K-9	包3c層	110	底部 細砂少量	—	ナデ	ナデ	ナデ	—	—	—	ミガキ	?	不良		
第135図-3	2354-1	2354-1	K-10	包3d層	144	口縁部 細砂やや多量	—	A ?	ヨコナデ、指頭正痕	—	キザミA (へら、器面に対して垂直)	—	—	丸組紐 (?、?)	キザミA→地紋	良好		
第136図-12	2354-2	2354-2	K-10	包3d層	98	口縁部 礫少量、細砂やや多量	—	B ?	ヨコナデ、指頭正痕	—	キザミA (へら、器面に対して垂直)	—	—	丸組紐 (?、?)	キザミA→地紋	不良	外面一部剥落	
第138図-9	2354-3	2354-3	K-10	包3d層	84	口縁部 細砂やや多量	—	B ?	ヨコナデ、指頭正痕	—	キザミA (へら、器面に対して垂直)	—	—	LR(4結節)	縦位回転	不良	内面炭化物付着	
第138図-7	2354-4	2354-4	K-10	包3d層	58	口縁部 礫少量、細砂少量	—	A ?	指頭正痕	—	キザミA (指頭、器面に対して垂直)	—	—	LR ?	キザミA→地紋	不良		
第133図-13	2356-1	2356-1	L-10	包3d層	106	口縁部 礫少量、細砂やや多量	—	A ?	クナナデ	—	突起B (-, -)、キザミA (-, 器面に対して垂直・浅い)	—	—	RL ?	突起B→キザミA・地紋	不良	表面の摩滅が著しい	
第137図-16	2356-2	2356-2	L-10	包3d層	57	口縁部 礫やや多量	—	A ?	クナナデ	—	キザミA (-, -)	—	—	単軸絡糸体第5類R	?	不良		
第138図-10	2356-3	2356-3	L-10	包3d層	64	口縁部 細砂多量	—	A ?	ヨコナデ	—	キザミA (-, -)	—	—	L(RRR) ? (1結節)	縦位回転	不良	表面の摩滅が著しい	
第137図-21	2356-5	2356-5	L-10	包3d層	52	口縁部 礫少量	—	A ?	斜位ナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	縦位回転	不良		
第134図-2	2356-6	2356-6	L-10	包3d層	57	口縁部 礫やや多量	—	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	縦位回転	不良		
第140図-12	2356-10	2356-10	L-10	包3d層	270	底部 礫やや多量	—	—	ナデ	細代	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	不良		
第86図-13	2358-2	2358-2	L-9	包3a層	56	口縁部 礫多量	—	A ?	ヨコナデ	—	キザミA (へら、器面に対して垂直)	—	—	単軸絡糸体第5類L	縦位回転?	不良	外面一部剥落	
第81図-3	2358-4	2358-4	L-9	包3a層	60	口縁部 礫少量、細砂やや多量	—	A ?	クナナデ	—	突起D (-, -)、柳突文(棒状工具、器面に対して垂直)	貼付 (-, 柳突文(棒状工具、器面に対して垂直))	—	単軸絡糸体第1類R	突起D→地紋→貼付→キザミA	不良		
第80図-2	2358-5	2358-5	L-9	包3a層	94	口縁部 細砂多量	—	A ?	ヨコナデ	—	キザミA (へら、器面に対して垂直)	柳位貼付 (-, 柳突文(棒状工具、器面に対して垂直))	—	丸組紐 (?、?)	キザミA→地紋→柳位貼付→貼付上地紋	不良	補修孔	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(55)

図版No	個体No	破片No	型種・グリップ	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混入物	口縁形状	粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 型模刻線	地紋		施文順序	焼成	備考	
															原形	外面調整				
第97図-9	2358-6	2358-6	L-9	包3a層	122	底部	礫多量	A	?	ナデ	ナデ、網代裏	—	—	—	—	—	—	不良		
第60図-7	2359-3	2359-3	K-10	包2b層	78	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	貼付(-、押圧貼付)、 側面圧痕R、条端圧痕R	—	—	—	—	—	良好	口唇部繩面 圧痕・貼付→ 地紋→繩面 圧痕→条端圧 痕	
第74図-21	2359-4	2359-4	K-10	包2b層	246	底部	礫少量	—	?	ナデ	ミガキ	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第156図-3	2360-2	2360-2	K-11	包3c層	79	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	キザミア→地 紋	
第90図-10	2361-2	2361-2	L-9	包3a層	94	口縁部	細砂多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第136図-1	2362-3	2362-3	K-10	包3d層	90	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第141図-17	2362-4	2362-4	K-10	包3d層	65	底部	礫少量、細砂や や多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第140図-18	2368-3	2368-3	K-10	包3d層	550	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	良好	—	
第71図-4	2369-1	2369-1	K-9	包2b層	382	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第69図-3	2369-2	2369-2	K-9	包2b層	236	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第62図-7	2369-3	2369-3	K-9	包2b層	174	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第69図-8	2369-4	2369-4	K-9	包2b層	95	口縁部	礫少量、細砂多 量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第145図-5	2370-1	2370-1	K-8	包3e層	820	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第159図-11	2370-2	2370-2	K-8	包3e層	59	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第89図-9	2371-1	2371-1	K-9	包3a層	160	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第94図-15	2371-3	2371-3	K-9	包3a層	112	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第92図-12	2371-4	2371-4	K-9	包3a層	89	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第92図-6、 第88図-2、 第93図-2	2371-5	2371-5A (2371-5) 2371-5B (2372-1)、2371-5C (2372-3)	K-9	包3a層	478	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	—
第82図-4	2372-2	2372-2、2372-4、 2510-1、2510-2、 2510-3	K-9	包3a層	993	口縁部	細砂・礫やや多 量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第129図-1	2373-1	2373-1	K-10	包3d層	1,982	口縁部	礫多量、繊維多 量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第122図-5	2374-1	2374-1	K-9	包3c層	126	口縁部	礫少量、細砂少 量	A	?	ヨコナデ、斜位ナ デ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第125図-13	2374-2	2374-2	K-9	包3c層	110	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第125図-8	2374-3	2374-3	K-9	包3c層	76	底部	礫少量、細砂多 量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第109図-8	2375-1	2375-1	J-9	包3b層	128	底部	礫多量	—	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第154図-6	2376-1	2376-1	K-8	包3e層	142	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	
第156図-8	2376-2	2376-2	K-8	包3e層	62	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	—	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(56)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混入物	口縁 粘土部上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第81図-11	2381-1	2381-1, 2404-1, 2433-4	L-9	包3a層	711	口縁部 細砂多量	泥和物・混入物 細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第88図-8	2381-2	2381-2	L-9	包3a層	97	口縁部 礫やや多量、細砂やや多量	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	—	—	—	—	—	縦位回転、斜位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい
第83図-1	2382-2	2382-2	L-9	包2a層	240	口縁部 礫少量、細砂やや多量	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	縦位回転、斜位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい
第53図-13	2382-4	2382-4	L-9	包2a層	90	口縁部 礫少量	礫少量	A	?	ナデ	—	—	—	—	?	—	良好	
第97図-3	2383-1	2383-1	L-9	包3a層	110	底部 礫やや多量、細砂やや多量	礫やや多量、細砂やや多量	—	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第88図-1	2383-2	2383-2	L-9	包3a層	220	口縁部 礫やや多量、細砂少量	礫やや多量、細砂少量	A	?	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい
第91図-13	2383-4	2383-4	L-9	包3a層	100	口縁部 礫やや多量、雲母少量	礫やや多量、雲母少量	A	ヨコナデ	—	突起A (「3」字状、一)	—	—	—	縦位回転	突起A→地紋	不良	内面に炭化物付着
第96図-23	2384-1	2384-1	K-8	包3a層	125	底部 細砂多量	細砂多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	?	—	不良	底面の摩滅が著しい
第87図-11	2384-3	2384-3	K-8	包3a層	50	口縁部 礫少量、細砂多量、雲母微量	礫少量、細砂多量、雲母微量	A	?	—	—	—	—	—	斜位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい
第82図-11	2384-6	2384-6	K-8	包3a層	620	口縁部 細砂多量	細砂多量	A	?	—	キザミA (へら、左→右)	—	—	—	縦位回転	キザミA→地紋	不良	
第96図-16	2385-2	2385-2	K-9	包3a層	120	底部 礫多量	礫多量	—	?	?	—	—	—	—	横位	—	不良	表面の摩滅が著しい
第91図-2	2386-2	2386-2	L-9	包3a層	50	口縁部 礫多量	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	横位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい
第100図-6	2387-1	2387-1	K-10	包3b層	117	口縁部 礫多量	礫多量	A	?	ナデ	—	—	—	—	斜位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい
第160図-13	2388-1	2388-1	J-9	包3c層	970	底部 礫多量	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	横位回転	—	不良	
第121図-23	2388-2	2388-2	J-9	包3c層	165	底部 礫少量	礫少量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	横位回転	—	不良	
第146図-18	2388-3	2388-3	J-9	包3c層	50	口縁部 礫少量	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	横位回転	—	不良	
第157図-4	2388-4	2388-4	J-9	包3c層	50	口縁部 礫少量	礫少量	A	?	ナデ	—	—	—	—	縦位回転	?	良好	
第162図-1	2389-1	2389-1	J-9	包3c層	105	底部 礫多量	礫多量	A	ナデ	ナデ	—	—	—	—	横位	—	不良	内面に炭化物付着
第162図-17	2389-2	2389-2	J-9	包3c層	65	底部 礫多量	礫多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第143図-6	2389-5	2389-5	J-9	包3c層	245	口縁部 礫多量	礫多量	A	ヨコナデ、タテナデ、斜位ナデ	ナデ	—	—	—	—	横位回転	—	不良	外面の摩滅が著しい
第109図-12	2390-5	2390-5	K-10	包3b層	98	底部 礫少量、細砂多量	礫少量、細砂多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第141図-16	2391-1	2391-1	K-10	包3d層	110	底部 礫やや多量	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第141図-5	2391-2	2391-2	K-10	包3d層	120	底部 礫少量	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第128図-6	2392-2	2392-2	K-10	包3d層	422	口縁部 礫少量	礫少量	A	ヨコナデ、指頭旺盛	ナデ	突起?	—	—	—	縦位回転	突起?→地紋	良好	内面の一部に接合痕残存
第103図-11	2392-3	2392-3	K-10	包3b層	132	口縁部 礫やや多量、細砂やや多量	礫やや多量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	ナデ	突起G (-、-)	—	—	—	縦位回転	突起G→地紋	不良	
第102図-8	2392-5	2392-5	K-10	包3b層	145	口縁部 細砂やや多量	細砂やや多量	A	斜位ナデ	ナデ	刺突文(竹管状工具、右→左)	—	—	—	縦位回転	?	不良	
第105図-11	2392-6	2392-6	K-10	包3b層	68	口縁部 細砂多量	細砂多量	A	ヨコナデ、指頭旺盛	ナデ	キザミA (指頭、左→右)	—	—	—	?	キザミA→地紋	不良	外面の摩滅が著しい
第126図-14	2393-3	2393-3	K-10	包3d層	54	口縁部 礫少量	礫少量	C	ヨコミガキ	A	?	—	—	—	—	—	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(57)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口縁球	粘土顆土	内面	底面	口唇部文様 文様(原形・施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形・施文方法)	胴部文様帯 種類(紋様)	地紋		施文方法	施文順序	焼成	備考	
															原形	外面調整					
第136図-14	2393-7	2393-7	K-10	包3d層	136	口縁部	礫少量、細砂やや多量	C	?	斜位ナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	—	不良		
第83図-18	2395-2	2395-2	K-8	包3a層	56	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	縦位回転	—	—	不良		
第85図-18	2395-3	2395-3	K-8	包3a層	62	底部	細砂多量、礫少量、繊維少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第86図-31	2395-4	2395-4	K-8	包3a層	53	底部	礫多量、細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第119図-7	2396-4	2396-4	K-9	包3c層	80	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	—	不良	表面一部剥落
第91図-19	2404-2	2404-2	L-9	包3a層	68	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	?	?	—	—	不良	
第97図-6	2404-3	2404-3	L-9	包3a層	158	底部	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第51図-16	2407-1	2407-1、2497-1、K-9、K-11	K-9、K-11	包2a層	390	口縁部	細砂少量	D	?	ヨコナデ	—	突起B2単位?、透かし・抉り、キザミB(棒状工具、器面に対して垂直)	突起B(—、—)かし・抉り、キザミB(棒状工具、器面に対して垂直)	—	LR	横位回転	突起B→透かし・抉り→各種貼付・地紋→沈線・キザミA・B	—	良好		
第50図-3	2407-2	2407-2	K-9	包2a層	198	口縁部	細砂多量	C	?	ヨコナデ	—	突起B(—、—)	突起B(—、—)貼付(—、緑刃ナデ)、沈線(ヘラ直観)、キザミ(ヘラ、器面に対して垂直)	—	—	—	貼付→沈線→キザミ	—	良好		
第54図-14	2407-3	2407-3	K-9	包2a層	69	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(未燃原体左巻、未燃原体右巻)	斜位回転	刻みA→地紋	—	不良		
第62図-3	2409-1	2409-1	L-10	包2b層	65	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	横位貼付(—、上下ナデ)、キザミA(竹管状工具、右→左)	—	—	斜位回転	地紋→横位貼付→キザミA	—	良好		
第90図-9	2411-1	2411-1	K-8	包3a層	58	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	—	?	?	?	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第67図-3	2412-1	2412-1	L-10	包2b層	152	口縁部	礫少量、細砂多量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	斜位回転	—	—	不良		
第67図-10	2412-2	2412-2	L-10	包2b層	118	口縁部	礫少量、細砂多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第4類R	縦位回転	—	—	不良		
第97図-12	2413-1	2413-1	L-9	包3a層	88	底部	礫少量、細砂多量	A	?	無調整、網代直	—	—	—	—	?	—	—	—	不良		
第142図-7	2414-1	2414-1	K-8	包3c層	254	口縁部	細砂多量	A	?	口縁部はヨコナデ、脚部はタテナデ	—	突起A、キザミC(ヘラ、器面に対して垂直)	突起A、キザミC(ヘラ、器面に対して垂直)	—	丸組紐(未燃原体左巻、未燃原体右巻)	斜位回転	突起C→地紋→キザミ・沈線	—	不良		
第148図-4	2414-2	2414-2	K-8	包3c層	238	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(L右巻、R右巻)	横位回転?	—	—	不良		
第87図-14	2419-1	2419-1	K-9	包3a層	162	底部	礫やや多量	A	?	ナデ	?	—	—	—	ナデ	横位	—	—	不良	底面の摩滅が著しい	
第87図-1	2420-1	2420-1	L-9	包3a層	390	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類L	斜位回転	?	—	不良		
第88図-10、第89図-2	2420-2	2420-2A(2420-2)、2420-2B(2420-3)	L-9	包3a層	304	口縁部	礫少量	A	—	?	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	?	—	—	不良		
第73図-10	2421-1	2421-1	K-9	包2b層	51	口縁部	礫少量	A	?	?	—	—	—	—	RL	斜位回転	—	—	良好		
第85図-6、第90図-6	2422-1	2422-1A(2422-1)、2422-1B(2422-3、2582-1)	L-9	包2a、3a層	522	口縁部	礫少量	A	?	斜位ナデ	A	キザミA(ヘラ、右→左)	—	—	丸組紐(L左巻、R左巻?)	縦位回転?	キザミA→地紋	—	不良		
第94図-3	2422-2	2422-2	L-9	包3a層	176	口縁部	細砂少量	A	?	ヨコナデ、指頭旺盛	—	突起C(—、—)、キザミA(ヘラ、左→右)	突起C(—、—)、キザミA(ヘラ、左→右)	—	単軸絡糸体第5類(未燃原体)	縦位回転?	突起C→キザミA→地紋	—	不良		

第11表 南部捨て場出土土器属性表(58)

図版No	個体No.	破片No.	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和物・混人物	口縁状 粘土層上	内面	底面	口唇部(原形、施文方法) 文様(原形、施文方法)	口縁部(原形、施文方法) 文様(原形、施文方法)	胴部(原形、施文方法) 文様(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文順序	焼成	備考
第96図-21	2422-8	2422-8	L-9	包3a層	118	底部	礫少量	?	ナデ	無調整	—	—	—	縦位回転	—	良好	
第97図-15	2422-9	2422-9	L-9	包3a層	86	底部	礫少量	?	ナデ	ナデ、 網代裏 ?	—	—	—	—	—	不良	
第103図-4	2423-3	2423-3	K-10	包3b層	162	口縁部	礫少量	A	口縁部はヨコナデ、 胴部は斜位ナデ	—	—	—	丸組紐(？、?)	?	—	不良	
第105図-12	2423-4	2423-4	K-10	包3b層	82	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	丸組紐(？、?)	?	—	良好	
第109図-9	2423-5	2423-5	K-10	包3b層	670	底部	礫多量、細砂多量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第65図-5	2424-1	2424-1、2424-2	K-10	包2b層	852	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	L	縦位回転	—	不良	外面一部剥落
第74図-10	2424-4	2424-4	K-10	包2b層	470	底部	礫やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	LR	斜位回転	—	不良	
第68図-5	2425-1	2425-1、2587-1	K-10	包3b層	801	口縁部	細砂・礫多量	A	口縁部はヨコナデ、 胴部はタテナデ斜位 ナデ、沈澱(先端の 粗いへラ、不規則)	—	—	—	LR(1結節)	横位回転	突起B・?→ 地紋→沈澱	不良	
第89図-11	2426-3	2426-3	L-9	包3a層	108	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	LR(2結節)	口縁部は横 位回転、胴 部は縦位回 転	—	不良	
第76図-11	2429-1	2429-1	K-10	包2b層	192	底部	礫多量	A	ナデ	ナデ	—	—	ナデ	横位	—	不良	
第63図-8	2429-2	2429-2	K-10	包2b層	100	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(？、?)	横位回転	地紋→横位貼 付→キサミア	不良	口縁部内面お よび口唇部に も外面と同様 の地紋
第95図-5	2433-5	2433-5	L-9	包3a層	53	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	不良	外面全面剥落
第83図-12	2433-6	2433-6	L-9	包3a層	204	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	LR	斜位回転	突起A・C→地 紋	良好	
第90図-13	2434-4	2434-4	K-9	包3a層	62	口縁部	細砂多量	A	指頭旺盛	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	外面一部剥 落、表面の摩 滅が著しい
第82図-13	2436-1	2436-1	K-9	包3a層	324	口縁部	細砂多量	A	口縁部はヨコナデ 胴部はタテナデ、指 頭旺盛	—	—	—	単軸絡糸体第5類L	縦位回転	—	不良	
第97図-8	2436-2	2436-2	K-9	包3a層	192	底部	細砂多量	—	ナデ	ナデ	—	—	単軸絡糸体？	?	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第103図-5、 第104図-8	2438-1	2438-1A、(2438-1) 2438-1B (2438-2)	K-10	包3b層	249	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第107図-15	2438-3	2438-3	K-10	包3b層	72	口縁部	礫やや多量、細 砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	縦位回転	—	不良	内面一部剥落
第104図-13	2438-4	2438-4	K-10	包3b層	57	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	LR	斜位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第132図-6	2443-1	2443-1	K-9	包3d層	472	口縁部	礫やや多量、細 砂少量	A	ヨコナデ	—	—	—	LR	口縁部は横 位回転、胴 部は縦位回 転	—	不良	
第135図-6	2443-2	2443-2	K-9	包3d層	130	口縁部	礫少量、細砂多 量	A	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	
第65図-3	2448-1	2448-1	K-10	包3b層	130	口縁部	礫少量、細砂多 量	A	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(？、?)	?	—	不良	外面一部剥落
第108図-8	2448-2	2448-2	K-10	包3b層	90	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	単軸絡糸体第5類L	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が 著しい

第11表 南部捨て場出土器属性表(59)

図版No	胴体No	破片No	造構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇球 粘土顆粒	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口唇部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様 種類(彫刻)	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第108図-13	2448-3	2448-3	K-10	包3b層	500	底部	礫多量	—	内面	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	不良	
第109図-11	2448-4	2448-4	K-10	包3b層	350	底部	細砂多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面の摩滅が著しい
第102図-2	2448-5	2448-5	K-10	包3b層	174	口縁部	礫少量、細砂少量	A	?	—	—	—	—	—	?	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第108図-2	2448-6	2448-6	K-10	包3b層	51	口縁部	礫少量、細砂少量	A	ヨコナデ	—	キザミA (へラ、器面に対して垂直)	—	—	—	?	?	?	不良	外面一部剥落
第148図-8	2449-2	2449-2、2586-1	K-11	包3e層	240	口縁部	礫多量、細砂少量	A	ヨコナデ	—	キザミA (指頭、右→左)	—	—	—	丸組紐 (?、?)	横位回転	キザミA→地紋	不良	
第156図-9	2449-3	2449-3	K-11	包3e層	55	口縁部	細砂やや多量	A	?	—	—	—	—	RL	横位回転	—	—	不良	
第156図-18	2449-4	2449-4	K-11	包3e層	60	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	—	—	不良	
第94図-7	2450-1	2450-1	L-9	包3a層	195	口縁部	細砂多量	A	?	—	—	—	—	L	横位回転	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第80図-14	2450-2	2450-2	L-9	包3a層	70	口縁部	礫少量	A	?	—	突起B (-、-)、貼付 (-、) 押し貼付	—	—	LR	横位回転	突起B→貼付→地紋	不良		
第104図-16	2451-1	2451-1	K-10	包3b層	60	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第108図-3	2451-2	2451-2	K-10	包3b層	50	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	突起B (-、-)	—	—	—	縦位回転? 単軸糸体第5類R	縦位回転? 突起B→地紋	—	不良	
第102図-1	2451-4	2451-4	K-10	包3b層	620	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR?	横位回転?	—	—	不良	外面一部剥落
第103図-10	2451-5	2451-5	K-10	包3b層	280	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR?	横位回転?	—	—	不良	
第155図-12	2452-1	2452-1	J-10	包3e層	115	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	—	—	不良	
第157図-11	2452-2	2452-2	J-10	包3e層	70	口縁部	礫やや多量	A	?	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	不良	
第108図-12	2453-1	2453-1	K-10	包3b層	250	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	良好	
第108図-14	2453-2	2453-2	K-10	包3b層	280	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	横位回転	—	—	良好	
第147図-4	2455-1	2455-1	K-9	包3e層	390	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	丸組紐 (L左巻、R左巻)	縦位回転	—	—	不良	
第149図-7	2455-2	2455-2	K-9	包3e層	160	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐 (L左巻、R左巻)	縦位回転	—	—	不良	
第95図-8	2456-1	2456-1	K-8	包3a層	215	底部	礫やや多量	—	ナデ	—	—	—	—	r (1結節)?	横位回転?	—	—	不良	
第79図-1	2456-4	2456-4	K-8	包3a層	1,120	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	横位貼付 (-、) 押し貼付	—	—	LR	横位回転	横位貼付→地紋	—	不良	
第146図-1	2458-1	2458-1	J-10	包3e層	370	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	LR	横位回転	—	—	不良	
第149図-2	2458-2	2458-2	J-10	包3e層	220	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	—	—	不良	
第156図-19	2458-3	2458-3	J-10	包3e層	55	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	丸組紐 (?、?)	?	—	—	不良	
第146図-2	2459-3	2459-3	K-8	包3e層	250	口縁部	細砂多量	B	?	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	不良	表面の摩滅が著しい、外面一部剥落
第74図-20	2460-1	2460-1	L-10	包2b層	228	底部	礫やや多量、細砂少量	—	ナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	良好	
第68図-11	2461-5	2461-5	K-9	包2b層	88	口縁部	礫やや多量、細砂少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	単軸糸体第5類R	?	—	—	不良	
第76図-10	2461-6	2461-6	K-9	包2b層	150	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位	—	—	良好	
第62図-1	2463-5	2463-5	K-11	包2b層	58	口縁部	礫やや多量	A	?	—	突起G (?、?)、細面圧痕 (LR、)	貼付 (-、) 押し貼付、条	—	—	—	突起G→貼付→条細面圧痕	—	不良	内面一部剥落
第59図-9	2463-6	2463-6	K-11	包2b層	65	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	貼付 (-、) 押し貼付	—	—	RL	縦位回転	地紋→貼付	—	不良	キャリパー形、口縁部内面に貼付で口唇部成形

第11表 南部捨て場出土土器属性表(60)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口縁部 粘土層上	内面	底面	口唇部文様 文様(原体、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原体、施文方法)	胴部立線帯 環状・直線	地紋		施文順序	焼成	備考
														口唇部文様 文様(原体、施文方法)	口縁部文様 文様(原体、施文方法)			
第62図-13	2463-7	2463-7	K-11	包2b層	70	口縁部	少量、細砂多量	A ?	ヨコナデ	—	—	細網面庄痕 (RL、—)	—	LR(結節)	?	—	不良	外面一部剥落
第69図-9	2465-1	2465-1	K-10	包2b層	102	口縁部	細砂多量	A ?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	条痕	—	—	不良	
第59図-8	2465-3	2465-3	K-10	包2b層	98	口縁部	細砂多量	B ?	ヨコナデ	—	—	貼付 (-、脚縁ナデ)	—	LR	貼付→地紋	—	不良	
第59図-4	2465-5	2465-5	K-10	包2b層	63	口縁部	細砂やや多量	A ?	ヨコナデ	—	—	キザミB(棒状工、器面に対して垂直)	—	—	?	—	良好	
第60図-8	2466-1	2466-1	K-8	包2b層	53	口縁部	少量	A ?	ヨコナデ	—	—	縦位貼付 (-、上下端ナデ)、沈線(半截竹管状工、真およびヘラ、—)	—	LR ?	?	—	不良	
第68図-4	2466-2	2466-2	K-8	包2b層	71	口縁部	細砂多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸筋条体第5類R	—	—	不良	内面に炭化物付着、細修孔
第152図-13	2467-1	2467-1	K-9	包3e層	71	口縁部	細砂やや多量	C ?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	—	—	不良	
第160図-19	2470-1	2470-1	K-10	包3e層	88	底部	多量	—	?	ナデ	—	—	—	?	?	—	不良	表面の摩滅が著しい
第156図-17	2470-2	2470-2	K-10	包3e層	59	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	—	不良	内面の摩滅が著しい
第159図-20	2470-3	2470-3	K-10	包3e層	65	口縁部	少量、細砂多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	条痕	—	—	不良	
第151図-8	2471-1	2471-1	J-10	包3e層	100	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	—	—	不良	
第146図-17	2471-2	2471-2	J-10	包3e層	79	口縁部	少量	A ?	?	—	—	—	—	ナデ	—	—	不良	
第151図-16	2471-3	2471-3	J-10	包3e層	51	口縁部	少量	A ?	ヨコナデ	—	—	突起B (-、-)、キザミA (ヘラ、右→左)	—	—	突起C→キザミA	—	良好	
第161図-11	2472-1	2472-1	J-10	包3e層	118	底部	少量	—	ナデ	無調整	—	—	—	丸組紐(未燃原体左巻、未燃原体右巻)	—	—	良好	
第153図-9	2472-2	2472-2	J-10	包3e層	156	口縁部	少量、細砂少量	A ?	ヨコナデ	—	—	キザミA? (ヘラ、器面に対して垂直)	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第159図-2	2472-3	2472-3	J-10	包3e層	55	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	丸組紐(未燃原体左巻、未燃原体右巻)	?	—	不良	
第158図-15	2472-4	2472-4	J-10	包3e層	56	口縁部	少量、細砂少量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸筋条体第5類?又は附加条	?	—	不良	
第82図-2	2481-1	2481-1	K-9	包3a層	893	口縁部	多量	A ?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ、指頭庄痕	—	—	間隔を置いてキザミA (ヘラ、左→右)	—	単軸筋条体第5類R	?	—	不良	
第90図-1	2481-2	2481-2	K-9	包3a層	102	口縁部	少量、細砂少量	A ?	?	—	—	—	—	RL	—	—	不良	内面の摩滅が著しい
第155図-3、第157図-17	2486-1	2486-1A (2486-1)、2486-1B (2486-2)	J-10	包3e層	167	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A ?	ヨコナデ	—	—	キザミA (ヘラ、右→左)	—	丸組紐(?,?)	?	—	不良	
第51図-7	2488-2	2488-2	L-9	包2a層	71	口縁部	少量、細砂やや多量	A ?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ、指頭庄痕	—	—	縦位貼付 (-、押圧貼付)、刺突文(半截竹管状工、器面に対して垂直)	—	LR	?	—	不良	
第53図-12	2488-4	2488-4	L-9	包2a層	63	口縁部	多量	A ?	ヨコナデ	—	—	縦位貼付 (剥落)	—	単軸筋条体第5類?	?	—	不良	表面の摩滅が著しい
第53図-14	2488-5	2488-5	L-9	包2a層	55	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナデ	—	—	突起B (-、-)	—	LR	縦位貼付	—	不良	
第57図-11	2488-9	2488-9	L-9	包2a層	97	底部	細砂やや多量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	
第53図-8	2489-1	2489-1	K-9	包2a層	50	口縁部	少量、細砂やや多量	A ?	タテナデ	—	—	—	—	LR	縦位貼付	—	不良	
第57図-18	2489-8	2489-8	K-9	包2a層	132	底部	細砂多量、繊維微量	—	ナデ	?	—	—	—	—	—	—	不良	底面の真熱が著しい
第59図-4	2490-1	2490-1	L-9	包3a層	274	口縁部	細砂やや多量	A ?	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	キザミA (ヘラ、左→右)	—	RL	縦位貼付	—	不良	

第11表 南部捨て場出土土器属性表(6)

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・クワッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和物、混入物	口唇状 粘土器類上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋		施紋方法	施文順序	焼成	備考
															底体	外面調整				
第88図-3	2490-2	2490-2	L-9	包3a層	264	口縁部	少量	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	RL	斜位回転	—	不良		
第86図-16	2490-3	2490-3	L-9	包3a層	52	口縁部	細砂多量	?	?	—	—	—	—	—	—	斜位回転	—	不良	表面の磨減が著しい。	
第104図-9	2492-2	2492-2	K-10	包3b層	93	口縁部	細砂やや多量	?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	キザミA(へら、左→右)	—	—	—	LR	縦位回転	キザミA→地紋	不良	外面一部剥落	
第104図-1	2492-3	2492-3	K-10	包3b層	84	口縁部	少量、細砂やや多量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	外面一部剥落	
第98図-2	2493-1	2493-1	K-10	包3b層	95	口縁部	少量、細砂やや多量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	—	不良		
第98図-9	2493-2	2493-2	K-10	包3b層	74	口縁部	少量、細砂やや多量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	縦位回転	不良	横位貼付剥落	
第97図-8	2494-1	2494-1	L-10	包2b層	134	口縁部	少量、細砂やや多量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	附加条?(軸不明)	?	不良	表面の磨減が著しい。	
第139図-1	2495-4	2495-4	K-10	包3d層	81	口縁部	少量、細砂少量	?	ヨコナデ、タテナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	—	—	?	—	不良		
第141図-11	2495-6	2495-6	K-10	包3d層	120	底部	少量、細砂やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第151図-17	2496-2	2496-2	K-11	包3e層	56	口縁部	少量	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落	
第161図-12	2497-5	2497-5	K-11	包3e層	120	底部	少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第71図-6	2499-5	2499-5	K-9	包2b層	320	口縁部	少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	?	不良		
第125図-12	2500-7	2500-7	K-9	包3c層	118	底部	少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第149図-15	2501-1	2501-1	L-9	包1層	70	底部	少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第149図-10	2501-2	2501-2	L-9	包1層	260	底部	少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第149図-11	2501-3	2501-3	L-9	包1層	306	底部	細砂やや多量、少量	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好		
第61図-20	2502-4	2502-4	K-11	包2b層	73	口縁部	少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい、波状口縁	
第144図-16	2502-5	2502-5	K-11	包3c層	63	口縁部	少量	?	ヨコミガキ	—	—	—	—	—	—	—	貼付→縦断面圧痕	良好	キヤリバー形	
第59図-6	2502-6	2502-6	K-11	包2b層	88	口縁部	少量	?	ヨコミガキ、斜位ミガキ	—	突起B(へら、-)、縦断面圧痕R	—	—	—	—	—	貼付→キザミA・縦断面圧痕	不良	外面の磨減が著しい。	
第134図-19	2503-2	2503-2	L-9	包3d層	58	口縁部	少量	?	ヨコナデ、タテナデ	—	—	—	—	—	—	?	—	不良	表面の磨減が著しい。	
第96図-20	2504-5	2504-5	L-9	包3a層	284	底部	少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	?	—	不良		
第151図-11	2505-6	2505-6	K-11	包3c層	56	口縁部	少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	?	不良		
第62図-4	2505-8	2505-8	K-11	包3c層	120	底部	少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第48図-13	2506-1	2506-1	L-9	包1層	67	口縁部	少量	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい。	
第68図-9	2508-1	2508-1	K-9	包2b層	57	口縁部	少量、細砂やや多量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	?	突起C(へら、-)、器面に対して垂直	不良		
第74図-3	2508-2	2508-2	K-9	包2b層	62	口縁部	少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	丸組紐(?,?)	斜位回転	不良	内面の磨減が著しい。	
第77図-11	2508-6	2508-6	K-9	包2b層	88	底部	少量、細砂やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第68図-20	2514-1	2514-1	L-10	包2b層	69	口縁部	少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	良好		

第11表 南部捨て場出土土器属性表(62)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇状 粘土部黏土	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様帯 文様(原形、施文方法)	地紋	施文方法	施文順序	焼成	備考
第75図-5	2514-6	2514-6	L-10	包2b層	158	底部	礫やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	?	横位回転	貼付→刺突文	不良	
第111図-6	2516-1	2516-1	K-9	包3c層	488	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ、指頭庄痕	—	刺突文(半成竹筥状工具、器面に対して垂直または右→左)、貼付(-、押圧貼付)	—	—	RL	横位回転	—	不良	
第117図-6	2516-2	2516-2	K-9	包3c層	236	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	R(L, R)	横位回転	—	不良	
第124図-3	2516-3	2516-3	K-9	包3c層	53	口縁部	礫やや多量	B	タテナデ	—	—	—	—	朱痕	縦位、横位	—	不良	表面の磨減が著しい
第51図-15	2517-1	2517-1	L-9	包2a層	760	口縁部	細砂、礫やや多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	突起C	—	—	単軸糸条体4類I+LR熟糸	縦位回転	突起C→地紋	不良	
第82図-1	2520-1	2520-1	K-9	包3a層	1,250	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	LR(1結節)	横位回転	—	不良	
第90図-14	2520-2	2520-2	K-9	包3a層	50	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL(1結節)	斜位回転	—	不良	
第57図-13	2521-1	2521-1	L-9	包2a層	105	底部	細砂多量、繊維やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい
第54図-7	2521-5	2521-5	L-9	包2a層	105	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	結束第1種(LR・RL)	縦位回転	地紋→縄面	不良	表面の磨減が著しい
第51図-3	2521-6	2521-6	L-9	包2a層	70	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐?	?	横位貼付→キザミA	不良	
第52図-5	2522-1	2522-1	L-9	包2a層	370	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	タテナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	LR	横位回転、斜位回転	—	不良	口縁部内面に外面と同様の地紋
第55図-10	2522-2	2522-2	L-9	包2a層	70	口縁部	礫少量	A	斜位ナデ、指頭庄痕	—	キザミA(指頭、左→右)	—	—	単軸糸条体第5類r	?	?	不良	内面に炭化物付着
第56図-11	2522-6	2522-6	L-9	包2a層	160	底部	礫やや多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	縦位、横位	—	不良	
第125図-7	2523-1	2523-1	K-9	包3c層	70	底部	礫少量、細砂少量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	?	?	不良	
第120図-7	2523-2	2523-2	K-9	包3c層	80	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	丸組紐(?, ?)	?	?	不良	内面の磨減が著しい
第119図-15	2523-3	2523-3	K-9	包3c層	55	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?, ?)	横位回転?	—	不良	表面の磨減が著しい
第111図-12	2523-4	2523-4	K-9	包3c層	50	口縁部	礫やや多量、細砂少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	横位回転	貼付→縄面	不良	
第55図-16	2524-2	2524-2	L-9	包2a層	114	口縁部	礫やや多量、細砂少量	A	ヨコナデ	—	貼付(-、阿蘭陀ナデ)、縄面庄痕(L, -)	—	—	—	横位回転	貼付→縄面	不良	
第56図-9	2524-3	2524-3	L-9	包2a層	663	底部	礫多量、雲母微量	?	ナデ	網代痕	—	—	—	—	縦位回転	突起C→地紋	不良	
第65図-12	2525-2	2525-2	K-10	包2b層	355	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭庄痕	—	突起C(-, -)	—	—	単軸糸条体第1類R	縦位回転	—	不良	表面の磨減が著しい
第82図-8	2527-1	2527-1	K-9	包3a層	840	口縁部	礫少量	A	タテナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	結束第1種LR・RL	縦位回転	—	不良	表面の磨減が著しい
第63図-9	2528-1	2528-1	K-11	包3b層	65	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ、指頭庄痕	—	—	—	—	丸組紐(左巻、R右巻)、L	縦位回転	?	不良	
第105図-8	2528-2	2528-2	K-11	包3b層	50	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	—	—	—	—	LR	縦位回転	縦位貼付→キザミA・地紋	不良	表面の磨減が著しい
第105図-14	2532-4	2532-4	K-10	包3b層	66	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(?, ?)	?	?	不良	表面の磨減が著しい
第108図-24	2532-8	2532-8	K-10	包3b層	116	底部	細砂やや多量、礫少量	?	ナデ	ナデ、木葉痕	—	—	—	丸組紐(?, ?)	?	?	不良	
第61図-12	2538-3	2538-3	L-10	包2b層	53	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?, ?)	?	?	不良	地紋→横位貼付

第11表 南部捨て場出土土器属性表(63)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量 (g)	部位	胎土 泥和剤・混入物	口縁線 基土部粗上	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	脚部文様帯 脚部(原形、施文方法)	地紋 原形・外面調整	施文方法	施文順序	焼成	備考
第153図-8	2541-1	2541-1	J-9	包3e層	116	口縁部	礫やや多量	B	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(L左巻、R左巻)	?	—	不良	
第159図-23	2541-2	2541-2	J-9	包3e層	114	口縁部	礫少量	A	?	—	—	—	条痕	縦位	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第155図-6	2541-3	2541-3	J-9	包3e層	106	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	B	ヨコナデ	—	—	—	LR	横位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第152図-8	2541-4	2541-4	J-9	包3e層	52	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	キザミA(へラ、左→右)	—	LR(L結節)	横位回転	?	不良	表面の摩滅が著しい	
第109図-5	2543-1	2543-1	K-11	包3b層	144	底部	礫少量、細砂やや多量	—	ナデ	木葉痕	—	—	ナデ	横位、斜位	—	不良		
第73図-17	2545-1	2545-1	K-9	包2b層	86	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?)	斜位回転?	—	不良		
第73図-12	2545-2	2545-2	K-9	包2b層	53	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭旺盛	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良		
第152図-1	2546-1	2546-1	K-10	包3c層	57	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	LR	横位回転	—	不良		
第91図-18	2547-2	2547-2	K-9	包3a層	67	口縁部	礫やや多量	A	?	—	キザミA(へラ、突起A(-、-)、キザミA(へラ、右→左))	—	LR(L結節)	縦位回転	?	不良		
第86図-5	2547-3	2547-3	K-9	包3a層	92	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、指頭旺盛	—	突起A(-、-)、キザミA(へラ、右→左)	—	単軸絡糸体第1類R	縦位回転、斜位回転	?	不良		
第83図-11	2547-5	2547-5	K-9	包3a層	73	口縁部	礫多量	A	?	—	キザミA(へラ、右→左)	—	結束第1種LR・RL	縦位回転	キザミA→地紋	不良		
第96図-17	2547-6	2547-6	K-9	包3a層	196	底部	細砂多量	—	ナデ	無調整	—	—	RL	横位回転	—	不良		
第81図-13	2553-1	2553-1	K-8	包3a層	498	口縁部	細砂多量	B	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(?,?) (結節)	横位回転	—	不良		
第87図-2	2553-2	2553-2	K-8	包3a層	258	口縁部	礫多量	A	?	—	—	—	結束第1種LR・RL	縦位回転	—	不良	内面の摩滅が著しい	
第82図-12	2554-1	2554-1	K-8	包3a層	152	口縁部	礫少量	A	斜位ナデ	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	斜位回転	—	良好		
第160図-7	2557-1	2557-1	K-8	包3c層	268	底部	細砂多量、礫やや多量、繊維微量	—	ナデ	ナデ	—	—	LR?	横位回転?	—	不良		
第157図-14	2559-1	2559-1	K-8	包3c層	75	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐(L左巻、R左巻)	横位回転?	—	不良		
第107図-10	2560-2	2560-2	K-10	包3b層	57	口縁部	礫やや多量、礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	縦位回転?	—	不良	外面一部剥落	
第108図-10	2560-3	2560-3	K-10	包3b層	515	底部	細砂やや多量、礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	単軸絡糸体第5類R	縦位回転	—	不良		
第144図-7	2561-1	2561-1	K-8	包3e層	51	口縁部	礫多量	A	?	—	突起A(-、-)、キザミB(棒状工具、-)	—	?	?	?	不良	表面の摩滅が著しい、口縁部内面に波状の唐付文(押圧貼付)	
第151図-12	2561-2	2561-2	K-8	包3e層	72	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	LR、RL	LRは横位回転、RLは縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第141図-15	2562-2	2562-2	J-9	包3d層	68	底部	礫やや多量	—	ナデ	縄代痕	—	—	—	—	—	不良		
第57図-12	2563-2	2563-2	L-9	包2a層	118	底部	礫多量	—	?	—	—	—	ナデ	横位	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第57図-14	2563-3	2563-3	L-9	包2a層	54	底部	礫多量	—	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい	
第82図-4	2568-2	2568-2	K-8	包3a層	164	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	多軸絡糸体RL(軸5本)	斜位回転	—	良好		
第101図-4	2570-1	2570-1	J-10	包3b層	294	口縁部	礫やや多量	A	縦位回転	—	—	—	L(RR)	縦位回転	—	不良		
第107図-16	2570-2	2570-2	J-10	包3b層	90	口縁部	礫多量、繊維少量	A	ヨコナデ	—	—	—	LR(L結節)	横位回転	—	不良	外面一部剥落	

第11表 南部捨て場出土器属性表(64)

図版No	個体No	破片No	遺構・ クワッド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤、混入物	口唇線 粘土帯厚土	内面	底面	口唇部文様 文様(原形、施文方法)	口縁部文様帯 文様(原形、施文方法)	胴部文様部 意匠意匠	地紋 原形・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第54図-13	2571-1	2571-1	L-9	包2a層	55	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	斜位回転	—	不良	外面一部割落
第54図-12	2571-2	2571-2	L-9	包2a層	56	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A ?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(??、?)	?	—	不良	口唇部はキザミを有する可能性がある
第109図-13	2572-1	2572-1	K-10	包3b層	156	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	ナデ	ナデ	縦位	—	不良	—
第56図-1	2573-1	2573-1	L-9	包2a層	214	口縁部	礫少量	B ?	ヨコナデ	—	キザミA(指頭、 左→右)	—	—	単軸絡糸体第2類2本 1組R	斜位回転	?	不良	—
第68図-5	2580-3	2580-3	K-9	包2b層	58	口縁部	細砂多量	A ?	?	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類1 組R	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい
第61図-14	2580-5	2580-5	K-9	包2b層	68	口縁部	礫やや多量、細砂 やや多量	A ?	斜位ナデ	—	縦位貼付(-、押圧貼付)、 キザミA(ヘラ、右→左)	—	—	単軸絡糸体第1類2本 1組R	斜位回転	地紋→縦位貼付 →キザミA	不良	—
第74図-26	2580-10	2580-10	K-9	包2b層	100	底部	礫やや多量、 礫やや多量	—	ナデ	網代痕	—	—	—	LR?	縦位回転?	—	不良	—
第77図-5	2581-1	2581-1	K-10	包2b層	235	底部	礫多量	—	ナデ	ナデ	突起B(-、-)	—	—	ナデ	縦位	—	不良	—
第69図-4	2581-2	2581-2	K-10	包2b層	260	口縁部	礫少量、細砂少 量	A ?	タテナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	LR	斜位回転	突起B→地紋	不良	底面の摩滅が著しい
第62図-15	2581-3	2581-3	K-10	包2b層	130	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR(1結節)	縦位回転	—	不良	外面一部割落
第54図-11	2582-1	2582-1	L-9	包2a層	112	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナデ	—	キザミA(-、左 →右)	—	—	丸組紐(未燃原体左 巻、未燃原体左巻)	?	キザミA→地 紋	不良	—
第54図-10	2582-2	2582-2	L-9	包2a層	100	口縁部	礫少量	A ?	ヨコナデ	—	キザミA(指頭?、 左→右)	—	—	丸組紐(??、?)	?	?	不良	—
第54図-15	2582-3	2582-3	L-9	包2a層	55	口縁部	細砂多量	A ?	指頭圧痕	—	キザミA(指頭?、 器面に対して垂 直)	—	—	丸組紐(??、?)	?	キザミA→地 紋	良好	—
第57図-3	2582-5	2582-5	L-9	包2a層	210	底部	礫少量、細砂多 量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	?	?	—	不良	表面の摩滅が著しい
第56図-16	2582-6	2582-6	L-9	包2a層	150	底部	礫多量、細砂多 量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	—
第157図-15	2583-3	2583-3	K-11	包3e層	60	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(??、?)	?	—	不良	内面に炭化物 付着
第68図-19	2584-1	2584-1	L-10	包2b層	50	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	突起B(-、-)	—	—	LR	斜位回転	突起B→地紋	不良	—
第73図-9	2584-3	2584-3	L-10	包2b層	55	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A ?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	R	縦位回転	—	不良	—
第152図-3	2586-2	2586-2	K-11	包3e層	60	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A ?	タテナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	結束第1種LR・RL	縦位回転	地紋→縦側面 圧痕	不良	—
第150図-8	2588-1	2588-1	J-11	包3e層	50	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	縦位回転	地紋→絡糸体 圧痕文	不良	—
第155図-1	2590-6	2590-6A(2590- 6)、2590-6B (2590-7)	K-10	包3e層	150	口縁部	礫少量	A ?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	キザミA(指頭?、 左→右・浅い)	—	—	単軸絡糸体第1類丸 組紐(??、?)	斜位回転?	?	不良	—
第156図-21	2590-7	2590-7	K-10	包3e層	55	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A ?	ヨコナデ、指頭圧痕	—	キザミA(指頭?、 右→左)	—	—	単軸絡糸体第1類丸 組紐(??、?)	斜位回転?	?	不良	—
第157図-3	2590-8	2590-8	K-10	包3e層	70	口縁部	礫やや多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(??、?)	縦位回転?	—	不良	—
第56図-21	2615-4	2615-4	L-9	包2a層	510	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ	—	—	—	LR	斜位回転	—	良好	—
第57図-3	2618-1	2618-1	K-8	包3a層	334	口縁部	礫多量、雲母微 量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR(1結節)	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい、波状 口縁
第90図-11	2618-2	2618-2	K-8	包3a層	63	口縁部	礫多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(??、?)	縦位回転	—	不良	外面一部割落
第56図-14	2618-4	2618-4	K-8	包3a層	56	口縁部	礫少量、細砂や や多量	A ?	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類R	縦位回転	—	不良	—
第96図-22	2618-7	2618-7	K-8	包3a層	248	底部	礫多量、繊維少 量	—	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	不良	底面の摩滅が著しい

第11表 南部捨て場出土器属性质表(65)

図版No	胴体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇痕	粘土帶露上	内面	底面	口唇部文様 文様(原体・施文方法)	口唇部文様帯 文様(原体・施文方法)	胴部文様帯 文様(原体・施文方法)	地紋 原体・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考
第56図-19	2619-4	2619-4	K-9	包2a層	74	底部	礫やや多量	—	?	ナデ	網代裏	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	
第56図-20	2620-3	2620-3	L-9	包2a層	81	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい
第57図-17	2621-7	2621-7	K-9	包2a層	84	底部	礫多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良	表面の摩滅が著しい
第61図-15	2629-1	2629-1	K-10	包2b層	52	口縁部	細砂少量、礫多量	A	?	ヨコナデ	—	横位貼付(-、押圧貼付)、キザミA(指頭、左→右)	—	—	—	縦位回転?	地紋→横位貼付→キザミA	不良	表面の摩滅が著しい
第106図-3	2632-2	2632-2	K-10	包3b層	120	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸紐紐(R右巻、L右巻?)	横位回転?	—	不良	
第107図-2	2633-1	2633-1	K-10	包3b層	125	口縁部	礫少量、細砂少量	A	?	斜位ナデ、指頭圧痕	—	キザミA(ヘラ、浅い)	—	—	丸紐紐(?,?)	斜位回転	?	不良	表面の摩滅が著しい
第106図-9	2633-2	2633-2	K-10	包3b層	120	口縁部	礫やや多量	A	?	?	—	—	—	—	丸紐紐(?,?)	?	—	不良	内面の摩滅が著しい
第108図-13	2633-3	2633-3	K-10	包3b層	75	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA(指頭、左→右)	—	—	丸紐紐(?,?)	?	?	不良	
第144図-15	2635-2	2635-2	K-11	包3c層	50	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	横位貼付(-、上下端ナデ)、縦面圧痕(LR、RL、-)、キザミA(ヘラ、右→左)	—	RL	縦位回転	横位貼付→細面圧痕、キザミA・地紋	不良	波状口縁
第72図-16	2636-1	2636-1	K-10	包2b層	63	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR結節部回転	横位回転、縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい
第160図-15	2637-1	2637-1	K-11	包3c層	118	底部	礫少量	—	?	ナデ	網代裏?	—	—	—	丸紐紐(?,?)	縦位回転	—	良好	
第138図-16	2639-4	2639-4	K-10	包3d層	54	口縁部	礫やや多量	B	外傾	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	良好	下端割れ面は縦口縁、外傾接合
第127図-3	3537-1	3537-1	K-10	包3d層	164	口縁部	礫多量	B	?	?	—	—	—	丸紐紐(?,?)	?	?	—	不良	内面の摩滅が著しい
第133図-1	3537-2	3537-2	K-10	包3d層	128	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	RL?	横位回転?	—	不良	外面一部剥落
第137図-4	3537-4	3537-4	K-10	包3d層	59	口縁部	礫多量	A	?	?	—	—	—	丸紐紐(?,?)	?	?	—	不良	

第12表 遺構外出土器属性表(1)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混人物	口唇縁 粘土帯積上	内面	底面	口唇部文様 文様 (原体、施文方法)		口縁部文様帯 文様 (原体、施文方法)		胴部文様帯 文様 (原体、施文方法)		地紋 原体・外面調整	施紋方法	施文順序	焼成	備考	
											突起C	突起B	突起A	突起D	突起E	突起F						突起G
第167図-15	232-1	232-1	F-20	IIIa層	54	口縁部	礫や多量、 細砂や多量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転、横 位回転	—	—	—	—	—	—	
第163図-5	444-1	444-1	E-26	II層	73	口縁部	礫少量	?	ヨコミガキ、 斜位ミガキ	—	—	貼付(-、波状?)、 沈線(ヘラ、高線 ・小波状)	—	LR	縦位回転	地紋→貼付→沈 線	—	—	—	良好	—	
第163図-14	457-3	457-3	E-24	II層	58	口縁部	礫や多量	?	ヨコミガキ	—	突起C	貼付(-、押し貼 付)、縄面圧痕 (LR、-)	—	—	—	突起C→貼付→ 縄面圧痕	—	—	—	良好	—	
第163図-11	469-2	469-2	E-24	II層	50	口縁部	細砂・礫やや 多量、海綿骨 針微量	?	ヨコナデ	—	突起B	貼付(-、押し貼 付)、縄面圧痕 (L、-)	—	—	—	突起B→貼付→ 縄面圧痕	—	—	—	良好	—	
第163図-10	621-3	621-3	D-24	II層	60	口縁部	細砂多量	?	ヨコミガキ	—	—	縦位貼付(-、左 右ナデ)、縄面圧 痕(R、-)、キザミ ミ(ヘラ、右→左)	—	—	—	縦位貼付→縄面 圧痕・キザミ	—	—	—	不良	—	
第164図-8	771-1	771-1	E-25	II層	63	底部	礫多量	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第164図-1	851-1	851-1	B-23	II層	136	口縁部	細砂・礫少量	?	斜位ナデ、指 頭圧痕	—	—	—	丸組紐(本紋・縄不 明)	—	縦位回転?	—	—	—	—	—	不良	
第164図-2	851-3	851-3	B-23	II層	65	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ、斜 位ナデ	—	—	縄面圧痕(R、 -)	—	—	?	?	—	—	—	—	良好	外面の大部分 が剥落してい る
第163図-4	874-1	874-1	C-23	II層	114	口縁部	礫多量、雲母 微量	?	ヨコナデ	—	突起B	ボタン状突起、縦 位・斜位貼付(-、 左右ナデ)、キザミ (ヘラ、?)	—	LR	横位回転	ボタン状突起・ 縦位・斜位貼付 →キザミ・地紋	—	—	—	良好	—	
第163図-19	874-2	874-2	C-23	II層	64	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ	—	—	キザミ(ヘラ、 右→左)	—	LR	縦位回転	キザミ→地紋	—	—	—	良好	—	
第163図-21	874-3	874-3	C-23	II層	63	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ	—	—	横位貼付(-、上 下ナデ)、キザミ (ヘラ、左→右)	—	—	縦位回転	横位貼付→キザ ミ・地紋	—	—	—	不良	—	
第167図-9	926-1	926-1	D-22	IIIa層	65	口縁部	礫少量	?	ヨコナデ	—	—	—	—	RLR	斜位回転	—	—	—	—	—	不良	
第164図-13	1057-1	1057-1	B-20	IIIa層	92	口縁部	細砂少量	?	ヨコミガキ	—	—	横位貼付(-、上 下ナデ)、沈線 (半裁竹管状工具、 -)、キザミ(半裁 竹管状工具、右→ 左)	—	RL	口縁部は斜位 回転、胴部は 横位回転	横位貼付→沈線 →キザミ	—	—	—	良好	—	
第163図-9	1061-1	1061-1	E-21	II層	50	口縁部	細砂多量	?	ヨコミガキ	—	—	貼付(-、押し貼 付)、縄面圧痕 (R、-)	—	—	—	貼付→縄面圧 痕	—	—	—	良好	—	
第164図-4	1062-1	1062-1	C-22	II層	120	底部	礫少量	?	ナデ	網代裏 ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第163図-2	1076-1	1076-1	E-22	II層	160	口縁部	細砂・礫やや 多量、雲母微 量	?	ヨコナデ	—	突起G	貼付(-、左右ナ デ)、短沈線(ヘラ -)、縄面圧痕 (LR、-)	—	LR	縦位回転	突起G→貼付→ 地紋→短沈線→ 縄面圧痕	—	—	—	良好	—	
第163図-3	1080-1	1080-1	E-23	II層	210	口縁部	細砂・礫少量	?	ヨコミガキ	—	—	—	—	LR	横位回転、斜 位回転	横位回転、斜 位回転	—	—	—	良好	—	
第167図-4	1091-1	1091-1	D-22	IIIa層	84	口縁部	礫や多量	?	ヨコナデ	—	—	—	丸組紐	—	?	?	—	—	—	—	不良	外面炭化物付 着

第12表 遺構外出土土器属性表(3)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土 混和物・混入物	口唇縁 粘土帯種上	内面	底面	口唇部文様 (原体、施文方法)		口縁部文様帯 文様 (原体、施文方法)		胴部文様帯 文様 (原体、施文方法)		地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
											口唇部文様 (原体、施文方法)	文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 (原体、施文方法)	文様 (原体、施文方法)	胴部文様帯 (原体、施文方法)	地紋 原体・外面調整					
第169図-8	1473-1	1473-1	K-13	Ⅲb層	103	口縁部	細砂やや多量	B	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	結束第1種LR、RL	横位回転	—	不良				
第170図-9	1473-3	1473-3	K-13	Ⅲb層	528	底部	礫やや多量	—	ヨコナデ	ミガキ	—	—	—	ミガキ	横位	—	良好				
第167図-8	1497-1	1497-1	E-24	Ⅲa層	61	口縁部	細砂多量、礫少量、繊維微量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第5類R	縦位回転	—	不良	表面の摩滅著しい			
第167図-21	1497-3	1497-3	E-24	Ⅲa層	57	口縁部	礫多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(？、？)	？	—	良好				
第167図-22	1497-7	1497-7	E-24	Ⅲa層	276	底部	礫やや多量	—	ヨコナデ	ナデ	—	—	—	ナデ	横位・斜位	—	良好				
第166図-8	1519-1	1519-1	E-25	Ⅲa層	59	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	ナデ	横位	—	良好				
第165図-15	1525-1	1525-1	D-21	Ⅲa層	71	口縁部	細砂やや多量	A	ヨコミガキ	—	—	—	貼付(←、両側縁ナデ)、キザミ(←、器面に対して垂直)	LR(1結節)	横位回転	地紋→貼付→キザミ	良好				
第166図-5	1535-1	1535-1	D-24	Ⅲa層	306	口縁部	礫やや多量	C	ヨコナデ、斜位ナデ	指面圧痕	—	—	—	丸組紐(？右巻、？右巻、1(結節)	斜位回転、結節部回転	—	不良				
第167図-2	1535-2	1535-2	D-24	Ⅲa層	98	口縁部	礫やや多量	A	ヨコナデ、斜位ナデ	—	—	—	—	丸組紐(？右巻、？右巻)	斜位回転？	—	不良				
第168図-5	1567-1	1567-1	K-13	Ⅲb層	126	口縁部	礫少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL	横位回転	—	良好				
第168図-10	1567-3	1567-3	K-13	Ⅲb層	58	口縁部	細砂やや多量	A	口縁部はヨコナデ、胴部は斜位ナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体第1類？	斜位回転	？	不良				
第168図-13	1582-1	1582-1	K-13	Ⅲb層	268	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	？	？	？	不良				
第169図-2	1582-2	1582-2	K-13	Ⅲb層	174	口縁部	細砂多量、礫少量	B	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	不良	突起部内面に長楕円状嵌り			
第168図-7	1606-1	1606-1	K-13	Ⅲb層	66	口縁部	礫やや多量	A	ヨコミガキ	—	—	—	—	結束第1種LR、RL	横位回転	突起C→地紋	不良				
第168図-3	1687-1	1687-1	E-21	Ⅲa層	108	底部	礫やや多量	—	？	ナデ	—	—	—	—	—	—	不良				
第165図-8、第163図-11、第165図-12	1706-1A(1706-1)、1706-2、1706-1B(1706-3、1706-4)	1706-1A(1706-1)、1706-2、1706-1B(1706-3、1706-4)	D-22	Ⅲa層	340	口縁部	礫少量	A	ヨコミガキ	—	—	—	—	LR	横位回転、斜位回転	細脚面圧痕→地紋	良好				
第165図-17	1711-1	1711-1	D-22	Ⅲa層	58	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ、指頭圧痕	—	—	—	—	LR	横位回転、斜位回転	—	不良				
第166図-1	1711-2	1711-2	D-22	Ⅲa層	115	口縁部	細砂多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(？、？)	？	？	不良				
第167図-5	1711-4	1711-4	D-22	Ⅲa層	61	口縁部	細砂少量、礫やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	R(LLL)	横位回転	—	不良				
第167図-6	1711-5	1711-5	D-22	Ⅲa層	88	口縁部	細砂多量	A	口縁部はヨコナデ、胴部は斜位ナデ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	不良	表面の摩滅が著しい			
第168図-1	1711-6	1711-6	D-22	Ⅲa層	156	底部	礫少量	—	ナデ	ナデ 網代痕？	—	—	—	ナデ	横位	—	不良				

第12表 遺構外出土器属性表(4)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口唇縁	粘土帯痕上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様		施紋方法	施文順序	焼成	備考
												文様 (原形・施文方法)	文様 (原形・施文方法)	文様 (原形・施文方法)	文様 (原形・施文方法)	地紋	原形・外面調整				
第167図-12	1720-1	1720-1	E-22	IIIa層	79	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ、指頭 頭庄痕	—	—	—	—	—	—	斜位回転	—	不良		
第167図-3	1720-3	1720-3	E-22	IIIa層	67	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ、指頭 頭庄痕	—	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良		
第167図-1	1764-1	1764-1	D-22	IIIa層	124	口縁部	細砂多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	斜位回転?	—	不良		
第164図-6	1780-1	1780-1	B-22	II層	84	底部	細砂多量	A	?	ナデ	?	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい	
第163図-15	1780-2	1780-2	B-22	II層	58	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第170図-12	1791-1	1791-1	K-9	IIIb1層	98	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第165図-13	1793-1	1793-1	D-23	IIIa層	121	口縁部	細砂少量、礫やや多量	A	?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第168図-17	1822-1	1822-1	K-12	IIIb層	50	口縁部	礫少量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好		
第170図-7	1852-1	1852-1	F-21	IIIb層	58	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第168図-11	1852-2	1852-2	F-21	IIIb層	52	口縁部	細砂やや多量	A	?	指頭庄痕	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第168図-6	1872-1	1872-1	L-14	IIIb層	86	口縁部	礫少量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第170図-10	1872-2	1872-2	L-14	IIIb層	130	底部	礫少量	—	?	ナデ	無調整	—	—	—	—	—	—	—	不良	底面の磨減が著しい	
第166図-7	1916-1	1916-1	E-23	IIIa層	206	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい	
第164図-18	1916-2	1916-2	E-23	IIIa層	146	口縁部	礫やや多量、細砂少量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	外面一部剥落	
第164図-9	1916-3	1916-3	E-23	IIIa層	108	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい	
第170図-16	1957-2	1957-2	K-9	IIIb2層	300	口縁部	礫少量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	良好		
第170図-15	1957-3	1957-3	K-9	IIIb2層	66	口縁部	礫少量、細砂やや多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	外面一部剥落
第163図-1	1971-1	1971-1	C-23	II層	144	口縁部	礫多量	B	?	ヨコミガキ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		
第164図-7	1971-4	1971-4	C-23	II層	76	底部	細砂多量	—	?	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第164図-12	1978-1	1978-1	D-23	IIIa層	54	口縁部	礫少量	B	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第169図-1	2005-1	2005-1	E-21	IIIb層	610	口縁部	礫少量、細砂やや多量	A	?	内面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	

第12表 遺構外出土土器属性表(5)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(4)	部位	胎土 混和物・混入物	口唇状 粘土帯積上	内面	底面	口唇部文様 (原体、施文方法)	口縁部文様 (原体、施文方法)	胴部文様帯 文様 (原体、施文方法)	地紋		施紋方法	施文順序	焼成	備考
														原体・外面調整	地紋				
第171図-1	2037-2	2037-2	K-10	Ⅲb2層	56	口縁部 縹や少量、 雲母微量	縹や少量、 雲母微量	A	ヨコナデ	—	突起B(一、 一)	繩面圧痕RL	—	LR、RL	縦位回転	突起B→地紋→ 繩面圧痕	—	不良	
第171図-3	2037-3	2037-3	K-10	Ⅲb2層	53	口縁部 細砂少量	細砂少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	L(RRR)	横位回転	—	—	良好	
第163図-8	2048-4	2048-4	C-23	Ⅱ層	69	口縁部 縹少量	縹少量	B	ヨコミガキ	—	—	貼付(一、 押圧貼付)	—	丸組紐(？、 ？)	？	貼付→地紋	—	良好	
第163図-16	2050-1	2050-1	C-23	Ⅱ層	106	口縁部 縹や少量	縹や少量	A	ヨコナデ	—	—	繩面圧痕LR	—	LR	横位回転	地紋→繩面圧 痕	—	良好	内面一部剥落
第163図-18	2050-2	2050-2	C-23	Ⅱ層	62	口縁部 縹少量、細砂 やや多量	縹少量、細砂 やや多量	A	ヨコナデ	—	キザミA(へ ラ、左→右)	—	—	RL	斜位回転	キザミA→地紋	—	良好	
第163図-17	2050-3	2050-3	C-23	Ⅱ層	57	口縁部 縹少量	縹少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	RL(1結節)	横位回転	—	—	良好	
第164図-3	2054-2	2054-2	E-21	Ⅱ層	63	口縁部 縹少量	縹少量	B	ヨコミガキ	—	—	—	—	LR	縦位回転	—	—	不良	外面に炭化物 付着
第168図-12	2114-1	2114-1	K-13	Ⅲb層	53	口縁部 細砂多量	細砂多量	A	指頭圧痕	—	キザミA(へ ラ、右→左)	—	—	附加条？(軸不明)	？	？	？	不良	
第166図-3	2124-1	2124-1	E-21	Ⅲa層	264	口縁部 縹少量	縹少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸糸体第5類？	斜位回転	？	？	不良	
第167図-14	2124-2	2124-1	E-21	Ⅲa層	58	口縁部 縹多量	縹多量	C	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	不良	
第167図-17	2130-1	2130-1	E-24	Ⅲa層	51	口縁部 縹少量、細砂 やや多量	縹少量、細砂 やや多量	C	ヨコナデ、指 頭圧痕	—	—	—	—	丸組紐(？、 ？)	横位回転	—	—	不良	
第165図-1	2130-2	2130-2	E-24	Ⅲa層	60	口縁部 細砂多量	細砂多量	B	ヨコナデ	—	絡糸体圧痕文 RL	—	—	結束第1種LR、RL	横位回転	地紋→絡糸体圧 痕	不良	波状口縁	
第165図-9	2130-3	2130-3	E-24	Ⅲa層	53	口縁部 縹多量	縹多量	A	？	—	—	横位貼付(一、 押圧貼付、キザミA (へラ、左→右))	—	単軸糸体第5類R	？	押圧貼付→キザ ミA・地紋	不良	外面一部剥落	
第166図-2	2153-1	2153-1	E-21	Ⅲa層	296	口縁部 縹や少量	縹や少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	不良	
第170図-1	2169-1	2169-1	L-12	Ⅲb層	95	口縁部 縹少量、細砂 やや多量	縹少量、細砂 やや多量	A	？	—	—	—	—	LR	斜位回転	—	—	不良	内面一部剥落
第168図-14	2169-2	2169-1A(2169- 1)、2169-1B(2169- 2)	L-12	Ⅲb層	170	口縁部 縹多量	縹多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR	横位回転	—	—	不良	
第168図-16	2169-3	2169-3	L-12	Ⅲb層	59	口縁部 縹少量	縹少量	A	ヨコナデ	—	突起E(一、 一)	—	—	丸組紐(R右巻、L右 巻)	横位回転	突起E→地紋	—	良好	
第171図-2	2194-1	2194-1	K-10	Ⅲb2層	82	口縁部 縹少量、細砂 やや多量	縹少量、細砂 やや多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	L(RRR)	横位回転	—	—	不良	
第166図-4	2252-1	2252-1	D-23	Ⅲa層	176	口縁部 縹少量、縹紐 多量	縹少量、縹紐 多量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸糸体第1類R	口縁部は横位 回転、胴部は 縦位回転	—	—	不良	外面一部剥落
第165図-18	2252-2	2252-2	D-23	Ⅲa層	56	口縁部 縹や少量、 細砂やや多量	縹や少量、 細砂やや多量	A	クテナデ	—	—	—	—	結束第1種LR、RL？	横位回転	—	—	不良	
第166図-6	2272-1	2272-1	E-24	Ⅲa層	108	口縁部 縹や少量	縹や少量	A	ヨコナデ、斜 位ナデ、指頭 圧痕	—	—	横位貼付(一、 押圧貼付、キザミA (指頭？、？)、沈 線(へラ、浅い))	—	単軸糸体第1類R	縦位回転	地紋→横位貼付 →刻みA・沈線	—	不良	外面一部剥落
第167図-10	2272-2	2272-2	E-24	Ⅲa層	54	口縁部 縹や少量	縹や少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸糸体第1類L	斜位回転	—	—	不良	内面一部剥落
第165図-2	2273-1	2273-1	C-21	Ⅲa層	62	口縁部 縹多量	縹多量	A	ヨコナデ	—	突起B？(一、 一)	縦位貼付(一、半 縹ナデ)・沈線(半 炭竹管状工具、一)	—	LR	斜位回転	地紋→縦位貼付 →沈線	—	不良	表面の摩滅が 著しい
第170図-13	2291-1	2291-1	J-12	Ⅲb1層	69	口縁部 縹や少量	縹や少量	A	ヨコナデ	—	—	—	—	LR結節部回転	横位回転	？	？	良好	

第12表 遺構外出土土器属性表(6)

図版No	胴体No	破片No	遺構・グランド	層位	重量 (g)	部位	胎土 混和剤・混入物	口径	粘土帯類上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様		地紋	施紋方法	施文順序	焼成	備考
												文様 (原形・施文方法)	文様 (原形・施文方法)	文様 (原形・施文方法)	文様 (原形・施文方法)	原形・外面調整						
第160図-6	2301-1	2301-1	K-13	Ⅲb層	198	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面の磨減が著しい
第170図-8	2301-2	2301-2	K-13	Ⅲb層	56	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA(へラ、右→左)	—	—	—	—	—	—	?	—	不良	
第169図-9	2324-1	2324-1	K-13	Ⅲb層	124	口縁部	礫少量、細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第163図-6	2326-1	2326-1	E-26	Ⅱ層	52	口縁部	礫少量	A	?	ヨコナデ	—	沈線(半載竹管状工具、—)	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	口縁部内面角に貼付て口唇部を成形
第168図-15	2330-1	2330-1	D-23	Ⅲb層	50	口縁部	細砂やや多量	A	?	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第164図-10	2332-1	2332-1	D-23	Ⅲa層	134	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA(へラ、右→左)	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	捺状把手の可能性がある貼付の副磨減がある、外面一部剥落
第164図-14	2332-2	2332-2	D-23	Ⅲa層	90	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	貼付(—、細線ナデ)、沈線(—、へラ、深い)	—	—	—	—	—	—	—	不良	キヤリバー形
第167図-16	2332-3	2332-3	D-23	Ⅲa層	50	口縁部	礫やや多量、細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	内面の磨減が著しい
第163図-20	2355-2	2355-2	D-22	Ⅱ層	63	口縁部	礫多量	C	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第164図-5	2355-4	2355-4	D-22	Ⅱ層	74	底部	礫多量	—	—	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第164図-16	2484-1	2484-1	F-24	Ⅲa層	57	口縁部	礫少量	A	?	ヨコミガキ	—	突起G(—、—)	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第165図-4	2485-1	2485-1A(2579-1)、2485-1B(2531-1)、2485-1C(2485-5)	D-24	Ⅲa層	225	口縁部	細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	—	貼付(—、細線ナデ)、細側面圧痕(R、—)	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第165図-16	2485-2	2485-2	D-24	Ⅲa層	54	口縁部	細砂やや多量	A	?	ヨコナデ	—	—	横位貼付(—、押圧貼付)、キザミC(右→左)	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第165図-14	2485-3	2485-3	D-24	Ⅲa層	68	口縁部	礫多量	A	?	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第166図-9	2529-1	2529-1	E-24	Ⅲa層	130	口縁部	礫少量、細砂多量、繊維微	A	?	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第165図-7	2530-1	2530-1	D-22	Ⅲa層	61	口縁部	礫少量、細砂多量	B	?	ヨコミガキ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第165図-5	2531-1	2531-1	D-24	Ⅲa層	80	口縁部	礫多量	B	?	口縁部はヨコナデ、胴部はタテナデ	—	—	細側面圧痕LR、絡糸体圧痕?	—	—	—	—	—	—	—	不良	
第164図-11	2540-1	2540-1	C-24	Ⅲa層	54	口縁部	礫少量、細砂多量	A	?	ヨコナデ	—	突起D(—、—)	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	表面の磨減が著しい、外面一部剥落
第167図-24	2548-7	2548-7	C-23	Ⅲa層	77	底部	礫少量	—	?	ナデ	網代痕	—	—	—	—	—	—	—	—	—	良好	
第168図-4	2555-1	2555-1	K-9	Ⅲb層	1,643	口縁部	礫やや多量	A	?	ヨコナデ	—	キザミA(へラ、右→左)、キザミB(へラ、右→左)	—	—	—	—	—	—	—	—	不良	逆U字状貼付(—、押圧貼付)、柳突文(竹管状工具、器面に対して垂直)

第12表 遺構外出土器属性表(7)

図版No	個体No	破片No	遺構・クワット	層位	重量(g)	部位	胎土・混和物	口唇状粘土帯積上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様		胴部文様		地紋		施文順序	焼成	備考	
											文様(原体、施文方法)	文様(原体、施文方法)	文様(原体、施文方法)	文様(原体、施文方法)	丸組紐(？、？)	原体・外面調整						
第168図-9	2565-2	2565-2	K-9	Ⅲb層	62	口縁部	細砂少量	？	ヨコナデ 位ナデ指頭 庄痕	—	—	—	—	—	—	—	—	？	横位貼付→地紋	良好		
第167図-11	2565-1	2565-1	E-22	Ⅲa層	76	口縁部	礫多量	？	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	斜位回転？	—	不良	表面の磨減が著しい	
第167図-20	2574-1	2574-1	C-23	Ⅲa層	57	口縁部	礫少量	？	斜位ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	—	良好		
第168図-12	2578-1	2578-1	B-22	Ⅱ層	85	口縁部	細砂多量	？	？	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	—	不良	内面の磨減が著しい	
第165図-6	2579-1	2579-1	E-25	Ⅲa層	90	口縁部	礫やや多量	？	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	？	不良		
第170図-14	2591-1	2591-1	K-10	Ⅲb1層	98	口縁部	礫多量	？	？	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	地紋→貼付	不良	表面の磨減が著しい、波状口縁？	
第168図-7	2596-1	2596-1	D-25	Ⅱ層	550	口縁部	礫少量、細砂多量	？	？	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	地紋→隆沈線	不良	表面の磨減が著しい	
第169図-7	2646-1	2646-1	E-21	Ⅲb層	60	口縁部	礫少量、細砂多量、繊維少量	？	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	横位回転	—	不良		
第170図-4、 第170図-5、 第170図-6	2646-2	2646-2A (2646-2) 2646-2B (2646-3) 2646-2C (2646-5)	E-21	Ⅲb層	159	口縁部	礫少量、細砂やや多量	？	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	縦位回転	—	不良	波状口縁、外面一部剥落
第170図-11	2646-6	2646-6	E-21	Ⅲb層	118	底部	礫多量	？	ナデ	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不良		

第13表 擬口縁破片属性表

図版No.	個体No.	破片No.	遺構・グリッド	層位	重量(g)	部位	胎土 混和剤・ 混入物	口唇形状	粘土帯積上	内面	底面	口唇部文様		口縁部文様帯	胴部文様帯	地紋 原体	施放方法	施文順序	焼成	備考
												文様(原体、 施文方法)	文様(原体、 施文方法)							
第171図-5	1089-6	1089-6、 1089-7	J-9	包2b層	145	胴部	細砂・礫や 多量	—	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	横位貼付(—、 上下ナデ)、キ ザミ(ヘラ、 左→右)	—	L R (2結節)	縦位回転	地紋→横 位貼付→ キザミ	良好	擬口縁	
第171図-21	1097-1	1097-1	K-9	包3a層	55	胴部	礫少量	—	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?右 巻き、?右巻 き)	?	—	良好	擬口縁	
第171図-10	1137-3	1137-3	K-10	包3b層	31	胴部	礫多量	—	外傾または 内傾	?	—	—	—	—	R L (1結節) ?	横位回転 ?	—	良好	擬口縁	
第171図-11	1137-4	1137-4	K-10	包3b層	20	胴部	礫少量	—	外傾または 内傾	?	—	—	—	—	L R	横位回転、 縦位回転	—	良好	内面剥落、 擬口縁	
第171図-8	1196-5	1196-5	K-10	包3b層	70	胴部	細砂・礫や 多量	—	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体 第5類 (R)	?	—	良好	擬口縁	
第171図-7	1200-11	1200-11	K-9	包3d層	85	胴部	細砂や多 量	—	外傾	タテナデ	—	—	—	—	L R、R L	横位回転、 縦位回転	—	良好	擬口縁	
第171図-20	1407-5	1407-5	L-9	包3a層	31	胴部	礫多量	—	外傾	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?右 巻き、?右巻 き)	?	—	良好	擬口縁	
第171図-18	1450-1	1450-1	K-11	包3e層	14	胴部	細砂・礫や 多量	—	外傾または 内傾	ヨコナデ	—	—	—	—	L R	縦位回転	—	良好	擬口縁	
第171図-19	1924-1	1924-1	K-11	包3e層	12	胴部	細砂・礫や 多量礫少 量	—	外傾または 内傾	ヨコナデ	—	—	—	—	L R	縦位回転	—	良好	擬口縁	
第171図-16 第171図-17	1965-1 (1965-1)、 1965-1B (1965-2)	1965-1	K-9	包1層	29	胴部	礫や多量	—	外傾または 内傾	ヨコナデ	—	—	—	—	L R	縦位回転	—	不良	擬口縁	
第171図-6	1969-1	1969-1	L-10	包3d層	120	胴部	礫多量	—	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	—	—	丸組紐(?右 巻き、?右巻 き)	?	—	不良	擬口縁	
第171図-9	1974-3	1974-3	C-24	Ⅲa層	43	口縁部	礫少量	—	外傾	ヨコナデ	—	—	横位貼付(—、 上下ナデ)、キ ザミ(ヘラ、 器面に対して 垂直)	—	—	横位貼付 →キザミ	良好	外面剥落が 著しい、擬 口縁		
第171図-12	2037-1	2037-1	K-10	Ⅲb2層	18	胴部	細砂少量	—	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	—	—	R L	縦位回転	—	良好	擬口縁	
第171図-4	2205-5	2205-2	K-9	包3c層	355	胴部	礫少量、細 砂多量	—	カマボコ状	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体 第5類 (L)	縦位回転	—	不良	擬口縁	
第171図-13	2257-4	2257-4	L-10	包3d層	18	胴部	細砂・礫多 量	—	外傾	ヨコナデ	—	—	—	—	単軸絡糸体 第5類 (L)	縦位回転 ?	—	良好	擬口縁	
第171図-15	2467-8	2467-8	K-9	包3e層	18	胴部	細砂・礫少 量、雲母少 量	—	カマボコ状	?	—	—	—	—	R L (1結節)	縦位回転	—	良好	内面摩滅、 擬口縁	
第171図-14	2655-17	2655-17	第40号土坑	1層	5	胴部	細砂少量	—	外傾	ヨコナデ	—	—	—	—	—	—	—	良好	外面ヨコナ デ、擬口縁	

第14表 土器収納袋一覽表(1)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1	711	表土	表土	290
2	711	表土	表土	420
3	711	表土	表土	3
4	711	表土	表土	160
5	711	表土	表土	70
6	711	表土	表土	3
7	710	表土	表土	30
8	710	表土	表土	230
9	711	表土	表土	30
10	711	表土	表土	130
11	710	表土	表土	20
12	716	表土	表土	110
13	713	表土	表土	180
14	713	表土	表土	80
15	711	表土	表土	20
16	713	表土	表土	50
17	711	表土	表土	50
18	710	表土	表土	40
19	711	表土	表土	90
20	711	表土	表土	12
21	711	表土	表土	80
22	716	表土	表土	205
23	710	表土	表土	20
24	713	表土	表土	140
25	711	表土	表土	32
26	709	表土	表土	160
27	711	表土	表土	140
28	710	表土	表土	100
29	717	表土	表土	170
30	711	表土	表土	30
31	716	表土	表土	240
32	711	表土	表土	0
33	711	表土	表土	70
34	716	表土	表土	425
35	711	表土	表土	205
36	711	表土	表土	240
37	711	表土	表土	10
38	711	表土	表土	70
39	709	表土	表土	135
40	711	表土	表土	110
41	711	表土	表土	360
42	713	表土	表土	340
43	713	表土	表土	180
44	710	表土	表土	80
45	711	表土	表土	270
46	716	表土	表土	35
47	711	表土	表土	150
48	710	表土	表土	80
49	711	表土	表土	220
50	716	表土	表土	85
51	710	表土	表土	19
52	711	表土	表土	155
53	711	表土	表土	35
54	713	表土	表土	30
55	711	表土	表土	500
56	716	表土	表土	380

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
57	711	表土	表土	160
58	713	表土	表土	20
59	711	表土	表土	50
60	711	表土	表土	90
61	709	表土	表土	430
62	710	表土	表土	10
63	711	表土	表土	45
64	716	表土	表土	640
65	710	表土	表土	55
66	716	表土	表土	20
67	716	表土	表土	570
68	716	表土	表土	5
69	711	表土	表土	94
70	716	表土	表土	6
71	710	表土	表土	585
72	713	表土	表土	67
73	710	表土	表土	90
74	710	表土	表土	280
75	711	表土	表土	525
76	711	表土	表土	314
77	711	表土	表土	885
78	711	表土	表土	1975
79	711	表土	表土	1120
80	711	表土	表土	15
81	711	表土	表土	4
82	711	表土	表土	800
83	711	表土	表土	830
84	709	表土	表土	1190
85	709	表土	表土	490
86	711	表土	表土	1450
87	711	表土	表土	360
88	710	表土	表土	394
89	711	表土	表土	850
90	711	表土	表土	270
91	716	表土	表土	1150
92	716	表土	表土	1250
93	716	表土	表土	290
94	711	表土	表土	1350
95	716	表土	表土	690
96	716	表土	表土	350
97	716	表土	表土	745
98	711	表土	表土	62
99	713	表土	表土	1180
100	716	表土	表土	1670
101	713	表土	表土	1750
102	711	表土	表土	1380
103	710	表土	表土	1120
104	709	表土	表土	390
105	711	表土	表土	580
106	710	表土	表土	985
107	711	表土	表土	18
108	711	表土	表土	315
109	711	表土	表土	110
110	716	表土	表土	153
111	711	表土	表土	10
112	709	表土	表土	440

第14表 土器収納袋一覧表(2)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
113	711	表土	表土	520
114	711	表土	表土	360
115	716	表土	表土	9
116	713	表土	表土	2
117	731	表土	表土	13
118	719	表土	表土	15
119	719	表土	表土	6
120	729	表土	表土	60
121	731	表土	表土	9
122	724	表土	表土	20
123	716	表土	表土	32
124	713	表土	表土	0
125	724	表土	表土	7
126	717	表土	表土	3
127	717	表土	表土	17
128	723	表土	表土	9
129	724	表土	表土	31
130	726	表土	表土	118
131	726	表土	表土	39
132	726	表土	表土	15
133	726	表土	表土	5
134	717	表土	表土	5
135	726	表土	表土	67
136	726	表土	表土	26
137	724	表土	表土	1070
138	724	表土	表土	20
139	724	表土	表土	8
140	717	表土	表土	330
141	711	表土	表土	710
142	724	表土	表土	380
143	716	表土	表土	835
144	716	表土	表土	1210
145	731	表土	表土	0
146	724	表土	表土	122
147	719	表土	表土	80
148	919	表土	表土	980
149	726	表土	表土	200
150	711	表土	表土	50
151	811	表土	表土	68
152	730	表土	表土	760
153	730	表土	表土	8
154	716	表土	表土	12
155	717	表土	表土	308
156	731	表土	表土	125
157	731	表土	表土	200
158	730	表土	表土	5
159	724	表土	表土	665
160	710	表土	表土	60
161	724	表土	表土	140
162	710	表土	表土	1140
163	710	表土	表土	270
164	724	表土	表土	80
165	731	表土	表土	670
166	727	表土	表土	125
167	713	表土	表土	620
168	713	表土	表土	135

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
169	716	表土	表土	215
170	726	表土	表土	170
171	716	表土	表土	625
172	731	表土	表土	160
173	726	表土	表土	1255
174	711	表土	表土	130
175	711	表土	表土	85
176	711	表土	表土	1820
177	717	表土	表土	130
178	724	表土	表土	1065
179	726	表土	表土	575
180	726	表土	表土	635
181	711	表土	表土	15
182	724	表土	表土	235
183	724	表土	表土	300
184	717	表土	表土	1250
185	717	表土	表土	60
186	716	表土	表土	80
187	717	表土	表土	130
188	713	表土	表土	90
189	731	表土	表土	175
190	726	表土	表土	30
191	717	表土	表土	50
192	724	表土	表土	55
193	713	表土	表土	165
194	716	表土	表土	60
195	711	表土	表土	30
196	810	表土	表土	100
197	810	表土	表土	1660
198	810	表土	表土	160
199	823	表土	表土	30
200	717	表土	表土	285
201	725	表土	表土	252
202	719	表土	表土	30
203	723	表土	表土	52
204	不明	表土	表土	3
205	727	表土	表土	155
206	725	表土	表土	12
207	717	表土	表土	9
208	719	表土	表土	660
209	726	表土	表土	71
210	731	表土	表土	57
211	731	表土	表土	51
212	717	表土	表土	680
213	711	表土	表土	405
214	726	表土	表土	960
215	717	表土	表土	865
216	717	表土	表土	60
217	723	表土	表土	95
218	724	表土	表土	90
219	717	表土	表土	60
220	717	表土	表土	95
221	724	表土	表土	340
222	731	表土	表土	65
223	716	表土	表土	110
224	731	表土	表土	20

第14表 土器收納袋一覽表(3)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
225	713	表土	表土	30
226	711	表土	表土	35
227	731	表土	表土	55
228	731	表土	表土	90
229	731	表土	表土	1340
230	717	表土	表土	190
231	802	表土	表土	15
232	807	F-20	Ⅲa層	0
233	807	F-21	Ⅲb層	55
234	807	第8号竪穴住居跡	1層	16
235	807	第9号竪穴住居跡	1層	94
236	802	表土	表土	2
237	802	表土	表土	83
238	807	表土	表土	10
239	730	表土	表土	8
240	730	表土	表土	21
241	730	表土	表土	190
242	730	表土	表土	235
243	730	表土	表土	100
244	730	表土	表土	1630
245	807	表土	表土	23
246	807	表土	表土	50
247	807	表土	表土	120
248	807	表土	表土	118
249	807	表土	表土	1550
250	807	表土	表土	1500
251	806	第9号竪穴住居跡	1層	1180
252	806	第9号竪穴住居跡	1層	61
253	807	表土	表土	190
254	807	表土	表土	120
255	807	第9号竪穴住居跡	1層	14
256	807	表土	表土	1060
257	807	第9号竪穴住居跡	1層	1650
258	807	第9号竪穴住居跡	1層	65
259	807	第9号竪穴住居跡	1層	1420
260	807	第9号竪穴住居跡	1層	1110
261	715	表土	表土	700
262	713	表土	表土	900
263	807	第9号竪穴住居跡	3層	1110
264	716	表土	表土	350
265	807	第7号竪穴住居跡	1層	0
266	807	第9号竪穴住居跡	1層	94
267	807	第9号竪穴住居跡	1層	1310
268	715	表土	表土	100
269	716	表土	表土	2700
270	716	表土	表土	210
271	716	表土	表土	200
272	716	表土	表土	1880
273	725	表土	表土	265
274	716	表土	表土	390
275	716	表土	表土	1900
276	730	表土	表土	260
277	716	表土	表土	100
278	724	表土	表土	250
279	730	表土	表土	170
280	726	表土	表土	370

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
281	725	表土	表土	250
282	726	表土	表土	210
283	725	表土	表土	200
284	711	表土	表土	40
285	725	表土	表土	1020
286	713	表土	表土	140
287	713	表土	表土	1740
288	716	表土	表土	680
289	731	表土	表土	1065
290	711	表土	表土	830
291	806	第9号竪穴住居跡	1層	63
292	720	表土	表土	2240
293	716	表土	表土	80
294	731	表土	表土	95
295	711	表土	表土	20
296	716	表土	表土	20
297	724	表土	表土	50
298	713	表土	表土	35
299	725	表土	表土	25
300	817	第9号竪穴住居跡	1層	5
301	724	表土	表土	20
302	807	第9号竪穴住居跡	1層	232
303	716	表土	表土	255
304	713	表土	表土	180
305	726	表土	表土	200
306	716	表土	表土	17
307	730	表土	表土	110
308	726	表土	表土	2100
309	725	表土	表土	975
310	807	第9号竪穴住居跡	1層	0
311	731	表土	表土	8
312	713	表土	表土	260
313	726	表土	表土	260
314	730	表土	表土	125
315	726	表土	表土	1640
316	810	表土	表土	385
317	810	表土	表土	1250
318	810	表土	表土	730
319	810	表土	表土	708
320	810	表土	表土	940
321	821	D-25	Ⅱ層	280
322	810	表土	表土	1025
323	810	表土	表土	550
324	810	表土	表土	1150
325	810	表土	表土	560
326	820	表土	表土	477
327	810	表土	表土	1630
328	820	表土	表土	1775
329	806	第8号竪穴住居跡	2層	18
330	810	表土	表土	1400
331	810	第4号竪穴住居跡	攪乱	53
332	810	第4号竪穴住居跡	攪乱	0
333	810	第4号竪穴住居跡	攪乱	0
334	810	表土	表土	790
335	810	表土	表土	1100
336	810	表土	表土	535

第14表 土器收納袋一覽表(4)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
337	810	表土	表土	660
338	810	表土	表土	255
339	810	表土	表土	1670
340	820	表土	表土	865
341	810	表土	表土	1110
342	820	表土	表土	915
343	810	表土	表土	294
344	810	表土	表土	595
345	810	表土	表土	0
346	820	表土	表土	550
347	820	表土	表土	1190
348	810	表土	表土	170
349	820	表土	表土	89
350	820	表土	表土	463
351	820	表土	表土	620
352	821	第7号竪穴住居跡	2層	36
353	820	表土	表土	302
354	810	第7号竪穴住居跡	1層	20
355	810	表土	表土	345
356	810	表土	表土	470
357	820	表土	表土	1350
358	810	表土	表土	1620
359	820	表土	表土	220
360	821	第7号竪穴住居跡	床面	50
361	810	表土	表土	2000
362	810	表土	表土	178
363	810	表土	表土	185
364	810	表土	表土	1520
365	820	表土	表土	160
366	820	表土	表土	1380
367	821	表土	表土	202
368	821	表土	表土	590
369	821	表土	表土	1130
370	821	表土	表土	24
371	821	表土	表土	180
372	820	表土	表土	880
373	820	表土	表土	156
374	820	表土	表土	780
375	806	表土	表土	28
376	806	第1号竪穴住居跡	2層	82
377	821	表土	表土	15
378	809	第8号竪穴住居跡	1層	40
379	809	第4号竪穴住居跡	2層	21
380	820	表土	表土	500
381	806	表土	表土	500
382	810	表土	表土	435
383	810	表土	表土	880
384	810	表土	表土	600
385	810	表土	表土	125
386	809	第4号竪穴住居跡	攪乱	90
387	820	表土	表土	57
388	810	表土	表土	242
389	820	表土	表土	52
390	809	第7号竪穴住居跡	2層	59
391	809	第1号竪穴住居跡	1層	71
392	810	第3号竪穴住居跡	1層	49

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
393	809	第1号竪穴住居跡	床面	23
394	808	表土	表土	25
395	820	表土	表土	10
396	820	表土	表土	95
397	810	第3号竪穴住居跡	1層	45
398	806	表土	表土	17
399	806	表土	表土	40
400	820	表土	表土	65
401	820	表土	表土	93
402	820	第3号竪穴住居跡	2層	27
403	821	第7号土坑	2層	27
404	821	第7号竪穴住居跡	2層	8
405	809	第4号竪穴住居跡	攪乱	13
406	821	第10号土坑	1層	38
407	810	表土	表土	43
408	810	表土	表土	95
409	810	表土	表土	20
410	810	表土	表土	270
411	810	表土	表土	30
412	810	表土	表土	350
413	821	表土	表土	20
414	821	表土	表土	6
415	821	表土	表土	10
416	806	表土	表土	3
417	810	表土	表土	250
418	810	表土	表土	160
419	809	第7号土坑	1層	3
420	821	第7号竪穴住居跡	2層	24
421	809	第4号竪穴住居跡	2層	26
422	821	D-25	II層	0
423	810	表土	表土	40
424	810	表土	表土	100
425	820	表土	表土	170
426	810	表土	表土	683
427	809	第4号竪穴住居跡	攪乱	18
428	810	表土	表土	194
429	810	表土	表土	115
430	810	表土	表土	15
431	810	表土	表土	315
432	810	表土	表土	1400
433	810	表土	表土	200
434	724	表土	表土	2500
435	810	表土	表土	220
436	810	表土	表土	585
437	810	表土	表土	400
438	810	表土	表土	120
439	810	表土	表土	840
440	810	表土	表土	360
441	810	表土	表土	375
442	810	表土	表土	940
443	823	E-26	II層	100
444	823	E-26	II層	25
445	823	E-26	II層	390
446	820	表土	表土	115
447	820	表土	表土	380
448	810	表土	表土	250

第14表 土器收納袋一覽表(5)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
449	810	表土	表土	650
450	810	表土	表土	265
451	810	表土	表土	530
452	810	表土	表土	50
453	810	表土	表土	1350
454	820	表土	表土	280
455	820	表土	表土	1080
456	823	E-24	Ⅱ層	160
457	823	E-24	Ⅱ層	266
458	823	E-24	Ⅱ層	1465
459	820	表土	表土	220
460	820	表土	表土	280
461	820	表土	表土	1300
462	810	表土	表土	320
463	810	表土	表土	600
464	810	表土	表土	470
465	820	表土	表土	235
466	820	表土	表土	180
467	820	表土	表土	850
468	823	E-24	Ⅱ層	265
469	823	E-24	Ⅱ層	166
470	823	E-24	Ⅱ層	1600
471	820	表土	表土	360
472	820	表土	表土	60
473	820	表土	表土	225
474	820	表土	表土	175
475	820	表土	表土	840
476	820	表土	表土	78
477	820	表土	表土	220
478	820	表土	表土	1460
479	820	第9号土坑	1層	44
480	820	表土	表土	130
481	820	表土	表土	360
482	823	第1号集石遺構	底面	29
483	823	第1号集石遺構	底面	32
484	810	表土	表土	320
485	810	表土	表土	260
486	810	表土	表土	1200
487	823	第1号集石遺構	底面	303
488	810	表土	表土	290
489	810	表土	表土	710
490	823	表土	表土	15
491	810	表土	表土	950
492	820	表土	表土	10
493	810	表土	表土	280
494	810	表土	表土	300
495	820	表土	表土	270
496	810	表土	表土	1650
497	810	表土	表土	180
498	810	表土	表土	1650
499	823	表土	表土	225
500	810	表土	表土	5
501	820	表土	表土	1110
502	810	表土	表土	800
503	820	表土	表土	960
504	820	表土	表土	1125

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
505	810	表土	表土	1270
506	810	表土	表土	1440
507	820	表土	表土	510
508	810	K-9	包3a層	0
509	810	表土	表土	800
510	820	表土	表土	1040
511	820	表土	表土	250
512	808	表土	表土	1430
513	810	表土	表土	620
514	810	第4号竪穴住居跡	2層	22
515	810	表土	表土	1210
516	810	表土	表土	796
517	810	表土	表土	15
518	810	表土	表土	335
519	823	第1号集石遺構	底面	0
520	810	表土	表土	30
521	823	第1号集石遺構	底面	0
522	810	表土	表土	530
523	810	表土	表土	20
524	810	表土	表土	140
525	823	第1号集石遺構	底面	950
526	810	表土	表土	1740
527	820	表土	表土	180
528	823	E-25	Ⅱ層	260
529	820	表土	表土	1280
530	810	表土	表土	290
531	820	表土	表土	430
532	820	表土	表土	530
533	820	表土	表土	175
534	820	表土	表土	200
535	808	表土	表土	350
536	810	表土	表土	2210
537	820	表土	表土	80
538	820	第9号土坑	底面	0
539	810	表土	表土	8
540	810	表土	表土	1870
541	809	表土	表土	70
542	820	表土	表土	635
543	823	E-25	Ⅱ層	1330
544	810	表土	表土	270
545	820	表土	表土	680
546	820	表土	表土	113
547	820	表土	表土	100
548	810	表土	表土	365
549	810	表土	表土	1360
550	810	表土	表土	740
551	820	表土	表土	235
552	808	表土	表土	150
553	810	表土	表土	316
554	810	表土	表土	530
555	809	第4号竪穴住居跡	2層	28
556	810	表土	表土	600
557	823	E-25	Ⅱ層	14
558	810	表土	表土	250
559	810	表土	表土	340
560	810	表土	表土	560

第14表 土器收納袋一覽表(6)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
561	820	表土	表土	270
562	820	表土	表土	140
563	810	表土	表土	1440
564	810	表土	表土	340
565	810	表土	表土	0
566	810	表土	表土	220
567	809	表土	表土	12
568	809	表土	表土	165
569	810	表土	表土	950
570	810	表土	表土	950
571	809	表土	表土	0
572	820	表土	表土	975
573	810	表土	表土	2100
574	809	第1号竪穴住居跡	2層	22
575	808	表土	表土	55
576	808	表土	表土	70
577	808	表土	表土	105
578	806	第8号竪穴住居跡	1層	43
579	808	表土	表土	1290
580	810	表土	表土	1200
581	820	表土	表土	40
582	820	表土	表土	170
583	820	表土	表土	70
584	829	E-24	II層	318
585	829	E-24	II層	68
586	810	表土	表土	920
587	810	表土	表土	465
588	820	表土	表土	720
589	820	表土	表土	140
590	820	表土	表土	95
591	820	表土	表土	220
592	820	表土	表土	205
593	820	表土	表土	885
594	821	表土	表土	315
595	821	表土	表土	1315
596	821	表土	表土	65
597	806	第1号竪穴住居跡	2層	54
598	806	第1号竪穴住居跡	2層	5
599	807	第1号竪穴住居跡	2層	0
600	807	第1号竪穴住居跡	1層	30
601	808	表土	表土	275
602	808	表土	表土	110
603	808	表土	表土	1365
604	809	第7号竪穴住居跡	1層	117
605	809	表土	表土	70
606	809	表土	表土	20
607	809	表土	表土	150
608	809	表土	表土	35
609	809	表土	表土	200
610	809	表土	表土	160
611	809	表土	表土	980
612	810	表土	表土	700
613	810	表土	表土	595
614	809	第4号竪穴住居跡	床面	36
615	820	表土	表土	1660
616	820	D-24	II層	1900

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
617	810	表土	表土	975
618	820	表土	表土	340
619	810	表土	表土	438
620	820	表土	表土	74
621	820	D-24	II層	140
622	810	表土	表土	220
623	820	表土	表土	1310
624	820	表土	表土	425
625	820	表土	表土	178
626	820	表土	表土	110
627	820	表土	表土	1820
628	820	表土	表土	340
629	808	表土	表土	1785
630	808	表土	表土	130
631	809	表土	表土	2325
632	809	表土	表土	300
633	809	表土	表土	200
634	808	表土	表土	218
635	810	表土	表土	1223
636	810	表土	表土	476
637	820	表土	表土	1590
638	810	表土	表土	452
639	820	表土	表土	120
640	820	表土	表土	80
641	820	表土	表土	198
642	820	表土	表土	254
643	810	表土	表土	130
644	820	表土	表土	1615
645	820	表土	表土	890
646	903	表土	表土	0
647	820	表土	表土	80
648	820	表土	表土	200
649	809	表土	表土	800
650	820	表土	表土	300
651	810	表土	表土	1900
652	809	表土	表土	1060
653	903	表土	表土	25
654	806	表土	表土	70
655	806	表土	表土	1290
656	806	表土	表土	150
657	809	表土	表土	11
658	809	表土	表土	340
659	820	表土	表土	75
660	821	C-25	II層	350
661	821	C-25	II層	1240
662	820	表土	表土	1720
663	821	C-25	II層	127
664	820	表土	表土	180
665	820	表土	表土	1700
666	807	表土	表土	1870
667	807	表土	表土	260
668	807	表土	表土	160
669	820	表土	表土	352
670	820	表土	表土	310
671	820	表土	表土	276
672	820	表土	表土	870

第14表 土器収納袋一覽表(7)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
673	820	表土	表土	0
674	809	表土	表土	1680
675	809	表土	表土	720
676	809	表土	表土	50
677	809	表土	表土	57
678	809	表土	表土	615
679	810	表土	表土	238
680	810	表土	表土	71
681	809	表土	表土	350
682	809	表土	表土	58
683	810	表土	表土	460
684	810	表土	表土	130
685	820	表土	表土	1095
686	810	表土	表土	240
687	820	表土	表土	370
688	820	表土	表土	260
689	820	表土	表土	1320
690	820	表土	表土	35
691	808	表土	表土	260
692	820	表土	表土	36
693	808	表土	表土	270
694	820	表土	表土	0
695	808	表土	表土	115
696	809	表土	表土	210
697	809	表土	表土	70
698	820	表土	表土	83
699	809	表土	表土	162
700	809	表土	表土	1330
701	809	表土	表土	1430
702	809	表土	表土	560
703	810	表土	表土	1300
704	810	表土	表土	105
705	810	表土	表土	1000
706	808	表土	表土	1665
707	808	表土	表土	115
708	808	表土	表土	155
709	810	表土	表土	1060
710	810	表土	表土	92
711	810	表土	表土	292
712	808	表土	表土	360
713	808	表土	表土	2250
714	808	表土	表土	150
715	810	表土	表土	2220
716	810	表土	表土	265
717	809	表土	表土	0
718	810	表土	表土	295
719	809	表土	表土	235
720	806	G-20	Ⅲb層	31
721	809	表土	表土	320
722	809	表土	表土	140
723	806	G-20	Ⅲb層	560
724	809	表土	表土	580
725	809	表土	表土	1720
726	809	表土	表土	175
727	806	F-20	Ⅲb層	550
728	806	F-21	Ⅲb層	25

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
729	806	F-22	Ⅲb層	11
730	809	表土	表土	250
731	809	表土	表土	1540
732	809	表土	表土	110
733	810	表土	表土	60
734	810	表土	表土	790
735	810	表土	表土	168
736	810	表土	表土	860
737	810	表土	表土	1580
738	810	表土	表土	100
739	809	表土	表土	70
740	809	表土	表土	185
741	809	表土	表土	85
742	820	表土	表土	234
743	820	表土	表土	47
744	810	表土	表土	1430
745	810	表土	表土	1330
746	810	表土	表土	520
747	810	表土	表土	520
748	810	表土	表土	245
749	809	表土	表土	850
750	820	表土	表土	126
751	820	表土	表土	1140
752	820	表土	表土	312
753	809	表土	表土	1240
754	808	表土	表土	35
755	808	表土	表土	100
756	809	表土	表土	1745
757	829	第1号集石遺構	底面	394
758	808	表土	表土	820
759	829	第1号集石遺構	底面	10
760	810	表土	表土	78
761	810	表土	表土	222
762	810	表土	表土	1730
763	820	表土	表土	210
764	810	表土	表土	432
765	820	表土	表土	980
766	810	表土	表土	1010
767	810	表土	表土	340
768	810	表土	表土	238
769	810	表土	表土	20
770	829	E-25	Ⅱ層	18
771	829	E-25	Ⅱ層	0
772	810	表土	表土	1320
773	809	表土	表土	18
774	820	表土	表土	336
775	820	表土	表土	278
776	807	表土	表土	60
777	807	表土	表土	110
778	809	表土	表土	860
779	820	表土	表土	1700
780	806	表土	表土	27
781	809	表土	表土	90
782	806	E-20	Ⅲa層	59
783	810	表土	表土	1720
784	820	表土	表土	480

第14表 土器収納袋一覽表(8)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
785	820	表土	表土	1220
786	829	E-25	II層	1090
787	807	表土	表土	1450
788	806	表土	表土	610
789	809	表土	表土	1490
790	717	表土	表土	100
791	717	表土	表土	30
792	810	表土	表土	274
793	810	表土	表土	300
794	810	表土	表土	200
795	810	表土	表土	264
796	717	表土	表土	2810
797	820	表土	表土	50
798	810	表土	表土	2000
799	810	表土	表土	1310
800	810	表土	表土	136
801	809	表土	表土	2110
802	809	表土	表土	156
803	809	表土	表土	405
804	809	表土	表土	340
805	907	K-10	包2b層	900
806	809	表土	表土	1340
807	906	K-9	包1層	98
808	906	K-10	包2b層	970
809	910	B-23	II層	850
810	907	K-10	包2b層	600
811	907	K-10	包2b層	0
812	906	K-10	包2b層	1230
813	810	表土	表土	1790
814	905	第9号竪穴住居跡	1層	230
815	906	K-10	包2b層	204
816	906	L-10	包2b層	68
817	905	K-10	包2b層	76
818	905	K-10	包2b層	580
819	906	L-10	包2b層	760
820	906	K-9	包1層	280
821	906	K-9	包1層	150
822	809	表土	表土	310
823	906	K-10	包2b層	118
824	905	第9号竪穴住居跡	1層	53
825	913	表土	表土	312
826	913	表土	表土	890
827	906	K-10	包2b層	1100
828	913	表土	表土	186
829	906	K-9	包1層	1580
830	906	第9号竪穴住居跡	2層	820
831	906	L-9	包1層	710
832	905	K-10	包2b層	110
833	910	B-23	II層	70
834	906	L-9	包1層	1290
835	810	表土	表土	138
836	906	K-10	包2b層	192
837	906	K-10	包2b層	860
838	906	K-10	包2b層	120
839	903	K-10	包2b層	0
840	907	K-10	包2b層	1000

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
841	912	第9号竪穴住居跡	4層	590
842	906	L-10	包2b層	250
843	912	第9号竪穴住居跡	4層	38
844	906	L-10	包2b層	469
845	912	第9号竪穴住居跡	4層	88
846	905	第9号竪穴住居跡	2層	320
847	906	第9号竪穴住居跡	2層	103
848	906	第9号竪穴住居跡	2層	1470
849	810	表土	表土	240
850	910	D-23	II層	1180
851	910	B-23	II層	166
852	910	B-23	II層	42
853	907	K-10	包2b層	0
854	910	B-23	II層	1550
855	906	K-10	包2b層	0
856	906	L-9	包1層	2740
857	907	K-10	包2b層	1410
858	906	第9号竪穴住居跡	3層	570
859	906	第9号竪穴住居跡	3層	0
860	906	K-10	包2b層	440
861	906	K-10	包2b層	0
862	906	第9号竪穴住居跡	3層	33
863	906	第9号竪穴住居跡	3層	56
864	906	第9号竪穴住居跡	3層	1610
865	906	K-10	包2b層	82
866	906	第9号竪穴住居跡	2層	82
867	906	K-10	包2b層	910
868	910	C-23	II層	48
869	906	第9号竪穴住居跡	3層	59
870	906	第9号竪穴住居跡	4層	77
871	906	K-10	包2b層	144
872	906	K-10	包2b層	30
873	905	E-24	II層	6
874	910	C-23	II層	76
875	905	E-24	II層	55
876	906	L-9	包1層	20
877	906	K-9	包1層	1160
878	906	第9号竪穴住居跡	4層	1220
879	907	K-10	包2b層	250
880	906	K-9	包1層	130
881	906	L-10	包2b層	143
882	906	K-9	包1層	30
883	906	L-9	包1層	730
884	906	L-10	包2b層	238
885	907	K-10	包2b層	0
886	910	C-23	II層	780
887	906	K-10	包2b層	1250
888	810	表土	表土	260
889	906	第9号竪穴住居跡	3層	400
890	906	K-10	包2b層	170
891	910	B-23	II層	60
892	906	第9号竪穴住居跡	2層	28
893	906	第9号竪穴住居跡	3層	30
894	906	L-9	包1層	116
895	905	第9号竪穴住居跡	1層	20
896	910	D-23	II層	100

第14表 土器收納袋一覽表(9)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
897	906	K-10	包2b層	320
898	912	第6号竪穴住居跡	1層	229
899	905	第9号竪穴住居跡	2層	8
900	910	D-23	Ⅱ層	136
901	912	第6号竪穴住居跡	床面	0
902	905	E-24	Ⅱ層	38
903	905	第9号竪穴住居跡	2層	40
904	907	K-10	包2b層	25
905	806	K-10	包2b層	150
906	906	第9号竪穴住居跡	2層	0
907	906	K-9	包1層	90
908	906	L-10	包2b層	162
909	906	第9号竪穴住居跡	4層	116
910	907	K-10	包2b層	70
911	717	表土	表土	45
912	810	表土	表土	24
913	906	K-10	包2b層	540
914	912	D-22	Ⅲa層	640
915	906	第9号竪穴住居跡	2層	1060
916	906	K-10	包2b層	290
917	906	表土	表土	15
918	906	第9号竪穴住居跡	5層	31
919	906	第9号竪穴住居跡	5層	124
920	906	表土	表土	110
921	906	表土	表土	10
922	906	第4号竪穴住居跡	貼床	47
923	923	第7号竪穴住居跡	貼床	16
924	906	K-10	包2b層	1310
925	906	第9号竪穴住居跡	5層	1000
926	912	D-22	Ⅲa層	65
927	806	表土	表土	320
928	810	表土	表土	324
929	810	表土	表土	780
930	810	表土	表土	1630
931	820	表土	表土	345
932	810	表土	表土	515
933	806	表土	表土	1160
934	806	表土	表土	385
935	810	表土	表土	370
936	810	表土	表土	1250
937	820	表土	表土	50
938	820	表土	表土	1430
939	810	表土	表土	120
940	820	表土	表土	20
941	810	表土	表土	980
942	820	表土	表土	60
943	810	表土	表土	270
944	806	表土	表土	210
945	806	表土	表土	1485
946	806	表土	表土	130
947	820	表土	表土	182
948	820	表土	表土	61
949	820	表土	表土	1060
950	820	表土	表土	1000
951	906	表土	表土	18
952	906	表土	表土	10

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
953	820	表土	表土	390
954	906	K-10	包2b層	137
955	906	第9号竪穴住居跡	2層	118
956	912	D-22	Ⅲa層	175
957	820	表土	表土	406
958	810	表土	表土	110
959	906	第9号竪穴住居跡	2層	34
960	906	K-10	包2b層	150
961	906	K-10	包2b層	90
962	906	K-10	包2b層	1820
963	806	第4号土坑	2層	7
964	823	E-24	Ⅱ層	60
965	925	L-9	包2a層	20
966	914	表土	表土	50
967	919	D-24	Ⅲb層	15
968	1009	第77号土坑	1層	4
969	1009	L-10	包2b層	8
970	809	第7号竪穴住居跡	2層	12
971	906	J-9	包2b層	23
972	1009	第83号土坑	1層	27
973	907	表土	表土	15
974	906	第9号竪穴住居跡	3層	26
975	821	D-25	Ⅱ層	26
976	905	E-26	Ⅱ層	31
977	821	表土	表土	6
978	927	K-9	包2a層	12
979	927	K-9	包2a層	8
980	809	表土	表土	108
981		第25号土坑	1層	41
982	810	表土	表土	16
983	809	表土	表土	50
984	810	表土	表土	17
985	809	表土	表土	9
986	810	表土	表土	7
987	903	表土	表土	5
988	809	表土	表土	17
989		表土	表土	17
990	910	第6号竪穴住居跡	2層	10
991	907	第2号竪穴住居跡	1層	14
992	905	第10号竪穴住居跡	2層	8
993	717	表土	表土	17
994	910	C-23	Ⅱ層	51
995	905	L-9	包1層	9
996	806	表土	表土	6
997	717	表土	表土	36
998	823	E-26	Ⅱ層	17
999	920	C-25	Ⅲb層	14
1000	927	K-9	包2a層	35
1001	809	表土	表土	9
1002	918	L-2	北包1層	60
1003	1016	K-9	包3c層	15
1004	1017	K-10	包3c層	11
1005	1023	J-11	包3e層	90
1006	1012	K-8	包2a層	40
1007	1012	K-8	包2a層	13
1008	1015	K-10	包3b層	26

第14表 土器收納袋一覽表(10)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1009	1012	L-9	包2a層	11
1010	1012	L-9	包2a層	12
1011	1021	K-9	Ⅲb1層	12
1012	1012	K-9	Ⅲb1層	66
1013	1018	表土	表土	176
1014	1017	K-9	包1層	5
1015	1016	E-23	Ⅱ層	22
1016	1012	L-9	包2a層	12
1017	1016	E-23	Ⅱ層	515
1018	1018	表土	表土	44
1019	1018	K-11	包3e層	29
1020	1017	K-8	包3e層	12
1021	1017	K-8	包3e層	0
1022	1021	J-8	Ⅲb2層	85
1023	1018	表土	表土	8
1024	1021	J-8	Ⅲb層	10
1025	1016	E-23	Ⅱ層	66
1026	1015	K-9	包3a層	15
1027	1018	J-10	包3d層	15
1028	1012	K-10	包3b層	11
1029	1026	K-9	包3a層	21
1030	1025	K-10	Ⅲb層	20
1031	1025	J-10	Ⅲb2層	6
1032	1012	L-9	包3a層	6
1033	1024	表土	表土	25
1034	1024	K-9	包3a層	12
1035	1024	表土	表土	60
1036	1024	K-10	包3b層	30
1037	1024	K-11	Ⅲb2層	23
1038	1024	K-10	Ⅲb2層	15
1039	1024	K-11	Ⅲb1層	16
1040	1024	J-11	Ⅲb2層	8
1041	1024	K-10	Ⅲb1層	25
1042	1012	表土	表土	41
1043	1024	K-10	包2b層	4
1044	1024	L-10	包2b層	4
1045	926	L-9	包2a層	1745
1046	809	表土	表土	2294
1047	907	B-22	Ⅱ層	2316
1048	904	L-9	包1層	1180
1049	809	表土	表土	1990
1050	910	D-22	Ⅱ層	1770
1051	1009	表土	表土	258
1052	1017	K-8	包3e層	2296
1053	1012	K-8	包2a層	1830
1054	926	L-9	包2a層	1636
1055	809	表土	表土	2250
1056	907	D-22	Ⅱ層	2476
1057	907	B-20	Ⅲa層	1898
1058	907	D-22	Ⅱ層	1640
1059	1012	K-10	包2b層	1899
1060	1012	L-9	包2a層	1701
1061	910	E-21	Ⅱ層	1989
1062	910	C-22	Ⅱ層	2143
1063	905	第9号竪穴住居跡	1層	2614
1064	1024	L-10	包3b層	1248

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1065	1022	K-12	包3e層	650
1066	1018	K-10	包3e層	48
1067	1012	L-10	包3d層	907
1068	809	表土	表土	1470
1069	1018	J-11	包3e層	1080
1070	803	表土	表土	2660
1071	926	L-9	包2a層	1676
1072	905	L-10	包2b層	2159
1073	905	K-10	包2b層	1543
1074	1012	K-8	包2a層	2135
1075	910	E-22	Ⅱ層	2385
1076	910	E-22	Ⅱ層	1967
1077	1024	L-10	包2b層	2705
1078	927	K-8	包2a層	1539
1079	1024	K-9	包3a層	2482
1080	910	E-23	Ⅱ層	2204
1081	1015	K-9	包3b層	723
1082	919	K-9	Ⅲb層	595
1083	1018	K-9	包3e層	1960
1084	912	第9号竪穴住居跡	2層	773
1085	1015	J-9	包2b層	66
1086	809	表土	表土	1160
1087	920	D-22	Ⅲa層	1390
1088	1015	K-11	包3b層	490
1089	904	J-9	包2b層	2157
1090	925	L-9	包2a層	2128
1091	920	D-22	Ⅲa層	1937
1092	918	表土	表土	956
1093	1018	K-8	包3e層	1854
1094	1024	J-10	包3e層	1828
1095	1024	K-9	包3a層	1684
1096	1024	K-10	包3b層	90
1097	1024	K-9	包3a層	570
1098	1010	K-9	包3e層	1590
1099	1024	K-9	包3a層	715
1100	1016	K-9	包3c層	1320
1101	1022	K-11	包3e層	1865
1102	1024	L-10	Ⅲb層	1910
1103	1024	K-9	包3a層	1230
1104	1024	K-9	包3a層	460
1105	809	表土	表土	1460
1106	1017	K-9	包3e層	1620
1107	1021	J-10	包3e層	130
1108	1021	L-9	Ⅲb層	2020
1109	1022	K-11	包3e層	873
1110	1024	K-10	包3b層	1693
1111	927	E-25	Ⅲb層	844
1112	1024	L-9	包3a層	2400
1113		表土	表土	0
1114	1003	K-9	包2b層	400
1115	1024	K-9	包3a層	1062
1116	1024	K-10	包2b層	1593
1117	1024	K-9	包3a層	1480
1118	1017	J-11	包3e層	1466
1119	1017	K-9	包3e層	983
1120	1024	K-9	包3a層	1390

第14表 土器収納袋一覽表(11)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1121	1022	K-10	Ⅲb2層	420
1122	1024	K-9	包3a層	1024
1123	1021	表土	表土	415
1124	914	第25号土坑	3層	419
1125	920	第3号焼土・炭化物集中区	焼土	92
1126	1024	K-11	包3b層	27
1127	920	第9号竪穴住居跡	カマド	323
1128		表土	表土	212
1129	919	第52号土坑	1層	36
1130	912	第2号竪穴住居跡	1層	27
1131	927	第4号焼土・炭化物集中区	焼土	64
1132	1025	K-10	包3c層	1362
1133	1024	K-9	包3a層	575
1134	919	D-22	Ⅲa層	1150
1135	1017	J-9	包3e層	1400
1136	1004	K-8	包3a層	975
1137	1024	K-10	包3b層	1754
1138	1004	K-8	包3b層	0
1139	919	第49号土坑	1層	224
1140	919	第49号土坑	2層	203
1141	928	表土	表土	190
1142	919	第50号土坑	1層	70
1143		表土	表土	0
1144	904	表土	表土	245
1145	820	第4号竪穴住居跡	床面	0
1146	1021	第13号土坑	2層	27
1147	1024	K-10	包3b層	30
1148	1003	12住 P2	p2	32
1149	1024	K-10	包3b層	1894
1150	1017	K-9	包3e層	170
1151	907	K-10	包2b層	1070
1152	1024	L-9	包3a層	960
1153	1022	K-10	包3e層	530
1154	1025	K-10	包3c層	540
1155	920	J-12	包3e層	95
1156	914	第6号竪穴住居跡	床面	252
1157	928	第71号土坑	1層	108
1158	919	第53号土坑	1層	11
1159	919	第3号焼土・炭化物集中区	焼土	43
1160	806	表土	表土	70
1161	1012	J-8	包3a層	1380
1162	1009	L-9	包1層	860
1163	1012	L-9	包3a層	1300
1164	1012	K-9	包3a層	1280
1165	1012	K-8	包2a層	2300
1166	1022	K-12	包3e層	1833
1167	1024	L-9	包3a層	1325
1168	1017	K-10	包3c層	1060
1169	920	第9号竪穴住居跡	カマド	246
1170	1025	K-10	Ⅲb1層	502
1171	1012	K-9	包3a層	1782
1172	1016	L-12	Ⅲb層	1855
1173	1017	K-9	包3d層	1010
1174	1012	L-9	包2a層	1912
1175	726	表土	表土	2280
1176	1009	L-10	包2b層	1281

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1177	1015	K-9	包3a層	400
1178	1024	K-9	包3a層	2192
1179	1015	J-12	包3e層	450
1180	1018	J-12	包3e層	680
1181	1023	J-9	Ⅲb2層	140
1182	1021	K-9	Ⅲb2層	180
1183	1018	K-9	包3e層	1355
1184	928	E-25	Ⅲa層	1477
1185	1017	K-9	包3e層	1380
1186	926	D-23	Ⅲb層	1082
1187	926	L-10	包3d層	755
1188	1024	J-10	Ⅲb2層	53
1189	1023	J-8	Ⅲb2層	196
1190	1016	J-8	包3d層	1071
1191	1016	K-9	包3c層	820
1192	1016	K-9	包3c層	340
1193	1017	K-9	包3d層	400
1194	1002	K-9	包2b層	2400
1195	1003	L-10	包2b層	1531
1196	1012	K-10	包3b層	1694
1197	1015	K-9	包3c層	1260
1198	1012	L-10	包3b層	500
1199	1018	K-11	包3e層	240
1200	1016	K-9	包3d層	1516
1201	914	表土	表土	1956
1202	1009	L-9	包1層	1320
1203	1015	L-9	包3a層	565
1204	1023	K-12	Ⅲb1層	1444
1205	1023	K-11	包3e層	306
1206	1015	J-8	包3a層	1590
1207	1017	J-10	包3d層	543
1208	1015	K-9	包3a層	1570
1209	1017	J-9	包3e層	953
1210	1009	K-10	包2b層	1867
1211	1017	K-10	包3c層	610
1212	1009	第5号・焼土・炭化物集中区	焼土	2958
1213	1017	K-10	包3c層	1250
1214	1009	K-10	包2b層	140
1215	1009	L-10	包3d層	1550
1216	925	L-9	包2a層	1952
1217	1024	K-9	包3a層	0
1218	1015	K-9	包3a層	235
1219	1012	K-8	包2a層	1757
1220	1012	K-10	包3c層	1414
1221	1016	K-9	包3c層	2253
1222	1016	K-9	包3d層	1376
1223	1012	L-9	包2a層	1024
1224	1018	K-9	包3e層	1492
1225	1012	L-9	包3a層	1647
1226	919	第46号土坑	1層	102
1227	1024	K-11	Ⅲb2層	81
1228	928	E-25	Ⅲa層	2014
1229	905	J-9	包2b層	1507
1230	1012	L-10	包2b層	977
1231	1024	K-10	包2b層	1170
1232	1004	K-8	包3a層	2058

第14表 土器収納袋一覽表(12)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1233	1009	K-10	包2b層	1200
1234	1024	J-10	包3d層	325
1235	919	第2号集石遺構	底面	360
1236	1003	第74号土坑	1層	204
1237	1009	L-10	包2b層	26
1238	1025	K-10	Ⅲb1層	440
1239	1025	K-10	包3c層	80
1240	1012	L-9	包3c層	350
1241	1016	K-9	包3c層	1220
1242	919	D-23	Ⅲa層	2180
1243	1018	K-10	包3e層	2096
1244	1024	K-10	包2b層	1650
1245	1015	K-9	包3c層	0
1246	1025	K-9	包3c層	1485
1247	903	K-10	包2b層	464
1248	907	K-10	包2b層	1025
1249	1024	K-9	包3a層	324
1250	904	第8号竪穴住居跡	貼床	175
1251	918	第40号土坑	1層	197
1252	912	表土	表土	1350
1253	1007	表土	表土	300
1254	1024	表土	表土	130
1255	1009	表土	表土	110
1256	830	第4号竪穴住居跡	攪乱	95
1257	912	第6号竪穴住居跡	床面	120
1258	1009	表土	表土	160
1259	1025	K-10	包3c層	120
1260	1009	第76号土坑	2層	69
1261	905	表土	表土	70
1262	905	第9号竪穴住居跡	4層	19
1263	1017	J-10	包3d層	140
1264	903	第7号竪穴住居跡	床面	63
1265	914	第6号竪穴住居跡	1層	91
1266	821	第16号土坑	1層	0
1267	1009	第81号土坑	1層	27
1268	829	D-25	Ⅲa層	90
1269	1009	第12号土坑	1層	52
1270	1009	第79号土坑	1層	79
1271	903	第3号竪穴住居跡	カマド	35
1272	1009	第83号土坑	1層	43
1273	905	第7号竪穴住居跡	貼床	30
1274	1003	第12号竪穴住居跡	床面	12
1275	917	第38号土坑	1層	0
1276	809	第4号竪穴住居跡	2層	20
1277	1009	第75号土坑	1層	21
1278	831	表土	表土	55
1279	1007	第84号土坑	1層	22
1280	830	第4号竪穴住居跡	床面	30
1281	1009	第86号土坑	1層	26
1282	1009	第19号土坑	1層	47
1283	1009	第78号土坑	1層	17
1284	914	第6号竪穴住居跡	床面	26
1285	1009	表土	表土	9
1286	1025	K-9	包3c層	950
1287	1024	K-10	包3b層	1714
1288	1015	K-9	包2b層	342

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1289	907	K-10	包2b層	980
1290	907	第9号竪穴住居跡	5層	417
1291	1009	L-10	包2b層	1669
1292	1004	K-11	Ⅲb層	867
1293	1009	K-10	包2b層	488
1294	1003	K-10	包2b層	1340
1295	1009	K-10	包2b層	280
1296	1004	K-8	包3a層	1171
1297	1004	K-8	包2b層	1600
1298	1018	K-8	包3e層	2216
1299	1016	K-9	包3c層	1796
1300	905	表土	表土	580
1301	907	E-22	Ⅲa層	2069
1302	1009	L-10	包2b層	363
1303	927	K-8	包2a層	840
1304	1009	K-10	包2b層	0
1305	1009	K-10	包2b層	1799
1306	1012	J-8	包3a層	176
1307	723	表土	表土	54
1308	907	表土	表土	152
1309	919	第51号土坑	1層	140
1310	809	表土	表土	184
1311	1024	K-12	包3e層	90
1312	1009	K-10	Ⅲb層	850
1313	1012	K-10	包2b層	1190
1314	926	L-9	包2a層	1296
1315	927	K-8	包2a層	1752
1316	807	第9号竪穴住居跡	1層	730
1317	1012	K-9	包1層	1755
1318	1009	K-10	包2b層	1275
1319	1009	L-10	包2b層	250
1320	1024	K-9	包3a層	400
1321	1012	K-10	包3b層	1240
1322	1024	K-10	包2b層	1927
1323	1009	L-10	包2b層	218
1324	1015	K-10	包3b層	1814
1325	1025	K-9	包3a層	320
1326	1012	K-10	包3b層	1183
1327	1009	L-10	包2b層	1358
1328	1009	L-9	包1層	2160
1329	1012	L-10	包3d層	1486
1330	1024	L-10	Ⅲb層	1629
1331	926	D-25	Ⅲa層	2647
1332	905	K-9	包3d層	1340
1333	1012	K-9	包3a層	1958
1334	1017	K-8	包3e層	1240
1335	1009	K-10	包2b層	1759
1336	927	K-8	包2a層	1281
1337	907	K-10	包2b層	1537
1338	917	表土	表土	1695
1339	919	D-24	Ⅲa層	570
1340	1015	K-9	包3c層	1310
1341	907	第9号竪穴住居跡	3層	819
1342	927	K-8	包2a層	1640
1343	925	J-13	包3e層	824
1344	925	L-9	包2a層	1653

第14表 土器収納袋一覽表(13)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1345	1009	K-9	包2a層	1281
1346	1025	K-10	包3c層	1204
1347	1012	K-9	包3a層	1843
1348	925	L-9	包2a層	1229
1349	1012	L-9	包3a層	1558
1350	926	J-13	包3e層	1446
1351	1017	J-10	包3d層	1030
1352	1012	K-9	包3a層	1225
1353	1012	L-9	包3a層	1315
1354	1015	K-9	包3c層	1450
1355	1003	第12号竪穴住居跡	1層	24
1356	1009	L-9	包1層	1936
1357	809	表土	表土	1830
1358	803	表土	表土	1010
1359	803	表土	表土	640
1360	914	表土	表土	832
1361	1012	K-10	包3b層	100
1362	810	第7号竪穴住居跡	2層	181
1363	820	表土	表土	164
1364	809	表土	表土	12
1365	1015	K-15	Ⅲb層	346
1366	917	表土	表土	312
1367	1016	K-8	包3c層	1727
1368	1017	K-10	包3c層	940
1369	1016	K-9	包3c層	1200
1370	1016	K-9	包3c層	1013
1371	914	第32号土坑	1層	54
1372	926	D-21	Ⅲa層	1580
1373	1017	K-10	包3c層	1079
1374	1016	K-8	包3c層	352
1375	1016	K-9	包3c層	1450
1376	1016	K-9	包3c層	625
1377	926	K-10	包3c層	270
1378	918	第44号土坑	1層	158
1379	919	L-2	北包2層	170
1380	1017	K-10	包3c層	1000
1381	1012	K-9	包3a層	778
1382	1016	K-10	包3c層	748
1383	1012	L-10	包2b層	1762
1384	1016	K-9	包3c層	945
1385	1022	K-12	包3e層	940
1386	1012	L-9	包3a層	715
1387	1018	D-19	Ⅲb層	1268
1388	1017	K-10	包3c層	1528
1389	1017	K-10	包3c層	725
1390	809	表土	表土	1680
1391	926	D-21	Ⅲa層	1926
1392	1015	K-9	包3b層	2173
1393	920	C-23	Ⅲa層	1816
1394	1016	K-10	包3c層	730
1395	914	表土	表土	964
1396	1017	K-11	包3e層	130
1397	802	表土	表土	590
1398	1013	表土	表土	855
1399	803	D-25	Ⅲa層	550
1400	809	表土	表土	360

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1401	803	D-24	Ⅱ層	655
1402	926	L-9	包3a層	110
1403	914	第6号竪穴住居跡	1層	39
1404	1001	第5号・焼土・炭化物集中区	焼土	76
1405	917	第40号土坑	1層	192
1407	1015	L-9	包3a層	1310
1408	1017	L-10	包3d層	2149
1409	1015	K-10	包3e層	1576
1410	1015	K-9	包3d層	1524
1411	1017	K-10	包3c層	1140
1412	809	表土	表土	1940
1413	820	表土	表土	1140
1414	820	表土	表土	1540
1415	1003	K-10	包2b層	881
1416	1024	K-10	包3b層	1815
1417	1003	L-10	包2b層	1599
1418	1024	K-10	包3c層	801
1419	1024	K-10	Ⅲb層	840
1420	1024	J-11	Ⅲb2層	360
1421	1024	K-10	包3b層	300
1422	928	B-21	Ⅲa層	190
1423	716	表土	表土	210
1424	903	E-25	Ⅱ層	770
1425	806	表土	表土	1910
1426	810	表土	表土	1780
1427	1018	表土	表土	2435
1428	1017	K-8	包3e層	638
1429	1017	J-9	包3d層	805
1430	1016	K-9	包3c層	1100
1431	1017	J-9	包3d層	1954
1432	802	表土	表土	9
1433	809	表土	表土	1220
1434	731	表土	表土	980
1435	713	表土	表土	120
1436	1023	K-11	包3e層	1601
1437	1004	K-9	包2b層	940
1438	919	D-23	Ⅲa層	1983
1439	807	表土	表土	1090
1440	1015	K-9	包3c層	1669
1441	802	表土	表土	2215
1442	1015	K-9	包3c層	1898
1443	1018	K-8	包3c層	1634
1444	917	B-24	Ⅱ層	767
1445	1003	第72号土坑	1層	191
1446	1009	表土	表土	170
1447	810	表土	表土	264
1448	820	表土	表土	65
1449	820	表土	表土	228
1450	1018	K-11	包3e層	1659
1451	1012	L-9	包3a層	1015
1452	1015	K-9	包3c層	0
1453	1004	K-8	包3a層	1880
1454	1024	J-10	包3d層	1245
1455	1016	K-9	包3c層	1300
1456	1016	K-9	包3c層	60
1457	914	第27号土坑	1層	0

第14表 土器収納袋一覽表(14)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1458	1012	K-9	包3a層	70
1459	1009	表土	表土	320
1460	917	第6号竪穴住居跡	煙道	344
1461	1016	K-9	包3c層	370
1462	1018	表土	表土	450
1463	913	第6号竪穴住居跡	1層	121
1464	1009	表土	表土	350
1465	903	第8号竪穴住居跡	床面	11
1466	809	表土	表土	99
1467	903	第7号竪穴住居跡	カマド	0
1468	903	第3号竪穴住居跡	床面	0
1469	903	表土	表土	138
1470	1009	第80号土坑	1層	17
1471	1015	L-9	包3a層	0
1472	1016	K-9	包3c層	340
1473	1009	K-11	包3b層	468
1474	1014	K-8	包3a層	775
1475	1022	J-10	包3e層	1707
1476	1016	K-9	包3c層	1460
1477	1015	K-8	包3e層	59
1478	1017	K-8	包3e層	1581
1479	919	D-23	Ⅲa層	3082
1480	1022	J-10	包3e層	1648
1481	1012	K-10	包3b層	1734
1482	1012	K-9	包3a層	1680
1483	1017	K-9	包3d層	1410
1484	1018	K-11	包3e層	1718
1485	1023	J-11	包3e層	1569
1486	1009	K-10	包2b層	1775
1487	1012	K-10	包3b層	1895
1488	1018	J-11	包3e層	1629
1489	1018	K-9	包3e層	1044
1490	1016	K-9	包3c層	1010
1491	1009	表土	表土	24
1492	807	表土	表土	180
1493	810	表土	表土	100
1494	1017	K-9	包3d層	1509
1495	1009	L-9	包1層	1884
1496	1024	K-9	包3c層	20
1497	927	E-24	Ⅲa層	1522
1498	1024	K-10	包3b層	1762
1499	1024	L-10	包2b層	62
1500	1024	K-10	包3b層	1150
1501	1024	K-10	包2b層	1920
1502	907	K-10	包2b層	318
1503	1024	K-10	包3b層	39
1504	1024	J-10	包3e層	280
1505	1025	K-9	包3c層	1852
1506	1017	K-8	包3e層	1822
1507	1012	K-10	包2b層	622
1508	1009	L-10	包2b層	1945
1509	806	第8号竪穴住居跡	2層	137
1510	905	表土	表土	71
1511	1024	K-10	包2b層	1040
1512	1024	K-10	包2b層	1500
1513	1009	K-10	包2b層	1620

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1514	918	表土	表土	1430
1515	919	第46号土坑	1層	241
1516	1024	K-11	Ⅲb2層	786
1517	1025	K-10	包3c層	1379
1518	1017	K-8	包3e層	1601
1519	928	E-25	Ⅲa層	1978
1520	1012	L-11	包3e層	668
1521	1024	K-10	包2b層	1958
1522	1025	K-9	包3c層	2261
1523	1024	K-10	包3b層	1127
1524	1024	K-10	包3b層	1420
1525	927	D-21	Ⅲa層	1224
1526	1009	J-11	包3b層	210
1527	926	L-9	包2a層	50
1528	803	欠番	欠番	欠番
1529	925	L-9	包2a層	61
1530	926	K-13	Ⅲb層	760
1531	925	L-9	包2a層	2091
1532	926	D-21	Ⅲa層	1317
1533	920	第9号竪穴住居跡	煙道	74
1534	1015	K-8	包3a層	1794
1535	926	D-24	Ⅲa層	1430
1536	925	L-9	包2a層	1850
1537	925	L-9	包2a層	1992
1538	907	K-8	包2a層	21
1539	925	K-9	包2b層	745
1540	809	表土	表土	1705
1541	905	K-8	包2a層	1263
1542	809	表土	表土	1300
1543	1012	K-9	包3a層	1266
1544	907	K-10	包2b層	2368
1545	925	L-9	包2a層	1194
1546	724	表土	表土	250
1547		表土	表土	0
1548	1012	L-9	包3a層	2190
1549	1009	K-10	包2b層	960
1550	821	表土	表土	1610
1551	1009	K-9	包2b層	1430
1552	1012	L-9	包3a層	2038
1553	927	第65号土坑	1層	613
1554	809	表土	表土	2230
1555	724	表土	表土	2180
1556	903	K-10	包2b層	190
1557	907	K-10	包2b層	12
1558	1015	K-8	包3d層	1359
1559	907	K-10	包2b層	915
1560	1012	K-9	包3a層	2138
1561	905	K-10	包3e層	933
1562		K-9	包3c層	1364
1563	920	第9号竪穴住居跡	貼床	950
1564	1023	J-11	包3e層	720
1565	1002	K-9	包2b層	1580
1566	1009	K-13	Ⅲb層	770
1567	1009	K-13	Ⅲb層	970
1568	904	表土	表土	1800
1569	1009	K-8	包2a層	2200

第14表 土器収納袋一覽表(15)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1570	1003	第12号竪穴住居跡	炉理設土器	22
1571	1003	L-10	包2b層	1923
1572	1024	L-10	包2b層	1108
1573	1004	K-9	包3a層	950
1574	802	表土	表土	2485
1575	1016	K-9	包3c層	460
1576	1017	K-10	包3c層	1140
1577	803	表土	表土	2210
1578	926	L-9	包2a層	610
1579	802	表土	表土	40
1580	1017	K-9	包3e層	905
1581	1004	K-11	Ⅲb層	2250
1582	1009	K-11	包3b層	1013
1583	1009	K-10	包3c層	1723
1584	1009	L-9	包1層	1906
1585	1009	K-10	包2b層	731
1586	1009	K-10	包2b層	556
1587	1009	K-10	包2b層	1455
1588	1003	K-9	包2b層	367
1589	1024	K-10	包2b層	232
1590	1024	J-11	包3e層	160
1591	809	表土	表土	165
1592	1024	L-10	包2b層	200
1593	1018	K-10	包3c層	242
1594	1024	J-10	包3d層	125
1595	1024	J-10	包3b層	155
1596	1024	K-10	包3c層	130
1597	1024	K-10	包3e層	74
1598	1024	J-10	包3d層	50
1599	1015	K-9	包2b層	360
1600	917	表土	表土	1700
1601	1024	L-9	包2a層	1944
1602	1024	L-10	包2b層	2008
1603	1024	L-10	包2b層	1387
1604	907	K-10	包2b層	790
1605	907	K-10	包2b層	1580
1606	1009	K-13	Ⅲb層	814
1607	803	表土	表土	450
1608	1010	表土	表土	82
1609	907	表土	表土	370
1610	907	表土	表土	270
1611	809	表土	表土	960
1612	1012	L-10	包3d層	297
1613	907	K-8	包2a層	140
1614	1024	J-10	Ⅲb1層	38
1615	1023	J-10	Ⅲb1層	122
1616	1004	K-8	包3a層	2080
1617	1024	J-10	包3e層	50
1618	1017	K-9	包3e層	1830
1619	1018	J-10	包3d層	1200
1620	1004	K-8	包2b層	1392
1621	1009	L-9	包2b層	0
1622	909	K-10	包2b層	510
1623	1016	K-8	包3c層	1650
1624	926	K-8	包2a層	2005
1625	1024	K-10	包2b層	1714

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1626	907	K-9	包2a層	1722
1627	1017	K-9	包3e層	1335
1628	1015	K-9	包3c層	1241
1629	1015	K-9	包3c層	2038
1630	1024	K-9	包3a層	1090
1631	1023	K-9	包3e層	1020
1632	803	表土	表土	198
1633	802	表土	表土	1150
1634	1022	J-8	包3a層	2566
1635	1017	J-9	包3e層	1781
1636	1022	L-11	包3e層	1965
1637	1017	K-10	包3c層	1136
1638	1016	K-9	包3c層	1868
1639	1024	L-9	包3a層	1855
1640	1017	J-10	包3d層	2219
1641	1017	K-9	包3e層	1083
1642	1018	C-19	Ⅲb層	194
1643	926	第66号土坑	1層	73
1644	1012	L-11	包3b層	4
1645	907	K-10	包2b層	250
1646	1022	K-11	包3e層	390
1647	907	第9号竪穴住居跡	3層	446
1648	1022	K-12	包3e層	986
1649	1021	K-11	包3e層	1829
1650	1024	L-9	包3a層	1584
1651	1024	K-9	包3a層	1705
1652	1022	J-10	包3e層	1649
1653	1025	K-9	包2b層	1111
1654	803	表土	表土	1080
1655	1025	K-9	包3c層	1226
1656	1016	K-9	包3c層	672
1657	730	表土	表土	2660
1658	1016	K-9	包3c層	338
1659	1012	K-10	包3b層	600
1660	1024	K-9	包2b層	0
1661	1016	K-10	包3c層	1933
1662	1016	K-9	包3c層	1480
1663	1022	J-10	包3e層	1200
1664	1012	L-9	包3a層	1334
1665	1016	K-9	包3c層	1431
1666	803	表土	表土	2940
1667	1016	J-9	包3c層	1947
1668	1016	K-9	包3c層	330
1669	1015	L-8	包3a層	2080
1670	1016	J-9	包3c層	1220
1671	1024	L-10	包2b層	1667
1672	1024	L-9	包3a層	304
1673	1024	K-10	包2b層	456
1674	919	第2号集石遺構	底面	4
1675	1024	J-11	包3b層	92
1676	1016	K-9	包3c層	1220
1677	1025	K-9	包3c層	1822
1678	1015	L-9	包3a層	2096
1679	1017	K-10	包2b層	28
1680	1022	K-12	包3e層	1409
1681	1015	K-9	包3a層	542

第14表 土器収納袋一覽表(16)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1682	1017	D-23	Ⅲb層	320
1683	910	第6号竪穴住居跡	2層	74
1684	1021	L-9	Ⅲb層	1665
1685	919	D-22	Ⅲa層	951
1686	1025	K-10	包3c層	1242
1687	910	E-21	Ⅲa層	820
1688	1021	K-8	包4層	1796
1689	1022	K-12	包3e層	1820
1690	1021	J-9	Ⅲb1層	1570
1691	1022	K-12	包3e層	1483
1692	1022	L-11	包3e層	990
1693	912	第9号竪穴住居跡	1層	174
1694	1022	J-10	包3e層	743
1695	907	第9号竪穴住居跡	3層	215
1696	809	表土	表土	250
1697	904	D-25	Ⅱ層	50
1698	1004	K-8	包3a層	830
1699	1002	K-9	包2b層	1459
1700	1004	K-8	包3a層	5
1701	1009	K-10	包2b層	1067
1702	1004	K-8	包3a層	67
1703	1009	K-10	包2b層	1822
1704	1016	K-9	包3c層	760
1705	1016	K-10	包3c層	310
1706	919	D-22	Ⅲa層	1245
1707	1015	K-9	包3a層	1120
1708	810	表土	表土	2050
1709	1018	K-8	包3d層	1334
1710	904	K-9	包1層	2165
1711	919	D-22	Ⅲa層	1656
1712	907	K-10	包2b層	1302
1713	802	表土	表土	870
1714	1015	K-9	包3c層	1819
1715	1015	K-9	包3b層	1551
1716	1012	K-9	包3a層	1917
1717	1015	K-9	包3d層	1547
1718	807	表土	表土	2200
1719	1016	K-11	Ⅲb層	720
1720	919	E-22	Ⅲa層	2079
1721	1016	K-9	包3c層	1523
1722	1017	K-9	包3d層	1510
1723	925	L-9	包2a層	1063
1724	809	表土	表土	2500
1725	1016	K-9	包3c層	1992
1726	927	L-9	包2a層	1269
1727	802	表土	表土	2080
1728	欠番	欠番	欠番	欠番
1729	820	第7号竪穴住居跡	2層	30
1730	906	表土	表土	8
1731	1012	L-9	包2b層	1741
1732	1015	K-9	包3a層	1240
1733	1012	K-8	包2a層	2880
1734	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1502
1735	1017	K-8	包3e層	1167
1736	1012	L-9	包3a層	1060
1737	914	第6号竪穴住居跡	3層	138

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1738	907	K-8	包2a層	1284
1739	914	第6号竪穴住居跡	1層	120
1740	927	表土	表土	78
1741	1012	L-10	包3b層	1566
1742	1012	L-9	包2b層	2167
1743	1012	L-10	包3b層	330
1744	1012	K-10	包3b層	730
1745	1009	L-10	包2b層	780
1746	809	表土	表土	2110
1747	1012	K-9	包2b層	1648
1748	1012	L-9	包2b層	2170
1749	809	表土	表土	1680
1750	1016	K-9	包3c層	390
1751	1015	K-10	包3b層	715
1752	1017	K-10	包3c層	475
1753	1015	K-9	包3c層	1634
1754	1016	K-10	包3e層	1592
1755	1017	J-9	包3e層	2326
1756	1004	K-9	包2b層	1330
1757	1004	K-9	包2b層	1261
1758	1009	L-10	包2b層	1285
1759	1009	L-10	包3d層	1495
1760	1012	L-9	包3a層	1646
1761	1009	L-10	包2b層	1148
1762	1016	K-8	包3c層	1534
1763	1017	K-10	包3e層	1982
1764	1016	表土	表土	1733
1765	1016	C-24	Ⅱ層	1514
1766	1016	K-9	包3c層	475
1767	1017	K-10	包3c層	1099
1768	1012	L-11	包3b層	506
1769	914	第35号土坑	包1層	375
1770	1016	D-23	Ⅱ層	547
1771	1016	K-9	包3c層	10
1772	1017	K-10	包3c層	1325
1773	1004	K-8	包2b層	1843
1774	1012	K-9	包3a層	1265
1775	1009	L-10	包2b層	1550
1776	1017	K-10	包3c層	1268
1777	1017	K-10	包3c層	1392
1778	1004	L-10	包2b層	1919
1779	1016	K-9	包3d層	1545
1780	910	B-22	Ⅱ層	2366
1781	1012	L-10	包3b層	1642
1782	1004	K-11	Ⅲb層	2410
1783	1009	K-10	包2b層	1375
1784	1017	K-10	包3c層	1977
1785	1009	L-10	包2b層	1292
1786	1009	L-10	包2b層	1732
1787	918	表土	表土	410
1788	919	D-23	Ⅱ層	588
1789	1021	L-9	Ⅲb層	1890
1790	1012	K-9	包3a層	2164
1791	1021	K-9	Ⅲb1層	1178
1792	730	表土	表土	2890
1793	912	第25号土坑	2層	199

第14表 土器収納袋一覽表(17)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1794	919	D-23	Ⅲa層	158
1795	1015	L-8	包3a層	1180
1796	912	J-8	包3a層	306
1797	1017	D-24	Ⅲb層	297
1798	1018	第8号土坑	1層	59
1799	806	表土	表土	79
1800	1012	L-9	包3a層	166
1801	906	L-9	包1層	190
1802	1017	E-23	Ⅲb層	80
1803	920	第59号土坑	1層	43
1804	806	表土	表土	10
1805	1021	第13号土坑	2層	15
1806	914	第10号竪穴住居跡	炉	5577
1807	903	第3号竪穴住居跡	1層	29
1808	925	E-22	Ⅲb層	50
1809	1021	表土	表土	30
1810	920	表土	表土	49
1811	1015	K-9	包3a層	1230
1812	1015	K-9	包3a層	1821
1813	809	表土	表土	1990
1814	1015	K-9	包3a層	1593
1815	726	表土	表土	1750
1816	1012	J-10	包3e層	1480
1817	1024	K-10	包3c層	370
1818	927	L-10	包2b層	0
1819	1025	K-10	包3c層	260
1820	1025	K-10	包3b層	30
1821	1016	K-9	包3c層	200
1822	1022	K-12	Ⅲb層	802
1823	1012	K-10	包3b層	300
1824	1015	L-9	包3a層	740
1825	1015	L-9	包3a層	1360
1826	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1240
1827	1012	K-9	包3a層	1380
1828	1021	K-10	Ⅲb層	690
1829	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1954
1830	1012	K-10	包3b層	834
1831	1017	K-8	包3e層	1595
1832	1017	J-9	包3d層	888
1833	1015	K-10	包3b層	1016
1834	1012	K-9	包3a層	1684
1835	907	D-21	Ⅲb層	369
1836	913	第9号竪穴住居跡	2層	121
1837	1022	K-10	包3e層	200
1838	927	第6号竪穴住居跡	床面	72
1839	1002	第11号竪穴住居跡	1層	61
1840	920	第9号竪穴住居跡	煙道	132
1841	1003	表土	表土	152
1842	914	第37号土坑	1層	52
1843	809	第8号竪穴住居跡	1層	54
1844	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1365
1845	1015	K-10	包3b層	0
1846	1015	K-10	包3b層	1170
1847	1012	K-10	包2b層	755
1848	1009	K-10	包2b層	465
1849	925	L-9	包2a層	220

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1850	910	D-22	Ⅱ層	175
1851	1017	第13号竪穴住居跡	1層	621
1852	926	F-21	Ⅲb層	118
1853	1016	L-13	Ⅲb層	377
1854	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1218
1855	1015	K-9	包3e層	1720
1856	1017	K-10	包3c層	1375
1857	1015	K-10	包3b層	1002
1858	1012	K-9	包3a層	2693
1859	907	第9号竪穴住居跡	2層	977
1860	810	表土	表土	1770
1861	907	K-10	包2b層	1380
1862	724	表土	表土	2630
1863	724	表土	表土	2690
1864	1017	L-7	包3e層	1170
1865	918	表土	表土	1420
1866	1009	J-13	Ⅲb層	1731
1867	1015	K-9	包3c層	155
1868	1012	J-8	包3d層	996
1869	903	E-24	Ⅱ層	370
1870	1016	B-23	Ⅲa層	95
1871	809	表土	表土	900
1872	1015	L-14	Ⅲb層	1130
1873	1015	K-9	包3c層	1637
1874	907	K-10	包2b層	175
1875	928	表土	表土	940
1876	1015	K-9	包3a層	1106
1877	907	K-10	包2b層	1550
1878	907	E-20	Ⅲa層	240
1879	914	第6号竪穴住居跡	2層	30
1880	809	表土	表土	175
1881	1015	K-9	包3c層	923
1882	810	表土	表土	2462
1883	1015	K-9	包2b層	1800
1884	905	D-24	Ⅲa層	1225
1885	927	K-8	包2a層	1011
1886	723	表土	表土	850
1887	903	K-10	包2b層	427
1888	907	K-10	包2b層	780
1889	907	K-10	包2b層	251
1890	906	表土	表土	20
1891	927	K-8	包2a層	1309
1892	927	K-8	包2a層	1189
1893	1009	K-10	包3c層	2170
1894	927	L-9	包2a層	1805
1895	907	K-10	包2b層	520
1896	723	表土	表土	1530
1897	1024	K-10	包3b層	1968
1898	821	K-9	Ⅲb1層	1000
1899	928	表土	表土	1335
1900	913	第9号竪穴住居跡	4層	1118
1901	1009	K-10	包2b層	1361
1902	1012	K-10	包3b層	1905
1903	1009	L-10	包2b層	870
1904	1009	K-9	包1層	1991
1905	1017	K-9	包3e層	1058

第14表 土器收納袋一覽表(18)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1906	1009	表土	表土	650
1907	914	第9号竪穴住居跡	床面	67
1908	1013	表土	表土	90
1909	820	第9号土坑	2層	49
1910	1016	C-24	Ⅲa層	1731
1911	1009	L-10	包2b層	285
1912	1009	K-10	包2b層	1455
1913	1012	L-10	包3b層	1318
1914	1009	L-10	包2b層	1358
1915	1012	L-9	包3a層	1687
1916	1016	E-23	Ⅲa層	1226
1917	1018	K-8	包3e層	2257
1918	919	D-22	Ⅲa層	1550
1919	1012	L-9	包3a層	2230
1920	913	第9号竪穴住居跡	5層	1395
1921	928	表土	表土	1120
1922	1024	K-10	包3b層	648
1923	1012	L-9	包3a層	1578
1924	1022	K-11	包3e層	1195
1925	928	表土	表土	1310
1926	928	表土	表土	1440
1927	906	J-9	包2b層	960
1928	1013	J-8	包3a層	70
1929	907	D-21	Ⅲb層	70
1930	1015	J-9	包3b層	110
1931	1012	L-9	包3a層	690
1932	1015	K-9	包3c層	1530
1933	1018	K-9	包3e層	1829
1934	1015	K-10	包3b層	2223
1935	1024	K-10	包3b層	1216
1936	928	表土	表土	1240
1937	1018	K-8	包3e層	900
1938	1015	K-10	包3b層	1588
1939	920	第9号竪穴住居跡	床面	1465
1940	1012	L-9	包3a層	994
1941		表土	表土	3
1942	1024	L-9	包3a層	50
1943	1017	K-10	包3c層	1430
1944	1009	K-10	包2b層	611
1945	1016	K-9	包3d層	30
1946	1009	K-10	包2b層	1072
1947	1017	K-10	包3c層	1980
1948	907	K-10	包2b層	572
1949	1012	L-9	包3a層	100
1950	1021	J-8	包4層	655
1951	1024	K-10	包3b層	465
1952	925	表土	表土	1560
1953	807	表土	表土	478
1954	927	L-9	包2a層	1563
1955	927	K-9	包2a層	190
1956	1009	K-10	包2b層	930
1957	1021	K-9	Ⅲb2層	1239
1958	1009	K-10	包2b層	1400
1959	910	第6号竪穴住居跡	2層	996
1960	809	表土	表土	2250
1961	919	E-21	Ⅲa層	2609

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
1962	1012	K-9	包1層	1070
1963	1012	L-9	包3d層	1829
1964	1009	L-10	包2b層	674
1965	1012	K-9	包1層	850
1966	905	第9号竪穴住居跡	4層	580
1967	914	表土	表土	265
1968	1025	K-10	包3c層	271
1969	1012	L-10	包3d層	1468
1970	1017	K-10	包3c層	1257
1971	910	C-23	Ⅱ層	1757
1972	1009	L-10	包2b層	1533
1973	1016	K-9	包3c層	2652
1974	1016	C-24	Ⅲa層	1272
1975	1017	J-10	包3d層	1044
1976	1017	L-10	包3d層	1716
1977	1009	L-9	包1層	713
1978	1016	D-23	Ⅲa層	676
1979	1021	L-9	Ⅲb層	1200
1980	1017	K-9	包3e層	1412
1981	912	第6号竪穴住居跡	1層	402
1982	912	C-22	Ⅲa層	610
1983	912	D-22	Ⅲb層	525
1984	1012	K-10	包3b層	1940
1985	1015	K-9	包3a層	1402
1986	1015	L-9	包3a層	1109
1987	1015	K-9	包3a層	820
1988	1015	K-9	包3a層	1243
1989	1015	K-10	包3b層	883
1990	1022	K-11	包3e層	792
1991	1012	K-9	包3a層	182
1992	1021	L-8	包3e層	310
1993	920	K-10	Ⅲb層	332
1994	920	第65号土坑	1層	57
1995	820	第4号竪穴住居跡	1層	6
1996	820	第4号竪穴住居跡	1層	7
1997	820	第4号竪穴住居跡	1層	12
1998	1015	K-9	包3a層	165
1999	1004	K-11	Ⅲb層	1927
2000	1012	K-10	包3b層	360
2001	1017	L-10	包3d層	543
2002	1023	K-12	Ⅲb2層	331
2003	1021	K-10	Ⅲb層	676
2004	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1525
2005	925	E-21	Ⅲb層	925
2006	1009	L-9	包1層	106
2007	820	第4号竪穴住居跡	床面	0
2008	806	第1号竪穴住居跡	2層	0
2009	820	第4号竪穴住居跡	床面	0
2010	926	第68号土坑	1層	10
2011	1010	表土	表土	20
2012	1021	J-14	Ⅲb2層	50
2013	1022	J-13	Ⅲb層	70
2014	1003	第75号土坑	1層	114
2015	803	L-15	Ⅲb層	25
2016	1010	表土	表土	1180
2017	723	表土	表土	198

第14表 土器収納袋一覽表(19)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2018	926	K-12	包3e層	175
2019	1015	K-9	包3c層	1302
2020	1004	K-9	包3a層	165
2021	1017	J-11	包3e層	1624
2022	1015	K-9	包3c層	1980
2023	1012	K-10	包3b層	149
2024	1012	K-10	包3b層	35
2025	1015	K-9	包3c層	1843
2026	1015	K-9	包3a層	480
2027	1017	K-10	包2b層	880
2028	1015	K-9	包3c層	1507
2029	1017	K-10	包2b層	685
2030	809	表土	表土	2470
2031	1017	J-10	包2b層	1599
2032	1015	K-8	包3d層	1372
2033	1015	K-9	包3c層	1520
2034	1015	K-9	包3c層	821
2035	1021	J-11	包3e層	1832
2036	1021	K-11	包3e層	1728
2037	1023	K-10	Ⅲb2層	951
2038	1023	J-10	Ⅲb2層	448
2039	1025	K-10	包3c層	170
2040	1012	L-9	包3a層	533
2041	806	第1号竪穴住居跡	1層	0
2042	807	第4号竪穴住居跡	2層	0
2043	806	表土	表土	120
2044	919	第45号土坑	1層	32
2045	918	第2号焼土・炭化物集中区	焼土	7
2046	1021	J-11	包3c層	2198
2047	1017	K-10	包2b層	1283
2048	910	C-23	Ⅱ層	2307
2049	1022	K-12	包3e層	1640
2050	910	C-23	Ⅱ層	1824
2051	1004	K-9	包2b層	21
2052	918	第40号土坑	2層	395
2053	926	E-22	Ⅲa層	480
2054	910	E-21	Ⅱ層	768
2055	910	C-23	Ⅱ層	1479
2056	1004	K-9	包3a層	172
2057	918	表土	表土	1195
2058	1004	表土	表土	384
2059	1004	L-11	Ⅲb層	400
2060	723	表土	表土	55
2061	1010	表土	表土	204
2062	1015	K-8	包3e層	60
2063	723	表土	表土	136
2064	1021	J-14	Ⅲb層	150
2065	829	第1号集石遺構	底面	24
2066	919	第14号竪穴住居跡	焼土	49
2067	914	第34号土坑	1層	52
2068	917	第42号土坑	1層	26
2069	905	第13号竪穴住居跡	炉	93
2070	917	第10号竪穴住居跡	1層	11
2071	917	表土	表土	82
2072	926	E-21	Ⅲb層	35
2073	910	F-22	Ⅱ層	50

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2074	1013	表土	表土	27
2075	917	第41号土坑	1層	34
2076	914	第33号土坑	1層	34
2077	919	第14号竪穴住居跡	焼土	24
2078	919	第2号竪穴住居跡	貼床	70
2079	914	第31号土坑	1層	25
2080	926	第67号土坑	1層	24
2081	917	C-23	Ⅲa層	24
2082	920	第28号土坑	1層	19
2083	1017	K-10	包3c層	1012
2084	1017	J-9	包3d層	2397
2085	1015	K-9	包3b層	1391
2086	1017	K-10	包3c層	434
2087	1017	L-10	包3d層	1067
2088	1017	K-10	包3c層	862
2089	1009	K-10	包2b層	744
2090	1021	L-8	Ⅲb1層	240
2091	1023	K-10	Ⅲb1層	135
2092	1012	L-9	包3a層	1590
2093	1018	K-10	包3e層	1400
2094	1017	K-10	包3c層	1850
2095	1012	K-9	包3a層	1227
2096	1016	K-9	包3d層	1367
2097	914	第35号土坑	1層	291
2098	1017	K-10	包3c層	970
2099	1004	K-8	包3a層	1678
2100	1017	J-10	包3d層	1120
2101	1015	K-9	包3a層	1179
2102	918	表土	表土	1755
2103	907	K-10	包2b層	760
2104	1015	K-9	包3c層	1746
2105	1017	K-8	包3e層	1611
2106	809	表土	表土	2470
2107	1009	L-10	包2b層	918
2108	1009	K-10	包2b層	960
2109	809	表土	表土	2360
2110	809	表土	表土	1570
2111	809	表土	表土	1410
2112	1009	L-9	包1層	1906
2113	904	表土	表土	490
2114	1009	K-13	Ⅲb層	312
2115	1009	K-10	包2b層	14
2116	1017	K-10	包3c層	1650
2117	806	表土	表土	1825
2118	1012	K-9	包3a層	2070
2119	1012	K-9	包2b層	1954
2120	1017	K-10	包3c層	942
2121	920	C-25	Ⅲb層	1741
2122	807	表土	表土	3235
2123	803	表土	表土	1820
2124	925	E-21	Ⅲa層	1184
2125	926	L-9	包3a層	2461
2126	926	L-9	包2a層	2040
2127	927	K-8	包2a層	733
2128	926	L-9	包3a層	2637
2129	802	表土	表土	1820

第14表 土器收納袋一覽表(20)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2130	907	E-24	Ⅲa層	1440
2131	803	D-25	Ⅱ層	1636
2132	926	J-13	Ⅲb層	670
2133	1012	L-9	包3a層	2311
2134	1016	K-9	包3c層	1444
2135	1012	L-9	包2b層	2478
2136	1009	K-10	包2b層	1531
2137	927	K-8	包2a層	656
2138	809	表土	表土	900
2139	1004	K-9	包3a層	2527
2140	1023	表土	表土	2120
2141	1017	K-10	包2b層	1333
2142	1018	K-9	包3e層	2037
2143	1016	K-9	包3c層	1243
2144	1012	K-9	包1層	1245
2145	1021	J-10	包3e層	555
2146	1022	L-11	包3e層	30
2147	926	L-9	包2a層	1030
2148	1015	K-8	包3e層	965
2149	1015	K-9	包3c層	1955
2150	1016	K-9	包3c層	1340
2151	917	B-22	Ⅲa層	19
2152	910	E-23	Ⅱ層	1814
2153	925	E-21	Ⅲa層	770
2154	1012	L-9	包3a層	1456
2155	1015	K-9	包3c層	1565
2156	1021	K-8	包3e層	1600
2157	1024	K-10	包3b層	700
2158	1025	K-10	包3c層	1104
2159	1024	K-9	包3a層	779
2160	1016	K-9	包3c層	580
2161	1012	K-9	包3a層	94
2162	807	表土	表土	1710
2163	1016	K-9	包3c層	1711
2164	1016	K-9	包3c層	2348
2165	1015	K-9	包3c層	1739
2166	1012	K-8	包2a層	2221
2167	1009	L-10	包2b層	1640
2168	1018	K-11	包3e層	1923
2169	1016	L-12	Ⅲb層	1581
2170	1025	K-10	包3c層	1001
2171	1022	L-10	Ⅲb層	1620
2172	1012	K-8	包2a層	2281
2173	1018	K-11	包3e層	2080
2174	1021	J-10	包3e層	513
2175	1009	K-10	包2b層	1408
2176	1024	K-10	包3b層	640
2177	905	L-10	包2b層	1179
2178	1018	K-11	包3e層	1400
2179	1018	表土	表土	2140
2180	1012	K-10	包3b層	685
2181	1021	L-10	包3e層	1960
2182	1025	表土	表土	245
2183	1018	K-10	包3e層	1090
2184	1017	K-9	包3d層	1320
2185	1012	L-9	包3a層	1014

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2186	1018	K-10	包3e層	270
2187	1024	K-9	包3a層	1184
2188	1016	K-9	包3c層	885
2189	1025	K-10	包3c層	350
2190	1012	L-9	包3a層	395
2191	1016	K-9	包3c層	1635
2192	1012	J-8	包3d層	1799
2193	1017	E-23	Ⅲa層	660
2194	1025	K-10	Ⅲb2層	268
2195	807	表土	表土	1660
2196	903	表土	表土	360
2197	1016	表土	表土	520
2198	1024	K-10	包3b層	30
2199	809	表土	表土	870
2200	907	K-10	包2b層	295
2201	1017	K-9	包3e層	1589
2202	1009	K-8	包3a層	820
2203	1018	K-11	包3e層	1685
2204	1014	L-9	包3a層	1755
2205	1015	K-9	包3c層	1310
2206	1015	K-9	包3a層	1390
2207	1024	K-10	包3b層	1166
2208	1024	L-9	包3a層	400
2209	1024	K-10	包3b層	1879
2210		表土	表土	2460
2211	1017	K-8	包3e層	1528
2212	1015	K-9	包3c層	1653
2213	809	表土	表土	2040
2214	1012	L-9	包2b層	1792
2215	1021	K-8	包3e層	1933
2216	1016	K-10	包3c層	815
2217	1012	K-10	包3b層	1776
2218	809	表土	表土	2390
2219	1022	L-11	包3e層	2398
2220	1016	K-9	包3c層	2742
2221	1017	K-10	包3c層	1439
2222	1018	K-10	包3e層	2632
2223	1018	K-10	包3e層	1377
2224	912	第9号堅穴住居跡	4層	348
2225	809	表土	表土	24
2226	912	表土	表土	24
2227	1012	L-9	包2b層	34
2228	1009	第28号土坑	1層	4
2229	913	第10号堅穴住居跡	床面	44
2230	905	C-24	Ⅲb層	7
2231	1016	K-9	包3c層	1520
2232	1025	K-9	包2b層	820
2233	919	D-22	Ⅲa層	2061
2234	1024	K-9	包3c層	340
2235	1009	L-9	包1層	1370
2236	1012	K-10	包2b層	2098
2237	1012	K-10	包2b層	1855
2238	1012	L-9	包3b層	795
2239	806	表土	表土	42
2240	1012	L-9	包3a層	90
2241	1024	K-9	包3b層	1160

第14表 土器收納袋一覽表(2)

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2242	1012	L-10	包3b層	1779
2243	1024	L-9	包3a層	1600
2244	1012	L-9	包3a層	1055
2245	1016	K-8	包3c層	1130
2246	1009	L-9	包1層	1800
2247	1015	K-9	包3c層	1800
2248	1009	K-10	包2b層	750
2249	1017	J-9	包3e層	1020
2250	1016	K-9	包3d層	1828
2251	906	第9号竪穴住居跡	4層	2315
2252	925	D-23	Ⅲa層	1863
2253	1024	K-10	包3b層	1613
2254	1016	K-9	包3c層	1644
2255	1016	K-9	包3c層	578
2256	1018	K-11	包3c層	1008
2257	1009	L-10	包3d層	675
2258	1017	L-10	包3d層	580
2259	1016	B-24	Ⅱ層	296
2260	912	D-20	Ⅲb層	256
2261	1012	K-9	包3a層	45
2262	1016	K-10	包3c層	900
2263	1009	L-10	包2b層	1235
2264	1017	K-9	包3e層	1910
2265	1015	K-9	包3c層	1554
2266	1016	K-10	包3c層	1855
2267	1015	L-8	包3a層	1989
2268	1012	L-11	包3b層	2054
2269	1012	L-9	包3a層	1085
2270	927	K-9	包2a層	7
2271	927	L-9	包2a層	1006
2272	927	E-24	Ⅲa層	1224
2273	927	C-21	Ⅲa層	985
2274	927	D-24	Ⅲa層	1713
2275	926	L-9	包2a層	1588
2276	926	L-9	包2a層	2110
2277	926	L-9	包2a層	1540
2278	803	表土	表土	1890
2279	927	K-8	包2a層	1186
2280	929	第11号竪穴住居跡	床面	280
2281	1018	J-11	包3e層	1033
2282	1022	L-11	包3e層	1491
2283	927	L-9	包2a層	836
2284	802	表土	表土	2422
2285	927	L-9	包2a層	1240
2286	927	K-8	包2a層	711
2287	1023	表土	表土	1950
2288	1017	K-8	包3e層	1437
2289	1004	K-9	包3a層	892
2290	1021	J-10	包3a層	290
2291	1023	J-12	Ⅲb1層	260
2292	1016	第6号竪穴住居跡	貼床	182
2293	927	K-9	包2a層	1180
2294	1012	K-9	包3a層	750
2295	906	L-10	包2b層	1734
2296	1017	K-10	包3e層	1190
2297	1009	K-10	包2b層	1846

袋No	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2298	1017	K-10	包3c層	1796
2299	905	K-10	包2b層	1516
2300	925	第9号竪穴住居跡	貼床	1574
2301	1009	K-13	Ⅲb層	684
2302	927	K-10	包2b層	520
2303	925	L-9	包2a層	8
2304		表土	表土	150
2305	1017	K-9	包3e層	1739
2306	1012	K-9	包3a層	1713
2307	1012	K-9	包3a層	946
2308	1009	L-9	包1層	1646
2309	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1098
2310	1009	L-10	包2b層	1730
2311	1024	K-10	Ⅲb層	400
2312	1009	K-10	包2b層	1750
2313	1018	K-9	包3e層	1608
2314	1016	K-9	包3d層	1275
2315	1009	K-9	包1層	771
2316	927	K-8	包2a層	718
2317	1016	K-9	包3c層	2076
2318	1016	K-9	包3c層	1860
2319	1024	L-9	包2a層	1454
2320	1024	K-10	包2b層	1228
2321	1016	K-9	包3c層	1187
2322	1024	L-10	包3b層	730
2323	1024	L-10	包2b層	1495
2324	1009	K-13	Ⅲb層	1404
2325	919	D-23	Ⅲa層	1926
2326	905	E-26	Ⅱ層	1200
2327	927	第64号土坑	1層	117
2328	1024	J-10	Ⅲb1層	390
2329	927	L-9	包2a層	2077
2330	925	D-23	Ⅲb層	1960
2331	1024	K-10	包3b層	1284
2332	919	D-23	Ⅲa層	1622
2333	1017	K-9	包3e層	1780
2334	928	E-25	Ⅲa層	1370
2335	1017	K-8	包3e層	2063
2336	1017	K-10	包3c層	1236
2337	1017	K-10	包3c層	1972
2338	809	表土	表土	1860
2339	1015	K-9	包3c層	1960
2340	1018	表土	表土	1590
2341	1024	K-10	包3b層	0
2342	809	J-12	表土	410
2343	1024	L-10	包2b層	865
2344	1024	K-10	包3b層	1430
2345	1017	K-9	包3e層	800
2346	1017	第13号竪穴住居跡	1層	1347
2347	1016	K-9	包3c層	2025
2348	1012	K-10	包3b層	1640
2349	1024	K-10	包3b層	970
2350	1004	K-8	包3a層	1564
2351	1016	L-9	包3c層	1067
2352	914	表土	表土	2155
2353	1018	K-9	包3e層	2968

第14表 土器收納袋一覽表(2)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2354	1017	K-10	包3c層	1251
2355	919	D-22	Ⅱ層	1500
2356	1017	L-10	包3d層	1394
2357	1021	K-9	Ⅲb1層	183
2358	1024	L-9	包3a層	1807
2359	1017	K-9	包1層	1158
2360	1023	K-10	包2b層	1733
2361	1024	L-9	包3a層	1800
2362	1025	K-10	包3c層	1619
2363	918	表土	表土	1099
2364	1016	K-8	包3c層	672
2365	1012	表土	表土	340
2366	1009	第5号・焼土・炭化物集中区	焼土	2
2367	920	C-25	Ⅲb層	1838
2368	1017	K-10	包3c層	1296
2369	1012	K-9	包2b層	1860
2370	1015	K-8	包3e層	1130
2371	1015	K-9	包3a層	1365
2372	1015	K-9	包3a層	1149
2373	1017	K-10	包3c層	90
2374	1025	K-9	包3c層	1923
2375	1015	J-9	包3b層	1922
2376	1017	K-8	包3e層	1836
2377	1024	K-9	包3c層	0
2378	917	表土	表土	2180
2379	808	表土	表土	1785
2380	1015	K-9	包3a層	1750
2381	1012	L-9	包3a層	615
2382	1012	L-9	包2a層	770
2383	1012	L-9	包3a層	970
2384	1004	K-8	包3a層	1130
2385	1012	K-9	包3a層	990
2386	1015	L-9	包3a層	1960
2387	1015	K-10	包3b層	767
2388	1017	J-9	包3e層	1120
2389	1017	J-9	包3e層	1760
2390	1024	K-10	包3b層	1880
2391	1017	K-10	包3c層	2250
2392	1012	K-10	包3b層	1198
2393	1017	K-10	包3c層	1661
2394	918	L-2	北包2層	919
2395	1004	K-8	包3a層	1326
2396	1016	K-9	包3c層	820
2397	809	K-8	Ⅲb層	1350
2398	917	表土	表土	1610
2399	809	表土	表土	950
2400	1016	表土	表土	120
2401	914	第29号土坑	1層	359
2402	918	表土	表土	1140
2403	904	K-9	包1層	2580
2404	1012	L-9	包3a層	1210
2405	809	表土	表土	1800
2406	806	表土	表土	1974
2407	905	K-8	包2a層	1503
2408	809	表土	表土	1410
2409	905	L-10	包2b層	2021

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2410	809	表土	表土	1750
2411	1004	K-8	包3a層	2119
2412	905	L-10	包2b層	2159
2413	1012	K-9	包3a層	846
2414	1017	K-8	包3e層	1611
2415	918	L-2	北包2層	1260
2416	905	J-11	表土	640
2417	1009	L-9	包1層	1505
2418	1024	K-10	包2b層	1181
2419	1024	K-9	包3a層	880
2420	1012	L-9	包3a層	1290
2421	1012	K-9	包2b層	2122
2422	1015	L-9	包3a層	1443
2423	1024	K-10	包3b層	352
2424	1024	K-10	包2b層	337
2425	1024	K-10	包3b層	573
2426	1024	L-9	包3a層	655
2427	1024	K-10	包3b層	776
2428	925	D-23	Ⅲa層	842
2429	1024	K-10	包2b層	2410
2430	1004	K-8	包3a層	2370
2431	806	表土	表土	2220
2432	917	表土	表土	1950
2433	1012	L-9	包3a層	755
2434	1015	K-9	包3a層	2076
2435	917	表土	表土	750
2436	1012	K-9	包3a層	228
2437	917	表土	表土	2070
2438	1012	K-10	包3b層	1348
2439	809	表土	表土	1630
2440	1002	表土	表土	1590
2441	905	第9号竪穴住居跡	2層	844
2442	808	表土	表土	1510
2443	1017	K-9	包3d層	1686
2444	912	B-22	Ⅲb層	1558
2445	809	表土	表土	1500
2446	918	第6号竪穴住居跡	煙道	55
2447	918	表土	表土	90
2448	1012	K-10	包3b層	995
2449	1022	K-11	包3e層	910
2450	1024	L-9	包3a層	1140
2451	1024	K-10	包3b層	1130
2452	1023	J-10	包3e層	1155
2453	1015	K-10	包3b層	675
2454	907	K-10	包2b層	1340
2455	1017	K-9	包3e層	1088
2456	1004	K-8	包3a層	925
2457	1021	K-9	Ⅲb2層	670
2458	1021	J-10	包3e層	625
2459	1018	K-8	包3e層	1710
2460	1009	L-10	包2b層	290
2461	1012	K-9	包2b層	2348
2462	906	第9号竪穴住居跡	3層	1274
2463	905	K-11	包2b層	1125
2464	1003	G-23	Ⅲa層	1275
2465	1009	K-10	包3c層	1236

第14表 土器収納袋一覽表(23)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2466	1004	K-8	包2b層	1671
2467	1021	K-9	包3e層	1986
2468	1018	K-12	包3e層	780
2469	904	表土	表土	900
2470	1025	K-10	包3e層	1498
2471	1022	J-10	包3e層	1628
2472	1022	J-10	包3e層	1737
2473	926	J-14	Ⅲb層	205
2474	1021	K-9	Ⅲb2層	212
2475	803	D-24	Ⅲa層	166
2476	1015	第6号竪穴住居跡	カマド	51
2477	1003	第73号土坑	1層	210
2478	926	K-12	包3e層	100
2479	907	第5号竪穴住居跡	1層	121
2480	907	第9号竪穴住居跡	2層	30
2481	1012	K-9	包3a層	989
2482	907	L-11	包3e層	10
2483	907	C-20	Ⅲb層	265
2484	927	F-24	Ⅲa層	1085
2485	927	D-24	Ⅲa層	1617
2486	1022	J-10	包3e層	550
2487	905	表土	表土	700
2488	1012	L-9	包2a層	1412
2489	927	K-8	包2a層	1412
2490	1012	L-9	包3a層	1388
2491	1012	L-10	包2b層	2003
2492	1024	K-10	包3b層	2139
2493	1024	K-10	包3b層	1797
2494	905	L-10	包2b層	1850
2495	1025	K-10	包3c層	1776
2496	905	K-11	包3e層	1630
2497	905	K-11	包3e層	1621
2498	905	K-10	包3e層	1537
2499	1012	K-9	包2b層	1836
2500	1025	K-9	包3c層	2045
2501	1009	L-9	包1層	1540
2502	905	K-11	包2b層	1712
2503	1012	L-10	包3e層	1207
2504	1012	L-9	包3a層	1084
2505	905	K-11	包3e層	1660
2506	1009	L-9	包1層	1745
2507	919	D-22	Ⅲa層	2624
2508	1002	K-9	包2b層	2365
2509	1012	K-10	包3b層	780
2510	1012	K-9	包3a層	1565
2511	913	第9号竪穴住居跡	5層	1228
2512	910	C-23	Ⅱ層	1919
2513	1004	K-9	包3a層	2299
2514	1009	L-10	包2b層	1349
2515	1002	表土	表土	1590
2516	1016	K-9	包3c層	1334
2517	927	L-9	包2a層	198
2518	1003	表土	表土	890
2519	1016	K-9	包3c層	750
2520	1024	K-9	包3a層	270
2521	926	L-9	包2a層	1500

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2522	926	L-9	包2a層	1383
2523	1016	K-9	包3c層	2133
2524	926	L-9	包2a層	456
2525	1003	K-10	包2b層	1770
2526	907	E-20	Ⅲb層	492
2527	1004	K-9	包3a層	50
2528	905	K-11	包3b層	1640
2529	1002	E-24	Ⅲa層	1735
2530	919	D-22	Ⅲa層	1598
2531	1016	D-24	Ⅲa層	1371
2532	1014	K-10	包3b層	1687
2533	1009	K-10	包2b層	1211
2534	914	第9号竪穴住居跡	5層	1891
2535	912	第9号竪穴住居跡	1層	701
2536	1015	K-9	包3c層	2133
2537	1017	K-10	包3c層	1084
2538	1009	L-10	包2b層	1901
2539	1017	K-10	包3c層	1865
2540	1016	C-24	Ⅲa層	1682
2541	1017	J-9	包3e層	1883
2542	1016	表土	表土	690
2543	905	K-11	包3b層	1395
2544	914	第9号竪穴住居跡	5層	1567
2545	1004	K-9	包2b層	2029
2546	1017	K-10	包3e層	1090
2547	1004	K-9	包3a層	2576
2548	920	C-23	Ⅲa層	1907
2549	905	L-11	包3b層	1620
2550	905	L-11	包3b層	1660
2551	905	L-11	包3b層	1845
2552	905	K-11	包3e層	1020
2553	1004	K-8	包3a層	644
2554	1004	K-8	包3a層	2229
2555	1002	K-9	Ⅲb層	50
2556	1003	表土	表土	440
2557	1017	K-8	包3e層	1038
2558	927	K-8	包2a層	1137
2559	1017	K-8	包3e層	1785
2560	1015	K-10	包3b層	960
2561	1015	K-8	包3e層	1771
2562	1017	J-9	包3d層	720
2563	927	L-9	包2a層	1263
2564	1003	K-9	包2b層	1900
2565	925	E-22	Ⅲa層	1353
2566	907	K-10	包3e層	2016
2567	927	K-8	包2a層	1076
2568	1004	K-8	包3a層	844
2569	809	表土	表土	2100
2570	1024	J-10	包3b層	1075
2571	926	L-9	包2a層	1503
2572	1024	K-10	包3b層	1810
2573	1024	L-9	包2a層	1270
2574	920	C-23	Ⅲa層	2313
2575	1024	表土	表土	1630
2576	1024	L-9	包2a層	25
2577	809	表土	表土	340

第14表 土器収納袋一覽表(24)

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2578	907	B-22	Ⅱ層	1180
2579	1002	E-25	Ⅲa層	1360
2580	1004	K-9	包2b層	2228
2581	1024	K-10	包2b層	1406
2582	1012	L-9	包2a層	1756
2583	1018	K-11	包3e層	1145
2584	1003	L-10	包2b層	1280
2585	1024	J-10	包3e層	540
2586	1022	K-11	包3e層	1070
2587	1024	K-10	包3b層	0
2588	1022	J-11	包3e層	1136
2589	1012	L-9	包3a層	1595
2590	1018	K-10	包3e層	1080
2591	1024	K-10	Ⅲb1層	134
2592	905	D-25	Ⅱ層	610
2593	904	D-24	Ⅱ層	1193
2594	910	E-22	Ⅱ層	2241
2595	1004	表土	表土	2723
2596	904	D-25	Ⅱ層	550
2597	726	表土	表土	2620
2598	905	表土	表土	1090
2599	905	表土	表土	2230
2600	904	表土	表土	25
2601	810	表土	表土	1460
2602	905	表土	表土	1510
2603	806	表土	表土	1390
2604	905	表土	表土	1420
2605	809	表土	表土	2400
2606	926	表土	表土	2580
2607	726	表土	表土	1990
2608	726	表土	表土	2560
2609	821	表土	表土	1800
2610	905	表土	表土	340
2611	1024	表土	表土	65
2612	806	表土	表土	92
2613	1025	表土	表土	100
2614	904	表土	表土	30
2615	925	L-9	包2a層	1563
2616	1017	K-10	包3e層	1000
2617	1004	K-8	包3a層	382
2618	1004	K-8	包3a層	1754

袋No.	日付	出土地点・遺構	層位(修正)	非抽出資料重量合計(g)
2619	1024	K-8	包2a層	2103
2620	1024	L-9	包2a層	1781
2621	1024	K-8	包2a層	1644
2622	906	表土	表土	1150
2623	1004	表土	表土	112
2624	906	表土	表土	930
2625	905	表土	表土	2500
2626	907	表土	表土	450
2627	726	表土	表土	2220
2628	1004	表土	表土	2750
2629	1024	K-10	包2b層	1121
2630	1012	L-10	包3d層	246
2631	905	第9号竪穴住居跡	2層	1962
2632	1024	K-10	包3b層	1120
2633	1024	K-10	包3b層	490
2634	927	B-20	Ⅲa層	1758
2635	905	K-11	包3e層	1629
2636	1024	K-10	包2b層	1546
2637	905	K-11	包3e層	1631
2638	1024	L-9	包2a層	1379
2639	1017	K-10	包3c層	614
2640	925	K-12	包3e層	580
2641	756	表土	表土	1240
2642	809	J-12	表土	350
2643	1003	第11号竪穴住居跡	2層	28
2644	905	第10号竪穴住居跡	2層	438
2645	806	E-20	Ⅲa層	133
2646	907	E-21	Ⅲb層	982
2647	918	第35号土坑	1層	39
2648	920	第63号土坑	1層	74
2649	820	C-24	Ⅱ層	62
2650	905	第3号竪穴住居跡	床面	38
2651	1017	第6号竪穴住居跡	貼床	199
2652	914	第30号土坑	1層	213
2653	904	第7号竪穴住居跡	1層	14
2654	910	第6号竪穴住居跡	1層	563
2655	918	第40号土坑	1層	180
2656		第10号竪穴住居跡	1層	302
2657		表土	表土	390
2658		第6号竪穴住居跡	1層	17

第15表 石器属性表(1)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1	表土	表土	石匙	88.2	66.6	11.5	41.0	頁岩
	2	表土	表土	石篋	44.8	30.6	8.3	11.0	頁岩
	3	表土	表土	石匙	64.8	43.6	10.8	20.9	頁岩
	4	表土	表土	石匙	49.2	27.5	5.7	9.0	頁岩
	5	表土	表土	石匙	66.3	35.1	10.2	20.3	頁岩
	6	表土	表土	石匙	57.4	18.9	6.8	8.8	頁岩
	7	表土	表土	石匙	38.5	37.4	5.9	6.6	頁岩
	8	表土	表土	石斧	(47.7)	(33.9)	(17.6)	(62.6)	閃緑岩
	9	表土	表土	石斧	(58.2)	(32.1)	(17.7)	(55.0)	粘板岩
	10	表土	表土	石斧	(46.1)	(39.5)	(15.7)	(42.5)	緑色泥岩
	11	表土	表土	石斧	(32.9)	(30.4)	(23.7)	(34.2)	緑色泥岩
	12	表土	表土	石斧	(54.3)	(50.8)	(25.0)	(122.0)	砂岩
	13	表土	表土	ポイント	89.5	28.4	11.9	30.8	頁岩
	14	表土	表土	石鏃	31.7	14.5	5.3	2.0	緑色泥岩
	15	表土	表土	石鏃	26.1	12.8	4.9	1.9	頁岩
	16	表土	表土	石鏃	27.1	16.4	6.4	2.6	チャート
	17	表土	表土	UF	20.3	28.9	5.8	3.5	頁岩
	18	表土	表土	スクレイパー	39.2	42.2	10.4	18.4	頁岩
	19	表土	表土	スクレイパー	49.9	24.6	9.7	16.0	頁岩
	20	表土	表土	スクレイパー	82.6	53.0	19.6	100.8	頁岩
	21	表土	表土	スクレイパー	41.9	24.0	10.4	13.8	頁岩
	22	表土	表土	スクレイパー	29.4	12.2	4.9	2.2	頁岩
	23	表土	表土	スクレイパー	46.5	33.4	5.8	6.9	頁岩
	24	表土	表土	RF	22.6	40.5	7.3	8.0	頁岩
	25	表土	表土	スクレイパー	45.8	46.8	8.2	19.9	頁岩
	26	表土	表土	UF	36.8	34.5	8.4	10.6	頁岩
	27	表土	表土	UF	(60.5)	(21.5)	10.0	13.4	頁岩
	28	表土	表土	剥片	43.4	30.3	8.0	8.6	頁岩
	29	表土	表土	剥片	19.1	18.6	3.1	1.3	泥岩
	30	第9号竪穴住居跡	層位不明	スクレイパー	40.3	41.5	14.8	14.8	頁岩
	31	表土	表土	剥片	41.0	31.6	16.0	20.5	頁岩
	32	表土	表土	RF	(22.2)	24.3	8.5	4.3	頁岩
	33	表土	表土	剥片	28.8	20.3	5.5	3.6	頁岩
	34	表土	表土	剥片	21.2	24.3	5.8	3.2	頁岩
	35	表土	表土	RF	(19.8)	(40.5)	6.5	3.8	泥岩
	36	表土	表土	剥片	44.2	31.4	8.0	14.8	頁岩
	38	表土	表土	剥片	23.5	17.8	2.9	1.6	頁岩
	39	表土	表土	UF	35.5	47.8	10.3	17.5	頁岩
	41	表土	表土	剥片	30.4	24.4	6.3	5.0	頁岩
	42	表土	表土	剥片	36.8	35.8	6.2	10.3	頁岩
	43	表土	表土	RF	71.2	31.6	11.3	27.0	頁岩
	44	表土	表土	剥片	23.7	28.6	8.9	6.3	頁岩
	45	表土	表土	剥片	(29.5)	28.0	6.8	5.1	頁岩
	46	表土	表土	剥片	32.3	38.0	10.0	10.8	安山岩
	47	表土	表土	剥片	29.9	31.6	6.6	8.4	頁岩
	48	表土	表土	スクレイパー	27.0	76.2	15.1	26.8	頁岩
	49	表土	表土	剥片	32.1	43.6	11.9	15.8	頁岩
	50	表土	表土	剥片	65.2	27.2	17.7	10.5	頁岩
	51	表土	表土	剥片	23.2	18.8	2.1	1.3	頁岩
	52	表土	表土	剥片	39.6	37.1	6.5	7.2	頁岩
	53	表土	表土	剥片	32.2	25.8	4.9	4.2	頁岩
	54	表土	表土	UF	42.2	63.6	11.9	25.1	頁岩
	55	表土	表土	UF	28.3	19.5	5.8	4.2	頁岩
	56	表土	表土	剥片	23.2	38.7	5.4	7.5	頁岩
	57	表土	表土	石匙	178.0	38.7	15.5	7.7	頁岩
	58	表土	表土	剥片	20.4	14.9	5.3	1.8	頁岩
	59	表土	表土	剥片	30.7	34.9	3.8	4.0	頁岩
	60	表土	表土	剥片	45.6	32.7	8.7	11.2	頁岩

第15表 石器属性表(2)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	61	表土	表土	剥片	27.3	56.6	9.4	14.8	頁岩
	62	表土	表土	剥片	(16.9)	(36.9)	8.8	5.3	頁岩
	63	表土	表土	剥片	42.1	43.1	12.9	24.5	頁岩
	64	表土	表土	剥片	39.3	43.0	11.6	25.4	頁岩
	65	表土	表土	剥片	61.3	47.1	13.1	35.2	頁岩
	66	表土	表土	剥片	69.9	46.1	16.4	44.3	頁岩
	67	表土	表土	剥片	(38.4)	27.1	6.6	4.9	めのう
	68	表土	表土	剥片	(39.1)	(33.6)	6.2	9.2	頁岩
	69	表土	表土	剥片	26.1	35.9	5.7	5.9	頁岩
	70	表土	表土	剥片	31.6	39.6	5.5	7.1	頁岩
	71	表土	表土	剥片	(38.1)	(39.3)	12.2	14.6	頁岩
	72	表土	表土	剥片	62.5	69.3	16.2	86.0	頁岩
	73	表土	表土	剥片	35.5	33.8	11.1	9.8	頁岩
	74	表土	表土	剥片	31.9	28.8	7.0	4.7	頁岩
	75	表土	表土	剥片	29.1	24.3	3.8	3.2	頁岩
	76	表土	表土	剥片	34.6	16.8	7.5	4.4	頁岩
	77	表土	表土	スクレイパー	61.4	57.7	23.2	78.2	頁岩
	78	表土	表土	剥片	22.5	23.3	5.7	3.0	頁岩
	79	表土	表土	剥片	20.7	14.1	5.2	1.7	頁岩
	80	表土	表土	RF	49.3	41.7	15.9	2.8	頁岩
	81	表土	表土	剥片	45.5	34.9	8.3	22.5	安山岩
	82	表土	表土	剥片	38.0	37.1	6.5	10.3	頁岩
	83	表土	表土	ピエス・エスキエ	23.0	32.5	5.5	4.4	頁岩
	84	表土	表土	剥片	35.1	32.1	6.5	7.1	頁岩
	85	表土	表土	剥片	(17.1)	26.8	14.5	6.8	頁岩
	86	表土	表土	剥片	23.4	35.1	6.1	7.4	頁岩
	87	表土	表土	剥片	23.7	30.8	7.3	5.2	頁岩
	88	表土	表土	スクレイパー	(30.2)	(49.8)	11.6	16.7	頁岩
	89	表土	表土	剥片	34.0	48.0	12.8	26.6	頁岩
	90	表土	表土	剥片	55.9	48.0	9.9	24.4	頁岩
	91	表土	表土	剥片	54.6	46.9	11.3	35.3	頁岩
	92	表土	表土	スクレイパー	27.2	37.5	7.5	7.2	頁岩
	93	表土	表土	剥片	30.0	44.4	8.9	14.0	頁岩
第198図-5	94	K-10	包3d層	スクレイパー	44.9	35.7	10.5	16.3	頁岩
	95	表土	表土	剥片	28.1	22.0	10.4	5.0	頁岩
	96	表土	表土	剥片	48.9	51.9	9.7	27.5	頁岩
	97	表土	表土	剥片	44.4	19.3	5.0	3.6	頁岩
	98	表土	表土	剥片	(14.0)	(32.7)	(7.5)	2.9	頁岩
	99	表土	表土	剥片	15.2	43.3	3.5	3.4	頁岩
	100	表土	表土	剥片	28.3	61.8	9.2	12.2	頁岩
	102	表土	表土	剥片	35.8	81.0	8.9	56.6	頁岩
	103	表土	表土	剥片	26.5	22.7	3.3	3.7	頁岩
	104	表土	表土	剥片	20.7	23.7	8.0	4.5	頁岩
	105	表土	表土	石核	47.2	42.8	19.1	43.1	頁岩
	106	表土	表土	剥片	(35.4)	16.9	4.1	3.2	頁岩
	107	表土	表土	剥片	27.9	44.0	5.8	6.8	頁岩
	108	表土	表土	剥片	61.7	24.8	8.0	20.1	頁岩
	109	表土	表土	剥片	(21.6)	18.5	8.7	2.0	頁岩
	110	表土	表土	剥片	32.2	46.9	8.4	13.4	頁岩
	111	表土	表土	剥片	(32.2)	32.0	11.0	8.9	黒曜石
	112	表土	表土	剥片	23.2	26.5	5.8	3.6	頁岩
	113	表土	表土	剥片	28.2	50.9	8.2	9.2	頁岩
	114	表土	表土	スクレイパー	43.3	31.1	5.5	9.7	頁岩
	115	表土	表土	剥片	33.3	44.1	7.4	12.8	頁岩
	116	表土	表土	剥片	48.8	27.1	8.1	12.0	頁岩
	117	表土	表土	剥片	40.5	35.8	13.5	14.8	頁岩
	118	表土	表土	剥片	19.7	43.1	8.5	7.7	頁岩
	119	表土	表土	スクレイパー	(24.8)	17.4	6.7	3.2	頁岩

第15表 石器属性表(3)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	120	表土	表土	石匙	(23.8)	11.7	6.3	1.5	チャート
	121	表土	表土	剥片	(31.4)	24.6	4.5	4.9	頁岩
	122	表土	表土	剥片	21.6	14.1	3.5	0.8	頁岩
	123	表土	表土	剥片	44.7	39.6	10.3	14.4	シルト岩
	124	表土	表土	RF	54.3	46.5	15.3	32.3	泥岩
	125	表土	表土	剥片	(44.7)	22.7	5.0	3.5	頁岩
	126	表土	表土	RF	63.3	24.6	6.3	11.5	頁岩
	127	表土	表土	RF	57.8	47.7	14.4	32.3	頁岩
	128	表土	表土	剥片	(46.6)	50.4	9.0	23.3	泥岩
	129	表土	表土	石核	56.2	54.3	25.7	68.8	頁岩
	130	表土	表土	石核	62.0	44.3	23.9	82.8	頁岩
	131	表土	表土	RF	69.6	40.0	15.6	44.3	頁岩
	132	表土	表土	RF	45.2	38.0	12.0	22.7	頁岩
	133	表土	表土	石核	55.3	48.3	45.9	91.0	頁岩
	134	表土	表土	石核	48.0	32.8	16.3	25.9	頁岩
	135	表土	表土	剥片	18.6	18.1	1.7	0.8	頁岩
	136	表土	表土	剥片	53.4	15.8	12.1	15.2	頁岩
	137	表土	表土	剥片	(28.0)	52.0	9.0	9.8	頁岩
	138	表土	表土	剥片	(39.0)	26.4	4.0	4.0	頁岩
	139	表土	表土	剥片	28.7	62.3	7.7	15.3	泥岩
	140	表土	表土	剥片	(20.0)	(28.5)	(4.2)	2.3	頁岩
	141	表土	表土	石匙	72.8	27.5	8.2	22.0	頁岩
	142	表土	表土	剥片	26.7	24.5	7.8	4.5	安山岩
	143	表土	表土	剥片	37.5	59.1	10.4	22.2	安山岩
	144	表土	表土	剥片	29.8	19.6	2.3	2.2	頁岩
	145	表土	表土	スクレイパー	59.6	39.9	10.0	21.2	頁岩
	146	表土	表土	剥片	(48.0)	56.2	15.0	27.9	頁岩
	147	表土	表土	スクレイパー	47.1	21.7	2.3	3.7	頁岩
	148	表土	表土	スクレイパー	33.7	63.5	13.3	33.4	頁岩
	149	表土	表土	剥片	35.5	38.9	6.6	10.3	頁岩
	150	表土	表土	剥片	20.3	25.4	2.8	1.6	頁岩
	151	表土	表土	剥片	31.0	21.5	3.2	2.3	頁岩
	152	表土	表土	スクレイパー	53.2	27.6	16.5	28.3	頁岩
	153	表土	表土	剥片	43.0	23.6	9.7	10.2	頁岩
第200図-2	154	E-24	II層	スクレイパー	(55.6)	50.0	16.8	67.2	安山岩
	155	表土	表土	UF	47.6	40.0	9.3	18.7	頁岩
	156	表土	表土	石斧	(64.1)	(46.3)	(21.5)	120.0	砂岩
	157	第4号竪穴住居跡	攪乱	剥片	72.6	111.1	28.8	256.0	安山岩
	158	第7号竪穴住居跡	床面	軽石	54.1	49.7	29.4	23.3	軽石
	159	表土	表土	軽石	63.7	29.5	24.0	18.6	軽石
	160	表土	表土	軽石	64.3	51.2	38.9	29.9	軽石
	161	E-24	表土	敲石	(38.8)	(37.9)	(39.6)	83.4	安山岩
	245	表土	表土	軽石	76.5	55.9	22.6	35.0	パミス
	248	表土	表土	石斧	(78.5)	(73.5)	(32.8)	324.0	ひん岩
	252	表土	表土	石錘	144.4	84.8	43.8	715.0	安山岩
	255	表土	表土	剥片	90.3	55.9	19.2	140.0	安山岩
	259	表土	表土	軽石	122.1	86.4	43.8	180.0	パミス
	261	表土	表土	砥石	83.8	59.9	42.5	192.0	砂岩
	263	表土	表土	磨石	(93.9)	(30.9)	(32.5)	148.0	安山岩
	265	表土	表土	剥片	57.9	85.0	14.9	91.0	安山岩
	269	表土	表土	剥片	32.2	33.2	11.0	12.0	頁岩
	270	表土	表土	砥石	88.5	52.6	18.4	128.0	砂岩
	271	表土	表土	剥片	44.8	43.5	14.2	15.7	頁岩
	272	表土	表土	剥片	43.2	22.2	12.7	12.1	頁岩
	273	表土	表土	石匙	55.6	30.0	8.4	15.5	頁岩
	274	表土	表土	剥片	26.2	52.0	5.7	10.8	頁岩
	275	第8号竪穴住居跡	1層	剥片	16.5	14.6	2.7	0.6	頁岩
	276	表土	表土	剥片	36.7	38.8	18.1	22.3	泥岩

第15表 石器属性表(4)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	277	表土	表土	石斧	(43.8)	(47.5)	(28.3)	106.0	緑色泥岩
	278	表土	表土	剥片	36.7	27.4	8.5	8.6	頁岩
	279	表土	表土	剥片	48.8	41.6	8.1	15.3	頁岩
	280	表土	表土	剥片	42.8	49.6	19.3	14.3	頁岩
	281	表土	表土	剥片	35.2	23.0	4.9	6.5	頁岩
	282	表土	表土	剥片	31.9	44.8	12.2	20.5	頁岩
	283	表土	表土	剥片	45.4	43.3	13.2	25.7	頁岩
	284	表土	表土	剥片	16.9	33.4	8.3	4.5	頁岩
	285	表土	表土	剥片	50.3	44.0	10.6	20.4	頁岩
	286	表土	表土	剥片	47.6	41.0	22.2	32.2	頁岩
	287	表土	表土	剥片	41.7	55.6	12.6	18.9	頁岩
	288	表土	表土	石鏃	39.0	17.2	4.0	2.7	頁岩
	289	表土	表土	石匙	90.8	35.0	7.9	25.3	頁岩
	290	表土	表土	スクレイパー	69.2	24.4	18.2	32.9	頁岩
	296	表土	表土	剥片	27.8	26.7	8.5	4.5	安山岩
	297	表土	表土	剥片	47.8	28.4	5.9	9.7	頁岩
	298	表土	表土	剥片	41.5	35.8	8.5	10.9	頁岩
	299	表土	表土	剥片	31.3	37.0	7.5	6.4	頁岩
	300	表土	表土	剥片	30.7	23.5	5.7	3.7	頁岩
	301	表土	表土	剥片	34.9	35.5	5.4	9.6	頁岩
	302	表土	表土	剥片	(26.5)	25.0	4.3	2.4	頁岩
	303	表土	表土	剥片	34.4	41.3	10.0	159.0	頁岩
	304	表土	表土	剥片	11.0	19.4	3.5	0.6	頁岩
	305	表土	表土	剥片	36.7	34.9	5.6	6.5	泥岩
	306	表土	表土	剥片	13.2	3.5	2.0	0.3	頁岩
	307	表土	表土	剥片	29.0	19.2	3.9	17.0	頁岩
第208図-4	308	K-9	包1層	石斧	(30.2)	(37.4)	(12.7)	14.2	緑色泥岩
	309	第9号竪穴住居跡	4層	剥片	76.6	40.4	7.8	17.8	頁岩
	310	B-25	II層	剥片	48.9	37.1	8.6	18.7	安山岩
	311	表土	表土	剥片	26.6	17.6	2.0	1.0	頁岩
	312	表土	表土	スクレイパー	33.9	26.7	6.1	6.1	頁岩
	313	表土	表土	石匙	39.8	23.7	5.4	4.1	頁岩
	314	表土	表土	ポイント	67.0	26.7	13.2	21.2	頁岩
	315	K-9	包1層	剥片	38.8	48.7	12.0	18.6	泥岩
	316	表土	表土	剥片	24.1	28.3	7.7	4.9	頁岩
	317	表土	表土	剥片	(16.1)	(22.6)	4.0	1.6	頁岩
	318	表土	表土	スクレイパー	69.0	32.4	11.0	27.2	泥岩
	319	E-21	IIIa層	剥片	48.5	46.6	10.3	24.8	頁岩
	320	表土	表土	剥片	51.0	41.0	18.0	14.6	頁岩
	321	D-23	II層	剥片	37.3	22.7	4.3	3.3	頁岩
	322	表土	表土	剥片	(42.7)	42.0	9.2	16.9	泥岩
	323	表土	表土	剥片	24.0	52.3	12.0	18.9	泥岩
	324	表土	表土	剥片	26.5	(42.5)	6.8	7.4	泥岩
	325	表土	表土	剥片	36.0	35.1	7.0	6.7	頁岩
	326	表土	表土	剥片	(22.7)	27.2	5.1	2.7	花崗岩
第200図-6	327	第9号竪穴住居跡	1層	ピエス・エスキュ	25.8	18.0	5.3	2.7	頁岩
	328	表土	表土	石鏃	32.5	16.4	3.8	2.2	頁岩
	329	表土	表土	石鏃	32.2	17.5	3.7	1.8	泥岩
	330	表土	表土	石鏃	36.5	14.7	4.5	1.9	頁岩
	331	表土	表土	ポイント	63.6	23.9	9.7	14.4	頁岩
	332	表土	表土	石匙	34.0	66.4	2.4	16.6	頁岩
	333	表土	表土	ポイント	87.7	28.4	12.5	30.2	頁岩
	334	表土	表土	石鏃	30.1	10.8	3.1	1.0	頁岩
	349	K-8	包2b層	剥片	57.9	42.5	12.4	30.0	頁岩
	350	K-8	包2b層	剥片	49.1	34.0	3.8	7.0	頁岩
	351	K-8	包2b層	剥片	(46.9)	60.7	16.4	41.0	頁岩
	352	K-8	包2b層	剥片	42.2	(36.5)	8.9	12.0	頁岩
	353	K-9	包2a層	剥片	27.2	28.4	3.0	3.0	泥岩

第15表 石器属性表(5)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	354	K-8	包2b層	剥片	31.5	36.7	6.9	8.0	頁岩
	355	K-8	包2b層	剥片	47.3	28.3	6.7	8.0	頁岩
第195図-2	356	K-8	包2b層	スクレイパー	49.9	37.4	9.9	23.0	頁岩
第193図-8	357	K-8	包2b層	スクレイパー	(19.7)	30.2	9.1	6.0	頁岩
第194図-7	358	K-8	包2b層	スクレイパー	39.8	40.4	8.4	16.0	チャート
第203図-4	359	K-8	表土	石核	31.3	65.1	39.3	92.0	頁岩
	360	K-8	包2b層	UF	(30.4)	40.9	11.1	12.0	頁岩
	361	K-8	包2b層	剥片	(30.0)	21.3	3.8	3.0	頁岩
	362	K-8	包2b層	剥片	33.4	57.8	5.0	8.0	頁岩
第193図-3	363	K-9	包2a層	スクレイパー	67.2	24.3	10.9	24.0	頁岩
	364	表土	表土	剥片	42.0	44.4	11.1	25.0	頁岩
	365	E-24	II層	剥片	42.2	46.1	9.8	18.0	頁岩
	366	表土	表土	剥片	(39.5)	42.0	8.7	10.0	頁岩
	367	表土	表土	剥片	50.4	28.9	8.8	15.0	頁岩
	368	表土	表土	剥片	(27.0)	41.2	11.6	11.0	泥岩
	369	表土	表土	スクレイパー	58.0	36.9	13.5	34.0	頁岩
	370	表土	表土	剥片	(64.8)	32.0	7.2	13.0	頁岩
	371	表土	表土	剥片	(31.8)	34.9	5.2	6.0	頁岩
	372	表土	表土	剥片	(30.1)	21.1	3.4	2.0	頁岩
	373	L-10	包2b層	剥片	41.3	44.1	5.6	8.0	頁岩
	374	L-10	包2b層	剥片	86.0	42.5	13.1	47.0	頁岩
	375	L-10	包2b層	剥片	31.3	38.6	8.7	13.0	頁岩
	376	L-10	包2b層	剥片	50.0	22.2	6.7	9.0	頁岩
第203図-2	377	L-10	表土	石核	39.2	53.1	25.0	71.0	チャート
	378	L-9	包2a層	剥片	19.5	36.6	6.5	5.0	チャート
	379	L-9	包2a層	剥片	111.1	20.0	9.9	19.0	頁岩
	380	L-9	包2a層	剥片	7.3	48.0	6.0	12.0	頁岩
	381	L-9	包2a層	剥片	29.6	40.5	4.0	5.0	頁岩
	382	L-9	包2a層	剥片	(35.3)	33.6	8.1	9.0	頁岩
	383	L-9	包2a層	剥片	26.8	33.5	5.0	5.0	頁岩
	384	L-9	包2a層	剥片	41.6	61.3	13.6	38.0	頁岩
	385	L-9	包2a層	剥片	62.1	31.5	13.0	24.0	頁岩
	386	L-9	包2a層	剥片	4.7	35.0	4.2	3.0	頁岩
	387	L-9	包2a層	剥片	46.7	32.6	8.6	10.0	頁岩
	388	表土	表土	剥片	43.7	23.1	11.3	11.0	頁岩
	389	K-9	包2a層	剥片	35.0	44.8	11.2	22.0	頁岩
	390	K-9	包2a層	RF	45.9	49.5	13.8	35.0	頁岩
	391	K-9	包2a層	剥片	48.7	24.9	66.7	9.0	頁岩
	392	K-9	包2a層	剥片	42.7	39.0	10.2	17.0	頁岩
	393	K-9	包2a層	剥片	46.2	34.3	7.5	11.0	頁岩
	394	K-9	包2a層	剥片	45.5	21.5	6.3	5.0	頁岩
	395	K-9	包2a層	剥片	35.7	26.5	12.5	9.0	頁岩
	396	K-9	包2a層	剥片	(51.0)	48.9	13.7	32.0	頁岩
	397	K-9	包2a層	剥片	(31.3)	46.5	14.9	16.0	頁岩
第201図-3	398	K-9	表土	石核	75.1	60.6	27.4	186.0	頁岩
	399	表土	表土	剥片	45.8	28.6	9.8	13.0	頁岩
	400	K-9	包2b層	剥片	29.2	16.3	6.3	4.0	頁岩
	401	K-9	包2b層	剥片	37.9	41.0	5.7	7.0	頁岩
	402	K-9	包2b層	剥片	64.6	30.8	7.5	16.0	安山岩
	403	K-9	包2b層	剥片	65.2	(66.6)	15.3	61.0	頁岩
	404	K-9	包2b層	剥片	58.1	53.8	14.8	46.0	頁岩
	405	K-9	包2b層	剥片	33.7	54.0	9.7	17.0	頁岩
	406	K-9	包2b層	剥片	(73.3)	32.7	13.4	32.0	頁岩
	407	K-9	包2b層	剥片	45.2	42.0	11.9	24.0	頁岩
	408	K-9	包2b層	剥片	55.5	37.0	14.1	30.0	頁岩
	409	K-9	包2b層	剥片	41.7	25.1	6.3	11.0	頁岩
	410	K-9	包2b層	剥片	(37.6)	49.0	13.7	26.0	頁岩
第194図-6	411	K-9	包2b層	スクレイパー	38.2	32.0	8.2	12.0	頁岩

第15表 石器属性表(6)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第194図-4	412	K-9	包2b層	スクレイパー	(49.0)	29.8	9.0	19.0	頁岩
	413	K-9	包2b層	剥片	32.2	43.5	7.7	16.0	頁岩
	414	K-9	包2b層	剥片	24.6	48.5	6.5	8.0	頁岩
	415	K-9	包2b層	RF	60.5	51.2	11.4	30.0	頁岩
第204図-3	416	K-9	表土	石核	69.2	49.6	32.4	116.0	頁岩
	417	K-9	包2b層	剥片	65.4	72.7	20.0	76.2	頁岩
第203図-5	418	K-9	表土	石核	81.0	76.8	50.7	328.0	頁岩
	421	D-24	Ⅲa層	RF	51.5	41.3	10.9	27.0	頁岩
	422	表土	表土	石斧	(56.9)	54.3	18.9	97.0	砂岩
	423	表土	表土	RF	30.9	33.1	9.2	12.0	頁岩
	424	表土	表土	剥片	23.0	39.0	7.1	8.0	泥岩
	425	表土	表土	RF	(24.7)	24.3	12.8	7.0	頁岩
	426	表土	表土	剥片	(51.7)	35.2	4.8	6.0	頁岩
	427	表土	表土	RF	43.9	27.9	8.5	11.0	頁岩
	428	表土	表土	剥片	(36.1)	23.7	9.3	8.0	頁岩
	429	表土	表土	剥片	(36.1)	19.7	3.0	2.0	頁岩
	430	E-24	表土	敲石	103.5	57.0	34.7	348.0	砂岩
	431	表土	表土	剥片	27.2	20.0	6.4	2.0	泥岩
	432	表土	表土	剥片	15.8	18.4	4.7	2.0	頁岩
	433	表土	表土	剥片	20.9	16.0	3.5	1.0	頁岩
	434	表土	表土	剥片	46.7	27.6	2.2	4.0	頁岩
	435	表土	表土	剥片	(24.9)	36.8	8.2	7.0	頁岩
	436	表土	表土	剥片	(29.8)	37.4	8.9	12.0	チャート
	437	表土	表土	剥片	36.5	38.7	9.5	9.0	頁岩
	438	表土	表土	RF	21.1	17.9	4.0	2.0	頁岩
	439	J-14	Ⅲb層	剥片	25.8	32.5	3.0	2.0	頁岩
440	J-14	Ⅲb層	UF	33.9	32.4	5.2	6.0	頁岩	
441	D-24	Ⅲa層	剥片	36.1	27.5	7.3	8.0	頁岩	
第175図-5	442	L-10	包2b層	石鏃	36.5	20.5	6.1	3.0	頁岩
第189図-1	443	K-9	包1層	石匙	41.8	63.7	15.0	24.0	頁岩
第172図-18	444	D-24	Ⅲa層	石鏃	(39.1)	14.4	7.1	4.0	泥岩
第187図-5	445	L-9	包1層	石匙	57.2	32.9	10.0	20.0	頁岩
第183図-4	446	L-9	包1層	石匙	59.6	20.5	4.8	8.0	頁岩
第189図-2	447	L-9	包1層	石匙	53.0	67.3	10.3	29.0	頁岩
第175図-19	448	K-9	包2b層	石鏃	(29.8)	18.0	5.0	3.0	頁岩
第173図-10	449	K-13	Ⅲb層	石匙	49.4	15.0	4.3	3.0	頁岩
	458	表土	表土	UF	34.4	42.6	9.8	16.0	頁岩
第192図-6	459	K-9	包2a層	スクレイパー	49.9	21.1	7.5	8.0	頁岩
	460	E-21	Ⅲa層	剥片	27.2	25.8	3.6	2.0	頁岩
第175図-6	461	K-9	包2a層	石鏃	40.0	15.2	3.0	2.0	頁岩
第175図-7	462	L-10	包2b層	石鏃	35.6	15.9	4.4	2.0	頁岩
	463	表土	表土	RF	47.8	38.5	7.2	9.8	頁岩
464	表土	表土	石匙	54.1	28.4	5.5	11.0	頁岩	
第186図-5	465	K-9	包1層	石匙	65.5	30.7	10.8	22.0	頁岩
第185図-4	466	L-9	包1層	石匙	71.0	31.6	9.5	18.0	頁岩
第187図-3	467	L-9	包2b層	石匙	57.7	36.4	7.4	17.0	頁岩
	468	表土	表土	石鏃	39.6	20.0	4.5	1.0	頁岩
第187図-7	469	L-9	包2b層	石匙	59.6	41.9	8.4	21.0	頁岩
	470	表土	表土	石鏃	27.6	18.5	3.8	2.0	頁岩
第175図-3	471	L-10	包2b層	石鏃	51.7	(20.5)	4.3	4.0	頁岩
第175図-17	472	L-10	包2b層	石鏃	32.9	20.0	3.8	2.0	頁岩
第175図-2	473	L-9	包1層	石鏃	61.0	20.6	5.2	5.0	頁岩
第179図-8	474	K-9	包2b層	石鏃	(27.3)	18.4	6.5	3.0	頁岩
第179図-1	475	K-9	包3a層	石鏃	43.1	17.9	6.2	4.0	頁岩
第185図-5	476	L-10	包2b層	石匙	(52.4)	30.4	8.2	12.0	頁岩
	477	K-4	表土	敲石	83.5	130.5	32.0	585.0	安山岩
478	K-4	表土	敲石	(82.9)	(97.9)	40.8	454.0	砂岩	
第191図-6	479	L-10	包2b層	石匙	55.0	40.4	7.0	13.0	頁岩

第15表 石器属性表(7)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	480	表土	表土	石鏃	42.0	16.5	5.2	3.0	頁岩
第179図-14	481	K-9	包2b層	ポイント	(74.9)	26.4	9.8	19.0	頁岩
	482	B-20	Ⅲa層	剥片	27.2	25.5	7.5	5.0	泥岩
	483	B-20	Ⅲa層	RF	47.4	50.3	16.8	40.0	泥岩
第176図-3	484	L-10	包2b層	石鏃	39.7	17.7	4.5	3.0	頁岩
	485	第6号竪穴住居跡	1b層	剥片	(24.9)	20.1	7.8	4.0	頁岩
第176図-23、 第176図-4	486	L-10	包2b層	石鏃	(17.8)	19.9	5.1	1.0	頁岩
第178図-5	487	K-9	包2b層	石鏃	30.0	21.8	4.5	3.0	頁岩
第172図-17	488	K-5	Ⅲb層	石鏃	38.5	15.0	5.1	3.0	頁岩
第177図-16	489	K-9	包1層	石鏃	27.2	7.9	2.5	1.0	頁岩
第183図-6	490	K-9	包2a層	石匙	85.7	28.2	9.8	25.0	頁岩
	492	K-5	Ⅲb層	RF	35.2	21.2	8.5	7.0	頁岩
	493	K-5	Ⅲb層	剥片	(16.3)	42.4	4.3	3.0	頁岩
	494	K-5	Ⅲb層	剥片	(25.7)	13.8	6.3	2.0	頁岩
	495	K-5	Ⅲb層	剥片	11.0	24.9	7.0	2.0	頁岩
	496	L-10	包2b層	RF	(43.0)	27.8	16.6	19.0	頁岩
	497	L-10	包2b層	剥片	59.8	42.6	11.0	26.0	頁岩
	498	L-10	包2b層	剥片	38.5	46.0	10.2	12.0	頁岩
	499	表土	表土	剥片	23.8	28.0	3.3	2.0	頁岩
	500	L-10	包2b層	剥片	(48.3)	33.1	6.4	9.0	頁岩
	501	L-10	包2b層	剥片	42.2	46.8	10.2	23.0	泥岩
	502	L-10	包2b層	剥片	(39.5)	49.1	14.0	24.0	頁岩
	503	L-10	包2b層	剥片	61.0	49.8	10.0	13.0	頁岩
	504	L-10	包2b層	剥片	(37.8)	32.2	6.5	7.0	頁岩
	505	L-10	包2b層	RF	59.4	51.4	22.9	72.0	頁岩
	506	K-9	包2b層	剥片	(45.6)	(26.6)	9.6	13.0	頁岩
	507	K-9	包2b層	UF	56.0	50.8	11.6	29.0	頁岩
	508	K-9	包2b層	剥片	37.0	40.7	12.5	19.0	頁岩
	510	K-9	包2b層	UF	57.1	53.6	13.5	24.0	頁岩
	511	K-9	包2b層	剥片	52.4	32.3	7.7	11.0	凝灰岩
	512	K-9	表土	石核	36.3	49.1	18.0	33.0	頁岩
	513	K-9	包2b層	剥片	28.0	32.0	4.0	4.0	頁岩
	514	K-9	包2b層	剥片	(32.1)	34.0	9.6	11.0	頁岩
	515	K-9	包2b層	剥片	38.3	30.2	8.7	10.0	頁岩
第172図-1	516	第9号竪穴住居跡	2層	石鏃	31.8	15.7	4.2	2.0	頁岩
	518	K-9	包2b層	剥片	22.5	28.5	6.6	4.0	頁岩
	519	K-9	包2b層	剥片	37.2	33.6	7.5	9.0	頁岩
	520	K-9	包2b層	剥片	22.8	36.2	8.6	6.0	シルト岩
	521	B-22	Ⅱ層	剥片	50.4	39.3	3.4	24.0	頁岩
第211図-1	522	第7号竪穴住居跡	2層	敵石	125.4	72.6	51.5	710.0	安山岩
	523	E-25	表土	石斧	(93.1)	57.3	35.0	340.0	安山岩
	524	K-9	包2b層	剥片	39.2	76.6	14.5	36.0	頁岩
	525	K-9	包2b層	剥片	46.6	49.5	14.4	24.0	頁岩
第204図-1	526	K-9	包2b層	石核	56.8	66.0	38.1	181.0	頁岩
	527	K-9	包2b層	剥片	98.2	42.5	30.1	107.0	頁岩
	528	K-3	Ⅲb層	剥片	(18.0)	24.1	6.3	2.0	頁岩
	529	第9号竪穴住居跡	3層	剥片	33.2	22.7	8.5	7.0	シルト岩
第200図-3	530	D-22	Ⅱ層	スクレイパー	63.7	46.1	8.4	23.0	頁岩
	572	第1号竪穴住居跡	1層	剥片	26.2	19.8	3.0	2.0	頁岩
第172図-2	573	第9号竪穴住居跡	3層	石鏃	(23.9)	15.5	4.7	2.0	頁岩
	642	表土	表土	石皿	196.0	165.0	67.5	1980.0	砂岩
	728	第1号集石遺構	底面	剥片	(46.8)	23.0	4.6	5.0	頁岩
	729	第1号集石遺構	底面	剥片	(30.3)	34.9	12.3	14.0	頁岩
	730	E-25	Ⅱ層	剥片	35.8	34.8	8.1	13.0	頁岩
第182図-2	731	第9号竪穴住居跡	2層	スクレイパー	41.0	23.8	6.2	8.0	頁岩
	732	表土	表土	スクレイパー	(20.6)	43.4	11.6	9.0	シルト岩
	733	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	33.5	38.5	7.2	8.0	チャート

第15表 石器属性表(8)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	734	表土	表土	石斧	(90.2)	43.9	21.7	138.0	ひん岩
	735	表土	表土	剥片	55.1	21.3	12.8	12.0	頁岩
	736	表土	表土	剥片	30.9	37.1	7.8	11.0	頁岩
	737	表土	表土	剥片	23.3	22.9	2.9	2.0	頁岩
	738	L-9	包3a層	剥片	24.8	24.8	1.9	3.0	頁岩
	739	L-9	包3a層	剥片	13.2	21.5	2.0	1.0	頁岩
第190図-1	740	K-9	包2a層	石匙	40.4	58.0	6.9	17.0	頁岩
	741	表土	表土	スクレイパー	26.3	35.5	5.4	5.0	頁岩
	742	表土	表土	剥片	40.0	25.3	3.8	4.0	頁岩
	743	表土	表土	剥片	44.8	33.8	8.9	11.0	頁岩
	744	表土	表土	剥片	44.1	41.4	10.6	17.0	チャート
	745	表土	表土	剥片	36.2	37.1	4.9	6.0	頁岩
	746	表土	表土	剥片	52.5	40.2	13.2	22.0	頁岩
	747	D-22	Ⅲa層	剥片	45.3	52.4	6.6	17.0	泥岩
	748	C-22	Ⅲa層	剥片	34.1	43.4	12.1	11.0	チャート
	749	第1号集石遺構	底面	剥片	24.4	27.7	3.3	2.0	頁岩
第172図-12	750	L-2	Ⅲb層	石鏃	25.6	(15.1)	3.8	1.0	頁岩
	751	C-22	Ⅲa層	剥片	42.9	74.1	20.3	71.0	頁岩
	752	表土	表土	石匙	47.9	68.6	9.1	22.0	頁岩
	753	L-9	包3a層	剥片	54.2	51.4	8.7	28.0	頁岩
	754	E-20	Ⅲb層	剥片	40.6	35.9	9.4	10.0	チャート
	755	L-9	包3a層	剥片	40.3	44.8	15.3	28.0	頁岩
	756	L-9	包2a層	剥片	50.7	30.9	7.5	13.0	チャート
第208図-1	757	第9号竪穴住居跡	2層	石斧	(48.2)	40.5	16.1	54.0	安山岩
	758	D-24	Ⅱ層	剥片	16.6	52.1	14.2	17.0	チャート
	759	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	39.4	49.3	9.2	16.0	チャート
	760	L-9	包3a層	剥片	27.9	(14.6)	8.1	3.0	頁岩
	761	表土	表土	剥片	45.6	56.1	15.0	34.0	頁岩
	762	L-9	包3a層	剥片	63.8	39.2	10.2	25.0	頁岩
	763	L-9	包3a層	剥片	(33.5)	(32.2)	9.9	8.0	頁岩
	764	L-9	包3a層	剥片	38.4	40.5	10.6	14.0	頁岩
第174図-1	765	L-3	Ⅲb層	石匙	79.0	24.1	7.1	14.0	頁岩
	766	表土	表土	剥片	54.2	(48.5)	7.3	15.0	シルト岩
第196図-6	767	L-9	包3a層	スクレイパー	48.0	24.3	10.3	14.0	頁岩
	768	表土	表土	スクレイパー	(44.8)	42.1	7.8	14.0	頁岩
	769	L-9	包3a層	剥片	(23.8)	22.2	5.7	3.0	頁岩
	770	L-9	包3a層	RF	23.2	36.2	9.0	6.0	頁岩
	771	表土	表土	剥片	53.2	18.1	8.5	7.0	チャート
	772	L-9	包3a層	剥片	37.4	29.2	10.7	14.0	頁岩
第196図-7	773	L-9	包3a層	スクレイパー	51.4	23.0	8.2	10.0	チャート
	774	L-9	包3a層	UF	(35.5)	27.1	6.8	5.0	頁岩
	775	表土	表土	剥片	49.0	39.5	8.2	15.0	頁岩
	776	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	(24.8)	57.2	11.8	18.0	頁岩
	777	L-9	包3a層	剥片	31.4	28.2	6.0	3.0	チャート
	778	L-9	包3a層	剥片	11.3	25.5	8.8	2.0	頁岩
	779	D-22	表土	石斧	144.2	48.1	30.6	326.0	ひん岩
	780	L-2	北包1層	剥片	59.4	29.9	16.5	23.0	シルト岩
第192図-3	781	L-2	北包1層	スクレイパー	30.6	36.0	7.5	8.0	頁岩
第199図-1	782	K-10	包3d層	スクレイパー	86.3	22.5	9.9	18.0	頁岩
	783	表土	表土	石鏃	32.0	17.3	5.0	2.0	頁岩
	784	表土	表土	剥片	28.0	26.6	6.1	5.0	チャート
	785	表土	表土	石鏃	(40.3)	13.4	5.3	3.0	頁岩
	786	L-9	包2a層	剥片	47.5	46.1	17.7	28.0	頁岩
	787	表土	表土	石鏃	(29.5)	4.6	7.1	3.0	頁岩
	788	表土	表土	ポイント	(35.1)	21.7	10.5	8.0	頁岩
	789	表土	表土	剥片	48.0	33.9	8.4	13.0	頁岩
	790	表土	表土	RF	(55.8)	58.6	13.8	37.0	頁岩
	791	L-2	北包1層	剥片	46.2	48.6	12.2	24.0	頁岩

第15表 石器属性表(9)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第177図-13	792	K-9	包2b層	石鏃	34.2	18.7	4.8	3.0	頁岩
	793	K-9	包2a層	剥片	32.0	40.3	8.2	7.0	頁岩
	794	E-26	II層	剥片	(19.5)	26.7	3.4	2.0	頁岩
	795	L-2	北包1層	剥片	23.7	37.7	3.7	3.0	シルト岩
第175図-10	796	K-9	包2b層	石鏃	35.1	18.8	3.8	2.0	頁岩
	797	K-9	包2a層	RF	35.2	52.8	11.1	22.0	頁岩
	798	表土	表土	スクレイパー	44.3	22.9	6.3	7.0	頁岩
	799	B-22	II層	剥片	42.8	37.7	8.6	12.0	頁岩
	800	表土	表土	剥片	(26.6)	49.1	10.7	12.0	頁岩
	801	表土	表土	剥片	53.2	16.1	8.5	7.0	頁岩
	802	表土	表土	剥片	(41.6)	34.3	11.6	15.0	頁岩
	803	K-9	包2a層	剥片	41.0	35.7	8.8	10.0	頁岩
	804	表土	表土	剥片	40.7	33.8	10.3	13.0	頁岩
	805	K-9	包2a層	剥片	(38.8)	37.7	10.5	12.0	頁岩
第172図-14	806	表土	表土	石鏃	24.9	14.4	2.5	1.0	頁岩
	807	表土	表土	RF	63.2	(29.6)	8.5	13.0	頁岩
	808	表土	表土	剥片	32.9	(44.0)	8.8	13.0	頁岩
第174図-4	809	L-3	III b層	石匙	45.4	62.4	10.4	29.0	頁岩
	810	表土	表土	剥片	60.6	36.2	9.8	19.0	頁岩
	811	表土	表土	剥片	39.7	(31.6)	11.4	13.0	頁岩
	812	表土	表土	剥片	24.6	21.4	4.3	2.0	チャート
	813	K-9	包2a層	剥片	(37.3)	35.1	12.4	8.0	頁岩
	814	表土	表土	石鏃	24.0	22.3	4.8	1.0	頁岩
	815	K-8	包2b層	石鏃	33.2	16.8	4.6	2.0	頁岩
第175図-16	816	表土	表土	石匙	43.1	23.8	10.2	11.0	チャート
	817	表土	表土	石鏃	32.2	18.8	5.7	3.0	頁岩
	818	K-9	包2b層	石匙	65.5	30.5	6.8	12.0	頁岩
第187図-1	819	表土	表土	ポイント	(62.1)	28.6	7.7	16.0	頁岩
	820	表土	表土	剥片	48.3	40.2	9.9	20.0	頁岩
	821	D-22	III a層	RF	71.0	47.6	9.0	27.0	頁岩
	822	表土	表土	剥片	15.5	13.6	2.2	1.0	頁岩
	823	第9号竪穴住居跡	5層	剥片	(33.0)	50.5	10.2	17.0	頁岩
	824	K-9	包2a層	RF	43.7	31.1	13.0	23.0	シルト岩
	825	表土	表土	剥片	(40.7)	29.8	9.5	10.0	シルト岩
	826	表土	表土	剥片	(20.5)	32.0	9.2	7.0	チャート
	827	表土	表土	剥片	(31.4)	35.1	4.7	6.0	頁岩
	828	K-9	包2a層	剥片	58.8	76.4	27.7	58.0	頁岩
	829	表土	表土	RF	22.6	36.5	7.7	7.0	頁岩
	830	表土	表土	剥片	38.5	47.8	9.2	14.0	頁岩
	831	L-14	III b層	剥片	27.7	45.2	3.4	5.0	頁岩
	832	K-9	包2a層	剥片	54.5	53.5	17.7	43.0	シルト岩
	833	K-9	包2a層	剥片	69.7	45.5	24.4	71.0	シルト岩
第172図-5	834	F-24	III a層	石鏃	37.1	20.9	4.0	2.0	頁岩
	835	K-9	包2a層	剥片	56.1	43.4	8.8	22.0	頁岩
	836	K-9	包2a層	剥片	36.0	31.0	4.5	6.0	頁岩
第175図-14	837	L-8	包2b層	石鏃	(34.9)	19.0	4.4	2.0	シルト岩
	838	表土	表土	石鏃	34.6	16.9	6.0	3.0	頁岩
第222図-2	839	L-9	包3a層	凹石	119.8	51.7	43.1	344.0	砂岩
	840	C-25	表土	磨石	105.0	81.6	36.5	490.0	安山岩
	841	E-22	表土	磨石	100.7	75.2	69.7	700.0	砂岩
	842	E-26	表土	磨石	(121.4)	60.7	36.4	428.0	砂岩
第216図-1	843	第1号集石遺構	底面	磨石	134.0	81.7	26.4	545.0	砂岩
	844	表土	表土	磨石	150.2	89.0	45.1	850.0	砂岩
	845	B-20	表土	磨石	141.6	84.3	36.6	565.0	砂岩
	846	E-26	表土	石斧	115.5	45.2	24.7	166.0	砂岩
第215図-2	847	第6号竪穴住居跡	2層	磨石	102.3	60.2	26.0	252.0	安山岩
第218図-1	848	K-9	包2b層	磨石	127.7	85.8	42.6	680.0	砂岩
	849	表土	表土	磨石	(77.6)	86.0	38.3	321.0	閃緑岩

第15表 石器属性表(10)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第181図-1	850	K-9	包2b層	石匙	146.7	28.2	14.2	56.0	頁岩
第182図-8	852	L-9	包1層	石匙	90.5	26.0	10.3	23.0	頁岩
第208図-6	853	K-9	包2a層	石斧	(37.1)	(36.5)	(30.3)	58.0	緑色泥岩
	854	表土	表土	ポイント	(76.3)	30.2	17.4	46.0	頁岩
	855	K-9	包1層	剥片	50.9	73.5	8.0	26.0	頁岩
第208図-2	856	L-9	包1層	石斧	(47.8)	53.0	30.1	132.0	安山岩
	857	表土	表土	剥片	66.0	46.4	13.3	39.0	頁岩
	858	表土	表土	剥片	53.2	61.0	11.0	26.0	頁岩
	859	表土	表土	剥片	44.3	61.2	9.0	32.0	頁岩
	860	表土	表土	剥片	29.0	68.7	21.0	41.0	チャート
	861	F-21	Ⅲa層	剥片	62.4	56.1	13.0	29.0	頁岩
	862	表土	表土	剥片	42.6	32.4	7.3	6.0	頁岩
	863	表土	表土	RF	69.5	50.0	8.4	20.0	頁岩
	864	表土	表土	RF	34.6	24.8	6.3	5.0	頁岩
	865	L-9	包1層	剥片	27.8	51.0	6.9	9.0	頁岩
	866	K-3	Ⅲb層	剥片	51.0	34.6	11.4	19.0	頁岩
	867	表土	表土	剥片	60.7	63.3	15.9	75.0	頁岩
	868	L-9	包1層	剥片	63.3	26.4	9.3	18.0	頁岩
	869	B-20	Ⅲb層	剥片	26.2	47.5	7.5	11.0	頁岩
	870	表土	表土	UF	83.1	61.7	16.1	48.0	頁岩
	871	第2号竪穴住居跡	1層	剥片	36.6	32.3	12.7	15.0	頁岩
	872	C-25	Ⅱ層	剥片	45.0	30.5	13.0	16.0	頁岩
	873	表土	表土	RF	(15.8)	37.2	5.3	3.0	シルト岩
	874	表土	表土	剥片	(47.9)	35.2	9.1	15.0	頁岩
	875	表土	表土	剥片	42.0	24.2	3.0	4.0	頁岩
	876	K-9	包1層	RF	43.3	38.1	15.7	24.0	頁岩
	877	表土	表土	剥片	23.8	41.2	5.7	5.0	頁岩
	878	表土	表土	RF	32.1	29.0	9.5	12.0	シルト岩
	879	表土	表土	剥片	52.6	28.5	6.0	9.0	頁岩
	880	表土	表土	剥片	28.3	39.5	6.8	8.0	シルト岩
	881	表土	表土	RF	42.6	43.3	8.5	16.0	頁岩
	882	表土	表土	剥片	54.8	24.7	10.1	13.0	シルト岩
	883	表土	表土	剥片	62.8	(47.1)	29.3	64.0	頁岩
	884	K-9	包2b層	剥片	23.6	39.8	16.9	9.0	頁岩
	885	表土	表土	剥片	50.3	10.4	2.9	2.0	頁岩
	886	表土	表土	石鏃	(42.4)	20.1	5.5	4.0	頁岩
	887	K-9	包1層	剥片	52.2	30.5	9.7	13.0	頁岩
	888	L-9	包1層	剥片	(35.1)	48.1	12.6	17.0	頁岩
	889	表土	表土	剥片	(15.7)	16.0	1.7	1.0	頁岩
	890	L-9	包1層	剥片	(31.4)	43.3	10.4	16.0	頁岩
	891	表土	表土	RF	38.2	23.3	9.9	10.0	頁岩
	892	K-9	包1層	剥片	22.4	42.1	6.8	6.0	頁岩
	893	表土	表土	剥片	33.3	42.5	4.9	8.0	頁岩
	894	表土	表土	剥片	32.5	40.9	4.1	6.0	頁岩
	895	表土	表土	剥片	34.8	39.1	5.6	8.0	安山岩
	896	K-9	包1層	剥片	28.2	40.3	6.6	5.0	頁岩
	897	K-9	包1層	剥片	33.8	23.8	5.0	3.0	頁岩
第179図-3	898	K-9	包1層	ポイント	(49.1)	30.4	4.6	17.0	頁岩
	899	K-9	包1層	剥片	18.0	29.2	4.1	2.0	頁岩
	900	K-9	包1層	剥片	41.1	40.3	13.0	17.0	頁岩
	901	K-9	包2b層	剥片	(26.2)	23.3	5.8	2.0	頁岩
	902	表土	表土	剥片	31.5	41.1	6.6	7.0	頁岩
	903	表土	表土	剥片	(38.8)	40.8	7.7	13.0	頁岩
	904	K-9	包1層	剥片	20.5	31.9	3.0	3.0	頁岩
	905	D-23	Ⅲa層	剥片	(12.8)	18.2	4.6	1.0	シルト岩
	906	表土	表土	剥片	(17.0)	39.0	12.2	10.0	頁岩
	907	表土	表土	剥片	26.5	17.9	2.9	1.0	頁岩
	908	表土	表土	RF	46.5	17.0	6.3	6.0	頁岩

第15表 石器属性表(11)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	909	表土	表土	ポイント	77.5	26.5	10.6	22.0	チャート
	910	表土	表土	RF	68.9	39.3	14.9	32.0	頁岩
	911	K-9	包2b層	剥片	43.2	25.6	6.2	4.0	シルト岩
	912	E-25	Ⅲa層	剥片	39.4	46.0	12.0	20.0	頁岩
	913	J-13	包3e層	剥片	39.9	31.6	4.3	2.0	頁岩
	914	表土	表土	スクレイパー	56.1	51.5	16.0	62.0	頁岩
	915	表土	表土	スクレイパー	60.3	29.8	9.1	12.0	頁岩
	916	K-9	包2a層	剥片	(34.0)	30.5	6.2	3.0	頁岩
	917	表土	表土	剥片	32.9	40.9	6.9	11.0	頁岩
	918	表土	表土	剥片	38.3	36.4	4.7	5.0	頁岩
	919	表土	表土	剥片	36.5	35.6	3.2	14.0	頁岩
	920	表土	表土	石斧	(29.7)	28.8	10.3	15.0	泥岩
	921	K-9	包2b層	剥片	(44.1)	30.7	4.4	4.0	頁岩
	922	表土	表土	剥片	(53.9)	39.8	13.6	23.0	シルト岩
	923	表土	表土	剥片	33.5	45.1	9.4	12.0	チャート
	924	K-3	Ⅲb層	剥片	34.5	45.5	5.8	12.0	チャート
	925	表土	表土	石鏃	18.1	11.0	2.4	1.0	頁岩
	926	表土	表土	石鏃	19.3	15.0	1.9	1.0	頁岩
	927	K-9	包2b層	剥片	(40.1)	(33.9)	9.0	14.0	頁岩
第203図-3	928	K-9	包2b層	石核	30.4	38.8	62.5	73.0	チャート
	929	K-9	包2b層	剥片	34.5	37.1	5.0	6.0	頁岩
	930	表土	表土	石匙	84.4	22.2	10.7	13.0	頁岩
	931	K-9	包2b層	剥片	32.3	33.9	8.3	6.0	チャート
	932	K-9	包2b層	剥片	(29.9)	22.2	17.7	5.0	頁岩
	933	L-9	包2a層	剥片	(18.6)	33.4	4.2	3.0	シルト岩
	934	表土	表土	剥片	(33.3)	(39.4)	9.4	12.0	頁岩
	935	K-9	包2a層	剥片	46.6	21.9	7.5	8.0	頁岩
	936	K-9	包2a層	剥片	45.6	24.8	5.3	8.0	頁岩
	937	K-11	表土	石斧	61.0	41.2	17.5	51.0	泥岩
	938	K-9	包2b層	剥片	(30.2)	22.4	6.3	4.0	シルト岩
	939	表土	表土	剥片	(54.4)	49.0	8.0	12.0	頁岩
	940	K-9	包2b層	剥片	(34.5)	214.0	5.3	4.0	頁岩
	941	K-9	包2b層	剥片	20.5	26.0	4.9	12.0	砂岩
	942	表土	表土	剥片	55.5	39.5	8.8	16.0	頁岩
	943	K-9	包2b層	剥片	(53.5)	60.5	10.8	25.0	頁岩
	944	K-11	Ⅲb層	剥片	(34.6)	29.7	9.3	9.0	頁岩
	945	K-9	包2a層	剥片	39.6	27.9	5.1	6.0	頁岩
	946	表土	表土	石鏃	(31.0)	19.5	7.3	4.0	頁岩
	947	K-11	Ⅲb層	剥片	44.4	40.4	10.6	14.0	頁岩
	948	K-9	包2b層	剥片	27.8	28.0	2.5	2.0	頁岩
	949	第9号竪穴住居跡	4層	剥片	30.7	28.5	6.3	4.0	頁岩
	950	K-9	包2a層	剥片	(20.5)	28.5	6.9	3.0	頁岩
	951	K-9	包2a層	剥片	60.2	68.8	7.7	26.0	頁岩
第176図-9	952	L-9	包2a層	石鏃	34.2	17.9	4.3	2.0	頁岩
	953	K-11	包3b層	剥片	40.3	48.9	12.1	32.0	砂岩
	954	K-9	包2a層	剥片	27.6	48.3	6.3	9.0	頁岩
	955	L-9	包1層	剥片	48.0	18.4	7.1	5.0	頁岩
	956	L-9	包1層	剥片	36.2	40.1	11.5	13.0	頁岩
	957	表土	表土	石匙	21.5	17.7	4.5	1.0	黒曜石
	958	K-9	包2a層	剥片	30.7	47.0	5.5	6.0	シルト岩
	959	K-9	包2a層	剥片	38.2	43.0	7.9	11.0	頁岩
	960	表土	表土	UF	35.0	27.7	11.4	11.0	頁岩
	961	K-9	包2b層	剥片	45.0	45.0	7.3	13.0	頁岩
	962	表土	表土	剥片	(35.5)	39.4	9.6	13.0	頁岩
第200図-4	963	K-11	Ⅲb層	スクレイパー	44.5	44.0	7.3	14.0	頁岩
	964	K-9	包2a層	剥片	30.5	42.3	10.7	13.0	頁岩
	965	K-9	包2a層	剥片	(41.2)	36.0	9.9	10.0	頁岩
	966	K-9	包2a層	UF	46.6	60.1	11.8	34.0	頁岩

第15表 石器属性表(12)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	967	J-13	包3e層	UF	56.1	26.2	8.4	13.0	頁岩
	968	表土	表土	剥片	27.5	23.5	7.7	5.0	チャート
第174図-6	969	L-14	Ⅲb層	石匙	44.5	49.9	5.4	12.0	頁岩
	970	K-11	Ⅲb層	剥片	52.5	45.7	14.9	38.0	頁岩
	971	K-9	包2a層	剥片	36.4	28.2	6.2	6.0	頁岩
	972	K-11	Ⅲb層	剥片	64.9	48.8	12.5	39.0	頁岩
	973	K-9	包2a層	剥片	(22.4)	36.0	3.5	3.0	頁岩
第196図-3	974	K-8	包3a層	スクレイパー	56.7	33.0	5.7	16.0	頁岩
	975	K-9	包2a層	剥片	34.0	37.0	8.0	8.0	頁岩
	976	K-9	包2a層	剥片	32.6	18.9	4.2	2.0	シルト岩
	977	第9号竪穴住居跡	1層	剥片	(39.5)	23.4	16.2	5.0	シルト岩
	978	第9号竪穴住居跡	4層	剥片	(24.9)	26.0	4.4	2.0	シルト岩
第207図-3	979	K-11	Ⅲb層	石核	48.4	50.5	20.5	46.0	頁岩
	980	K-9	包2a層	剥片	101.3	45.3	22.5	96.0	頁岩
	983	D-23	表土	磨石	(103)	65.5	39.7	480.0	安山岩
第215図-1	984	第9号竪穴住居跡	5層	磨石	163.0	77.2	36.4	770.0	安山岩
第210図-3	985	第64号土坑	1層	散石	157.0	78.9	42.8	860.0	安山岩
	986	G-20	表土	散石	174.0	75.5	49.7	1130.0	閃緑岩
第216図-2	987	第25号土坑	1層	磨石	133.0	74.4	52.4	740.0	砂岩
	988	表土	表土	磨石	(101.0)	73.2	22.0	220.0	砂岩
	989	表土	表土	散石	113.1	62.7	25.0	260.0	砂岩
第210図-2	990	J-13	包3e層	石斧	(66.6)	41.5	21.5	102.0	砂岩
第208図-7	991	K-9	包2b層	石斧	(85.0)	51.1	20.1	176.0	緑色泥岩
第220図-2	992	L-10	包3d層	磨石	(65.3)	57.7	41.4	208.0	閃緑岩
	993	表土	表土	石斧	(68.3)	45.0	19.0	114.0	緑色泥岩
	994	表土	表土	石斧	(79.1)	36.4	23.7	114.0	閃緑岩
	995	K-11	表土	石斧	(92.9)	51.2	30.4	206.0	安山岩
	996	E-25	表土	石斧	(58.1)	40.1	19.5	66.0	緑色泥岩
第178図-19	997	L-9	包2a層	石鏃	48.5	17.1	5.5	4.0	頁岩
第191図-5	998	L-9	包3a層	石匙	46.0	46.5	4.6	12.0	頁岩
第176図-6	999	K-9	包2b層	石鏃	29.5	17.9	3.5	5.0	頁岩
	1000	L-9	包2a層	剥片	48.9	31.8	6.5	12.0	頁岩
	1001	L-9	包2a層	剥片	46.9	62.9	10.4	20.0	頁岩
	1002	K-9	包2a層	剥片	(31.9)	39.5	7.8	14.0	頁岩
	1003	L-9	包2a層	剥片	45.2	23.9	7.0	10.0	頁岩
	1004	K-9	包2a層	剥片	43.3	44.3	6.7	10.0	頁岩
	1005	K-9	包2b層	剥片	36.5	44.5	8.7	15.0	シルト岩
	1006	表土	表土	剥片	(43.9)	37.0	7.0	19.0	頁岩
	1007	L-9	包1層	剥片	45.1	69.5	16.3	52.0	頁岩
	1008	K-9	包1層	剥片	70.0	53.2	9.0	29.0	頁岩
	1009	L-9	包2a層	剥片	35.5	44.2	9.5	13.0	頁岩
	1010	L-9	包1層	剥片	47.7	41.7	6.2	20.0	頁岩
	1011	表土	表土	剥片	57.9	53.7	9.4	15.0	頁岩
	1012	表土	表土	剥片	92.5	71.8	13.4	76.2	頁岩
	1013	L-9	包1層	剥片	55.2	59.5	8.0	17.0	頁岩
	1014	L-9	包2a層	剥片	40.0	42.0	22.6	27.0	頁岩
	1015	表土	表土	RF	70.1	38.7	11.2	45.0	頁岩
	1016	表土	表土	剥片	29.8	43.1	18.2	43.0	頁岩
	1017	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	50.7	41.1	27.0	28.0	チャート
	1018	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	61.4	45.7	19.3	51.0	チャート
第192図-4	1019	L-9	包1層	スクレイパー	(92.2)	33.5	17.0	64.0	頁岩
	1020	L-9	包1層	剥片	61.3	28.4	9.4	17.0	頁岩
	1021	L-9	包1層	剥片	29.1	37.4	8.5	9.0	頁岩
	1022	表土	表土	UF	45.8	54.3	6.2	14.0	頁岩
	1023	表土	表土	剥片	(35.0)	66.5	8.8	16.0	頁岩
	1024	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	(28.6)	24.1	7.2	7.0	頁岩
	1025	L-9	包1層	剥片	44.5	19.2	6.3	4.0	頁岩
	1026	L-9	包1層	RF	60.6	64.3	11.9	30.0	頁岩

第15表 石器属性表(13)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1027	K-9	包2a層	剥片	(43.8)	45.5	14.7	22.0	頁岩
第202図-3	1028	K-9	包2a層	石核	58.5	42.1	29.6	63.0	チャート
第207図-2	1029	L-2	Ⅲb層	石核	56.8	66.5	20.5	72.0	頁岩
	1030	表土	表土	石核	52.6	61.8	45.0	108.0	頁岩
第202図-1	1031	K-9	包2a層	石核	63.0	58.8	41.7	186.0	頁岩
	1032	K-9	包2b層	剥片	36.0	40.3	20.0	31.0	チャート
第207図-1	1033	E-25	Ⅲa層	石核	84.4	61.4	61.8	224.0	シルト岩
	1034	表土	表土	剥片	15.6	30.8	1.5	1.0	頁岩
	1035	K-9	包2a層	剥片	35.3	(50.2)	10.8	20.0	頁岩
	1036	L-9	包1層	剥片	35.2	27.7	4.0	5.0	チャート
	1037	L-9	包1層	剥片	25.5	29.9	2.5	1.0	頁岩
	1038	表土	表土	剥片	53.3	40.4	5.6	7.0	頁岩
	1040	表土	表土	剥片	(42.3)	12.3	2.7	2.0	頁岩
	1041	K-9	包2a層	剥片	43.9	41.6	13.0	18.0	頁岩
	1042	L-9	包1層	剥片	53.6	45.1	7.0	11.0	頁岩
	1043	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	剥片	(26.6)	38.5	6.3	4.0	頁岩
	1044	L-9	包1層	RF	61.1	19.6	5.5	10.0	頁岩
	1045	表土	表土	剥片	32.9	25.0	2.2	2.0	頁岩
	1046	K-9	包2a層	剥片	26.8	38.4	5.3	4.0	頁岩
	1047	K-9	包2a層	剥片	55.0	26.7	5.0	12.0	頁岩
	1048	D-25	Ⅱ層	剥片	(18.0)	22.4	7.0	2.0	頁岩
	1049	L-9	包1層	剥片	24.2	39.1	4.7	2.0	チャート
	1050	表土	表土	石錐	51.1	34.0	8.1	7.0	頁岩
	1051	L-9	包1層	剥片	(36.6)	41.3	7.3	11.0	頁岩
	1052	D-25	Ⅱ層	剥片	24.2	16.3	3.5	1.0	チャート
	1053	表土	表土	剥片	35.1	32.1	3.5	3.0	頁岩
	1054	K-9	包2a層	剥片	34.1	27.4	5.3	2.0	シルト岩
	1055	K-9	包2a層	剥片	52.8	70.2	7.2	30.0	頁岩
	1056	L-9	包1層	剥片	26.0	53.4	6.5	9.0	頁岩
	1057	K-9	包2a層	剥片	49.0	75.5	7.4	24.0	頁岩
	1058	表土	表土	剥片	49.6	23.2	10.1	14.0	頁岩
	1059	K-9	包2a層	剥片	(48.6)	49.3	7.1	13.0	頁岩
	1060	第9号竪穴住居跡	1層	剥片	(31.5)	21.8	4.8	4.0	頁岩
	1061	L-10	包3d層	剥片	59.4	26.8	6.8	8.0	チャート
	1062	表土	表土	剥片	29.9	27.4	4.2	3.0	頁岩
	1063	第13号竪穴住居跡	1層	剥片	35.6	33.8	5.6	6.0	頁岩
	1064	L-9	包1層	剥片	(31.3)	32.7	6.3	6.0	頁岩
	1065	第9号竪穴住居跡	1層	剥片	30.7	9.5	11.6	4.0	頁岩
	1066	E-25	Ⅱ層	剥片	50.7	48.9	4.5	24.0	頁岩
	1067	表土	表土	剥片	46.0	33.9	9.0	16.0	シルト岩
	1068	表土	表土	剥片	51.5	41.5	9.0	17.0	頁岩
	1069	表土	表土	剥片	(44.8)	25.6	6.8	7.0	頁岩
	1070	G-20	表土	石斧	(23.0)	48.9	11.3	16.0	緑色泥岩
	1071	第9号竪穴住居跡	1層	剥片	28.8	19.1	2.2	1.0	頁岩
	1072	L-10	包3d層	剥片	44.5	33.5	7.5	10.0	頁岩
	1073	K-9	包2a層	剥片	(45.0)	57.7	10.7	30.0	頁岩
	1074	第13号竪穴住居跡	焼土	剥片	(42.7)	57.2	9.1	20.0	頁岩
	1075	表土	表土	剥片	(25.7)	33.6	8.7	5.0	シルト岩
	1076	第9号竪穴住居跡	1層	剥片	(29.0)	20.0	5.9	3.0	頁岩
	1077	表土	表土	RF	(28.5)	40.4	9.9	12.0	頁岩
	1078	表土	表土	UF	57.0	34.5	10.6	25.0	頁岩
	1079	L-13	Ⅲb層	剥片	17.9	38.1	4.5	3.0	頁岩
	1080	表土	表土	剥片	33.2	51.4	7.5	9.0	頁岩
	1081	表土	表土	RF	(40.5)	35.1	9.5	10.0	頁岩
	1082	第9号竪穴住居跡	1層	剥片	39.6	43.5	13.0	21.0	頁岩
	1083	K-9	包2a層	剥片	57.7	35.2	6.6	14.0	頁岩
	1084	第9号竪穴住居跡	1層	剥片	49.1	11.8	6.8	4.0	シルト岩
	1085	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	(35.2)	39.4	8.5	14.0	頁岩

第15表 石器属性表(14)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1086	第9号竪穴住居跡	2層	剥片	(38.4)	37.7	8.7	13.0	頁岩
	1087	K-9	包2a層	剥片	(66.3)	36.9	6.6	20.0	頁岩
	1088	表土	表土	剥片	(21.0)	20.8	2.9	1.0	頁岩
	1089	L-9	包2a層	剥片	(48.8)	33.5	11.5	23.0	頁岩
	1090	L-9	包1層	剥片	(33.5)	25.7	2.2	2.0	頁岩
	1091	L-10	包3d層	剥片	27.2	27.4	6.1	4.0	頁岩
	1092	L-9	包1層	剥片	28.1	35.2	8.0	8.0	頁岩
	1093	L-9	包1層	剥片	48.9	42.4	12.4	20.0	頁岩
	1094	K-9	包2a層	剥片	43.0	27.4	10.5	9.0	頁岩
	1095	L-9	包1層	剥片	31.7	25.1	5.8	5.0	頁岩
	1096	K-9	包2a層	剥片	40.6	29.1	2.9	3.0	頁岩
	1097	L-10	包3b層	剥片	38.7	58.0	10.7	13.0	頁岩
	1098	K-9	包2a層	剥片	27.7	22.0	4.8	3.0	頁岩
	1099	L-9	包2a層	剥片	(34.4)	31.7	8.7	9.0	頁岩
	1100	L-9	包2a層	剥片	15.7	20.2	4.1	1.0	頁岩
	1101	表土	表土	剥片	(52.5)	37.9	8.8	19.0	頁岩
	1102	表土	表土	剥片	(28.5)	31.9	5.2	4.0	頁岩
第181図-10	1103	L-9	包2a層	石匙	(43.1)	31.0	5.4	4.0	頁岩
	1104	表土	表土	剥片	(41.0)	31.1	7.0	9.0	頁岩
	1105	表土	表土	剥片	(26.0)	34.4	18.6	4.0	シルト岩
	1106	表土	表土	剥片	34.1	23.0	4.3	2.0	頁岩
	1107	表土	表土	RF	(31.8)	44.5	15.2	18.0	頁岩
	1108	表土	表土	RF	(44.3)	32.4	10.2	17.0	頁岩
第192図-1	1109	第9号竪穴住居跡	2層	スクレイパー	67.4	22.1	6.3	10.0	頁岩
第193図-5	1110	K-9	包2a層	スクレイパー	(38.3)	24.0	6.2	8.0	頁岩
	1111	表土	表土	スクレイパー	(26.6)	26.1	7.5	7.0	頁岩
	1112	K-9	包2a層	剥片	34.6	52.3	3.5	21.0	頁岩
	1113	E-25	II層	剥片	42.3	62.2	17.0	44.0	チャート
第172図-8	1224	J-8	III b2層	石鏃	23.5	13.6	2.5	1.0	頁岩
	1225	表土	表土	石鏃	31.9	16.8	4.1	2.0	頁岩
第173図-1	1226	K-11	III b2層	ポイント	56.4	20.0	10.0	9.0	頁岩
第172図-24	1227	K-9	III b2層	石鏃	25.6	14.4	4.2	2.0	頁岩
	1228	表土	表土	石匙	77.7	29.2	7.0	14.0	頁岩
第175図-4	1229	K-8	包3d層	石鏃	35.9	14.8	4.8	3.0	頁岩
	1230	表土	表土	石匙	24.6	31.3	4.2	2.0	頁岩
第172図-21	1231	D-26	II層	石鏃	(41.0)	12.2	4.1	2.0	頁岩
	1232	表土	表土	石匙	45.1	57.2	10.7	22.0	頁岩
第185図-1	1233	L-9	包2a層	石匙	67.1	29.8	6.4	19.0	頁岩
第178図-16	1234	L-11	包3b層	石鏃	32.2	17.7	4.3	3.0	頁岩
	1235	表土	表土	石鏃	36.6	15.5	7.9	4.0	チャート
第185図-3	1236	K-9	包2a層	石匙	59.4	29.3	8.9	14.0	チャート
	1237	表土	表土	石鏃	(27.7)	13.0	5.5	2.0	チャート
第172図-9	1238	L-14	III b層	石鏃	26.3	15.5	3.5	1.0	頁岩
第182図-10	1239	L-9	包2a層	石匙	49.8	25.0	8.0	10.0	頁岩
第190図-4	1240	K-9	包3a層	石匙	64.8	50.3	10.5	20.0	頁岩
	1241	表土	表土	石鏃	21.9	12.9	3.7	1.0	頁岩
	1242	表土	表土	磨石	96.1	146.2	37.2	840.0	砂岩
	1243	表土	表土	敲石	86.4	68.5	27.1	262.0	安山岩
	1244	J-13	表土	石斧	84.5	54.0	17.7	118.0	安山岩
第208図-3	1245	K-9	包2a層	石斧	82.9	40.5	14.3	98.0	緑色泥岩
第209図-1	1246	K-9	包3a層	石斧	(80.5)	29.9	12.5	49.0	緑色泥岩
	1247	表土	表土	石匙	102.3	29.2	13.2	43.0	頁岩
	1248	表土	表土	石匙	100.0	26.7	8.9	25.0	頁岩
第208図-9	1249	K-9	包2b層	石斧	66.5	15.8	11.5	21.0	緑色泥岩
	1250	K-11	表土	石斧	(32.9)	46.7	15.0	41.0	泥岩
第174図-3	1251	J-10	III b2層	石匙	73.9	19.4	5.7	8.0	泥岩
	1252	表土	表土	石匙	35.5	64.4	7.4	14.0	頁岩
第173図-9	1253	K-10	III b2層	石匙	54.7	25.1	7.3	12.0	頁岩

第15表 石器属性表(15)

図版No	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第173図-7	1254	J-11	Ⅲ b2層	石匙	62.2	10.8	6.6	5.0	頁岩
	1255	表土	表土	石匙	51.9	19.8	7.7	10.0	頁岩
第173図-12	1256	K-9	Ⅲ b2層	石匙	58.7	28.4	6.1	15.0	頁岩
第181図-6	1257	K-9	包2b層	石匙	(51.3)	19.4	6.3	7.0	頁岩
第181図-9	1258	K-9	包3e層	石匙	51.7	21.7	4.5	5.0	頁岩
	1259	表土	表土	石匙	55.7	20.2	6.9	10.0	頁岩
第179図-12	1260	L-9	包2a層	ポイント	43.5	18.4	9.4	8.0	瑪瑙
第177図-19	1261	L-10	包3d層	石鏃	35.6	20.1	6.1	4.0	頁岩
	1262	表土	表土	石鏃	34.8	16.5	6.0	3.0	頁岩
第177図-23	1263	K-8	包3e層	石鏃	20.5	14.6	3.4	1.0	頁岩
第177図-18	1264	K-10	包3b層	石鏃	31.8	14.2	6.6	3.0	頁岩
第177図-17	1265	K-9	包2b層	石鏃	32.0	16.9	14.6	2.0	頁岩
第175図-8	1266	K-9	包2b層	石鏃	37.0	17.1	7.0	4.0	頁岩
第176図-12	1267	K-9	包3a層	石鏃	26.6	15.9	2.6	1.0	頁岩
	1268	表土	表土	石鏃	29.9	16.4	13.5	2.0	頁岩
	1269	表土	表土	石鏃	(33.7)	19.6	6.6	4.0	頁岩
第177図-15	1270	K-9	包2b層	石鏃	(24.2)	17.5	3.5	1.0	頁岩
	1271	表土	表土	石鏃	40.6	19.6	3.7	3.0	頁岩
	1272	表土	表土	石鏃	33.5	16.7	3.9	1.0	頁岩
	1273	表土	表土	石鏃	(48.8)	17.9	4.9	4.0	頁岩
第179図-13	1274	K-10	包3b層	石鏃	34.2	19.4	4.8	3.0	頁岩
	1275	表土	表土	石鏃	27.2	17.8	3.5	2.0	頁岩
	1276	表土	表土	石鏃	41.7	19.0	7.2	4.0	頁岩
第178図-12	1277	K-9	包3c層	石鏃	34.5	16.3	3.9	2.0	頁岩
	1278	表土	表土	石鏃	32.7	11.7	3.9	2.0	頁岩
	1279	表土	表土	石鏃	26.3	11.1	4.6	2.0	頁岩
第175図-15	1280	K-9	包3b層	石鏃	31.0	15.4	5.8	3.0	頁岩
	1281	表土	表土	石鏃	42.6	14.1	7.3	4.0	頁岩
第172図-11	1282	D-25	Ⅱ層	石鏃	24.0	13.7	3.4	1.0	泥岩
第173図-3	1283	C-24	Ⅱ層	石鏃	29.7	9.4	7.2	2.0	頁岩
第176図-22	1284	K-9	包2a層	石鏃	22.8	14.5	2.5	1.0	頁岩
第180図-5	1285	L-9	包2a層	石錐	33.2	17.2	4.6	3.0	チャート
第186図-6	1286	K-10	包3b層	石匙	(65.5)	25.0	9.0	18.0	頁岩
	1287	表土	表土	石匙	22.4	45.5	5.9	7.0	頁岩
	1288	表土	表土	石匙	72.1	24.3	7.8	22.0	頁岩
第188図-2	1289	L-9	包3a層	石匙	64.5	21.1	5.0	8.0	頁岩
第172図-23	1290	C-25	Ⅱ層	石鏃	(26.2)	15.6	5.4	1.0	頁岩
第178図-18	1291	L-10	包3d層	石鏃	41.6	17.7	6.5	5.0	頁岩
第178図-2	1292	K-9	包3a層	石鏃	32.1	14.8	3.4	2.0	頁岩
第172図-22	1293	C-25	Ⅱ層	石鏃	(20.2)	12.4	5.6	2.0	頁岩
第176図-15	1294	K-8	包3d層	石鏃	(27.0)	16.6	3.2	2.0	頁岩
	1295	表土	表土	石鏃	(49.5)	21.4	8.7	5.0	頁岩
第179図-6	1296	K-10	包3b層	石鏃	33.5	18.0	8.7	4.0	頁岩
	1297	表土	表土	石鏃	21.8	14.6	2.8	2.0	頁岩
第176図-21	1298	K-9	包2b層	石鏃	22.7	18.1	4.2	2.0	頁岩
第172図-7	1299	L-8	Ⅲ b層	石鏃	26.6	19.7	4.6	1.0	頁岩
第172図-10	1300	D-25	Ⅱ層	石鏃	27.6	15.5	3.5	1.0	頁岩
第176図-13	1301	K-9	包2b層	石鏃	29.0	17.6	3.5	2.0	頁岩
第184図-1	1302	K-8	包3e層	石匙	64.8	25.4	6.5	11.0	頁岩
	1303	表土	表土	石鏃	37.2	16.0	3.4	2.0	頁岩
第178図-4	1304	L-9	包3a層	石鏃	29.6	16.1	5.2	2.0	頁岩
第178図-24	1305	L-10	包3d層	石鏃	33.1	18.1	3.7	1.0	頁岩
第177図-11	1306	L-10	包2b層	石鏃	30.0	4.2	3.7	2.0	頁岩
	1307	表土	表土	石匙	(61.1)	31.0	8.7	20.0	頁岩
第191図-9	1308	L-10	包2b層	石匙	52.4	41.9	8.3	14.0	瑪瑙
	1309	表土	表土	石匙	(58.5)	23.2	8.8	14.0	頁岩
	1310	表土	表土	石匙	49.6	51.5	11.8	24.0	頁岩
第182図-1	1311	K-9	包2b層	石匙	90.8	41.7	8.3	31.0	頁岩

第15表 石器属性表(16)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第173図-4	1312	表土	表土	石匙	54.5	25.5	5.0	9.0	頁岩
第184図-10	1313	K-8	包3d層	石匙	55.0	30.0	6.9	11.0	頁岩
第184図-3	1314	K-8	包3e層	石匙	(59.5)	20.7	7.0	18.0	頁岩
	1315	A-21	表土	石斧	(38.2)	43.6	(27.2)	36.0	閃緑岩
	1316	C-21	表土	磨石	52.1	122.8	24.1	286.0	砂岩
	1317	C-21	表土	磨石	57.0	127.5	57.0	635.0	ひん岩
第212図-1	1318	L-9	包2a層	敲石	50.7	117.6	43.3	416.0	安山岩
第213図-2	1319	J-10	包3d層	敲石	125.1	65.2	35.4	444.0	安山岩
第220図-1	1320	J-10	包3d層	磨石	61.4	110.9	31.1	362.0	砂岩
第214図-1	1321	K-12	包3e層	敲石	(45.5)	95.6	43.9	426.0	安山岩
第213図-1	1322	K-9	包3c層	敲石	142.4	(65.3)	51.4	725.0	ひん岩
	1323	K-9	表土	磨石	72.7	108.4	46.7	645.0	安山岩
	1324	表土	表土	敲石	67.8	64.2	47.0	304.0	砂岩
	1325	C-21	表土	磨石	55.6	114.0	28.5	288.0	砂岩
	1326	K-10	表土	敲石	64.6	103.9	24.8	278.0	砂岩
第213図-4	1327	K-11	包3e層	敲石	49.6	125.0	31.4	316.0	砂岩
	1328	K-9	表土	磨石	67.6	107.6	33.7	404.0	安山岩
	1329	表土	表土	敲石	79.8	87.1	40.7	426.0	安山岩
第214図-3	1330	K-9	包3e層	敲石	74.1	85.9	35.3	326.0	安山岩
第222図-1	1331	J-11	包3e層	凹石	74.6	74.6	61.7	340.0	砂岩
	1333	K-10	表土	石斧	110.7	64.6	18.0	190.0	安山岩
第209図-2	1334	L-9	包3a層	石斧	(59.2)	39.5	20.0	83.0	緑色泥岩
第210図-1	1335	K-8	包3e層	石斧	(112.0)	83.7	37.9	595.0	砂岩
第209図-3	1336	L-11	包3b層	石斧	(63.4)	57.7	26.2	186.0	緑色泥岩
第209図-5	1337	K-9	包3c層	石斧	(105.6)	43.8	28.8	226.0	泥岩
第208図-8	1338	K-9	包2b層	石斧	(117.9)	62.3	39.2	510.0	花崗岩
第209図-7	1339	K-11	包3e層	石斧	(51.1)	32.3	14.9	38.0	泥岩
第223図-4	1340	J-9	包3e層	カツオブシ形石器	132.9	19.0	19.6	72.0	泥岩
第184図-2	1341	K-9	包3c層	石匙	63.6	23.4	9.5	15.0	頁岩
	1342	表土	表土	石匙	75.9	65.3	11.0	31.0	頁岩
第199図-7	1343	K-8	包3e層	スクレイパー	64.2	25.5	8.8	22.0	頁岩
第187図-2	1344	K-11	包3e層	石匙	61.4	30.9	6.7	12.0	頁岩
第184図-4	1345	K-8	包3e層	石匙	55.4	23.3	7.2	10.0	頁岩
第177図-21	1346	K-8	包3e層	石鏃	21.4	15.3	3.9	1.0	頁岩
第181図-4	1347	K-9	包3c層	石匙	29.0	19.1	4.4	3.0	頁岩
第178図-7	1348	K-9	包3c層	石鏃	19.5	12.7	3.1	1.0	頁岩
第172図-16	1349	L-12	Ⅲb層	石鏃	36.5	16.3	5.5	3.0	頁岩
第176図-19	1350	K-9	包3e層	石鏃	26.8	13.3	2.0	1.0	頁岩
第178図-17	1351	K-9	包3c層	石鏃	50.4	20.2	4.4	5.0	頁岩
第197図-1	1352	K-11	包3b層	スクレイパー	36.4	67.1	7.5	22.0	頁岩
第181図-7	1353	K-8	包3e層	石匙	49.9	24.0	33.4	5.0	頁岩
第184図-8	1354	K-10	包3e層	石匙	53.0	29.2	18.9	11.0	頁岩
第191図-7	1355	K-10	包3d層	石匙	30.2	48.8	5.6	6.0	頁岩
第188図-4	1356	K-10	包3d層	石匙	61.5	28.5	11.8	22.0	頁岩
第172図-13	1357	B-22	Ⅲb層	石鏃	18.9	11.2	2.4	1.0	頁岩
第175図-18	1358	K-11	包3e層	石鏃	30.8	18.0	3.3	2.0	頁岩
第177図-20	1359	K-9	包3e層	石鏃	23.8	15.0	3.5	1.0	頁岩
第178図-15	1360	K-9	包2b層	石鏃	35.0	17.8	3.7	1.0	頁岩
第180図-9	1361	K-8	包3e層	石匙	91.8	48.8	5.3	37.0	頁岩
第182図-5	1362	K-9	包3e層	石匙	41.6	18.6	4.2	3.0	瑪瑙
第178図-3	1363	K-12	包3e層	石鏃	28.0	18.5	4.7	1.0	頁岩
第186図-2	1364	J-10	包3e層	石匙	82.0	29.7	10.9	21.0	頁岩
第176図-17	1365	K-8	包3e層	石鏃	33.7	17.0	2.8	2.0	頁岩
第178図-20	1366	K-9	包2a層	石鏃	43.2	18.0	5.0	4.0	頁岩
第180図-3	1367	J-8	包4層	石鏃	24.4	14.5	3.6	2.0	頁岩
第176図-16	1368	K-9	包3c層	石鏃	24.8	16.5	5.2	2.0	頁岩
第198図-7	1369	J-8	包3d層	スクレイパー	76.0	35.2	9.0	30.0	頁岩
第189図-3	1370	K-9	包3c層	石匙	58.0	69.8	15.6	30.0	頁岩

第15表 石器属性表(17)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1371	表土	表土	ポイント	41.4	18.8	9.0	6.0	泥岩
	1372	K-8	包3e層	剥片	65.9	40.6	6.8	18.0	頁岩
第184図-5	1373	K-9	包3e層	石匙	59.0	26.5	6.9	11.0	頁岩
第176図-11	1374	K-11	包3e層	石鏃	25.5	(16.2)	3.6	1.0	頁岩
第173図-8	1375	L-14	Ⅲb層	石匙	57.7	26.7	6.4	11.0	頁岩
第180図-7	1376	K-9	包3e層	異形石器	38.4	27.8	5.0	3.0	頁岩
第176図-5	1377	K-8	包3c層	石鏃	31.0	16.2	5.1	2.0	頁岩
	1378	表土	表土	石匙	34.2	72.0	8.5	16.0	頁岩
第182図-9	1379	K-9	包3d層	石匙	50.1	27.4	3.4	5.0	頁岩
第179図-11	1380	K-9	包3e層	石鏃	31.7	17.9	5.0	2.0	頁岩
	1381	表土	表土	スクレイパー	112.5	30.0	15.7	60.0	頁岩
第178図-14	1382	K-10	包3d層	石鏃	43.4	15.1	3.6	3.0	チャート
第177図-9	1383	L-10	包3d層	石鏃	32.7	19.5	4.5	3.0	チャート
第177図-12	1384	K-9	包3c層	石鏃	35.5	16.7	5.7	3.0	チャート
第176図-7	1385	K-9	包2a層	石鏃	36.4	17.6	5.0	3.0	チャート
第187図-4	1386	K-9	包2a層	石匙	62.0	29.4	6.4	15.0	頁岩
第188図-6	1387	K-9	包3c層	石匙	36.2	58.1	8.3	14.0	頁岩
第176図-2	1388	K-9	包3c層	石鏃	38.4	21.3	5.6	3.0	頁岩
第177図-8	1389	J-10	包3b層	石鏃	(37.4)	21.9	5.0	4.0	頁岩
第185図-7	1390	K-9	包3a層	石匙	52.2	31.7	7.8	13.0	頁岩
第182図-2	1391	L-10	包3d層	石匙	78.2	32.1	12.5	32.0	頁岩
第183図-1	1392	K-9	包3e層	石匙	76.1	42.6	8.5	28.0	頁岩
第177図-4	1393	K-10	包3d層	石鏃	14.4	15.2	2.3	1.0	黒曜石
第177図-10	1394	K-9	包3c層	石鏃	37.2	14.5	3.1	3.0	頁岩
第186図-1	1395	K-9	包3c層	石匙	85.2	30.8	6.3	28.0	頁岩
第181図-13	1396	K-9	包3e層	石匙	41.5	16.4	4.4	3.0	頁岩
第181図-5	1397	K-11	包3e層	石匙	37.1	24.2	5.5	5.0	頁岩
第184図-9	1398	J-8	包4層	石匙	(53.5)	35.7	8.0	13.0	頁岩
第187図-6	1399	第13号竪穴住居跡	1層	石匙	67.4	18.0	6.5	12.0	頁岩
	1400	表土	表土	石匙	54.6	19.5	5.9	8.0	頁岩
第191図-2	1401	K-11	包3e層	石匙	37.2	23.7	8.4	10.0	頁岩
第176図-8	1402	K-9	包3e層	石鏃	(21.7)	13.4	3.7	1.0	頁岩
第176図-20	1403	K-9	包2a層	石鏃	24.4	17.1	3.6	1.0	頁岩
第186図-3	1404	K-8	包3e層	石匙	69.5	35.4	5.7	18.0	頁岩
第175図-12	1405	K-8	包3e層	石鏃	(32.7)	17.4	3.5	2.0	頁岩
第183図-8	1406	K-8	包3e層	石匙	(56.7)	11.6	5.4	4.0	頁岩
第190図-2	1407	K-9	包3c層	石匙	40.4	(57.3)	6.3	13.0	頁岩
第178図-8	1408	K-10	包3d層	石鏃	18.9	14.3	2.2	1.0	頁岩
第176図-18	1409	J-8	包3d層	石鏃	27.7	15.5	5.1	1.0	頁岩
第179図-4	1410	L-10	包2b層	石鏃	38.8	22.0	8.0	5.0	頁岩
第176図-14	1411	J-8	包4層	石鏃	(27.5)	17.8	3.2	1.0	頁岩
第182図-6	1412	K-8	包3e層	石匙	55.5	21.3	6.9	9.0	頁岩
第191図-1	1413	K-11	包3e層	石匙	34.8	46.3	4.8	8.0	頁岩
第193図-7	1414	K-9	包2b層	スクレイパー	53.4	22.7	7.8	14.0	頁岩
第177図-2	1415	K-10	包3b層	石鏃	32.1	18.7	5.2	2.0	頁岩
第177図-1	1416	K-11	包3e層	石鏃	28.4	21.0	5.7	3.0	頁岩
第183図-7	1417	K-9	包3a層	石匙	51.8	29.8	6.1	12.0	頁岩
第183図-3	1418	K-9	包3e層	石匙	80.0	23.3	8.4	17.0	頁岩
第187図-8	1419	L-9	包2b層	石匙	60.4	25.5	4.7	10.0	頁岩
第181図-12	1420	K-8	包3e層	石匙	45.0	22.2	4.5	5.0	頁岩
第188図-5	1421	K-9	包2a層	石匙	46.6	71.8	11.9	24.0	頁岩
第178図-1	1422	K-9	包3c層	石鏃	33.8	19.2	3.8	2.0	頁岩
第177図-22	1423	K-9	包3e層	石鏃	20.5	15.7	2.4	1.0	頁岩
第175図-1	1424	K-11	包3e層	石鏃	57.8	24.6	28.5	12.0	頁岩
第176図-1	1425	L-9	包2a層	石鏃	42.0	17.1	5.1	3.0	頁岩
第179図-9	1426	K-11	包3b層	ポイント	73.7	33.3	10.3	27.0	頁岩
第178図-13	1427	K-9	包3c層	石鏃	39.8	14.9	4.2	13.0	頁岩

第15表 石器属性表(18)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第178図-11、 第176図-4	1428	K-9	包3c層	石鏃	29.5	15.1	4.7	1.0	頁岩
第185図-6	1429	K-10	包3b層	石匙	(58.2)	25.5	6.2	13.0	頁岩
第181図-8	1430	K-9	包3e層	石匙	(50.0)	20.5	5.7	7.0	頁岩
第186図-4	1431	K-9	包3c層	石匙	75.2	4.5	7.6	19.0	頁岩
第183図-2	1432	K-9	包3c層	石匙	82.8	37.9	11.7	39.0	頁岩
第177図-14	1433	K-9	包3a層	石鏃	37.4	16.7	3.0	2.0	頁岩
第177図-5	1434	K-11	包3e層	石鏃	38.6	18.9	3.5	3.0	頁岩
第174図-5	1435	K-9	Ⅲ b2層	石匙	47.3	55.1	7.9	15.0	頁岩
第172図-6	1436	L-12	Ⅲ b層	石鏃	34.9	20.5	4.2	3.0	頁岩
	1443	表土	表土	RF	37.2	47.7	15.1	27.0	頁岩
	1444	表土	表土	RF	(66.5)	31.4	16.9	26.0	頁岩
	1445	L-10	包2b層	RF	57.2	54.9	22.5	60.0	頁岩
第202図-4	1446	K-9	包2a層	石核	70.7	37.5	34.5	110.0	頁岩
第201図-2	1447	L-9	包2a層	石核	56.0	73.1	60.2	236.0	頁岩
	1448	K-9	包2a層	RF	42.8	29.8	18.6	23.0	頁岩
第203図-1	1449	K-9	包2a層	石核	42.6	60.6	14.0	44.0	頁岩
	1450	K-9	包2a層	剥片	60.6	54.4	15.7	48.0	頁岩
	1451	L-10	包3d層	剥片	64.3	57.1	11.1	33.0	頁岩
第209図-6	1452	L-10	包3d層	石斧	65.9	43.3	15.8	60.0	ひん岩
第199図-4	1453	K-11	包3e層	スクレイパー	66.6	24.6	13.8	18.0	頁岩
第202図-2	1454	K-9	包2a層	石核	52.8	53.0	31.0	80.0	頁岩
	1455	K-9	包2a層	剥片	(32.1)	54.9	15.5	24.0	頁岩
	1456	L-9	包2a層	剥片	57.0	59.0	5.3	28.0	頁岩
	1457	K-9	包2a層	剥片	36.5	41.7	8.7	18.0	シルト
	1458	K-9	包3d層	剥片	49.9	53.8	8.7	20.0	頁岩
	1459	K-9	包3a層	剥片	(27.5)	62.8	8.3	14.0	頁岩
	1460	L-10	包3d層	剥片	(18.1)	57.7	7.7	6.0	頁岩
	1461	L-9	包2a層	剥片	38.0	31.0	2.9	4.0	頁岩
	1462	J-9	包3d層	剥片	39.2	32.9	6.3	10.0	頁岩
	1463	C-21	Ⅱ層	UF	41.8	25.0	5.1	6.0	頁岩
第200図-7	1464	K-9	包2b層	ピエス・エスキエ	42.8	37.8	18.6	28.0	頁岩
	1465	K-10	包3b層	剥片	32.1	35.5	5.8	8.0	頁岩
	1466	K-9	包2b層	剥片	43.7	28.0	7.9	9.0	頁岩
	1467	K-9	包2a層	剥片	59.0	55.4	9.0	20.0	頁岩
	1468	K-9	包3a層	剥片	36.1	31.1	8.5	8.0	頁岩
	1469	L-10	包2b層	剥片	33.3	42.1	8.1	12.0	頁岩
	1470	J-9	包3c層	剥片	(34.0)	34.5	8.0	9.0	頁岩
	1471	L-10	包2b層	RF	75.1	40.3	14.7	36.0	頁岩
	1478	K-10	包3b層	剥片	44.4	24.1	6.1	4.4	チャート
	1479	K-9	包3c層	剥片	(38.8)	42.7	14.3	12.9	頁岩
	1480	K-9	包3a層	RF	(31.1)	(25.7)	4.8	3.6	頁岩
第180図-2	1481	K-9	包3a層	ポイント	(40.6)	(25.9)	7.6	7.9	頁岩
	1482	L-10	包3d層	剥片	39.1	54.1	7.9	18.6	頁岩
第183図-9	1483	K-9	包2a層	石匙	(39.2)	(42.8)	11.8	18.9	頁岩
	1484	L-9	包3a層	RF	(39.6)	32.1	7.3	8.0	頁岩
	1485	K-9	包3a層	剥片	34.6	42.8	4.4	6.4	チャート
	1486	L-9	包2a層	RF	(23.7)	24.4	7.5	3.0	頁岩
	1487	L-9	包3a層	剥片	31.4	39.8	7.2	7.8	頁岩
	1488	L-10	包3d層	UF	92.4	42.8	11.1	55.8	チャート
	1489	K-9	包2a層	剥片	21.1	35.3	3.8	3.0	頁岩
第178図-21	1490	K-9	包3e層	石鏃	24.5	17.5	5.7	2.6	頁岩
	1491	K-9	包3a層	剥片	42.5	22.2	5.9	4.5	頁岩
	1492	L-9	包2a層	剥片	41.6	24.2	5.4	6.4	頁岩
	1493	K-8	包3b層	剥片	24.2	20.4	8.7	4.1	頁岩
	1494	J-9	包3d層	RF	35.7	29.9	10.4	12.1	頁岩
	1495	第13号竪穴住居跡	1層	剥片	25.7	19.8	4.3	2.9	頁岩
	1496	K-8	包3e層	剥片	28.4	24.7	4.7	2.5	頁岩

第15表 石器属性表(19)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1497	K-9	包3c層	剥片	44.7	52.2	14.7	33.0	頁岩
	1498	K-9	包2a層	剥片	(27.0)	33.4	6.9	6.1	頁岩
	1499	K-10	包3b層	剥片	37.7	23.9	4.3	3.7	頁岩
	1500	L-10	包2b層	剥片	50.5	41.5	9.7	19.6	頁岩
	1501	K-9	包3a層	剥片	28.9	40.0	5.6	6.4	頁岩
	1502	K-9	包2b層	剥片	(28.1)	(35.4)	13.7	15.6	頁岩
	1503	L-10	包2b層	剥片	46.4	25.7	4.9	6.4	頁岩
	1504	K-10	包3b層	剥片	66.4	31.8	8.5	16.4	頁岩
	1505	L-10	包3d層	剥片	(30.2)	(44.5)	6.3	10.3	チャート
	1506	L-10	包3d層	剥片	53.8	36.4	6.9	15.8	頁岩
	1507	K-9	包3a層	剥片	40.8	30.9	11.0	13.4	頁岩
	1508	K-9	包3a層	剥片	44.9	35.2	9.0	12.0	頁岩
	1509	L-9	包2a層	RF	(29.7)	(32.5)	6.5	7.5	頁岩
	1510	L-9	表土	石核	35.1	26.9	12.8	11.3	チャート
	1511	L-11	包3b層	剥片	50.9	27.7	7.4	6.9	頁岩
	1512	K-9	包2b層	RF	34.4	31.6	5.9	7.0	頁岩
第185図-8	1513	K-9	包2a層	石匙	(44.2)	29.1	9.1	12.3	頁岩
	1514	K-8	包3e層	剥片	56.5	27.0	7.9	14.4	頁岩
	1515	K-10	包3d層	RF	37.8	40.2	6.7	12.8	チャート
	1516	L-9	Ⅲb層	剥片	55.5	(24.6)	12.3	15.2	チャート
	1517	K-9	Ⅲb層	剥片	(28.2)	(27.4)	7.2	6.6	頁岩
	1518	K-10	包3b層	剥片	51.3	33.1	5.7	10.5	頁岩
	1519	表土	表土	剥片	50.8	37.6	10.1	21.5	頁岩
	1520	K-9	包3c層	剥片	29.4	34.5	5.6	5.7	頁岩
	1521	K-9	Ⅲb1層	剥片	(61.4)	12.2	5.9	5.5	頁岩
	1522	K-10	包3b層	剥片	46.9	15.8	9.4	6.8	頁岩
	1523	K-8	包3e層	剥片	32.9	27.8	9.8	7.2	チャート
	1524	K-9	Ⅲb1層	剥片	23.5	31.9	8.1	3.8	頁岩
	1525	K-9	包2b層	剥片	54.2	30.9	4.2	5.6	頁岩
	1526	L-10	包2b層	剥片	30.0	25.6	5.1	2.4	頁岩
	1527	K-9	包3e層	剥片	(46.5)	(27.3)	10.3	9.3	頁岩
	1528	K-9	包3c層	剥片	47.4	32.7	10.1	11.5	頁岩
	1529	K-9	包2a層	剥片	54.3	30.5	9.0	16.3	頁岩
	1530	L-9	Ⅲb層	剥片	40.8	39.0	9.6	13.5	頁岩
	1531	K-9	包3c層	剥片	56.1	35.8	9.5	14.8	頁岩
	1532	K-9	包2b層	剥片	61.9	34.0	9.3	18.5	頁岩
	1533	K-8	包3e層	剥片	(26.3)	(28.9)	4.4	4.1	頁岩
	1534	K-10	包3d層	UF	55.3	29.2	9.6	15.3	頁岩
	1535	K-9	包2b層	剥片	29.8	51.2	5.1	6.7	頁岩
	1536	K-10	包3b層	剥片	33.6	44.2	6.3	9.9	頁岩
	1537	K-8	包3e層	剥片	56.1	40.8	12.5	24.4	頁岩
	1538	L-10	包2b層	剥片	27.0	35.5	2.5	2.4	頁岩
	1539	表土	表土	剥片	28.0	31.0	7.0	4.4	頁岩
	1540	K-9	包3a層	RF	(39.6)	(44.8)	9.3	11.5	頁岩
	1541	K-9	包2b層	剥片	43.5	(21.5)	5.3	5.9	頁岩
	1542	K-10	包3b層	剥片	42.5	42.8	8.4	9.4	頁岩
	1543	K-9	包2a層	剥片	44.1	39.2	5.9	8.3	頁岩
	1544	K-8	包3e層	剥片	23.5	27.1	6.0	2.6	頁岩
	1545	K-9	包3c層	剥片	60.6	26.8	4.8	6.7	頁岩
	1546	K-9	包2b層	剥片	37.4	24.7	3.4	3.4	頁岩
	1547	K-8	包3e層	剥片	34.1	21.6	9.1	8.1	頁岩
	1548	L-9	包3a層	剥片	(30.5)	28.6	10.5	7.6	頁岩
	1549	K-8	包3e層	剥片	48.6	33.3	9.4	14.3	頁岩
	1550	K-9	包2a層	剥片	39.0	42.0	6.9	7.2	頁岩
	1551	K-9	包3a層	剥片	76.0	35.4	10.7	25.2	頁岩
	1552	K-9	包3a層	剥片	49.6	18.1	3.4	2.2	頁岩
第188図-3	1553	J-9	包3d層	石匙	71.4	26.4	10.2	12.6	頁岩
第181図-2	1554	K-9	包3d層	石匙	27.7	26.9	5.3	2.2	頁岩

第15表 石器属性表(20)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1555	K-9	包2b層	剥片	36.3	27.3	7.4	6.9	頁岩
	1556	K-9	包3a層	剥片	63.9	41.0	9.5	20.5	頁岩
	1557	表土	表土	剥片	42.7	25.5	3.2	4.1	頁岩
	1558	K-9	包3a層	剥片	(25.1)	44.9	10.1	10.4	頁岩
	1559	K-9	包2a層	剥片	(36.8)	34.6	8.3	10.0	頁岩
	1560	L-10	包2b層	剥片	27.3	22.9	1.9	1.5	頁岩
	1561	K-10	包3b層	剥片	44.2	31.5	7.8	6.6	頁岩
	1562	L-9	包2a層	剥片	48.6	47.6	6.0	8.9	頁岩
	1563	K-9	包3a層	剥片	51.6	39.5	8.4	15.4	頁岩
	1564	K-9	包2b層	剥片	36.4	31.0	9.1	6.2	頁岩
	1565	K-9	包3c層	剥片	78.5	60.6	9.4	30.3	頁岩
	1566	K-8	包3e層	剥片	33.4	22.8	4.4	3.0	頁岩
	1567	L-9	包2a層	剥片	43.1	39.7	9.4	16.0	頁岩
	1568	表土	表土	剥片	41.8	39.6	8.8	10.4	頁岩
	1569	K-9	包2a層	剥片	33.9	50.9	9.1	8.0	頁岩
	1570	K-9	包2a層	剥片	(31.5)	42.9	11.2	13.1	頁岩
	1571	表土	表土	スクレイパー	91.2	40.5	11.5	47.1	頁岩
	1572	K-8	包3e層	剥片	53.6	31.0	6.5	10.2	頁岩
	1573	K-9	包2a層	剥片	(35.3)	35.6	7.8	12.5	頁岩
	1574	L-10	包2b層	RF	89.2	30.6	15.6	40.6	頁岩
	1575	L-9	包3d層	剥片	34.0	26.4	5.0	3.8	頁岩
	1576	K-9	包3c層	剥片	41.0	38.8	8.2	11.2	頁岩
	1577	L-10	包3d層	剥片	(27.3)	37.3	7.7	6.4	頁岩
	1578	表土	表土	剥片	24.6	31.4	5.0	2.5	頁岩
	1579	K-10	包3d層	剥片	52.9	33.2	8.8	15.5	頁岩
	1580	K-8	包3e層	RF	54.8	33.9	6.5	13.7	頁岩
第193図-2	1581	K-9	包2a層	スクレイパー	54.3	24.1	13.0	14.8	頁岩
	1582	表土	表土	スクレイパー	71.8	27.8	10.6	13.3	頁岩
	1583	表土	表土	スクレイパー	74.7	27.5	13.7	22.8	頁岩
第195図-4	1584	K-9	包2b層	スクレイパー	(39.0)	56.4	13.8	26.9	頁岩
	1585	L-9	包2a層	剥片	48.8	52.5	23.8	45.0	頁岩
	1586	L-10	包3d層	UF	52.8	45.4	9.4	19.0	頁岩
	1587	K-10	包3b層	剥片	32.8	38.6	4.8	5.1	頁岩
第197図-2	1588	K-10	包3b層	スクレイパー	62.0	37.6	10.8	20.9	頁岩
	1589	K-9	包2a層	剥片	45.0	55.8	9.2	22.0	砂岩
第179図-5	1590	K-9	包3c層	石鏃	32.2	27.7	5.8	6.3	頁岩
	1591	K-9	包2b層	剥片	(35.9)	37.9	6.5	9.3	頁岩
	1592	J-9	包3c層	剥片	44.2	30.4	5.6	6.8	頁岩
	1593	表土	表土	剥片	23.1	17.4	6.1	2.1	頁岩
第196図-4	1594	J-8	包3d層	スクレイパー	61.4	24.7	12.0	11.1	頁岩
第181図-11	1595	K-10	包3d層	石匙	46.0	26.7	6.9	9.5	頁岩
	1596	L-9	包2a層	剥片	32.6	38.3	6.4	8.5	頁岩
第198図-1	1597	K-9	包3c層	スクレイパー	50.1	26.0	8.3	11.4	頁岩
	1598	K-10	包3b層	RF	(40.3)	25.1	4.9	4.7	頁岩
	1599	K-9	包3c層	剥片	42.6	39.8	5.5	8.9	頁岩
	1600	K-9	包2a層	RF	42.5	16.5	4.6	4.0	頁岩
	1601	K-11	包3e層	剥片	18.2	32.0	6.8	3.2	頁岩
	1602	K-9	包2a層	RF	(50.7)	40.7	3.6	31.4	頁岩
	1603	K-9	Ⅲb1層	剥片	29.0	28.8	10.1	5.0	頁岩
	1604	L-10	包2b層	剥片	45.7	38.0	5.9	9.5	頁岩
	1605	K-9	包2a層	剥片	31.8	19.2	4.1	1.7	頁岩
	1606	K-10	包3d層	剥片	22.4	25.3	8.5	3.9	頁岩
	1607	K-9	包3e層	剥片	57.3	22.0	23.8	22.6	頁岩
	1608	表土	表土	剥片	34.4	24.3	9.9	8.1	頁岩
	1609	K-10	包3d層	剥片	62.1	33.9	13.7	26.0	頁岩
	1610	K-9	包2a層	剥片	60.0	44.5	16.5	35.6	頁岩
	1611	表土	表土	UF	45.1	62.0	10.5	26.7	頁岩
	1612	K-10	包3e層	剥片	30.9	36.1	5.3	4.2	頁岩

第15表 石器属性表(21)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1613	L-12	Ⅲb層	RF	46.9	44.4	6.9	13.7	頁岩
	1614	K-9	包3a層	剥片	45.9	20.6	3.5	4.4	頁岩
	1615	K-10	包3d層	剥片	(17.8)	27.8	3.0	1.3	頁岩
	1616	表土	表土	剥片	50.6	45.1	6.2	9.5	頁岩
	1617	K-10	包3b層	剥片	(29.9)	45.7	7.1	9.9	頁岩
	1618	K-9	包2a層	剥片	57.5	22.6	4.8	6.5	頁岩
	1619	L-9	包3a層	剥片	25.5	19.6	7.3	3.6	頁岩
	1620	J-11	包3e層	剥片	42.2	50.9	8.3	14.9	チャート
	1621	L-9	包2a層	剥片	42.1	33.3	9.6	12.6	頁岩
	1622	K-9	包2a層	剥片	56.5	23.2	7.0	10.1	頁岩
	1623	L-9	包2a層	剥片	44.3	41.6	2.3	12.5	頁岩
	1624	L-10	包2b層	剥片	38.6	27.3	1.6	10.6	頁岩
	1625	K-10	Ⅲb層	剥片	30.6	18.7	2.8	2.3	頁岩
第178図-23	1626	K-9	包3e層	石鏃	(26.6)	16.9	3.2	1.7	頁岩
	1627	L-9	Ⅲb層	剥片	45.5	29.4	3.3	4.1	頁岩
	1628	L-10	包2b層	剥片	47.5	27.5	9.4	9.7	頁岩
	1629	K-10	包3d層	UF	45.4	20.6	6.8	5.4	頁岩
	1630	K-9	包2b層	RF	49.8	35.1	10.8	12.9	頁岩
	1631	L-9	包2a層	剥片	24.7	45.4	5.7	3.8	頁岩
	1632	K-9	包3a層	UF	(53.7)	45.6	7.7	21.1	頁岩
	1633	K-9	包2b層	RF	46.0	57.8	11.1	19.3	頁岩
第191図-3	1634	L-10	包3d層	石匙	(46.2)	60.4	8.4	16.7	頁岩
第195図-3	1635	K-9	包2b層	スクレイパー	(58.2)	56.3	9.1	30.5	頁岩
第198図-4	1636	J-9	包3d層	スクレイパー	62.1	28.2	12.6	23.1	頁岩
	1637	L-10	包2b層	剥片	44.6	26.3	4.3	5.0	頁岩
	1638	K-9	包2b層	剥片	(31.6)	(53.7)	(11.8)	16.3	頁岩
	1639	L-9	包2a層	剥片	47.0	32.1	3.6	7.4	頁岩
	1640	K-10	包3d層	剥片	49.4	15.6	4.3	3.8	頁岩
	1641	K-9	包2b層	剥片	35.4	25.5	5.1	4.4	頁岩
	1642	L-9	包2a層	剥片	35.4	30.4	5.3	3.6	頁岩
第197図-5	1643	K-9	包3c層	スクレイパー	69.6	35.2	10.0	31.7	頁岩
	1644	K-9	包2a層	剥片	40.9	29.0	5.7	4.3	頁岩
	1645	L-10	包3b層	RF	71.4	16.8	9.9	12.8	頁岩
	1646	K-9	包2a層	剥片	47.2	24.2	10.2	10.5	頁岩
	1647	表土	表土	剥片	29.8	18.5	4.0	1.7	頁岩
	1648	表土	表土	スクレイパー	71.2	14.6	6.4	8.4	頁岩
	1649	K-9	包3c層	剥片	43.6	17.2	4.3	2.8	頁岩
	1650	K-9	包3a層	剥片	39.2	(30.4)	5.8	8.8	頁岩
	1651	K-9	包3a層	剥片	35.3	51.5	9.8	12.5	頁岩
	1652	L-9	包3c層	剥片	42.4	31.3	7.8	12.8	頁岩
	1653	L-9	包2a層	剥片	(36.8)	27.0	7.2	10.2	頁岩
	1654	表土	表土	石匙	16.8	16.0	4.3	1.3	頁岩
	1655	C-24	Ⅱ層	剥片	21.4	26.9	5.6	2.6	頁岩
	1656	L-9	包3c層	剥片	49.5	33.6	12.8	13.1	頁岩
	1657	L-9	Ⅲb層	剥片	39.1	29.3	9.4	7.9	頁岩
	1658	K-9	包2b層	RF	38.1	27.0	9.0	8.5	頁岩
	1659	表土	表土	剥片	20.2	12.0	2.4	0.7	頁岩
	1660	K-9	包2a層	剥片	56.2	29.9	7.8	11.2	頁岩
	1661	表土	表土	石斧	(37.4)	37.0	12.4	20.3	凝灰岩
	1662	表土	表土	剥片	44.7	17.3	3.4	3.5	頁岩
	1663	K-9	包3c層	剥片	48.2	33.5	6.3	8.8	頁岩
	1664	L-9	Ⅲb層	剥片	40.5	22.5	5.2	4.0	頁岩
	1665	K-9	包3c層	剥片	37.7	32.9	6.6	8.3	頁岩
	1666	J-11	包3e層	剥片	42.2	28.8	7.6	10.3	頁岩
	1667	K-10	包3d層	剥片	45.0	(26.5)	12.5	13.3	頁岩
	1668	K-9	包2b層	RF	52.5	(22.2)	10.5	13.7	頁岩
	1669	表土	表土	RF	60.7	51.3	11.2	28.8	頁岩
	1670	K-10	包3e層	剥片	37.0	(18.2)	6.9	4.0	頁岩

第15表 石器属性表(2)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1671	K-9	包2b層	剥片	29.5	26.5	6.0	4.0	頁岩
	1672	K-10	包3d層	剥片	(18.2)	18.4	5.7	1.9	頁岩
	1673	C-21	II層	RF	45.6	35.5	6.1	11.3	頁岩
	1674	J-9	包3d層	剥片	31.5	26.2	5.1	3.9	頁岩
	1675	K-9	包3a層	剥片	(23.3)	31.3	5.0	4.1	頁岩
	1676	K-9	包2a層	剥片	(17.9)	46.8	7.8	5.9	頁岩
	1677	K-9	包2b層	剥片	(29.8)	(31.5)	3.5	3.4	頁岩
	1678	L-9	III b層	剥片	48.5	13.4	3.6	2.6	頁岩
	1679	K-9	包3c層	剥片	29.8	22.4	5.3	3.4	頁岩
	1680	K-9	包3a層	剥片	33.6	(41.6)	8.1	13.2	頁岩
	1681	L-10	包3d層	剥片	25.6	26.2	5.0	3.7	頁岩
	1682	L-9	包2a層	剥片	(40.0)	(22.0)	5.7	4.7	頁岩
	1683	L-9	包2a層	剥片	69.0	28.3	12.2	21.1	頁岩
	1684	表土	表土	剥片	(32.0)	(33.5)	4.1	2.5	頁岩
	1685	表土	表土	RF	47.4	(34.9)	8.0	22.5	頁岩
	1686	L-10	包2b層	剥片	(34.5)	(40.0)	9.5	7.6	頁岩
	1687	L-9	包3a層	剥片	45.8	33.5	9.5	13.6	頁岩
	1688	K-9	包2b層	剥片	34.5	23.7	11.3	8.6	頁岩
	1689	K-10	包3b層	剥片	35.7	39.2	13.7	16.4	頁岩
	1690	K-10	包3b層	剥片	39.5	40.0	6.6	9.1	頁岩
第194図-2	1691	L-10	包2b層	スクレイパー	50.5	19.6	5.5	5.1	頁岩
	1692	L-9	包2a層	剥片	44.5	27.6	10.0	11.7	頁岩
第196図-5	1693	J-8	包3a層	スクレイパー	(62.2)	23.6	4.0	8.0	頁岩
	1694	K-10	包3b層	剥片	54.1	43.2	7.8	11.9	頁岩
第195図-1	1695	K-9	包2b層	スクレイパー	(67.7)	48.0	11.0	27.5	頁岩
	1696	J-10	包3d層	剥片	47.0	36.0	11.0	20.3	頁岩
	1697	K-9	包2a層	剥片	32.3	26.6	7.7	5.5	頁岩
	1698	K-9	包3a層	RF	48.8	(33.2)	10.5	20.2	頁岩
	1699	L-10	包2b層	剥片	52.8	76.5	13.9	54.2	頁岩
	1700	K-9	包2b層	剥片	45.4	34.3	11.8	18.8	頁岩
	1701	L-9	包2a層	剥片	70.0	30.0	8.1	14.6	頁岩
	1702	K-10	包3b層	剥片	35.5	26.8	7.5	8.6	頁岩
	1703	K-13	III b層	剥片	31.3	55.5	4.5	9.5	頁岩
	1705	K-8	包3e層	剥片	34.3	20.4	6.8	4.8	頁岩
	1706	L-9	包3a層	剥片	61.2	23.0	8.2	7.1	頁岩
	1707	C-21	II層	剥片	42.5	30.8	4.4	4.5	頁岩
	1708	K-9	包2b層	剥片	33.9	42.3	4.6	5.5	頁岩
	1709	K-9	包2b層	RF	28.6	20.0	4.8	2.6	頁岩
	1710	K-10	包3b層	剥片	36.3	29.2	5.6	5.8	頁岩
	1711	K-9	包2b層	剥片	28.1	26.6	5.8	4.3	頁岩
	1712	K-9	包2a層	剥片	23.5	40.4	8.4	7.1	頁岩
	1713	L-9	包2a層	剥片	(30.2)	(46.5)	7.0	15.2	頁岩
	1714	K-10	包3b層	剥片	(32.3)	24.9	8.1	6.6	頁岩
	1715	K-9	包2b層	剥片	(50.2)	24.0	5.6	5.2	頁岩
	1716	表土	表土	剥片	(30.9)	45.2	9.6	9.8	頁岩
	1717	L-9	包2a層	剥片	34.5	28.8	6.8	6.9	頁岩
	1718	L-10	包2b層	剥片	58.2	19.4	5.7	4.4	頁岩
	1719	L-9	包3a層	剥片	28.5	36.2	4.9	4.7	頁岩
	1720	表土	表土	剥片	20.1	11.3	3.4	0.8	頁岩
	1721	L-10	包2b層	剥片	42.5	21.0	7.8	7.4	頁岩
第194図-5	1722	L-10	包2b層	スクレイパー	84.3	(33.0)	21.4	62.7	頁岩
	1723	K-9	包3c層	剥片	31.8	(23.5)	4.9	5.4	頁岩
	1724	L-10	包2b層	剥片	(13.3)	(27.5)	6.3	1.6	頁岩
	1725	K-9	包2a層	剥片	26.9	29.2	6.3	3.3	頁岩
	1726	K-9	包2b層	RF	37.7	29.6	9.0	8.0	頁岩
	1727	L-9	包2a層	RF	55.5	29.2	8.7	12.5	頁岩
	1728	L-10	包2b層	剥片	25.5	29.5	4.5	2.4	頁岩
第179図-2	1729	L-10	包3d層	石鏃	47.5	21.7	10.7	10.3	頁岩

第15表 石器属性表(23)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1730	K-9	包3c層	剥片	30.0	16.5	8.1	2.9	頁岩
	1731	L-10	包2b層	剥片	26.6	24.6	4.0	3.3	頁岩
	1732	L-10	包2b層	剥片	(28.2)	20.8	3.9	2.7	頁岩
	1733	K-9	包3c層	剥片	31.4	(21.6)	3.8	3.9	頁岩
	1734	L-9	包3a層	剥片	32.5	27.8	8.8	6.1	頁岩
	1735	K-9	包2a層	剥片	40.2	29.2	5.0	6.5	頁岩
	1736	J-9	包3c層	剥片	32.8	20.8	3.7	2.2	頁岩
	1737	L-10	包2b層	剥片	25.0	28.1	11.9	9.2	頁岩
	1738	K-9	包2b層	RF	27.8	30.6	4.3	4.2	頁岩
	1739	L-10	包2b層	剥片	27.9	15.2	5.7	2.8	頁岩
	1740	K-9	包2b層	剥片	51.6	19.4	5.6	6.1	頁岩
	1741	L-10	包2b層	剥片	18.9	(10.9)	3.9	0.8	頁岩
	1742	L-10	包2b層	剥片	23.2	17.3	4.0	1.9	頁岩
	1743	L-9	包3d層	剥片	(23.9)	30.6	2.0	1.4	頁岩
	1744	L-9	包2a層	剥片	30.6	39.0	7.1	4.6	頁岩
	1745	D-24	Ⅲa層	剥片	167.0	74.8	22.8	279.7	砂岩
	1746	K-9	包2b層	RF	38.3	23.4	4.3	5.3	チャート
	1747	K-8	包3a層	剥片	41.7	35.5	7.9	7.3	頁岩
	1748	L-9	包2a層	RF	57.4	30.2	13.1	19.1	頁岩
	1749	K-9	包3a層	剥片	26.3	37.9	8.3	6.1	頁岩
	1750	K-8	包3e層	RF	(26.6)	25.6	7.1	4.4	頁岩
	1751	J-8	包3d層	剥片	(20.1)	46.0	3.5	3.4	頁岩
第173図-6	1752	L-10	Ⅲb層	石匙	63.2	22.2	7.1	10.1	頁岩
	1753	F-25	Ⅲa層	剥片	39.2	47.8	14.9	23.7	頁岩
	1754	K-8	包3e層	RF	45.1	43.7	5.3	8.4	頁岩
	1755	L-9	包2a層	剥片	34.8	35.8	12.5	15.3	頁岩
	1756	K-8	包3e層	RF	26.3	28.4	5.9	4.3	頁岩
	1757	K-9	包2a層	RF	26.0	20.6	5.2	2.7	頁岩
	1758	K-8	包3e層	RF	(47.2)	41.0	14.5	28.2	頁岩
	1759	K-8	包3e層	剥片	51.8	23.3	6.5	7.7	頁岩
	1760	K-9	包2b層	RF	30.2	26.5	2.6	1.7	頁岩
	1761	K-9	包3a層	剥片	49.5	57.2	10.9	28.5	チャート
	1762	L-9	包2a層	剥片	35.9	32.9	10.3	13.2	頁岩
	1763	第2号竪穴住居跡	2層	剥片	(47.6)	39.4	4.5	10.6	頁岩
	1764	L-9	包2a層	剥片	(43.1)	29.7	7.4	9.1	頁岩
	1765	K-4	Ⅲb層	剥片	24.2	14.5	7.2	2.0	頁岩
	1766	表土	表土	剥片	32.6	31.5	2.2	3.2	頁岩
	1767	L-9	包2a層	UF	51.3	28.9	5.6	8.7	頁岩
	1768	K-9	包3e層	剥片	11.8	19.5	3.1	2.4	頁岩
	1769	表土	表土	剥片	37.7	37.4	8.6	8.3	頁岩
	1770	K-9	包2b層	剥片	(49.0)	35.2	7.5	15.5	頁岩
	1771	L-9	包2a層	RF	40.8	36.2	4.8	7.0	頁岩
	1772	K-9	包3e層	UF	(40.9)	31.4	10.0	10.2	頁岩
	1773	E-20	Ⅲb層	RF	38.2	27.7	10.9	10.7	頁岩
	1774	L-9	包2a層	剥片	42.0	33.9	15.2	18.7	頁岩
第201図-1	1775	第13号竪穴住居跡	1層	石核	71.2	48.8	33.8	166.5	頁岩
	1776	表土	表土	剥片	(49.8)	42.1	24.4	29.9	頁岩
	1777	K-8	包3e層	剥片	61.6	35.7	16.4	32.6	頁岩
	1778	E-20	Ⅲb層	RF	42.2	22.7	11.6	9.5	頁岩
第181図-3	1779	L-10	包2b層	石匙	(23.9)	22.4	5.9	3.0	頁岩
	1780	K-9	包3e層	剥片	38.1	26.0	10.0	6.2	頁岩
第192図-5	1781	L-9	包2a層	スクレイパー	(36.8)	43.7	10.4	11.7	頁岩
	1782	L-11	包3e層	剥片	40.1	44.3	6.1	6.4	頁岩
	1783	L-9	包2a層	RF	44.7	41.2	13.0	20.0	頁岩
	1784	表土	表土	剥片	(35.5)	32.3	8.6	8.4	頁岩
	1785	K-9	包3e層	剥片	70.6	44.5	8.8	20.1	頁岩
第200図-5	1786	L-9	Ⅲb層	スクレイパー	57.5	61.4	10.3	26.1	頁岩
	1787	K-9	包3e層	剥片	(32.8)	23.1	5.3	4.3	頁岩

第15表 石器属性表(24)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1788	D-22	Ⅲa層	剥片	32.0	(25.5)	6.4	4.3	頁岩
	1789	K-8	包3e層	剥片	27.2	31.1	4.5	3.3	頁岩
	1790	L-10	包2b層	RF	27.0	42.7	10.4	8.9	頁岩
	1791	L-10	包2b層	RF	32.6	17.2	7.0	3.1	頁岩
	1792	第9号竪穴住居跡	2層	RF	48.8	22.2	8.1	9.9	頁岩
	1793	K-9	包3e層	剥片	46.5	23.2	7.8	6.9	頁岩
	1794	K-9	包3e層	剥片	40.2	39.4	5.0	9.2	頁岩
	1795	K-9	包2b層	剥片	58.2	(45.0)	11.8	30.8	砂岩
	1796	K-10	包3e層	RF	34.3	21.9	5.1	5.2	頁岩
	1797	K-9	包3a層	剥片	62.4	50.1	8.0	20.4	頁岩
	1798	K-8	包3e層	剥片	32.1	44.1	9.2	8.2	頁岩
	1799	第9号竪穴住居跡	4層	剥片	37.3	28.8	5.3	7.8	頁岩
	1800	K-9	包2b層	剥片	41.2	28.5	7.9	10.3	頁岩
	1801	E-20	Ⅲb層	剥片	25.8	28.3	2.1	2.2	頁岩
	1802	K-9	包2b層	RF	50.7	30.0	9.1	9.2	頁岩
	1803	K-8	包3e層	剥片	(27.0)	27.8	2.7	2.6	頁岩
	1804	K-9	包3a層	剥片	48.3	32.7	11.1	21.1	頁岩
	1805	K-9	包2b層	RF	35.7	24.9	6.3	6.2	頁岩
	1806	K-9	包3e層	剥片	41.2	13.7	3.1	2.4	頁岩
第196図-8	1807	K-9	包3a層	スクレイパー	42.8	29.4	4.4	6.7	頁岩
	1808	K-9	包2b層	剥片	30.5	43.2	7.4	10.3	頁岩
	1809	K-9	包2b層	剥片	(31.5)	49.5	5.1	6.3	頁岩
	1810	K-9	包3e層	剥片	51.3	22.8	6.9	7.2	頁岩
第188図-1	1811	L-9	包2a層	石匙	67.4	26.6	10.1	16.1	頁岩
	1812	K-8	包3e層	剥片	23.2	34.9	2.3	2.9	頁岩
	1813	K-9	包3a層	剥片	47.7	30.6	16.3	19.4	頁岩
第204図-4	1814	L-11	包3b層	石核	48.0	35.6	31.2	48.8	頁岩
	1815	K-9	包3c層	UF	47.3	23.8	11.8	12.9	頁岩
	1816	K-9	包3a層	剥片	36.0	55.3	6.9	12.3	頁岩
	1817	K-8	包3a層	剥片	32.8	34.3	2.6	3.5	頁岩
	1818	K-9	包3d層	剥片	(34.6)	(30.8)	5.7	9.0	チャート
	1819	表土	表土	剥片	43.6	33.2	15.3	23.6	頁岩
	1820	K-9	包3e層	剥片	40.0	24.2	10.4	9.6	頁岩
	1821	K-9	包3c層	剥片	(38.5)	62.7	12.4	34.5	頁岩
	1822	K-9	包3c層	剥片	38.3	27.2	5.9	5.5	頁岩
	1823	K-9	包3c層	RF	42.8	45.1	10.0	17.5	頁岩
	1824	K-9	包3c層	剥片	51.3	75.8	10.1	22.9	頁岩
	1825	表土	表土	剥片	(25.8)	51.8	9.2	13.1	頁岩
	1826	K-9	包3c層	剥片	38.5	27.5	6.3	6.1	頁岩
	1827	K-9	包3c層	剥片	29.6	15.0	3.3	2.0	頁岩
	1828	K-9	包3c層	UF	39.1	75.8	9.8	30.5	頁岩
第198図-2	1829	K-9	包3c層	スクレイパー	(62.7)	29.4	11.4	21.0	頁岩
	1830	K-9	包3c層	剥片	26.9	23.6	5.4	3.7	頁岩
	1831	K-9	包3c層	剥片	36.4	28.0	7.8	4.2	頁岩
	1832	K-9	包3c層	剥片	(34.8)	43.2	9.3	9.4	頁岩
	1833	K-9	包3c層	剥片	29.6	22.7	3.5	2.8	頁岩
	1834	L-9	Ⅲb層	剥片	58.6	28.0	18.4	31.9	頁岩
第198図-3	1835	K-9	包3c層	スクレイパー	(23.2)	(33.7)	6.5	3.5	頁岩
	1836	K-9	包3c層	剥片	41.2	20.3	5.7	4.9	頁岩
	1837	K-9	包3a層	剥片	31.0	35.7	7.8	5.8	頁岩
	1838	表土	表土	RF	41.6	25.4	14.5	12.9	頁岩
	1839	K-9	包3e層	剥片	36.5	28.5	4.6	3.8	頁岩
	1840	K-9	包3e層	剥片	(18.9)	39.5	5.3	3.6	頁岩
	1841	K-9	包3a層	剥片	(31.4)	28.4	10.8	4.9	シルト岩
	1842	K-9	包3c層	剥片	49.7	21.4	10.2	11.6	瑪瑙
	1843	K-9	包3a層	剥片	(27.2)	35.7	6.2	3.9	瑪瑙
	1844	表土	表土	剥片	72.6	28.2	10.8	24.4	頁岩
	1845	K-9	包3e層	剥片	(59.8)	28.2	9.1	12.7	頁岩

第15表 石器属性表(25)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1846	K-9	包3a層	剥片	(33.9)	(27.5)	9.4	6.1	頁岩
	1847	K-9	包3e層	剥片	(38.6)	40.3	9.5	10.8	頁岩
	1848	J-8	包4層	剥片	22.8	21.0	10.0	4.1	頁岩
	1849	K-9	包3c層	剥片	50.4	22.5	6.8	6.2	頁岩
第197図-4	1850	K-9	包3c層	スクレイパー	109.0	30.0	19.0	59.6	頁岩
	1851	表土	表土	剥片	29.5	19.7	4.7	3.3	頁岩
	1852	K-4	Ⅲb層	剥片	18.7	23.1	9.6	3.3	頁岩
	1853	K-9	包3a層	剥片	(13.5)	(23.0)	3.8	1.3	頁岩
第192図-7	1854	L-9	包2a層	スクレイパー	60.2	51.5	9.7	34.0	頁岩
	1855	K-9	包2a層	剥片	35.7	29.4	5.9	6.5	頁岩
	1856	K-8	包3a層	剥片	(37.2)	(46.7)	19.7	19.6	頁岩
	1857	K-8	包3e層	剥片	32.8	36.3	9.4	9.0	頁岩
	1858	表土	表土	剥片	35.7	34.3	4.9	6.2	頁岩
	1859	表土	表土	剥片	33.5	19.2	3.6	1.6	頁岩
	1860	L-10	包2b層	剥片	(18.2)	15.7	3.9	0.9	頁岩
第178図-22	1861	L-10	包2b層	石鏃	(22.8)	21.4	6.0	2.9	頁岩
第199図-5	1862	K-8	包3e層	スクレイパー	(44.4)	24.9	11.2	18.9	頁岩
第197図-3	1863	K-9	包3c層	スクレイパー	76.8	37.0	16.0	51.0	頁岩
	1864	K-8	包3e層	剥片	28.3	22.0	2.1	1.6	頁岩
	1865	K-9	包3e層	剥片	29.4	(20.3)	9.0	4.8	頁岩
第205図-2	1866	K-9	包3c層	石核	61.5	58.5	43.2	127.4	頁岩
	1867	K-9	包2b層	剥片	82.4	51.4	7.8	29.8	頁岩
	1868	P-21	Ⅲb層	剥片	32.5	32.7	4.5	3.9	頁岩
	1869	K-9	包2b層	剥片	40.6	31.1	10.3	9.8	頁岩
	1870	L-9	包2a層	剥片	(25.8)	41.4	5.5	4.5	頁岩
	1871	J-8	包3d層	剥片	22.4	36.0	4.4	2.2	頁岩
	1872	K-9	包3e層	剥片	54.0	23.1	5.3	6.7	頁岩
	1873	K-8	包3e層	RF	42.2	39.8	10.0	16.0	頁岩
	1874	K-8	包3e層	RF	56.0	51.0	12.2	31.2	頁岩
	1875	K-9	包2b層	剥片	39.3	24.4	7.7	4.4	頁岩
	1876	K-9	包3a層	UF	40.9	37.4	9.3	15.9	頁岩
	1877	L-10	包3d層	RF	67.9	24.0	14.0	20.4	頁岩
	1878	K-8	包3e層	剥片	60.0	80.3	23.4	84.4	砂岩
	1879	K-9	包3a層	RF	27.8	30.8	6.0	5.1	頁岩
	1880	第5号焼土・炭化物集中区	焼土	剥片	47.7	35.5	10.7	22.1	頁岩
	1881	K-9	包2a層	剥片	(31.0)	30.3	2.4	2.9	頁岩
	1882	J-9	包3d層	剥片	(41.2)	(23.1)	5.8	6.2	頁岩
	1883	K-9	包2b層	剥片	(33.8)	(22.1)	8.7	7.8	頁岩
	1884	K-8	包3e層	剥片	46.0	(22.5)	5.8	7.1	頁岩
	1885	表土	表土	剥片	(39.5)	(39.0)	12.3	23.6	頁岩
	1886	L-9	包2a層	剥片	83.4	43.4	12.8	27.1	頁岩
	1887	K-9	包2b層	剥片	31.9	36.8	9.5	11.5	頁岩
	1888	L-9	包2a層	剥片	(53.6)	(42.1)	9.7	24.1	頁岩
	1889	L-9	包2a層	剥片	50.0	48.3	9.1	20.4	頁岩
	1890	第2号竪穴住居跡	2層	RF	32.8	27.8	6.5	7.7	頁岩
	1891	L-9	包2a層	UF	38.6	34.0	6.5	7.8	頁岩
	1892	K-8	包3e層	RF	35.6	40.1	3.7	4.2	頁岩
	1893	K-9	包3e層	剥片	(16.0)	22.9	3.0	0.9	頁岩
	1894	K-8	包3e層	剥片	46.3	60.6	11.6	20.6	頁岩
	1895	表土	表土	スクレイパー	(30.6)	(18.7)	11.2	5.3	頁岩
	1896	K-9	包2a層	剥片	(26.1)	(36.0)	8.5	6.3	頁岩
	1897	K-8	包3e層	剥片	42.6	26.0	3.8	5.0	頁岩
	1898	L-11	包3b層	RF	37.3	31.0	5.5	6.8	頁岩
	1899	K-10	包3d層	剥片	(41.6)	(30.6)	11.0	15.3	頁岩
	1900	表土	表土	UF	45.8	25.5	9.4	10.7	頁岩
	1901	K-9	包3e層	RF	25.8	24.6	5.2	3.7	頁岩
	1902	K-9	包2a層	UF	29.1	19.6	4.0	2.1	頁岩
	1903	L-9	包1層	剥片	31.3	30.0	8.0	7.8	頁岩

第15表 石器属性表(26)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1904	K-9	包3e層	剥片	32.3	19.1	9.2	4.4	頁岩
	1905	K-9	包3a層	剥片	36.6	52.2	8.0	10.0	頁岩
	1906	K-8	包3e層	剥片	59.6	35.7	10.6	20.9	頁岩
	1907	E-22	Ⅲa層	RF	51.0	44.6	25.0	61.4	頁岩
	1908	K-8	包3e層	剥片	47.6	29.4	8.5	9.1	頁岩
	1909	K-8	包3e層	RF	39.6	68.4	13.5	27.8	頁岩
	1910	K-8	包3e層	UF	40.3	20.7	5.4	6.3	頁岩
	1911	L-11	包3b層	剥片	(29.3)	39.7	6.9	7.0	頁岩
	1912	K-9	包2a層	剥片	50.0	37.0	10.5	15.1	頁岩
	1913	K-8	包3e層	UF	37.2	65.5	8.9	13.5	頁岩
	1914	表土	表土	剥片	26.8	12.2	3.8	1.5	頁岩
	1915	K-8	包3e層	剥片	(17.4)	29.0	5.5	2.0	頁岩
	1916	K-8	包3e層	剥片	31.9	15.1	2.3	1.2	頁岩
	1917	K-9	包3a層	剥片	36.3	18.4	3.9	2.8	頁岩
第172図-4	1918	第2号焼土・炭化物集中区	焼土	石鏃	33.0	11.2	4.6	1.4	頁岩
第172図-3	1919	第9号竪穴住居跡	2層	石鏃	(25.2)	12.3	3.3	0.6	頁岩
第209図-4	1920	L-11	包3b層	石斧	(53.2)	36.5	24.6	75.1	頁岩
第205図-1	1921	K-9	包3c層	石核	90.1	54.8	29.1	136.0	頁岩
	1922	K-8	包3e層	剥片	42.0	37.1	28.5	39.5	頁岩
	1923	K-10	包3b層	剥片	44.1	34.7	23.4	29.9	頁岩
第206図-3	1924	J-12	包3e層	石核	78.8	70.2	35.5	212.5	頁岩
	1925	表土	表土	剥片	13.6	10.9	1.5	0.3	黒曜石
	1926	表土	表土	剥片	41.4	30.3	3.0	5.5	瑪瑙
第191図-8	1927	K-10	包3d層	石匙	34.1	38.4	7.1	6.4	頁岩
	1928	K-10	Ⅲb層	剥片	51.1	30.0	11.9	14.1	安山岩
第223図-2	1930	J-12	包1層	カッオブシ形石器	79.8	15.5	14.5	25.1	粘板岩
	1931	L-11	包3b層	軽石	81.1	63.7	46.8	67.4	軽石
	1932	K-9	包3e層	軽石	70.2	50.9	20.8	10.3	軽石
	1933	K-8	包3e層	軽石	71.5	59.0	17.8	17.5	軽石
	1934	K-9	包3e層	軽石	67.7	54.1	15.7	11.2	軽石
	1935	表土	表土	RF	69.4	54.0	15.2	56.2	頁岩
	1936	表土	表土	剥片	32.4	18.0	8.5	5.4	頁岩
	1937	表土	表土	磨石	153.8	87.0	43.5	930.0	砂岩
第214図-4	1938	K-9	包3e層	敲石	(78.9)	54.8	26.0	89.3	砂岩
第206図-2	1939	K-9	包3e層	石核	(66.3)	(53.6)	48.0	208.8	チャート
第219図-3	1940	K-9	包3c層	磨石	(40.4)	58.8	48.8	178.2	ひん岩
第219図-1	1941	K-9	包3c層	磨石	(96.8)	64.1	49.4	460.0	安山岩
	1942	E-20	Ⅲb層	剥片	(68.9)	(54.0)	(19.3)	78.5	安山岩
	1943	K-10	表土	敲石	(83.3)	71.2	39.0	335.0	安山岩
	1944	K-9	表土	敲石	114.7	85.9	41.0	570.0	安山岩
	1945	K-8	表土	敲石	103.7	70.6	26.9	310.0	安山岩
第221図-3	1946	K-8	Ⅲb2層	磨石	(70.1)	81.9	38.6	293.1	安山岩
	1947	K-9	表土	敲石	103.2	51.2	33.3	278.5	安山岩
第214図-2	1948	L-9	Ⅲb2層	敲石	81.2	50.2	25.5	163.5	安山岩
	1949	K-9	表土	磨石	82.4	66.3	36.9	278.8	安山岩
	1950	K-9	表土	磨石	58.9	38.6	12.1	47.0	安山岩
第221図-2	1951	K-8	包3e層	磨石	(53.5)	(75.3)	43.5	230.2	ひん岩
第222図-3	1952	K-8	包3e層	凹石	109.0	59.8	27.7	187.6	砂岩
第223図-3	1953	K-8	包3e層	カッオブシ形石器	81.9	19.5	11.0	20.1	粘板岩
第222図-5	1954	第9号竪穴住居跡	3層	凹石	75.3	(67.3)	11.0	62.5	砂岩
	1955	表土	表土	石斧	(89.5)	50.6	30.3	244.7	閃緑岩
第221図-1	1956	K-8	包3e層	磨石	108.9	55.8	33.0	325.0	安山岩
	1957	K-4	表土	磨石	(94.1)	76.3	59.1	505.0	斑禰岩
	1958	K-8	包3e層	軽石	68.4	42.5	23.6	9.6	軽石
	1959	表土	表土	石斧	(38.4)	53.9	19.8	67.9	緑色泥岩
第184図-6	1960	K-9	包2a層	石匙	54.3	27.1	9.7	13.8	頁岩
	1961	第9号竪穴住居跡	貼床	剥片	(36.3)	42.6	14.6	15.2	頁岩
	1962	表土	表土	石匙	62.1	23.1	5.3	9.5	凝灰岩

第15表 石器属性表(27)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	1963	D-25	II層	RF	52.3	35.5	5.9	9.9	頁岩
第172図-15	1964	E-21	II層	石鏃	33.9	16.5	5.8	3.2	頁岩
	1965	第3号竪穴住居跡	1層	剥片	77.7	78.0	16.5	87.0	頁岩
	1966	表土	表土	剥片	30.6	43.0	14.6	13.8	頁岩
	1967	D-23	II層	剥片	(42.0)	28.4	12.9	18.2	頁岩
	1968	K-12	包3e層	剥片	36.1	30.5	6.8	8.1	頁岩
	1969	K-8	包3e層	剥片	(27.3)	30.3	8.3	7.4	頁岩
	1970	K-9	包1層	剥片	22.8	15.8	3.2	1.1	頁岩
	1971	J-10	包3e層	剥片	45.5	33.3	10.1	20.4	頁岩
	1972	K-8	包3e層	剥片	62.9	27.6	15.1	22.2	頁岩
	1973	表土	表土	スクレイパー	(35.0)	28.6	5.4	4.7	頁岩
	1974	K-8	包3e層	剥片	(36.1)	(15.8)	3.1	2.6	瑪瑙
	1975	K-8	包3e層	剥片	(46.9)	36.0	12.8	21.8	頁岩
	1976	K-8	包3e層	剥片	59.9	28.0	8.8	11.7	頁岩
	1977	表土	表土	スクレイパー	52.0	26.5	5.9	7.8	頁岩
	1978	K-8	包3e層	剥片	33.3	21.0	3.5	2.3	頁岩
1979	第2号焼土・炭化物集中区	焼土	剥片	42.9	36.1	12.7	14.1	安山岩	
1980	第2号焼土・炭化物集中区	焼土	剥片	(42.6)	(45.3)	12.9	26.9	頁岩	
1981	K-8	包3e層	剥片	39.8	39.2	5.5	7.2	頁岩	
1982	K-8	包3e層	剥片	(20.3)	40.6	4.3	7.6	頁岩	
1983	表土	表土	石核	50.3	45.0	23.3	40.5	頁岩	
1984	K-8	包3e層	剥片	33.8	(33.3)	9.0	5.6	頁岩	
1985	表土	表土	剥片	29.7	43.7	2.6	3.9	頁岩	
1986	K-8	包3e層	剥片	63.1	47.2	25.1	51.6	チャート	
1987	K-8	包3e層	剥片	38.1	(33.5)	5.0	3.8	頁岩	
1988	K-8	包3e層	UF	(48.0)	28.5	7.9	11.3	瑪瑙	
1989	K-8	包3e層	剥片	(19.5)	38.8	4.0	3.1	頁岩	
1990	K-8	包3e層	剥片	33.8	28.4	7.1	3.5	頁岩	
1991	K-8	包3e層	剥片	37.0	21.9	4.9	2.9	頁岩	
1992	K-8	包3e層	剥片	34.9	35.1	4.5	3.7	頁岩	
1993	第2号竪穴住居跡	床面	剥片	(41.8)	20.0	12.0	8.2	チャート	
1994	表土	表土	剥片	43.5	48.2	11.0	17.5	頁岩	
1995	K-8	包3e層	剥片	29.2	27.9	4.5	3.8	頁岩	
1996	K-8	包3e層	剥片	29.9	28.5	8.3	6.7	頁岩	
1997	K-8	包3e層	剥片	21.5	41.6	4.8	4.4	頁岩	
1998	K-8	包3e層	軽石	48.9	35.0	17.1	3.9	軽石	
1999	表土	表土	剥片	32.2	39.4	8.1	8.8	頁岩	
2000	表土	表土	剥片	(34.5)	46.9	11.1	13.6	頁岩	
2001	L-9	IIIb層	剥片	40.7	10.9	10.6	3.7	頁岩	
2002	K-12	包3e層	UF	(38.0)	46.0	4.6	9.0	頁岩	
2003	K-12	包3e層	剥片	41.5	(34.5)	10.8	14.1	頁岩	
2005	表土	表土	UF	55.1	33.1	6.9	12.6	頁岩	
2006	D-22	IIIa層	剥片	(35.1)	(25.8)	(8.2)	5.7	頁岩	
2007	表土	表土	剥片	40.3	18.5	11.5	6.2	頁岩	
2008	K-8	包3e層	剥片	20.3	25.1	6.0	2.3	頁岩	
2009	K-8	包3e層	UF	(67.0)	32.9	16.1	25.7	頁岩	
2010	K-8	包3e層	剥片	48.4	25.9	6.4	9.5	頁岩	
2011	表土	表土	RF	38.5	30.8	6.6	4.3	頁岩	
2012	K-8	包3e層	剥片	52.7	29.1	7.1	11.3	頁岩	
2013	K-8	包3e層	剥片	48.8	(32.7)	8.1	17.1	頁岩	
2014	K-8	包3e層	軽石	42.3	40.7	26.5	10.4	軽石	
第180図-1	2015	K-9	包2a層	ポイント	77.9	25.5	18.1	32.4	頁岩
	2016	表土	表土	敲石	93.1	85.2	32.8	400.0	安山岩
	2017	K-9	包3a層	UF	44.6	33.5	7.6	13.6	頁岩
	2018	K-8	包3e層	RF	30.6	23.7	13.5	7.9	チャート
	2019	K-8	包3e層	剥片	(39.4)	19.9	5.8	3.0	頁岩
	2020	L-9	包2a層	剥片	25.9	31.0	8.6	5.8	頁岩
	2021	表土	表土	石鏃	(32.2)	(15.5)	2.1	0.9	頁岩

第15表 石器属性表(28)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2022	表土	表土	石鏃	50.1	16.2	4.2	2.7	頁岩
	2023	K-10	Ⅲb2層	UF	(40.2)	30.8	5.4	8.8	頁岩
	2024	第40号土坑	2層	剥片	21.5	19.5	2.8	1.0	頁岩
第173図-11	2025	K-8	Ⅲb2層	石匙	(55.5)	30.6	10.5	21.3	頁岩
	2026	表土	表土	石匙	40.0	18.3	5.2	4.0	頁岩
	2027	第8号竪穴住居跡	1層	剥片	(62.3)	72.5	19.3	97.4	安山岩
	2028	L-10	Ⅲb2層	剥片	(51.8)	(39.3)	11.6	26.0	頁岩
	2029	表土	表土	剥片	(34.9)	43.8	11.5	21.4	頁岩
	2030	表土	表土	スクレイパー	48.9	34.6	12.0	17.7	頁岩
	2031	K-8	包3e層	剥片	(31.3)	31.9	5.1	6.1	頁岩
	2032	D-21	Ⅲa層	剥片	38.1	26.6	7.0	9.6	頁岩
	2033	表土	表土	剥片	(62.5)	48.9	14.7	35.9	頁岩
	2034	L-9	包3a層	RF	(49.2)	35.1	8.5	16.2	頁岩
	2035	表土	表土	剥片	42.2	33.5	5.6	9.7	頁岩
	2036	表土	表土	剥片	53.0	33.1	9.8	12.5	頁岩
	2037	表土	表土	剥片	(31.3)	42.5	14.0	13.3	頁岩
	2038	L-9	包3a層	剥片	28.3	36.5	5.3	4.3	頁岩
	2039	表土	表土	UF	56.2	31.2	8.8	19.2	頁岩
	2040	K-9	包3a層	RF	57.3	28.4	9.5	16.1	頁岩
	2041	L-9	包3a層	剥片	53.5	22.1	10.3	8.8	頁岩
	2042	K-10	表土	磨石	(53.5)	69.3	(41.6)	186.7	安山岩
	2043	L-8	包3e層	剥片	(77.2)	37.2	11.0	27.7	瑪瑙
第172図-20	2044	K-10	Ⅲb層	石鏃	28.8	12.8	5.8	1.6	頁岩
	2045	表土	表土	石鏃	28.6	16.3	3.6	1.9	頁岩
	2046	表土	表土	石鏃	27.1	24.0	4.9	3.3	頁岩
	2047	表土	表土	石鏃	26.3	16.1	3.2	1.4	頁岩
	2048	K-10	Ⅲb層	敲石	68.8	67.3	27.8	183.8	安山岩
	2049	J-8	包4層	剥片	(21.5)	23.6	7.3	3.4	頁岩
	2050	L-9	包3a層	剥片	(30.1)	(35.1)	13.2	16.4	頁岩
	2051	J-13	包3e層	剥片	40.8	41.1	11.0	17.6	頁岩
	2052	第65号土坑	1層	RF	12.9	30.1	6.3	2.5	頁岩
第190図-3	2053	J-10	包3e層	石匙	53.2	50.2	10.6	26.4	頁岩
	2054	K-9	包3a層	UF	36.6	47.9	10.6	16.9	頁岩
	2055	K-11	包3e層	剥片	(32.2)	36.8	8.3	10.9	頁岩
	2056	K-8	包3e層	剥片	26.1	31.5	12.4	8.8	チャート
	2057	表土	表土	剥片	72.9	43.8	12.4	44.0	頁岩
	2058	J-10	包3e層	剥片	30.9	21.2	4.2	2.8	頁岩
	2059	表土	表土	石鏃	46.8	13.1	6.1	3.1	頁岩
	2060	表土	表土	石匙	34.0	45.5	7.4	8.5	頁岩
	2061	K-10	Ⅲb層	剥片	58.8	(51.0)	16.5	50.8	安山岩
	2062	L-10	包3e層	剥片	75.0	18.3	10.3	12.8	頁岩
	2063	表土	表土	石鏃	30.8	18.4	4.3	2.2	頁岩
	2064	表土	表土	石匙	95.0	24.0	11.4	26.7	頁岩
	2065	第75号土坑	1層	RF	47.1	17.1	11.5	8.9	チャート
	2066	表土	表土	石鏃	24.5	12.1	4.4	1.1	頁岩
	2067	K-9	包3c層	剥片	(24.9)	39.9	7.3	6.3	頁岩
	2068	J-8	包4層	剥片	25.0	26.0	2.6	1.4	頁岩
	2069	第65号土坑	1層	剥片	37.7	27.5	10.5	8.5	頁岩
	2070	K-9	包3c層	剥片	54.4	32.8	7.7	10.0	頁岩
	2071	J-9	包3d層	RF	(43.8)	(51.7)	10.9	25.8	頁岩
	2072	表土	表土	石鏃	34.1	21.7	4.4	3.0	頁岩
	2073	K-10	包3d層	剥片	30.6	27.1	3.4	4.7	頁岩
	2074	K-10	Ⅲb2層	剥片	(61.6)	30.5	8.0	9.0	凝灰岩
第173図-5	2075	K-10	Ⅲb2層	石匙	(54.8)	21.3	4.9	7.6	頁岩
	2076	K-10	Ⅲb2層	剥片	70.5	58.7	15.2	67.9	チャート
	2077	K-10	Ⅲb2層	剥片	(31.1)	(34.7)	(14.7)	16.7	頁岩
	2078	表土	表土	石匙	(55.5)	21.2	4.2	5.5	頁岩
第174図-2	2079	第9号竪穴住居跡	2層	石匙	76.9	30.7	8.7	22.3	頁岩

第15表 石器属性表(29)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第223図-1	2080	表土	表土	砥石	(34.4)	(46.8)	14.6	18.1	砂岩
	2081	K-10	包3d層	剥片	26.3	29.4	7.1	3.6	シルト岩
	2082	K-10	包3d層	剥片	28.4	32.8	9.2	7.3	頁岩
	2083	L-9	包2b層	剥片	(29.8)	55.3	12.4	15.9	頁岩
	2084	K-10	包3b層	剥片	42.4	31.0	10.0	11.9	頁岩
	2085	K-10	包3b層	剥片	38.2	63.5	7.4	14.5	頁岩
	2086	K-10	包3b層	剥片	31.5	42.3	5.8	10.8	チャート
	2087	L-9	包2b層	RF	(44.2)	37.8	13.5	18.6	頁岩
	2088	K-10	包3b層	剥片	(33.7)	(25.3)	6.7	4.8	頁岩
	2089	L-9	包2b層	RF	44.9	(52.7)	10.2	20.2	頁岩
	2090	L-9	包2b層	剥片	(28.5)	(38.5)	9.6	11.4	頁岩
	2091	L-9	包2b層	剥片	38.4	(29.8)	4.7	6.1	頁岩
	2092	第82号土坑	1層	剥片	26.0	18.2	9.6	4.3	頁岩
	2093	K-9	包3e層	剥片	(42.4)	40.4	14.7	22.7	頁岩
	2094	K-10	包3b層	剥片	(45.5)	38.9	9.1	14.5	頁岩
	2095	L-9	包2b層	剥片	(39.5)	(29.9)	(13.7)	19.7	頁岩
	2096	K-10	包3b層	剥片	58.6	(33.1)	11.0	17.1	頁岩
2097	L-9	包2b層	UF	57.3	47.8	9.8	22.7	頁岩	
2098	L-9	包2b層	剥片	(40.2)	62.8	9.7	23.0	頁岩	
第194図-1	2099	L-9	包2b層	スクレイパー	99.8	44.2	19.1	69.1	頁岩
	2100	表土	表土	磨石	(49.8)	75.6	10.6	47.5	安山岩
	2101	K-9	包3a層	剥片	(17.1)	(29.8)	5.7	3.7	頁岩
	2102	K-9	包3a層	UF	72.1	43.8	7.9	27.5	頁岩
	2103	K-9	包3a層	剥片	38.6	26.0	6.8	6.5	頁岩
	2104	K-9	包3a層	剥片	88.4	36.0	15.0	44.0	頁岩
	2105	K-9	包3a層	剥片	(25.8)	(28.6)	8.1	7.3	頁岩
	2106	K-9	包3a層	剥片	50.5	42.9	9.3	16.4	頁岩
	2107	K-9	包3a層	RF	24.0	28.3	5.0	3.5	頁岩
	2108	K-9	包3a層	剥片	42.4	31.7	6.5	6.7	頁岩
	2109	K-9	包3a層	剥片	34.0	(33.3)	6.6	7.2	頁岩
	2110	K-9	包3a層	剥片	27.1	33.4	4.3	3.5	頁岩
第178図-6	2111	K-9	包3a層	石鏃	25.3	18.5	4.5	1.8	頁岩
	2112	K-9	包3a層	剥片	35.5	(33.8)	2.3	3.2	頁岩
	2113	L-9	包2b層	剥片	41.6	13.0	9.6	6.3	頁岩
	2114	K-9	包3a層	剥片	(42.6)	(18.3)	7.0	6.1	頁岩
	2115	K-9	包3a層	UF	71.6	23.5	6.3	11.2	頁岩
	2116	K-10	包3b層	剥片	32.0	48.5	9.1	14.0	頁岩
	2117	K-9	包3a層	剥片	42.2	(38.5)	7.9	11.6	頁岩
	2118	K-9	包3a層	剥片	(22.5)	26.4	4.0	2.3	頁岩
	2119	K-9	包3a層	剥片	35.7	64.6	9.2	19.0	頁岩
	第199図-3	2120	K-10	包3d層	スクレイパー	(33.6)	25.0	7.1	6.3
2121		K-10	包3d層	UF	49.1	(39.6)	5.3	13.9	頁岩
2122		K-9	包3a層	剥片	54.5	35.1	11.8	13.8	頁岩
2123		K-9	包3a層	剥片	60.5	40.5	9.5	21.7	頁岩
第195図-6	2124	K-9	包3a層	スクレイパー	(34.3)	41.3	9.0	16.5	頁岩
第182図-3	2125	K-9	包3a層	石匙	(56.7)	32.3	9.0	15.2	頁岩
	2126	K-9	包3a層	剥片	48.9	(27.0)	6.8	10.5	頁岩
	2127	K-9	包3a層	剥片	54.9	(35.3)	5.5	10.7	頁岩
	2128	K-9	包3a層	剥片	29.1	(53.6)	6.7	9.7	頁岩
	2129	K-10	包3d層	UF	41.4	29.7	16.0	18.9	チャート
	第199図-2	2130	K-10	包3d層	スクレイパー	73.5	33.0	8.3	24.0
2131		K-10	包3d層	剥片	26.9	(28.0)	5.3	8.1	頁岩
2132		K-9	包3a層	剥片	(29.0)	26.2	6.0	4.6	頁岩
第175図-9	2133	K-9	包3a層	石鏃	36.5	18.9	5.6	2.7	頁岩
	2134	K-9	包3a層	剥片	37.4	37.3	2.5	3.7	チャート
	2135	K-9	包3a層	剥片	31.6	27.1	8.6	6.8	頁岩
	2136	K-9	包3a層	剥片	34.5	32.3	6.7	9.3	チャート
第220図-3	2137	K-10	包3d層	磨石	16.9	10.4	5.0	1.4	砂岩

第15表 石器属性表(30)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2138	表土	表土	磨石	67.2	57.1	21.3	90.8	安山岩
	2139	K-9	包3c層	RF	43.9	41.8	10.5	21.6	頁岩
	2140	L-9	表土	石核	75.0	66.1	68.2	384.0	頁岩
第213図-3	2141	K-10	包3d層	敲石	(87.8)	85.2	51.4	610.0	砂岩
第212図-4	2142	L-9	包2b層	敲石	(103.5)	64.3	56.3	540.0	砂岩
第220図-4	2143	K-9	包3e層	磨石	111.3	77.6	58.2	670.0	安山岩
	2144	表土	表土	磨石	97.1	84.7	47.3	690.0	玄武岩
	2145	K-8	包3e層	剥片	(21.0)	(29.0)	(6.5)	3.9	頁岩
	2146	J-11	包3e層	剥片	(37.6)	42.8	10.1	13.0	頁岩
	2147	K-10	包3b層	RF	(35.5)	52.7	10.9	19.0	頁岩
第185図-2	2148	K-11	包3e層	石匙	60.4	31.3	8.1	14.7	頁岩
	2149	K-10	包3b層	剥片	(43.3)	35.1	6.6	6.6	頁岩
	2150	表土	表土	剥片	(42.2)	(32.2)	(7.5)	7.3	頁岩
	2151	K-8	包3c層	剥片	24.1	20.7	12.1	1.3	頁岩
	2152	L-10	包2b層	剥片	28.0	31.3	5.0	3.0	頁岩
	2153	K-9	包3a層	軽石	48.0	58.0	22.7	10.7	軽石
	2154	L-10	包2b層	RF	71.3	53.5	9.8	41.9	頁岩
	2155	L-10	包2b層	剥片	75.7	47.0	16.6	65.5	頁岩
	2156	L-9	包3a層	RF	(28.7)	(26.4)	(11.4)	11.2	頁岩
	2157	L-9	包2b層	剥片	12.9	15.4	2.8	0.5	頁岩
	2158	K-9	包3a層	剥片	50.3	55.6	7.5	16.9	頁岩
	2159	L-10	包2b層	剥片	(19.5)	18.0	7.5	2.1	頁岩
	2160	K-10	包3b層	剥片	23.8	34.8	5.5	4.1	頁岩
	2161	K-9	包3d層	剥片	(34.6)	(39.2)	(16.1)	15.1	頁岩
	2162	K-8	包3e層	剥片	28.5	30.9	11.9	9.0	頁岩
	2163	K-8	包3e層	剥片	28.0	40.7	6.6	7.2	頁岩
	2164	K-10	包3b層	剥片	31.6	42.4	12.4	11.1	頁岩
	2165	K-9	包3c層	軽石	(62.2)	49.4	13.9	14.0	軽石
	2166	D-23	表土	凹石	(69.4)	44.5	31.2	113.2	砂岩
	2167	K-9	包3d層	UF	42.5	(32.8)	11.6	11.6	頁岩
	2168	K-9	包3d層	剥片	43.7	31.6	18.5	33.5	頁岩
	2169	K-9	包3d層	剥片	33.4	(16.0)	5.6	3.0	頁岩
	2170	K-9	包3d層	剥片	26.7	25.2	3.8	2.5	頁岩
	2171	K-9	包3d層	剥片	44.4	27.7	7.7	10.2	頁岩
	2172	K-9	包3a層	剥片	53.1	31.0	11.5	17.6	頁岩
	2173	K-9	包3d層	剥片	60.3	41.5	8.9	26.8	頁岩
	2174	K-9	包3d層	剥片	(29.0)	32.4	4.7	3.1	頁岩
	2175	K-9	包3d層	剥片	(41.5)	34.2	10.0	12.7	頁岩
	2176	K-9	包3a層	剥片	30.7	(25.6)	4.5	4.7	頁岩
	2177	K-9	包3d層	剥片	47.4	23.9	4.5	4.8	頁岩
	2178	K-9	包3d層	剥片	49.9	52.8	10.4	18.5	頁岩
	2179	L-9	包3a層	RF	71.6	32.9	31.5	62.5	頁岩
	2180	L-9	包3a層	剥片	35.0	22.5	3.5	3.3	頁岩
	2181	L-9	包3a層	剥片	31.2	35.0	4.2	3.0	シルト岩
	2182	K-9	包3d層	剥片	21.0	12.4	2.8	0.7	頁岩
	2183	K-9	包2b層	剥片	50.9	29.5	13.3	23.9	頁岩
	2184	L-9	包3a層	剥片	(51.1)	54.2	17.7	39.3	頁岩
	2185	K-9	包3d層	剥片	(19.1)	34.8	5.6	5.0	綠色泥岩
	2186	L-9	包3a層	剥片	(19.5)	(36.3)	7.5	4.9	頁岩
	2187	K-9	包3d層	RF	28.4	24.6	6.6	6.1	頁岩
	2188	L-9	包1層	剥片	(40.2)	48.8	12.2	19.8	頁岩
	2189	K-11	包3e層	剥片	(30.5)	21.8	5.0	3.3	頁岩
	2190	L-9	包3a層	剥片	38.6	26.7	6.3	6.5	頁岩
	2191	K-9	包3d層	剥片	(22.0)	29.4	6.0	3.1	頁岩
	2192	L-9	包3e層	RF	46.6	(30.3)	10.9	17.8	頁岩
	2193	L-9	包3a層	剥片	21.7	40.0	3.2	3.2	頁岩
	2194	L-12	Ⅲb層	剥片	58.9	48.9	7.4	15.0	頁岩
	2195	K-9	包3c層	剥片	31.6	31.0	4.5	3.9	頁岩

第15表 石器属性表(31)

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2196	D-23	Ⅲa層	RF	(34.2)	34.7	12.5	16.8	頁岩
	2197	L-9	包3a層	剥片	25.8	12.3	2.6	1.1	頁岩
	2198	L-9	包3a層	剥片	65.7	47.0	18.2	39.6	頁岩
	2199	表土	表土	剥片	45.9	45.1	9.0	22.8	頁岩
第180図-4	2200	K-11	包3e層	石錐	48.3	25.4	6.3	4.7	頁岩
	2201	L-9	包3a層	剥片	49.0	59.6	9.2	28.1	頁岩
	2202	L-9	包3a層	剥片	46.8	(31.8)	3.2	4.9	頁岩
	2204	L-9	包3a層	剥片	29.3	23.2	3.1	2.3	頁岩
	2205	K-9	包3a層	剥片	50.9	26.6	8.6	13.2	頁岩
	2206	L-9	包3a層	剥片	47.0	30.2	9.1	14.3	チャート
	2207	K-9	包3a層	剥片	34.8	(32.1)	6.9	8.9	チャート
	2208	L-9	包3a層	剥片	50.5	28.8	10.3	15.3	チャート
	2209	表土	表土	石核	(48.2)	(47.2)	23.1	59.5	チャート
	2210	K-9	包1層	剥片	53.5	26.3	8.0	8.5	頁岩
	2211	K-9	包1層	剥片	37.2	34.3	4.1	5.2	頁岩
	2212	K-9	包2b層	剥片	(16.5)	(22.9)	10.2	5.3	頁岩
	2213	K-10	包3b層	剥片	(32.1)	35.2	9.8	15.9	頁岩
	2214	K-9	包3a層	剥片	(79.0)	32.6	7.8	21.1	頁岩
	2215	K-9	包3c層	軽石	39.5	43.6	19.8	5.4	軽石
	2216	K-9	包1層	剥片	(49.8)	59.0	10.9	22.8	頁岩
	2217	K-9	包1層	剥片	40.5	50.3	13.3	26.9	頁岩
	2218	K-9	包2b層	剥片	27.8	35.0	6.6	5.3	頁岩
	2219	K-9	包1層	RF	44.9	40.0	9.7	18.7	頁岩
	2220	K-9	包1層	剥片	40.6	27.0	3.2	4.0	頁岩
	2221	L-9	包3a層	剥片	(26.5)	(43.1)	7.7	6.6	頁岩
	2223	K-9	包3c層	RF	38.8	(48.4)	9.8	21.8	頁岩
	2224	K-9	包3c層	RF	33.6	33.0	5.2	5.3	頁岩
	2225	K-9	包1層	UF	51.4	26.4	10.6	16.3	頁岩
	2226	K-9	包3c層	剥片	(47.1)	65.2	11.1	25.3	頁岩
	2227	K-9	包3c層	剥片	(30.5)	22.6	7.5	4.9	頁岩
	2228	K-9	包3c層	剥片	22.8	26.6	4.5	2.9	頁岩
	2229	K-9	包1層	RF	48.6	39.7	11.7	28.2	頁岩
	2230	K-10	包3d層	剥片	21.1	25.0	6.8	3.2	チャート
	2231	K-9	包3c層	剥片	44.5	79.3	16.7	58.7	頁岩
	2232	K-9	包1層	UF	44.2	52.2	10.5	26.5	頁岩
	2233	K-9	包3c層	剥片	44.0	45.9	7.7	10.9	頁岩
	2234	K-9	包1層	剥片	(54.7)	19.7	7.4	7.8	頁岩
	2235	L-9	包3a層	剥片	62.4	36.6	10.3	17.8	頁岩
	2236	K-9	包1層	剥片	37.8	21.2	3.2	2.6	頁岩
	2237	K-9	包3c層	剥片	26.5	22.8	6.1	3.5	頁岩
	2238	K-9	包3c層	剥片	35.6	13.5	2.2	1.4	頁岩
	2239	K-9	包3c層	剥片	(22.1)	(31.2)	6.6	4.6	頁岩
	2240	K-9	包3c層	剥片	(21.7)	(44.3)	7.6	7.7	頁岩
	2241	L-10	包2b層	剥片	53.2	39.9	6.9	12.3	頁岩
	2242	K-9	包3c層	剥片	27.0	22.6	2.2	1.7	頁岩
	2243	K-9	包3c層	剥片	23.8	(30.5)	3.2	1.8	頁岩
	2244	K-9	包3c層	剥片	26.5	26.4	4.4	3.2	安山岩
	2245	L-9	包3a層	剥片	33.8	31.0	6.2	5.0	頁岩
	2246	K-9	包3c層	剥片	17.1	27.3	5.6	2.2	頁岩
	2247	L-9	包3a層	剥片	17.0	14.2	4.2	0.8	頁岩
	2248	第35号土坑	1層	剥片	29.4	27.4	6.3	4.6	頁岩
	2249	K-9	包3e層	剥片	29.3	(14.5)	3.5	2.0	頁岩
	2250	K-10	包3b層	RF	27.2	(23.8)	10.4	6.3	頁岩
	2251	L-9	包3a層	剥片	25.1	37.8	5.3	4.9	頁岩
	2252	L-9	包3a層	UF	31.9	27.8	4.8	4.9	砂岩
	2253	K-9	包3e層	軽石	(42.1)	31.4	14.0	5.4	軽石
第205図-3	2254	K-9	包3c層	石核	67.7	72.4	64.9	466.0	頁岩
	2255	K-9	表土	敲石	48.3	34.4	30.0	73.4	安山岩

第15表 石器属性表(32)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2256	K-9	表土	敲石	81.2	73.5	42.1	354.0	安山岩
	2257	K-9	表土	磨石	79.5	75.7	53.7	480.0	ひん岩
第214図-5	2258	K-9	包3c層	敲石	112.5	53.9	37.5	328.0	砂岩
第219図-2	2259	K-9	包3c層	磨石	(45.0)	75.8	59.7	322.0	安山岩
	2260	L-9	包3a層	剥片	(17.4)	39.2	2.2	1.5	頁岩
	2261	K-9	包2b層	RF	(40.2)	33.6	8.9	14.3	頁岩
	2262	K-9	包2b層	剥片	44.1	47.1	23.6	52.0	頁岩
第179図-7	2263	K-9	包2b層	石鏃	37.7	20.0	9.3	5.7	頁岩
第177図-6	2264	K-9	包2b層	石鏃	41.0	21.5	9.9	9.1	頁岩
第175図-11	2265	K-9	包2b層	石鏃	34.2	15.4	4.2	2.3	頁岩
第176図-10	2266	K-9	包2b層	石鏃	32.1	18.1	3.9	2.7	頁岩
第177図-3	2267	K-9	包2b層	石鏃	(24.9)	17.9	4.5	2.2	頁岩
第175図-13	2268	K-9	包2b層	石鏃	35.7	16.3	3.4	1.9	頁岩
	2269	K-9	包2b層	剥片	19.1	29.0	3.2	1.6	頁岩
	2270	K-9	包2b層	剥片	68.4	49.7	10.6	31.3	頁岩
	2271	K-9	包2b層	剥片	38.5	49.3	9.9	12.7	頁岩
	2272	K-9	包2b層	剥片	39.9	23.9	5.0	5.1	頁岩
	2273	K-9	包2b層	剥片	46.6	16.5	4.5	3.6	頁岩
	2274	K-9	包2b層	剥片	(40.9)	(64.9)	8.2	17.8	頁岩
	2275	K-9	包2b層	剥片	(42.4)	15.2	4.9	3.0	頁岩
	2276	K-9	包2b層	剥片	(24.6)	45.6	6.1	6.8	頁岩
	2277	K-9	包2b層	剥片	(25.3)	58.1	3.8	6.3	頁岩
	2278	K-9	包2b層	剥片	(25.7)	31.6	7.0	7.5	頁岩
	2279	K-9	包2b層	剥片	(24.2)	(20.6)	5.2	2.7	頁岩
	2280	K-9	包2b層	剥片	(28.0)	(50.5)	9.0	10.3	頁岩
	2281	K-9	包2b層	剥片	43.1	40.5	7.8	11.9	頁岩
	2282	K-9	包2b層	剥片	50.9	9.4	2.7	3.1	頁岩
	2283	K-9	包2b層	剥片	40.4	21.6	7.6	3.7	頁岩
	2284	K-9	包2b層	剥片	29.7	22.9	3.3	2.5	頁岩
	2285	K-9	包2b層	RF	37.5	35.4	12.0	13.4	頁岩
	2286	K-9	包2b層	剥片	38.9	39.1	9.1	11.0	頁岩
	2287	K-9	包2b層	剥片	(21.5)	29.4	5.0	6.6	頁岩
	2288	K-9	包2b層	剥片	27.6	(32.1)	4.8	5.1	凝灰岩
	2289	K-9	包2b層	剥片	31.7	20.2	2.9	2.5	頁岩
	2290	K-9	包2b層	剥片	61.0	26.2	7.8	11.0	頁岩
	2291	K-9	包2b層	剥片	53.7	29.1	8.2	11.2	頁岩
	2292	K-9	包2b層	剥片	(61.4)	36.6	16.3	37.6	チャート
第182図-4	2295	K-9	包2b層	石匙	32.5	28.1	5.3	4.4	頁岩
第182図-7	2296	K-9	包2b層	石匙	44.5	25.0	6.4	7.2	頁岩
	2297	K-9	包2b層	剥片	63.8	41.7	31.5	84.7	頁岩
第218図-2	2298	K-9	包2b層	磨石	139.7	67.8	42.9	560.0	凝灰岩
	2299	L-8	包3a層	剥片	52.8	30.0	8.5	10.3	頁岩
	2300	D-23	表土	磨石	(44.5)	(41.3)	50.0	123.3	砂岩
	2301	K-11	包3b層	剥片	30.9	31.9	4.5	5.7	頁岩
第199図-6	2302	K-9	包3e層	スクレイパー	(40.0)	26.3	5.8	7.6	頁岩
	2303	K-9	包3e層	RF	49.7	27.7	9.4	13.6	頁岩
	2304	L-8	包3a層	剥片	42.8	45.0	7.0	8.8	頁岩
	2305	L-8	包3a層	剥片	22.6	25.9	8.1	4.3	頁岩
	2306	L-8	包3a層	剥片	106.2	90.7	23.7	149.6	頁岩
第177図-7	2307	L-8	包3a層	石鏃	39.1	28.5	13.5	13.4	チャート
	2308	L-8	包3a層	剥片	(33.4)	55.5	8.3	11.8	頁岩
	2309	L-8	包3a層	RF	57.2	39.0	11.5	23.8	頁岩
	2310	L-8	包3a層	剥片	62.6	38.5	16.0	32.2	頁岩
	2312	E-21	Ⅲa層	石炭	52.4	58.3	49.0	91.3	炭塊
	2313	表土	表土	剥片	65.3	33.2	6.5	13.3	頁岩
	2314	表土	表土	UF	34.6	27.6	6.9	4.7	頁岩
	2315	表土	表土	剥片	32.1	46.6	11.4	12.7	頁岩
第223図-5	2316	L-9	包2b層	不明礫石器	(82.9)	69.4	44.3	253.0	砂岩

第15表 石器属性表(33)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2317	表土	表土	剥片	34.6	25.6	6.6	4.8	頁岩
第204図-5	2318	L-9	包3b層	石核	70.1	78.8	46.8	264.7	チャート
	2319	L-9	包2b層	RF	68.1	80.3	24.5	115.9	頁岩
	2320	L-9	包2b層	剥片	45.5	62.2	10.4	31.3	頁岩
	2321	L-9	包1層	剥片	47.5	50.9	12.8	36.1	頁岩
	2322	L-9	包2a層	剥片	72.3	35.7	17.0	46.5	頁岩
	2323	L-9	包2a層	UF	63.2	42.5	7.8	26.6	頁岩
	2324	L-9	包3e層	剥片	74.3	64.2	23.3	115.2	チャート
	2325	L-9	包2a層	UF	40.7	67.7	15.4	43.6	頁岩
	2326	L-9	包3e層	剥片	104.3	57.8	19.2	95.7	チャート
	2327	L-9	包3e層	剥片	44.9	25.5	5.2	5.6	頁岩
第205図-4	2328	L-9	包3e層	石核	32.5	57.9	33.4	93.2	頁岩
第206図-1	2329	L-9	包3e層	石核	85.4	83.3	43.5	263.5	頁岩
	2330	L-9	包3a層	UF	34.8	30.1	6.2	8.7	頁岩
	2331	L-9	包2a層	剥片	59.7	44.5	10.6	20.7	頁岩
	2332	K-9	包3a層	RF	32.6	23.2	3.2	3.3	頁岩
	2333	K-9	包3a層	剥片	40.4	35.6	6.7	9.7	頁岩
	2334	表土	表土	剥片	34.1	23.1	5.4	4.3	頁岩
第196図-1	2335	K-8	包3a層	スクレイパー	(56.3)	36.0	7.9	16.2	頁岩
	2336	K-9	包3a層	剥片	29.4	(35.8)	4.6	6.1	頁岩
	2337	K-9	包3a層	剥片	34.7	28.9	6.0	5.8	頁岩
	2338	K-9	包3a層	剥片	31.4	24.8	5.2	3.4	頁岩
	2339	K-9	包3a層	剥片	44.6	33.4	10.8	11.6	頁岩
	2340	K-9	包3a層	剥片	53.5	25.0	15.0	11.2	頁岩
	2341	K-9	包3a層	剥片	(25.0)	(37.5)	5.3	4.8	頁岩
	2342	K-9	包3a層	剥片	(41.0)	(29.4)	10.0	13.3	頁岩
	2343	K-9	包3a層	RF	(25.4)	37.8	15.4	17.2	頁岩
	2344	K-9	包3a層	剥片	30.2	50.0	8.8	12.7	頁岩
	2345	B-22	表土	石斧	65.1	41.0	15.0	45.1	砂岩
	2346	L-9	包3a層	剥片	(46.9)	47.8	9.8	26.7	頁岩
	2347	L-10	包3b層	剥片	49.6	50.8	10.5	24.9	頁岩
	2348	K-9	包3a層	剥片	36.0	(18.3)	8.6	6.2	頁岩
	2349	L-5	Ⅲb層	剥片	20.7	35.6	6.0	4.8	頁岩
	2350	L-11	包3b層	RF	42.7	52.3	10.4	18.2	頁岩
		2351	K-9	包3a層	UF	62.0	30.0	8.3	14.8
	2352	L-9	包2b層	剥片	(36.5)	62.8	8.9	19.2	頁岩
	2353	第29号土坑	1層	剥片	(29.8)	(12.0)	5.5	1.6	頁岩
	2354	L-2	北包1層	剥片	(37.7)	(58.1)	17.0	36.7	頁岩
	2355	K-9	包3c層	剥片	67.4	33.8	13.0	23.9	頁岩
	2356	K-9	包3a層	剥片	(32.0)	17.7	6.5	4.2	頁岩
第196図-2	2357	K-9	包3a層	スクレイパー	54.8	30.2	9.0	19.1	頁岩
	2358	表土	表土	UF	22.8	30.6	4.5	2.9	頁岩
第204図-2	2359	K-9	包3a層	石核	67.0	50.4	41.0	112.5	チャート
	2360	E-23	表土	不明礫石器	86.3	67.5	18.8	142.7	砂岩
	2361	L-9	包3a層	軽石	55.2	44.5	24.4	12.8	軽石
	2362	K-9	包2b層	RF	(31.4)	(30.7)	8.4	11.0	頁岩
第179図-10	2363	K-10	包3b層	石鏃	(36.7)	20.3	3.9	2.8	頁岩
第178図-9	2364	L-9	包2a層	石鏃	(22.1)	19.1	5.3	3.0	頁岩
	2365	L-9	包2a層	剥片	(39.2)	46.3	11.6	21.6	頁岩
	2366	L-9	包1層	剥片	(45.2)	(52.6)	6.5	15.8	頁岩
	2367	L-2	北包2層	剥片	15.8	29.7	7.0	2.9	頁岩
第198図-6	2368	K-10	包3d層	スクレイパー	65.7	29.1	8.6	15.1	頁岩
	2369	L-10	包2b層	剥片	27.4	44.0	13.1	16.6	チャート
	2370	K-9	包3c層	剥片	(42.0)	37.6	10.6	14.5	頁岩
	2371	L-10	包2b層	剥片	(62.2)	35.9	8.1	19.5	チャート
	2372	L-9	包2a層	剥片	22.2	19.6	3.0	1.7	頁岩
	2373	E-23	Ⅱ層	剥片	42.2	(22.9)	6.8	4.3	頁岩
	2374	K-9	包1層	剥片	14.1	17.4	4.3	0.9	頁岩

第15表 石器属性表(34)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2375	L-9	包1層	UF	41.0	31.1	8.2	12.3	頁岩
	2376	表土	表土	剥片	50.5	42.1	4.7	8.5	チャート
	2377	表土	表土	石核	43.3	63.5	49.7	139.7	頁岩
第217図-3	2378	L-9	包2a層	磨石	93.1	64.7	21.8	190.1	閃緑岩
	2379	K-9	包1層	剥片	22.3	(22.1)	6.6	3.2	頁岩
	2380	L-10	包2b層	UF	(25.2)	48.3	8.2	10.7	頁岩
	2381	K-10	包3d層	UF	(24.0)	48.9	12.2	17.9	頁岩
	2382	L-10	包2b層	剥片	25.7	39.9	7.3	4.9	頁岩
	2383	表土	表土	UF	(35.1)	(39.8)	11.6	18.9	頁岩
	2384	表土	表土	RF	38.1	28.0	6.9	6.4	頁岩
	2385	表土	表土	剥片	23.7	31.7	4.5	3.2	頁岩
	2386	表土	表土	剥片	51.4	19.8	9.4	8.6	頁岩
	2387	表土	表土	剥片	28.0	30.9	5.9	6.1	頁岩
	2388	表土	表土	剥片	61.0	34.9	10.0	26.2	チャート
	2389	K-9	包2a層	剥片	33.9	41.8	7.2	9.5	チャート
	2390	K-9	包2a層	剥片	42.5	29.3	8.9	9.9	チャート
	2391	L-9	包3e層	剥片	47.5	48.4	13.1	31.5	チャート
	2392	表土	表土	剥片	(15.0)	33.1	2.8	1.2	頁岩
	2393	表土	表土	剥片	24.2	24.8	15.5	6.5	頁岩
	2394	K-9	包3e層	剥片	(42.3)	16.8	4.9	2.8	頁岩
	2395	K-8	包3e層	剥片	37.4	54.7	8.8	15.8	チャート
	2396	K-9	包3e層	剥片	35.0	20.9	10.5	7.7	チャート
	2397	K-8	包3e層	UF	15.6	28.4	8.8	3.7	頁岩
	2398	K-10	包3b層	UF	66.1	34.5	11.9	20.7	頁岩
	2399	K-10	包3b層	RF	30.1	31.7	7.6	7.8	頁岩
	2400	K-8	包3e層	剥片	(18.1)	24.9	2.9	1.8	頁岩
	2401	K-8	包3e層	剥片	(29.1)	37.4	5.3	6.3	頁岩
	2402	K-9	包2b層	剥片	(27.5)	31.4	9.5	10.1	頁岩
	2403	K-8	包3e層	剥片	37.7	32.3	8.9	11.0	頁岩
	2404	K-8	包3e層	剥片	(25.3)	18.3	8.7	3.2	チャート
	2405	K-9	包2b層	剥片	(28.4)	33.1	9.4	12.2	頁岩
	2406	K-8	包3e層	剥片	21.2	25.3	4.8	2.1	頁岩
	2407	K-9	包1層	剥片	23.6	24.9	3.1	2.3	頁岩
	2408	L-9	包1層	剥片	47.9	44.9	9.6	16.9	頁岩
	2409	L-10	包2b層	剥片	20.3	21.7	3.8	1.5	頁岩
	2410	L-10	包2b層	剥片	23.9	32.3	3.9	3.7	頁岩
	2411	D-22	表土	敲石	66.8	38.0	23.7	94.3	砂岩
	2412	K-9	包2a層	剥片	47.7	32.1	7.2	9.8	頁岩
	2413	K-9	包2a層	剥片	45.3	32.4	5.5	8.8	頁岩
	2414	K-9	包2b層	剥片	49.0	38.7	10.6	18.2	頁岩
	2415	K-9	包3a層	剥片	34.8	26.8	2.6	2.7	頁岩
	2416	K-9	包3a層	剥片	47.8	81.5	13.5	55.2	安山岩
	2417	K-9	包3a層	剥片	40.5	58.2	9.6	25.2	頁岩
	2418	K-9	包3a層	剥片	31.4	37.4	10.8	8.8	チャート
	2419	K-9	包3a層	剥片	36.1	47.5	5.2	10.2	頁岩
	2420	K-9	包3a層	剥片	43.8	30.4	10.0	13.5	頁岩
	2421	K-9	包3a層	剥片	33.4	57.2	4.7	9.7	頁岩
	2422	K-9	包3a層	剥片	27.5	41.5	6.6	8.4	頁岩
	2423	K-9	包3a層	剥片	35.9	35.0	10.5	10.9	頁岩
	2424	K-9	包3a層	剥片	(46.9)	(29.2)	8.9	12.7	チャート
	2425	E-25	Ⅲa層	RF	28.7	56.3	11.5	29.9	チャート
	2426	K-9	包2b層	剥片	29.2	35.5	7.5	7.4	頁岩
	2427	表土	表土	剥片	39.2	44.5	11.3	24.1	頁岩
	2428	表土	表土	剥片	28.4	9.7	3.5	0.8	頁岩
	2429	表土	表土	剥片	37.2	(14.5)	4.0	2.6	頁岩
	2430	表土	表土	剥片	17.8	34.5	5.8	3.2	頁岩
	2431	L-9	包3a層	剥片	57.3	(53.5)	10.9	30.2	頁岩
	2432	K-9	包2a層	剥片	38.1	25.6	3.2	3.1	頁岩

第15表 石器属性表(35)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
第193図-1	2433	K-9	包2a層	剥片	(24.4)	21.8	4.0	2.1	頁岩
	2435	L-9	包2a層	スクレイパー	43.8	64.5	15.3	46.4	頁岩
	2436	K-8	包3a層	剥片	51.7	104.2	11.7	60.7	チャート
	2437	表土	表土	UF	55.7	52.9	11.4	38.2	安山岩
第212図-3	2438	K-9	包2b層	剥片	54.6	49.7	11.6	38.4	安山岩
	2439	K-9	包2a層	敲石	(40.4)	38.6	19.0	39.8	安山岩
第217図-1	2440	L-9	包1層	磨石	(83.2)	74.3	35.6	264.1	砂岩
第217図-2	2441	L-9	包1層	磨石	110.0	57.0	26.9	259.2	砂岩
第212図-2	2442	K-9	包2a層	敲石	98.2	66.6	27.9	266.1	安山岩
	2443	E-21	表土	敲石	(71.4)	102.2	43.1	436.0	安山岩
第222図-4	2444	K-8	包3a層	凹石	48.8	38.0	15.7	45.1	安山岩
	2445	K-9	包1層	剥片	37.4	35.3	7.0	11.9	頁岩
	2446	K-11	包3e層	剥片	37.8	33.6	12.2	13.6	頁岩
	2447	表土	表土	剥片	44.9	13.0	6.9	4.2	頁岩
2448	表土	表土	剥片	30.3	24.5	2.6	2.0	頁岩	
2449	L-9	包1層	RF	31.1	39.3	12.5	14.8	頁岩	
2450	表土	表土	剥片	(35.4)	44.4	7.6	10.0	頁岩	
2451	K-8	包3e層	RF	40.2	(24.6)	13.9	11.8	チャート	
2452	K-9	包3a層	剥片	(41.7)	59.7	7.9	14.8	頁岩	
2453	K-9	包1層	UF	23.9	46.8	5.8	4.9	頁岩	
2454	表土	表土	剥片	(39.5)	45.9	11.1	19.2	頁岩	
2455	表土	表土	剥片	(39.1)	27.8	13.0	21.9	頁岩	
2456	表土	表土	剥片	42.2	29.4	8.0	6.4	頁岩	
2457	C-23	Ⅲa層	剥片	37.7	47.3	9.2	16.0	頁岩	
2458	K-8	包3e層	UF	(38.6)	21.2	7.3	6.8	頁岩	
2459	表土	表土	UF	49.3	30.4	7.6	10.5	頁岩	
2460	C-23	Ⅲa層	剥片	37.4	18.2	4.2	2.4	頁岩	
2461	K-9	包1層	剥片	45.4	29.1	9.8	10.4	頁岩	
2462	C-23	Ⅲa層	RF	52.1	36.0	9.6	13.4	頁岩	
2463	K-8	包3a層	剥片	40.2	26.8	3.6	5.5	頁岩	
2464	K-9	包3c層	剥片	29.2	34.5	5.9	4.6	頁岩	
第178図-10	2465	K-8	包3e層	石鏃	22.8	16.9	4.2	1.5	頁岩
第173図-2	2466	表土	表土	ポイント	57.3	22.0	8.4	7.9	頁岩
	2467	第9号竪穴住居跡	5層	剥片	37.9	26.8	4.8	5.6	頁岩
2468	K-9	包2a層	剥片	33.3	30.2	5.7	5.0	頁岩	
2469	K-9	包2b層	剥片	68.6	24.4	9.3	13.9	頁岩	
2470	表土	表土	剥片	(35.6)	(34.4)	10.5	9.5	頁岩	
2471	表土	表土	UF	36.0	61.8	14.7	28.9	頁岩	
2472	K-9	包3c層	剥片	(18.9)	36.6	8.8	6.3	頁岩	
2473	K-9	包2a層	剥片	(35.1)	(34.4)	7.6	9.8	頁岩	
2474	K-9	包2a層	剥片	41.0	69.1	9.8	22.2	頁岩	
2475	C-23	Ⅲa層	剥片	(32.6)	60.9	9.0	18.4	安山岩	
2476	表土	表土	磨石	(68.0)	(38.4)	(35.6)	110.5	安山岩	
2477	表土	表土	敲石	85.8	51.2	24.0	166.2	安山岩	
2478	表土	表土	剥片	42.6	50.0	7.4	20.4	砂岩	
第180図-8	2479	K-8	包3a層	石匙	(89.4)	36.5	10.7	33.1	頁岩
	2480	K-8	包3e層	剥片	64.3	62.0	14.6	45.1	頁岩
2481	K-9	包2a層	剥片	26.9	44.4	16.0	19.4	頁岩	
2482	K-10	包3b層	剥片	(34.5)	61.1	9.6	31.1	頁岩	
2483	L-9	包2a層	剥片	34.2	30.7	4.7	4.8	頁岩	
2484	L-9	包2a層	剥片	46.5	18.8	3.1	2.6	頁岩	
第194図-3	2485	L-9	包2a層	スクレイパー	63.3	42.7	6.8	24.5	頁岩
	2486	表土	表土	剥片	36.2	49.3	16.1	17.7	頁岩
2487	K-8	包3e層	RF	56.3	17.0	4.0	4.3	頁岩	
2488	表土	表土	剥片	41.9	23.4	4.1	4.1	頁岩	
2489	表土	表土	剥片	37.3	20.5	5.3	4.7	頁岩	
2490	L-10	包2b層	RF	31.8	28.7	4.3	3.6	頁岩	
2491	表土	表土	剥片	41.7	24.5	8.4	7.8	頁岩	

第15表 石器属性表(36)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2492	L-9	包2a層	UF	67.9	46.8	11.0	30.6	頁岩
第195図-5	2493	L-9	包2a層	スクレイパー	37.3	28.2	8.5	9.5	頁岩
	2494	L-9	包2a層	剥片	28.9	62.7	9.1	17.5	頁岩
	2495	K-12	包3e層	剥片	28.1	19.9	4.6	3.3	頁岩
	2496	L-9	包2a層	剥片	33.7	31.2	6.1	5.0	頁岩
	2497	L-9	包2a層	剥片	70.0	53.4	18.5	59.7	頁岩
	2498	L-9	包2a層	剥片	22.5	34.3	13.7	6.8	頁岩
	2499	L-9	包2a層	RF	(21.3)	(37.6)	10.6	9.5	頁岩
	2500	K-8	包3e層	剥片	31.8	42.4	6.0	9.6	頁岩
第189図-4	2501	K-9	包2b層	石匙	58.6	65.5	9.6	31.4	頁岩
	2502	表土	表土	UF	36.9	29.9	6.7	8.4	頁岩
	2503	K-9	包2b層	剥片	36.3	(32.2)	11.3	16.6	頁岩
	2504	L-9	包2a層	UF	(20.2)	28.6	6.5	4.6	頁岩
	2505	表土	表土	剥片	19.1	25.5	2.6	1.4	頁岩
	2506	L-9	包1層	剥片	(26.0)	(27.0)	8.7	8.4	頁岩
	2507	表土	表土	剥片	(21.0)	(46.5)	21.0	25.0	頁岩
	2508	L-9	包2a層	剥片	9.5	11.3	1.6	0.2	頁岩
	2509	L-9	包2a層	剥片	30.6	10.2	6.3	1.5	頁岩
第184図-7	2510	L-9	包2a層	石匙	57.0	39.0	7.6	18.9	頁岩
	2511	L-9	包2a層	UF	65.1	50.6	16.0	58.3	頁岩
	2512	J-11	包3e層	剥片	45.0	28.0	11.8	12.6	頁岩
第193図-6	2513	L-9	包2a層	スクレイパー	(38.2)	23.2	8.5	9.5	チャート
	2514	表土	表土	剥片	56.4	46.0	10.5	19.6	頁岩
	2515	L-9	包2a層	UF	(58.9)	35.3	13.4	28.4	チャート
	2516	表土	表土	UF	52.2	(38.4)	7.8	16.8	頁岩
	2517	K-9	包2b層	剥片	22.6	34.7	3.3	2.6	頁岩
第180図-6	2518	L-9	包2a層	石錐	68.9	(25.5)	9.5	13.5	頁岩
	2519	K-11	包3e層	剥片	15.0	36.0	4.8	2.3	頁岩
	2520	K-10	包3b層	剥片	24.8	36.9	8.8	7.6	頁岩
	2521	L-9	包2a層	剥片	68.2	24.3	9.6	13.4	チャート
	2522	L-9	包2a層	剥片	21.0	28.6	3.1	1.2	頁岩
	2523	C-25	II層	剥片	(14.0)	47.5	9.8	3.9	頁岩
第200図-1	2524	K-11	包3e層	スクレイパー	(27.4)	51.4	7.5	13.8	頁岩
	2525	L-9	包2a層	剥片	(26.0)	(41.0)	2.8	3.5	頁岩
第172図-19	2526	E-21	III a層	石鏃	32.2	21.1	7.6	5.1	凝灰岩
	2527	L-9	包2a層	UF	(45.3)	68.2	12.2	34.8	頁岩
	2528	L-9	包2a層	剥片	(72.1)	(41.3)	9.6	27.4	頁岩
	2529	表土	表土	剥片	(21.4)	(12.3)	8.1	2.6	頁岩
	2530	K-9	包2a層	剥片	38.3	35.3	5.4	6.4	頁岩
	2531	L-9	包2a層	剥片	20.5	29.8	3.0	2.4	頁岩
第176図-24	2532	L-9	包2a層	石鏃	(19.5)	19.2	5.0	2.2	頁岩
	2533	L-9	包2a層	UF	39.6	33.2	7.5	8.8	頁岩
	2534	L-8	包2a層	剥片	31.2	(28.0)	3.6	4.5	頁岩
	2535	K-11	包3e層	剥片	31.4	28.1	7.1	6.0	チャート
	2536	表土	表土	剥片	28.0	35.6	4.3	4.4	頁岩
	2537	表土	表土	UF	38.5	(30.6)	5.8	7.3	頁岩
	2538	K-10	包3b層	剥片	(29.3)	(40.3)	11.8	17.1	頁岩
	2539	L-8	包2a層	剥片	37.1	47.2	11.1	16.8	頁岩
	2540	L-8	包2a層	剥片	29.7	(25.0)	4.4	3.6	頁岩
	2541	L-8	包2a層	RF	(43.8)	16.9	4.6	3.7	頁岩
	2542	L-8	包2a層	剥片	23.8	32.0	3.0	2.4	頁岩
	2543	L-8	包2a層	剥片	(25.0)	37.6	8.3	7.5	頁岩
	2544	L-8	包2a層	剥片	22.2	23.9	4.7	2.7	頁岩
	2545	L-8	包2a層	剥片	(32.1)	(22.4)	3.6	4.5	頁岩
	2546	L-8	包2a層	剥片	(28.5)	(28.4)	3.5	3.7	頁岩
	2547	L-8	包2a層	剥片	(33.5)	(26.6)	6.4	7.7	頁岩
	2548	L-8	包2a層	UF	(22.2)	29.2	4.2	3.3	頁岩
	2549	L-8	包2a層	剥片	41.0	37.3	7.4	9.8	頁岩

第15表 石器属性表(37)

図版No.	No.	出土地点・遺構	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材
	2550	L-8	包2a層	剥片	(29.5)	26.3	3.8	5.2	緑色泥岩
	2551	L-8	包2a層	剥片	25.8	42.5	4.1	3.8	頁岩
	2552	L-8	包2a層	剥片	(19.3)	50.6	4.9	6.4	頁岩
	2553	L-8	包2a層	剥片	(14.0)	(24.4)	1.1	0.6	頁岩
	2554	L-8	包2a層	剥片	(25.5)	30.2	4.2	4.0	頁岩
	2555	K-12	包3e層	剥片	29.4	(15.4)	5.0	3.0	チャート
	2556	L-8	包2a層	剥片	22.9	24.9	4.5	3.2	チャート
第208図-5	2557	L-8	包2a層	石斧	55.2	24.0	9.4	20.5	安山岩
	2558	E-22	表土	石斧	(51.8)	45.2	20.0	78.5	斑礫岩
第183図-5	2559	L-9	包1層	石匙	(45.3)	27.1	5.2	8.0	頁岩
第211図-2	2560	第10号竪穴住居跡	1層	敲石	108.2	49.3	21.5	190.1	安山岩
	2561	L-9	包2a層	軽石	42.3	38.6	21.3	6.3	軽石
	2562	L-9	包3a層	軽石	46.1	43.5	12.6	5.4	軽石
	2563	K-10	包3b層	軽石	46.9	31.3	22.3	6.4	軽石
	2564	K-9	包3a層	剥片	37.5	53.9	10.1	15.2	頁岩
	2565	K-9	包3a層	剥片	(31.2)	32.3	7.1	7.4	頁岩
	2566	第76号土坑	1層	UF	37.3	30.5	6.5	10.3	頁岩
	2567	K-9	包3a層	UF	41.2	23.4	8.3	8.0	頁岩
	2568	K-9	包3a層	剥片	28.9	32.5	5.0	5.2	頁岩
	2569	K-9	包3a層	剥片	(43.2)	(30.3)	4.9	8.8	頁岩
	2570	K-9	包3a層	剥片	(30.4)	(21.6)	8.4	4.6	頁岩
	2571	K-9	包3a層	剥片	(40.2)	(16.9)	6.5	2.8	頁岩
	2572	K-9	包3a層	剥片	(30.6)	23.6	6.4	5.2	チャート
	2573	第81号土坑	1層	剥片	37.5	14.8	10.7	5.4	頁岩
	2574	表土	表土	剥片	16.0	24.3	6.1	2.0	頁岩
	2575	K-9	包3e層	UF	(26.0)	(17.8)	11.1	4.6	頁岩
	2576	K-9	包3a層	剥片	39.3	31.2	5.8	8.0	頁岩
	2577	K-10	Ⅲb層	軽石	58.4	24.5	15.9	5.6	軽石
	2578	L-9	包2a層	剥片	40.6	39.8	6.7	14.3	頁岩
	2579	L-9	包2a層	剥片	48.4	49.8	11.2	27.7	頁岩
第193図-4	2580	L-9	包2a層	スクレイパー	48.5	32.6	6.8	11.2	頁岩
	2581	L-9	包2a層	剥片	51.3	43.4	8.6	22.2	頁岩
	2582	L-9	包2a層	剥片	43.0	71.0	16.0	40.0	頁岩
	2583	L-9	包2a層	剥片	74.5	46.0	10.7	41.8	頁岩
	2584	K-9	包2b層	剥片	32.3	26.3	9.8	8.9	頁岩
	2585	K-9	包2b層	RF	(63.7)	27.5	12.3	22.0	頁岩
第191図-4	2586	K-9	包2a層	石匙	24.5	36.2	4.0	2.5	頁岩
	2587	K-9	包2a層	剥片	65.8	27.7	11.2	20.9	頁岩
	2588	K-9	包2a層	剥片	(29.1)	33.0	6.3	5.5	頁岩
	2589	K-9	包2a層	剥片	61.6	30.8	8.9	26.3	頁岩
	2590	K-9	包2a層	剥片	26.4	30.2	4.8	3.9	頁岩
	2591	K-9	包2a層	剥片	61.4	29.0	25.5	20.5	頁岩
	2592	K-9	包2a層	剥片	52.0	18.9	6.7	7.3	頁岩
	2593	K-9	包2a層	剥片	44.2	30.3	20.8	32.5	頁岩
	2594	K-9	包2a層	剥片	57.4	49.9	8.9	32.2	頁岩
	2595	K-9	包2a層	剥片	29.9	46.6	11.5	20.1	頁岩
	2596	K-9	包2a層	剥片	(22.9)	48.9	13.4	15.3	頁岩
	2597	K-9	包2a層	剥片	34.4	43.0	8.0	10.0	頁岩
	2598	K-9	包2a層	剥片	32.2	25.3	6.3	5.4	頁岩
	2599	K-9	包2a層	剥片	40.5	30.5	10.0	12.2	頁岩
	2600	K-9	包2a層	剥片	29.2	25.0	4.4	3.9	頁岩
	2601	表土	表土	磨石	61.6	61.5	37.3	234	礫岩

第16表 出土コハク片一覧表

出土地点・遺構	層位	重量 (g)
第3号竪穴住居跡	2層	1.93
K-10区	南捨て場2b層	3.51
J-11区	南捨て場3e層	0.02
K-12区	南捨て場1層	2.82
K-12区	南捨て場3d層	0.31
K-12区	南捨て場3e層	0.08

第17表 石製品属性表

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	個数	長さ	幅	厚さ	重量(g)	備考
第224図-6	1437	K-8	包3e層	玦状耳飾	1	33.3	(15.2)	4.2	5	滑石
第224図-2	1438	K-8	包3e層	玦状耳飾	1	37.2	26.1	5.1	7	緑色泥岩
第224図-8	1440	K-10	包3e層	玦状耳飾	1	28.4	(13.2)	5.2	3	滑石
第224図-9	1441	K-9	包3e層	玦状耳飾	1	25.1	(13.7)	2.9	1	粘板岩
第224図-7	1704	K-9	包3e層	玦状耳飾	1	33.3	(17.6)	5.3	5.2	頁岩
第224図-3	2222	K-9	包3c層	玦状耳飾	1	36.5	(11.4)	3.3	2.5	頁岩
第224図-5	2293	K-10	包2b層	玦状耳飾	1	34.1	(11.6)	2.7	1.5	粘板岩
第224図-4	2294	K-10	包2b層	玦状耳飾	1	32.4	(15.3)	2.3	1.7	粘板岩
第224図-1	2311	表土	表土	玦状耳飾	1	38.7	27.5	4.3	7.2	頁岩
第224図-12	420	表土	表土	有孔石製品	1	24.5	21.7	5.8	4	粘板岩
第224図-10	491	K-5	Ⅲb層	環状石製品	1	19.8	(13)	4.2	1	滑石
第224図-15	1439	K-10	包3b層	有孔石製品	1	52.8	31.2	9	9	軽石
第224図-11	1442	K-8	包3d層	有孔石製品	1	27.1	(14.7)	3.8	1	粘板岩
第224図-16	2203	K-8	包3e層	不明	1	49.1	11.7	6	4.4	頁岩
第224図-14	2004	K-12	包3e層	不明	1	43.3	19	2.8	3.9	粘板岩
第224図-18	1332	J-10	包3e層	棒状石製品	1	(112.4)	52.5	52.6	446	砂岩
第224図-13	2601	K-9	包2a層	有孔石製品	1	81	22.2	8.8	15.7	粘板岩
第224図-17	2602	L-10	包2b層	線刻礫	1	70.3	62.7	20.4	74.7	凝灰岩

第18表 土製品属性表

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	個数	長さ	幅	厚さ	重量(g)	備考
第225図-1	1	E-25	II層	土偶(口縁部)	1	(59.6)	(23.6)	20.2	28.5	
第225図-2	2	表土	表土		1	49	(27.8)	(17.3)	20.9	
第225図-3	3	C-21	II層		1	60.6	(38.8)	6.1	13.1	
第225図-4	4	L-11	包2a層		1	47.4	44.9	13.3	34.7	
第225図-5	5	K-8	包3e層		1	38.2	(23.3)	8.6	7.4	

第19表 鉄製品属性表

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	個数	長さ	幅	厚さ	重量(g)	備考
	1	表土	表土	板状	1	31.7	29.9	9.8	27.2	铸造品
第226図-3	2	第7号竖穴住居跡	1層	鈎針?	1	37.3	10.3	9.2	3.1	
	3	表土	表土	円形破片	1	53.3	(43.9)	7.4	67	铸造品
	4	表土	表土	破片	1	30.5	16.7	5.4	4.3	
第226図-1	5	F-20	II層	角釘	1	162	24.7	21.8	115.6	
	6	表土	表土	煙管雁首	1	36.8	16	15	3.2	
第226図-2	7	D-25	II層	不明鉄製品	1	89.9	24	5.5	28.4	
	8	第9号竖穴住居跡	5層	不明鉄製品	13				89.7	
第226図-4	9	表土	表土	角釘	1	(30.9)	13.4	9.3	6.9	
	10	表土	表土	小破片	96				17	
	11	第6号竖穴住居跡	床面	鉄滓	1	54.3	56.9	33.9	128.9	
	12	表土	表土	鉄滓	1	30.4	42.4	18.8	37.3	
	13	第1号集石遺構	底面	鉄滓	22				270	
	14	C-24	II層	鉄滓	1	64.7	50.3	27.3	129.3	
	15	C-24	II層	鉄滓	1	75.2	70.3	25	126.3	
	16	B-22	II層	鉄滓	1	54.4	34.2	31.5	92.7	
	17	第6号竖穴住居跡	床面	鉄滓	1	46.4	29.4	26.4	44.9	
	18	第6号竖穴住居跡	床面	鉄滓	1	51.5	29.5	19.8	25.6	
	19	第6号竖穴住居跡	床面	鉄滓	1	24.6	24.6	15.1	11.8	
	20	表土	表土	鉄滓	1	30.8	29.4	18.1	16.7	
	21	第1号集石遺構	II層	鉄滓	6				54.9	

第20表 古銭属性表

図版No	No	出土地点・遺構	層位	器種	個数	長さ	厚さ	重量(g)	備考
第226図-5	22	表土	表土	寛永通宝	1	24.5	0.8	2.75	1636年 古寛永
第226図-6	23	第29号土坑	2層	寛永通宝	1	24.5	1.2	2.89	1636年 古寛永

第21表 住居出土土器集計表

遺構名	層位	図示土器資料 総量(g)	非図示土器資料 総量(g)	出土土器 総量(g)	全資料中に占める図示 土器資料の比率(%)
第1号 竪穴住居跡	1層	111	101	212	52.4
	2層	142	163	305	46.6
	床面	0	23	23	0.0
	計	253	287	540	46.9
第2号 竪穴住居跡	1層	56	41	97	57.7
	貼床	0	70	70	0.0
	計	56	111	167	33.5
第3号 竪穴住居跡	1層	0	123	123	0.0
	2層	0	27	27	0.0
	床面	115	38	153	75.2
	カマド	38	35	73	52.1
計	153	223	376	40.7	
第4号 竪穴住居跡	1層	0	25	25	0.0
	2層	0	117	117	0.0
	床面	39	66	105	37.1
	攪乱	208	269	477	43.6
	貼床	47	47	94	50.0
	計	294	524	818	35.9
第5号 竪穴住居跡	1層	33	121	154	21.4
第6号 竪穴住居跡	1層	696	1,582	2,278	30.6
	2層	503	1,110	1,613	31.2
	3層	0	138	138	0.0
	床面	261	470	731	35.7
	カマド	43	51	94	45.7
	煙道	30	399	429	7.0
	貼床	143	381	524	27.3
	計	1,676	4,131	5,807	28.9
第7号 竪穴住居跡	1層	585	151	736	79.5
	2層	104	350	454	22.9
	床面	76	113	189	40.2
	貼床	31	46	77	40.3
	計	796	660	1,456	54.7
第8号 竪穴住居跡	1層	34	153	187	18.2
	2層	137	155	292	46.9
	床面	0	11	11	0.0
	貼床	0	175	175	0.0
	計	171	494	665	25.7
第9号 竪穴住居跡	1層	1,375	11,820	13,195	10.4
	2層	483	8,790	9,273	5.2
	3層	1,160	6,648	7,808	14.9
	4層	487	6,509	6,996	7.0
	5層	1,487	7,653	9,140	16.3
	床面	93	1,532	1,625	5.7
	カマド	56	569	625	9.0
	煙道	166	206	372	44.6
	貼床	550	2,524	3,074	17.9
	計	5,857	46,251	52,108	11.2
第10号 竪穴住居跡	1層	30	313	343	8.7
	2層	363	446	809	44.9
	床面	68	44	112	60.7
	計	461	803	1,264	36.5
第11号 竪穴住居跡	1層	59	61	120	49.2
	2層	37	28	65	56.9
	床面	225	280	505	44.6
	計	321	369	690	46.5
第12号 竪穴住居跡	1層	0	24	24	0.0
	炉	374	22	396	94.4
	床面	0	12	12	0.0
	P1	122	0	122	100.0
	P2	0	32	32	0.0
	計	496	90	586	84.6
第13号 竪穴住居跡	1層	2,648	11,870	14,518	18.2
	炉	31	93	124	25.0
	計	2,679	10,963	13,642	19.6
第14号 竪穴住居跡	炉	55	73	128	43.0
	総計	13,301	65,100	78,401	17.0

第22表 土坑出土土器集計表

遺構名	層位	図示土器資料 総量(g)	非図示土器資料 総量(g)	出土土器 総量(g)	全資料中に占める図示 土器資料の比率(%)
第4号土坑	2層	0	7	7	0.0
第7号土坑	1層	48	3	51	94.1
	2層	34	27	61	55.7
	計	82	30	112	73.2
第8号土坑	1層	0	59	59	0.0
第9号土坑	1層	45	44	89	50.6
	2層	0	49	49	0.0
	底面	70	0	70	100.0
	計	115	93	208	55.3
第10号土坑	1層	0	38	38	0.0
第12号土坑	1層	0	52	52	0.0
第13号土坑	2層	0	42	42	0.0
第16号土坑	1層	49	0	49	100.0
第19号土坑	1層	0	47	47	0.0
第25号土坑	2層	413	199	612	67.5
	3層	177	419	596	29.7
	計	590	618	1,208	48.8
第27号土坑	1層	120	0	120	100.0
第28号土坑	1層	0	23	23	0.0
第29号土坑	1層	103	359	462	22.3
第30号土坑	1層	42	213	255	16.5
第31号土坑	1層	0	25	25	0.0
第32号土坑	1層	0	54	54	0.0
第33号土坑	1層	0	34	34	0.0
第34号土坑	1層	0	52	52	0.0
第35号土坑	1層	889	705	1,594	55.8
第37号土坑	1層	45	52	97	46.4
第38号土坑	1層	46	0	46	100.0
第40号土坑	1層	144	569	713	20.2
	2層	235	395	630	37.3
	計	379	964	1,343	28.2
第41号土坑	1層	0	34	34	0.0
第42号土坑	1層	0	26	26	0.0
第44号土坑	1層	54	158	212	25.5
第45号土坑	1層	0	32	32	0.0
第46号土坑	1層	747	343	1,090	68.5
第49号土坑	1層	0	224	224	0.0
	2層	225	203	428	52.6
	計	225	427	652	34.5
第50号土坑	1層	178	70	248	71.8
第51号土坑	1層	35	140	175	20.0
第52号土坑	1層	31	36	67	46.3
第53号土坑	1層	0	11	11	0.0
第59号土坑	1層	43	43	86	50.0
第63号土坑	1層	0	74	74	0.0
第64号土坑	1層	164	117	281	58.4
第65号土坑	1層	806	670	1,476	54.6
第66号土坑	1層	41	73	114	36.0
第67号土坑	1層	0	24	24	0.0
第68号土坑	1層	0	10	10	0.0
第71号土坑	1層	0	108	108	0.0
第72号土坑	1層	200	191	391	51.2
第73号土坑	1層	0	210	210	0.0
第74号土坑	1層	175	204	379	46.2
第75号土坑	1層	155	135	290	53.4
第76号土坑	2層	49	69	118	41.5
第77号土坑	1層	0	4	4	0.0
第78号土坑	1層	0	17	17	0.0
第79号土坑	1層	0	79	79	0.0
第80号土坑	1層	0	17	17	0.0
第81号土坑	1層	40	27	67	59.7
第83号土坑	1層	0	70	70	0.0
第84号土坑	1層	0	22	22	0.0
第86号土坑	1層	0	26	26	0.0
	計	5,650	6,913	12,563	45.0

第23表 焼土・炭化物集中区出土土器集計表

遺構名	層位	図示土器資料 総量(g)	非図示土器資料 総量(g)	出土土器 総量(g)	全資料中に占める図示 土器資料の比率(%)
第1号焼土・炭化物集中区	焼土	0	0	0	0.0
第2号焼土・炭化物集中区	焼土	0	7	7	0.0
第3号焼土・炭化物集中区	焼土	73	135	208	35.1
第4号焼土・炭化物集中区	焼土	0	64	64	0.0
第5号焼土・炭化物集中区	焼土	2,326	3,036	5,362	43.3
	計	2,399	3,408	5,641	42.5

第24表 集石遺構出土土器集計表

遺構名	層位	図示土器資料 総量(g)	非図示土器資料 総量(g)	出土土器 総量(g)	全資料中に占める図示 土器資料の比率(%)
第1号集石遺構	底面	73	1,742	1,815	4.0
第2号集石遺構	底面	171	364	535	32.0
第1号埋設土器	底面	700	0	700	100.0
	計	944	2,106	3,050	31.0

第25表 北部捨て場出土土器集計表

層位	図示土器資料総量(g)	非図示土器資料総量(g)	出土土器総量(g)	全資料中に占める図示 土器資料の比率(%)
1層	0	60	60	0
2層	541	2,349	2,890	18.7
計	541	2,409	2,950	18.3

第26表 南部捨て場出土土器集計表

層位	図示土器資料総量(g)	非図示土器資料総量(g)	出土土器総量(g)	全資料中に占める図示 土器資料の比率(%)
1層	3,409	46,490	49,899	6.8
2a層	20,734	113,240	133,974	15.5
2b層	76,961	244,500	321,461	23.9
3a層	75,055	208,027	283,082	26.5
3b層	47,936	110,426	158,362	30.3
3c層	53,961	219,845	273,806	19.7
3d層	55,596	64,101	119,697	46.4
3e層	69,252	216,598	285,850	24.2
4層	125	2,451	2,576	4.9
計	403,029	1,225,678	1,631,822	24.9

第27表 遺構外出土土器集計表

層位	図示土器資料総量(g)	非図示土器資料総量(g)	出土土器総量(g)	全資料中に占める図示土器資料の比率(%)
表土	0	619,523	619,523	0.0
Ⅱ層	2,918	66,595	69,513	4.2
Ⅲ a層	7,649	95,262	102,911	7.4
Ⅲ b層	6,018	54,672	60,690	9.9
Ⅲ b1層	265	7,755	8,020	3.3
Ⅲ b2層	623	6,522	7,145	8.7
計	17,473	850,329	867,802	2.0

第28表 出土石器総数集計表

器 種	個 体 数	%
石鏃	172	8.0
ポイント	17	0.8
石匙	144	6.7
石錐	5	0.2
石鏡	1	0.0
スクレイパー	98	4.6
異形石器	1	0.0
剥片	1254	58.7
二次加工ある剥片	152	7.1
使用痕ある剥片	83	3.9
ピース・エスキエ	3	0.1
石核	39	1.8
磨製石斧	47	2.2
敲石	37	1.7
凹石	6	0.3
石皿	1	0.0
磨石	46	2.2
砥石	3	0.1
石錘	1	0.0
カツオブシ形石器	3	0.1
軽石	21	1.0
石炭	1	0.0
不明礫石器	2	0.1
	2137	100.0

第29表 遺構出土石器集計表

遺 構	掲 載 資 料	非 掲 載 資 料
第 1 号 豎 穴 住 居 跡		剥片1 (2.0 g)
第 2 号 豎 穴 住 居 跡		剥片3 (34.4 g)、 二次加工ある剥片1 (7.7 g)
第 3 号 豎 穴 住 居 跡		剥片1 (87.0 g)
第 4 号 豎 穴 住 居 跡		剥片1 (256.0 g)
第 6 号 豎 穴 住 居 跡	磨石1 (252.0)	剥片1 (4.0 g)
第 7 号 豎 穴 住 居 跡	敲石1 (710.0 g)	軽石1 (23.3 g)
第 8 号 豎 穴 住 居 跡		剥片2 (98.0 g)
第 9 号 豎 穴 住 居 跡	スクレイパー3 (32.8 g)、石鏃3 (4.6 g)、 ピエスエスキュ1 (2.7 g)、石匙1 (22.3 g)、 凹石1 (62.5 g)、磨石1 (770.0 g)、 石斧1 (54.0 g)	剥片23 (273.4 g)、 二次加工ある剥片1 (9.9 g)
第 10 号 豎 穴 住 居 跡	敲石1 (190.1 g)	
第 13 号 豎 穴 住 居 跡	石匙1 (12.0 g)、石核1 (166.5 g)	剥片3 (28.9 g)
第 25 号 土 坑	磨石1 (740.0 g)	
第 29 号 土 坑		剥片1 (1.6 g)
第 35 号 土 坑		剥片1 (4.6 g)
第 40 号 土 坑		剥片1 (1.0 g)
第 64 号 土 坑	敲石1 (860.0 g)	
第 65 号 土 坑		剥片1 (8.5 g)、 二次加工のある剥片 (2.5 g)
第 75 号 土 坑		二次加工のある剥片1 (8.9 g)
第 76 号 土 坑		使用痕ある剥片 (10.3 g)
第 81 号 土 坑		剥片1 (5.4 g)
第 82 号 土 坑		剥片 (4.3 g)
第 1 号 集 石 遺 構	磨石1 (545.0 g)	剥片3 (21.0 g)
第 2 号 焼 土 ・ 炭 化 物 集 中 区	石鏃1 (1.4 g)	剥片2 (41.0 g)
第 5 号 焼 土 ・ 炭 化 物 集 中 区		剥片2 (26.1 g)

第30表 北部・南部捨て場出土石器集計表

器種	北部捨て場		南部捨て場									
	1層 %	2層 %	1層 %	2a層 %	2b層 %	3a層 %	3b層 %	3c層 %	3d層 %	3e層 %	4層 %	
石鏃			2 2.5	10 3.6	29 10.8	8 4.0	8 12.1	12 12.2	11 11.7	18 8.4	1 16.7	
ポイント			1 1.3	2 0.7	1 0.4	1 0.5	1 1.5					
石匙			8 10.1	14 5.1	14 5.2	7 3.5	2 3.0	8 8.2	10 10.6	24 11.2	1 16.7	
石錐				2 0.7	0.0	0.0				1 0.5	1 16.7	
スクレイパー	1 20.0		1 1.3	11 4.0	12 4.5	8 4.0	2 3.0	6 6.1	8 8.5	5 2.3		
異形石器										1 0.5		
剥片	4 80.0	1 100.0	52 65.8	195 70.7	169 62.8	142 71.4	39 59.1	54 55.1	46 48.9	115 53.7	3 50.0	
二次加工ある剥片			6 7.6	15 5.4	29 10.8	14 7.0	7 10.6	4 4.1	5 5.3	16 7.5		
使用痕ある剥片			4 5.1	13 4.7	5 1.9	11 5.5	1 1.5	2 2.0	8 8.5	10 4.7		
ピエス・エスキエ					1 0.4							
石核				6 2.2	2 0.7	1 0.5	2 3.0	3 3.1		4 1.9		
磨製石斧			2 2.5	3 1.1	3 1.1	2 1.0	2 3.0	1 1.0	1 1.1	3 1.4		
敲石				3 1.1	1 0.4			2 2.0	2 2.1	4 1.9		
凹石						2 1.0				2 0.9		
石皿												
磨石			2 2.5	1 0.4	2 0.7			3 3.1	3 3.2	3 1.4		
砥石												
カツオブシ形石器			1 1.3								2 0.9	
軽石				1 0.4		3 1.5	2 3.0	3 3.1		6 2.8		
石炭												
不明礫石器					1 0.4							
計	5 100.0	1 100.0	79 100.0	276 100.0	269 100.0	199 100.0	66 100.0	98 100.0	94 100.0	214 100.0	6 100.0	

第31表 遺構外出土石器集計表

器種	表土 %	Ⅱ層 %	Ⅲ a層 %	Ⅲ b層 %	Ⅲ b1層 %	Ⅲ b2層 %
石鏃	49 8.0	7 23.3	3 10.0	8 13.3		2 11.8
ポイント	10 1.6					1 5.9
石匙	41 6.7			6 10.0		7 41.2
石錐	1 0.2					
石鏃	1 0.2					
スクレイパー	37 6.0	2 6.7		2 3.3		
異形石器	0 0.0					
剥片	308 50.0	18 60.0	18 60.0	35 58.3	3 100.0	4 23.5
二次加工ある剥片	39 6.3	2 6.7	7 23.3	4 6.7		
使用痕ある剥片	25 4.1	1 3.3		1 1.7		1 5.9
ピエス・エスキエ	1 0.2					
石核	17 2.8		1 3.3	2 3.3		
磨製石斧	29 4.7					
敲石	20 3.2			1 1.7		1 5.9
凹石	1 0.2					
石皿	1 0.2					
磨石	27 4.4					1 5.9
砥石	3 0.5					
石錘	1 0.2					
カツオブシ形石器	0 0.0					
軽石	4 0.6			1 1.7		
石炭	0 0.0		1 3.3			
不明礫石器	1 0.2					
計	616 100.0	30 100.0	30 100.0	60 100.0	3 100.0	17 100.0

第3章 動植物遺体および自然科学的分析

第1節 和野 I 遺跡出土の動物遺体

1. 出土状況

動物遺体は縄文時代前期後葉～中期前葉の捨て場、焼土・炭化物集中区および平安時代の竪穴住居跡などから出土している。出土した資料は、サメの歯を除くすべてが受熱により灰白色を呈した細片である。量的には非常に少ないが、遺構内土壌の水洗選別により微細な資料の抽出が行われ、細かな魚骨片なども少量出土している。

出土した動物遺体は、非常に脆い細片が多く、種同定可能な資料は少なく同定不可としたものも多い。その中で軟骨魚綱3種、硬骨魚綱5種、哺乳綱3種の計11種が同定されたことは、水洗選別による微細資料の抽出によるところが大きい。

出土内容は、細片であり種同定困難であった資料の多くが、イノシシ・ニホンジカの2種のものと思われる。最小個体数や組成などについては不明であるがこの2種が最も多く、わずかながらキツネ大の小型哺乳類もわずかに出土している。

魚骨については、イノシシ・ニホンジカ中心の哺乳類の出土状況からみた予想に反して、8種が確認された。すべて海産種でありサメ類の出土が多く、特にホホジロザメの顎歯の出土が多い。また、比較的出土数が多かった種類としてマダラ・ソウダガツオ属が挙げられる。以下、出土動物遺存体の種名表を示し、その概要について触れる。

2. 出土動物遺存体の概要

(1)和野 I 遺跡出土動物遺体種名表 List of animal remains from Wano I site

脊椎動物門 VERTEBRATA

軟骨魚綱 CHONDRICHTHYES

ネズミザメ科の一種 Lamnidae gen.et sp.indet.

ホホジロザメ *Carcharodon carcharias* (Linnaeus)

アオザメ *Isurus oxyrinchus* Rafinesque

硬骨魚綱 OSTEICHTHYES

サケ科の一種 Salmonidae gen.et sp.indet.

マダラ *Gadus macrocephalus* Tilesius

アイナメ属の一種? *Hexagrammos* sp.indet.?

タイ科の一種 Sparidae gen.et sp.indet.

ソウダガツオ属の一種 *Auxis* sp.indet.

哺乳綱 MAMMALIA

イヌ科の一種 Canidae gen.et sp.indet.

イノシシ *Sus scrofa* Linnaeus

ニホンジカ *Cervus nippon* Temminck

*種名の記載、配列にあたっては、中坊徹次編(1993)・阿部永監修(1994)を参考とした。

I 軟骨魚綱

軟骨魚類

南部捨て場 2 a 層より椎骨片 9 点が出土している。すべて受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。破片資料であるため、軟骨魚類として扱ったが、すべてサメ類の椎骨片である。細片であるが、いわゆる棘の離脱痕が明瞭で深い孔を成すものが含まれている。

ネズミザメ科の一種

南部捨て場 3 c 層より椎骨片が 1 点出土している。受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。椎骨の 1/3 程度が残存するが、ホホジロザメ・アオザメなどのネズミザメ科のものと思われる。

ホホジロザメ

本遺跡では最も出土数の多い魚種である。幅広い三角形で、側縁に小さな鋸歯をもつ顎歯が南部捨て場 3 e 層より 6 点、南部捨て場 3 d 層より 2 点の計 8 点出土している。南部捨て場 3 e 層出土のものは一部灰色を呈しているが、ほかはすべて受熱による色調変化は認められない。歯冠部のみ残存する。これらは基部に孔を穿ち、垂飾品として利用されていた可能性が指摘されているが、歯根部が残存していないため不明である。計測値（現存値）は、以下のとおりである。

南部捨て場 3 d 層	歯冠高	18.7mm	歯冠長	11.8mm	最大厚	4.2mm
南部捨て場 3 d 層	歯冠高	19.9mm	歯冠長	14.0mm	最大厚	3.3mm
南部捨て場 3 e 層	歯冠高	11.1mm	歯冠長	6.3mm	最大厚	2.0mm
南部捨て場 3 e 層	歯冠高	24.3mm	歯冠長	21.1mm	最大厚	4.9mm
南部捨て場 3 e 層	歯冠高	11.1mm	歯冠長	8.9mm	最大厚	3.1mm
南部捨て場 3 e 層	歯冠高	20.8mm	歯冠長	17.5mm	最大厚	3.7mm
南部捨て場 3 e 層	歯冠高	17.2mm	歯冠長	13.7mm	最大厚	3.0mm
南部捨て場 3 e 層	歯冠高	11.9mm	歯冠長	11.5mm	最大厚	2.5mm

アオザメ

第 9 号竪穴住居跡床面および貼床、南部捨て場 3 e 層より顎歯が 1 点ずつ出土している。いずれも小型で歯根部を欠き、歯冠部のみ残存する。受熱による色調変化は認められない。アオザメもホホジロザメ同様基部に孔を穿ち、垂飾品として利用された可能性が指摘されているが、歯根部が残存しないため、その性格については不明である。計測値（現存値）は以下のとおりである。

第 9 号竪穴住居跡（床面）	歯冠高	5.0mm	歯冠長	4.4mm	最大厚	1.3mm
第 9 号竪穴住居跡（貼床）	歯冠高	7.3mm	歯冠長	5.9mm	最大厚	2.6mm
南部捨て場 3 e 層	歯冠高	9.4mm	歯冠長	6.2mm	最大厚	2.5mm

II 硬骨魚綱

サケ科の一種

第 6 号竪穴住居跡カマドより椎骨片 1 点、サケ科と思われる顎歯 1 点が出土している。いずれも受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。サケの中骨は燃料としての可能性が指摘されており、本遺跡からも

カマドから出土していることからその可能性も考えられるが、量的に非常に少ない。また、他の骨も出土していることから、他の食料残滓と共にカマドに廃棄されたものと考えられる。

マダラ

第4号竪穴住居跡カマドより腹椎片2点、第6号竪穴住居跡カマドより腹椎1点、第9号竪穴住居跡3層より右歯骨片1点が出土している。いずれも受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。第6号竪穴住居跡カマド、第9号竪穴住居跡3層、同貼床から出土した硬骨魚類の椎骨片にはマダラと思われる破片が含まれている。

アイナメ属の一種？

第6号竪穴住居跡カマドよりアイナメ属に近似する小型の腹椎1点が出土している。受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。計測値は椎体長2.0mm、椎体後面横径3.7mmである。

タイ科の一種

第9号竪穴住居跡床面より歯（円錐歯）が1点出土している。受熱による色調変化は見られない。

ソウダガツオ属の一種

第6号竪穴住居跡煙道より尾椎1点、第9号竪穴住居跡貼床より腹椎1点、尾椎1点、南部捨て場2a層より尾椎2点が出土している。いずれも受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。本遺跡ではホホジロザメに次いで出土数が多い。ソウダガツオ属にはヒラソウダとマルソウダがあり、両種とも春から夏にかけて北上し、秋から冬にかけて南下する。三陸地方には夏から秋に来遊する。ヒラソウダは刺身など生食可能であるが、マルソウダは生食すると中毒を起こすとされている。そのため、なまり節などに加工される。しかし、血合筋には脂肪やビタミンなど栄養的には優れている。

Ⅲ 哺乳綱

イヌ科の一種

第11号竪穴住居跡炉より左大腿骨遠位端片が1点出土している。受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。破片資料ではあるが、キツネ大のものと思われる。

イノシシ

第9号竪穴住居跡2層より第3・第4基節骨遠位端1点、同3層より若獣の第2・第5基節骨近位端1点、同4層より第3・第4末節骨近位端1点、同床面より第2・第5末節骨1点、同貼床より種子骨1点、第7号焼土・炭化物集中区より種子骨1点が出土している。また、イノシシの第3・第4中節骨近位端と思われるものが1点のみ第6号竪穴住居跡カマドより出土している。いずれも受熱による色調変化が見られ、灰白色を呈する。出土した部位は、すべて四肢骨の末端部のもののみである。また、細片であるため詳細な個体数や年齢などは不明であるが、未癒合の骨端が出土しており、若獣が含まれている。

ニホンジカ

第9号竪穴住居跡2層より左下顎骨片（下顎間軟骨結合部）1点、同4層より中節骨遠位端片1点、南部捨て場1層より中足骨中間部片1点が出土している。鹿角片、遊離歯などの出土は見られなかった。

3. サンプリングと資料の取り扱い

本遺跡のフローテーションは、組織的な実践例としては岩手県内で初例となるものである。通常、組織的なフローテーションの導入は1割程度のコスト増をとまうものであるが（上野1991）、今回は従来の積算範囲内での試みであり、野外調査の合間をみておこなった。設備の面でも必ずしも整った状況とはいえなかったが、通常であれば回収の見込みがない微細な陸獣骨や魚骨を多数得ることができ、一定の成果をあげたといえる。

フローテーションが盛んに行われてきた地域は列島内でも局地化しており、隣接地域と相互にデータの比較ができない状況が続いている。東北地方ととくに密接な関係にある北海道では、近年、縄文期～中・近世並行期のデータの蓄積が急速にすすんでいる。しかし、東北地方のデータが極端に不足していることから、たとえば青森県内でおこなわれた数少ない事例を東北全体の状況を反映しているものとして比較せざるを得ない側面がある。しかし、東北地方の内部であっても当然地域性があるはずであり、本遺跡のような岩手県沿岸部の動物遺体をめぐる状況は、古代以降であっても内陸部とは相当に異なっていた可能性は十分に考えられる。本遺跡のフローテーションは、こうした問題を明らかにするための第1歩として位置づけられる。

北海道における続縄文・擦文時代の集落の調査によって、土壌のサンプリング方法は次第に洗練化されてきている。すなわち、住居内のカマド焼土および屋外炉において、微細な動物遺存体がもっとも効率的に回収され、遺構の埋土や包含層では多くの土壌を水洗しても自然遺物が含まれる確率は格段に低くなる。本遺跡では比較検討のために、第6・7・9号竪穴住居跡において埋土・貼床の土壌も含めて水洗をおこなったが、多くの自然遺物はカマド焼土から出土しており、埋土・貼床からの出土はやはり少ないことが確かめられた。唯一、第9号竪穴住居跡においては埋土からも多数の自然遺物が出土しているが、これは竪穴住居が縄文期の捨て場のなかに構築されており、周辺からの流れこみが多いためである。埋土から出土しているマダラのように平安期に属するものもあるには違いないが、大部分は縄文期の自然遺物が混入したものとみてよい。したがって、古代の集落については、焼土のサンプリングがもっとも重要な意味をもっており、これのみで奈良・平安期の動物遺体のセット関係はほぼ把握可能である。

ただし、縄文期における微細動物遺体の出土状況については今後も基礎的なデータの積み上げが必要である。今回の調査では、第10・11号竪穴住居跡でも焼土のサンプリングを行ったが、保存状況が悪いこともあり動物遺体の回収にはいたらなかった。しかし、縄文期の炉に含まれる自然遺物の量の地域的・時間的変異はまだ未知数であり、フローテーションをおこなうのに有効な遺構なのか否かの判断もできない状況にある。この点については、さまざまな地域のさまざまな時期の住居について、地道なデータの積み重ねを行ってゆくしかない。また、今回の調査で良好な結果を得ることができなかった竪穴住居の床面をはじめ、貯蔵穴や掘立柱建物跡、埋設土器など多様な遺構をどのようにサンプリングするのが有効なのかを見極めてゆく必要がある。

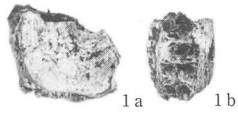
今回の調査における縄文期の成果としては、捨て場の各層から動物遺体を得ることができた点である。1つの層準からサンプリングした土壌は15リットル程度であるが、そこから回収された骨の数は各層で数10におよぶ場合が多々あり、回収率は比較的高い。しかし、部位・種を同定できる資料数はきわめて少なく、

これが解体方法・調理方法・廃棄方法などによるものか、また筆者らの同定能力や post-depositional なダメージなどに起因するのかに留意すべきである。東北地方では、縄文時代前期以降の捨て場の形成が顕著であり、そこから出土する自然遺物を組織的に回収するならば、今後該期の動物遺体関連データの絶対量は飛躍的に増加すると思われる。もちろん、捨て場の質には地域差・時期差が存在しているものの、内陸・沿岸部を問わず形成される遺構であるため、扱い方によっては沿岸部と内陸部を共通の土俵で比較するのに最適なデータとなりうる可能性を秘めている。

4. まとめ

数多くの貝塚や洞窟遺跡を擁する岩手県は、生業研究において重要な役割を果たしてきた。これらの遺跡からすでに得られている動物遺体の比較対象をひろげ、データの潜在的な可能性を引き出す方法論がフローテーション法である。これまで情報の乏しかった内陸の開地遺跡や沿岸部の高位段丘面上の遺跡との対比が可能となることに加え、廃棄場所ではなくカマド焼土など調理時の状況と密接に関わるコンテキストの中で残存した資料とも比較検討ができるようになり、二重の意味で重要な意味をもっている。動物遺体に関しては今後も貝塚・洞窟遺跡のデータが中心となることに変わりはないが、フローテーションによって集落・キャンプサイト・捨て場といった遺跡の機能ごとにデータを蓄積し比較することによって、資源利用活動やセトルメント・パターンのより包括的な理解が可能になるだろう。

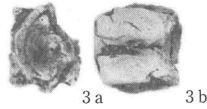
[1・2：熊谷 賢、3・4：高瀬克範]



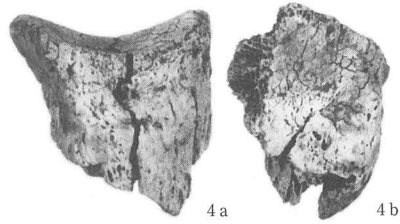
第4号竪穴住居跡
マダラ腹椎骨



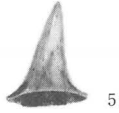
第6号竪穴住居跡
サケ科?顎歯



第6号竪穴住居跡
ソウダガツオ属尾椎



第9号竪穴住居跡
イノシシ第3・第4未節骨



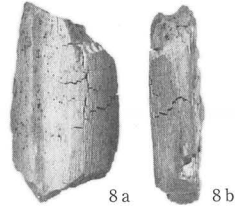
第9号竪穴住居跡
アオザメ顎歯



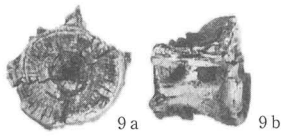
第9号竪穴住居跡
アオザメ顎歯



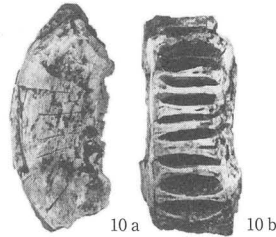
第9号竪穴住居跡
タイ科歯



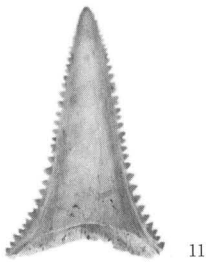
南部捨て場1層
シカ中足骨



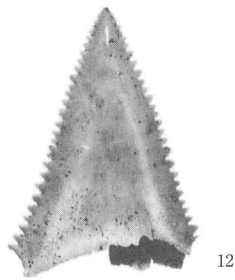
南部捨て場2 a層
ソウダガツオ属尾椎



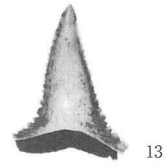
南部捨て場3 c層
ネズミザメ科椎骨



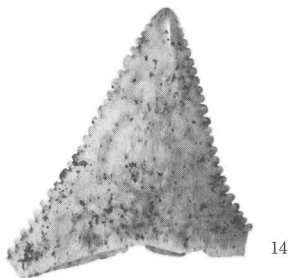
南部捨て場3 d層
ホオジロザメ顎歯



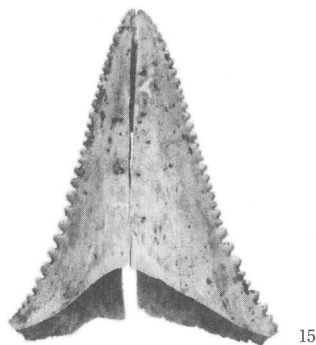
南部捨て場3 d層
ホオジロザメ顎歯



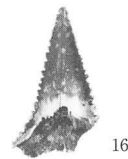
南部捨て場3 e層
ホオジロザメ顎歯



南部捨て場3 e層
ホオジロザメ顎歯



南部捨て場3 e層
ホオジロザメ顎歯



南部捨て場3 e層
ホオジロザメ顎歯

写真1 出土動物遺体

第2節 和野 I 遺跡出土の植物遺存体

1. 出土状況

和野 I 遺跡の発掘調査では、縄文・平安期の住居内カマド・炉や焼土・炭化物集中区から植物遺体が出土した。これらはすべてフローテーションによって回収されたものである。遺構の保存状態が不良ということも影響してか、出土総量は多くはない。しかし、ヤマセ地帯の植物利用状況の一端を示す資料としての意味は小さくはなく、また今回の調査経験から効率的なサンプリング方法についての提言も行うことができる。

フローテーションによって回収された植物遺体はすべて種子であり、穂軸などはない。基本的にすべてが炭化しており、大幅な変形や破損を受けているものもある。未炭化のスギナ・タデ科の種子は大量に認められたが、現段階ではこれらは土壌の採取・乾燥時の混入の可能性が高く、過去の人間によって利用されたと考えられないため除外した。だが、子葉が残存しているスギナはともかく、酸化状態でしばしば孔があいた状態で検出されるタデ科種子は、これまで明確なかたちで混入であることを証明する手続きが踏まれてきた経緯があるわけではない。したがって、今後、費用の面で余裕があればこれらについても年代測定を行い、これまでの理解を確かなものとする問題意識は必要であろう。

2. 出土植物遺存体の概要

(1)和野 I 遺跡出土植物遺存体種名表 List of plant remains from Wano I site

双子葉植物綱

離弁花亜綱

クルミ科 JUGLANDACEAE

オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis*

ブナ科 FAGACEAE

コナラ属 *Quercus*

クワ科 MORACEAE

アサ *Cannabis sativa*

タデ科 POLYGONACEAE

アカザ科 CHENOPODIACEAE

アカザ属 *Chenopodium*

ブドウ科 VITACEAE

単子葉植物綱

イネ科 GRAMINEAE

イネ *Olyza sativa*

キビ *Panicum miliaceum*

ヒエ属 ECHINOCHLOA

種子の同定・配列にあたっては、中山ほか（2000）を参考にした。このほかの不明種子のうち、保存状況が不良のため同定できないものを「不明（同定不能）」とし、形態は残存しているものは「不明（形状残存）」としてリストに加えた。

(2)植物遺体の評価

各植物遺体の計測値や所属時期等については第32表にしめす。縄文期の遺構からはヒエ属・コナラ属・タデ科・アカザ属が出土し、コナラ属が量的に最も多い。この組合せ自体は、これまでの縄文期の植物遺体のバリエーションに収まるものである。たとえば、三内丸山遺跡（1mmメッシュの水洗篩別）では縄文前期の層準から木本43、草本39分類群が出土しているが（南木・辻・住田1998）、和野Ⅰ遺跡において出土した炭化種子はヒエ属を除いてすべて出土している。

第6号焼土・炭化物集中区からはヒエ属が出土しており、長さ1.55mm、幅1.20mmである。ヒエ属については、北日本では縄文時代早期の函館市中野B遺跡の例が最も古く、SEM観察による長細胞の形態からイヌビエと考えられている（吉崎・椿坂1996）。本遺跡の資料を札幌市H317遺跡出土ヒエ属と比べると、3層（擦文期）と7層（続縄文期）のちょうど中間ほどの大きさとなる。わずか1点の出土でありSEMによる表面組織の観察を行ったわけではないが、形態・サイズは栽培型ヒエに近いものとなっている。本遺跡の資料だけでは決定的なことは何もいえないが、東北地方における縄文時代前期末～中期にかけてのヒエには今後注意を要する点を指摘しておきたい。なお、第10号堅穴住居跡出土の不明種子の中には、アサダの可能性が高いもの、およびウルシの可能性が高いものが含まれている。

古代の遺構からは、カマドを中心とする遺構からイネ・キビ・アサ・コナラ属・ブドウ科・オニグルミが出土した。第5号焼土・炭化物集中区出土イネを試料とした年代測定の結果は 960 ± 30 calBPであり、平安期に位置づけられるという想定が支持されている。キビは大きさは長さ1.70～2.10mm、幅1.80～1.85mmで、これまでの擦文期や古代の出土例を参照すると比較的大きな部類に属する。当然のこととはいえ、本遺跡の植物遺体から沿岸北部においては古代に入ってからでも堅果類が利用されており、加えてイネや雑穀も食されていたことがわかる。本遺跡ではアワ・ヒエ・オオムギ・コムギが欠落しているが、この点の評価については県内の調査事例を増やしたうえで判断しなければならない。しかし、イネではなく雑穀類のほうが多くなる傾向が伺えたことは、この地域の栽培植物の利用形態を考えるうえで示唆に富む結果といえるだろう。

東北北部における古代の遺跡におけるフローテーションの結果をみると、全体としてキビの出土が比較的少なく、ムギの出土は遺跡によって大きな変異がある。青森県高屋敷遺跡ではムギが少なくヒエ・コメが多いのに対し、野木遺跡ではムギが多くキビが少ない（吉崎・椿坂1998）。和野Ⅰ遺跡では全体の出土量が極めて少なくこれらの遺跡と同列に扱うことはできないが、キビが多いという傾向はこれまであまり知られていない「種子コンプレックス」がこの地域に存在している可能性を示唆している。これが岩手県沿岸部における普遍的な傾向なのかどうか、今後の調査における1つの検討事項となるだろう。

3. サンプルングと資料の取り扱い

(1)サンプルングの問題

本遺跡では、時期を問わず、すべての住居内の焼土・床面土壌、および焼土・炭化物集中区の土壌を水洗した。残存状況が比較的良かった第6・7・9号堅穴住居跡については、埋土や煙道・貼床も大別層位ごとにサンプルングし水洗した。植物遺体がまったく出土しない遺構もあったが、出土した植物遺体はすべて住居内のカマドおよび炉、焼土・炭化物集中区からのものである。動物遺体はこれらの遺構にくわえて煙道・貼床・住居埋土からも出土しているが、量的には多くない（第9号堅穴住居跡の埋土出土骨は多いが、大部分は周囲の捨て場の土からの混入である）。したがって、植物遺体の場合であっても焼土を対象とするだけで、その組合せはほぼ把握が可能であると判断できる。埋土や貼床内の土壌洗浄も意味がないわけではないが、

それに要する時間・労力に比して成果は格段に小さくなってしまう。焼土だけの洗浄であれば、多くのばあい従来の積算範囲を大きく逸脱することなくフローテーション作業を行うことが可能である。

しかし、縄文期の捨て場については今後も慎重な検討を要する。今回の調査では捨て場の各層から15リットル程度の土壌をサンプリングし洗浄した結果、動物遺存体は得られたが植物遺存体は認められなかった。しかし、サンプルとした土壌が少ないため、捨て場に含まれる植物遺存体が少ないとは言い切れない。北海道キウス7遺跡のように縄文遺跡からの植物遺体の出土が少ない例もあるが、キウス4遺跡のように栽培型とは区別されるヒエ属が多く出土する盛土以降もある(吉崎・椿坂2001)。動物遺存体の場合と同様に、縄文期の効率的なサンプリングについては継続的な努力が必要だろう。

(2)出土資料の取り扱い

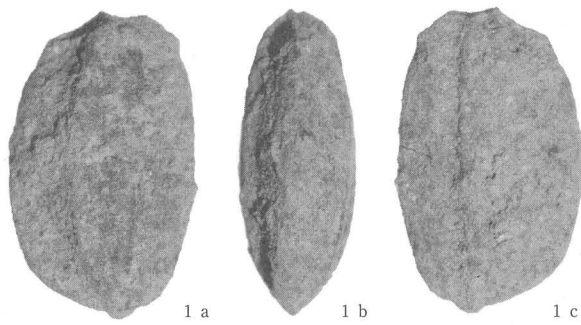
北日本では、北海道を中心に微細植物遺体に関するデータが蓄積されてきており、栽培化のプロセスや植物の利用内容に関する検討材料は15年前とは比較にならないほどに充実してきている。しかし、東北地方の「種子コンプレックス」の変遷と地域性についてはあまりにも不明な部分が多いため、北海道の資料の評価は難しく、とくに栽培植物の伝播経路や伝播時期などについては推測に頼らざるを得なかったのが現状である。植物栽培にとって東北地方よりも厳しい条件下にある北海道で炭化種子が多量に出土していること、古墳や城柵官衛が営まれる歴史的経緯などを考えあわせれば、東北地方で組織的なフローテーション法が導入されれば栽培植物の資料数は飛躍的に増加することは疑いない。そのなかには、たとえば八戸市風張(1)遺跡出土炭化米のように極めて示唆的な成果も含まれてくることも十分に考えられる(Kudo and D'Andrea 1991、D'Andrea 1992)。

こうした成果に対しては、調査時において層位や出土状況を明確に把握することはもとより、種子そのものを試料とした年代測定によって新しい時期の混入の可能性を排除する努力が必要となる。考古学的な成果には異なる手法によってクロスチェック可能な性質を有しているものが多く含まれている。この利点を活かして、発掘調査によって出土した遺物を疑念がもたれない学術資料として世に送り出すためには、ある程度のコストは覚悟しなければならない。前述のように、効率性を重視してフローテーションを導入するならば、ほとんどの遺跡において従来の積算範囲を大きく逸脱することなく行うことが可能であろう。ただし、その成果に対する評価を確実なものとするためには、種子の画像記録や年代測定をしっかりと行うことができるような設備と予算がどうしても必要となる。今後は、この点までを見通した環境作りが不可欠となる。

[高瀬克範]

第32表 出土植物遺体一覧表

出土遺構	層位	和名	個数	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	状態	備考
第2号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明(同定不能)	1	—	—	—	炭化?	計測不能
第3号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明(同定不能)	1	—	—	—	炭化	
第4号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明	1	1.95	1.90	1.80	炭化?	
第4号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明	1	1.30	1.30	1.30	炭化?	
第6号 竪穴住居跡	カマド焼土	ブドウ科	1	4.30	3.70	2.65	炭化	
第6号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明	1	1.50	1.20	1.10	炭化?	
第6号 竪穴住居跡	カマド焼土	オニグルミ	1	—	—	—	炭化	計測不能
第6号 竪穴住居跡	カマド焼土	オニグルミ	1	—	—	—	炭化	計測不能
第7号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明(同定不能)	1	—	—	—	炭化	
第7号 竪穴住居跡	カマド焼土	キビ	1	2.10	1.85	1.30	炭化	
第7号 竪穴住居跡	カマド焼土	キビ	1	1.70	1.80	0.80	炭化	
第7号 竪穴住居跡	カマド焼土	キビ	1	—	—	—	炭化	計測不能
第9号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明(形状残存)	1	—	—	—	炭化	計測不能
第9号 竪穴住居跡	カマド焼土	不明(形状残存)	1	—	—	—	炭化	計測不能
第10号 竪穴住居跡	炉焼土	不明(同定不能)	1	4.39	3.46	3.83	炭化	年代測定(AMS)
第10号 竪穴住居跡	炉焼土	不明(同定不能)	4	—	—	—	炭化	計測不能
第10号 竪穴住居跡	炉焼土	不明(同定不能)	1	—	—	—	炭化	計測不能
第10号 竪穴住居跡	炉焼土	タデ科	1	1.55	1.50	1.30	炭化	
第10号 竪穴住居跡	炉焼土	不明(同定不能)	1	2.80	2.25	1.65	炭化	ウルシの可能性あり
第10号 竪穴住居跡	炉焼土	不明	1	3.70	1.80	1.20	炭化	アサガ属?
第12号 竪穴住居跡	炉焼土	不明(同定不能)	1	—	—	—	炭化	計測不能
第2号焼土・炭化物集中区	—	アカザ属	1	1.20	0.90	0.40	炭化?	
第4号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	10.21	5.39	3.92	炭化	
第5号焼土・炭化物集中区	—	不明	1	4.50	3.90	2.00	炭化?	
第6号焼土・炭化物集中区	—	ヒエ	1	1.55	1.20	0.95	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ族	1	8.20	5.25	3.05	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	11.40	6.35	4.25	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	9.80	6.60	3.40	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	12.20	8.85	5.62	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	11.72	6.98	4.62	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	12.31	7.89	3.38	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	12.70	9.62	5.25	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	14.39	8.60	5.55	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	10.48	10.30	5.05	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	10.78	8.50	4.52	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	13.28	8.65	4.70	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	10.45	7.63	4.00	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	7.35	3.79	3.90	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	14.85	7.09	4.25	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	11.30	6.75	4.05	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	11.70	8.21	3.85	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	13.50	8.30	4.15	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	13.69	8.22	4.17	炭化	
第6号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	32	—	—	—	炭化	計測不能
第7号焼土・炭化物集中区	—	イネ	1	4.45	2.61	1.45	炭化	年代測定(AMS)
第7号焼土・炭化物集中区	—	アサ	1	3.90	3.25	2.10	炭化	
第7号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	10.12	6.64	4.30	炭化	
第7号焼土・炭化物集中区	—	コナラ属	1	8.71	4.70	4.10	炭化	
第2号 集石	集石下の焼土	不明(形状残存)	1	—	—	—	炭化	計測不能



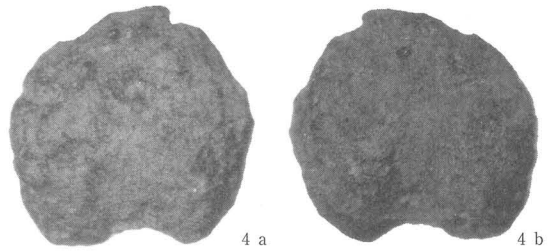
第5号焼土・炭化物集中区出土（イネ）



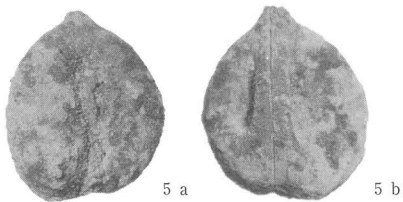
第5号竪穴住居跡出土（キビ）



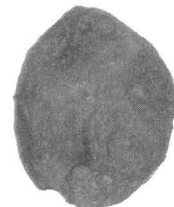
第4号焼土・炭化物集中区出土（ヒエ）



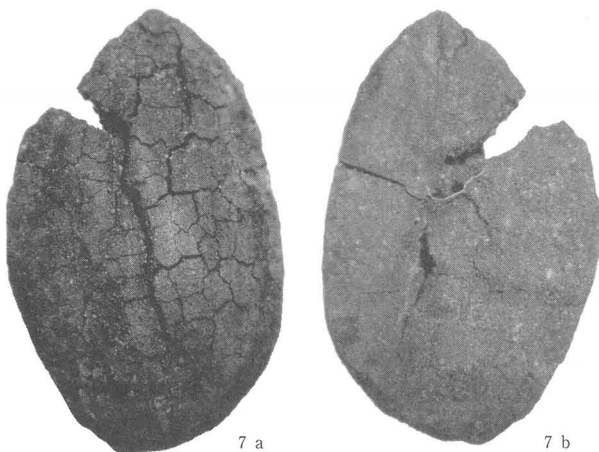
第5号竪穴住居跡出土（キビ）



第4号竪穴住居跡出土（ブドウ科）



第5号竪穴住居跡出土（キビ）



第2号焼土・炭化物集中区出土（コナラ属）



第5号焼土・炭化物集中区出土（アサ）



第1号焼土・炭化物集中区出土（アカザ属）



第10号竪穴住居跡出土（ウルシ?）

写真2 出土植物遺体

第3節 和野 I 遺跡の火山灰分析

はじめに

岩手県北部とその周辺には、岩手、秋田駒ヶ岳、十和田など東北地方に分布する火山のほか、北海道、中国、さらには九州地方に分布する火山などから噴出したテフラ (tephra、火山砕屑物、いわゆる火山灰) が多く分布している。テフラの中には、すでに噴出年代が明らかにされている示標テフラがあり、それらとの関係を求めることにより、地層の堆積年代や土壌の形成年代のみならず、遺構や遺物の年代などについても知ることができるようになっている。

そこで、発掘調査の際にテフラ層が認められたとされる田野畑村和野 I 遺跡においても、発掘調査担当者により採取送付されたテフラ試料を対象に屈折率測定と波長分散型 X 線プローブマイクロアナライザー (WDS型EPMA) による火山ガラスの主成分化学組成分析を行って示標テフラとの同定を試みることにした。

1. 屈折率測定

(1)測定試料と測定方法

K-9区において発掘調査担当者により採取送付されたテフラ試料 (Ⅲ b 1層下部) について (採取位置第227図参照)、日本列島とその周辺におけるテフラ・カタログ (町田・新井 1992) の作成に利用された温度一定型屈折率測定法 (新井 1972、1993) により、テフラ粒子の屈折率測定を行った。

(2)測定結果

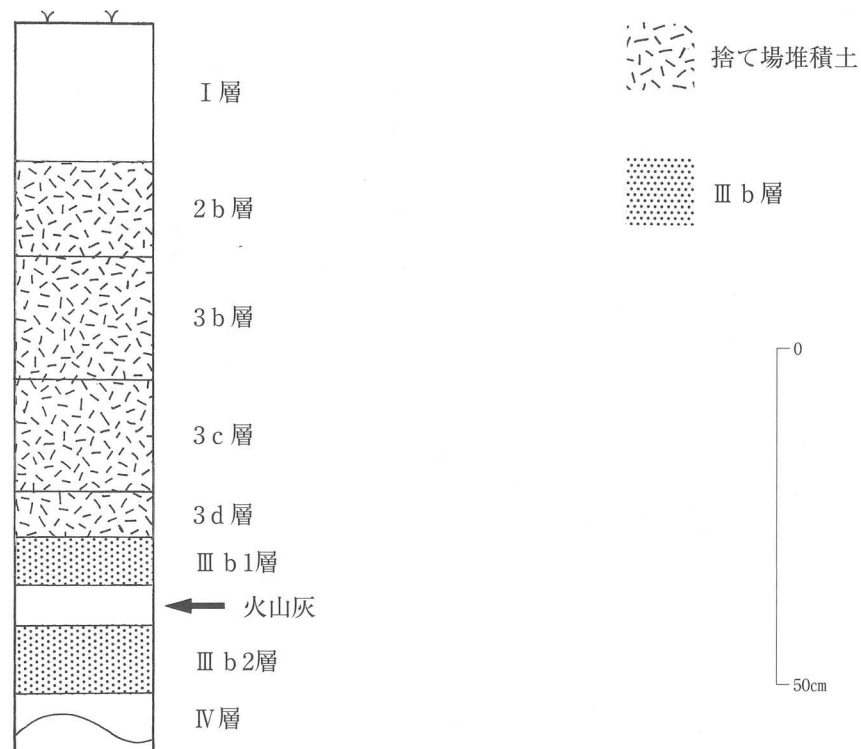
屈折率測定の結果を第33表に示す。テフラ試料 (Ⅲ b 1層下部) には、白色の軽石型火山ガラスが多く含まれている。火山ガラスは、非常に細粒である (最大径0.2mm)。火山ガラスの屈折率 (n) は、1.509-1.514である。重鉱物としては、基盤に由来すると思われる黒雲母のほか、わずかに斜方輝石や角閃石が認められる。斜方輝石の屈折率 (γ) は、1.706-1.708である。

2. 火山ガラスの主成分化学組成分析

(1)分析試料と分析方法

岩手県以南の重要な示標テフラの1つ、915年に十和田火山から噴出した十和田 a 火山灰 (To-a、町田ほか 1981) に含まれる火山ガラスの屈折率 (n) については、テフラ・カタログに記載されている値よりも高いことがしばしば認められる (古環境研究所 未公表)。この違いは、カタログに記載された試料の採取地点が給源火山に近いために標準試料に含まれる火山ガラスが分厚く、また To-a の噴出年代が新しいために十分水和水が進んでいないこと、遠隔地ではその逆で水和水が進んで屈折率に違いが生じていることに起因すると思われる (新井房夫群馬大学名誉教授談話)。つまり、同じような土壌の中に挟在されている、とくに十和田系の完新世以降のテフラについては、火山ガラスや斜方輝石の屈折率だけでの同定は困難が予想される。

そこで、和野 I 遺跡のテフラ試料 (Ⅲ b 1層下部) について、波長分散型 X 線プローブマイクロアナライザー (WDS型EPMA) により、火山ガラスの主成分化学組成分析を試みることにした。分析に使用したWDS型EPMAは、山形大学理学部の日本電子JXA8600MWDS型EPMAである。加速電圧15kV、照射電流0.01 μ A、ビーム径5 μ mの条件で行った。補正法はOxide ZAF法を用いた。



第227図 和野 I 遺跡基本層序

(2)分析結果

火山ガラスの主成分化学組成分析結果を、第34表に示す。この表には、合わせて屈折率測定結果で同定される可能性のある広域に分布する2層の十和田火山起源のテフラの分析値（青木・新井 2000）を示した。2層のテフラは、青森県二ノ倉ダム付近で採取された、約5,500年前*1に十和田火山から噴出したと考えられている十和田中掬テフラ（To-Cu、大池ほか 1966、早川 1983、福田 1986、町田・新井 1992）と、小川原湖で採取された To-a である。

和野 I 遺跡のテフラ試料（III b 1 層下部）に含まれる火山ガラスの主成分化学組成は、To-Cu のそれと非常によく似ており、TiO₂、Al₂O₃、FeO、MgO、CaO が、To-a より多く含まれている。したがって、今回分析の対象となったテフラは、To-Cu に同定される可能性が非常に高いと考えられる。

なお、岩手県域に分布するローカルテフラに関する火山ガラスの主成分化学組成分析の例は、まださほど多くない。今後もガラス質テフラについて、屈折率測定のほか火山ガラスの主成分化学組成分析を行うとともに、高精度の火山灰同定のためにローカルテフラに含まれる火山ガラスの主成分化学組成に関する資料を蓄積していく必要がある。

まとめ

田野畑村和野 I 遺跡で採取された火山灰試料について、テフラ組成分析と屈折率測定が行われた。その結果、十和田中掬テフラ（To-Cu、約5,500年前*1）に同定される可能性がもっとも高いと推定される。

*1 放射性炭素 (^{14}C) 年代。

[株式会社 古環境研究所]

[付] 調査者によるコメント

岩手県内の埋蔵文化財発掘調査においては、完新世の十和田系テフラは頻繁に認められ、年代決定の指標としても重要な役割を担っている。しかし、分析結果報告中で指摘されているように、火山ガラスの屈折率測定のみでこれらを同定することが難しい場合がある以上、主成分化学組成のデータを蓄積することでより信頼性の高い同定を行ってゆく必要がある。本遺跡の調査において、To-Cu の可能性が高いテフラの主成分化学組成の1例を加えることができ、さらに南部捨て場1～3 e層の形成は少なくとも約5,500年前以降に位置づけられることが可能となった。

[高瀬克範]

第33表 和野 I 遺跡における屈折率測定結果

試料	火山ガラス				重鉱物	
	量	形態	色調	屈折率 (n)	組成	斜方輝石 (γ)
Ⅲ b 1層下部	+++	pm	白	1.509-1.514	bi、(opx、ho)	1.706-1.708

屈折率の測定は、温度一定型屈折率測定法（新井 1972、1993）による。

++++：とくに多い、+++：多い、++：中程度、+：非常に少ない、-：認められない。

pm：軽石型、opx：斜方輝石、ho：角閃石、bi：黒雲母。() は、量が少ないことを示す。

第34表 和野 I 遺跡における火山ガラスの主成分化学組成分析結果

試料	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	P ₂ O ₅	Total	n
Ⅲ b 1層下部	76.06	0.45	13.51	2.29	0.09	0.60	2.60	3.03	1.30	0.06	100.00	10
	0.88	0.05	0.31	0.21	0.07	0.05	0.41	0.82	0.20	0.05		
To-Cu (二ノ倉ダム)	75.36	0.43	13.65	2.35	0.11	0.52	2.35	4.01	1.22	-	100.00	5
	0.55	0.03	0.27	0.16	0.03	0.03	0.10	0.12	0.04	-		
To-a (小川原湖)	77.75	0.36	12.73	1.62	0.09	0.38	1.81	3.90	1.37	-	100.01	19
	0.68	0.04	0.36	0.16	0.03	0.08	0.17	0.14	0.08	-		

Ⅲ b 1層下部の分析は、山形大学理学部の WDS 型 EPMA による。n：分析ポイント数。上段が平均値、下段は標準偏差。To-Cu および To-a の分析値は、北海道大学工学部の WDS 型 EPMA による青森県域でのデータ（青木・新井 2000）。

第4節 年代測定および樹種同定

はじめに

岩手県下閉伊郡田野畑村西和野に所在する和野 I 遺跡では、発掘調査により縄文時代や平安時代の住居跡や縄文時代の捨て場跡や土坑などの遺構が検出され、捨て場などからは縄文時代前・中期の土器や石器、平安時代の住居跡からは土師器や鉄滓などの遺物が確認されている。今回の分析調査では、本遺跡から検出された遺構の年代に関する資料を得るため、放射性炭素年代測定と炭化材の樹種同定を実施する。

1. 試料

試料は、第 6 号竪穴住居跡から出土した炭化材、第 7 号竪穴住居跡から出土した炭化材、古代に相当すると考えられている第 5 焼土・炭化物集中区から出土した炭化種子（イネ）1 点、縄文時代とされている 10 号住居跡内炉跡から出土した炭化種子（種不明）1 の計 4 点である。

2. 分析方法

測定は、株式会社加速器分析研究所の協力を得た。なお、 $\delta^{13}\text{C}$ の値は質量分析器を用いて試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、標準試料 PDB（白亜紀のベレムナイト類の化石）の測定値を基準として、それからのずれを計算し、千分偏差（‰；パーミル）で表したものである。今回の試料の補正年代は、この値に基づいて補正をした年代である。

炭化材同定は、木口（横断面）・柀目（放射断面）・板目（接線断面）の 3 断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の特徴を観察し、種類を同定する。

3. 結果

住居跡から出土した炭化材の測定年代値（補正年代値）は、第 6 号竪穴住居跡から出土した炭化材は約 1300 年前、第 7 号竪穴住居跡から出土した炭化材は約 1510 年前、第 5 焼土・炭化物集中区から出土した炭化種子は約 960 年前、10 号住居跡内炉跡から出土した炭化種子は約 980 年前の値を示す。

なお、暦年代は、第 5 焼土・炭化物集中区から出土した炭化種子は A.D.1035 年頃、10 号住居跡内炉跡から出土した炭化種子は A.D.1025 年頃を示す。

出土位置	試料	補正年代BP	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	測定年代	Code.No.
焼土(第5号焼土・炭化物集中区)	炭化種子(イネ)	960 ± 30	-25.10 ± 1.13	970 ± 30	IAAA-10652
第10号竪穴住居跡炉跡内	炭化種子(種不明)	980 ± 30	-26.39 ± 0.90	1000 ± 30	IAAA-10651

第 6 号竪穴住居跡から出土した炭化材は落葉広葉樹のケヤキ、第 7 号竪穴住居跡から出土した炭化材は落葉広葉樹のコナラ属コナラ亜属コナラ節にそれぞれ同定された。以下に、主な解剖学的特徴を記す。

・ケヤキ (*Zelkova serrata* (Thunb.) Makino) ニレ科ケヤキ属

環孔材で、孔圏部はほぼ 1 列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減、塊状に複合し接線・斜方向の紋様をなす。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、1～10細胞幅、1～30細胞高。しばしば結晶を含む。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (*Quercus subgen. Lepidobalanus sect. Prinus*) ブナ科

環孔材で、孔圏部は1～2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～20細胞高のものと複合放射組織とがある。

4. 考 察

第6号竪穴住居跡から出土した炭化材は7世紀頃、第7号竪穴住居跡から出土した炭化材の年代値は5世紀頃に相当する年代値を示す。なお、分析試料の炭化材は、住居跡の床面から出土しており、遺構との共伴性が高いと考えられることから、遺構構築時または使用時の年代を反映している可能性が強い。

ところで、放射性炭素年代は、測定法自体が持つ誤差や、測定的前提条件である大気中の ^{14}C の濃度が過去において一定ではなかったことなどから、年輪などから測定されたいわゆる暦年代とは一致しない。これらのことから、年輪年代による暦年代既知の年輪についての放射性炭素年代測定を実施することで、暦年代と放射性炭素年代を両軸とする補正曲線が作られている(Stuiver, M. et al 1998)。この補正曲線によれば、補正された暦年代のばらつきが大きい場合があり、今回測定された年代値では、第6号竪穴住居跡から出土した炭化材は最大で約150年程新しくなり、第7号竪穴住居跡から出土した炭化材は最大で約200年程新しくなる可能性がある。このことから今回の測定試料の暦年代は、第6号竪穴住居跡から出土した炭化材は8世紀頃、第7号竪穴住居跡から出土した炭化材は6世紀～7世紀頃に相当する年代となる。

今後は、これら遺構の詳細な年代を評価するため、同一遺構内でより多くの分析調査を実施するとともに、分析試料の出土状況や共伴遺物など考古学的所見と合わせ検証することが必要である。

第5号焼土・炭化物集中区から出土した炭化種子および10号住居跡内炉跡から出土した炭化種子の測定年代値(補正年代値)は、いずれも10世紀末頃に相当する値を示す。分析試料は、焼土から出土した炭化種子は詳細な出土状況等不明なため判断できないが、10号住居跡の炭化種子は炉跡から出土しているため遺構との共伴性が高いと考えられる。ただし、分析結果は、焼土(HE7)や10号住居跡の想定される年代観よりも新しい年代を示しており、これら所見と一致しない。

ところで、放射性炭素年代は、測定法自体が持つ誤差や、測定的前提条件である大気中の ^{14}C の濃度が過去において一定ではなかったことなどから、年輪などから測定されたいわゆる暦年代とは一致しない。これらのことから、年輪年代による暦年代既知の年輪についての放射性炭素年代測定を実施することで、暦年代と放射性炭素年代を両軸とする補正曲線が作られている(Stuiver, M. et al 1998)。この補正曲線によれば、今回測定された試料では、いずれの暦年代も放射性炭素年代に比べて約50年新しい11世紀前半となる。

今後、各遺構の年代を評価するためには、遺構内でより多くの分析調査例を得るとともに、分析試料の由来や出土状況、さらに、共伴遺物などによる考古学的所見と合わせて検証することが望まれる。

[パリノ・サーヴェイ株式会社]

[付] 調査者によるコメント

4点の分析試料のうち、遺物の編年や層準から考古学的に年代を推定できたのは2点である。第7号住居跡は出土遺物から10世紀以前、第10号竪穴住居跡は層位的に縄文時代中期よりも古いと考えられた。しかし、いずれの年代測定値もこうした考古学的知見とは大きく食い違ったものとなっている。

第7号竪穴住居跡の測定値は古墳時代に食い込む可能性があるが、出土遺物や住居構造からみてそこまで

さかのぼるとは考えにくい。また、第10号竪穴住居跡はⅢ a層にて検出しているため、層位的には縄文中期以降に降ることはありえない。にもかかわらず、11世紀の測定値が得られている。試料は床面直上および床面の焼土出土の炭化物であることから、こうした年代値がえられた原因としては、1) 材の伐採年代と住居利用時期のズレ、2) 試料調製・測定手続き上の問題、3) 試料自体の混入、4) サンプリング後における新しい炭素の混入といった原因が考えられる。4) については細心の注意を払っており、調査現場における喫煙やサンプリング時における竹籠や軍手の使用はなく、サンプリング後におけるカビの可能性も考えられない。3) についても焼土出土という点から考えにくいだが、第10号竪穴住居跡についてはフローテーションという手続きが介在しており、コンタミの可能性がないとはいえない。したがって、これらの年代値は1)～3) のいずれかの原因によって、住居廃絶時の年代としては信頼できるものにはなっていないと考える。

このほか、第5焼土・炭化物集中区のイネが縄文期ではなく古代のものであることが確認できた点は、当初の予想通りである。第6号住居跡の年代は出土遺物では決定できないが、構築方法や内部施設の構造などは第1・7号竪穴住居跡などとほぼ同様であり平安期と考えられる。しかし、7世紀代の年代が出ており遺物からみると古すぎるように思われる。先述の第7・10号竪穴住居跡と同様の理由によって、住居廃絶時の年代としては信頼性を欠くものといえる。

[高瀬克範]

第5節 和野 I 遺跡出土黒曜石製石鏃の石材原産地分析

1. 分析方法

1) 分析法 エネルギー分散蛍光X線分析法 (EDX)

2) 分析装置 セイコーインスツルメンツ卓上型蛍光X線分析計 SEA-2110L

3) 分析条件 管電圧：50kV、管電流：自動設定、測定時間：240sec、雰囲気：真空、照射径：10mm、検出器：Si (Li) 半導体検出器

4) 測定元素 Al (アルミニウム)、Si (ケイ素)、K (カリウム)、Ca (カルシウム)、Ti (チタン)、Mn (マンガン)、Fe (鉄)、Rb (ルビジウム)、Sr (ストロンチウム)、Y (イットリウム)、Zr (ジルコニウム)

5) 分析法の特徴

長所…非破壊分析、多元素同時分析、前処理不要 (洗浄は必要)、迅速分析、操作が簡単

短所…微量分析は不得意

表面分析…試料を破壊せずに測定するため、分析結果は表面の分析結果。そのため、汚れた試料、風化した試料は汚れ、風化を測定したことになり、正確でない。類似した組成の標準試料が必要。

6) 試料の洗浄 5分間 (汚れがひどい場合は15分間) 超音波洗浄器で洗浄。さらに汚れを拭き取ってから測定

7) 測定不可能な試料…風化した試料 (割ることが可能ならばできます)、汚れがとれない試料、厚さが1mm以下の試料、大きさが5mm以下の試料、遺物番号などの書き込みで測定できる面がない試料

8) 産地推定可能な石材 上記の条件をクリアしていれば、以下の分析ができます。

- ・現在は黒曜石 (日本全国) と下呂石
- ・ガラス質安山岩は分類可能。ただし、原石データが不足しているため、産地推定は不可能。現在、原石データを収集中。
- ・その他の石材 (特に堆積岩) は分類不可能。

2. 産地推定法

1) 得られた蛍光X線スペクトル強度を元素記号で表すとする。

二つの方法とも以下の指標を用いる。

指標 $Sum = Rb + Sr + Y + Zr$ とする。

$$Rb \text{ 分率} = Rb / Sum$$

$$Sr \text{ 分率} = Sr / Sum$$

$$Zr \text{ 分率} = Zr / Sum$$

$$Mn * 100 / Fe$$

$$\log (Fe / K)$$

産地のシートに上げた黒曜石産地から、産地原石を採集し測定する。

測定結果から上記の指標を算出する。

以上から、産地原石に関するデータベースを作成する。

2) 下記の二つの方法で産地推定を行う。

①判別図法（第228図参照）

用いる指標 図1 横軸：Rb分率、縦軸：Mn/Fe

図2 横軸：Sr分率、縦軸：log (Fe/K)

特長 簡単な計算であり、誰にでも作成可能。視覚的に確認でき分かりやすい。

推定方法 遺跡出土試料を蛍光X線分析し、指標を計算。指標を図にプロットする。重なった原石産地を推定結果とする。

②判別分析（推定結果表参照）

用いる指標 算出された指標全て

特長 各産地との類似度を距離で算出。既知の産地のどれに類似しているかを判別する方法である（未知の産地の判別はできない）。

推定方法 判別図法では遺跡出土試料と重なっている産地を推定結果とする。この産地は試料と2次元的に最も距離が近い。判別分析ではこの距離を数学的にn次元で計算する。試料と最も距離（マハラノビス距離）が近い産地を推定結果とする。この距離から、各産地に属する確率を計算する。

3. 推定結果

下記の表に判別図法の結果と判別分析の結果を挙げてあります。左の表は二つの方法から導いた推定結果をまとめたものです。

判別図判別群：判別図法によって推定された産地

判別分析と結果が異なるときは“*”をつけて示す。

判別分析：第1候補産地…判別分析により推定された産地の第1候補

第2候補産地…判別分析により推定された産地の第2候補

判別群 候補産地記号

→判別図法による産地と通常は一致する。

距離 試料から候補産地までのマハラノビス距離

→値が小さいほど候補産地と類似性が高い。

確率 試料が候補産地に属する確率

→1に近いほど類似性が高い。

岩手県田野畑村和野1遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果

判別図法・判別分析からの最終推定結果

判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

分析番号	遺物番号	推定産地
WN1-1	1393（第177図4）	北上川折居2群

第35表 和野 I 遺跡出土黒曜石産地組成

第1候補産地

判別群	距離	確率
KKO2	3.1	0.9993

第2候補産地

判別群	距離	確率
KKO1	19.61	0.0007

4. コメント

結果は北上川エリア折居2群である。この群に属する黒曜石原石は北から雫石町小赤沢、花巻市日形町田ノ沢、水沢市折居で採取されている。北上川に沿って形成された河岸段丘から原石が採取される。従って、群の判別は可能であるが、北上川のどのあたりから採取されたものかは推定できない。判別群名は原石の採取地点のうち代表的な採取地点である水沢市折居の名前から折居2群とした。折居では、1群と類似した2群とこれらとはかなり異なる組成の3群が検出されており、1群も2群と同様に小赤沢、田ノ沢で採取可能である。

[沼津工業高等専門学校 望月明彦]

[付] 調査者によるコメント

試料は、トールのなかで唯一の黒曜石製石器である。土器の比較から、北上川流域ときわめて類似性が高い一群がみとめられたが、黒曜石も北上川流域の石材が用いられていることで、北上山地をはさんだ交渉が明らかとなった。和野 I 遺跡からは海岸沿いに北上することで現在の久慈市周辺などの円筒下層・上層式土器の分布圏に接することができるが、そうした地域との交渉の痕跡はそれほど目立たない。現在のデータからは、北上山地を介したルートか、海岸を南下した宮古周辺地域を介して間接的に北上川流域の物資や情報が和野 I 遺跡にもたらされていたと考えることができよう。

[高瀬克範]

エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WO)	ブドウ沢	WOBD	0	0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0
	高松沢	WOTM	0	0
和田(WD)	芙蓉ライト	WDHY	0	0
	鷹山	WDTY	0	0
	小深沢	WDKB	0	0
	土屋橋北	WDTK	0	0
	土屋橋西	WDTN	0	0
	土屋橋南	WDTM	0	0
	古峠	WDHT	0	0
諏訪	星ヶ台	SWHD	0	0
	冷山	TSTY	0	0
	双子山	TSHG	0	0
天城	播鉢山	TSSB	0	0
	柏峠1	AGKT	0	0
	畑宿	HNHJ	0	0
箱根	鍛冶屋	HNKJ	0	0
	黒岩橋	HNKI	0	0
	上多賀	HNKT	0	0
	芦ノ湯	HNAY	0	0
神津島	恩馳島	KZOB	0	0
	砂糠崎	KZSN	0	0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0
	七尋沢	THNH	0	0
新津	金津	NTKT	0	0
新発田	板山	SBIY	0	0
深浦	八森山	HUHM	0	0
木造	出来島	KDDK	0	0
男鹿	金ヶ崎	OGKS	0	0
	脇本	OGWM	0	0
羽黒	月山	HGGS	0	0
	今野川	HGIN	0	0
北上川	折居1群	KKO1	0	0
	折居2群	KKO2	1	100
	折居3群	KKO3	0	0
宮崎	湯ノ倉	MZYK	0	0
仙台	秋保1群	SDA1	0	0
	秋保2群	SDA2	0	0
色麻	根岸	SMNG	0	0
塩竈	塩竈港群	SGSG	0	0
小泊	折腰内	KDOK	0	0
魚津	草月上野	UTHT	0	0
高岡	二上山	TOFK	0	0
	真光寺	SDSK	0	0
佐渡	金井二ッ坂	SDKH	0	0
	久見	OKHM	0	0
隠岐	岬地区	OKMT	0	0
	箕浦	OKMU	0	0
白滝	8号沢	STHG	0	0
	黒曜の沢	STKY	0	0
	赤石山頂	STSC	0	0
赤井川	曲川	AIMK	0	0
豊浦	豊泉	TUTI	0	0
置戸	安住	ODAZ	0	0
十勝	三股	TKMM	0	0
	布川	NYHA	0	0
旭川	高砂台	AKTS	0	0
	春光台	AKSK	0	0
不明産地1	N K	NK	0	0
下呂石		GERO	0	0
合計			1	100

不可など	0	
総計	1	



● 黒曜石産地

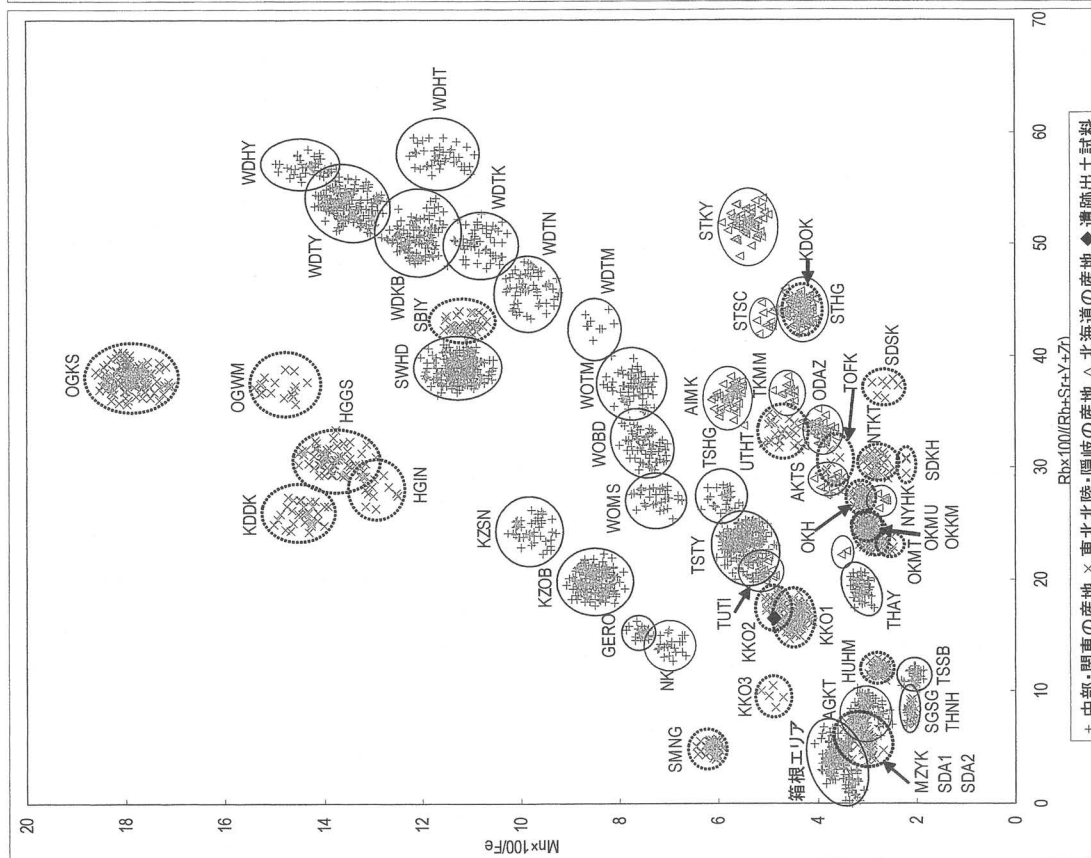
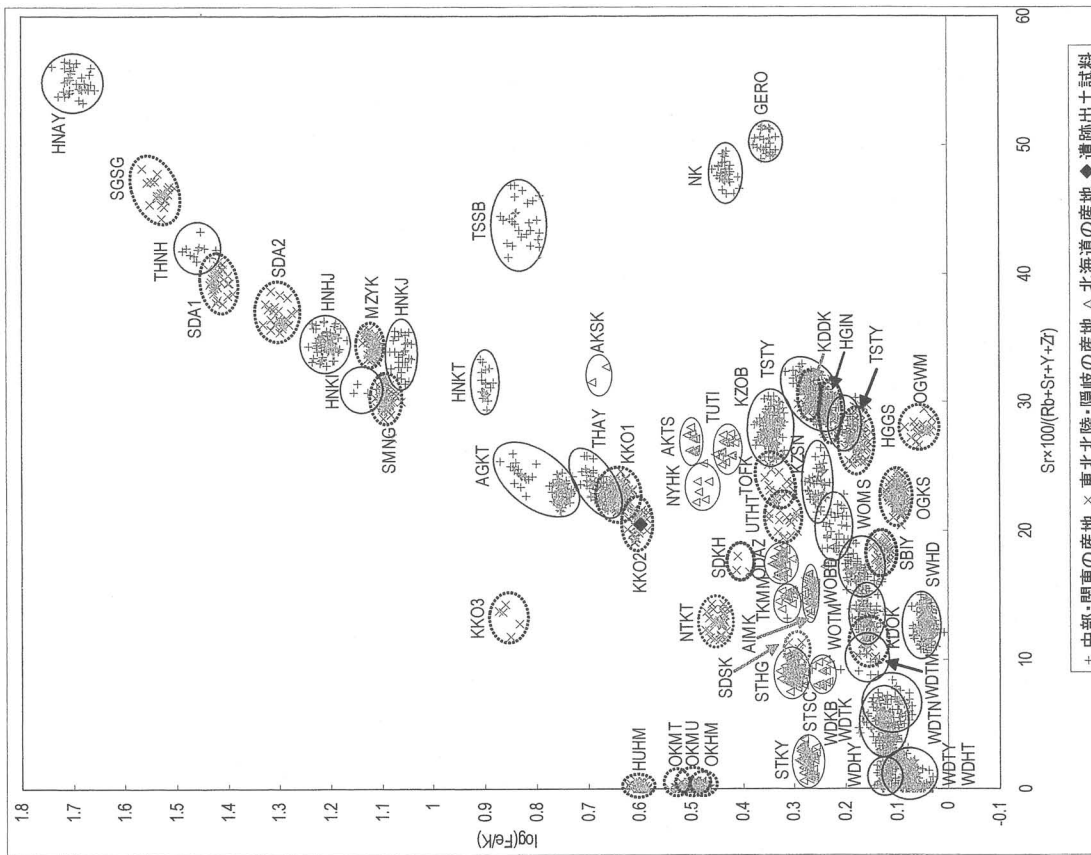
産地原石判別群(SEIHO SEA-2110L 蛍光線分析装置による)

都道府県	地名	エリア	新判別群	旧判別群	新記号	旧記号	原石採取地(分群数)
北海道			1 白滝	八号沢群	STHG	STRY	赤石山山頂(19)、八号沢露頭(31)、八号沢(79)、黒曜の沢(6)、幌加林道(4)
			2 上士幌	黒曜の沢群	STRY		十三ノ沢(16)
			3 趣戸	三股群	KSNM		安住(25)、清水ノ沢(9)
			4 趣川	高砂台群	ODAZ		高砂台(6)、南輪台(5)、春光台(5)
			5 名寄	春光台群	AKSK		布川(10)
			6 新十津川	須田群	NYHK		須田(6)
			7 赤井川	曲川群	STSD		曲川(25)、土木川(15)
			8 豊浦	豊浦群	AMK		豊浦(16)
			9 不道	出来島群	TUHI		出来島(34)
			10 深浦	八森山群	KDDK		八森山公園(8)、六角沢(8)、岡崎(40)
			11 男鹿	金ヶ崎群	HUHM		金ヶ崎温泉(37)、脇本海岸(98)
			12 羽黒	飯本群	OGKS		飯本温泉(16)
			13 新津	月山群	HGGS		月山荘前(30)、朝日町代沢(18)、櫛引町中沢(18)
			14 新築田	今野川群	HGIN		今野川(9)、女瀬川(5)
			15 高原山	金津群	NTKT		金津(29)
長野			16 和田(WD)	高原山口群	THAY	TKH1	坂山牧場(40)
			17 諏訪	高高山群	THNH	TKH2	七尋沢(9)、自然の家(9)
			18 蓼科	和山群	WDY1	WDY1	和山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			19 神奈川	和山群	WDY2	WDY2	和山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			20 箱根	和山群	WDY3	WDY3	和山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			21 天城	和山群	WDY4	WDY4	和山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			22 神津島	和山群	WDY5	WDY5	和山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			23 島根	和山群	WDY6	WDY6	和山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			24 隠岐	和山群	WDY7	WDY7	和山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			その他			16 和田(WO)	男女倉1群
17 諏訪	男女倉2群	WOMS				OMG2	ブドウ沢(96)、ブドウ沢右岸(18)、牧ヶ沢上(33)、牧ヶ沢下(36)、高松沢(40)
18 蓼科	男女倉3群	WOTM				OMG3	ブドウ沢(96)、ブドウ沢右岸(18)、牧ヶ沢上(33)、牧ヶ沢下(36)、高松沢(40)
19 神奈川	霧ヶ峰系	SWHD				KRM	霧ヶ峰のこし(36)
20 箱根	霧ヶ峰系	SWHD				KRM	霧ヶ峰のこし(36)
21 天城	霧ヶ峰系	SWHD				KRM	霧ヶ峰のこし(36)
22 神津島	霧ヶ峰系	SWHD				KRM	霧ヶ峰のこし(36)
23 島根	霧ヶ峰系	SWHD				KRM	霧ヶ峰のこし(36)
24 隠岐	霧ヶ峰系	SWHD				KRM	霧ヶ峰のこし(36)
その他	霧ヶ峰系	SWHD				KRM	霧ヶ峰のこし(36)

佐々木繁喜氏提供資料(まだ地図には入れていない)

折腰内群	KDKK	小泊市折腰内(8)
北上折居1群	KKO1	水沢市折居(36)、花巻市形田ノ沢(36)、雫石小赤沢(22)
北上折居2群	KKO2	水沢市折居(23)、花巻市形田ノ沢(8)、雫石小赤沢(2)
北上折居3群	KKO3	水沢市折居(5)
湯ノ倉群	MZYK	宮崎町湯ノ倉(54)
色麻群	SMNG	色麻町根岸(48)
秋保1群	SDA1	仙台市秋保土蔵(17)
秋保2群	SDA2	仙台市秋保土蔵(35)
塩竈群	SGSG	塩竈市塩竈港(22)

第228図 黒曜石原産地判別図(1)



第228図 黒曜石原産地判別図(2)

第4章 総括

第1節 調査成果のまとめ

1. 検出遺構の概要

和野Ⅰ遺跡の発掘調査において、縄文時代前～中期の集落・捨て場と、古代の集落跡が検出された。いずれの時期についても、田野畑村域においては質・量ともにもっとも充実した資料であるといえる。検出した遺構を時期ごとにあげると次のとおりとなる。

(1) 縄文時代

a. 竪穴住居跡5棟（第10～14号竪穴住居跡、うち第11・12号竪穴住居跡は重複する）

すべて南側調査区西部に位置する。第10号竪穴住居跡は隅丸長方形のプランを有する。出土遺物および年代測定の結果から縄文時代前期に属すると考えられる。第11・12号竪穴住居跡はともに調査区外に延びているが、いずれも円形または楕円形のプランを有している。第12号住居には土器埋設石囲炉が1基付帯しており、縄文時代中期以降に属すると考えられる。第13・14号は削平のため壁が確認できないことからプランは不明である。

b. 土坑28基

土坑の掘込面には、削平されているものを除くと、1)Ⅲa層上面、2)Ⅲa層中、3)Ⅲb層上面、4)Ⅲb層中、5)Ⅳ層上面の5種がある。基本層序の堆積年代から考えて、Ⅲa～Ⅳ層上面から掘込まれている1)～5)の土坑についてはほぼ縄文時代前期～中期におさまるものと考えられる。さらに南部捨て場と切り合い関係をもつものを加えて、縄文時代前・中期の土坑として認定できるものは第12・13・19・25・26・27・32・38・40・55・56・57・58・59・63・64・65・66・67・68・69・70・84・85・86・87・88・89号土坑の28基である。

c. 捨て場（南北2カ所）

北部捨て場は、北側調査区北端に位置する。南部捨て場は、北側調査区北部に位置する。北部捨て場からの出土遺物は少ないが、時期は縄文前期後葉～中期前葉と考えられる。南部捨て場からはTo-Cuと考えられる火山灰の上位を中心として多量の遺物が出土した。時期はやはり縄文前期～中期初頭である。

d. 焼土・炭化物集中区3基

形成面より縄文時代と考えられるものは、第1、2、4号焼土・炭化物集中区である。

(2) 古代

a. 竪穴住居跡9棟（第1～9号竪穴住居跡）

第1～7・9号竪穴住居跡は、隅丸方形の平面形でカマド・煙道を有しており古代の住居と考えられる。第8号竪穴住居跡は調査区内ではカマド・煙道を確認できないが、年代測定の結果ではこの時期に属するものと考えられる。9号をのぞいてすべて南側調査区に位置する。

住居の規模は、1辺が3～4m程度と比較的小規模なものが多い。カマドの袖は扁平な石が芯材に利用されており、明確な柱穴をもたないのが特徴である。貼床がみられる住居も多く、こうした住居の床は地山のロームと旧表土と考えられる黒土が混在する土で形成されている。田野畑村内でこれまでに発掘調査された古代の遺跡は、子木地の台遺跡のみである。この遺跡でもカマド袖の芯材には扁平な礫が利用されており、明確な柱穴もみとめられず本遺跡との共通点が多い。規模のうえでも比較的小規模である点が共通しているが、貼床のある例は認められない。

b. 焼土・炭化物集中区2基

第4・5号焼土・炭化物集中区は、層位的所見およびフローテーションによって出土したイネとそれを試料とした年代測定の結果から古代と考えられる。

(3)近世

a. 墓坑1基

第29号土坑がこれにあたる。寛永通宝や人骨が出土し、それ以外の不明骨も検出された。

(4)時期不明

a. 掘立柱建物跡1棟

南側調査区東部で1棟検出された。上面が削平を受けており、遺物の出土もないため、明確な時期は不明である。柱穴の特徴や平安期の竪穴住居跡との位置関係から、平安期に属する可能性が高いと考えられる。

b. 土坑60基

掘込面から縄文時代として認定した28基、および近世の墓坑と考えられた1基をのぞく、すべての土坑が含まれる。このうち北側調査区北部に位置する第46号土坑は断面フラスコ状の貯蔵穴の可能性が高い。

2. 出土遺物の概要

(1)出土遺物の総量

発掘調査によってえられた出土遺物はすべてが報告書に掲載されるわけではなく、何らかのかたちで選択されているのが通例である。しかし、多くのばあい出土遺物総量の具体的な数値は明らかにされておらず、岩手県内のほとんどの調査においても、せいぜいコンテナ単位での概数が記述されているにすぎない。しかし、コンテナの規格や遺物の収納方法に基準があるわけではない以上、現状では無視しえる小さな誤差で出土量を記述することは不可能である。

さらに、報告書に図示されている遺物の選択基準は明確にされていない場合がほとんどであることから、調査と整理にかかわるさまざまな現在のコンテキストや報告者の主観・意図が非明示的に報告書に反映された結果となっている。発掘調査と報告書作成は一定の主観にもとづく作業にちがいないが、一連のプロセスの「根拠」や「基準」が不明である場合があまりにも多く、調査過程と結果の追認が不可能であったり定量的な分析に耐えない点は、多くの発掘調査報告書がかかえる問題と考えられる。

歴史資(史)料としての遺跡の内容をひろく伝達する第1次媒体として報告書の役割が大きい現在、報告書掲載資料が考古学的な検討の単位になったり、遺跡の評価を左右する場合も少なくない。図示されてい

い資料もふくめて検討対象とする場合でも、検討対象を決定する過程ではやはり報告書が大きな情報源であることには変わりはなく、掲載遺物がどれだけの母数のなかからどのような基準で選ばれたのかは、分析しようとする資料の性質を表すもっとも基本的かつ不可欠な情報といえる。理想的には、すべての資料の個体・母岩別分類をおこなったうえで個数と重量が示されるべきである。しかし、土器片の無目的なカウントにはコスト面からも議論の余地があるため、遺構・グリッド・層位ごとの土器総重量や石器個数および図示遺物の選択基準は、最低限の情報として明示する努力を怠るべきではないであろう。

本遺跡での集計結果によれば、表土をのぞく出土土器の総重量は1,982,706 gであり、このうち報告書に掲載した遺物は土器が446,452 gである。また、出土石器の総点数は2139点であり、このうち図示したものは石器が396点である。土器は、重量比で全体の22.5%、石器は個数比で全体の18.5%を「報告」したこととなる。

ただしここでは、土器は30 g～50 g以上の口縁部および全体の1/2以上が残存している底部資料を、石器もすべてのツール・不定形スクレイパーを掲載しており、東北地方における縄文期の報告書としては掲載遺物数が多い部類に属するといつてよいであろう。全体の出土量にもよるが、とくに東日本における多くの縄文期の遺跡では図示資料がより少数にとどまっている場合が大多数と予想され、考古学的にまともな検討対象となるものはその中からさらに選択されている場合が多いわけである。

現在の考古学が出土資料全体からみればさきわめて限られた部分に依拠していることがわかると同時に、われわれが粗製土器や胴部破片から情報を読みとることにいかに消極的であったかを改めて痛感させられるのである。これらの扱いを放棄することは簡単ではあるが、可能なかぎりの積極的な扱い方についても自戒の念を込めつつ検討を重ねてゆきたい。

本遺跡での遺構・層位ごとの遺物出土量を、第21～27表にしめておく。各遺構・層位で、総出土量が多くなるほど、図示される資料が増えるわけでは必ずしもない。しかし、総出土数が少なくなるほど、図示資料が少なくなるという傾向はあるようだ。これは、総出土数の相対的な少なさ、土器破片の小ささに相関があることを示している。石器は土器よりも出土量がすくないうえに、「器種」という価値判断が入っているため、大きさをもとにした土器とは同列に扱えない。剥片を提示できなかった点は、石器の製作技術を報告するという意味では不十分なものと言わざるをえない。

(2) 土 器

捨て場をのぞく遺構では、第9号竪穴住居跡からの出土量が突出している。再三ふれてきたとおり、これは住居が捨て場を掘込んで構築されていることと密接に関係しており、土器のほとんどが縄文土器である点もこれを示している。しかし、古代の竪穴住居からの出土土器は縄文土器が多いという傾向は他の竪穴住居でも同様であり、埋土・床面・貼床からは土師器よりも縄文土器の出土がかなりめだつ。これは、遺構の残存状況が悪い南側調査区東部においても、かつては縄文時代の遺物が相当に包含されていたことを示しており、調査区の広い範囲に遺構や包含層が存在していた可能性が高いといえよう。

後に述べるように、南部捨て場は主として縄文前期後葉～中期前葉に形成されたものである。

(3) 石 器

遺構の出土石器はやはり第9号竪穴住居跡が突出している。すべて周辺の縄文期の捨て場から混入してきたものである。その他の遺構では石器の出土は極めて少ない（第29表）。

捨て場からは各層で石器が出土した。ツールは、石鏃・石匙を中心とし、各層で安定した組成を呈して

おり、一般的な縄文期の遺跡と大きな違いはない。強いて特徴をあげるとすれば、石錐・石錘・石皿・砥石が少ない、カツオブシ形石器が3点出土した点があげられよう。各遺構・層位での出土点数は第29表のとおりである。

(4)土製品・石製品・鉄製品

とくに土製品で機能・用途が不明なものが多い。装飾品では、表土をふくめると珧状耳飾が9点出土している点が特筆される。そのほか、石製品には有孔や環状を呈するものがある。そのほか角釘・釣針?・板状の鉄製品や、古寛永2点が出土している

[高瀬克範]

第2節 南部捨て場出土土器群の構成と特質

はじめに

南部捨て場出土土器は、三陸北部における縄文時代前～中期のもっともまとまった土器群である。ここでは、これらの構成と変遷および製作技術上の特色を簡単にまとめておく。

1. 器種・組列

器種には深鉢、鉢、浅鉢がある。それぞれの器種には、数種の組列が含まれている（第229図）。

(1)深 鉢

a. バケツ型

器壁が直線的にひろく単純な器形である。口縁部に幅が狭い文様帯・無文帯を設けて粘土帯を横位にはりつけるもの（a 1）、やや幅の広い口縁部文様帯をもうけ細い粘土紐で文様帯下限を区切るもの（a 2）、無文のもの（a 3）によって大部分が占められている。

b. ラッパ型

口縁がやや大きく開くもので、いわゆるキャリパー形器形の初期段階や、その祖型もふくまれる。口縁部に沈線文や貼付文による文様帯を持つものが多いが（b 1）、無文のもの（b 2）もある。

c. 内傾型

口縁部がやや内傾するもの。幅の狭い無文帯を口縁部に設定したうえで横位に貼付をめぐらすもの（c 1）、無文のもの（c 2）がある。

(2)鉢

d. バケツ型

深鉢のバケツ形がやや浅くなったものである。深鉢と同様に、口縁部に狭い文様帯もしくは無文帯を設けて、その下端を貼付で区画するもの（d 1）、無文のもの（d 2）がある。

e. 金魚鉢型

口縁部が大きく開き胴部が強く張り出す器形。口縁は波状で明確な文様帯が設けられるもの（e 1）があるが、無文のものはない。

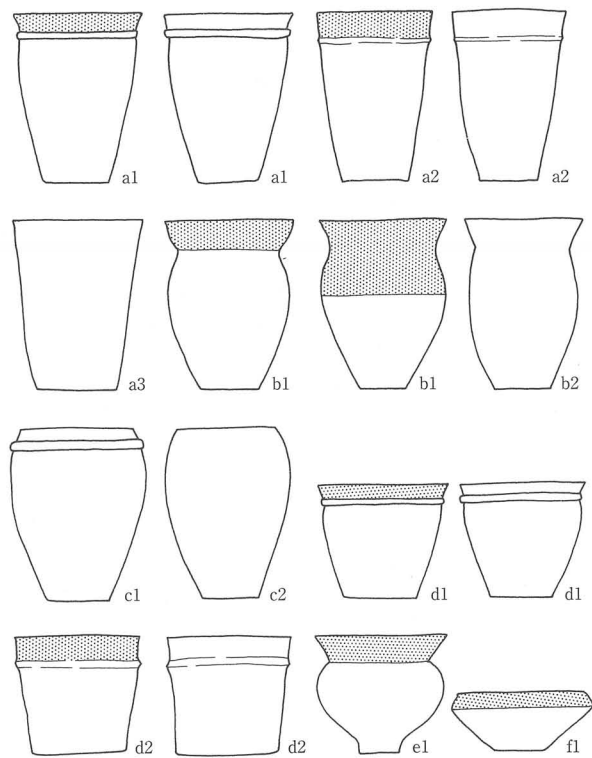
(3)浅 鉢

f. 屈曲型

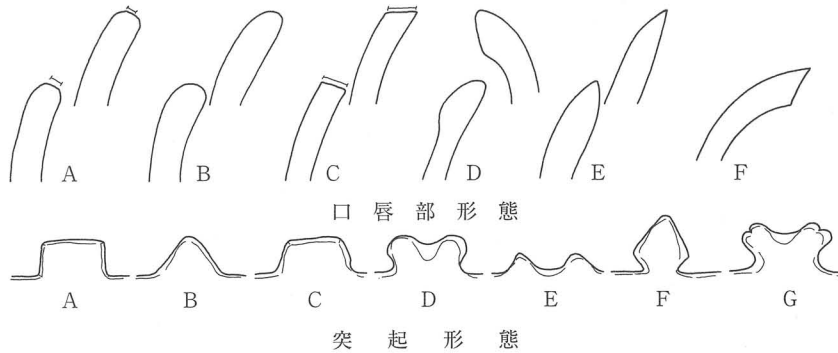
口・胴境界が強く屈曲し、口縁部が内傾する。口縁部文様帯に貼付文・沈線文で文様が描かれるもの（f 1）がある。

2. 土器の製作技術

第6～13表の項目にしたがい、土器群の技術的特徴をまとめた。属性表の内容解説もかねる。



組列模式図



第229図 土器の組列・口唇部形態・突起形態（トーンは文様帯）

(1)素地作成

素地の混入物には細砂・礫・繊維・雲母・海綿骨針がみられるが、雲母や海綿骨針は混和剤として意図的に加えられていたのかどうかは不明である。属性表では、胎土の混入物の種類とそれぞれの量を、多量・やや多量・少量・微量の4段階にわけて記載している。雲母・海綿骨針を含むものは極めて少なく、多くは砂礫をマトリクスに混和している。

繊維の混入はより古い層準で顕著である。1層でも繊維を混入した土器は見られるが、その比率や混入される繊維量などは、時間の経過に伴って確実に減少する。

(2) 成 形

口唇部の断面形態、突起形態、粘土帯の積み上げ痕に着目する。口唇部の断面形態は、ほぼ5種類に分類することが可能である（観察表では須恵器の口縁部形態として、外面に平坦面を持つ第6の分類（F）を加えている）。Aは頂部にやや平坦な面を残しながらも角が丸いもの、Bは全体が丸く成形されているもの、Cは明確な面取りがされており角が角張るもの、Dは内面が肥厚するもの、Eは頂部がとがるものである（第229図）。

突起形態は7種類に分けられる。Aは方形のもの、Bは三角形のもの、Cは台形のもの、Dは一度くびれて先端部で開くもの、Eは山が2つあるもの、Fはダイヤ形のもの、GはDと類似するが先端が2つに分かれるもの、である（第229図）。

粘土帯の積み上げ痕は、内傾接合、外傾接合、カマボコ状の接合の3種に分けた。さらに全資料中から擬口縁試料を抽出し、粘土帯積み上げに関するデータを増やすことにした。底部には、成形時の台として使われていた木葉痕や網代痕と思われるものが多数みられる。底面の側面からヘラのようなものを側面から差し込んだ痕跡もしばしば認められ、成形台からの切り離し方法と関係しているものと考えられる。網代痕は、底部が若干揚げ底気味になっているものが多いため、底面の全面にわたってみられるのではなく縁辺部にみられるものが多い。

器壁断面の積上痕および擬口縁資料からみるかぎり、断面カマボコ状の粘土帯積み上げによる成形が考えられる。明確な内傾・外形接合が主たる成形技術になっていたとは考えにくい。また擬口縁の出現率は、重量比で約0.05%（表土をのぞく総出土量1,982,706g／擬口縁1,069g）と非常に低く、成形途中での作業の中断は工程として確立したものではなかったと考えられる。

多くの場合、底面には目立った特徴は認められないが、網代痕（？）や木葉痕が認められるものもある。

(3) 施 紋

地紋の分類と呼称は山内（1979）にしたがった。地紋の認定は、原体のヴァリエーションが多様であることに加え、表面の摩滅が著しいものが多く、原体の（回転）圧痕が明確になされていないものも多いため、非常に困難が伴う。また、丸組紐の回転圧痕が多いことが特徴となっている点も原体の特定を難しくしている。

丸組紐は山内（1979）によって、1）R右巻・R右巻、2）R右巻・R左巻、3）L左巻・L左巻、4）L左巻・L右巻、の4種が認められており、関山式や円筒下層式に用いられることが明らかにされている。器表面に明確に刻印された丸組紐のばあい、節内の繊維の傾きと、節の傾きによって、原体と巻きの方向を推定することが可能である。しかし、本遺跡で観察される丸組紐回転紋は、原体の材料や作りそのものが粗雑であり、明確に印刻されていないものが多い。さらに、山内が認識した4種以外にも、1）異なる巻きの方向が不規則に組み合うものや、2）節内の繊維の傾きからr、lおよび未撚原体をもちいたと推定される丸組紐がある。

丸組紐のほかには1段～3段の各種縄原体、附加条、単軸絡条体1類、1A類（木目状撚糸文）、5類（網目状撚糸文）、多軸絡条体などがみられる。丸組紐のうち同方向の巻をもつものについては、表面の保存状態から明確に区別することは難しいが、直前段合撚が混在しているかもしれない。

丸組紐のほかには、LR、RL、L、R、l、rの回転圧痕が多用されており、これらを用いた単軸絡条体や結節原体も多く見られる。原体の回転方向にはめだつた規則性はみられないが、単軸絡条体・結節のば

あいは縦位回転が多い。

(4)施 文

属性表では、施文は口唇部・口縁部・胴部の部位ごとに把握した。胴部に文様を持つものは極めて少なく、文様は口縁部文様帯に集中する傾向がある。

口唇部に加えられる文様はキザミが圧倒的に多い。キザミは大きく3種がみとめられる。Aはヘラや爪で施文される幅の広いもの、Bは棒状工具で施文される幅の狭いもの、Cは刃物状工具で施文される極めて幅の狭いもの、である。とりわけAは各層で普遍的に見られるが、右から左に向かって押圧されているものが多い。また、口唇部内面にもキザミが加えられているものも目立つ。

口縁部の文様は、貼付と沈線が主となり、これにキザミや刺突なども加わる。貼付は、器壁に接着したのち、両側縁をなでて調整を行うものは少なく、多くがそうした調整を受けていないものである。このため、土器の焼成・使用時に剥落したと考えられる貼付文が非常に多く見受けられる。

胴部には文様が施されることがほとんどないが、まれに貼付文やそれにとまう刺突文などが見られることがある。この場合、文様は地紋の上に施されることが多い。

施文工程全体を通してみた場合の施文順序は、地紋ののちに施文を行うものが多いが、その逆も少なからず認められる。施紋と施文はかならずしも明確に分離された作業ではなかったらしい。

(5)調 整

内面には指頭圧痕が残存するものが目立つが、これは調整工程での作業ではなく、成形工程での作業痕跡と考えられる。一般的な内面調整は横位のナデであるが、斜位・縦位のナデも多く見られる。通常は、部位によって明確に調整方向を変えることはしていないが、底部に近くなるにしたがって斜位・縦位に近くなる傾向はある。ミガキはほとんどみられず、成形あるいは施紋・施文工程と調整工程が時間的に近接して、あるいは同時におこなわれていたと考えられる。

底面も研かれる場合はほとんどなく、無調整かナデが一般的である。

(6)焼 成

属性表では、良好と不良の2つに分けた。焼成は不良が多いうえに、胎土に砂礫が比較的多く混入されていることもあって、土器は非常に脆弱である。

3. 南部捨て場土器群の変遷

中振火山灰下位の4層がもっとも古く位置づけられるが、出土資料が少ない。1950-1例から考えるならば、器形は単純に器壁が立ち上がる深鉢で、羽状の回転縄文を有するものが少なくとも含まれている。本来の層準から出土しているとは考えられないが、南部捨て場からは3 a層の1407-1のように大木2 bから4式に比定しうる破片も少ないながらも検出されており、異なる地点にこれらの包含層が残存している可能性がある。

中振火山灰直上の3 e層では、口縁部に幅の狭い無文帯を有し、その下に貼付をめぐらすという、本遺跡でもっとも特徴的な土器が出現している。地紋には、2段の縄だけでなく、丸組紐や絡条体圧痕文もすでに利用されている。

このような土器群とともに、口縁部に狭い文様帯を有する円筒下層式の出土が目立つ点が、3 e 層の大きな特徴である。円筒下層 d 式に比定されるが、これらの胎土は精良なマトリクスに多量の繊維を含んでいるものが多く、また焼成も良好で、色調が明褐色または灰褐色を呈しているものが多いため、非常に特徴的である。すくなくとも、円筒下層式については他地域からの搬入品がふくまれている可能性が高い。

3 d 層では、円筒下層 e 式も若干見られるが、ほとんどすべてが在地の特徴を持つ土器群によって構成されるようになる。3 c・3 d 層になると円筒形の土器はまったく見られなくなる。3 b 層における2493-1、1716-7のように明らかに古い土器もみられるが、これは捨て場の形成過程とかかわる混入とみてよいだろう。ただし、3 c 層における2523-4のようにキャリパー形の祖型のような土器については、新しいものが混入したのか、本来的にこの層に帰属するかの判断は、三陸地方（特に北部）での大木7 a・7 b 式の検討が十分に進んでいない現時点では、安易に行うことはできない。

3 a 層の508-1は、胎土・焼成・施文技術があきらかに他の土器とは異なっており、搬入品と考えられる。そのほかは明確に搬入品と判断しうるものはなく、三陸北部の地域色がつよく維持された状態を看取することができる。

2 b 層にいたってはじめて、精製土器と粗製土器の区分が可能となる。精製土器には、キャリパー形の祖型と見なしうるもの、金魚鉢型の組列が明確に加わってくる。大木7 a を中心として一部に大木7 b 式をふくむ年代幅の中で捉えることが可能であろう。粗製土器は在地の系統を引くもので構成され、器形・文様構成・地紋などは3 e 層iraいの伝統を色濃く残している。

2 a 層は精製土器の中心が大木7 b 式となるが、1層はふたたび粗製土器しか把握できていないため、捨て場の下限の年代を押さえることは難しい。

3 e・3 d 層における円筒下層 d 式の存在、3 c 層におけるキャリパー形祖型土器の存在、2 b 層における大木7 a・7 b 層の構成などを考えあわせると、縄文前期と中期の境界は3 c～2 b 層のあいだのいずれかにあることは間違いない。3 a・3 b 層段階の時間的指標となる土器群の様相が明確でないため、詳細を断定することはできないが、本捨て場は主として中振火山灰の降下以後、縄文時代前期後葉～中期前葉にかけて形成されたことも疑いがないだろう。

これに並行する時期の他遺跡と比較してみよう。青森県南部では前期前葉まではいわゆる白座式など大木系の影響を受けた土器群も見受けられるが、近年の畑内遺跡の調査成果にあらわれているように前期中葉以降は明確な円筒下層・上層式が大多数を占めている状況が確認できる（木村ほか1997）。岩手県域においては、大日向Ⅱのように馬淵川流域では円筒系優勢の中に大木系も一定量認められるが（高木1998）、久慈市行きでは沿岸北部では円筒形が圧倒的に優勢のようである。いっぽう沿岸中・南部では大木系が主となることはこれまで崎山貝塚（高橋・三浦1995）・牧田貝塚（及川1971）などの調査から推定されていたが、久慈・宮古の中間地帯での状況はほとんど不明であったとよい。和野Ⅰ遺跡では、前期後葉段階には有文・精製土器は主として円筒系によって構成され、中期段階にいたって大木系の影響が急速に強まってくるのが明らかにされた。

しかし、前・中期いずれも土器群全体の中に占める有文・精製土器の比率はきわめて低い。大多数を占めているのは、地紋のみの素文、もしくはここでバケツ型の組列と称した口縁部に幅狭の無文帯をもうけ貼付帯で文様帯下限を区画するものであり、一般的な区分で言えばこれらはすべて大木系の粗製土器の範疇で理解されうるものである。しかし、この種の粗製土器は前期段階より沿岸北部で多数製作されており、有文・精製土器が円筒から大木系に変化しても粗製土器は類似した特徴を有する土器製作の伝統が途絶えなかった

と考えたほうがよいかもしれない。沿岸中南部や北上川流域では少なくとも前期段階まではこうした粗製土器は皆無かほとんどみられないことから、前期末～中期初頭に大木式の粗製土器の一組列としてこれら地域の型式内に組み込まれていたと判断される。

4. 土器の廃棄と捨て場の形成

たとえば、3 a 層の1171-5 Bと3 b 層の1171-5 A（あるいは1210-3 もふくめてよいかもしれない）のように、同一個体が複数の層位にまたがって出土する例が少なからず認められる（観察表・図版ではもっとも下位の層位を帰属層位としている）。また、すでに触れたように、明らかに古い層準の土器が新しい層位に混入していると考えべきケースもある。こうした事例がかなりの数にのぼることを勘案すれば、当然、本捨て場が生活物資の廃棄だけで形成されたと考えるわけにはゆかなくなる。

もちろん、出土状況から見て土器1個体がほとんどそのまま廃棄されたと考えられるものもあり、これは生活物資の廃棄と考えるべき現象であろう。しかし、接合しない破片や同一層位から出土している土器から見て明らかに古い時期に属するものは、どこかべつ場所からもってこられたものがこの場所に廃棄されたと考える方が合理的であろう。捨て場そのものに盛んに掘り返された痕跡が見られない以上、居住域などで竪穴住居の建設などに伴って出土した土器や土が捨て場に廃棄されたと考えられる。また、捨て場の堆積土には多量の焼土粒や炭化物が含まれていることから見ても、日常の生活時に生じる不要な焼土や土器を捨てる場としての機能もあったことがわかる。

石器では、486（2 b 層出土）と1428（3 c 層出土）の石鏃の接合例がある。2 b 層と3 c 層の堆積期間は正確にはわからないが、少なくとも数十年のオーダーを想定しうる。ひとつの石鏃がこれだけの長い期間使用され続けていたわけではなく、捨て場以外の場所で別々の機会に掘り返されたものが時間を隔てて捨て場に廃棄されたと考える方が妥当であろう。だとすれば、捨て場に廃棄された多量の土器や石器が包含され、なおかつ盛んに掘削が繰り返された場所（居住域、墓域、貯蔵穴域など）が、今回の調査区以外の場所にあるはずである。今回の調査は、和野 I 遺跡の縁辺部に相当する箇所のみの内容をあきらかにしたにすぎず、周辺に多量の遺物・遺構を包含する箇所の存在が想定されるのである。

5. 基本層序の堆積年代

最後に、基本層序の時間的位置づけにも触れておく。II 層からは1971-1 のような大木 8 a 式や2048-4 のような円筒上層 c 式が検出されている。また、II 層中で検出した第1号集石遺構からは、鉄滓が出土している。以上の点から、II 層の年代は縄文中期～古代にいたる時間幅で堆積したものと考えられる。

III a 層からは大木 7 a、7 b 式、円筒上層 c、b 式、円筒下層 d 式が出土しており、縄文前期後葉～中期前葉にかけて堆積したものと考えられる。

III b 層から出土した資料には、明確に時期を比定できる資料は少ない。羽状縄文を有する深鉢の存在から、上限は押さえられないものの縄文前期後葉以前に位置づけることは可能であろう。

[高瀬克範]

第3節 和野I遺跡における剥片石器の特徴と使用痕

1. 石器群の特徴について

以下、石器群の主体をしめる石鏃と石匙について観察中に気づいた点についていくつか挙げたい。

(1)石鏃について

a. 石鏃の置き方・表裏天地の基準について

平らな面を持つ方を裏面とした。表裏で同じような加工がほどこされており平らな面がないものについては、側辺の加工で最終剥離が入っている方を表とした。

b. 観察所見

石鏃の剥離技術は大きく2種類ある。剥離技術は、SPとS'Pの2種類あることが判明した。これらの剥離技術の違いが何に起因するのか今後検討が必要である。

形態的には、凹基鏃と平基鏃が主体であるが、一部に有茎鏃があり、本遺跡のような有茎鏃は、中期末から後期の可能性が高いと考えられる。剥離技術は、S'Pのものが主体である。所属時期については、伴出している土器が前期末～中期初頭ということであり、検討が必要である。

石材は頁岩が主体を占めるが、そのなかの石質をみるとかなり多様である。また、その他の石材もある程度の量をしめておりその中で緑色凝灰岩と判定した一群の石鏃は、ほぼ作り方が同じである。その特徴は、素材にバルブの発達する直接打撃の剥片を用い、S'Pの剥離技術で整形するものである。形態は、平基鏃のものがほとんどである。

(2)石匙について

a. 石匙の置き方・表裏天地の基準について

摘みの付く位置によって縦置きのもと横置きのものに分けてある。

縦置きの場合

摘みが摘みを除く身の部分の対称軸線上から45度前後の範囲に収まるもの。

横置きの場合

摘みが刃部と対辺にあり、摘みの軸線が刃部にほぼ直交するもの。

b. 観察所見

剥離技術は、石鏃と同じく、やわらかいハンマーのSPとやや堅いハンマーのS'Pの2種類があるようである。加工の範囲も両面加工の押圧剥離で全面を覆うものから片面加工の周辺部のみの押圧剥離をおこなうもの、摘み部だけ作出し、器体には加工を施さないものなど多様である。

素材については、横長剥片と縦長剥片を用いるものがあり、横形石匙には横長剥片を素材とするものが多いようである。

石材は、石鏃の場合と同じく多様である。形態的には、摘みの軸線が刃部に対してほぼ平行か45度の範囲内で交わるものと刃部に対して直交するいわゆる横形石匙のものがある。量的には、前者のものが主体である。

以上のように、作り方にあまりまとまりがないというのが本遺跡の石匙の特徴であると言える。今回、石匙については、ほとんどすべて使用痕観察をおこなったが、使用痕が観察できものは、50%程度でその50%

のなかでもいくつかの使用痕光沢タイプがみられ、使い方についても一定性がみられないことがあきらかになった。使用痕分析の詳細は、使用痕分析報告のほうをご覧ください。

和野Ⅰの石器については、今後剥離面の詳細観察と遺構、層位、土器の内容等との比較検討が必要であると考えられる。また、石器組成が非常に偏っており、他の不定形な剥片石器、剥片類の分析も含めた総合的な検討が必要であると思われる。

[株]アルカ 池谷勝典]

2. 剥片石器の使用痕

和野Ⅰ遺跡は岩手県の海岸部、田野畑村に位置する遺跡である。遺跡から東へ2 kmほどに、リアス式海岸を背に太平洋が広がる。遺跡はこのリアス式海岸の海岸段丘上で確認されている。

この報告では、和野Ⅰ遺跡から出土した石器の使用痕観察を行い、当遺跡における生業活動について石器の使用痕の立場から迫ってみたい。

(1)資料の選択

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターから依頼を受けた石器241点から、石匙104点、石錐4点、筥状石器1点の計109点分析対象として選択した。

(2)観察方法

キーエンス社のデジタルHDマイクロスコープ（VH-7000）による低倍率ズーム（VH-Z05）と高倍率ズームレンズ（VH-Z450）を用いて高倍率の使用痕光沢の観察をおこなった。観察倍率は、5倍～40倍と450倍～1000倍（倍率はマイクロスコープでの倍率で従来の金属顕微鏡の倍率比とは異なる）である。観察面は、中性洗剤で洗浄をおこない、適宜アルコールを浸した脱脂綿で軽く拭き取り、脂分などを取り除いた。観察範囲は、石器表面全体を詳細に観察し、使用痕光沢および線状痕の認定をおこなった。使用痕光沢分類は梶原・阿子島のカテゴリ基準によっている（梶原・阿子島1981）。微小剥離痕の名称は、阿子島（1981）を用いた。

(3)分析結果

石匙については、後で詳しく述べるので、ここでは、石錐と筥状石器について分析結果を報告する。石錐には1点（No.135）、F2タイプらしきかなり微弱な光沢が確認できたが、のこりは軽微の摩滅などがみられた程度であった。線状痕は1点（No.136）に錐部に直交方向に走るものが確認できた。

縁辺には微小剥離痕がみられる。使用によるものか製作時に生じたものかを判断することは難しいが、極度に発達した微小剥離痕が確認できなく、光沢タイプなどと照らし合わせてみても、堅いものより、柔らかいものに対して利用されていたものと考えられる。筥状石器（No.131）には尖頭状の刃部にE2タイプらしき光沢と縁辺に対して直交方向に走る線状痕が確認できた。この部分には、肉眼でも光沢や摩滅がみられる。乾燥皮などに対して掻き取りの操作が考えられる。

a. 石匙の使用痕分析結果

石匙には104点中、50点の石器に光沢や線状痕が確認できた。光沢や線状痕が確認できなかった残り64点中、16点に軽微の摩滅が確認できた。

それ以外の光沢など確認できなかった石器の内、9点には風化など何らかの表面変化を被っているのがみられた。

使用痕が確認できなかった石器は、破損品などを除けば、加工が粗いものや、形態が整っていないものが多く、こうした石器は未製品の可能性が高いと考えられる。

次に使用痕が確認できた50点について観察結果を記す。その中で特に、特徴的な使用痕をもつ石器10点について詳述したい。他の石器の使用痕データは、石器の属性表の中に光沢・線状痕の方向・磨滅の程度と観察できた部位を記した。そちらの方も参照してもらいたい。

No.196 縦形石匙（第230図上）

頁岩製縦形石匙である。刃部は押圧剥離によって、直線形の低い角度をもつ刃部が作出されている。末端部分は円弧状の形態を呈している。使用痕は石器の左辺と末端に確認できた。末端には軽微の磨滅をともなう、鈍く、表面に凹凸のあり、やや脂ぎった光沢が確認できた（写真1）。この特徴からF1タイプ光沢と考えられる。線状痕は確認できなかった。

左辺には、Aタイプ光沢が確認できた（写真2、3）。典型的なAタイプ光沢ではなく、小ピットや線状痕が多くみられ、荒れた様相を呈する。線状痕は縁辺に対して平行方向のものが確認できた。背面側には光沢はみられなかった。摘み部分には、磨滅や光沢などは確認できなかった。

以上の特徴から、草などの植物質の切断に利用されたが、後で末端部分を弧状に作り替えて、別の用途に用いたと考えられる。

No.235 横形石匙（第230図下）

珪質頁岩製の横形石匙である。末端部分の刃部は押圧剥離によって急角度の弧状刃部が作出されている。刃部には肉眼でも強い光沢が確認できた。この光沢は縁辺から離れるにつれて弱くなる。使用痕は、この末端刃部に確認できた。肉眼でも光沢がみられた部分と重なってAタイプ光沢が確認できた（写真1、2）。小ピットと線状痕が多くみられ、やや荒れた様相を呈している。線状痕は縁辺に対して、平行に走るものが確認できた。背面側には光沢は面的に広がらず、剥離稜上に確認できた。

以上の特徴から、草などの植物質の切断に利用されたと考えられる。

No.150 縦長石匙（第231図）

頁岩製縦形石匙である。押圧剥離によって両面に急角度の刃部が形成されている。末端は尖頭状に作出され、鋭い紡錘形を呈している。表面は埋没光沢と考えられる微弱な光沢で覆われている。使用痕は石器の両辺において確認できた。刃の中心にE1、2タイプがみられる（写真1-3）。発達は弱く、縁辺で散見できる程度である。

先端の尖頭状部分には明るく、丸みを帯びた特徴をもつDタイプ光沢が確認できた（写真4-6）。特に剥離稜上に強く光沢が分布し、あまり広い範囲には広がらない。磨滅は中程度から重度でみられた。以上の特徴から、皮や肉などに対して作業が行われた他に、先端部分を利用して、骨や角などの加工に利用されたと考えられる。

No.151 縦形石匙（第232図）

良質の珪質頁岩製の縦形石匙である。押圧剥離によって両面に低角度の刃部を作出している。表面の状態はやや埋没光沢に覆われているが（写真6）、全体的には保存状態は良好である。両縁辺には肉眼でも微小剥離痕が密集して確認できた。剥離末端はステップ形態を有するものが大半を占め、形態は台形やウロコ状のものである。何か堅いものに接触した結果、これらの微小剥離痕が形成されたと考えられる。

使用痕は、左右両辺に確認できた。剥離の稜上や古い剥離面にC、Dタイプ光沢が確認できた（写真1-4）。新しい剥離面には微弱な光沢がみられた（写真5）。線状痕は縁辺に対して平行に走るものがみられた。以上の特徴から、骨や角などの加工に利用されたと考えられる。

No.222 縦形石匙（第233図上）

珪質頁岩製の縦形石匙である。末端部分の刃部は押圧剥離によって急角度の弧状刃部が作出されている。使用痕は、左辺にD2タイプが確認できた（写真1、2）。線状痕は縁辺に対して、平行に走るものがみられた。背面側には剥離の稜上に同タイプの光沢が確認できた。右辺側には微弱な光沢が確認できた（写真3）。

以上の特徴から、骨や角などの加工に利用されたと考えられる。

No.223 横形石匙（第233図下）

頁岩製の横形石匙である。末端部分の刃部は押圧剥離によって急角度の直線状刃部が作出されている。使用痕は、この末端刃部にC、D2タイプが確認できた（写真1）。線状痕は縁辺に対して、平行に走るものが確認できた。背面側には剥離の稜上に同タイプの光沢が確認できた。摘み部分に摩滅と軽微の摩滅が確認できた（写真2）。

以上の特徴から、骨や角などの加工に利用されたと考えられる。

No.157 横形石匙（第234図上）

頁岩製の縦形石匙である。右辺には不規則な押圧剥離によって低い角度の弧状刃部が作出されている。使用痕は右辺にE2タイプ確認できた。光沢にともなって中程度の摩滅と、縁辺に対して平行方向の線状痕が確認できた。それ以外に微弱な光沢が一部で確認されている（写真3）。

以上の特徴から、皮を搔きとりするのに使用されたと考えられる。

No.199 横形石匙（第234図下）

頁岩製の横形石匙である。右辺に押圧剥離によって急角度の縁辺が作出されている。使用痕は右辺に確認できた。縁辺に対して直交方向に走る線状痕がみられ、それにともないE2タイプ光沢と中程度の摩滅が確認できた（写真1、2）。

以上の特徴から、皮を搔きとりするのに使用されたと考えられる。

No.159 縦形石匙（第235図上）

頁岩製の縦形石匙である。右辺に不規則な押圧剥離によって急角度の直線状刃部が作出されている。表面の状態は良好である（写真3）。使用痕はE1タイプ光沢が確認できた（写真1、2）。線状痕は縁辺に対して平行方向に走るものが確認できた。

以上の特徴から、皮や肉などを切断する作業に使用されたと考えられる。

No.214 縦形石匙（第235図下）

頁岩製の縦形石匙である。押圧剥離によって両面に加工を施し、やや急角度の縁辺を作出している。使用痕は右辺にE 2タイプ光沢確認できた（写真1、2）。線状痕は縁辺に対して平行方向に走るものがみられた。

以上の特徴から、皮や肉などを切断する作業に使用されたと考えられる。

(4)考 察

上記の分析結果から和野 I 遺跡出土の石器について考察していきたい。

a. 光沢

確認できた光沢はA、C、D、EとFタイプであり、量的にはFタイプが24点と一番多い。次いでEタイプが18点、C、Dタイプが6点、Aタイプが2点である。光沢から、多くの石匙は動物資源の処理に利用されていたと考えられる。使用痕実験から、肉や生皮は使用痕が形成されるのが、骨、木や草と比較して遅いと報告されており、光沢が確認できなかった石匙の中にも、実際には使用されていた可能性はある。単に光沢が確認できなかったと消極的にとらえるのではなく、石器縁辺の属性などと照らし合わせて考えていかなければならないといえる。

b. 線状痕

Eタイプが確認できた石匙2点に直交方向の線状痕が確認できた（No.157、199、図5）。他は、縁辺に対して平行に走る線状痕が確認された。多くの石匙は対象物を切断するような作業に利用されていたことが、線状痕から伺える。

光沢や線状痕のパターンと石匙の形態との間には明確な区分はみられなかった。一部、C、Dタイプが確認できた石匙は、先端が尖り、両面を押圧剥離によって丁寧に加工した、左右対称の石匙に多い傾向がある程度である。縦形石匙と横形石匙の形態の異なりが何を表しているのかは使用痕分析から導き出すことはできなかった。和野 I 遺跡出土の石匙を利用するにあたって、形態的なものと、使用による操作方法に強い相関関係はなかったと考えられる。

光沢から、主に動物資源の加工処理にこれらの石器が利用されていたと考えられる。同遺跡出土の石鏃の出土からも、狩猟活動が盛んに行われていたことが伺える。こうして得た捕獲獣を解体し、骨や角などを加工する際に、石匙を利用していたと考えられる。骨や角を加工した石匙の存在は、装飾品や狩猟具を製作していた他にも、遺跡東に広がる太平洋から、漁労具の製作にも寄与していたことを間接的に示す資料となるかもしれない。

一方で、捕獲した動物の皮などを加工すると考えられる道具は、篋状石器や石匙2点を除いて確認できなかった。

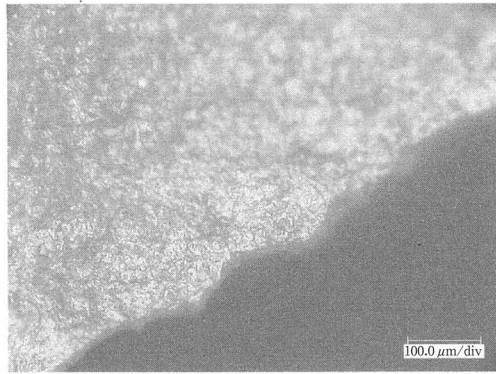
まとめ

以上、和野 I 遺跡出土石器を、使用痕分析を通して記述してきた。多くの石匙は、動物資源を処理するための道具と考えられ、肉や皮などの切断や骨角器製作に利用されていたことが、使用痕分析から伺える。お

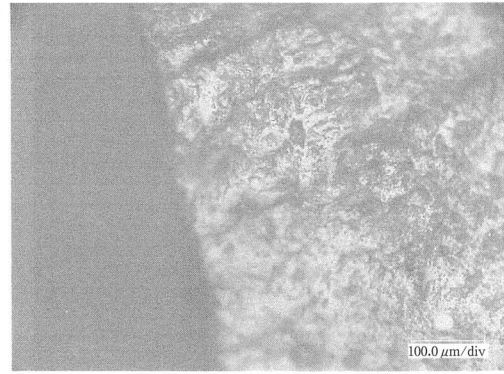
そらくは、周辺の環境を巧みに利用した結果、石器の縁辺にこのような使用痕が生じたのであろう。

今後、岩手県の海岸地域の他に、内陸部や他県の使用痕分析を通して、縄文文化が地域ごとにどのような生業活動を展開してきたのかを実証的に検証していく必要がある。

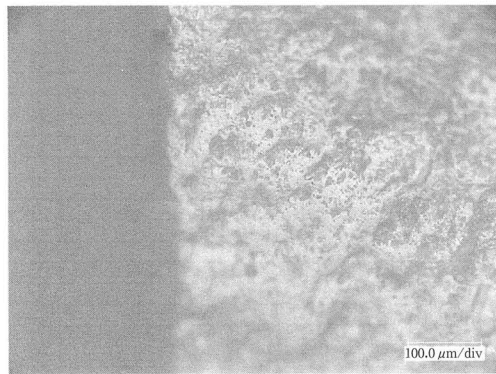
〔株〕アルカ 高橋 哲



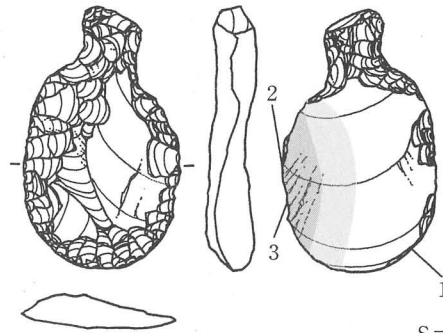
1 微弱な光沢と軽微の摩滅



2 Aタイプ光沢

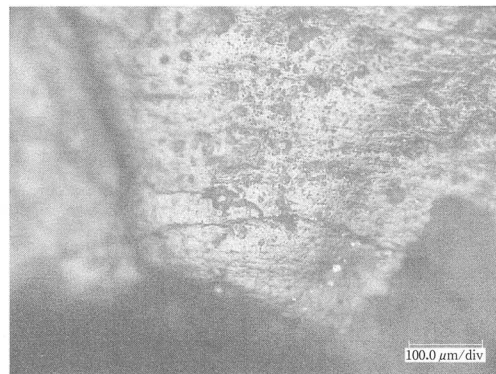


3 Aタイプ光沢

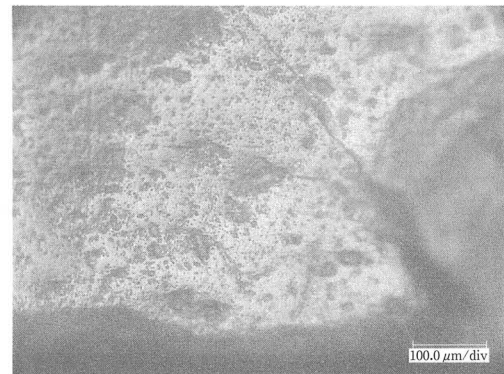


S=2:3

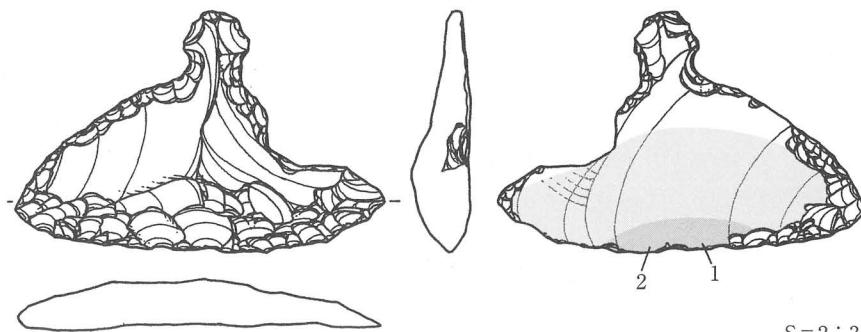
No.196



1 Aタイプ光沢



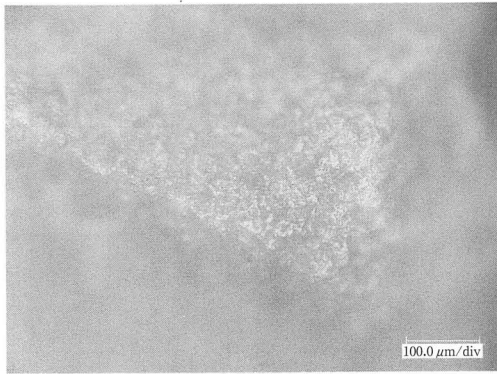
2 Aタイプ光沢



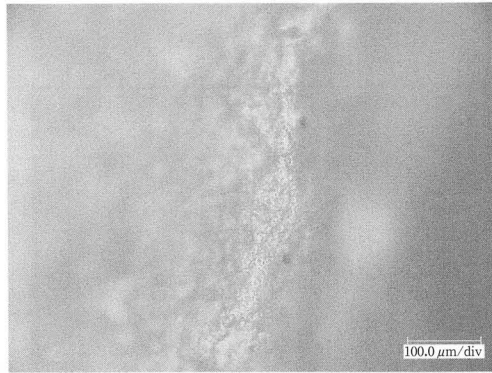
S=2:3

No.235

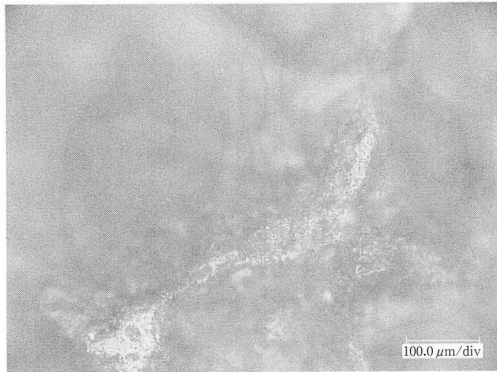
第230図 石匙の使用痕(1)



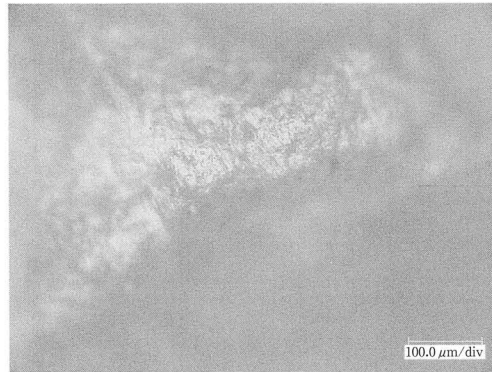
1 E2タイプ光沢



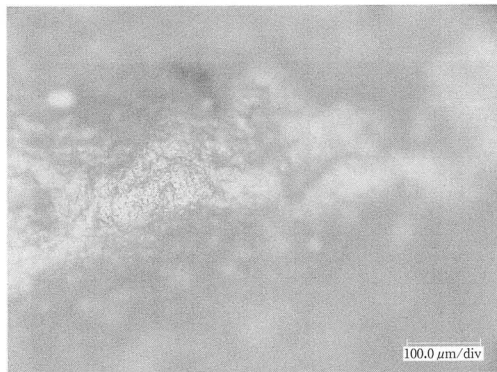
2 E2タイプ光沢



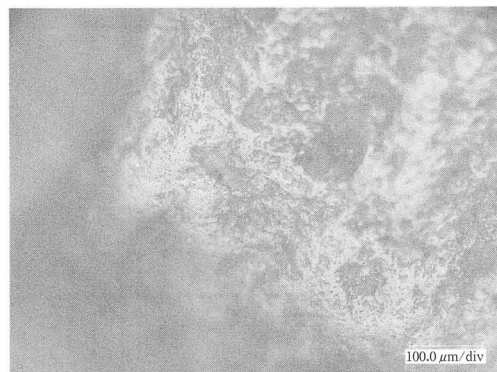
3 E2タイプ光沢



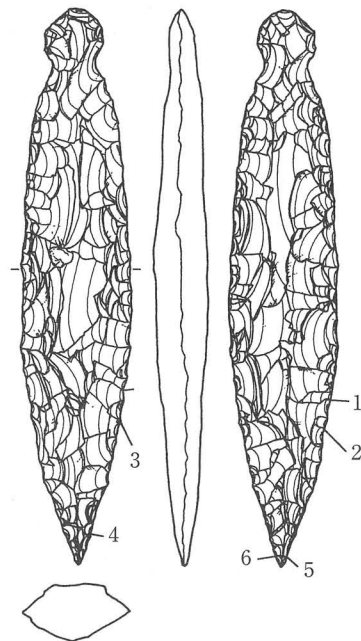
4 D2タイプ光沢



5 D2タイプ光沢



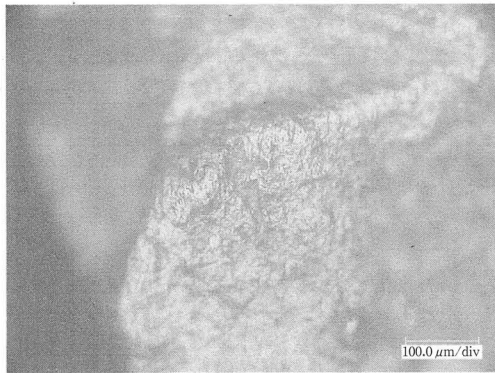
6 D2タイプ光沢



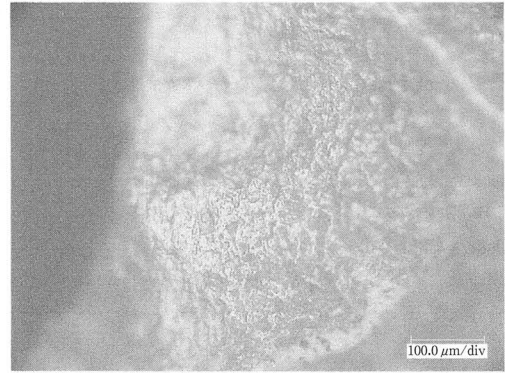
S=1:2

No.150

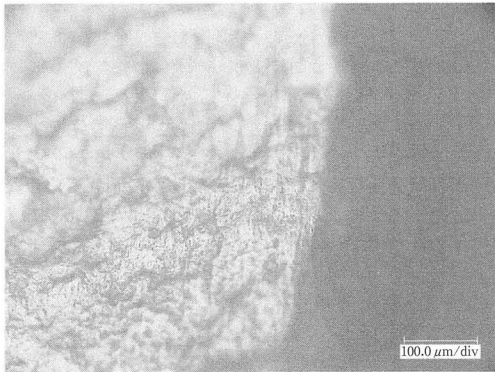
第231図 石匙の使用痕(2)



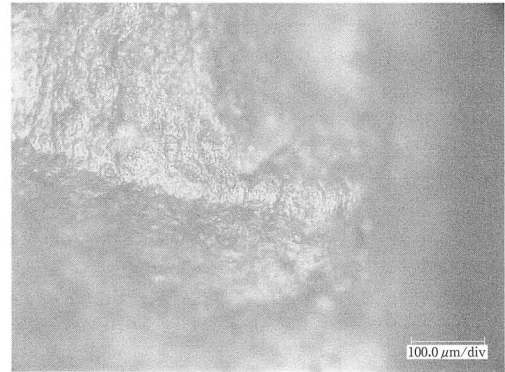
1 C、D2タイプ光沢



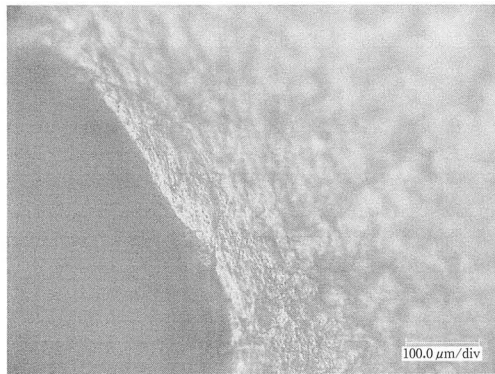
2 C、D2タイプ光沢



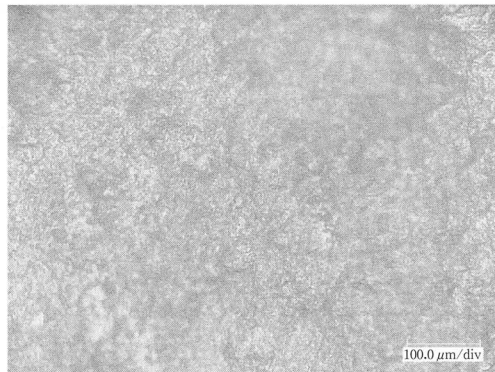
3 C、D2タイプ光沢



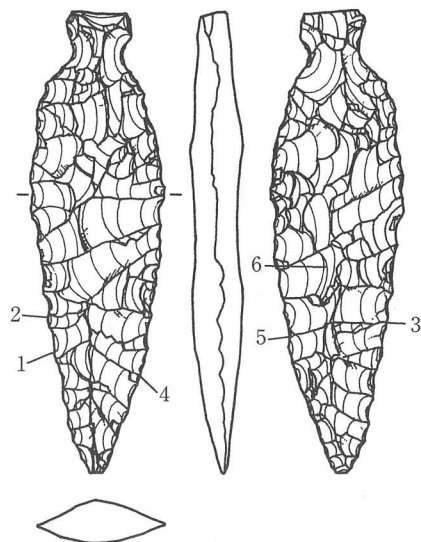
4 稜上の光沢と線状痕



5 微弱な光沢



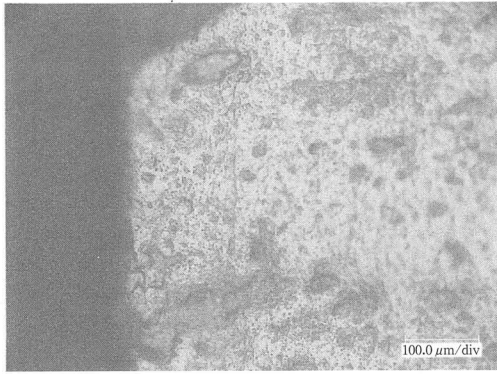
6 石器の表面



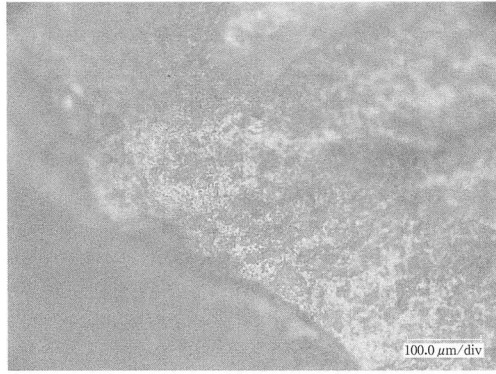
S=2:3

No.151

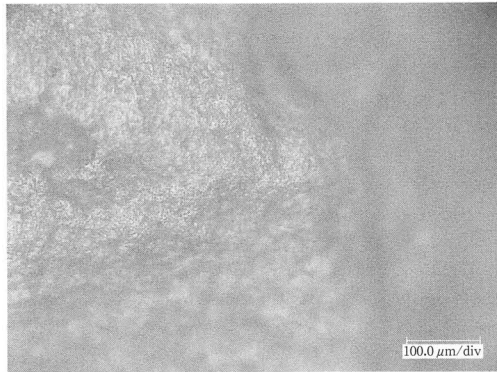
第232図 石匙の使用痕(3)



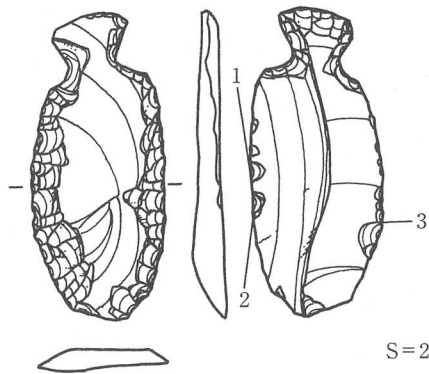
1 D2タイプ光沢



2 D2タイプ光沢

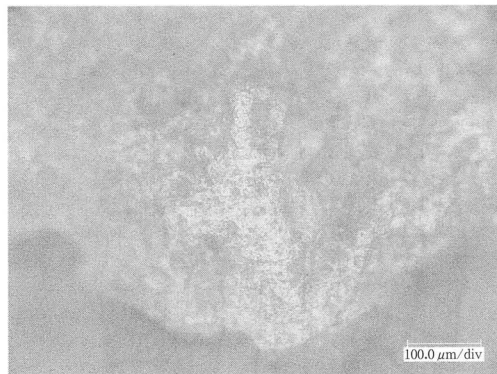


3 微弱な光沢

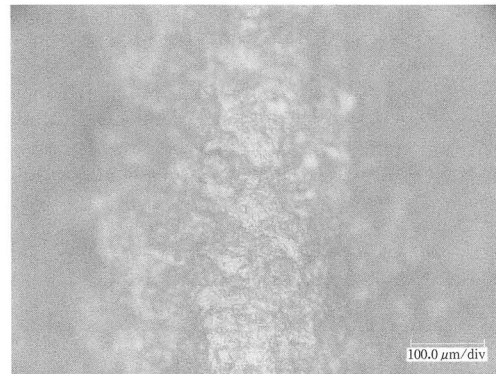


S=2:3

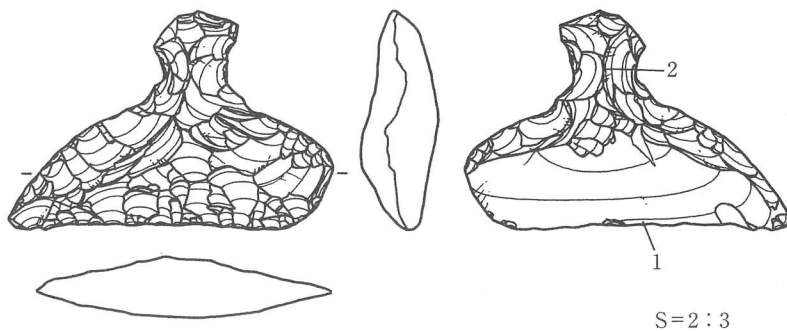
No.222



1 C、D2タイプ光沢



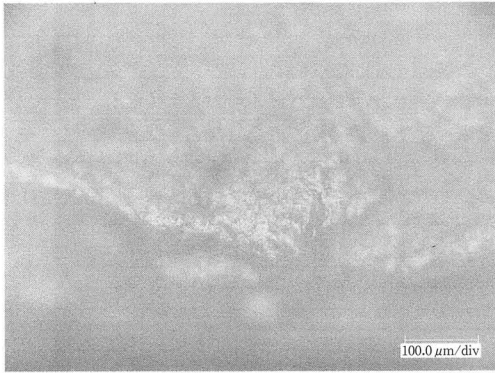
2 握み稜上の摩滅



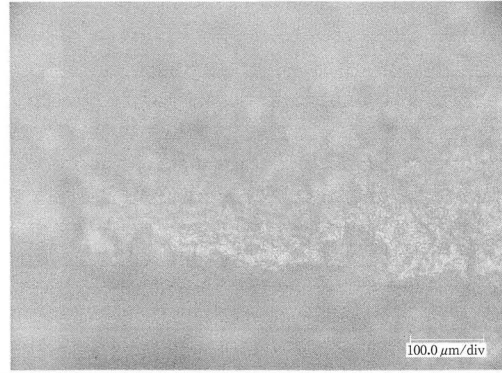
S=2:3

No.223

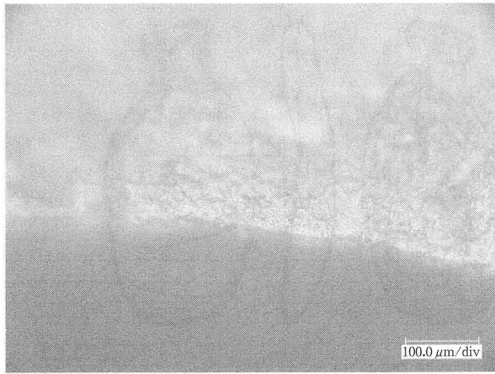
第233図 石匙の使用痕(4)



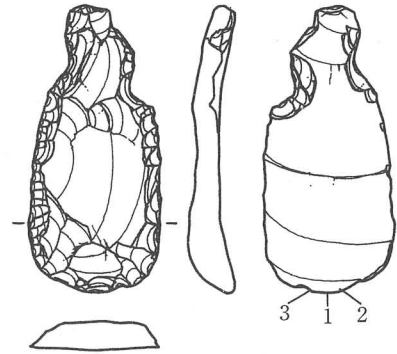
1 E2タイプ光沢



2 E2タイプ光沢

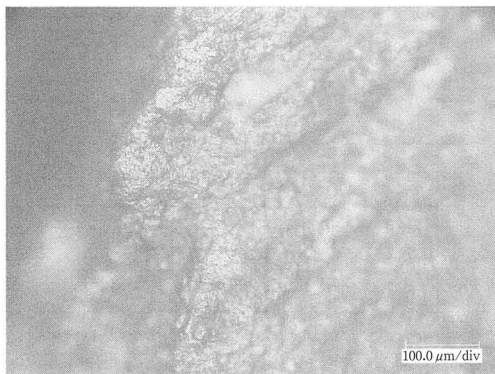


3 微弱な光沢

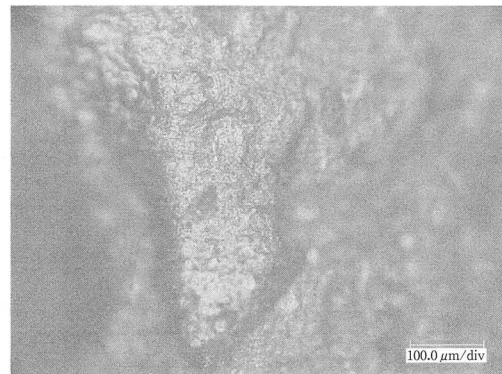


S=2:3

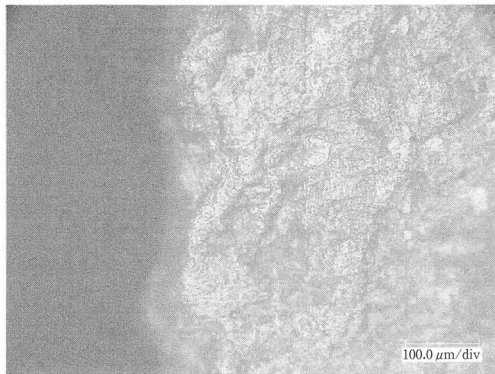
No.157



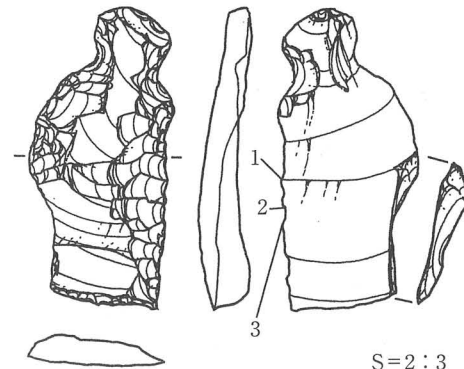
1 E2タイプ光沢



2 E2タイプ光沢



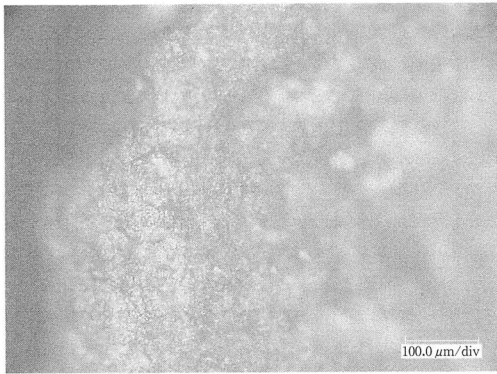
3 E2タイプ光沢



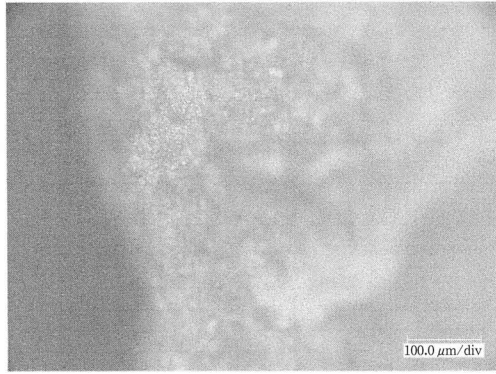
S=2:3

No.199

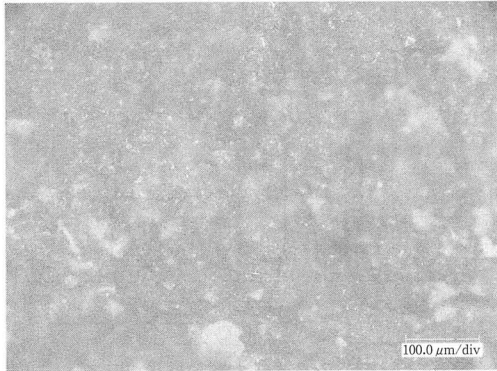
第234図 石匙の使用痕(5)



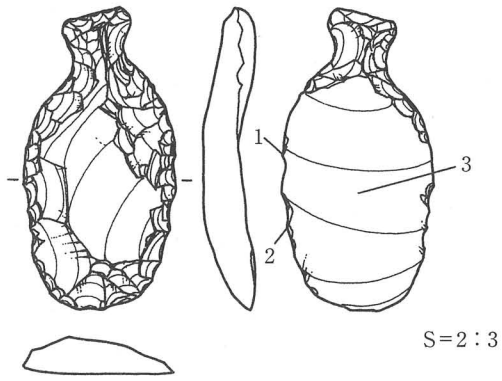
1 E1タイプ光沢



2 E1タイプ光沢

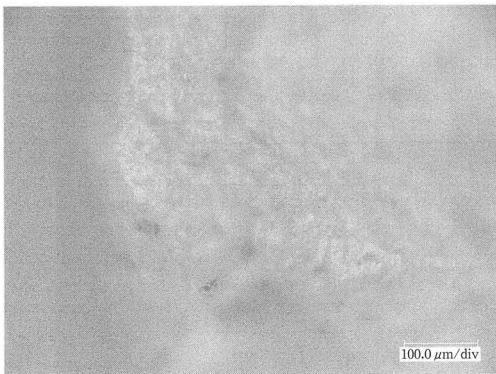


3 石器の表面

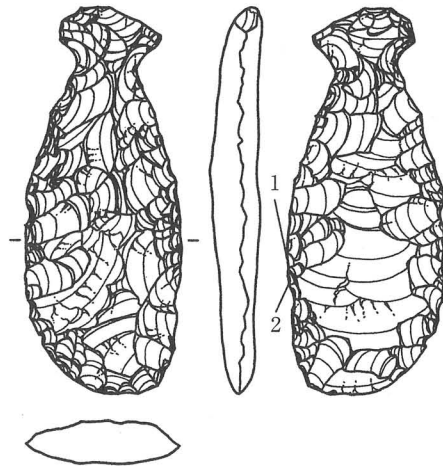


S=2:3

No.159

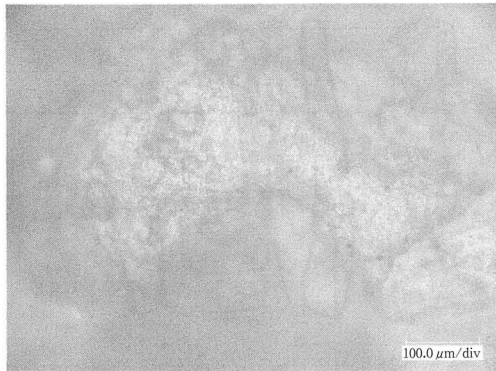


1 E2タイプ光沢



S=2:3

No.214



2 E2タイプ光沢

第235図 石匙の使用痕(6)

第4節 和野I遺跡における石器の製作と利用

1. 組成と出土量

本遺跡の打製石器には、石鏃・石銛・石匙・石錐・スクレイパー・異形石器・二次加工ある剥片・使用痕（微細剥離痕）ある剥片・ピエスエスキエ・石核がある。磨製・礫石器には、磨製石斧・敲石・凹石・石皿・磨石・砥石・カツオブシ形石器があり、このほか軽石・石炭・不明礫石器がある。第29～31表はそれぞれの遺構・層位ごとの出土量である。

捨て場をのぞく遺構からの出土量はきわめて少なく、組成を議論できる状況にはない。自然堆積層では、Ⅲb層からの出土が多いが、組成には層位間で大きな変化はない。ただし、石匙はⅡ、Ⅲa層で出土していないにもかかわらずⅢb層で13点の出土がみられる。今後、縄文前期後葉とそれ以前での石匙の組成率のちがいに配慮する必要があるかもしれない。北部捨て場は出土総数が6点と非常に少なく、剥片とスクレイパーのみがみとめられる。

南部捨て場からは総数1,301点の石器が出土している。もっとも多いのは2a層の276点で、ついで2b層の268点、3e層の214点、3a層の200点とづく。4層では総数6点ともっとも少ないが、その他の層では組成の概略をつかむにはほぼ十分な出土量があると思われる。組成の特徴は、剥片が全体の5～7割を占めて圧倒的に多く、それについて石鏃・石匙・二次加工ある剥片などが目立つ傾向が共通している。

石匙は、古い層準で小さいものが多く、「横型」が少ない。時期が新しくなると、大型のものや「横型」のものが増加する傾向がある。石鏃は、層位毎に形態やサイズのヴァリエーションを指摘することが難しい。

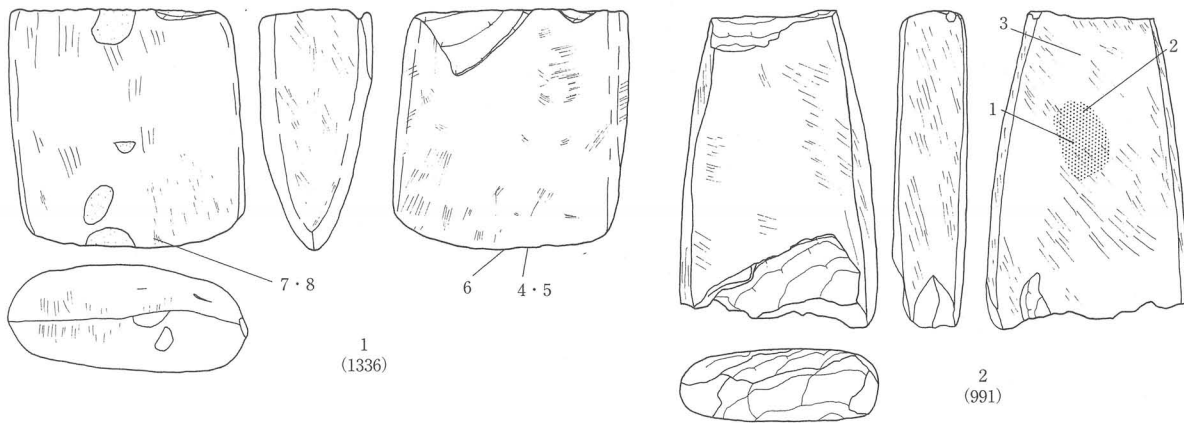
2. 製作

石核は南部捨て場で19点、遺構外で3点出土している。石材は頁岩・チャートで、剥片やツールと同じである。いずれも打面転移を頻繁に繰り返しながら剥片剥離が行われたあとの残核というべきものであり、剥片を剥離することが可能な打面と作業面およびそのなす角度が得られる箇所を積極的に利用していたことがうかがえる。

多くの石核に自然面が残存しており、点礫面をもつ1点以外は岩屑面である。残存する石核の大きさはほぼすべてが10cm四方よりも小さいため、あまり大きな原石を採取し、打ち割っていたとの印象はない。石核の剥離面からみて、剥離された剥片はすべて不定形であり、サイズも変化に富んでいる。この点は、出土剥片からも追認できる。

石核の剥離面には、発達したネガティブ・バルブを確認することができ、直接打撃で剥片剥離がなされた可能性が高い。自然面を打面としている場合も多く、打面・作業面調整はおそらくまったく、あるいはほとんど行われた形跡はない。なお、1775（第210図1）は石核を敲石に転用した可能性が高い。

敲石は、多くの場合、礫にとくに二次加工を加えることなく使用している。磨石も礫をそのまま利用しているものもあるが、扁平な礫に両面から二次加工を加え、より細長い磨面を作出しているものもある（984（第215図1）、847（第215図2）、843（第216図1）、2440（第217図1）、2378（第217図3）など）。磨製石斧の素材はおもに緑色泥岩がもちいられているが、そのほかにも安山岩・閃緑岩・ひん岩・砂岩・粘板岩が利用されている。大きな石斧のなかには敲打ののちに研磨しているものもあるが（1338（第208図8））、通常のサイズの石斧は研磨のみによって成形されていると考えられる。擦切技法によって用意された素材をもちいて製作された石斧には、1249（第208図9）・1336（第209図3）・1339（第209図7）がある。このほか、



第236図 使用痕が認められた石斧（図中番号は写真と対応する、トーンは着柄痕の分布範囲）

1246（第209図1）のように再加工の過程でも擦切技法を認めることができるが、これに用いられたと考えられる石鋸や擦切残片などは出土していない。

3. 石器の利用

(1) 使用痕の観察対象と方法

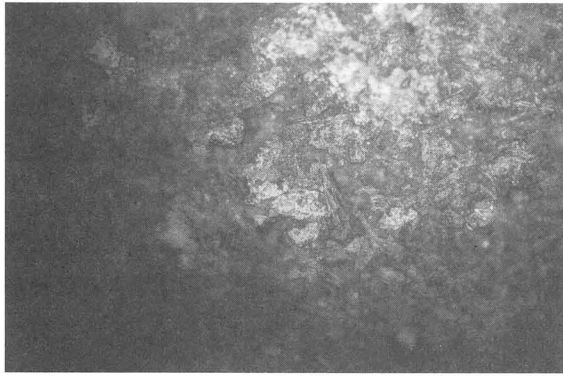
打製石器の使用痕については、前節において高橋が検討をおこなっている。ここでは礫石器、とくに磨製石斧の使用痕についてふれておきたい。

使用痕の観察対象としたのは、捨て場を含む遺構内出土のうち刃部が残存している8点（第208図3・5・8・9、第209図3・6、第210図1・2）、および肉眼で基部に光沢が認められた1点（第208図7）の破片である。方法は、Keeley（1977）による高倍率法にしたがった。観察にさきだって資料表面の油脂をエタノールによって除去し、落着証明付き金属顕微鏡（オリンパスBX-30M）をもちいて100～500倍で観察を行った。写真は、顕微鏡用デジタルカメラ（オリンパスDP12）を用いて撮影した。

(2) 使用痕分析結果

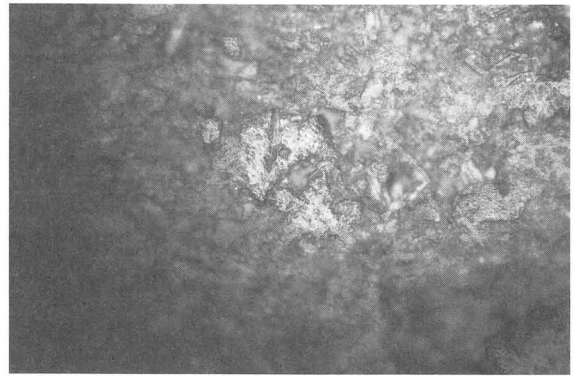
刃部が残る資料8点のうち、1点に使用痕光沢面が認められた。1336（第209図3）には、刃縁部中央部付近の両面に非常に小さいがやや明るくなめらかな使用痕光沢面が、表面の微妙な凹凸の中で凸部にかぎって認められた（第236図1、第237図4～8）。いずれもBタイプ（梶原・阿子島1981、阿子島1989）の発達期の初期段階にあると考えられる。刃縁部を立てた観察では使用痕は全く認められなかった。使用痕光沢面の分布がきわめて限られるところから見て、木に対して用いられた可能性が高い。

肉眼で基部表面に光沢がみとめられた991（第208図7）については、やはり表面の微妙な凹凸の中で凸部に、明らかに研磨痕とは異なる光沢が、b面の中央部分に認められた（第236図2）。外観はBタイプに類似するがやや表面のやや凹凸があり滑らかさを欠き、また全体の丸みも乏しく平坦な印象を受ける（第237図1・2）。石斧の木柄への着柄痕は斎野（1998）によって実験・出土例で確認されているが、その場合もやはり平坦なBタイプ類似光沢がみられる。本例の場合も、その分布および光沢面の特徴から木柄への着柄痕の可能性が高いといえよう。



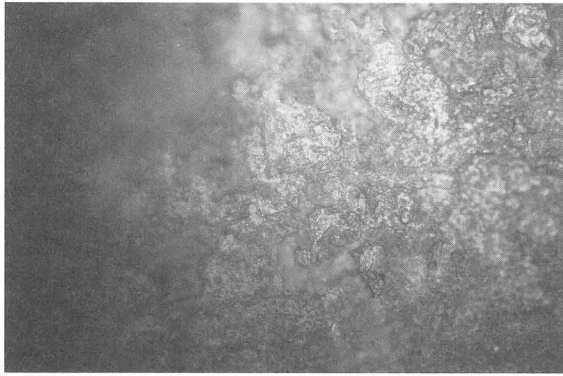
1

200×



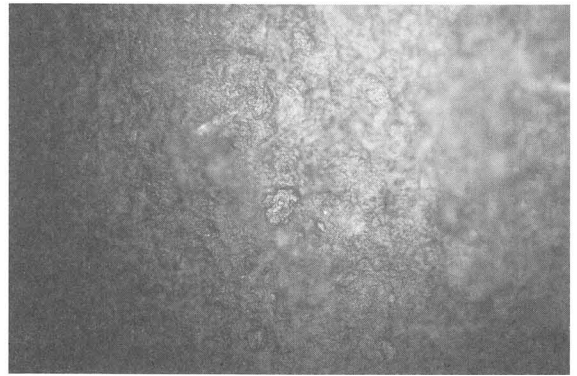
2

200×



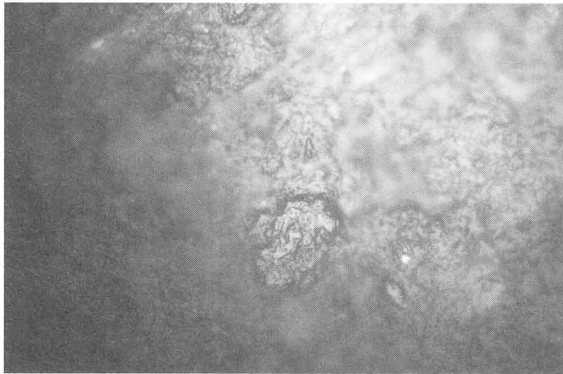
3

200×



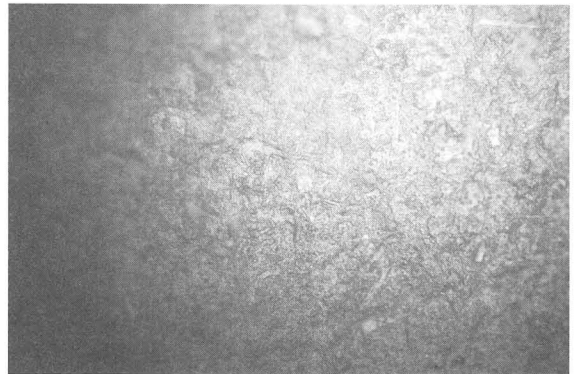
4

200×



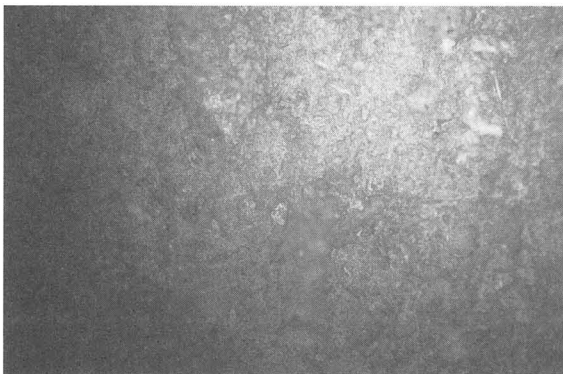
5

500×



6

200×



7

200×



8

500×

第237図 石斧の顕微鏡写真 (1~4・6・7 : 200×、5・8 : 500×)

本資料は刃部が残存していないが、比較的扁平な断面を呈するものである。しかしながら、主面のうち a 面はやや丸みを帯びているが、b 面は比較的平坦であり、着柄痕がみとめられたのは平坦なほうである。この石斧が片刃もしくは片刃気味であれば b 面が柄と接触して横斧としてもちいられたと考えるのがもっとも合理的である。今後は、縄文期の石斧でも刃の付け方・断面形状・着柄痕の 3 者の相関関係をとらえる視点で分析をおこなってゆく必要があるだろう。

なお、今回使用痕光沢面が確認できた例はいずれも緑色泥岩製の石斧である。すでにのべたように、石斧には緑色泥岩以外の石材も用いられているが、とくに変成岩製の石斧では使用痕光沢面が確認できる資料が非常に少ないという傾向は、ここでも例外ではないようだ。

[高瀬克範]

引用文献

- 青木かおり・新井房夫2000「三陸沖海底コアKH94-3、LM-8の後期更新世テフラ層序」『第四紀研究』39.
- 阿子島香1981「マイクロ・フレイキングの実験的研究（東北大学使用痕研究チームによる研究報告その1）」『考古学雑誌』66-4.
- 阿子島香1989『石器の使用痕』考古学ライブラリー56 ニュー・サイエンス社.
- 阿部永監修1994『日本の哺乳類』東海大学出版会.
- 新井房夫1972「斜方輝石・角閃石によるテフラの同定-テフロクロロジーの基礎的究」『第四紀研究』11.
- 新井房夫1993「温度一定型屈折率測定法」日本第四紀学会編『第四紀試料分析法2-研究対象別分析法』.
- 上野秀一1991「発掘調査にフローテーションを導入してみた」『プロジェクト・シーズ・ニュース』3.
- 及川 洵ほか1971『牧田貝塚発掘調査概要』陸前高田市教育委員会.
- 大池昭二・中川久夫・七崎 修・松山 力・米倉伸之1966「馬淵川中・下流沿岸の段丘と火山灰」『第四紀研究』5.
- 大澤喜男1994『子木地の台遺跡発掘調査報告書』田野畑村教育委員会.
- 小笠原雅行2000「円筒下層 a 式といわゆる白座式について—現状とその問題点の把握—」『村越潔先生古稀記念論文集』.
- 小山正忠・竹原秀雄1967『新版標準土色帳』.
- 梶原 洋・阿子島香 1981「頁岩製石器の実験使用痕研究-ポリッシュを中心とした機能推定の試み（東北大学使用痕研究チームによる研究報告その2）」『考古学雑誌』67-1.
- 金子昭彦1991「岩手県田野畑村浜岩泉Ⅱ遺跡出土の遮光器土偶について」『岩手考古学』3.
- Keeley, L.H. 1977 The functions of paleolithic flint tools, *Scientific American* 237-5, pp.108-126.
- キーリ C. T.・武藤康弘1982「縄文時代の年代」『縄文文化の研究1 縄文人とその環境』, 雄山閣.
- 木村鐵次郎ほか1997『畑内遺跡Ⅳ』青森県教育委員会.
- Kudo, T. and D'Andrea, A. C. 1991 Accelerator radiocarbon date on rice from the Kazahari Site, *Project Seeds*, 3. 斎野裕彦1998「片刃磨製石斧の実験使用痕分析」『仙台市富沢遺跡保存館研究報告』1.
- Stuiver, M., Reimer, P.J., Bard, E., Beck, J.W., Burr, G.S., Hughen, K.A., Kromer, B., McCormac, G., van der Plincht, J. and Spurk, M. 1998 INTCAL98 radiocarbon age calibration, 24,000-0 cal BP. *Radiocarbon*, 40.
- 高木 晃1998『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書-第6次~第8次調査-』(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター.
- 高橋健太郎・三浦千秋1995『崎山貝塚 範囲確認調査』宮古市教育委員会.
- 田野畑村教育委員会2001『田野畑村村内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』田野畑村教育委員会.
- 田野畑村1985『田野畑村史』1.
- D'Andrea, A.C. 1992 *Palaeoethnobotany of later Jomon and Yayoi cultures of northeastern Japan: northeastern Aomori and southwestern Hokkaido*, University of Toronto.
- 椿坂恭代1993「アワ・ヒエ・キビの同定」『先史学と関連科学』.
- 中坊徹次編1993『日本産魚類検索-全種の検索-』東海大学出版会.

- 中山至大・井之口希秀・南谷忠志2000『日本植物種子図鑑』東北大学出版会.
- 早川由紀夫1983「十和田火山中礫テフラ層の分布、粒度組成、年代」『火山』第2集, 28.
- 福田友之1986「考古学からみた「中礫軽石」の降下年代」『弘前大学考古学研究』3.
- 町田 洋・新井房夫1992『火山灰アトラス』東京大学出版会.
- 町田 洋・新井房夫・森脇 広1981「日本海を渡ってきたテフラ」『科学』51.
- 南木睦彦・辻誠一郎・住田雅和1998「三内丸山遺跡第6鉄塔地区VI a、VI b層から産出した大型植物遺体（化石）」『三内丸山遺跡Ⅸ－第6鉄塔地区調査報告書2－』青森県教育委員会.
- 山内清男1979『日本先史土器の縄紋』先史考古学会.
- 吉川純子2000「野木遺跡より産出した大型植物化石」『野木遺跡Ⅲ』青森県教育委員会.
- 吉崎昌一・椿坂恭代1996「北海道・中野B遺跡から検出された縄文時代早期の植物種子」『中野B遺跡』第4分冊、(財)北海道埋蔵文化財センター.
- 吉崎昌一・椿坂恭代1998「青森県高屋敷遺跡出土の平安時代の植物種子」『高屋敷館遺跡』青森県教育委員会.
- 吉崎昌一・椿坂恭代2000「キウス7遺跡から出土した炭化種子」『調査年報』13 (財)北海道埋蔵文化財センター.
- 早稲田大学考古学研究室1997『館石野 I 遺跡発掘調査報告書』.

報 告 書 抄 録

ふりがな	わのいちいせきはくつちょうさほうこくしょ							
書名	和野 I 遺跡発掘調査報告書							
副書名	公共下水道整備（代行）事業に伴う発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第452集							
編著者名	赤石 登・高瀬克範							
編集機関	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL 019-638-9001・9002							
発行年月日	西暦2004年2月18日							
ふりがな	ふりがな	コ ー ド		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
和野 I 遺跡	岩手県下閉伊郡田野畑村和野104ほか	03484	KG23-1047	39度 55分 42秒	141度 54分 59秒	2001.07.06) 2001.11.01	2,479m ²	公共下水道整備(代行)事業
所収遺跡名	種 別	主な時代	主 な 遺 構		主 な 遺 物	特 記 事 項		
和野 I 遺跡	集 落	縄文時代前～中期	竪穴住居跡	5 棟	縄文前期後葉～中期前葉を中心とする土器、石器、土・石製品、動植物遺体	陸獣・硬骨魚類骨とともにホオジロザメ・アオザメ・ネズミザメの歯・骨が出土。		
			捨て場	2 カ所				
			土 坑	28基				
			焼土・炭化物集中区	3 基				
集 落	古 代	古 代	竪穴住居跡	9 棟	土師器・鉄製品・鉄滓、動植物遺体	イネ・雑穀類、陸獣骨とともにマダラ・ソウダガツオ属などの魚骨が出土。		
			焼土・炭化物集中区	2 基				
墓	近 世	近 世	墓 坑	1 基	人骨・寛永通宝			
掘立柱建物跡	不 明	不 明	掘立柱建物跡					
			土 坑					

※緯度と経度は世界測地系座標に則る

平成15年度 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿

所 長	木 村 昇	副 所 長	平 野 允 苗
〔管 理 課〕			
課 長	菲 沢 正 吾	嘱 託	高 橋 照 雄
課 長 補 佐	山 岸 直 美	〃	湯 沢 邦 子
主 査	中 嶋 賢 一	〃	沼 田 テル子
主 事	猿 橋 幸 子	〃	伊 藤 滋 子
〔調 査 第 一 課〕			
課 長	佐々木 勝	文化財調査員	北 村 忠 昭
課 長 補 佐	佐々木 清 文	〃	八 木 勝 枝
文化財専門員	金 子 昭 彦	〃	丸 山 浩 治
文化財調査員	吉 田 充	〃	北 田 勲
〃	亀 大 二 郎	〃	島 原 弘 征
〃	野 中 真 盛	期限付調査員	坂 部 恵 造
〃	新 妻 伸 也	〃	小 林 弘 卓
〃	阿 部 勝 則	〃	藤 原 大 輔
〃	杉 沢 昭 太 郎	〃	小 針 大 志
〃	西 澤 正 晴	〃	太 田 代 一 彦
〃	村 木 敬	〃	新 井 田 えり子
〔調 査 第 二 課〕			
課 長	三 浦 謙 一	文化財調査員	星 雅 之
課 長 補 佐	中 川 重 紀	〃	佐 藤 淳 一
〃	高 橋 義 介	〃	星 幸 文
文化財専門員	小山内 透	〃	溜 浩 二 郎
〃	金 子 佐 知 子	〃	本 多 準 一 郎
〃	濱 田 宏	〃	丸 山 直 美
文化財調査員	赤 石 登	〃	福 島 正 和
〃	阿 部 眞 澄	〃	米 田 寛
〃	水 上 明 博	〃	須 原 拓
〃	阿 部 憲	〃	中 村 絵 美
〃	早 坂 淳	〃	川 又 晋
〃	小 松 則 也	〃	村 田 淳
〃	阿 部 徳 幸	〃	(村 上 拓)
〃	窓 岩 伸 吾	期限付調査員	斎 藤 麻 紀 子
〃	亀 澤 盛 行	〃	石 崎 高 臣
〃	飯 坂 一 重	〃	吉 田 里 和
〃	鈴 木 裕 明	〃	立 花 裕
〃	林 勲	〃	江 藤 敦
〃	阿 部 孝 明	〃	駒 木 野 智 寛
〃	羽 柴 直 人		

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第452集

和野 I 遺跡発掘調査報告書

公共下水道整備（代行）事業に伴う発掘調査
（第1分冊 本文・図版・表編）

印刷 平成16年2月12日

発行 平成16年2月18日

発行 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地

電話 (019) 638-9001・9002

FAX (019) 638-8563

印刷 三陽印刷株式会社

〒020-0811 岩手県盛岡市川目町23-1 盛岡中央工業団地

電話 (019) 651-1321

© 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004

